



# 詳解 日語 語法

## 辭典

申泰海  
趙基天  
王笑峰





## 大家论坛其他资料下载

早安日语共 125 课WORD下载

原来这句日语这样说（共 230 多页PDF下载）

标日初级超详细笔记WORD共 65 页下载

标准日语表达-日语日常口语惯用表达（共 100 多页PDF下载）

标准日语表达-日语日常口语副词精解（100 多页PDF下载）

现代交际日语书本共 300 多页下载

日语 4 级重点整理（PDF下载）

日语 3 级重点整理（PDF下载）

日语 2 级重点整理（pdf共 100 页下载）

日语 1 级重点整理(pdf共 190 多页下载）

日语语法口诀 36 首（共约 193 页PDF下载）

初级日本语完全总结doc版下载

日剧中出现频率较高的句子

闲聊日语.

无师自通日语 900 句

日语初级语法大全EXE格式下载

新版中日交流标准日本语全笔记共 70 页WORD下载

日语初级语法笔记（共 60 多页WORD下载）

标准日本语初级上册文法学习教案PPT下载

《标准日本语》\_初级\_上下册\_单词WORD下载

新版标日初级单词Word打印版

日语 1 级出题基准宝典PDF下载

日语 2 级出题基准宝典PDF下载

日语 3 级出题基准宝典PDF下载

日语 4 级出题基准宝典PDF下载

日语一级新增语法共 12 篇下载

日语词汇分类：日语一级词汇共 30 篇下载

日语口语精典PDF书下载

读漫画学日语（PDF书下载）

101 个日语成语Book（PDF下载）

完全掌握 2 级日本语能力考试语法对策(共 173 个PDF下载)

完全掌握 1 级日本语能力考试语法问题对策(共约 200 页PDF书下载)

日本语能力考试历年试题 1-4 级(共 130 页WORD下载)

国际日本语能力测试二级语法总结 190 例(共 35 页WORD下载)

日语 3 级语法与词汇练习大全(1551 个)附答案WORD下载

日本语能力测试 2 级语法与词汇练习大全(1924 题)下载

日本留学考试日语能力测试 2 级词汇全攻略宝典（共约 530 页PDF书）

日本语能力测试 1 级语法与词汇练习大全(共 1847 题WORD下载)

日语能力测试 1 级词汇全攻略（共 560 页PDF下载）

标准日本语+五十音图+发音版（flash下载）

日语 3 级语法（共 27 页WORD下载）

日语学习笔记（共 56 页WORD下载）

新编日语习题集（第 1 册）（共约 150 页PDF书下载）

新编日语习题集（第 2 册）（共约 200 页PDF书下载）

新编日语习题集（第 3 册）（共约 200 页PDF书下载）

新编日语习题集（第 4 册）（共约 200 页PDF书下载）

新东方日语教材电子版（共约 150 页WORD下载）

日语语法全集（共约 30 页WORD下载）

中日交流标准日本语词汇精解（初级）

新しい日本語能力試験ガイドブック概要版（PDF下载）

日语副词学习（共 180 多页PDF下载）

日语三级词汇(共 10 页PDF下载)

大学日语基础阅读（PDF书下载）

日本生活口語（共 80 页PDF书下载）

日本礼仪（PDF书下载）

日本语文法入门ハンドブック(日原版)

雪国(日语注释读物)

日语语法入门（共约 300 页PDF书下载）

新标日单词初级上下册下载（TXT格式）

实用日语 100 句PDF下载

日语一级 800 个核心词下载

日语聊天基础用语（txt格式）

日语的基础用语（共 30 页WORD下载）

日语三级文法讲解TXT下载

日语世界童话寓言（共 40 篇WORD下载）



大家的日语书及辅导书下载  
读漫画学日语（PDF书下载）  
1991-1999 年日语能力考试 2 级真题及答案  
日语能力考试 1991～1999 年试题集 1 级  
日语惯用型详解（中日对照PDF下载）  
日语构造语法（共 190 页PDF下载）  
最常见的日语惯用句型 840 个（PDF下载）  
日语病句剖析二百例(PDF书下载)  
三级文法讲解（共 48 页WORD下载）  
《日本语能力测试 3、4 级听解》MP3 下载  
标准日语(初级-生词表 1-48)MP3 下载  
日语汉字读音速查词典PDF下载  
日语论语mp3 下载  
新东方日语入门一月通讲义.rar  
用耳朵记日语一级文法（PDF精美全彩版）.rar



■ ■ ■  
王 趙 申  
笑 基 泰  
峰 天 海



2 031 2945 3

**詳解  
日語語法  
辭典**

吉林教育  
出版社



详解日语语法辞典

申泰海 赵基天 王笑峰 编著

责任编辑: 张岩峰

封面设计: 曲 刚

出版: 吉林教育出版社 787×1092毫米32开本 53.125印张 6插页 1561 000字  
1991年4月第1版 1991年4月第1次印刷  
发行: 吉林省新华书店 印数: 1—3 000册 定价: 29.60元  
印刷: 长春新华印刷厂 ISBN 7-5383-1252-8 / H·28



# 前 言

本辞典是按着普及和提高、理论和实践相结合的原则编写的。因此，既可做一般读者的学习参考书，也可做研究人员的理论工具书。

本辞典有如下特点：

1. 本辞典是一部详解辞典，对于日语中的各种理论问题和语法现象等，做了全面、深入的论述。词目讲解详尽、例句丰富。特别是功能词汇均做到分项论述（包括活用、接续、意义、参考、说明等），因此，从中可以获得比较完整、系统的语法知识。

2. 本辞典共收词目1,400余条。其中，语法理论词目（600余条）和实用语法词语（800余条）同时收入，既注重理论阐述又注意用法说明，既做正面论述又做病句分析和类义比较，使其学术性和实用性得到统一。

3. 本辞典主要是根据日本语法学界堪称权威的桥本语法、山田语法、时枝语法以及教学语法编写的，但所述内容不囿于一家之说，而是博采众长，客观地介绍各种观点，以资读者比较、选择。

4. 本辞典还大量吸收了近年来国内外学术界日语语言研究和教学方面的新成果，以期内容更加充实、新颖。此外，很多内容直接来自活生生的实际语言材料，因此，至今尚未认识到或尚未总结出规律性的内容也写进有关词目中，以求适应语言和语言研究的发展形势。

5. 本辞典备有分类目录、用语索引、词语索引等多种



检索方式。通过分类目录，可以了解本辞典的整个知识体系。通过用语索引（3,000余条）和词语索引（2,000余条）可获得有关未词目化的语法用语和词语方面的大量信息。

在编写过程中，我们参考了国内外学者的大量著作。吉林教育出版社编辑吴豪英、张岩峰同志给我们以热情关怀和支持，金曙老师对本书的修改提出了宝贵的意见。还有，甘莉老师完成了全部书稿的缮写工作。在此谨向他们致以诚挚的谢意。

编写语法辞典是我们的一次尝试，从1979年10月起收集资料、开始编写，历时六年余，于1986年4月脱稿。其间三易其稿，不断加以补充，但是由于我们势单力薄，水平有限，未能达到令人满意的结果。疏漏之处，敬请广大读者和同行们批评指正。

编 者

1986年4月于吉林大学外文系



# 说 明

## 一、词目

以现代日语的词法、句法以及常用表达法为主，适当地收录了有关文章论、词汇、语音、文字方面的词目，在口语文章中常见的文语和方言词目也少量收录在内。

①语法术语：除了名家语法理论中的语法术语外，对于少数尚无命名的语法现象，也立为一个词目。如“連体修飾構造”“「でも」の見分け方”等。术语的日语读音和汉语译名分别列于词目后。因目前国内的汉语译名不统一，我们只选择了常用的几种，并尽量使用原日语术语。如“连体修饰语”、“接尾辞”等。在词目下的正文中，下定义，作解释，举例证，介绍在日语语法中的具体表现和应用以及诸家之说。

②语法功能词：以助词、助动词为主，同时收录了体言中的形式体言，用言中的形式用言和补助用言，副用言中的陈述副词和接续词。将词性标在词目后的〈〉内。在词目下的正文中，按活用、接续、意义及用法等项举例说明。有时也介绍了诸说的不同观点和其他注意事项。

③语法词组：虽然不是一个助词、助动词、接续词等单纯词，但是和这些语法功能词一样，有专门的语法功能的词组也立为独立词目，如かわりに、なければならぬ……。将词性定为“助词性词组”“助动词性词组”等。在这些语法词组中，有一些彼此间有用法上和词源上的联系，我们将它作为系列词归并为一个词目。如：すると、すれば、したら都表示顺态接

续,同源于“する”的活用词组,因此立为“する系列接续词”。但其中常用的すると等又独立为一个词目。

句型和语法功能词的常用搭配形式没有立为词目,但在有关的词目中均能查到。如:たぶん……だろう,可查たぶん;～さえ～ば,可查さえ或ば。

## 二、例句

绝大多数例句取自原文语法书、语文工具书、作品、教材、报刊以及日本国立国语研究所的语言调查资料等。文言方面的例句主要来自现代日语文章中。对个别的例句,因单独立句意义含混或过于冗长而作了部分删改。对于少数例句因语法现象较特殊或有其他特殊情况的标明出处。对例句中出现的常用汉字表以外的汉字读音标注假名。

例句的译文力求“信、达”,同时充分照顾到原文和译文在语法结构上的一致性。译文中( )内文字是为便于理解而加的补译。例句原文和译文以/号相分。※表示错误的句子。句首?号表示不通顺的句子。→或←表示句子、词语的变化形式。△表示有关例句或用法上的注意事项。⇔表示关联词目。

## 三、附录和索引

附有“常用汉字表”,作例句中汉字读音的根据。

索引有“词语索引”和“用语索引”。两者不仅包括词目,而且广泛收录了在论述中出现的未词目化的语法词组和语法术语等。通过索引可以查到大小不等的相关术语。

另外,在本辞典的前面还附有“分类目录表”,将本辞典的所有理论词目按语法内容分类归纳,以便纵观所有理论词目,获得对于本辞典以及对于语法知识系统的整体认识。



# 总 目

说明..... ( 1 )

分类目录..... ( 1 )

## 五十音索引

あ ( 1 ) い ( 22 ) う ( 58 ) え ( 70 ) お ( 76 )  
か ( 100 ) き ( 205 ) く ( 241 ) け ( 258 ) こ ( 324 )  
さ ( 383 ) し ( 412 ) す ( 524 ) せ ( 551 ) そ ( 574 )  
た ( 629 ) ち ( 717 ) つ ( 730 ) て ( 748 ) と ( 845 )  
な ( 972 ) に ( 1036 ) ぬ ( 1092 ) ね ( 1097 ) の ( 1101 )  
は ( 1135 ) ひ ( 1178 ) ふ ( 1200 ) へ ( 1257 ) ほ ( 1276 )  
ま ( 1301 ) み ( 1327 ) む ( 1337 ) め ( 1341 ) も ( 1354 )  
や ( 1384 ) ゆ ( 1398 ) よ ( 1401 )  
ら ( 1428 ) り ( 1444 ) る ( 1448 ) れ ( 1452 ) ろ ( 1482 )  
わ ( 1486 ) を ( 1494 )  
ん ( 1503 )

## 附录

一、日本常用汉字表..... (1508)

二、用语索引..... (1592)

三、词语索引..... (1641)

参考书目..... (1678)

# 分类目录

本目录只收理论方面的词目，语法功能词和其他词目要查书后的“用语索引”和“词语索引”。

## 一、一般语言学理论

言語..... (309)	日本語..... (1081)
ラング..... (1442)	日本語の特徴..... (1082)
言語単位..... (315)	現代日本語..... (319)
言語構成観..... (314)	書き言葉..... (124)
言語過程説..... (313)	話し言葉..... (1168)
構造言語学..... (331)	文字言葉..... (1368)
主体..... (478)	音声言葉..... (90)
場面..... (1169)	文語..... (1230)
素材..... (599)	口語..... (328)
言語意識..... (311)	標準語..... (1192)
言語行動..... (314)	共通語..... (232)
言語活動..... (312)	方言..... (1277)
言語形式..... (313)	言葉のゆれ..... (367)
零記号..... (1452)	
屈折語..... (245)	二、一般语法理论
膠着語..... (334)	文法..... (1243)
輯合語..... (463)	語法..... (369)
孤立語..... (372)	文法学..... (1244)
	文法論..... (1252)
	文典..... (1239)



## 2 分类目录

文法辞典.....	(1247)
文語文法.....	(1232)
口語文法.....	(330)
学校文法.....	(139)
説明文法.....	(566)
記述文法.....	(205)
読解文法.....	(948)
表現文法.....	(1190)
機能文法.....	(210)
実用文法.....	(443)
規範文法.....	(210)
誤用の文法.....	(370)
一般文法.....	(43)
普通文法.....	(1225)
比較文法.....	(1179)
対照文法.....	(652)
解釈文法.....	(116)
歴史文法.....	(1456)
方言文法.....	(1281)
伝統文法.....	(841)
三大文法.....	(409)
山田文法.....	(1391)
橋本文法.....	(1157)
時枝文法.....	(921)
松下文法.....	(1314)
大槻文法.....	(79)
変形生成文法.....	(1273)

格文法.....	(130)
文法史.....	(1244)
文法的事実.....	(1251)
共起.....	(231)
文法性.....	(1250)
文法上許容すべき事項...	(1248)
形態.....	(273)
形態論.....	(276)
意味.....	(45)
意義範疇.....	(26)
職能.....	(506)
機能.....	(209)

### 三、词类划分

品詞.....	(1194)
品詞論.....	(1199)
品詞分類.....	(1197)
品詞の転成.....	(1195)
自立語.....	(519)
附属語.....	(1223)
副用言.....	(1217)
自用語.....	(495)
副用語.....	(1218)
陳述語.....	(727)
関係語.....	(187)
観念語.....	(198)
概念語.....	(117)
詞.....	(414)

辞..... (415)

#### 四、体言

体言..... (650)

形式体言..... (264)

準体言..... (490)

名詞..... (1342)

名詞の種類..... (1343)

固有名詞..... (369)

普通名詞..... (1223)

形式名詞..... (265)

時の名詞..... (923)

吸着語..... (230)

動名詞..... (909)

準名詞..... (492)

代名詞..... (656)

人代名詞..... (523)

人称代名詞..... (1090)

指示代名詞..... (437)

関係代名詞..... (187)

反照代名詞..... (1171)

コソアド..... (350)

指示詞..... (437)

疑問詞..... (219)

数詞..... (531)

数量数詞..... (537)

順序数詞..... (487)

疑問数詞..... (221)

特殊数量数詞..... (925)

助数詞..... (512)

数詞の読み方..... (533)

#### 五、用言

用言..... (1410)

補助用言..... (1293)

形式用言..... (266)

活用語..... (141)

活用連語..... (146)

動詞..... (881)

動詞の種類..... (892)

継続動詞..... (270)

瞬間動詞..... (486)

状態動詞..... (496)

形状動詞..... (268)

自動詞..... (449)

他動詞..... (687)

中相動詞..... (721)

意志動詞..... (31)

自発動詞..... (452)

可能動詞..... (156)

再帰動詞..... (386)

形式動詞..... (264)

授受動詞..... (478)

敬語動詞..... (260)

補助動詞..... (1288)

複合動詞..... (1205)



#### 4 分類目録

サ変複合動詞	( 400 )
動詞の語幹	( 888 )
動詞の未然形	( 894 )
動詞の連用形	( 901 )
動詞の終止形	( 889 )
動詞の連体形	( 898 )
動詞の假定形	( 886 )
動詞の已然形	( 885 )
動詞の命令形	( 895 )
動詞の推量形	( 894 )

形容詞	( 277 )
形容詞の種類	( 283 )
形式形容詞	( 264 )
補助形容詞	( 1287 )
不完全形容詞	( 1203 )
二音節形容詞	( 1055 )
形容詞の活用	( 279 )
形容詞の語幹	( 281 )
形容詞の未然形	( 284 )
形容詞の連用形	( 286 )
形容詞の終止形	( 282 )
形容詞の連体形	( 285 )
形容詞の假定形	( 280 )
形容詞の已然形	( 278 )
形容詞の命令形	( 285 )
形容詞の推量形	( 284 )

形容動詞	( 289 )
特殊形容動詞	( 924 )

丁寧の形容動詞	( 780 )
形容動詞の活用	( 292 )
形容動詞の語幹	( 295 )
形容動詞の未然形	( 298 )
形容動詞の連用形	( 298 )
形容動詞の終止形	( 297 )
形容動詞の連体形	( 298 )
形容動詞の假定形	( 295 )
形容動詞の已然形	( 292 )
形容動詞の推量形	( 297 )

#### 六、活用

活用	( 139 )
基本形	( 216 )
語幹	( 336 )
活用形	( 140 )
活用語尾	( 141 )
活用の型	( 142 )
活用表	( 143 )

動詞式活用	( 882 )
四段活用	( 1421 )
五段活用	( 352 )
五段特別活用	( 354 )
一段活用	( 39 )
上一段活用	( 164 )
下一段活用	( 457 )
二段活用	( 1069 )
上二段活用	( 166 )
下二段活用	( 459 )



変格活用 ……………	(1272)
三段活用……………	(410)
カ行変格活用……………	(125)
サ行変格活用……………	(390)
ナ行変格活用……………	(993)
ラ行変格活用……………	(1430)
形容詞式活用……………	(277)
ク活用……………	(241)
シク活用……………	(436)
形容動詞式活用……………	(291)
ナリ活用……………	(1025)
タリ活用……………	(707)
カリ活用……………	(180)
ダナ活用……………	(690)
タルト活用……………	(709)
未然形……………	(1181)
否定形……………	(1331)
連用形……………	(1477)
音便形……………	(98)
中止形……………	(718)
副詞形……………	(1208)
終止形……………	(464)
連体形……………	(1464)
已然形……………	(35)
假定形……………	(146)
命令形……………	(1348)
推量形……………	(526)

否定法……………	(526)
連用法……………	(1481)
中止法……………	(719)
副詞法……………	(1210)
接続法……………	(564)
終止法……………	(464)
連体法……………	(1473)
命令法……………	(1352)
假定法……………	(146)

## 七、副用言

副用言……………	(1217)
副用語……………	(1218)
副詞……………	(1207)
副詞の型……………	(1209)
接続副詞……………	(564)
感動副詞……………	(197)
情態副詞……………	(497)
程度副詞……………	(778)
陳述副詞……………	(728)
限定副詞……………	(321)
注釈副詞……………	(719)
指示副詞……………	(439)
形式副詞……………	(265)
連体詞……………	(1464)
副体詞……………	(1212)
接続詞……………	(556)



接続詞の構成……………	( 560 )
接続詞相当連語……………	( 559 )
感動詞……………	( 194 )

## 八、附属詞

助詞……………	( 507 )
静辞……………	( 553 )
てにをは……………	( 79 )
助詞相当連語……………	( 508 )
後置詞……………	( 333 )
前置詞……………	( 573 )
助詞の分類……………	( 510 )
助詞の省略……………	( 509 )

格助詞……………	( 128 )
並立助詞……………	( 1262 )
接続助詞……………	( 562 )
係助詞……………	( 121 )
副助詞……………	( 1210 )
終助詞……………	( 467 )
間投助詞……………	( 195 )

準体助詞……………	( 491 )
準副助詞……………	( 492 )
準副体助詞……………	( 492 )
連体助詞……………	( 492 )

「か」の見分け方……………	( 162 )
「から」の見分け方……………	( 180 )
「だって」の見分け方……………	( 686 )

「たら」の見分け方……………	( 701 )
「って」の見分け方……………	( 741 )
「でも」の見分け方……………	( 834 )
「とて」の見分け方……………	( 951 )
「とも」の見分け方……………	( 970 )
「な」の見分け方……………	( 1010 )
「ね」の見分け方……………	( 1100 )
「や」の見分け方……………	( 1390 )

助動詞……………	( 513 )
動辞……………	( 881 )
複語尾……………	( 1206 )
助動詞相当連語……………	( 515 )
助動詞の省略……………	( 516 )
助動詞の分類……………	( 516 )

受身の助動詞……………	( 68 )
自発の助動詞……………	( 452 )
可能の助動詞……………	( 158 )
使役の助動詞……………	( 418 )

尊敬の助動詞……………	( 625 )
丁寧の助動詞……………	( 781 )
敬讓の助動詞……………	( 269 )

打消の助動詞……………	( 68 )
希望の助動詞……………	( 211 )
伝聞の助動詞……………	( 841 )
様態の助動詞……………	( 1418 )
比況の助動詞……………	( 1180 )



指定の助動詞……………	( 445 )
不変化助動詞……………	(1225)
意志の助動詞……………	( 32 )
推量の助動詞……………	( 527 )
推定の助動詞……………	( 526 )
感動の助動詞……………	( 196 )
時の助動詞……………	( 922 )
過去の助動詞……………	( 133 )
完了の助動詞……………	( 204 )
「で」の見分け方……………	( 816 )
「そうだ」の見分け方…	( 590 )
「ない」の見分け方……………	( 986 )
「ん」の見分け方……………	(1506)

## 九、句子

構文論……………	( 334 )
統語論……………	( 880 )
文論……………	(1256)
文……………	(1227)
文節……………	(1235)
連文節……………	(1475)
句……………	( 241 )
節……………	( 555 )
断句……………	( 711 )
文の構造……………	(1239)

入子型構造……………	( 52 )
天秤型統一形式……………	( 841 )
IC分析……………	( 2 )
述体の句……………	( 484 )
喚体の句……………	( 194 )
文の成分……………	(1242)
主題……………	( 479 )
主語……………	( 472 )
主語の省略……………	( 474 )
総主……………	( 579 )
題目語……………	( 657 )
述語……………	( 479 )
述語の省略……………	( 483 )
主述関係……………	( 475 )
修飾語……………	( 465 )
修飾語の省略……………	( 466 )
規定語……………	( 209 )
連体修飾語……………	(1466)
連体修飾構造……………	(1470)
連用修飾語……………	(1477)
補語……………	(1286)
補充語……………	(1287)
客語……………	( 226 )
目的語……………	(1364)
対象語……………	( 651 )
補助語……………	(1288)
状況語……………	( 493 )
誘導成分……………	(1398)

## 8 分类目录

並立語…………… (1261)  
接続語…………… ( 556 )  
独立語…………… ( 926 )  
提示語…………… ( 774 )  
挿入語…………… ( 593 )

省略…………… ( 501 )  
倒置…………… ( 907 )

語順…………… ( 344 )  
切れ続き…………… ( 236 )  
言い切り…………… ( 24 )  
文脈…………… (1253)  
呼応…………… ( 335 )  
係り受け…………… ( 120 )  
係り結び…………… ( 122 )

叙述…………… ( 511 )  
陳述…………… ( 726 )

文の種類…………… (1240)  
単文…………… ( 713 )  
重文…………… ( 468 )  
複文…………… (1212)  
複文の構造…………… (1213)  
合文…………… ( 334 )  
有属文…………… (1398)  
混文…………… ( 381 )

平叙文…………… (1260)  
疑問文…………… ( 224 )  
感嘆文…………… ( 197 )  
命令文…………… (1352)  
否定文…………… (1184)

一語文…………… ( 38 )  
無主文…………… (1338)  
総主文…………… ( 579 )  
省略文…………… ( 503 )  
ハガ文…………… (1148)  
ダ型文…………… ( 661 )  
引用文…………… ( 57 )

可能文…………… ( 161 )  
希望文…………… ( 214 )  
難易文…………… (1028)  
自発文…………… ( 453 )  
受身文…………… ( 65 )  
使役受動文…………… ( 416 )  
使役文…………… ( 420 )

自動詞文…………… ( 450 )  
他動詞文…………… ( 688 )  
形容詞文…………… ( 288 )  
感覚感情形容詞文…………… ( 185 )

存在文…………… ( 626 )  
名詞文…………… (1346)

文型…………… (1229)



基本文型..... (217)	近称..... (238)
十、语法范畴	中称..... (719)
文法範疇..... (1251)	遠称..... (74)
意義範疇..... (26)	不定称..... (1224)
機能範疇..... (210)	法..... (1276)
形態範疇..... (276)	ムード..... (1337)
語形變化..... (338)	話法..... (1491)
屈折..... (244)	直接話法..... (724)
性..... (552)	間接話法..... (192)
数..... (530)	時..... (918)
格..... (126)	歷史的現在..... (1456)
裸格..... (1428)	アスペクト..... (11)
主格..... (468)	態..... (646)
所有格..... (519)	動作態..... (11)
目的格..... (1363)	進行態..... (520)
対格..... (126)	継続態..... (270)
与格..... (126)	反復態..... (1175)
述格..... (479)	經驗態..... (258)
修飾格..... (465)	将然態..... (495)
呼格..... (336)	将現態..... (494)
人称..... (1088)	既然態..... (206)
一人称..... (39)	既現態..... (205)
二人称..... (1077)	始動態..... (451)
三人称..... (410)	終結態..... (463)
	近向態..... (236)

遠向態……………	( 74 )
実験態……………	( 443 )
安置態……………	( 21 )
能動態……………	(1112)
受動態……………	( 484 )
可能態……………	( 155 )
使役態……………	( 417 )
自発態……………	( 451 )

相……………	( 575 )
中相……………	( 721 )
能相……………	(1112)
所相……………	( 513 )
勢相……………	( 554 )
敬相……………	( 270 )
自然可能……………	( 453 )

### 十一、表达法

表現法……………	(1191)
平叙表現……………	(1259)
詠嘆表現……………	( 70 )
情意表現……………	( 493 )
命令表現……………	(1348)
禁止表現……………	( 236 )
疑問表現……………	( 221 )
希望表現……………	( 212 )
伝聞表現……………	( 842 )
勧誘表現……………	( 200 )
指定表現……………	( 446 )
確認表現……………	( 129 )

判断表現……………	(1172)
推量表現……………	( 528 )
否定表現……………	(1181)
二重否定表現……………	(1062)
反語表現……………	(1170)
比喻比況表現……………	(1187)
婉曲表現……………	( 73 )
依頼表現……………	( 48 )
意志表現……………	( 33 )
あいさつ語……………	( 1 )
応答表現……………	( 77 )
反問表現……………	(1176)
呼びかけ表現……………	(1422)
当然義務の表現……………	( 905 )
待遇表現……………	( 649 )
強調の表現……………	( 231 )
要求表現……………	(1410)
許容表現……………	( 233 )
くりかえし……………	( 253 )

自発の表現……………	( 453 )
受身の表現……………	( 64 )
使役の表現……………	( 419 )
可能の表現……………	( 159 )
経験の表現……………	( 259 )
場所の表現……………	(1158)
時の表現……………	( 447 )
時点の表現……………	( 447 )
時間の表現……………	( 434 )



数量表現.....	( 538 )
原因の表現.....	( 305 )
方法材料の表現.....	(1283)
対人関係の表現.....	( 653 )
受給の表現.....	( 469 )
比較対照表現.....	(1178)
程度表現.....	( 776 )
限定の表現.....	( 320 )
根拠依拠の表現.....	( 378 )
目的目標の表現.....	(1365)
添加表現.....	( 839 )
例示表現.....	(1453)
並立表現.....	(1263)
選択表現.....	( 572 )
条件表現.....	( 494 )
逆接条件の表現.....	( 227 )
順接条件の表現.....	( 488 )

## 十二、敬語

敬語.....	( 259 )
敬語法.....	( 263 )
敬讓.....	( 268 )
絶対敬語.....	( 565 )
関係敬語.....	( 187 )
尊敬語.....	( 624 )
謙讓語.....	( 316 )
丁寧語.....	( 779 )
丁寧語.....	( 775 )
美化語.....	(1180)

敬体.....	( 272 )
常体.....	( 496 )
尊大語.....	( 627 )
卑罵語.....	(1187)
敬語の用法.....	( 261 )
敬称.....	( 267 )
親族関係の呼び方.....	( 521 )
これからの敬語.....	( 372 )

## 十三、文章

文章.....	(1233)
文章論.....	(1234)
段落.....	( 714 )
文体.....	(1237)
文体論.....	(1238)
口語体.....	( 329 )
口語文.....	( 329 )
文語体.....	(1231)
文語文.....	(1232)
会話文.....	( 119 )
仮名文.....	( 153 )
和文.....	(1491)
漢字仮名交じり文.....	( 192 )
漢文.....	( 198 )
侯文.....	( 594 )

書簡文……………	( 504 )
翻訳文……………	(1297)
言文一致……………	( 322 )

散文……………	( 411 )
韻文……………	( 56 )

#### 十四、書写法

文字……………	(1366)
表記法……………	(1189)
正書法……………	( 553 )
分ち書き……………	(1487)
送り仮名……………	( 81 )

五十音図……………	( 342 )
いろは……………	( 53 )
ローマ字……………	(1482)
平仮名……………	(1193)
片仮名……………	( 136 )
仮名……………	( 152 )
漢字……………	( 190 )
部首……………	(1218)
国字……………	( 337 )
略字……………	(1445)
常用漢字表……………	( 501 )

仮名づかい……………	( 153 )
現代かなづかい……………	( 317 )
歴史的仮名づかい……………	(1454)

句読法……………	( 250 )
句読点……………	( 246 )
踊り字……………	( 254 )
補助符号……………	(1290)
くりかえし符号……………	( 254 )

#### 十五、词汇

単語……………	( 712 )
語……………	( 325 )
連語……………	(1463)

語彙……………	( 326 )
語彙論……………	( 328 )
基本語彙……………	( 216 )
辞書……………	( 439 )

漢語……………	( 188 )
和語……………	(1489)
外来語……………	( 117 )
混種語……………	( 379 )
日中同形語……………	(1072)

同音語……………	( 877 )
類音語……………	(1448)
類義語……………	(1449)
分類語……………	(1255)
対義語……………	( 647 )

象徴語……………	( 499 )
擬声語……………	( 206 )



擬態語.....	( 207 )
性別語.....	( 554 )
慣用語.....	( 203 )
慣用句.....	( 202 )
きまり文句.....	( 218 )
親属関係の呼び方.....	( 521 )
語構成.....	( 339 )
形態素.....	( 275 )
単純語.....	( 339 )
派生語.....	( 1162 )
複合語.....	( 1204 )
転成語.....	( 840 )
略語.....	( 1444 )
混成語.....	( 380 )

## 十六、音韻

音声語法.....	( 90 )
縮約形.....	( 471 )

音素.....	( 94 )
音節.....	( 91 )
促音.....	( 595 )
撥音.....	( 1163 )
拗音.....	( 1408 )
長音.....	( 722 )
アクセント.....	( 5 )
プロミネンス.....	( 1227 )
イントネーション.....	( 54 )
音便.....	( 98 )
形容詞のウ音便.....	( 278 )
動詞の音便.....	( 886 )
字音.....	( 422 )
連濁.....	( 1473 )
方言音.....	( 1278 )

## あ      ア

### あ 〈助词〉

在口语中，提示助词“は”和接续助词“ば”有时音便为“あ”。例：僕あいい。／我不用了。今のうちに仕事もし出さなければあいけない。／现在也该开始工作了。

### あいさつ語 ～ゴ 礼貌语

敬语的一种，属郑重语。用来表示打招呼、感谢、拜托、告别等。有如下主要用语。

#### 1. 有关向别人搭话的搭讪语。

- ①すみませんが，ちょっとお尋ねします。／劳驾，我打听一下。  
②おそれいりますが，お越しいただけませんか。／真对不起，能请您来一下吗？③失礼しますが，団長先生はどちらさまですか。／请问团长是哪一位？④もしもし，ちょっと。／劳驾（借光、打听之类）。

#### 2. 有关向对方表示原谅、歉意的道歉语。

- ①ご免ください，お届けものに参りました。／主人在家吗？我送东西来了。②ご免なさい。道をあけてくれませんか。／请原谅，让一下路好吗？③長らくご無沙汰いたしました。（书信）／久疏音讯。④ごめん，ごめん，寝坊をして遅れてしまった。／对不起，对不起，睡过头来迟了。⑤どうも申しわけございません。／实在是对不起。⑥お待ちとおさま（お待ちかね）でした。／让您久等了。

#### 3. 有关向对方表示感谢、慰劳的致谢语。

- ①ご親切どうも。／谢谢您的好意。②どうもご苦労さん。／你辛苦了。③長い汽車の旅でお疲れさまでございましょう。／乘火车长途旅行，您受累了吧。④厚くお礼を申しあげます。／深表谢意。⑤手ずからお捜しにあずかって恐れいりました。／劳您亲自寻找，真过意不去。

#### 4. 见面时的寒暄语。



①今日は。／你好。②おひさしぶりでしたね。／好久不见了。

5. 用于道别时的道别语。

①さようなら。／再见。②明日また。／明天见。③のちほどまた。／回头见。④ごきげんよう。／再见。多保重。⑤お休みなさい。／您休息吧。晚安。⑥お邪魔いたしました。これでお暇いたします。／打扰了，向您告辞。

6. 有关请求、提醒的请求语。

①はじめまして、どうぞよろしく（お願いします）。／初次见面，请多关照。②ビザのことは、よろしくお願いします。／签证的事，请您关照。③ちょっとご用があります。／有件事要打扰。④くれぐれも火のもとを用心してください。／千万注意火烛。

7. 用于出门、回家（回去）时的寒暄语。

①「行ってまいります」「行っていっちゃい」／“我走啦。”“去吧。”②ただいま。／我回来了。③お帰りなさい。／你回来啦。

8. 有关庆贺、吊唁的庆贺语、悼丧语。

①おめでとうございます。／恭喜恭喜。②新年おめでとう。／新年好。③このたびは、まことにご愁傷でございます。／此次遇丧，深感悲痛。④さぞやお力落しでございましょう。心からお悔みいたします。／您一定很悲痛，我深表悼念。

9. 其他。

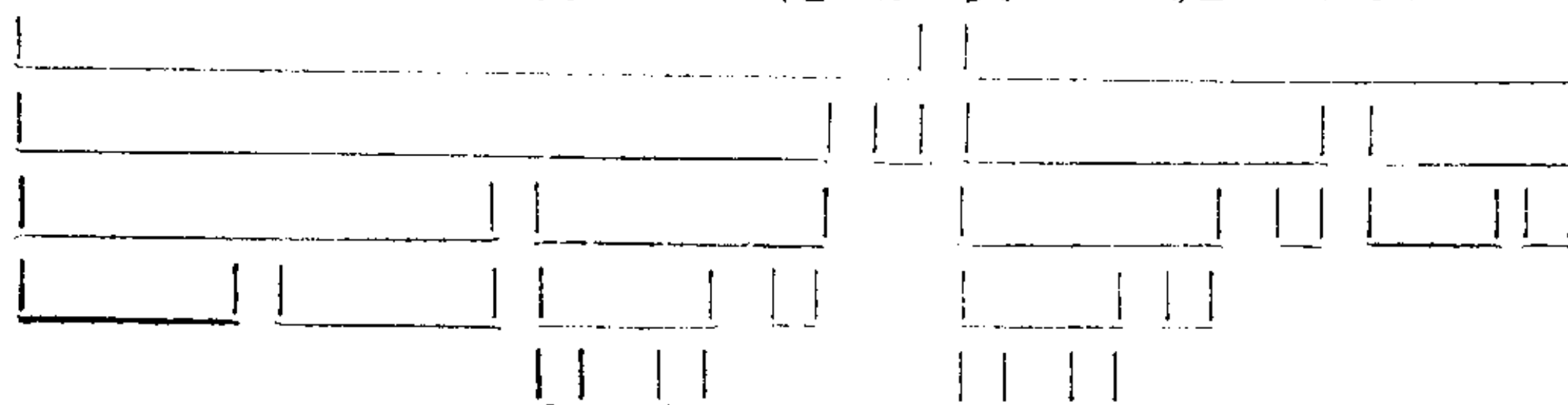
①どうぞ、お先に。／请先走（吃、进……）。②お先にいただきます。／我先吃了。

IC分析 アイシーブンセキ 直接成分分析法

系immediate constituent analysis的译语，日语通称“IC分析”，全称“直接構成（要）素分析”，汉语译名又称“层次分析法”、“二分法”等。

直接成分分析法是一种把句子或词分析为其组成部分的一种方法。完整地提出这一方法的是美国结构主义语言学家布龙菲尔德(L. Bloomfield)。当时是作为发现句子的句法结构的手段而运用的，目前已成为句法结构方面研究和教学的常用方法。

①とても美しい梅の花が僕の庭に咲いた。



具体方法就是把句子或词逐层二分，就句子来说，分到词为止，个别时候（如并列）允许多分。如例①，先分成“とても～が”和“僕～た”两部分，这两部分就是句子的直接成分（直接構成要素）。这两个直接成分还能进一步分为各自的成分。如，后一个直接成分又分为“僕の庭に”和“咲いた”两个成分。这样一直分下去，如果不能再继续分下去，这时的成分就是最终成分（最終構成素）。如例①包含“とても、美しい、梅、の”等十二个最终成分。

就词来说，原理相同。假如把“梅の花”整个算一个词，从上例可以看到，它可以分为三个成分，分布在两个层次上。

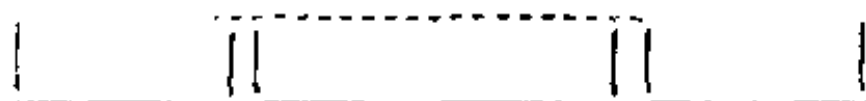
直接成分分析法没有象句节主义主张的强制性的切分方法。上例中，可以认为“た”关联全句，就是说，“た”不仅使“咲く”也使整个句子变成了过去时，因此也可以在“咲い”和“た”之间作第一次切分。但是，这并不是说没有检查切分正确与否的手段。相反，威尔斯（R. Wells）成功地提出了两条操作原则：1. 在可以看作其他词素（可理解为根词）的扩大的地方切分；2. 在能够代入尽可能多的其他词素、词、分句的地方切分。我们试用前者来验证一下切分的正误。在例①中，第一个直接成分可看成词素（在日语中需要变通一下，允许加上一个虚词，或者把虚词看成是词的一部分）“梅の花が”的扩大，第二个可看成“咲いた”的扩大。而“梅の花が咲いた”只有一种切分法，并且和例①的切分法相当，所以例①的切分是对的。但如果例①的第一次切分是在“とても美しい”之后，那么，另一部分“梅の～咲いた”则不能看成任何一个词素的扩大。就是说，“とても美しい”后面加上任何一个词也不能成句，这就证明了这样切分是错误的。

有时，一个成分并不相邻。这样的成分叫做不连续成分（不連続構成



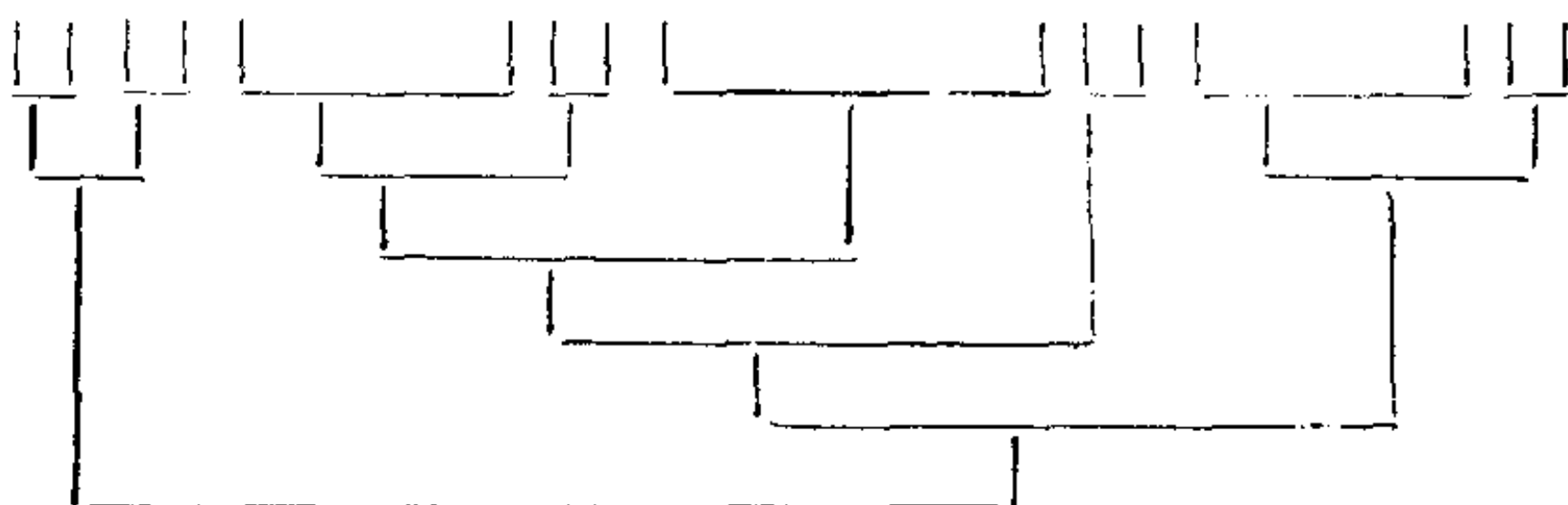
素)。日语中主要是副词和其呼应的部分有时构成不连续成分。如：下句可译为：“在阴凉地方再谈谈吧”，或“在更阴凉的地方谈谈吧。”前者为：

② もっと涼しい所で話そう。



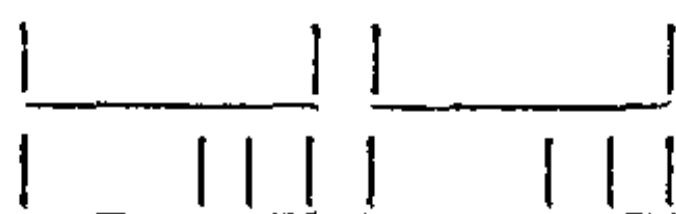
线条的画法有多种，例③的画法和桥本语法的画法相同。

③ 妹は友だちのお兄さんと結婚した。



直接成分分析法无法解决的一个问题是同形异义的句子，亦即歧义句（暧昧文）的一种。如，按直接成分分析法，“太郎も褒めた”只有一种切分方法：

④ 太郎も褒めた。



显然，这一种切分方法无法区别该句的两个意义：（某人）把太郎也表扬了、太郎也表扬（某人）了。

转换生成语法之所以兴起，原因之一便是解决上述歧义问题。这可以通过设立不同的深层结构来解决。

あいだ（間）

く文言接续助词く只用于“候文”。现在可用于文言体书信等。

【接续】一般只接文言（补助）动词そうろう（候）后，也可后续に。

【意义】表示理由，相当于口语的ゆえに、から等。

① 無事暮し居候間、御安心下され度候。<sup>たく</sup>／起居无恙，敬请宽心。② 病氣のため欠席致し候間、お届け申し上げ候。／因病缺席，特此稟报。③ 坂の頂まで来し時、すぐ頭の上にて唄う声致し候間、<sup>ばか</sup>仰げば村の子供三人計り、僕には分らぬ<sup>はやりうた</sup>流行歌を唄い居候。／登至坡顶之时，忽闻头上响起歌声，（故）举目望之，原是村童二三人正唱着我不熟悉的流

行歌。

〈名词〉 1. 表示方位。口语。

①両親が喧嘩しているあいだにはさまって子供が泣いている。／父母打架，孩子夹在其中在哭。②両国のあいだで戦争が勃発したことがある。／两国之间曾爆发过战争。③夫婦の間がうまく行かない。／夫妻关系不融洽。

2. 表示时间。口语。～に形式表示时间，裸格表示时段。

①参観者は7時と8時の間に到着する。／参观者将在7点和8点之间到达。②7時から8時までの間，食事をしていた。／在7点到8点这段时间里吃饭来着。

あえて（敢えて） 〈陈述副词〉

1. 与肯定形式或内容相呼应，表示“硬着头皮”、“斗胆”之类的意思。

①日本は西欧の衝撃にこたえるためにあえて冒険をした。／日本为应付来自西欧的冲击便铤而走险。②あなたには言いにくいことだが，この機会にあえて言ってしまうおう。／这却是对你难以启齿的事，借此机会，向你直说了吧。

2. 和否定呼应，表示不勉强、不强人所难。

①そんなら，私もあえて聞き糾さないことにしよう。／既然如此，我也不想再追问了。②あなたがいやなら，あえてそうするには及ばない。／如果你不愿意，就不必勉强。

3. 和否定形式呼应，表示未达到某个程度，不足为怪。近于“別に、そんなに”。

①そうかといってあえて非難すべき所はない。／虽然如此，无可厚非。②あえて驚くに足りない。／不足为怪。

アクセント (accent) 重音

【解释】由于社会语言习惯，固定于每个词上的音拍的高低排列形式称作重音。日语重音属高低重音，与印欧语系的强弱重音相对。汉语的声调也属于高低重音，但固定于音节内部，故称“音节高低重音”（音节高低アクセント）。日语的高低重音，表现在一个单词音节之间的高低关系



上，所以称作单词重音（単語アクセント）。两者必须严加区别。

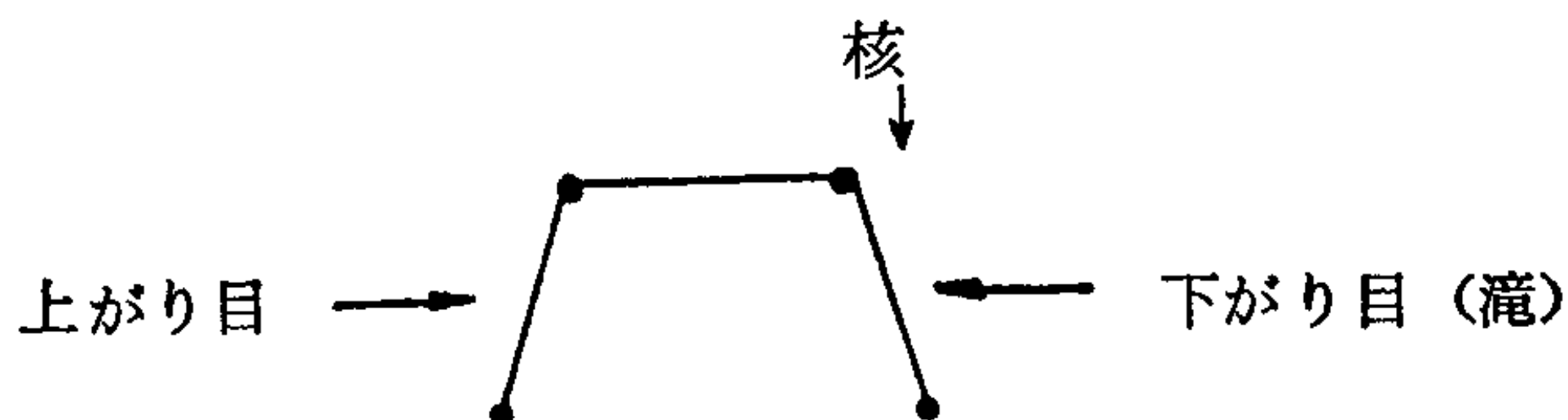
无论是强弱重音，还是高低重音都有区别词义和总括若干音节使其成为一个词形（音形）的作用，即括词作用。但不同语言中重音的作用有所侧重。如：强弱重音在英语、俄语中以区别词义的作用为主，而在同属强弱重音的匈牙利语、意大利语、法语中则以括词作用为主。因此，前种重音无固定位置，而后一种有固定位置。如：匈牙利语的重音固定于第一音节，意大利语中固定于第二音节，法语中固定于最后音节上。日语重音虽然也有区别词义的作用，如：はな（花）、はな（端）、はな（鼻），但是一种局部现象。日语重音的基本作用是括词作用。这种总括作用不局限于词，而是向句节、连句节方向发展。下例中，由于重音的总括作用不同，词义和句义都有不同。

ニワニワニワトリガイル。（庭には二羽鳥がいる。）

ニワニワニワトリガイル。（庭には鶏がいる。）

ニワニワニワトリガイル。（二羽庭には鳥がいる。）

【重音结构和种类】日语重音属于高低重音，音拍有高低之分。从低音拍向高音拍升高的音渡部分（假名和假名之间），叫做“上がり目”（暂译“升渡”），高音拍向低音拍降低的音渡部分，叫作“下がり目”（暂译“降渡”）。金田一春彦称之为“滝（たき）”，服部四郎把“滝”前的音拍称作“核”。如图：



重音核位于第几音拍上，对于重音的分类起决定性作用。只有升渡，而无降渡的重音类型称作平板式，有降渡的叫起伏式。平板式只有一种型，称平板型。起伏式根据重音核的所在位置，划分为尾高型（おだかがた）、中高型（なかだかがた）、頭高型（あたまだかがた）3种。见下表：


拍数 类型	一音拍词	二音拍词	三音拍词	四音拍词	五音拍词
平板式	ヒ(ガ) 日(が)	ミズ(ガ) 水(が)	ワタシ(ガ) 私(が)	トモダチ(ガ) 友達(が)	アカンボ(ガ) 赤ん坊(が)
尾高型		ハナ(ガ) 花(が)	オトコ(ガ) 男(が)	イモ(ガ) 妹(が)	オシヨ(ガ) お正月(が)
中高型			オカシ(ガ) お菓子(が)	アマガサ(ガ) 雨笠(が)	ニワカアメ(ガ) にわか雨(が)
中高型				ドヨ(ガ) 土曜日(が)	バンゴハン(ガ) 晩ご飯(が)
中高型					オジョーサン(ガ) お嬢さん(が)
头高型	ヒ(ガ) 火(が)	アメ(ガ) 雨(が)	ミドリ(ガ) 緑(が)	ネーサン(ガ) 姉さん(が)	オツキサマ(ガ) お月様(が)

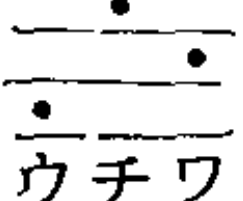
起

伏

式



从重音的结构和种类中,可以看出: 1. 第一音拍和第二音拍始终处于不同的高度。平板型、屋高型、中高型的第一音拍低,第二拍起变高。头高型第一拍高,第二拍起降低; 2. 高音拍单独出现,或连续出现,在一词、一句节中不能隔着低音拍出现两处高音拍。日语中没有  类重音,因为这种形式破坏重音的括词作用; 3. 重音类型数 = 音拍数 + 1。

【重音标记法】音拍的高低安排有上中下三个高度。如: ウチワ三个音拍的高度安排如下图:  标记时一般用二段标记法,只表高音拍。

无标记音便是低音拍。如: ウチワ、ウチワ、ウチワ②、ウチワ㊦等,在不同的辞典中使用不同的标记符号,而且标记所在音拍也不同。有的标记在重音核上(称“核标记法”),有的标记在低音音拍群上(称“二段标记法”)。

核标记法有以下几种: a.《明解国語辞典》(三省堂)的数码式。如: ワタシ①、オトコ③、オカシ②、ミドリ①; b.《日本国語大辞典》(小学館)的方框式。如: ワタシ㊦ オトコ㊦ オカシ㊦ ミドリ㊦; c.还有黑体字式: ワタシ、オトコ、オカシ、ミドリ; 半引号式: ワタシ、オトコ、オカシ、ミドリ等形式。

二段标记法有: a.《明解日本語アクセント辞典》的划线式: ワタシ、オトコ、オカシ、ミドリ; b.《和英辞典》的引号式。如: watashi、otoko、okashi、midori; c.《角川国語辞典》的黑体字式。如: ワタシ、オトコ、オカシ、ミドリ。

数码式最简便,适合于释义词典中采用。数字表示重音核所在音拍顺序,把重音种类表改为9页表,就容易掌握重音读法。

あげく (挙げ句、揚げ句) 〈形式名词〉

来自名词“揚句”,原表示连歌的最后一句。变体形式还有“あげくに”、“あげくのはてに”。佐久间鼎认为“あげく”是有关时间的吸着语。

【接续】接助动词“た”的连体形后或动作性名词加“の”后。

- ①事故を起したあげく,首になった。/造成事故,结果遭到解雇。  
②長い間苦勞のあげく,とうとう病床に倒れてしまった。/由于长时间劳累,最终病倒了。

拍数 类型	一 拍	二 拍	三 拍	四 拍	五 拍
①	ヒ (ガ) 火 (が)	アメ (ガ) 雨 (が)	ミ ド リ (ガ) 緑 (が)	ネ ー サ ン (ガ) 姉さん (が)	オ ツ キ サ マ (ガ) お月様 (が)
②		ハナ (ガ) 花 (が)	オ カ シ (ガ) お菓子 (が)	ド ヨ ー ビ (ガ) 土曜日 (が)	オ シ ョ ー ガ ツ (ガ) お正月 (が)
③			オ ト コ (ガ) 男 (が)	ア マ ガ サ (ガ) 雨傘 (が)	バ ン ゴ ハ ン (ガ) 晩ご飯 (が)
④				イ モ ー ト (ガ) 妹 (が)	ニ ワ カ ア メ (ガ) にわか雨 (が)
⑤					オ シ ョ ー ガ ツ (ガ) お正月 (が)
⑥	ヒ (ガ) 日 (が)	ミ ズ (ガ) 水 (が)	ワ タ シ (ガ) 私 (が)	ト モ ダ チ (ガ) 友達 (が)	ア カ ン ボ ー (ガ) 赤ん坊 (が)

## 【用法】1. 接续助词用法。

1) 表示造成最终结果、结论、结局（多数为消极的）的最直接的条件、原因。

①さんざんばくちをやったあげくのはてに身の上をつぶした。／大搞赌博，到头来倾家荡产了。②いろんなデータを調べたあげく、この種の蜂の飛行は力学的に不可能なんだそうです。／据说经过测算各种数据，结果是这种蜂从力学上看不可能飞行。③計画を立てたが、悪戦苦闘のあげく、放り出したくなった。／虽然订了计划，经过许多艰难困苦之后，最终准备放弃。

2) 表示为后项动作（多带有某种决定性）而作的准备动作、前提动作、行为。

①あれこれ考えぬいたあげく、赤児を百合子と命名した。／经过再三斟酌，给婴儿取名“百合子”。②二、三回右へ左へ避けたあげくに、どうにか相手の体の横を擦りぬけた。／左躲右闪，最后从对方身边擦了过去。③いたずらっ子は仔猫を川で溺れさせたあげく、先生の机の中に投げこんだ。／淘气鬼先把猫崽儿淹没在河里，随后扔进老师的抽屉里。

2. 用“あげくのはてに”、“あげくのはては”作副词，表示事态发展的最终阶段。

①妹の食べるものを逆にこっちが食ってしまって、あげくのはてに妹は飢え死にした。／妹妹的食物反被我吃掉，结果妹妹饿死了。②一人で踊り、あげくのはてはわいせつな歌まで歌って、満座の淑女をして手で耳をおおわしめる。／一个人跳舞，最后甚至唱起下流歌曲，令满座淑女掩耳。

あずかる（与る、預かる）〈动词〉

1. 敬语补助动词用法。写作“与る”。接表示对方行为的动词连用形或动作性名词后，构成“受ける”的最高级自谦语形式“お（ご）～にあずかる”。前接词一定是褒义的。

①お招きにあずかり、ありがとうございます。／承蒙邀请，十分感谢。②おほめにあずかり、この上もない光荣と存じます。／受到您的



夸奖，我感到无上的光荣。

2. 授受动词用法。(受托) 为别人保管、承担。写作“預かる”。

①弟は兄からお金をあずかる。／弟弟为哥哥保管钱。②おばあさんは三人の孫を預かり，どこへも身動きができない。／奶奶照看三个孙子，哪儿也动不了。

△あずける也是他动词。试把2例①和下例③比较。

③兄は弟にお金を預ける，／哥哥把钱托付给弟弟（保管）。

アスペクト (aspect) 体

【解释】アスペクト有两个意义，二者之间有密切联系。

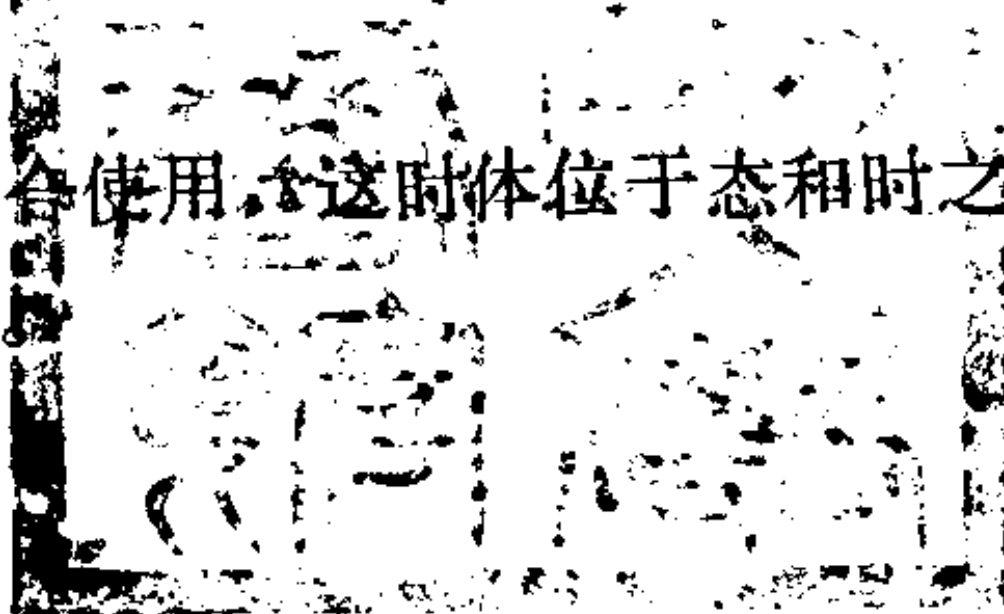
1. 指动词体（動詞のアスペクト）。动词所反映的动作、行为、状态等是在一定的时间过程或时点上实现的。这可以从动作的过程中或结束后的状态去加以认识，也可以离开任何过程笼统、概括地认识它。动词所反映的这种时间上不同的着眼点，就是动词的体。日语动词的体是动词本身的语义成分。如，“分かる”表示了解某事，处于“了解”这一状态中；而“知る”则表示由不知到知这一瞬间的行为，这一行为完成之后，才出现“了解”的结果状态。这样，这两个词就产生了用法上的差异。下两例均表示状态，试比较：①我明白。／私は分かります。②我知道。／私は知っています。详见“ている”项金田一春彦的分类。

2. 普通语言学语法范畴之一。指动作体（動作態）。动作体也称为体。动词是否和补助（性）动词结合，和哪个补助动词或接尾辞（みる、いる、終る之类）结合，所反应的运动过程或状态都是不同的。如“書いている”和“書き終わる”，前者表示动作进行，后者表示动作结束。这里每一种不同的动作过程、状态，以及和与此相对应的形式都叫做体，如“～終わる”是终结体的一种。动作体又和动词体有密切联系，前者受后者的约束。如：“書いている／正在写”表示进行，而“死んでいる／已经死了”表示行为完成后的状态，这正是动词体不同造成的。详见“動作態”项。

体和态、时等语法范畴常重合使用，这时体位于态和时之间。如，

子供に絵本を読ませていた。

态 体 时



体和时反应的时间观念不同。前者是时间性质，后者是相对于说话（写作）当时的具体时间。如“書いている”和“書いていた”的体是相同的，都表示进行；而时不同，前者是说话当时在写（现在时，体和时寓于同一个形式ている中），后者是说话之前的一段时间里正在写（过去时，体和时分离）。

时受句末表达形式的限制，表达命令、感觉、愿望的句末形式中不出现时的语言形式。而体则不受此限，可出现于任何句末形式：

{ 読んで下さい	{ 読みたい
{ 読んでいて下さい	{ 読んでいたい

表示过去时的助动词同时表示确认，表示现在或将来的终止形同时表示意志，这类现象说明时与句子的陈述作用即人的主观态度关系更为密切。而体的表达形式总是首先和态的表达形式结合起来，这说明体是客观运动状态的反应。这也是体位于态和时之间的原因。

【构成】动作体有以下几种构成形式。1. シテ + 补助动词。如：している、してある、しておく、してしまう。铃木重幸将整体看作一个动词，称体动词。

2. 连用形 + 补助（性）动词。如：しはじめる、しおわる、しつづける。这种词组为表示体的复合词。高桥太郎将1和2两类都称为体动词。

3. 其他。如：しつつある、しようとする、するところだ、したばかりだ。

【种类】金田一春彦把体分类为“動作相のアスペクト”和“状態相のアスペクト”两种。前一种细分为：終結態（～てしまう、～おわる）、既現態（～てしまう）、始動態（～はじめる、～だす、～かける）、将現態（～かける、～かかる）、単純動作態、継続態（～つづける、～ていく、～てくる）；后一种细分为：既然態（～ている、～たところだ）、進行態（～ている、～つつある、～ているところだ）、単純状態態（～〔終止形〕、～ている）、状然態（～うとする、～ところだ、～するばかりだ）。

高桥太郎等人就「シテ + 补助动词」形分类如下：継続態（してい

る)、終結態(してしまう)、結果態(してある)、安置態(しておく)、遠向態(していく)、近向態(してくる)、実験態(してみる)等。详见各项。

### あそばす(遊ばす) 〈动词〉

1. 补助动词。有时说成あすばす。只用于“お+动词连用形+遊ばす”或“ご+サ变词干+遊ばす”形式,为文言的最高级敬语,战后除偶见于女性会话外已不用。常用其命令形。有时和敬语形式〜れる重叠使用(例②)。属尊敬语。

①お遊びにおいで遊ばせ。／您来玩儿吧。②皆さん, 畏くも天皇陛下には, このたび, 戊申詔書をお下し遊ばされました。／诸位, 诚惶诚恐, 天皇陛下此次颁发了戊申诏书。③夫人。旦那様がお帰り遊ばしました。／夫人, 老爷回来了。

有的文章中不用动词前的お或ご。

①まもなく他界遊ばしました。／不久便仙逝了。

2. 实义动词。

1) する的最高级尊敬语, 高于なさる, 基本不用。

①まあお召物を台なしに遊ばして何となすっていらっしゃるんですね。／瞧, 您又把衣服弄脏了。您这是怎么了?

2) 闲置、使……玩耍。

①子供を遊ばす。／让孩子玩。②資金を遊ばす。／让资金闲置。

### あたかも(恰も) 〈陈述副词〉

表示比喻, 和“ようだ、みたいだ、ごときだ”等样态助动词呼应。属文章体, 可用“ちょうど、さながら”代替。

①急に明るくなって, あたかも昼のようだ。／突然亮起来, 恰如白昼一样。②その話は, あたかも私のためにしてくれたようです。／那话真象是为我说的。③皆はあたかも吸い寄せられてもするように校長の方へ近寄って行った。／大家简直象受了吸引一样都朝校长靠拢去。④その鯉はあたかも王者のごとく泳ぎまわっている。／那条鲤鱼盛气凌人地游来游去。⑤あたかも西洋人みたいに足が長い。／跟欧洲人似的, 腿长。



△程度副词用法。“恰逢”、“正值”。

①時あたかも昭和元年／时值昭和元年。

あたり（辺り）

〈接尾辞〉由实义名词“辺り（附近）”转用为表示大致的时空、人事。

①来週あたりから選挙が行われる。／大致从下周开始进行选举。

②このような品なら新宿あたりでも手に入られる。／这种东西，在新宿一带也可以买到。③組の代表は，山田君あたりが適切だ。／作班代表，比如说山田君就很合适。

〈形式体言〉表示借以进行评述的一点、一部分。

①いろいろな客のようすを手ぎわよく書いているあたり，ちょっとしたユーモアも感じられて興味深い。／巧妙描写不同顾客的情态的部分，略带幽默，引人入胜。②彼女のほうでは，クラス内の取締りを要求しているあたり，将来，亭主を操縦する偉大なる主婦の片りんを彷彿させます。／而她呢，要求控制班级这一点，略显将来操纵丈夫的伟大主妇之端倪。

あたり（当り） 〈接尾辞〉

1. 表示中毒。接名词后。

①食あたり／食物中毒。②暑気あたり／中暑。③気あたり／担心、预感。④毒あたり／中毒。⑤水あたり／因喝生水而坏肚子。⑥湯あたり／在热水、温泉中长期浸泡引起的不适。

2. 表示接触、打中等。

①行きあたり／走到头。②風あたり／风势。招风。③ばかあたり／极顺利。

3. 接数量词语后表示平均分配的基数。

①大気の重さによって，地表では，1cm<sup>2</sup>あたりおよそ1kgの圧力を受けている。／由于大气的重量，在地表，每平方厘米大约承受着一公斤的压力。②一所帯あたり五百円ずつ寄付する。／每户捐款五百日元。③年に十本以上の作品を制作するのだから，月あたりにすると平均一本だ。／每年制作十部以上的（电影）作品，如按月算，月平均一部。④日本語では百字あたり23字の漢字が使われているという。／据

说日语每百字中就使用23个汉字。⑤キロあたりの値段はいくらですか。／每公斤的价钱是多少？

△如分配对象是人，分配量后可加接尾辞“あて”。

①家族一人あたり二個あての計算で買う。／按家人每人两个计算来买。

あて（宛て） 〈接尾辞〉

1. 接于人名、团体名后，表示收信、收件人及其单位。

①お父さんあての手紙が来た。／来了一封给父亲的信。②品物は弊社あてに送って下さい。／东西请送到弊社。

2. 接于数词后，表示对于某一基数的分配量。可与あたり、に（つき）等搭配使用。

①費用は一人につき千円あてです。／费用是每人一千日元。②一人あて千円の寄付／每人一千日元的捐款。

あと（後） 〈形式名词〉

【接续】 1. 接时段时间名词后。

①三日あとに帰省する。／三天后回家探亲。

2. 接其他与时间有关的名词加“の”后。

①勉強のあとでテレビを見る。／学习后看电视。

3. 动词只接于过去、完了形式后。

①宿題をしたあとうんと遊ぼう。／做完作业后，咱们尽情地玩儿吧。

【用法】あと表示前项动作完了以后的时间，可单独用，也可构成あとに、あとで、あとから等词组。分述如下：

1. あとに。

1) 一个事项完了后的空间由另一个事项继而补充。所以“※友達と食事をしたあとに一緒に映画を見に行った。”没有这种语感，故不能成立。

①Aさんが退会したあとに，Bさんが入会した。／A先生退会之后，B先生入会了。②雨があがったあとに虹がかかった。／雨停之后出了彩虹。③お父さんが死んだあとに花子が生まれた。／就在父亲去世之后，花子便降生了。

## 2) 表示事项完了后的那个空间位置。

①皆が帰ったあとに、財布が落ちている。／大家回去之后，地上掉着一个钱包。

2. あとで。表示一个事项完结之后的时间的范围。后项动作、行为发生于这段时间的某一点或某一段上。

①また、あとで（会いましょう）。／回头见。②ごはんを食べたあとで勉強します。／吃饭之后学习。③お父さんが死んだあとで花子が生まれた。／花子降生于父亲去世之后。④その仕事をやめたあとで、三年間新聞記者をしていた。／辞去那个工作之后，曾当了三年记者。

△1（あとに中1）中的例③和2あとで中例③的区别：あとに表示两个动作相继发生的时点，あとで表示两个动作相隔一定时间发生。当后项为表示状态性、继续性内容时和前项为在确定时间发生的动作时，句子不成立。如：

※戦争が終わったあとで30年立った。(继续性)

※6時に食事をしたあとでずっと勉強しています。(确定时间、状态性)

## 3. あとから。一个事项完了之后，紧接着另一个事项相继而起。

①やってしまったあとから後悔してもはじまらない。／干完之后后悔也没用了。②雷がなったあとから雨が降り出した。／雷声过后就下起雨来了。③田中さんが来たあとから鈴木さんが来た。／田中先生来了之后紧跟着来了铃木先生。④お父さんが死んだあとから、お母さんはずっと一人で花子を育ててきました。／父亲去世后一直由母亲一个人抚养花子。

△如果不是相继而起的动作不能用あとから。如，※あのことがあったあとから（→あってから），ずっと体の調子が悪い。※ごはんを食べたあとから（→食べてから）勉強します。

4. あと。以上1～3的用法都可以用“あと”代替。“あと”是较为中性的用法，只是模糊地指出某动作之后的时间。以上错例也都可用あと加以订正。

①食事をしたあとテレビを見た。／吃完饭后看了电视。②Aさん



が退会したあと B さんが退会(入会)した。／ A 先生退会之后 B 先生退会(入会)了。③戦争が終わったあと 30 年たった。／ 战争结束已经 30 年了。④6 時に食事をしたあと、ずっと勉強しています。／ 六点钟吃过了饭就一直学习。

あながち(強ち) 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，表示不能一概而论、不能一概否定。

①あながちそうとも限りません。／ 未必如此。②あながち向こうだけが悪いとも言いきれない。／ 未必只是对方的错儿。

【参考】あながち和かならずしも很相似，但前者表示主观或感情上不能，不敢断定，后者偏向客观描述。

あに(豈) 〈副词〉

文言副词。表示反语，与～んや形式呼应。

①あに現代の青年のみならんや。／ 岂止是现代的青年(如此)呢！

②あに一人の女子の為に終身の業を誤らんやだ。／ 岂可为一女子而误终身大事耶？

构成“<sup>あにはか</sup>豈図らんや”，表示意外。

①まじめな人だと思っていたが、あにはからんや彼が張本人だった。／ 原以为是老实人，岂料他竟是祸首。

あまり(余り)

〈体言〉除“ご飯のあまり”(剩饭)等一般用法外，还有以下虚化用法和形式体言用法。

1. 表示造成后项结果的某种超度的心理活动、心理状态。前后项是同时性的。构成“あまりの～(心理名词)に”形式。

①あまりの不思議さに、私は身のまわりを見まわした。／ 由于太不可思议了，我环视了一下四周。②あまりのうれしさに夜もねむれなかった。／ 由于太高兴，夜里都没睡着。③張騫は余りの驚きにすぐには口から言葉を出すことも出来なかった。／ 张骞大吃一惊，一时语塞了。

△“あまりのことに”意为“由于太过分了”。

2. 构成“～(心理名词)のあまり(に)”的形式。前项是原因，

后项为前项所致。

①うれしさのあまり，すっかり酔ってしまった。／因为过于高兴，喝得酩酊大醉。②嫉妬のあまり，死んでから大蛇となった。／因妒心太重，死后化作大蛇。③失望と敗北感のあまり死を選ぶ。／因过度的失望和失败感而走绝路。

3. 接于有关心理活动的用言后。也可后续“に”。用法与以上相同。

①バカにされるのが恐ろしいあまり，口に出せないことでも，母親なら言えるのだ。／即使是怕被人耻笑而说不出口的事，跟母亲则可以说。②急ぐあまり大事なところを見落としてしまった。／由于急于求成把重要的地方忽略了。③几董は其角<sup>きかく</sup>を崇拜したあまり，晉明と号した俳人である。／几董是一位俳句诗人，因极度崇拜其角之故而号“晉明”。④僕が恐懼措く能わざる余り，「失敬しました」と言ったと思ったら，それは君の誤解である。／如果你认为我是因为不胜惶恐，便说了“失敬”，那便是你的误解。⑤正太郎は家業の農業を嫌うあまりに，酒に溺れ女色にふけてしまった。／正太郎由于非常嫌弃作为家业的农业，而沉湎于酒色之中。

〈接尾辞〉接数量、时间名词后，表示概数“多、余”。

①三百余りの人／三百余人。②二週間あまり滞在した。／逗留了两周多。③一里あまり手前の君津町に停車場が出来た。／在（距这里）一（日）里多路的君津街上新建了车站。

△区别：30万円余りを出した。／拿出30余万日元。30万円の余りを出した。／拿出30万日元的余额。

〈副词〉口语中常说成あんまり。

1. 以肯定形式表示程度过高、数量过多、时间过早等。常后续消极内容。

①おれたちは余り黙りすぎていた。／我们（刚才）过于沉默了。②あまりにも有名だ。／实在是太有名了，（所以没有说明的必要）。③あまり早すぎても困る。／过早了也不好。④あまり沢山食べると，お中をこわしますよ。／吃得太多，可要弄坏肚子的啊！⑤あまりおいしかっ

たので、食べすぎた。／实在可口，结果吃多了。⑥君もあんまりですね。／你也真是的。

2. 和否定呼应，表示程度、数量等尚有不足。

①あまり詳しくは知りません。／知道得不很详细。②あまり時間がないから急ぎましょう。／时间不太多了，抓紧点儿吧。

あやうく 〈副词〉

1. 等于かろうじて，表示险些造成某结果，终于挽救回来了。

①遅刻するところを友達の水にのせてもらってあやうく間に合った。／眼看要迟到时，朋友让我搭他的车才终于赶上了。

2. 和～ところだった、～そうだ、～ようとする等呼应，表示险些造成某种（危险）事态的状态。

①高温のため油が危うく燃えるところで自動警報器が鳴った。／由于高温眼看油要燃烧的时候自动报警器响了。②危うく命を落とすところだった。／差点儿送了命。③あやうく大樹が倒れそうになり，猿たちは一目散に逃げだした。／眼看大树要倒下来，猴子们一溜烟地跑散了。

ある 〈形式动词〉

与实义动词ある不同，无任何语义内容，与补助动词也不同，只解决词的活用形的不足或接续上的困难。分述如下：

1. 同文言カリ活用的分裂形式クアリ。补助形容词活用形的不足，见于文章。

①中国の女性よ美しくあれ（标题）／中国妇女，要打扮得漂亮！  
②羅刹女たちがこのように愛情深く優しくあることには，一つの理由があった。／罗刹女们这样一往情深、这样贤惠，其中有个原因。

2. 为后续某种助动词而用。

①そんな奥さんなら，女中にもさほど口うるさくもあるまい。／如果是那样的太太，不会对女佣人太絮叨。②古びた物を使うしかあるまい。／恐怕只好使用旧东西了吧。③男はあのようにありたいものだ。／但愿男人都能象他那样。④扉は鍵もかけずにあった。／门连锁也没锁。⑤面白くありません。／没有趣儿。

3. 为使连用形或名词便于后续提示助词或接续助词而用。



①見るとうまそうもあるし、又少しは気味がわるくもある。／一看，似乎很可口，同时也有点害怕。②どうなるか試したくもある。／究竟会怎么样，也想试一试。③煩わしくさえある。／甚至有些絮烦。④物凄いスピードで近代都市化されつつある。／正以惊人的速度成为现代城市。

#### 4. 和指示词结合为一起表示一种状态。

①そうあってはいけない，こうあるべきだ。／不该是那样，应该是这样。②どうあろうと，夕子を救わなければならない。／不管怎么样，必须救夕子。③法則の第一条にはこうあるそうだ。／据说法则第一条是这样写的。

#### あるいは（或いは）

〈接续词〉1. 以“体言（か）あるいは体言”等形式连接词和词、句节和句节，表示前后项间随意的选择关系。语义重点在前项。可用もしくは、または代替。

①履歴書はペン或いは筆で書きなさい。／履历表请用钢笔或毛笔填写。②バスかあるいはタクシーで行くと間にあうかもしれない。／如果乘公共汽车或出租汽车去也许来得及。③あの人は食事をしながら，或いは電車に乗りながらもよく本に夢中になってしまう。／他吃饭或是乘电车时也常埋头到书本中去。

2. 以“体言もあるいは体言も”或“用言连用形でもあるいは用言连用形も”形式表示两种场合都不例外。不能用もしくは、または代替。

①英語もあるいは日本語もどちらも上手だ。／无论英语还是日语都精通。②警察に聞いてもあるいは通行人に聞いても知らないという。／不管是问警察还是问过路人都不知道。

3. 以“疑问句あるいは疑問句”表示选择。口语中可省略或用でなければ等代替。

①3時に帰るのですか，或いは4時に帰るのですか，何時なのですか。／是3点回去还是4点回去？到底是几点？②これがあたしの分かしら，あるいは誰かほかのかたのかしら。／这是我的份儿吗？还是别

人谁的呢？

4. 表示不时地交替出现的动作或状态。至少用两次，用于交替、变化的成分之前。

①その姿は、或いは濃く、或いはうすく、ただ一人で遠ざかった。  
／那身影时而清晰，时而模糊，一个人孤独地远去了。②多くの螢は、或いは一直線に火箭のように飛び、或いは椰子の葉の間を縫って飛ぶ。  
／许多萤火虫，有的象火箭一样径直飞翔，有的在椰子树的叶片间穿梭。

〈陈述副词〉表示推测，和かもしれない等推量、不定形式呼应。

①或いはそうかもしれません。／或许是那样。②或いは間に合うだろうと思って、3時になって始めて家を出た。／以为也许能来得及，3点才离开家。③あるいはご存じではないかと思ひまして、お聞きいたしますが。／我想您说不定知道，所以向您探听一下。

△也可无呼应关系而单独使用。如：あるいはと思つてしたことが見事に成功した。／本来想试试看而作的事竟大获成功。

**安置態** アンチタイ 备放体

动作体的一种，指～ておく形式的一种用法。见该项。

## い イ

## い 〈终助词〉

【接续】接各种句子后。所接词大致有以下几种情况。

1. 接形容动词终止形、助动词た、だ后。加强语气时た和だ常发成长音。

①大変だ（あ）い。／不好啦！②何だ（あ）い。／怎么了？（什么事？）③読んでしまった（あ）い。／读完啦！

2. 接终助词か、わ、な（禁止）、ぞ后。

①誰かい。／谁呀？②帰ってきたかい。／回来啦？③これは案外面白いわい。／这怪有意思的哪！④でたらめを言うない。／别胡说！⑤人に知らせるなら、打ち殺すぞい。／告诉别人我就打死你。

3. 接敬语外的动词命令形后。其中カ变动词命令形こい最初是由こ和い合成的，所以不能再加い。

①早くしろい。／快干！②火をかけろい。／放火！③これ見ろい。／看看这个啊！

△以上各用法中，只有だい、かい、ない、～ろい、わい等常用的。

文言及方言的例子：

①返答せい。／回答！②よう見い。／好好看看。

【意义】加强句意，但语气较随便，不能用于对长辈上。

1. 接だ、か后，使疑问带有亲热的口气。男性较多用。

①おや，今朝はどうしたのだい。／哟！今天早上（你这是）怎么了？②どうだい，お父さんに力を借してくれないかね。／怎么样？帮助爸爸一下好吗？③これを使っても大丈夫かい。／用一下这个可以吗？

2. 表示轻蔑、嘲讽、轻视的语气。形式同1。

①君はいつから正義漢になったんだい。／你从什么时候讲起正义来了？②いったい，君は誰だい。／你到底是谁？③何だい，そんなこと



かい。／喔，就这么点儿事？

3. 表示申斥、责备等口气。接反诘的句子后。

①世の中に生命と取り換えられるものがあるのかい。／世上能有什么东西抵得上生命呢？②何をぼんやりしているんだい。早くしろよ。／你干吗傻愣着？快干啊。

4. 以だあい、たあい形式表示惊叹、诉说的口气。儿童多用。

①鳥がかごから逃げちゃったあい。／鸟从笼子里跑啦！②一人っぼちの勉強はいやだあい。／一个人学习，我不干！

5. 以だい、たい、もんかい等形式表示断言、自负等口气。

①うそだい。僕はそんなことはしないよ。／没的事儿，我不会那么做的。②君に負けるもんかい。僕はこれで若い時には時めいた選手だった。／我岂能输给你！我年轻时还是个名噪一时的运动员呢。

6. 接命令、禁止句后表示催促。

①気を付けろい。／注意点儿。②余計なこととは言わない。／少多嘴！

7. 以わい形式表示感叹。多用于男性老年人日常会话。

①もう，そこには，何もありませんわい。／那里已经什么都没有喽。②すっかり困ったわい。／这回可一筹莫展了。

8. 还构成やい，见另项。

【参考】词源不详。或称文言提示助词や经え转成，或称由终助词よ（来よ、せよ）经い（来い、せい）转成。江户时代常用。但与产生于近代的现在用法不同。

いい（良い）〈接尾辞〉

形容词型活用。接动词连用形后。いい只有终止、连体形，其所有各形都可用よい代替。接于意志动词后，表示进行某动作行为时的舒适感或事物本身的这种性质。

①この万年筆は非常に使いよいです。／这只钢笔非常好使。②書きいい万年筆／好使的钢笔。③住みよいアパート／舒适的公寓。④下駄よりスリッパが履きよい。／拖鞋比木屐穿着舒服。

いいえ 〈感叹词〉

1. 接续用法。用于句子之间，表示对上述内容作更正、转换角度。只用于敬体句。

①かき消えるようになった食料の乏しさにも愚痴を言いませんでした。いいえ，食料どころか，息子や夫を戦死させても歯をくいしばってその悲しみに耐えたのです。／粮食短缺，米袋见底，也毫无怨言。不，岂止是粮食，即使自己的儿子、丈夫战死，也咬紧牙关，强忍悲痛。

2. 纯粹的感叹用法。表示否定。例②是用于自问自答的例子。

①「昨日の映画は面白かったでしょうか」「いいえ，面白くないです」／“昨天看的电影很有趣吧？”“不，没趣。”②もし，私たちの故国に，他国の軍隊が乱入して，このような殺戮をくり返したとしたら，進出されたと言うのでしょうか。それとも侵略されたと言うのでしょうか。いいえ，もっと強烈な表現を取るのではないのでしょうか。／倘若外国军队闯入咱们的祖国如此反复屠杀，咱们会说被人攻入了呢？还是说被侵略了呢？不！难道不应采用更强烈的措辞吗？

⇒いえ、いな、いや

言い切り イイキリ 断止

终止、断止的意思。句节之间有关联和承接关系（係り受け），其中句末句节只有承接前部的作用，而无关联后部的作用，即意义不再继续，句子到此终结。句末句节之所以完成句子，是因为它具有终止性。其终止性表现为两个方面。其一是叙述性，即素材内容上的终止；其二是陈述性，即对于整个素材内容的态度。如，雨が降るだろう。此句中“降るだろう”是谓语，由素材内容“降る”和陈述态度“だろう”构成。句末句节都有叙述性和陈述性。而在独词句中，虽然有明确的陈述性，但有的叙述很笼统，有的则没有。如“火事”，属于前者。“はい”，属于后者。

いろうもおろか（言うも疎か） 〈词组〉

作副词。以～はいろうもおろか形式表示前项是明摆着的，没有说明的必要，甚至后项更极端的事也不例外。相同用法的副词还有いろうもさらなり、いわずもがな，此外いうまでもなく语气稍轻

一些。

①週日はいうまでもなく、日曜日にも家にいない。／平日就不用说了，连星期日也不在家。②食べることは言うもおろか，見たことありません。／还谈什么吃啊，连见都没见过。③人の心の頼みがたきは言うもさらなり，われとわが心さえ変わりやすきをも悟り得たり。／人心之叵测自不待言，今悟得吾人及吾心尚且易变矣。④学生はいわずもがな，先生までも分らない問題だ。／这是一道别说学生，就是老师也不懂的题。

⇒もちろん

いえ 〈感叹词〉

系いいえ的紧缩形式。

1. 接续用法。用于句中，表示对所述内容在中途自行更正。

①そんな時に，志賀直哉先生いえ神様が現われて下さったのです。／就在这时，志賀直哉先生，不，神仙出现了。

2. 单纯的感叹用法。表示否定等。

①いえ！／哎呀（表示吃惊）！②「三人ですね」「いえ，違います。／“是三个人吧？”“不，不是。”

⇒いいえ、いや、いな

いかに（如何に） 〈陈述副词〉

文章用语。

1. 和疑问形式呼应，表示对方式、方法或状态的疑问、不定。等于どう，どうして等。

①如何になすべきか。／该怎么办？②如何にして難所を乗り越えられようか。／怎样才能渡过难关呢？

2. 主要和～ても、～でも、～だって、～（よ）うと、～（よ）うとも等表示逆接的形式呼应，表示尽管前项程度极高，不能改变后项的结果。

①如何に怒ろうとしても怒れない人がいるという。／据说有的人无论多么想生气也生不了。②いかに好きでも非売品だから仕方がない。／尽管非常喜欢，因为是非卖品，没办法。



【参考】1. 连体词いかな、いかなる后续名词后再和ても、でも等呼应，可以表示与上述2相同的意义。

①いかな所に居ても平気そのものです。／无论在什么地方都满不在乎。②鄯善<sup>ぜんぜん</sup>はいかなることがあっても，漢の力を恃<sup>たの</sup>まなければならなかった。／无论发生什么事，鄯善都只好倚仗汉朝的力量。

2. 下例中的いかに<sup>は</sup>是名词和格助词的临时搭配（いかに+に）。

①成功するかしないかはただ決心のいかにかかっている。／成功与否，全凭决心如何。

いかにも 〈陈述副词〉

1. 表示无论从哪个角度来分析都很象如此。多和らしい、そうだ等样态形式呼应。

①いかにもうまそうに食べている。／吃得津津有味。②いかにも分り切ったような顔をしている。／装出一副十分明白的面孔。③それはいかにも彼の考えそうな思いつきやプランである。／那倒很象是他所能想出来的主意和计划。④いかにも思いきって聞いてみるといった口調でいう。／以一种横下心来问一下的口吻来说。⑤両ほおを氣持の悪いほど赤くほてらせた，いかにも田舎ものらしい娘でした。／是个两个脸蛋儿涨得通红以至使人生厌的、地地道道的乡下姑娘。

2. 对程度的强调。更近于程度副词。

①その時の彼はいかにも可哀相に思われた。／当时的他真让人觉得可怜。②いかにも上手に外国語を話す。／外语说得实在好。③いかにもあなたの言う通りです。／确实象你说的那样。④いかにもよく書けている作文です。／这篇作文写得实在太好了。

3. 构成いかにもして。等于なんとかして。表示想方设法实现。

①いかにもして今学期だけは病気にならないようにしたい。／这学期我一定想办法不生病。

意義範疇 イギハンチュウ 语义范畴

语言的范畴之一。与语法范畴并列。语法范畴是根据语法意义概括归纳的语言形式的总和，因此反应出语言本身的面貌。而语义范畴则是对语言形式从意义方面进行概括归纳所得出的语言范畴，反映的是客观世

界的实际内容。

语法范畴和语义范畴有密切的联系。比如：自然界中的数属于语义范畴，语法中也有数的范畴。自然界的物体可从语义方面分为有生命体和无生命体，相应地，在日语语法里无生命体很少作被动态的动作发出者（～に）和使役态的宾语（～を）。但另一方面，二者又是不同的概念，不能互相代替。比如：语法里的数只有单、复数，个别语言还有双数，而自然界中三、四等数也是客观存在的。即使语法的单、复数和客观事实也不是绝对一致的。总之，自然界的客观事实只有一个，因此有人认为各语言的语义范畴都是相同的，而语法范畴各有特色，如日语总的说来没有数的范畴。

传统语法注重语法形式的分解和组合，忽略了语义方面的追究，结果学习语法之后也造不出正确的句子。如，「北に行くほど寒くなる」和「北に住むほど寒くなる」句子结构相同，然而前者成立后者不成立，这是因为语义结构不同的原因。前例中的「行くほど」表示纬度的变化，因而能够与温度的变化搭配。而后一例，“住む”不具有“变化”的意义，因而既不能与“ほど”结合，也不能同“寒くなる”搭配，因此是错句。

转换生成语法在把语义引进语法方面取得了若干成果。其中，在词类（范畴）下面继续划分次类（次范畴）是其主要特征之一。当然，这方面的研究还不充分，还不成体系。

纯粹语义范畴的探讨，如果不和语法中某个语法形式相对应，那就是没有语言内部的根据的，只能有认识论上的价值。另外，在次范畴的划分上走得太远，比如把通常能作“歌う”的宾语的名词归为“可唱性名词”，那至少也是没有实用价值的。

いくら（幾等） 〈副词〉

1. 疑问副词。

1) 表示对数量、程度的疑问。

①果物の収獲はいくらになりましたか。／水果的收获量是多少？②所長さんはいくらの配慮を下さったのでしょうか。／所长先生给了我们几分关心？

## 2) 特指对时间、金钱、距离的疑问。

①砂糖は一キログラムいくらですか。／白糖一公斤多少钱?②成田からホンコンまでいくらかかりましたか。／从成田到香港用了多少钱?  
(参考: どれぐらにかかりましたか。／用了多少时间?)③成田からホンコンまでいくらありますか。／从成田到香港有多远?④あなたは一日にいくら勉強しますか。／你每天学习多长时间。

## 3) 后续か表示“一定程度”。后续でも、だって、も表示不限其数。

①病気がいくらかよくなったようだ。／好象病好一些了。②甘いものならいくら(で)も食べます。／甜东西多少都吃得下。③費用はいくらだって出せます。／费用多少都拿得出。

△以いくらなんでも的形式表示无论怎么强调某一点,后项的论述都能成立。実質上いくらなんでも是所有いくら〜でも(ても)的抽象形式。

①いくらなんでも,泥棒をするなんて。／再怎么样,也不该偷东西啊。②いくらなんでも手をつないでなんておかしいわ。小学生でもないのに。／不管怎么说,手拉手真可笑,又不是小学生。

## 2. 陈述副词。

1) 以“いくら+用言+逆态接续助词”形式表示无论事实上有多高的程度、多少数量和次数,其后项均不能成立,带有“无可奈何”的语气。后项一般是否定形式或含有否定意义的内容。

①いくら会場を静めようとしても,静まりません。／无论怎样想使会场静下来,就是静不下来。②いくら詳しく説明したところで分らないだろう。／就是解释得再细,也不会明白的。③いくら原因があるとて,法律は法律ですよ。／不管理理由多充分,法律终究是法律。④いくらきれいでも,性格が悪くてはだめだ。／就是长得再美,性格不好也不行。⑤いくら計算が速くたって答えが間違っては 何にもならない。／如果得数不对,计算再快也毫无用处。⑥いくら本当のようだって信じてやらないようにしなさい。／管他多么象是真的,你别信他的。

△有时也用名词构成该形式。

①いくら人間だって,そういつまでも栄えることもあるまい。(夏目)／即便是人也罢,总不能永远昌盛。②いくらおれでも閉口するはず



だ。／就是我，也会受不了的。

2) 以“いくらも～ない”形式表示数量甚少。

①儲けはいくらにもならない。／收入没有多少。②もう雷管と導火との距離がいくらもなくなっていた。／雷管和火苗的距离已经没剩多远。③お金はもういくらも残っていない。／钱所剩无几。

【参考】いくら和どんなに。陈述副词的用法1)和どんなに有区别。试比较：

①いくら叩いても壊れない。(次数、时间)②どんなに叩いても壊れない。／怎么敲打也坏不了。(方式)

いけない 〈词组〉

【活用】由动词いく的可能态动词未然形和ない构成。按形容词活用。敬体形式为いけないです或いけません(更常用)均可，敬体过去式为いけなかったです。

【用法】1. 形容词用法。表示不应该的、应避免的、不理想的性质、状态等。

①「学業がいけません」「それはいけないね。」／“学业不行。”“那可要不得啊。”②体がすっかりいけなくなった。／身体彻底垮下来了。③いけない口だから一杯でもせいぜいです。／我不能喝酒，顶多能喝一杯。

2. 补助用言用法。

1) 以～てはいけない形式接于动词连用形后，表示该动作在道理上应该禁止的。例①用于对话，有说服的口气。

①だだをこねてはいけない。／你别撒娇。你别磨人。②そう考えていけない根拠はどこにもないのです。／没有任何理由不让你那样想。③私は信じられないよりも信じてはいけないような気がした。／我当时与其说无法相信，倒更觉得不应该相信。

2) 以～ていけない形式接于状态性用言后，表示对程度之高的消极评价。常有“困惑、不堪忍受”的口气。

①暑くていけません。／热得受不了。②道は悪いし、雨は降るし、いやでいけなかった。／路也不好，还下着雨，真槽心。③どうもこの

頃は兵隊が臆病になっていけねえ。／这阵子的兵，真是胆小得要命。

3) 以～ないといけない、～なければいけない形式，表示必须作的行为。

①まず，自分の実力が分らないといけない。／首先，应该清楚自己的水平。②もう引き返さなければいけないだろう。／该返回去了吧。

### イコール

作接续词用，表示前后两项相等。同数学的等号。

①そこから，「近代的」イコール「軽薄」という印象が生まれた。／于是，产生出一种印象：“现代的”等于“轻浮的”。②原子力の登場イコール第二の産業時代の序幕である。／原子能的出现便是第二次产业革命时代的序幕。③いい成績をとることイコールその人が立派だというわけではない。／取得好成绩并不等于其人好。

### いざ

〈感叹词〉常后续“や”，用于劝诱对方共同行动，和表示意志的形式呼应。用于文言。

①いざや，いざや，見にゆかん。(歌词)／快啊，快去赏樱花！

〈陈述副词〉表示“一旦出现某种关键的情况”之意的假定或既定。常和“と”呼应。

①いざ試験場に入ろうとすると，日頃覚えたものも忘れてしまったような気がして来る。／一旦要进入考场，便觉得平常记住的东西也忘光了似的。②いざとなると才能の乏しさに<sup>おじ</sup>怯けるのであった。／一到叫真的时候就打怵能力不够。③いざ火事になった時，日頃の不注意を痛感します。／一旦酿成火灾的时候便痛感平常的疏忽。

### △固定用法。

①いざさらば／既然如此。再见。②いざ鎌倉（となれば）／一旦有事之时。

### いざしらず

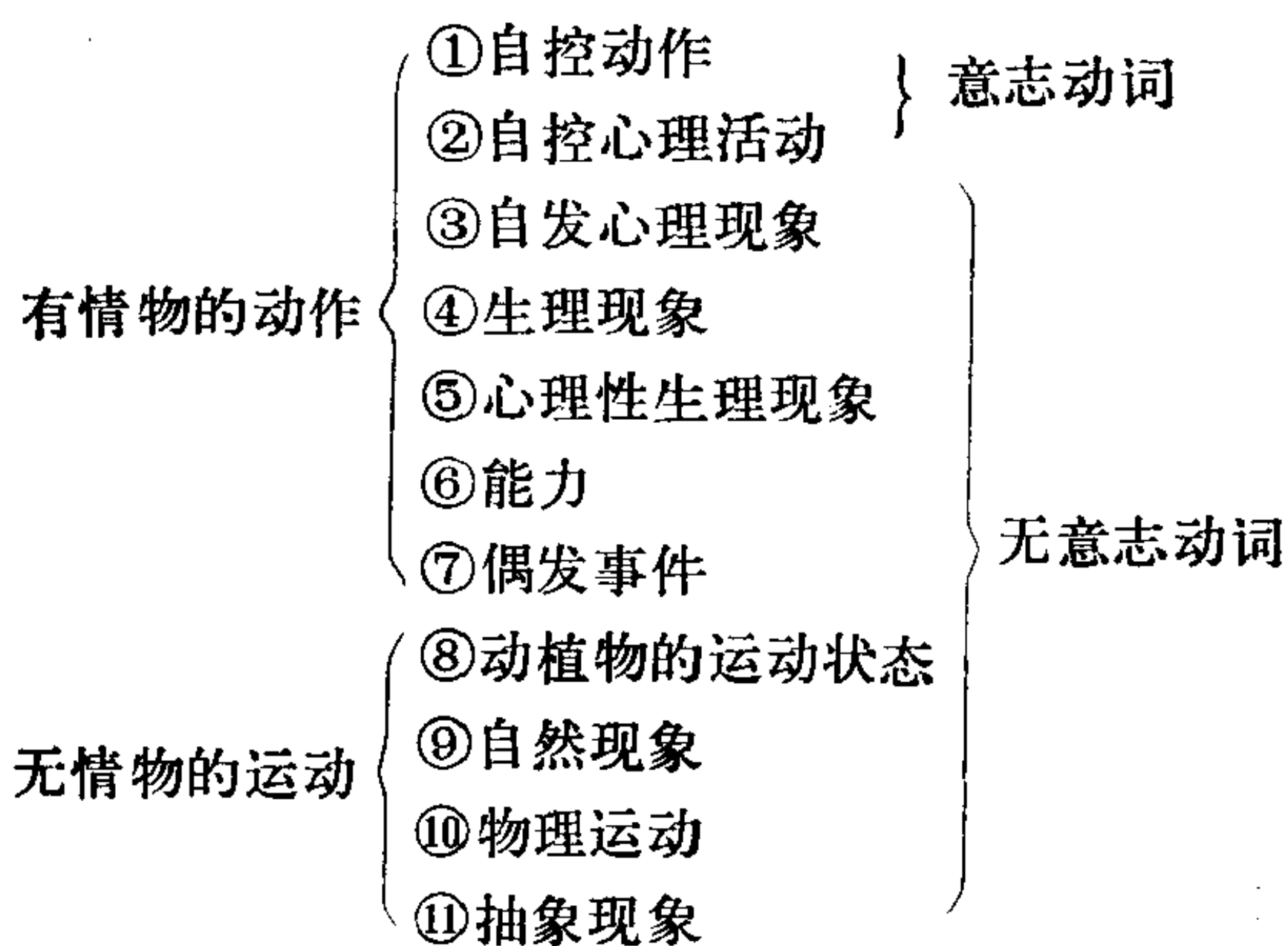
只用于“～は（或なら等）いざしらず～”形式，表示不去谈前项中的可能性，而着重谈后项中的实际问题。

①来年ならいざしらず，今年は受かる可能性がない。／明年或许

有可能，今年是没有考取的可能性的。②これは他県はいざ知らず，岩手県においては開闢以来のことでした。／这在别的县暂且不提，在岩手县是有史以来第一次。③長男ともあろう者が，十八や十九の子供ならいざ知らず，年寄りを二人置いて家出をするとは何事でしょう。／身为长子的人，若是十八九岁的孩子还情有可原，把两位老人撇在家里而离家出走，这成什么事体？

### 意志動詞 イシドウシ 意志动词

【性质】将动词按有意志、无意志进行分类始于金田一京助。意志动词反映按人或“有情物”的意志去完成的动作行为，无意志动词〔無意志動詞〕反映人的自发性动作、生理心理现象、能力以及“非情物”的运动。



各举几例：①行く、買う、作る。②考える、思う。③あきる、あわてる、はにかむ。④疲れる、しびれる、老いる。⑤うなだれる、ふるえあがる。⑥できる、話せる、分る。⑦出合う、失う、しくじる。⑧そだつ、枯れる、咲く。⑨光る、かすむ、降る。⑩流れる、増える、溜る。⑪ある、あまる、おわる。

有些动词因动作主不同而兼有两种性质（例①、②），另有些动词因多义（③、④）而兼有两种性质。

①二階へあがれ。（意志）／上二楼去！②物価があがる。（无意志）／涨价。③電車で財布を落とした。（无意志）／在电车上把钱包丢了。④井



戸の中に石を落とした。(意志) / 向井里扔了石头。

【意义】意志和非意志的区别关连到许多语法现象。

1. 意志动词的命令形表示实际意义的命令，无意志动词一般没有命令形用法，个别的命令形表示希望等。

①行け / 走! ②(雨) 降れ降れ / 下吧，下吧。

禁止(～な)的情况大体同上，无意志动词只有第③种词也可用禁止形式。

①買うな。 / 别买。②悲しむな。 / 不要悲伤。

2. 第一、二人称的推量形式，意志动词表示意志、劝诱，非意志动词只能是推测。

①私が作ろう。 / 我来作吧。②君もいっしょに作ろう。 / 你也一起来作吧。③私には出来よう。 / 我能作得来吧?

用于第三人称时无区别，均为推测。

3. 意志动词几乎都能构成使役态(～させる)和被动态(～られる)，而无意志动词有一定的限制。如“降る”可构成使役、被动两种形式，而ふるいあがる却只构成使役形式，できる则不能构成其中任何一种形式。

4. 意志动词的终止形(现在形)表示未来的动作，无意志动词在无表示未来的状语等时只表示现在的行为状态。

①私が買う。 / 由我来买。(未来)②この指輪はよく光る。 / 这个指环很亮。(现在)③明日ならよく光るよ。 / 明天就会很亮的。(未来)

5. 通常只有意志动词能构成授受形式。如：読んであげる、※老いてあげる、書いてくれる、※困ってくれる。

**意志の助動詞** イシノジョドウシ 意志助动词

【性质】助动词的一种。指构成意志、劝诱语气的助动词。所属词有う、よう、まい。意志助动词和推量助动词是同形，根据人称的不同区别使用。如用于一人称和二人称，分别表示意志和劝诱，用于三人称则表示推量。例：

私が行こう。(一人称、意志) / 我去!

あなたも行こう。(一、二人称合称、劝诱) / 你也一同去吧!

彼が行こう。(三人称, 推量) / 他去吧。

三者的共同点都是对未来事实的推测。不过, 用于一人称时, 这种推测转为意志; 用于二人称时, 把说者个人的看法强加于对方, 因而转为劝诱; 用于三人称时, 仍保留对于客观事物进行推测的原来用法。

因为意志助动词是主观性很强的助动词, 所以, 可以表示说话者当前的意志、决心、劝诱、希望, 也可以表示语气委婉的命令和禁止。究竟表示什么性质的意志, 取决于说者的表达态度。例:

さあ, 寝よう。(意志、劝诱) / 该睡觉了。

許すまいぞ。(意志、禁止) / 不饶你。

耳を揃えて返してもらおう。(意志、命令) / 凑齐钱再还给我吧。

意志助动词永远位于句末, 并不活用, 只表示陈述态度, 因此和终助词极相似。位于句中的う、よう、まい的连体形是推量助动词, 表示三人称的意志、决心, 属于客观描写, 因此, 不属于意志助动词。例:

そんな事を言おうものなら, 叱られるぞ。 / 说这种话, 会被人斥责的。

彼は手紙を書こうとしたが, 気持がまぎらわしているのでやめた。 / 他想写信, 但心绪很乱, 就不写了。

あなたも出かけようと思っているかね。 / 你也想出去吗?

现代日语中, う、よう、まい主要作意志助动词用, 推量助动词用法由新生助动词だろう、ないだろう来代替。

【诸说】除山田孝雄的复词尾说外, 一般都看作是助动词。但具体的处理方法各不相同。其中, 大槻文彦看作是未来助动词, 时枝诚记看作是推量助动词, 松村明看作是意志助动词。

#### 意志表現 イシヒョウゲン 意志表达法

【性质】指表明说话者本人的决心、意志的表达法。和劝诱表达法有相似之处, 如果是对特定对象说出的, 就转变为劝诱表达法。区别是: 劝诱以对方即第二人称为中心, 意志以说话者即第一人称为中心。试比较:

僕が行こう (意志)。 / 我去吧。僕と (或君も) 行こう (劝诱)。 / 和我一起 (或你也) 去吧。

和推量表达法也近似, 都反映未然的不确定事物, 都可以用推量形表

示。二者近年有明显的分化趋势：意志要用推量形表示，推量则用较新起的だろう、でしょう表示。

【形式】1. 用意志助动词う、よう、まい（否定）表示。因主语肯定是第一人称，除强调自己或提示性主语外不必说出，否则可能造成失礼。

①僕も一杯やろう。／我也来一杯。②あなたにも内緒を教えてあげましょう。／把秘密也告诉给你吧。③そんなばかなことはまたとするまい。／我再也不干那种蠢事了。④少し分けていただきます。／请分给我一点儿吧。

2. 以上均表示瞬间性的决心。如用～と思う（考える、する等）则客观地反映持续性的决心，而且可以用于各种人称。

①何か書こうとしたが、書けなかった。／想写点儿什么，没能写成。②あの子は悪いくせを改めようとしめない。／那孩子根本不想改正坏毛病。③君はどうしようと思うのか。／你到底想怎么作？④いままではやめようと思ったことがなかった。／迄今没有想要作罢。⑤娘は泣くまいと努力していたが、涙がまたその頬をこぼれ落ちた。／姑娘竭力克制着不哭，但泪水还是顺着她的脸颊滴落下来。

3. こととする、ことにする。此形式不受人称的限制，表示决定的实际内容。另有习惯动作、行为之意，见该条。

①いろいろと考えた上で、会社はやめることとした。／经过反复考虑，决定辞去公司里的工作。②私の分は自分ですることにする。／我自己作自己份内的。

4. 用有关的名词性谓语表示。比1积极行动的语感更强。

①あすは東京をたつつもりだ。／我准备明天离开东京。②自由のためなら命をすてる覚悟（決意）でいる。／决心为了自由不惜牺牲生命。③どうする気か。／你想干什么！

5. 表示第一人称意志的还有：意志动词终止形（包括否定形、加其他助动词的形式）、终止形加から、词组なければならない、补助动词みせる等。

①それならまた来る（またと来ない）。／那我再来（不再来了）。②うそを言え、只ではおかないから。／让你说慌！决不能便宜了你。③私に



ちは必ず既定目標に到達しなければならない。／我们一定要达到既定目标。④きっと白状させてみせる。／非让你坦白不可。

いじょう（以上）

〈接续助词〉接动词、补助动词、助动词た、ない、(ら)れる、(さ)せる等的连体形后，表示从某种既定事实（包括将来的事实）引出某种必然结果、趋势等。后项多表示判断、愿望、决心、要求等，并多与将来时间有关。近于からには。有时也说“以上は”。

①やる以上はしっかりやりたまえ。／既然干就要干好。②およそ人間である以上は、情というものがあるべきだ。／凡是人，都应该有同情心。③こうなった以上、取り返しはつかない。／已经到了这般地步，就无法挽回了。④今更断わることもできない以上、何とかしてやりとげなければならない。／既然现已无法回绝，就只好想办法完成。⑤どうせ叱られる以上、早く叱ってくれた方がいい。／横竖是要挨剋，还是早点儿剋好。⑥生きている以上は、社会に多く貢献したい。／（我）活着，就要为社会多作贡献。⑦英語を知っている以上はこれ位のことは分るのが当然だ。／既然会英语，这点儿事情当然应该懂得。⑧火を利用するようになった以上、化学の発展の基礎はそこに芽ばえたといえる。／可以说，一经发展到用火，发展化学的基础就萌芽了。

〈接尾辞〉接名词、数词后，表示程度、数量超过这一标准。其中，接序列词之后时也包括该标准本身。

①1メートル以上の児童／一米以上的儿童。②課長以上が参加する会社の会議／由科长以上参加的公司会议。③あの女の人が俺たち以上の仕事をやってきた。／她那样一个女人一直做着比我们更多的工作。

〈形式名词〉使前接部分体言化的同时，表示后续动词的程度。

①僕が勉強する以上に彼は勉強する。／我用功，他更用功。②きのう歩いた以上を今日は歩いた。／今天比昨天走的多。

【参考】1. 另有指示用法。

①以上の通り，実情を打ちあけた。／交待实情如上。

2. 文章末尾的“以上”等于“終わり（完）”。

已然形 イゼンケイ 已然形

文言活用形的一种。除四段、上下一段、ラ变（アリ）动词同口语假定形外，上下二段、ナ变动词在基本形后添加れ。如，起く一起くれ，受く一受くれ、死ぬ一死ぬれ。

已然形原来后续助词ば、ども，分别表示顺态和逆态条件，从镰仓时代起转用于表示假定条件。还可与提示助词呼应结束句子。参见“係り結び”项。四段动词还后续助动词“り”，如，読めり。

### いたす（致す）

#### 1. 实义动词用法。

1) 一般用法。表示使思绪、书信等达到（寄往）别处（例①）、导致某种结果（②）、倾注心力（③）。

①返書を致す。／寄回信。②彼の成功は幾分好運の致すところだ。／他的成功在一定程度上是运气所致。③力をいたす。／尽力。

2) 自谦语，与する同义，和尊敬语なさる相对。

①おいとまをいたします。／我告辞了。②喜んでそういたします。／我愿意照您去办。

3) する的美化语或郑重说法。

①今日の討議は経済問題だけにいたしましょう。／今天就让我们只讨论经济问题吧。②そういたしますと，昨晚から七日前に来たことになりますね。／这么说，您是在昨晚之前七天来的了。

#### 2. 接尾词或补助动词用法。

1) 代替サ变动词中的する，从而构成美化语或郑重语。

①まもなく，つぎの停車駅，神戸に到着いたします。／马上就要到达下一个车站神戸了（列车播音员语）。②今まで習った内容を，もう一度復習いたしましょう。／让我们再复习一下已经学过的内容。

2) 以お+动词连用形+いたす或ご+サ变词干+いたす形式构成自谦语形式，见该两项。

①警察のものです，ちょっとおうかがいたします。／我是警察，请问一下。②そんな場合，こっちからご賠償いたします。／发生这种情况时，将由我方给予赔偿。

3) 以お（ご）+动词未然形（サ变词干）+（さ）せいたす的形

式构成一种自谦语，多用于对于自己（一方）的过失表示歉意或争得对方同意。动作一定是对方（一方）发出的。

①長いことお待たせいたしました。／让您久等了。②これから，10分間，音楽をお聞かせいたします。／下面谨请您听十分钟的音乐。

いただく（頂く、戴く） 〈动词〉

属五段活用，最常用的是连用形いただき（ます）和可能态形式いただける。

### 1. 普通动词用法。

#### 1) 顶、戴。

①白い雪を戴いた山山／覆盖着白雪的群山。

#### 2) 拥戴。

①自民党を戴く。／拥戴自民党。

### 2. 敬语动词。

#### 1) 从上级、长辈得到某物。もらう的自谦语。

①先日は結構なお品を戴き，ありがとうございました。／日前得到您很好的馈赠，谢谢您了。

#### 2) “飲む、食べる”的自谦语。

①もう十分に戴きました。／我已经吃饱了。

3) 构成お～いただく、ご～いただく形式，前者中间插入サ变以外的动词的连用形；后者中间插入サ变复合动词的词干。自己主动要求对方为自己（一方的人）作某事或对方主动为自己（一方的人）作某事时都可以用，后一种情况语气更委婉。主要用于表现一种受恩惠的关系或请求、要求。用于对方的动作，比用法1) 自谦程度稍高。

①安倍先生は私が数年来お教え戴いている恩師なのです。／安倍先生是我多年来一直承蒙教诲的恩师。②お電話番号をお教えいただければ，さいわいですが。／若承蒙惠告您的电话号码我将很幸运。③文献は，氏によってコピーされてお送り戴いたものです。／文献是这位复印并送来的。④時間でございます。会議室の方にお越しいただきましょうか。／到时间了。就请到会议室去吧。⑤しかし，分らないのは，その理由です。その点をお話しただけませんか。／但是，我不懂其理由。



请您谈一下这一点好吗？⑥長らくご乗車いただきまして、ありがとうございました。／谢谢一路上乘坐我们的这趟列车。⑦十月までいらっしゃるのでしょうか。では村祭はご覧いただけますね。／您要（在这）留到十月吧？那就能请您观看村节活动了。

4) 构成お～（さ）せいただく、ご～せていただく形式（前者没有て，后者有て，这是大致倾向），表示请求、要求对方允许原谅，或对方主动允许原谅自己（一方的人）作某事。前一形式中间插入サ变以外的动词的未然形，后一形式插入サ变动词的未然形。用于自己（一方的人）的动作。

①みなさん，おそろいでしたら，ご案内させていただきます。／诸位如果都到齐了，就请允许我来作向导。②もう時間ですから，とりあえず重要と思われることだけをお聞かせいただけないでしょうか。／时间不多了，不知能否首先给我（们）讲一下较重要的事项。

5) 用法4) 的お、ご也可省去，但这时一定要有て。自谦程度比3) 稍低。

①私の友だちの阿刀田<sup>あとうだ</sup>さんを紹介させていただきます。／请让我来介绍我的朋友阿刀田先生。②案内させていただきます。／让我来作导游吧。③定価を改定させていただきます場合があります。御購入の際は御確認下さい。／我们有时重新调价。购买时请认准。

△用法4)、5) 与お（ご）～いたす的区别在于：后者只是自谦，而前二者同时具有允许自己或给自己恩惠之类的意思。

### 一語文 イチゴブン 独词句

指用一个词或相当于一个词的活用词组等表达完整思想的句子。独词句与词典中的词的不同之处是表示完整思想，如感觉、感情、或发现（あゝ！／呀！しまった！／遭了！火事！／失火啦！）、疑问（火事？／失火？どこ？／哪儿？）等。

独词句通常有两种分类。

1. 分为“無分化の一語文”和“分化の一語文”。前者用感叹词，表示感情，如“はい”。后者用实义词，表示具体事物，如“雨？”。

2. 分为“表出一語文”和“伝達の一語文”。前者是顺口而出的

“ア—ア!” “蛇!”之类, 后者是有交际对象的“田中”、“さようなら”、“頑張れ”之类, 表示应答、寒暄、命令等。

关根俊雄认为门牌、文章标题、画题、日期、收信人名等 等是单个词时与辞典中的单词不同, 所以也应该看作独词句。

独词句简练生动, 有一定的修辞效果。

「子供は, 幾人?」/ 小孩有几个?

「一人。」/ 一个。

「男? 女?」/ 男的? 女的?

「女だ。」/ 女的。

「幾つ?」/ 几岁?

「三つ。」/ 三岁。

**一段活用** イチダンカツヨウ **一段活用**

文言及现代日语中, 把上一段活用和下一段活用统称为一段活用。这两类动词的词尾中的第一个音节分别位于イ段和エ段。如: 起きる、立てる, 即ウ段的上一段和下一段, 其名称来源于此。第一个音节可称为不变词尾, 未然形、推量形、连用形以此为词尾, 终止形和连体形在不变词尾后添加ル (ru), 假定形加レ (re), 命令形加口或ヨ (ro或yo, 文言只有ヨ)。

上一段和下一段的活用原则实际上是相同的。参见“上一段活用”和“下一段活用”项。

**一人称** イチニンショウ **第一人称**

人称之一。指表示说者本人的代词所代表的人称。另有: 自称 (大概文彦)、第一人称 (松下大三郎)、第一称格 (山田孝雄) 等别称。口语中常用的有: わたし、わたくし、あたし、ぼく、おれ。文言中还有: われ、余。其中あたし是女性用语, ぼく是男性用语, わたし则通用。わたくし语气郑重, 稍谦。ぼく、おれ语气较俗, 不能用于长辈、上级。另外, われわれ表示复数, 只用于郑重场合。表示复数的接尾词有: ども、たち、ら等。如: わたしたち、わたしども、ぼくたち、ぼくら。

在书面语中, 一人称还可有自谦意义的词来表示: 小生、拙稿……

第一人称与意志、感觉、自谦、授受等表达方式有一定的制约关系。

在这些句子中,谓语可以暗示出人称是第一人称,此时一般性主语常可略去。因此日语会话中“わたし、ぼく”之类的词不常出现。

- ①a. 行こう。(一般性主语。略) / (我) 去。b. ぼくが行こう。(指示性主语。不省) / 由我去吧。c. ぼくは行こう。(区别性主语。不省) / 我还是去吧。②a. お待ちします。(一般性。略) / 等着您。b. 私がお待ちします。(指示性。不省) / 由我等着您。③a. 頭が痛い。/ 头疼。b. ぼくは頭が痛い。/ 我头疼。④a. 来週に差しあげます。/ 下周给您。b. 来週にわたしが送って差しあげます。/ 下周我给您送去。⑤a. お父さんからもらった腕時計をなくした。/ 把爸爸给的手表弄丢了。b. 私はお父さんからもらった腕時計をなくした。/ 我把爸爸给的手表弄丢了。

在家内对晚辈一般不用第一人称代词,而用相对于晚辈的亲属称呼。

- ①見てごらん。これ、母さんの写真じゃない? / 看,这不是妈妈(我)的照片吗? ②父さんの話をよく聞いてえ。/ 要好好听爸爸(我)的话啊。

“先生”也是在学校中教师的自称。

いっけん (一見) <陈述副词>

1. 常和表示样态的词呼应,表示表面上的非本质或假象的状态。

- ①一見女のような恰好をした男が多くなった。/ 打扮得乍一看象女人似的男人多了起来。②一見かぜと似ているが、熱が出ない。/ 象是感冒,但不发烧。③一見商人風の男が向こうから走ってきた。/ 一个看上去象商人模样的人从对面跑过来。④英語は一見難しそうだが、勉強すればそれほど難しくはない。/ 英语看似很难,可学起来并不怎么难。

△无呼应形式例:

- ①一見ばらばらであっても、よく見ればそこに規則があるものです。/ 尽管表面杂乱无章,仔细观察,其中是有规律的。

2. 有时用“一見するところ、一見して”等表示初步观察。

- ①一見して彼のしわざと分る。/ 一看就知道是他干的。②一見するところ、学問が深い人らしい。/ 看上去,好象是个学问高深的人。

いっこう (一向) <陈述副词>



可后续に、和否定呼应，表示全面否定。略有文章体色彩。

①一向に便りがない。／杳无音讯。②そんな事はいっこう構いません。／那件事（那种事）根本不在乎。③その品物是一向に売れない。／这种东西一点儿也买不出去。④一向言葉が通じないので全く困ってしまいました。／语言根本不通，简直束手无策了。

△下列例句中“一向”后面的成分里可以认为包含了否定因素。

①一向に無関心です。／一向不关心。丝毫不关心。②一向御無沙汰しています。／久疏问候。③一向平気だ。／根本不在乎（等于：一向気にかけない）。

いっさい（一切） 〈副词〉

1. 程度副词用法。表示全部、无例外。

①事務は一切事務局長に任せている。／事务全部交给事务局长了。②いっさいの財産を潰してしまった。／倾家荡产了。

2. 陈述副词用法。和否定形式呼应，表示一种“排除一切例外”的彻底否定。

①吉牟田さんも、あれ以降、一切店に姿を見せない。／吉牟田先生打那以后也从来不到店里来了。②うちでもパーティーでも酒は一切飲まないことにしている。／无论在家还是在宴会上酒一概不喝。

△“一切合切”<sup>がつさい</sup>是强调说法，略俗。

いっそ 〈陈述副词〉

1. 多和表示意志、选择比较的形式呼应，表示不再犹豫，而下决心作不寻常的积极行为，也用いっそのこと。

①こんなに長く苦しむようなら、いっそ手術をしよう。／这样长期痛苦，就干脆作手术吧。②大酒の夫に愛想をつかしてしまった。いっそ別れた方がいいだろうと思った。／对酒鬼丈夫已经没有一点好感了，心想还是干脆分手的好。

2. 常以～より、いっそ～形式表示不取前项而取后项的坚决的选择态度。

①たびたび高い交通費をはらうより、いっそ一台買っておこう。／与其一次次地付很贵的交通费，不如干脆买一台（车）。②こんなに持病で

苦しむより、いっそ死んでしまいたい。／与其这样让老病折磨，我倒想干脆死了。③血まみれになって戦うより、いっそ対話で和合をはかろうじゃないか。／何必血雨腥风地打仗呢，还是通过对话寻求和解吧。

いったい（一体） 〈陈述副词〉

1. 和疑问词语呼应，表示追问。

①君自身は、一体どういう気持なんです。／你自己到底是怎么想的？  
②話は変わるが、いったい神は存在するのだろうか。／我提个别的问题，神真的存在吗？  
③どうしたんだ、いったい。／到底是怎么回事？  
④お前が涼子と俺を疑う根拠は、いったいなになんだ。／你怀疑凉子和我的根据到底是什么？  
⑤いったい、来てくれるのだろうか。だめなのだろうか。／究竟能不能来呢？

2. 和のか、のだ等形式呼应，表示反诘。也可用“一体全体”的强调形式。

①いったいあいつにあんなことを言う権利があるのか。／他怎么有权说那种话！  
②いったいおれをどんな人間だと心得ているんだ。／你到底把我看成什么人？

3. 以“本来如此”的语气表示结论、结果。

①一体そんな噂がなかった。／其实没有那种议论。  
②一体この仕事はあなたには向きません。／说真的，这件工作对你不合适。

4. 以いったいに形式表示对一般倾向的看法和认识。

①いったいに女の人より男の人より長生する。／总地说女人比男人长寿。

5. 表示从整体上来说。

①近年になって冬は一体に寒くない。／近年来冬天总的来说都不冷。  
②今年の作柄は一体にいい方だ。／今年的收成总的说来还算不错。

いったん 〈副词〉

1. 和～たら、～ば、～からには、～以上は等各种形式呼应，表示前项的偶然性动作必然引起后项结果。

①スッポンは、いったん食いついたら、指がひっちぎれるまで、はなさないという。／据说甲鱼一旦咬上了，不把手指咬断了不罢休。  
②一目

緩急あれば……。／一旦有危急之事……。③一旦事ある時は……。／当一旦有事之時……。④一旦約束した以上は守らなければならない。／既然约定了，就该遵守。⑤一旦決定したからには……。／既然已经決定了……。⑥いったん堤防が決壊するや，兩岸に広がる平原はたちまちのうちに水におおわれてしまう。／一旦堤防決口，兩岸广阔的平原转眼之间就会被水吞没。

## 2. 表示暂时的一次性动作。

①一旦帰国してから，また帰ってきます。／我先回国一次，还回来。②ふみきりに一旦とまって，左右をよく見てわたりなさい。／你在交叉道口先停一下，好好看看左右再过。③一旦借りた金はすぐ返してしまふ。／借了钱立即还清。

### 一般文法 イッパンブンポウ 普通语法

general grammar的译词，现多用universal grammar的译词“普通文法”，见该项。

### いっぽう（一方） 〈形式名词〉

1. 形式名词用法。构成助动词性词组“～一方だ”形式。活用：连体时可用“～一方の”形式，其余和“だ”的活用相同。表示事件向某个方向连续不断地发展，通常有不利、不赞成的语感。

①小麦の需要は，食生活の洋風化が原因で，戦後は増加する一方である。／小麦的需求由于饮食生活的欧化，战后一直在不断增加。②最近，世界の食糧事情が年年悪くなる一方だ。／最近，世界的粮食状况在逐年恶化。③病状が悪くなる一方で，入院する必要がある。／病情不断恶化，需要住院。④親に世話をかける一方の女だ。／是个只知道依赖父母的女子。

## 2. 接续助词的用法。表示互为矛盾或互为补充的两个方面。

①費用が安い一方質はおちる。／价钱便宜，质量却不佳。②ほめる一方悪口を言う。／一方面表扬，一方面又说坏话。③中国では「三廢」を処理する一方，綜合利用に力を入れている。／中国一方面处理“三废”，另一方面抓综合利用。

## 3. 接续词用法。



1) 以单独形式表示添加①、补充②、对照③等。

①彼は作家として有名だ。一方、政治家としても力がある。／他作为作家很有名，同时，作为政治家也很有地位。②彼は作家として有名だ。一方、彼の奥さんは政治家として活躍している。／他作为作家很有名望，而他的夫人作为政治家很活跃。③表日本では晴天がつづき，一方，裏日本では雨天がつづいて農作物が水浸しになっている。／在日本朝太平洋一侧始终是晴天。与此相对，靠日本海一侧阴雨绵绵，农作物被浸泡在水里。

2) 以“一方では～一方では～”、“一方では～また一方では”、“一方～他方”等形式，表示一个事物的两个不同方面。单独用时相当于副词，如例②。

①家族や労働組合，政党などは，一方たがいに異なっているが，他方集団であるという共通性を持っている。／家庭、工会、政党等等一方面互不相同，另一方面都具有作为集团的共性。②自分の成績を高く評価したいという傾向も，一方ではあるでしょう。／恐怕另一方面也存在想高度评价自己成绩的倾向吧。

△下例的“一方”表示两个事物、性质、方向等等的的一个方面，属于普通名词用法。

①テレビが二台あって，一方は大人用で，他方は子供用である。／有两台电视机，一台是大人用的，另一台是小孩用的。②東京は，一方では関東平野につながり，他方では海に面している。／东京一面连接关东平原，另一面濒临大海。

いな（否） 〈感叹词〉

1. 接续用法。以感叹语气对上述内容进行更正或补充。同いや，但文章语色彩浓。

①レーニンはロシア否世界の偉人である。／列宁是俄国，不，是世界性的伟人。②林とても数里にわたるものはなく否，恐らく一里にわたるものもあるまい。／虽说是树林也没有绵延数日里的，不，恐怕连延续一日里的也没有。

2. 其他用法。

①誠意があるか否かが問題だ。／问题是有没有诚意。②否と答える。／给以否定的回答。③あらゆる詩人の虚栄心は、言明すると否とを問わず、後代に残ることに執している。／所有诗人的虚荣心无论明言与否都执著于流传后世。④～やいな否（见该项）。

⇒いえ、いいえ、いや

いまだに（未だに） 〈陈述副词〉

常和否定形式或否定内容呼应，表示所期待的事悻仍未发生，仍未解决等。文章语。

①彼の世界記録は、十年後の今日もいまだに破られていない。／他的世界记录在十年后的今天还没被打破。②生命の生成はいまだに謎です。／生命的形成仍是个谜。

△省略形式有いまだ，口语中进一步略为まだ。

①いまだ高校に上っていない。／还没升到高中。

いまにも（今にも） 〈陈述副词〉

一般和そうだ呼应，表示几乎、眼看就要进行某动作行为。

①今にも雨が降りそうです。／马上就要下雨。②今にも追いつきそうな時に、石につまづいてころんだ。／眼看就要追上的时候，绊在石头上摔倒了。③走りながら、今にもえり首をつかまれそうで、生きた心地もしませんでした。／跑着跑着，觉得马上就要抓住脖颈了似的，把魂儿都吓飞了。④そのナイフを見たとき、今にも殺されるかと思った。／当看到那把刀的时候，我心想可能马上就没命了。

意味 イミ 语义、意义

【语义】由语言的外部形式即语音表示的心理内容。与语音相对。语义包括词义（語の意味）和句义（文の意味）。

语义和语音是语言的两个不可分割的侧面。从发生学的角度看，二者之间没有必然的联系。比如同一个意思“狗”，在日、汉、英语中分别和不同的形式イヌ、gǒu、dog联系起来。即使是拟声词也不例外。但是，从现实的角度来看，这种联系尽管是恣意的、约定俗成的，却又是不可改变的。只有这样，语音才能起到唤起心理内容的作用。

同一个词或句的意义在个人的具体语言行为中会有些出入，而作为社

会共用的语言 (Langue, ラング) 是有固定语义范围的。这种语义称为基本意义 (基本的意味或意味素)。词典中的释义就是这种语义。个人可以把基本意义用于现实的语言生活中指代具体事物, 甚至可以加以引申, 表示基本意义之外的特别语义或临时语义。如“成田空港は空の玄関である。/ 成田机场是空中的大门”一句中的“玄関”即是。由上例也可看出, 语义并不就是具体事物, 而是对事物加以概括的抽象认识。正因为这样, 空想、谎言也能表示具体意义。

【意义】语义和意义两个概念没有严格的区别。一般说来, 语义是笼统的称呼, 意义指某语言单位具体的所指内容。

一般认为意义可分为词汇意义和语法意义。比如名词可以作主语, 在这一点上具有共同的语法意义。所以说“山が”、“本が”、“机が”的语法意义相同而词汇意义不同。而“花が”、“花を”、“花に”都具有“花”这个词汇意义, 语法意义则各不相同。有时把语法意义称为功能意义 (職能的意味), 把词汇意义称为辞典意义 (辞書の意味)。因为词的运用不能脱离语法, 所以实际使用时除词汇意义外始终伴随着语法意义。但一般又认为语法功能词 (助词、助动词, 特别是助词) 没有词汇意义, 只有语法意义; 用言、体言等正相反。

【语义学】语义的成体系的研究称为语义学 (意味論, semantics 或 semasiology)。语义学同时是心理学、社会学、哲学、逻辑学等学科的一个领域。语言学中的语义学是研究方法和研究内容最不固定的学科, 它主要研究: A、历时的语义演变和古典文献的诠释。B、词汇的语义上的分类。C、从语言地理学 (言語地理学) 角度研究词的语义分布和变化。D、语言交际中语义的传达和转用。迄今为止, A 条始终是语义学的中心内容, 而且今后仍将是重要内容。具体地说, A 包括: 从过去某时起, 某些词语的意义如何变化, 词义范围是扩大了, 还是缩小了, 还是移动了, 词的语义价值 (褒贬色彩等) 是上升了还是下降了, 这些变化的原因是什么, 动向如何, 以及相当于汉语中的训诂学的内容等等。最近, 主要由于许多新的形式语言学或形式语法学流派的推进作用, 形式化的语义学研究也很盛行, 比如用义素 (意味素, sememe) 来描写语义已得到广泛的承认。如, “子供”的语义描写可以是: [+人間, ±男性, -成年]。



### いやしくも（苟も） 〈陈述副词〉

1. 表示最低限度的条件。带有轻视的语感，用于文章。后项含有与前项这一最低限度相适应的态度、评价之类的意义。

1) 和用言成分后的“以上（は）、限り、からには”等呼应。

①いやしくもやるからにはよくやれ。／既然干，就要干好。②いやしくも蟬と名の付く以上は，地面の上に転ってはおらん。／既然称为蝉，就不会在地面上呆着。③それだから苟も人類の地球の表面に存在する限りは夫婦と芸術は決して滅することはなかろう。／因此，只要人类尚存在于地球表面，夫妇与艺术就决不会消亡。

2) 和名词成分后的“は、なら”等呼应。

①いやしくも若者なら，向上心があるはずだ。／假使还称得上年青人，就该有上进心。②いやしくも国民たる者は，国家に対する義務を忘れてはならない。／倘能称得上国民者就不该忘记对国家的义务。

2. 表示可能性极小的假定事实。常和表示禁止的形式相呼应。如例②

①いやしくもそんなことをすれば，ただではおかないぞ。／万一真的作那种事，可不能白饶了你。②いやしくも良心に耻じる行動をするな。／万万不要作愧对良心的事。

### △其他用法。

①仕事を苟もしない。／对工作一丝不苟。

### いらい（以来） 〈接尾辞〉

接于时间名词后表示从过去某一时点到说话当时为止的整个时段。

①その時以来，十七年，寺瀬君は，この学校に根を生やしてしまったのである。／从那以来，十七年间，寺瀬君就在这所学校里扎下了根。

另有接尾辞“以後”只表示将来或过去某一时点以后的时间，不包括该时点，也不涉及说话当时。“以后的时间”可以是时点或时段。试比较：

①終戦以来，彼はずっと先生をしている。／从停战起，他一直当教师。②終戦以後，彼は三年間先生をしたことがある。／停战以后，他曾当过三年教师。③終戦以後，彼は昭和30年に先生をしたことがある。／停战以后，他曾于1955年当过教师。

而“以来”不表示将来某时点以后。试比较:

①明日以後 (※明日以来) 天気がくずれるでしょう。／明天起天气可能变坏。

“いらい”只接于时点时间名词后,而“以後”还可以接于时段时间名词后。试比较:

①※三年以来。②三年以後 (=のち)。③終戦以来。④終戦以後。

依頼表現 イライヒョウゲン 请求表达法

【性质】指说者为自己的利益而要求对方作出某动作行为或实现某一状态的表达法。因为是所谓“他行自利”性质的表达,故多用くれる、くださる。请求属于命令表达法,但请求和狭义的命令表达法有区别:后者不直接表示利害关系。因此有必要将二者分开。

【形式】1. 用授受(补助)动词くれる、くださる的命令形。后者是敬语。为使语气柔和,可后续よ、ね、ませ或まし(敬体,限于くださる)等。这种形式仍有命令语气,一般不宜用于长上,用于长上时要用3的敬语形式。具体形式有:动词连用形+て+~, お(ご)+动词连用(サ变动词词干)+~, お(ご)+动词连用形(サ变词干)+になって(なさって)+~等。

①どうか言ってくれよ。／给我说一下嘛。②どうぞお休みになって下さい(ませ)。／请您休息吧。③どうぞごゆっくり(なさって下さい)。／请你多坐一会儿。④紙幅の都合もありますから,かってながらご割愛下さい。／恕我直言,因篇幅所限,请您割爱。

てくれ用于句中有自谦的语气。

①日本語を教えてくださいと頼まれました。／求我教日语。

以下是否定形式。

①誰にも知らせないで下さい。／请不要告诉任何人。②泣かないでくれ。／别哭了。

△てくれ另有ておくれ和てくれたまえ等变体。前者用于父母对子女或店主对店员。后者用于男性对下。例:部屋の中をきれいにはいておくれ。／给我把房间打扫干净。この荷物を二階まで運んでくれたまえ。／给我把这件行李搬到二楼。

2. 用授受动词もらう、いただく的推量、愿望形式表示要求对方为己作出某行为。接于使役形式后时表示要求对方许可自己作出某种行为。

①商店にいっしょに行ってもらおう。／和我一起去商店吧。②どうか残っていただきたいのですが。／想请您留下来。③この手紙を読んでちょうだい。／请给我读一下这封信。④先生、学校を休ませてもらいます。／老师，请您准假。

否定形式有ないでいただきたい和いただきたくない兩種。前者语气更恳切，直接了当。

①いいえ，帰っていただきたくはありません。／不，我并不希望你回来。②そんなうわさを言いふらさないでもらいたい。／希望你不要散布那种谣言。

3. 用授受（补助）动词的否定疑问形式（可能形式）表示。这种形式语气恳切，敬语形式（例④～⑥）宜用于长上。

①僕にもやらせてくれない？（女性用语，如加か转为男性用语）／也让我做一下吧。②あの，お名前を教えてくださいませんか。／嗯……告诉我名字好吗？③今すぐ行ってもらえない？／你现在马上给我去好吗？④ちょっと通らせていただけませんか。／劳驾，请让个道。⑤もう一枚写していただけないでしょうか。／再给照一张行吗？⑥駅まで送って下さいませんか。／请送我到车站好吗？

4. 用由接续助词转成的终助词て、てよ、てね。多为女性及儿童用语，分别带有叮嘱和商量的语气。てよね则兼有这两种语气。

①たのみよ，私にも知らせて。／拜托啦！也要告诉我。②私にも一冊貸してよ。／也借给我一本。③明日の午後，留守しないでね。／明天下午，你可不要外出啊。④そのこと，誰にも言わないでよね。／那件事，可对谁也别说呀。

5. 借用愿望表达法的～てほしい形式。其否定形式的～てほしくない口气较生硬。

①新聞を読ませてほしいです。／请让我看看报纸。②未完成の作品だから見ないでほしい。／因为是未完成的作品，不想让你看。

6. 用お + 动词连用形(或:ご + サ变词干) + ねがいます(或:申しあげます、ようにねがいます)形式。属于敬语形式。用于事务联系、书信中。

①お手数ではございますが、おつたえ願ひとう存じます。／麻烦您了，请转告一下。②御承諾願えませんか。／尊请允诺。③勝手ながら、二三日お待ち願ひます。／对不起，请您等两三天。④是非御出下さいますようお願い致します。／请您务必光临。

いさせられる 〈动词〉

下一段动词，系いらっしゃる的原形，但敬意稍高。可作补助动词用。不常用。

①仕合せに暮していさせられる。／幸福地生活着。

いらっしゃる 〈动词〉

特殊五段活用。除いらっしゃいます(其命令形为いらっしゃいませ)、いらっしゃい外均与五段相同。

1. 敬语动词。作“来る、行く、居る”的尊敬语。

①家長さまも何人かいらっしゃいました。／也有几位家长光临。(来る) ②社長さんはどこかへいらっしゃったようです。／经理好象到什么地方去了。(行く) ③すみませんが、貴校には先生が何人いらっしゃいますか。／请问贵校有多少位老师。(居る)

2. 尊敬语补助动词。另有变体らっしゃる。接于动词后(～て[い] らっしゃる)或名词、形容动词后，有如下用法。

1) “いる”的尊敬语。

①何を讀んでいらっしゃいますか。(讀んでいる)／您在读什么。

2) “ある”的尊敬语。

①こちらは団長さんでいらっしゃいます。(である)／这位是团长先生。②いつもおきれいでいらっしゃいますね。／您总是这么漂亮。

3) 接形容词的连用形(～く)或“～くて、～くって”形式后作いる的尊敬语，不常用。

①御気嫌よくっていらっしゃるのでございましょうネ。／他心情很好吧？

②海の事におくわしくいらっしゃる。／对海事很精通。



## いる（居る） 〈动词〉

上一段动词。原则上无中顿法，中顿用いて或おる的中顿形式おり。敬语形式要用おられる或いらっしゃる等，偶尔也用いられる。

### 1. 实义动词用法。表示人和动物的“存在、所有、出现”等。

①私には兄が一人います。（所有）／我有一个哥哥。②教室の中には誰もいない。（存在）／教室里一个人也没有。③こんな時に亡くなった兄さんがいれば助かるがなあ。（出现）／这个时候，若死去的哥哥在，会帮忙的。

△除上述活动体名词外，作为拟人用法也可用于可看作活动体的车船、飞机等的运动。

①われわれの反対側に宇宙船がいて、こちらを観測している。／我们的对面有一艘宇宙飞船，正在观测我们。

### 2. 补助动词用法。

1) 接于“动词连用形＋て”之后，表示各种动作体。见ている项。

2) 接于否定接续助词ずに、ないで之后，以ずにいる、ないでいる形式表示予期动作一直未出现的状态。一般能用～ていない形式代替。

①昨晚，時化のために皆寝ずにいた。／昨晚由于海上起风浪，大家都一直没睡。②目が動くだけで，声も出ないでいる。／光是眼珠转，一点儿声也不出。③五日たった。法夫も喧嘩のことは，忘れるともなく，気にかけないでいた。／五天过去了。法夫也把打架的事不知不觉地忘掉了。④皆の仕事ぶりを見て，彼は何かせずにはいられなかった。／看到大家的工作劲头，他忍不住要做点什么。⑤このことを，誰にも言わずにいられるかね。／这里的事能不能不对任何人讲？

3) 和格助词で构成でいる形式，接于名词或名词性成分后，表示处于或保持这一状态。で也可看作助动词だ的连用形。

①寝たきりでいる。／（因病）卧床不起。②できればまだ友人でいてほしいと頼んだ。／请求如果可能，希望继续作朋友。③鬼が出たということで，里人は安らかな気持ちではいられないのだ。／由于听说闹鬼了，村民们心情无法平静。④じゃ，また来るからね。それまでいい子でいなさい。バイバイ。／好了，我还来。这一会儿你要当个乖孩子。再

見。

4) 接于形容动词(性词语)的连用形〜で之后,表示处于或保持这一状态。

①このことは一見矛盾のようであって、そうではない。／这事乍看似  
乎很矛盾,其实不然。②よく仕事をしないで平気でいられるね。／无所  
事事,亏你坦然得了! ③人間,自分の感情に素直でいるのが一番ね。／  
人嘛,忠实于自己的感情是最要紧的呀。④こんな不快なものと無関係で  
いたい。／我希望和这种不快的事无关。⑤僕も,自分のことには無関心  
でいられないのさ。／我也不能不关心自己啊!

⇒ている、てる、おる、いらっしゃる

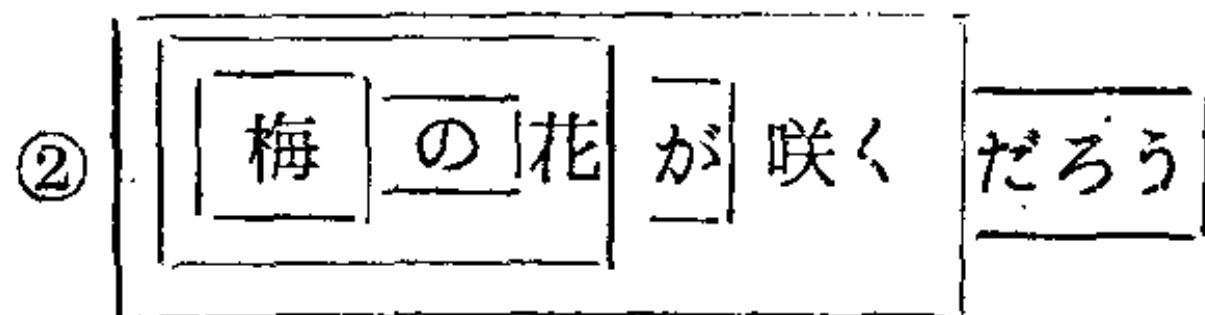
**入子型構造** イレコガタコウゾウ 套匣式结构

指由时枝诚记提出的、表示日语句子的基本结构的图式。

时枝诚记把单词分为实词(詞)和虚词(辞)两大类。认为实词是经历了概念化过程而表示事物的词,虚词未经历概念化过程,直接表示说话人的主观态度。认为词和辞经常结合在一起,构成一个“句”(相当于句节)。如下句可分为三个“句”。

①梅の花が咲くだろう。

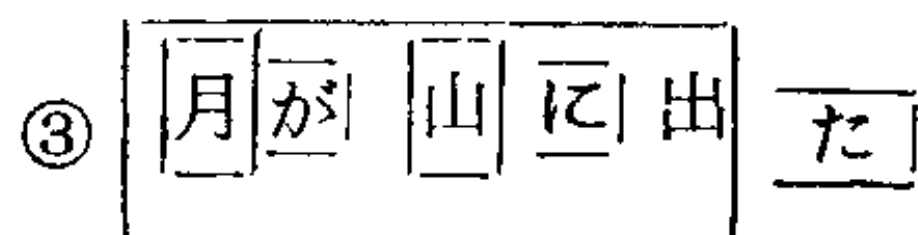
这三个“句”之间的关系是:“の”不仅接于“梅”之后,表示和“花”的关系,而且还把“梅”统括起来。“が”既是接在“花”后表示和“咲く”的关系的,又是接在“梅の花”整体之后表示和“咲く”的关系的。这样,“花が”是“句”,而“梅の花が”也是一个更大的“句”(这又不相当于回节)。“だろう”不仅是接于“咲く”之后的,也是接于“梅の花が咲く”整体之后的,把全句统括起来。图式如下:



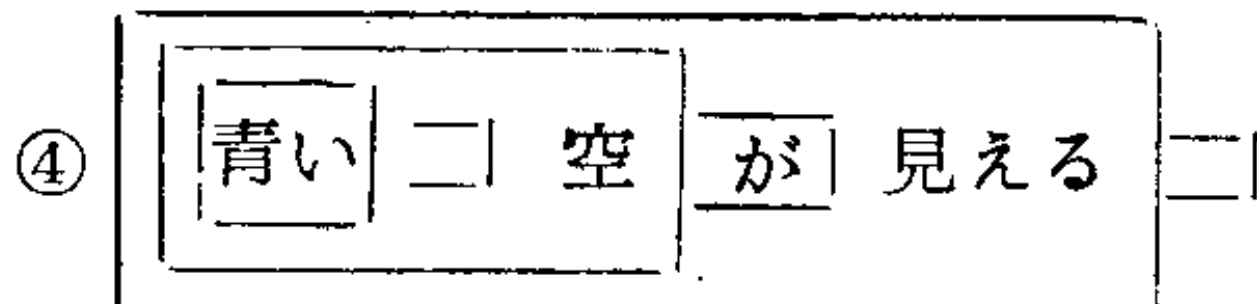
这样,“句”和“句”之间的关系就不仅仅是连接关系,而是“句”被“句”所包括,逐渐形成更大的“句”,最后构成句子。认为这是日语句子结构的本质。这一造句过程如同套匣,故称套匣式结构。

有时,“句”虽然连续,其间却没有包容关系。如“月が山に出た”中

的“月が”和“山に”即如此。这时，可图式如下：



另外，有些“句”实际上没有辞。这时，为求理论上的统一，认为也是有辞的，有的是零形式的辞（零記号の辞）。如：



以上，我们可以得出两点主要结论。1．理论意义重大。套匣式结构主要是为批判桥本的句节理论而提出的，实际上也确实把被句节论忽略了的语义结构层次明确地揭示出来了。如例①，按句节论，“梅の”修饰“花が”，这显然是错误的。按套匣式结构，“梅の”只修饰“花”，“が”接于“梅の花”整体之后，这才是正确的。

2．实用意义很小。如果一个句子的结构碰巧和套匣式结构的看法相同，这时的分析是非常正确的。如例②。问题是，日语绝大部分句子的结构并不是这样的。并列、陈述副词和用言的呼应、提示助词和副助词的关联范围、逆接、复合句、辞的重合使用等一系列的情况尚不能处理。

⇒時枝文法、文節、IC分析

いろは

古代日语字母表之一，把四十八个假名编成一首七五调的四行韵律诗。即：

いろ には ち  
色は 匂へ ど 散りぬるを  
わ よたれ つね  
我が世 誰ぞ 常ならむ  
う おくやまけふこ  
有為の奥山 今日越えて  
あさ ゆめみ  
浅き夢 見じ 酔ひもせず

汉字和浊点是后人添加的。据说，这是「涅槃經」偈文「諸行無常，是生滅法，生滅滅已，寂滅為樂」的译文，宣扬的是佛教中的虚无思想。いろは有多种汉译，这里为其中之一。

花香花谢几蹉跎，  
人世无常若奈何，  
生灭超脱原是法，  
一场春梦醉中过。

いろは因反映了当时的佛教文化，并带有韵律形式，便于上口记忆，所以代替了自那以前的旧字母歌「大為 爾 歌」(たるに) 和「天地」(あめつち)，成为人们喜爱并长期传诵的日语字母歌。后来也用于编排词典和各种目录的音序。改用五十音序是明治以后的事情。但是文章中条目的排列至今仍用イロハ序。另外，通过いろは歌，我们可以了解到当时日语假名的总数和体系。如：いろは歌中后来的ワ行的ヰ、エ、ヲ 和 ア行的イエ才是不同的假名，说明当时母音有合口和开口的区别。又如，ワ行中无相当于ア行ウ的假名，ヤ行中无相当于ア行イ和エ的假名。这说明当时在ワ、ヤ行中没有这种音。

いわんや (況んや) <陈述副词>

1. 文言用语，主要残存于文章中。以いわんや～をや(だ)形式表示前项中的一般情况尚且如此，后项中的个别或特殊情况更不必说。

①大人でさえも難しい。いわんや幼児においてをや。／连大人都很难，更何况幼儿了。②夏だって夜露は毒だ。況んや霜においてをやだ。／即使是夏天，夜露也是有害的，何况霜了。

2. 口语中也偶尔使用，同まして。


①嘘をつくことだってできないのに、いわんやそんな悪どいこと，するはずがないじゃないか。／连撒谎都不会，怎么可能作那种可恶的事呢？②「おやおや，まあ，可愛らしい」と，母もつい言ってしまった。いわんや私は大好きだ。／妈妈也脱口而出，“哟！瞧！真惹人喜欢！”更不用说我，非常喜欢。


イントネーション (intonation) 句调


【性质】指由于表达意图而产生的一句话的声音的高低。口语中除了单词和句节的アクセント外，还有全句语流的高低变化形式，即句调。前者使实用的语音单位和词意结合在一起，后者与要表达的完整思想结合起来，最终达到口语交际的目的。句调有感情句调和逻辑句调两种。所谓感情句



调，是用来表达说者的各种感情、细微的心理活动的句调。如：同样是一句“先生ですか”，由于感情句调不同可以有以下三种意思：

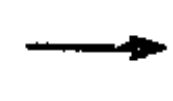



せんせいですか  (疑问)。

せんせいですか  (理解)。


せんせいですか  (怀疑)。

以上三个句子如果不带有个人的感情则变成一种表示疑问的逻辑句调。

逻辑语调和感情句调不同，它与个人的感情和心理活动没有直接的联系，只是根据不同的逻辑内容，如叙述、疑问、断定、命令等，自然地升降。如果说感情句调与说者的感情直接有关，那么逻辑句调与说者表达的思想直接相连。逻辑句调虽然也要通过个人实现，但它具有社会性，社会成员都必须共同遵守。不同语言中的句调大致相同也是由于这个原因。一般语法上所说的句调指逻辑句调。日语的句调主要体现在句末和独立性较强的句节（独立语、接续词等）后。

【种类】「日本音声協会」把句调分成四类：高平调、降调、升调、降升调。分别表示为：、、、。有时把升调再分

成全升调（符号同升调）和半升调（）；把降调再分成全降调

（符号同降调）和半降调（）。

【用法】1. 高平调。用于感叹句、独词句、独立语等。表示感叹、召唤、疑问等。

アア。／アレ，アレ。／へび！／なぜ。／だれ。

△句调高而平，容易引起对方注意，得到对方响应，并能保持心理紧张，直接表达说者的感情。

2. 全降调。句调下降后，心理上的紧张业已消除，适于表示断言、强烈命令、抗议等。常用于判断句、命令句。

そうです。／しずかにしなさい。／きみがなんだ。

3. 半降调。句调不完全下降，心理上的紧张有所保留，适于表达商量、劝诱、亲切的命令、犹豫等。常用于判断句、一般命令句、特殊疑问句。

ぼくも行きましょう↘。／まあ、おすわり↘。／どれにしましょう↘。

4. 全升调。用于疑问句。升调引起对方的心理紧张，适于表示强烈疑问。

分ります（か）↗。／お名前は↗。ええ，知りません↗。

5. 半升调。引起一定的心理紧张，使对方有所呼应。适于表达寒暄、感动、请求等。

こんにちは↗。／ああ，さむい↗。／お忘れにならないで↗。

6. 降升调。属于感情句调，反映说者自己的感情矛盾，表示怀疑、恳求、比较、让步等。降升调位置可在句末或句首。

①せんせいではありません ↗ （怀疑）。②たばこはやめて

↗ （恳求）。③私は行きません（比较）。④よろしゅうございます（让步）。

【参考】与词的重音的区别：词的重音在词和句节中固定不变，活用词活用形的重音变化也有一定规律。但是句调尤其是感情句调根据场合和说者的心理活动，可以产生必要的变化。至于逻辑句调也是根据句子的性质发生相应变化的。词的重音不变，但句调可以有多种形式。如前面所举的“先生ですか”有三种句调，而重音始终是せんせい一种。

韻文 インブン 韵文

【解释】所有文章根据有无特定的韵律形式可以分为有韵律形式的韵文和没有韵律形式的散文，韵文和散文是相对独立的文章形式。但是，实际上两者往往融合为一体，散中有韵（如俳文），韵中有散（如散文诗）。

语言学上讲的韵文和文学上讲的韵文，在概念意义上不尽相同。如，有的小说文章很有节奏，但文学上不属于韵文，而属于散文。相反，有的自由诗等无特殊的韵律形式，但文学上仍看作韵文。由此可见，韵律既表

现为外部形式,又潜在于内部结构中。韵文一般指具有外部韵律形式的文章。用韵文的文学形式有近代诗、汉诗、和歌、俳句等。

【形式】不同的语言有不同的韵律形式。如,印欧语以音节的长短,强弱的不同安排造成不同的韵律。汉语以高低声调(平仄)、韵脚的方式造成韵律。

日语因音节结构与印欧语和汉语都不同,一般不能用以上述方式造成韵律。因此,常用不同数的音节群的排列方式造成韵律,称“音数律”。日本传统的音数律有五七调和七五调。五七调,上有五个拍节,下有七个拍节,头轻脚重,给人以安定的感觉,构成典雅、庄重的韵律。短歌(五七五七七)和俳句(五七七)都用这种韵律形式。七五调,上有七个拍节,下有五个拍节,头重脚轻,给人以不安定的感觉,构成轻松、流畅的韵律。

明治后期,由于自由体诗的产生和发展,韵律已不再是诗歌的前提条件了,在近代诗中韵律的作用不象古代那样突出、广泛。

因此,韵律形式多见于古典文学形式中。短歌、俳句等传统形式中仍用古典韵律。

#### 引用文 インヨウブン 引语句

作为引语而被内包于另一个句子中的句子。引语句是整个句子的一个成分。引语句作直接引语的叫直接引语句(直接引用文),例①。作间接引语的叫间接引语句(間接引用文),例②。

①私は今の中国をどうお考えになりますかと聞きました。／我问道:“您是如何看当今的中国的?”②私は,今の中国をどう考えるかを聞きました。／我询问了(他)怎样看待当今的中国。

⇒話法、直接話法、間接話法

# う      う

## う 〈推量助动词〉

【活用】无变化型。只有终止形う和连体形う。

### 1. 终止形。

1) 单独或后续终助词よ、か、に等结句。

①そうでしょう？／是那样吧？②早く帰ろうよ。／快回去啊。③また先生に教わろうね。／再去问问老师吧。④そんなこともあろうか。／竟会有那种事吗？⑤さぞ暑かろうに。／他可真不怕热！

2) 后续接续助词から、と（含格助词）、けれども、が、に等。

①彼も行こうから、誘って行こう。／他可能也去，邀他一起走吧。②どれを取ろうが（或と），全く同じだぜ。／拿哪一个，完全一样。③言おうにも言えない悩みがある。／有一种难以名状的烦恼。

3) 后续助动词性惯用词组とおもう、とする、ではないか（じゃないか）。

①新刊書を買おうとする人たちで本屋は一杯になっている。／书店里挤满了要购买新书的人。②一緒にやろうじゃないか。／我们一块儿干吧。

2. 连体形。构成连体修饰语。通常后续こと、はず、わけ、ところ等形式名词，例③、④是修饰普通名词的例子。

①そんなことはあろうはずがない。／不可能有那种事。②一休みしてもよかろうところである。／该歇一歇了。③校長先生ともあろう人が、パチンコごときに凝るとは。／身为校长的人，竟迷恋弹子游戏之类！④彼に限って、病気になるう心配はありません。／唯独他，不必担心会生病。

【接续】接各种词的推量形后。

1) 接五段动词。

①もっと頑張ろう。／再加把劲儿吧。



## 2) 接形容词及同型助动词。

①さぞうれしかろう。／想必很高兴吧。②親だってそれを知らな  
 かり。／也许连父母也不知道这件事吧。③夏だから、海辺へは誰でも  
 行きたかり。／因为是夏天，谁都想去海边吧？

## 3) 接形容动词及同型助动词だ、そうだ（样态）、ようだ等。

①川がきれいだろう。／河水很清吧？②何の花だろうか。／是什么  
 花儿呢？③私だって出来そうだろう。／我也做得来吧？

## 4) 接助动词た、です、ます后。

①あれは先週の木曜日だったろうね。／那是上星期四的事吧？②そ  
 れはこれでしょう。／你说(或找)的就是这个吧？③さあ、始めましょ  
 う。／来，开始吧。

△う一律和前一个音节连成オ长音。例：“行こう ikō、寒かろう  
 samukarō、見ましよう mimashō”。

【意义】1. 表示说者的推测、想象、委婉的断定。有文言语气。连体形  
 只有此种用法，终止在口语中更多用“终止形だろう、终止形でしょう”  
 形式。

①あすはもしかすると雨が降ろう。／明天说不定下雨吧。②あした  
 は大雨になりましよう。／明天会下大雨的吧。③そんなにまで言われて  
 は、誰だって気嫌が悪かろう。／那么被人家说，搁到谁也不会好受的  
 吧。④晴れた日の富士山はもっときれいだろうと思います。／我想，晴  
 天里富士山会更美丽。⑤都会に育ったお嬢さんが田舎に愛着を持とう  
 わけがない。／城里长大的姑娘不可能留恋乡村。

构成惯用形式うと、うと～まいと等。参见接续助词と。

①金持であろうとであるまいと，人さえ良ければそれでいい。／不  
 管是不是有钱人，只要人好，这就行了。

构成惯用形式うが、うが～まいが等，相当于うと等。参见接续助词  
 が。

①結果がどうなろうが，試してみるつもりです。／不管结果如何，  
 我打算试一试。

构成惯用形式うものなら等。参见ものなら。

①場合か場合だけに、誰か笑おうものなら、すべての人にいやがられる。／因为场面特殊，有谁一旦笑了，就会引起所有人的不满。②なろうことなら、私にも行かせて下さい。／如果可能，让我也去吧。

构成惯用形式“うとは思わない”。

①彼がそんなあやまちを犯そうとは誰も思わなかった。／谁也没料到<sup>はかど</sup>他犯那种错误。②どう見ても仕事が順調に<sup>はかど</sup>捗ろうとは思われない。／总觉得工作不可能进展顺利。

构成惯用形式うに。参见终助词に和接续助动に。

①母が生きていたら、楽しかったでしょうに。／如果妈妈活着，该多高兴！②犯人は事もあろうに人の一人っ子を誘拐してしまった。／罪犯偏偏绑架了人家的独生子。③やめてもいいでしょうに、無理を通しています。／拉倒算了，还在硬坚持着。

2. 位于意志动词后，表示说话人或句中主体的意志、决心。常用“うと思う、うとする、うという”等形式。只有终止形有此用法。

①よし、貸してやろう。／好吧，就借给你吧。②どうです，飲もうと思いませんか。／怎么样？不想喝吗？③先に読もうとする本を取り出した。／把想要先读的书取了出来。④帰ろうともしないで居すわっている。／想都不想回去，久久地呆着。⑤小林がそれを拾おうとすると，風に吹き飛ばされてしまった。／小林刚想要拾起它来的时候，被风刮跑了。⑥隠そうというのかな。／他是想要隐瞒不是？⑦そのささやきを聞こうと忍び足でそばに近付いていった。／想听听他们的悄悄话，便蹑着脚向跟前靠去。⑧アリが餌を運ぼうと必死になっている。／蚂蚁拼命地要拖走食物。

构成惯用形式うにも～ない表示想做而做不成。后项为可能动词的否定形式。

①足取りがふらふらして速く歩こうにも歩けない。／步法不稳，想快走也走不动。

3. 表示劝诱、提议、间接的命令等。只有终止形有此用法。只能接动词类后。常后续か、ね、よ、さ、ではないか等。

①一杯飲みに行こう。／我们去喝顿酒吧。②もう一息だ。皆さん頑

張りましょう。／只差一点儿了，大家加把劲儿。③もう時間だから，そろそろ帰ろうよ。／到点儿了，我们该回去啦。④「とにかく，落ちついてお話を聞こうじゃありませんか。」「もう，よそうじゃありませんか。」／“反正坐下来听他说吧。”“到此为止吧。”

4. 以うか、うではないか等形式表示疑问、犹豫不决、反诘等。

①この辺は夜になると静かでしょうか。／这一带到晚上安静吗？②この程度でいいのだらう。／这个程度可以吧。③妙子は推理小説が好きなのだらう。／妙子可能是喜欢推理小说吧。④十年前ほど前になろうか，一時期「未来学」と呼ばれるものが流行したことがあった。／大概有十年了吧，所谓“未来学”曾流行一时。⑤文化伝統を好んで破壊する必要がどこにある。／何必故意破坏文化传统呢！⑥これこそ，政府側から進んで取るべき態度そのものではなかろうか。／难道这不正是政府方面应主动采取的态度吗？

5. 以うとは形式，构成相当于主题的成分，表示对意外事实的发现或提起。

①昨日まで元気だった彼が死のうとは。／他到昨天还好好的，竟死了？！②それが彼の最後の談笑になろうとは二人は気づくはずもなかった。／这二人当时不可能察觉这会是他最后的谈笑。

6. 以うとする形式主要接于非意志动词后（其他情况见2），表示即将出现的状态。

①数日來の暖かさで，梅の花が今にも開こうとしている。／由于连日来的温暖，梅花含苞欲放了。②あまり乱獲した結果，あらゆる珍しい鳥類は今，日本から姿を隠そうとしている。／由于过度捕杀，结果所有珍稀鸟类如今在日本几乎绝迹。③お医者さんが駆けつけた時には，病人はもう息を引き取ろうとしました。／等医生赶到的时候，病人已经奄奄一息了。

【参考】1. 金田一春彦认为终止形（よ）う直接表示说者的陈述态度，近于终助词，和连体形（よ）う不同。

2. 现代日语新出现了助动词だらう、でしょう、であろう，它意念单一，又可接于任何词下。这样，（よ）う的推量用法逐步让位于だらう。如

“雨になろう→雨になるだろう／要下雨吧?”、“暑かろう→暑いだろう／热吧?”，而意志用法仍用（よ）う，如“あいつを殺してやろう／我要把他干掉。～殺してやるだろう／会把他杀掉的吧?”

3. う由文言推量助动词む经辅音脱落而成，形成于院政时代。先于よう。

⇒よう。

うえ（上） 〈形式名词〉

【接续】1. 接各种活用词的连体形后。

①値段が安い上に、品質がすぐれている。／价格便宜，而且质量优良。②タンクは外からの侵攻を防ぐ上で持つ力が大きい。／坦克在阻止外部攻击方面有很大威力。③見た上で決める。／看过之后再决定。④トラクターは農業を発展させる上で、多く貢献している。／拖拉机在发展农业上作出了很大贡献。

2. 接格助词の後。

①そんなことは百も承知の上で取り組んだのである。／是在对这种情况有充分认识的基础上着手的。

△常后续は、に、で、构成うへは、うへで、うへに等。

【用法】1. 接续助词用法。

1) 表示既定条件，后项以此作出否定性判断。近于からには。常用形式为うへは。

①法律問題であるうへは、裁判には大統領といえども介入できない。／既然是法律问题，审判虽然是总统也不能介入。②こっちのねらいが向こうに見られた上はしかたがない。／既然人家知道了我们的用意，也就没办法了。③かくなる上は是非もない。／既然如此，没有办法了。

2) 前项是后项的基础、条件等。常用形式为うへ、うへで。

①会談の日程は最後の詰めを行った上、二十日夕刻、日米で同時に発表された。／会谈日程经最终议定后，于二十日傍晚在日米同时发表了。②苦労はもとより承知の上で、太平洋の横断に挑んだ。／事先作好了吃苦的精神准备，毅然开始了横渡太平洋。③この件については向こうの意向を聞いた上で、最終的な判断をしたい。／关于这件事，想先听一



听对方的意见,然后作最后决定。

3) 表示追加,补充类同的内容(均肯定或均否定)。

①ひどい日照りになった上に山火までおそってきた。／严重干旱不说,又有山火袭来。②首を絞められたうえ胸を刺されて死んだらしい。／象是被勒住颈部之后又被刺了胸部而死的。③才能があるうえ勤勉である人は科学者になりやすい。／既有才又勤奋的人很容易成为科学家。④もうこの上申し上げることはありません。／再没什么告诉您的了。

2. 形式名词用法。表示问题的范围。

①計算の上では間違いはない。／计算上没有差错。②試験の上であまり生徒を困らせない方がのぞましい。／最好不要在考试上过分难为学生。③漢字は日中両国を結ばせる上で大いに役立っている。／汉字对于连结日中两国起着很大作用。④生活の上の苦勞。／生活上的磨难。

3. 方位名词。表示物体的上方,处于某状态的物体的上方。通常都带有连体修饰语(其中例④、⑤的修饰语兼有连用修饰语的性质)。

①テーブルの上に花がおいてある。／桌上放着鲜花。②大きい上に小さいのをのせて下さい。／请把小的放到大の上。③子供たちが遊んでいる上をチョウチョウが飛んでいる。／蝴蝶在孩子们玩耍处的上方飞舞着。④七階から(或:より)上は事務所になっている。／从七楼以上是办事处。⑤地表から100キロうえを人工衛星が回っている。／人造卫星在离地面一百公里处旋转。

**受身の助動詞** ウケミノジョドウシ 被动态助动词

【性质】助动词之一。所属词有れる、られる。被动助动词表示上接动词的动作不是由该动作主主动完成,而是在直接或间接地受到外界影响的条件下被动完成。

被动助动词的名称很多,如,逆用動詞(中根淑)、被動言(谷千生)、被動詞(高津鍬三郎)、受身(大槻文彦)、被役相(三矢重松)、被動(松下大三郎)等。其中“受身”使用最普遍,而在我国直接用“被动”一词,可看作是“受身”“被動”的译词。

被动助动词用来构成被动态动词。被动态动词和原动词在格关系上发

生逆变化,因此,完全改变了原句的句子结构。例:

親が子供を叱る。／父母叱责孩子。

子供が親に叱られる。／孩子被父母叱责。

被动态改变句中格关系时不只在动作主和直接对象之间发生,有时,动作主和直接对象的所有物之间、间接对象、受害人之间也发生格关系的变化。参见“受動態”项。

被动态助动词就其性质而言,表示动作关系的“接尾词”,因此,不表示动作的状态。状态动词等都不能后接被动态助词。例:

※有られる、※見えられる、※聞こえられる、※要られる、※向かれる、※富まれる、※似合われる、※聳えられる。

不过,只要是动作性动词,自他动词都可以后续被动助动词构成被动态。这和英语中只有他动词构成被动态的情况完全不同。因此,自动词也可以构成被动态动词,可以说是日语动词的一大特征。

【诸说】山田孝雄认为れる、られる是表示属性的复词尾,是用言的一部分,相当于用言的词尾;桥本进吉虽然把れる、られる归于助动词里,但也指出过它们和接尾词的类似性;后来,时枝诚记根据其接续、活用、意义等方面和动词性接尾词相同的特点,把它们看作是接尾词。

#### 受身の表現 ウケミノヒョウゲン 被动表达法

【性质】表示接受外来的动作的表达法。

通常伴随着受到直接或间接的不利影响的因素。但有时也可表示有利影响。

①犯人は警官に射殺された。(直接,不利)／犯人被警察击毙。②日記を他人に読まれてかんかん怒っている。(间接,不利)／被别人偷看了日记,正在大发脾气。③負うた子に教えられて浅瀬を渡る。(谚语)(间接、有利)／有时也要向比自己经验少的人学习。

主动和被动的选择在于着眼点的不同。如例①,如着眼点在“警官”,可以改用主动句“警官は犯人を射殺した”。

表示进行了某项事情的被动用法过去日语中通常不用,现在比较常用。这类被动句通常没有利或不利的语感。

①記念切手が発行された。／发行了纪念邮票。

【形式】 1. 用各种被动句（最主要的是～れる、られる形式）表示。参见“受身文”项。

2. 武士用语中用使役形式表示被动。（武士精神要求只能主动不能被动）

①敵に破らせたり。／被敌人所破。

3. 中相动词和部分表示接受动作的他动词。

①犯人は捜査員に見つかった。／犯人被侦察员发现了。②いろいろ教わってありがとうございました。／我学到很多东西，谢谢你了。③並木に頭を強く打った。／头被街树猛撞了一下。④野党から強い非難を受けている。／受到了在野党的强烈谴责。⑤豪雨で大きな被害をこうむった。／因暴雨而蒙受很大损失。

**受身文** ウケミブン 被动句

根据主谓语的关系即态所划分的句子种类之一。和主动句（能動文）相对，指以被动态动词为谓语的句子。其主语是该句动词所表示的动作目标或承受者。日语的被动句以被动助动词为特征。

①与党は野党にその短所をつかまれた。／执政党被在野党抓住了弱点。②会議が開かれ、多くの議題が論議された。／会议开幕，商议了很多议题。

【句子结构】 1. 关于谓语。谓语动词必须是非状态动词。

①私は友達から散歩に誘われた。（动作动词）／我被朋友邀请去散步。②花子は一晩中赤ん坊に泣かれた。（动作动词）／花子被孩子哭闹了一夜。③※東京から富士山の頂が見えられた。（状态动词）④※母は花子に似られない。（状态动词）

2. 关于补语。补语记号有格助词に、から、によって、で四种，要根据主语的性质和补语的性质区别使用。见66页图表。

3. 关于主语。原则上主语应是活动体词，但现代日语中无情物词作被动句主语的现象已很普遍。主语以は、が为记号。

被动句的主语由主动句的某种成分转成。此转换类别是被动句分类的重要根据。

1) 被动句主语由主动句的宾语充当。此种被动句称作“直接对象

<div>主語 内容</div> <div>補語 内容</div>	有 情 物	无 情 物
動作主	<p>1. 一般用に表示。句中若有可解释为主语的所有物的宾语（例②），则只能用に。</p> <p>①兄はお父さんに叱られた。／哥哥被爸爸申斥了。②僕はスリに財布を取られた。／我被小偷偷了钱包。</p> <p>2. 补语可解释为宾语的起点，也可用から（例①）。此外，句中有其他に格时要用から（例②）。</p> <p>①僕は友達からプレゼントをされた。／我得到朋友的礼物。②私は田中さんから皆に紹介された。／我被田中介绍给大家。</p>	<p>1. 客观描写用によつて。</p> <p>①あの国では有志によって政治の現代化が進められている。／在那个国家里由有识之士推进政治的现代化。</p> <p>2. 描写带有不利语感，可用に。</p> <p>①僕が選ぼうとしたものが，他人に選ばれていってしまった。／我想选的叫别人选去了。</p>
材料工具	<p>一般用に或で表示，如用によつて则有用词不当之感。</p> <p>①猫がマフラーで（或に）包まれている。／猫用围巾包着。猫被～。</p>	<p>同左。</p> <p>①マンションが緑で（或に）おおわれている。／公寓为树木所覆盖。</p>
手段原因	<p>1. 一般用に、によって、で表示。其中によって有强调意义。</p> <p>①人間は大自然に（によって、で）育てられる。／人类被大自然所养育。</p> <p>②私は子供の成長に（によって、で）大いに慰められた。／我因孩子的成长得到了极大的安慰。</p> <p>2. 如果补语有起点意义也可用から。</p> <p>①私はこの絵から大いに空想をかきたてられた。／这幅画使我神驰遐想</p>	<p>1. 物的場合多用に或で。</p> <p>①富士山は真っ白な雪に（で）おおわれている。／富士山被皑皑白雪所覆盖。</p> <p>2. 事の場合多用によつて。</p> <p>①紛争は話合によつて解決された。／纠纷通过对话获得了解决。</p>



の受動態”。

①次郎が太郎にいじめられる。(←太郎が次郎をいじめる。)/次郎受太郎的欺侮。②議案が委員会によって採択された。(←委員会が議案を採択した。)/议案由委员会通过了。

△主动句的宾语为非人名词时,补语有时不出现在被动句中,被动句谓语表示结果状态。此种被动句称作“非情の受身”。

①議案が採択された。(←誰かが議案を採択した。)/通过了议案。  
②都心に高層ビルが立てられた。(←誰かが都心に高層ビルを立てた。)/在市中心建了高层大楼。

2) 被动句的主语由主动句的宾语的定语充当,称作“持ち主の受動態”。

①次郎が太郎に足をけられた。(←太郎が次郎の足をけった。)/次郎被太郎踢了一脚。②次郎が子供に万年筆を壊された。(←子供が次郎の万年筆を壊した。)/次郎的自来水笔让孩子弄坏了。

3) 被动句的主语由主动句的补格充当,称作“あい方の受身”。

①太郎は花子にハンカチをうばわれた。(←花子が太郎からハンカチをうばった。)/太郎让花子抢了手帕。②太郎は花子に送金を強要された。(←花子が太郎に送金を強要した。)/太郎被迫给花子寄钱了。③太郎は花子に離婚された。(←花子が太郎と離婚した。)/花子要太郎和她离了婚。

4) 被动句的主语,由主动句以外的人名词充当,称作“第三者の受動態”“迷惑の受身”(尤指谓语为自动词者)。

①観光者がにわか雨にふられた。(←にわか雨が降った。)/游客们被阵雨淋了。②太郎が犯人に息子を殺された。(←犯人が息子を殺した。)/太郎的儿子被罪犯杀害了。

うち 〈形式名词〉

【接续】1. 接于この类连体词、时间词(～の)、数量词(～の)等后。

2. 接于用言或助动词连体形后。

【意义】1. 表示进行或准备进行某动作、行为的期限。

①働けるうちに大いに働いておこう。/趁能干的时候多干(挣)

吧。②朝のうちに行ってこよう。／趁着早晨去一趟吧。③近いうちにお訪ねいたします。／近几天内拜访您。

## 2. 表示后项的伴随动作的过程。

①私は読んでいるうちに涙ぐんでしまった。／我读着读着，泪水涌了上来。②北海道行きを計画したが，ちゅうちょするうちに寒くなった。／计划去北海道，在踌躇之间天气转冷了。

3. 以～ない（ぬ）うちの形式表示后项动作在前项未发生的时间内进行。

①見つからないうちに早く逃げろ。／趁着未被发觉，快逃吧。②雀がなかぬうちに起きてたんぼへ出かけた。／未等麻雀叫，就起床下田了。

△～ないうちに～表示后项动作在不知何时、不知能否发生的前项动作发生之前进行。如前项动作的发生是确定的，则用“～前に”。试比较：

①お母さんが帰らないうちにテレビを見よう。／趁妈妈还没有回来的时候看电视吧。②お母さんが帰る前にテレビを見よう。／在妈妈回来之前看电视吧。

## 4. 表示时间、空间、数量等的范围。

①私は一年のうちで3か月ぐらいしか家にいない。／我一年之中大约只有三个月在家。②十人のうち三人が来なかった。／十人中有三人没来。③子供のうち次男が一番丈夫だ。／孩子中数老二最结实。④このうちから選ぶ。／从这里面挑选。⑤一度アンケートもしたが，2 611人の人に出したうち回答してきたのが1 356人で過半数なんです。／搞了一次意见征询，在发出的2 611张征询卡中有1 356张作了回答，超过半数。

【参考】佐久间鼎认为“うち”是有关时间的吸着语。

**打消の助動詞** ウチケシノジョドウシ 否定助动词

【性质】助动词的一种。又称“否定の助動詞”。指构成否定陈述的助动词。所属词有ない、ぬ（ん）、ず（文语）。まい也表示否定，但因以推量陈述为主，否定只是其叙述内容，所以可看作是推量助动词。否定助动词均接于动词和助动词的未然形后。

否定陈述以肯定或否定陈述为其前提。因为否定句常用于文章和发

言的答句，难以出现于文章和发言的开始。如，“寒くありません”一句作“寒いのですか”答句时，才能成为实用的句子。单说“寒くありませんね。”则意味着“寒いだろうと思っていたが，そうではない。”而“そうでない”仍以“寒いだろう”为前提。

因为否定助动词表示一种否定的陈述方式，就其叙述内容可以是否定的，也可以是肯定的。因而，除用来表示否定判断外，常用来表示各种陈述语气。主要用法如下：

1. 以双重否定形式表示义务、不得已、委婉判断等。

①学齡児童は義務教育を受けなければならない。／学龄儿童必须受义务教育。②知らないわけではない。／哪能不知道。③そうせざるをえない。／不能不那样做。

2. 表示强调、肯定的语气。见于固定词中。

①負けず嫌い。／倔强。②けしからん。／蛮不讲理的、下流的。③とんでもない。／出人意料。

3. 用上升调表示疑问、劝诱等。

①そろそろ寝ない？／早点睡觉好吗？②一度試してみませんか？／不试一试吗？

【诸说】ない一词有两种用法。一种是表示事物的非存在，与存在动词ある相对。另一种是表示动作、性质、状态的否定，与终止形的肯定陈述（零记号）相对。其中，接于动词未然形后的ない，和上接词结合为“一词”，接于形容词、形容动词连用形后的ない，和上接词构成松散的活用词组（以可加入は、も、さえ等为证）。由于这个原因，桥本语法、教学语法只把接于动词和动词型助动词未然形后的看作是否定助动词，其余的都看作是形容词，和表示非存在的独立词ない相同。时枝语法则把所有表示否定意义的ない都看作是否定助动词。山田语法不承认助动词，因此把ない看作是表示否定陈述的复词尾。

## え      工

## え 〈终助词〉

1. 接名词后表示呼唤。主要用于江戸时代，现已不用。

①旦那さんえ。／老爷。②鈴木さんえ。／鈴木先生。③もしえ。／喂！

2. 接于疑问词（句）加强疑问语气。主要用于关西地区老妇之间。关东地区已不用。可接句末のか、た、です、だ、ます等之后。

①それは何ですえ。／那是什么？②どう（だ）え。／怎么样？③まあ、そうかえ。さぞうれいだろうね。／哟，是吗，一定很高兴吧？④何と言ったえ。／说了什么？⑤なぜでございますえ。／为什么呢？

3. 用于命令、感叹句后缓和语气。

①だまっていろえ。／住嘴！②食べろえ。／吃啊。③そんなこと言うなえ。／不要这样说！

【参考】另有感叹词え，表示应诺（例①）、怀疑（例②）、惊叹（例③）等。

①え，そうです。／对，是的。②え，何ですって？／什么？你说什么？③え，さいふがないって？／喂，（你说）钱包没了？

### 詠嘆表現 エイタンヒョウゲン 感叹表达法

【性质】指直接表达说者的感动、感叹的语言形式。亦称“感動表現”。人的感情有两种表现形式，其一是自言自语，基本上没有传达意图。

①やれやれ，くたびれた。／咳！累死我了！②ああ，まただめか。／嗨，还是不行。

其二是向对方诉说，有明显的传达意图。

①うん，よく分っているよ。／喂，我很清楚。②まあ，よくお似合いですこと。／呀，真合身啊！

以上两种情况均以说者为中心，这一点区别于疑问、命令等表达法。感叹表达法是最原始的表达方法，有多种形式。如：内容未分化的感叹



词句，稍有分化的唤体句，叙述句后续感叹终助词等大小不等的句子。

感叹表达法的形式与说者的年龄、性别有很大关系。如“あら”等感叹词、“こと”等终助词只用于女性，而“ほう”等感叹词、“ぞ”等终助词只用于男性，“おお、みごとなものじゃ”之类是老人专用的。

【形式】1. 用感叹词表示。这是感情未分化的语言形式，反映刹那间的感觉，语气强烈、紧迫。

①チェッ。②キューッ。③プアァー。④おお。⑤ほう。⑥ふうん。  
⑦へえ。

2. 实词构成的独词句。此种形式的语气也强烈紧迫，而且反映最简单的客观内容。

①痛っ！／疼！②うまい！／地道！好吃！③野郎！／小子！④いいわね！／好啊！⑤いやだあ！／我不干！⑥おみごと！／真带劲儿！⑦大変！／不得了啦！⑧しまった！／糟了！

3. 山田语法的唤体句，即“修饰语＋体言＋终助词”形式。画线部分可以略去。因体言通常是要有后续成分的，否则不能结句，这就使得唤体句带有余韵。诗歌等最常用这一形式。

①きれいな花。／美丽的花儿。②きらきと輝る星よ。／闪闪发亮的星星啊！③妹が背にねぶる童の現無きてにさえめぐる風車かな。

（和歌）／孩儿妻子背上睡，小手松软向下垂，手中纸风车仍在转，任凭微风轻轻吹。

4. 由叙述句直接或后续终助词及其他表示感叹的词语而成。

①火事だ！／失火啦！②いいな。／真好啊。③すばらしい眺めだねえ。／景致真好啊！④中学生になるところも違うものか。／一上初中变化竟这么大呀！⑤なんと、顔色一つ変えないではないか。／你瞧，他面不改色！

5. 句子成分的倒装、省略、反复等形式都可能产生感叹的效果。

①飛んでしまった，一羽の小鳥が。／飞走了，一只小鸟！②また失敗するとは。／又是失败，真是的！③勝った，勝った。／赢了！赢了！

6. 以上各种形式经常配合使用，以加强感叹语气。有时感叹词也移至句末。（例④）。

①あら、あの顔。／哟，看那脸！②ああ，秋も終わったんだなあ。／啊，秋天也过去啦！③えらいぞ，お前は。／了不起啊，你！④ ひどいことになったなあ，やれやれ。／这可糟了，哎呀！

7. 句重音、文言中的系结结构也可能产生感叹语气。

①やーっぱりそうだ。／果真是这样！②こここそ我が家なれ。／此正为吾家也。

8. 特定句式也能表示感叹。

①なんといい天気だろう。／多么好的天气啊！②どんなに悲しんだことか。／多么悲痛啊！③あの人ときたら，何でも忘れちゃうんだもの。／他呀，总是丢三落四的。

える（得る） 〈动词〉

【活用】下一段活用。由文语下二段动词“得”转成。连体形和终止形常用文语下二段连体形うる，语气更郑重。实际运用中这两个活用各有较常用的活用形，如：ありえない（未然）、ありえて（连用）、ありうるのだ（连体）、ありうるという（终止）、ありうれば（假定。不常用）、ありえよう（推量）。无命令形。

【用法】1. 实义动词用法。

1) “得、得到、得以、获得”。

①利益をうる。／获利。②要領をえる。／得要领。有章法。

2) 以ことをえる，或“文言连体形+をえる”形式，表示得以实现、能够作到。

①地元の人人の助けで始めて生還することをえた。／由于当地人们的帮助才得以生还。②老人は一生涯病気無きをえたのを労働のお陰にした。／老人把能够作到一生不得病归于劳动。

3) 构成“动词未然形+ざるをえない”形式，表示“不得不”。

①不満を言わざるを得なかったが，我慢していた。／不得不发了牢骚，但还是忍耐了。②譲歩せざるを得ない窮地に追いこまれた。／被逼到不得不作出让步的窘境。

2. 接尾辞用法。接于动作动词连用形后，表示能力、可能性。ありうる、ありえない已成固定词组。不能用于形状动词，如※聳えうる、※似

える”。

①どんなことでもありうるのが世の中だ。／社会就是无奇不有。②そんなことはありえない。／不可能有那种事。③法則は常識以外のものでありえない。／法则不可能是常识以外的东西。④日本人の性向は儒教のみを以てして説明しえない。／日本人的性格仅拿儒教是无法解释的。⑤自分は木造の橋梁を松江のあらゆる川の上に見いだしたことをうれしく思う。／我能在松江的所有河流上发现木造的桥梁而感到高兴。

#### 婉曲表現 エンキョクヒョウゲン 婉曲表达法

以委婉的语气表示判断、命令、否定、原因等种种内容的表达法称婉曲表达法。用此表达法可以避免唐突，使交际圆滑，增强表达效果，等等。另外，这也是日语的一种特征，是难点之一。使用范围广泛，从形式上可归纳为以下几种情况。

1. 借助比况、推量助动词ようだ、らしい、みたいだ、ふうだ来回避若用直接判断可能产生的武断语气。

①さっそく電話をおかけしましたが、ご不在のようでした。／我赶紧给您打了电话，但是您不在。②心配事でもあるふうだね。／你好象有心事。③君は左ききらしいね。／你是左撇子呀。④あんた，お酒を飲んだみたいね。／你好象喝了酒。

2. 借用劝诱、请求等表达法来表示命令。

①旅行はやめましょう。／旅行不要搞了吧。②今日は休んだ方がいいと思う。／我看今天还是休息好。

3. 用双重否定来表示判断、愿望、命令等。

①お宅へ伺いたくないわけでもありませんが，一身上の都合でつい失礼いたしました。／本想拜访贵府，只因私事缠身，终于失礼了。②今度の旅行は楽しくないこともないが，費用が心配でならない。／这次旅游倒是不错，就是费用叫人发愁。③必ず最新技術を導入しないといけない。／非引进最新技术不成。

4. 用否定或不定形式来表示判断。

①実用という点から見て，どうかと思う。（よくない）／从实用这一点上看来，我觉得有些……。②こうなったからには，謝るほかない。

／既然到了这一地步，也只好道歉。（謝るべきだ）③雨でも降るんじゃないの？／是不是下雨了？

5. 用有关感觉、语言、思维的动词或被动态等表示判断。

①君の所以と見られるが、どういうわけなのか。／看来是你干的，是怎么回事？②他殺と考えられる死体を発見した。／发现了可能是他杀的尸体。③子供の楽書と見えますが、大変なところがあります。／看起来象小孩儿乱写的，大有问题。④私には分かりかねます。／我不懂。

6. 用终助词が、けれども、て等增加委婉的语气。

①私は和子さんをたずねたいですが。／我想找和子，（可以吗？或：你能帮助我吗？）。②それはそうですけれども。／那倒是，不过……。

7. 避免使用的忌讳语。

なくなる（避免用“死ぬ”）、お手洗い（便所）。

△以上各种形式可综合运用。

①～していただけないかしら。／请您能否……。②～していただけるとありがたいですが。／如果您能……我就感谢您。③～でないかと思うんですが。／我想是不是……。④～ということが言えるのではないか。／是否可以说……。⑤大変結構だと思うんですが。／我觉得很好。

遠向態 エンコウタイ 远向体

动作体的一种。指～ていく形式的一种用法。见该项。

遠称 エンショウ 远称

【解释】第三人称的一种。表示在空间距离和心理距离方面既远离说（写）者又远离听（读）者，或者和二者均无关联的事物。表示远称的代词有：あのかた、あの人、あれ、あそこ、あちら、あっち等，再加上ああ（副词）、あの（连体词）、あんな（形容动词），就构成こそあどのあ系列。

【用法】1. 场面用法。指代距离说者和听者都较远或无直接联系的事物、时间、场所、状态等。

①ハンターはあっちの方角に行ったらしい。／猎人好象朝那边去了。②あそこに見える山はなんですか。／那边那座山是什么山？③かれみたいにああのんびりしていても困るね。／象他那般懒懒散散也不行。



啊。

## 2. 文脉用法。

1) 指说听或写读双方都了解的事物等。与“中称”的文脉用法3) 相对。

①「あれ，どうした？」「ああ，あのこと。あれはもうとっくに片付けたよ。」／“那事儿怎么办了？”“噢，那件事儿。那早已处理了。”

②皆が別れてからもう5年になりますね。あの時君も別れを惜しんでたまらなかったね。／自从大家分别后已经5年了。那时候你也是依依不舍呀。③「君と一緒にあそこへ行ったことがあるんじゃないですか。松島ですよ。」「松島，あそこなら何度も行ったことがあるんですよ。」／“不是和你一起到那儿去过吗？就是松岛啊。”“松岛，那个地方嘛已经去过好多次了。”

2) 众所周知的事物等用远称。如用中称则有不予承认的语气。

①「トルストイという作家知っている？」「あの『戦争と和平』という小説の作者でしたね。知っているとも。」／“托尔斯泰这个作家你知道吗？”“是那部叫《战争与和平》的小说的作者吧？当然知道。”

# お 才

## おいそれと 〈陈述副词〉

表示“莽撞、轻率地”或“轻易、简单地”之意。通常多与否定形式呼应（例②～⑤），表示不轻易答应、不容易作到、不立即实行等。

①おいそれと迎いの自動車へ乗って行ってよいかどうか判断に迷った。／要不要就这么乘坐来接的车去，拿不定主意了。②おいそれとできる仕事ではない。／不是件轻而易举的工作。③悪い癖はおいそれと捨て去れるものではありません。／坏毛病不是一朝一夕就能丢掉的。④縁談というものはおいそれとは行かない。／说媒可不是那么简单的。⑤いくら頼んでも彼はおいそれと教えてくれない。／无论怎么百般请求，他都不轻易告诉我。

## お～いたす

动词的谦让语形式之一。中间插入サ变动词以外的动词的连用形以及少数サ变动词的词干。

接在与对方有关的自己（一方）的动作行为的动词，表示该动作、行为为对方而作。谦让程度高于“お～する”形式。

①お持ちいたしましょう。／我为您拿吧。②大臣にお会いたしたいのですが、ご在宅でいらっしゃいますか。／我想面见大臣，现在在府内吗？

某些常用的サ变动词词干前的“お”也可略去，如“失礼いたします。”

⇒お～する、ご～いたす

## おいで（御出で） 〈词组〉

由接头词お和文言下二段动词いつ的连用形いで构成。用法可归结为：以连用形いで为核心构成固定形式お～です、お～なさる、お～くださる、お～になる、お～だ，作“行く、来る、居る”等的尊敬语。常以おいで作命令形，等于おいでなさい，常用于儿童。

1. “行く、来る、居る”的尊敬语，敬意程度同いらっしゃる。

①終戦のころは，どこにおいででしたか。／停战时，你在哪儿了？  
②よくおいで下さいました。／欢迎你来。③どちらへおいでになりますか。／您到哪儿去？

2. 用于～て之后，作“て来る、いく、いる”的尊敬语。

①お前さん，何だってこんなに遅く帰ってお出でになったのかね。／你干吗回来得这么晚啊？②僕をどこまで連れてお出でになるというのか。／您要把我带到多远的地方去呢？③黙っておいで。／别说了。少说点儿。④はい，夫人は時計のように正確に寝起きしておいでです。／是的，夫人象钟表一样准时就寝和起床。⑤代助さん，あなたは不断から私を馬鹿にして御出でなさる。／代助君，你平常一直看不起我。

【参考】该词用于正式场合，是纯正的尊敬语。如：“松平大使もおいでになりました。／松平大使也光临了。”而平常也可作为比较随和，亲热的说法来用，见以上大部分例句。

応答表現 オウトウヒョウゲン 应答表达法

【性质】以肯定或否定态度对对方的话语施以随声附和、追问，以利使对方的谈话继续下去的表达法。

应答只出现于会话。向对方不断传送信息，表明对继续发展对话的愿望，是圆满地进行对话、会话的必要条件，在日语中尤其如此。同时，还要根据上下亲疏关系区别使用有关词语才能不致失误。

应答只表示语气，必要时可补充具体内容，例如：「今日行きますか」「はい，行きます」

【用法】应答有的以判断为目的，主要以はい、いいえ表示；有的是对对方呼唤的响应，有ええ、はい、うん等形式；有的表示对对方的话语是否理解、赞同，如そうです、そうでもないんですよ、ほんとね、しょうちしました、ちがう等；有的表示对对方的话不理解或有疑问，如  
はあ？ え？ そう？ ほんとう？

应答通常以要求表达法为前提。因要求性质的不同，应答可分为以下类型。

以判断的疑问句为前提；

①「行きますか」「はい、行きます」／“去吗？”“是的，去。”

以叙述句为前提：

①「隣のお子さんが大学に受かったとき。」「なるほど，先生の子だからね。」／“听说邻居的孩子考上大学了。”“当然了，老师家的孩子嘛！”

以命令句为前提：

①「十分金をやって，持ってくるようにしろ」「はい，必ずそうします。」／“给他足够的钱，把（它）弄来。”“是，一定照办。”

以推量、意志表达的形式为前提：

①「あそこで休みましょう」「はい，そうしましょう」／“在那儿休息吧。”“那好，休息吧。”②「それならつれてきた方がよかろう。」「そうですね。」／“那还是领来好吧。”“是啊。”③「遠慮なく言ってみるかい。」「はい。」／“不必客气，只管说。”“好。”

【形式】1. 用表示肯定的感叹词。只肯定对方的态度，实际内容可能是否定的。如：ああ、うん、え、ええ、おう、はい、へい（商人、佣人等用语）、はあ、はっ、よし等。通常这些词要发音响亮。

①そう，よくやったものだ。／对呀，干的不错。②はっ，かしこまりました。／是，明白了。③「お兄さん，<sup>すもう</sup>角力の一つ取ってみましょう。」「よし。」“哥，摔一跤看看呀。”“好咧！”

△ええ、はい、うん用低声说出时只作应声用，未必表示肯定。

2. 用否定的感叹词いいえ、否、いや、なあに等。这些词通常发音含糊，声音也小。

①いや，かまいません。／不，没关系。②なあに，大したことはないよ。／哪儿的话呢，没啥大不了的事儿。

3. 用指示性词组表示。

①「私なんかまだ足元にも及びません。」「そんなことはないよ。」／“我这样的，还不如你一角。”“哪里哪里。”

还有そうです、そうですか、そうかもしれない、そうじゃない。

4. 其他



①ありがとう。／谢谢。②どうぞ。／请。③なるほど。／的确。确实。

还有ほんとうね、わかった、いいわよ、しょうちしました、しらない、ちがう。

おえる（終える）

下一段活用。

1. 实义用法。“结束、完成、完了”。

①これで私の話を終えます。(或：終わります)／就此结束我的讲话。②いやな宿題だから早く終えたい。(※早く終わりたい)／真是讨厌的作业，我要快点弄完它。

2. 接尾辞用法。接他动词连用形后，表示该动作的结束或完成。也可用おわる代替，但おわる表示主体主动予以结束的语气较弱或没有。

①妙子はうまそうにコーヒーをのみおえた。／妙子很香甜地把咖啡喝完了。

おおせる（果せる） 〈接尾词〉

下一段活用。接动词（型助动词）的连用形后，构成一种完了、完成体，表示象预期的那样达到、完成。

①そう簡単にやり果せるものではない。／不是那么容易搞成的。  
②それは果して私達を本当に満足させ果せるものだろうか。／那难道还能使我们真正得到满足吗？

大槻文法 オオツキブンポウ 大槻语法

由大槻文彦（1847—1928）创立的语法学说。是现代日语语法的鼻祖，全部理论集中反映在其「広日本文典」中。

大槻综合日本传统语法和西方语法理论，创立了自己的现代日语语法理论，故有“和洋折中语法”之称。

大槻语法把词划分为名词、动词、形容词、助动词、副词、接续词、てにをは、感叹词八个词类。这个模型至今没有多大变化。名词和体言同义，将代词、数词连同固有名词、普通名词一起作名词的次类。大槻语法还指出了接续词和起接续作用的てにをは之间的区别，认为前者只接续前后词句，而后者除此之外还有增加和改变语义的作用。

“用言”一词作为动词和形容词的全称或作为动词的别称而用。明确指出日语形容词和印欧语形容词的区别：日语形容词有活用，能直接作谓语，因而与动词相近，故称为“形容动词”。不设形容动词，将其视之为副词和动词的结合，如：静かなり←静かにあり，堂堂たり←堂堂とあり，多かり←多くあり。

助动词的分类很详细，有所相（见另项）、势相（见另项）、使役相、敬相、指定、否定、过去、未来（む）、推量（らむ、めり、まし、らし）、咏叹（なり）、比况（ごとし）。助词分为第一类（接体言、用言和其他助词后）、第二类（只接用言后）、第三类（接体言和其他助词后）、第四类（接用言和其他助词后）共四类。

句子成分设主语、说明语（即谓语）、宾语（風は船を岸に寄せた）、修饰语（包括独立语）。

没有句法方面的系统论述，这主要是因为他的语法主要是为编写词典而写的。可以说，迄今为止的日语语法均以词法为主，即始于大槻文彦。

#### おかげ 〈形式名词〉

【形式名词用法】一般构成～おかげで、おかげだ形式，表示直接造成某种结果的具体的条件或原因，其内容多数是“受益”的。用于消极内容时具有埋怨、嘲讽、开玩笑的语气，可用“せい”代替。

①何年間も日本に住んでいたおかげで精神的に日本人になりきっている。／由于在日本住了多年，思考方式已经日本人化了。②それはあなたのおかげです。／这多亏你。（或：这都怪你）③お前のおかげだ，父から大目玉を食わされたのは。／都怪你，我挨了爸爸的训斥。

【接续词性用法】表示由前项产生的结果。无形式名词用法那样的褒贬意义。

①その時から新政策が実行された。おかげで農村事情が大きく改善された。／从那时起实施新政策，于是农村情况大有好转。

#### 【寒暄语用法】

①「お元気ですか」「おかげさまで」／“您好吗？”“托您的福。”②おかげで，立派な仕事が出来ました。／托您的福份，我工作有了成绩。

【参考】たあ和おかげ和せい “ため”也表示条件或原因,但与“おかげ”相比没有那样的消极或积极的语气因素。“せい”只用于消极。

おきに 〈词组〉

接于数词后,表示空间、时间或同质个体的等距离相隔。

①三メートルおきに木を植える。／每隔三米栽一棵树。②6時間おきに薬を飲み,8時間おきに注射をする。／每六小时服(一次)药,每八小时注射(一次)。③三人おきに当てて朗読させる。／每隔三个人点一个人的名,让他朗读。

【参考】ごとに和おきに的区别。前者是一定量的等量划分,后者是一定序列的等量间隔。试比较:

オリンピックは三年おき,つまり四年ごとに開催される。／奥林匹克每隔三年即每四年举行一次。

お～くださる

动词的敬语形式之一。中间插入サ变动词以外的动词的连用形(例③除外)。表示命令(例①)、劝说(例②)、请求(例③)、受惠(例④)等。中心意思是:话题人物(第二、三人称)的动作行为对说话人有益处或有关联。敬意程度高于“お～なさる”。

①しばらくお待ち下さい。／请稍等。②お氣にかけ下さるな。／请不要放在心上。③では,事務をお料理くださるよう申し出ましょう。／那么,我请求他为您料理事务吧。④この自動車は,三年前隣のお医者さんがおゆずり下さいました。／这辆汽车是三年前住邻居的医生转让(卖)给我的。

词例:会い、選り、書き、気づかい、配り、越し、探し、立ち、取り、乗り、待ち、見送り、迎え、持ち、忘れ。

个别完全日语化的汉源サ变动词等也可用于这一形式。例:约束、料理、返事、留守居。

⇒お～くださる、くださる

送り仮名 オクリガナ 送假名

【解释】由于日语混用汉字和假名,一个训读词采用混用标写法,就必然产生哪一部分用汉字、哪一部分用假名书写的问题。一个词中写于汉字之

后的假名称为送假名或“<sup>そえ</sup>副仮名、捨て仮名”。原则上，词的核心部分（如词干）用汉字标写，次要部分（如活用词尾）用假名标写。因此，“人びと、編さん”中的假名并不是送假名。适当的送假名有利于词的辨认和文章的阅读。如“行なう”和“行く”、“細い”和“細かい”、“生物”和“生き物”只有根据送假名才能区分。

送假名产生于古代的汉文训读，是为防止误读而发生、发展的。但是，明治以前都靠个人传授，因人而异。从明治初起，因官报、全国统一教材的需要，有关当局制定了各种适用于文言文的送假名法。战后，日本文部省根据口语文实际提出了“送りがなの付け方”，但实际上公用文送假名少，教材送假名多，报刊居中。出于正字法的需要，日本国语审议会于1958年公布了“送りがなの付け方”，1973年又作了修正。

【假名的送法】下面是上述1973年修正案，内阁告示“送り仮名の付け方”的摘要。

### 1. 单纯词。

#### 1) 有活用的词。

规则(1)。原则：有活用的词（适用于规则(2)者例外）以活用词尾为送假名。例：憤る、生きる、考える、赤い、主だ。

例外：A. 词干以“し”结尾的形容词，自“し”开始为送假名。如：著しい、恋しい。

B. 活用词尾前有“か、やか、らか”的形容动词，自此开始为送假名。如：暖かだ、穏やかだ、柔らかだ。

C. 下列词的送假名如下：明らむ、味わう、哀れむ、愁しむ、教わる、脅かす(おどかす、おびやかす)、食らう、異なる、逆らう、捕まる、群がる、和らぐ、揺する、明るい、危ない、危うい、大きい、小さい、少ない、冷たい、平たい、新ただ、同じだ、盛んだ、平らだ、懇ろだ、惨めだ、哀れだ、幸いだ、幸せだ、巧みだ。

特殊许可：下列词自活用词尾的前一个音节为送假名。例：表わす、著わす、現われる、行なう、断わる、賜わる。

△词干词尾不分的动词送假名如下：着る、寝る、来る。

规则(2)。原则：活用词尾以外的部分包含其他词的词，根据被包含



词的送假名确定其送假名。例：包含动词活用形的：向かう（向く）、押さえる（押す）、勇ましい（勇む）、晴れやかだ（晴れる）、恐ろしい（恐れる）、混じる（混ぜる）、暮らす（暮れる）；包含形容（动）词词干的：重んじる、若やぐ、悲しむ、重たい、憎らしい、古めかしい、細かい、寂しげだ；包含名词的：汗ばむ、先んずる、春めく、男らしい、後ろめたい。

特殊许可：在不会造成误解的前提下，可省去活用词尾以外的部分。例：浮（か）ぶ、生（ま）れる、聞（こ）える、落（と）す、終（わ）る。

△下列词从规则（1）不看作包含括号内的词：荒い（荒れる）、悔しい（悔いる）、恋しい（恋う）。

## 2）无活用的词。

规则（3）。原则：名词（适用于规则（4）者除外）不添送假名。例：月、男、彼、何。

例外：A. 下列词以最后一个音节为送假名：辺り、哀れ、勢い、幾ら、後ろ、傍ら、幸い、幸せ、互い、便り、半ば、情け、斜め、独り、誉れ、自ら、災い。

B. 末尾为“つ”的数词类送假名：一つ、二つ、幾つ等。

规则（4）。原则：由活用词转成的名词按原词确定其送假名。例：①由活用词活用形转成的：動き、恐れ、当たり、向かい、憂い、近く。②添加さ、み、げ构成的：暑さ、正しさ、確かさ、明るみ、惜しげ。

例外：下列词没有送假名：謡、虞、趣、冰、印、頂、帯、畳、卸、煙、恋、志、次、隣、富、耻、話、光、舞、折、係、掛（かかり）、組、肥、並（なみ）、巻、割。

△含有动作意义的仍从原则，不属于例外。如“活字の組みがゆるむ”。

特殊许可：在不能造成误解的前提下，可省去送假名：曇（り）、向（か）い、答（え）。

规则（5）。原则：副词、连体词、接续词以最后音节为送假名。例：必ず、少し、更に、再び、全く、最も；来る、去る、及<sup>きた</sup>び、且つ、但し。

例外：A. 下列词送假名如下：明くる、大いに、直ちに、並びに、若しくは。

B. “又”不标送假名。

C. 包含其他词的副词根据被包含的词的送假名确定其送假名。例：併せて、至って、恐らく、絶えず、例えば、辛うじて、少なくとも、互いに、必ずしも。

## 2. 复合词。

规则(6)。原则：复合词（适用于规则(7)者除外）的送假名根据其构成成分的送假名确定。例：①有活用的词：流れ込む、旅立つ、聞き苦しい、薄暗い、軽軽しい、気軽だ、望み薄だ。②无活用的词：竹馬、後ろ姿、花便り、独り言、雨上がり、夜明かし、預かり金、愚か者、行き帰り、暮らし向き、長生き、苦し紛れ、粘り強さ、休み休み、行く行く、次次、近近。

特别许可。在不能造成误解的前提下可省去部分送假名。例：申(し)込(み)、打(ち)合(わ)せる、聞(き)苦しい、田植(え)、雨上(が)り、売(り)上(げ)、立(ち)居振(る)舞(い)。

规则(7)。下列名词从习惯，不标送假名。①特殊领域用语：取締役、博多織、書留、取引所、振出人、待合室、申込書等。②日常用语：字引、場合、番組、日付、割合、受付、仕立屋等。

3. 附表词（当用汉字音训表的附表所收的熟字训）的送假名法。参见《常用汉字表》。

## お～する

动词的谦让语形式之一。中间插入サ变动词以外的动词的连用形。接在与对方有关的自己（一方）的动作行为后，表示为对方而作该动作行为。

①お送りしますからお待ちください。／我送您，请等着。②弟がお待ちしております。／我弟弟在等着您。

可能形式为お～できる。

①火曜日ごろにはお渡しできるでしょう。／星期二差不多能交给您。

词例：会い、選り、書き、探し、責め、立ち、誓い、取り、願ひ、  
乗り、待ち、見送り、持ち、ゆずり、呼び、祈り。

⇒ご～する

おそらく（恐らく） 〈陈述副词〉

主要和～だろう（でしょう）、～（よ）う、～まい等推量形式呼应，  
表示推测。

①恐らく君は構わないだろう。／想必你不会介意的吧？②恐らく彼は再び日本に帰らないでしょう。／恐怕他不会再回日本了。③恐らく先生も親も承知しますまい。／恐怕老师和家长都不会同意吧。④あんな災害はこれからもう恐らくなかろう。／那样(惨重)的灾害今后大概不会有了。⑤そのことは、恐らく久保君も賛成したであらう。／那件事或许久保君也赞成。⑥それはおそらく恋文ではないかと鶴子にも推量できた。／鶴子也猜度到那说不定是情书。⑦能力主義はおそらく日本の企業が要求する「能力」の開発に役立つかもしれません。／能力主义也许对日本的企业所谋求的「能力」的开发有积极作用。⑧あれは恐らく一昨日の朝のことだったと思います。／我记得那是前天早晨的事。

△推测的语气较弱而断定的语气较强时（特别是后续否定内容时）“だろう、（よ）う”等也可省略。

①おそらくそれはのぞめない。／恐怕那指望不上。②今度の試験はおそらくだめだ。／这次考试大概考糟了。

お～なさる

动词的尊敬语形式之一。中间插入サ变动词以外的动词的连用形，表示对话题人物（二、三人称）的尊敬，多用于和说者没有关连的动作、行为、状态。敬意程度除命令形（属一般用法）外稍高于（ら）れる，稍底于お～になる。

①あんなにお飲みなさると，体に毒でしょう。／他那样喝酒，对身体不好吧。②どうぞお帰りなさらないでください。／请您不要回去。③百合さんには早くお電話なさった方がよいと思います。／我想您给百合还是早点打电话好。

词例：会い、急ぎ、選り、置き、書き、読み、気を付け、探し、立

ち、取り、泣き、逃げ、寝かし、乗り、話し、ほめ、守り、迎え、忘れ。

某些完全日语化了的サ变动词也要用这一形式，而不用ご～なさる，见例③。

这一形式过去也曾不用接头词“お”，但现在除命令形（帰りなさい／回去吧）外，几乎不用“连用形＋なさる”的形式。

⇒ご～なさる

おなじ（同じ）

〈形容词〉口语中常音便为おなじ。属特殊活用形容词，连体形直接用词干充当。

①三年間も同じ先生に習った。／跟一个老师学了三年。

おなじ在文言中原是形容词，现代口语中也出现おなじく、おなじい，但不普遍（可用おなじに、おなじだ）。

①良子は北夫と郷里を同じくし、北夫と親しかった。／良子与北夫同乡，与北夫亲近。②結局はほぼこちらの主張とおなじい。／最终和我们的主张基本相同。

〈陈述副词〉1. 和～なら呼应，表示既然作前项的事，就要象后项那样。带有“鼓动”的语气。

①同じ勉強するなら，大学院まで出なくちゃ。／既然学习，就该念到研究生院毕业。②同じ新しく作るのなら，実業高校よりも普通科高校の方が費用が少ない。／反正都是新创办，还是普通高中比职业高中所需费用少。

2. 和ても等呼应，表示即或同一种事也有所差异。

①同じ考えるにしても，その考え方がまるで違ったものであったのである。／虽则是想，不过他当时的想法与众不同。

①おなじ泣くにしても，人によっていろいろわけがあるんだなあ。／即使同样是哭，原因也是因人而异的啊。②同じ勉強しないといっても，球技に熱中したりする生徒の方が健全で，意欲的です。／虽然都不学习，那些热中球艺什么的学生身心更健康，更充满热情。

お～になる



动词的尊敬语形式之一。中间插入サ变动词以外的动词的连用形，表示对话题人物的尊敬，用于他人的动作、行为、状态。敬意程度高于（ら）れる。

①いつごろからお会いにならなかったの？／从什么时候开始没见面的？②お茶をお飲みになりますか。／您喝茶吗？③たくさんお取りになって下さい。／请多拿一些。

敬语动词一般不允许再用此种敬语形式，如：※おおっしゃります。此种形式一般不用于サ变动词以及“見る、する、来る、着る”等连用形为一个假名的动词。无命令形用法。“お勤めになられる”这样的双重敬语化不宜使用。

词例：帰る、選り、書き、気づき、配り、越え、責め、読み、立ち、誓い、乗り、掛け、出かけ、見送り、持ち、呼び、忘れ、願ひ、ゆずり。

△复合动词のお～になる形式：如复合动作整体是意志动词要用お～になる形式，如是非意志动词要用お～なり～形式。

①お書き終わりになる。②お飲みになりすぎる。

有的复合动词兼有两种性质，要区别使用。

①学校をお休みになりはじめた。／开始不到学校来了。②学校をお休みはじめになった。／（故意）不到学校来了。

⇒ご～なる

おまけに（御負けに）〈接续词〉

用有利或不利的语气表示追加。用于消极情况时有责难、遗憾的语气，用于积极的情况时有意外的语气。只用于随便的会话中。

①並行して走っている私鉄の方が早くつくし、おまけに料金もやすい。／不仅（与国铁）并行的私铁先到，而且收费也便宜。②授業には殆ど出てこないし、おまけに宿題も出したためしはない。／几乎不来上课，也从来没交过作业。③田中君と旅行してひどい目にあった。荷物は持たされ、おまけに汽車賃まで払わせられた。／和田中旅行，（我）算倒了霉了。得给他拿行李，这还不算，连火车票也得掏钱给他买。

【参考】不能用于无利弊可言的单纯并列。

※僕の好きなスポーツといえば野球だ。おまけに（→そして）テニスも好きだ。

およそ 〈副词〉

1. 程度副词用法。表示对数量、程度的大体情况的修饰。也用およそ。

①本校にはおよそ五千人はいる。／本校大约有五千人。②これで勝負はおよそ決まった。／这一来，大局已定了。③およそ読める本は何でも読んでみた。／能读的书，差不多都读了一遍。

2. 陈述副词用法。

1) 表示一般情况。

①およそ人間である以上は仲間意識があるはずである。／凡是人，都会有同伙意识。②およそこの世の中は，紛争と競争がひどすぎる。／总的说来，这个世界纠纷和竞争太甚了。

2) 和否定形式或内容呼应，从一般情况的角度作全面否定。

①そんなぜいたくな生活にはおよそ興味がない。／对那种奢侈的生活，我一概不感兴趣。②およそばかばかしい一語に尽きる。／可用“荒唐”一句话来概括。③何度くりかえしたって，およそ無意味なことじゃありませんか。／无论重复多少次，难道不都是无意义的吗？

および （及び） 〈接续词〉

主要连接体言成分。

1. 表示总括性的并列。

①キリスト教・仏教及びイスラム教は世界の三大宗教である。／基督教、佛教以及伊斯兰教是世界的三大宗教。②個人図書の持ち込み，及び読書以外での入室はご遠慮下さい。／请不要携带个人图书，及与阅览无关的事入内。

2. 表示追加性并列。

①東京は産業、交通及び政治、文化の中心地である。／东京是产业、交通以及政治、文化的中心。②あなたの友人として，及び一人の有権者として，政治家である君に忠告したい。／我愿作为你的朋友，同时

也作为一个选民向你这个政治家提出忠告。

### 3. 表示处于互相关系中的并列。

①アメリカ及び日本間で結ばれた安保条約の底意はどこにあるか。／美日之间缔结的安全保障条约的真意究竟在哪里？

【参考】1. 多项并列时，および的位置较随便，一般位于最后两项之间。如A・B及びC。A及びB・C。A及びB及びC。

2. 多层次并列时，大层次用および，以下的层次用ならびに等。参見“ならびに”项。

おろか （疎か） 〈副词〉

作为形容动词，表示“愚蠢”。有以下副词用法。

1. 实际情况（后项）远远超出前项的范围、程度。

①定期券はおろか，財布まで忘れた。／不用说月票了，连钱包都忘拿啦！②東京はおろか日本じゅう搜しても，あんないい人はいない。／岂止东京，找遍全日本也没有那样的好人。

2. 实际情况不仅没有达到前项的程度，连后项程度也没有达到。后项用否定。

①“三種の神器”といわれるテレビ・ステレオ・冷蔵庫はおろか，机すらない。／甬说被称为“三大件”的电视机，立体声收录机、电冰箱了，连桌子都没有。②ドイツ語というものは，ABCの読み方はおろかそれについて考えて見たこともない。／说起德语，慢说ABC是怎么个读法，对它连想都没想过。③穀物はおろか草も生えない不毛の地である。／是一片连草都不长的不毛之地，更何况庄稼了。

おわる （終わる） 〈接尾辞〉

接于有关人的行动的继续动词后，构成一种完了体。

①本を読み終わった。／把书读完了。②部屋を仕度し終わらないうちに客が来た。／没等把房间布置完，客人就来了。

尊敬语形式为お書き終わりになる。（※お書きになりおわる。）

おん 〈接头辞〉

敬语接头辞。过去用汉字“御”，比“お”敬意更强。现除“御中”外只保存于一些固定用法中，如おん礼、おん前。

**音声言葉** オンセイコトバ 声音语言、有声语言

指以声音为媒介的语言形式，又称“口语”（该词多义）、“話し言葉”。

声音语言可以说，也可以听，因此也相应地称作“口ことば”或“耳ことば”，这两种称呼实质上相同。

⇒口語、話し言葉

**音声語法** オンセイゴハウ 语音语法

指以声音语言为研究对象的语法理论。包括传统语法在内的所有语法理论均以文字语言作为主要研究对象，而对声音语言却漠不关心。金田一春彦注意到了声音语言和文字语言之间的对应关系，指出了如下语法现象。

1. 句调（イントネーション）表示不同陈述法，相当于终助词所起的作用。如，“行く<sup>〜</sup>”等于“行く<sup>か</sup>”。

2. 句子重音（プロミネンス）的选择法，起类似系助词的作用。如，“桜<sup>が</sup>咲いた”等于“外の花でなく<sup>〜</sup>”。

3. 延长音的用法。起间投助词等的作用。如，“私わあ<sup>あ</sup>行かない”等于“私はね行かない”。

4. 声态（声のスタイル）的变更，用于引语，大段落和大段落之间。

5. 停顿（ポーズ）的安排法。表示句子和句子，段落和段落之间的界限。还常常表示词和词之间的搭配关系。另外“ぼく，いくよ”。中的停顿相当于一个格助词。

金田一春彦认为，词的重音因固定于每个词，所以不看作是“声音语法”现象。实际上，重音的应用单位是活用词组，即句节或连句节。声音的派生节的形成乃至句子的完成过程中都有词的重音的变化规律。因此，词的重音也可以看作是广义的声音语法的研究对象，相当于文字语言语法中的词的活用。词是文字语言的语法单位之一，那么，词的重音也应看作是声音语法的一种单位。

毫无疑问，声音语法的学习对于口语训练具有重要的理论意义和实用价值。在这个领域里，有很多课题有待于我们去研究。



## 音節 オンセツ 音节

【音节】音位或音素不能直接构成单词，它们首先互相结合起来构成最小的语音片断，然后按一定顺序组合为一个单词。这种构成单词的最小的语音片断称作音节。一个音节的前后都有发音上的松弛和听觉上的“音谷”。

在日语中，每一个假名都是一个音节。如，a ta ma(アタマ) 中三个a后和t、m前都有发音上的松弛和听觉上的音谷，所以看作是三个音节。其中a由一个母音音素构成，ta和ma分别由一个子音音素和一个母音音素构成。kyo syu(挙手) 是由两个音节构成的，kyo(キョ) 和syu(シュ) 分别为一个音节，都由一个拗子音和一个母音构成。而koo en(公園)、kek kon(結婚)中发音的松弛和听觉上的音谷则位于koo和en、kek和kon中间，所以各为两个音节。koo是由一个子音和一个长母音构成，en由一个母音和一个子音构成，kek和kon由两个子音和一个母音构成。

服部四郎把日语音节归纳为以下几种。/C/为子音音位，/S/为半母音音位，/V/为母音音位，/N/为拗音音位，/Q/为促音音位。

/CV/五十音图中的假名音节。（包括清音、浊音）ア行音为零子音音节(OV)。

/CVV/五十音图假名的长音音节。如，かあ、しい、つう等。（不同母音的用V'V表示。如トオイ是CVV'V，コーオ(好恶)是CVV'V，コウシ(小牛)是CV'VCV)。

/CVN/五十音图假名的拗音音节。如，かん、しん、つん等。

/CVQ/五十音图假名的促音音节。如，かつ、しっ、つつ等。

/CSV/拗短音音节。如，キャ、シュ、チョ等。

/CSVV/拗长音音节。如，キャア、シュウ、チョウ等。

/CSVN/拗短音+拗音。如，キャン、シュン、チョン等。

/CSVQ/拗短音+促音。如，キャッ、シュッ、チョッ等。

另外，口语中往往出现CVVQ(シーツ)、CVVN(カーン)、CSVVQ(シューツ)、CSVVN(チャーン)等音节。

据望月八十吉的调查，日语音节约有1125个，而汉语音节约有1140个。

【モーラ】服部四郎从时间概念分析了音节结构，即以拍节的概念来衡量一个音节的长短。单个的母音音节、一个子音（包括拗子音）和一个

母音结合的音拍为一拍。如，a ta ma(頭)kyo syu(挙手)。一个子音和一个长母音，母音+促音，母音+拨音的音节为两个音拍。如，koo、en、kek、kon分别为两拍。因此，コウエン（公園）、ケッコン（結婚）分别为两个音节，四个音拍。

过去，很多人把五十音图中的假名和拗音表的假名看作是音节表。其实，是音拍表，分别叫作“直音拍”“拗音拍”。另外，把五十音图以外的ン和っ叫作特殊音拍。日语基本音拍共有111个。列表如下。

直 音 拍					拗 音 拍		
ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ
a	i	u	e	o	ja	jw	jo
カ	キ	ク	ケ	コ	キャ	キュ	キョ
ka	ki	kw	ke	ko	kja	kjw	kjo
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ギャ	ギュ	ギョ
ga	gi	gw	ge	go	gja	gjw	gjo
ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ギャ	ギュ	ギョ
ŋa	ŋi	ŋw	ŋe	ŋo	ŋja	ŋjw	ŋjo
サ	シ	ス	セ	ソ	シャ	シュ	ショ
sa	ʃi	sü	se	so	ʃa	ʃw	ʃo
ザ	ジヂ	ズヅ	ゼ	ゾ	ジャヂャ	ジュヂュ	ジョヂョ
dza	dʒi	dzü	dze	zo	dʒa	dʒw	dʒo
タ	チ	ツ	テ	ト	チャ	チュ	チョ
ta	tʃi	tsü	te	to	tʃa	tʃw	tʃo

直音拍					拗音拍		
ダ			デ	ド			
da			de	do			
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ニャ	ニュ	ニョ
na	ni	nu	ne	no	nja	nyu	njo
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ヒャ	ヒュ	ヒョ
ha	hi	fu	he	ho	cha	chyu	cho
パ	ピ	プ	ペ	ポ	ピャ	ピュ	ピョ
pa	pi	pu	pe	po	pja	pju	pjo
バ	ビ	ブ	ベ	ボ	ビャ	ビュ	ビョ
ba	bi	bu	be	bo	bja	bju	bjo
マ	ミ	ム	メ	モ	ミャ	ミュ	ミョ
ma	mi	mu	me	mo	mja	mju	mjo
ラ	リ	ル	レ	ロ	リャ	リュ	リョ
ra	ri	ru	re	ro	rja	rju	rjo
ワ					特殊拍		
wa							
					ン	ツ	ー
					$N \begin{bmatrix} m \cdot n \\ j \cdot r \end{bmatrix} Q \begin{bmatrix} p \cdot t \\ k \cdot s \end{bmatrix} R \begin{bmatrix} ai \\ ueo \end{bmatrix}$		

另外，在外来语和方言中还有 ファフィフエフォ、シェジェ、ティ  
テュ、チェ、トゥ、ディデデュ、ツァツェツォ、ウィウエウオ、ヴ

ァ ヲ ヱ ヲ 等特殊音拍。

从上表可以看出，日语绝大多数音拍是由一个子音和一个母音，按先子音后母音的顺序结合而成的，称作开音节。这是日语音节的最基本的结合形式。特殊音拍只有三种。以子音性特殊拍（ッ、ン）为语尾的音节称作闭音节。日语中只有两类闭音节，因此未能改变日语开音节性质。日语音节的开音节性质还表现在外来语转写的多音节化上。如，spring 是一个音节，属闭音节，但在日语中转写为スプリング，变为五个音节的开音节。

### 音素 オンソ 音位

【解释】通常认为相同的音，在每个人的实际发音中不尽相同。即便是同一个人因不同时间和场合，出自不同心理和意图，其物理性质也很不相同。另外同一个音在不同的语流中，因为受到前后音的影响也会有所不同的。尽管物理声音如此变动，但是在语言交际中，我们能够去掉其细微的物理属性的差别，概括出有利于思想、感情交流的，并构成一定体系的语音单位。这种能够用来表示语义差别的最小的语音单位称作音位（“音素”或“音韻”），用／表示。音位是语音的抽象单位，其具体表现即声音的实际单位称作音素（单音），用〔 〕表示。如，日语ハ行子音的具体声音单位是〔h〕（ハヘホ的子音）〔ç〕（ヒ的子音）〔F〕（フ的子音），但是三者的区别与语义无关，同属ハ行子音，可概括为一个音位／h／。〔h〕〔ç〕〔F〕对于／h／而言，称作“異音”。学习外语的时候，我们直接感到的语音单位是音素，但是，最终有用的不是音素，而是音位。因此，必须搞清音位和音素之间的关系。这正是语音学研究的最主要课题之一。

音位和音素一般根据其发音特点划分为子音和母音两种。

【母音】无明确发音部位，气流自由通过口腔时，发出来的音称作母音。日语母音音位有五个，／a、i、u、e、o／（アイウエオ），其中／a、i、e、o／基本和音素〔a、i、e、o〕相同，可看作一对一的关系。／u／有异音〔u〕和〔ü〕。〔ü〕是ス、ズ、ツ、ヅ的母音。〔u〕是其余ウ段假名的母音。因此，日语母音有五个音位，六个音素。

母音可按舌位的高低和前后位置来加以分类，每个母音都有相应的名称。绘制成母音图如下。



前		前 母 音			后 母 音			
高	低	后						
小 开 母 音								
半 开 母 音								
大 开 母 音								

小开母音〔i〕和〔u〕因舌位高，呼气有轻微的摩擦，接近子音的性质。因此，位于清音之间时容易被同化，变为清音化（声带不振动）的母音。这种音便现象称作母音无声化。无声化的结果カ行假名前のーク发生促音化。如，サンカクケィ→サンカクケイ→サンカッケイ。（三角形）。带有〔i〕〔u〕的音节位于句末并不带重音时，其母音也发生无声化。如，アキ、～デス。

日语母音按发音的长短可分为短母音和长母音。如“おじさん”和“おじいさん”中的“じ”和“じい”的母音分别为短母音长母音。

【子音】在发音部位上形成闭塞或其他阻碍时发出来的音称作子音。日语子音音位和子音音素之间的对应关系如下。

／K／＝〔K〕カキクケコ的子音，ツ的异音。

〔K〕キ、キャ、キュ、キョの子音，ツ的异音。

／S／＝〔S〕サ、ス、セ、ソ的子音，ツ的异音。

〔J〕シ、シャ、シュ、ショの子音，ツ的异音。

／t／＝〔t〕タ、テ、トの子音，外来音ティ、トゥ、テュ的子音，ツ的异音。

〔tʃ〕チ、チャ、チュ、チョの子音，ツ的异音。

〔ts〕ツの子音，ツ的异音。

有的人把〔tʃ〕和〔ts〕概括为／c／。

／n／＝〔n〕ナ、ヌ、ネ、ノの子音。ンの异音。

〔ɲ〕ニ、ニャ、ニュ、ニョの子音。ンの异音。

／h／＝〔h〕ハ、ヘ、ホの子音。

〔ç〕 ヒ、ヒャ、ヒュ、ヒョの子音。

〔F〕 フの子音。包括外来音ファ、フィ、フュ、フォの子音。

/m/ = 〔m〕 マ、ム、メ、モの子音，ンの异音。

〔m̥〕 ミ、ミャ、ミュ、シヨの子音。ンの异音。

/r/ = 〔r〕 ラ、ル、レ、ロの子音。

〔r̥〕 リ、リャ、リュ、リョの子音。

/j/・〔j〕 和/W/・〔W〕 分别为や行和わ行假名の子音，称半母音音位和音素。

/g/ = 〔g〕 ガ、グ、ゲ、ゴの子音。

〔g̥〕 ギ、ギャ、ギュ、ギョの子音。

/ŋ/ = 〔ŋ〕 ガ、グ、ゲ、ゴ的鼻化子音。

〔ŋ̥〕 ギ、ギャ、ギュ、ギョの子音。ンの异音。

有的人把/ŋ/归于/g/中。

/z/ = 〔dz〕 ザ、ズ、ゼ、ゾの子音。

〔dz̥〕 ジ、ジャ、ジュ、ジョの子音。

/d/ = 〔d〕 ダ、デ、ドの子音。

/b/ = 〔b〕 バ、ブ、ベ、ボの子音。

〔b̥〕 ビ、ビャ、ビュ、ビョの子音。

/p/ = 〔P〕 パ、プ、ペ、ポの子音。ンの鼻音。

〔P̥〕 ピ、ピャ、ピュ、ピョの子音。ンの异音。

### 【特殊音位】

#### 1. 拨音/N/

〔n〕 ナ、タ、ダ、ラ、ザ行假名前。

〔m〕 マ、バ、パ行假名前。

〔ŋ〕 カ、ガ行假名前。

〔ŋ̥〕 母音、半母音、サ行假名前以及在词尾。

#### 2. 促音/Q/或/T/

〔P̥〕 バ行假名前

〔t̥〕 タ行假名前

〔s̥〕 サ行假名前

〔k〕 力行假名前

【日语的音素体系】日语音素按发音部位和发音方法的异同，构成既对立又统一的一个整体。这种所有音素的相关关系的总和，称作音素体系（音韻体系）。

	发音部位 发音方法		双唇音 (両唇音)	舌尖前音 (歯裏音)	舌尖中音 舌前音 (歯茎音)	—— (硬口蓋音)	舌根音 (軟口蓋音)	—— (咽喉音)
	塞音 (破裂音)	清音 (有声) 浊音 (無声)						
子       音	塞音	清音 (有声) 浊音 (無声)	〔p〕 〔b〕		〔t〕 〔d〕		〔k〕 〔g〕	
	鼻音	清音 (通鼻音) 浊音	— 〔m〕		— 〔n・ɲ〕		— 〔ŋ・ŋ〕	
	擦音	清音 (摩擦音) 浊音	〔F〕 〔w〕	〔s〕 〔z〕	〔ʃ〕 〔ʒ〕	〔c〕 〔j〕		〔h〕
	塞擦音	清音 (破擦音) 浊音		〔tʃ〕 〔dʒ〕	〔tʃ〕 〔dʒ〕			
	弹音	清音 (弾き音) 浊音			〔r〕			
	闭(高)母音 (小開き母音)					〔i〕〔ü〕〔u〕		
	半闭(半高)母音 (半開き母音)					〔e〕〔o〕		
	开(低)母音 (大開き母音)					〔a〕		

从上表可以看出日语塞音，擦音及塞擦音有清浊的对立，塞音和鼻音有口鼻音的对立等。汉语有送气、不送气的对立，但无浊音和清音的对立。学习发音时尤其注意这一点。如，ばん／ぱん、とうねん／どうねん、か

くしき／がくしき。

音便 オンビン 音便

为了发音方便而产生的语音或语音结构的变化现象。

【原因】音便现象早在奈良时代已经产生，从平安时代起由于汉字音尤其是鼻韵母m、n、ng和入声韵p、t、k的输入促进了日语音便现象的进一步发展。语音（辅音、元音）脱落、语音转化、语音添加等语音规律是发生各种音便现象的客观原因。イ音便、ウ音便是经过辅音脱落造成的。如，kakite→kaite（書きて→書いて）、samuku→samuu（寒く→寒う）。促音便是母音脱落造成的，如，tatite→tatte（立ちて→立って）。拨音便是母音脱落或母音脱落后又经辅音同化造成的，如，sinite→sinte→sinde（死にて→死んで）、tobite→tobte→tonde（飛びて→飛んで）。

【种类】1. イ音便。由キ、ギ、シ、リ等音经辅音脱落而发生。例：ついたり（つきたち）、白い（白し）、ついで（つぎて）、いらっしゃいます（いらっしゃります）、書いて（書きて）。

2. ウ音便。由ク、グ、ヒ、ビ、ミ、<sup>か</sup>等音经辅音脱落或再经元音同化而形成。例：こう（かう←斯く）、寒う（寒く）、いもうと（いもひと）、くろうと（くらびと）。

3. 拨音便。由ニ、ビ、ミ、モ、リ、ル等音经元音脱落或再经辅音同化而产生。例：死んで（死にて）、組んで（組みて）、かんざし（かみさし）、さかん（盛り）。

4. 促音便。由チ、リ、ミ、ヒ等音经元音脱落或再经辅音同化而产生。例：待って（待ちて）、取って（取りて）、をっと（をひと）。

音便形 オンビンケイ 音便形

【解释】动词和形容词的连用形的特定用法发生种种音便，把音便后的连用形称为音便形以示区别。

在古代，音便形和非音便形用法相同，音便只是为了发音的方便，如：“て”既可接于“咲き”后，又可接于“咲い”后。到近代，两种连用形互有分工，如：“咲き（ます）”和“咲い（て）”不能互换。因此，有少数人主张把音便形看作独立的活用形。



【动词的音便形】 口语五段动词除サ行动词外都有音便形。文言和一些方言中サ行五段（四段）动词也有，如：いたいて（致いて）。

口语动词音便形有イ音便、ウ音便（关西方言）、促音便、拨音便。

见“動詞の音便”等各项。

【形容词的音便形】 只有ウ音便一种。文言中另有イ音便（いと暗い夜←いと暗き夜）。参见“形容詞のう音便”等项。

# か      力

## か 〈终助词〉

【接续】 1. 上接。位于各种完整句和省略句末。句末句节的形态大致如下。

1) 动词和形容词型活用词、特殊型助动词终止形。

①分かるか。／懂吗？②高いか。／贵吗？③行こうか。／咱们走吧。④行かせるか。／让他去吗？⑤あなたも行かれますか。／您也去吗？⑥叱られるか。／会挨批评吗？⑦行きたいか。／想去吗？⑧行ってくれないか。／为我去一趟好吗？⑨なみなみならぬか。／不一般吗？⑩行きましたか。／去了吗？

2) 接名词和形容动词型活用词的词干后。

①これが映画か。／这就算是电影？②大丈夫か。／不要紧吗？③一雨降りそうか。／要下雨吗？④まだ分らないのか。／还不明白吗？⑤UFOとは何か。／所谓UFO（飞碟）是什么？

△保留助动词だ或词尾だ的应算例外，或看作副助词。

①何が何だか分からない。／摸不着头脑。②立派だかどうかは別の問題だ。／出色不出色是另一码事。

3) 接副词、形容（动）词副词形和其他副词性句节后。

①そうか。／是吗？②もっとか。／再加（多，快……）点吗？③もっと速くか。／更快速？④そんなにか。／那么样（的高、快、厉害……）吗？

4) 接某些接续词后。

①だからか。／就因为这个？②しかしか。／不同意了？

5) 接带有各种助词的句子成分后。

①きつねがか。／是狐狸（干的、来了）？②何をか。／把什么？③家にか。／在家？④子供でもか。／连小孩儿也是吗？⑤みかんもか。／桔子也……？⑥一銭だけか。／只一分钱吗？⑦行ってしまったのは怒ったか

らか。／是因为生气走掉了吗？⑧いやだと思ってか。／是因为讨厌吗？

## 2. 后续。

1) い、よ（较粗鲁）、ね、な等终助词。旧式说法还后续え、の等。

2) 作引语时后续と等。

### 【用法】1. 构成疑问句式。

①それは何ですか。／那是什么？②ほんとうかい。／真的？③財布を落としたことがありますか。／你丢过钱包吗？④散策にはいらっしゃいませんか。／您不去散散步？⑤今度の試験にパスできるかね。／这次考试通过得吗？

2. 表示怀疑、不敢肯定等口气。常用于（よ）う、ない、だろう、まい、もの、の等词后。

①そうではないかと思う。／我想可能是那样。②ああいう人間もあるだろうか。／竟会有这种人？③何かいい方法はないか。／没有什么好办法吗？④なにが、そんなに怖いかなァ。／什么东西那么可怕呢？

### 3. 用于反问。常后续自述性答句。

①これかい。これは私の日記帳だ。／这个吗？这是我的日记本。②駅ですか。駅なら町の南にありますよ。／车站？车站么在镇南。

### 4. 用于反诘、反语、反驳、责备、警告等。

①口があかないか。／张不开嘴吗？②こんなことで死ぬやつがあるか。／有因这点小事就自寻短见的吗？③こんな不都合なことがありますか。／哪有这么不顺的事儿啊？④君としてそんな勝手なことが言えますか。／作为你说话怎么能那么随便呢？⑤また逃げる気か。／看你还跑不跑。⑥これでもおかしくないというのかね。／这还不奇怪！⑦これがさすがの議員がなすべき行動だろうか。／这难道是一名议员应该采取的行动吗？⑧君が現に居合わせたじゃないか。／你不是确实在场来着吗？⑨あいつに頭を下げるものか。／岂能向他低头！⑩そんな仕事、子供にできるもんか。／那种工作，孩子能做得来吗！

### 5. 以问句形式表示提议、劝诱、期待、恳求等。

①君、これから、用事がなかったら大阪にでも出てみようか。／我说，你如果事情不忙，现在和我去一趟大阪好吗？②あたしも行きま

しょうか。／我也去好吗?③あなたもいらっしゃいませんか。／您也来(去)好吗?④どうです,行こうじゃありませんか。／怎么样?咱们走吧。⑤花見に行かないか。／去赏花啊。⑥教えてくださいませんか。／告诉我好吗?

#### 6. 以问句形式表示委婉的命令(劝诱形式的命令)。

①おい,一本すわないか。／喂,不抽一支?②こら,よさないか。／喂,住手(嘴)!③まあ,腰をかけたらどう(或:どうか、どうかい、どうだ、どうです、どうですか,等)。／你先坐下。

#### 7. 以自言自语的形式表示犹豫不决的意志、愿望。

①どれ,もうひと休みしょうか。／哎,休息一会儿。②じゃ,山へ行くかな。／那我该上山了吧。③うちへもちょっと寄ってもらおうか。／也到我家来一下好吗。④あした天気にならないかな。／但愿明天是个好天。

#### 8. 表示感叹、惊叹。

①だれかと思ったらおまえか。／我当是谁呢,原来是你啊。②あれですか,もう百も承知ですよ。／那件事吗,一清二楚。③どんなにうれしいだろう。／该多么高兴啊!④どんなにすばらしいことか。／多好啊!⑤見えてきたではないか。／不都看见了吗?

△终助词か还构成ではないか、～が早いか、かという系列、かと思う系列等惯用词组。

【参考】1. 上述各用法是按意念而不是按形式区分的,所以同一句话可以因句调不同而有多种意义。如“飲まないか”可以分别表示疑问、感叹、提议、反问、反诘等。

2. 终助词か和副助词か从意念上并不是能截然分开的,这里为便于掌握把出现于句末和句中的分别算作终助词和副助词。如:なぜ寒くなるか(终助词),なぜ寒くなるか(が)分からない(副助词)。但直接引语句末のか仍看作终助词,如:「彼も行くか」と聞きかえした。相反,不是直接引语的其他类“引用”中的か作副助词,如:彼も行くかと聞きたかった。

か 〈副助词〉



【接续】接续法与终助词か基本相同。注意：

1. 偶尔接だ或其他だ型活用词终止形后。

①仙台の七夕祭はどんなに賑やか（だ）か知らない。／仙台的七月七（七夕节）别提多热闹了。②一週間に二度（だ）か開かれる市／记得是每个星期开两次的集市。

2. 除句末外，还可插入句节内。

①何か（を）飲みたい。／想喝点什么。

3. 和格助词叠用时多位于其前。

①どこかへ（或へか）隠れてしまった。／藏到什么地方去了。②誰かに（或にか）漏らしてしまった。／透露给某个人了。

4. 和が、を叠用时，が、を多省略。

①海上には何か（が）見えるでしょうか。／海面上能看见什么吗？②喜助は、何事（を）かお役人に見咎められた。／喜助被官吏盘了些什么事情。③先生は何か（を）書いています。／老师在写着什么。

【意义】1. 接疑问词或包含疑问词的词组后，表示不确定的人物、时间、地点等。

1) ～か直接或通过助词作句子的各种成分。

①いつかは君にも分かるだろう。／总有一天你也会明白的。②さあ。まず何か食べましょう。／喂，我们先吃点儿什么吧。③どこからか甘美なメロディーが流れてきました。／不知从哪儿传来甜美的旋律。④机の上には何かありますか。／桌子上有什么（东西）吗？⑤誰かあとを付けて来そうでたまりません。／好象有人要在后面跟来似的，实在受不了。⑥山岡大夫の顔に、なぜか喜びの影が見えた。／不知为什么山冈大夫的脸上露出愉快的神情。⑦こんな場合は、話手はその発話の中心を（1）、（2）、（3）のどれかに置くことができる。／这时，说话人可以把表述的重点放到（1）、（2）、（3）其中某一个上。

2) ～か作后续体言、体言性词组的同位语，表示不明确的特定事物。

①気がつくと、私はどこかお寺のようなところにいました。誰かが助けてくれたのです。／苏醒过来，我发现我在某个象似寺院的地方。不

晓得是谁救了我。②この種族の歴史は、更には百年か昔に溯れます。／这一种族的历史还能追溯到几百年前的过去。③誰か二人王子の像の下にある露台に腰かけているものがある。／不知两个什么人在王子像下的凉台上坐着。④樋口とこの家の主人がさし向いで何か談話はなしをしているところでした。／正赶上樋口和这家的主人正对坐着谈什么事情。⑤何かニュースがあるでしょうね。／有什么消息了吧？⑥昨日誰か知らない人が訪ねてきました。／昨天有个不认识的人来访过。⑦途中で誰かお友達かお知り合いに会いましたか。／路上遇到你的哪位朋友或熟人没有？

2. 接各种副词性的（连用的）句节的后面，对叙述增添怀疑，不定、犹豫、谨慎的意义。

1) 有关原因、理由、前提的。

①こちらの気持からか、その顔は少し瘦せて見える。／或许是出于我的心情吧，他的脸显得有些消瘦。②私は、病気のせいか、ちょっとした事でも怒りたいです。／也许是因为有病，哪怕一点点小事儿我也想发脾气。③二人の足音を聞きつけてか、先生はジムがノックしない前に戸をあけて下さいました。／想必是听到了我们俩的脚步声，没等吉姆敲门，老师就把门给打开了。④兵本は、その眼病が原因なのか、ひどい近眼です。／兵本可能由于他那眼病的原因，高度近视。⑤神の力か、予想以上の出来ばえだ。／也许是神佛保佑，结果比预想的好。

2) 有关语言、心理活动的。

①日本の小説で、「蟹工船」とかいう本がありますね。／有一本大概叫《蟹工船》的日本小说吧？②訊問したところ、行ったこともないとか言っていた。／一经审问，说什么“连去都没去”了。③彼は超政治的な作家だ、ということが出来るかと思う。／或许，可以认为他是超政治的作家吧。

△有时把“言う”等略去，用とか表示不确切的传闻。

①最近中野重治とかいう作家がなくなったとか。／据传最近有个大概叫中野重治的作家去世了。

△かもしれない、かのようだ、かという、かと思う、かと思われ等见各该项。

## 3) 其他。

①一週間に二度だけか開かれる市。／一星期开两、三次的集市。②父は、御飯がすむと庭に出て、何をしているのかすっかり暗くなるまで上ってこない。／爸爸吃完饭就出了院子，不知做什么，直到天大黑了还没回屋。

3. 表示疑问。总括一个问句使其具有体言功能，以便作整个句子的成分。但か与形式名词不同的是：其后的が、を等常省略，以及か有疑问的意义。

①西洋の鳶口や掛矢は何と翻訳していいのか習ったことがない。／我从未学过西洋的鹰嘴钩和大木槌该翻译成什么。②現世は明治大正の芸術との総決算をしている。なぜかは僕の知るところではない。／现代正在和明治大正的文学艺术算总帐。至于为什么，我不清楚。③どうしたらよいか分からなかった。／不知道怎么办才好。④誰が行くかが重要な問題です。／重要的问题是由谁去。⑤よく出来るかのように思いこんでいる。／自以为能做好。⑥問題は誰が書くかではなく、いつ出来るかです。／问题不是由谁来写，而是什么时候写完。⑦今日はみんなですらどうして試験すべきかについて発表し合いなさい。／今天大家就应该如何考试互相发表意见吧。⑧君は受かるかどうか，受からなかったらどうするかをよく考えましたか。／你认真想过是否能考上、考不上该怎么办吗？

か 〈并列助词〉

四分法中属副助词。

【接续】同副助词か。以～か～（か）形式构成体言性词组。并列的后项是する、疑问词、前项的否定形式或反义词时，后项のか一般不能省略，其他情况下一般可以省去。在文章中ぬ后のか也常省去。

【意义】1. 表示从并列项中选择一个。可用于主语、谓语、宾语，连体（用）修饰语、插入语等各种句子成分中。

①味噌かしょう油か酢（か）ぐらいはあるでしょう。／大酱、酱油或醋之类总有一样吧？②夕暮れなのか，既に夜にはいったのか，辺りは馬鹿に暗い。／是黄昏还是到夜间了呢，四周一团漆黑。③こういう魚はほすかくべるかして食べなければならない。／这种鱼要晒干或烤着吃。④内

でテレビを見るか出かけて映画を見るかしよう。／我们在家看电视或出去看电影吧。⑤食うか食われるかの世の中／你死我活的社会。⑥月よう日か火よう日から旅行に出かける。／星期一或星期二动身去旅游。⑦父か母と相談しておいたらいいのに。／事先和父亲或母亲商量一下就好了。⑧社会道德の枠をはずれてしまったか、はずれかかった人間／已经或正在背离社会道德规范的人。⑨ポチは殺されるかぬすまれでもしなければいなくなってしまうはずがないんだ。／小花狗若不是被杀或被偷是不会失踪的。

2. 表示不能判断是否如此。主要用以下特殊形式。

1) 并列后项是前项的否定形式。

①年に一度、髪油を使うか使わないかの生活だ。／过着一年中难得用上一次头油的生活。②父の死を知ってか知らないでか、二人はいっしょうけんめいに泣いた。／不知是不是知道了父亲的死，两个人拼命地哭。③日本語の動詞では、その動作が貴人に関係しているかいないかによって、尊敬表現を使うか使わないかどちらかになってしまう。／日语动词视动作是否关连尊贵的人来决定是否使用尊敬表达法。

2) 并列后项是前项的反义词。

①学校が近いか遠いかは重要でない。／学校是近是远并不重要。②縮小されるか拡大されるか、どちらかであって、全部やめるということではない。／或是缩小，或是扩大，不是说全部停止。③乗るか反るかやってみよう。／成不成，试一下。

3) 并列后项用どう、いな代替。

①出来るかどうか、自分ながらあやしいのである。／能不能成，自己也怀疑。②大学の出身であるか否かも条件の一つです。／是否是大学毕业也是条件之一。

3. 以“～か疑問词か”形式表示不太确定。

①それはデパートかどこかで買ったのです。／那是在百货商店或什么地方买来的。②ビールか何かを飲みましょう。／喝点啤酒什么的吧。③兄さんか誰かが助けてくれるだろう。／会有哥哥或别人帮助我的。

4. 以～か～ないかに、～か～ないうちに、～か～ないかのうち



に、～か～ぬ（うち）と等形式表示前后两行为动作几乎同时发生。

①そういうかいわないかの中に夕立が降ってきた。／刚说下这就下起阵雨来了。②僕が大きな声を出すか出さないかに、おかあさんは寝巻きのままで飛び出してきた。／我刚大声喊，妈妈就穿着睡衣跑出来了。③汽車がとまるかとまらないうちに、プラットホームの歓迎陣からどっと歓呼の声があがった。／还没等火车停稳，月台上的欢迎队伍中就爆发出欢呼声。④昨日君が帰るかせんかにある人が来た。／昨天有个人你前脚走他后脚就来了。⑤その歌とも呼びともつかぬ絶叫の合唱が終るか終らぬに、轟然たる音響が大地をつんざきました。／就在那分不清是歌唱还是叫喊的狂呼的合唱结束的一瞬间，轰然而起的音响震撼了大地。

が 〈格助词〉

【接续】 1. 接体言后。

①月が出た。／出月亮了。②朝早く起きるのがつらい。／一大早就起来很难受。

2. 接包括格助词、副助词（ずつ、きり除外）、并列助词的体言性词组后。

①これからが面白い。／这以后才有意思。②あの人だけが悪いのではない。／并不是单单他一个人不好。③ぼくなり君なりがすばしい。／由我或你来做就行了。

3. 接由个别提示助词构成的词组后。

①これこそが、私が心の底で見たいと望んでいた試合ではなかったのか。／这不正是我从心底里希望看到的比赛吗？②観光客は誰もが途中でしか登れなかった。／游客都只能爬到中途。

4. 在文言残余用法中还可以接活用词的连体形后。

①負けるが勝ち。（谚语）／忍为上。不争者为胜。②つかまえたが最後、もう逃さん。／既然抓到了，就不会放跑。

【意义】 1. 构成主语句节。

1) 用于判断句、描写句，表示判断、描写的对象。

①彼が私の弟です　／他就是我的弟弟。②どなたが新しく来られた

先生ですか。／哪位是新来的老师？③三千メートル走るのが関の山です。／跑三千米就顶天了。④サルが進化して出来たのが人間である。／人类是由猿猴进化而成的。⑤警官に守られて人波をかき分けるのがやっとだった。／在警察守护下从人群中勉强开出条路来。⑥庭の桜が一番美しい。／庭院里的樱花最美。⑦あたりがたいへん静かだね。／周围很安静啊。

△在判断句中，主语有与其他同类事物区别选择的作用，即谓语部分已明确，语义重心在主语，表明是“谁，什么”。在描写句中如主语带有重音则与判断句主语相同，否则只表示主格，如例⑦。

2) 用于存在句、所在句、动态句表示其主体。

①日本には火山と温泉がたくさんあります。／日本有许多火山和温泉。②月には空気がない。／月球上没有空气。③電車が込んでいる。／电车很拥挤。④山のふもとに要塞が置かれてある。／山脚下筑有堡垒。⑤石が流れて木の葉が沈む。(谚语)／事理颠倒。

△如～が部分带逻辑重音则表示从同类中加以区别选择，否则是单纯的主格。疑问词只有前一种用法。

3) 表示主体的所有物。可看作2)的引伸用法。

①あなたが恋人がいることは誰でも知っています。／你有对象这谁都知道。②私は二人の弟があります。／我有两个弟弟。

△以～がある(ない)形式表示是否有某一特征。

①「上野さんは、理解がある」と平家は笑った。／平家笑着说道：“上野真善于理解别人。”②自尊心がない。／没有自尊心。③愛嬌がある。／逗人喜爱。

4) 表示主体即主题的部分、侧面等。标准形式为～は～が～。其中和数量、时空有关的部分、侧面表示法接近副词性用法了。

(1) 表示主体的附属物或一部分。

①犬は鼻がよくきく。／狗鼻子非常灵敏。②私が目がさめたら、もう彼は起きていた。／我一醒来，他已先起床了。③この服はえりが高い。／这件衣服领子高。④漢字は読み方が難しい。／汉字读法很难。⑤中国は沿海地方が発達している。／中国沿海地区发达。

## (2) 表示主体的范围。

①犯人は女の方が男の方よりずっと手強い。／罪犯女的比男的更难对付。②生徒は男の子が大学に進学したいのです。／学生中男生希望升入大学。

## (3) 表示主体的某个有关事项。

①資本家側と労働者側とでは立場が異なる。／资本家和工人出发点不同。②春日さんは宝くじが当たった。／春日中彩了。③田中さんは大学を卒業したのが僕と同じ年です。／田中是和我同一年大学毕业的。④家内は買物が上手ですが、料理が下手です。／我内人买东西挺拿手，但是做菜差劲儿。

## 2. 构成对象语句节。可看作广义的主语。

1) 表示心理活动的对象、逻辑上是宾语。谓语为表示感觉感情的形容词、形容动词或动词的愿望形式等。

①ふるさとの友達が恋しい。／怀念故乡的朋友。②僕はさしみが食べたいです。／我想吃生鱼片。③私はそれが憎らしく思われます。／我对此感到厌恶。④太郎が花子が好きなのは分かり切ったことです。／太郎喜欢花子这是明摆着的。⑤少しでも兄貴に楽がさせたいと思う。／我想让哥哥多少轻松一点儿。

## 2) 表示能力、可能的对象。逻辑上是宾语。

①私はあなたのいう言葉の意味が分からない。／我不懂你说的意思。②休むことができない人は仕事もうまく行かない。／不会休息的人也不会工作。③いま新聞が読める程度になっています。／现在达到能读报的程度了。④和食が食べられないことだけが困る。／只对吃不上日本式饭菜这一点感到不便。⑤姉も外出がしにくくないんじゃないか。／姐姐不也同样难以出门吗？

△后续词包括所有可能动词和有可能意义的动词及动词的表示难易的形式（如例⑤）等。可能动词前用が或を，分かる前以用が为规范，できる前用が。

## 3) 表示需要的对象。

①郵便は時間がかかります。／邮递需要时间。②この仕事は頭が要

る。／这件工作需要动脑筋。

### 3. 构成副词性句节。

1) 接数量副词、程度副词后，表示主体的数量范围、程度。

①植物も最初は、全部が海に住む藻類であった。／植物最初也全部是繁衍在海中的藻类。②文学部の学生はほとんどが女性である。／文学院的学生几乎都是女的。③外国製の品物はいいいというが、すべてがいいわけではない。／都说外国货好，其实并不是都好。④大体がおしゃべりな方の私は、人と対<sup>むか</sup>い合<sup>あ</sup>って黙<sup>もく</sup>りこく<sup>く</sup>っているというのは得意でない。／总的来说我是属于好说的，不喜欢和别人沉默不语。

△此用法以同语反复的形式表示强调或全部。整个形式近似于副词。

①みながみなそういう勇気を持った人人<sup>さなき</sup>だったら……／假如每个人都是有这种勇气的人，那么……。②蛹<sup>さなぎ</sup>だって全部が全部羽化するとは限らぬ。／即使蛹也不一定能百分之百地羽化。③その六人が六人とも、六十才以上の老人ばかりだ。／那6个人全都是60岁以上的老人。④この学校の高校生は百人が百人まで志願大学に受かった。／这所学校的高中生一百人有一百个考上了报考的大学。

2) 表示主体的时间、地点范围。

①白梅は雨催いの曇り日が特にきれいだ。／白梅在天阴欲雨的日子里格外鲜艳。②ジンギスカンなべは熱いうちがおいしいって、早く食べようよ。／都说烤羊肉趁热吃香，快吃啊。③スリは浅草が多い。／小偷儿浅草（东京地名）多。

### 4. 后续个别词构成接续性词组。

1) 以“动词连用形たが最後”、“动词连体形が早いか”形式作接续助词用。前者表示某一行为一旦完成，就不可避免地出现某种不良结果，后者表示两个动作在瞬间相继而起。

①ここは都会だから、外へ足を出したが最後、千円札が飛んでしまうのです。／这里是城市，只要一出门槛儿，一张一千元的票子就没了。②電車を降りるが早いか、彼は一目散に走り出した。／刚一下电车，他拔腿就跑。③戸を開けるが早いか庭に飛びだした。／刚一打开门就跑到院子里了。



2) 接某些形式名词后构成接续性词组。某些主语色彩极少的形式已被广泛认定为接续(助)词,如ところが。偶尔也有接实义名词后的现象(例⑤)。总的接续作用是:表示前项事态意外地转变成后项中的相反事态。

①十日間ぐらいのつもりで国に帰ったのが、あれやこれやで思わず二十日もかかりました。／准备回老家住上十来天,不料因这事那事不觉过了二十天。②以上はこの文章のほんの前書きのつもりが、長くなったものである。／本来只准备给本文写几句前言,结果写成了以上的长文。③光秀は部隊を動かしたくても動かせなかった。それがこの夜九時に、京都から使者が来たことで一切は決まった。／光秀虽想调动军队却调不动。可巧,由于这天夜里九点从京都来了使者,一切都定下来了。④うまく行くだらうと思ったところが失敗した。／本以为会很顺利,结果失败了。⑤始めは数学の約束だけが、やれ物理だの、やれ化学だの、一方的に間口<sup>まぐち</sup>が広げられた。／起初只约定(由我为他讲)数学,却又是物理呀,化学啦,范围被单方面地扩大了。

5. 以省略谓语的形式表示惊叹、忿怒、轻蔑、漫骂、反驳等。

①「蛇が……蛇が」と喚きました。／“蛇! 蛇!”地喊了起来。②この馬鹿者めが。／你这个混蛋! ③なんだ,この気違いが。／胡闹! 你这个疯子! ④行くって誰が? 君が? /去,谁去? 难道是你?

6. 其他特殊的主格用法。

1) 构成同词反复形式～が～で(だから、だけに等),对双方都了解的某事或对这事的非同一般的程度进行特殊强调。

①そうさ,問題が問題だから,そう彼の言う通りにするわけにもいかないね。／是啊,问题非同一般,也不能照他的办。②何しろ問題が問題で,よほど学力の要る研究を要する。／总之课题复杂,需要进行相当高水平的研究。③事が事だけに繁一の言い方は,まわりくどいものになる。／因为此事非同小可,所以繁一说的绕来绕去。

2) 以～が～なら～も等形式表示后项以前项为假定条件。

①主が主なら,家来<sup>けらい</sup>も家来だ。／主也不是好主,仆也不是好仆。②向こうが向こうなら,こっちも何か言いたくなる。／他若真的不相让,

那我也有话要说。

【参考】1. が本来的用法是作连体格，作主格是后来演变的结果。が多出现于以体言作谓语的判断句和以用言连体形结句的句式（子句）中便是证明。古代日语无主格助词，主格以裸格表示。

2. 定语句中的が常以の代替，见「が」と「の」项。

3. が的造句特征。在多层结构的句中，が的主格功能局限性很大，一般只充当同一层次的连句节的主语。如：こんな試験には，法規そのもの，また法規をちよっともじった文を出して，それが法規にてらして正しいか正しくないかを聞く問題が多い。／在这种考试中，有许多试题是给出条例原文或仿造条例的句子，然后问这是否符合条例。

が 〈属格助词〉

【接续】接体言及活用词连体形后（形容动词只能用文言形式）。后续词为体言及助动词ごとし、ようだ等。

【意义】表示属格。文言。现散见于一些文章体惯用说法、固定词语、拟古文等。

1. 表示所有、所属关系。

①吾が国／我国。②吾が家／自己家。或：我的家。③吾が子／自己的孩子。或：我的孩子。④それがために（＝そのために）／因此。⑤われらが母校に幸あれ。／祝愿我们的母校昌盛。⑥人間万事塞翁が馬（谚语）。／世间万事，塞翁之马。

△“わが、万が一，君が代”等均已固定成词。

2. 插入活用词与后续的体言、形式名词、助动词之间，表示连体修饰关系。文言色彩很强。

①見るが物は無い。／没什么可看的。②生きんがために食う。／为生存而吃饭。③母は，何事によらず言うがままになるほどは，大夫を信じていない。／母亲并没有信任大夫（古官名）到言听计从的程度。④行くがほどのことはない。／不值得一去。⑤赤貧洗うが如し。／赤贫如洗。

が 〈接续助词〉

【接续】接用言和助动词终止形后。

①行くことは行くが，おそくなるだろう。／去还是要去的，不过很

可能晚去。②天気はよいが、風がひどい。／天气倒是很晴朗，就是风太大。③日本語も上手だが、英語もかなりできる。／日语很拿手，英语也满不错。④本当に良い人だが、その点だけはね。／确实是个好人，就是这一点上么……。⑤立ち上がろうとしたが、全く元気がなかった。／想站起来，可是一点儿气力也没有。⑥自信はありませんが、まあやってみることにしよう。／没把握，我就来试试看吧。⑦井手先生は今日帰られるが、見送りに行きませんか。／井手先生今天回去，你不去送行吗？

【意义】总的语法作用是关连事项的连接。

1. 表示引出与主观预期结果相反的逆结果的前提条件。

①急いだが、学校に間に合わなかった。／走得很急，但还是迟到了。②秋は来たが、涼しくならない。／到了秋天，天气还是凉不下来。③駅まで迎えに行ったが、むだあしをした。／到车站去接，却白跑了一趟。

2. 表示对比、对照。

①夏は暑いが冬は寒い所です。／是个夏天很热冬天又很冷的地方。②外国へ行くのはうれしいが、妻子との別れが辛い。／出国倒是件高兴的事，和妻儿的离别却是难堪的。③女史は優しく席を勧めたが、道子はむっつりして掛けようとしなかった。／女士和蔼地让坐，可道子绷着脸，不肯坐下。

3. 构成惯用形式～には～が和～ことは～が表示让步条件。

①読むには読みましたが、意味は分かりません。／读是读了，可是没懂。②このナイフは光ることは光るが、切れそうもない。／这小刀亮是亮，但不会锋利。

4. 表示主观想象的假定条件，引出不受前项约束的逆态结果。常以～（よ）うが～（よ）うが或～（よ）うが～まいが等形式出现。

①君がやめようがやめまいが、僕の決心は堅い。／不管你打不打退堂鼓，我的决心是坚定的。②君が行こうが残ろうが、僕の知るところではない。／你走也好，留也好，我都不管。③人がいようがいなかろうが、そんなことはもう構わない。／有人也罢，没人也罢，这些都不在乎了。④雨が降ろうが、槍がふろうが（谚语）／管他下雨还是下锥子呢！

（雷打不动）

5. 表示同时或相继发生，或单纯连接。

①夜中に目がさめたが、もう雨はやんでいた。／夜里醒来，雨已经停了。②泥棒が逃げたが、私はそのあとを追った。／小偷逃跑了，我在后面追。

6. 连接并列、追加项。常用～も～が～も形式。

①お子さんは背も高いが、力も強いね。／您的孩子个子高，也很有力气。②彼女は器量もあるが才識にも富んでいる。／她既漂亮又有才学。

△还构成～も～だが、～も～だ形式的惯用形式，表示二者都同样具有某种不言而喻的性质或情况。

①ご飯もご飯だが、まず酒だ。／饭当然要吃，还是先喝酒吧。②親父も親父だが、むすこもむすこだ。／爹也不是好爹，儿子也是一个味儿（有其父必有其子）。

7. 表示前项是对后项（叙述的主要内容所在）的补充说明、背景知识、对发话场景的说明、引起话题等。常带有犹豫不决、辩解、解释、客气、谨慎等口气。

①鈴木と申しますが、御主人は御在宅でしょうか。／我叫铃木，您丈夫在家吗？②では、お話ししますが、よく聞いてくださいますか。／那么我说了，请您仔细听。③僕も見たが、それは大変いい映画だった。／我也看了，那是一部非常好的电影。④腹も立つでしょうが、まあ私の顔に免じて。／你大概生气了，就看在我的面子上吧。⑤早速だが、古川さんとの話し合いはどうだったね。／我开门见山了，你和古川先生的商谈结果怎么样？⑥新聞で見たのですが、総理が訪中することになっているそうですね。／是从报上看到的，据说总理将访华。

【参考】1. 于院政时代由格助词が转化而成，室町时代得到长足进展。原来接用言连体形表示主语，后来连体形转成口语终止形，由主语转化成谓语，主格助词が也随之转成接续助词。一直是男性较女性多用。

2. 在复杂的句子中，有时前后两项中间插进接续词语，以加强语气。



①背も高いが、また力も強い。／个子也高，也很有劲儿。②急いだ  
が、しかし、間に合わなかった。／尽管抓紧时间，可还是没赶上。

が 〈接续词〉

由接续助词が转成，意义也大致等于接续助词が。

1. 表示前后两句内容间的对比、对照、逆态关系。

①宇宙の大は無限である。が、宇宙を作るものは百幾つかの元素  
である。／宇宙之大是无限的。然而，组成宇宙的却是一百多种元  
素。②行くには行った。が、時すでに遅かった。／去是去了，但为时已  
晚。③君のいうことはそれでいい。が、しかしこちらにも言い分があ  
る。／你可那么说。不过我也有要说的。

2. 引出话题。

①私はこの学校の教師です。が、あなたは一体どなたですか。／我  
是本校的教师，您到底是哪一位。

が 〈终助词〉

【接续】由接续助词が略去后项而转成。接续同接续助词が，可后续な、  
ね等其他终助词。

【意义】1. 表示难以实现或不能实现的愿望。带有遗憾、不安、踌躇等  
口气。

①翼があれば飛んでいくんだがな（あ）。／如果有翅膀就会飞去的。  
②「雨がやめばいいが」と空を見上げてつぶやく。／仰望天空自语道：  
“雨停了该多好。”③おれにも世界旅行ができたらいいいんだがなあ。  
／要是我也能周游世界该多好啊！④人間も猫ぐらい沉默を守るといい  
がな。／若是人也能象猫一样沉默就好了。

2. 表示不作最后判断而让对方斟酌。常有不解、忧虑等语气。

①僕より造作なくやりそうな人もいるが。／还有人会比我做得更容  
易。②「あなたならご存じでしょう?」「さあ，知らないでもないがね。」  
／“您是知道的吧?”“是啊，也不是毫无所知。”③実は聞きたいことが  
あって，まいったのですが。／我来是有事要请教您的。④どうも誰かが  
池田さんの手をまねて書いたものとした僕は思えんがね。／我总觉得  
(这)一定是有人摹仿池田先生的笔迹写的。

3. 接推量形后，表示责怪、要求对方理解同意的语气。

①宿題を早くすませておけばよかったでしょうが。／早点完成作业就好了，（可你）。②どうです，大したものでしょうが。／怎么样？了不起吧。

かい 〈终助词〉

由终助词か、い构成。也可看作两个终助词重叠。用于句末。

1. 表示语气较强的疑问。只用于对儿童或亲友间。

①太郎や帰ってきたかい。／太郎，你回来啦。②そんなにかってに扱っても大丈夫かい。／那样不精心使用，不要紧吗？

2. 用于反话法。

①そんなこと知るもんかい。／我才不管那套事儿呢。②死にこそすれ降参するもんかい。／宁死不投降！

3. 感叹。

①お父さんが議員に選ばれたって本当かい。／爸爸被选为议员了，这是真的啊？

解释文法 カイシャクブンポウ 解释语法

1. 日语语法专用术语，指读解语法（见另项）中以正确解释文言语法为目的而编写的实用性的语法。解释语法起源于中世纪朴素的语法研究，主要是在解释当时或以前的作品中的语法特别是てにをは的过程中发展起来的，是为文学作品的读解服务的。这一思想为后来的古典教学语法所继承。古典语法或文言语法就是为了读解古典作品而编写的，如山田孝雄的「平家物語の文法」。除创作和歌外，不涉及表达功能，所以文言语法都是解释性的，解释语法属于读解语法。战后，解释语法得到长足的发展，出现了时枝诚记的「古典解釈のための日本文法」等一系列的著作、丛书等。

解释语法一般从语法学、描写语法、历史语法中借用一些理论和内容来适当地组建自己的体系。在具体作法上，学者间不尽一致。佐伯梅友等重视句子分析，认为文章本身的分析研究不是解释语法的任务。远藤嘉基侧重文章分析，认为不必拘泥于语法。大野晋认为解释古文必然要分析具体作品，所以要重视作品的内容和形式的时代差别。一些参考书则

以助词、助动词、敬语为重点。下面介绍「講座・解釈と文法」第五卷的目录，以示解释语法之一斑。

《平家演义》的解释及其语法问题；《平家演义》解释中的问题；《平家演义》和中世的语法；《平家演义》中的用词法和用字法；《平家演义》的敬语法；作为故事的《平家演义》和语法；《方丈记》的解释和语法问题；《徒然草》的解释和语法问题；《徒然草》和中世的语法；《徒然草》中主题的展开和文章结构；故事的解释和语法问题；谣曲的解释和语法问题；狂言的解释和语法问题。

有时解释语法也把现代日语包括在内。这时一般称为“読解文法”。

## 2. “说明文法”的同义词。

がいなや 〈接续助词〉

文言色彩很强。等于がはやいか、やいなや。表示两个动作行为无间隔地连续进行。

①夕飯を済ますがいなやまだ日の落ちぬ中にふいと家を出てしまった。／刚一吃完晚饭，趁天没黑闪出家门。②門口<sup>かどぐち</sup>を出るがいなやつ走った。／一出门口就急速跑去了。

概念語 ガイネンゴ 概念语

山田语法用语。概念语和陈述语同属自用语，自用语和副用语合起来构成观念词。概念语相当于体言，包括名词、代词、数词，是表示语言材料的概念，在陈述时作具体材料。

外来語 ガイライゴ 外来词、外来语

【解释】指近现代从欧美和其他国家的语言中用音译的方法借用来的词。其中，英语（战前）和美国英语（战后）的借词不仅数量多，而且广泛分布于各种领域中。其他欧洲语言的借词在使用面上有所侧重，如来自德语的借词侧重于医学用语（ガーゼ、トラホーム）、登山用语（コッヘル、リュックサック）和哲学用语（イデオロギー），法语借词侧重于艺术用语（ジャンル、デビュー）和食品用语（オムレツ、ビフテキ），意大利语借词侧重于音乐用语（オペラ、ピアノ），来自俄语的则都是新词（インテリ、ノルマ、ツンドラ）。日语最早的外来词是从荷兰语和葡萄牙语中吸收来的，主要侧重于新的日常生活用品名，如，ソーダ、コンパス

(荷)、ピロード(葡)。

来自其他语言的如: オランウータン(马来语)、カレー(泰米尔语)、カンガルー(澳洲土语)、キセル(柬埔寨语)、ココア(墨西哥土语)、ジャングル(印地语)、タブー(波利尼西亚语)。以上词有些中介英语传入日语中。另外, 还有个别词是从中国和朝鲜传入的, 如: マーシャン、メンツ; オンドル、チョンガー。

外来词还包括日本自造的复合词, 称“和製英語”, 如: アイス・キャンデー、サラリーマン、テーブル・スピーチ。作为特例, 一些仿照外来语的语音结构特征而自造的商品名也可看作外来词, 如: サントリー(三得利, 酒名。←sun, 鳥居)、カトール(蚊香名。←蛇取る)。

【词形】日语原则上是开音节的, 而多音节化、把词形拉长是外来词的重要特征之一。如: spring(一音节)→スプリング(五音节)、strike(一音节)→ストライキ(五音节)。又由于日语语音简单, 不可避免地出现一些同音词, 如: bass、bath、bus→バス, reader、leader→リーダー。为了较准确地译写外来词, 出现了“ファ、フィ、デュ、ティ”等新的音节和标记法。但这些音节不符合日本人的发音习惯, 往往改说成类似的日语音节来发音, 如: ヴァイオリン→バイオリン、ディレンマ→ジレンマ, 于是出现词形不稳定现象。エックス和エクス、コンピューター和コンピュータ也是词形不稳的例子。

有的外来词只作造词成分用, 或者通过一定的语音变化作造词成分。例: ガール・フレンド、ガール・スカウト; ビャ・ガーデン(ビャ←ビール)。外来词中还有缩写词, 如: TV、OL、LP、PTA。

【词义】一般说来, 如果原词是单义的, 作为外来词也是单义的, 如: ink和インク、pen和ペン。同时, 若原词是多义的, 则外来词也是多义的, 如: back和バック都有“背景、后退、背面”的意思。但有一些外来词只具有原词的部分意义, 如英语card有“卡片、扑克、项目表”几种意义, 而外来词カード一般只有“卡片”一个意思。甚至有的外来词与原词语义不同, 如: クレヨン指“蜡笔”, 其法语原语crayon指“铅笔”。又如トランプ指“扑克”, 而其原词trump(英)指“纸牌”。还有一种特殊情况, 即一个原词产生两个音义都不同的外来词, 如以strike为原词



的ストライキ和ストライク，以sheet为原词的シート和シーツ，以truck为原词的トラック和トロッコ。这些词称为双生词。有些双生词是由于来源不同而产生的，如：カード（英card）、カルテ（德Karte）、（アラ）カルト（法〔ala〕karte）、カルタ（葡carta）。

【词类】1. 绝大多数是名词。因为外来词一般是随着外来事物而来的，名词没有活用而易于借用。

2. 名词中的一部分，因原词有动词意义或本为动词，日语可作サ变词干。如：リードする、ノックする、カットする、アップする。个别词后接日语最典型的动词词尾“る”而构成五段动词：デモる、サボる、ダブる。

3. 原词为形容词的外来词作形容动词。如：センチメンタルだ、チャーミングだ、デリケートだ。

4. 近年来学生用语中出现了ハロー、ヘーイ等源于英语的感叹词、ガンツ等源于德语的副词。另外拟声拟态词，如：チクタク(ticktack)、ジグザグ(zigzag)。副词兼连体词的有オンリー(only)。

#### 会話文 カイワブン 会话文

【解释】会话文一般指用文字记录下来的单个人或多数人的句子或文章。把会话文的文体称作会话文体。广义的会话文包括对谈记录、座谈记录、会议记录等经过整理的会话文体的文章。狭义的会话文指一篇文章中与叙述部分（地の文）相对立的会话部分。通常所说的会话文指狭义的会话文，下面就狭义的会话文略加说明。

会话文的主体是文章人物，会话文之间的关系就是文章人物之间的交际关系。会话文和反映作者和读者之间交际关系的叙述部分相辅相成，构成一个完整而统一的文章。戏剧、相声等以会话文为主，夹用最低限度的叙述部分，而小说以叙述部分为主，同时积极使用会话文。至于广义的会话文，如对谈记录、座谈记录等原则上都是会话文。只把那些特殊的表情（如泣きながら）或动作（立ちあがって）作为注释形式记录下来。

【特征】1. 因会话文体现文章人物之间的交际关系，所以会话文中可以出现与叙述部分（地の文）不同的语言成分。如：方言、外国语、各种敬语、应答。

2. 因会话文依赖于叙述部分，故经常使用表达的内容和形式不完整

的应答、省略、沉默(……)、感叹词、终助词等。

3. 会话文用引号「」和双引号『』表示。双引号表示引语中的直接引语。有时,把内心思想也作会话文,括于引号之内。

【会话文与叙述部分的结合形式】日语的会话文一般以直接引语的形式插入叙述部分中,位于叙述部分的中间、前部和后部等任何部分。

彼は「ぼくは知らん。」と言った。／他说:“我不知道。”

「ぼくは知らん。」と、彼は言った。／同上。

彼は(こう)言った。「ぼくは知らん。」と。／同上。

有时会话内容和解说部分融为一体,构成间接引语。间接引语已失去了会话文的性质。因此,不看作是会话文。

会话文即直接引语有客观性和形象性,但有碍于叙述部分的连贯性,而间接引语则与此相反,虽然有连贯性,却没有客观性和形象性。为了克服这种缺点,日语中常用的不是欧文式的直接引语和间接引语,而是两者的融合形式。其结果,有些句子往往把直接引语和间接引语加以混淆,造成成分不清主观说法还是客观引述的缺点。

会话文常后续と言う等。通过其活用可作叙述部分连体修饰语和连用修饰语。作连用修饰语时可省去“言う”。

「敵だ」と叫ぶ人があった。／有人喊:“敌人!”

「敵だ」と叫んで(=叫びながら)手に銃をつかんだ。／大喊:“敌人”, (同时)把枪拿到了手里。

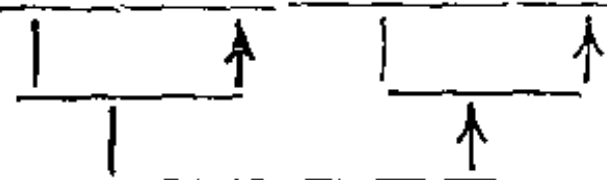
「敵だ」と手に銃をつかんだ。／同上。

**係り受け カカリウケ 承接和关连**

指句中句节之间的相互关系,即关联和承接。日语句子以位于句末的谓语为核心,前面的成分(句节)都关联到谓语,而谓语直接、间接地承接其前的所有成分。如,“桜の花が、美しく咲いた。”中“桜の”对“花”,“美しく”对“咲いた”是“係り”(关联)。反之是“受け”(承接)。这样,通过句节的关联承接作用,形成句子之间的各种关系,如主谓关系、修饰被修饰关系、接续关系、并列关系等,这是句子赖以成立的内在基础。

句节之间的关联承接关系往往不在一个平面上进行,而是在不同层次上进行。其中,谓语句节一般承接多数项。图示如下:

桜の花が美しく咲いた。



另外，谓语句节出现于句中时，对于后续部分仍有关联作用。

雨が降り，道がぬかるむ。／下雨，道路泥泞。

**係助詞** カカリ ショシ 提示助词、系助词。

【性质】助词的一种。接于体言、用言连体形（准体言）、副词及副词性句节后，对后续用言赋予种种陈述意义，表示强调（こそ等）、类推（さえ、も、でも、だって）、区别限定（は、しか、ほか）、选择（なり、と）等作用。如“今日私は散歩には行かない。／今天我不出去散步”一句中，第一个“は”把主格“が”确定为陈述的主题，使后续内容都说明这一主题，第二个“は”限定范围，“行かない”只在这个范围内成立。

提示助词除了起陈述作用外，还兼起格助词（限于が、を等）的作用，亦即兼表格关系。如“君だってだめだ／你也不行”一句中，“だって”兼表主格（が）。除主、宾格以外，提示助词通常和格助词重叠，位于其后。

在文言中，提示助词还可以用于句末使句子得以结束，并增添感叹、疑问、反诘、希望等意义。现代日语中的某些终助词即来自这类用法，比如“わ”。文言中提示助词的句中用法较独特，特定的提示助词一定和句末用言的特定活用形呼应。如：好きこそものの上手なれ（已然形）。这一原则称系结原则。

【与副助词的区别】相同之处是：二者都有很强的主观色彩，在结构上都关联后续用言。区别在于：如山田所言，副助词从意念上修饰后续用言，提示助词则从陈述方式上来修饰。在文言中，这种区别表现为系结原则的有无。在现代日语中，系结原则的消失使得二者在语法形式上没有区别。与格助词重合时，提示助词通常位于其后，而副助词也可位于其前。与副助词重合时，提示助词位于其后。

【分类】田中章夫作了如下分类，其中包括部分副助词。

1. 特立提示：は、こそ、って、てば、ったら。
2. 限定提示：さえ、すら、しか、のみ、だけ、きり。

3. 非限定提示: も、でも、しも、なんて、だって。

4. 不定提示: か、やら。

【诸说】“係助詞”系山田孝雄首次提出。对此异论甚多,对其本质至今无定论。安田喜代门根据提示助词和副助词关连后续用言 并对其加以限制的特征,将二者统称为副助词。桥本认为提示助词使上接词以非接续的关系连接后续用言。山田把提示助词单独划分出的主要理由是它与格、副助词重合时要位于其后。松下大三郎把提示助词研究的重点从文言转到现代语,指出“は”的分提作用(分説)和“も”的兼提作用(合説),提出总主、题目语等新概念,但仍以山田的观点(陈述作用)为基础。后来佐久间鼎对此作了修订,认为“は”表示“特说”,“も”表示“共说”,与二者相对的另有“特題助詞”こそ。时枝把并列、副、提示助词总括为限定助词。

#### 係り結び カカリムスビ 系结

指文言中的这种现象:句中出现某个特定的助词,句末谓语的形态要发生相应的变化。换个角度说:一定的助词和一定的句末用言的形态之间有严格的搭配关系。“係り”即提示助词(係り助詞)，“結び”即呼应的活用形。二者对应关系如下。

提示助词	活用形	用 例
は	終 止 形	運を待つ <u>は</u> 死を待つにひと <u>し</u> 。
も	終 止 形	花 <u>も</u> 美 <u>し</u> 。
ぞ	連 体 形	雪 <u>ぞ</u> 降り <u>ける</u> 。
なむ	連 体 形	これ <u>なむ</u> 求むるもの <u>なる</u> 。
や	連 体 形	花 <u>や</u> 美 <u>しき</u> 。
か	連 体 形	たれ <u>か</u> あ <u>る</u> 。
こそ	已 然 形	花 <u>こそ</u> 美 <u>しけれ</u> 。

上述现象,江户以前的人们只是当作用言的活用形变化,即形态特征



来看的。江戸时代的本居宣长及现代的山田孝雄都看作是造句功能的问题，阐明了系结现象的本质。

提示助词は、も主要表示指示、感叹，ぞ、なむ、や、か主要表示疑问、希望，こそ主要表示反语、命令。这些不同的表达意义和不同的系结现象有密切的关系。即，终止形表示表达思想已完结，而指示和感叹是对客体的认识业已完成的表现，所以终止形能够表达指示和感叹。连体形意味着后面还有被修饰语，而疑问和希望都是言犹未尽的表现，所以能用连体形表示。已然形本应后续接续助词，而在系结现象中只到此为止，实际上应该有的后一部分没有出现，以此来表达反语或按前一部分的内容去执行（即命令）等意义。

系结现象最早出现于奈良时代，当时还不完整，到平安时代形成了很严密的规则，以后又逐渐退化，造成用か、や表示疑问，用其他表示强调的局面。又由于强调用法的频繁使用，人们习以为常，失去了强调的意义，并且连体形终止法和终止形终止法的区别也消失了。随着终止形被连体形所同化的潮流，最后终于失去了特有的形式特征。

现在系结现象已不再作为一种规律而存在，只在文言体文章、和歌以及成语、谚语中保留一点痕迹。残存的惯用形式只有“こそあれ”、“こそすれ”、“こそ言え”之类。但现在所用的提示助词（は、も、こそ）和系结现象中的提示助词仍有共同性。即：超越连用关系而关联到句末“陈述”（见该项）。另外，在古代和现代，提示助词都用于连用格助词之下（文言：本をこそ読まめ。口语：本にはもう飽きた），使之关联到句末，这也是系结现象的内在表现。

かかる（掛かる） 〈动词〉

五段、自动词。

1. 补助动词用法。以てかかる形式接于动词连用形后，表示挑战性地、武断地去对待某个事项。

①食ってかかる。（固定成词）／顶撞。②事實はそうですが、被告の方が否定してかかるかもしれません。／事实正是如此，不过被告方面有可能对此一口否定。③これは，極小規模の調査だから，これで中学生全般の考えをきめてかかるわけにはいきません。／这是一次规模极

小的调查，不能凭此来断定全体初中生的想法。④外国のものだというだけで、優れていると簡単にきめてかかる。／只因为是外国的，就简单地认定一定好。

2. 接尾词用法。接于动词连用形后。

1) 表示动作或状态的开始或出现。

①太陽に照らされて熟しかかった玉子。／被太阳照得快熟的鸡蛋。  
②腐りかかった果物／开始腐烂的水果。③仕事は出来かかっている。／工作就要做完了。④崖の石が落ちかかっている。／悬崖上的石头眼看要掉下来。

△此用法只接于瞬间动词后（见上例），而整体动词是继续动词。因此，“今ちょうど消えているところだ”不成立，但“今ちょうど消えかかっているところだ”却成立。

2) 表示该动作是冲着某个目标、对象进行的。

攻めかかる、垂れかかる、つかみかかる、飛びかかる、のしかかる、引っかかる、降りかかる。

**書き言葉** カキコトバ 书面语言

以文字为媒介，能够读和写的语言形式称为书面语言或文字语言。与以声音为媒介的口头语言相对。

人类最初的语言形式是口头语言。随着生产力的提高，出现了克服空间和时间的局限性去传播和交流知识的需要，于是发明了文字，从而开拓出人类语言交际的新领域。

书面语言通常无特定对象和特定场面，不能利用声音形式（如重音、句调）和表情动作等辅助手段，这使得书面语言具有以下特点：

1. 在句法方面。句子结构完整严密，少有省略和重复。语序正常，少有倒装等。多用连用形，如：ぼくも行き，きみも行く。句子长而复杂，修饰成分很多。用标点符号来代替口头语言中的语音功能的一部分。

2. 在词汇方面。指示词主要用于文脉用法。感叹词、拟声拟态词、终助词、间投助词用得较少。相反，汉源词用得较多，能用词形区别同音异义词。通常用共同语词汇，少用方言、俗语、隐语、流行语词汇。

3. 在文体方面。除书信文以外的书面语言很少用敬语，常用与口语

不同的敬称，如”殿、氏、嬢”等，多用である体。另外，还常夹用汉文体、文言体、翻译体等。

书面语言和口头语言的差异是局部性的，差异主要表现在文体和少数词汇上，而语法和大部分词汇是基本相同的，因此不应夸大差异性，忽视共同性。

书面语言不仅是对口头语言的重大补充，而且整理并发展了口头语言。书面语言的学习成了学习人类文化知识的重要途径。

カ行变格活用 カギョウヘンカクカツヨウ カ行变格活用 カ变  
文言及现代语中动词的活用类别之一，各有“来”和“来る”一词。无词干，可看作有零词干，因始终围绕き、く、こ三个段变化，有人称为三段活用。活用表如下：

	基本形	词干	活用形						
			未然	连用	终止	连体	已然 假定	命令	推量
文言	来	○	こ	き	く	くる	くれ	こ(よ)	○
现代	来る	○	こ	き	くる	くる	くれ	こい	こ

“来る”的活用形从文言到现代语变化不大。其中，文言的命令形除“こよ”外，主要以“こ”作为命令形。从室町时代起，こよ逐渐转化为こい。另外，未然形在某些方言中等用“き”形，如：きられる、きない等，属不规范用法。

かぎり（限り）

1. 形式名词用法。表示某个范围的全部或极限。

①私の知っている限りでは，日本では金<sup>きん</sup>がとれない。／就我所知，日本不产金。②力のかぎり助けてあげます。／我将尽全力帮助你。③見渡すかぎり金波が波打つ。／金波荡漾，无边无际。④全員出動しなけれ

ばならないが、病者はこの限りではない。／必须全体出动，不过有病者不在此限。⑤うれしい限りだ。／高兴极了。

## 2. 接尾辞用法。表示容许的范围。

①受けつけは今月かぎりで打ち切りとなります。／受理限本月截止。  
②くり返しは三回かぎりです。／重复最多不得超过三次。③この話はこの場限りにしておいて下さい。／这件事请你以后就不要再提了。（在这说完就算完了）④交易は現金かぎりで行われます。／交易限用现金进行。

3. 接续助词用法。在前项确实存在的或无法变更的（例③、④）既成条件下，必然会有后项结果。常有坚定不移、确信的语气。

①核兵器が存在する限り核戦争の危険は必ず存在する。／只要存在核武器，就必有核战争的危険。②向こうさんから頭を下げて来ないかぎり，こっちは絶対に許さない。／只要对方还没来低头认错，我就绝对不会原谅。③未成年であるかぎり，たばこと酒はぜひとも避けてほしい。／既然尚未成年，希望一定不要沾烟酒。④法規によるかぎり，正しいと言わなければなりません。／按照法律，则只能认为是对的。

## 格 カク 格

【解释】普通语言学语法范畴之一。某事物与他事物或其运动、状态之间的各种关系反应在名词、代词、数词等的词形变化或地位上，就构成语法范畴的格。

【日语的格】各语言的格都有自己的特点，而且繁简程度也不一样。日语是通过体言后附加助词来表示格的，称之为格助词。如：君が（主格）、君を（目的格、对格、宾格）、君に（与格）、君から（夺格）、君のところまで（极限格）、君へ（方向格）、君で（具格、工具格）、君と（共格）、君の（所有格、领格、属格、形式格）、君（裸格）、君I（呼格）。日语格的名称和数目众说不一，以上仅供参考。

也有用格助词名称来直接称呼格的，如：ガ格、ヲ格。这样规定的格只解决句子表面形式的语法关系，无法揭示一个格所表示的几种语法意义。如，ガ格（主格）不仅表示主语，还能表示对象语。从转换生成语法角度看，ガ格可以表示动作主格（私が書いた。／是我写的）、经验者格（私が財布を落とした。／我弄丢了钱包）、原因格（私の失敗が彼を悲し



ませた。／我的失败使他悲伤）等。同时，同样的格关系可以由不同的格助词表示。以原因格为例，可以用に（ちょっとした事に手をやいている。／为一点小事儿感到棘手）、から（ちょっとした事から喧嘩になった。／由于一点儿小事儿打了起来）、で（ちょっとした事で休むのか。／因一点儿小事儿就不上班吗？）、が（ちょっとした事が彼女をなやませている。／有一点小事儿正在使她烦恼。）、等表示。

据泉井久之助的初步研究，理论上的格可能有343到344个。这么多的关系要由九个格助词来承担，就难怪格助词有多义性了。将格的关系即格助词的用法规定为多少种还有待进一步研究。

【诸说】最初把格的概念运用于日语语法中的学者是鶴<sup>つる</sup>峯<sup>みね</sup>茂<sup>しげ</sup>申<sup>のぶ</sup>。

山田语法中把格称为“位格”，认为位格是“观念语”（独立词）在互相关系中所占有的地位资格。位格用“关系语”（付属词）表示，共有七种：1. 呼格（少納言よ。／少纳言啊！）。2. 述格（私は山田だ。／我是山田）。3. 主格（见2例中的“私”）。4. 賓格（见2例中的“山田”）。5. 補格（本を彼に渡した。／把书交给他了）。6. 連体格（新しい本／新书）。7. 修飾格（ゆっくり走る／慢跑）。

时枝语法中把每个词在统一的句中所占的位置称为格。设有“述語格”（静かだ）、“主語格”、“修飾語格”、“対象語格”（酒が飲みたい。／想喝酒）、“獨立語格”。时枝讲的格就是作某一个句子成分的资格。

松下语法认为格是名词、动词、副词、副体词（连体词）、感叹词等在连词（相当于连句节）和断句（相当于句子）中所占的地位，并把名词的格分为一般格和特殊格，特殊格包括连体格和连用格，把主语看作连用格的一种。

⇒格文法、主格、目的格、所有格、对格、述格、与格、修饰格、呼格、裸格

かくして

派生于文言指示词“かく”。可简略为“かくて”。只用于文章。

〈接续词〉表示由上文内容引出的后项结果、结局。相当于口语的“こうして、このように”。

①相手も示談に同意し、僕も一度あやまった。かくして事件は一

応おさまりそうになった。／对方也决定私了，我也道歉了。就这样，事件趋于基本了结。②今か今かと首を長くして待っていたが人のおとずれもなく，かくてその日も暮れた。／每时每刻翘首以待，却没有人来，这一天也这样过去了。

〈副词〉 1. 代指前面提到的具体情况、原委等，表示状态。

①私の本代はかくして彼らの手にうつっていった。／我的书钱就这样落到他们手里去了。

2. 只起调解语气作用。

①父は，かくして六十三です。／父亲，63岁。

格助詞 カクジョシ 格助詞

【性质】助词的一种。接于体言类之后，使其成为句中的某种成分，表明与其他成分之间的关系即格关系。如，在“猫がねずみをにらんでいる。／猫盯着老鼠”一句中，“が”表明“猫”是“にらんでいる”（谓）的主体即主语，“を”表明“ねずみ”是“にらんでいる”的对象即宾语。如改成“ねずみが猫をにらんでいる。／老鼠盯着猫”，则主体和对象的关系与上句正相反。

在造句过程中，只有连体格助词“の”能和“が、を、に”以外的连用格助词重叠使用，如“への、との、までの”等等。此外的格助词之间不能重叠。

格助词与副助词重叠使用时，通常位于副助词前。有时两可，如：太郎だけに（或：にだけ）知らせる。／只告诉太郎。

格助词与提示助词重叠时位于提示助词前。如：学校には（※はに）行きたくない。／不愿意到学校去。

格助词与并列助词重叠使用时，通常位于并列助词前。例：鉛筆でなりボールペンでなり書けばいい。／可以随使用铅笔或圆珠笔写。下例中似乎格助词位于并列助词之后，实际上格助词是接于名词性词团之后（画线部分）的，与上例不同，而且格助词只出现一个。例：鉛筆なりボールペンなりで書けばいい。／可以随使用铅笔或圆珠笔来写。中国人と日本人とアメリカ人（と）が住んでいる。／住着中国人、日本人和美国人。

格助词是格关系表面化的结果，然而许多场合下格关系经常是不出现表面化，文言中用名词的裸格形式表示主语和宾语以及现代日语中（口语中）格助词的省略等等，都是未表面化的结果。当副助词出现时，常常不再出现格助词，此时格关系也是暗含着的，如：いろはも（←を）知らない。／连基础知识都不懂。化粧品ばかり（←が）入っている。／装的尽是化妆品。

【范围】公认的格助词有が、の、を、に、へ、と、より、から、で。まで兼有格助词和副助词性质，有人作副助词，如阪仓笃义，有人作格助词，如大槻文彦。

格助词按其性质还可再细分成连体格助词（の。文言中有が、つ）和连用格助词。前者构成的句节修饰体言，后者修饰用言。其中连用格助词还可分成主格助词（が、の）和狭义的连用格助词。

【诸说】大槻文彦第一次把格助词作为第一类助词划分出来，并指出接于名词后的助词与拉丁语的名词格相似。山田孝雄继承了大槻的三分法，提出六分法，把参与句子成分的助词命名为格助词，“格助词”的名称沿用至今。但松下大三郎把接续助词（用言の格助辞）和格助词（体言の格助辞）统称为格助词。

关于格助词的范围，大槻，三矢重松的语法中包括まで，时枝语法包括は的部分用法和まで。另外，以口语为主的语法书多不包括して，以文言为主的则多不包括で等。桥本把格助词定义为只接于体言及体言性词组后，与后续词构成连用关系的词，所以の自成一类，称准体助词或连体助词，把と、に等表示对等关系的助词称为并列助词。时枝把の、に、と中的部分用法称为指定助动词。

**確認表現** カクニンヒョウゲン 确认表达法

指以肯定的语气来陈述、解释、断定的表达法。

【形式】1. 叙述句后续表示确认的终助词ね、な、よ、わ、ぞ、ぜ等。这些助词除具有确认的陈述作用外，还表示亲密、感叹、提醒等。详见各项。

①中村君がまだ来ないんですよ。／中村还没来。②この二倍ぐらいあるね。／有这个的两倍啊。③いいわよ。いいわよ。そんなに謝らな

くても。／好了，好了。不必这样道歉了。

2. 叙述句后续助动词た、のだ（んだ）。

①あしたは日本語の授業だった。／（我想起来啦！）明天是日语课。②君が責任を取るんだ。／应该由你负责任。

3. 某些陈述副词。

①それはたしか関東大震災の年のことだったと思います。／我记得那是关东大地震那年的事。②私も聞いたが、やはりそうだったね。／我也听说来着，还是这么回事啊。③さすがに名勝地だけのことはあります。／真不愧是名胜地。

4. 惯用型。

①この本に書いてあるのは自分の経験をまとめたものにほかならない。／本书所描写的内容不外乎对我自己经历的总结。②どろぼうは非常口から入ってきたのにちがいない。／小偷准是从太平门进来的。③そんな言葉づかいをすれば、日本人に誤解されるにきまっている。／使用那样的措词，注定要被日本人误解的。④それは、やさしいといえбайえるものだ。／那要说是简单也简单。

格文法 カクブンポウ 格语法

美国语言学家费尔摩（C·T·Fillmore）在修正转换生成语法的基础上创立的语法理论，一般仍看作转换生成语法的一个分支。费尔摩根据普遍语法的思想，认为存在着一套对任何语言都普遍适用的格关系，这些格关系从语义上支配着句子的深层结构，而格关系在表层结构中如何体现在各语言中不尽相同，如：日语主要靠格助词，英语主要靠介词，汉语主要靠语序。格语法对句子的深层结构的基本看法是：句子都是由一个动词（日语包括所有用言）和关联到这个动词的若干个格成分构成；动词是句子的中心，起着支配、决定格成分的种类和数目的作用。还认为应当从格成分的种类和数目的不同着手对动词进行分类。

根据上述原理，在某一具体语言中，有时虽然形式不同，只要其实质意义相同或相似，就被认为具有相同的格关系或深层结构，相反，即使形式相同，如果实质上的语义关系不同，就认为具有不同的格关系或深层结构。如“太郎が花子を殴った”和“花子が太郎に殴られた”这两个



句子的深层结构是一样的，具体说，“太郎”始终是动作主格，“花子”始终是对象格，虽然在表层前者分别表现为（或转换成）主语和补语，后者分别表现为宾语和主语。再如，“僧が扉をひらく”和“風が扉をひらく”两句，尽管“僧、風”在表层上都是主语，在深层，“僧”是动作主格，“風”是原因格，是门开的原因。

格语法的深层结构表示的是语义关系，认为格关系直接存在于深层结构之中。标准理论即通常狭义的转换生成语法的深层结构则仍表示句法关系，格关系是在转换过程中派生出来的。

格语法到底应设多少个格，尚未最后解决。费尔摩认为应设动作主格（A）、经验者格（E）、工具格（I）、对象格（O）、起点格（S）、目标格（G）、场所格（L）、时间格（T）。这些格在表层成为主语的难易程度是不一样的，上面即按照由易到难的顺序排列。

目前格语法理论已被许多国家的语言学家接受或部分吸收。日本学者仁田义雄在「語彙論的統語論」一书中对日语进行的描写主要是根据格语法的理论。目前格语法理论中关于动词按照所支配的格的种类和数目重新进行分类的主张得到广泛的认可。上述仁田著作将动词分为一价动词、二价动词、三价动词等等。我国学者朱德熙曾划分动词为一向、二向、三向等。“价”或“向”等等均和格语法中的格框架（格の枠組，case frame）理论相当。

かける（掛ける）〈动词〉

下一段活用。

1. 实义动词用法。“挂ける”及其派生义，解释从略。有以下两种固定用法。

1) 以（～から）～に（或へ）かけ（て）形式表示某时（地）到某时（地）之间的整个区间。

①中学から高校にかけて、僕は英語の塾に通っていた。／整个初中到高中期间，我上了英语业余补习班。②鉄砲魚<sup>うお</sup>は東南アジアからインドにかけての国々に分布している。／“河豚”分布于由东南亚到印度的各国。③そのとき、ロビーから玄関へかけて、三十人ぐらいの人がいた。／当时，从前厅到门口大约有三十个人。④私は昭和40年5月から

6月へかけて、中央アジアを旅行した。／我曾于昭和40年的5月到6月间到中亚旅行。

△にかけて和まで都表示终点。但前者重点在过程，后者重点在终点。因此，无明确终点的不宜用まで，而要用にかけて。※関東から関西まで（→にかけて）豪雨があった。／从关东到关西一带下了一场暴雨。

2) 以～にかけては形式，表示把诸事项中的某一项提示出来。

①彼は金もうけにかけては抜け目がない。／在赚钱上，他很精明。

②語学にかけては彼の右に出る者はいない。／就外语来说，没有比他更强的了。

2. 接尾词用法。

1) 接于继续动词后，表示动作已开始进行但未结束。多用～て、～た形式。

①編みかけのセーター／织到半截的毛衣。②手紙を何字か書きかけたとき、お客さんに来られた。／信刚写了几个字的时候，不巧有客人来了。③やりかけている人はちょっと手をやめなさい。／已经开始做了的人暂时停一下。④あまり難しいから読みかけてやめてしまった。／因为太难了，没读完就放弃了。

2) 接瞬间动词后，表示这个动作或其结果即将要出现。

①ボートが引っ繰り返りかけたが、すぐ元にもどった。／小船差一点翻，但马上又正过来了。②私がかけてつけた時、皆はもう出発しかけていた。／我赶到的时候，大家正要出发。

△有时接继续动词后也能表示用法2) 的意思。

①けいしを出して手紙を書きかけたとき／拿出格纸，正要写信的时候……。

3) 表示前接动词的方向性。

①見知らぬ人に話しかける。／向生人搭讪。②問いかけても答えがない。／（向他）发问也不作回答。

【参考】かける与“始める”的区别：“始める”是主动开始，而～かける是客观叙述。所以“※やりかけて下さい”之类的说法不妥，可说“（やり）始めて下さい”。

## 過去の助動詞 カコノジョドウシ 过去助动词

助动词的一种。指表示动词的过去时相的助动词，所属词有た。现在时相、将来时相都没有专门的助动词形式，而过去时相却有其专门形式，所以一般独立为“过去助动词”。

日语过去助动词除表示过去时相外，还兼表确认、回想等陈述语气，故也称“回想の助動詞”。

①子供の時、私は高いポプラの天辺にのぼったことがあった。／小时候，我曾上过高高的白杨树顶上。

过去助动词对已经过去的事实不作客观的描述，而只作为现时的记忆和经验来反映，因而与完了和确认用法相通。

过去助动词た的这种特征与其形成过程有关。た是由接续助词て和存在动词あり结合而成的，原来表示存在。因为动作状态必须以动作的已经发生（过去）和已经完成（完了）为前提，所以接于动作动词后，自然表示完了和相对的去时间。

### かしら 〈终助词〉

【构成】由终助词か、动词“知る”的未然形、助动词ぬの音便ん构成かしらん。明治以后ん脱落，现在一般只用かしら形式。

【接续】同终助词か，接体言和活用词的终止形后。但ダ型活用词可接终止形或词干：引っ越して行く先は，静か（だ）かしら。／要搬去的地方会很安静吗？后续词有终助词ね：どこへ行くのかしらね。／要到哪儿去？

【意义】主要用于女性的会话中。

1. 表示自问、半信半疑、犹豫。

①熱を出すのかしら。／是不是发烧啊。②山田さんはいま何をしているのかしら。／也不知道山田先生现在在做什么。③だからかしら，あの人が怒ったのは。／他生气不知是不是就为这个。④彼女がかしら，どうも思いもよらなかった。／会是她（干的）吗？真没想到。⑤少し髪をのばそうかしら。／我要不要把头发留长一点儿。

2. 以柔和的语气提问。

①あんた，どこへいらっしゃるのかしら。／你这是上哪？（妻对夫）

②ねえ、これならどうかしら。／你说这个能怎么样？③お住居はどこだったかしらん。／您住在什么地方来着？④ご存じかしら。田中さんの勤め先を。／你也许知道田中先生的工作单位？⑤いけませんかしら。いかがでしょうか。／不行吗？怎么样？⑥誰か来てくれる人がないかしら、兄さんの嫁さんに。／有没有人能来作哥哥的妻子呢？

### 3. 以～ない（ん、の）かしら形式表示愿望。

①この本貸してくれないかしら。／可以把这本书借给我吗？②もう少し考えさせていただけませんかしら。／请允许我再考虑一下好吗？③あんたも行っていただけないかしら。／请你也去好吗？④早くバスが来ないかしら。学校におくれてしまうわ。／公共汽车还不快来，上学会迟到的。

### 4. 有时表示责怪或反诘的口气。

①あんなに神経質になる必要があるかしら。／有什么必要那么神经质呢？②まあ、そんな事ってあるかしら。／哟，有那种事吗？

### 5. 接疑问词后表示不定。这是副助词性用法。

①なぜかしら胸騒ぎがしてならない。／不知为什么闹心得很。②何かしら研究はしているでしょう。／还在搞某种研究吧？③誰かしら助けてくれるだろう。／会有人帮助我（或你）的。④どうかしらと思ったが、一応やって見た。／没什么把握，可还是试了一下。

【参考】相应的男性语是かな，偶尔也可用かしらん、かもしれん等，有文言语感。

### かた（方） 〈接尾辞〉

#### 1. 数人数时的尊敬说法。

おひとかた、おふたかた、おさんかた……。

#### 2. 表示属于某一方面的人。

父方、母方、相手方、貸し方、借り方、下方、立ち方、寺方、<sup>ふな</sup>船方、料理方、町方、味方、敵方、片方。

#### 3. 接于住宿地点的主人的名字后。

柳生様方。

#### 4. 接动词连用形、サ变词干后，表示“～すること”之意，主要



用于请求。

打ち方やめ! / 停止射击! 調査方を頼む。 / 请求调查。周知方お取り計らい下さい。 / 望设法通知每个人。

5. 构成副词。

粗方、大方、割り方。

6. 接动词连用形后，表示方式方法。

あり方、言い方、生き方、致し方、書き方、考え方、切り方、使い方、作り方、綴り方、出方、解き方、見方。

7. 表示时间。

この方、来し方、過ぎ来し方、<sup>のち</sup>後方、前方。

△另有“目方”，表示重量。

⇒がた

がた（方） 〈接尾辞〉

1. 复数词尾的尊敬形式。

皆様方、あなたがた、奥様方、先生方。

2. 属于不同阵营的某一方的人。

豊臣方、幕府方、<sup>ぶけ</sup>武家方。

3. 表示时间等。

明方、朝方、今方、入り方、暮れ方、先方、晩方、日暮方、夕方。

4. 表示程度。

二割方安かった / 便宜二成左右。

がたい（難い） 〈接尾辞〉

形容词型活用。接动词连用形，表示由于客观上情况过于严重或程度很高而难以作出的动作行为。

①敗戦は40年近くなるが、あの時の惨状は今になっても忘れがたい。 / 战败已快40年了，当时的惨状却至今难忘。②その要求はとても受け入れがたいです。 / 那个要求难以接受。③あまりにもすばらしい景色で筆舌を尽しがたい。 / 景色太美了，语言难以形容。④信じがたいことだね。 / 真是难以置信的事啊。

△独立用法为カタイ，作むずかしい的郑重语，如“想像するにかた

くない。／不难想象。

⇒にくい、づらい

かたがた 〈接续助词〉

【接续】1. 接动词连用形后。

①先生を見舞いかたがた、クラスの模様を伝えに病院へ行った。／去医院看望老师，顺便汇报了班里的情况。

2. 接动作性名词后。多为サ变词干。

①花見かたがた山に行く。／借赏花之便上山去。②鑑賞かたがた討論してみよう。／我们边欣赏边讨论一下吧。

【意义】表示进行主要动作行为的前项时顺便作伴随动作行为的后项，语气较郑重。

①出張かたがた帰省するつもりです。／我打算借出差机会回趟老家。

【参考】有接尾辞性质，如2中例②的“鑑賞かたがた”等。但同时能带其他成分，如“名曲を鑑賞かたがた”，所以看作接续助词为宜。另有接续性用法，近义词がてら则没有。如：山へ避暑に行き，かたがた勉強する。／去山中避暑，顺便也学习。

片仮名 カタカナ 片假名

【解释】日语文字的一种形式。古代人们为便于阅读汉文，特在行间和字间用笔画少的汉字注明日语特有的助词、助动词、活用词尾等，称“真仮名”或“万葉仮名”。后来，为了方便，则多数取其偏旁或部分笔画代替真假名，称之为片假名。“片”就是“不完全”的意思。

起初，个人用不同字表示同一音，出现许多异体字母。现行字体是文部省于明治33年在《小学校令施行规则》里规定的。

【字源】

阿ア	伊イ	宇ウ	江エ	於オ	加カ	幾キ	久ク	介ケ
己コ	散サ	之シ	須ス	世セ	曾ソ	多タ	千チ	川ツ
天テ	止ト	奈ナ	仁ニ	奴ヌ	祢ネ	乃ノ	ハハ	比ヒ
不フ	部ヘ	保ホ	未マ	三ミ	牟ム	女メ	毛モ	也ヤ
由ユ	与ヨ	良ラ	利リ	流ル	礼レ	呂ロ	和ワ	井ヰ

恵エ 乎ヲ レン

其中，サ、ツ的字源有异说。シ、チ、ハ、ミ是真假名的整体变体。片假名多来自偏旁，具有直线条的特点。

有的片假名与字源或其他汉字很相似，书写时要严加区别。如：

工／エ、才／オ、力／カ、个／ケ、世／セ・ヤ、夕／タ、千／チ、ト／ト、十／ナ、二／ニ、又／ヌ、示／ネ、八／ハ、七／ヒ、木／ホ、三／ミ、シ、毛／モ、口／ロ、卫／エ。

【用法】因片假名最初就用于男性的汉文训读中，起对于汉字的辅助作用，具有代用符号性质，所以与作为正式文字使用的平假名有本质上的不同。此种性质一直保持到现在。这决定了片假名主要用于：1. 外来词的标写。2. 外国人名、地名的标写。3. 拟声词和感叹词的标写。拟态词有时也用片假名。4. 植物名。动物名有时也用片假名。5. 隐语、俗语。6. 电文、公文。7. 发音记号、方言。8. 学术用语、专有名词。

在中国，清朝光绪年间，王照曾模仿片假名制定了“官话字母”（62字），对后来注音字母的制定起了很大的作用。

がちだ（勝だ） 〈接尾辞〉

形容动词型活用。连体形有～な、～の两种形式。接于动词连用形或名词后。

1. 表示不利、消极的倾向。

①くもりがちの天気／多云的天气。②試験がないとなまけがちになる。／没有考试，就容易变得懒惰。

2. 表示经常重复的事实。

①病気がちだ。／常有病。②留守勝の人／经常不在家的人。

3. 表示正反对照中反面、消极的倾向更强。

①雨がちの夏／多雨的夏天。②沈黙がちにみそ汁をすすっている。／闷闷地喝着酱汤。

4. 表示一部分多（大）于另一部分，无消极语感。

①この美しく光る黒眼がちの大きい目は踊子のいちばん美しい持ちものだった。／这对美丽乌亮的大眼睛，便是舞女身上最美好的东西了。

△“がち”和“ぎみ”的区别是：“がち”表示动作次数上的倾向，“ぎ

み”是状态程度上的倾向。

かつ（且つ）

1. 接续词。只用于文章。表示有关同一事物的同类项。

1) 用于句中，连接地位相等的两个成分。

①必要かつ十分な資料を用意しておく。／备好必要而充足的资料。  
②將軍は非常な敏腕家でかつ絶倫な精力家である。／将军是位非凡的才干家，同时又是精力十分充沛的人。③一般に，研究が進むにつれて，事柄の持っている意味は，深く且つ広くなる。／通常，随着研究的进展，问题所包含的意义变得既深又广。④日本語の放送が聞け，かつ手紙も書ける。／能听日语广播，而且能写信。

2) 连接两个句子。

①子規は果物が大好きだった。かついくらでも食える男だった。／子規特别喜欢水果，而且是个有多少都能吃得下的人。②今記録の一部があるだけだ。且つ本人に見てもらおうひまがなかったから，間違いがあるかもしれない。／现在只有一部分记录，加之没来得及请本人过目，所以也许有差错。

△有时和并列接续助词或其他接续词重叠使用。

①寝台は高いし，かつまた身体の自由が利かないのだ。／床不仅高，而且身体不能自由活动。

△“かつまた”可看作一个复合接续词，和“その上また”等同意。如上例。

△相同项、矛盾项的连接要用“また”，不能用“かつ”。

①健康だがまた（※かつ）病気になることもある。／虽然健康，也有有的时候得病。②山また（※かつ）山／山，还是山。

2. 副词。连用两个以上，表示几个同时性或并列性动作。

①かつ戦い，かつ退く。／且战且退。一边打一边撤退。②かつ笑い，かつ語りつつ，たらふく食べた。／在谈笑间吃了个大饱。

△固定形式“なおかつ（猶且）”相当于一个复合副词，如“さらに”等。

①金は十分あるというのに，なおかつ欲がる。／金钱本来已经够



多了，却还想要。

### 学校文法 ガッコウブンポウ 学校语法

【解释】专为学校的语法教学所制定的语法体系。系school grammar的译语，亦称教学语法（pedagogical grammar，教科文法）、经常作为规范语法、实用语法的同义词使用。学校语法包括口语的和文言的两种，系统论述基本的和标准的语法现象。参见“规范文法”项。

【日本的学校语法】简史略，参见“规范文法”项。目前的教学用口语语法以桥本语法为基础，同时适当吸收了理论和实践方面的新成果，主要目的是使学生准确流畅地读懂现代文章和表达个人思想。主要内容是词法、句法、文章的结构、敬语。有人认为最好还包括语音、文字、词汇、语义、文体等，这样也和目的相符。教学用口语语法以共通语为基本语言，以标准语为理想语言，因此带有规范语法的性质。由于共通语还不够稳定，标准语还未最后形成，所以具体的语法内容随着语法现象的变化和研究的深入常发生一些变动。多年实践证明，以句节主义为基础的桥本语法只注重语言形式，对于了解句子结构和语义形成过程无能为力，因此正受到人们的猛烈抨击。当然，还没有新的语法体系被证明足以代替目前这套教学语法。教学语法已落后于现有研究成果，这是肯定的。

教学用文言语法目前以读解古典作品为目的，不再以表达为目的。

目前的教学语法具有学习系统语法知识和实用双重功能。内容上有两种处理方法。一是功能语法教学方法，它反对背诵成本的语法条目，强调实用能力的提高，因此随课文或单元进行必要的语法讲解。另一种是系统的语法教育方法，它强调对语法现象的观察分析能力的提高和系统语法理论的学习，因此要按成形的语法教材进行教学。

### 活用 カツヨウ 活用

【性质】用言以及助动词，由于断续的需要和后接不同的附属词的需要，词尾发生种种变化，这就是活用。同种词类的变化是大致相同的，以动词“読む”为例，有以下七种变化：よま（ない）、よみ（ます）、よむ（。）、よむ（人）、よめ（ば）、よめ（い）、よも（う）。每一种变化都是一个活用形。活用还表示否定、推量、假定、命令等意义用法有关。

【问题】1. 正因为活用与语法意义有关，所以，比如连体形和终止形

(形容动词除外)虽变化形式相同〔如上面的よむ(。)和よむ(人)〕还是作为两个不同的活用形处理。但是这一原则未能贯彻到底,比如,在“赤く燃えている／烧得红红的”和“赤く美しい／红而且美丽”两句中,前一个“赤く”是连用修饰成分,后者是并列谓语的一部分,但都被处理为连用形。有许多语法书采取“～形～法”的处理方法,如“连用形连用法”、“连用形名词法”之类。

2. 活用形是词在实际运用中的具体形式,所以还应该是词,但是有些活用形如动词よむ的未然形よま、推量形よも很难认定为词。所以,从实用角度讲,把よまない、よもう之类的活用词组直接处理成活用形的作法也许更有效。铃木重幸在这方面作了尝试,另外,山田孝雄的复语尾说和时枝诚记的接尾辞说与上述问题也不是没有关系的。

【参考】欧州语言语法中的conjugation的日语译词就是“活用”或“语形变化”。但是,欧语的词形变化是由时、体、态、性、数、格、人称、语气等决定的,这和日语的活用截然不同。

#### ⇒活用の型

活用形 カツヨウケイ 活用形

【解释】活用词为接续或中顿等发生种种变化即活动时的词形叫作活用形,共有未然形、连用形、终止形、连体形、假定形、命令形、推量形七种。学校语法等把推量形包括在未然形中,共有六种。文言无推量形和假定形而另有已然形,共六种。

ナ变动词的六种活用形的形态都不相同,据此过去把活用形数目定为六种,实际上,有些词的活用形中有的是同形的,如五段动词的终止形和连体形。

口语形容词和形容动词的未然形,在有些书中作推量形处理。一般认为无命令形。这样,口语活用形共六种,文言活用形共五种。至于助动词,活用能力总的来说比较弱,特别是特殊型和不变型助动词只有个别的活用形。

动词之所以分为五段动词、一段动词、力变动词、サ变动词等,就是根据活用形的不同而区分的。详见各项。

活用形可根据本身有无陈述作用分为两类。一是能独立构成句节的,

有连用、连体、终止、命令四种形式；一是必须后续助词、助动词才能构成句节的，有未然、推量、假定三种形式。前一类的某些用法应属后一类。如连用形的音便形等。

【名称】活用形的名称是根据各自的主要用法命名的。连用、连体、终止是根据接续方面的主要用法，其余四种形式是根据意义方面的主要用法命名的。可见，名称不能代表活用形的全部用法，比如未然形还后续使役、被动助动词，而这是“未然”二字概括不了的。因为这一原因，大槻文彦曾把各活用形称为“第一变化……第六变化”。

另一方面，由于语言的发展特别是补助活用和音便的产生，一个名称往往代表不止一个词形。如，五段动词连用形有两个，即音便形和非音便形、形容词和形容动词的连用形各有三个，如高く、高う、高かつ；変で、変に、変だっ。这又决定了各语法书的处理方式的不同。

【参考】江戸时代就有人试图归纳出活用表，经富士谷成章和本居宣长的研究，由铃木朗分为七个等（原为八个等），后来东条义门分别命名为“将然言、連用言、<sup>せつだん</sup>截断言、連用言、已然言、使令言（后为<sup>けぐ</sup>希求言）。其中，截断言由黑川濂更名为终止言，将然言被富樫广荫更名为未然段，至此，活用形的划分和命名基本固定。由于受英文form一词的译词“形”的影响，又统一为“～形”。明治年间，大槻文彦把活用形定为六种，称“第～变化”，包括七种用法：1. 第一终止法，2. 连体法、第二终止法，3. 第三终止法，4. <sup>じょう</sup>不定法，5. 中止法、连用法、名词法，6. 命令法。到昭和年间，活用形数目和名称未作改变，但在制定活用表方面做了许多新的尝试。参见“活用表”项。

活用語 カツヨウゴ 活用词

活用词有广、狭两种含义。

1. 广义的活用词。即有活用的独立词（动词、形容词、形容动词）和有活用的附属词（助动词）的统称。有时把无活用的词统称为无活用词（無活用語），如名词（体言）、接续词、副词等。

2 狭义的活用词。指用言。如不设立形容动词，则只包括动词和形容词。

活用語尾 カツヨウゴビ 活用词尾



【解释】指活用词为接续或中顿而发生变化的部分，如：よまない、よみます、よむと；たかかった、たかく、たかければ、たかかろう。通常把终止形的词尾作为该词的词尾。即动词的词尾是ウ段假名，(如読む等)，形容词词尾是～い，形容动词词尾是～だ。

对一段动词来说，终止形的后数第二个假名虽然不变化，但由于有接续作用，所以由此开始的两个假名都看作词尾。如：起きる、おきます、おきれば……。因此，只有两个假名的一段动词整个词都是词尾，如：射る、鋳る、着る、似る、煮る、干る、見る、得る、経る、出る、寝る。“来る（カ变）”和“する（サ变）”也同样整个词都是词尾。

各种动词、形容词、形容动词的词尾的具体变化情况互不相同。参照“五段活用動詞”“形容詞”等各项。

【诸说】桥本语法及学校语法对词尾的看法见上述。阪仓笃义根据罗马字标写法把词尾中的母音部分看作词尾，如：kak-u（書く）、ok-iru（起きる）、uk-eru（受ける）、m-iru（見る）、k-uru（来る）。铃木重幸把活用词组整个看作一个词，不变部分是词干（含音便词干），变化部分是词尾（前3例）和接尾辞（其中包括词尾，见最后例），如：kak-u（書く）、oki-ru（起きる）、kai-ta（書いた）、oki-na (i)（起きない），和山田、时枝对词尾的看法一脉相承并有所发展。以上阪仓和铃木都包括把一个音节的一部分看作词尾的情况，不同的是，阪仓的词尾中仍有不变化部分（i和e）。

⇒語幹

活用の型 カツヨウのカタ 活用类型

日语中有活用的词按着不同的规则进行活用，这是用言内部进行词类划分的重要依据。相同的词类，其活用形的形式和数目都是相同的，通常把现代日语的活用从形式和数目上划分为以下几种类型。

1. 动词型活用。日语称“動詞式活用”。全部动词和助动词的せる、させる、れる、られる、しめる、たがる等属于这种活用。又可细分为五段活用、上一段活用、下一段活用、变格活用等。动词型活用最完整，有未然、连用、终止、连体、假定、命令、推量七种活用形。当然，一小部分词可能缺少某个活用形，如“富む”可认为无命令形，这种情况在以下



的类型中也存在。

2. 形容词型活用。日语称“形容詞式活用”。包括全部形容词和助动词的ない、たい、らしい。简单地说，以“い”结尾的活用词即属于形容词型活用。有连用、终止、连体、假定、推量五种活用形。无未然形（转为推量形）、命令形。

3. 形容动词型活用。日语称“形容動詞式活用”。全部形容动词和助动词だ、ようだ、みたいだ、そうだ。有连用、终止、连体、假定、推量五种活用形。缺未然、命令两种形式。这一类型的词内部差异较大，有的近于特殊型，有的只有二、三个活用形。

4. 特殊型活用。日语称“特殊活用”。只有助动词ます、です、た、ぬ属于这种活用。其中，如ます的七种活用形齐全，但是和以上的哪一种类型都不完全一致，特殊活用的词之间也不一致。

5. 无活用型。日语称“不变化活用”。助动词う、よう、まい通常只有终止形，偶尔用连体形，实际上等于没有活用。这几个词也称为不变化助动词（不变化助動詞）。无活用型可归入特殊活用型。

#### 活用表 カツヨウヒョウ 活用表

【解释】为通观活用词的所有活用形，把活用形归纳在一起而作成的表格，称活用表。通常顺序是：未然形、连用形、终止形、连体形、假定形、命令形、推量形。在前面列有基本形和词干，各活用形只列词尾。但是，由于活用形的名实不符以及编排目的、对象不同等原因，活用表的种类繁多。

【种类】1. 学校语法的活用表。本书基本上遵循学校语法的活用表，只是把推量形从未然形中分出另立。

2. 阪仓笃义的活用表。助动词用假名标写，与学校语法相同。而用言全部用罗马字标写，活用形数目和排列顺序均不同于学校语法，主要表现在词干和词尾的划分上。动词活用表如下：

	词尾 词干例	未然形 (否定形)	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形	元音的 变化	活用 种类
(1)	(書)kak-	-a,-o	-i -x	-u	-u	-e	-e	aiue(o)	四段 五段
(2)	(為)s-	-i,-e	-i	-uru	-uru	-ure	-i(ro) -e(yo)	aiue	サ变
(3)	(来)k-	-o	-i	-uru	-uru	-ure	-o(i)	iuo	カ变
(4)	(起)ok-	-i	-i	-iru	-iru	-ire	(ro) -i(yo)	i	上一段
(5)	(受)uk-	-e	-e	-eru	-eru	-ere	(ro) -e(yo)	e	下一段

“-x”为音便形,有kai(書いて)、ton(飛んで)、kat(買った)等不同形。  
形容词和形容动词的活用表如下:

词尾 词干例	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形
(強) tuyo-	-karo	-ku -x -kat	-i	-i	-kere	0
(静) sizuka-	-daro	-dat -de -ni	-da	-na (-no)	-nara	0

3. 大阪外国语大学留学生别科日本語研究室的活用表。以一词形一活用形为原则,而且把后续的助词助动词也包括在活用形内。「外国人のための基本語用例辞典」在讲活用时也大体上作这种处理。

以动词为例,除词干、基本形外,还列有:连用形(書き)、て形(書いて)、た形(書いた)、假定形(書いたら)、たり形(書いたり)、意向形(書こう)、命令形(書け)、条件形(書けば)、否定形(書かない)、被动、尊敬形(書かれる)、使役形(書かせる)、可能形(書ける),共十三个形。

其余活用词可按这一方式类推。

4. 铃木重幸的活用表。把整个活用词组看作一个词,通常所说的各活用形看作词干,又分为基本词干和音便词干两种。把后续词看作词尾和

接尾辞。把词形变化分为屈折和派生两种。见下表(简化表)。

词形变化种类	词 干	第一变化 (五段)	第二变化 (一段)	特 殊 变 化 (力变、サ变)	
屈       折	〈基本词干〉	词 尾	词 尾	词尾	词尾
	非过去	kak-u	mi-ru	ku-ru	su-ru
	劝 诱	-o	-yo	ko-yo	si-yo
	命 令	-e	-ro	ko-i	si-ro (se-yo)
	第一中止	-i	-o	ki-	si-
	条件 (5)	-eba	-reba	ku-reba	su-reba
	〈音便词干〉	音便词干后的 词尾	词 尾	词尾	词尾
	过 去	-ta/da	-ta	ki-ta	si-ta
	第二中止	-te/de	-te	ki-te	si-te
	并 列	-tari/dari	-tari	ki-tari	si-tari
	条件 (3)	-tara/dara	-tara	ki-tara	si-tara
派    生	〈基本词干〉	接 尾 辞 ( )内为词尾	接 尾 辞 ( )内为词尾	接 尾 辞 ( )内为词尾	
	否 定	-ana(i)	-na(i)	ko-na(i)	si-na(i)
	被 动	-are(ru)	-rare(ru)	ko-rare(ru)	sa-re(ru)
	使 役	-ase(ru)	-sase(ru)	ko-sase(ru)	sa-se(ru)
	郑 重	-i-mas(u)	-mas(u)	ki-mas(u)	si-mas(u)
	郑重命令	-i-nasai	-nasai	ki-nasai	si-nasai
	否定命令	-u-na	-ru-na	ku-ru-na	su-ru-na
	可 能	-e(ru)	-rare(ru)		

## 活用連語 カツヨウレンゴ 活用词组

指助动词接于体言，用言等之后而构成的词组。如：本だ、降らない、行った、降らないだろう。日语中往往很多助动词重叠使用，构成结构相当复杂的活用词组。如：行かせられませんでした。

在句法功能上，活用词组和用言起相同的作用，作各种成分。

①行ったのは誰ですか。(活用词组作主语) / 去的是谁? ②行くのは誰ですか。(用言作主语) / 要去的是谁? ③この仕事は僕がやった。

(活用词组作谓语) / 这件工作我做了。④この仕事は僕がやる。(用言作谓语) / 这件工作我来做。

在形态上，也和用言一样有各种活用。以“本だ”为例有：本でない、本だった、本なのだ、本なら、本だろう。

因此，活用词组可根据其后续助动词的活用种类划分为动词型的(如：書かせる)、形容词型的(如：書きたい)、形容动词型的(如：書くようだ)。

“活用連語”得名于芳贺矢一，就其范围，芳贺只把用言和助动词的结合形式视为活用词组。后来桥本进吉扩大了活用词组的范围，把其他词与助动词的结合形式也包括进来。后来由于句节、连句节理论的出现，这一术语处于从属地位，只在必要时使用。

## 假定形 カテイケイ 假定形

活用形的一种。

【活用词尾】五段动词的假定形词尾位于该动词所属行的エ段上，如：読め、書け。一段动词的假定形词尾有两个假名，第一个假名不变，第二个假名均变为“レ”，如：起きれ、受けれ。カ变：くれ。サ变：すれ。形容词：～けれ，如：高けれ。形容动词：～なら，如：静かなら。

形容动词的假定形是由文言未然形转化来的，其余用言的假定形均来自其用言活用形的已然形。

【用法】只能后续接续助词“ば”表示条件。此外还可以此形式构成若干惯用型，如“～も～ば～も”表示条件。

## 假定法 カテイハウ 假定法

1. 虚拟语气，普通语言学术语，指与既定事实相反的假说和愿望



的表达形式，与直陈语气相对。亦称“接続法、叙想法”，系subjunctive的译词。具体指下列各句的划线处。

①If I were a bird, I would fly to you. / 鳥であつたら，君のところへ飛んでいきたい。②Я зашёл бы к вам, если бы знал ваш адрес. / 住所が分つたら，あなたのところへ行つただろう。

日语除“たら”外，表示逆态关系的接续助词“が、けれども、に”等的句末用法也类似于假定法。

①本当は僕もやってみたかったが。 / 其实我也曾想试一试。②早くクリスマスになるといいのだけど。 / 但愿早点到圣诞节。③風さえなければもっといい天気だったろうに。 / 只要没有风，本来天气会更更好的。

2. 日语主要指假定形表示假定条件的用法即假定条件法。所有用言的假定法均用假定形后续ば表示。如：～ば、～たらば、～ならば，后两者中的ば可省去。

当然，假定形另有既定条件的用法（熱ければさまして飲みなさい），并列用法（雨も降れば風も吹く）。

がてら 〈接续助词〉

【接续】1. 接动词连用形和由此转成的名词之后。

①新しい家を見がてら，一度遊びにおいでください。 / 看新房的时候，顺便来玩儿吧。②夕涼みがてら会社のところまで来てしまった。 / 晚间乘凉，竟走到了公司附近。

2. 接サ变词干及动词性强的名词后。

①散歩がてら買い物をした。 / 借散步的机会买了东西。②買いものがてら郵便局まで行ってきた。 / 买东西顺便去了一趟邮局。

【意义】表示进行某一动作行为的时候，趁机兼作后项动作行为。

①この本は日本語の勉強がてら，日本事情を知るにもたになる。 / 本书在学习日语的同时，对了解日本情况也有帮助。

△可后续格助词に。

①学校へ行きがてらに，手紙を出した。 / 上学时候顺便邮了信。②子供を幼稚園に送りがてらに腕白広場を見物した。 / 送孩子去幼儿园，借机会参观了儿童娱乐场。

【参考】由文言接续助词がてら转成，现代日语中接尾辞性质较强，有些人看作接尾辞。

がてら语气较随便，在郑重场合不宜使用。可用近义词かたがた代替。如：近いうちにお礼かたがた（※がてら）お伺いします。／近日将向您道谢，借机拜访。

かといって（かと言って） 〈接续词〉

与否定形式呼应。表示前项中的看法不意味着后项的看法也能成立。

①エダヅノレイヨウは，シカの仲間ではありませんが，かといってウシの仲間でもありません。／叉角羚羊和鹿不是同一类，但是和牛也不是同类。②今からではとても間に合わないだろう。かといって遅刻するわけにもいかないし。／现在恐怕怎么也不及了。可是，又不能迟到。③普通の紙があればいいんだ。かと言って，どんな紙でもいいというわけではないんだ。／虽说只要有普通的纸就行了，但并不是说什么纸都可以。

△相同意义的有そうかといって，见该项。

かと思う系 カトオモウケイ 〈词组〉

【构成】由终助词か、格助词と和形式化的五段动词“思う”的活用词组构成。主要形式有かと思うと、かと思えば、かと思ったら等。

〈接续助词〉1. 表示形成对照的事项的并列。有“想到前者的时候，意外地发现后者”的语感。

①正座して本を読んでいる者がいるかと思えば，冗談を言いながら碁をさしている者もいる。／既有端坐着读书的，又有谈笑着下围棋的。②冷淡な見物人があるかと思えば無言の中にひそかに胸を痛める見物人もある。／观看的人有些漠不关心，有些则在无言之中暗自痛心。③日本人の生活には，古いものと新しいものが共存しているとよく言われます。洋服を着て働いているかと思えば，和服を着てつくろいでいるし，みそしるを飲んでいるかと思えば，そのあとコーヒーを飲んでいるし，いすに腰かけているかと思えば，たたみに寝そべったりしているのです。／人们常说日本人的生活里旧东西和新东西共存。既穿着西装工作，又穿着和服休息，喝完了酱汤，接着喝咖啡，坐会儿椅子，不

久又躺在草席上。

2. 表示关连或者矛盾的事项瞬息间相继而起。

①妙な音がしたかと思うと、電球がわれた。／只听一声奇怪的声音，灯泡爆了。②上空をはっていた雨雲が吹き飛んだかと思うと今度は、陽光がこの暗い部屋にさえ差しこんできた。／高空密布的乌云吹散了，转眼间连这样黑暗的屋子里也照进了阳光。③船が港を出たかと思うと外洋の荒波にゆれだした。／船一出海，就在大洋的巨浪中摇晃起来。④「いく」と言ったかと思ったら、「いや」と言ってだだをこねだした。／刚说完去，转眼又说不去，耍起赖来。

△以上并没有包括“思う”是实义动词的用法。实义动词例：

①被害者の髪は肩まであり、発見した時は女かと思ったほどである。／被害者发长至肩，发现时甚至认为就是女的。②あのくらい好きな先生を苦しめたかと思うと、僕は本当に悪い事をしてしまったと思いました。／一想到让自己那么喜欢的老师难过，我就觉得实在是错了。

〈接续词〉意义同接续助词用法。

①ようやく戦争が終わった。かと思うと仕事の忙しさは戦時よりもひどかった。／战争终于结束了。这一转，工作比战时更忙了。

「が」と「の」 が和的的区别

【互相代替的条件】在定语连句节中，主格助词和对象语的が可由の代替。其条件是：1. 定语部分的主语是实义名词。2. 定语部分的谓语结构简单而短。3. 被修饰的部分是实义名词。

①大地震が（の）あった年／发生大地震的一年。②バスケットボールが（の）好きな人／喜欢篮球的人。③英語が（の）読めない人／看不懂英语的人。

二者区别如下：

1. 结构上不同。が构成主谓结构，の构成连体结构。试比较：

①大地震があった年（下一层次是：大地震があった年）。②大地震のあった年。

2. 文体上稍有不同，の有些文言口气，所以讲演時の就用得多。古代还含有尊敬之意，九州方言中现在亦是如此。

【が不能用の代替的情况】 1. 定语中的主语是形式名词（例①）、副词性名词（例②）、状态性名词（例③）、不定词（例④）、带有副助词等从而意义虚化了的名词性词语（例⑤～⑧）。

①着物は地味な方が（※の）すきな女もいる。／也有的妇女和服喜欢素一些的。②ほとんどが（※の）女子大学生の学校もある。／也有几乎都是女生的学校。③不注意が（※の）原因で起こる火事が多い。／许多火灾是因不小心而产生的。④何か（※の）飲みたい人はいませんか。／没有人想喝点儿什么吗？⑤子供ばかりが（※の）入れる劇場／只许儿童进的剧场。⑥五人だけが（※の）乗る自動車／只能坐五个人的汽车。⑦赤ん坊までが（※の）殺される悲劇／一出连婴儿都被杀害的悲剧。⑧結婚してからが（※の）難しい人生／结婚之后开始艰难的人生。

2. 定语中的谓语部分较复杂。如：有表示敬谦、使役、被动、双重否定、推量的附加成分（例①②③）；有并列句节（例④）、有连用修饰语（例⑤⑥⑦）。

①私が（※の）見させられた写真は若い男性であった。／硬给我看的照片是个年轻男子。②自分が（※の）やらなければならないことを他人にやらせる。／把应该自己做的事推给别人做。③死者が（※の）出たかも知れぬ衝突が両派の間に発生した。／两派之间发生了可能出现伤亡的冲突。④私が（※の）教え、大学に受からせた生徒は百人ほどもある。／经我教过并考上大学的学生大约有一百人。⑤犯人が（※の）被害者を殺した場所はここだ。／罪犯杀害被害人的地点就是这儿。⑥先生が（※の）教壇から下りてきたねらいは私をこらすためだった。／老师从讲台上走下来的目的是要惩治我。⑦何十年にわたってマルクスが（※の）書いた「資本論」／马克思费时几十年写成的《资本论》。

3. 中心词（被修饰的名词等）是形式名词（例①②③）、起接续作用的抽象名词（例④⑤）、某些副助词（例⑥）、助动词（例⑦）。

①藤山が（※の）がっかりしているのは、失業のためだ。／藤山无精打彩的是由于失业。②あれは君が（※の）行くはずだった。／那本该由你去的。③あの子が（※の）悪いことをするようになったのは、友だ



ちが(※の)悪いせいです。／那孩子做起坏事来，是由于朋友坏造成的。④向こうが(※の)譲らない限りこっちも譲るはずがない。／只要他(们)不让步，我(们)也不会让步。⑤日本が(※の)敗戦した結果，アジアの多くの国が独立国家になった。／日本战败，导致亚州许多国家成为独立国家。⑥生徒が(※の)分るまで説明しないとだめです。／应该解释到学生明白为止。⑦太陽が(※の)出るような明るさだった。／象太阳出来一样地明亮。

【参考】总的说来，の的用法很有限，而且が能代替の的所有用法。但下列几句从两个方面说是例外。首先，用の反比用が更自然；另外，中心词都是形式名词。这主要是由于这几句の保留了较强的属格性质。

①自然の雄大なのに感激した。／惊叹大自然之壮观。②富士山の美しいことをつくづく感じました。／深感富士山是美的。③また，試験問題の難しいことも言うまでもない。／另外，试题之难也是不言而喻的。

下例用が、の均可。

英語が／の話せることは，自慢にならない。／会说英语没什么骄傲的。

かな 〈终助词〉

由终助词か和な（可发成长音）结合而成。也可看作两个终助词。接续同终助词か。

【意义】用于不拘束的会话中。

1. 以自言自语的口气表示疑问。

①今日山田君は留守かな。／今天山田君不在家？②この空模様では幾分おちて来るかな。／看这天气，是要多少下点儿？③この時計は狂ったのかな。まだ一時とは。／这表莫非是不准了？怎么才一点！④生まれたのは男の子かなそれとも女の子かな。／生的是男孩儿呢还是女孩呢？⑤何が，そんなに怖いかなあ。／有什么那么害怕的。（自语）

2. 用于问句。男性亲友间用。な不发长音。相应的女性语为かしら。

①もう出来あがったが，これでいいかな。／已经做好了，不知这样行不？②洋子さんのご主人を知っているかな。／认识洋子的丈夫吗？

## 3. 以かなあ形式表示感叹。

① そうかなあ。／真的吗！

## 4. 表示自己的打算。

① じゃ 山へ行くかな。／对，上山去。（内心打算）② じゃあ，河童の話でもするかな。／那我就讲讲河童的故事吧。

## 5. 以ないかな的形式表示愿望。

① 早く水泳のシーズンにならないかな。／还不快点到游泳的季节啊。② 誰か手を貸してくれないかな。／有谁来帮我一下该多好。

【参考】文言中かな（哉）接在各种词（用言接连体形）后表示感叹。

① 楽しきかな。／真是痛快啊！② 人ちらり木の葉もちらりほらりかな。／人影零落兮，树叶萧疏兮。

## 仮名 カナ 假名

日语特有的文字。来自万叶假名的偏旁部首（片假名）和草体（平假名）。是表音文字中的音节文字。

“假名”来自“仮り名”，意为临时用字，又称“仮字、和字、国字、倭字”，都是和“真名”（汉字）相对而言的。

现代日语中，除幼儿读物、电报等以外通常不单独用假名书写，而是用汉字假名混合方式。其中平假名主要书写助词、助动词、用言的词尾等，片假名主要书写外来语、动植物名等。

⇒ 万葉仮名、平仮名、片仮名

がな 〈终助词〉

来自终助词が后续な。接续与が相同，接活用词终止形后。常说成がなあ。

【意义】1. 表示没能实现、难以实现的愿望。

① 遅くて先週までには終わらせなかったんだがなあ。／本来想至迟上上周完成的。② 出来るなら，手伝ってやるつもりだがなあ。／有可能的话，真想帮你的忙。③ 順調に行けば，今月中には完成できるがなあ。／如果进展顺利这个月里倒是可以完成。④ 宇宙旅行ができればいいんだがなあ。／能到宇宙旅行该多好啊。

2. 以和现在对比的口气表示对往事的怀念心情。

①中学時代には、水泳が得意だったがなあ。／我中学（初中）时代，游泳曾是很拿手的啊。②田舎では毎日新鮮な空気を胸一杯吸えたのだがな。／想当初在农村，每天能尽情地呼吸新鲜空气。

3. 使语气委婉、含蓄。有不满、责怪、不服气等语气。

①とんでもない話はやめるがいいと思うがな。／我看胡诌八扯的话尽可以说。②横目などしないでまじめに宿題をかくべきだがな。／你要认真写作业，别左顾右盼。

### 仮名づかい カナ〜 假名用法

正字法的一种内容，指用假名标写日语语音的规则。当一种拍节与两个以上的假名对应，或一个假名与两种以上的拍节相对应时，就产生标写上的假名用法问题。

假名用法主要有两套：一是历史假名用法，它以过去某时代的用法为准，不顾及现代的实际发音；二是以现代发音为准的现代假名用法。当然，由于时间的推移，现代假名用法也有与发音不符之处。

假名用法根据所标写的词的种类划分为“国語仮名づかい”和“字音仮名づかい”。根据假名与语音的对应划分为“歴史仮名づかい”和“表音仮名づかい”。还按具体用法分为“上代仮名づかい”、“現代仮名づかい”、“上代特殊仮名づかい”、“定家仮名づかい”等。

⇒歴史仮名づかい、現代仮名づかい

### 仮名文 カナブン 假名文

指全部用假名书写的日本固有文体的文章，与汉文相对。在古代假名与汉字是相对立的文字。汉字被称作“真名”，作为表意文字，书写汉文，用于男人的社会生活中；假名被称作“仮り名”，作为拼音文字用于女性的个人生活中。

因假名的发明是日本输入文字以后的事情，所以最初的假名文中也带有少量的汉字或音读词，但这些词已经日本化，绝大多数词是日本固有词。《竹取物语》、《伊势物语》、《土佐日记》等假名文作品，对保存、发展、丰富日语固有词贡献极大。但是，从院政时代到镰仓时代，由于日本政治和文化进一步受到了中国的强烈影响，日语中产生了所谓的“和漢混淆文”，于是，“假名文”落到文章底文的地位，直至江户时代。

明治初年，由于受到西方文化的影响，为了适应普及文化的需要，试用过平假名专用文和片假名专用文等。但是由于这种标记方式不符合日语词汇特点（表意的音读词多，同音词多等）和日本人的语言习惯（难认、难读、词形长等），未能成为一种独立的文体。平假名专用文只见于儿童画册、故事书中，片假名文只见于电报文中。因此，通常所说的假名文指古代的假名文。现代日语原则上使用汉字假名混用文。

假名文存在使用何种标记法的问题。在假名发明前用的是万叶假名、草假名（草体万叶假名），后来用历史假名标记法，战后才用现代假名法。

### かならず（必ず） 〈陈述副词〉

1. 表示在某种情况下必然产生某种相应结果，和肯定的断定形式呼应。

①不摂生をすれば必ず病気になる。／不注意健康一定得病。②勉強すると必ず得るものが多い。／如果学习一定会有许多收获。③お金を沢山使ったあとには、必ず何かいけないことをしたような気持ちがします。／我每次花了许多钱之后，总觉得做了什么坏事儿似的。

2. 表示强烈的判断、意志、命令。同きつと。

①今度の試験には必ず百点を取ってみせる。／这次考试我一定打他个一百分。②あしたの朝八時には必ずお伺いたします。／明早八点一定拜访您。③今年の年末までには必ず完成しなさい。／务必于今年年底之前完成。④これから必ずよく勉強しなければならない。／今后必须努力学习。

【参考】かならず和きつと。用法1有的可用きつと代替，但かならず表示客观上必然如此，而きつと表示主观上十分有把握的语气。试比较：

①運動をすれば体が必ず丈夫になる。／只要运动，身体一定会强壮起来。②運動をすれば体がきつと丈夫になる。（有「だろう、にちがいない」之类的语感）／只要运动，身体准会强壮起来。

因此，表示纯自然规律的不能用きつと代替。

①月は必ず（※きつと）東から出て西に沈む。／月亮一定是东升西落。



### かならずしも（必ずしも） 〈陈述副词〉

表示某个似乎能作出的判断不能成立，原则上与“断定＋对断定的否定”形式呼应。

①食べものの値段というものは、必ずしもおいしいものが高いとは言いきれない。／食品的价格这东西，未必可以断言好吃的就贵。②私は必ずしもそうだとは思いません。／我并不是那么想的。③金持ちだからと言って、必ずしも幸福とは限らない。／不一定因为是有钱人就有幸福。④僕らの感情や思想などは、必ずしも容易に見えるものではない。／我们的感情以及思想等等并不是轻易地能看得见（觉察得到）的。

### かならずや（必ずや） 〈陈述副词〉

表示十分肯定的推量、判断、断定，并与这些形式呼应。有文学色彩。

①世界は必ずやいつか平和になるであろう。／世界总有一天会和平的。

### かねる（兼ねる） 〈接尾词〉

下一段活用。接动词连用形后。

1. 以かねる形式表示由于客观原因，心理上难以同意去做某行为动作。有时发展为口气委婉的否定（如例③）。多接于意志动词后。

①花子はかわいらしい赤ん坊を見て、立ち去りかねている。／花子看着惹人喜爱的婴儿，不舍离去。②見るに見かねて、黙っている飛田をつついた。／实在看不下去，捅了捅沉默不语的飞田。③これ以外の場合は負担し兼ねます。／这以外的情况，恕不负责。

2. 以かねない形式接动作动词后，表示有可能出现一般不会出现担心或害怕其出现的情形。

①あの人のことだから、どんなことでも仕出しかねない。／他那个人，什么事都可能干出来。②彼らは金銭のためには人をも殺しかねない。／他们为了金钱甚至不惜杀人。③こう雨が続いては、洪水にもなりかねません。／这样连雨，有可能发大水。

### 可能態 カノウタイ 可能态

【解释】动词态的一种。亦称“势相、可能相、自発可能態（相）、可能

的被動態（松下语法）、勢力（山田语法，属于“状态性間接作用”）等等。可能态表示某些有情物（人、一些动物）具有某种能力或可能性。

【构成】下列形式构成动词的可能态：可能动词、五段动词的可能态形式（除いられる等外不常用）、サ变词干+できる、除五段动词外的动词的未然形+られる、动词连用形+える等等。见各有关项。

其中～うる形式比其他形式用得广，也可以用于非情物（例②），但在口语中不常用。

①私は日本語を話しうる（＝話せる等）。／我会说日语。②不詳事でも起こりうる（※起これる）。／可能发生不祥的事情。

使役态和某些体也可构成可能态。（但させられる的组合还有另外意义，见该项）。

①どのようにしてブタに薬を飲ませられますか。／怎么样才能给猪灌药呢？②五日間で仕事を全部やってしまえますか。／五天能把工作全部做完吗？

**可能動詞** カノウドウシ 可能动词

动词的一种。指本身表示某种能力或可能性的动词，不包括～られる、～得る形式。

【形态】五段动词把词尾变成本行エ段的假名，再添ル就构成可能动词。

読める（←読む）、話せる（←話す）、歩ける、行ける、やれる、走れる。（非意志性的除外，如：ある→※あれる）

上述构成法是“未然形+可能态助动词れる”经约音而成的。如：yomareru（読まれる）→yomeru（読める）。在现代日语中已经固定而一般不用～れる形式了。

上一段、下一段、カ变动词要后续られる（可能）才能与五段动词的可能动词相当，如：起きる→起きられる、食べる→食べられる、来る→来られる。不过这样构成的～られる通常不看作可能动词，虽然用法一样。最近，上述三种动词也出现了下一段可能动词化倾向。如：見る→見れる、食べる→食べれる、来る→来れる。对此种倾向，多数学者持观望态度。

サ变的可能动词是できる和～できる。如：する→できる、理解す

る→理解できる、説明する→説明できる。

还有一些词本身就有可能意义，但一般不叫“可能动词”，这些词大部分也是中相动词（见该相）。如：分る、見える、聞こえる、受かる、助かる、見つかる。

できる较特殊，它有时有对立的非可能动词，如：“馬鹿にできない／不可小看”是“馬鹿にする／小看人”的可能动词。但有时没有对应的非可能动词。如“英語ができる／会英语”中“できる”和“する”是无关的。

【意义・用法】可能的对象可用が或を，无大区别。但在一些情况下区别使用，参见“可能文”项。

可能动词可表示动作行为方面的主观能力（例①～③）或客观可能性（例④～⑥）。

①私は2キロしか走れない。／我只能跑两公里。②私はピアノができる。／我会弹钢琴。③アメリカに20年も居たので、日本語が話せなくなった。／因为在美国呆了20年之久，不会说日语了。④まわりが静かで、本が読める。／周围很静，能看书。⑤明日なら行けます。／明天的话，可以去。⑥アメリカ人を呼ぶと日本語が話せなくなるから、日本人だけのパーティにしよう。／一叫美国人就说不了日语了，还是搞光要日本人参加的晚会吧。

在口语中，可并用～れる形式的词只有“行かれる、寝つかれる”等少数几个词，此外的词如用则有文言语气。

某些词转成可能动词后产生派生意义。

①学生に持てる先生／受学生欢迎的老师。（原意是“拿”）②彼の勤勉さは買える。／他的勤奋值得赞赏。（原意是“买”）③なかなか話せる人だ。／是很明白道理的人。好（hǎo）说话的人。④食える料理／值得一品的菜肴。（原意是“吃”）

有的可能动词和相当的自动词同形，因此具体意义要看上下文或环境。

①魚がつれる。／会钓鱼。（可能动词）鱼上钩。（自动词、中相动词）②問題が解ける。／问题能解决。（可能动词）问题得到解决。（自

动词)

△有些可能动词表示心理上的可能，因而表示自发，构成自发态。

①そうとしか見えない。／只能那样看。②そういう悲しい話を聞くと泣けてくる。／听到如此悲惨的事，就禁不住流泪。

**可能の助動詞** カノウノジョドウシ 可能态助动词

【性质】助动词的一种。指用来构成可能态动词的助动词，所属词有れる、られる。可能助动词表示上接词动作有可能或有能力得以实现。

①ナシは秋にならないと食べられない。／梨不到秋天不能吃。②民謡は誰だって覚えられる。／民歌任何人都能学唱。

可能态助动词れる与上接的五段和サ变的活用词尾发生约音现象后，构成可能动词。因此，可能态动词和可能动词起相同的语法作用。如：勝たれる→勝てる、せられる→される（一般用できる代替）。

由此可见，可能态助动词具有使五段动词可能动词化的作用和使一段动词、サ变カ变动词构成可能态动词的作用。近年来，可能态动词也有可能动词化的倾向，但不看作是标准语法现象。如：※着れる、※寝れる、※見れる、※来れる等。

可能态助动词具有能使上接动词的格关系发生变化的语法作用。但是，这种格关系的变化不是必需的。

{ 私は日本語の本を読んだ。／我读了日语书。  
私は日本語の本を読めた。／我读上了日语书。  
私は日本語の本が読めた。／同上。

可能助动词、自发助动词和被动助动词形态相同，有时难以区别三者的界限。例：

りっぱな作品と見られる

- a. 可能：可看作是优秀作品。
- b. 被动：被看作是优秀作品。
- c. 自发：觉得是优秀作品。

但是，被动态助动词一定改变上接词的格关系内容，自发态助动词不改变格关系的内容，而可能助动词虽有改变格关系的作用，但不是必需的。另外，三者所表示的意义区别很大，所以各自为独立的助动词。



可能助动词就其性质而言，是表示动作能力得以实现的接尾词。所以无动作性的动词不能构成可能态动词。例：※有れる，※聳えられる。

【诸说】除大槻文彦和桥本进吉的助动词说外，还有山田孝雄的复词尾说，时枝诚记的接尾词说。详见〈受動態助動詞〉项。

另外，大槻文彦、山田孝雄、桥本进吉等人认为可能态助动词来源于自发态助动词。而松尾舍治郎认为可能态助动词产生于被动态助动词。

可能助动词另有“可能相”（三矢重松）、“势相”（大槻文彦）“可能的被動態”（松下大三郎）等名称。

#### 可能の表現 カノウノヒ ヨウゲン 可能表达法

【性质】指对某一动作、行为或事件上所拥有的能力（能力可能）或客观条件上是否允许（状态可能）进行说明、判断的表达法。

①この本は中学生なら読めます。／这本书，若是初中生就读得了。（能力可能。肯定）②私は早く起きたくても，六時以前にはどうしても起きられない。／虽然我很想早起来，但是六点之前怎么也起不来。（能力可能。否定）③芝生には入ることができません。／不要（不能）进入草坪。（状态可能。否定）④中華料理は世界じゅうのどこでも食べられる。／中国菜在全世界的任何地方都可以吃到。（状态可能。肯定）

能力可能适用于助动词（ら）れる、可能动词及（が）できる等表示，如用ことができる形式常变得不自然。如：“うちの息子は一才半で歩けるようになった。／我儿子一岁半就会走了。”是自然的，而“～歩くことができるように～”是不自然的。

由于同样的原因，下两句有细微的语义差别。

①僕はフランス語の新聞が読める。（能力）／我能读懂法文报纸。  
②僕はフランス語の新聞を読むことができる。（条件）／我能读到法文报纸。

状态可能可用上述两种形式，通常无区别。否定时，有时ことができる形式倾向于不客气的禁止（如例③），而（ら）れる形式虽然也是禁止却有令对方觉悟的倾向，所以较谦恭。试比较：

①招待券をお持ちでない方は、お入りになれません。／未持请柬者不能入内。②招待券をお持ちでない方は、お入りになることができません。／未持请柬者不得入内。

【形式】 1. 用できる或ことができる来表示。

①一人でできなければ手伝いますよ。／一个人要是做不来,我帮忙啊。②あなたはピアノができますか。／你会弹钢琴吗? ③スペイン人が来たので、スペイン語を話すことができました。／因为来了西班牙人,有机会说西班牙语了。

2. 用后续可能助动词(ら)れる的形式表示。五段动词用可能动词。

①日本語を三年習ってもろくに話せない。／学了三年日语,可还说不好。②病気がすっかりなおって外にでも出られる。／病已完全治好了,可以到户外去了。

3. 部分自动词(中相动词)也表示可能。例如“見える、聞こえる、分かる、入る、要る、受かる、助かる”等。

①めがねをかけないと目がよく見えない。／不戴眼镜就看不清楚。②これはよくもつ靴下だ。／这是很耐用的袜子。

4. 用接尾词“得る、かねる(かねない)”表示。

①ありえないこと／不可能的事。②彼女なら魂を悪魔へ売り渡すことも、時と場合ではやりかねない。／如果是她在有些时候在有些地方能把灵魂出卖给恶魔。

5. 用接尾词にくい、やすい、がたい。がたい语气郑重。

①もっと引きやすい辞書が待望される。／希望有更容易查的词典(问世)。②ちょっとたのみにくい用事です。／这事有点不好开口求你。③あの二人はどちらもよく出来て、甲乙がつけがたい。／他们俩人成绩都很好,分不出上下。

6. 用わけにはいかない、ようがない形式表示不可能。

①他人のことだからと言って、見殺しにするわけにはいかない。／尽管不关自己的事,但不能见死不救。②どんな場合でも、言葉に筋道が通っていなければ、伝達は成立しようがない。／无论在什么情况下,如果语言中没有逻辑性,传递思想就无法成立。

## 可能文 カノウブン 可能句

指以可能动词或可能态动词等为谓语的句子。

【结构】1. 谓语由动词的可能形式，如，可能动词～うる、～（ら）れる、できる、ことができる等充当。构成方式详见“可能動詞”项。

①花子はピアノが演奏できる。／花子会演奏钢琴。②今はもう古典を読みうるようになっていく。／现在已经能读古典了。

2. 主语原则上要由具有意志行为能力的有情物或集团充当，所以下例②有误。

①ゆうべ，私はかみなりでよく眠れなかった。／昨晚由于打雷我没能睡好。②※緑は環境を飾れる。／绿色能装饰环境。

上例②是由于把非情物与“能力”联系起来而产生的错误。另一方面，如果只表示客观可能，非情物体也常作主语。

①戦争中だから，どんな事も起りうるのだ。／由于是战时，什么事都可能发生。

主语可用は或に表示。に只用于谓语是他动词时。

①お前は（或には）この本が読めない。／你读不了这本书。②私は（※に）急行に乗れた。／我乘上了快车。

下例为避免用两个が，只能用に。

①誰にこの歌が歌えますか。／谁会唱这只歌？

因为に的基本用义是表示基准，所以用に表示主语往往产生轻视的语感。如上例①お前は（或には）中にはの場合。

3. 宾语：当谓语结构简单并靠近主语时，用を、が均可。を强调动作的含义。

①このレストランでは旨い料理が（を）食べられる。／在这个西餐馆里能吃上美味的菜。②あなたには，この靴がはけますか。／你能穿得了这双鞋吗？

以下情况下一定用を：a、为避免和隣近的が冲突（例①）；b、宾语和谓语之间插入其他成分（例②）；c、谓语动词尚不口语化（例③）；d、谓语后续纯形式名词（例④）。

①その理由を挙げられる人が一人もない。／没一个人能列举出其  
原因。②ビールをジョッキ二杯飲める。／能喝两大杯啤酒。③家具  
一式を購入できるだけのお金を貯金する。／存储足够买进一套家具的  
钱。④中国を救えるのは社会主義だけである。／能够救中国的只有社  
会主义。

【意义】1. 表示经常性的主观能力。

①僕はショウチュウが飲める。／我能喝烧酒。②ゆり子は英語もフ  
ランス語も教えられるという。／听说百合子英语、法语都能教。③いつ  
かはお前も親の気持ちが理解できるようになるだろう。／终究你也会理  
解作为父母的心情的。

2. 表示客观可能性。

①今日は仕事がないからゆっくりと休める。／今天没事儿,可以好  
好休息。②一週間すれば退院できるでしょう。／过一星期就可以出院了  
吧。③この酒はけっこう飲める。／这酒满可以喝。④小さい子供にも英  
語が教えられる。／对小孩儿也可以教英语。⑤あんな狭い所でも野球が  
できるかね。／那么狭小的地方也能打棒球吗?

3. 表示某种愿望或努力得以实现。

①やっとのことで田中さんを納得させることができた。／总算使田  
中信服了。②よく読めたので、先生に褒められた。／由于读得好,受到  
了老师的表扬。

「か」の見分け方 カノミワケカタ かの词类鉴别

か分属三种助词, 都或多或少地表示疑问, 但一般能区分开。

①途中で誰かお友達かお知り合いにあいましたか。／路上遇到你的  
哪位朋友或熟人没有? (依次为副助词、并列助词、终助词)

1. 句中位置不同。终助词在句末, 副助词在单项后, 并列助词在两  
项之间或每项之后。

2. 作用不同。并列助词和副助词都在句中, 但前者表示并列, 后者  
只表示不定。前者是疑问性选择, 后者是对具体的某个事项的不确定。

かのようにだ 〈助动词性词组〉

【构成】由终助词か、格助词の、助动词ようだ结合而成, 常用かのよう



だ、かのようです、かのような、かのように等活用形式。见ようだ項。

【接续】上接同终助词か，后续同助动词ようだ。

【用法】1. 表示不确定的或委婉的判断。

①友達は、英語は大変むずかしいかのように話しているが、私の考えでは、それほど難しくありません。／朋友把英语说得象是多么难似的，可在我看来，并不怎么难。

2. 表示模糊化的比喻，比ようだ更含蓄。

①ススキの穂も、舞台装置でもあるかのように、銀灰色の穂並みをそろえている。／狗尾草的穗宛如舞台布景一般，抽齐了银灰色的穗头。②彼はまるで自分の本当の娘であるかのようにその子を可愛がっています。／他就象自己的亲生女儿一样疼爱那孩子。③顔は火事場から出てきたかのように煤で汚れていた。／脸被烟尘弄得很脏，就象刚从火灾现场出来似的。

3. 表示主体的主观感觉。

①不平を多く持っているかのような口調でいった。／说话的口气，似乎有许多不满。②刑務所の門を出ると，二十代半ばぐらいの娘が，まるで自分を待っていたかのように立ちあがって，暖かく迎えてくれた。／一出监狱的门，一位约摸二十四、五岁的姑娘象是一直在等待着似的站起来，亲切地迎接我。

【参考】かのごとし（かの如し）则有文言色彩。

①家のものは大変な勉強家と思っている。当人も勉強家かの如く見せている。／家里人认为（他）是个非常用功的人。本人也装扮得象个用功的人似的。

がましい 〈接尾辞〉

接动作名词或动词连用形后，构成形容词，表示某种倾向很强、很做作、故意使人感到、使人不快之类的意思。

①押し付けがましい口調／强迫性的口气。②未練がましくそこらをぶらぶらしている。／恋恋不舍地在那儿荡来荡去。③弁解がましい答え／辩解性的回答。

再如：脅迫（恩着せ、差し出、晴れ、妄り）がましい。／威吓的

(施舍性的、多嘴多舌的、花里胡哨的、过分的)。わざとがましい、厚がましい、恥がましい。／故弄玄虚的、厚颜无耻的、恬不知耻的。

かまわない (構わない) 〈补助动词性词组〉

以“て+かまわない”的形式，接于动词、有时接其他用言类的连用形后，表示该动作行为在客观上是可以允许的。

①あなたはもうどうしても構いません。帰っても構わないしねえ。／你现在怎么做都没关系了。也可以回去了。②別の質問をして(も)構いませんか。／我可以提另外的问题吗？③じゃ、私、反対しても構いませんか。／那么，我，也可以反对吗？

上一段活用 カミイチダンカツヨウ 上一段活用

### 1. 口语上一段动词。

动词的活用类别之一。基本形式的最后两个字母是词尾，如“起きる”，词尾的第一个字母“き”是在ウ段的上一段即イ段，故名。与下一段统称一段活用。实际上词尾的第一个字母是不变的，由于在未然、连用、推量形中是最后一个字母，所以也看作词尾。这样，“見る”等两个字母的词就没有词干，或说有零词干。属于音节添加型活用，即：未然、连用、推量三形的词尾是イ段音，终止、连体、假定、命令形分别在其后添加ru、ru、re、ro或yo。以“起きる”为例整理如下：未然形oki(おき)、连用形oki(おき)、终止形okiru(おきる)、连体形okiru(おきる)、假定形okire(おきれ)、命令形okiro或okiyo(おきろやおきよ)、推量形oki(おき)。おきるのき在カ行，故称为“カ行上一段活用动词。”同样，“落ちる”为“タ行上一段活用动词”，其余类推。口语上一段活用动词分布在几乎所有的行上。各行上一段活用动词的活用表如下：

行	基本形	词干	活 用 形						
			未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ア行	悔いる	く	い	い	いる	いる	いれ	い ろ い よ	い
カ行	生きる	い	き	き	きる	きる	きれ	き ろ き よ	き

行	基本形	词干	活用形						
			未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ガ行	過ぎる	す	ぎ	ぎ	ぎる	ぎる	ぎれ	ぎろよ ぎよ	ぎ
ザ行	感じる	かん	じ	じ	じる	じる	じれ	じろよ じよ	じ
タ行	落ちる	お	ち	ち	ちる	ちる	ちれ	ちろよ ちよ	ち
ナ行	似る	○	に	に	にる	にる	にれ	にろよ によ	に
ハ行	干る	○	ひ	ひ	ひる	ひる	ひれ	ひろよ ひよ	ひ
バ行	帯びる	お	び	び	びる	びる	びれ	びろよ びよ	び
マ行	見る	○	み	み	みる	みる	みれ	みろよ みよ	み
ラ行	下りる	お	り	り	りる	りる	りれ	りろよ りよ	り

上一段活用动词很多，其中“足りる、借りる、染みる”等少数动词可按“たる、借る、染む”等四段(五段)动词活用，有方言、文语色彩。“走る、切る、要る、知る、しくじる”形似上一段活用动词，实际上按五段动词活用。

## 2. 文言上一段动词。

分布在カナハマヤワ行，见下表。

行	基本形	词干	活用形					
			未然	连用	终止	连体	已然	命令
カ行	着る	○	き	き	きる	きる	きれ	きよ
ナ行	似る	○	に	に	にる	にる	にれ	によ
ハ行	干る	○	ひ	ひ	ひる	ひる	ひれ	ひよ
マ行	見る	○	み	み	みる	みる	みれ	みよ
ヤ行	老いる	お	い	い	いる	いる	いれ	いよ
ワ行	居る	○	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐよ

文言的上一段动词大多数是双音节零词干型。另外,由于和口语标写法不同,“老いる、居る”分别属于ヤ行和ワ行的上一段动词。文言上一段活用动词为数不多,除上表所列者外还有:射る、沃る、鑄る、煮る、<sup>ひ</sup>噓る、<sup>ひき</sup>率る、用る、顧みる等。

### 上二段活用 カミニダンカツヨウ 上二段活用

文言中的动词活用类别之一。这类动词无不变词尾,基本形和终止形是ウ段假名,如:起<sup>お</sup>く。未然形和连用形则是イ段假名,如:起<sup>お</sup>き。连体形和已然形词尾则在ウ段词尾后分别添加ル和レ,如:起くる、起くれ。命令形是在イ段词尾后加ヨ,如:起きよ。因始终围绕イ和ウ这二个段活用,且イ是ウ的上一段,故名上二段活用。

上二段与下二段相对。“起く”的基本形词尾是在カ行,称为“カ行上二段活用动词”,同理,“閉づ”是ダ行上二段动词,余类推。

上二段动词分布在五十音图のカガタダハバマヤラ各行上,其活用见下表:

行	基本形	词干	活 用 形					
			未然	连用	终止	连 体	已 然	命 令
カ行	起 く	お	き	き	く	く る	く れ	き よ
ガ行	過ぎる	す	ぎ	ぎ	ぐ	ぐ る	ぐ れ	ぎ よ
タ行	落 つ	お	ち	ち	つ	つ る	つ れ	ち よ
ダ行	恥 づ	は	ぢ	ぢ	づ	づ る	づ れ	ぢ よ
ハ行	強 ふ	し	ひ	ひ	ふ	ふ る	ふ れ	ひ よ
バ行	滅 ぶ	ほろ	び	び	ぶ	ぶ る	ぶ れ	び よ
マ行	恨 む	うら	み	み	む	む る	む れ	み よ
ヤ行	悔 ゆ	く	い	い	ゆ	ゆ る	ゆ れ	い よ
ラ行	懲 る	こ	り	り	る	る る	る れ	り よ

古代日语的上二段动词并不很多,其中绝大多数演变 为现代日语



的上一段动词，只有“恨む”等个别词演变为五段动词。

ダ行上二段转为现代的ザ行上一段：<sup>よ</sup>攀づ→よじる。

ハ行和ヤ行上二段都转为现代的ア行上一段：強ふ→強いる、老ゆ→老いる。

“用ゐる、試みる”这两个上一段动词在后期转为上二段动词“用ふ、試む”。

かも 〈词组〉

由副助词か和提示助词も构成。主要作用是构成かもしれない（见另项）、かも分らない、かもはかれない等助动词性的词组。

【接续】同终助词か。

【意义】1. 作为上述词组的省略。近年在青年尤其女青年的亲近的会话中常用。

①ああいう人間もあるかもね。／那类人物也许会有吧。②彼女、まだ会社にいるかもよ。／也许她还在公司里呢。

2. 构成上述词组。

①あやちゃんは病気がなおって、もう元気かもしれない。／也许小绫子已经治好了病，恢复健康了。②誤解を生ずるかも計れませんか、予め注意をしておきます。／说不定会产生误解，所以事前提醒一下。③あしたのピクニックはやめになるかもわからない。／说不定明天的郊游会吹的。

3. か疑问的同时总括前文（类似形式体言作用），も表示提示。

①いつごろかも忘れてしまった。／连是什么时间也忘了。②誰が行くかも重要な問題です。／由谁去也是个重要问题。

かもしれない 〈助动词性词组〉

【活用】由副助词か、提示助词も、可能动词“知れる”的否定形式构成。按下一段动词型活用，但只用否定形式かもしれない、かもしれません、かもしれぬ、かもしれなかった等。可略为かも、かもね、かもよ等。も有时省去，成为かれない等。

【接续】接名词、形容动词词干、形容动词型活用以外的活用词终止形后。

【意义】 1. 表示推测所述事实的可能性。

①一同は路傍の竹やぶに身を潜めて、その背後からやってくるかもしれぬ一隊をやり過すことにした。／大家决定隐蔽在路傍的竹丛中，让有可能从背后赶来的一队人马走过去。②長年雨の少ない所では、一度大雨が降ると、災害になるかもしれない。／在长年少雨的地方，一旦下大雨就有可能酿成灾害。

2. 表示不确切的判断。

①それは若い銀河の巨大な爆発なのかもしれない。／那大概是年轻的银河系的一次大爆炸。②空耳かもしれません。／也许是听错了。③そうかもしれない。／也许是那样。④もう北国は雪がつもって、寒さがきびしいかもしれないね。／说不定北方已经积雪，非常寒冷。

3. 给肯定的判断添加谨慎的语感。

①皆さんも世界歴史が上手かもしれないが、よく、文明は大河のほとりに起ると言われています。／也许大家都精通世界史——人们常说：文明发源于大河之畔。②あしたあなたの所へ遊びに行くかもしれませんよ。／明天也许到你那玩儿去。

【参考】和句中的疑问词呼应时实义性较明显，表示“还说不定、也不知道”的意思。

①自分も相手も、三年先、五年先はどう変わっているかもしれないのである。／自己也好，对方也好，三年五年之后会变成什么样子很难说。②いま業界は安心しきっているものの、古川恭太のことだから、どんな策動をするかもしれない。／眼下产业界高枕无忧，不过古川恭太这类人物，谁知道策画些什么。

から 〈格助词〉

口语中偶尔用っから。

【接续】 1. 上接。

1) 接体言和各种体言性词组。

①家から駅まで歩く。／从家走到车站。②字の下手なことから不勉強が分る。／从字迹潦草上看出不用功。③日本文学は夏目漱石などからまず読み始めた。／日本文学是从夏目漱石小说读起的。④洗たく機を買

いたいが、いくらぐらいからあるだろう。／想买洗衣机，不知最低要多少钱。

## 2) 接续助词て。

①よく考えてから言いなさい。／考虑好之后再说。

## 2. 后续。

1) 格助词、提示助词、副助词（也可位于から前）、并列助词。

①父からの手紙／爸爸来的信。②十時からの授業／10点开始的课。  
③これからが真剣勝負です。／从这开始决定命运了。④兄からはまだ手紙をもらわない。／还没收到哥哥的来信。⑤誰からも尊敬されている。／受到所有人的尊敬。⑥窓のすきまからしか光が漏れていない。／只从窗缝透出光亮。⑦どこからか歌声が聞こえてきた。／不知从哪儿传来歌声。⑧東京へは福岡からと仙台からとでどちらが遠いですか。／到东京去，从福岡和从仙台哪边远？

## 2) 能接名词的助动词。

①火事はたばこの不始末かららしい。／火灾有可能是吸烟不注意引起的。②デパートは朝九時からです。／百货店上午九点开始营业。

## 3) 某些方位名词。

①四行目からあとは本文のまとめです。／从第4行起是对于正文的归纳。②母は胸から下が倒れたコンクリートの下になった。／母亲胸部以下压在倒塌的混凝土下。

【意义】1. 表示动作、状态的始点。

## 1) 时间起点。

①昨年一月から公労委員長です。／从去年1月起作公共企业劳动委员会委员长。②昭和三年からまる五年間外国に行っていた。／从昭和3年起整整5年到国外去了。③これからうんと勉強しなさい。／今后要努力学习。

△构成固定形式～てから、それから等。

①俳優になってから五年目になる。／当演员是第五年了。②六九年私は農村に行った。それからというのは、農民といっしょだった。／我于1969年到农村，打那以后就一直和农民在一起。

## 2) 空間起点。

①船は港から出ていった。／船出航了。②代表团一行は東京から空路上海経由で北京に到着した。／代表团一行已由东京乘飞机经由上海抵达北京。③花は南から暖国から開きそめるのだ。／花从南方从温暖地方开起。④子供たちは、まだ学校から帰らない。／孩子们还没从学校回来。⑤昔は中国から日本へ、明治維新後は日本から中国へ大量の語いの流入があったことは周知の事実である。／古代由中国向日本，明治维新后由日本向中国输入了大量词汇，这是众所周知的事实。

## 3) 发生点、出现点。

①コスモスは、この植物調査隊がバニエス神父に送った種から広がった。／大波斯菊是从这个植物考查队送给巴尼耶斯神父的种子繁衍起来的。②割木から発散する樹液の薫り／从劈柴散发出来的树液的芳香。③扉のかげから突然不審な人が何人か姿を現わした。／从门后突然闪出几个可疑的人。④人間の正しい認識はいずれも社会的実践から来ている。／人的正确认识都来自于社会实践。

## 4) 获得、支付、选择的来源。

①かばんから本を取り出す。／从书包里取出书来。②大ぜいの中から候補者を選ぶ。／从众多的人中选举候选人。③月給からいろいろな費用を払ってしまうと残りはいくらもない。／从月薪中支出各种费用后，所剩无几。

## 5) 表示各种顺序的起点。

①今日は何から始めましょうか。／今天我们从什么做起呢？②先に来た人から順に席について下さい。／请按来到的先后顺序就座。③私から申し上げましょう。／由我开始说吧。④怪我人は線路わきに頭から落ち、同時に右半身を強く打った。／受伤者头朝下，同时右半身重重地摔倒在铁路旁。⑤恋愛から結婚をして、男の子が生まれた。／由恋爱而结婚，得一男孩儿。⑥うれしくて、次の家から次の家へとどなって歩いた。／高兴得走门串户四出张扬。

6) 构成～から～まで、～から～に（へ）かけ（て）形式，表示时间、空间、数量等范围的起点。



①今年の高校進学率は、およそ94%から96%と見てよいだろう。／  
 今年的高中升学率可估计为94%到96%。②誰かいたずらして隠したの  
 だろうか。そう思って下駄箱の裏から、物置の中まで探しました。／莫  
 非谁闹着玩给藏起来了？想到此，我从鞋箱子后直到小库房都找遍了。③  
 唯一人の働き手だった阿川君は資料蒐集，編集から校正までやった。／  
 唯一能干的阿川君从收集资料、编辑一直到校正都包了。④日本では秋  
 から冬にかけて風邪を引く人が多い。／在日本，从秋天到冬天这一阶段  
 患感冒的人多。⑤京橋から銀座の通りへかけて、あの辺は大平が昔よ  
 く遊び回った場所だ。／从京桥到银座的街道，那一带是大平过去经常游  
 玩的地方。

#### 7) 表示脱离点和消失的地点。

①子供からようやく手が離れました。／终于从孩子身上腾出手来  
 了。(孩子大了) ②忙しさからやっと解放された。／总算从繁忙中解脱  
 出来了。③天守閣は戦災から奇跡的に助かった。／天守阁奇迹般地幸免  
 于战祸。④彼の心からは、今までの春の温もりが、幾分か滅却したよ  
 うな感じがした。／我感到以往的春天般的温暖有几分从他的心灵里泯灭  
 了。⑤バスの小刻みになった震動に体を任せながら僕は唇をかみしめて  
 睡気から耐えた。／任身体随着公共汽车的频频振动，我咬着嘴唇，极力  
 驱赶睡意。⑥愛国心とは外敵の侵入から国を守ることだけではない。／  
 爱国心不光是保卫国家免遭外敌侵略。⑦行く行くは、吾が国から文盲  
 を一人もいなくしよう。／将来要让文盲从我国彻底消灭。⑧映画から帰  
 る。／看完电影回来。⑨暮れになって散歩から帰った。／黄昏时，散步  
 回来了。⑩戦争は何時になって地上から消えるだろうか。／战争到何时  
 才能从地球上消失呢？

#### 8) 表示转变、转化的起点。

①日本は敗戦国から一足飛びで先進国に仲間入りした。／日本从一  
 个战败国一跃加入发达国行列。②農民から大学教授になる。／从农民当  
 上大学教授。③沙弥から長老にはなれぬ。(谚语)／不能一步登天。

#### 2. 表示经过、中介的场所、人物。

①電車の窓から若い男が飛びおりた。／从电车窗跳下一名年轻的男

子。②たばこの煙りをとぎれとぎれに鼻から出した。／把吸进的烟一股一股地从鼻子呼出来。③割れたガラス窓から寒いかぜが吹き込んでくる。／从打碎的玻璃窗吹进寒风。④これを先生の筆削を受けて、然るべき本屋から出版したい。／我想把这请老师删改之后，通过合适的出版社出版。⑤葦の髄<sup>よし</sup>から天井をのぞく。（谚语）／坐井观天。

3. 表示方向的起点、时点。有的如用で代替则失去方向性，用に则变成相反的方向。

①ブドウが枝からぶら下がっている。／葡萄垂挂在枝蔓上。②横からお民がにこにこ笑っている。／民子在旁微笑着。③町の赤電話から九時かっきり電話をかけた。／九点整从街上的公共电话打了电话。④Mはタオルを頭からかぶって飛んでいきました。／M把毛巾蒙在头上便跑开了。⑤あのお民がにこにこ笑っている。／民子在旁微笑着。⑥町の赤電話から九時かっきり電話をかけた。／九点整从街上的公共电话打了电话。⑦Mはタオルを頭からかぶって飛んでいきました。／M把毛巾蒙在头上便跑开了。⑧ぞろぞろと教員が集合した。伊佐は一番あとからついてきた。／教师们陆陆续续地集合起来，伊佐跟在最后面。⑨あの音は遠くから聞いておると，まるきり鶴の鳴き声に，そっくり生き写しですなあ。／那声音从远处听来，简直和鹤的叫声一模一样。⑩幹板の下から電灯をあてがい鉛筆の細い先で修正する。／把电灯从下面挨到感光板上，用细铅笔尖儿修。⑪「いた！いた！」と繃帯の上から顔を押えた。／喊着“疼！疼！”从繃帯外捂住了脸。⑫彼は外からでは見破れない変装をしている。／他化了装，从外观是看不破的。

4. 表示各种依据。

1) 表示原因、理由。

①山名は興奮からいつになく眠れなかった。／山名由于兴奋少有地失眠了。②煙草火の不始末から火事を起こす。／由于吸烟的不慎引起火灾。③野菜の不足から重いかっけになった。／由于缺蔬菜得了严重的“维生素B<sub>1</sub>缺乏症”。④悪影響など，社会問題を引き起こしたことから，観光旅行は憂慮されている。／由于引起了不良影响等各种社会问题，观光旅游令人忧虑。

2) 表示根据、依据。

①見たところから無骨らしい。／一看就显得鲁莽。②日本の新緑は美しい。紅葉も日本はみごとだ。お国自満のひいきの目から言うので

はない。／日本の新緑は美的，紅葉也很漂亮，这并不是从自夸故土的偏袒眼光来说的。③いつに起った事故か，彼女の話からは分らなかった。／是什么时候发生的事故，从她的话里没听出来。④あの人が努力していることは，試験の結果からもはっきりしている。／他很努力，这从考试结果看也很清楚。⑤漢字は一字ごとに形が違い，形からは音が，音からは形が分らない。／汉字一字一形，见形不知音，见音不知形。⑥自然の歩みから言えば，秋の次に冬が来て……。／从大自然的进程上说，秋天之后是冬天……。⑦オミツは彼女の気性からすれば，そんなことはしない。／蜜子从她的性情来看不会那么做。

△还构成からいう系、からする系，详见各项。

### 5. 表示基准。

#### 1) 表示比较、区别的基准。

①ホテルは駅から遠いところにある。／饭店位于离车站很远的地方。②それはセネガルの首都ダカールから船で約二十分の海上にある小島だ。／那是一个小岛，位于从塞内加尔首都达喀尔乘船约二十分钟的海上。③この物質はこういう特徴を持って，他のすべての物質から区別される。／这种物质以这种特性区别于其他所有物质。④彼は夕べから見ると，やや平静になっていた。／他照昨晚平静了一点儿。⑤去年からすると今年は雪がずっと多い。／照去年，今年的雪多多了。

△还构成からいう系、からする系，见各项。

#### 2) 表示超量的基准。

①私はね，この本がすきでね。もう百遍からも読んだよ。／我啊，可喜欢这本书了，已经读了一百多遍了。②場合によっては，二百万円からの金を作らなければならない。／有的时候，必须筹措二百万日元以上的资金。③職員は二千人からあるでしょう。／职工超过两千吧？

#### 3) 后续方位词等，表示时位、方位的基准。

①六時からあとは自由活動になっています。／六点以后是自由活动（的时间）。②この線からうしろの方に並んで下さい。／请在这条线的后面排好。③ここから西が神田区です。／由此往西是神田区。

### 6. 作为动作主体的起点。

## 1) 表示动作由谁来做，作主语。

①これをあなたから山田さんにあげて下さい。／请把这个由你交给山田先生。②テレビを見ながら勉強しない子供は，親から見ると，頼もしいそうである。／据说，那种不是边看电视边学习的孩子，在家长看来很放心。③そうなれば向こうから教えてくれるかもしれない。／真的那样，也许他们能告诉我们。④今度は逆に私から会いたいという電話を掛けた。／这次反过来由我打了个电话，要求见面。⑤万葉集の時代に，「きみ」は女性から男性を呼ぶ語であった。／在《万叶集》那个时代，「きみ」是女性招呼男性的词。⑥今度寒月君が来たら，博士論文を書くように僕から勧めて見よう。／等寒月君下次再来，就由我劝一下，让他写博士论文。

## 2) 表示与授受、被动关系有关的动作的主体。

①英語はスミス先生から教えてもらいます。／英语请史密斯先生来教。②私は友達からいろいろな贈りものを贈られた。／我收到朋友送的各种礼物。③友達から三万円も借金をした。／从朋友已经借了3万元。④榊山から電話があった。／榊山来过电话。⑤私も，お姉さまからあなたのことは，いろいろと聞いておりました。／我也从您姐姐那儿听到很多关于您的事。

## 7. 表示原材料和构成要素。

①しょう油は大豆から作る。／酱油是用大豆作的。②水は酸素と水素からできている。／水由氧和氢构成。③各課はそれぞれ本文と練習とからなっている。／各课分别由课文和练习组成。

## から 〈接续助词〉

【接续】接用言及所有助动词的终止形后。但（よ）う、まい表示意志时除外。

【意义】1. 表示后项中的某种判断、主张、命令、希望、疑问等的根据。后项为一般性判断时，可用ので代替（例①～③），其余则不能。

①あの人は親切だから皆に好かれている。／因为他对人热情，所以受大家喜欢。②試験が近づいたから，遊んではいられません。／因为要考试了，可不能玩儿。③八杉さんは病気だから今日欠席したのです。



(以上为判断)／八杉同学因病今天缺席了。④数学は分らないだろうから教えてあげよう。(主张)／数学你也许不会，我教你吧。⑤あぶらっこいから嫌いです。(主张)／因为太油腻，我不喜欢。⑥この部屋は北向きで，日が当たらないから，南向きのにうつりたいです。(希望)／这个房间是阴面，没有阳光，我想搬到阳面去。⑦農繁期だから，農家から来ている五六人の子供には，欠席が多いようだ。(推测)／可能因为是农忙期，所以农家来的五、六个孩子常缺席。⑧すぐ行ってくるから，待っていて下さい。(请求)／我去一下就来，请你等着。⑨まだ仕事がありますから，あなたは先にお帰りなさい。(命令)／我还有事，请你先回去吧。⑩大事な試験だから，勝手にしてはいけないよ。(禁止)／是重要的考试，可不能随意乱来呀。⑪天気がよかったから登山は楽しかったでしょうね。(推测或疑问)／因为天气很好，登山很愉快吧？⑫君は，金になると思ひ込んだからそれを盗んだのか。(质问)／你以为它很值钱，所以就偷的吧。

△有时先提出结果、结论，后以からだ、かららしい等形式说明原因、理由。

①彼はこんどの実験をやめた。準備不足と判断したからだ。／他把要做的实验放弃了。因为他断定准备不充分。②成績が上がらないのは要所をつかんでいないかららしい。／成绩上不去好象是因为没抓住要点。

2. 以～でもいいから、でもいいから形式表示后项中愿望、要求的最低条件或附带条件(例⑤)。

①一度でもいいから一緒に行ってくれないか。／一次也行，你和我一起去好吗？②明日は来られる人だけでよいから来て手伝ってほしい。／希望明天来帮帮忙，只来能来的人就可以。③ざっとでいいから掃除をしておいて下さい。／请打扫屋子，大致地也可以。④誰でもいいからちょっと出て逢ってくれたまえ。／谁都行，出来见见我。⑤子供を連れてでもいいから，あなたも出席して下さい。／带孩子也没关系，请你也参加吧。

3. 表示发出命令、请求时的心理(状态)。

①頼むから高校だけは卒業してくれ。／我求你啦，你至少要给我高中毕业。②お願いだから，はやく。／我让你快点儿！③さきに休みなさい，いいから。／没关系，你先睡吧。

4. 终助词性用法。有迫使对方相信、谋求对方做出反应的语气。具体包括：警告（例①）、判断（②）、申明理由（③）、申明立场（④）、决心或意志（⑤）等。可后续终助词な、ね。

①そんなことをしたら承知しないから。／那么做我可不答应。②そのくらい私だってできるんだから。／那点儿事儿我也会做。③あの件は，茉莉子さんに合うまでは知らなかったんだからな。／那件事在遇到茉莉子之前我还不知道呢。④我慢して今日の日まで待ったが，うんともすんとも云って来ない。こういうことなら，何時<sup>いつ</sup>まで待っても切りがないからね。／耐着性子等到今天，却没来哼一声。这样下去，等到什么时候也没有头儿啊。⑤手伝ってあげるから。／我会帮助你的。（不必担心）

△下例是1的倒装用法，多少带有终助词性质。

①そこで待ってて，すぐ来るから。／在那等着，我马上就来。

⇒からには、からは、からと、からといって、ので、「から」と「ので」、原因表現

からきし 〈陈述副词〉

和否定形式或内容呼应，表示根本不存在或不可能的客观状态。同まるで、まったく等。口语常说成からっきし。

①僕はロシア語がからっきしだめだ。／我俄语根本不行。②内容はからきし覚えられない。／内容一点儿都记不住。

【参考】からきし和まるきり。如果不是有关人的客观状态，而是意志行为，则要用まるきり。见另项。

からする系 カラスルケイ 〈词组〉

【构成】由格助词から和形式动词する的活用词组结合而成。常以からして、からすると、からすれば等形式出现。接续同格助词から。

から和する都是多义词，搭配起来主要有以下几种意义。

【意义】1. 以からして的形式（其中して起副助词作用）表示对から

的下列意义的强调：顺序的起点（例①）、动作主（例②③）、根据（例④⑤）等。

①結婚するには、まず住む家からして捜さなければならない。／要结婚，头一样就是要找住房。②君からしてそんな事をしては困るじゃないか。／特别是你，那么做不妥吧。③主役のあなたからしてちょっとした失敗にめげるようではだらしがない。／你身为主角小小的失败就抬不起头来，太没骨气了。④あいつは身なりからしてあやしい。／单看他那身打扮就可疑。⑤顔付きからして悪党のように見える。／从那面孔看就象是坏蛋。

2. 表示某种判断（后项）的根据。无强调意义。如把1的例④、⑤改成からすれば等形式，也无强调意义。

①全般的動きからすれば中国は依然として過渡期にある。／从整个形势来看，中国依然处于过渡时期。②あの人の言い方からすると、これぐらいの金なんか欲しくもないようだ。／听他的口气，他似乎根本不希罕这点儿钱。

△有无强调意义不完全取决于形式，有的也取决于两项的关系或语调。上例②改成～からして，也不一定有强调意义。

3. 接数词后，表示价格超过该数字。

①この品物は一万円からする。／这件东西至少值1万日元。②スイス製の時計なら十万円からはするだろう。／若是瑞士产的表总要值10万元以上吧。

【参考】下例是接续助词からの强调形式。

①こんなわけであるからして了承してほしい。／就是因为这种原因，希望你能谅解。

からと 〈接续助词性词组〉

由接续助词から、格助词と构成。可看作后面省略了“言って”或“思って”。

【接续】接活用词终止形。

【意义】表示句中主体以前项为理由采取了后项的行为，等于からといっての用法1。

①雨が降るからと、傘を持って来てくれました。／怕下雨，就把雨伞给我送来了。②出来ないからと、一字も書かずに白紙で出した。／说是不会，连一个字也没写便交了白卷儿。

からといって 〈接续助词性词组〉

【构成】由接续助词から、格助词と、动词“言う”的连用形、接续助词て构成。书面语常缩合成からとて，口语常缩合成からって。

【接续】接活用词终止形。同から。

【意义】1. 表示句中主体以前项为理由采取了后项的动作行为。

①知り合いだからって，無料で入場させた。／因为是熟人，就让免费入场了。②友達の迎ちゃんは，家から遠いからといって，とうとう転校してしまいました。／朋友迎娃说是离家远，到底转学了。

2. 表示前项不足以成为后项成立的条件。全句以否定形式或否定意义的词语结句。

①知り合いだからって，無料で入場させてはいけない。／不应该因为是熟人就让免费入场。②お金持ちだからといって，必ず仕合せだということはありません。／有钱人未必就幸福。③見学者があるからとて，いちいち晴れ着を着ろとは不見識きわまる。／因为有参观的人，就让每个人都穿盛装，也太没见识了。

「から」と「ので」 から和のでの区别

1. 接续上的区别。

1) から接终止形，ので接连体形。当然，从形式上看，只有だ型词后有区别。

①部屋がきれいだから（きれいなので），気持ちがよい。／因为屋内干净，心情舒畅。②大きな店だから（店なので），なんでもある。／因为是大商店，什么都有。

2) から可接推量意义的（よ）う、まい后，而ので不能。

2. 意义上的区别。から表示后项主观陈述的根据，～から项是对结果的说明，是全句的重点；而ので表示后项客观事实赖以成立的原因等，表达重点在结果项。语感上，から句有辩解、解释的性质，而ので句不过是一般描述。男性多用から，而ので多用于女性和客气的会话中，也与此



不无关系。试比较：

①墨で書いてあるから、なかなか消えない。／因为是用墨写的，不会轻易褪色。②墨で書いてあるので、なかなか消えない。／是用墨写的，所以，不会轻易褪色。

3. 结构功能上的区别。在连体或连用的连句节中间通常只能用ので。

①朝寝坊をするので学校に遅れる生徒が多い。(“生徒”之前的成分全是其连体修饰语)／有很多学生因为睡懒觉而迟到。②朝寝坊をするから学校に遅れる生徒が多い。(只有“学校に遅れる”是连体修饰语)／因为睡懒觉，有许多学生迟到。③頭がいたいので(※から)委員会に欠席するから、よろしくお伝え下さい。／我头疼不能去开委员会，请转告一下。

例③显然不能用两处から，但不能用ので调换。例③的结构式只能是[(～ので)(～から)][～ください]，而不可能是※[(～ので)][(～から)(～ください)]

のでの这种局限性与ので中の的连体化作用分不开，即のは形式名词，使の前部分成为体言性词组，而では接于其后的格助词。

从这里也看到～から句的独立性强，所以在句子中间常说～しますから，而较少说～しますので。

4. 后续词的区别。

1) から可后续は、こそ等助词，还可以以からだ、かららしい形式用于句末，而ので除间投词外不能后续什么词。所以からの使用范围广，使用率远超ので。

2) からの后项多为主观性强的内容，如命令形式、请求形式等，而のでの后项通常是叙述性的。见から、ので两项。

からには 〈接续助词性词组〉

【构成】由接续助词から(实际上起副助词作用)、格助词に、提示助词は构成。有时去掉に成からは，主要用于文章。

【接续】接活用词终止形。主要接动词和た。

【意义】表示作出后项判断、主张的事实依据。

①四つの現代化をするからには，現代科学と現代教育の裏付けがな

ければならない。／既然要搞四个现代化,就必须有现代科学和现代教育作保证。②このような事態となったからには,私が責任を取るべきであろう。／搞到这种地步,我想我应该负责。③あんなに固く約束したからには,破るわけにはいかない。／既然定得那么死,就不应该毁约。④この雨の夜に,この羅生門の上で火をともしているからは,どうせ唯の者ではない。／看他在这下雨的夜晚,就在罗生门上面点着火,就不是平常的人。

△下例的からは是格助词から、提示助词は的临时组合。

①庶民から見ればうらやましいほどの環境からは,理解しにくい犯行だ。／这种犯罪从那种普通百姓感到羡慕的环境来说是难以理解的。

「から」の見分け方 カラノミワケカタ からの词类鉴别

から有接续助词、格助词和终助词用法。

1. 格助词和接续助词都表示原因,但接续助词只表示原因。格助词主要接体言后,而接续助词接活用词终止形后。试比较:

①雨から運動会は中止になった。(格助词)／因雨运动会暂停了。

②雨が降るから運動会は中止になった。(接续助词)／因为下雨,运动会暂停了。

2. 接续助词有时也和终助词一样位于句末,但前者能后续助动词だ、らしい等。试比较:

①休学するのは病気だからです。(接续助词)／休学是因为有病。

②承知しないからなあ。(终助词)／我可不同意啊!

3. 下例的からは是陈述副词,与否定形式或内容呼应。

①一体今の若者はから駄目だ。／说起来,这代年轻人简直不行。

②からもう一文の値打ちもない。／已经简直一文不值了。

カリ活用 カリカツヨウ カリ活用

指文言形容词的活用形式的一种,来自连用形〜く和动词ありの约音。如:良かり←良くあり。

桥本语法及学校语法等把这种活用看成形容词的补助活用。カリ活用和形容动词のナリ活用、タリ活用无本质区别。

如仍把カリ活用作为形容词的活用种类,则与シキ活用并列。下面是

与シキ活用相对照的活用表。

活用种类	ク 活 用 词		シ ク 活 用 词	
	シキ活用	カリ活用	シキ活用	カリ活用
基 本 形	良し	(良かり)	涼し	(涼しかり)
词 干	よ	よ	すず	すず
未 然	～く	～から	～しく	～しから
连 用	～く	～かり	～しく	～しかり
终 止	～し	(～かり)	～し	(～しかり)
连 体	～き	～かる	～しき	～しかる
已 然	～けれ	～かれ	～しけれ	～しかれ
命 令	○	～かれ	○	～しかれ

各活用形用法如各形容词的活用形项（形容词の未然形，等）所述。

⇒形容词の活用、形容動詞の活用

かりそめにも（仮初めにも） 〈陈述副词〉

系かりにも 的强调形式。

1. 和禁止形式呼应，偶尔和否定、反语形式呼应，表示无论是否属实都不希望发生。

①仮りそめにもうそをつくな。／千万不要说谎。②かりそめにも不信感を持たせるような言動を取ってはいけない。／万万不要做出使人产生不信任感的言行。③琉璃子はかりそめにもその人を信用していない。／琉璃子根本就没相信那个人。

2. 和なら、からには等呼应，表示以前项为 特定 前提的起码要求（后项）。

①かりそめにも教師であるからには，学生の手本にならないといけない。／既然作为教师，就必须成为学生的模范。②かりそめにも大出版社の出版した本が，こんなにも沢山の間違いやミスプリントを持ってい

るのか。／总还算是大出版社出版的书，竟有这么多的错误和印刷错误。

かりに（仮に） 〈副词〉

1. 状态副词。“暂时、临时”之意。

①火事でやけたので仮にここを店にしています。／因失火烧掉了，所以现在把这里作铺子。

2. 陈述副词。后续逆态接续助词でも、でも或顺态接续助词なら、だったら、だとすれば、だとしたら之类，表示非现实的假定条件。

①かりに<sup>はつやく</sup>初役でも役者なら子供のころから耳馴れているから苦労はしません。／即便是新角色，若是演员，从小就耳濡目染，所以不费力气。②仮に今日はいいとしても，明日はどうでしょうか。／即使今天就算了也罢，明天可怎么办呢？③仮に私が社長だったとしたら，何ごともなかっただろうに。／假定当时我是经理，本来什么事也不会有的。

かりにも（仮にも） 〈陈述副词〉

1. 和表示禁止的形式相呼应，表示不管是否属实，都不希望发生。

①仮にも父母の恩を忘れてはならない。／千万不能忘记父母之恩。

2. 和なら、からには等呼应，表示以前项为特定前提的起码要求（后项）。

①かりにも議員であるからには，大衆からの声に耳を傾けなければなうない。／既然算个议员，就应该倾听大众的呼声。②かりにも日本語を勉強するなら，辞典一冊くらいは用意しておくべきだ。／既然学习日语，起码要备一本字典。

⇒かりそめにも

がる 〈接尾辞〉

五段活用。其中假定形很少用，可用～がるなら。命令形基本不用。

【接续】1. 形容词。一般接于感情感觉形容词后。

恨めしがる／觉得悔恨。惜しがる／珍惜。痛がる／觉得痛。眠がる／欲睡。

△也接少数主观性强的属性形容（动）词，如“重たがる、きたながる、あぶながる、重宝がる、厄介がる”。一般的属性形容词可后续がる的有“新しい、強い、偉い”等，见意义的2。



## 2. 接感觉感情形容动词。

いやがる／讨厌。気の毒がる／可怜、怜悯。残念がる／感到遗憾。  
高尚がる／自以为高尚。

## 3. 助动词たい。但不能接ない（形容词、助动词）后。

4. 名词。只有“粋<sup>いき</sup>がる／炫耀风度。豪傑がる／以英雄自诩”等少数词。

【意义】1. 对第三人称的感情、感觉的客观描述。

①子供の可愛がっている犬／孩子喜欢的狗。②旦那にこんなことを聞けばうるさがられるにきまっている。／你若向老爷问这样的事，准得讨人嫌。③見たことがなかったので，皆珍しがった。／因为没见到过，大家都觉得很新奇。④歌を得意がっている人／对歌唱很自负的人。

2. 表示第三者强做某种姿态，带有非难的口气。主要是接名词、属性形容词时有此种用法。

①強がる／逞强。②ああ偉がられてはどうにも二の句がつけない。／他那么摆架子，实在无法说下去。

## 3. 用对客观地描述自己或对方的感觉、感情。

①早く自分の子供を持って，思いきりかわいがりたい。／我真想早一点儿有自己的孩子，随我怎么去爱他。②君は幼い時から猫をこわがっていたそうだ。／据说你从小怕猫。③まるでそばにいる我々をいやがらせるためにやっているようなものだ。／那作法简直就象是为了让旁边的我们感到不快而作似的。

## 4. 用于造词。

寒がり性／怕冷。暑がり屋／怕热的人。一人善がり／自以为是。

【参考】1. 形容（动）词和～がる的区别。前者是主观（一人称）的，后者是客观（三人称）的。前者是说话时的感情感觉，后者是恒常的有关感情感觉的状态。

2. 由感情形容词派生的词构成～が（は）～を～がる句式，而属性形容词派生的词构成～が（は）～がる句式。

①長いせりふを面倒くさがる。／（演员）不愿背长长的台词。②彼はよく寒がる。／他总是怕冷。

かわりに 〈接续助词性词组〉

由动词“代わる”的连用形、格助词构成。有时去掉に成かわり。

【接续】接活用词连体形、“体言+の”后。

【意义】1. 表示一个事项同时具有两个相互抵销或相互抵触的侧面。一般重点在后项。

①値段が少し高いかわりに持ちがよい。／价格有些贵，却很耐用。  
②教えるのは骨が折れるかわりに楽しみがある。／教起来费力气，但另一方面也有乐趣。  
③登りざかが急なかわりに下りざかが平らだ。／上坡很陡，相反下坡很平滑。  
④日本では重化学工業が急速に発展したかわりに環境汚染が社会問題となっている。／在日本，基础化学工业发展迅速，同时环境污染已成社会问题。

2. 表示两个主体间的交换性、补偿性的动作行为。

①英語を教えてもらうかわりに、日本語を教えてあげよう。／你教我英语，我教你日语吧。  
②手伝ってあげるかわりに雑誌を買ってきてもらいます。／我帮你的忙，你要去为我买杂志。

3. 表示用新作法取代已有的习惯作法。前项和后项是修饰和被修饰关系。前项是动宾结构时，可用“名词のかわりに”形式代替。如下例①、②。

①今は革のかわりに、ビニールを使っている。／现在使用乙烯(原料)来代替皮革。  
②今は革を使うかわりにビニールを使っている。／现在使用乙烯(原料)代替使用皮革。  
③猫を二匹<sup>いけ</sup>というかわりに二人と言った。／把猫不叫两只而叫两人。  
④女を生<sup>みすかさ</sup>にえとして河神に捧げるかわりに、祈とうによって水嵩を減らそうと思ったのだ。／想要通过祈祷降低水位，而不把妇女当作牺牲品献给河神。

4. 以ないかわりに形式，表示对照。前项和后项是等同的并列关系。这一点区别于用法3。

①君は軽々しくおしゃべりもしない代りに，一度口に出して言ったことは必ず守る。／你虽然不轻易开口，但言而有信。  
②司会者は同感を表わしもしない代り，助言したり抗議したりすることもない。／会议主席漫说赞同，连建议或抗议也不提。

△用法3的するかわりに如改成しないかわりに，转而表示客观事实的

对照。如用法3中例②可改成：

今は革を使わないかわりにビニールを使っている。／现在不用皮革，改用塑料。

【参考】1. 此外还有副词用法。

①山田先生が学校をおやめになったので、かわりに私が来ました。／由于山田老师辞掉了学校的工作，由我来代替。

2. 和连体词その构成接续词性词组。见そのかわりに项。

かわりに 〈接续词〉

表示后一情况对前一情况的代替关系。

①正夫は黙りこんでしまった。かわりに正子が早口で話し出した。／正夫闷起来了。相反正子快速地讲了起来。②娘はわずかに身じろぎするだけで答えなかった。代りに、松本ポリスが手帳を見ながら言った。／姑娘只微微转了下身子，没有回答。而松本警官看着记事本说道：……。△更多用“そのかわり（に）”，见该项。

感觉感情形容詞文 カンカクカンジョウケイヨウシブン 心理形容詞句

【解释】指以心理形容词及少数同类的形容动词为谓语的句子。

【句法特征】1. 主谓关系。主语即心理主体，原则上由人名词充当，用は或には表示。因谓语性质不同，主语有某些人称限制。

1) 通常，谓语是单纯的终止形时，主语一定是第一人称，经常不出现。

①くやしい（ね）。／真气人。②時間がほしい。／我想要时间。③僕（に）は君のいる大学がうらやましい。／我羡慕你所在的大学。

2) 谓语是疑问式时，主语一定是第二人称，所以也常省略。

①ここが痛い。／是这儿疼吗？②時計はどれほしいの？／表你想要哪一只？

3) 谓语是推测、推量形式时，主语可以是第2、3人称。

①あなたもそれがうれしいだろう。／你对此也很高兴吧？②桜子さんは、僕がはずかしいらしくて、来なくなった。／樱子小姐好象对我不好意思，不再来了。

4) 谓语处在定语句中, 处于条件句中, 后续た、のだ等的情况下, 主语没有人称限制。

- ①うさぎがこわい子も多い。(第三人称) / 也有许多孩子害怕兔子。  
 ②勉強がいやな僕は, よく先生の目を盗んで漫画ばかり書いていた。  
 (第一人称) / 我那时不愿学习, 净趁老师看不见时画漫画。③きみ, この本がほしいなら, 持っていてもいいよ。(第二人称) / 你若是想要这本书, 拿走也成。

2. 对象语。即心理对象, 用が表示。

1) 关联到外在原因的心理形容词需要有对象语, 如: ほしい、にくい、うらやましい、なつかしい、まぶしい、きらいだ。

- ①昔の学校生活がなつかしい。 / 怀念往日的学校生活。

△有时对象语由于句式关系转成别的成分。

- ①おく病をすることは(→のが)にくらしい。 / 胆小怕事。真恨人。  
 ②またお目にかかれて(→かかれたのが)うれしい。 / 又见到你很高兴。

2) 关联主观原因的心理形容词通常不需要对象语。这类词主要有: たのしい、てれくさい、ねむい、ねむたい、だるい、ひもじい、ひだるい等。

△这类心理形容词中有的兼作属性形容词, 属例外。

- ①あの先生の講義はねむい。 / 那个老师的课很乏味。②夜勤はひもじい。 / 夜班饿人。

3. 句式。

1) 主语+对象语+谓语。这一句式主语用に(は)和は(が)均可, 但ほしい、すきだ等作谓语时只能用は。

- ①僕(に)は試験成績が恥ずかしかった。 / 我对考试成绩感到害羞。

△和总主句主谓谓语句外形相似, 但意义和内部结构不同。心理形容词和主语关系是直接的, 所以例①也可说成“僕は恥ずかしかった。总主句的总主语和形容词等的关系是间接的, 所以“象は鼻が長い”不能说成“象は長い”。(省略的情况例外)

2) 对象语+主语+谓语。主语通常只能用に(は)表示。



①故郷が、私にはそれほど懐しかったからです。／因为我对故乡就是如此怀恋。

3) 主語＋謂語。

①私はひもじい。／我饿。

⇒感覚感情形容詞、属性形容詞、主語、対象語。

**関係敬語** カンケイケイゴ 关系敬语

1. 三矢重松の术语。指表示说话人所作的、同时又与他人相关的动作行为的敬语，大致相当于谦让语，如“たてまつる、まゐらす、承る”等动词，“お気の毒、おあいにく”等名词、副词类。松下大三郎称“客体尊称”，金田一京助称“目的格への敬称”、玉上琢弥称“受手尊敬”、马渊和夫称“对象尊敬”。

2. 山田孝雄の术语。参照“絶対敬語”项的3。

**関係語** カンケイゴ 关系词

山田语法术语。山田语法首先把所有单词分为关系词和观念词两大类。关系词具有以下性质：a、一个关系词不具有独立的具体概念，如：が、を、は、ばかり等。b、造句或构成词组（句节）时辅助观念语。如：鳥が鳴きますのよ。／鸟在叫着哪。c、只能位于观念词之后，表示其在句中的地位及观念语互相间的关系。

关系词和通常说的附属词相当，区别只在于：山田把助动词作为动词本身的一部分，看作“複語尾”，所以关系词只包括助词。山田首先把关系词分为表示分句之间关系的和表示观念词之间关系的两种，前者为接续助词。后者又分为表示松散关系的和表示特定关系的两种，前者为间投助词。其后者又分成确定句子成分的、接于某一成分后修饰后续用言的、位于谓语前规定陈述范围的、用于句末的四种，依次分别为格助词、副助词、提示助词、终助词。

**関係代名詞** カンケイダイメイシ 关系代词

英语语法relative pronoun的译词。英语中关系代词起引导定语从句的作用。如：you're the only person that can help me.／你是唯一能帮助我的人。／あなたは私を助けられる（ところの）唯一の人だ。

从上例可见，相当于英语关系代词的“ところの”可用可不用，如用

则有“翻訳調”或文章语色彩。据认为“ところの”就是由直译英语的关系代词而产生的。如果从英语的关系代词相当于日语的哪些表达形式的角度来看，还可举出以下说法。

①登山隊が遭難したという記事／关于登山队遇难的报道。②礼儀正しく振舞わないと失礼になる，そういう（或：そんな）場面です。／这种场面待人接物不讲礼仪，就会失礼。③その人が何か書いたらすぐ発表できる作家があれば，それは彼です。／如果说有写了什么东西马上就能发表的作家，那就是他。

另外，汤泽幸吉郎认为下面用法的“の”有关系代词性质。

①筆の古くなったのを捨てた。／把旧了的笔扔了。②外国地図の最近出版されたのを売っている。／正在出售最近出版的外国地图。

漢語 カンゴ 汉源词、音读词

【解释】“漢語”是从中国传入日本的外来词汇，因历史久远，在音、义上均被日语完全消化，已没有外来词汇的意识，甚至用来造了大量的新词汇（如：体育、警察、火事、出張），所以为与来自欧美等的外来词相区别，特称“漢語”。不管是中国传入的还是日本人自造的，“漢語”都是音读的，可译“音读词”或“汉源词”。音读词的范围是：按吴音、汉音、唐音、惯用音来发音的所有词，但不包括早期个别传入日本的完全日语化了的词（属固有词）。如“たけ（竹）、うま（馬）、さが（性）、え（絵）”，也不包括近代传入日本的音译词（属外来词），如：“シューマイ（烧麦）、メンツ（面子）”。至于汉语中的外来词传入日本的，一般也可看作“漢語”。如：仏、塔、旦那（梵语）、葡萄、牡丹（其他外来词）

【音形义】一个音读词如有两个以上汉字，一般是按同一音种发音的。如：修行（シュウギョウ，吴音）、孝行（コウコウ，汉音）、行燈（アンドン，唐音），少数词按不同音种发音，如：言語（ゲンゴ，汉、吴音）、食物（ショクモツ，汉、吴音）、正気（ショウキ，吴、汉音）、下品（ゲヒン，吴、汉音）。

音读词原则上用汉字标写，但常用汉字表以外的汉字可用平假名代替，如：あいさつ（挨拶）、しょう（醬）油、頭がい（蓋）骨。不过，固有词中也有用汉字标写的，如“手”（て），所以用汉字标写不是判断音读词

的标准。此外还要注意的是日汉两种语言字形及用字上的区别,如:摸索(日)和摸索(汉)、帰還(日)和归还(汉)。

半数以上音读词与中文同形,但也有汉文中所没有的词,如:案内、配慮、返事;有的词和汉语的词义很不相同,如:丈夫、拍手、迷惑。参见“中日同形語”项。

【词类】音读词大部分作名词用,有的同时兼作其他词类用。

1. 只作名词用的。居音读词的首位。例:液、役、客、金;学校、法律、文章;四角形、化学反応、電子計算機。

2. 作名词,同时作サ变动词词干。例:利(～を図る、～する)、感動(～を覚える、～する)、一般化(～をねらう、～する)、千变万化(～が起る、～する)。

3. 作名词,同时作形容动词词干。例:変(万一の～、～なこと)、健康(～を保つ、～な体)。

4. 作名词,同时作サ变动词和形容动词词干。例:得(～をする、～する、～な事)、苦勞(～がいやだ、～する、～な毎日)。

5. 单独或后续ト、ニ作副词用。例:少少、突然、元来;現に、単に、一斉に;楽々と、敢然と、漠然と。

6. 后续接尾辞作动词用。例:達する、信じる、力む、下卑る。

7. 作形容动词词干用,有的(后两例)兼作副词。例:上品、簡単、有利、不勉強;当然、大変。

8. 后续接尾辞,作形容词用。例:毒々しい、騒々しい;四角い、可愛い;幼稚っぽい、理屈っぽい。

【意义】1. 音读词的输入带来了不曾表达过的概念,大大丰富了日语。如“哲学、四季、極楽”等是固有词中没有的抽象概念,而“修理、治療、改稿”等是固有词“直す”不能表达的具体概念。

2. 促使日语形成了浊辅音、促音、拨音、拗音,丰富了日语的音位系统,并使日语发音更响亮了,而且,能把冗长的内容用简短的形式表达出来。武士们喜用“落馬”而不喜用“馬から落ちる”,说明了音读词的两个特点:响亮有力,干脆利落。

3. 汉字和音读词有极强的造词能力,能反映不断出现的新事物。如:国会、臨時国会、国会議員;宇宙船、宇宙旅行。甚至能造出似句非句的“词”,如:NHK主催 全国のど自慢大会関東甲信越地区予選会。音读词在日语词汇中占47.5%,而固有词只占36.7%。

总之,音读词不论在质上量上都占有极其重要的位置,是日语词汇的不可分割的组成部分。作为消极方面,音读词造成了大量的同音词(如:航海、後悔、公開……)和同义词(如:製造、製作、作製、制作、生産、作る)。

### 漢字 カンジ 汉字

【解释】书写中国语、部分日语词汇、部分(南)朝鲜语词汇、部分越南语词汇(现已不用)、中国的某些少数民族语言用的文字。

汉字作为文字体系传入日本大约在4世纪或更早。最初,主要是向朝鲜人学习,后来直接向中国学习。到八世纪,日本人自己利用汉字的音、形、义来标写日语,称为万叶假名(万葉仮名)。后来,某些表示日语特有的助词、助动词、活用词尾的汉字逐渐简化为部首或草体,最终产生了日语字母即平假名和片假名。这以后,汉字仍是日语的主要文字,甚至创造了一些日语固有的“汉字”,称“国字”或“和字”。目前,汉字只用来书写音读词和部分固有词语。

日语汉字仍和中国汉字一样,原则上由音形义三要素构成。

【字体】这里说的字体指字的写法。当用汉字表取消了某些旧字体(如:致→致、起→起)、异体字(如:歎→嘆)、俗字(强→強),同时接受了部分简化字(簡略字体)(如:體→体)。为了限制汉字的数量,有的字可作某个字的通用字使用,(如:跡→蹟)。另外,文部省于一九七七年规定了教育汉字881字和备考汉字115字的标准字体,如“外”的标准字体为“外”。

字体是点和线的组合,称为笔画(点画<sup>てんかく</sup>)。如:点(点)、横(横棒)、竖(縦棒)、撇(左払い)、捺(右払い)、钩(はね)、折(おれ)。

每个汉字的字体都有一定的断续性和连续性。断续性决定笔画数(画<sup>かく</sup>数<sup>すう</sup>),连续性决定笔顺(筆順<sup>ひつじゆん</sup>)。如,“及”字的笔画数是三,笔顺为:



ノ乃及。

日语中，把按共同形式统一起来的一套字体特称“書体”（汉语仍叫“字体”）。包括印刷体和手写体（筆写体）两种。印刷体有明朝体（明朝）（竖粗横细，横笔末端有三角）、宋体（宋朝）、清体（清朝）以及黑体（ゴシック体）等。手写体又有楷书（楷書）、行书（行書）、草书（草書）。楷书用于郑重场合，是基本字体。行书用于日常的书写，实用性强。草书适于快速记录，连写度高，不常用。

【读音】汉字的读音有音读（音読）和训读（訓読）两种。

音读就是古代日本人模仿当时的汉语读音从而流传到现在的读音方式。吴音、汉音、唐音、惯用音是由于模仿不同地区、不同时代的语音以及其它原因造成的不同读音。其中，最常用的是汉音和吴音（详见“字音”项）。吴音主要见于佛教文化、汉音主要用于各种文化知识方面的词中。

四种读音在常用汉字表中所占比例如下：吴音467字，占21.4%；汉吴音577字、占26.4%；汉音935字，占42.7%；唐音16个字，占0.7%；惯用音192字，占8.8%。计2187字，占100.0%。

由于汉字在日语中被忽视了送气不送气、有无介音以及其他原因，日语汉字的同音字特别多，如常用汉字表中读カンの字有45个之多。

训读就是根据意义上的联系而用汉字来表示固有词汇，比如把“頭”读成あたま。如果汉字是多义的，就可能一字多训，再加上一种或几种音读，就使得字的读音相当复杂。以“生”字为例有：セイ、ショウ、いきる、いかす、いける、うむ、うまれる、おう、き、はえる、はやす、なま。汉字表意细致，结果产生了同训异字。如：図る、計る、測る、量る、謀る、諮る。

也有一小部分训读是接受了汉字之后专门为表示其概念创造的，如：“銅”（あかがね）、“溯”（さかのぼる）。还有的赋予汉语里没有的意义，称“国訓”，如“偲ぶ、俵（たわら）、楓（かえで）”。

常用汉字表中有40个字只有训读无音读。如：扱う、咲く、繰る、沖。

有时几个字共有一个训读，分不清哪个字代表哪个音，这种训读就是熟字训（熟字訓）。如：五月雨（さみだれ）、吹雪（ふぶき）、紅葉

(もみじ)、今日(きょう)等。

另外，假借字(当字)是不顾意义，只借用读音来表示固有词的用法。如：御目出糖御座居ます、出鱈目。

漢字仮名交じり文 カンジカナマじリブン 汉字假名混用文

指混用汉字和假名的方式来书写的文章。属按标记形式分类的文体之一，与只用汉字标记的“汉文”和只用假名标记的“和文”相对，又称“仮名まじり文”。

最初的汉字假名混用文是汉字万叶假名混用文，后来由于平假名和片假名的发明，产生了汉字平假名混用文(如《竹取物語》)和汉字片假名混用文(如《今昔物語》)。日本古老的文学形式，如和歌和物語(故事)最初都是用假名书写的，汉字使用很少，即以假名为主，以汉字为辅，应称之为“仮名漢字交じり文”。从镰仓时代起由于来自中国文化的音读词的急剧增加，标记上自然以汉字为主，以假名为辅，形成了汉字假名混用文。战后则由于限制使用汉字，不少音读词也用假名书写，结果虽然汉字仍是一种重要标记手段，但数量上仍以假名为主，形成了与原来的假名汉字混用文不同性质的另一种假名汉字混用文。

汉字平假名混用文是现代日语的标准文体，除汉字外主要用平假名，片假名只用来标记外来语和特殊词汇。由于汉字和假名混用，除了汉字标记问题(如字体、音训)和假名标记问题(如使用何种假名、分写等)外，还有汉字和假名标记的分工问题和送假名问题等。

汉字平假名混用标记比起纯汉字标记和纯假名标记有如下优点：a. 因夹用汉字和假名，使单词和单词的界限更明确，即具有“表词性”。b. 由于文字种类不同，可用不同文字区别同音词和多义词，即具有“一义性”。c. 有文字少、易读易写的优点。纯汉字标记虽文字少但难读，纯假名标记虽易读，但文字多。汉字假名混用文，有扬长避短，兼收并蓄的功效。

間接話法 カンセツワハウ 间接引述，间接引语

引语的一种。指引用别人的话语时进行各种调整，使之合于自己话语的文脉的引述方式，和直接引语相对。三上章称间接引语为“折衷話法”。

①彼女は昨日「私はもうあなたに会いませんわ」と言った。／她昨天说：“我再也不见你了。”②彼女は昨日もう私に会わないと言った。

／她昨天说再也不见我了。③「あしたならいい」と昨日言ったのじゃないか。／昨天你不是曾说：“明天还行”吗？④今日ならいいと昨日言ったのじゃないか。／昨天你不是说今天还行吗？

以上①、③是直接引语，②、④是间接引语。从直接引语到间接引语，主要是人称、时、敬简体及和这些相关的因素需要调整。

有时需要把所引述的原句的性质加以改变，原句是疑问句和命令句时更是如此。以下①、③是直接引语。

①先生は「皆さん，分りましたか」と聞いた。／老师问：“同学们，懂了没有？”②先生は皆さんに分ったかどうかを聞いた。／老师问同学们懂了没有。③木村は「ベッドに寝ている」と命じられた。／“躺在床上！”，木村被人命令道。④木村はベッドに寝ているように命じられた。／木村被命令躺在床上。

以上由①到②，除敬体改为简体外，疑问终助词改成了副助词性词组。由③到④，命令式改成了终止形＋ように。と可用可不用。

通过以上整理，间接引语比直接引语更简洁明了，逻辑性强。间接引语还可用于对原话或其场面了解不十分精确时。另一方面，由于间接引语破坏了原话的场面，夹带主观因素，所以不适于引用诸如名人语录、法律条文等。如果这时又不能用直接引语，可采用说大意的方 式，新闻报导中常用这种方式。

【混合型的引语】所谓“混合型的引语”不是什么术语。这里以此来指根本无法辨认是直接引语还是间接引语的引述，或者引语中两种因素并存的引述。这样的引述各种语言里都有，日语中比较多。下列例句都是常见的正规用法。

①ガリレオは地球は回っていると言った。／伽利略说，地球在转动。②初江は，赤ん坊の眼がかわいいの，頬がおいしそうなの，と眺めている。／初江望着孩子，左一句眼睛真可爱啊，右一句真想亲一亲脸蛋儿啊。（以上二例分不清引语类别）③彼がもどるまで，ここで待っていて下さい，と彼は私に言った。／他对我说让我在这儿等到他回来。④きょうお訪ねします，と昨日電話がありました。／昨天有人打来电话，说今天拜访我。（以上二例都是由前半部分的间接引语又过渡到后半部分

的直接引语)

**喚体の句** カンタイノク 喚体句

山田语法术语。山田把句子分成两大类：“花が美しい”这样以连用方式（称“述定”）完成的句子为“述体の句”，“美しい花”以这样的连体方式（称“装定”）完成的句子为“喚体の句”。喚体句的核心成分<sub>は</sub>体言。

①美しき夜空よ！／美丽的夜空啊！②仕合わせな生活。／幸福的生活。③古池や蛙飛びこむ水の音。／古池蛙欲跃，入后起清音。④老いず死なずの薬もが。／是长生不老的药该多好！

喚体句又分为“感動喚体”和“希望喚体”，前者句终的名词后可以出现感叹终助词，也可以没有，如例①～③。后者句终一定要有希望终助词もが（な）等，现代日语中已不用。

喚体句的特点在于句末的名词既不是主语也不是谓语，而是呼格，作为全句没有主语、谓语。

⇒句、文の分類 述体の文

**感動詞** カンドウシ 感叹词

【性质】词类之一，亦称“感嘆詞、間投詞”。指语义上表示感叹等各种感情或对对方的呼唤、应答，功能上能独立成句（独词感叹句），形态上主要由接近表情音的语音结构构成的一类词。如：ああ、あっ、おっと、おお、はい、ええ。

感叹词没有独立词那样的属性概念，也没有附属词那样的关系概念。它是一种主观感情和客观内容尚未分化的东西，但可以与分化的句子等价，比如“ああ。”、“蛇だ。”、“ああ、蛇だ。”这三个句子的内容量相等。亦即：“蛇がある”这个客观内容与当时的惊讶这种感情结合起来就是“蛇だ”这个分析性的句子，而“ああ”也是同样的意思，只是还没有变成可分析的形式。

某些感叹词与句体有关系，如いや通常用于简体，いいえ用于敬体。

【种类】通常从语义上分为如下几种。

1. 表示各种感情的。例如：ああ、あら、おや、ねえ。
2. 表示应答的。例如：ああ、いいえ、いや、そう。



3. 表示呼唤、敦促、提醒的。例如：おい、さあ、それ。

4. 表示寒暄的。例如：おはよう、今日は、さよなら、おやすみなさい。

5. 口令。例如：まわれ石、気をつけ。

感动词1和应答语2都是本身感情的流露，区别于其他没有交际目的。呼语3和寒暄语4都是以交际对方为中心的，区别是前者有主动明确的交际目的，后者无特定的交际目的。

【构成】原始的感叹词（如：ああ、やっ）由表情音演化而成，介于表情音和语音之间，词形也不稳定（如：はい、はっ、はいはい），各个词典收词范围也不同（如：チェツ，シーッ）。这些词的语音结构和语义有某种内在联系，所以各语言间有一定的共同性，如：ああ（日）、啊（汉）、Ah（英）。

相反，有一些是由其他独立词转成的。

1. 来自名词或名词性词组：畜生、ばか、くそ、こんにちば。
2. 来自代词：これ、それ、あれ。
3. 来自副词：ちよっと、なるほど。
4. 来自形容词：よし、おはよう、かしこ（词干）。
5. 来自动词和动词性词组：もし（申す）、しまった、のこった。
6. 来自外来语：イエース、ノー。

另外，表示哭笑声、叹息声、呻吟声的是拟声词，不属于感叹词。

【诸说】最初，鹤峰<sup>しげのぶ</sup>戊申据荷兰语法提出“感動言”，后经大槻文彦语法确立了感叹词。但在这前后均有副词说（富士谷成章〔かざし〕、山田）和助词说（铃木朗、时枝诚记〔辞〕）的对立。铃木一彦的“词辞未分明”说是时枝说的发展。另有金田一京助的表情音说、佐久间鼎的诱导词说等。

#### 間投助詞 カントウジョシ 间投助词

【性质】助词的一种。插入句中句节之间，一方面以感叹语气表示句子的临时停顿，另一方面表示句节的连续性。如“明日ね，帰り道にタバコを一個買ってきてね。”中的第一个“ね”即是。终助词在语义上和间投助词基本相同，但通常认为它结束句子或参与结束句子，而间投助词是从

陈述方式上连结句子。间投助词有以下特征。

1. 插入句中，参与陈述过程，但不参与造句过程，所以没有它只在语气上有变化，不影响句子结构的成立与否。如：そこに（な），問題があるんだ。／这里有问题。某些终助词区别陈述类别，这与间投助词不同，如“さわぐな。／不要吵”就不能去掉“な”。

2. 接于句中句节后，这就意味着它可接于所有助词之后。如：あれがね，私にはね，出来ないのだ。／那，我，可作不来。私だってさ，よく見ればさ，覚えられるんだ。／即使是我啊，好好看看的话哩，也能记住的。间投助词互相间也能重叠使用。如：そうしてですな，始めて成功の可能性が出てくるんだと思います。／我认为只有这样做么，才有成功的可能性。それがだよ，急に見えなくなりました。／它哩，突然就不见了。

3. 有性别、年龄、身分的区别。

【范围和分类】所属词有：よ、ね、さ、な。另外，助动词“だ、です”和连体词“あの”等也可以转用为间投助词。分类：1. 表示语气停顿的有：ねえ、なあ（男）、のう（男）、よう（男）。2. 同时表示情态的有：ね、よ（男）、さ、だ（男）、のう（男）、な（男）。

【诸说】间投助词得名于山田孝雄。他着眼于间投助词在句中出现的位  
置，从而将其和终助词区分开。即：间投助词出现于句中或者句末，终助词只用于句末。森重敏着眼于间投助词不参与造句的特征，将其与参与造句的提示助词和终助词区分开。时枝语法和教学语法将终助词和间投助词统称为终助词。

### 感動の助動詞 カンドウノジョドウシ 感叹助动词

助动词的一种。指表示说者的感叹语气的助动词，亦称“咏嘆の助動詞”、“強意の助動詞”。没有专用的语言形式，现代日语中，过去、完了助动词た的终止形的个别用法中，有从确认、回想等意义产生的感叹用法。因此，一般归于过去、完了助动词。

ああ，よかった，よかった。／啊，太好了，太好了。

そう，あしたは休みだった。／原来，明天休息啊！

上例中的た和だった不再表示时间或判断，而是表示说者的感叹语

气，和终助词无本质上的区别。

**感動副詞** カンドウフクシ 感动副词

山田孝雄的术语，指感叹词。山田认为感动副词具有概括全句句义、预示全句思想的作用，从而把它作为副词（“副用言”）的一种。山田把感动副词分成两类，一是表示感叹的，二是用于劝诱、呼唤的。

“おやっ，変だな”是前者例句，“さあ，帰りましょう”是后者例句。

**感動文** カンドウブン 感叹句

按句子性质划分的句子种类之一。日语亦称“感嘆文”。桥本进吉认为叙述某种事物，如只作叙述就是叙述句，如兼有感叹语气则为感叹句。可见日语的感叹句是叙述内容加上感叹语气而成的。语调是高平调，书写时为加强语气也可用感叹号。构成：

1. 在句末添加感叹终助词。

①とても速いね。／真快啊！②ずいぶん込んでいるなあ。／好拥挤啊！③こまったわ。／不好办那。

2. 在句首添加感叹词。这种感叹句的后半部分相当于用实际的素材内容对前面重新说明。

①まあ，おどろいた。／哟，真令人吃惊。②ああ，青い海。／啊，蓝色的大海！

3. 利用倒装法。

①ごめんなさい，忘れてしまって。／对不起，我忘记了。②えらいぞ，お前は。／了不起呀，你。

4. 以体言、形容（动）词词干结句。

①火事！／火！②とうとうたる大河よ。／涛涛的大河啊！③すてき！すてき！／好极了，好极了！④痛っ！／疼！

5. 以单个感叹词构成。

①今日は。／你好！②いいえ。／不。③これはこれは。／这实在是……。

6. 叙述句、疑问句、命令句带有感叹语气，也可转成感叹句。一般不带主语，句末多用感叹号。

①きっと作って見せる! / 一定做给你们看! ②なんと美しいことだろう。 / 多好看啊! ③カナも読めないか。 / 假名都念不了吗? ④おい、来た! 来た! / 喂 来吧! 来吧! ⑤うそをつけ。 / 你撒谎(去吧)!

⇒文の種類、平叙文

観念語 カンネンゴ 观念词

山田语法术语。山田语法首先把所有词划分为观念词和关系词两大类。观念词具有以下特征:

1. 一个观念词本身就可以表示一种思想,有具体明确的概念,如:山、花、咲く。

2. 造句或构成词组(句节)时要依靠关系语的帮助。如:花<sup>△</sup>が咲く<sup>△</sup>よ。

3. 与关系语结合时位于其前。

观念语包括“自用语”和“副用语”,见该二项。

漢文 カンブン 汉文

【解释】指用中国的汉文书写的文章,古时还特指汉代的文章、古文、古诗等,这是中国汉文。日本汉文指日本人用中国汉文的词汇、语法、格式书写的文章、诗歌等。

据历史记载,汉文大量传入日本是3世纪末至5世纪初的事情。因当时日本没有自己的固有文字,直接用汉字、汉文记载知识和思想。最初的汉文完全按着中国汉文的语法书写的,词汇中只有少数的日本固有词汇(地名、人名等),称纯汉文。但是汉文语法完全不同于日文语法,如实地反映知识和思想很不方便。所以,必然地把部分词汇和语法按日语词汇和语法书写。这种日本化了的汉文,称作变体汉文。因常用来做记录,因而也叫记录体。《古事記》就是用变体汉文书写的。历代的男性日记、书信等多用此种文体,后演变为候文。

奈良时代的贵族、镰仓室町时代的僧侣、江户时代的士人都把汉诗汉文看作是知识教养的首席课程。汉文言简意赅,铿锵有力,对于日语文章的发展起了积极的作用。尤其是因汉文需要加训点和送假名来训读,这对于汉字假名混用文的产生和发展起了决定性的作用。

【训点】汉文对于日本人来说是难懂难用的外国语。但是由于假名的发明



和训点的利用,能够把汉文改变为日本人也能读懂的训读文。用于训读文中的字旁行间的返点和送假名等作训点。

1. 返点解决语序问题。

1) レ点,用于一字的倒读。

読<sup>レ</sup>書<sup>ヲ</sup>。(書を読む)

不<sup>レ</sup>可<sup>レ</sup>避<sup>ク</sup>。(避くべからず)

2) 一、二、三等,用于倒读后词为双音节词或带有介词的单音节词时。

学<sup>ニ</sup>漢文<sup>ヲ</sup>。(漢文を学ぶ)

歸<sup>ニ</sup>於<sup>ニ</sup>卿<sup>ニ</sup>。(卿にかえる)

倒读前词为双音节词时,返点点于两字中间,并带有一号。

欲<sup>ニ</sup>教<sup>ニ</sup>育<sup>セント</sup>子弟<sup>ヲ</sup>。(子弟を教育せんと欲す)

倒读前词为四字成语时,返点点于前两字和后两字中间,并带有一号。

取<sup>ニ</sup>捨<sup>ニ</sup>選<sup>ニ</sup>択<sup>ス</sup>書物<sup>ヲ</sup>。(書物を取捨選択す)

一句中既有一字倒读,又有二字倒读时,レ点和一二三混用。

不<sup>レ</sup>入<sup>ニ</sup>虎穴<sup>ニ</sup>不<sup>レ</sup>得<sup>ニ</sup>虎子<sup>ヲ</sup>。(虎穴に入ら<sup>い</sup>ずんば虎子を得ず)

聞<sup>ク</sup>鳥<sup>ノ</sup>啼<sup>ク</sup>枝<sup>ニ</sup>。(鳥の枝に啼くを聞く)

3) “上、中、下”用于包括レ点和一、二、三的两字以上单位的倒读。

如<sup>シ</sup>揮<sup>ツテ</sup>快刀<sup>ヲ</sup>断<sup>中</sup>乱麻<sup>上</sup>。(快刀を揮って乱麻を断つが如し)

4) “甲、乙、丙”用于包括一二三的词组的倒读。

求<sup>メ</sup>以<sup>下</sup>解<sup>スル</sup>英文<sup>ヲ</sup>法<sup>上</sup>解<sup>セン</sup>漢文<sup>ヲ</sup>。(英文を解するの法を以て漢文を解せんことをむ)

2. 送假名解决读音问题,用片假名表示活用词尾、助词、助动词等。

介词“於、乎、于”,接续词“而”,助词“矣、焉”不训读。称“捨て字”“置き字”等。

良薬<sup>ハ</sup>苦<sup>ニ</sup>於<sup>ニ</sup>口<sup>ニ</sup>。

学<sup>テ</sup>而<sup>時</sup>習<sup>フ</sup>之<sup>ヲ</sup>。

朝<sup>ニ</sup>聞<sup>カバ</sup>道<sup>ヲ</sup>,夕<sup>ニ</sup>死<sup>ストモ</sup>可<sup>ナリ</sup>矣。(朝に道を聞かば,夕<sup>ゆうべ</sup>に死すと)

も可なり)

有些词再读，称再读文字。

人未<sup>いま</sup>知<sup>これ</sup>之ヲ。(人未だ之を知らず)

当<sup>まさ</sup>ニ<sup>に</sup>勉励<sup>べし</sup>。(まさに勉励すべし)

須<sup>すべか</sup>ニ<sup>に</sup>読<sup>よ</sup>此ノ書ヲ。(須らく此の書を読むべし)

【范文】 静夜思

牀前看<sup>み</sup>月光<sup>ツキミチ</sup>

疑<sup>う</sup>フ<sup>ラ</sup>クハ<sup>ハ</sup>是<sup>こ</sup>レ<sup>ノ</sup>地上ノ霜<sup>カト</sup>

举<sup>あ</sup>ゲ<sup>テ</sup>頭<sup>カビ</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>望<sup>み</sup>明月<sup>ツキミチ</sup>

低<sup>ひ</sup>レ<sup>テ</sup>頭<sup>カビ</sup>ヲ<sup>ヲ</sup>思<sup>おも</sup>フ<sup>フ</sup>故郷<sup>コキョウ</sup>。

勧誘表現 カンユウヒョウゲン 劝诱表达法

【性质】指劝诱或提议对方实现或停止某行为动作或状态的表达法。相邻的表达法有：a、命令、b、疑问、c、希望 d、意志等。劝诱表达法与 a、b 相比没有强制性；与 c 相比态度更为积极；与 d 相比，d 是说者个人的决心，而劝诱的特征是说者和对方共同行动。当然，也可以用于只劝诱对方自己作某事，如“いい子だから，いたずらはもうやめましょうね／是好孩子，再也不淘气了啊。”

【形式】劝诱的性质决定了它没有专门的表达形式，通常借用其他表达形式。主要如下：

1. 推量助动词う、よう，这是意志、推量表达形式的转用。常后续终助词等，添加各种情态意义，主要有：か（商量）、よ（催促）、や（希望、决心）、ではないか（增加号召力）、ね（征求同意）。这种形式态度积极，不能采用否定形式。

①皆助け合ってやろう。／我们互相帮助来干吧。②あなたも参加しましょう。／你也来参加吧。③ちょっと休もうよ。／休息一下吧。④山の頂にのぼってみようか。／上山顶看看去啊。⑤行きましょうや。／我们走吧。⑥そんな話は明日にしようや。／那事儿明天再说吧。(不耐烦) ⑦これからは仲よくしようでは(=じゃ)ないか。／今后让我们和睦相处吧。

2. 借用疑问表达形式～か、～ない？、～ないか、～ませんかしょ

うか等。语气柔和客气，提议、商量的色彩较强。

①さあ，そろそろ出発するか。／喂，该出发啦！②ちょっとお寄りになりませんか？／不到我家坐一会儿？③彼にも言ってくれないか。／也跟他说一下呗。④面白い話を聞かせていただけませんか。／请您给我们讲有趣儿的事儿可以吗？

3. 动词的假定形式～ては、～たら，可后续どうですか、いかがですか等。单独使用时句末用升调。也带有提议、商量的口气。

①もう一度考え直してみては（どうですか）？／你再重新考虑一下怎么样？②外套をお脱ぎになったら（いかがですか）。／您是否要把外衣脱下来？③たまにはお遊びにでもいらっしゃったら。／请您抽空来玩儿。

4. 以いかがですか等作谓语。

①一杯どうですか。／来一杯（酒）怎么样？②熱いお茶などいかがですか。／热茶您怎么样？

5. 借用希望表达法的形式。直接说出自己的愿望，语气较强。

①明日までには完成してほしいんですがね。／我希望你在明天以前完成。②もう一度いらっしゃっていただきます。／请您再来一次。

6. 把表示“适当”的形式借用于二人称。可以看成语气委婉的命令形式，劝诱态度比较积极。

①むだな仕事はよせばいい。／你不用做没用的事儿。②あなたは理科の勉強をするのがいい。／你应该学理科。③この絵には色を付けたらよかろう。／这幅画涂上颜色就好了。④日時を延した方がいいと思います。／我看还是延期为好。

7. 有些感叹词、副词可与以上形式搭配使用。

①ねえ，帰りましょうよ。／喂，咱们回去吧。②どうです，ちょっと寄っていきませんか。／怎样，到我那儿坐一会儿再走好吗？

【参考】劝诱的表达形式旨在要求对方积极行动，所以一般不能用于否定内容和非意志行为。另外，劝诱的对象一定是二人称，如人称是三人称，转为其他表达法。

①あいつ，まだ始めない？（需要确认）／那小子，还不开始？②落

ちっこない。(确认)／不落。

慣用句 カンヨウク 成语，固定词组

相当于汉语的“成语”或“固定词组”，以下称“成语”。从形式上看，要由两个或更多单词组成，词与词的结合非常固定。成语具有新的意义，而不是几个词的意义总合。

【特征】1. 两个以上词构成全新的一个词的意义。例：鼻が高い（とくいだ、自慢だ）、腹を立てる（怒る）、きもをつぶす（おどろく）、首を切る（解雇する）。

△谚语、格言和某些比喻比较接近于成语，但它们相当于一个句子，而不象成语那样只作句子成分。

2. 词与词之间结合紧密。

1) 一般不能在中间加入其他成分，如：※腹が少し立つ（可说：少し腹が立つ）。

2) 一般不能用类义词代替其中的词。如：※道草を食べる（要说：道草を食う）。

3) 也不能改用敬语形式。如：※お中が立つ。

4) 助词很固定。比如，～を～形式的成语变成被动态时仍保留“を”。例：きもをつぶされる。如变“を”为“が”，则成了普通说法而非成语了。再如，句中即使出现与成语中相同的助词也不能改变，例：三人の先生を首を切った（可改为：～の首を切った）、先生と面と対<sup>むか</sup>っては何の文句も言えなかった。

5) 一般否定形式的不能改成肯定形式，如：うだつが上らない（→※うだつが上る）。

以上是主要倾向，对有些成语，能否灵活运用，也不能一概而论。

【用法】成语在句中和一个单词一样可以作句子成分。

①面とむかつては言いにくい。(连用修饰语)／面对面就很难出口。②そう言われると僕は立つ瀬がない。(谓语)／你那么说我就进退两难了。

根据成语的语法作用，可分成如下几类：

1. 动词型成语。以动词或助动词结尾。作用相当于用言，可按用言



活用、接续。例：気がつく、愚にきせる、山と積む、鼻で笑う、お高くとまる、うまく行く、つめたくなる。

2. 形容词型成语。大多为主谓形式。例：腹が黒い、鼻が高い、腰が低い。

3. 名词型的成语。以名词结尾的成语。如：なしのつぶて、あとのまつり、なに食わぬ顔。这类成语常作谓语、连用修饰语等。

①今となってはあとのまつりだ。／到现在，已经是马后炮了。②何度も手紙を出したが、なしのつぶてに終わった。／写了很多次信，结果都石沉大海。③何食わぬ顔でいいまくる。／装出若无其事的样子高谈阔论。

4. 副词型成语。结构形式多为“体言+助词”或“体言+助词+动词（连用形）”，并且常以相同或相似的部分重叠。在句中作连用修饰语，有时作谓语。

①先生といってもピンからきりまである。／虽说是老师，也是有好有次。②手を変え品を変え試みたがだめだった。／千方百计地试过了，还是不行。③うんともすんとも言わなかった。／不哼不哈。

#### 慣用語 カンヨウゴ 慣用語

“惯用语”表示各种概念，主要如下：

1. 指日常用的套话。如：おはよう、ごめんなさい（寒暄用语）、以上御礼まで（书信用语）。

2. 指各部门的特殊用语，如学科用语、专门用语。例：答申（官厅用语）、相对論（学术用语）、芸術至上主義（文艺用语）、相場（商业用语）。

有的特殊用语超出本部门和领域而成为成语。如：王手をかける（原为棋语）、引導を渡す（原为佛教用语）。

3. 指形式上固定，表示特殊语义的两个以上词的组合即“惯用句”，可译为“习语”。如：腹が立つ、油を売る、道草を食う。

4. 指词汇意义不明显，主要起语法作用的词组，可称“惯用词组”。有的人就一部分词又称“複合助詞”、“助詞（助動詞）相当連語”等。如：にとって、てから、だけに、ばかりに、かもしれない、

なければならない。

5. 主要在语言教学上指词的搭配的固定形式。如：責任を果す、可能性が大きい、うわぎを着る、ズボンをはく。

**完了の助動詞** カンリ ヲウノジョドウシ 完了助动词

助动词的一种。指构成用言完了体的助动词，所属词只有た。

完了助动词以确认语气表示动作已经完成，变化和状态已经结束，所以也叫作“確認の助動詞”或“確述の助動詞”。

动作的完了是与绝对时间无关的运动属性，因此，无论是现在、将来、过去的任何事情，只要是表示完成，都可以用完了助动词表示。

①昨日、公園に行ってきた。（完了、过去）／昨天去公园了。②ぐあいが悪いなら、薬でも飲んだほうがよい。（完了、将来）／身体不舒服，还是吃药好。

完了助动词还带有发现、回想、命令等陈述语气。

①去年、ぼくは日本に行ってきた。（回想）／去年我去过一次日本。②あなたは今までここに居たのか（发现）／你一直在这里？③あ、今日娘の誕生日だった。（突然想起）／对了，今天是女儿的生日。さあ、どいた、どいた。（命令）／喂，躲开，躲开。

# き      キ

既現態   キゲンタイ   既現体

活动性动作体之一。由金田一春彦命名，松下大三郎称“完全動態”。用てしまう表示瞬间动作的真正发生，带有因不能恢复原状而感到遗憾的语气。

①財界で活躍していた彼が死んでしまった。／曾活跃于金融界的他死去了。②手術中に電灯が消えてしまった。／正在手术时停电了。

記述文法   キシュツブンポウ   描写语法

描写语法有如下三种不同的概念。

1. 与历史语言学（历史语法）相对立的共时语言学，即对于特定时期的特定语言所做的系统论述。19世纪前期的语言学只重视语言历史，以古代语言的语法为其主要的研究内容，称之为历史语言学。到19世纪中叶，由于外语教学和方言研究的抬头，产生了描写现代语言的必要性，随着国际音标的制定，对现实语言的描写也有了基础，因而促成了描写语言学（描写语法）的成立和发展。

2. 与说明语法或规范语法相对立的语法理论，即对于客观存在的语言现象所作的如实描写。无论是历史的语言现象或现实的语言现象，都可以作描写的对象，但是描写方法可能有不同。如：美国的语言学家排除任何语言理论的束缚，通过实际的调查，对濒临灭绝的印第安语作了详尽的记录，为后来的理论研究留下了宝贵的语言资料。而欧洲的语言学家们采取的是说明性的描写方法，这种方法或多或少地带有理论上的说明。很明显，描写的最终目的是解释被描写的语言现象，因此，描写和说明只是语言研究的不同阶段罢了。

3. 结构主义语言学的语法理论。因为美国结构主义语言学以现代语言特别是印第安语为主要的研究对象，所以描写语法有时专指美国的结构主义语言学的语法理论。

⇒説明文法、歴史文法、構造言語学

# 擬声語 ギセイゴ 拟声词

【解释】描写音响、声响的象征词（另项）称拟声词。亦称“擬音語、写声語”等。

①犬はワンワン吠える。／狗汪汪叫。②ドアをカチャンと閉める。／“哐啷”一声把门关上了。

拟声词是对客观音响的模拟，它与被模拟者之间有着直接的联系。但拟声词毕竟是经过了人们主观认识并加以提炼了的东西，因而不等于客观的音响。拟声词是人们共用的、公认的语言形式，但在不同语言之间其表现形式也不尽相同。如英语中狗叫声是bowwow。

有的学者把“擬声詞”的概念作为拟声拟态词的总称来用。

【用法】1. 拟声词与拟态词一样，是状态副词的一种。单独或后续“と”作连用修饰语。

①雨がざあざあ（と）降り出した。／雨哗哗地下起来。②机をドンと叩く。／“咣”地敲了一下桌子。③「ガラッ」ふすまが開けた。／“刷”，隔扇开了。

有的拟声拟态词同形，但作连用修饰语时前者要后续と，而后者要后续に。

①電車ががらがらと通る。／电车隆隆地开过去。②部屋の中ががらがらにすいている。／屋子里空荡荡的。

拟声词只能作连用修饰语，而拟态词还能作连体修饰语、谓语句等。

①がらがらの（な）電車／空空的电车。②電車ががらがらだ。／电车里空空的。

2. 拟声词有清音和浊音的对应形式，清音有清脆、悦耳的语感，浊音有粗放、刺耳的语感。例：カラカラ／ガラガラ、キーキー／ギーギー、トントン／ドンドン

3. 拟声词有的在幼儿语中转为名词。例：ブーブー（汽车）、ワンワン（狗）、ガラガラ（哐啷棒）

4. 拟声词一般用片假名标写。

⇒象徴語

既然態 キゼンタイ 既然体



静止性（状态性）动作体之一。表示已经完成的行为动作所产生的结果，由松下大三郎命名。

1. 瞬间动词的～ている形式，表示（说话）当时的已经出现的自然状态。

- ①この時計はこわれているから使えない。／这只表坏了，不能用。  
 ②道端にガラクタがいたる所に捨てられている。／路边到处丢弃着破烂东西。  
 ③敵機がやってきたとき，灯がすべて消えていた。／敌机来到的时候，灯火已经全都熄灭了。

2. 瞬间动词和继续动词的～ている形式，表示以往的经历。为区别，1 可称结果体，2 可称经验体。

- ①この時計は二年前に一度こわれている。／这只表两年前曾坏过一次。  
 ②今まで三回も読んでいる。／至今已读过三次了。

3. ～てある形式。接于动作行为的结果可以存留的自他动词后，其中自动词只接少数需要ニ格和ヲ格补语的词，表示人为造成的状态。其中他动词的～を～てある形式还可以把主语补上，～が～てある形式以动作对象为主语，一般不能补充动作的发出者。

- ①部屋の窓が全部開けてある。／房间的窗子都打开着。  
 ②社長にはもうあいさつしてある。／已经和经理见面了（说者为新来的职员）。  
 ③新型の機械が購入してある。／买进了新型的机器。  
 ④うちの工場は新型の機械をたくさん購入してある。／我们厂已购置了许多新型的机器。

4. ～たばかりだ、～たところだ。表示动作行为刚刚结束。

- ①食事が終わったところに停電してしまった。／刚吃过饭就停电了。  
 ②ついさっき，知らせておいたばかりです。／刚刚通知过。

擬態語 ギタイゴ 拟态词

【解释】用特殊语音形式模拟事物的性质、状态、方式以及动作的象征词（另项）称作“拟态词”。日语亦称“擬容語、写容語”。

- ①あかりがぱっと消えた。／灯忽然熄灭了。  
 ②すらすら読む。／流利地读。

金田一春彦把表示心理状态的拟态词特称为“擬情語”，如：いらいら、ときどき、はらはら、くさくさ。

拟态词的语音形式和意义之间没有拟声词那样的直接联系，但其语音形式具有特殊的音响效果，从而近似于拟声词而区别于其他词类。

日语拟态词特别发达，其数量之多、语义之微细，是除朝鲜语之外的其他语言所不可比拟的。在长期的使用过程中，语音和语义之间也建立起了倾向性的联系。比如，摩擦音或塞擦音多表示顺利、光滑貌：スー、ツー、スラスラ、ツルツル。

【用法】1. 拟态词和拟声词一样，属状态副词，在句中作连用修饰语。表示方式时常后续“と”，表示状态时常后续“に”。

①へとへと（に）疲れた。／精疲力尽了。②きっぱり（と）断わった。／断然拒绝了。

拟态词比拟声词词义抽象，有较普遍的名词用法，而拟声词一般没有这种用法：

①ぼろぼろの洋服／破破烂烂的西服。②この洋服はぼろぼろだ。／这件西服破破烂烂的了。

2. 构成サ变动词和其他动词的主要部分。其中所谓拟情词只有这一种用法。例：むかむかする、まごまごする、ゆらゆらする、びかびかする；ばたつく、ゆらつく、まごつく；きらめく、どよめく、ひらめく。

3. 拟态词的词形规律和意义特征有很强的对应倾向，其中包含细微的语义差别。如：①ごろごろ（と）、②ごろり（と）、③ごろっと、④ごろんと。

其中①组表示反复持续的滚动状态，②组表示稍纵即逝的滚动状态，③组表示滚动迅速开始的状态。④组表示弹跳动作状态。②组可重叠起来表示滚滚停停。④组可能重叠起来表示越滚越厉害。

拟态词的辅音有清音和浊音的对应关系。如：ごろごろ／ころころ、ぼろぼろ／ぼろおろ、どろどろ／とろとろ。带有浊音的有“钝、重、大、丑”的特征，带有清音的有“锐、轻、小、美”的特征。

4. 拟声词一般用平假名标写。

⇒象徴語

きっと 〈陈述副词〉

1. 常与のだ、にちがいない、だろう（依次把握性渐小）等断定性推量形式呼应，表示很有把握的推测。

①きっとひどい仕打を受けたのにちがいない。／准是受到了无礼的对待。②この分であればきっと成功する見込みが大きいだろう。／看这个样子，成功的希望一定是很大的吧。③校長先生は行っちゃったぞ。正吉さんを連れに行ったんだぞ，きっと。／校长走啦！是叫正吉去啦，肯定的！④三時着の汽車だから，今ごろはきっと駅についているはずだ。／是三点到站的火车，所以现在应该到站了。

2. 和意志动词的命令形、终止形呼应，表示坚定的决心。

①今度はきっとパスしてみせる。／这次我一定考他个及格。②「きっと待っていてね。」「待つとも，きっとよ。」／“你可一定要等着啊。”“等着，一定等。”

【参考】きっと和かならず 无推测可言的自然规律等要用かならず，如“朝になれば必ず（※きっと）日が昇る。”表示具体现象、意志行为时二者可对换，但かならず表示百分之百的准确性，きっと只是十分有把握的主观推测。

規定語 キテイゴ 规定语

鈴木重幸用语，相当于通常的“連体修飾語”，见该项。

機能 キノウ 功能，职能

1. 指语法功能。即词在句中的语法作用，或者说词对整个句子的关系。语法功能也称为职能（職能）。

在“山が高い”一句中，“山が”一方面具有“山”这个词汇意义，一方面具有表示主体这一语法意义。从对这个句子的关系上来说，“山が”起着构成主语的语法功能。语法功能是词类划分的重要标准之一。如日语名词的划分一般有两个标准，一是名词表示事物的概念，即意义标准，二是名词能作主语、宾语等，即功能标准。功能标准一般和其它标准结合起来划分词类，所以“ある”和“ない”虽然功能基本相同，考虑到形态，还是分别划归动词和形容词。

2. 以培养学生的语言交际能力为主的教学法称为功能教学法，以此为指导思想编写的语法称为功能语法。这个意义上的“功能”包括交际能

力、实践能力、语言技能之类的意思。

**機能範疇** キノウハンチュウ 功能范畴

语法范畴的一类，和形态范畴相对。指从功能的角度设立的语法范畴。一般认为词类是典型的功能范畴。

通常意义上的语法范畴都是以功能的异或同为根据而划分、独立的，所以这些范畴都可以看作功能范畴。但划分、设立的标准往往带有主观随意性，所以范畴的划分又因人而异。

**機能文法** キノウブンポウ 功能语法

1. 注重功能即实际的语言交际的语法，尚无稳定的理论体系。是学校语法的一种。

2. 专指久野暲提出的语法理论体系，转换生成语法的一个支派。目前各新理论流派以研究英语为主，但日语也很受重视。久野的理论首先以日语为对象语言。特点是，在TG理论的大框子内，注重ハ、ガ所表示的情报的新旧（ガ代表新情报）以及说者的出发点等等。另外，不仅研究句子，还研究句组（discourse, ディスコース或谈话）和文章。

3. 泛指注重语法功能（见“機能”的1）的语法体系。主要表现在，词类划分以功能为主，不考虑或很少考虑意义和形态标准。

**規範文法** キハンプンポウ 规范语法

【解释】prescriptive grammar的译语。又称为学校语法（学校文法）、教学语法（教科文法）、实用语法（実用文法）。

规范语法是某种语言里为指导人们正确运用语言而建立起来的语法体系。典型的如日本中小学语文教科书中采用的语法体系、中国的《暂拟语法教学系统》和后来的《中学教学语法系统提要（试用）》的语法体系即是。实用性的语法书中讲的也都是规范语法。

规范语法以最基本的和最标准的语法现象为依据，最初的目的 在于读解古典、按规则运用现代语言、判断对与错。因此它不直接负担语言研究的任务，这一任务要由理论语法完成。规范语法在母语教育和外语教育方面都有普遍的指导意义。规范语法包括文言语法和现代语法。

规范语法常有强调规范而忽视语言的实际发展情况，强调语言教育而忽视语言研究，因缺乏细致深入的研究而将通行的说法也看作是错误



等弊病。随着语言研究的深入，这些问题正被逐步克服。

【发展小史】欧洲中世纪一直把拉丁语语法作为规范语法。在日本，江户时代在文言语法研究上有很大进展，目的是适应读解古典和作和歌的需要。明治大正年间仍以这种研究为主，还涉及到语音、文字、词汇、文体等，有语言学的性质。1931年桥本进吉发表《新文典》之后，才开始以口语语法为主，直至今日。《新文典》以词法、句法为主，另有敬语法、语音、文字等内容。目前日本的教学语法体系仍以桥本理论为主，同时由于日语和日语研究的发展，内容得到充实，理论体系也更明确了。但是由于前述的“弊病”依然存在，人们对教学（规范）语法的批判仍很多，许多理论和实践问题仍待进一步解决。

⇒文法、記述文法

希望の助動詞 キボウノジョドウシ 愿望助动词

【性质】助动词的一种，也称“願望の助動詞”。指构成愿望陈述的助动词，所属词有たい、たがる。接于动词连用形后。一些人把たがる看作是たい和接尾词がる的结合形式。

①つめたい物が飲みたい。／想喝凉的东西。②子供が公園へ行きたがっている。／孩子想去公园。

愿望助动词还表示自发心理和自发倾向。如，本当に泣きたい。／真想哭一场。

愿望助动词和意志助动词相似，都表示行动前的心理活动。但是，前者表示心理状态，是形容词性的，而后者表示主观态度，是动词性的。所以两者的界限也是显而易见的。

愿望助动词和接尾辞也很相似。如，“水が飲みたい”中的“飲みたい”从格关系来看，相当于一个形容词，与“ほしい”无差别。显然“たい”是形容词性质的接尾辞。但是在“水を飲みたい”中的たい关联全句，具有助动词性质。另外，愿望助动词出现于句中时，与各种人称有关，不表示说者的陈述作用，因而是形容词性质的接尾辞。但是，在以上各种情况下出现的タイ一般都看作是愿望助动词。

愿望助动词表示行为和动作的实现，一般用于意志动词后。因而，不能接于状态动词和形状动词后。例：※できたい、※できたがる、※似

たい、※似たがる

【诸说】除桥本进吉的助动词说外，还有山田孝雄的复词尾说和时枝诚记的接尾辞说。山田孝雄认为，たい是表示愿望的特殊词尾，称“複語尾”。时枝诚记认为たい是表示事物属性的接尾辞。

希望表現 キボウヒョウゲン 希望表达法

【性质】指说者希望自己思想中的动作状态得以实现的表达法。亦称“願望表現”。希望表达法介于感叹和命令两种表达法之间，范畴比较模糊，有以下几种分类：

1. 对自然现象或由虚构产生的内心愿望，能否实现全不由己，也无人给予满足，和感叹表达法相似。

①一雨降ってほしい。／真希望来场雨。②鳥に成れたならなあ。／能变成鸟该多好！

2. 因说者的主观原因产生的内心愿望，不顾及要不要实现，和情态形容词句相同。

①水が飲みたい。／我想喝水。②ラジカセはほしくない。／不想弄到收录机。③美しくありたい。／希望漂亮。

3. 要求对方予以实现的内心愿望，此类接近请求、劝诱、命令等表达法。

①6時に起こしてほしい。／你要在6点叫醒我。②もっと強くあってほしい。／希望你更坚强。③あした来てもらいたい。／请你明天来。

4. 客观叙述他人或自己的愿望的外部表现，和一般叙述句很相似。

①猿が果物を食べたがる。／猴子想吃水果。②彼も一口乗りたいだろう。／他可能也想认一股吧？

【形式】1. 不顾及要不要实现的说者自己或对方的主观愿望，要用形容词ほしい和たい（愿望句）表示。前者用于愿望的内容是事物的时候，后者用于愿望内容是动作行为的时候。对方的愿望只能用疑问句或句中用法表示。

①あなたはどれがほしいの？／你想要哪一个？②私は何もほしくありません。／我什么也不想要。③美しく飾りたいです。しかし、人に見られたくはありません。／我想装饰得漂亮起来。可是，又不愿让别人看。

④飲みたいなら、飲んでもかまわない。／你想喝就喝吧，没关系。

2. 说者自己希望实现的愿望用といい、ばいい、ないか等表示，可后续终助词な（あ）加强语气。

①早くクリスマスになるといいなあ。／快点儿到圣诞节该多好！

②今年の夏は暑くなければいいと思いますが。／我倒是希望今年夏天不热才好。③誰か手を貸してくれないかなあ。／没有人肯帮我一下？

3. 说者自己不能实现的愿望用たら、ば表示，可后续なあ，以加强“大失所望”的语气。

①小鳥のように自由に飛べたらなあ。／要是能象小鸟儿一样自由地飞翔嘛。②もう少し長ければなあ。／若是再长一点儿嘛！

4. 第三人称的愿望用ほしい、たい和ほしがる、たがる表示。I型必须后续のだ，だろう、らしい、そうだ、と言っている才能结句。ほしい、ほしがる用于愿望内容是事物的时候，たい、たがる用于愿望内容是行为的时候。

①林さんは車がほしいのです。／林先生想要一辆车。②林さんは車をほしがる。／同上。③林さんは車が買いたいと言っている。／林先生说想买一辆车。④林さんは車を買いたがっている。／林先生想买车。

5. 客观描写说者自己和对方愿望时可用ほしがる、たがる表示。

①あなたがほしがっているから買ってきたんだよ。／你想要所以我才买来的啊。②私がいくら見たがっても見せてくれなかった。／我那样想看，他硬是没给看。

6. 要求对方实现某种动作、行为、状态的形式有：てほしい在关西更常用，除人名词主语句，还可用于非人名词作主语的句子。てもらおう及ていただく的愿望、可能等形式只能用于人名词主语句中。

①君からも助言をしてほしいのですが。／希望你也出出主意。②詳しい事情を聞かせてもらいたい。／想请你谈谈详细情况。③ご指導なさっていただけませんか。／敬请给以指教。④教えてもらえないでしょうか。／请告诉（或教）我好吗？

否定内容的愿望有下例①、②和③、④两种形式。后一种口气和缓，接近请求，前一种坚决，近于命令。

①誰にも見せてほしくない。／不希望你给任何人看。②誰にも見せないでほしい。／希望你不要给任何人看。③長髪をしてもらいたくない。／不希望你留长发。④長髪をしないでもらいたい。／希望你不要留长发。

7. 其他形式: ~よう (に)、无意志动词的命令形、陈述副词、表示愿望的动词等。这些和以上形式常搭配使用。

①どうかご自重なさいますように。／望您多保重。②何とぞ至急にお出願いたいたいです。／望您及早光临。③どうぞよろしくお願いします。／请多关照。④春来い来い, 花咲け咲け。／春天来吧来吧, 花儿开吧开吧。⑤無事でいてくれ。／祝你平安。

【注意】对长上不能用ほしい、ほしがる、たい、たがる, 否则显得太露骨而失礼, 要改用其他形式。试比较以下各组。

①先生もご参席なさいますか。／老师您也出席吗? ②※~なさりたくありませんか。③お茶はいかがですか。／来茶怎么样? ④※お茶は飲みたいですか。⑤何をさしあげましょうか。／你买什么? ⑥※(あなたは) どれ(なに) がほしいですか。

#### 希望文 キボウブン 愿望句

指表示希望的句子。狭义的专指“~たい, ~たがる”式的句子, 广义的还可以包括例③和例①②那样的表示愿望的句子。

①この手紙を読んで下さい。／请给我读这封信。②三日間休ませていただきます。／请让我休息三天。③私はお金がほしい。／我需要钱。

【句型】狭义的愿望句的基本句式是:

1. 主語ハ宾语ガ或ヲ他动词タイ, 或主語ハ宾语ヲ他动词タガル。
2. 主語ハ或ガ自动词タイ或主語ハ或ガ自动词タガル。

就1来说, 宾语用ガ或用ヲ句子结构的意义有所不同。如下例①和②, 例①说明“私”的感觉, 感觉的对象, 即对象语是“水”。例②则是对“水を飲む”这一事实的陈述态度。从结构上看, 例①“飲みたい”已经形容词化, “たい”有接尾辞性质。例②的“たい”是纯粹的助动词。

①私は(水が) + (飲みたい)。／我想喝水。②私は(水を飲み) +



(たい)。／我想喝水。

当然谓语为他动词タガル时，其宾语一定要用を表示。

【结构】1. 谓语。

1) 谓语要由意志动词充当，非意志动词不妥（※富みたい、富みがる）。但である有例外，表示的是对客观现实的愿望。

①榨取もなく犯罪もない——そんな社会でありたい。／没有剥削，也没有犯罪——但愿社会能如此。

2) タイ接于ラレル后时有两种情况。一是接于被动的ラレル后，意为“想被～、愿意被～”（2之②）。另一情况是接于被动形的敬语助动词られる后。（2之③～⑤）。而非被动形敬语的“なさいたい、下さいたい”是不成立的。

2. 主语。タイ和タガル与主语的人称有密切联系。以タイ结句时，主语只能是一人称。如タイ后续か、た、らしい、だろう、そうだ、はずだ、のだ时，可以用于三人称或二人称。

①彼も行きたいだろう。／他也想去吧。

和“彼も行きたがっている”比较，例①有站在主语的人物的立场上说话的语感。

另一方面，客观地描写主语人物的愿望（包括过去、将来）时，タガル也不限于第三人称。

①その時、あなたもしきりに前線に行きたがっていたのだ。（第二人称）／那时，你也不时地张罗到前线去。②誰もバカと言われたくはないだろう。／谁也不愿被说成混蛋吧。③詳しくは以下の文献を参考されたい。／详情请参照以下文献。④手続きはご自分でなされたい。／手续请自己办。⑤返して下されたくそうろうございます（旧小说）。／谨请归还。

3. 宾语。以～タガル作谓语时，宾语用ヲ。以～タイ作谓语时，宾语可用を或が表示。区别在于：～ガ～タイ的意义重点在“～ガ”，～ヲ～タイ的意义重点在“タイ”。但在口语中，如重点（表现为重音）落在整个“～タイ”上，二者没有区别。另外，实际语言中～ヲ比～ガ用得更多。在下列几种情况下必须用～ヲ。

- 1) 宾语是人名词时, 为避免和主语相混 (下例①)。
- 2) 宾谓之间另有副词以外的连用修饰语 (下例②)。
- 3) 动词的意义是外向的 (下例③④, 内向的也可用が, 如⑤⑥)。
- 4) 谓语部分结构复杂 (例⑦)。
- 5) ヲ不表示宾语时, 一定要用ヲ, 不用が (例⑧)。

①私はいいつをこらしめてやりたい。／我想教训一下那家伙。②私はこの作文を応募作品として書きたい。／我想把这篇作文当作应征作品来写。③自転車を(※が)売りたい。／想把自行车卖掉。④内容を(※が)知らせたい。／想告诉内容。⑤自転車を(或が)買いたい。／想买自行车。⑥内容を(或が)知りたい。／想知道内容。⑦タイプを練習したいと思う。／想练习打字。⑧中国で二、三年をくらしてみたい。／想在中国住二、三年。

#### 基本形 キホンケイ 基本形

活用词的代表性词形。通常, 无论动词(～u)、形容词(～い)、形容动词(～だ)都以终止形作为基本形。基本形也称词典形, 但是形容动词以词干为词典形, 所以二者不完全一致。

佐久间鼎认为动词的基本形应由能结句、能后续体言的活用形充当, 对终止形和连体形未加区别。形容词这两种形也完全一致。而形容动词这两种形(～だ、～な)并不一致, 所以, 以哪一个为基本形便出现两种主张。以“～な”为形容动词基本形的主张, 有在实际运用中连体形多于终止形的统计根据, 也有不与助动词“だ”相混淆的优点。

古代的辞书也以终止形为基本形, 而由西洋人编写的辞书也有采用连用形的。采用连用形也有合理性, 因为它的作用很广泛, 并能派生出补助活用形。但这些并未被广泛接受。

基本形除用于词典词目外, 还用于语法例词或其他场合对单词的列举、单词表等。

#### 基本語彙 キホンゴイ 基本词汇

1. 基本词汇(基礎語彙)。指在某一语言中使用频率高、范围广的单词的总体。比如: 時、ところ、私、考える、よい等词在每个人的语言生活中随时随地都会出现, 而且口语和书面语、男女老幼、各阶层都使

用。

基本词汇和非基本词汇之间没有明确的固定不变的界限。以词典为例，现代语小型词典主要收基本词汇，中型大型词典还要收录大量的非基本词汇。

基本词汇的选定有主观和客观两种方法：主观方法主要根据选定者的个人经验和观察，如国际文化振兴会编的「日本語基本語彙」(2000词)；客观方法就是统计、调查之后再选定，如贺根俊荣编的「日本語最高頻度語彙」和国立国语研究所编的「総合雑誌の用語」(约3950词)。

基本词汇的选定也会由于目的和领域的不同而有区别。为搞好对内对外的日语教育，有必要选定基本词汇。这方面有：阪本一郎编的「教育基本語彙」(低年级 5000、高年级 7500、中学 10000)、文化厅编的「外国人のための基本語用例辞典」(收词3691)。

2. 基础词汇(基礎語彙)。指主要按主观判断系统地选定的日常语言生活所必须的最少量的词的总体。它主要考虑：1) 造词造句能力，即能否以组合方式表达更多的意思。2) 寒暄语等交际所需要的词。3) 应答词、应答用的词等用于取得或确认知识信息的词。4) 表示主观感觉、主观认识等有关个人活动的词。这方面有：土居光知编的「基礎日本語」(1 500词)、森田良行编的「基礎日本語」(现出 3 册)。

3. 共同词汇(共通語彙)。指两个词汇之间的相重合部分，如男性语(わたし、ぼく……)和女性语(わたし、あたし……)之间的共同词汇(わたし……)、基本词汇和基础词汇之间的共同词汇等。

#### 基本句型 キホンブンケイ 基本句型

句型中最典型的类型叫作基本句型，日语又称“基礎文型”。基本句型应具备以下条件：a. 使用频度高，b. 容易掌握，c. 是叙述命题的根本，d. 成为各种变体的基准和标准，e. 大致够用。三尾砂把基本句型的变体称为派生句型(派生文型)。

基本句型必须在对现实的各种句子作全面调查，得出必要的统计材料 and 数据之后加以确定。但是，基本句型和派生句型之间界限不清，也没有必要划清界限。大体上说，简单句对于并列句、复合句来说是基本句型，后者是前者经组合而成立的派生句型。单纯的动词、形容词、形容词句对

于后续助动词、补助动词、终助词而形成的句型来说是基本句型,后者是由前者转换而成的派生句型。

基本句型的学习是入门阶段的重要内容。派生句型以及现实的各种句子都可以在掌握基本句型的基础上去掌握,这样便可以打好基础,在外语学习上起到事半功倍的效果。

基本句型包括有关句子结构的句型和表达形式的句型。永野贤分为十五项一四七个句型。有的语法书还包括助词、助动词用法方面的句型。

きまり文句 ～モンク 刻版语

指用于特定场合的习惯性的固定说法。主要有以下种类:

### 1. 寒喧语。

①お早ようございます。／早上好。早安。②毎度ありがとうございます。／承蒙多次光顾,谢谢。

2. 尺牍用语。用于起笔的有:拜啓、前略等;用于结尾的有:敬具、草草等。

成套的尺牍用语例:

①厳しい寒さが続きますが、お変わりございませんか。私はおかげさまで寒さに負けず、あいかわらず図書館通いをしております。……。／持续严寒,您身体如何?托您的福,我不怕寒冷,仍旧每天到图书馆读书。②寒さの折からますますご自愛のほど願ひあげます。ご家族の皆様にも、くれぐれもよろしくお伝え下さいませ。／正值严冬时节,谨望多多保重。务代我向家眷问候。

3. 讲故事时的开场白。如“昔、昔、大昔……／很久很久以前……”之类。

另外,常用的新闻报导的标题、文艺作品名等也可算刻版语。如标题“犯人目下厳探中／犯人眼下正全力追查中”。

刻版语形式上有词、词组、句子等,但意义上均相当于句子。如“拜啓”相当于“謹んで申し上げます”,“草草”相当于“乱筆をお許し下さい”。

きみ(気味) <接尾辞>

接名词或动词连用形后,表示稍微带有某种倾向。是一种主观判断。用于消极方面及反感的事物。



①若い弟子たちが興奮ぎみで貰った役柄の話が始めている。／年轻的弟子们稍稍兴奋地开始谈论领到的角色。②僕は今日どうも風邪ぎみです。／我今天象是有点儿感冒。③最近は太りぎみだね。／最近有点发胖了。④少し背をこごめぎみにして歩いている。／稍稍弯着腰走路。⑤この時計は、遅れぎみになった。／这块表有点慢了。

△ぎみ和がち的区别是：前者是程度上的倾向，后者是次数上的倾向。

### 疑問詞 ギモンシ 疑问词

表示疑问或不定的各种词类总括为疑问词。大部分属于コソアド系列中的ド系词。代词有：どれ、どこ、どいつ、どっち、どちら、どなた、どのかた、だれ、なに（なん）。数词有：いくら、いつ、何人、いく日。副词有：どう、どうして、なぜ。连体词有：どの、どうした。形容动词有：どんなだ。

【用法】有疑问用法、不定用法、全称用法、转用法等。

1. 表示特指疑问（非ド系词）和指示疑问（ド系词）。常和表示疑问的终助词合用。

①何人いらっしゃるの？／要来多少人？②今年おいくつ？／你今年多大啦？③どこの学校に通っていますか。／在哪所学校上学？④どうして言わない？／为什么不说？

2. 表示质问、反诘、劝诱、感叹、发现等。句调下降。

①なぜ言わないんだ。／你为什么不说？！②どうして見殺しできよう。／怎么能见死不救呢？③このページをお読みになったらどうですか。／您读一读这一页怎么样？④どんなに喜んだだろう。／多么高兴啊！⑤なんだ，お前だったのか。／怎么？原来是你呀。

3. 后续か、やら、ぞや等表示不确定。

①なぜか泣いていた。／不知为什么，哭了。②午前中誰か来ましたか。／上午有谁来过吗？③なにやらさっぱり見当がつかぬ。／也不知是什么一点儿也弄不明白。④いつぞやは失礼致しました。／前几天打扰您了。

△其中“か”是可以灵活运用，“やら”次之。“ぞや”已基本不用，“いつぞや”也已固定，作“先日”解。

4. 和“も、でも（だって）”结合起来使用，“～も”表示全面否定，“～でも”表示全面肯定。

①空室で、中には何もない。<sup>なに</sup>／是空室，里边什么也没有。②高級品店で、高級品なら何でも売っている。<sup>なん</sup>／是高级品商店，高级品应有尽有。③そんなことは誰も知っていない。<sup>なに</sup>／那件事谁也不知道。④そんなことは誰でも知っている。<sup>なん</sup>／那件事谁都知道。⑤この見方はどの本にも書いてない。<sup>なん</sup>／这种观点哪本书上也没写。⑥この見方はどの本にでも書いてある。<sup>なん</sup>／这种观点在任何一本书上都写着。

5. 另外有些疑问词或词组的“～も～ない”形式并不表示全面否定。而是对全面肯定的否定。试比较：いくらでもあります。<sup>なん</sup>／多少都有。いくらありません。<sup>なん</sup>／也没多少。

①自動車はいくらも走らないうちにこわれてしまった。<sup>なん</sup>／汽车还没跑上多少路程就坏了。②今日は何匹も釣れないようだな。<sup>なん</sup>／今天看样子钓不上来几条啦。

6. 构成“～ても（でも）”和“～でも（であっても）”句式，表示一种绝对性的条件。后项多为否定性的。

①いつ行っても彼は留守だった。<sup>なん</sup>／无论什么时候去他都不在家。②どう解釈してもその実質は変らない。<sup>なん</sup>／无论怎么解释法其实质都不会变。③どんなに遠くてもかまいません。<sup>なん</sup>／多远都不在乎。④どんなに好きでも、ただでもらうわけにはいかない。<sup>なん</sup>／无论多么喜爱也不能白要。

7. 作不需要弄清楚就可以传达事物的泛称代词。常有重叠形式。“なにになにする”中的疑问词就是这种用法。

①1キロいくらで売ります。<sup>なん</sup>／论公斤卖。（按一公斤多少钱来卖）。②いつどことは決めません。<sup>なん</sup>／不定出时间和地点。③いつどこで誰々が見たというような証拠はまだない。<sup>なん</sup>／还没有究竟何时何地何人看见的证据。④だれそれとどこそこへ行ったとはっきり言え。<sup>なん</sup>／请清楚，到底和谁去哪儿了。

8. 以重叠形式表示强调、复数、列举等意义。

①いついつまでもお元気で。<sup>なん</sup>／祝你永远健康。②欠席したのは誰々

ですか。／缺席的都是谁？③取っていったのは何々と残らず言え。／拿走些什么都一五一十地说出来。

### 9. 转成感叹词和副词。

①何，だまるもんか。／怎么能忍受得了？②どれ，見せてくれ。／快，给我看看。③どうぞ，お入り下さい。／请进。④なにも怒ることはないよ。／用不着生气的呀。

【诸说】金泽庄三郎称“疑問代名詞”，作为与人称代词、指示代词并列的代词。关于疑问词（不定称）在代词中的位置，主要有两种不同看法。汤泽幸吉郎、冈村和江把不定称看作与自称、对称、他称（冈村统称“定称”）相对立的一种代词，而桥本进吉、时枝诚记、山田孝雄均看作是他称中与近称、中称、远称（山田统称“定称”）相对立的一种代词。松下大三郎把属不定称的各类词称为“未定名詞”（何）、“未定動詞”（どんな）、“未定副詞”（何ぞ）、“未定副体詞”（いずれの）等。森重敏根据疑问词与句末的疑问形式相呼应的特点而将其看作“不定系の係副詞”，与“確定系の係副詞”（これ、それ、あれ）相对立。

### 疑問数詞 ギモンスウシ 疑问数词

数词的一种。表示不定或疑问，日语又称“不定数词”。如：何人、幾日、いくつ、何番目、いくら等。最常用的是“何～”形式。

疑问数词的独特之处是不具有数字形式，但是又和数字有内在联系。

用法上和“数量数詞、順序数詞”相同，只是某些词副词性较强。

①いくつありますか。／有几个。②※いくつありますか。

所有疑问词都是构成疑问句的主要手段。

①いくらかかりますか。／需要多少钱？②何冊買いましたか。／买了几本？

还可以构成不定数词和表示多数的数词。如：何人か、いくつか、何番目か、幾日か、何人も、いくつも、いくらも。

①小さいものがいくつもある。／有几个小的。②小さいものがいくつもある。／有许多小的。

### 疑問表現 ギモンヒョウゲン 疑问表达法

【性质】为获得或弄清未知的或不确实的知识内容而向对方或自己提出

问题的表达法叫作疑问表达法。有询问（質問）和自问（疑問）两大类。询问有特定的对象，因而构成问答过程，如，问：できますか／会吗？答：はい，できます／是的，会。自问没有对象，因而只有问，答话是在内心进行的或无需回答。如：これは僕のじゃないか。／这不是我的吗？

另外，还有一种疑问（询问的一种特殊情况）只要求对方明确问题，称“反问”（反問）。例如：何だって（或：何だと）／你说什么？できないって？／你说不会吗？

自问以外的所有疑问句口语中都用升调。

无论何种疑问都是为获得必要的知识而提出的一种要求，因此容易转化为与要求有关的其他表达法。

①早く起きないか。（命令）／还不快起来！②おや，こわれたのか。（发现）／哎呀，打啦！③そうですか。（应诺）／是吗。④じゃ，行ってみないか。（劝诱）／来，不去看一眼吗？⑤面白くない？（请求同意）／没意思吗？⑥そんな道理どこにあるか。（反诘）／哪有这种道理。

仅就单纯的询问表达法来说有如下形式，其余用法见各项。

#### 【形式】1. 独词句或不完整句。

1) 感叹词句。只反映疑问的陈述语气。

①ん？②ええ？③はて？（以上均用于感到惊奇、不解时）

2) 实义词构成的句子。反映较简单的客观内容。

①どこ？／哪里？②どこへ？／往哪儿（去）？③野口をむこうにまわして？／以野口为对立面？④ほんとう？／真的？

#### 2. 完整的疑问句。

1) 把叙述句句调由降调改为升调（会话）或加问号（文章），用来表示要求对方确认事实，语气亲切。

①四時には帰ってくる？／（最晚）四点钟回来？②買い物に行った？／买东西去了？③これを使ってもいい？／我可以用这个吗？

2) 在叙述句后添加疑问终助词，句调上升。常用的有：い、か、かい、かね、かな、かしら（女）、の、さ（男）、け、こと（女）、て、ね、やら等。性别、年龄、身分、语气等方面的细微差别见各项。

①食事はもう済みましたか。／吃过饭了吗？②これからどうするつ



もりだい。／今后打算怎么办？③頭でも痛いのかい。／是脑袋疼吗？④お会いになったことがあるかしら。／您是不是见过（他）？⑤君、いくつだっけ？／你几岁来着？⑥あそこに花あって？／那儿有花儿？⑦お宅では無事ですこと？／家中可好？

3) 句中使用疑问词。常用的有だれ、なに、どこ、いつ等名词，なぜ、どう、どうして等副词，由どの和どんな构成的词组等。如句末不用疑问终助词，则语气简慢。句末可用的终助词与2)完全相同。疑问词和终助词呼应的形式是最稳定的疑问形式（例③～⑤）。

①どこへ行く？／上哪儿去？②なぜこんなざまになったのだ。／干吗这样狼狈？③動いているものは何ですか。／在动的东西是什么？④何をしているの？／干什么呢？⑤どうすればいいやら。／怎么办才好啊？

4) 叙述句后续だろう、でしょう，或以疑问词和其呼应。这是一种口气委婉的疑问形式，后续か、かしら等终助词语气更加委婉。

①これはヘブライ語の本だろう。／这是希伯来语的书吧？②正夫さんも行くでしょうか。／正夫也去吗？③それはなぜだろうか。／那是为什么？

【用法】1. 特殊疑问句（説明要求の疑問文）要求作出说明、解释。即前述2的3）（但例⑤近于自言自语）等。说明和解释要针对疑问词。

①「会合はいつごろですか」「たぶん3時ごろでしょう」／“开会是几点？”“可能是三点左右吧。”

2. 是非疑问句（判定要求の疑問文）要求作出是或不是的判断。问句全部是询问的内容，答句用はい、いいえ，必要时作详细回答。下例中的（ ）内即是。

①「歌舞伎を見たことがありますか」「はい、（見たことがあります）」／“看过歌舞伎吗？”“看过。”②「この荷物は重いですか」「いいえ、（それほど重くはありません）」／“这件行李沉吗？”“不，（不怎么沉）。”

△如果是非疑问句的形式是否定形，肯定时要用いいえ，否定时要用はい。例：

行きませんの。／いいえ，行きます。

はい、行きません。

但ではないか（确定性疑问句）则相反。

例：雨じゃない？／いいえ、雨ではありません。

うん、雨だ。

3. 选择疑问句（選択要求の疑問文）要对方作出选择，当然也可能作否定回答，这时要另造他句（例③、3'）。日语的选择疑问句没有特定由的形式，通常由两个或更多的疑问句通过接续词或零形式联结而成。有关项的并列形式构成的单句也可以构成选择疑问句（例②、④）。

①「お子さんは男の子？女の子？」「男（或：女）の子です。」／您的小孩儿是男孩还是女孩儿？”“是男（女）孩儿。”②「やるかやらないか。」「はい、します。（或：いいえ、しません。）」／“干不干？”“干。（不，不干。）”③「紅茶にしますか，それともコーヒーにしますか」「どちらでもいいです」／“你要红茶还是要咖啡？”“都可以。”3'「いいえ，ジュースにします」／“不，要果汁。”④「AチームとBチームとでは，どちらが強いですか。」「AチームもBチームも強くありません。」／“A队和B队哪个强？”“两队都不强。”

4. 自问自答的疑问句要用表示推量或不确实内容的终助词表示。句调下降。

①お母さんはいつ帰ってくるのだろう（か）。／妈妈什么时候回来呢？②相手が気がついていいるかどうか。／对方是否觉察到了？③今からでも間に合うかな（あ）。／现在开始也不晚？④誰だろう，花子さんかしら。／谁呢，莫非是花子？

以上四种方式要根据自己的了解程度选择使用。对情况毫不了解时用1，有所了解但不确切时用3，有一定了解时用2。试比较：

①会合はいつごろですか。②会合は明日ですか，明後日ですか。③会合は明日ですか。

#### 疑問文 ギモンブン 疑问句

根据句子性质划分的句子种类之一。桥本认为疑问句“表示疑问和反问”。实际上疑问句可表示疑问、反问、疑念、劝诱等种种意思。

【构成】疑问句可通过在句中使用疑问词（例①）、添加句末的疑问终助词

(②)、用全升调(③)或兼用以上二个或三个因素(①、②及④)来构成。

①出発はいつです? / 什么时候出发。②出発したか。 / 出发了吗?  
③一人で行く? / 一个人去?④いつ出発するか。 / 什么时候出发?

【种类及用法】1. 作为特殊疑问句。要求对方就疑问词回答特定的问题。

①「どれが君のノートですか。」「あれが私のノートです。」 / “哪个是你的笔记本?” “那个是我的笔记本。” ②「ゆうべ帰ってきたのは、いつごろだったの?」「10時ごろだったと思います。」 / “昨晚回来是什么时候?” “我想是10点左右。”

2. 表示反问。目的是加强肯定或否定的语气。

1) 1的形式改用全降调就成反问句。实际意义和句子表面内容完全相反。否定语气更强。

①どれが君のノートですか。 / 哪个是你的笔记本?(哪个也不是!)  
②だれがそんな考え方をするか。 / 谁有那种想法啊?(谁也不那么想。)

2) ~ないか也是常用形式(含~ではないか)。加强肯定语气。

①これでも高くないか。 / 这还不贵吗?②正しいではないか。 / 难道不对吗?

3) 其他。以~ことか、~ものか、~(よ)うか等, 加强否定语气。

①できるものか。 / 你哪能会?②そんなこと, あろうか。 / 哪有那种事儿?

3. 作为是非疑问句。要求对方做肯定或否定的回答。

①「君もこの本を見たことがありますか。」「はい, (〜ことが) あります。」或「いいえ, (〜ことが) ありません。」 / 你也看过这本书吗? ②「昨日, 会社に行きませんでしたか。」「はい, 行きませんでした。」或「いいえ, 行きました。」 / 昨天你没到公司去了吧?

4. 作为选择疑问句。要求对方从两个以上的问题中选择一个作答案。

①一体いいですか悪いですか。 / (这样做) 到底行不行? ②「バスではいいですか, それとも 電車ではいいですか。」「バスではいいで

す。」或：「電車ではやいです。」或「両方ともはやいです。」或「バスも電車もはやいです。」／“是坐公共汽车快还是坐电车快？”

5. 作为确认疑问句。要求对方对内容进行确认。有的用全降调则成为反问句（例②）。

①「今日は大変寒いですね。」「そうですね。」或「そう寒くありませんね。」／“今天很冷啊。”“是啊。”或“也不怎么冷”。②「前に走ってくるのは太郎ではありませんか。」「そう思えますね。」／“前面跑过来的不是太郎吗？”“好象是。”

6. 表示感叹、惊讶。

①中国はなんと美しい国だろうか。／中国是个多么美丽的国家呀！  
②「家なき子」という本を読んで、何度泣いたことか。／读《流浪儿》这本书，我哭了多少回呀！③そんなに生物<sup>いきもの</sup>をいじめるか。／竟然如此糟践动物！

7. 表示引诱、劝诱、警告。

①この所を教えてください。／给我讲讲这个地方好吗？②始めようか。／开始吧！③手をはなさないか。／你松不松手！

8. 设问，为引起对方关心而发问。

①どこが痛いかという、別にどこという所もない。／要说哪儿疼嘛，也说不出具体是哪儿。②民主とは何を意味するのか。これについて述べさせていただきます。／民主是什么意思呢？让我来谈一谈这个问题吧。

9. 表示发现。

①こりゃ君か，誰かと思ったら。／原来是你呀。我还以为是谁呢。

10. 表示怀疑、犹豫。

①何か面白い本はないかなあ。／有没有什么有趣的书呢？②これでいままでの会社をやめようか。／要不要就此辞掉工作至今的公司呢？

⇒文の種類、平叙文、疑問表現、反語表現

客語 キャクゴ 客语

指谓语动词所表示的动作、作用的对象，通常用格助词を表示。日语语法中也称目的语。一般看作是补充语或连用修饰语的一种。但不同的



语法学家对于客语的解释也各不相同。

大概语法中，客语不仅包括他动词的行为的直接对象，而且还包括自动词的间接对象。如下例中的～を、～に都是客语。

風は船を岸に寄せた。／风把船吹到岸边。

芳贺矢一将他动词的行为对象称作“客语”。其中动作的直接对象称作“第一客語”（相当于直接目的语），动作的接受对象（人或物）称作“第二客語”（相当于间接宾语）。

父が子供に本を一冊与えた。／父亲给了孩子一本书。

**逆接条件の表現** ギャクセツジョウケンノヒョウゲン 逆接条件  
表达法

【性质】导致相反结果的条件叫做逆接条件。表示逆接条件的表达法就是逆接条件表达法。日语的逆接条件的表达形式不仅和客观内容的偶然性、矛盾性有关，还和表达者的心理有密切的联系，因此其表示方法自然会多样化，各种形式带有不同的语感。大体可分成以下几种。

【种类和形式】1. 一般性的逆接条件。

1) 用が、けれども（二者无用法上的区别）表示。逆态性不强，其逆态性是由前后两项内容的逆态性决定的。

①展示会は来月開きますが（けれども），まだ準備がよく出来ていません。／展览会下月开幕，但是准备还没做好。②好きではありますが（けれども），上手ではありません。／喜欢是喜欢，可是不擅长。

2) 用接续词表示。其中が、けれども比其接续助词（见以上）用法逆态性要强，因此常用于文章。

①彼は中国人だ。が（けれども）日本語が日本人並みだ。／他是中国人。但是，日语和日本人一样。②私は新しい企業を計画している。でも資金不足で実行をためらっている。／我计划搞个新企业。不过，由于资金不足正考虑是否实行。③登山をすすめる。だけど（だが）一人ではだめだ。／我建议你登山。不过一个人可不行。④私は運動が好きだ。しかし，上手ではない。／我喜爱运动，但是水平不高。

3) 用ても表示前项条件不能约束后项内容的成立，口语中常用たって形式。接续同ても。下例均可用たって代替。

- ①近くても遅刻する人はいるものだ。／有的人即使很近也迟到。  
 ②ねむりたくてもねむってはいけない。／想睡也不能睡。  
 ③良平は会社へ行っても仕事が手につかなかった。／良平虽然到公司去了，却无心工作。

2. 与期待相反的逆态条件。用接续助词くせに、のに、にもかかわらず、ながら、ものを、ものの、からといって以及相应的接续词形式(如:そのくせに)表示。带有意外、不满、不服、无奈、反驳等语感。くせに还有轻视对方的语感。

- ①行くことは行くものの、帰りが心細い。／去是要去的，但我担心回来的时候。  
 ②大学も出たくせに人使いが非常識だ。／还是大学毕业呢，用人一窍不通。  
 ③それほど頼んでおいたのに作ってくれなかった。／我事先那么样地请求，却没给做。  
 ④月給があがったにもかかわらず、生活が楽にならない。／尽管工资提高了，生活仍没有改善。  
 ⑤日本に十年も住みながら日本語がへたくそだ。／在日本住了十年，日语却很差劲儿。

3. 全面否定的逆态条件。用と(も)、が表示，常和不定词连用。

- ①どうやろうと(も)，僕には無関係だ。／怎么干也和我无关。  
 ②何と言われようが，黙っていなさい。／不管别人怎么说，你要保持沉默。

4. 常识性的逆态条件。だって、とて、ところが、ところで等都表示按常理根据前项事实想象的结果与后项的实际不一致。かわりに有“抵销”的语感，わりに是从比例上说的。

- ①優等生になったとて何もいばることはないさ。／就算是成了优等生，也没什么可神气的嘛！  
 ②春先だってまだまだ朝晩は寒いです。／虽说是初春，一早一晚还是冷。  
 ③スピードが速いかわりに燃料の消耗が多すぎる。／速度快，但燃料消耗太多。  
 ④おじさんといえども，われと同じ年なりけり。(文言)／虽为叔父，与我同庚。  
 ⑤頭が悪いわりには，その地位は高い方だ。／照他笨脑袋，那地位算是高的了。

5. 出乎意料的逆态条件。用にしろ、にせよ、こそすれ等形式表示，均属惯用形式。

①事態は悪化こそすれ、收拾がつきそうもない。／情况日趋恶化，难以收拾。②法律が分らないにせよ，あまりにもひどすぎるのじゃないか。／就算是不懂法律吧，这难道不是太过分了吗？

6. 有些助词在特定的文脉中也表示逆接条件。

①平生おとなしい兄さんも怒り出しました。／平时很老实的哥哥也发起火来了。②クラスでトップの彼が落第とは！／班里头名的他竟留级了！③古くて新しい問題。／旧而新的问题。

【区别】1. ところで和ところが。ところで以将来事实为条件，后项中提出消极内容的判断（现在时）。ところが以既定事实为条件，后项反映意外的结果（过去时）。

①今から行ったところで間に合わないだろう。／即使现在去也来不及了吧。②叱られると思ったところが，かえって褒められた。／本以为会挨批评，反而受到表扬了。

2. のに和ても。のに表示既定条件，客观性强，带有“意外”的语气。ても多数为假定条件，主观性强，因此可后续命令、意志等形式。试比较：

①雨が降っても出かける。（假定）／即使下雨也出去。②雨が降るのに出かける。（既定）／尽管下雨还出去。

③雨が降っても出かけよう。（主观）／即使下雨也要出去。④※雨が降るのに出かけよう。

△ても表示既定条件时可用のに代替，产生“意外”的语感。试比较：

①雪は夜になってもやまなかった。／雪到了夜间仍没停。②雪は夜になったのにやまなかった。／雪到了夜间还没停。

3. のに和けれども（が）。都表示既定条件，但のに有出乎意料、不满的语感。

①もう来るはずなのに，まだ来ない。／明明该来了，却还不来。②もう来るはずだが，まだ来ない。／应该来了但是还不来。

のに表示客观事实的逆接条件，而けれども和が无此限制，在反映主观看法的句子中只能用けれども和が。

①疲れたが（けれども、※のに），うれしかったのです。／虽然累，却很愉快。

けれども和が只起以对照方式把前后两项加以连接的作用。のに是在前后两项的对照程度较高的情况下才成立的，一般的对照只能用けれども和が。

①日本に七カ月ぐらい居たが（けれども、※のに），もう一年もたったような気がする。／在日本呆了七个月左右，却觉得象是已经过了一年似的。

上例如把前部分改成“七カ月だけ居た”或“七カ月しか居なかった”就满足了用のに的条件。

吸着語 キュウチャクゴ 吸着語

【解释】佐久间鼎的术语。指其本身无实质意义，而承接前面的词语，使其取得某种词类性质的一类词。如の能使前面的词语体言化，ために能使前面的词语副词化等。吸着语起着类似英语中的关系代词的作用。

吸着语的确定有利于从词的语法功能划分词类，揭示这些词的造句功能，如同コソアト系列一样，使具有同种语法功能的词语系列化。

【种类】名词性的吸着语（名詞的な吸着語）即形式名词。如：の、ひと、もの、ぶん、ほう、こと、まま、よし（由）、むね（旨）、次第、ふう、ふり、ざま、とおり、ほど等。

形容性的吸着语（性状についての吸着語）即助动词。如：たい、ない、らしい、ような、そうな、みたいな。

副助词性的吸着语（副詞的および接読詞的な吸着語）。如：だけ、ばかり、ぐらい、かぎり、ほど、まで、など、なんか、ところが、ゆえ、とおり、まま、かわり、ため。それほど、これだけ、あれまで、それどころか、このとおり、このため、そのまま、そのかわり。

時間性的吸着语（時に関する吸着語）。如：とき、ところ、ころ、さい、おり、あいだ、とたん、あとから、拍子に、はずみに、ただに、ついでに、うちに、最中に、さなかに、のち、あと、あげく、すえ、うえで。

条件性的吸着语（条件、理由についての吸着語）。如：以上、上は、



かぎりは、からは、かわりに、わけ、せい。

ぎょ 〈接辞〉

过去用汉字“御”表示。

1. 敬语接头词。用于有关天皇的汉语词。例：御慶（也可用于民间）、御物、御製、御苑。

2. 敬语接尾辞。用法同1。例：崩御、出御。

共起 キョウキ 同现

指两个或更多的词在构成句子时能够或必须互相搭配的关系。可以用来说明词类或词的次类的搭配规律乃至词类划分等。如，“人が歩く”、“つるが歩く”都能成立，说明名词和动词有同现关系。而“人力車が歩く”不成立，说明“人力車”和“歩く”这两个词没有同现关系，即“歩く”这个动词只和名词中表示人、动物的词有同现关系。

在日语中，“共起”一词还用来表示两个或两个以上的句子以对等资格并列的关系，如“歌ったり、踊ったりして楽しんだ”一句中两个画线部分是同现关系。

強調の表現 キョウチョウノヒョウゲン 强调表达法

把客观的表达内容，根据说者的表达意图用种种形式突出出来的表达法。口语和书面语都有各种形式的强调方式。主要如下：

1. 利用倒装法。例①、②均为主谓倒置。被倒置成分为强调内容，如例①中的“私”，例②中的いらっしゃったのよ。

①反論したのは私だ。／反驳的是我。②いらっしゃったのよ，お母さんは。／来了，你母亲。

2. 双重否定形式。肯定内容用双重否定形式表示便产生强调。

①政治の不正には抗議せずにはいられない。／对于政治上的不廉正岂能不抗议。②低学年から基礎知識をしっかりと身に付けなければならない。／必须从低年级开始扎实地学好基础知识。

3. 用疑问、反语等形式，促使对方思考，以产生强调的效果。

①悪政を一掃しなくてもいいのでしょうか。／难道可以不扫除苛政吗？  
②われわれの環境を緑の世界に変えようではないか。／把我们的环境改变为绿色的世界吧！  
③暴力に訴えるものか。／岂能诉诸武力！

4. 复合助动词のだ(んだ)、ものだ(もんだ)等。

①そう言うからいけないんだ。／因为你这样说才不行呢。②言葉の勉強は若いうちにするものだ。／学习语言要趁年轻。

5. 同语或类语反复。

①ウンともスンとも言わない。／不哼不哈。②行っても行っても見渡すかぎり果のない平野がひらける。／无论走多远,放眼望去是一片无边无际的平原。③それは、いいことでもなければ、褒めたことでもない。／那既不是好事,也不是值得夸奖的事。

6. 利用促音、长音、拨音等特殊音。是口语中的常用形式。其中促音、拨音是选词上的问题,通常不能类推。

①ぶっつかる(←ぶつかる)。②私はそのためながーい間苦しんでいたよ。／我因此而痛苦了好长一段时间那。③だんまり屋(←だまり屋)。

7. 用夸张、比喻、递进(例③)等方式。

①水をうったように静かになった。／静得鸦雀无声。②泣きたいほど痛い。／疼得想哭。③これは誤り,否,罪悪である。／那是错误。不,是罪恶。

8. 逻辑重音(プロミネンス)是口语中最简便的强调方式。如下例还可以强调“この”(因此不是另一本)、“本を”(因此不是笔)或“あげるよ”(因此不是借)。

①あな<sup>・</sup>たに<sup>・</sup>こ<sup>・</sup>の<sup>・</sup>本<sup>・</sup>を<sup>・</sup>あ<sup>・</sup>げ<sup>・</sup>る<sup>・</sup>よ。／这本书给你。(不是给他)

9. 词汇手段。表示强调的副词、汉字词等在文体上有强调的意义。

①大<sup>・</sup>変<sup>・</sup>大<sup>・</sup>き<sup>・</sup>い。／非常大。②非常<sup>・</sup>に<sup>・</sup>長<sup>・</sup>い。／非常之长。③著<sup>・</sup>名<sup>・</sup>な<sup>・</sup>学<sup>・</sup>者<sup>・</sup>が<sup>・</sup>来<sup>・</sup>校<sup>・</sup>す<sup>・</sup>る。／有著名的学者要来校。

共通語 キョウツウゴ 共同语

共通语或称共同语,包括世界或地区范围内的国际共同语(如:英语、阿拉伯语、世界语)、全国共同语(如:东京语、中国北方话)、地方共同语(如:冲绳县首里方言)等不同的范围。日语中常说的共同语就是指日本全国共同语,即东京语。

日本由于历史和地理的原因,同时存在多种方言。随着集权社会的建

立和政治、经济、文化、交通中心的形成，某一种方言成为“中心”语言，如明治前的京都语和明治后的东京语。就现代日语来说，东京方言去掉其纯方言因素后取得了共同语资格。在现实生活中，人们往往在公共场合使用共同语，在私人交谈中和家庭生活中使用方言；在书面语言中使用共通语，在口头语言中使用方言。

作为共同语的东京语是以东京方言为母体产生的。它虽然是现实的自然语言，但也作了一些认为标准的取舍加工。如，并不把キヤシナイ（来ない）、ワカンナイ（分らない）等纯方言成分作为共同语的成分。但是这种努力还没有最后完成标准语的建立。

### 許容表現 キョウヒョウゲン 容许表达法

【性质】指允许他人做某事的表达方法，与禁止表达法相对。语气上比命令或禁止表达法和缓，无强制性。

容许表达法和愿望、请求、可能等表达法有密切联系，如，“使ってもよろしいです／您可使用”一句是允许，它可以和表示愿望或请求的句子（如：ちょっと貸していただきたいのですが。／想请您借给我一下。）构成对话形式。容许表达法后续“か”还可以表示请求或愿望。

【形式】1. 用言类后续てもいい、てもよろしい、てもかまわない、ても結構だ、てもさしつかえない等形式。

①すぐ退院してもいいよ。／可以马上出院啦。②もういらっしゃらなくてもよろしゅうございます。／您可以不必再来。③小数点以下は無視しても差支えない。／小数点以下可以从略。

2. 用“許す、許可する、できる”等动词表示。与“禁止する”等相对。

①成人のみの入場を許す。／只允许成人入场。②図書室は5時まで使うことができる。／图书室可以利用到5点。

3. 对要求可用“いい、かまわない、どうぞ”等表示允许。用“いけない、困る”等则表示不可、禁止。

①「外で遊んでもいい?」「いいわ。」（或：かまわない；いけない；困るね）／“我可以到外面玩儿吗?”“行。（没关系；不行；不行。）”

4. 用させてもらう、させていただく表示请求对方准许。

①わたしにも読ませていただきますしょう。／请你也让我读一读吧。

②先生、休ませてもらいます。／老师，给我假吧。

5. 容许的疑问形式一般借用请求、希望、可能等表达法的疑问形式。

①ちょっと見せて下さいませんか。／能不能给我看一会儿？②二日間休ませていただきたいのですが。／我能否请两天假？③この資料は拝借できますか。／这份资料能借阅吗？

きり 〈副助词〉

口语性强。常音便为っきり、ぎり、

【接续】1. 接体言后。

①貸してくれるのは今日きりだ。／出借今天是最后一天。②悪いのきり残っていない。／只剩下不好的了。

△それっきり、まるっきり已成一词。

2. 接动词、助动词（ら）れる、（さ）せる、た的连体形后。

①あの人は食うきりで働かない。／他光吃饭不干活。②叱られるきりで褒められたことは一度もない。／始终挨批评，一次也没受过表扬。

③離婚したきり、あとは独身でいる。／离婚之后，一直独身。

3. 接部分格助词后。

①日本は東京（へ）きり行ったことがない。／日本只去过东京。②パンダは中国でも四川省できり見られない。／熊猫在中国也只在四川省能见到。③インド洋へはマラッカ海峡からきり出られない。／到印度洋只能从马六甲海峡通过。

4. 接动词连用形后。

①私は殆ど病人の枕元に付きっきりでいた。／我曾几乎终日守候在病人的枕边。

△可后续格助词の、で、に、助动词だ等。

△可后续しか加强语义。

①これっきりしか残っていない。／只剩下这些了。

【用法】1. 表示有关事物的限度、限期、限量、结局等。



①夫婦きりの生活が始まった。／开始了只有夫妻二人的生活。②あと五日きりでもう締切りになる。／只剩最后五天就截止了。③月に二万円きりでは到底糊口さえ出来ない。／每月只二万元连糊口都很难。④学校は今日きりで冬休みに入る。／学校只剩今天一天就放寒假了。⑤失望しながらも、失望するきりになることはない。／尽管失望，却从不以失望而告终。⑥残りはあそこにあるきりだから、財布の口をしめなくちゃ。／剩余只有那块那点儿，得紧缩开支了。

2. 以～きり～ない形式表示对有限范围的强调。同しか。

①持ち合わせは三百円きりありません。／随身带的只有三百元。②こういう本は古本屋できり売っていない。／这种书只在旧书店有卖的。③芥川の小説は一冊きり読んだことがない。／芥川的小说只读过一本。

3. 以动词连用形加～たきりの形式表示前述动作行为完成后就终结了，应发生的预期事项没有发生。具有接续助词性质。

①電車で行ったきりで、見物は出来なかった。／只是乘电车去了，没能参观。②父は、私がこれこれだと説明すると、そうかと言ったきりだまってしまった。／我前前后后作了说明之后，爸爸说了声“是吗”，就再也不作声了。③おばあさんは寝たきりになっている。／奶奶卧床不起。④光田君はフィリッピンへ行って、そこから一度便りをよこしたきりになった。／光田君到菲律宾，从那儿来过一封信，（就再也没音讯了。）⑤太郎は一年前に家を出たきり、今だにゆくえが分らない。／太郎自一年前离家出走，至今下落不明。

【参考】来自动词“切る”的连用形。起初是接尾词，江戸后期得到发展，出现其他用法和ぎり、っきり形式。

きる（切る）　　〈接尾辞〉

五段活用。一般接继续动词连用形后，构成瞬间动词。

1. 构成复合词，前接词表示“きる”的方法。（所以，严格说此用法的きる不是接尾辞）

①搔っ切る。／砍断。②かみ切る／咬断。③ひき切る／拉断。

2. 接意志动词后，表示程度彻底或坚持到最后。

①まだ先生には成りきっていない。／还不是成熟的教师。②買い切

る／包。买光。③出しきる／全部拿出。

3. 表示果断的言行。是2的引申用法。

①あの人は何もはっきり言い切らない。／他什么事也不肯说死。②皆の反対をおし切って強行する。／不顾大家的反对强行实施。③思い切る／下决心。④本格的な段階に踏み切った。／进入了实质性阶段。

4. 接于无意志动词，表示程度达到了极限。此用法还可接于有程度含义的瞬间动词后。

①澄みきった川水／清澈见底的河水。②それは分かりきったことだ。／那是明摆着的事。③困り切っている。／毫无办法了。④冷え切る／极冷。⑤煮え切らない態度ではなく，真面目な態度でのぞむべきだ。／应该用认真的态度而不是暧昧的态度来对待。⑥決まりきった食事しか出さない。／只供应老一样的伙食。

**切れ続き** キレツヅキ 断续性

断续性包含两层含义：一、句子结构上的意义仍在继续，句子没有完结；二、意义不再继续，句子已经完结。如在“花が咲く”中，“咲く”是断，而在“花が咲き，鳥が歌う”和“花が咲く季節～”中，“咲く、咲き”仍继续。通俗地说，在句中为续，在句末为断。

任何语言的句子都有句中和句末，问题是，日语句子的最重要部分谓语句位于句末，之前的成分都一直朝着谓语关联下来，这样，日本人对句末的终止的感觉比较敏感，所以才形成断续性这一独特概念。

在桥本语法中，断续性得到充分发挥。首先，断续性是词类划分的依据之一。如，词本身能够具有断续性的是用言，上例中的“咲く”本身就能断能续，反之是体言。副用言则只能续，不能断；其次，断续性还被用来说明句子成分之间的关系，称“係り受け”。

**近向態** キンコウタイ 近向体

动作体的一种，指～てくる形式的一种用法。见该项。

**禁止表現** キンシヒョウゲン 禁止表达法

【性质】命令表达法之一，指要求对方不作某种行为，不处于某种状态的表达法，亦称“打消の命令”（否定的命令）。

禁止和命令表达法都要求对方作出某种反映，所以二者间无本质区

別，在内容和形式两方面都有互相转化现象。

①速く走るな。／不要快跑。②ゆっくり走れ。／慢点儿跑。③嘘を言うな。／不要撒谎。④嘘を言え。／敢撒谎！

但是，命令一般用于所命令的动作行为开始之前，而禁止常用于对方的该动作行为进行之中，因此禁止的语气比命令强烈，使用范围也比命令稍广一些。

①あわてるな。／别慌。②※あわてろ。③小事に拘泥するな。／不要拘泥于小事。④※小事に拘泥せよ。

表示禁止的句子场面依赖性较大，包括主语在内的成分都尽可能省略，多用简单句。

【形式】1. 动词或助动词终止形后续な、こと。语气强硬，但是尊敬形式（例⑤、⑥）也可以用于对上。另外，这些形式表示的是禁止或警告，～なよ形式有劝告的语气，～ない有轻蔑的语气。

①けんかをするな。／不要打架。②けんかをしないことよ。／不要打架啊。③そんな事でおこるなよ。／不要为那种事生气啦。④ふざけるない。／少开玩笑！⑤ご心配下さいますな。／不必担心。⑥あちらへはあまりおいでなさいますな。／您不要总到那里去。

2. てはいけない（ちゃいけない、てはいかん）、てはならない（てはならん）、てはだめだ、ものではない、のではない、ことではない等。这些形式和1相比，都多少有讲道理的倾向，所以禁止语气较轻。以上都有敬语形式～ません、～です，另外也可后续“よ”等减缓强硬的语气。

①この表を書きそこなってはいけない。／不要把这张表写坏了。②落第をしちゃいかん。／可不准不及格啊。③親友に嘘を言うものではない。／不该对好朋友撒谎。④油断してはだめよ。／可不要马虎啊。

△～てならない（いけない）形式表示评价，不表示禁止。

①痛くてならない。／疼得受不了。

3. 带否定意义的动词的命令形、终止形、连用形。连用形语气柔和。

やめる。／住手！或：停止！やめろ。／同上。よせ。／停下！よし

なさい。／同上。よしたら。／停一停吧。

4. 普通动词的否定形。语气粗俗，主要用于大人对儿童。

見ない。／别看。

5. 启事、文告之类文体的常用形式。

①展示品に手を触れるべからず。／不要手触展品。②道端での商売を禁ずる。／禁止路旁销售。③通行禁止／禁止通行。④天地無用／请勿倒置。⑤禁煙／禁止吸烟。

6. 动词未然形后续ないで、ないように、ないで下さい（ないで下さる）。这些形式语气比较缓和，接近请求表达法。

①人の邪魔をしないで。／不要妨碍别人。②窓を開けないように。／别开窗。③皆さん、本は見ないで下さい。／请大家不要看书。

7. 以上诸形式后续希望、否定、疑问、推量等形式，形式越复杂语气越柔和。

①行かないでほしい。／希望你别去。②やめて下さい。／请停止。③行かないで下さいませんか。／请你不要去好吗？④やめて下さいませんかでしょうか。／能请您停下来吗？

△禁止表达法中往往出现陈述副词，以加强禁止语气。

①決してあいつを許すな。／千万不能饶了他。②絶対に間違えてはいけません。／绝对不要弄错。

【注意】1. 禁止表达法和命令表达法一样，语气强烈、生硬，容易使人反感，不适合用于融洽的谈话中。因此，常用别的表达法来代用。

①犬に近付くな→犬に近付かないようにしてほしい（希望）。／希望不要靠近狗。②忘れるな→忘れないようにしましょう（劝诱）。／可不要忘了啊。③部屋の中をちらすな→部屋の中を散らしたりしないものだ（当然、义务）。／不要把房间里弄乱了。④騒ぐな→どうしてそんなに騒ぐんだ（疑问）。／干吗这么吵嚷？⑤力を落とすな→力を落とすことはないよ。（叙述）。／不要消沉。

2. 用全降调可表示强调。

近称 キンショウ 近称

【解释】第三人称的一种。表示近称的代词有：この方、これ、ここ、こ



ちら、こっち等，如再加上こう（副词）、この（连体词）、こんな（形容动词），就构成コソアド的こ系列。

近称表示在听者、说者的关系中距离说者较近的事物。这里的“近”不仅包括空间关系（例①），也包括心理上的远近亲疏（例②）。心理上的近称有时可包括听者在内（例②后一个汉译）。这时近称是把听、说者放在同一位置上而和远称对立的。

①こちらに席を移して下さい。／请把座位往这边挪一挪。②こちらにもいい分があるぞ。／我也有话说。咱们也有话说。

【用法】1. 场面用法。

1) 表示距离说者比听者更近或更有关联的事物、场所、时间、状态等。

①これは君の手帳ですか。／这是你的手册吗？②この辺でむごたらしい出来事が起ったそうです。／据说这里发生了一次悲惨的事件。③この学校は大きいですね。／这所学校真大呵。④こんな日には外出しない方がいい。／这样的日子还是不出门好。⑤この文をこう書きがえたらどう。／把这句改写成这样如何？

2) 听者和说者无距离可言时可使用。以上例子大都也可以这样理解。

2. 文脉用法。

1) 指代说者刚说（写）过的事、场所、时间、状态等。

①僕の友だちに山田というのがいるんですが、この男はなかなかの勉強家です。／我的朋友有一个叫山田的，他真是个用功的人。②たなばた，これは昔から人に知られてきた星の一つだ。／织女星，这是自古就为人所知的星体之一。③以上で用件を全部紹介いたしました。皆さんでこれについて相談していただきたいと思います。／以上我把情况全部介绍完了。请诸位就此进行商谈。④「……」と，その時山田さんはこんなことを言っていました。／“……”，这时山田说了这些话。⑤泳いでいるうちに足が立つ所まで来た。こうなればもうしめたものだ。／游着游着来到了脚能够着底儿的地方。这就没问题了。

2) 指代下面就要说（写）的，听（读）者不了解的事情、时空等。

常用于引语之前、故事开头或表示说者的希望、计划等。

①先生はこうおっしゃいました。「……」と。／老师是这样说的：“……”。②これは、私がおばあさんから聞いたおとぎ話です。昔……。／这是我从奶奶那儿听来的故事。很久以前……。③こんなふうにしたらどうだろう。宿題は今日じゅうに明日の分までやってしまうんだ。そしてあしたは一日じゅう遊ぶ。／这样办行不行？我们今天一天把明天的作业也做完。然后明天玩儿一天。

# く      く

## 句   く   句

语言单位、句子结构单位。各语法体系间用法不一。

1. 在山田语法中定义为：由于一次统觉作用（統覚作用）的活动而形成的语言单位。大体相当于子句（節）。并且认为，“句”是句子的单位，句子就是“句”的连用；“句”分为“喚体の句”和“述体の句”，后者相当于桥本语法的“節”。一个“句”构成的句子是简单句，两个以上“句”构成的称复合句。

2. 时枝语法中把词（独立词）和辞（附属词）的结合体称为“句”，也看作句子单位。时枝语法中的“句”相当于桥本语法中的句节。

梅の花が咲いた。  
<sub>△     △     △     △</sub>  
 词 辞 词 辞 词   辞

句   句   句

时枝认为“句”通过辞按套匣式结构（入子型構造）统一起来。

在桥本之前，神保格也称句节为“句”。

3. 短语。转换生成语法用语，指句法作用和某个词类的词相当 的词组或单个词，如“名詞句”（名词短语，noun phrase）。

4. 有人主张，考虑日语实际，以“節”对clause，以“句”对phrase，即以“句”表示相当于“節”而无主语者。

く活用    くカツヨウ    く活用

文言形容词的活用类别之一。按这一方式活用的形容词称为“く活用形容詞”。口语中终止形为“～しい”的形容词属于しく活用，这以外的就是く活用形容词。く活用形容词例：高し、長し、深し、古し、細長し、おもしろし。以“高し”为例，列活用表如下：

基本形	词 干	未 然	连 用	终 止	连 体	已然	命令
たかし	た か	く から	く（う） かり	し	き かる	けれ	かれ

以上活用形实质上是两套活用综合而成的，其中未然（く）、连用（く）、终止、连体、已然是较早产生的活用形，其余是连用形“く”和用言“あり”结合后约音形成的，如：たかかる←たかくある。奈良时代曾有过未然形“～け”（～けば、～けむ）和已然形“～け”（～けど）。

### くさる 〈接尾辞〉

五段活用。接动词、动词型助动词的连用形后。下例是～ていくさる的省略，所以也是接连用形后的。

①そんなところへ突立ってくさん（くさる之音便）な。さあこっちへ来い。／别在那块儿傻楞着，快到这边来！

【用法】1. 漫骂语。主要用于关西地区，相当于关东的やがる。

①バツ，馬鹿なことを言いくさる。／胡说八道！②いつまでもひとを使いくさる。／没完没了地指使人！③分家分家と言いくさって，皆から反対を呼んでいる。／瞎嚷嚷分家分家的，招来大家的反对。

2. 也能表示某现象达到极点。伴随着“厌恶”的语气。

①汚れくさった布団にうずくまっている。／蹲坐在脏得不成样子的被子里。②日光がチカチカ桜の青葉に降りそそいで，雀の子がジュクジュク啼きくさっていた。／阳光直泻在樱花树的嫩叶上，麻雀崽儿唧唧喳喳地叫成一片。

### くせに 〈接续助词〉

由名词くせ和格助词に构成。有些人仍看作接续助词性词组。

【接续】1. 名词＋の后。

①無知のくせに知ったかぶりをする。／本来无知，偏装懂。

2. 用言及助动词（ら）れる、（さ）せる、ない、た、たい等之后。

①知っているくせに猫をかぶっている。／本来知道却佯装不知。②吾がままな癖に，女房に頼りきっている。／他主观专断，却又事事依赖老婆。③金もないくせに何でも買いたがるとは。／连钱都没有，竟然什么都想买。④小学校を出たくせに，名前も書けないのか。／小学毕业连名字都写不了吗？



【意义】用于不拘束的会话中。正式谈话、文章一般不用。

1. 表示前后两个事项不相称，带有不满、责备、轻视等口气。

①歌が上手なくせに，人の前では口もきかない。／本来歌唱得很好，可是在人前连话都不说。②青二才のくせに，生意氣を言う。／小小毛孩子，偏说大话。③彼と合うくせに合わないと言いはる。／本来是和他约会，（她）却硬说不是。④才能もないくせに小説など書く奴の氣が知れないと思っている。／我真不知道明明没才却又写小说的人是怎么想的。⑤日本人は日本語の中に無数の英語を用いている癖に，存外イギリス文芸に親しんでいない。／日本人在日语中使用无数的英语，奇怪的是，偏偏不喜爱英国文学艺术。

2. くせに本身意义同1，但不说出或无需说出后项的不相称内容，而是直接转入评论、对应该做的事（相称的内容）的命令。所以，实际上くせに转成了表示原因的词语，可用から代替（但からは正面推论，无责备的口气）。

①どうせできもしないくせに（略“まだやっている”，以下类推）およしなさい。／横竖是不会，算了吧。②先生のくせに煙草を飲むな。／还当老师呢，别抽烟了。③何もかも知っているくせにさっさとぶちまけるのだ。／明明是一清二楚，你应该痛快儿地全部讲出来。

3. 置于句末作终助词，对不合理、不应该的现象等表示强烈不满、怨恨、责备等。

①ずいぶん意地悪ね。みんな知っているくせに。／你真坏。你什么都知道嘛。②なんや，豊さんは今まで順番を待っていたくせに。／怎么？阿丰你可是一直排号来着啊！

【参考】1. 与くせに相同的还有くせして。

①のっぽのくせしてからっきり力がない。／挺大的个子，一点儿劲儿也没有。②食べたいくせして渋かろうとなんて言っている。／心里想吃，偏说什么“涩吧？”

2. くせに和のに都表示逆接关系，但のに表示从前项来看后项是意外的、出乎意料的，只反映说者的认识。くせに表示对不相称的两项的矛盾关系的态度，有谴责的口气。

①若林君は三日に一度ぐらい出ているのに，梶岡は若いくせに，五日ぐらいに出ろというと，肩が悪いとか何とかいって出ない。／若林三天左右就来一趟。可是，梶冈年轻轻的，让他五天来一趟，却说肩膀子疼什么的，硬是不来。

另外，くせに只能连接一人称外的同一主语的两个事项，のに无这些限制。

①※雨が降っているくせに（→のに）太郎は出かけた。／尽管下着雨，太郎还是出去了。

くださる（下さる） 〈动词〉

特殊五段活用动词。命令形为ください，较旧的说法也用くだされ。连用形为くださり，但接ます时用くださいます形式。其余同五段动词。

表示授受关系的敬语动词之一。くれる的尊敬语。

1. 表示值得尊敬的人给自己（一方的人）以某物。

①先生は私に辞書を下さった。／老师给了我词典。②妹は非常に嬉しかった。お母さんがおいしい物を下さっただろう。／妹妹非常高兴。是母亲给她好吃的东西了吧。③六本下さい。／请给我六根。或：我买六根。

2. 构成补助动词てくださる和お（ご）～くださる形式，见该项。

屈折 クッセツ 屈折

【解释】具有特定语义的单词随语法意义的改变而产生的词形变化或者为接续其他词而产生的词形变化叫作屈折。俄语的名词变格、英语名词表示复数时的变化（加—s等）、英语动词表示过去时、完成时的变化等等属于前者。日语用言的活用兼有两种性质的屈折。终止形、连体形、连用形的中顿法及命令形的变化属于前一种屈折，未然、假定、推量、连用（包括音便形）形属于后者。

【屈折与粘着】二者的本质区别在于：屈折变化主要是指词作为整体在内部产生的变化，各个变化形式，看不出是哪部分加上哪部分而成。与此相反，粘着是指为表示各种语法意义（这一点与屈折同）而把助词、助动词一层层地粘附到独立词上而言。被粘附的词和各粘附成分界限分明。

例:

屈折: 1. 英语动词: sing/sang/sung。

2. 英语名词: man/men, child/children, sheep/sheep(零变化)。

3. 日语动词: ユク(行く)/ユク(连体)/ユキ/ユケ, ユカ(ない)/ユキ(ます)/ユケ(ば)/ユコ(う)。

粘着: 1. 日语名词: 机を=机+を, 机にまでも=机+に+まで+も。

2. 日语动词: 行っている=行っ+て+いる, 結婚させられませんでした=結婚さ+せる+られる+ます+ん(ぬ)+です+た。

汉语的词基本上无变化, 主要靠语序表示语法关系, 故称孤立语。同理, 英俄等大多数欧洲语言都是屈折语, 而日语等是粘着语。粘着语并不是毫不具备屈折语、孤立语特点。反之亦然。美洲还有一种较罕见的抱合语。

日语多数词类无屈折变化, 用言的活用虽有屈折变化, 也主要是由于接续造成的, 极端地说, 是为粘着而屈折, 可见粘着性是根深蒂固的。不过, 由于观点或编写目的(比如, 为了教欧洲人日语)的不同, 也可以把日语的粘着现象从屈折的角度来描写。这样, 比如“本を”就不是两个词, 而是“本”的宾格, “本が”是“本”的主格形式, 等等。铃木重幸的「日本語文法・形態論」即依此观点。

#### 屈折語 クッセツゴ 屈折语

德国的施莱赫尔(A. schleicher)按语言的形态特征划分的语言类型之一。某种语言的单词在句中的作用(语法关系)全部或主要是由词形变化来表示的, 那么这种语言就属于屈折语。屈折语的单词由词义部分和语法部分构成, 二者无法区分。语法部分在句中始终发生屈折变化, 如: I/me/my/, write/wrote/written, man/men。单词的这种性质, 称为屈折性。

俄语单词的屈折性很强, 是最典型的屈折语。英语本来是屈折语, 后来屈折性大为减弱, 现代英语中语序起主要的语法作用, 所以是名存实亡的屈折语。日语体言无屈折性, 用言的屈折性也是为“胶着”助动词的

需要而产生的，所以不视为屈折语。

单词的屈折性在不同语言中有不同的表现形式。如，班图语表现在接头辞，俄语、拉丁语表现在接尾辞，英语的有些词表现在词中的元音交替，德语同时表现在接头词和词中的元音交替上，如：trinken/trank/getrunken。

### 句読点 クトウテン 点号

主要包括逗号和句号，也有时包括隔点。有的书还把“補助符号”（见该项）和“句読点”一并称为“句読点”。

1. “句点”（句号）即“。”，又称“マル”等。横写竖写均用。罗马字文章用“.”。作用：

1) 用于句末。无论是正装句还是倒装句，完整句还是不完整句。

①それはいけない。／那不行。②いけない，それは。／那可不行。

③どうぞ，こちらへ。／请过来。

如无特殊需要，一般用句号代替问号和叹号。

①「どちらまで。」「東京に行きます。」／“你去哪儿？”“去东京。”

②大変だ。／不得了啦！

2) 在各种括号里仍用于句末。有很多作家省去靠近括号的那个句号。

①見上例①。②（本年三月卒業予定の者を含む。）／（包括预计今年三月分毕业生。）

3) 用于罗列以“こと、もの、とき、場合”等结尾的项目。

①入園者は，次の事がらを守って下さい。一、木の枝を折らないこと。二、……こと。／入园者要遵守下列事项：一、不折树枝。二、……。

△下列四种情况不用句号，属例外。

1) 题目、标语，简单词句的列举和引用。

①日米貿易 危機の兆し／《日美贸易出现危机信号》（读卖新闻）。

②「逃がした魚は大きい」という諺がある。／常言道：没钓上来的都是大鱼。

2) 只罗列事物名称时。

①左の事項を書いた申請書を提出して下さい。一、申請者の氏



名・住所 二、建築の目的 三、建築する場所／请提交 写明 左列事项的申请书：一、申请者的姓名、住址；二、建筑的目的；三、建筑的地点。

3) 引用完整的句子，但不用引号而用“と”时。

①過去数年間，貿易が日米關係を妨げる大問題だと言われてきた。／多年来，一直在说贸易是妨碍日美关系的大问题。

4) 贺年片、和歌、俳句等不用句号。

2. “読点”或“点”(逗号)即“，”。竖写时用“、”代替。逗号的作用中心作用是便于阅读，所以以成年人为对象的书籍特别是理论书籍用得较少。具体作用：

1) 用于主题之后。

①私の家は，駅から遠い町はずれにある。／我家在离车站很远的城郊。

主语或主题等处于第一层而无标记时要用逗号(例①)，处于第二层时可用(例②)也可不用(例③)。

①人間，自尊心が大事である。／人自尊心很重要。②地史は単位，億年の物語である。／地球历史是以亿年为单位的故事。③「たて」は原語「立て」であろう。／“たて”的原词是“立て”吧？

2) 用于句子中顿或语气停顿处。

①花が咲き，鳥が歌う。／花儿开，鸟儿唱。②その名をふたたび，見た時，私は，あの老先生の葡萄酒やけのした，丸い薔薇色の顔と，烟草のヤニで黄ばんだ，あごひげをはっきりと思い出した。／重新看到这个名字时，我清楚地回想起了那位老先生因葡萄酒而有光的，圆圆的、粉红色的脸和那被烟油薰黄了的胡须。

也用于外形上句子结束了而意思上没结束时。

①父も喜んだ，母も喜んだ。／爸爸也高兴，妈妈也高兴。

3) 用于罗列体言性词句。

①鳥が二，三羽飛んで行った。／两三只鸟飞走了。②前へ，後ろへ，右へ，左へ，自由自在に動く。／前后左右自由自在地活动。③植物の採集，風景の写生，郷土の研究が宿題です。／作业是采集植物、风景写生、乡土研究。④思ったこと，見たこと，聞いたこと，何でも文章の材

料になる。／想到的、看到的、听到的事情都能成为文章的素材。

罗列单个名词用隔点，见该处。

4) 用于罗列用言性词句。

①調査し，研究し，発表することにする。／准备调查研究并发表。

②社会的，歴史的考察／从社会和历史角度作的考察。③静かな，明るい朝でした。／那是个宁静、晴朗的早晨。

5) 用于表示限定，条件等的词句后。结合紧密的词组（なければならぬ、てもかまわない）例外。

①風が強いので，ぼくは窓をしめた。／因为风很大，我把窗关上了。

②ぼくは，雨が降れば，いかない。／我如果下雨就不去。

6) 用于隔着别的词语进行修饰或类似情况下。有消除歧义的作用。

①先生，この，芋に似た虫は何と言いますか。／老师，这只芋头似的虫子是什么虫子？②大きな，めがねをかけた男／一个魁梧的、带眼镜的人（而非“大眼镜”）。③一生けん命，走っていく子供のあとを追った。／在后面拼命追赶跑走的小孩儿（而非“拼命跑走的小孩”）。

7) 用于出现在句首的副词、接续词后。

①もしも，天氣がよければ……。／如果天气好的话……。②しかし，私は反対です。／但是我反对。

8) 用于感叹词、称呼、应答的词后。

①おお，寒い。／哎呀，真冷！②おうい，中村君。／喂，中村兄！

③はい，そうです。／是那样。

9) 用于倒装句中。

①なんだ，この様<sup>さま</sup>は。／干么这副模样。②出た，出た，月が。／出来了，月亮出来了。

10) 如果把对话、引语等括在括号内，下接“と”，而“と”又不和处理语言情报的“言う、答える”直接相连，则用于“と”后。

①「野球をしよう」と，兄は言った。／哥哥说：“我们玩棒球吧。”

②「おめでとう。」「おめでとう。」と，互いに言葉を交わしながら……。／“恭喜”、“恭喜”，大家一边这样互相寒暄着，一边……。

如“と”和动词相连则可省去逗号。如上例①可改成“兄は……と

言った”。

11) 如果不用可能把词的界限弄错时。

①晴れた夜，空を仰いで星をながめる。／在晴朗的夜晚，仰望天空遥望星斗（而非“～<sup>よぞら</sup>夜空～”）。②ここで，はきものをぬいで下さい。／请在此处脱鞋（而非“ここでは着物を～”）。

12) 用于插入语前后。

①日本は，戦前ではあるが，軍国主義であった。／日本战前曾是军国主义国家。②私は，あなたにこんな話をしてはいけないけど，運の悪い人間です。／也许不该对你说这样话，我是个不走运的人。

13) 客观描写声音的停顿。

①カン，カン，カンと，鍾が鳴った。／钟声咣咣咣地响。②ジャン，ケン，ポン／石头、剪子、布！

3. “なかくてん”（间隔号）即“・”。日语又称“<sup>ちゆうてん</sup>中点、中黒、黒丸、ぽつ”等作用：

1) 用于罗列名词时。有时可包括サ变词干等。

①自由主義・民主主義の理論に立って，国会・憲法・政治的自由を求めて政治運動を行った。福沢諭吉・板垣退助はその代表的な人。／根据自由主义、民主主义的理论，为寻求（创立）国会、（制定）宪法和政治自由而展开了政治运动。福泽谕吉、板垣退助是其代表人物。②データを分析・研究する。／对数据进行分析、研究。

2) 名称的缩写，竖写时用于日期和时间的不同单位之间。（横写时用ピリオド）

①N・H・K／日本广播协会。②㊦㊧㊨○・11・ㄥ／昭和40年2月8日。横写：昭和40.2.8。

3) 用于某些两个以上单词构成的外来语、外国地名，也用于外国人名。

①ワン・ハンド・シュート／单手投篮。②オイル・ショック／石油危机。③ニュー・ジールランド／新西兰。④アブラハム・リンカーン／阿伯拉罕·林肯。⑤ホ・チ・ミン／胡志明。

△大多数本来两个词构成的外来语并不用。

4) 用假名拼写外国话时用于单词间。

①ジス・イズ・ア・ブック／This is a book, 这是一本书。

5) 相当于一个名词的词组, 其中有些部分是对等关系或包容关系, 因而连起来写会误读时。

①香港・マカオ同胞／港澳同胞。②北京・中国国際書店／北京・中国国際书店。③マルクス・レーニン主義／马列主义。④フランス・アルジェリア関係／法(国)阿(尔及利亚)关系。⑤ミッテラン・フランス大統領／法国总统密特朗。

外国人名地名虽然通用“・”, 但按文部省的《表記の基準》, 地名用“-”, 人名用“=”, 后来又规定地名也用“=”。

6) 竖写时表示小数点(横写时用逗号)。

①10・四七／10, 47%。

句読法 クトウホウ 句读法

指为了在书面语言中明确句子各部分之间的断续性, 正确传达作者的意图而用各种符号切分句子的标写手段。

“句読法”虽然是书面语言的一种手段, 但它和声音语言有密切联系。比如, 句子的降调, 文字语言表现为句号, 句子内部的停顿表现为顿号或逗号, 等等。“句読法”和语音不一致处当然也很多, 比如长句中的逗号往往只与句子的语义结构有关, 而不一定和语音上的停顿相一致。“句読法”和文章的性质、对象也有关系, 这就是为什么初级读物中标点用得多的原因。

符号的具体用法、种类等参见“補助符号”、“句読点”、“くりかえし符号”项。

くらい(ぐらい) 〈副助词〉

【接续】上接。1. 接体言后。

①読書ぐらいはしてもらおう。／你要读点书啊。②これぐらいの厚さです。／有这么厚。

2. 接～の及の型的连体词后。

①あのくらい練習したら上達するだろう。／那么个练法, 会有长进的。②例のくらいなら大したことはない。／象往常那样, 就没什么大不



了的。③私のくらいは持っているだろう。／（你、他）带的有我的多吧？

3. 接用言及助动词（ら）れる、（さ）せる、たい、ない、た等前连体形。

①こんな成功，夢じゃないかと思うくらいだぜ。／如此成功，仿佛象梦境一般。②何もしない方がよいくらいだ。／简直不如不做。③実にあわれなくらい少ない。／实在少得可怜。④ころんだくらいで泣くやつがあるものか。／还有因为摔倒了就哭的？⑤泣きたいくらい痛かった。／疼得直想哭。

4. 接少数助词后。

①両親にぐらいは話しておくべきだ。／至少对父母应该事先说一下。②痛いだけくらい，がまんしろ。／只是疼，忍着点儿。

△でぐらい和ぐらいで、にぐらい和ぐらいに的意義各有细致差别。

①世界一周旅行の途中，バリ島ぐらいでゆっくりしたいものだ。（大体地点）／环球旅行的中途准备在巴厘岛或哪儿停歇一下。②世界一周旅行の途中，バリ島でぐらいゆっくりしたいものだ。（最低限）／环球旅行的中途准备至少在巴厘岛停歇一下。③試験のためぐらいに徹夜するな。（大体程度）／不要因为考试一类事儿开夜车。④試験のためにぐらい徹夜してみろ。（最低条件）／至少为了考试要开一开夜车。

有的句子因为内容上的原因，只能用一种结合形式。

5. 接少数数量副词后。

①少しぐらいは間違えてもよい。／搞错一点儿也不要紧。

6. 接引语后。

①「動物をいじめるな」ぐらいは覚えておくべきだ。／总该记住“不要糟践动物。”

后续。后续基本上与名词无异。有时仿形容词动词用～な形式（通常用）。

①それくらいな事で立腹するな。／别因那点事生气。

【意义】1. 表示大体的时间、数量、程度。

①十分ぐらいも待たせられました。／让我足足等了十来分钟。②この

魚は一匹にいくらくらいしますか。／这种鱼一条要多少钱?③髪を刈るのが非常に不精で、まず三月に一度くらいだ。／非常懶得剃头,差不多三个月才剃一回。④ハリー先生の英語の講義は半分ぐらいも聞きとれない。／哈里先生的英语课连一半儿也听不懂。

2. 表示比较比喻的基准, 用来说明某事物或动作状态的大致程度。

①玉子くらいの雹が落ちてきた。／下起鸡蛋大小的冰雹。②横田氏はどこかの会社の重役くらいに見えた。／横田先生看上去象 哪家公司董事什么的。③中年の女にも着られないくらい派手な着物だ。／这件衣服艳得连中年妇女都穿不出去。

△构成惯用形式～くらい～ない, 表示是这个方面程度最高的。

①僕は実際近ごろこのくらい愉快に読んだ本がなかった。／说实话, 我最近还没有哪本书读得这么愉快。②あなたぐらい冷酷な人はあいはしない。／再没有比你更冷酷的人了。③自分ぐらいいらい者はないつもりでいる。／自以为己最了不起。④外国で、ことばが通じないくらい不便なことはない。／在外国, 没有比语言不通更 不方便的。⑤相撲にも強い人が沢山いるが、双葉山ぐらいの人となるとそうざらにはいはいかもしれない。／相扑也不乏强手, 但象双叶山这样的人物恐怕不多见。

3. 表示极端的程度。有意外的语感。

①そんなことを言うくらいだから、何を仕出かすか分らない。／连那种话都说了, 真不知道会做出什么事来。②今年ごとく波瀾の重疊した年は、珍しかったくらいであろう。／象今年这样风云叠起的年份, 几乎是少见的吧?③日本語の「公害」というのは、一つの言葉で語呂もいいし、世界語にしようじゃないかという声も出たくらいだった。／日语的“公害”是一个(而不是两个)词, 又朗朗上口, 以至于有人主张应该作为世界语。

4. 表示最低限度或程度。常伴有例示、轻蔑、不屑一顾的消极口气。

①手紙ぐらいは読めるように、子供を勉強させている。／供孩子念书, 好能念个信什么的。②散歩ぐらいはさせた方が患者のためになる。／至少让患者散散步, 这样有好处。③反対するのは君ぐらいだろう。／反对的也就你这么(あいつ)一个吧? ④こんな場合どう挨拶すればいいか

ぐらいは分るはずです。／至少会明白，这种情况该如何寒暄。⑤彼の実生活と言えは，せいぜい海軍学校の教官の体験くらいである。／要说他的实际生活，至多不过是在海军学校当教官的体验。

5. 以～くらいなら的形式表示：

1) 与其选择前者，不如选择后者。主要作用是对前者的贬低。

①途中でやめるくらいなら，始めからやらない方がました。／与其半途而废，还不如起初就不搞。②夜間大学へ通うくらいなら通信大学でも学ぶべきではないか。／如果是去上夜大，索性念个函授大学多好。③つまらない映画を見るくらいなら，良い気持ちで寝よう。／何必看无聊的电影，还是舒舒服服睡觉吧。

2) 在前项的既定条件下，后项的结论是必然的。

①新聞が読めるくらいなら，こういう本を読む必要はない。／能读报，就不必读这种书了。②同じ女房を持つくらいなら，たまには喧嘩の一つ二つしなくっちゃ退屈で仕様がなからな。(夏目)／横竖是有老婆，不偶尔地吵个一回两回架，那也太乏味了。

【参考】1. 大约在近世以后由名词“位”转成，主要表示程度的比较。江戸时代体言后多接ぐらい，こ（そ、あ、ど）の後常接くらい，活用词后二者均可。现在活用词后多接くらい，其他相同，但不是绝对的。

2. 如程度较明显（包括故意弄含混的用法）要用ほど或ばかり，くらい表示模糊的大致程度。

くりかえし 重复

在一定的语言单位内把相同文字、词语、句子等反复使用两次以上的语言现象称作重复。主要有以下几种情况。

1. 词素重叠。如：山山、人人、家家、国国（以上表示个数全称）；つるつる、ひらひら、トントン（拟声拟态词）；ゆくゆく、かわるがわる（副词）；

2. 句子成分的重复。有强意、连续、让步等多种用法和功能。

①昔昔の大昔，この辺に鬼があったとき。／据说很久很久以前，这一带曾经有鬼啊。②待ちに待ったお正月が来た。／盼望已久的新年来到了。③日本人は日本人で自分なりの生き方をしている。／日本人有日

本人自己的生活方式。④値段の高いことは高いが、物はいい。／价钱高是高，但东西好。⑤雪を踏み踏み（踏みながら）庭を散歩した。／（一边）踏着雪在院中散步。

3. 修辞性的重复。包括反复提问（何故ですかどうしてですか）、诗歌中的重复（出た出た月が、まるいまるいまんまるい）、叫卖声（買った買った）等等。

くりかえし符号 ～フゴウ 叠字符号

亦称“叠字、反复符号、ゆすり<sup>がな</sup>仮名、踊り字”等。指为简便起见，当两个或更多相同文字或文字组合接连反复出现时，从第二个起用来代替该字或组合的符号。叠字符号来源于汉文，但后来也用来代替反复的假名。

据文部省1946年的“くりかえし符号の使い方〔おどり字法〕(案)”，只能使用“々”一种，但实际还有几种也流行。

1. “一つ点”即“ゝ”或“ゞ”。表示相同假名的重复。其中后者用于发生连浊时。例：あゝ、たゝみ、とゝのえる、ばゝ、じゝ。たゞ、かゞみ、さゞ波、つゞける。

浊音后的相同清音假名、外来语、词尾、复合词、非同一个词的情况下不能用。例：こづつみ、バナナ、書かない、そののち、……のことと。

2. “くの字点”即く或ぐ。用于两个以上假名组合（可夹用汉字）的重复，其中后者用于重复部分的第一个字母产生连浊时。只用于竖写。如“ますます”、“知らず知らず”的划线部分可用前者代替，“それぞれ”和“たかだか”的划线部分可用后者代替。

3. “同の字点”即“々”。用于汉字。横写竖写均可用。不分音训，也不分是否浊音化。例：人々、国々、正々堂々。

两个汉字的重复用两次。例：一語々々、不承々々。

临时复合造成的重复不能用。例：民主主義、大学学長、電電公社。

4. “二つ字点”即“ゝ”。用法同3，但主要表示汉字训读的重复。例：略ゝ（ほぼ）交ゝ（ともども）。

5. “ノノの点”即“〃”。主要用于表格中表示下同上。例：



日本語学習者 50人

中国語学習者 //

くる（来る） 〈动词〉

カ変活用。

1. 实义动词用法。

- ①今晚、お客さんが一人来る。(说者所在地) / 今晚要来一位客人。  
 ②課長さんはあなたの所に来たのね。(心理上的近处) / 原来科长到你这里来了?  
 ③電気が来た。(传到) / 来电了。  
 ④小包みが来た。(送到) / 包裹到了。  
 ⑤十月になっても雪が来ない。(出现) / 到了十月份仍不见雪。  
 ⑥それは不審から来る反目にすぎない。(产生) / 那只不过是出于怀疑造成的不和。

2. 构成补助动词用法。参见“てくる”项。

3. 形式动词用法。

1) 以～ずにくる、～ないでくる形式接于动词未然形后,表示说话当时一直保持着未进行前项动作的状态。

- ①ずっと自身の損得を考えずに来た人だ。 / 是个从未考虑过自己的得失的人。  
 ②人間は今までこの点について注意しないで来ている。 / 人类至今一直没有注意到这一点。

2) 以～とくる形式接于名词及省略用言的名词性词组(下例④)等之后,表示本来不利又碰巧出现某种更不利的状态。常和その上、それに、おまけに呼应。

- ①母が死ぬ、そこへもってきて父の病気ときた。 / 母亲去世,偏在这时父亲也得了病。  
 ②彼は無類の照れ屋と来ているから、見合いの時は、ただ黙っているだけだった。 / 他偏偏是个怕羞得要命的人,看对象时,只是闷着。  
 ③しかも両手に荷物ときているからたまらない。 / 再说,偏巧两手都拿着行李,真糟透了。  
 ④道は遠いし、それに大雨と来ているのでそれこそ往生した。 / 路途远,偏又下大雨,这一下把我难住了。

3) 以ときたら、とくると形式表示在可能有的多种人和物、场合中把某一者特别提示出来。

- ①彼はときたらいつもほらばかりふいている。 / 他么,总是吹牛。

②山中君は、字はよう書くが、計算ときてはだめだ／山中君字写得不错可一到计算就不行了。③あの教師とくると、本より外に何にも知らない。／若说那个教员，他除了书本什么都不懂。④あの男の説ときたら、今の大学はすべて解散すべきだ。／按他的说法，现在的大学都该解散。

4. 接于引语后，と表示引语，くる代替“いう”。

①開口一番，君はばかだと来た。／一开口就来个“你是个傻瓜”。

5. 和个别副词搭配，构成词组。

①ピンと来る。／豁然开朗。一点就破。②ピンと来ない。／点不破。没点破。

くわえて（加えて） 〈接续词〉

表示同类事态的追加，用于说明性的文章。多用于分句之间、句子之间，有时用于词之间。

①学業にすぐれ，加えて体格もよい。／学业优异，加之体格健壮。②四時をすぎたばかりというのに，黄昏時のように暗かった。加えて，濃い霧が，低く流れ始めていた。／明明刚过四点，天却暗得象黄昏时分似的。这还不算，浓雾低低地流动起来了。③才気煥発加えて美貌ときているからあこがれの的とならないこととてない。／才华横溢加之美貌，不能不成为众人追求的对象。

【参考】1. くわえて和そのうえ。行为的累加不能使用くわえて，要用しかも，そのうえ等。

①彼は傘を貸してくれた。その上（※くわえて）駅まで見送りに来てくれた。／他不但借给我雨伞，还到车站来送行。

2. 文言中有くわうるに，现仍可使用。

①遠い所に住んでいたし，加うるに，自分も借金だらけの身となっていたので，弟の助力は少しもしなかった。／住在远处，再加上自己也欠了一身的债，所以没给弟弟一点帮助。

3. それにくわえて与くわえて同意。

①それは筋の通った美文であり，それに加えて彼独特の<sup>ひょういつみ</sup>飄逸味が漂う文字である。／文字优美通顺，除此之外还散发着他独具的超然风格。②雨が降り出した。それにくわえて，風も吹き出した。／下起雨来了，

而且，风也刮了起来。

くん（君） 〈接尾辞〉

敬语接尾辞，表示敬称。

1. 在“父君、夫君”中表示对他人之父、夫的敬意。这是本来用法，现已废。

2. 男性之间用于同辈或对下辈，带有亲切的语感，并稍含敬意。这是现在的主要用法。近年来年轻女子之间也有使用，但不普遍。可接于姓名、姓、名之后，也偶尔用于职业名称后。

山田一雄君、山田君、一雄君、給仕君、運転手君、諸君。

教师称男生为～さん或～くん，女生为さん。

3. 用于议会议员的发言时，无上下长幼及性别之分。

田中君、中曾根君。

# け      け

## け 〈终助词〉

【接续】只接助动词た、だ和ダ型活用词终止形后，一般中间插入促音。

①そんなスターもいたっけ。／也有过这么个影星。②今日の会議は何時からだっけ。／今天的会议几点开始来着？

后续词有终助词か、よ、な（感叹）、ね（え）等，以及接续助词が。

①中学の時はこの本をよく読んだっけねえ。／上中学时常读这本书，对吧？②心配だったっけが，被害がなくて安心しました。／很担心来着，没受灾就放心了。

【意义】1. 以回忆的语气表示对往事的确认、感叹等。

①腕白少年の頃，この川をよく泳いだっけ。／还是个淘孩子的时候，常在这条河里游泳咧！②去年の冬は雪国へスキーに行って本当に楽しかったけ。／去年冬天到雪乡去滑雪，当时真高兴啊。

2. 表示因未能实现而后悔的语气。

①さっき会社で調べてくればよかったっけ。／刚才来时在公司里查对一下就好了。②どこかに書いてあるはずだったっけが，忘れちゃった。／记得在一个地方写着来的，可忘脑后去了。

3. 用于向对方寻问或重新确认已忘记的或不清楚的事情。

①お嬢さんはいくつになったっけ。／我忘了，你女儿多大了？②あなたは何を勉強するんでしたっけ。／你是学什么来着？

△有时即使不是重新确认，也可以用这种形式使问话具有亲近感。上例①、②都可以作为这种用法。

【参考】由文言助动词けり（表示回想）转成，形成于江戸时代。只用于男性亲友间。

経験態 ケイケンタイ 经验体

静止性动作体之一。指～ている的一种用法和～てある形式。名称不



固定，参见“既然態”项。

### 経験の表現 ケイケンノヒョウゲン 经历表达法

对经历进行说明、回忆的表达法。

【形式】1. 动词连用形后加（た）ことがある表示单纯的经历。

①あなたは日本に行ったことがありますか。／你去过日本吗？②歌舞伎は一度も見ることがない。／歌舞伎一次也没看过。③彼は三度も負傷したことがあると聞いている。／听说他曾负伤达三次之多。

2. 连用形后续「（た）ものだ」表示过去的经常性经历，有感慨回忆的语气。

①若いときにはよく登山に行ったものだ。／年轻时（我）经常去登山。②学生のころ，物わかりが遅くて，四五日に一回ぐらいは学校に行かなかったものだ。／学生时懂事晚，四五天里就有一天不去上学。

3. 连用形后续たっけ，以怀念的心情回忆往事。

①子供のころは，君とよくけんかをしたっけ。／小时候，我经常和你打架来着。②そうそう，そんなことがあったっけ。／对对，是有过这样事。

### 敬語 ケイゴ 敬语

【性质】待遇表达法之一。指说者向对方或话题人物（如年长者、有地位或能力的人、施惠者等）表示敬意的特定的语言形式。敬语还可以使语言显得高雅、郑重，如教师对学生使用敬语就是这种情况。敬语还可以表示关系的疏远乃至轻蔑讽刺，如夫妻间通常不用敬语，而一旦感情不合时常使用敬语。

敬语的使用还受场面的制约。一般说来，既或是熟人之间，在公开场合也要用敬语，但在私人的日常生活中不一定用。如，职员对经理在工作关系上要用敬语，在游园时则可说“社長，行きませんか”。

【种类】通常分为1. 尊敬语、2. 谦让语、3. 郑重语。尊敬语对话题人物（有时包括对方）和有关事物、行为表示尊敬。如：先生、お宅、いらっしゃる、芳名；谦让语对自己（有时包括自己一方的人物）和有关事物、行为表示谦让语气，从而间接地尊重对方。如：私ども、お手紙、粗品、さしあげる；郑重语不管谈话对方和话题人物如何，只为保

持说者格调，或者仅仅出于习惯。如：お茶、ご飯、～ます、～です。

时枝诚记认为敬语的一部分与事物的存在形式有关，并用“詞”表示，称“詞の敬語”。另一部分与此无关，而直接对听话的对方表示尊敬并用ます、です等“辞”表示，称“辞の敬語”。这种敬语分类是时枝的语言过程说、辞词二分法的体现。辻村敏树的“素材敬语”和“对者敬语”也基本上相当于时枝的词的敬语和辞的敬语。

石板正藏按敬语的使用对象的人称来划分，也和通常的分法取得了一致。“敬語の他称”即尊敬语，“敬語の自称”即谦让语，“敬語の汎称”即郑重语。

宫地裕把敬语分为尊敬语、谦让语、美化语、郑重语（丁寧語）和对话敬语（丁寧語）五种。见各项。

【构成形式】敬语和词汇、语法、文体都有关系。如“おっしゃる”相对于“言う”是词汇问题，“おっしゃいます”相对于“おっしゃる”是文体问题，“お父さんがお話しになる”中的主谓搭配、谓语的构成是语法问题。

关于敬语是何种现象，看法不同。山田和石板认为敬语与人称有关，所以是语法现象。时枝认为敬语和非敬语（单词）是相对立的，所以是词汇现象。辻村认为从敬语的三个种类上看，首先是词汇现象，其他现象是词汇现象在句子和文章中的具体体现。

在词汇方面，敬语有如下结构形式：1. 特殊的敬语词汇。如：なさる、致す、先生、拙者。2. 在普通的词语前后添加敬语接辞。如：お宅、ご努力、父上、行きます、お医者さん、ご出張なさる。

敬语主要是等级制度造成的，后来也渗透到一般人中，成为礼节性语言。战后，由于民主化进程的加快，对敬语也作了整理，比如对皇室也可用一般的敬语了。

#### 敬語動詞 ケイゴドウシ 敬语动词

绝大部分动词都要按一定的格式加以变化才能表示敬谦，如：持つ→お持ちします（谦）、お持ちになる（敬）。有一小部分常用动词则本身就包含着敬谦的含义，不需要按格式加以变化就可以作为敬语使用，这样的动词就是敬语动词。

敬语动词都有相对应的非敬语动词，有一部分还构成非敬语、敬语、谦语、郑重语这样一个完整的体系。主要的敬语动词列表如下。

非敬语动词	敬 语 动 词	谦 语 动 词	郑重语动词
あ る	○	○	ございます
す る	なさる	いたす	いたす
言 う	おっしゃる	申す、申し上げる	申 す
居 る	いらっしゃる	○	○
行 く	いらっしゃる、 おいでになる	うかがう、まいる	まいる
来 る	同上。另：みえる	まいる	まいる
見 る	ご覧になる	拝見する	○
借りる	(お借りになる)	拝借する	○
思 う	(ご存じです)	存じる	○
聞 く	(お聞きになる)	伺 う	○
たずねる	(おたずねになる)	うけたまわる	○
やる、あげる	(おあげになる)	さしあげる	○
くれる	下さる	○	○
もらう	○	いただく	ちょうだい
たべる、のむ	上がる、めしあがる	いただく	ちょうだい

#### 敬語の用法 ケイゴノヨウハウ 敬语的用法

敬语的用法是一种极其复杂的问题，既要考虑谈话对方与自己的关系，又要考虑话题人物与自己的关系，以及话题人物与谈话对方的关系、话题人物是否在场等等。要用好敬语，最需要重视的是以下几个方面。

1. 不要把尊敬语和谦让语用混。一般说来，尊敬语用于对方或话

題人物，谦让语用于说者自己或自己一边的人。

①日本から※まいりました（→いらっしゃった、いらっしゃいました）お客さまに、まず歓迎の言葉を※おっしゃいます（→申しあげます）。／首先，为欢迎日本客人，让我说几句话。②新聞を※お読みして（→お読みになって）から，食事を※いたして（→なさって）ください。／请您读完报后用餐。

2. 在家庭内部、工作单位内部对长辈和上级通常用敬语，与外部人讲到内部的长上时要用谦让语或普通用语。

①社長さんはまだお帰りになりません。（单位内）／经理先生还没有回去。②社長はまだ帰れません。（对外部人）／经理还没回去。③お父さんがこうおっしゃいました（或：いいました）。（家庭内）／爸爸这样说的。④父がこう申しました（或：いいました）。（对别人）／爸爸这样说的。

3. 防止敬语过多（例①）、过度（例②）和重叠使用（例③），否则可能被理解为讽刺、嘲笑或给人冗长的感觉。

①※（御）住所，（お）名前，（お）年をお書きになって下さい。（应去掉括号中的词语）／请您写明住所、姓名、年龄。②隣の兄さんがこのように※教えさせられた（→教えられた）／是邻居家的哥哥这么教的。③朝日新聞はお読みになられますか（→お読みになりますか，読めますか）。／您读《朝日新闻》吗？

4. 使用敬语时要避免用露骨的词语向对方提出问题。

①先生，映画は見たくございませんか（→いかがですか）。／老师，您要不要看电影？②校長先生，新入生にごあいさつをお願いしたいのですができますか（→ご都合はいかがですか）。／校长先生，想请您给新生讲话，可以吗？

5. 不要乱加接头词“お”和“ご”。

①※お出かけますか（→お出かけですか、お出かけになりますか、出かけますか）。／您要出去吗？②※お願えますか（お願いできますか、願えますか）。／我可以请求吗？③※先生がご説明されました（→説明されました）。／老师作了解释。



总之，“お＋动词”、“お＋动词可能态”、“お＋动词未然形られる”的形式是不存在的。

6. 敬语形式的选用要根据具体情况灵活运用。如，当下级为年长者时，仍要用敬语。向外人谈及内部上级或自己长辈时，如果上级或长辈在场，仍要用敬语。在公开场合，无论是对上级还是下级，无论年龄如何都要用敬语，而在私下的亲密交谈中即或是对长上，视关系密切程度仍可不用敬语。对于儿童由于教养上的需要一般要用轻度敬语。女性一般用比男性高一级的敬语，～（ら）れる形式不适合于女性。夫妻之间可不用敬语。难以断定上下长幼关系时要用敬语。对于施惠者不分上下长幼一律要用敬语。

### 敬語法 ケイゴホウ 敬语法

指敬语所具有的规律性和系统性（的研究）。敬语法的研究还较落后，尚无完整的体系可循。一般说来，敬语法有以下几个方面的问题。

1. 敬语和人称有密切联系。山田孝雄认为谦称用于第一人称，敬语用于第二、三人称。

①私も参ります。／我也去。②先生はいらっしゃいませんか。／老师（您）不去吗？③外の先生もおいでになる。／别的老师也去。

石板正藏进一步认为谦让语是自称用语，但也可用于第二、三人称。

①お前から社長に申しあげた方がいいよ。／还是由你向经理说好。  
②母がうかがいます。／我母亲要去拜访。

石板还认为尊敬语用于自己以外的他人，郑重语与人称无关。

时枝试记否认人称和敬语的关系是敬语法问题。理由有二：1）谦称也用于二、三人称（如上例）。2）尊大表达、讽刺、滑稽表达中也可以使用敬语形式，这时不受人称限制。

2. 三个种类之间有一定对应关系，同时在句中也要按这种关系搭配使用。词的对应关系如：食う、食べる（通称）、めしあがる（敬称）、いただく（谦称）、食べます（郑重）。搭配使用的例子：

①家内がお会いする。／我妻子去拜会。②奥さんがお会いになります

す。／由太太见面。③奥さんにお会いします。／我拜见太太。④※家内にお会いする。⑤※奥さんがお会いする。

3. 敬语的构成有规律性。如“お连用形になる”、“お连用形です”等形式有广泛的适用能力。

4. 各种敬语形式的重叠有一定规律性，一般为：谦让语→尊敬语→郑重语。如：申しあげます（谦让、尊敬、郑重）、おっしゃいます（尊敬、郑重）、申します（谦让、郑重）。

郑重语（对话敬语）位于最后，谦让语和尊敬语有时可以换位。

①AがBに行っていたきなさる。／A请B前往。AがBにお行きになっていたき。／同上。

**形式形容詞** ケイシキケイヨウシ 形式形容词

山田孝雄的语法术语，只指“ごとし”一个词。相当于补助形容词。山田认为形式用言（形式形容词是其一种）是实质意义模糊、只表示陈述作用的一种用言。

时枝诚记认为山田说只注意有无实质性意义，等于为形容词分出小类。时枝认为“ごとし”一类词总是需要修饰成分才能使用，称为“不完全用言”。

**形式体言** ケイシキタイゲン 形式体言

山田孝雄的用语。他认为体言表示概念，把“人、鬼、草、語学”这样直接表示事物的具体概念的词称为“実質体言”，把“彼、私、三つ、二人”这样把具体概念进一步抽象化了的词称为形式体言，又细分为主观形式体言和客观形式体言，即代词和数词。可见，山田的形式体言和教学语法中把“こと、もの、の、はず”等称为“形式名詞”完全是两回事。

所谓“进一步抽象”是指：“彼”可以指任何一个男人，“三つ”可以指任何三个东西；“主观、客观”是指：代词的人称等是主观上的东西，而数词所表示的数字是客观存在的。

**形式動詞** ケイシキドウシ 形式动词

动词的一种。指失去原有的具体意义，作语法形式而用的动词。属形式用言。

①見もしない。／看也不看。②上ったり下ったりする。／上上下下。③物という物を全部点検した。／把所有东西都检查了。④数学となるとだめです。／数学可就不行了。⑤将棋ときたら～。／要说象棋么，～。⑥何をするにつけても，資金が要るものだ。／无论干什么，都需要资金。⑦安くさえあれば買う。／只要便宜就买。

形式动词的作用主要是起专门的语法作用。如例①中し使も在見ない之间得以插入；例②中する使两个并列成分构成一个动词。例③的いう帮助构成一种特殊的惯用形式；例④、⑤的なる、くる（き）构成提示性结构等等。这和补助动词主要表现前接动词的“体”很不相同。

【参考】山田孝雄说见“形式用言”项。松下大三郎把形式动词分成：

1. 助动词，如：みる、申す、あり、できる、する。
2. 接头形式动词，如：打って変わる，あいかわらず。
3. 寄生形式动词，如：すると、だけれども、だが、だから。时枝诚记虽不设形式用言，但也承认动词中有形式动词。

形式副詞 ケイシキフクシ 形式副词

1. 三宅的用语。参见“指示副詞”项。
2. 奥津敬一郎把能够构成副词性句节的副助词也称为形式副词。如：（おそろしい）ほど、（目立つ）くらい。

形式名詞 ケイシキメイシ 形式名词

【解释】指失去具体意义，只具有名词形式，因而需要在前面添加表示实质内容的修饰成分才能作句子成分的一类特殊名词。和实质名词（実質名詞）相对。

形式名词通常包括：こと、もの、の、ところ、とおり、ため、つもり、とたん、あいだ、ゆえ、うち、上、せい、ほう、しだい、まま、わけ、はず、かぎり、点<sup>てん</sup>、ころ、件、とき、おり、あげく等，通常用假名书写。

形式名词大部分是由实质名词转化来的，只有“の”是由助词转化来的。某些词兼有实质名词和形式名词两种性质。

①事のおこりは不注意からでした。（实质名词）／事件的发生是出于不慎。②洋行したことがありますか。（形式名词）／去过欧美吗？

【诸说】得名于松下大三郎，他把形式名词、“本名詞”（名词）、代词

并列为广义的名词的次类。他以前，山田孝雄也注意到了部分名词有词义笼统的特征。而后，佐久间鼎把形式名词称作“名詞的吸着語”，其中包括“くらい、だけ、ばかり、まで、の、ほど”等副助词。时枝诚记认为形式名词概念内容极其抽象，非常接近于接尾辞（如：げ、さ）。汤泽幸吉郎把“こと、もの、ところ、かた”等词称作“特別な名詞”，把位于其前的修饰部分称作“体言にかかる補語”。桥本进吉把“方、分、<sup>へん</sup>辺、<sup>むき</sup>向、内、箇所”等词也看作形式名词。金田一京助把“積、訳、所以、次第”以外的表示时间、空间关系的“内、上、下、前、後、左、右、間”等也看作形式名词，并命名为“關係名詞”。吉泽义则把形式名词命名为“不完全名詞”。

总之，形式名词在名词中占有重要的地位，几乎每个不同观点的学者都作过论述。但在所属范围上有不一致之处。一般都认为“だけ、ほど”之类应归入副助词，“内、おり、あいだ”之类应归入表示时间的实质名词，“上、下、前、後”等应归入表示方向的实质名词即方位词，“そのほか、そのゆえ”等归入接续词。至于“の”，有松下、时枝的形式名词说和桥本的准体助词说相对立，直至今日。本词典有时称准体助词，有时称形式名词，实质上没有什么不同。

【参考】安田喜代门把数词称为形式名词，相当于山田的形式体言。近来，有些语法书把形式名词称为形式体言。虽无不可，但二者本来是不同的概念，参见“形式体言”项。

#### 形式用言 ケイシキヨウゲン 形式用言

山田语法中的用言的次类。山田认为用言通常兼有陈述能力和叙述能力（属性观念），这就是实质用言。一部分用言失去了表示属性观念即客观内容的能力，只有陈述能力，这就是形式用言。山田的形式用言包括三种：1. 形式形容词（ごとし），2. 形式动词（す、する），3. 存在词（あり、包括缩合于形容词补助活用形及なり、たり中的あり、だ、である、です等）。

山田认为形式用言的特点是不能独立运用，必须和表示属性观念的词（称为“宾格”）结合起来才能构成句子成分。这样，山田的形式用言也包括通常称为补助用言的“あそばす、まします、申す”及形容词“な



し”。

时枝诚记的“形式動詞”和桥本进吉的“補助用言”都和山田的形式用言较相似，参见这两项。

敬称 ケイショウ 敬称

【解释】指为了表示敬意，在姓名或职称等称呼后添加的接尾辞，属于尊敬语的构成形式之一。如：山田さん、木村君、中曾根氏、インディラ嬢、課長殿。

有些名词也可以转用为敬称，如：清水先生、井上夫人、齐白石画伯、スミス伯爵。职称接于名词后也可作敬称用，如：加藤防衛長官、半田学長、金子社長。转用的敬称可单独用来表示其人，起类似于二人称或三人称的作用。接尾词“氏”也有独立用法。

服务行业等团体名称后也加敬称，如：経済学会理事会様。

敬称在日语中是极普遍的敬语现象，在日常生活和书面语言中都离不开它。在书信中敬称原则上一定要使用，在书面上，罗列姓名时也可以省去敬称，但要加说明“敬称略”。

敬称与其他敬语一样，产生于人们对于可敬人物回避直呼的委婉心理。“様”的原义是“样子”、“どの”的原义是“贵人的住处”，古代人用来间接表示其人，以示敬畏。后来由于大陆文化的进一步渗透，出现了大量的反映阶级、等级制度的敬称，如“殿下、閣下”等。

【种类】敬称的使用与人们的阶级、等级、职业等社会关系及年龄、性别等自然属性有密切的联系，因此可以从以下几方面进行分类。

1. 表示阶级和等级的有：“陛下”，可单独用于天皇和皇室成员的对称、他称。“殿下”，可单独用于天皇以外的皇室成员、外国君主及其家属的对称和他称。“閣下”，用于高级官员的对称、他称。日本国内已不用，但对外国大臣等仍使用。

2. 表示职务、职别的敬称有：“殿”，用于国家公务人员中的基层和团体负责人，常出现于公文和书信中，如“課長（編輯長……）殿”。可用“様”代替。“先生”，用于教师、学者、作家、医生、艺术家、编辑等。

3. 表示亲疏关系的有：“さん”，使用范围最广，除皇室、军内、家

庭内等上下关系严格的场合外均可使用。职称后一般不用（例外如“ボーイさん”）。“様”<sup>さま</sup>，用于郑重场合，如收信人姓名后、施惠者姓名后。“君”，主要用于男学生之间、国会议员之间等。“氏”，无性别差别，用于书面语言，使用范围是政界、财界、学术界、社会知名人士等，用于姓名后。

4. 表示性别年龄的有：“女史”，在书面或公众场合用于中年以上社会地位较高的妇女。“嬢”<sup>じょう</sup>，主要表示别人的女儿或年轻的女性。“翁”<sup>おう</sup>，用于男性老者，如“沙翁”<sup>しゃ</sup>（莎士比亚）。

5. 用于团体或复数人的有：“御中”<sup>おんちゆう</sup>，如“東京大学医学部御中”。“各位”，用于会议等，如“参加者各位”。

【参考】战后，敬称趋于简化。参见“これからの敬語”项。

#### 敬讓 ケイジョウ 敬让态

动词态的一种，亦称“敬相”。指与主语或宾语相对应的谓语形态变化或选择。主要有以下关系：

1. 主语决定谓语的敬、谦的选择，因此主语常不出现。例如“（先生が）いらっしゃる。／老师去。”、“（私が）まいる。／我去。”

2. 宾语、补语决定谓语的敬谦的选择。也因此宾语、补语常不出现。例如“（先生を）お待ちする。／等着老师。”、“（先生に）差しあげる。／送给老师。”、“（先生から）いただいた。／从老师那儿得到。”

不过，上述决定关系只是表面的，敬让态主要还是上下尊卑关系决定的。

#### 形状動詞 ケイジョウドウシ 形状动词

【性质】根据所表示的动作的时间性而划分的动词种类之一。由金田一春彦发现，称“第四種の動詞”，并纳入动词四分法。后有“特殊動詞”“形状動詞”等不同名称。

形状动词表示的内容是形容词性质的，它本身不表示这些属性的现实的存在状态，因此，在实际运用中总是以～ている（在定语中也可用～た）形式来表示形状和性质。这就是其最主要特征。

①才能が優れている。／有卓越的才能。②山が聳えている。／山耸立着。③かわいらしい顔をしている。／脸长得可爱。

原则上都是自动词，～をする整体相当于自动词。原则上都是非意志动词。

形状动词数目很少，主要有：（顔を）する、（紳士然と）する、似る、富む、聳える、ありふれる、曲る、尖る、にやける、優れる、才氣ばしる、ばかげる、才はじける。

【用法】1. 活用形的用法。

1) 作为实际用法，无终止形。

2) 连体形无实际用法。实际运用中取～ている 或～た（连体修饰语）形式。

①地下資源に富んでいるところ／富于地下资源的地产。②高く聳えた富士。／高耸的富士山。

3) 命令形亦无实际用法。

4) 亦无“お连用形だ”形式的用法：※お似だ。（可说：似ていらっしゃる）

2. 某些活用词组形成的用法。

1) 不能构成使役态（～させる）和被动态（～られる）。

2) 否定通常用～ていない形式。

①母に似ていない。／（长得）不象母亲。（※母に似ない）

有时也用～ない形式，但起一个形容词的作用。

①気持ちがすぐれない。／心绪不佳。

3) 通常不用～う、～よう、～ていよう形式。推测可用～ているだろう形式。

①変なかつこうをしているでしょう。／那副模样很怪吧？

4) ～ながら、～たい、～そうだ、～た（终止形）等形式一般都没有实际用法。

以上内容可概括为：形状动词通常以～ている 或～た形式起一个形容词的作用。作连体修饰语时用这两种均可（但“すぐれる、ばかげる”一般只能用～た），作句子的谓语时用～ている。

敬讓の助動詞 ケイジョウノジョドウシ 敬谦助动词

助动词的一种。指构成各种敬意语态动词的助动词。敬语助动词表示

说者对动作主的上下尊卑关系的评价。日语中敬语表达法相当发达。有如下种类。

1. 尊敬态助动词。表示尊敬，所属词有れる、られる，見另项。补助动词なさる、なる、あそばす、くださる等也起尊敬态助动词的作用。

2. 谦让补助动词。表示谦让，没有专用助动词，因此用补助动词表示。所属词有：申す、申しあげる、いたす、する。

3. 敬体助动词。所属词有ます、です、ございます。与被表达的人物的上下尊卑等身分无关，只表示说者的语言品格。见另项。

由此可见，敬语助动词主要包括尊敬态助动词和敬体助动词两大类。敬谦助动词是尊敬态助动词和敬体助动词的总称。

**敬相** ケイソウ

大概语法用法，“相”的一种。详见“相”项。

⇒敬讓

**継続態** ケイゾクタイ 继续体

活动性动作体之一，表示动作行为在一个时段内持续。是对于动作的动态描写，与进行体相对。由金田一春彦命名。意志动词用～つつける形式，非意志动词用～つつける或つつく均可。

①雨が降りつつける（降りつつく）。／不停地下着雨。②煙草を十本も吸いつづけられる人だ。／是个能连抽十根烟的人。

继续动词的继续体表示动作行为在一段时间里持续进行。

①やめないでやりつつけよ。／别作罢，接着做吧。

个别动词本身内含继续体。

①三時まで待っても来ない。／等到三点还不来。

瞬间动词的继续体表示复数主体的瞬间性动作反复发生或单个主体的行为连续发生。称反复继续体（反復継続態）。

①原爆の被害者は今になってもポツポツ出つつけている。／原子弹的受害者时至今日仍不时地出现。②満開の梅は少しも衰えず，三月の末まで咲きつづけた。／梅花盛开不谢，一直持续到三月末。

**継続動詞** ケイゾクドウシ 继续动词

【性质】根据动作的时间性划分的动词种类之一。松下大三郎、佐久间鼎、



服部四郎等都注意到这类动词的存在，金田一春彦把它纳入动词四分法。

继续动词表示概念性的、抽象意义的持续性动作，要使他表示具体动作的进行状态，必须后续～ている形式。

①たのしそうに歌っている。／很高兴地唱着。②だまっている作家。／沉默的作家。

继续动词的数目众多。表示自然现象的继续动词中自动词多（降る、吹く、晴れる），且都是非意志动词。表示人的动作行为的继续动词中自他都有（見る、笑う、しゃべる、読む、書く、押す、歩く、泳ぐ、働く、考える、勉強する、調査する、悲しむ），意志和非意志动词都有。

### 【用法】1. 活用形的用法。

1) 终止形表示将来的动作行为或现在的习惯性动作。

①僕がやる。／由我来做。②彼はきれいな字を書く。／他写字漂亮。

2) ～ている形式表示进行或结果态（例②）。

①今マルクスを研究している。／目前正在研究马克思（主义）。②何冊もの辞引を調べているが出てこない。／已经查了许多本词典了，还是没查到。

3) 连体形用法和终止形大体相同，但在文章语中，有时表示进行不必用～ている形。

①うぐいすの鳴く（鳴いている）声が聞える。／传来黄莺的叫声。

4) “お连用形だ”形式同时表示过去、现在、将来的动作行为。

①もうお読みですか。／您已经读过了吗？②今お読みですか。／现在正在读吗？③いつお読みですか。／您（将在）什么时候读？

注意，状态动词的这种形式不能用于过去。如：お子さんがおありですか。／您有小孩吗？（现在）明日ご用がおありですか。／明天您有事吗？※昨日何かご用がおありですか。（应为：昨日何かご用がおありでしたか。／昨天您有什么事情了吗？）

### 2. 某些活用词组形式的用法。

1) 除非意志动词的一部分外，比较自由地构成使役（～させる）和被动（～られる）形式。

2) 否定形式表示对过去或将来的否定，而不表示对现实的否定。

如：私はこの新聞を読まない。(同読んでいない) / 过去：我还没读这份报。将来：我(将)不读这份报。

3) 连用形后续ながら，主要表示伴随动作，有时表示逆接。

①食べながら話し合う。 / 边吃边谈。②自分では食べながら他人には食べさせない。 / 自己吃着却不让别人吃。

4) 除非意志动词外较自由地用～たい。

5) ～そうだ形式主要表示对未来事实的推测。

①泣きそうな顔 / 要哭似的表情。②雨が降りそうだ。 / 好象要下雨。

6) ～まい形式只表示对过去或将来事实的推测。参照第2)条。

7) 终止形加な形式表示对未来动作的禁止或对过去行为的申斥。

①誰にも言うな。(将来) / 不准和任何人说。②変なことを言うなよ。(过去) / 不要乱说嘛。

【参考】1. 主要是表示移动、穿戴的动词(行く、入る、出る、上る、下る、帰る、はめる、かける)兼有继续动词和瞬间动词两种性质。这类词继续用法的肯定形式(下例①)和瞬间用法的否定形式(②)是很相似的，但前者表示进行状态，后者表示动作结果未出现的状态。

①ここへ来ている。 / 正在往这边来(的途中)。②ここへ来ていない。 / 还没到这边。

如以上两句用纯粹的瞬间动词，则意义正相反。即例①为“已到这边”的意思。

2. 继续动词另有瞬间动词和状态动词用法。

①もう読んでいる。(瞬间) / 已经读过了。②あの人は、数学の本なら何でもよむ。(状态) / 他只要是数学书什么都读。

敬体 ケイタイ 敬体

句末形式即句体(文体)之一。亦称“丁寧体”(宫地裕)。指以“です、ます”或“であります、でございます”结句的句末敬语形式。与以“だ、である”结句的简体相对。又细分为“です、ます体”、“であります体”和“でございます体”。

“です、ます体”是日常生活中最常用的敬体，被作为“常体”来用，

用于彼此尊重、履行公务等一般情况下。也用于长上、初次见面的人、顾客等与说者存在心理距离的人、以及口语体书信、儿童读物等。

“です、ます体”出现于连体句节中，语气过于郑重，可以去掉。接续性副词性句节中情况亦相同。したがいまして→したがって、それにしましても→それにしても、やむをえませず→やむをえず。在条件性句节中，から、が、けれども之前较常用，但在と、ても、のに之前可以去掉。ので前原则上不用。

“でございます体”包含着程度很高的敬意，用的不好会失度，且词形较长，所以较少使用，只在极郑重的场合才用。此体包括“动词ます”形式。

“であります体”多用于讲演，课堂讲授之类的场合，稍带生硬的语感。此体也包括“动词ます”形式。

通常论文、法律条令之类不用敬体。

三种敬体在使用上应保持单一性和一贯性，不得混用。亦即，一篇文章不能有的地方用“です”，有的地方用“であります”，更不能和“する、だ”混用。当然，出于修辞上的需要，时见混用现象，这和不自觉的混用是两回事。

⇒です、ます、であります、でございます、丁寧語、常体。

形態 ケイタイ 形态

日语中常把form译成“形”或“形式”，将morph译成“形态”，但这几种译名经常混同，意义不固定。以较常用的“形态”一词为代表，可以有以下几种意义。

1. 形式、词形 (form, 形、形式、有时称“形态”)。

1) 指语言形式 (linguistic form, 言语形式)。指语言单位的外形即语音，与内涵语义相对。语言是音义统一体，没有意义的声音不能称为语言形式。当〔ʃito〕表示“人”这个意义时才能成为语言形式。〔hju:pi〕 (ヒューピ) 在日语里不表示任何意思，因而不是语言形式，当它表示特定意义时比如作为商标名，才成为语言形式。每个词都有形式和意义两个侧面，二者间的关系是恣意的 (参照“意味”项)。

2) 指语法形式或语法形态 (grammatical form, 文法形式、文法形態)。即词承担语法功能时的形态。比如, “月が出た”一句中, “月が”是“月”作主语时的形态, “出了”是“出る”过去时的语法形态。也有的学者只把语法功能词称为形态, 在日语中便是主要把助词助动词如上例のが、た称为语法形态。

2. 形素(morph, 日语一般只用“形態”。)系结构主义语言学中形态学的用语。为叙述方便, 首先明确一下形态学中的几个关联术语。这套术语之间的关系是音位学中几个术语间关系的套用, 故一并列出, 以资

参证。要注意日、汉译名的对应, 防止混乱。如汉语的“音素”和日语的<sup>yīnsù</sup>“音素”并不对应。

汉	日	英
形素	形態	morph
词素、语素	形態素	morpheme
词(语)素变体	異形態	allomorph
形态学	形態論	morphology
音素、音子	<sup>おん</sup> 音、单音	phone
音位	音素	phoneme
音位变体	異音	allophone
音位学	音素論	phonology

语素的定义是: 语法中有意义的最小的区别性单位。比如, 语音形式“ヒトニワルイ”(对不起别人)中的一部分“ヒト”, 它和“ソナヒトダ”、“ヒトノモノダ”等形式中的“ヒト”可以认定在语义上是相同的, 这时把这最小的部分“ヒト”称为语素。之所以说语素是最小的, 是因为从意义上不能再分割。“ヒト”再分割可以成为“ヒ”“ト”, 但这两部分各自并不负担“ヒト”的语义的一部分, 只是语音上的分割。即使“ヒ”和“ト”分别有“日”和“戸”的意义, 那也和“ヒト”无关。

“ヒトヒト”可以分为“ヒト”“ヒト”, 我们说这个词包含两个语素。语素是抽象的成分, 在不同的环境中可以体现为若干的不同的形素, 如“ヒト”在单独运用和合成词(ヒトヒト、カリユウト)中分别表现为



“ヒト”“ビト”“ウト”等等。这些不同的形素相对于“ヒト”这个语素称为语素变体。同理，“イッポン（一本）、ニホン（二本）、サンボン（三本）”中的“ホン、ポン、ボン”都是“ホン”这个语素的语素变体。形素中有一个是代表性的，一般把这个代表形素作为语素。那么，这个代表形素本身也是该语素的一个变体。按照形态学的观点，除上述情形外，体言表示不同的格的时候的不同形式（～が、～を……）都是该语素的不同变体，用言各活用形都是以终止形为准的语素的变体，等等。奈达（E·Nida）曾提出过确定语素的六条标准，见“形態素”项。

形态音位学或形态音素学或词素音位学或形素音位学(morphophology或morphophonemics,形態音素論或形態音韻論)是语言学中研究语素中的音位交替的学科，有人认为属于形态学，有人认为是横跨形态学和音位学的学科，语素有时包含若干的变体，这些变体又表现为音位的交替，如英语的复数后缀在音位上表现为/s/, /z/, /əz/,这几个形式可以看作一个语素的不同的语素变体。这几个变体究竟出现哪一个，是由上接名词的最后音位决定的，在形态音位学中，把这几个综合为一个形态音位(morphophoneme,形態音素)，表示为{-z}或/z/。形态音位是比音位更高一级的抽象概念。但对于不规则的交替——如英语的go和went——目前还没有理想的处理法。

**形態素** ケイタイソ 词素、语素

有意义的最小的语言单位。比如，在“ハルガキタ、アタタカイハル、コハル、ハルノウタ”等语言片断中，“ハル”是最小的语义区别单位，所以它是一个词素。词素是morpheme的译词。一个词素出现在不同环境时，可能有音形上的变化，如：アメ、アメフリ、アマガサ、其中“アメ、アマ”是一个词素“アメ”（以它作代表）的两个词素变体異形態。

从语言片断中抽取词素的方式主要如下：

1. 同一个音形总是和同一意义相联系，将其作为一个词素，例：寒さ、あたらしさ、行きたさ、正直さ。

2. 语义相同，音形虽然不同，但是形成一定的变化规律或互补分布，将其作为一个词素。例：しらほ（※しろほ）／しろくろ（※しらくろ）。用言类的各活用形都是一个词素即基本形的词素变体。

3. 语音形式相同而意义不同的，将各自作为独立的词素，如ハル（春）和ハル（張る）。但意义有关连的，仍看作一个词素，如“収める”和“修める”。这时存在一个界限问题，各辞典的处理亦有出入。

词素分为自由词素和非自由词素两种。参见“語構成”项。

【语法词素】有些人把专门起语法作用的部分，如词素 kaku（書く）的 kak 以外的部分，即 ~u 称为“形態素”，把具有词汇意义的另一部分 kak 称为“意義素”。这样一来，体言则只具有“意義素”。不过，铃木重幸把“花が”看作一个词，当然可分为“形態素”が和“意義素”ハナ两部分。

#### 形態範疇 ケイタイハンチュウ 形态范畴

形态范畴只在词的形态特征比较发达的语言如俄语、英语中有积极意义。如，英语 played 中的 -ed [d] 不是词，只作为动词的过去时形式的标志。-ed 存在于许多规则动词的过去式形式中，如：tried, gathered, married。这样，把 -ed [d] 归纳为一个形态上的共同范畴即形态范畴。实际上这个形态范畴相当于一种形态变体，把另外的变体 [-t]、[-id] 加在一起，便构成一个语法范畴，相当于词素（形態素）。

日语的情况则有所不同。日语中，上述语法范畴和形态范畴是完全一致的。如“遊んだ、ためした、集まった、結婚した”中的“た（だ）”一般不作过去时形态标志，而是作为一个独立词处理的，而词类是语法范畴。所以日语不必考虑形态范畴问题。

另一方面，日语用言的活用确实可以从形态范畴方面进行考察，但和欧洲语言的屈折毕竟有所不同（参见“屈折”项），所以也不是纯粹形态范畴问题。

#### 形態論 ケイタイロン 形态学

主要有两个意思：

1. 词法（accidence，日语主要用“品詞論”）。和句法相对，共同构成语法的两大部分。⇒品詞論。

2. 形态学。结构主义语言学的一个领域，由于语言性质上的区别，印欧语的语法中的形态学和日语中的词法相当。由于观点的不同，日本有

的学者也从形态学观点研究日语词法。形态学的基本思想参照“形態”项2。形态学可以是历时的，也可以是共时的。其中共时的形态学又特称词素学或语素学（morphemics，形態素論）。

### 形容詞 ケイヨウシ 形容词

【性质】词类之一，属于用言。终止形均为“～い”（高い）。表示事物的性质、状态。语法功能和动词一样，可直接作谓语，因而还区别于英语形容词，英语形容词作谓语时，需要be。因此大槻文彦称之为形容动词。无命令形和未然形，各活用形接续功能较弱，但连用形的副词法、词干用法很发达，这些都是与动词不同的用法特征。和形容动词只有形态上的不同，无意义上的不同。日语形容词数量很少，不足部分由形容动词、状态性动词等补充。但形容词或形容动词始终表示时间的静态属性，而动词表示与某种时间相关的动态属性。试比较：細い／細る、わかい／おいる、静かだ／静まる。这些动词～た形时也表示状态，但与动作的结果有关，因而仍与形容词有别。

【变迁】大野晋认为形容词词干本是独立运用的，语尾是后来加上去的。到奈良时代，形成了初步的活用体系：～け（未然）、～く（连用）、～し（终止）、～き（连体）、～け（已然）、～けれ（命令）。又为弥补后续性的弱点，出现了连用形～く和あり的结合形式，经约音出现了カリ活用（另项）体系。到平安时代，出现了イ音便（连体形。高き→高い）和ウ音便（连用形。たかく→たかう）。到中世纪，シク活用（另项）出现了终止形～し（美しし），连体形出现イ音便（美しい花）并取代了终止形，使终止形和连体形取得一致。至此，シク活用和ク活用的区别消失了。到近世后期，各活用形之间经取舍选择，形成完整的活用体系。

【诸说】古代曾称形容词为“状”（富士谷 成章）、“形状の詞”（鈴木朗）、“形状の言”（東条義門）。第一次使用“形容词”一词的是中金正衡（明治初），指用言、体言等各种连体成分。以现在的意义第一次使用“形容词”的是明治中期的张伯伦。后来，大槻文彦下定义为：形容事物的状态、性质、情态的动词，并分为シク活用和ク活用，奠定了现代形容词理论的基础。

### 形容詞式活用 ケイヨウシシキカツヨウ 形容词型活用

指按形容词的活用方式来进行的活用。按这种方式活用的,除全部形容词外,有形容词型助动词“ない、たい、らしい”。亦称“形容词型活用”。各活用形见有关各项。

**形容词の已然形** ケイヨウシノイゼンケイ 形容词的已然形  
文语形容词活用形之一。只有～(し) けれ一种形式。

1. 后续接续助词“ば”(假定条件)、“ど、ども”(逆态既定条件)。

①命長ければ恥多し。(谚语) / 命长则耻辱多。②ひそやかに悲しけれど笑顔を見せざるを得ず。 / 心里虽然悲哀,不得不作出笑脸。

2. 与系助词“こそ”呼应,构成“係り結び”结构,结束句子。

①野<sup>の</sup>分の朝こそをかしけれ。〔「徒然草」〕 / 秋风之晨,别有一番情趣。

**形容词のウ音便** ケイヨウシノウオンビン 形容词的ウ音便

【解释】当形容词和形容词型助动词连用形～く(～ku)后续ございます、ぞんじます的肯定形式时,辅音k脱落,成为～う(～u)。在这同时,“う”与其前一个音节的元音经约音成为オ段或ウ段长音。这种音便称为形容词的ウ音便。口语形容词只有这一种音便。列表如下:

词干末音	词 例	连 用 形	音 便 形		约音结果
			历史假名	现代假名	
ア 段	あかい	あかく	あかう	あこう	オ段长音
イ 段	うつくしい	うつくしく	うつくしう	うつくしゅう	ウ段拗长音
ウ 段	あつい	あつく	あつう	あつう	ウ段长音
エ 段	(无)				
オ 段	しろい	しろく	しろう	しろう	オ段长音

ア段词例: くさい、かたい、ちいさい、ながい、うまい、はやい、



からい。

△“～たい”的ウ音便也按上述规律：～たく→～たう→～とう（ございます）。如：お伺いしとうございます。／在下愿往请安。

イ段词例：したしい、よろしい、おおきい（→大きゅう）、かわい  
い（→かわゅう）等。～らしい（→らしゅう）。

△“いい”无音便，只能用“よい”说成“ようございます”。

ウ段词例：あやうい、きつい、うすい、かゆい、かるい、けぶい、  
さむい、にくい、ねむい、まずい。

オ段词例：あおい、いさぎよい、おそい、おもい、おもしろい、か  
しこい、くどい、すごい、とうとい。

【例外】ウ音便只发生在后续“ございます”和“ぞんじます”的情况下。但不适用于以下情况。

1. 后续否定形式时不音便。如：暑くございません。おめでたく存  
じません。

2. 中间插入“は、も”等时不音便。如：美しくもございま  
す。

【参考】1. 现代日语中“ございます、ぞんじます”这一敬语形式不  
常用，因此ウ音便主要出现在1）关西方言和2）共同语的一些习惯说  
法、寒暄语中。2）例：

①お早う（ございます）。／早上好。②ありがとう（ございます）。／  
谢谢。③新年おめでとう（ございます）。／新年好。④お暑うございます。/  
天好热啊。

这种音便逐渐退化，而代之以不音便的形式，如：なつかしく存じ  
ます。

2. 在关西方言和文言中，ウ音便不受后续词的限制。

①浅い川も深う渡れ（谚语）／慎之又慎。三思而后行。②網無うて  
淵をのぞくな。／没有金刚钻，莫揽瓷器活。

形容詞の活用 ケイヨウシノカツヨウ 形容词的活用

1. 口语。

活用类别只有一种，即形容词型活用。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
高い 新しい	たか あたらし	○	{ かっ く	い	い	けれ	○	かる

连用（かっ）推量两个形是连用形“～く”与“ある”（←あり）经约音而成的，如连用形：高かっ←高くあっ，推量形：高かる←高くある。如不设推量形かる，应归未然形。

## 2. 文语。

有く活用和しく活用两种。列表如下：

种类	基本形	词干	未然	连用	终止	连体	已然	命令
ク活用	高し	たか	く から	く かり	し	き かる	けれ	かれ
シク活用	新し	あたらし	しく しから	しく しかり	し	しき しかる	しけれ	しかれ

1) 形容词固有的活用形只有く、し、き、けれ。后由于补助活用（く＋あり）的发达，又有了から、かり、かる、かれ等活用形。

2) く活用和しく活用区别在于终止形。しく活用按理应为しし，却只有一个し。如不变部分し看作词干，等于词干作终止形用。く活用无此种不规则现象。

3) く活用词干有副词用法（高行く）和词素用法（長長しい），而しく活用无词干用法。

**形容词的假定形** ケイヨウシノカテイケイ 形容词的假定形

现代日语活用形之一，只有～けれ一种形式，而且只能后续接续助词“ば”来用。

1. 表示顺态条件。ければ口语中常音便为“けりゃ”。

①早ければ今日中に終わります。／弄得快的话今天就结束。②坊主憎

けりゃ袈裟まで憎い。(谚语) / 恨和尚以至于恨袈裟。

△口语中，形容词的顺态条件常用～と、～たら、～なら、～たなら形式表示。

①声が小さいと聞えないよ。 / 声音一小就听不见了呀。②重かったら、お持ちしましょう。 / 如果沉，我来为您拿。③十分ぐらい早かったなら、間に合ったかもしれない。 / 如果早十分钟，或许就赶上了。

2. 构成“～も～ば～も”句式表示并列。

①山も高ければ川も深い。 / 山也高，水也深。

形容詞の語幹 ケイヨウシノゴカン 形容词的词干

【解释】指形容词的不变化部分，如：たか—い、あたら—しい、毒々—しい。和动词不同，词干用法在形容词中比较普通，所以常单独作为问题提出。

形容词的词干用法很可能与其历史有关（见“形容詞”），这一观点比较有代表性的可数永野贤的“良（体言）い（助动词）”说。

【用法】1. 以单独或后续终助词“や”（有文言语气）的形式结束句子，常和前面的感叹词呼应。只限于感觉感情形容词。

①痛っ！ / 好疼！②熱っ！ / 好热！③うれし！ / 真高兴！④ええ，くやし。 / 唉，真窝心。⑤恋しや，<sup>ふるさと</sup>故郷。 / 怀念啊，故乡！（歌词）

2. 添加各种接尾辞，构成派生动词。有生产性的，如：新しがる、高すぎる。无生产性的，如：楽しむ、悲しむ、高める、深める、眠る、細る、古びる、悪びれる。

3. 和动词、形容词结合为复合动词、复合形容词。通常均无生产性。例：細長い、うす暗い、ずるがしこい、あまずっぱい、重苦しい、長長しい、弱弱しい、近寄る、若返る、遠ざかる、高鳴る。

4. 构成形容动词词干，充当后一部分。通常均无生产性。例：足早だ、身軽だ、気短かだ、欲深だ、性悪だ、手近だ。

5. 后续げだ、そうだ构成派生形容动词，后者通常看作助动词。例：眠げだ、なつかしげだ、うまそうだ、うれしそうだ。

6. 接于名词性成分之前或之后构成复合名词。例：近道、高山、浅瀬、早耳、悪者、うれし涙、長電話、たのもし人、まるテーブル、くや

し泣き、久しぶり、悪ふざけ、日長、夜寒、意地悪、生産高、ドルやす、目白。

7. 用于后续接尾辞さ、み构成派生名词。例：高さ、楽しさ、あたたかみ、高み。

8. 个别词干可用作名词。如“若をよんでこい／唤个年青的来”、“そうとう悪だね／真坏”中的“若、恶”之类，一般属特例，此外常用的如：赤、青、白、黑、黄色、丸、四角等，这些本来就是名词。

9. 构成“～の”式的连体词。例：赤の（他人）、長の（別れ）。

10. 重叠构成副词。通常无生产性。例：近々、軽々、早々、細々、広々。

### 形容詞の終止形 ケイヨウシノシュウシケイ 形容词的终止形

1. 口语形容词终止形只有「イ」一种形式。

1) 作谓语，并能后续よ、な、ね、さ、ぞ、ぜ、か、の、わ、こと、もの等终助词。

①今年は作柄がいい。／今年收成好。②言葉づかいが難しいね。／（这本书）用词真难懂。③うらやましいわ。／真羡慕。

2) 后续助动词らしい（推测）、そうだ（传闻）、だろう（でしょう。推量）、です（尊敬）等，作谓语。

①取締りが厳しいらしい。／好象管制很严格。②中華料理ならやっぱりおいしいでしょうね。／要是中国菜还是好吃吧？③ずいぶん寒いですね。／真够冷的。

△终止形后虽然能后续です，但不能后续だ。如：※寒いだ。过去式要用形容词本身的连用形后续“た”，如：寒かった，其敬语形式是“寒かったです”，不可说“寒いだった”。“寒いでした”是非规范说法。

3) 后续接续助词が、けれども、と、から、し（兼并列助词）、なら等。

①うれしいけれど、不安もなくはない。／尽管高兴，也有些不安。②やさしいから、皆にすかれる。／因为对人和蔼，受到大家喜欢。③ここで言いづらいなら、あとでもいいです。／如果在这难以出口，过后也可以。



2. 文语形容词的终止形，只有～し一种形式。有人认为另有～かり形式，用例极少。

1) 用于句子的终止，作谓语。可后续终助词“や”(感叹)。

①富貴の家災難多し。／富贵之家灾难多。②レーガン外交，政策ありやなしや。／里根外交有无政策？

2) 受并列助词“し”的牵引，作并列用。

①帯に短し，たすきに長し。／高不成低不就。

3) 作名词用。

①なつかしの祖国よ。／怀念的祖国啊！②春近しを思わせる穏やかなる天候／如同春天即将来临的和煦的天气。

△此用法转用为现代日语的名词或其构词成分，如：あかし、すし、おもし、一文なし、人でなし、意気地なし。

①挨拶なしで始めましょう。／不搞致辞直接开始吧。②此の上なしの気持ですね。／真是开心极了。

#### 形容詞の種類 ケイヨウシノシュルイ 形容词的种类

1. 按活用来分类。口语形容词的活用均相同。文言有“シク活用”和“ク活用”两种。实际上，若把シク活用的“シ”也看作词干，两种活用除终止形外都是相同的。

就“ク活用”和“シク活用”还存在意义上的差别。山田俊雄认为，ク活用形容词多表示性质状态，如：長し、高し；シク活用多表示情态，如：悲し、樂し。越是古代这种倾向越明显，如“美しい”现代义为状态，古代义为情态，同“愛らしい”。因此他认为シク活用中的“シ”是表示情态的词素。山口佳则认为不存在这种倾向，情态形容词的产生晚于性质形容词，而此时“シ（シイ）”已经成为构成形容词的词素，所以，新产生的シク活用形容词必然多数是情态形容词。少数同根词因形态不同意义特征也不同，如：近い／近しい、深い／深い。

2. 按句法功能分类。有主观性形容词（主観形容詞）和客观性形容词（客観形容詞）两类（据时枝诚记说）。前者表示人的感情感觉，作谓语时，除主语外还可有对象语。

①僕は本がほしい。／我要书。

后者表示客观事物（包括人）的各种客观属性，作谓语时只需要主语。

①山が高い。／山高。

有的词跨两类。

①トラはこわい。／老虎很可怕。（客观）②私はトラがこわい。／我害怕老虎（主观）。主观形容词现在多称“感觉感情形容词”。

3. 按构词特点分类。有单纯形容词、派生形容词、复合形容词。如：早い（单纯）、ま新しい（派生）、四角い（派生）、言いにくい（派生）、細長い（复合）。

常用来构成派生形容词的接尾辞：～ない、～くさい、～にくい、～づらい、～がたい、～っぱい、～らしい等，详见各项。此外还有一些无生产性的接尾辞，如：～がましい、～っこい、～はゆい（おもはゆい）、～たるい（あまたるい）、～ったい（くずぐったい）、～しい（福々しい）等。

**形容词の推量形** ケイヨウシノスイリョウケイ 形容词的推量形

只有口语有推量形，词尾为～かる。

【用法】后续助动词“う”表示推测。～かろう是文章语的常用形式，口语更常用“終止形だろう（でしょう）”形式。一般不能用于第一人称。

①あなたもうれしかろう。（→うれしいだろう）／你也高兴吧？②北海道はずいぶん寒かろう。（→寒いだろう）／北海道相当冷吧？③安かろう悪かろう。（谚语）／便宜没好货。

【参考】包括学校语法在内，多数语法书都把“～かる”归入未然形。二者意义、形式均不同，还是分立为好。动词的情况亦如此。

**形容词の未然形** ケイヨウシノミゼンケイ 形容词的未然形

1. 文语有“～（し）から”和“～（し）く”两种。

1) ～から。后续助词なむ（希望）、で、ば和助动词む、ず、しむ等。

①誰も彼も挙って美しからむと努めた。／人人都想更美丽。②朋有り遠方より来る，亦樂しからずや。／有朋自远方来，又亦乐乎。③敵の心胆を寒からしめる（“しむ”的现代语形）。／使敌人心胆寒。

2) ～く。后续接续助词“ば”表示假定。

①よくばお取り。／若合适请收下。

2. 口语一般不设未然形，而归于推量形，见该项。

**形容詞の命令形** ケイヨウシノメイレイケイ 形容词的命令形

文语有命令形，活用词尾为かれ、しかれ。口语无命令形。

1. 表示命令、要求、愿望。

①優勝者，驕る勿れ。／优胜者，莫骄傲。②家は狭かれ，心は広かれ。(谚语)／房子窄，心要宽。③このうるわしき天地に，父よ安かれ。／在这个美丽的土地上，父亲，安息吧。

2. 构成副词，一般是由成对的反义词命令形构成。现在常见的如：遅かれ早かれ／迟早。良かれ悪しかれ／好歹。多かれ少なかれ／多少。

**形容詞の連体形** ケイヨウシノレンタイケイ 形容词的连体形

1. 口语只有～い一种形式。

1) 作定语。

①いい人だ。／是好人。②頭のいい人だ。／是个头脑聪明的人。③美しく，頭のいい女性だ。／是位漂亮、聪明的女性。④ひもじい時にまずいものなし。(谚语)／饥不择食。

2) 后续有体言成分的助动词ようだ、のだ、ふうだ、ものだ等。

①顔色が悪いようですね。／你好象脸色不好。②寒いのですか。／是冷吗？③そんなに難しいもんか。／哪有那么难啊。

3) 后续接续助词ので、のに、副助词ばかり、だけ、くらい、ほど、まで、きり等。

①可笑しいのでプッと吹き出してしまった。／因为可笑，扑哧一声笑出声来了。②新しいほどいい。／越新越好。③気が短いだけが欠点だ。／缺点只是性子急。④あまいばかりでおいしくない。／只是甜，不可口。

4) 作体言用，可看作省略了形式体言。

①紐と命は長いがよい。(谚语)／绳子和命长的好。②ありがたいは山山ですが。／心里倒是充满感激之情。

△有时重叠或成对作体言用。

- ①憎い憎いは可愛<sup>かわい</sup>の裏。(谚语) / 嘴上恨心里爱。②梅の開花は、所により早い遅いの差が大きい / 梅花开花因地方不同 早晚 差 得 很 多。③値段の高い安いが問題でない。 / 价钱便不便宜倒不成问题。

2. 文語有～き・しき和～かる・しかる两种形式。

1) ～き・しき。

(1) 作连体修饰语。

- ①新しき酒は新しき革袋に盛れ。(谚语) / 新内容要有新方式。②氣候もよく地味もよき地方に住む。 / 居住在气候宜人土地肥沃的地方。

(2) 与系助词ぞ、なむ、か、や呼应，构成“係り結び”结构，结束句子。

- ①風ぞ強き。 / 风也，猛矣。

(3) 后续助动词なり（断定）、终助词か等。

- ①心持ますます悲しきなり。 / 心情愈加悲痛。②あるかなきか。 / 微乎其微。

(4) 作体言用。

- ①故<sup>ふる</sup>きを温<sup>たず</sup>ねて新しきを知る。 / 温故知新。②高きに登るには卑きよりす。(谚语) / 千里之行，始于足下。③老いも若きも笑顔でお客さんを迎えている。 / 不分老少都在以笑脸迎接客人。

2) ～かる・しかる。

(1) 后续助动词べし等。

- ①為す術無かるべし。 / 恐无计可施矣。

(2) 后续体言，作定语。

- ①もの憂かる音あり。 / 传来懒洋洋的声音。②世の中の多かる人疾病にて死す。 / 世人死于疾病者多矣。

(3) 和系助词ぞ、なむ呼应，构成“係り結び”结构，结束句子。只见于“多い”一词。

- ①涙に曇る折ぞ多かる。 / 多哉泪眼迷蒙之时。

形容詞の連用形 ケイヨウシノレンヨウケイ 形容词的连用形

1. 口語有～かつ和～く两种形式。

1) ～かつ，用于后续助词“たり”、助动词“た”。



①去年の冬は寒かったね。／去年冬天很冷啊。②色が赤かったり白かったりするのは何故だろう。／颜色时红时白是什么原因？

2) ～く。

(1)以单独或词组形式作连用修饰语，相当于副词。

①速く走る。／跑得快。②選手たちは足音も高く入場した。／运动员们步履铿锵有声地进入场地。③彼はひどく重々しく発言した。／他极其严肃地讲了话。④黒い海は高く低く波打っている。／黑色的海水上下翻滚着。

(2)表示后续用言（原则上是“思う、見える”类）的内容。

①そんなに難しく思えない。／看起来不那么难。②前に高く見えるのが阿蘇山です。／前面很高的那就是阿苏山。

(3)后续形式用言“ない（否定）、ある（肯定。由于接续上的需要）、なる（变化。自动性）、する（变化。他动性）”等。

①日本の夏はあまり暑くない。／日本的夏天不太热。②品が良くさえあれば（品さえ良ければ）買っておこう。／只要质量好就买吧。③何となく返事がうるさくなった。／不知怎么，不爱答话了。④二番目の文を短くしなさい。／请把第二个句子缩短。

(4)后续接续助词“て”等，表示并列、修饰、条件等。后续“たって”表示假定逆接条件。口语中常音便为“～くって、～くったって”。

①部屋が広くて明るい。／房间宽敞而明亮。②こんなに遅くては叱られるでしょう。／这么晚会挨训吧？③痛くったって仕方ないよ。／疼也没办法。

(5)用于句子的中顿或成分内部的中顿。

①品もよく、値段も安い。／物美价廉。②空は高く青い。／天空又高又蓝。③強く正しい人生を築き上げる。／谱写刚强正直的人生。

(6)个别词可作名词。如：遠く、近く、古く、多く、少なく。

①古くはこの近くに泉があった。／过去这附近曾有泉水。

(7)用于省略句，表示希望、命令。

①先生を始め皆さんによろしく。／代我向老师等各位问好。②お乗りの方はお速く。／各位乘客请快上车。

(8) “ウ” 音便, 见该项 (形容詞のウ音便)。

2. 文語有く・しく和かり、しかり 两类。く・しく有时音便为  
う、しう。

1) ~ (し) く。

(1) 作连用修饰语, 相当于副词。

① 善く泳ぐ者は溺る。(谚语) / 善泳者溺于水。② 名残惜しく思う。/  
恋恋不舍。③ 赤く大きく光る星あり。 / 有一星发耀眼之红光。

(2) 用于中止, 表示并列。

① 芸術は長く, 人生は短し。 / 艺术长久而人生短暂。② この子, 心  
もさとくかしこし。 / 这后生, 心也伶俐聪慧。③ 我は貧しくいやしき身  
なり。 / 吾乃贫贱之身。

(3) 后续补助用言あり、なし、す、なる等。

① 兄弟睦じくあらず。 / 兄弟不睦。② 命惜しくはなきか。 / 不惜生  
命吗? ③ 男女七歳にして席を同じうせず。 / 男女七岁不同席。

(4) 后续接续助词て、して、とも、构成副词性句节, 或表示并。列

① 山高くして, 水深し。 / 山高水深。② 彼は若くして出世したもの  
だね。 / 他年纪轻轻就出人头地了啊。③ 厄難多くとも, 恐るること勿  
れ。 / 纵有几多凶险, 亦不要畏缩。

2) ~ (し) かり。后续助动词き、けり、つ、ぬ 等。

① 愉しかりし年月が偲ばれる。 / 想往那愉快的岁月。② いよいよま  
すます悲しかりけり。 / 愈加悲痛。

**形容詞文** ケイヨウシブン 形容词句

指以形容词或形容动词为谓语的句子。

【基本句式】主語 + 謂語。根据谓语用词的不同, 还可区分为:

1. 心理形容词句。以心理形容(动)词为谓语, 通常除主语外还需  
要对象语(参见“感觉感情形容詞文”项)。

① 日本人はあっさりした料理が好きです。 / 日本人喜欢清淡的菜。

2. 总主句(参见“総主文”项。以动词为谓语除外)。

① 西洋人は目が青い。 / 西洋人蓝眼睛。

3. 属性形容词句。指以心理形容词以外的形容词和形容动词为谓语

的句子。

①あの山はとても高い。／那座山非常高。②AはBと同じである。／A和B相同。③サナトリウムは温泉に（から）近い。／结核病疗养所离温泉近。④この辺が都心よりは静かです。／这一带比市中心安静。

【结构】属性形容词句除主语外的狭意的修饰成分通常都不是句子结构上必需的，但有的形容词必须有体言性修饰语。数量通常不超过一个。如上例②、③、④。

形容词句的主语，上述1和2要用ハ表示，3则用ハ或用ガ有区别，用ハ表示一般性质，是笼统的说法，用ガ表示具体描写。

①雪は白い。／雪是白的。②雪が白い。／雪很白。

形容词句的谓语结构比较简单，只有后续样态、传闻、推量、过去助动词，无体、态等特征。

【意义】形容词句描写事物（主语）的性质、状态，谓语是主语或主题的属性，所以也称为描写句。不过这种描写也可以是间接的，如下面各例划线成分之间即无直接语义关联。

①あの店は安い。／那个商店（价格）便宜。②明日は学校が早い。（“学校”和“早い”的关系也是间接的）／明天要提前上学。

**形容動詞** ケイヨウドウシ 形容动词

【性质】词类之一，属于用言。在意义上表示事物的性质和状态，与形容词相同。语法功能上也和形容词大体相同，作谓语、定语、状语。形态上基本形为“～だ”。

①この花はきれいだ。／这花很好看。②この花はきれいな花だ。／这花是很好看的花。③この花はきれいに咲いていますね。／这花开得很好看啊。

形容动词的各活用词尾（だ、で、に、だ、な、なら、だろ）跨ダ、ナ两行。在文言中则按“アリ”的活用方式活用，所以，它具有形容词的意义和动词的活用方式，故名形容动词。

【区别】1. 与形容词的区别。在形态上有区别，其中主要表现在活用形的分配上。形容词连用形中顿法有“～く、～くて”两种形式，形容动词有

“～で”一种。

①泉がきよらかでつめたい。／泉水清而凉。②泉がつめたく（て）きよらかだ。／泉水凉而清。

形容动词有专有副词法形式“～に”，形容词副词法与中顿法共用“～く”形式。

①きれいに咲いた。／开得很美丽。②美しく咲いた。／同上。③この花はうつくしく芳しい。／这花美丽芬芳。

词干用法比形容词灵活。除二者相同用法外，形容动词词干可以任意后续：ながら、か、ね、らしい等。这主要是词干与“だ”结合不紧的原因。

二者间有一部分词同根，其中形容词更常用。あたたか（い、だ）、いじわる（い、だ）、きいろ（い、だ）、四角（い、だ）、こまか（い、だ）、まっくろ（い、だ）、やわらか（い、だ）、手荒（い、だ）、ひよわ（い、だ）。冢原铁雄认为形容词是对于属性的抽象化表达，形容动词是对于状态的判断。

2. 与动词的区别。大部分动词都表示动作、行为，有命令形，活用和接续能力很强。形容动词表示性质、状态，无命令形，接续能力很差，只能后续ある、ない等少量词。

3. 词干与名词的区别。形容动词词干不能做主语、宾语等。如：※静かがいい（要说：静なのがいい）、※静かを保つ（静かさを保つ）。

有的词兼有名词和形容动词词干两种性质。如：健康、安全、平和、元気、親切、自由、楽、<sup>らく</sup>幸せ、けち。例：子供が健康だ→健康な子供。

（形容动词）大切なのは健康だ→健康が大切だ。（名词）

作连体修饰语时，形容动词用连体形，名词用“～の”。例：安全な措置／安全的措施。安全の措置／对安全的措施。

【诸说】语法史上第一次使用“形容動詞”的是大槻文彦，指现在说的形容词，意在强调日语的形容词也直接作谓语（而英语的不能）。他把形容动词看成副词等与“あり”的结合。后来主要有三种不同的观点。

1. 合立说。芳贺矢一第一次把“形容動詞”用作现在这样的概



念，但他仍把形容动词当作形容词的特殊种类。指出，形容动词有“多かり、明らかなり、綽々たり”三个种类。山田孝雄只把～カリ型称为形容动词，归入形容词，把～ナリ型的词干归入名词，～タリ型的词干归入副词。松下大三郎把三个种类都称为形容词，但不作为独立词类，全部归入“静止性的動作動詞”。

2. 分立说。吉泽义则第一次从意义、功能方面阐明了形容动词与名词、形容词、动词的区别，将其独立为一种词类，分为カリ活用、ナリ活用、タリ活用三种。

桥本进吉支持此说，但又把カリ活用作为形容词的补助活用。这一作法通过学校语法得到了广泛公认。

3. 否定说。佐久间鼎不承认形容动词是独立的词类，与形容词合称“性状語”。并指出，正如桥本所说，形容动词的性质与形容词接近，而和动词不一致的地方却很多，在口语中尤其如此。他认为口语中的形容动词是为弥补形容词的不足而发达起来的，二者性质相同。他把“性状語”分为イク活用（赤い、赤く）、ナダ活用（好きな、好きだ）、变种（同じ）三种。

汤泽幸吉郎和铃木重幸把形容词称为第一形容词，称形容动词为第二形容词。

时枝诚记认为形容动词词干是独立词，其后的“だ”是助动词“だ”。认为词典条目只收其词干就说明了这种语言感觉。还指出，在“静かだ”和“静かです”中，既然“です”是助动词，那么“だ”也是。至于“健康が大切だ”、“子供が健康だ”中的“健康”何为名词、何为形容动词词干的问题只是语义问题。

渡边实把词干看作体言的次类，称作“状名言”。

水谷静夫也经过调查证明了形容动词词干比其他用言更接近于名词、副词。

**形容動詞式活用** ケイヨウドウシシキカツヨウ 形容动词型活用

日语用言活用类别之一，亦称“形容動詞<sup>がた</sup>型活用”。按这一方式活用的除全部形容动词外，还包括全部形容动词型助动词そうだ、ようだ、ふうだ、みたいだ、ものだ、のだ、だ。详细情况见各该项及“形容動

詞の活用”項。总之，形容动词型活用就是按形容动词的活用方式活用。另外，形容动词还有タルト型活用及几种文言活用方式（タリ、ナリ），口语中通常说的形容动词型活用不指这些。

**形容動詞の已然形** ケイヨウドウシノイゼンケイ 形容动词的已然形

只有文语形容动词有已然形，相当于口语的假定形。参见“タリ活用”和“ナリ活用”项。

**形容動詞の活用** ケイヨウドウシノカツヨウ 形容动词的活用

1. 口语形容动词只有一种活用种类ナ型。典型的形容动词具有连用、终止、连体、假定、推量五种活用形。无未然、命令形，学校语法中把推量形归于未然形。由文言ナリ活用和ニテアリ演化缩合而成。见下表。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
静かだ	しずか	○	だっ で に	だ	な	なら	○	だろ

但由于词源等方面的原因，许多形容动词缺少或另外有别种形式的某一活用形。柏谷嘉弘根据词干用法和活用形的完备程度，把形容动词分为若干次类。下面补充“～的”类，将形容动词活用次类表整理如下：

活用 种类	词干	词尾							词干用法	
		终止形	连用形			连体形	假定形	推量形	连体用法	副词用法
			连用	中顿	副词					
A类	静か	だ	だっ	で	に	な	なら	だろ	×	×
B类	精密	だ	だっ	で	に	な	なら	だろ	○	×
C类	無限	だ	だっ	で	に	な、の	なら	だろ	○	×

续表

活 用 种 类	词 干	词 尾							词干用法	
		终 止 形	连 用 形			连体形	假定形	推量形	连体 用法	副词 用法
			连用	中顿	副词					
D类	いろいろ	だ	だっ	で	に	な、の	なら	だろ	×	○
E类	特 別	だ	だっ	で	に	な、の	なら	だろ	○	○
F类	歴史的	だ	だっ	で	に	な	なら	だろ	○	×
G类	当 然	だ	だっ	で	(に)	な、の	なら	だろ	×	○
H类	神 秘	だ	だっ	で	(に)	な、の	なら	だろ	○	×
I类	同 じ	だ	だっ	で	(に)	(な)	なら	だろ	○	×
J类	こんな	だ	だっ	で	に	(な)	(なら)	だろ	○	×

F类的连体形可用词干代替，如：歴史的（な）事件。IJ两类的连体形只用于后续の、ので、のに、はず等极少数形式名词，后续实义名词时一律用词干，称特殊形容动词，见另项。GHI三类的连用形一般不用副词法。

如果把连体形和连用形副词法看作基本的活用形，那么GH IJ类不能算真正的形容动词。塚原铁雄把A B类看作基本形容动词，把CDE GH类看作“展開型形容動詞”，把IJ类看作“未熟型形容動詞”。

形容动词型助动词ようだ、ふうだ、そうだ、みたいだ以及派生形容动词～がちだ、～げだ的活用和A类相同。

上表没包括タルト型和敬语形容动词。见各项。另外，“大きな、ちいさな、おかしな”等也作谓语（目が小さな人），有人也看作形容动词的特殊种类。

关于连体形，有人主张把“の”也作为正式的连体形之一。理由是：  
1. 在如“社会的で政治的の色を帯びている。／帶有社会性的、政治性的色彩”之类用法里，“社会的”和“政治的”虽然造句作用不同，但

作为形容词的性质相同，所以可以改为“政治的で社会的の”，也可独立为“社会的で政治的だ”。显然の、だ、で都同样是词尾。2. 在“たばこ好きで有名のA氏”中“たばこ好きで”是状语，修饰“有名の”，显然“有名”是形容词，“の”是词尾。3. “の”不仅是汉字形容词的词尾，也可作固有形容词的词尾，如：病気がちの子供、子供好きの女。

【参考】“容易ならない”是文语“容易ならぬ”的今译用法，“無理からぬ”由“無理ならぬ”经过形容词活用的类推而产生的。

2. 文语。桥本进吉认为文语形容词有ナリ活用和タリ活用两种，吉泽义则又加上カリ活用，共三种。其中，ナリ活用的ナリ是由副词词尾ニ和アリ约音而成的。例：静かなり←静かにあり。固有词汇中的形容词都属ナリ活用。タリ活用的タリ是由副词词尾ト和アリ约音而成的。例：堂々たり←堂々とあり。来自汉语的形容词大都属于タリ活用。カリ活用的カリ是由形容词连用形词尾ク和アリ约音而成的。例：多かり←多くあり。三种活用的比较见下表：

种 类	基本形	词 干	未然	连用	终止	连体	已然	命令
ナリ活用	静かなり	しづか	なら	なりに	なり	なる	なれ	なれ
タリ活用	堂々たり	だうだう	たら	たりと	たり	たる	たれ	たれ
カリ活用	高 し	た か	から	かり	(かり)	かる	かれ	かれ

从上表可以看出三种活用都是连用形（原副词形）和ラ变动词“アリ”缩合成的，比口语多未然形（否定形）和命令形。

【参考】奈良时代ナリ活用有缩合形式ナリ和分裂形式ニアリ两种，后者居多，如いかなる、いかにあらむ。到平安时代，ナリ活用得到空前的发展，也是在这时由于汉语形容词的大量输入出现了トアリ→タリ式的活用，用于汉文体文章。从镰仓时代起口语连体形演变为ナ，到室町时



代以ナ取代终止形。同时,ニテ和アリ(助词、动词)缩合为であり→だ(ちゃ),也作为形容动词词尾来运用。现代日语形容动词词尾跨ダナ两行即源于此。

⇒カリ活用、ナリ活用、タリ活用

形容動詞の假定形 ケイヨウドウシノカテイケイ 形容动词的假定形

属口语形容动词假定形,只有～なら一种形式。

1. 单独或后续“ば”表示假定条件。

①危険なら,登山はやめましょう。/若是危险,登山就算了吧。②必要ならばいつでも知らせて下さい。/如需要,请随时通知我。

2. 以～も～なら(ば)～も形式表示并列。不常用。

①原料も豊富なら設備も整っている。/原料也丰富,设备也齐备了。

【参考】关于假定形的起源,有文言未然形起源说,认为来自文言未然形～なら;文言已然形起源说,即:～なれば(已然形)→～なりゃ(已然形的音便形式)→～なら。

形容動詞の語幹 ケイヨウドウシノゴカン 形容动词的词干

形容动词词干用法比形容词词干用法更广泛,有用言用法、体言用法、构词用法。

1. 用言用法。

1) 用于感叹句,作谓语。形容词词干只有主观形容词才有这种用法,与形容动词不同。

①大好き! /喜欢极了! ②みごと, みごと! /好极了! ③まあ, きれい! /哎呀, 真好看! ④もう, 結構, 結構。 /已经够了。

2) 直接作描写句的谓语,并能后续终助词和と等。通常可看作终止形词尾だ、です的省略。形容词词干无此用法。

①それは残念。 /那很遗憾。②それは不可能と思う。 /我认为那是不可能的。③ビール, お好きかな。 /啤酒你可喜欢? ④この着物すてきよ。 /这件衣服很好。

3) 作中顿形用,表示并列。

①英語は上手，日本語は下手。／英语地道，日语不行。②これもだめ，あれもだめ，ろくなものはない。／这个也不行，那个也不行，没有象样子的。

4) 后续助动词そうだ(样态)、らしい、です等。另外一些助动词主要接连体形后。

①いかにも愉快そうだ。／好象非常快乐。②あの子は気ままらしい。／那个小孩好象很任性。③その理由は明白です。／那理由是很明白的。

5) 后续接续助词ながら。

①残念ながら受け入れがたいです。／很遗憾，我难以接受。②言葉は穏やかながら決意のほどを示した。／尽管语言温和，却表示出了坚定的决心。

## 2. 体言用法。

后续各种助词。但只限于名词性强的词干或有文言色彩等情况下。

①はでよりはじみな方がいい。／素的比艳的好。②好きこそ物の上手なれ。／喜欢才能学会。③勤勉と厳格とが彼を学者に成らしめた。／勤劳与严格使他成了学者。④全部が全部順当ばかりとは思われぬ。／不会一切都合情合理。⑤丈夫だけが取柄で頭は悪い。／唯有身体好可取，脑袋不好使。⑥厄介ぐらいは我慢できる。／麻烦什么的倒可以忍耐。

△在某些固定句式中有词干用法。

①元気は元気だが，成績はよくない。／健康倒是健康，可是成绩并不好。②不順も不順，日が暮れた上に雨まで降りだした。／真不顺利，天黑了不说，还下起雨来了。③有利やら不利やら(或：～だの～だの)やかましく言いたてる。／喋喋不休地说什么有利啦不利啦。

## 3. 构词用法。

1) 后续～すぎる、～がる、～ぶる构成复合动词。具体条件见各项。例：寛大すぎる、おおまかすぎる、デリケートすぎる；いやがる、大切がる、おっくうがる；上品ぶる、正直ぶる、有能ぶる。

2) 构成派生名词～さ。例：静かさ、親切さ、あいまいさ。

3) 作为前项或后项构成复合名词。例：物好き、食わず嫌い、品行

不良、話し上手、口下手、得意顔、重要産業、無断欠席、急カーブ、グラマー美人。

4) 直接作副词。有些本来来自副词。例：いろいろ、当然、確か、比較的。

5) 构成派生形容动词～げだ。

①いかにも哀れげに聞えてくる。／听来悲哀极了。②不満げな顔をしている。／作出很不满似的表情。

**形容動詞の終止形** ケイヨウドウシノシュウシケイ **形容動詞的終止形**

1. 口语只有～だ一种形式。

1) 作谓语，可后续各种终助词。

①人に見られたら大変だ。／让人看见就坏了。②すると，非常に面倒だね。／那么，非常麻烦吧？③ぼくはあんな人間きらいだよ。／我讨厌那种人。④あら，きれいだこと。／哟，真好看。⑤いくら言っただっていやなもの。／你怎么说我也不愿意。

2) 后续接续助词と（包括表示引用的格助词“と”）、が、けれども、から、し等。

①性質は穏やかだけれども，意志は強い。／虽然性格温顺，意志却坚强。②皆無事だと聞いて一安心した。／听到大家都平安，松了一口气。③対策が不得手だと成功はできない。／如果对策不对头成功是不可能的。④小学校の時から音楽が得意だから，音楽学院を受けることにした。／因为从小学起就擅长音乐，所以决定报考音乐学院。

3) 后续传闻助动词“そうだ”。

①中国では卓球が大衆スポーツとして盛んだそうだ。／听说在中国乒乓球作为大众体育很盛行。

2. 文语形容动词的终止形见“形容動詞の活用”项。

**形容動詞の推量形** ケイヨウドウシノスイリョウケイ **形容動詞的推量形**

属口语形容动词的活用形，只有～だろ一种形式。只能后续～う来使用，表示对状态、性质的推测。

①こういうことは自明だろう。／这事是明摆着的吧。②どうだ，立派だろう。／怎么样？很好吧？

**形容動詞の未然形** ケイヨウドウシノミゼンケイ 形容動詞の未然形

1. 口语形容動詞の未然形只有推量用法，因此常归于推量形。参见“形容動詞の推量形”项。

2. 文語形容動詞の未然形分别参见“タリ活用”和“ナリ活用”项。

**形容動詞の連体形** ケイヨウドウシノレンタイケイ 形容動詞の連体形

1. 口语只有～な一种形式。另有一部分形容動詞也用“～の”形式作連体形来用，通常只限于后续实义体言。

1) 后续体言，作定语。

①静かな夜／安静的夜晚。②妙な歩き方をしている。／走路的样子很怪。③相手の話からデリケートなものを感じとった。／从对方的话里感觉到一种很微妙的东西。

2) 后续有体言成份的助動詞ようだ、のだ、ものだ、ふうだ等。

①あの先生は親切なようですね。／那个老师好象很和蔼。②一応準備をするのが無難なのだ。／还是作一下准备有把握。

3) 后续有体言成份的接續助詞のに、ので、かわりに等等。

①坂が急なので，車では登りにくい。／因为坡很陡，用车很难登上。②貧乏なのに，ぜいたくなことばかり言っている。／本来很穷，却尽说大话。

4) 后续形式体言の、もの、こと等、格助詞より、副助詞ばかり、だけ、くらい、ほど、まで、きり等。

①食べ物はやわらかなのが好きだ。／食物我喜欢软的。②陰気なより陽気なのがいい。／活泼比死气好。③豊かなほど儉約に注意すべきである。／越是富裕越应该注意节约。④執拗なまでに研究を深めていく。／顽强深入地搞研究。⑤あわれなぐらい少ない。／少得可怜。

2. 文語形容動詞連体形参见“形容動詞の活用”项。

**形容動詞の連用形** ケイヨウドウシノレンヨウケイ 形容動詞的



## 连用形

### 1. 口语共有だっ、で、に三种形式。

#### 1) ~だっ。

##### (1) 后续过去助动词“た”。

①真黒だった空が急に明るくなった。／漆黑的天空一下子明亮起来了。②以前、この店の客扱いは不親切だった。／以前这个商店对待顾客不热情。

##### (2) 后续接续助词“て”、并列助词“たり”。

①いくらのおんきだって、自分の誕生日ぐらいは覚えているだろう。／无论怎么漫不经心，自己的生日总还是记得吧。②不完全だったたりするとだめね。／如果不完备（不完整）就不成啊。

#### 2) ~で。

##### (1) 用于中顿、并列。

①筋が複雑で、思想も深い。／情节复杂，思想也深刻。②きれいで静かな都市／整洁而安静的城市。

##### (2) 用于连用法，表示原因、条件、根据等。

①いやでいやで仕様がな。／实在讨厌得很。②好きで戦争に行ったのじゃない。／并非因为喜欢而去打仗的。③あまり複雑では困りますね。／太复杂了可不好。④実業がいやならいやでいい。／如果不愿办实业，那也可以。

##### (3) 后续补助用言ある、ない、ござる等。

①大変不便である。／非常不便。②にぎやかではないが、静かでもない。／虽然不热闹，可也不静。③それで結構でございます。／这就可以了。

#### 3) ~に。

##### (1) 修饰后续用言，相当于副词。即副词法。

①赤ん坊が安らかに眠っている。／婴儿安详地睡着。②まじめに勉強しろ。／你要认真学习。

##### (2) 后续补助用言なる、する以及“思う”等。

①カーブが緩やかになった。／转弯处变得缓慢了。②カーブを緩や

かにした。／使转弯处变得缓慢了。③助けてあげられないことを残念に思います。／对于无法帮你的忙我觉得很遗憾。

## 2. 文语形容动词连用形参见“形容動詞の活用”项。

### げだ 〈接尾辞〉

【活用・接续】形容动词型活用。常用活用形只有连用、连体两种，偶尔也用终止形。

#### 1. 主要接形容（动）词词干后。

①子供たちは楽しげに歌いながら家へ帰っていった。／孩子们（显得）很高兴地唱着歌回家去了。②涼しげな青い月の光／清寒的蓝色的月光。③孝二はきまり悪げににっこりと笑った。／孝二不好意思地微微一笑。④気むずかしげな顔で断った。／绷着脸拒绝了。⑤そのうしろ姿は何とも言えず寂しげだった。／那背影显得无以形容的凄楚。⑥秋子是不安げにキクの袖をひっぱった。／秋子很不安似的拉了拉菊子的袖子。⑦部長は鈍感げな声で言った。／部长以反应迟钝的声音说道。⑧もっと何か言いたげです。／似乎还想说点儿什么似的。

#### 2. 也可接于ある等状态性动词连用形后。

①事ありげに見える。／看样子象是有什么事。②意味ありげな微笑／耐人寻味的微笑。③恐れげに答えた。／有些惊慌地答道。

#### 3. 还有时接于名词、助动词ぬ后。

①大人げな口調／很老成的口吻。②知らぬげに言う。／说得象不知道一样。

【意义】1. 构成形容动词，表示从外观上能观察到的状态，如上例。

2. 以～げ形式构成名词，并多用于～ない、～たっぶりだ等形式，表示某种样态的多或少。

①あぶなげない。／没危险。②あぶなげがない。／同上。③芝居げたっぶりな声を出して言う。／说话拿腔作调的。

【参考】げだ、そうだ的区别是：そうだ接续面宽，而げだ一般不能接于表示高低、深浅、广狭、明暗等的状态形容（动）词后。げだ一般都能用そうだ替换，但文体稍旧，正逐渐让位于そうだ。

### けだし（蓋し） 〈陈述副词〉

文章用语，“盖”的译词。

1. 和である等断定形式呼应，表示相信这一论断是有把握的。

①そういう発言は、蓋しやむをえぬからである。／此种发言盖出于不得已。

2. 和推量形式呼应，表示无把握的推测。等于もしかしたら等。

①両方の才能が蓋し伯仲するであろう。／双方之才能恐不分伯仲。

けっきょく（結局） 〈副词〉

可以けっきょくのところ加强语气。

1. 表示经过许多过程的最终结果，有时相当于接续词。

①いろいろ考えてみました。結局、いい方法は思い出せませんでした。／前前后后的想了许多，最终，没想出好办法来。②先生に何度も注意されたが、結局そのとおりだった。／多次被老师提醒，结果真是（老师说的）那样。③私は日本語を専攻し、彼は英語を専攻し、結局二人ともいい成績で大学を出た。／我专修日语，他专修英语，最后二人都以好成绩大学毕业。④人事問題をめぐって与野党がもみあったあげく、結局のところ無党派の伊藤氏が通産に選ばれた。／围绕人事问题执政党和在野党发生争执以后，最终，无党派的伊藤先生被选为通产大臣。

2. 表示结论性的陈述语气。

①人によってくらしの程度がいろいろと違うのは、結局、人人の収入や支出の大きさや内容が違うからです。／人与人之间的生活水平各有区别，最终是因为人们的收入和支出的多少及其内容不同。

けっして（決して） 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，表示对某种似乎有理由加以承认的事实进行否定。

（例①括号内为可能有的理由）。

①（かわいそうな顔をしていても）決して承知しないぞ。／（我）绝不答应。②私の家の庭は、決して広いとは言えないが、いろんな鳥がやってくる。／我家的院子根本谈不上很大，但却飞来各种各样的鸟。③そんなことは決してありません。／决无此事。

【参考】1. 该词在位置上较灵活，有时可插入用言及助动词与后续的补助成分之间。

①今日，資本主義が当面している危機は「国民的危機」などというものでは決してない。／今天，资本主义所面临的危机，决不是什么“国民危机”。

2. 该词不与肯定形式呼应，所以若把“それは決してよいことではない（那绝不是好事）”说成“～よくないことだ”就不太自然。但有的动词句，因为句子结构不同，两种说法均可，如（括号表示句子结构）：

①（決して怒るはずはない）。／绝对不会生气的。②（決して怒らない）はずだ。／同上。

けれども 〈接续助词〉

口语中常紧缩为けれど、けども、けど等。けど多用于女性和儿童的会话。全部形式女性比男性多用。另有方言说法けんど。

【接续】接活用词的终止形后。

①肩がだるいけれども大したことはない。／肩部发酸，不过没什么。②丈夫なことは丈夫だけれども値段がやや高い。／结实倒是结实，就是稍贵了点儿。③熱は出るけれども，寝るほどのことはない。／虽然发烧，还不至于躺倒。④ああ，そりゃそうだけど，あんまり心配しなくてもいい。／对，那倒是，不过不必过分担心。⑤私は松村ですけれど，何かご用ですか。／我是松村，有什么事吗？⑥よく分らないけれども，ハイガンとか言っていたよ。／不太清楚，我听说是叫什么“肺癌”。⑦何度も行っただけだけれども，さすがは名勝地でした。／我去过很多次，是名不虚传的名胜之地。⑧疲れたろうけど，もうすこし辛抱だ。／你大概累了，可再坚持一会吧。

【意义】最本质意义是通过对比、对照把两项连接起来。

1. 逆接条件用法。表示后项的实际与前项内容的预想结果相反。可用のに代替，但のに有出乎意料的语感。

①先生の教えた通りにやって見たけれども失敗をなめた。／是按老师教的做的，却遭到了失败。②今日は日曜日だけれども，学校へ行かなければならない。／今天是星期日，可还要上学。

2. 表示单纯的并列、对照。“～は～けれども～は～”表示逆态性并列，“も～けれども～も～”表示顺态性并列。



①子供には難しいけど、大人にはすぐ出来るはずだ。／对儿童来说很难，对成年人来说是轻而易举的。②窓外の景色は時々変りゆくけれども、心は少しも慰まない。／（火车）窗外的景色在不断变化，心情却得不到任何安慰。③彼女は英語も達者だけれども，ドイツ語も上手だ。／她精通英语，德语也很不错。④この問題はむろん外部からも来ているけれども，内部とくに政府の政策にも責任がある。／这个问题当然也来自外部，而内部特别是政府的政策也有责任。

3. 表示参考性内容、条件，可分以下几种情况。

1) 表示前项如何均可，所关心的是后项。

①いつでもいいけど，遊びにいらっしゃい。／来玩吧，什么时候都行。②器物はどうでもよろしゅうございますけど，お怪我はございませんでしたか。／您伤着没有？东西怎么样倒没什么。

2) 前项中引出总的情况，然后在后项中提出问题。

①彼は天才には違いはないけれども，一部の人から指摘される点もなくはなかった。／他无疑是天才，但一些人所指出的问题也不是不存在。②小使錢を使ってしまいましたけど，帰り道はどうしますか。／零用钱都用光了，归程可怎么办呢？

3) 前项是对后项作的背景知识、场景及心情的说明等。

①私の狭い経験ですけど，フランス人は定められた時間はきちんと守って，仕事に精を出します。／据我个人的体验，法国人严守规定的时间，工作卖力气。②例の件ですけども，お考えをうかがいとう存じます。／还是那件事，我想听取您的意见。③失礼ですけど，ご主人は何をなさっていますか。／请问，您丈夫做什么工作？④ラジオから聞いたのだけれど，静岡で地震があったとか。／我是从收音机听到的，好象静岡发生地震了。

4) 构成表示附加说明的插入语，近于3)。

①谷崎君は文章にも現われるけれど，非常に日本のクラシックの素養が深い。／谷崎君对日本古典的造诣——当然也体现在文章里——是非常之深的。②こうして漢字はベトナム（当時は安南と言っていたけれども）にも広がった。／就这样，汉字也传到越南（当时称安南）。

【参考】来自形容词已然形（如：多けれ）后续逆态助词ども，后经过“多いけれども”式的过程，开始接多种用言终止形后，成为接续助词。

けれども 〈接续词〉

另有けれど、けども、けど等口语约音形式。

【意义】1. 表示逆接。

①二人は上流へ走った。けれども上流はきり立った大冰山で限られていた。／两人向上游跑去，但是上游被耸立的大冰山隔住了。②ラジウムはガンの治療に使用されて来ている。けれどもそれは使用するに危険なものである。／镭一直被用于癌症的治疗，而使用起来是有危险的。

2. 表示追加性并列。

①寺田寅彦は物理学者であります。けれども，文学者としても有名です。／寺田寅彦是物理学者。另一方面，作为文学家也很有名望。

3. 在前项的基础上，引出新的话题或叙述内容。

①先生に報告したのは僕だ。けれどもそれがどうしたんだ。／告诉老师的就是我，这又怎么样？

【参考】1. 由接续助词けれども转成。

2. 口语中更经常用于だ（です）后，构成だ（です）けれども（けれど、けども、けど），均相当于接续词。有在承认上文内容的基础上转折的口气。

①父は非常にできる人だった。だけれども，息子は頭が良いとは言えない。／父亲小时候成绩很好。但是儿子却不算聪明。②私はいつでも構いません。だけど，あなたは早い方がいいでしょう。／我早晚都不要紧。不过你还是早一些好吧？③「映画を見に行きませんか」「ええ，だけど，私，今日はお金を持っていないのよ」／“去看电影好吗？”“好，不过，我今天没带钱啊。”

けれども 〈终助词〉

另有けれど、けども、けど等约音形式。接续同接续助词けれども，后续终助词な（あ）、ね等。

【意义】1. 表示与现实相反的愿望。

①バレーボールの選手だから、もっと背が高ければいいけれど。／  
因为排球运动员，个子再高点儿就好了。②お世辞でも言ったら、承知して  
くれただろうけど。／假如说点恭维话，也许他就答应了。③写真なんか  
あったら、比べて見たいけどね。／若是有照片，倒是想对比一下。

## 2. 不说出真正意思，表示委婉、让对方斟酌等。

①ちょっとおうかがいしたいことがあるのですが。／有事想向  
您请教。②「私の試験成績はどうですか。」「ええ，採点はまだです  
けど」／“我的考试成绩怎么样？”“还没判分呢。”③今日はちょっと都  
合が悪いんです。あしたならいいんですけれど。／今天我有些不便，明  
天还可以。（你看怎样）

## 3. 表示种种心理矛盾，带有为难、无奈等语气。

①いくら親切にされても，ありがたくはないけど。／就是对我再  
好，我也不领情。②別にこれという理由もないけど。／也没什么特殊的理  
由。（不过……）③只今のお話，全くその通りでございますけど。／您  
刚才的话，说的都对，（不过……）。④でも仕方がないんですもの。気  
にはしていますけど。／那也没办法的啊。虽然是操这份心。

【参考】来自接续助词けれども，因后项脱落而成。有人仍看作接续助  
词的特殊情况，但由于主要表示语气，所以看作终助词为宜。

倒装句句末的けれども仍应看作接续助词。

①医者はまだ助からないと見ているようだ。当人は気づいていない  
けれども。／看来医生已经认为没有希望了，虽然本人并未察觉。

## 原因の表現 ゲンインノヒョウゲン 原因表达法

【性质】原因表达法指对原因、理由、动机进行说明的表达方法。日语中  
这一表达法相当发达，不同性质的原因常用不同的方式表示，不同的方式  
还常表现出句法结构上的区别。正确掌握这些表达形式，对于正确地运  
用日语交流思想有很重要的意义。

### 【形式】1. 格助词。

1) で。表示自然、生理（亦可用に）、社会、精神、物理等方面的  
原因。

①洪水で作物が水浸しになった。（自然）／因洪水，作物被淹了。

②大勢の人がガンで（に）苦しんでいる。（生理）／有许多人在因为癌症而痛苦。③防衛庁長官が国会での放言で失脚させられた。（社会）／防卫厅长官由于在国会上的错误言论而下台。④この二、三日は、帰国の準備であわただしい。（精神）／这两天因准备回国很忙乱。

△这一用法不能表示心理方面的原因，心理方面的原因要用“に”表示，见2）。也不能用于意志、命令、劝诱、请求等主观色彩很强的表达中，这些句中出现的“で”表示的是手段、方法，表示原因要用から（即～だから）。

①病気で学校を休もう。（手段）／咱们借口有病请假吧。②病気だから学校を休もう。／因为有病，我不上学了。

2）“に”表示心理状态（不能用で代替）或自然现象（有时可用で代替）或生理现象（可用で代替）的直接原因。

①青い草が露玉にぬれている。（自然）／青草被露珠润湿了。②あれの説教にはあきれてしまった。（心理）／我对他的说教感到吃惊。③私は勉強に（で）疲れた。（生理）／我学习学累了。

3）用“から”表示某种事态发生的起因。

①ちょっとしたことから夫婦喧嘩になってしまった。／因一点小事两口子打架。②不注意から事故を起こした。／因为马虎造成了事故。③過度の疲労から病気が再発した。／由于过度疲劳疾病又复发了。④先程の地震から火災が各地に発生している。／由于刚才的地震各地发生了火灾。

△以上均可用で代替。但是表示单纯原因只能用で，不能用から。

①母は病気で寝ている。（※病気から）／母亲因病卧床不起。②受験勉強で（※から）忙しい。／因考前准备而忙碌。

## 2. 接续助词。

1）から表示主观认定的原因，多用于断定（可用ので代替）、意志、劝诱、命令、请求（以上不得用ので）等表达中。

①非常に疲れたから（ので）、途中でひっかえした。／因为太累了，中途就返回来了。（断定）②背が高いから長いベッドにしよう。／个子高，来个长床吧。（意志）



2) ので和で一样,表示自然、社会、生理、心理等现象的客观原因。均可用から代替,产生强调、辩解等语感。

①氣候が不順なので,当初の計画に達しえない。(自然) / 由于天气不好,达不到当初的计划。②物価が高いので安定した生活ができない。(社会) / 由于物价高,无法过安定的生活。

△由于から口气强,敬语中可用ので表示意志、请求(参照1)等表达中的原因。这时用から有可能失礼。

①列車が延着しますので,お乗りの皆さん,50分ほどお待ちになって下さい。/ 由于列车晚点,乘车的旅客请等50分钟。

### 3. 复合助词。

1) だけに。表示与某种结果程度相应的原因。

①命をかけてやりつづけてきた仕事だけに,愛着は一層格別なものであった。/ 正因为是长期拼命干的工作,所以也就特别热爱它。②さすがに大都会だけに(だけあって)どこに行っても人でいっぱいです。/ 到底是大城市,无论到哪全是人。

2) ばかりに。表示造成消极结果的意外原因。

①ちょっと油断をしたばかりに,とんでもないことになってしまった。/ 因为一点儿疏忽,竟酿成了大错。

3) ばかり。表示造成后项内容的最根本的原因。

①あなたのためを思えばこそ言うのだ。/ 正是为你着想才说的。

4) によって。书面语,表示后项的结果是由前项的原因造成的。

①イイ戦争によって何十万人が死んでしまった。/ 由于两伊战争,有几十万人死去了。

5) こととて。以“自明”的口气表示作为既成事实的原因。

①昔のこととて良い薬もなかった。/ 因为是过去,所以也没什么好药。

### 4. 形式名词。

1) ために、ためか(不定)、ためだ。表示客观原因,是口语常用形式,无特殊语感。

①高慢なためか,彼は皆に敬遠されている。/ 可能是由于高傲吧,

他被大家敬而远之。②ひもがよく切れるのは細いためです。／带子好断是因为细。

2) おかげ。带有感谢、感激的口气。有时转用于表示不满、意外等。

①日本語を習ったおかげで、原書が楽しく読めました。／多亏学了日语，能够很有趣地读了原著。②無理をしたおかげで病気になってしまった。／因为劳累过度而得了病。③おじいさんに叱られたのはお前のおかげだ。／遭爷爷训斥都怪你。

3) せい。一般用来表示造成不利结果的原因。

①忙しいせいか，返事も来ない。／大概是忙吧，也不回信。②病児のせいで，親はずいぶん苦労している。／为了病儿，大人吃了不少苦。③下痢をするのは不摂生のせいだ。／拉肚子是由于不注意卫生。

4) もので、もんで形式。表示客观原因，稍有申辨的语气，语气介于ので和から之间。

①皆が品が悪い悪いというもので，買うことをよした。／都一个劲儿说质量不好，我就没买。②気分がすぐれないもんで，酒屋に行った。／由于心绪不佳，到酒店去了。

5) わけ。带有说明、追究的含义。

①どういうわけか体の具合がよくない。／不知什么原因，身体状况不好。②こういうわけで会社をやめさせていただきます。／因为这种原因，请允许我从公司辞职。③二人はいつも姿を見せない。何かわけでもあるのかしら。／两个人总是不露面。也许有什么原因吧。

6) ゆえ、ゆえん。书面语。

①ゆるぎのない事実である（が）ゆえにいかなる中傷も恐れない。／因为是无可动摇的事实，所以不怕任何中伤。②以上が彼が世に名を知られる学者になったゆえんである。／以上便是他成为知名学者之原委。

5. 接续词。有：だから（ですから）、そこで、それで、このため、したがって、それゆえ（に）、よって等。

①これはおばあさんの形見です。だから大切に下さい。／这是奶奶的遗物，所以要珍重它。②踏切で止められました。それで遅刻しまし

た。／在铁路道口被拦住了，所以迟到了。③くりかえして計算しても帳面が合わない。そこで課長に計算してもらった。／反复计算帐面还是对不上，于是请科长给算了。

6. 形式化的名词“结果、都合、関係（上）”以及原因动词“よる、原因する”等，主要用于书面。

①十年も研究を重ねた結果、この本を成した。／积十年研究，终于写成此书。②紙幅の都合で三分の一を割愛せざるを得なかった。／由于篇幅所限，不得不割爱三分之一。③修理の関係上，本日閉店いたします。／因修理，本日闭店。④ゆうべの火事は犯人の放火による。／昨晚的火灾是犯人放火引起的。⑤今度の失敗は市民からの応援不足に起因するという見方もある。／也有一种意见认为这次失败是由于市民的支援不够。

### 言語 ゲンゴ 语言

【解释】语言是以声音或文字为媒介的思想和感情的表达手段。语言主要有以下特征：

1. 必须以声音或文字为其记号，称语言记号（言語記号）。所以，动作、表情、绘画等虽然也能表情达意，但并不是语言。
2. 记号能分析为一定的单位。如，句子可最终分析为词素，亦即有分析性。
3. 记号有一定的时间顺序，亦即有线条性。比如“旗”，人的器官就决定了不可能一下子把〔h〕〔a〕〔t〕〔a〕四个音一齐发出来，而只能按先后发成〔hata〕（はた）。
4. 记号有体系性。如：五十音图、コソアド系列词、反义词体系、活用表、分类词汇等等都是语音、词汇、语法方面的体系。语言的体系性能使人们科学地、系统地概括语言现象，高效率地掌握语言。
5. 语言记号和语言内容之间即能指（能記，signifiant）和所指〔所記，signifié〕之间的关系是恣意的，亦即无必然的联系。正因为如此，一种“汪汪叫的动物”（所指），不同语言可用不同的语音或称谓（能指）来表示：〔kou〕（汉语）、noxai（蒙古语）、〔kɛ〕（朝鲜语）、dog（英语）、hunt（德语）、〔ʃiɛ〕（法语）、sabaka（俄语）。即

使在同一语言内部，也存在着同义词（两个符号指同一内容）和同音词（一个符号指两个内容）。同一个符号在不同的语言里也可以有不同的内容，如〔lei〕在汉语中表示“累”，在英语中表示“放下”（lay）。

语言正是由于以上特征才成其为语言，才能成为人们传达思想和感情、传递和接受知识、存贮信息、发展思维的工具。语言还能以文艺形式表达思想和感情，使人得到艺术上的享受和精神上的满足。

语言具有声音、时间等自然属性，但归根结蒂是人类社会所特有的社会现象。它是一种既不属于经济基础也不属于上层建筑的特殊的社会现象。

语言的学习不能依靠先天性的生物遗传，而主要通过后天的社会学习。

【语言的分类】有其时的形态·句法分类（以下称形态分类）和历时的系谱分类两种。

1. 形态分类。目前已提出许多项分类标准，其中最主要的有两项：

1) 根据语法关系的表达手段，分为孤立语（孤立語）、粘着语（膠着語）、屈折语（屈折語）、抱合语（輯合語）。见各项。这种分类始于施莱格尔（von Schleigel）兄弟、施莱赫尔（A. schleicher）、洪堡特（W. von Humboldt）等，已得到普遍承认。问题是：一种语言很难是纯粹的孤立语或屈折语等。如日语的活用是屈折语性质，助词、助动词的附加是粘着语性质，许多裸格形式的成分是孤立语性质，敬语动词本身部分包含人称关系是抱合语性质。至于施莱赫尔认为语言在历史上按孤立语、粘着语、屈折语的顺序发展，则纯属谬论。受到美国语言学家萨皮尔（E. sapir）等的批驳。

2) 按主谓宾（S〔subject〕、V〔verb, 〕、O〔object〕）的顺序来分类。如日语为SOV语（主宾谓）、汉语和英语为SVO语（主谓宾）、希伯来语是VSO语（谓主宾）。此分法始于格林伯格（j·H·Green berg）。

2. 系谱分类。19世纪，由于印欧比较语言学的发展，查明了诸语言间的谱系关系。后来的语言学家把比较语言学的方法广泛应用于世界各种语言中，取得了很大的成绩，但仍有一些语言的系属关系不清楚，如日语。各学者之间对系谱关系的划分不尽一致，按服部四郎的研究，有如下



语系:

1) 印欧语系(インド・ヨーロッパ語族、印欧語族)。南亚的印地伊朗语支诸语和欧洲的希腊语支、意大利语支诸语(含伊、法、西语等)、日尔曼语支诸语(含英、德等)、斯拉夫语支诸语(俄、波语等)。

2) 闪含语系(セム・ハム語族)。闪语系有: 希伯来语(以色列)、阿拉伯语、埃塞俄比亚语。含语系有: 埃及语、毫萨语。主要由西亚和北非的语言构成。

3) 乌拉尔・阿尔泰语系(ウラル・アルタイ語族)。乌拉尔语系有: 匈牙利语、芬兰语、爱沙尼亚语等散在于欧洲的小语种构成。阿尔泰语系由土耳其语、鞑靼语、蒙古语、哈萨克语、维吾尔语、满语等横跨东西亚洲的广大地区的语言构成。有人把朝鲜语和日语也归入阿尔泰语系, 但未得充分证明。近来多数人把乌拉尔语系和阿尔泰语系分别作为独立的语系。

4) 马来・波利尼西亚语系(マレー・ポリネシア語族)。有马来语、印尼语、菲律宾语、马达加什语。主要由南亚语言构成。

5) 汉藏语系(シナ・チベット語族)。有汉语、藏语、缅甸语、傣语。由中国和印支半岛西部的语言构成, 但有待进一步证明。

另外, 还有南亚语系(越南语、柬埔寨语)、班图语系(非洲南部诸语)等说法。还有一些系属不明的语言。

**言語意識** ゲンゴイシキ 语言意识、语感

指语言的主体进行语言行为时的自我感觉和进行判断的能力。语言意识问题已引起许多语言学研究者的兴趣。

语言意识是主观的, 所以, 文化程度和经历等不同的人对于同一个语言现象可能具有不同的语言意识。如, 对“田舎<sup>いなか</sup>”一词, 向往田园生活的城市人和向往城市生活的农村人的语言意识是不一样的。但是语言意识也有社会的普遍性, 如对“どろぼう”一词, 各种环境的人甚至连小偷在内都有厌恶之感。

语言意识主要产生于语言片断的所指物本身。如“便所”的所指物是脏的。也来自于语音特征, 如汉语词词形短, 发音响亮, 所以有简单明快的感觉。而固有词词形长, 发音柔和, 所以有圆滑柔和之感。再如, 浊音

有减价作用，如：かに（蟹）→かにまた、かんむり→がんむり。

另外，某些用久了的词也伴随着世俗的语感，而外来语、流行语有新鲜、高雅的语感。

语言意识的公约性即来自以上原因。语言意识有助于观察、研究语言以及判断语言的正确与否，所以时枝语法和转换生成语法都很重视语言意识问题。

日本语文教育很注重培养语言感觉，把它作为重要的教学内容，目的是使学生具有敏锐的语言反应能力，即对于语言现象的正确与否的判断能力和审美能力、欣赏能力。总的来说，语感的培养首先需要有丰富的语音、词汇、语法等方面的知识，这就需要长期的细致的教学活动。另外，语感的培养离不开对场面和文脉的理解，如“あなたはえらい”因场面或文脉不同可以是称赞，也可以是嘲笑。

日语是富有情态特征的语言，掌握细微差别是至关重要的。如“米洗ふ前を（に、へ）螢の二つ三つ”中“を”处的三个助词各有各的语感。

#### 言語活動 ゲンゴカツドウ 语言活动

指与表达和理解相关的人类活动。桥本进吉认为语言的本体是语言表象即语音表象和事物表象的结合体，是存在于人们头脑当中的观念，其实现要靠语言活动。语言表象是社会成员共同的东西，而通过语言活动所实现的语言在语音和语义方面有所不同。所以，语言（表象）和语言活动是不同的概念。而时枝诚记却认为语言就是语言行为本身，是和语言活动、语言生活相同的概念。

语言活动是人类特有的复杂的过程。如果说语言（表象）是纯心理的存在，那么，语言活动是心理的、生理的和物理的连续转换过程。从说者的角度看，首先，事物表象有唤起语音表象的作用，这属于心理过程。其次，声音表象引起相应的发音运动，这是生理过程。最后，发音运动的结果即声音属于物理现象。从听者的角度看，按与说者完全相反的程序进行语言活动，只是这一理解过程不如表达过程积极主动而已。

正因为语言活动如此复杂，才有心理语言学、生理语言学、社会语言学等分科。

“言語活動”相当于索绪尔的language，是小林英夫的译词。相似

的用语还有金田一京助的“言語”和“言語活動”、神保格的“言語觀念”和“言語活動”。

### 言語過程説 ゲンゴカテイセツ 语言过程说

时枝诚记的语言观。语言过程说的详细内容见于「国語学原論」(1941)、「国語学原論続論」(1955)等著作中。要点如下：1. 语言是思想的表达和理解，思想的表达过程和理解过程本身就是语言。2. 语言是以声音（发音行为）或文字（记载行为）为媒介的表达过程，同时又是以声音或文字为媒介的理解过程。3. 语言是人类行为、活动、生活的一种。4. 语言的成立条件有说者（作者）、听者（读者）、素材（内容）三个方面。5. 语言表现为听说读写四种形态中的某一形态。因此，要学习语言必须掌握听说读写等表达和理解的机能。6. 使用、实践语言是主体行为，语言研究就是观察研究主体行为。总之，语言过程说把语言看作人的一种行为及其过程。

在语法上，语言过程说主要体现在词辞的划分中。时枝把语言的成立过程解释为概念——听觉映像——声音（——文字）的表达过程或与此相反的理解过程，词就是经过概念化过程的单词，辞是未经过概念化过程的单词。他认为词和辞按套匣式结构（入れ子型構造）来造句。

语言过程说一方面继承了江户以前的国语学家的研究成果，同时也是对静止的、形态主义的语言研究的批判，对本世纪30年代以后的日本语言学的研究有很大影响。但是，他把语言看作语言主体的一种行为，这等于说语言研究的对象不是社会语言（ラング）而是个人语言（パロール），从而否定了语言的社会性。另外，他提出的“場面、主体、陳述”等重要概念也有含义不清的一面，引起一些争论。

时枝的语言过程说是在批判索绪尔的语言构成说的过程中产生的。后来，国广哲弥提出了折衷理论，认为语言素材是结构体，而语言的使用是一种过程。

### 言語形式 ゲンゴケイシキ 语言形式

【解释】指表示一定的语义和语法功能的语音结构，即洪堡特的外部形式和内部形式的总称。如：トリ、トリが、トリがナク等。而ト、リ或t、o、r、i都不代表任何意义，所以不是形式。词素（形態素）是词汇学研究的



语言形式，句节、句子等单位则是语法研究的语言形式。语法中的形态学或称词法（形態論）就是研究语言形式。

语言形式简称“形式”，但该词只表示声音这一语义的外在形式。如，布龙菲尔德认为语言形式就是具有一定意义的语音形式。

【外部形式和内部形式】洪堡特从内部和外部观察语言形式，认为外部形式就是语音结构，内部形式就是寓于语音结构中的语法功能。

外部形式和内部形式有一定的对应关系，所以我们可以通过前者来理解后者。但二者又不是一对一的关系，所以有的外部形式可以有两个以上内部形式，如有的同音词不仅语义不同，词性也不同。同时，一种内部形式也可以有两种以上外部形式，如“雨が降っている”和“雨だ”可以代表相同的实质意义。

【自由形式和粘附形式】关于这两种形式，布龙菲尔德和服部四郎<sup>ふぞくけいしき</sup>观点不同。布氏认为不能单独说出来的语言形式就是粘附形式（附属形式），如：runing、runed、runs中的划线部分。反之是自由形式。服部修正了这一观点，认为经常和其他形式一起表述出来的形式就是粘附形式，如：深く、起きる、書きたい、書けば、ホンバコ、オガワ。服部把助词等也看作自由形式，所以自由形式包括1. 单词，即独立词和附属词。2. 附属词的结合体，如：には、のに、てから、からは。3. 包含独立词的词组，如：花が，花の。服部把1中的独立词和3称为（自由形式中的）自立形式，把1中的附属词和2以及全部粘附形式称为非自立形式。因日语的助词独立性强，适宜于看作独立的单词，所以服部说更有利于日语。

#### 言語構成観 ゲンゴコウセイカン 语言构成说

时枝诚记在批判索绪尔的观点、提出自己的语言过程说（言語過程説）的过程中，把索绪尔对语言的看法命名为语言构成说，主要指索绪尔语言总体（ランガージュ）由社会语言（ラング）和个人语言（パロール）构成，语言由声音和语义构成的观点以及语言是一种结构体的观点。

#### 言語行動 ゲンゴコウドウ 语言行为

【解释】指听、说、读、写等语言活动的总称。时枝诚记重视语言的传达功能、交际功能、欣赏功能，从语言生活观察语言，认为语言就是人的行为，由理解行为和表达行为构成。表达行为包括以文字为媒介的写和



以声音为媒介的说。理解行为包括以文字为媒介的读和以声音为媒介的听。在时枝看来，语言、语言行为、语言活动、语言生活都是相同的概念。

【成立的条件】时枝认为语言行为的成立需要三个条件，即：主体、场面、素材。主体就是说者（作者），场面就是听者（读者），素材就是表达内容。三者关系如下图：



如图所示，语言行为是在主体向场面说出某事（素材）时成立的。

⇒言語活動

言語単位 ゲンゴタンイ 语言单位

描写、分析乃至研究语言时所需要的单位。或者是构成语言的某种成分、要素、材料的单位。如，“句”是语法单位，“词”是词汇单位，“音节”是语音单位等等。一个语言单位可以用来分析比它更大的语言单位的质量结构，也可以用来测定其数量结构。如，我们说“句子由句节构成”，是用句节来分析句子的质量结构，说“这个句子由三个句节构成”则是对数量结构的分析。

语言的单位通常就是语言各层次的片断本身。如，词的单位就是“词”或比词小的词素等等。这和其他事物不同，如，布的单位不是布，而是尺、米、疋等等。

【日语的语言单位】主要有文章、段落、句子、句节、词、词素、音节、拍节、音位。其中，文章和段落是“文章論”的单位，句子、句节、词是句法的单位或说是语法单位。词、词素是词汇学或词法的单位，音节、拍节、音位是语音学的单位。同时，某些单位可以同时是两个以上领域的语言单位，如句子可以是“文章論”的单位。所有这些单位中，最基本的是句子、词和音节。由于研究的观点、目的的不同，也可以不承认上述某一个或几个单位，也可以另立别的单位，如，句组（談話、ディスコース、discourse）、词组（連語）等。同时，同一个语言单位也会有不同的

认定方式。如，对于“词”，词法中的词包括独立词和附属词，构词法中的词却不包括附属词，而辞典中的词不仅包括独立词和附属词，还包括粘附词素即接辞之类，而且还包括惯用词组、语法词组等。

各语言单位以包含和被包含的形式统一在一个整体之中。如“食べさせられた”可以是一个句子成分，它包含若干个词、音节、音拍、音位。当然，各语言单位之间有时也有不一致的情况，如“梅の花”在语义上是一个单位，而在构词法上却是三个单位。

在所有语言单位中，词是最难认定的。参见“語”项。

### 謙讓語 ケンジョウゴ 谦让语

【性质】敬语的一种。指以降低说者本人或同一立场的人物及其动作、存在、状态、所有物的资格的方式，间接地向对方或第三者表示敬意的敬语形式。亦称“謙遜語”（渡边实）、“謙称”（松下大三郎）、“下位主体語”（辻村敏树）等。

①私どもは先生のご意見に賛成いたします。／我们同意先生的高见。②御協力にあずかりまして万事順調に進んでおります。／承蒙您的合作，一切进展顺利。

当话题内容限制在谈话对方时，谦让语是用于说者本人及其动作、所有物上的（如上例①、②）。但是，当话题内容出现谈话对方和第三者两人（两方面）时，谦让语可用于第三人称。

①太郎が先生をお訪ねします。／太郎拜访老师。

这时，三人称“太郎”在说者的思想中有“自己一边的人”的意识，因此，可看作是扩大了的第一人称。

从语义性质上，谦让语可分为两类。其一是谦让语所表示的动作等只限于说者本人及其动作和所有物的，称“絶対謙称”（山田孝雄）、“自体謙称”（石板正藏）、“絶対下位主体語”（辻村敏树）、“為手卑下の敬語”（玉上琢弥）。如：致す、まいる、つかまつる；其二是动作涉及对方或第三者的，称“関係謙称”（山田、石板）、“関係下位主体語”（辻村敏树）、“受手尊敬の敬語”（玉上琢弥）。例：さしあげる、お誘いたす、いただく、奉る、賜わる。要注意的是，即使第一种情况下动作也必须是与对方或第三者有关的（尽管不是素材上的关系），否则不能用谦让语。试比较：

①お持ちしましょうか。／我为您拿着吧。②※私は帰省したいとお思います。

【形式】1. 谦让语名词、代词。例：わたくし、わたくしども、ぼくら、愚息、愚説；卑見、卑説；拝見、拝聴；小生、小著；拙者、拙著；弊社、弊宅。以上官地裕均看作郑重语。

2. 谦让语动词。例：あがる、さしあげる、いたす、つかまつる、いただく、うかがう、承る、存じる、参る、申す、申しあげる、参上する、拝見する、拝聴する。

3. 由补助动词类构成的谦让语形式。例：～いたす（失礼いたす）、お（ご）～いたす（お邪魔いたす、ご説明いたす）、お（ご）～する（お話しする、ご利用する）、お（ご）～申しあげる（お助け申しあげる、ご協力申しあげる）。

4. 补助动词的谦让语形式或表示谦让的补助动词。例：～ておもらいする（電話で一人来ておもらいしましょう。／我为您打电话叫个人来吧。）、～てまいる（～てくる）、～てさしあげる（～てやる）、～ていただく（～てもらう）。

【分布】体言和用言中的谦让语比较成体系，见以上。此外，助词的“など、ぐらい”用于一人称或说者自己一方时也有谦让意义。

#### 現代仮名づかい ゲンダイカナ～ 現代仮名用法

【解释】昭和21年，以内阁告示公布的，取代历史假名用法的新假名用法。现代假名用法基本上以现代语音为根据，指出了用假名书写现代日语时的准则，主要适用于现代文中的口语体文章，不包括需要引用的原文中的假名用法和难以改变者。现代假名用法基本上属于表音假名用法。主要内容如下。

1. 假名用法基本上按实际发音，废除ゐ、ゑ、を，废除发音为アイウエオ的ハヒフヘホ，废除くわ、ぐわ、ち、づ等。如：声こゑ→こえ、川かは→かわ、菓子くわし→かし。

同时保留两条例外：一是助词“は、へ、を”仍保留，读“わ、え、お”；二是复合词中浊音化造成的“ち、づ”和同音反复造成的“ち、づ”予以保留，如“鼻血はなち”和“つくづく”。

2. 长音记号用该音短音中的元音表示。如：おかあさん、にいさん、ゆうがた、きゅうり、にゅうがく（入学・にふがく）、おおい（多い・おほい）。

同时有如下例外：1）オ段长音原则上用ウ表示。如：扇おうぎ（←あふぎ）、～ましょう（←ませう）。2）エ段长音原则上用イ表示。如：所為せい（←せる）、経営けいえい。3）“言う”发音为“ゆう”，但为保持词干“い”不变，写作“いう”。4）拗音记号や、ゆ、よ及促音记号っ用小号字写于右下（指竖行）。如：でんしゃ、あっさり。

【现代假名与历史假名的比较】前面的为现代假名。

1. ワ、ア行假名。わ／わ、は。い／い、ゐ、ひ。う／う、ふ。え／え、ゑ、へ。お／お、を、ほ、ふ。

2. カ、ガ行假名。か／か、くわ。け／け、くゑ。が／が、ぐわ。

3. じ、ず。じ／じ、ち。ず／ず、づ。

4. ウ段长音。ゆう／ゆう、ゆふ、いう、いふ。其他ウ段均后面加う表示长音。略。

5. オ段假名。おお／おほ。おう／おう、をう、あう、あふ、わう、はう。こお／こほ。こう／こう、こふ、かう、かふ、くわう。ごう／ごう、ごふ、がう、がふ、ぐわう。そう／そう、さう、さふ。ぞう／ぞう、ざう、ざふ。とお／とほ、とを。とう／とう、たう、たふ。どう／どう、だう。のう／のう、のふ、なう、なふ。ほう／ほう、ほふ、はう、はふ。ぼう／ぼう、ぼふ、ばう、ばふ。もう／もう、まう。よう／よう、やう、えう、えふ。ろう／ろう、らう、らふ。

6. ウ段拗长音。きゅう／きゅう、きう、きふ。ぎゅう／ぎゅう、ぎう。しゅう／しゅう、しう、しふ。じゅう／じゅう、ぢゅう、じう、じふ。ちゅう／ちゅう、ちう。にゅう／にゅう、にう、にふ。ひゅう／ひゅう、ひう。びゅう／びゅう、びう。りゅう／りゅう、りう、りふ。

7. オ段长音。きょう／きょう、きやう、けう、けふ。ぎょう／ぎょう、ぎやう、げう、げふ。しょう／しょう、しやう、せう、～せふ、じょう／じょう、じやう、ぢやう、ぜう、でう、でふ。ちよう／ちよう、ちやう、てう、てふ。によう／によう、ねう。ひよう／ひよう、ひ



やう、へう。びよう／びよう、びやう、べう。みよう／みよう、みやう、めう。りよう／りよう、りやう、れう、れふ。

### 現代日本語 ゲンダイニホンゴ 现代日语

【解释】指现代日本人所使用的日语，和古代日语相对。在日语史上通常以明治初年为界，此后的日语称为现代日语。广义上包括共同语和方言、口语和书面语、专门用语等。狭义上指日本人共同的交际工具——以东京为基础的共同语（见“共通語”）。通常所说的现代日语是狭义用法。现代日语在明治后期就已基本定型，随着口语文的普及、义务教育的实施以及报刊、广播、影视业等宣传媒介的发展，东京语逐渐成为全国通用的语言，即共同语。

【特征】现代日语与其前身江户时代的日语相比有如下特点。

1. 词汇的变化最为明显。由于大量接受西方文化，用汉字造的释义词和主要来自英语的外来语雨后春笋般涌现出来。其中明治年间以释义词居多。如：科学（来自英语science一词，以下略）、消防、社説、工業、定義、先天等等。大正期以后，外来语的势力越来越大，甚至出现了日本造的英语。如：ダンス・パーティー、サラリー・マン、アイス・キャンデー等。

2. 文体的变化。多以だ、です、であります、でございます、ます以及ている、ておる等结句。

3. 敬语法有很大发展变化，常以お或ご为尊敬语形式。如：お望み，ご希望。敬语助动词（ら）れる成为规范形式。同时也出现了敬语法的某些混乱。

4. 出现了结构极简单的超短句和结构错综复杂的超长句（超长句例见“混文”项）。超短句例：

道には並木が植わっている。<sup>これ</sup>之は何の木だろう。桜かもしれない。  
（鳥尾敏雄「夢の中での日常」）／路上栽着街树。什么树呢？可能是樱花树。

5. 格助词が、を的用法更加频繁。而江户前的文言通常不用が、を。

6. 受欧语特别是英语的影响，语法上出现新的表达形式。

1) 被动态表示客观现实的用法明显增多。

①昨日会議が開かれた。／昨天，召开了会议。②海の底には，まだまだ多くのなぞが残されている。／海底仍有许多未解之谜。

2) 非生命体在使役态或具有使役意义的句子中作主语的现象增多。

①時世の流れが彼らを英雄にしたのである。／是时世的风云变幻使他们成为英雄的。②晩霜が盆栽を枯らした。／晩霜使盆花枯萎了。③この事件は彼等の親に強い警戒心を起こさせた。／这一事件令他们的家长产生了高度的警惕性。

3) 出现关系代词的直译法。

It is an experiment in which he studies the heat of the sun.／それは彼が太陽の熱を研究するところの実験である。／那是他研究太阳热量（所作）的实验。

7. 随着口语文的提倡，文言文日渐衰退，书面语言更接近口头语言，两者的距离进一步缩小。另外，日本政府在战后在文字、标写法方面进行了多次改革，也对词汇、语法、敬语等作了精心研究和整理，作了许多规定，这些都促进了现代日语的规范化。

#### 限定の表現 ゲンテイノヒョウゲン 限定表达法

指对动作、状态、数量等进行限制、限定的表达法。如，“寝てばかりいる／光是睡觉”是对状态的限定，“一人だけいる／只有一个人”是对数量的限定，“知らぬ存ぜぬの一点ばかりで対立しきった／一口咬定不知道，顽抗到底”是对方式的限定，等等。主要形式如下。

【形式】1. 用副助词だけ、のみ（文言）、ばかり表示。

①男の子だけ残して，女の子は全部帰らせた。／只留下男生，让女生都回去了。②万端の準備はととのえた。ただ時機を待つのみだ。／万事俱备，只欠东风。③彼女は顔立ちが美しいばかりで心はやさしくない。／她仅仅脸长得美，心地不善良。

2. 由提示助词构成的词组。有：しかない、よりしかない、ほかない、だけしかない、のみしかない以及“以外にない”等形式。带有嫌不足，“稀罕”等语气，区别于だけ。

①また停電だから寝る（より）しか（仕方が）ない。／又是停电，只好睡觉。②パンダは中国の四川省にしか住んでいない。／熊猫只居住

在中国的四川省。③遊びだけしか知らない。／只知道玩儿。④首になるよりほかはないだろう。／只有被解雇了吧。

3. 用词组～こそ（すれ）、でないと、てこそ、をとわず、にかかわらず等表示。前三者用于限制性条件，こそ用于书面语。后二者用于非限制条件。

①この目で見てこそ，真偽が認められるものだ。／只有亲眼见到才能辨别真假。②中華料理はやっぱり中国人でないとよく作れないものです。／中国菜不是中国人就做不好。③男女を問わず，選挙権と被選挙権が与えられる。／不论男女，都享有选举权与被选举权。

4. 句末用～ばかりだ，一方だ。前者表示没有选择余地，后者表示消极的倾向。

①物価は天井知らずにあがる一方だ。／物价漫无限制地飞涨。②首になって，あとは貧乏な暮らしをするばかり（だけ）だ。／被解雇，以后只有过穷日子了。

5. 限制性动词“限る、しぼる、とどまる、局限する”等。接于其后，表示特定的限度。

①今日に限って，早く帰りました。／只有今天特殊，早早回来了。②今回の会議では規則の制定にとどまることにする。／这次会议我们只制定规则。

6. 用形式名词“限り、一点張り”等。

①われわれ北海道の漁民は，魚売り一点張りでは生活できなくなった。／我们北海道的渔民单凭卖鱼已经生活不下去了。②物質文明の格差が存在するかぎり，先進国と後進国の間の不平等は不可避免的である。／只要还存在物质文明的差距，先进国和后进国之间的不平等是不可避免的。

**限定副詞** ゲンテイフクシ **限定副词**

副词的一种。渡边实的分类（参照“注釈副詞”项）。

限定副词把某种事物从关联事物中加以区别提示。所属词有：むしろ、まして、単に、もっぱら、ひとえに、とくに、ことに、とりわけ、なかんずく、おもに、たとえば、まして、少なくとも、せいぜい、せ

めて等。

①技術は米国よりもむしろ日本の方がすぐれている。／论技术与其说是美国，倒不如说日本更先进。②あなたにできない問題が，まして私に解けるはずがない。／你不会做的问题，更何况我不可能解开。③せめてこの子にだけはこんな苦勞をさせたくありません。／至少这个孩子可不能让受这种苦。

限定副词和评价副词同属诱导副词，但限定副词没有评价的含义，也不作谓语。

有些接续词位于句中起限定副词作用。

①A・B・Cのうちから，たとえばAを取り上げる。／在A、B、C中，假定以A为论题。

言文一致 ゲンブンイッチ 言文一致

【解释】“言文一致”有作为语言现象和作为语言思想的两种含义。

作为语言现象，就是口语（言）和书面语（文）在语法、表达法方面完全或基本一致，书面语言如实地反映口语。平安时代用假名书写的文章和那以前的文章基本上与口语一致，即“言文一致”。

作为语言思想，就是主张书面语言（文）必须和当时的口语（言）相一致，而不要脱离口语的语文思想。从平安时代后期到明治初期，日本由于受到汉文化的强烈影响，作为统治阶级和知识阶层私有的书面语言，严重地脱离了各个时期变化着的口语。一方面书面语言仍沿袭平安时代的口语，另一方面口语得不到整理和发展，两种情况都严重地阻碍了语言的社会功能。到了明治年间，有识之士在西方文化的影响下，认识到“言文不一致”的弊端，掀起了“言文一致”运动，产生了新的文体，即“言文一致体”。

据山本正秀记载，“言文一致”一词是由神田孝平在《文章論ヲ読ム》一文中首次提出来的。

【言文一致体】“言文一致体”是现在口语体的前身，指在“言文一致”运动中写出来的文体。现在的口语体当然是言文一致，但不叫“言文一致体”。

言文一致体的主要特征表现在句末形式上。福泽谕吉和加藤弘之在



自己的著作中常用ござる结束句子，在小学教材和杂志报刊上开始采用会话体，拉开了言文一致运动的序幕。到了明治中期，不仅是政党报纸采用了口语体，而且有些作家也开始用口语体进行创作，成为言文一致运动的中坚。如：山田美妙在《風琴調一節》（明治19年）和《夏木立》（明治21年）中用だ、だった结句，又在《武蔵野》（明治20年）《蝴蝶》（明治22年）使用了です体。二叶亭四迷在《浮雲》（明治20年）中试用过だ体。尾崎红叶虽然反对言文一致运动，但在《多情多恨》（明治27年）中使用了である体。嵯峨尾御室从明治22年起在日记中使用了であります体。

除句末形式外，言文一致体也有其它若干特点。如：文言和汉文训读等表达形式减少了，而比喻法、拟人法、来自西方文化的表达形式增多了，在日常生活中不常用的来自中国文化的音读词减少了，而根据西方文化创造的释义词（多为音读词）增多了。

明治后期，白桦派自然主义文学最终完成了言文一致体。

【评价】言文一致运动完成得如此成功、迅速，在东西古今是罕见的，应予以充分地肯定，但也有不彻底之处。到了明治后期直至昭和年间，虽然口语体深入到人们的实际语言之中，但政府的公文、法律条令仍用文言文。只是到了战后，随着日本社会的民主改革，书面语言更接近口语，公文和法律条令等完全用口语体书写了。由此可见，言文一致是语言发展的必须规律。

## こ こ

## こ (小) 〈接头辞〉

## 1. 表示规模、形体小。

小山、小犬、小刀、小柄、小屋、小粒、小女、小松、小包、小振り、小作り、小雨、小役人。

## 2. 表示数量少、程度低。

小銭、小人数、小風、小売り。

## 3. 接近于某一数量。

小一時間、小一里、小百円。

## 4. 程度不高而又确实具有的性质。

小にくらいしい、小うるさい、小ばか (にする)、こ気味、小ざれい、小ざっぱり、こちんまり、こ太り、小しゃく。

## 5. 接名词前略表轻视。

小娘、小才覚、小細工。

## 6. 主要接于肢体名词前，表示后续动词的程度很轻。

①小耳にはさむ (ちらりと聞く)。／听到有人说一两句。②小手をかざす (手をちょっとかざす)。／稍稍用手搭凉棚 (看了一下)。③小股が切れあがる (股がちょっと切れあがる)。／腿稍长。④小首をかしげる。／稍歪着头。⑤小ひざをたたいてにっこり笑う。／轻拍着膝盖微笑着。

## 7. 复合词中加强音响效果。无实义。

おお寒小寒、愛想も小そも、夕焼け小焼け。

△以上用法中，カ、サ、タ行起首的后续词要浊化为が～、ざ～、だ～。

## 個 こ 〈量词〉

表示以各种形式存在的、不具有特定量词的事物的数量。九以内可用～つ代替。用于：水果、蛋类、包裹、钟表、戒指、宝石、贝壳、球、

块状蔬菜、盆景等。

①たまご一個にみかん二個食べた。／吃了一个鸡蛋加两个桔子。②小包は全部で何個になりますか。／包裹一共是几件？

建筑物、交通工具、大型家具等较大的事物通常不能用“個”表示。

“個”与“つ”不同，不能表示数值、年龄、抽象事物等。

⇒つ

## 語 ゴ 词

语言中最基本的单位之一。和“単語”意义基本相同，见该项。

有时以“単語”指单纯词（単純語），以“語”指包括派生词、复合词在内的所有的词。有时用“語”指比一般认定的词更小的单位，如“接頭語”等。一般说来，“単語”多用于指语法体系中的词，“語”多指词汇体系中的词。以下两点即是对词汇系统中的词而言。

【词的认定】在词的认定上，没有也不可能找出各国语言通用的标准。大致有以下作法。

1. 能否独立运用。能独立运用的就是词，否则便不是。如在“高い青空に～”中的“青”不能独立运用，“青空”却可以，所以前者不是词，后者是词。“に”和“青”不同，“青”只能和少数几个词组成复合词，却不能独立成词。而“に”却可以接于所有名词之后，有一定的自由运用的能力，所以也是词。

2. 根据词的外部特征确定。如动词和形容词有特定的词尾和特定的词形变化。助词和助动词不是另外的词的固有词素，故也看成词。

3. 根据发音特征确定。如句节（参见“文節”项）也可作确定词的手段。将句节分为表示词汇意义的部分和表示语法意义的部分（也可能没有），便成为独立词和附属词。

4. 对于固定词组或类似的单位，视稳固程度而定。“木葉”<sup>このは</sup>、“荀”<sup>たけのこ</sup>等非常稳固，固认作词。而“春の風”则不是词。

【词的词汇特征】1. 具有一定意义，反映对于现实认识的片断。词义有广泛联系，构成各种内容系统，如类义词、反义词等。

2. 有语音形式，使意义寓于其中。

3. 有一定的内部结构和结构规律，所以有根词和合成词（复合词、

派生词)之别。

4. 有一定的使用主体和范围,即有特定的位差(位相<sup>いそう</sup>)。所以,有女性语、老年语、职业语、专门语等的区别。

5. 有一定的出身,即有和语、汉语、外来语及混种语之别。不同出身的词从不同角度丰富了日语词汇。

系统地研究以上特征的语言学门类是词汇学,逐词描写其特征的是词典。

### 語彙 ゴイ 词汇

【解释】一种语言,或在一种语言范围内,一个民族、集团、行业、地区、方言、作品以及个人所使用的词的总体就是词汇,日语亦写“語囀”。如:日语词汇、关西方言词汇、《万叶集》的词汇。

把所有单位按一定性质加以排列即成词汇表。如:五十音图词汇表(如一般的语文词典)、使用频率词汇表、分类词汇表。

在个人词汇中,有一部分能听懂看懂,而在说和写时不会运用,我们称为理解词汇。也能在说和写时加以运用的是使用词汇。显然,使用词汇是理解词汇中的一部分。理解词汇中使用词汇越多,一个人的语言能力就越高。

【词汇量】词汇中所包括的词的数量称为词汇量。比如,几种主要辞典的词汇量是:「言海」39 000、「岩波国語辞典」57 000、「明解国語辞典」66 000、「学研国語大辞典」100 000、「広辞苑」200 000、「大日本国語辞典」190 000、「日本国語大辞典」400 000、「大辞典」750 000。据林四郎的调查,日本人个人词汇量如下:6岁(小学入学)6 000、11岁(小学毕业)20 000、14岁(初中毕业)36 000、20岁(成人期)48,000。

【分类】因词汇性质复杂,需要根据各种目的从不同角度来分类。

1. 根据词义性质分类。如「分類語彙表」(如:体言类→抽象关系→时间→早晚)、「分類方言辞典」(如:天地星辰季节气候、男女老幼、行动性情、时间场所等)、「和名類聚抄」(收有古语)。

2. 根据词籍分类。如:固有词(和語)、音读词(漢語)、外来词(外来語)、混合词(混種語, creole或hybrid word)。



3. 按地区的语言特点分类。如：关东方言、东北方言、近畿方言、中国方言、九州方言、冲绳方言。

4. 根据语言主体划分。如：男性语、女性语、老人语、幼儿语、学生语。

5. 根据使用频率和必需性的高低来分类。如：基本词汇、基础词汇等。

6. 根据社会功能分类。如：学术用语、隐语、阶级语。

7. 同时根据词义和语法作用及形态特征划分的。如：名词、动词、体言。

8. 按词的结构特点划分。如：单纯词、合成词（派生語、複合語）、省略词（略語）、混成词（混成語）等。

【日语词汇的主要特点】 1. 词汇量多、词籍复杂。日本人用不同词籍的词表示细微的语义差别和文体区别（文章语、口头语）、待遇上的区别等等。比如：和语“やど”、汉语“旅館”、外来语“ホテル”构成一个类义词体系。这是词汇量大的一个原因。

2. 同音词多。这主要是语音结构简单、词汇量大这两个原因造成的。不论是和语、汉语还是外来语，同音词都很多。如“キコウ”代表几十个词。在书面语言中，这些同音词的一部分可用不同汉字、不同假名（平、片）加以区别。

3. 情态特征很普遍。拟声拟态词是用主观感觉表示客观性状，而感叹（助）词专门表示感情感觉。更主要的是，许多类义词（包括敬语方面：いう、おっしゃる、もうす）是靠感情色彩区分的，如：妻、家内、女房、細君、奥さん、ワイフ、かかあ。不过，在感觉方面分化不细。如“からい”有“咸”、“辣”两义，“あまい”有“甜”、“淡”两义。

4. 有关鱼、鸟、虫的动物名、各种植物名、有关地形的词汇丰富，而牧业、矿物、天文等方面的词汇贫乏。这与日本的地理、气象、历史等条件和环境有密切关系。例：英语的cow（母牛）、ox（公牛）、calf（牛犊）在日语中都用“うし”表示，要表现上述区别就要用复合词。相反，一部分鱼类（“出世魚”）根据成长阶段不同有不同的称呼，如：オボコ→イナ→ボラ→トド。

### ご～いたす

动词的谦让语形式之一。中间插入サ变动词词干。（“電話する”等少数词用“お～いたす”，见另项。）接于与对方有关的自己（一方）的动作行为的动词，表示该动作行为为对方而做。谦让程度高于“ご～する”。

①ご案内いたしましょう。／我来给您当向导。②私どもは、深くご感謝いたします。／我们谨表深深的谢意。③つぎの時間にご説明致してもよろしいですか。／下次再解释可以吗？

“ご”常常省去。

⇒ご～する、お～いたす。

### 語彙論 ゴイロン 词汇学

【解释】语言学的一个部门。指对于词汇的系统的理论研究，与语音学、语法学相对。单词具有语法和词汇的双重性质。语法性质就是构成句子时的各种规律和变化规律，这是语法学的课题。而词汇性质就是作为现实的反映的词义的特征和结构特点等，这是词汇学的课题。

日语词汇学是一门后起的学科。有关专题的研究始于大正、昭和初，但全面的系统的研究则刚刚开始，目前主要著作有宫岛达夫等著的「語彙教育」、田中章夫的「国語語彙論」、佐藤喜代治的「講座日本語の語彙」（全11卷）、玉村文郎的「語彙の研究と教育」（上、下）等。

【体系】词汇学的体系尚未固定，到目前为止主要有以下方面的研究：词汇体系（語彙体系論）、统计词汇学（計量語彙論）、基础词汇（基礎語彙論）、语籍（語種構成論）、社团词汇学（位相語彙論）、对照词汇学（対照語彙論）、历史词汇学（歴史語彙論）、应用词汇学（応用語彙論）、词典学（辞典論）、语义学（意味論）、构词学（語構成論）。

### 口語 コウゴ

日语“口語”一词有多种意义：

1. 与书面语言相对立的口头语言。这个意义可用“話し言葉”替代。

2. 指写出来的口头语言。如说“文言主要反映平安时代的‘口語’”中的“口語”是第1个意思，而“口語文”中的“口語”是第2个意

思。

3. 现代日语（現代口語）即白话，与文言（文語）相对。

现代日语中的口头语言和书面语言，差别甚小，因而用“口语”来统称它，并与口头语言和书面语言有差别的“文言”相对立起来。

口語体 コウゴタイ 口语体

因“口语”一词多义，口语体也有“与书面语言相对立的口语文体”和“以现代语法为基础的文体”的两种含义。通常所说的口语体指后一种含义，与以文语语法为基础的文言体相对，亦称“言文一致体”。

口语体和文语体的主要差异表现在助动词、副词、接续词和活用词的活用上，尤其是句末助动词だ、である、です、であります是口语体区别于文语体（なり、たり、そうろう）的根本标志。

根据句末助动词形式不同，口语体进一步划分为常体（だ体、である体）和敬体（です、ます体、でございます体）。常体多用于小说、论说文等文章中，であります体多用于演讲，故称“講演体”。でございます体亦称最敬体，除书信文外，一般不用。

口语体成立于明治年间，具体情况如下。

西周、加藤弘之确立了でござる体，二葉亭四迷确立了だ体和体言结句、ので结句。山田美妙确立了です、ます体。尾崎紅葉确立了である体。嵯峨尾御室确立了であります体等。

口語文 コウゴブン 口语文

以口语体写成的文章称口语文。口语文以现实的口头语言为基础，但因口语文是一种书面语言，具有与口头语言不相同的特点。

1. 文章结构严密，文脉贯通，没有口头语言那样的结构松散、文脉跳跃等现象。

2. 口语文可以である体结句，而口头语言中不能用此种文体。

3. 口语文中不能用口头语言中极常用的感叹词（如ねえ）、插入语（如エート）以及方言（如わかんべえ）、俗语（如ちゃいけない）、讹音（如わかんない）。

由此可见，口语文反映口语，但不等于就是口语，而是把口语（口头语言）加以整理和加工的书面语言，以当时的最规范的文章形式为其典

范。

平安时代的和文文章以当时的口语为基础，可视为当时的口语文。但后来由于汉文化的强烈影响，言文分离，文言文用于公务、学术，口语文只用于故事、日记、通俗小说中。

现代口语文成立于明治年间的言文一致运动中。二葉亭四迷、山田美妙等现代作家的言文一致体小说对于口语文的成立和发展起了先导作用。到明治30年代，小学教材促进了口语文的普及和发展。这个时期，小说的口语化也基本完成。到了大正年间，报纸上的社论也用口语体发表，从政治上，社会舆论上推动了口语文的普及。战后，“日本国宪法”和各种法令、公用文全部用口语文写成。至此，口语文完全确立，成为现代日语的基本文章形式。文言文只用于和歌、俳句等个别的传统文学形式中。

#### 口語文法 コウゴブンポウ 口语语法

【解释】有两个意思。

1. 在教学语法中与文言语法相对的语法，即现代语的语法。
2. 专指口头语的语法。包括现代的口头语和过去某时代的口头语。

上面的第1个意义是常用的，以下都是对此而言。因为现代日语基本上言文一致，所以口语语法包括口头语和书面语语法是当然的。又因一般所说的现代日语指共通语，所以口语语法一般指的是现代日语共通语的语法。

直到昭和初年，日语的教学语法只教授文言语法。桥本进吉的「新文典」、「新文典別記」奠定了口语语法的基础。战后，由于实用主义思潮的影响，口语语法占绝对统治地位。

【特点】和文言语法相比，口语语法主要有以下特点。

1. 助词助动词数目减少，每个词的用法更明确简便，而且出现了许多语法词组，以补充助词、助动词的不足。如，文言推量助动词べし、めり、む、らむ、まじ中，在口语中继续使用的只有む和まじ的变体う和まい。新出现的语法词组有かもしれない、だろう等等。

2. 活用种类减少，活用形数目有变动，各形分工进一步明确。文言动词有九种活用，口语中合并为五种。形容词的未然形和命令形消失，



终止形和连体形变为同形。未然形的假定用法由已然形（假定形）代替行使。动词连体形一般不能作准体言，需要加の才行，如：春の来るのを待つ。

3. 句法方面，除“係り結び”不复存在外，句子成分更明确化了。表现如：ガノ分工，主格、宾格助词普遍使用，疑问助词一律出现于句末。同时，由于表达复杂思想的需要，往往出现句子结构过分臃肿的现象，书面语尤其如此。

### こうして

〈副词〉1. 表示说话时正做出、采取的方式和状态。

①こうしてよく立ちなさい。／就这样好好站着吧。②こうしていればきっとよくなるだろう。／这样持续下去，（病）一定会好起来的。

2. 表示下面要讲到的方式、状态。

①学校ではこうして下さい。まず，……。／在学校你要这样做：第一，……。

〈接续助词〉位于句首，指代上一句或一段话的事实或状态，以引起下文。同文言的かくて。

①入浴も一般の犯人とは別の浴場へつれていかれた。こうして政治犯が一般の犯人とまじわる機会は全く失われていた。／洗澡也被带到与一般的犯人不同的浴池。这样，政治犯就完全失去了和一般的罪犯相接触的机会。②翌日からただの水さえ吸わなくなった。こうして死に近づいて行った。／从第二天起，连水都不喝了。就这样一步步向死亡走去了。③こうして，博士はようやく一匹のシーラカンスを見つけた。／就这样，博士终于找到了一条空棘鱼。④こうしてゼロはプラスの数でもなければ，マイナスの数でもないのである。／综上所述，零既不是正数也不是负数。

【参考】该词由副词こう和形式动词する的连用形、接续助词て结合而成。同类形式（こうする的变化形式）有こうすれば、こうすると、こうしたら等，均表示条件。

①こうすればいいですか。／这样做就可以了吗？

構造言語学 コウゾウゲンゴガク 结构（主义）语言学

结构语言学并不是对于某一语言学家的语言理论而命名的，它泛指把语言看成结构体的所有语言学理论。结构语言学的创始人是索绪尔（F. de Saussure），后来发展为布拉格学派（プラグ学派、プラハ学派。代表人物：特鲁别茨柯依（V. S. Trubetzkoy）、雅可布逊（R. Jakobson）等）和哥本哈根学派（コペンハーゲン学派，代表人物：叶姆斯列夫（L. Hjelmslev）等）。而现在所说的结构主义语言学通常指以布龙菲尔德（L. Bloomfield）和萨皮尔（E. Sapir）为代表的美国结构主义语言学（アメリカ構造主義言語学）。战前，日本的有些语言学家（如桥本进吉）受了索绪尔的古典结构主义理论的影响，战后才开始接受了美国结构主义语言学的一定影响。

结构主义语言学认为，语言是由互相联系的语言单位构成的统一体，有一定的内部结构系统。它不规定任何语言模式（如拉丁语），而是客观地描写不同语言的现实特征，因此有人称之为描写语言学（記述言語学）或共时语言学（共時言語学）。

结构主义语言学直接把口语（而不是书面语）作为研究资料，而这种资料又是直接从实地调查中的发音合作人（インフォーマント，informant）那里获取。

结构主义首先在语音学领域取得了成果，如：国际音标的制定，音位学的创立。

在语法方面主要着眼于词的结构和句子结构的分析，创立了形态学（形態論，morphology）和句法学（構文論，syntax）。其中在句子分析的方法上，威尔斯（R. Wells）提出了直接成分分析法（直接構成要素分析，IC分析）。从桥本的句节、连句节分析法也可以看到与该法的联系，目前转换生成语法中所用的树形图（樹形図，tree diagram）是对该法的直接继承。弗里斯（C. C. Fries）根据词在句中的分布来规定词性，并根据词的排列方式来归纳句型，他的理论早已被广泛应用于外语教学。

结构主义语言学强调客观观察，但又拒绝语义分析，采用机械的归纳法，因而最终成了形式主义的语言学。时枝诚记的语言过程说及其语法、乔姆斯基的转换生成语法等都是为了克服这一严重缺点而产生的。

## 後置詞 コウチシ 后置词

语法学术语。后置词 (post-position) 和前置词即介词 (前置詞, preposition) 相对。前置词在句中置于它所支配的名词之前, 故名, 如汉语的“在工厂”。后置词置于它所支配的名词之后, 如日语的“工場で”。

【日语的后置词】广池千九郎曾把が、の、に、を、と等助词称为后置词。

铃木重幸的后置词和以上看法不同。由于他把助词看作名词的词尾, 如“私が、私を”分别是“私”的主格形式和宾格形式, 助词不再是词。他的后置词指通常所说的助词后的补助动词 (的某一活用形) 部分。如, 在“中国における近代化/中国的现代化”中, “中国に”是名词 (に格), “おける”就是后置词。他认为后置词不能作句子成分, 是在与名词 (他所说的名词) 或相当于名词的词语结合起来, 表示该名词与其他词的关系的过程中发达起来的补助性单词, 地位与印欧语中的前置词相当。他的后置词分连用的和连体的两种, 见下表。

名词 \ 种类	连 用	连 体	连 用	连 体
に 格 (戦争に)	おいて	おける	ついて	ついての
	つき	○	とって	とっての
	むかって	むかっの	よって	よる
	対して	対する	関して	関する
と 格 (私と)	して	しての	いっしょに	いっしょの
	ともに	○		
を格 (手を)	めぐって	めぐっの	もって	

以上词语都是由动词终止形、连用形或副词转成的。这种转化并没有彻底完成, 所以以上后置词同原来的动词活用形之间往往没有严格的

界限，很多时候怎么看都可以，如：～をめざして、～をめがけて。这方面的进一步整理、研究还有待今后。

永野贤把として类以及からには、だけに、ではないか、なければならぬ、にちがいない类称为“複合辞”。

教学语法中上述后置词被作为词组处理，如“にとって”就是一个词组。

#### 膠着語 コウチャクゴ 粘着语

德国的施莱赫尔 (A. Schleicher) 按语言的形态特征划分的语言类型之一。这种语言的语法关系靠在实义词后面层层添加非实义词来表示。粘着语的单词分为实义词和虚义词两类，虚义词和屈折语单词的屈折部分一样，专门表示语法关系，但是有形态和功能上的独立性，能够从词组中加以分离。粘着语的粘着性就表现在虚义词上。

日语单词具有很强的粘着性。助词、助动词、补助动词等很发达，用言的屈折性也主要是为了后续词而产生的，亦即为了粘着而屈折的，所以日语属于粘着语。

私が子供にご飯を食べさせ始めた時，玄関で人の声がしました。

粘着性是乌拉尔·阿尔泰语系的共同性质。因日语、朝鲜语都是粘着语，有的学者把这作为日、朝语属于乌拉尔·阿尔泰语系的一项理由。

#### 合文 ゴウブン 条件复合句

山田语法术语。根据句子结构特征划分的句子种类之一，复句的一种。指把两个“句”（相当于分句）用接续助词连接起来而成的句子，前一部分称“伴句”，后一部分称“主句”，分为以“述体句”为伴句的（例①～例③）和以“唤体句”为“伴句”的（例④～例⑤）两类。

①天氣がよかったので，朝六時に起きて外に出た。／因为天气好，早晨六点钟就起床到外面去了。②月清けれども，風涼しからず。／月洁而风不爽。③そんなにくやしいなら，もう一度やりなおしなさい。／你那样窝心，就再试一次。④あんなににくらしいもの，がまんができません。／那样可恨嘛，真受不了。⑤そうはいうものの，本人とけんかするわけにもいかない。／说是那样说，又不能和他本人吵架。

#### 構文論 コウブンロン 句法、句法学



【解释】相当于syntax，又称“統語論、文論、シンタックス、統辞論、連語論、文章論”。

句法以句子为研究对象，和词法并列为语法的两大门类。句法研究句子中词的排列、句中词与词之间关系的表现方式，等等。

【日语的句法】日语的句法研究有自己的传统，主要内容可分为以下三点。

1. 研究句子的本质。即弄清句子到底是什么，句子是如何成立的。中心问题是“陳述”（见另项）。

2. 研究句子的结构。包括句子的构成方式、句子的成分、句子成分的性质和功能。

3. 研究句子的种类。即根据句子的性质或结构对句子进行分类。

现代日语语法自大概以来，一直以词法为轴心。现在一般认为，语法应主要以句子为研究对象，以句子为主要语言单位，词法研究最终要归结为词与词的组合过程的体现方式。对此有桥本进吉的“係り受け論”和“文節論”、时枝诚记的“入子型構造”以及转换生成语法的解释，但至今没有令人满意的结果。可以预料，句法将是今后语法研究的最主要课题。

#### 呼应 コオウ 呼应

【解释】指如果句子的前面出现某个词语，后面就相应地出现另一个特定词语的现象。这是句子连续性的一种特殊表现。

呼应在各语言中广泛地以各种方式存在着。如俄语和许多印欧语中，句中不同部分之间性、数、格的一致，人称和时态的照应；汉语中成对使用的连词，等等。

【日语的呼应】广义地说，日语的呼应包括：主谓、动宾的搭配，接续（助）词的连接作用，敬语名词和敬语动词的一致性，时间名词和时间助动词的一致，动词的态和助词的一致，系结现象等等。日语中首次运用呼应理论的大槻语法及后来的时枝语法中的呼应均指广义的呼应。

现在一般认为，把呼应理解得如上述那样广泛就失去了存在的意义，一般把呼应限制在与陈述或词和词之间的比较固定的搭配上。

1. 陈述副词和谓语中陈述词的呼应关系。

①決して許すまい。／我決不容許。②まるで地獄のようだ。／簡直象地獄。③たとえ男でも涙を零さずにはいられないだろう。／即使男子漢也禁不住流淚的。

## 2. 提示助词或副助词和谓语陈述词的呼应。

①誰もいない。／谁都不在。②弁償するほかにしようがない。／只有賠償。③一つしか残っていません。／只剩下一个了。④目をつぶったきりあかなかった。／闭上眼睛再也没有睁开。

## 3. 副词（包括副词形）和助词之间的呼应关系。

①たった三人だけパスできた。／只有三个人得以通过。②ちょうどのぐらいだ。／就这么大（长）。③どんなにもがいてもだめだぞ。／你怎么挣扎也不行啦。

## 4. 助词和助词之间的呼应关系。

①行けば行くほど目的地から遠くなる。／越走距离目的地越远。②30年ぶりに再会した両親を前に，のどがつまった。／面对着阔别了30年的双亲，喉咙哽咽了。③雨さえ降らなければ山登りに行く。／只要不下雨，就登山去。

## 5. 其他。

①たいしたことはない。／没什么大不了的事。②いいえ，そうではありません。／不，不是那样。③おい，早く来いよ。／喂，快来呀！

搭配关系十分固定的惯用词组中的成对使用形式也可看作呼应。

①来ようが来まいが構うもんじゃない。／来不来我都不管。②痛いの痛くないのとだだをこねる。／一会儿说疼一会儿说不疼地磨人。

呼格 コカク 呼格

普通语言学术语，格的一种。和其他的格不同，呼格不是名词和动词之间逻辑关系的类型，而是人名或事物名等名词用于招呼、呼唤时的形式。日语既无名词变格，又无呼格助词，所以没有呼格。但山田孝雄等人从意义出发，把名词借助终助词或特殊语气表示招呼、呼唤的用法称为呼格。山田还把由呼格构成的句子称为“喚体の文”。见“述格”项。

語幹 ゴカン 词干

【解释】指活用词中不变化、不接续后续词的部分，如：よむ（よまない、よみます……）、おきる（おきます、おきると……）。和词尾相对。形容词除“い”以外，形容动词除“だ”以外是词干。对一段动词来说，终止形倒数第二个假名虽然不变化，因为有接续作用（おきます、たべます），所以也算词尾，这以前的才是词干。这样，只有两个假名的一段动词如みる、える等实际上没有词干，通常说法是：“词干词尾不分”，或“具有零词干即融合于词尾中的词干”。“くる（カ变）”和“する（サ变）”也同样只具有零词干。

各种动词、形容词、形容动词的词干的认定方式大体如上所述，参见“五段活用動詞”、“形容詞”等各项。

【参考】1. 铃木重幸等人把活用词组整个看作一个词，如：見ない、見よう。认为“ない、よう”之类是接尾辞和词尾，其余是词干。等于说包括活用形词尾在内的部分都是词干。

2. 词干是根据日语用言的活用特征而认定的，和构词法讲的词根（語基）不同，见另项。

⇒活用語尾

国字 コクジ 国字

又称“和字”、“倭字”，有以下几种概念：1. 一国语言的正式文字，如日语的假名、汉字（罗马字不是）。2. 指日本特有的文字即假名（汉字不是）。3. 日本自造的汉字（来自中国的不是）。通常所说的国字指第3种。

国字主要是按会意的原则造成的，因此多数只有训读，少数用形声原则造的字有音读。由于动植物名改用片假名书写，绝大多数国字已不正式使用，但有些字仍经常出现在人名、地名以及日常用语中。常用汉字表中就收有“榨”（サク、しぼる）、“働”（ドウ、はたらく）、“畑”（はたけ）、“込”（こむ）、“峠”（とうげ）等字。其中“働、畑”及表外字“辻、腺”已被中国的辞典所收。此外常见的国字有：胤（たこ）、匂（におう）、冨（こがらし）、襷（たすき）、杣（そま）、躰（しつけ）、俤（おもかげ）、畠（ハク、たた）、磨（まる）、辻（すべる）、笹（ささ）、粃（もみ）、雫（しずく）、杳（モク）、井（どんぶり）、鉾

(ビョウ)、虱(なぎ)、櫛(さかき)、櫛(かし)、鰯(いわし)、鰯(たら)。

因这些字常出现于人名、地名中，不可避免地遇到如何用中文读音的问题。一般作法是从形声的角度读其声符，如：辻 shí、笹 shì、櫛 shén、鰯 xuě、畑 tián、辻 yī。“働、鋳”等也是按形声来读的。合字要拆开，如“曆、桑”要分解为“麻吕、久米”。“峠”有人认为应读 lǐng (岭)。“匂”由“韵”的右旁“匀”演变而成，可读 yùn。

### ご～くださる

动词的尊敬语形式之一。中间插入サ变动词词干(例③除外)。表示命令(例①)、劝说(例②)、请求(例③)、受惠(例④)等，中心意思是：话题人物(第二、三人称)的动作行为对说话人有益处或有关连。敬意程度高于ご～なさる。

①ご(お)返事ください。／请给以答复。请回信。②適当にご決定下さっていいと思います。／我认为您可以适当地作出决定。③ご信じ下されば，うけもつことにします。／如果您相信了，我就承担(这项工作)。④校長先生が作文をご覧下さって子供らの喜びはひとしおだった。／校长看了作文，孩子们格外高兴。

可用于此形式的词还有某些一段动词(来自サ变，如例③)。

词例：安心、案内、依頼、一任、英断、回答、期待、許可、決定、使用、就任、釈放、出発、助力、推薦、成功、説明、多用、提供、努力、納得、表明、返却、保存、訪問、命名、用意、覧、案じ、信じ。

不存在“サ变词干+くださる”形式，如“※安心ください”。

⇒お～くださる、くださる。

### 語形変化 ゴケイヘンカ 词形变化

指单词语音(音形)的变化现象。日语中有两种情况。

1. 活用。详见“屈折”“活用”等项。这是最普通的词形变化。

2. 在构成合成词或句节时发生的词形变化。

1) 构成合成词时。在构成复合词、派生词时，往往发生语音添加、脱落、同化等语音变化，从构成要素来看，可看作一种词形变化。



ふね→こぶね、ふなのり

あめ→あまやどり、はるさめ

2) 构成句节时。如“読んだ、読んで、読んだり”中的“だ、で、だり”可看作“た、て、たり”的词形变化。这种受元音脱落和同化作用产生的临时性的词形变化既不同于活用，也不同于构词法中的词形变化即1)。

### 語構成 ゴコウセイ 构词法

【解释】构词法有两种含义，一是研究该词怎么形成的，称“造語論”(造词法)，一是研究该词有何种结构，称“構造論”(暂译“结构学”)。二者是过程和结果(历时和共时)的关系，在很大程度上是一致的。不同点在于，造词法比结构学研究 的范围更广，比如单纯词在结构学方面已无法继续研究，但在造词法方面所有词都存在如何产生的问题。“語構成”通常指结构学。

结构学具有双重性质。一方面，词的内部结构一般只是词汇学问题，不影响句法功能，如：わたし和わたしたち结构不同，但语法功能相同。另一方面，它又建立起与语法体系类同的结构体系，并应用语法术语来描写。如，“人出”是主谓结构的复合词。

实际上，结构学和语法学有时难以划清界限，存在着中间地带。

①よめにもらい手がない。／没人娶。②面白い本を買いたさにお金を全部使ってしまった。／由于想买有趣的书把钱全花光了。③頂上めがけて山高くまで登っていく。／朝着山顶向高山上攀登。

【构词类型】构词的单位是词素(形態素)，又分为自由词素(自由形態素)和粘着词素(非自由形態素)。自由词素可以单独构成一个词，称为单纯词或根词(単純語)，如：やま、みち；也可以与别的词素结合为复合词(やまみち)或派生词(やまべ)。而粘着词素只能和其他词素(通常只能和自由词素)结合成派生词。复合词和派生词统称合成词(合成語)。一个词改变其原来的词性从而成为另一个词，称为转成词(転成語)。

【构词中的语音变化】部分合成词等发生如下的语音变化。

1. 连浊。例：はぐるま、さびどめ、こぼね、あまざけ、かけざん。

2. 元音交替。例：あまがさ（←あめ）、まぶた（←め）、こかげ（←き）、しらほ（←ろ）。

3. 重音的改变。例：はるかぜ（←はる、かぜ）、まごころ（ま、こころ）。

4. 音读词中有促音化现象和拨音、促音后的ハ行音半浊音化现象。例：がっこう（学校。←ガク、コウ）（〜ク、〜キ的促音化只发生在カ行假名之前）。はったつ（発達。←ハツ、タツ）、はっさん（発散。←ハツ、サン）、はっき（発揮。←ハツ、キ）、はっぴょう（発表。←ハツ、ヒョウ）（〜ツ的促音化只发生在カ、サ、タ、ハ行假名之前）。えんぴつ（鉛筆。←エン、ヒツ）、しっふう（疾風。←シツ、フウ）（ハ行的半浊音化只发生在拨音、促音之后）。

⇒複合語、派生語、転成語

ございます（御座います） 〈助动词性词组〉

由文言敬语助动词 ござる 的连用形ござりの音便形ござい后接ます而成。现代日语中可作一敬语动词，属于郑重语。ござります为旧说法。

【活用】同ます，特殊型。

基 本 形	未然	连用	终止	连体	假 定	命令	推 量
ございます	～ませ	～まし	～ます	～ます	～ますれ	○	～ましょ

1. 未然形。后续ぬ（ん）表示否定。

①お怪我はございませんでしたか。／您（他）受伤了没有？

2. 连用形。后续た、て等。

①それはようございました。／那很好。②何かご用でございましたら，どうぞ遠慮なく。／您如果有什么事，请只管说。③お伺いしたいことがございまして，まいりました。／我来是有事要向您请教。

3. 终止形。单独或后续か、ね等结句。

①お伺いしようございます。／我想去拜访您。②よいお天気でございますね。／今天天气真好。③あちらに見えるのは国会議事堂でござい

ますか。／那里能望到的就是国会议事堂吗？

4. 连体形。后续体言性词，不常用。

①鮮やかでございますこと。／多鲜艳啊！

5. 假定形。后续ば，但一般不用，常以～ましたら代替。

①先生でございますれば，どうなさいますか。／如果您是，您会怎么办？

6. 推量形。后续う，表示推量。

①今日も暑うございましょう。／今天也准是个热天儿。

【接续】1. 接形容词（型助动词）连用形～く后，肯定形式一般产生う音便。

①新年おめでとうございます。／新年好！②この程度でよろしくございませんか。／您看这个程度行不行？③さぞ楽しくございましょう。／想必很高兴吧。④近いうちに，お便りしとうございます。／我这几天就想给他去信儿。

2. 接形容动词（型助动词）连用形后。

①海はおだやかでございますね。／大海真平静啊。②お子さんは三人でございましたね。／您有三个小孩，是吧？

3. 接动词连用形（音便形）加て后。

①今日はお嬢様のお雛様が飾ってございますから，お遊びにいらっしゃいまし。／今天我家摆设了女孩儿偶人儿，您来玩儿吧。

【意义】构成一种文体でございます体，比です、ます体更郑重。

1. 作实义动词ある的郑重语形式。

①古い本で見たいものが沢山ございます。／有许多旧书我想看。

2. 作补助动词ある的郑重语形式，见接续的2、3。

3. 作形式动词，见接续1。除否定形式可换成ありません外，其他情况下一般不能换成あります。

【参考】1. 时枝语法中被看作“指定の敬讓助動詞”。另一些人认为是补助动词，不过是补助动词ある的郑重语形式而已。

2. 另有ござあます、ざあます等变体，用于东京上流阶层的妇女中。

### ござんす 〈助动词〉

ござります经语音变化而成，用法同ございます。サ变活用。现已基本不用。

#### 1. 实义词ある的郑重语。

①こればかりござんす。／就有这些。

#### 2. 补助动词ある的郑重语。

①生まれは関東でござんす。／出生在关东。②お待遠でござんした。／让您久等了。

### 五十音図 ゴジュウオンズ 五十音图

【解释】即日语的字母表。按横向元音相同，竖向辅音相同的方式构成。横排称“段”，竖排称“行”，分别以段和行的第一个字母命名，称作“ア段、イ段、ウ段、エ段、オ段”、“ア行、カ行、サ行、……ワ行”等。过去一般用片假名书写五十音图，全部由清音构成，因此又称清音表。

ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	行	段
行	行	行	行	行	行	行	行	行	行		
ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	ア	段
キ	リ	イ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	イ	段
ウ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	ウ	段
エ	レ	エ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	エ	段
ヲ	ロ	ヨ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	オ	段

因イウエ重复出现，实际假名数为47个。现在的清音表将ヤ行中的イエ、ワ行中的ヰエ去掉，另补拨音ン，独占一行。

五十音图反映早期的音位系统。后来，由于浊音、半浊音、拗音等的形成，原有的五十音图也得到了如下补充。



半浊音表

パ行
パ
ピ
プ
ペ
ポ

浊音表

バ行	ダ行	ザ行	ガ行
バ	ダ	ザ	ガ
ビ	ヂ	ジ	ギ
ブ	ヅ	ズ	グ
ベ	デ	ゼ	ゲ
ボ	ド	ゾ	ゴ

拗音表

リャ	ミャ	ヒャ	ニャ	チャ	シャ	キャ
リュ	ミユ	ヒユ	ニユ	チュ	シュ	キュ
リョ	ミョ	ヒョ	ニョ	チョ	ショ	キョ

ピャ	ビャ	ヂャ	ジャ	ギャ
ピュ	ビュ	ヂュ	ジュ	ギュ
ピョ	ビョ	ヂョ	ジョ	ギョ

但以上的补充表仍不能包括现代日语中的全部音拍，特别是特殊音，如：长音（包括拗长音）、促音、ガ行鼻音、日语化了的外来音（如：ファ、ティ、ツァ）及方言音。所以，近年来出现了各种形式的五十音图。不过，这些都未能取代原有的五十音图。五十音图仍保持着字母表而不是发音表的特点。

【意义】1. 按发音规律排列，因此在一定程度上可作为发音表，比只能作字母表的“いろは歌”前进了一大步。

2. 对语音史研究有一定参考价值。如,从排列规律上看,チ和ツ的发音原来可能是〔ti〕和〔tu〕,再加上方言方面的证据,这个推测就是很可靠的。

3. 便于掌握语音变化和活用规律。如“アメ”和“アマグ”、“ケムリ”和“ケブリ”等语音交替现象可从五十音图上得到解释,动词活用词尾的变化规律和五十音图的排列有一致性,因而便于掌握。

4. 作辞典、索引、目录等的排列顺序。称“五十音順”或“アイウエオ順”。排列时,浊音排于清音后,如:ハ→バ→パ,拗音排于直音后,如:ジュウ→ジョウ,促音排于非促音后,如:かつて→かって。

【参考】关于五十音图的制定根据众说不一,有本居宣长、大矢透的梵语说,有桥本进吉、山田孝雄的汉字反切说,有马渊和夫的韵组图与梵语共同影响说等。

#### 語順 ゴジュン 语序、词序

【解释】音素、音节、词素、词、句子成分、句子等各种语言单位在比其更大的语言单位中都呈现一定的序列,构成语言的线条性。词和句子成分分别在句子成分和句子中按一定顺序先后排列的语法现象称为语序。

语序是造句的语法手段之一。其作用在不同语言中表现也不同。汉语和英语词的语法形态不发达,因而语序在造句过程中起着决定性作用,语序相当固定。“太郎打花子”和“花子打太郎”截然不同,“Taro beat Hanako”和“Hanako beat Taro”截然不同。而在日语中,词的形态变化很发达,造句中起主要作用的是活用和格助词,因而语序要比汉语、英语自由得多。日语“太郎が花子を殴った”和“花子を太郎が殴った”基本相同,俄语的情况也是如此。

语序比较自由的语言多用语序变更表示句义重点的转移和特殊语气。如“きょう桜が咲き始めた”和“桜がきょう咲き始めた”,句首的成分“きょう”和“桜が”分别是表达的重点。又如“走れ,メロス。/跑呀,梅洛斯!”和“出かけよう,たった二人で。/出发吧,就我们两个人。”中的倒序,起到了加强命令和劝诱语气的作用。

一种语言的语序指的是该语言通常的语序即正序。另外,倒序和其他自由语序对学习和研究也很重要。

【句节内部的语序】句节中的语序是先独立词后附属词。如：そこに長くいらしたんですか。／您在那儿住了很久吗？

如果独立词后的附属词是一个以上，互相之间也有一定的语序。但是某些副助词和格助词重叠时语序较自由。如“あなたにだけ言っておく。／只告诉你。”等于“あなただけに言っておく”。

助动词的重叠也有一定语序。详见“助动词”项。

【句子内部的语序】1. 主题部位于句首，谓语位于句末。

①月球は地球の衛星である。／月球是地球的卫星。

2. 主语和连用修饰语句节位于谓语前。连体修饰语句节位于被修饰的体言性句节之前。

①お客さんが来ています。／客人来了。②白い花が咲いた。／白花开了。③暖かい日は、甲州の山が雪ながらほのかにかすむ。／在暖和的日子里，甲州的山虽然有雪仍旧薄雾迷离。

3. 接续语、独立语位于句首，先于主题。但现在受英语的影响接续语也出现于句中。

①ああ，なんと悲しいことだろう。／啊！多么悲伤（的事）啊。②十月一日，この日は我が国の建国記念日です。／十月一日，这一天是我国的国庆节。③貧乏きわまる。しかし，工女たちは案外樂觀である。／极度贫困。可是女工们却出人意料，很乐观。④貧乏きわまる。工女たちは，しかし案外樂觀である。／同上。

4. 作补助成分的句节位于实意用言之后。

①こわしてしまふ。／弄坏。②赤くなる。／变红。③説明をていねいにする。／详细说明。

5. 连体或连用修饰语是一个以上的时候，如果互相之间是并列关系，语序是比较自由的。如下例划线部分：

①あの僕の光る新しい靴。／我的那双光亮的新鞋。②昨日ひさしぶりに京都から植木さんが来た。／植木先生隔了好久，昨天从京都来了。

但是，即使是并列关系，也有一定的规矩。一般是：越是表示本质属性的修饰语（亦即和被修饰词本身的语义有关联）越接近被修饰成分。如上例①，就鞋来说，新旧是比归属更本质的属性，所以“僕の新しい

靴”比“新しい僕の靴”更自然。例①、②中现在这样的顺序是最常用的。

如果一个以上的修饰语不是处于同一个层次上，就不能调位。如下例①，“白い”修饰“花”，而“あの”修饰整个“白い花”，并不和“白い”并列。例②虽也可调位，但哪一个在前，它就修饰以下的所有三个句节。

①あの 白い花。／那朵白花。②万年筆で字を書いている。／在用钢笔写字。

修饰语之间经常存在着非常复杂的前后、因果、呼应、矛盾等语义关系。这时不能调位。

①エスペラントは私の習った三番目の言語である。／世界语是我学过的第三种语言。②一目見た，そしてすぐ分った瞬間～。／就在我看了一眼，并且马上就明白了的那一瞬间～。③ゆっくりと，しかし，しっかりと進んでいる。／缓慢然而扎实地前进着。

关于名词性连用修饰语之间的语序，佐伯哲夫的统计调查的结果如下：

位格（何時に）→位格（何处で）→主格（誰が）→与格（誰に）→对格（誰を）→（谓语）（何かする）。

①昨日学校で私は先生から教科書をもらった。／昨天在学校跟老师要了教科书。

ご～する

动词的谦让语形式之一。另有ご～いたす形式，谦意更高。原则上中间插入サ变动词词干（多音节者）。用于说者或说者一方为尊敬的人所作的动作、行为、状态。

①私からご説明しましょうか。／我来说明一下吧。②私たちはみんなご支持します。／我们都支持。

词例：案じ、計算、採用、支持、贈呈、貸与、追悼、配慮、返済、保証、無心、明示、黙認、郵送、予約、利用、列席。

不能看成是“ご”放到サ变动词前构成的，而要看成サ变词干起着其他动词的连用形的作用。因此，更不能由此推导出“お”加动词的形



式（如：※お書く）。能说“ご案内する”而不能说“※ご案内する”也是根据这个道理。

⇒お～する、ご～いたす。

こそ 〈提示助词〉

【接续】1. 接体言（性质的词组）后。

①私こそご無沙汰いたしました。／是我久疎问候了。②今度こそよくするんだ。／这回一定要认真做。③よく勉強することこそ，学生の本務である。／好好学习才是学生的本职。④僕のなんてだめだよ。君のこそ出すべきだと思うな。／我的根本不行。我认为应该拿出你自己的。

2. 接接续助词ば、から、て和格助词（が除外）后。其中，格助词が、を与こそ重叠时常略去，不省略时が只能位于こそ之后，を能位于之前或之后。而其他格助词只能接于こそ之前。

①逆境の中でこそ逞ましい青年が育てられるものだ。／正是在逆境中才能培育出（性格）坚强的青年。②ガラス張りの政治（を）こそ確立すべきである。／就是要建立光明正大的政治。③日本（へ）こそ行かなかったが日本の事情にはとてもくわしい。／虽然没去过日本，但对日本情况非常了解。④君なればこそそんな難事業もやり通せたのだ。／正是你才得以把如此艰巨的事业坚持到底。⑤君だからこそ恥を忍んで話すのだが。／因为是你，我才不怕丢丑说出来。⑥純文学はよく味わってこそ，その味が分るものです。／纯文学只有细细玩味才能理解其蕴涵。

3. 接活用词的连用形后。

①リウマチス患者は，今の所，増えこそすれ減ることはない。／风湿症患者目前有增无减。②寒くこそないが，雪は残っている。／冷倒是不冷，不过雪还没化尽。③慎重でこそ始めて過ちをせずに済むのだ。／只有慎重才能免于犯错误。

4. 接某些接续词如だから、そのために、それゆえに等。

①君は吾がまだ。だからこそ許さないのだ。／你太任性。就因为这一点，才不能原谅你。

5. 接并列助词、副助词之后。

①コンピューターやら録音機やらこそ，学生にとって欠かすこと

の出来ない学用品である。／计算机、录音机等才是对学生来说不可缺少的学习用品。②こぼしたりこそしないが、内心は不満たらたらだ。／尽管不流露出来，实际上牢骚满腹。③これまでこそ大丈夫でしたが、これからますます反対の声が強くなるでしょう。／迄今确实没出问题，可是今后也许反对的呼声越来越强烈。

#### 6. 接副词后。

①はっきりこそ言えないが、そういうことがあるのは確からしい。／虽然说不准，似乎确有其事。

△「ようこそ」也是「よくこそ」经音便而来，よく是副词。

△有时和另一个提示助词は重叠。

①今度こそは百点を取って見せるんだ。／这次一定打他个满分。

【意义】こそ提示作用比は强。

#### 1. 把主语、宾语提示为主题。

①これこそ、年取ったこのおばあさんに一番辛い人生の記録であった。／这正是这位年迈老妇一生中最辛酸的经历。②衣食住こそ、何よりも先に円満に解決しなければならない。／衣食住才应该首先妥善解决。③あの二人こそ、ほんとに打ってつけたような似合いの夫婦ですよ。／那两个人才是天作之合的般配夫妻。

#### 2. 接副词性句节后表示强调。

①今度こそ負けないぞ。／这回可不能输了！②道理でこそ遅いと思いましたよ。／怪不得这么晚呢。③そうしてこそ始めて立派な学者に成れるのだ。／这样才能成为优秀的学者。④失敗したからこそ、一層頑張る必要があるのだ。／正因为失败了，才需要加倍努力。⑤それでこそ吾が子だ。／这才象我的孩子。

#### 3. 以“动词假定形+ば+こそ”形式表示对于既定原因的强调。

①先生の教えを覚えればこそ、逆境にさらされても頑張っているのです。／正因为记着先生的教诲，虽身处逆境仍奋斗不止。②前もっての準備があればこそ、突発事件に対処できたのである。／正因为事先有准备，才把突发事件应付过去了。

△有时以～ばこそだ的形式结句，类似倒装句。

①あなたがあの子と仲良し同士の間柄なればこそですわ。／正因为你和那孩子是好朋友关系啊。②君の努力があればこそです。／全凭了你的努力。

4. 以强调语气表示对照。有以下两种形式。

1) ～こそ～が（けれども）～。两项之间可以是逆态关系（下例②、④），也可以是单纯的对照（例①、③、⑤）。

①口こそきかないが，その態度から分った。／说倒是没说，是从态度看出来。②風こそ吹かなかったが，海には高いうねりがあった。／风倒是没刮，可海上仍有很高的浪。③はっきりと口にこそ出さないけれども，腹の中で感謝していらっしゃるよ。／虽然嘴上没明确说出，心里感谢着哪。④年こそ若いが，学識が深くて将来のある青年だ。／年纪虽轻，但学识渊博，是个有前途的青年。

2) ～こそ＋动词假定形＋～ない。两项之间只有正反对照关系。

①うちのちびは文句こそ言え，人の言うことなど聞こうともしない。／我家的小不点儿（小孩儿）尽说道，一点儿也不听别人的话。②彼是不忠の侍をも，憐みこそすれ，憎らしいとは思っていない。／他对于不忠的武士也怜悯而不憎恨。③感謝こそすれ怒ることはあるまい。／只有感谢不会生气的。④僕は人に貸してこそすれ，借りた覚えなどはない。／我只是借给别人，不记得从别人借过什么。⑤予防は健康のためにこそなれ，損になることは決してない。／预防对于健康只会有利，绝不会有害。

△有时后项不是否定形式，前项表示无关紧要的、可以承认的让步条件。

①先進国は，程度こそ違え，汚染問題に悩んでいる。／尽管程度不同，发达国家都被污染问题所困扰。

5. 以“ばこそ”形式接动词未然形后，表示彻底否定，类似终助词用法。

①押しても，引いても，動かばこそ。／无论是推是拉，一动不动。②人の意見など聞かばこそ。我が<sup>が</sup>あまり強いのも悪いことだね。／根本不听别人的意见。个性太强了也真不是好事。

6. 作构词成分或固定说法（下例①）。这些已固定，无生产性。

①「昨日はおじゃましました。」「いや，こちらこそ。」／“昨天打扰您了。”“哪里，哪里。”②世界中の登山家はわれこそとチョモランマ峰への一番のりを企てた。／全世界的登山家都争先恐后地试图第一个登上珠峰。③雨でも降ろうものなら，それこそ難儀中の難儀だ。／万一真的下了雨，那可是麻烦透了。④ようこそいらっしゃいました。／热烈欢迎。

【参考】文言中提示助词こそ其的后续词一定用言的已然形（形态上与口语假定形相同）后，见“係り結び”项。谚语等还保留着这种呼应形式。

①好きこそものの上手なれ。／只有喜欢才能学会。②濡れぬ先こそ露をもいといえ。／没错怕犯错，有错不怕更大的错。③身を捨ててこそ浮かぶ瀬があれ。／不舍身不成大事业。（胆小不得将军坐）

### コソアド 指示词

佐久间鼎在《現代日本語の表現と語法》一书中，根据これ、そんな、あの、どう等词分别表示近称、中称、远称、不定称，并均以こ、そ、あ、ど为头音的特征，将这些词归纳成一种词汇体系，叫做コソアド系词汇。列表如下。

词类	意义	称 别			
		近 称	中 称	远 称	不定称
代 词	事 物	こ れ	そ れ	あ れ	ど れ
	方 向	こちら こ っ ち	そ ち ら そ っ ち	あ ち ら あ っ ち	ど ち ら ど っ ち
	場 所	こ こ	そ こ	あそこ	ど こ
	事物、人	こ っ ち	そ っ ち	あ っ ち	ど っ ち
形容动词	性质、状态	こんなだ	そんなだ	あんなだ	どんなだ
连体词	指 定	こ の	そ の	あ の	ど の
副 词	样 态	こ う	そ う	あ あ	ど う



上表未包括这些词的派生词或合成词。如，このかた系列、この人系列、形容动词性质的このようだ系列、连体词性质的こういう系列、こうした系列、副词性质的こうして系列、このくらい系列、このぐらい系列、これほど系列等。

“前者、後者、前述、後述、前掲、以上、以下、両者”等名词和“問題の、例の、次の、右～、同～”等词组虽有指示作用，并无近称、中称和远称之分，即无称格性，故一般不看作指示词。

【意义・作用】指示词的使用频率较高，在句中能代替词、句、段或内容，使句子简练，接续紧凑。

①彼は今度落第したということである。それは怠けたのが原因であるらしい。／听说他这回不及格。那好象是由于懒惰的原因。

也可用来加强语气，突出重点。这种用法的指示词省略后实质意思不变。

①父は、私が生れたその日に死んだ。／父亲就在我出生的那一天去世了。

【指示内容】通常指前面出现的内容。只有こう系列可以指后面的：彼はこう言った。「きっと成功してみせる」と。／他是这样说的：“我非弄成功给你们看看。”指示内容有以下几种。

#### 1. 指本句内的某一成分。

①彼は東京に行って、そこからまた大坂に行った。／他到了东京，又从那去了大坂。②「きのう」と「昨日」とはその表わしている意味内容は全く同じです。／“昨天”和“昨日”，其表示的语义内容完全相同。③外見は立派だけれども，実質はそうでもない。／外表很漂亮，可是实质并不是如此。

#### 2. 指前句或其中某一成分。

①どんな人でも失敗なしに世の中を渡っていくことはできない。それと同じように，全然あやまちのない政治家はないのである。／无论是谁，都不可能总是一帆风顺地渡过人生。与此同理，毫无错误的政治家是没有的。②この件については内緒にしている。しかしむこうはもうこれを知っているようだった。／对这件事一直保密。可是，对方好象已经

知道（这件事）了。

3. 指前几句或整个段落。

①寒さに負けるな。外では明るい日光が呼んでいる。諸君、みんな外へ出よう。こういう意味の標語を募集します。／征集表达这种意思的口号：不要向寒冷低头。外面有明媚的阳光在呼唤着你。大家都到户外去吧。

4. 有时指相隔几句的句子或某一成分。

①ペリーは、五日正午までと期限を切って、真相究明を要求した。違約した場合は那覇港を封鎖すると強硬だった。その日になって、琉球側は、初めて意外な事実を明らかにする。／贝利要求以五日中午为限查明真相。态度强硬。如果违约就封锁那霸港。到这一天，琉球方面才弄清了意外的事实。

5. 有时指示词所指内容在前面的文脉中没有明确的词句，而是指某一部分的相关内容。

①では、成功する可能性があるかないかというと、それはそうでない。／那么，有没有成功的可能性呢？那倒不是（没有）。②坂を登り切ると、そこはクワ畑だった。／上了坡，那里便是桑田。③人間の社会と人間の歴史は、合理的な体系でもないし、まとまりのある体系でもない。マルクスはそれを主張したけれども、他の多くの人々と同じように、その証明をしていないである。／马克思主张人的社会和人的历史是合理完整的体系。然而他和其他很多人一样，没有证明这一点。人的社会和人的历史既不是合理的体系又不是完整的体系。

“それ”指「人間の社会と人間の歴史は合理的な体系であり、……まとまりのある体系である」。

【用法】详见“近称、中称、远称、不定称”各项。

五段活用 ゴダンカツヨウ 五段活用

现代日语动词的活用类别之一。是最规则的活用类别。未然、连用、终止、连体、假定、命令、推量七个形的变化规律是：顺次将词尾的假名置换成本行アイウエエオ段上的假名。换句话说，这七个形的词尾辅音不变，只需把元音依次改为a、i、u、u、e、e、o即可。以“指す”为例：sasa（ささ）、sasi（さし）、sas<sup>さ</sup>u（さす）、sas<sup>さ</sup>u（さす）、sa

se (させ)、sase (させ)、saso (さそ)。因为词尾是在ア—オ这五个段上变化，故名。

“指す”的词尾“す”在サ行上，称为“サ行五段活用动词”。同理，“分る”是ラ行五段动词，余类推。

五段动词分布在五十音图のカガサタナバマラワ九个行上，其中ワ行也可看作ア行。活用表如下。

行	基本形	词干	活 用 形						
			未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
カ行	書く	か	か	きい	く	く	け	け	こ
ガ行	漕ぐ	こ	が	ぎい	ぐ	ぐ	げ	げ	ご
サ行	増す	ま	さ	し	す	す	せ	せ	そ
ナ行	死ぬ	し	な	にん	ぬ	ぬ	ね	ね	の
バ行	飛ぶ	と	ば	びん	ぶ	ぶ	べ	べ	ぼ
マ行	読む	よ	ま	みん	む	む	め	め	も
ラ行	取る	と	ら	りっ	る	る	れ	れ	ろ
タ行	打つ	う	た	ちっ	っ	っ	て	て	と
ワ(ア)行	思う	おも	わ	いっ	う	う	え	え	お

【参考】1. 五段动词的认定：除サ变和カ变的两个动词(くる、する)外，再除了“帰る、走る、蹴る”等少数动词（这些都是五段）外，凡是倒数第二个字母（指基本形）不在イ段或エ段的，都是五段动词。如：は

なす、はびこる等。当然最后字母不是“る”的动词肯定是五段。

2. ナ行只有“死ぬ”一个词。

3. 五段动词除サ行外，其连用形有两个，第二个为音便形，用于后续て、た、たり之类。音便规律见“動詞の音便”项。

4. “行く”例外地没有イ音便而有促音便的连用形：行く→行った。

5. 五段动词绝大部分是由文言四段动词转来的，而四段活用是六个活用形，无推量形，推量助动词“う”接于未然形，如，書かう。五段的推量形是由未然形经语音变化而成，如，書か（う）→書こ（う），即～au变成长音oo。这样，五段动词的活用表就有几种编法，可以按上表列出七个活用形，这样比较接近发音，也可以不列推量形，把它归并未然形。如“書く”有かか和かこ两个未然形。名称上，也有人沿用“四段活用”的称呼。

6. 某些由文言使役助动词构成的五段动词也可按下一段活用。如，飲ます↔飲ませる、煩わす↔煩わせる等，二者无意义区别。

7. 某些サ变动词也可按五段活用。如：愛する↔愛す，訳する↔訳す，等等。但假定形仍以サ变形式占优势，“愛すれば”形式比“愛せば”形式更常用。

8. 五段动词ござる、なさる、下さる、おっしゃる、いらっしゃるの连用形后续ます时，有イ音便现象：ござる→ございます，而且命令形也是～イ：下さる→下さい。但ござる无命令形用法。

#### 五段特別活用 ゴダントクベツカツヨウ 五段特殊活用

ラ行五段动词中いらっしゃる、おっしゃる、くださる、なさる、ござる以上五个词的连用形多有い音便形，命令形以い为结尾。汤泽幸吉郎称之为“ラ行变格活用”，因该名称与文语ラ变活用易混，又改称“特別ラ行四段活用”，简称“特別ラ四”，本词典又改称“五段特殊活用”。

【活用】除ござる以外的四个词分别来源于なさ+る、下さ+る、入ら+せ+らる、仰せ+らる。其中的る、らる是文语敬语助动词，属下二段活用，沿用到德川时代，后逐渐按四段（五段）动词活用，但与普通的五



段动词仍有区别。う行下二段活用、五段特殊活用及普通五段活用 对照如下。

活用类别	词例	未然	连 用	终止	连体	假定	命令	推量
下二段活用	なさる	ら	れ	れる	れる	れれ	れよ	/
五段特殊活用		ら	り、い、つ	る	る	れ	い	ろ
普通五段活用	おこる	ら	り、つ	る	る	れ	れ	ろ

三种活用区别最大的是连用形和命令形,五段特殊活用的连用形和命令形举例如下:

### 1. 连用形。

①おっしゃりたいことがありましたら、どうぞ。/您如果说有什么,就请吧。②先生が教えて下さったのですよ。/是老师教给我的呀!

△なさる、下さる、いらっしゃる三个词的连用形后续た、て时,词干部分常发生音便,如:下すった、下すって。

△助动词ます接于り后(なさります)的用法属上流社会的郑重语。一般要接い后,成なさいます等。まし、ませ只接于五段特殊活用连用形い音便后,接于一般动词时,必须中介五段特殊活用动词的连用形。如:※読みませ→読みなさいませ。

下二段活用连用形至今仍有所见。如:なされたい、なされます、なされた。比特殊活用或普通的连用形敬意程度更高。

### 2. 命令形。

①ちょっと貸して下さい。/请借给我一下。

こっちゃ

ことだ的各种意义的音便形式或方言形式。此外还有こっちゃろ(ことだろ)、こっちゃろ(同前)、こってす(ことです)。

①えらいこっちゃ。/了不起!这可不得了!

こと <形式名词>

形式名词こと由实质名词“事”转成，是一个作用很广的语法词。在造句过程中，能构成体言化的连句节、情态化的连句节、条件化的连句节，并构成许多语法词组。

【用法】1. 体言性用法。

1) 用于指示性的修饰成分之后。

①どういうことだろうか。／是怎么回事？②きのうの事は誰にも言わないで下さい。／昨天的事不要向任何人讲。③そんなことがきっかけとなって、ロボットの研究に切り出した。／就是由于这件事的缘故，才开始研究机器人的。

2) 表示具有某种特征的事项。用于有关性质、状态的修饰语后。

①それはいいことです。／那是好事。那很好。②ちょっとしたことで夫婦喧嘩になった。／因为一点小事夫妻吵了起来。③いくら自信があるといって、口に出していいことと悪いことがある。／不论多么有把握，有些事可以说，有些事就不应该说。

3) 把前述修饰语体言化。其修饰语是こと的内容，故こと前很容易插入という。

①真の友だちを得ることは容易なことではない。／得到真正的朋友不是件容易的事情。②先生と呼ぶことだけはかんべんして下さいよ。／可别叫我老师啦。③次は細胞が生きているということについて、調べていこう。／下面让我们看看细胞是有生命的这一事实。

4) 表示程度。

①そんなことでは英語のできるうちには入らない。／那个程度，还算不上是会英语的人。

2. 情态性用法。

1) 构成副词性成分，表示程度。和普通的用言副词形式（如下例可用“長く”等）相比，稍有感叹，强调的语感。

①昇は長いこと両親のもとにもどっていないのだ。／升已经很长时间没有回到父母身边了。②「なあんだ……」鉄郎は、うまいことはぐらかされたような気がした。／“原来如此！”铁郎发现自己被人巧妙地甩掉了。③和子はお母さんの気持ちがよく分って、なおのこと悲しく

なった。／和子理解了母亲的心情，愈加悲痛起来。

2) 接于表示心情、感受、评价的词语后，构成陈述性成分。位于句首，作为对全句内容的预先说明。常可译“……的是”。

①さいわい（なことに），二年後，旧稿がもどってきた。／幸运的是，两年后旧稿又回来了。②ただ困ったことに，谷崎は助けてくれようともしない。／唯一为难的是，谷崎根本不肯帮忙。③面白いことに，男女別の人数は大体等しくなっている。／有意思的是男女人数大体相等。

3) 以“のこと”形式接于名词后，使该名词具有作为一个抽象事物的性质，并调整语气。

① <sup>さかさやまさく</sup>榊山朔子さんのこと，覚えていますか。／还记得榊山朔子吗？②「月サギ」は月賦屋を相手の詐欺のことである。／所谓“月诈骗”就是以分月收款的商店为对象的诈骗。③ただ十分のことで汽車に乗り遅れた。／只差十分钟就没赶上火车。④ポールはパパの部下で，とても私のことを可愛がってくれた。／波尔曾是爸爸的部下，他非常喜欢我。

4) 表示进行某种说明或评价的提示性内容，只用于文章中。

①目はあけるつもりだが重いこと甚だしい。／想睁开眼皮，却重得很。②「中国にいること十九年」／《在中国生活十九年》。

5) 表示某事项行为的有无价值、是否可能等等。以下划线部分都是惯用性的。

①人の悪口は言わないことだ。／不应该说别人的坏话。②文章を正しく書くには，まず正しい考え方を持つことです。／要想正确地写文章，首先要有正确的想法。③高いお金を出しただけのことはある。／没有白花高价。④あなたが口を出すことはない。／用不着你插嘴。⑤拒絶することは断じてなりません。／万万拒绝不得。

6) 加强语气。可后续ね、わ等。如后续だろう等，推测的语气增强。

①よくしゃべることね。／可真能说呀！②お母さんは子どもを抱きましたが，なかなか重いことでした。／母亲抱起孩子，实在是太沉了。③その結果，本人たちも社会もどれほど大きな損害を蒙ることか。／其结果，无论他们本人还是社会都要蒙受多大的损失啊！

3. 条件用法。

1) 表示构成假定或确定条件的事实。以下划线部 均是 惯用性的。

①ここで何か手を打っておかないことには、後で始末がつかなくなるよ。／不趁现在采取点儿什么措施，过后就收不了场啦。②教育を發展させることなしには、現代化は云云できない。／不发展教育，就谈不上现代化。③人々が望みを振り捨ててしまえることなら，世の中は簡単なのだ。／如果人们能够丢弃欲望，那社会就简单了。④漢字と仮名を混用することになると，送り仮名の問題が生じる。／一旦把汉字和假名混用，便产生送假名问题。

2) 以～こと（も）なく等形式作句子的连用修饰语，表示后项动作没有前一项的动作相伴随。

①雪は止むことなく降りつついている。／雪不停歇地接连下着。②单治は，振り返ることもなく行ってしまった。／单治 扬长而去了。③食うために働くことなしに生きていられたら，どんなに気楽だろう。／不为吃饭而劳动，生活该多舒心啊。

3) 以ことは形式介于同语反复形式之间，表示一种有条件的肯定，有时后面出现逆接内容（例①），有时则隐现（例②、③、④）。

①外国にも産することは産するが，石の質が柔かく，こわれやすい。／外国虽然也出产，但石质软而易碎。②勿論話すのは随意さ。聞くことは聞くよ。／说不说当然随你，我还是要听的。③言ったことは言ったがな。／说倒是说了。④神崎は、子供が好きなことはたしかにすきなだろう。／神崎喜欢孩子倒是真的吧。

4) 表示构成某种原因的客观事实。

①彼は朗らかな人になった。商売が順調にいくこともあるだろう。／他变得快活了。大概是由于生意顺利吧。②始めてやったこともあって，満足なできには成らなかった。／因为是第一次搞还是不够完善。③「いや。そうじゃないんだよ」と弁解することで，皆に笑われた。／由于辨解说不是那么回事而惹笑了大家。

4. 惯用法。详见ことがある、ことができる、ことにする、ことになる、だけのことはある各项。

5. 还有一种特殊用法，表示两个名词间的等同。前项是后项的通



称、别称等。

①コンケイこと近藤啓太郎とはもう十数年のつきあいだ。／和近  
 启也就是近藤启太郎已经有十几年的交情了。

こと 〈终助词〉

由名词“事”转化而成。

【接续】1. 原则上接活用词的终止形后，形容动词型的词还可以接连  
 体形后，不接う、よう、まい。

①まあ、静かな（だ）こと。／哟，真静啊！

2. 用法2还可以接格助词の後，见其例④。

△常后续终助词よね等。

【用法】1. 女性专用语。因句调不同，意义也不同。

1) 表示口气柔和的感叹。句调下降。

①アウ、きれいに咲いたこと。／哎哟，开得真漂亮。②まあ、この  
 人、遅いこと、遅いこと。／哎，这个人怎么还不来。③まあ、感心です  
 こと。／真叫人佩服。④詩的だ（或な）ことねえ。／太富有诗意了。

2) 以ことよ的形式加在某些表示判断、要求、禁止等的形式后，使  
 口气缓和。

①そんな事は、おっしゃらない方がいいことよ。／那种事您还是  
 不说为好啊。②いいのよ。いいことよ。／没有关系，没有关系。③そう  
 なさっては男らしくないことよ。／这样做你可就不是男子汉啦。④これ  
 は使いにくいことよ。あれならどうかしら。／这个不好使。不知那个怎  
 么样。⑤仕事の邪魔をしてはいけないことよ。／可不要妨碍别人工作  
 啊。

3) 用于问句。有希望求得对方确认或赞同的口气。句调上升。

①私の発音変じゃないこと。／我的发音怪不怪？②あんた、顔色が  
 悪いんじゃないこと。／你脸色有些不好吧？③見てもいいこと？／我看  
 一下好吗？

4) 常用～ないこと形式表示语气柔和的劝诱，句末升调。

①植物園に行ってみないこと。／不到植物园看看？②あの喫茶店  
 でお茶でも飲みませんか。／到那个饮食店喝杯茶好吗？

5) 以ことよ形式表示命令。也可作为男子的启发性的命令用法。

①さあ、みんな、今夜は早く寝ることよ。／我说诸位，今晚该早点睡啊。③若いときの苦労は、しておくことよ。／年青时应该多劳累点儿。

2. 文章语。表示规定、注意、须知、要求等各种主张。这是一种脱离会话场面的间接命令形式，相当于1中2)的文章语形式。

①解答は解答欄に書くこと。／答案要写在答案栏里。②場内ではたばこを吸わないこと。／场内不要吸烟。③スカートのすそは長いこと。／裙子的下摆要长。④材料は丈夫なこと。／材料必须耐用。⑤原稿の終わりには住所、氏名、年齢、職業を明記のこと。／稿件末尾要注明住址、姓名、年龄、职业。

こと 〈接尾辞〉

名词性接尾辞，主要接于名词和数词及动词连体形后。常用ごとに形式，偶尔也用ごとを、ごとの、ごとで等。

1. 表示所涉及的每一个个体。

①春ごとに花をつける。／每年春天都开出花来。②家ごとを訪れてみた。／逐户访了一遍。③道は落葉に<sup>うずも</sup>埋れて、一足ごとにがさがたと音がする。／路被落叶覆盖，每走一步都发出沙沙的声音。④グループごとに分れた。／各小组都分开了。⑤出発の日会う人ごとに別れのあいさつをした。／出发那一天，对遇到的人一一道别。

2. 表示反复出现的单位量。

①リンゴもカキも一しもごとに赤いつやを加えてゆく。／苹果和柿子随着一场一场的霜，红色的光泽不断增加。②あのチームは一試合ごとに強くなる。／那个队越战越强。③千メートル登るごとに温度が六度ずつ下がる。／每攀登一千米，温度就下降六度。

3. 把附带的事物也包括进去。

①皮ごと食べる。／连皮吃。带皮吃。②写真はアルバムごとあげます。／照片连同影集一起送给你。

⇒おき

ことか 〈终助词〉

由形式体言ことと助词か构成。接活用词连体形后。

1. 表示反诘。语气强烈。

①勝手にせい。こちらの知ったことか。／随你便，我管你那个！②無断で欠席してなることか。／擅自缺席，这怎么行！

2. 和疑问词呼应，表示兼有推测性质的感叹。也用ことだろうか、ことでしょうか。

①どんなに泣いたことか。／不知流了多少眼泪。②どんなに悲しかったことでしょうか。／（他）当时该是多么悲痛！

ことがある 〈惯用词组〉

由此派生的还有ことがない、こともある、ことが多い等。

1. 接“た”后，表示作为经历或事实过去有过或没有过。

①彼はかつてそこで暮したことがある。／他曾在那里生活过。②そういうことはまだ聞いたことはありません。／还没听说过那种事。

2. 接于动词连体形后表示以往和目前反复发生或有可能发生的事件。常和副词搭配。

①時々東京へ出て来ることもある。／也常常到东京来。②いつ会っても彼は本を持っていないことはない。／无论什么时候遇到他，没有一回不是拿着书。③とかく病気は気のせいであることが多い。／说起来，病往往是精神所致。④父はときどき，設計図を家に持ち帰って，書斎で見ていることがある。／父亲常把图纸带回家里来，在书房里看。

3. 接动词等的连体形后，表示某种事件发生的可能性。

①外の人なら一步譲ることもあろうが，あいつはまっぴらごめんだ。／若是别人，也许让一步，那个家伙可没门儿。②戦前の人ならこの映画スターを忘れることはあるまい。／战前的人想必是不会忘记这个电影名星的吧。③海がかわいてしまうことがあっても，私は変心しないだろう。／海枯石烂我也不会变心。④もちろん，あなたに危害を与えるようなことはありません。／当然，不会加害于你的。

ことができる 〈惯用词组〉

表示动作、行为的客观可能性。

①彼はラジオを修理することができる。／他可以修理收音机。②ア

メリカ人もいるので日本語で話すことができません。／也有美国人，所以不能说日语。③このきのこは毒があって、食べることができません。／这种蘑菇有毒，不能吃。

【参考】1. “ことが可能だ”、“ことを得る”等形也表示客观上可能或不可能办到。后者是汉文训读体的残余。

①言葉さえしっかり身につけていれば、原書で味読することも可能だ。／只要词语掌握得扎实，通过原著来欣赏也是可能的。②別れたきり、ついぞまたと会うことを得なかった。／分别之后，终未得再相见。

2. ことができる不表示能力可能。能力可能要用“サ変词干できる”和固有动词的可能态表示。试比较开头例①和下例：

①彼はラジオを修理できる。／他会修理收音机。

ごとし 〈助动词〉

【活用】文言形容词ク活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	已然	命令
ごとし	ごとく	ごとく	ごとし	ごとき	○	○

其中口语体文章中常用的有连用形和连体形。终止形不常用。

1. 连用形。

1) 单独或后续に作连用修饰语。

①彼は何を言われてもあたかも石のごとく黙っていた。／无论别人怎么说，他就跟石头一样缄口不语。②石狩の野は、あたかも人間の無力とはかなさを嘲笑うがごとくに見えた。／石狩的原野令人觉得是在嘲笑着人类的无能与虚无似的。

2) 后续である或だ作谓语。用于句末时也可换成终止形ごとし，但文言性更强。

①多少の例外はあるが、互いの関係は原則的には次の如くである。／除某些例外，互相间的关系原则上如下所述。②試験結果を挙げると第一表のごとくで、第二表とは著しくその趣が違ふ。／如列举考试成绩，则



如第一表，和第二表的情况明显不同。

### 3) 用于中顿。

①始めは処女の如く，後<sup>のち</sup>は脱兎の如し。(谚语) / 始如处女，后如脱兔。

### 2. 连体形。

#### 1) 作定语。

①昼間のごとき明るい月光 / 明如白昼的月光。②元来，後学僕のごときものは，先生の翻訳を云云する資格のないものに違いない。 / 本来，我等后学之辈无疑是没有资格评论先生的翻译的。

2) 以“名词(の)ごとき、连体形(が)ごとき”等形式构成名词性词组，作句子成分。

①むやみに資材を浪費するがごときは，吾吾の取るべきやり方ではない。 / 诸如随意浪费资材之类，不是我们所应取的作法。②牛、馬、羊のごときを家畜という。 / 把牛、马、羊之类称为家畜。③一例を挙げればゲーテのごときである。 / 略举一例，如歌德便是。

### 3. 终止形。结句。

①其ノ状況次ノ如シ。 / 其情况如次。②海内に知己<sup>あ</sup>存れば，天涯も比隣の若し。 / 海内存知己，天涯若比邻。

△偶有词干用法，相当于连用形。

①鮓<sup>すし</sup>の様詰<sup>ごと</sup>められたもんちゃ。(徳富) / 象醋拌饭团一样被塞满。

【接续】1. 接体言或体言加の後。

2. 接活用词（一般为动词、文言助动词ざり、なり、たり）的连体形后，中间常插入が。

①薄氷を履むが如し。 / 如履薄冰。②冰炭相容れざるごとき諸説の対立紛糾。 / 诸说之间水火不相容般的对立与争论。③事件は迷宮に入りたるがごとし。 / 案件如入迷宫。

【意义】与现代日语的ようだ相同。残存于文章中，也保留于谚语等。

#### 1. 表示比喻。常和前面的陈述副词呼应。

①魚の釜中に遊ぶがごとし。 / 如鱼游釜中。(喻处境危险) ②山のごとき大波に，舟は木の葉のごとく揺れた。 / 船在山也般的大浪里树叶

似地颠簸着。③釜が崎の貧困者群はあたかも浮草の如し。／在釜崎，成群的穷人犹如浮萍。

## 2. 表示从同类事物中举典型的或突出的例子。

①前世紀の末のイギリス文芸は、必ずしも光彩に乏しいわけではない。ペーターのごとき、ワイルドのごとき、ショーのごとき、ムーアのごとき、幾多の才人が輩出している。／上世纪末的英国文学艺术未必是缺乏光彩的。曾涌现出几多才子，如裴特尔，如王尔德，如萧伯纳，如摩尔。②太陽のごときを恒星という。／称太阳之类为恒星。

## 3. 表示不确实的判断。

①両国の関係はいよいよ切迫せるがごとし。／两国关系似日趋紧张。②彼に比する者，これ無きごとし。／似无人可与他比肩。

## 4. 接于体言后，中间可以不加の，表示轻视、轻蔑或自谦。是用法2的引申。

①私ごときさえ彼を無視してはいなかった。／连我等也没有忽视他。②お前ごとき者に負けるような俺ではない。／我可不是能败在你这种人手下的。③それはナポレオンのごとき者ならではできない事であった。／那是只有拿破仑之流才做得出的事。

## 5. 表示指示内容或相同内容。

①前に述べたごとくこれには多くの問題点が残っている。／如前所述，这里还有许多悬而未决的问题。②昔のごとく赤貧洗うがごとき生活を営んでいる。／一如既往，过着赤贫如洗的生活。③例のごとし。／如往常。④一言，文芸家たらんとする諸君に告ぐることかくの如し。／以一言告与欲为文艺家之诸君如斯。

## こととて 〈接续助词性词组〉

由形式体言こと，格助词と，接续助词て构成。

### 【接续】1. 接“体言の”后。

①昼休み中のこととて電話がかからなかった。／因为是午休时间，电话没挂通。

### 2. 接活用词连体形后。

①ゆくゆくはできることとて，そうあせることもなからう。／将来

总能办到的，不必那么着急。②お体が不自由なこととて、さぞかし辛い思いをなさったことでしょう。／您因为这残疾，准吃了不少苦吧。③都合も悪いこととて、明日来てくれと言われた。／因为不方便，让我明天去。④慣れぬこととてよろしく願います。／还不熟练，请多关照。⑤先生が言ったこととて、逆うこともできなかった。／由于是老师说的，所以也不能违抗。

【意义】多用于文章，口语中则用于正式场合，如寒喧。表示既定的、双方都知道的理由、根据，在后项中引出顺态结果。

①知らぬこととて、失礼しました。／事前不知道，真对不起。②三十年ぶりのこととて、喉がつまって泣きに泣いた。／因为是三十年来第一次见面，说不出话来，只是一个劲儿哭。③内情に通じていることとて、口先だけの言い逃れじゃ通用しない。／因为了解内情，光托辞敷衍是行不通的。

【参考】文章语中还有同义のことゆえに。

ことに（と）する 〈惯用词组〉

1. 表示就当时的情况作出抉择。主语无人称限制。

①彼は腹をこわしたので、会社を休むことにした。／他因为闹肚子了，所以不打算到公司去了。②じゃ、来週に出発することにしよう。／那我们就下周出发吧。③次は、この作品の文学的価値について吟味することにしよう。／下面就来分析一下这部作品的文学价值。④私は一応これの真価について不問することにしたい。／我准备暂时不考虑其真正价值。

2. 以“ことにしている”形式表示采取某种习惯性的安排或作法。

①私は毎晩うちでテレビを見ることにしています。／我每天晚上在家里看电视。②彼は、土曜日の夜は、二日分の宿題を一度にやってしまうことにしていた。／他过去是星期六晚上一次做完两天的作业。③おれはすんだことはくよくよ考えないことにしているんだ。／（我的习惯作法是）对过去了的事从不耿耿于怀。

3. 表示一种假设，尽管和现实相悖，暂且认为是如此。

①中に誰もいないことにしていればいい。／（进去就是了）权当作

里面谁也没有。②きのうは休みましたが、出席したことにして下さい。／昨天我休息了，算作出席吧。③これまでのことは無かったことにしようではありませんか。／过去的事就让它过去吧。

#### ことに（と）なる 〈慣用词组〉

1. 表示由于个人或集体的决定而造成的客观结果。

①三人で担当することになった。／决定由三个人来担任。②優勝した人だけに賞品を与えることになっている。／规定奖品只发给优胜者。

2. 表示因客观实际的变化、推移而出现的新行为、状态、结果、结局。

①二人はいよいよ結婚することになり、来月、式を上げます。／两个人终于要结婚了，下个月将举行婚礼。②三月末日をもって会社をやめることになりました。／将在三月最后一天辞去公司职务。③昌子が私の所へ来ることになった経緯は、家内の紹介です。／昌子所以到我这里来，是由于内人的介绍。④信長はついに捕えられて、首を切られることとなった。／（织田）信长终于被捕获而斩首了。

3. 表示临时性的或者习惯性的安排、作法。ことにする着眼于采取哪种作法这一主观立场，ことになる着眼于事实如何、结果如何这一客观立场。近于2。

①今夜はたぶん鈴木さんのところに泊ることになるだろう。／今晚大概要住在铃木那里吧。②参観者は、バラバラに別れていいことになったのだが、みんな固まりたがった。／虽然参观者是可以分散开的，但大家都想聚在一起。③宮崎さんは、これまでも買い手のない高価な品物があると、大殿様の所へ持って来ることになっていた。／宮崎先生至今仍然一有什么没人买的高价物品，就拿到大老爷这里来。

4. 表示经过逻辑推理或归纳而得出的结果、结论。

①署名したら承認することになるんだよ。／签了字可就等于承认啦。②学校で五時間、うちで三時間、全部で八時間勉強することになる。／在校学习五个小时，在家学三个小时，就是说一共学八个小时。③それが正しいとすれば、相手の出方によっては喧嘩をしてもいいということになる。／如果认为那是对的，那就等于说看对方态度如何也可以



打架。④教科書を中心とする授業であるが、それは教科書だけが勉強であるということにはならない。／上课是以教材为中心的，但这并不等于只有教科书才是学习。

### 言葉のゆれ コトバ〜 语言的游移

【解释】主要指同一个词在意义不变的情况下的两种可能的发音、拼写、语法变化等不确定性质。

游移现象有社会和语言本身两方面的原因。造新词、借用方言、标写法的改变等属于社会原因，词义的改变、语音变化（同化、代替、脱落等）、类推作用等属于语言自身的原因。

对游移的项目的选择取决于个人的语言意识。有的人注重传统和规范，有的人则重视发音的方便和不同项目的不同效果。这是游移之所以能存在的又一个重要原因。

很明显，游移现象的存在和发展，对于标准语的建立、语言交际和教育效率的提高等都是不利的。这在日语中尤其如此。日本政府已在整理文字和标写法方面作了大量的工作（如：紀念→記念），但读音方面似乎进展不大。如“日本”读为ニホン和ニッポン。

#### 【种类】1. 标写法的游移。

1) 由于使用不同的文字而产生的。如：十分／充分／じゅうぶん，猫／ねこ／ネコ，UNESCO／ユネスコ。

2) 由于限制汉字数量，用同音字代替而产生的。（括号内的不标准。）如：記念（紀念），栄養（營養），定規（定木），乱造（濫造）。

3) 由于标音规定不同而产生的。（括号内的不标准。）如：ピアノ（ピヤノ），アイデア（アイディア）。

4) 由于用同音类义字代替而产生的。（括号内为错。）如：更迭（交迭），決着（結着），漸次（漸時），善後策（前後策）。

2. 重音的游移。因日语重音没有区别意义的专门功能，需要确立全国统一的标准重音。如：デン<sup>1</sup>シャ／デン<sup>2</sup>シャ，ア<sup>1</sup>タカモ／ア<sup>2</sup>タカモ／ア<sup>3</sup>タカモ／ア<sup>4</sup>タカモ。

3. 读音的游移。来源于语音变化。如：ニッポン／ニホン，カッテ／

カッテ、トオイ／タットイ、ホー／ホホ、ムズカシイ／ムツカシイ、イリグチ／イリクチ、マヌカレル／マヌガレル、テキキ／テッキ、アマモヨイ／アメモヨイ、ケブリ／ケムリ、イッショケンメイ／イッショウケンメイ。

4. 文体的游移。如：イク（口语）／ユク（文章語），イイ（口）／ヨイ（文章）。

5. 活用类别的游移。如：飽く／飽きる，足る／足りる（以上五段／上一段）。任す／任せる，廃る／廃れる（以上五段／下一段）。訳する／訳す，愛する／愛す（以上サ変／五段）。信ずる／信じる，察する／察しる（以上サ変／上一段）。

6. 活用形和词尾的游移。如：買って／買うて，難しゅうございます／難しくございます，はっきり／はっきりと，すぐ／すぐに。

7. 词类的游移。如：柔かだ／柔かい，色色だ／色色（の）。

8. 助词的游移。如：水が（を）のみたい，駅へ（に）行く，大学に（で）学ぶ。

### こ～なさる

动词的尊敬语形式之一。中间插入サ变动词词干。表示对话题人物（必须是第二、三人称）的尊敬，多用于和说者没有关连的动作、行为、状态。敬意程度除命令形为一般性用法外稍高于（ら）れる，稍低于お～になる。

①どうぞご信用なさいませ。／请你相信。②次の内容をご説明なさってくださいませんか。／请您给解释一下后面的内容好吗？③あなたはぜひぶんど謙遜なさいますな。／您太谦虚了。④会長もご出席なさるそうです。／听说会长也出席。

例词：安心、案内、兼任、運転、回答、歡迎、希望、休憩、許可、苦勞、敬遠、欠席、研究、言明、交際、採用、賛成、使用、就職、出発、助言、成功、担当、注意、調達、分担、閉店、返却、勉強、保存、利用、力説、列席、覧。

接头词“ご”可以省去（“覧”除外），特别是在句中出现过“ご”时更以省去为宜，这一点区别于“お～なさる”形式。

①ご著作はいつ（ご）発表なさいますか。／您的著作什么时候发表？

⇒お～なさる

ご～になる

动词的尊敬语形式之一。中间插入サ变动词词干。表示对话题人物的尊敬，多用于和说话人没有关连的行为、动作、状态。敬意程度高于れる、られる。

①普通何時ごろにご出勤になりますか。／您一般是几点上班？②お父さんは非常にご心配になっていきますよ。／您父亲很担心呢。

词例：説明、発表、勘弁、退院、出席、来訪、専攻。

另外，有些生僻的サ变动词不宜于使用这一形式，如“直感、奔走”。“案じる”等一段动词（来自サ变）也可用此形式。

⇒お～になる

語法 ゴホウ

1. 英语grammar的译词，通常用“文法”，见该项。

2. 有少数人将“文法”解释为句法，将“語法”解释为词法（品詞論），见该项。

固有名詞 コユウメイシ 专有名词

【性质】按词义特征划分的一种名词次类。指为从同类事物中区别某一特定事物而命名的名称，与表示同类事物名称的普通名词相对。如：人名（小林多喜二）、地名（東京）、国名（日本）、年号（昭和）、团体名（自民党、東京外国語大学）、商号（仁寿堂）、商标名（ララプロピリン〔药品〕）、作品名（破戒）、建筑物名（霞が関ビル）、交通工具名（九州丸〔船名〕），等等。

专有名词一般都有专有权，最好不要重复，有些要到有关部门登记注册，一般性的词典通常不收。

专有名词不反映事物的本质特征，因此不能下定义，只能音译不能意译（日汉之间有时能“字译”）。唯一性是专有名词的重要特征，但不是本质特征。“日”是唯一的，却不是专有名词，因为“日”并不是为区别星体而命名的。相反，“林”<sup>はやし</sup>并不是唯一的，但作为人名却是专有名词。

印欧语的专有名词在数、冠词用法等方面区别于普通名词,有积极的语法意义。日语却不同,二者基本上无语法上的区别。因此,日语的专有名词与普通名词的区别经常是不明显的,如“東洋”。

用罗马字书写时,专有名词第一个字母要大写。

【命名法】1. 特地为某一特定事物命名的。如公司名“サントリー”。

2. 由普通名词转成的。如人名“林”、列车名“こだま”。也可以是两个普通名词合成的,如人名“山田”。

3. 由另一专有名词转成的。如香烟牌号“富士”。也可带接头词等,如“新大阪”。

4. 由专有名词和普通名词结合而成的。如船名“富士丸”、校名“東京大学”。

5. 由两个以上专有名词结合而成的。如“日本アルプス”。

誤用の文法 ゴヨウノブンポウ 错例语法

【解释】为纠正学生的语法错误而编写的实用语法,称为错例语法。

语法错误是在实际语言生活和教学中常见的、特殊的语法现象。语法错误的范围很广,主要表现在:词义的使用范围、词的搭配关系、句子结构、助词助动词的运用和用言的活用、表达习惯、敬语的使用等方面。这些错误主要是缺少全面的日语语法知识、缺少对日语的文化背景的了解造成的。母语的干扰和错误的类推也是重要原因之一。

错例语法的运用是外语教学的重要手段之一,仅凭规范语法是远远不够的。在一般条件下,学生的语言能力是在学习规范语法的同时,纠正错例的过程中得到巩固和提高的。所以说,理想的外语教学法应该是以规范语法为基础,以错例语法为重要补充手段,从两方面着手。

久野暉认为阐明语法错误的原因与正面阐述语法理论同样重要,并在自己著作中大量引用错例;甚至称自己的著作《日本文法研究》为“非文法的な文の文法”。

【体系】错例语法的完整的理论体系还没有完成。1929年Henri Frei曾著《la grammaire des fautes》(错例语法)一书,对错例的原因、实质等作了论述,详细内容不得而知。在日本对外国人的日语教育中已把错例的纠正积极地作为一种语法教育手段来运用,这已具有错例语法的性



质。代表著有铃木忍的「教師用日本語教育ハンドブック・文法Ⅰ」,书中搜集了格助词和接续助词方面的大量真实的错例,运用语言心理、语言对比、结构分析等方法对错例作了深入分析,发现了错例的具体表现和规律性,指出了错误的所在、原因和纠正方法。目前,错例语法如同功能语法一样,只被作为语言教学的方法。

关于错例语法的研究可以考虑如下几方面的内容。

1. 调查哪些语言现象经常出错及出现何种错误,并搜集错例。调查和搜集应该客观,可通过作文和试卷,也可通过特定的测试方式进行。

2. 对上述调查和搜集的结果进行整理和归纳,从中找到有代表性的、有普遍意义的问题和错误,作为错例语法的实际材料。

3. 就上述材料进行分析,找出原因。原因可能是多方面的,如,母语对日语同种表达方式的影响(※美しいの花)、母语没有同样语法手段,因而把日语中的两种表达方式混淆(は和が、ば和と)、把某一语法现象的出现范围扩大化(※勉強の忙しいため)等等。由于原因是多方面的,分析所用的方法也应是多方面的。普通语言学、社会语言学、对比语法、语言心理学、文化背景等知识都可作为方法论上的参考。

4. 对上述原因指出纠正的方法,并讲解规范语法知识,在规范语法中得到正确的答案。至此,错例语法和规范语法得到了正反两方面的统一。

ごらん (御覧) <词组>

其原形らんじる已不用。现在只有ごらんなさる、ごらんになる(分别是敬语形式ご~なさる、ご~になる)和ごらんの(相当于连体形)几种形式。ごらん本身既是命令形,又可作名词用。命令形还有ごらんな。其余活用随なさる、なる而定。有时也用ごらんくださる形式。

【用法】1. 敬语名词。

①ご覧に入れましょう。/给您看一看吧。

2. 敬语动词。みる的敬语。

①よくご覧なさい。/您仔细看看。②この本をもうご覧になりましたか。/您已经看过这本书了吗? ③このピカソの絵をご覧ください。/请看这幅毕加索的画。④ご覧の通り。/如您所见。

3 敬语补助动词。みる的敬语形式。

①食べてごらんなさい。おいしいから。／你尝一尝。挺好吃的。②さあ、何でしょう。あててごらんなさい。／你说，是什么呢？你猜猜看。③「お願いがあるの」「言ってごらん」／“想求你一件事。”“你说说看。”④ちょっと来てごらん。／你来一下。

△みる有几种意义，但都与ごらん对应。上例①～④表示“试作体”。下例①表示经验经历。例②表示假设。

①このレコード，聞いてごらんさらないとそのよさが分りませんよ。／这盘唱片，您不是实际听一听就不会知道它有多好。②相手の身になってごらん。そのつらさの半分ぐらいは分かるだろう。／你替对方想一想，至少会理解他的一半的痛苦。

#### 4. 以ごらんにいれる形式作补助动词みせる的自谦语形式。

①「私が必ずうまくまとめてごらんにいれましょう」／“我一定圆满地解决（完成）。②「おじさん，手品ができるんなら，やって見せてよ」「こんど，やってごらんに入れます」／“叔叔，你会变魔术，就做一个给我看吧。”“以后做给你看。”

⇒みる、みせる。

#### 孤立語 コリツゴ 孤立语

德国的施莱赫尔（A・Schleicher）按语言的形态特征划分的语言类型之一。指语法作用主要靠语序来表示的语言，孤立语的单词基本上没有词形变化。如汉语的“你打我”和“我打你”，“我打狗”和“狗打我”，或者表示不同的意思，或者不能正确地表示意思。汉语是典型的孤立语，但孤立语性质在屈折语和粘着语中也部分地存在着。

汉语中也有类似于日语那样的介词、助动词等，但不发达。现代英语由于屈折性的退化，孤立语性质也很明显。

#### これからの敬語 ～ケイゴ 今后的敬语

【解释】于昭和27年（1952）4月，由国语审议会在第14次总会上通过并提交文部大臣的有关敬语文献。文献中所提内容是一种提案，而不是规定。颁布后的30年来，在学校国语（日语）教育中效果比较显著。形容词后续です的敬语形式已成标准说法。在社会上此文献内容贯彻的不十分明显，且有很多异议。如职称后加さん来代替“殿”的用法，至今未

能实现。但在学校语法中，仍作为敬语的使用准绳加以遵守。

此案根据过去的敬语过分繁杂的情况，提出了简明易懂的原则，根据过去的敬语建立在上下长幼的关系上的情况，提出互相尊重的原则，根据妇女和服务行业敬语使用过多过度的现象，提出了使用适当的原则。细则如下。

【细则】 1、指人的词。

1) 指自己的词。

(1) 以わたし为标准形式。

(2) わたくし作为郑重场合的用语。

△在女性的发音中，あたくし和あたし的形式也很通用，但原则上不分男女都应以わたし、わたくし为标准形式。

(3) ぼく是男学生用语，但教育上应提醒他们走上社会后要改用わたし。

(4) 应避免把じぶん当作わたしの意思来用。

2) 指对方的词。

(1) 以あなた为标准形式。(编者注：实际上，下对上、女对男很难使用。)

(2) 作为书信用语，至今仍使用“貴殿”、“貴下”等，希望今后通用あなた。

(3) きみ、ぼく作为亲密间用语。一般最好使用标准形式わたし、あなた。进而おれ、おまえ也应该改为わたし、あなた。

2. 敬称。

1) 以さん为标准形式。

2) さま(様)除郑重场合和惯用形式外，主要用于收信(件)人姓名之后。希望将来能以さま代替公文中的“殿”。

3) 「氏」为文章用语，口语一般要用さん。

4) くん(君)是男学生用语。虽然有时也照此用于年青人，但作为社会人士的谈话应该用さん。

△议会用语的「某君」是特殊的惯用语。

5) 作为工作用语，不必在职称(如：先生、局長、社長、課長、専

務等)后再加さん(男女同)。

### 3. たち和ら。

1) たち作为现代语可以接自称后, 如: わたしたち。

2) ら是文章用语, 可用于任何人, 如: A氏・B氏・C氏ら。

### 4. 対お、ご的整理。

#### 1) 可以接的情况:

(1) 表示对方的事物, 等于“あなたの”的意思时。如: お帽子は、どれでしょうか。ご意見は、いかがですか。

(2) 真正表示敬意时。如: 先生のお話, 先生のご出席。

(3) 约定俗成的情况下。如: おはよう、おかず、おたまじゃくし、ごはん、ごらん、ごくろうさま、おいでになる(所有お……になる形式), ごらんになる(所有ご……になる形式)。

(4) 虽是自己事物, 但与对方有关, 约定俗成可以加お、ご。如: お手紙、ご返事、お願い、お礼、ご遠慮、ご報告いたします。

#### 2) 也可以省掉的情况。

作为女性语带お而男性语可以省去的。如: (お)米、(お)菓子、(お)茶わん、(お)ひる。

#### 3) 省去为好的情况。

如: (お)チョッキ、(お)くつした、(お)ビール、(ご)芳名、(ご)令息、(ご)父兄、(ご)調査された(“調査された”或“ご調査になった”是正确的。)

### 5. 会话的基调。今后会话的基调应该是“です、ます体”。

△这仅仅规定社会人士的一般会话的基调, 并不限制讲演时的であります、郑重场合のございます、亲近体的だ等の使用。

### 6. 表示动作的词。动词的敬语法有三种形式:

用例 词例	I	II	III
書 く	書かれる	お書きになる	(お書きあそばす)
受ける	受けられる	お受けになる	(お受けあそばす)



第一种用法虽容易和被动混淆，但能有规则地接于所有动词，用法简便，有发展前途。

第二种用法没有必要再说成お……になられる。

第三种趋于不用。

7. 形容词和です。

至今一直没解决的形容词接法，如：大きいです、小さいです等可以作为简单易懂的形式接受下来。

8. 寒暄语。

寒暄语作为惯用的词语无须改变形式。例：おはよう（ございます）、おやすみ（なさい）、いただきます、ごちそうさま、いただきます、（いってまいります）、いってらっしゃい。

9. 学校用语。

1) 从幼儿园直至小学、中学，女教师用语中お使用过多，这点应该注意。如：（お）教室、（お）チョーク、（お）つくえ、（お）こしかけ、（お）家事等。

2) 希望师生间的谈话以互用“です、ます体”为原则。

△这并不妨碍使用作为亲近体的简体。

3) 战前，对父母、老师的敬语都是おっしゃった、お……になった，这似乎有些过分，而战后又反过来用“言った”，“……した”来应付，这也有点过分，希望能恰如其分，如：不说“来た”而说“来られた”、“見えた”等。

10. 报纸、广播用语（略）

11. 皇室用语。

废除难懂的汉语，采用民间的最高级敬语。如：玉体→お体、龍顔→お顔、宝算→お年、ご年齢、聖旨→おぼしめし、お考。动词用（ら）れる、お（ご）～になる等形式。

12. 结语（略）。

これで

1. 接续词。表示前项是对于后项的决定性事实。

①堀口主任が退院を知らせに来ました。これでもう中川さんの名

は患者名簿から消えます。／堀口主任来通知出院了。这样，中川先生的名字就要从患者名簿上消失了。②「浮雲」が世に出た。これで現代文学が始まった。／《浮云》问世了。于是，现代文学开始了。

## 2. 副词。

### 1) 表示眼前的一种状况。

①これで死んでも、たいして思いのこすことはないでしょう。／即使就这样死去，也没有太大的遗憾了吧。②「ああこれで助かった」と心の底から思いました。／我从心底里想到：“啊，这回可得救了。”

2) 以“私もこれで”形式表示“别看我这样，还是～”之类的意思。与“それでも”（另项）相同。

①私もこれで、人さんの命をよっぽど助けて居るさかえ（＝だから。方言），極楽へ行かれますわ。／我还是救了许多人的命，所以（死后）能去极乐世界。②私もこれで会社の部長です。／（别看这样）我还是公司的部长。

## 3. 词组。

### 1) これ指前述事物，では表示工具、方式的格助词。

①古いカメラですが、これで結構写ります。／这虽是一架旧相机，（用它）满可以照。②こうしてともかく村に診療所ができた。しかしこれで医療の問題はすべて解決したなどといえるわけではなく，一步前進したにすぎなかったのです。／就这样，村里好歹有了个诊所。但还不能说由此彻底解决了医疗问题，而仅仅是前进了一步。

2) これ指前述事物（的量），格助词中表示到此为止的界限。

①これでこの時間の放送を終わります。／这个时间的广播到此结束。②あなたに会うのはこれで三年目です。／这次见你，已经是第三年了。

### それでも 〈副词〉

表示“即使以这种状态而论，也～”、“别看这样，还～”、“总算是～”之类的意思。有小看或不可小看的意思。

①私はそれでも工芸学校出だから、ちゃんと基礎はあるんですよ。／我还是工艺学校毕业，基础是有的。②今でこそ怠け者であるが、昔

はこれでも郷党の秀才であった。／现在当然是个懒汉，可过去还是个土秀才呢！③八月の中ごろ，細君の誕生日にはぜの鉢植を良二が買ってきた。これでも盆栽のうちに入るのだろう。／八月中旬，良二为妻子的生日买了盆栽的野漆树，这也算是盆栽花木吧。

これなら 〈接续词〉

これ复指前一句的内容，なら（だ的假定形）表示以此作为后项推论的前提。

①外の人もあるだろう。これなら，私が入るはずはない。／别的人也在吧？那我是不会进去的。②太字で書くことにしよう。これなら，一目で区別がつく。／咱们就用黑体字写吧。这样一来，一眼就能区别开。

【参考】下例的これなら是これ和なら的临时组合。

①簡単ですわ。操作はボタンひとつ。これなら，子供までも測れますわ。／操作简便，只要按一下电钮。有了它，甚至儿童也能测试。

ころ（ごろ）

1. 形式名词用法。表示大体的一个时段。接用言连体形，体言加の后。

①朝食が終わるころ，約束通りの時間に金子さんが来てくれた。／快吃完早饭的时候，金子按约定的时间来了。②おじいさんは若いころ大変貧しい生活をしていたらしい。／爷爷年轻时代好象生活非常贫困。③子供のころ，彼は小児マヒにかかったという。／据说他小时候得了小儿麻痹。

2. 接尾辞用法。读为ごろ。

1) 接于表示时间的副词和名词后，表示不太确定的一段时间。

①たぶん一昨年ごろ来日されたのではないかと存じます。／我记得可能是前年来日的。②今ごろはホテルに着いて，シャワーでも浴びることでしょう。／这阵子可能已到了饭店，在洗淋浴什么的吧。③思春期ごろは人生でいちばん夢多きころだ。／思春期阶段是人生中最富梦想的时期。④いつごろ出来上がりますか。／什么时候能做出来？

2) 构成时间名词，可起副词作用。表示大体的一段时间、时期。このごろ、近ごろ、中ごろ、先ごろ、日ごろ。

3) 接动词连用形或名词后，构成名词，表示适合于某动作行为的

大体时间或程度。

食べごろ、火点<sup>ひとも</sup>しごろ、見ごろ、矢ごろ、年ごろ、値ごろ。

4) 其他。

身ごろ、月ごろ。

根拠<sup>こんきょ</sup>依拠<sup>いきょ</sup>の表現    コンキョイキョノヒョウゲン    依据根据表达法

【性质】根据和依据大致可分成两类，一是为说者陈述服务的，属于陈述范畴，一是叙述内容赖以成立的，属叙述范畴。后一种客观性强，近于原因理由表达法。

【形式】1. 格助词。

1) “に”接于“言う、思う”等少数动词后，表示后续的判断、知识内容的根据。

①彼が言うには、どろぼうはここから逃げたそうだ。／据他说，小偷儿是从这儿逃跑的。②思うに、これは彼の計画的犯行である。／想来，这是他有计划的犯罪行为。

2) “から”表示获得知识等的出处。如出处同时是一种材料或工具，可用で代替。

①テレビから（で）ニュースを聞きました。／从（通过）电视听了新闻。②私はこの本から（で）いろいろな事を学んだ。／我从（通过）这本书学到了很多事情。③これは彼から聞いたのだ。／这是从他那儿听来的。

△から还构成からする型、から言う型、から見る型的词组。

①この映画はタイトルからして人に訴える力がある。／这部电影光从片名看就有吸引力。②理論から言えば不可能そうだが、実際に成立する場合もよくある。／从理论上说似乎是不可能的，但实际上在很多情况下是成立的。③人数から見ると、なかなか強そうですね。／从人数上看，可象是很强啊。

2. 动词。主要是和依据、传闻等有关的动词。如：よる、聞く、したがう、てらす、基づく、鑑みる、応じる。主要接格助词“に”后。

①情勢の変化に応じて対策を講じる。／适应形势的变化讲究对策。②皆の意見にしたがって、一部の議題を次の会議にくりさげた。／遵照



大家的意見，把一部分議題推延到下次會議了。③今までの研究成果に基づいて新しい理論体系を構想した。／以迄今為止的研究成果為依據，設想了一個新的理論體系。④時によって，場合によって，客によって，持てなし方は違う。／接待方法因時間、因場合、因客人（的不同）而不同。⑤森田氏の研究によれば植物からの発電はもう長い将来のことではないとのことである。／根據森田先生的研究，用植物發電已為期不遠。⑥新聞によると，判決は明日に下すという。／據報紙說，將在明天判決。

### 3. 語法慣用型“～を～に（と）”。

①今までの経験をもとに，習得した知識の活用に入れた。／以以往的經驗為基礎，致力於學得的知識的靈活運用。②國民生活的向上を建前として，社會生活を営む。／以提高國民生活為原則來組織社會生活。

### 4. 形式體言。

①あんたの言ったとおりにやってみたら，旨くできた。／照着你說的那樣做了，結果做得很好。②何度くりかえしても予想通りには行かない。／反復多次，就是達不到預想的那樣。

### 混種語 コンシュゴ 混合詞

由不同語籍的單純詞复合或派生出來的詞稱為混合詞。一般說來，复合詞和派生詞是由固有詞和固有詞、音讀詞和音讀詞、外來詞和外來詞結合而成的，而混合詞是一種補助性的構詞法的產物，在日語詞彙中只占6%。有以下几种情况。

#### 1. 由音讀詞和固有詞結合而成的。

縁側、職場、記念日（以上音讀詞在先，即“重箱読み語”）；家賃、身分、壁新聞（以上訓讀詞在先，即“湯桶読み語”），発刊する、退治る、気さくだ（以上用言）。

#### 2. 由外來詞和固有詞結合而成的。

インキつぼ、ゴム長、マークする、サボる、貸ボート、長ズボン、がんばりズム。

#### 3. 由音讀詞和外來詞結合而成的。

逆コース、原子エネルギー、ラジオ放送、ローカル線、シャンソン歌手。

复合外来词也有不同语籍的词结合而成的。这是外来词内部的混合词，对日语词汇来说仍是外来词。

ゴム・タイヤ（荷兰语+英语）、アル（バイト）・サロ（ン）（德语+英语或法语）。

### 混成語 コンセイゴ 缩合词

由两个词义有关联的词的各一部分结合成的词。

①とらまえる（←とらえる、つかまえる）。②はねかる（←はねる、かかる）。③かくなす（←かくす、なくなす）。④旅テル（←旅館、ホテル）。⑤微苦笑（←微笑、苦笑）。⑥便利がいい（←便利だ、都合がいい）。⑦切符の切らない方（←切符の切られない方、切符を切らない方）。⑧猪突邁進（←猪突猛進、勇往邁進）。

其中例⑥、⑦超过了词的范围，可看作词组。

这一现象是由于语言的经济原则而自然产生的。以上词和说法大都未得到社会公认，应视为误用。另一方面，ヤブク（←やぶる、さく）等个别词已成正式用法。新的地名、商标名等更是把这种用法作为常用的命名法，如“京浜”（←東京、横浜）。别的语言也有此现象，如汉语的“京津地区”、英语的smog（←smoke、fog“烟雾”）、pomato（←potato、tomato“马铃薯”）。

### こんどは（今度は） 〈副词、接续词〉

表示后一项将出现和前一不同的新的情况、状态、动作。作副词或接续词用。由实义名词“今度”（这次、下次）和“は”构成，不连接词与词。

#### 1. 连接两个句子。

①車はいく台も通った。こんどは後ろから来たジープが一台徐行し始めた。／开过很多辆车。这时，从后边来的吉普车有一辆开始低速行驶。②やがて私は立ち上りましたが，二度目の震動で再び屈み込みました。こんどは右手を地面につけ体を支えました。／过一会儿，我站了起来，但由于第二次震动（地震）我又蹲下身来。这次是用右手着地支撑身体。

#### 2. 用于句中。

①次に、象を船からおろして、こんどはその船に石を沢山積ましました。／然后，把象从船上卸下来，下一步，让人往船上装上许多石头。②僕は彼を拳骨でなぐり，彼が倒れると，こんどは両足で蹴った。／我用拳头打他，他一倒，我又用双脚踢。③宣伝カーの放送がやみ，今度は，音楽が流れ出した。／宣传车的广播停了，接着，开始播放音乐。④森を通りぬけたかと思うと，今度は道に出た。／刚一穿过森林，便来到了路上。

【参考】以上用法大都是兼有副词、接续词的性质的。以下是“今度”的纯粹的名词用法。

①明日また飲もう。今度は僕がお金を出します。／明天再喝。这回（指明天这回）我拿钱。②今度の訪問／这次访问。

#### 混文 コンブン 混合句

【解释】吉冈乡甫的用语。山田孝雄把句子分为“单文、重文、合文、有属文”（依次为简单句、并列句、复合句、包孕句）。但实际上并列句、复合句、包孕句又内含同类句或不同类句。山田认为，这样的句子可按最高层次的类别定名，而吉冈一律称作“混文”。

通过混合句的分析，可以分清句子的不同层次，找出不同层次之间的语法联系，有利于正确地把握全句的语法关系和意义。

混合句往往是读解文章的难点和重点。句子分析主要是混合句的分析。

【类型】1. 并列句内含并列句和其他。

①不偏不党は，新聞も同様であって，今日の一般紙はほとんど例外なく不偏不党をたてまえとしているが，新聞の不偏不党は自律的なものであるのに反して，放送の場合は法律によって要求されているところに違いがある。／不偏不倚报纸也相同，现在的报纸几乎不例外地以不偏不倚为前提，然而差异在于报纸的不偏不倚是自行掌握，而广播的不偏不倚则受法律约束。

本并列句的前半部分，是由两个并列子句构成的。后半部分是一个包孕句。包孕子句又是由两个并列子句构成的。因最高层次是两个并列子句，所以可称并列混合句。图示如下：





# さ      さ

## さ 〈格助词〉

接体言后。

1. 东北方言。表示方向、位置，相当于に或へ。

①どこさ行く。／上哪儿去？②東さいった。／往东去了。③上さ置く。／放在上面。

2. 有时用来模拟方言，代替格助词が（例①）、を（例②）等。不是规范用法。

①雨さ降りに降った。／雨不停地下。②丸さ送ってもらった。／给我寄来了票子（钱）。

【参考】日语中有“京都へ築紫に坂東さ”的说法，说明不同地区用不同的助词表示方向。即京都用へ、筑紫用に、关东用さ。现在さ已在东京话中消失，仍保留在关东北部和东北地区。

## さ 〈终助词〉

【接续】接于句末各种词后。

1. 接体言、副词及形容动词词干后。

①君の飲みたいのは何さ。／你想喝的是什么？②何をするのさ。／做什么呀？③それはそうさ。／那当然啦。④このビルは日本一立派さ。／这幢楼是日本最好的。

2. 接动词、形容词及助动词的终止形后。

①僕にだってできるさ。／我也会啊。②仕方がないさ。／没办法啊。③行くだろうさ。／会去的。④読んださ。／已经读了。

△一般不接命令、请求、劝诱形式后。

3. 接于各种助词后。

①あいつ、あの声でノド自慢に出たんだってさ（とさ）。／据说他就凭那嗓子还出席了歌咏比赛哪。②肝腎なのはこれからさ。／关键在今后。③やって見たまでさ。／只是试了一下。④会社を休んだのは病氣

だったからさ。／没到公司上班，那是因为病了。

△可后续ね（え）。

①喜ぶに違いないさね。／肯定很高兴吧。

【意义】男女共用。

1. 表示自己的主张、看法。带有无奈、不言自明、旁观等口气。

①言伝ことづてよりは直接本人にあつもの会なますって相談するのさ。／别传口信儿，要直接找本人商量。②羹に懲りて膾を吹くことはないさ。／不要因噎废食嘛。③もちろんさ。／当然啦。④「すきか」「大好きさ」／“你喜欢吗？”“喜欢着呢！”⑤若返りした気持で晩年をたのしく生きていくさ。／（我要）以返老还童的心情，愉快地度过晚年。

2. 接と或って后表示介绍、传闻。带有与己无关或遥远的语气，有时进而暗含轻视、嘲讽的情绪。

①それから一家3人はむつまじく一生を暮したとき。／说是啊，从此以后一家3口和睦地度过了一生。②結局，白の負けになったとき。／说是最后白方输了。③今は機械のコントロールにもテレビを使っているとき。／据说现在操纵机器也用电视呢。

3. 和疑问词呼应，表示提问、反驳、责怪等口气。

①何さ，君にとやかく言われる筋合じゃないよ。／怎么？哪里该着让你说三道四！②今まで一体何をしていたのさ。／直到现在你到底干了些什么呀？③どうして食べないのさ。味でも悪いのかい。／怎么不吃啊？是味道不好吗？④俺のどこが不満なのさ。身のほどを知れよ。／不满意我的哪一点？你要知道自己的分量。

【参考】1. さ有一定的判断性，因此可以代替だ或だ词尾，见接续。

2. さ一般只用于较随便的谈话中，对长上、文章中、正式谈话中不用。主要是男性用语。用法3女性用来显得粗鲁。

さ 〈间投助词〉

【接续】接在句中句节后。即插在句节之间。

【意义】起调整语气、引起对方注意等作用。用于亲友（上对下或平辈）的较随便谈话。

①でもさ，そんなに変わってないんだよ。／可是啊，没有太大的变

化。②場合にもよるさ，でっかいのもあるし，<sup>ち</sup>小っちゃいのもある。／也分场合，有挺大的，也有小不点儿的。③日は暮れかかるしさ，寒さは身に沁みるしさ，ふるえちまった。／天要黑了，寒气也刺骨，抖成一团了。

【参考】在年青人的口语中，目前有使用过多的倾向。

①それでさ，お母さんさ，帰ってきたからさ，尋ねてみたんだけれどさ，グローブなんか仕舞わないっていうんだ。／于是啊，妈妈呢，回来啦，所以我就问啊，她说棒球手套根本没放起来。

さ 〈接辞〉

1. 接头辞。无生产性。

1) 接于名词、动词、形容词前调整语气。汉字用“小”。

さ枝／小树枝。さ迷う／徘徊、犹豫。

2) 表示下一个时间。汉字用“再”。

再来年／后年。再来月／大下月。

3) 接有关“五月”的事物的名词前。汉字用“早”。

さ苗／稻秧。さ少女／插秧姑娘。

2. “接中辞”(中綴)。接双音节形容词ない、よい的词干后续助动词そうだ、补助动词すぎる之时。只起凑足音节的作用。

①彼にはこういう決心がなさそうです。／看来他没有这个决心。  
②彼は信用がなさすぎる。／他太不守信用了。③そんなに多忙でもなさそうだ。／好象也并不怎么忙。④あまり多くなさそうだ。／好象不多。

△含有ない、よい词素的复合形容词也同样。

①ジムも気持よさそうに，笑顔をしている。／吉姆也很快活地做着笑脸。②快さそうに寝ている。／睡得很安祥。③妻が情け無さそうな顔になった。／妻子流露出可怜的表情。④隔意なさそうな笑顔で千秋はあいさつした。／千秋很坦率地笑着作了寒暄。

△“濃い”有两种可能：こ（さ）そうな紅茶／似乎很浓的红茶。但一般是用こらしい（ようだ）代替。

△偶尔也可用助动词ない，即动词否定式上。

①政治家たちはしゃべらなさすぎる。／政治家们缄默得过分。

△不用于たい。

### 3. 接尾辞。

1) 接形容(动)词词干后构成抽象名词, 或者表示该种性质、状态及其程度。接心理形容词后仍表示其客观性。

①暑さ寒さも彼岸まで。／冷不过春分, 热不过秋分。②そのうれしさと言ったらない。／那股高兴劲儿就甭提了。③高さ／高低。高度。④学生らしさ／学生风度。学生气。⑤静か(或け)さ／静。⑥痛さ／疼痛(的程度)。⑦デリケートさ／微妙(劲儿)。⑧雄大さ／壮观。⑨不可解さ／不可理解(性)。⑩人を使いつけている者に天成備わった驕慢さだろう。／大概是惯于指使别人的人所天生具有的一种高傲吧。

2) 接某些表示状态的汉字词名词后表示性质、状态。

①そういう積極さが消える。／这种积极性将消失。②その敬服さ加減を披露するために……。／为显示这种敬佩的程度……。

3) 在某些时候, 是接在词组之后的。表示的意思同上, 但这时又起到使上述结构体言化的作用。

①表現の分りやすさ／表达之易懂(的程度)。②人情の機微のとらえにくさ／把握世路人情的微妙之难。③あなたに褒められたさにそんなことをするのは。／是为了换得您的表扬才那么做的。④母に逢いたさのあまり, 二人はあらゆる手立てを話し合いました。／由于见母亲心切, 两人把所有办法都商量遍了。

4) 偶尔也接于否定助动词ない、ぬ后, 这是因为有些动词否定形表示状态的缘故。

①予測のつかなさ／不可预知(性)。②なみなみならぬさ／非凡(的程度)。

△不能用于形容词すい、いい和形容动词“～的だ”。

### 再帰動詞 サイキドウシ 再归动词

金田一京助的语法术语。指失去他动性之后成为同义的自动词的动词。如: 門を開く→門が開く, 網を引く→潮が引く, 煙を吹きおろす→風が吹きおろす。



同时，存在着相反的过程。某些自动词获得他动性之后成为他动词。如：太郎が笑う→太郎が人を笑う，人が病む→人が胃を病む，リンゴが痛む→人の死を悼む。

根据以上情况，我们可以把再归动词进一步理解为自他同形词。这种意义上的自他同形词在汉字词干的サ变动词中很多，如：生じる、嫁する、治する、染色<sup>せんしよく</sup>する。

さえ 〈提示助词〉

【接续】1. 接体言和体言性词组。

①お前さえそんなことを言うのか。／连你也这么说吗？②寝るひま（を）さえ惜しんで頑張った。／废寝忘食地坚持了工作。③足に怪我をして，歩くのさえ不便きわまる。／腿受了伤，走路都非常不便。④時が時だったから父に会えるかさえ危ぶまれた。／因当时正是非常时期，连能不能见到父亲都很难说。⑤食べたり飲んだりさえ不自由だ。／（因病）连吃饭喝水都有困难。

△接体言后时常用でさえ，见下例③。

2. 接格助词和接续助词て后。其中，接が后时要省去が，如上例①，接を后时一般也要省去を，如上例②。

①夫にさえ内緒にしている。／甚至对丈夫都瞒着。②見知らぬ人からさえ激励の手紙が来た。／甚至素不相识的人也寄来鼓励的信。③今の人たちでさえ，ちょっとした計算によく指を使います。／即使现代的人，简单一点的计算仍常用手指。④万緑叢中にきらめく紅一点の新鮮な印象が愛情をさえよみがえらせてくれた。／万绿丛中闪烁的一点红这种新鲜感甚至唤起了我的爱情。⑤東京に五年もいながら日比谷（へ）さえ行ったことがない。／在东京五年却连日比谷都没去过。⑥彼の表情を思い起こしてさえたえがたい。／甚至一想起他的表情就难以忍受。⑦見せてさえ下されば結構です。／只要给看看就可以了。

3. 接活用词的连用形后，其中サ变动词也可接词干后。常构成さえすれば、さえあれば等形式。

①意味は読みさえすればすぐ分る。／意思一读就懂。②安くさえあれば買ってもいいよ。／只要便宜也可以买。③子供がよく勉強さえすれば

ば何でもほしいものをあげる。／只要孩子好好学习,要什么就给什么。④お互いに元気でさえいれば,またいつか会えるだろう。／只要我们都健康,还会有相逢之目的。⑤向こうに一步譲った方が,かえってこちらに有利でさえある。／甚至是向对方让一步反而对我们有利。⑥皆に好まれさえすれば,どんなサービスも提供致します。／只要诸位满意,可以提供任何服务。⑦泣きだしそうにさえなって地だんだをふんだ。／懊悔得捶胸顿足几乎哭了起来。

#### 4. 接副词性句节后。

①只でさえしっくりいかない二人の仲だ。／他们俩的关系本来就搞不好。②こうしてさえいればもう大した事はない。／只要这样持续下去,就问题不大。③残りはもう一つさえない。／已经连一个都不剩了。

△さえ可以后续も以加强语气。

①それを聞いて,私さえも(でさえも)腹が立ってしょうがない。／听了这话,连我都气坏了。

【意义】1. 提示句子的各种成分。以极端的事例来说明其他更无例外。

1) 以起码的事物为例。常含有轻视、轻蔑等口气。

①こういう問題は1年生にさえできるさ。／这样的题1年级学生也会啊。②親にさえ知らせずに外国旅行に立った。／连父母都没告诉就到外国旅行去了。③実際彼は返事をするのさえ大儀だった。／他实在懒得回答。④事態の本質を理解しようとする気さえない。／甚至根本不想了解事态的本质。

2) 以程度高的事物为例。有时有惊讶、赞美等语气。

①専門家にさえできない問題だ。／是个连专家都解决不了的问题。②今は宇宙科学が進歩して,人間は月へさえ行き来するようになった。／如今宇宙科学发达,人类甚至能进出月球了。③僕らの祖先は,中国の雜劇を世界に比類を絶したオペラ——能楽にさえ完成した。／我们的祖先把中国的杂剧最终竟发展成能乐这种举世无双的歌剧。④彼はその役所に実力を持っていて,人事さえも左右している。／他在那个机关里很有实力,甚至左右着人事安排。

2. 以～さえ～ば（なら、たら）～形式强调只需某个最低或唯一条件后项就可以成立。

①誰でも人と話をさえすれば、それは宣伝活動をしているのである。／任何人只要和别人讲话，那就是在进行宣传活动。②私は本さえあればほかに何もいりません。／我只要有书，别的就什么都不需要了。③栄養さえよければ子供がよく育つとは限らない。／未必只要营养好儿童就能发育得好。④親は子供が体さえ丈夫なら安心するものだ。／家长只要儿童身体健康就放心了。

3. 表示在原有基础上又添加程度更高的情况。可用まで代替。有时有受害或受惠的语气。

①風が強いと思ったら、雨さえ降り出した。／本来风就很猛，偏偏又下起雨来了。②杖とも柱とも頼む一人子にさえ先立たれた。／唯一依靠的一根独苗也先去了。③「ヘリコプターだ!」女の声も、子供の声さえある。／“直升飞机!”有女人的甚至儿童的喊声。④子供たちを御馳走してくれたうえに車で送り届けてさえくれた。／不但款待了孩子，还用车给送来了。⑤入獄も、流刑も、死刑さえも避けがたいことを悟った。／意识到了坐牢、流放、甚至死刑也是难免的。

【参考】1. さえ由文言副助词さへ转成，原出于“添へ”，只有添加的意思（までも），而现在的さえ却主要继承了文言すら（类推）、だに（类推、限定）的用法，用法3是次要用法。由于这个原因，有时一句话可能有歧义，如“親にさえ隠している”既可以理解为3，即“（对别人瞒着不说）对父母也瞒着”，又可以理解为1，即“甚至对父母也瞒着（，对别人就可想而知了）”。

2. 有些方言里说さい、せえ。

さかい 〈接续助词〉

【接续】1. 接用言及助动词终止形后。

2. 接体言及形容动词词干加や（だ）后。

△有时后续に、で、成さかいに、さかいで。

【意义】关西方言。表示既定的原因、理由，大致与ので、から相同。

①馬や兵隊にふみ荒されるもしれんさかい，刈れそうなのは刈った

方がええと聞いたんや。／听人说，说不定会受到兵马的践踏，所以能收获的还是收获了好。②うん，でも，あしたは式やさかい，今夜は，勉強せんでもええネ。／是啊，可是明天是（开学）典礼，所以今晚不学习也可以。

【参考】由实义词“境”转成。有些地区说成さけ、しゃけ等。

**サ行变格活用** サギョウヘンカクカツヨウ サ行变格活用、サ变文言及现代语动词的活用类别之一。只有文言的す和现代语的する各一词，但可构成大量的复合词。属于变格活用（见该项）的一种。活用表如下：

	基本形	词干	活用形						
			未然	连用	终止	连体	已然 假定	命令	推量
文言	す	○	せ	し	す	する	すれ	せ(よ)	○
口语	する	○	さ、せ、し	し	する	する	すれ	せよ しろ	し

文言的命令形有せ、せよ两种，以せよ为多。现代语命令形也有しろ、せよ两种，以しろ为多。部分方言中有终止形シル和假定形シレ（バ），但对东京语影响不大。

现代语三个未然形的大致分工是：さ后续れる、せる，せ后续ず（ざる）、ぬ，し后续ない、まい。

就现代语来说：固有词、汉源词、外来语中的许多词能和する结合为复合サ变动词。如：勉強する、ともかせぎする、タッチする。

其中，以元音结尾的单字的汉语和する结合成的复合サ变动词目前具有サ变和五段两种活用，见“五段活用”的参考8。

另外，以促音、长音、拨音结尾的单字的汉语词构成复合サ变动词时，也可按上一段活用、详见“复合サ变动词”。

さしあげる

1. 谦让语动词。“与える、あげる、やる”的谦让语。



①弊社の粗品ですが、お客さんにさしあげます。／这是弊社 的制品，现在送给诸位来宾。

2. 谦让语补助动词。构成～てさしあげる形式，作“～てあげる”的谦让语。表示为对方或别人作某种动作、行为。

①お友達の誕生日に万年筆を送ってさしあげました。／为朋友的生日赠送了钢笔。②薬は私が病院からもらってさしあげます。／药由我来从医院取。

さして 〈陈述副词〉

和否定成分呼应，表示某事项的程度不及想象或传说的那么高。

①さして危険なことはない。／没什么太危险的。②そこからロブノールまでさして遠い道のりではない。／从那儿到罗布泊路程不算太远。③しかし、よくしたもので、会社はさして文句も言わず、定年まで飼ってくれました。／但是，真不错，公司没讲什么怨言，把我养到退休。④彼女は、さして楽しそうには見えなかった。／看不出她怎么愉快。

さすが 〈副词〉

【句型】有时用さすがに、さすがは、さすがの等形式。构成的句式很多，主要有さすがは～だ、さすがの～も～、さすが（に）～だ、さすが（に）～だけあって～だ、さすが（に）～ない、～はさすがだ等。但句型和意义之间无对应关系，下面按意义用法分述。

【用法】1. 表示由于客观特征决定的说者的肯定评价。带有“钦佩”的语气。

①さすがの春子もあわてるほかあるまい。／就连春子也只能手足无措。②さすがは芥川さんである。／到底是芥川（人名）。③さすが梅の名を持つ在所という感じがしてきた。／我觉得，我的家乡取名“梅”字当之无愧。④さすがに世界一の楽団といわれるだけに演奏がうまい。／真不愧被称为世界第一的乐团，演奏高超。⑤奴はさすがだ。難関をみごと突破して最優秀賞を獲得したんだからね。／这伙计真可以啊！成功地通过难关获得最优秀奖。

2. 表示主体由于外部原因而不能随意。常用さすがに～ない形式。

有感叹的语气。

①とてもおいしかったけれど、さすがに残らず食べるわけにはいかなかった。／非常好吃，但终不能吃得一点儿不剩。②猫がもがいてさすがに一人ではもちきれなくて、男の子の名前を呼んだ。／猫挣扎着，一个人实在对付不了，便呼喊（那个）男孩儿的名字。③彼は母と別れることにさすがに淋しいものを感じた。／他和母亲分手时，凄楚之感油然而生。

△用法2一般用于消极事实上，下例稍特殊，但仍有轻视“问题”的语感。

①問題がやさしかったらしく、さすがに彼も出来たようだ。／看来题很简单，连他都答上了。

### させられる 〈复合助动词〉

由使役助动词させる和被动助动词られる结合而成。接续同させる，与せられる为互补关系，接于一段动词和カ变动词未然形后。活用同られる，属下一段活用。因させる和られる都是多义的，所以各种组合产生不同的新义。主要如下。

1. 用させる的使役用法和被动助动词られる结合，构成“被役態”，表示动作主被迫作该动作或行为。

①この雨の中を来させられた。／正在下着雨，被人叫来了。②朝は下女と殆ど同時に覚されて、雨戸を明けさせられる。／早晨和女用人几乎同时被叫醒，去打开挡雨板窗。

△“被役態”常约音为さされる。

①一番癪にさわったことは、自分の気に入らんお菜を食べさせられたことだった。／最令人恼火的是硬叫人吃自己不愿意吃的菜。

2. 由させる的诱发用法和被动助动词られる结合，表示强烈的诱发。

①子供の投げ出したするどい批判に大いに考えさせられた。／小孩子提出的尖锐批评叫我思考了好一阵子。

3. 由させる的放任用法和被动助动词られる结合，表示单纯的“受害”。

①ずっとやっている仕事をやめさせられては困る。／让人不去做一直做的事情是不对的。

4. 由させる的尊敬用法和敬语助动词られる结合,表示皇室敬语。此用法不能用音便形式さされる。

①天皇陛下は被災地を御覧ぜさせられた。／天皇陛下视察了受灾地区。

5. 由させる的使役用法和可能助动词られる结合,表示使役的可能。

①女性にも勤めさせられるサービス業。／让女性也能参加工作的服务行业。

させる 〈使役助动词〉

【活用】下一段动词型

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
させる	させ	させ	させる	させる	させれ	させよ させろ	させ

1. 未然形。后续助动词られる(另项)、ない、ぬ(ん)、まい、ず等。

①そんな物は、子供に食べさせない方がいいです。／那种东西最好不让孩子吃。②今の調子では、お医者さんも起きさせまい。／看现在这样子,医生怕也不会让你起来。

2. 连用形。

1) 用于中顿。

①この事件は親たちに驚きを感じさせ、警戒心を起させた。／这次事件使家长们感到吃惊,引起了他们的警惕。

2) 名词用法。

①心を尽して致しますから、案じさせは致しません。／我将尽心尽力,不会让您担心的。

3) 后续助动词た、たい、ます、そうだ(样态)等。

①悪い奴がマチルドの仔猫を川で溺れさせた。／有个坏蛋把玛琪尔德的猫崽拿到河里淹死了。②子供を先に寝させました。／让孩子先睡了。

4) 后续接续助词て、ても、ては、ながら、并列助词たり等。

①試験を受けさせてもだめだろう。／让参加考试，也没有指望吧。②説明したり，生徒に答えさせたりするだけでは不十分である。／仅仅是解释和让学生回答是不够的。③学習者に実物を見させながら単語を教えてやる方が効果的だという。／据说边让学习者看着实物边教单词效果好。

### 3. 终止形。

1) 单独或后续终助词结句。

①これはもっと暖かくなると着させる。／这个再暖和一些的时候就让(你)穿了。②君，あわてさせるなよ。／你别慌慌我啦！

2) 后续助动词だろう，らしい，そうだ(传闻)等。

①皆に分けさせるだろうか，こんなにも沢山くれた。／给了我这么多，莫不是让我分给大家？②母さんの話では，宿題をしてから出かけさせるそうよ。／妈妈说了，做完作业就让你出去。

3) 后续接续助词、并列助词が、と、から、けれども、し等。

①そんなものを食べさせると病気になりますよ。／让他吃这种东西就会生病的啊。②ラジオは掛けさせるが，テレビは触れさせてもくれない。／收音机让我开，可电视机都不让我碰。

### 4. 连体形。

1) 构成连体修饰语，后续体言。

①そういう人たちに退屈を感じさせる事は禁物です。／让这种人感到烦闷是一大忌。②遊びに乗り気になって，先生の覚えさせる歌のことを忘れてしまった。／玩儿得起劲儿，把老师让学会的歌忘到脑后了。

2) 后续有体言成分的助词、助动词ので、のに、ようだ、ものだ、のだ、だけ、ほど等。

①もし助けさせるようなら助けてやるより仕方がない。／如果真是让我(你)帮忙，就只好帮忙了。②犯人に手を挙げさせるだけの証拠



はまだない。／还没有足以使罪犯就范的证据。

5. 假定形。后续ば。

①そんなきたないもの，早く棄てさせればいいのに。／那么脏，还不快让他扔掉。

6. 命令形。结句。

①荷物を届けさせろ。／让把行李送来。

7. 推量形。后续よう，多表示意志。

①時刻通りに目醒めさせようとして，目覚まし時計を買ってやった。／为让他按时醒，给他买了个闹钟。

【接续】与另一助动词せる在接续上是互补关系。

1. 接一段动词未然形后。如“見させる、飽きさせる、信じさせる、述べさせる、寝させる”。

2. 接カ变动词未然形后。如“連れて来<sup>こ</sup>させる”。

3. 在文言体中接サ变动词未然形～せ<sup>こ</sup>后。（口语体音便，见せる项）例如“勉強せさせる”。ズル型サ变动词或按一段活用接させる（感じさせる）或接未然形～ぜ（感ぜさせる），后者属文言体。

【意义】1. 指使别人进行某种行为动作。

①老人は若者に少女を助けさせた。／老人让青年救少女。②手柄は立てさせたい。しかしかわいそうでならない。／希望你（他）立功劳。但是于心总有些不忍。

2. 表示主观促成动作或状态的实现。通常接自动词后，并实际上使其起他动词的作用。

①学生たちの興奮を醒めさせる。／使学生们冷静下来。②私は一言で，二人の縁談を遂げさせた。／我一句话就促成了两个人的婚事。

3. 表示许可、默许、放任自流一类的意思。

①そんなことなら，考えさせてもらいます。／这样的事，你得容我想一想。②子供に好きなだけアイスクリームを食べさせた。／让孩子把冰激凌吃了个够儿。③成人映画ですから子供には見させません。／因为是成人电影，不许儿童观看。④この学校では，授業中にも自由に口を入れさせます。／这所学校讲课时允许随便插嘴。

4. 表示负有责任的行为动作。常有无奈、为难、内疚等语感。

①いろいろ心配をかけさせて申し分ありません。／让您为我多方费心，很抱歉。②私の油断で大事な仕事をやめさせました。／我一时的疏忽，耽搁了您的重要工作。

5. 以非生命体作主语，表示功用、诱发性的关系。产生于西文翻译体文章。

①飛行機の轟音は引き続いて起り，なかなか私を寝させなかった。／飞机的轰鸣声接连不断，搞得我根本无法睡眠。②新しく飾られた部屋は果して一種の雅趣を覚えさせた。／装饰一新的房间果然给人一种雅趣。③中村氏の話は，どうかすると不必要な細かい所へ走りすぎるために，いつも半ばまで来ると人を飽きさせる。／中村先生讲话一动就在无谓的细节上扯得太远，因此总是讲到一半儿就使人厌倦了。

6. 以させられる、させたまう等形式表示高度的敬意。

①多年，宰相を勤めさせられたかたです。／这位多年出任首相。②われらに御恵みをたれさせ給え。／赐予我们恩惠。

【参考】他动词和使役态动词的区别：他动词表示的动作由动作主完成，而使役态动词表示的动作由被使役者完成。如，着せる／给穿、着させる／让穿。浴せる／浇、浴させる／让浇。

⇒せる

さぞ 〈陈述副词〉

和だろう、にちがいない等呼应，表示对过去和现在未见未知事实的推测。以对对方的话语、文章、消息、经验等为依据，有同情、同感的语气。

①アポロ宇宙飛行士の報告によると，月の世界はさぞ寂寥とした殺風景な所にちがいない。／根据阿波罗宇航员的报告，月球一定是个寂寥的死气沉沉的世界。②子に先立たれて，さぞがっかりしたことでしょうね。／孩子早逝，您一定很伤心难过。③さぞお心残りであられたことと思う。／我想他一定恋恋不舍。

△さぞかし、さぞや均为强调形式。

①さぞかしよく遊んだのであろう。その証拠に二人とも真っ黒だっ

た。／肯定是尽情地游玩了。两个人都晒得黝黑，可以作证。②学生時代から愛しあっていたお互い同士，今はさぞや仲睦まじいご夫婦として羨望の的となっていることでありましょう。／从学生时代起就是互爱的伴侣，如今一定作为和睦的夫妻而受到众人的羡慕。

【参考】对未来的事项要用さだめし。

11月頃になったらさだめし涼しい風が吹き出すことだろう。／到11月份一定会刮起凉风吧？

さだめし（定めし） 〈陈述副词〉

和だろう、にちがいない等呼应，表示较肯定的推测。用于对将来的推测，而且不带感情色彩，这两点与さぞ不同。有文章语性质。近于たぶん、おそらく、きっと。

①よくできた生徒だったから，今はさだめし大会社で活躍していることでしょう。／曾是学习很好的学生，现在可能已活跃于大公司里了吧。②あんな人と結婚すれば，さだめし楽しい時が少ないに相違ない。／要是和那种人结婚，准没多少高兴的时候。

【参考】さぞ和さだめし与现在时态呼应时，さぞ表示过去或现在，而さだめし一般是将来。

①入学試験はさぞ難しいことだろうな。／入学考试一定很难吧？②入学試験はさだめし～。／入学考试准会很难吧？

さっぱり 〈陈述副词〉

1. 和“放出”性动词搭配使用，表示完全消失。强调形式有きれいさっぱり。

①ハイキングの約束をさっぱり忘れてしまった。／把郊游的约定忘到脑后去了。②あんな夢はきれいさっぱりとあきらめなさい。／那种梦想干脆死了心吧。

2. 和否定的形式或意义呼应，表示所期待的事情根本不出现、不发生。

①この本はいくら読んでもさっぱり面白くならない。／这本书我无论读多少遍一点儿也引不起兴趣来。②英語がさっぱり分らない。／英语一窍不通。③今度の商売はさっぱりだめだった。／这次买卖一无所

得。

△也可直接作谓语，表示彻底否定。

①学期末テストはさっぱりだった。／期末考试一点儿也没答好。

【参考】さっぱり和まるっきり用法相近。

①まるっきり客が来ない。／一个顾客也不来。

而まるっきり是客观性描述，さっぱり是主观上的，与实际情况未必相符。如把例①的まるっきり改为さっぱり，意为“顾客总也不来”，还是来了一些。

さて

〈陈述副词〉和接续助词“と”等呼应，表示发生某种尝试性的行为、状态。

①よく知っているつもりでも、さて書いてみると難しいものです。／尽管自己觉得非常熟悉，一旦真的动笔写起来还是很难。②ロバは例によってつまずいたまねをして、さて起き上がってみると、荷物は前より重くなっていました。／驴子照往常经验假装绊倒，一起来呢，货物比先前更重了。③さて遠くのものはっきり見なければならぬとなると、なかなかの眼の努力を要する。／一到要看清远处东西的时候，就需要费一番眼力。

〈接续词〉有时还能后续“は”。

1. 表示转换话题（转成新话题或旧话题的某个方面），近于ところで，常用于论文、故事、讲演、书信。

①以上からも見てとるように富山市は平和な都市でした。さて、そうした富山市に一つの事件が起りました。／从以上我们也看到，富山市曾是和平的城市。而就在这样的城市里发生了一起事件。②今はますますこの望みが大きくなってきた。（另起一段）さてこの望みがはたして自分の力で達せられるであろうか。／现在，这一愿望越来越强烈了。那么，这一愿望真的能靠自己的力量达到吗？

2. 表示追加新的叙述内容，近于そして、それから、

1) 用于句中词或句节之间。

①スイスは国連ヨーロッパ本部を始め、ILO, WHO. さては世



界宗教会議に至るまでゆうに百を超える国際会議のホスト国である。／瑞士是上至联合国欧洲总部下至国际劳工组织、世界卫生组织，以及世界宗教会议等远远超过一百个国际会议的东道国。②鳩が幾羽ともなく舞い昇って，さてパッといっせいに野面<sup>のづら</sup>に散った。——アア秋だ！／许多只鸽子腾空飞起，旋即唰地都散开于原野之上——啊，秋天了！

## 2) 用于句子之间。

①私は黒板をもらってきました。さて，次に黒板かけがありません。／我要来了黑板。而下一步，还没有黑板挂儿。①なべに水を入れます。さてそこで，そのなべを火にかけて10分ぐらい熱します。／在锅里放上水，然后把锅架在火上加热10分钟左右。

〈感叹词〉以自问的语气表示开始下一行动前的踌躇、思虑（例①）或提醒、劝诱（例②）。

①さてこれからどうしようか。／那么今后可该怎么办呢？②さて，あなたの家のテレビで見ませんか。／欸，用你家的电视机看好不好？

## さておき 〈副词〉

さて的感叹词用法とおくの连用形结合后有如下限定副词用法，表示搁置前项而谈论后项。只以～はさておき形式用于句中。也用さておいて形式。

①彼女のことはさておき，君の気持ちはどうなんだ。／她怎么样先不提，你对她是怎么个想法？②分け方のハイカラなのはさておいて，なぜあんなに髪を長くするのか。／先不说（分头的）分法时髦，单说为什么把头发留得那么长呢？

## さながら 〈陈述副词〉

和ようだ等呼应，表示比喻即话题事物与常见的某事物非常相似。

①頭をぴかぴか光らして，さながらどこかの和尚さんのようです。／脑袋剃得锃亮锃亮的，真象哪儿的和尚似的。②地震後の有様といったら，さながら地獄のような所だった。／要说地震后的情况，那简直和地狱一样。

△另有构成副词节的接尾辞性用法。

①地獄さながらの情景／宛如地狱一般的情景。②死人さながら彼は静かに寝ている。／犹如死人一样，他静静地躺着。

**サ変複合動詞** サヘンフクゴウドウシ サ变复合动词

【解释】复合动词的一种。サ变动词本只有する一个词，由于它和大量的词构成复合时，又形成大批复合サ变动词。如：計画する、応ずる、タッチする、ひっこしする。

原则上动作性名词才能与する复合，也有一小部分是非动词性的名词，如：味方する、私する、機能する。

通常认为する是活用词尾，其余是词干。

【种类・用法】1. 词干词尾结合关系松散的。

1) 词干为日语固有名词、副词（以拟声拟态词为主）的。如：恋する、旅する、お参りする、伸直りする、くよくよする。

2) 词干是外来语（原来是动词）的。如：スケッチする、メモする、スタートする、ドライブする、アップする。

3) 词干是两个或两个以上汉字词的。如：運動する、努力する、具体化する、再開発する、自画自讃する。

以上第1类词词干有名词用法，大部分还有作为动词词干的用法，见另项。

2. 词干词尾结合关系紧密的。又分为スル型和ズル型两类。这类词有跨类现象，除个别词外，词干不能单独用，可能形式也不能用～できる形式而要用～することができる形式，转化为五段、一段者可用～れる、られる形式。

1) スル型。

(1) 词干是一个汉字，且汉字以元音结尾的。如：愛する、訳する、略する、要する、害する、熟する。

(2) 词干是一个汉字、汉字末音是促音的。如：達する、熟する、接する、決する、察する。

第(1)种也可按五段活用，属于サ行。但每个词甚至一个词的不同活用形五段化的程度不尽相同。仅以“訳す(る)”为例对照如下。( )内为常用活用形。

活用类别	基本形	词尾	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形	推量形
サ変	訳する	する	し、せ、さ	(し)	(する)	(する)	(すれ)	しろ せよ	し
五段	訳す	す	(さ)	(し)	す	す	せ	(せ)	そ

第(2)种中有的在江户时代为上一段活用，而现代反而常以サ变形式活用，以“察する”为例对照如下。

活用类别	基本形	词尾	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形	推量形
サ変	察する	する	し、せ、さ	し	する	する	すれ	しろ せよ	し
上一段	察しる	しる	し	し	しる	しる	しれ	しろ	し

## 2) ズル型。

(1)词干是一个汉字、末音是拨音的。如：信ずる、存ずる、論ずる、禁ずる、案ずる、転ずる。(例外：関する、存する等)

(2)词干是一个汉字、末音是长音的。如：応ずる、命ずる、通ずる、報ずる、講ずる。(例外：抗する、草する、銘する、弄する等不常用的。)

(3)词干为形容词词干加み(音便为ん)的。如：重んずる、軽んずる、甘んずる、疎んずる、安んずる。

(4)以～ni型副词为词干的(ni音便为ん)。如：先んずる、諳んずる。

所有ズル型均可转成上一段活用动词，以“感ずる”为例对照如下。

( ) 内不常用。

活用形式	基本形	词尾	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形	推量形
サ変	感ずる	ずる	じ、ぜ	じ	ずる	ずる	ずれ	じろ ぜよ	じ
上一段	感じる	じる	じ	じ	(じる)	(じる)	(じれ)	じろ	じ

口語中常用上一段活用。用サ變動詞則帶文章語色彩。

⇒動詞の語幹、サ行變格活用

さほど 〈陳述副詞〉

與否定成分呼應，表示程度不及一般情況那麼強。有鄭重語氣。另有“さほどのことはない”（沒什麼了不起）等連體用法。

①酒はさほど好きではない。／酒，並不那麼喜歡。②彼の病氣はさほど重くない。／他的病不太重。③食卓は，人数が人数だけに，さほど大きくはなかった。／因為人數的關係，飯桌並不太大。④右手のさほど遠くない丘の上に二匹の狼の戯れている姿が見えた。／看見右邊不太遠的山崗上兩只狼正在玩耍。

△另有さまで，用法相同，但不常用。

①さまで悪い人ではない。／不是那麼特別壞的人。

さま（様） 〈接尾辭〉

1. 尊敬語用法。

1) 表示對神化人物和社會上層人物的尊敬。

神様、仏様、お地藏様、お釈迦様、イエス様、氏神様、王様、皇太子様、王女様、宮様、華族様。

△官職後不能加“様”。如“※総理大臣様”。“校長様”可以说。

2) 表示對於在社會、家庭觀念上應受尊敬的人的敬意。後一種情況比さん語氣更為鄭重，女性多用。

ご主人様、お嬢様、お医者様、旦那様、奥様、お父様、お母様、お姉様、おじ様、おば様、おじい様、おばあ様。

△書信用語：兄上様、姉上様、おじ様、おば様、ご両親様、（お）父上様、（お）母上様。

3) 接於對方姓、名、姓名後，表示尊敬。一般用於收信人、收件人、公共場合的點名等。

山田太郎様、山田様、太郎様、田中枝子様。

△以上1)～3)日常會話均用さん。

4) 接於代詞後，對不了解、不能說出姓名的人的尊敬。

こちら（そちら、あちら）どちら、どなた）様、皆様、先様。<sup>さきさま</sup>



5) 表示对社会知名人士和自然界的可亲的事物的尊敬或亲昵。

徳川様、良寛様、お犬様、お日様、お月様、お星様、おひな様、七夕様。

2. 美化语用法。以“お(ご)〜様”形式构成一些寒暄语。

お蔭様、お疲れ様、お粗末様、お待ち遠様、お待ち兼ね様、おあいにく様、お気の毒様、ご苦労様、ご迷惑様、ご面倒様。

3. 接续助词性用法。接动词连用形后，表示与〜やいなや相同的意义。有时说成ざま。

①「兄さん!」と言いさま駆け出した。／刚喊一声“哥哥”，立即跑起来。②振り向きざま発炮した。／掉转身来，立即开枪。

【参考】1. “おれ様”是尊大语。

2. “貴様”已由敬称转为卑称。

ざま 〈接尾辞〉

主要接动作动词连用形后，表示完成前项动作的同时，立即作后项动作。近于接续助词，等于やいなや等。

①跳ね起きざま，痛烈な平手打ちをくれた。／一跃而起，给了一记响亮的耳光。②鉄郎は，立ちあがりざま，その男に向かって引き金を引いた。／铁郎站起来，立刻朝那人勾动了扳机。③その男は，ふり向きざま，何回となくライフルをうった。／那人刚一转身，就用来福枪连打数枪。

△另有名词用法。

①なんというざまだ。／瞧你那副德行。②ざまあ見ろ!／活该!

さも 〈陈述副词〉

副词“さ”和提示助词“も”的组合。

1. 主要和ある的推量形式构成较固定的用法，等于“そうであるだろう”。

①花子は叱るように言ったが，しかし彼女も孝二の性質から推してさもあるとうなずいた。／花子虽然说了句嗔怪的话，但是她也认为从孝二的品行来看，那也是可能的。

2. 和そうだ、ようだ呼应，表示使人强烈感觉到的心理状态的外部表现。

①子供たちはさも楽しそうに歌を歌っている。／孩子们高高兴兴地唱着歌。②良秀はさももどかしそうに、二三度私のまわりを駆けまわった。／良秀似乎很焦急地有两三次在我周围跑来跑去。

### さもない系 〈接续词性词组〉

由文言指示代词さ（然）、提示（副）助词も、形式用言ないの活用形、接续助词と、ば等构成。和“そうでない系”的各项对应，意义几乎相同，只是“さもない系”文体已旧。さもない另有连体词用法，如“さもない時/非此种情况下”、“さもない限り/除非如此”。接续用法及部分副词用法如下。

#### 1. さもなければ。

1) 等于そうでなければ。多用于句子之间，表示如果前项内容不成立，就会造成后项中的（不利的）结果。也可用さもないと、さもなくば（文言色彩更强）形式。

①直ちに担当の人を変えて下さい。さもなければ貴社と絶縁します。／请立即将负责人换掉，不然就和贵公司绝交。②もしそんな人を発見したら出頭させよ。さもなければあなた自身が共犯者と見成される。／如发现这样的人，让他到警察署投案，否则你自己将被看作同案犯。

#### 2) 表示前后项间的选择性并列。多用于句中。

①父はそういう場合、いつも逃げているか、さもなければ、じっとうなだれているばかりだった。／父亲每逢这种情况，不是躲避，就是垂头丧气。②時にはかもをとりに行くこともあり、さもなければ畑に野菜を作ることもある。／有时也去打野鸭，若不然就在田里莳弄菜。

2. さもなくとも。等于そうでなくとも。即使不考虑前项后项也成立。

①天気が悪いが、さもなくとも行きたくはありません。／天气不好，但即使不是这样也不想去。

#### △另有副词用法。

①まわりの子供たちは、さもなくとも内気な孝二を横目で見ていた。／周围的孩子们用斜眼看着本来就不大方的孝二。

#### 3. さもないと。等于そうでないと。用法同さもなければ的1)。主

要用于句子之间。

①もっとやさしくしなさい。さもないと人に嫌われますから。／再和蔼一点儿。不然别人就不喜欢你了。②早くどこかに逃げなさい。さもないと鬼が今に来ます。／赶快到哪儿躲起来，不然一会儿就来鬼啦！

4. さもなくば。用法与さもなければ1)、2) 相同。

さらに

〈副词〉1. 表示程度的加深、时间的延长、数量的增加等。

①この態度をさらに明確にすればいいと思う。／我想应该把这态度再明确一下。②王さんはさらに続けて言った。／小王又接着说道。③日本は戦争への道をさらに歩んでいった。／日本在通往战争的道路上进一步滑下去了。

2. 陈述副词用法。后续否定形式，表示某种状态的全面否定。

①思い残すことはさらにはない。／根本没有什么遗憾。②田中さんは私にお金を貸したというが，私には更に覚えのない話だ。／田中说他曾借钱给我，而我却半点记忆也没有。

〈接续词〉表示同种程度、数量、行为、状态的追加。

1. 用于词（组）之间。

①困惑をさらに恐怖に似た感じを覚えた。／感到困惑，继而感到一种近乎恐怖的感觉。②那覇から鹿児島まで船で19時間，さらに寝台列車で18時間も揺られてしまった。／从那覇到鹿児島，在船上颠簸了19个小时，又在卧铺列车上颠簸了18个小时。

2. 用于句之间。

①さらに，いままでの幼児教育の構想にも問題がある。／加之，迄今的幼儿教育思想也存在着问题。②去年はオーストラリアへ旅行に出かけた。さらに南極旅行までして帰った。／去年到澳大利亚旅行，一直旅行到南极之后才回来。

さらば （然らば）

〈接续词〉文言残余。等于それでは。“那样的话”。

①努力せよ。さらば成功せん。／努力吧，（这样）你会成功的。②さらばこうと決めよう。／那就这样定了吧。

〈感叹词〉用于告别。等于では、さようなら。

①さらば、我が第二の故郷よ。／別了，我的第二故乡！

さりとして（然りとして） 〈接续词〉

由文言副词さ、动词あり、逆接接续词とて组合约音而成。

1. 表示前一项的内容（似乎能而实际上）不成为后项内容的理由。  
可用于句间或句中。通常前后项均为否定形式。

①体が丈夫だ。さりとして身体鍛煉をおろそかにしてはいけない。／身体健康。但不能因此而忽视了身体锻炼。②生活は少しも不足はなかったが、さりとしてお寺に布施をあげるようなことは一度もしなかった。／生活上丝毫不拮据，虽然如此，从未给寺院施舍过什么。

2. 作为修辞性用法，从上述用法转为表示“虽非A但又非B”的意思。

①皮肉でも、さりとしてお世辞でもない率直さが、その口調にあった。／口气中有一种非讽刺但又非恭维的直率。②新しい家には金がないから入れない。さりとして住みなれたかつてのマンションはすでに新しい持主が住んでいて帰ることもできない。／新房子因无钱住不进去。而那套曾久住的公寓已有新主人住着，无法回去。

△口语化的说法是“だからといって、それだからといって”。

## ざる

【活用】由文言否定助动词ず和补助动词あり约音而成ざり，作一独立的助动词用。口语体中可把连体形作基本形看待。五段动词型活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	已然、假定	命令
ざり（ざる）	ざら	ざり	（ざり）	ざる	ざれ	ざれ

口语体文章中常出现的有未然形、连体形和假定形。

1. 未然形。后续助动词む，表示意志、推测，音便为ん。

①聞かざらんとしても隣室の話し声が耳について離れぬ。／虽不欲听，无奈邻室的说话声不绝于耳。②精神一到何事か成らざらん。／精神



一到，何事无成。

2. 连用形。后续助动词けり、き（连体形为し）等。

①鉄道なんぞまだ現われざりし昔／在铁路之类尚未出现的过去。

△另有连用形ざっ（た），用于方言，相当于なかつ（た）。

3. 连体形。

1) 修饰体言。

①如何に美しき思想も実現しえざるかぎり夢ではあっても「思想」ではない。／无论何等美妙之思想，在尚未实现之前亦只能是理想而非“思想”。

2) ～ざる作准体言或者构成名词。

①逃げざるを得なかった。／不得不逃走了。②三猿主義とは見ざる聞かざる言わざるです。／所谓三不主义就是不看不听不说。

3) 后续べし表示可能、允许或应该。

①忍ばざるべからず。／不可不忍。

4. 已然形。现在一般表示假定。

①玉琢かざれば器を成さず。（谚语）／玉不琢不成器。

【接续】接活用词未然形后。同ず。

【意义】表示否定。文言残余。

构成惯用形式～ざるを得ない。古汉语“不得不”的译语。

①人間だけが苦悩を知る故に笑いを発明せざるを得なかった。／因为只有人类知道苦恼，所以不得不发明了笑。②どうしても行かざるを得ない用事があつて，至らざる無き心づかいに接し，感謝せざるを得ない。／我有事非走不可。承蒙您无微不至的照顾，不胜感谢。

△构成惯用形式～べからざる。汉语“不可”的译语。

①思議すべからざる事（多用“不可思議なこと”）／不可思议之事。②義務教育は動かすべからざる国民教育の基底である。／义务教育乃国民教育不可动摇之基础。

△构成惯用形式～ざるべからざる。汉语“不可不”的译语。见活用3中3)的例句。

されど 〈接续词〉

だが、しかし的文言说法。也可用されども形式。

①狐には穴あり、鳥には<sup>ねぐら</sup>塹、されども人の子には枕する所無し。／  
狐有穴，鸟有巢，然人子无栖身之所。

されば 〈接续词〉

由文言副词さ、词组あれば经约音而成。有文言色彩。

1. 表示后项是从前项推论的结果。同だから、そうであるから等。～こそ是强调形式，～とて转为逆接。

①灰色でもなければ<sup>とびいろ</sup>鳶色でもない、さればとて(=だからといって)これ等を交ぜたものでもない。／既不是灰色，也不是褐色。但又不是这两种颜色的混合。②彼は平素骨身を削って研究をかさねる。さればこそ(=だからこそ)画期的な発明を成し遂げたのだ。／他平常刻苦坚持研究，正因为如此，才完成了划时代的发明。③高台は林と畑とでさまざまな区画をなしている。されば林とても数里にわたるものなく否，一里にわたるものもあるまい。／高地由树林和田地切分成各种形状的小块儿。所以虽说是树林，却没有绵延数日里的，不，恐怕连绵延一目里的也没有吧。

2. それでは的老年人用语。表示转换话题。

①されば，限りある命をいかにして延ばすことができるかというに，……。／那么，怎样延长有限的生命呢？……。

さん (様) 〈接尾辞〉

1. 尊敬语用法。

1) 表示对神化人物或有一定社会地位的人的尊敬。前者的用法范围比さま要窄。

仏さん、お地藏さん、大黒さん、閻魔さん、お姫さん、王子さん、  
会長さん、社長さん、校長さん、議長さん、主任さん。

2) 接职称名称后，表示对从事这一职业的人的尊敬。

お医者さん、(お)坊さん、お師匠さん、運転手さん、ボーイさん、  
新聞配達さん、牛乳屋さん。

3) 对长辈亲属的称谓。

(お)とうさん、(お)ばあさん、お子さん、おじさん。

4) 接人名后, 表示轻度的敬意及亲密之情。

伊藤正次さん、伊藤さん、正次さん、スミスさん、美千子さん。

△爱称只接名字前一部分, 如“お正さん”。

△故人、知名人物不加さん即可。

△家庭中, 对孩子只有当成年看时才用。小孩之间、兄弟之间一般不用。夫妻间因家庭而异。对别人提自家人时不用。男女性均可用。同时男性同辈或对晚辈常用くん。

5) 接代名词和机关团体名后表示尊敬。

こちらさん、先方さん、皆さん、東京大学さん。

6) 用于人的性质、状态、代表其人。

おこりんぼさん、おしゃれさん。

## 2. 美化语用法。

1) 对于有些事物的惯用说法。

お月さん、おひなさん、こっくりさん、お人形さん。

2) 对某些人物的爱称。

お寺さん、お客さん、桃太郎さん、(お) 婿さん、ご新婚さん、お二階さん。

3) 用于寒暄语, 但应用范围窄于さま。

お疲れさん、ご苦労さん、ありがとさん、はばかりさん。

4) 用于对动植物的拟人说法中。

ゾウさん、おサルさん、お芋さん。

【参考】さま和さんの区别。前者敬意高且郑重, 所以书信中用さま。さん用于口语。

## 三大文法 サンダイブンポウ 三大语法

由山田孝雄、桥本进吉、时枝诚记三位学者分别创立的山田语法、桥本语法、时枝语法。这三个语法体系至今在日语语法界中占有重要地位, 俗称三大语法。

除三大语法外, 大槻语法(大槻文彦)和松下语法(松下大三郎)也很有地位。近年来的许多学者以及许多语法理论流派都对日语语法的研究作出了新的贡献。目前日本语法界很少用三大语法这一名称。

还要注意，三大语法并不是另外一些场合常说的三大派——传统语法、结构主义语法、转换生成语法。实际上三大语法都基本上属于传统语法，都没有跳出词类分类语法的框子。

⇒山田文法，橋本文法、時枝文法、松下文法、大槻文法。

### 三段活用 サンダンカツヨウ 三段活用

サ行变格活用和カ行变格活用的别称，得名于江户时代的黑泽翁满。他命名时考虑到与一段活用、二段活用、四段活用在名称上的配套关系，文语中サ变动词和カ变动词分别在しすせ和きくこ三段上活用（有添加词尾）故名。在现代日语中カ变动词词尾仍在三段活用，但サ变动词词尾在さしすせ四段活用，所以不能再称作三段活用。

### 三人称 サンニンショウ 第3人称

人称之一。指表示说者和听者以外的第3者或事物的人称。另有：他称（大槻文彦）、第三人称（松下大三郎）、别称（关根正直）等名称。表示第3人称的有人称代词和指示代词两种。所有表示第3人称的词从距离感觉上划分为近称、中称、远称。

代词中“彼女”是唯一专指女性的词，是受欧语影响产生的。かれ没有场面（近中远称）用法，文脉用法也常被亲属名、职称名顶替，并常常转指“妻、夫”。このかた类属于尊敬语。第3人称复数用たち、ら等接尾词表示。

彼ら、彼女たち、あの人たち、そのかたたち。

第3人称有时用指示代词表示，但语气简慢，表示自谦。

①あれが私の長女です。／那就是我大女儿。②こちらは当会社の秘書です。／这位是本公司秘书。

指代事物时一般直接用事物的名称。

①花が咲ききそっている。／花儿竞相开放。②牛はモーモーと鳴く。／牛哞哞地叫。

语法上，第3人称与描述客观事物和表示授受的谓语关系密切。

①誰かがあとから声をかけた。／有人在后边打招呼。②午後からは風が止むだろう。／从午后开始风会停的吧。③彼が書いた詩だと聞いている。／听说是他写的诗。④門番が案内してくれるからついて行ってみ



た。／门卫为我领路，所以就跟着去看了一下。

### 散文 サンブン 散文

所有文章按有无韵律可以分为散文和韵文两大类。所谓的散文指不受一定韵律的限制，以自由的语言形式写成的文章。与具有一定的韵律形式的韵文相对。散文不排除韵文因素的渗透，有些文章很有节奏就是因为这个原因。

散文重视对于现实的理性描写，以文章内容本身感化读者。词汇以日常用语为主，形式上无特殊要求，表现方法十分自由。

日本很早把文学作品分为诗歌和文章两大类，到明治时代由于受到西方文化的影响，把具有韵律形式的诗歌一类称作韵文，把不具有韵律形式的诗歌以外的文章总称为散文。因此，散文不是一种具体的文体，历史上的“物语文”、随笔、评论等都属于散文。

## し し

## し 〈接续助词〉

【接续】接活用词终止形后。

①怪我はするし、父には叱られるし、さんざんな目にあった。／伤也受了，爸爸的训也挨了，真是狼狈极了。②体も丈夫だし、成績もいいし、申し分のない子供だ。／身体也结实，成绩也好，是个无可挑剔的孩子。③背広は買いたいし、金は持っていないし、困っている所だ。／想买西装，又没有钱，正在发愁。④皆知っていることだし、何も隠す必要はなかろう。／大家也都知道了，没什么必要隐瞒了吧？⑤日は暮れたし、雨さえ降りそうだ。／天已经黑了，又要下雨。⑥子供でもなかろうし（或でもあるまいし），泣くな。／又不是小孩儿，别哭了！

△接ない、たい時，常去掉词尾い，直接接于词干后。实际上是文言形容词词尾し直接充当口语并列助词し。

①本は読みたし、時間はなし、どうしたらいいだろう。／又想读书，又没时间，可怎么办呢？

△也有人把し作并列助词。其并列特征也表现在后续上。

①雨は降るし、車は込むしで、散散でした。／下雨，车又挤，可倒了霉了。②質もいいし、値も安いしするので、大変よく売れている。／质量也好，价格也便宜，所以非常畅销。

因并列或原因等都是接续助词的用法，所以把し看作接续助词为宜。

【意义】1. 以～し（～し）～的开放形式表示并列。往往暗示着（下例②）或者在后项中补充（例④）以此为条件的结论。

①僕も幸福になりたいし、康子さんも幸福にしてあげたいのだ。／不但我希望幸福，也希望使康子小姐幸福。②園田さんは英語も上手だし、フランス語も上達している。／园田先生英语也好，法语也有进步。

（暗含着“他外语很好”之类的判断或结论）③学校では褒められもするし、叱られもするようだ。／（他）在学校好象有时受表扬，有时挨批

評。④映画は見ないし、劇も見ないし、めったに酒も飲まない。めずらしい人だ。／不看电影，也不看戏，酒也很少喝。是个少有的人。⑤港には船が浮んでいるし、城下町<sup>じょうかまち</sup>にはお天守がそそりたっている。／码头上停着船舶，城里耸立着天守阁。

## 2. 表示原因。

1) 以～し～し～的封闭形式表示并列的理由、原因。最后一项～し之后是结论、结果之类。

①あの人は才能もあるし、気立てもいいし、本当に申し分のない相手ですよ。／他才华出众，脾气又好，真是无可挑剔的好对象。②朝は早いし、夜は遅いし、子供を可愛がっているひまさえない。／上班早，下班晚，连喜欢喜欢小孩儿的空闲都没有。③雨が降れば道がぬかるし、天気がよければ埃りが立つし、この生活は少しも愉快でない。／下雨便泥泞难走，晴天便暴土扬尘，这里的生活一点儿也不愉快。

△如果要使原因表示得更清楚，可用～し～しするので（から）～形式。如接续中△的例②。

2) 以单独一项～し的封闭形式表示理由原因中居首位者。也可能是为使语气婉转而故意说的无关紧要的理由。暗示另有其他理由。

①老眼のようでもあるし、事務係の仕事には向かないだろう。／眼睛也好象花了，怕是作办事员工作不合适吧？②天気はぱっとしないようだし、しばらく旅行は見合わせましょう。／天气也不理想，旅游暂时放一放吧。③いやだと断るわけにも行かないだろうし、仕方がないですね。／又不好一口回绝，真没办法。

3) 以～（でも）なかろうし或～（でも）あるまいし的形式表示带有责备、轻视或理所当然等口气的理由、原因。其中し近于から、ものを、のに或くせに。

①女でもあるまいし、髪を長く伸ばして、パーマでもかけようと思うのか。／你又不是女的，留那么长头发，想烫发是怎么着？②嘘を言うのではなかろうし、聞き入れた方がよかったかもしれない。／也不会是骗人，也许当初同意就好了。

3. 在句末作终助词用。暗含以上接内容为原因理由。有时是逆接的

(下例④),有时结果部分出现于前面,类似倒装,如例①。

①うれしいな。夏休みもうすぐ始まるし。／我真高兴。暑假就要到了。②はて、彼がそんなことをするはずはないし。／奇怪,他又不可能做这种事。③「これ、覚えなくてもいいね」「そうね。試験にも出ないしね」／“这个,我不记行吧?”“是啊,考试又不会出。”④おれがはいったのを見て、みんな申し合わせたようにおれの顔を見た。見せ物じゃあるまいし。／大家看我进来,不约而同地瞅着我的脸。我有什么好看的!

【参考】1. し来源于文言形容词词尾し。

2. 文言中有两种し。

1) 表示强调的副助词。现在仍能在“だれしも、必ずしも、今し方”中看到其痕迹。

2) 助动词きの连体形。

①ありし日／往日。生前。

し 〈文言助动词〉

【接续】接サ变动词未然形、カ变动词未然形或连用形,其他动词和助动词的连用形后。参见“き”项。

【意义】系助动词“き”的连体形,表示过去(例①)、完成(例②)、过去的动作行为的结果或状态(相当于～ている、～てある、～た。(例③)、咏叹(例④)。

①われはかしこにて見しものに心を動かさるること甚しかりけり。／吾为在彼所见之状所动甚矣。②我が詩才ここにて発達せしならん。／吾之诗才盖成熟于此地。③母に教えられし如く耶穌に接吻せむと思いき。／欲按母亲所教与耶稣(之像)接吻。④母だに世にあらば、安らかに人となるべかりしを。／只要母亲在世,本该平安长大成人也。

△“在りし、往に<sup>い</sup>し”已固定成词。

①ありし日の島崎藤村先生がしのばれる。／不禁怀念起生前的岛崎藤村先生。

⇒き

詞 シ 词、实词

单词可根据语法性质分成“詞”和“辞”(以下称实词、虚词)两大类。



这种二分法至晚在江户时代就已出现。铃木朗曾把单词分成词和テニヲハ两大类，其基本思想被后来的学者所继承。

桥本语法和学校语法以及通常所说的“自立語”就相当于实词，参照该项。

时枝语法以“语言过程说”为出发点，认为实词包含概念化过程，表示与主体相对的客体。如“驚き、びっくり”和“あ、おや”都表示惊讶，但前两个经过了概念化的过程，是实词，而后两个词没有经过这个过程，只是直接表现主观感情，所以是虚词。时枝的实词包括体言、用言以及表示素材概念的使役、被动、希望、比况等助动词和接辞。从结果上看，排除这些助动词等，则时枝的实词与通常的“自立語”（独立词）大体相当。另外，时枝和桥本都认为实词和虚词结合起来才能用于句子中，他们把这种结合体分别称为“句”（时枝）和“文節”。

松下语法的“词”（念詞）相当于桥本语法的句节或连句节，不是词类划分中的概念。如“花、花が、花が咲き”均为词。

⇒ 辞、自立語

辞 シ 辞、虚词

虚词和实词相对，关于名称和分类等参见“詞”项。

在桥本语法和教学语法中，单独不能构成句节（句子成分）而且互相结合起来也不能构成句节的一类词就是辞，一般称为“附屬語”，包括助词和助动词。

时枝语法从“语言过程说”的立场出发，认为未经过概念化过程的词语就是辞，是“说者立场的直接表达”，“表现主体内容”。结果，1. 所有助词、2. 除使役、被动、希望、比况以外的助动词（使役等助动词包含客观内容，经过了概念化过程，所以是“詞”）、3. 接续词、4. 感叹词首先被列为辞。3和4被列为辞是因为它们表示纯主观认识和感情。但是3、4与1、2不同。1和2只能附属于“詞”共同构成一个“句”（可作句子成分，相当于句节），其中辞起着统括其前的“詞”并使其和后面的“詞”联系起来的作用，如“梅の花”的“の”。时枝用“入子型構造”

表示这种关系：

梅	の	花
---	---	---

。而3和4不起这种作用，它们可独立运

用。可见，时枝的辞和桥本的“附属語”不仅划分的出发点不同，而且，由于3和4在时枝语法中被列入辞，范围和所起作用也有所区别。另外，时枝的辞还包括：5. 陈述副词，理由是表示说者主观的陈述态度。最后，辞还包括：6. 零记号的辞。理由是：时枝认为陈述作用寓于用言后的辞之中，而任何一个句子都是由于陈述作用而完结、而成立的，所以每个句子的句末和每个“句”之后都该有一个辞。这样，时枝就认为表面上没有辞的时候，实际上存在一个零记号辞。如下句有两个辞：僕も行く□。／我也去。时枝还认为有的词语兼有词、辞两种性质。如，下两例划线部分为辞：山がある□。／有山。山である。／是山。

在另外一些场合，人们用“辞”表示词素、词、词的联合等语言形式，如：接辞（词缀）。有时指逻辑学中的逻辑辞项，如：主辞、宾辞、定辞、被定辞。

#### 使役受動文 シエキシユドウブン 使役被动句

被动句的一种，指以使役被动态动词为谓语的句子。

【结构】使役被动句的主语和补语一定是人名词（包括团体），宾语为人名词或非人名词均可。谓语要由意志动词构成，口语中限于五段动词后，可音便为される（←せられる），但消す等サ行动词除外。例：立つ→立たせられる→立たされる。消す→消させられる→※消さされる。

【句型】由于谓语动词的自他性不同，有两种句型。

1. 主语は（が）补语に宾语を～他动词（さ）せられる。

①私は妻に子供を託児所へあずけさせられた。／我在妻子的强求下把孩子送到了托儿所。

2. 主语は（が）补语に～自动词（さ）せられる。

①妻は夫に就職させられた。／妻子因丈夫要求找了工作。

以上是基本句式，其中主语、补语、宾语等常有省略。

【意义】1. 使役助动词的强制用法和被动助动词られる的结合，表示被迫做某动作行为。即被驱使去做。

①父は地主のために20年も働かせられた。／父亲为地主做了20年长工。

2. 使役助动词诱发的用法和自发助动词られる的结合，表示接受某

种诱发。

①子供の言葉でも反省させられるところがある。／即使在孩子的话里也有叫我们反省的地方。②なんと見事な物かと感心させられた。／这是多么好的东西，真叫人赞叹不已。

【参考】另外，使役助动词的各种用法和可能助动词或敬语助动词也能构成させられる。

①リンゴの木にナシを生らせられますか。／能不能在苹果树上结出梨？②天皇陛下は8月の間広島にあらせられた。／天皇陛下8月份在広島。

### 使役態 シエキタイ 使役态

【性质】动词态的一种，亦称“使動（松下大三郎）、発動性間接作用（山田孝雄）”等。指某人某事物使某人物做出某种行为动作的一种态。在使役态中，除动词问题外，格关系也有了增加：动作主和动作的关系又受到另一主体（使役主）的使役即せる、させる、しめる的格关系的支配。

弟が泣く。→太郎が弟を泣かせた。／太郎把弟弟弄哭了。

指使别的人物去做某动作行为，这便是使役态的本职功能。此外的强制、许可、放任、无奈、原因等意义用法是词义、文脉等派生出来的。

动词的使役态性质上属于他动词。某些自动词无相应的他动词，可用使役态代之，如：行く→行かせる、太る→太らせる、走る→走らせる（車をはしらせる／驾车、驱车）。有些他动词本来就是自动词的使役形式形成的，如：澄ます←澄む、驚かす←驚く。但使役动词和他动词的意义有所不同。使役态动词除含有他动性外，还带有使役性，故有人称为“二重動詞”。

【构成】由动词未然形后续（さ）せる、しめる构成。详见各该项的“接续”。

仁田义雄还把有关的授受动词表示的动词的授受形式也看作使役态（例②），称“依頼的使役”，与“強制的使役”（～せる、させる）加以区别。但不是普通看法。

①太郎は次郎に郵便局に行かせる。／太郎让次郎到邮局去。②太郎は次郎に郵便局に行ってもらう。／同①。或：太郎请……。

理论上所有动词都有使役形式。实际上，使役是对有情物的间接作用，故某些非意志性动词（一般为自动词）的使役形式不能使用。例：建つ→※建たせる→建てる。こわれる→※こわれさせる→こわす。

参见：“せる、させる、しめる、使役文”等项。

**使役の助動詞** シエキノジョドウシ 使役态助动词

【性质】助动词的一种。指构成使役态动词的助动词。使役态助动词表示动作的实现靠的是动作主以外的他人、他物的力量。

所属词有せる、させる、しめる（文语），都接于动词的未然形后。

由使役态助动词构成的使役态动词包含着使役主和动作主之间的使役和被使役的关系，由于使役主的使役态度和动作主的被使役态度之间的平衡关系不同，就产生各种不同的意念用法。举例说明如下。

强迫：そんなに勉強が好きな子を家で働かせる。／小孩儿那么愿意学习，还叫他劳动。

许可：暑い日が続くので，三日間休ませる。／因连日炎热，让休息三天。

放任：病児を充分寝かせておく。／让病儿充分睡眠。

无奈：はしかで子供を死なせた。／因麻疹失去了孩子。

使役态助动词具有使动作主格转换为补格的语法作用。

子供が字を書く。／小孩儿写字。

动作主(主语) 主动动词

父が 子供に 字を書かせる。／父亲让小孩儿写字。

使役主(主语) 动作主(补语) 使役助动词

从上例中可以看出，“書く”和“書かせる”都有他动性，需要目的格“字を”，但因使役态动词还具有使役性，所以还需要主格和补格来补充格关系内容。

使役态助动词还具有使没有相应他动词的自动词转成他动词的作用。如，咲かせる、怒らせる、悩ませる。在文语中形成的使役态动词，在现代日语中已固定为他动词，不再看作是使役态动词。如，動かす、驚かす、乾かす、澄ます、散らす、迷わす、怒らす。在这一范围内，使役态动词和他动词用法相同。如，怒らせる＝怒らす、咲かせる＝咲かす。这



些动词的动作主不能象使役态动词那样用格助词に来表示,而只能用目的格助词を来表示。如,憎らしげな事を言って人を怒らす。/说令人讨厌的话,惹人生气。

因使役和被使役是通过动作行为来实现的,所以非动作动词是不能后续使役态助动词构成使役态动词的。

※(家)を建たせる、※書けさせる、※富ませる、※あらせる。あらしめる在固定说法中偶尔也出现。

①彼を今日あらしめたのは母の力だ。/他有今日,靠的是母亲的力量。

【诸说】“使役態”一词由松下大三郎命名,此外还有“使動言”(谷千生)、使動詞(高津楸三郎)等名称。最早由大槻文彦把す、さす、しむ作为使役态动词,称作“使役相”。后来多数语法学家都主张助动词说。但是也有反对意见,山田孝雄提出复词尾说,把使役态动词看作是表示发动性间接作用的特殊活用词尾。桥本进吉虽然当作助动词处理,但也指出过,动词型助动词与接尾辞之间的类似性。后来,时枝诚记更更进一步,认为使役态助动词就是一种接尾辞。

#### 使役の表現 シエキノヒ ヨウゲン 使役表达法

【性质】表示某人或物促使另外的人或物(包括自己)做出某动作行为或处于某状态的表达法。要注意以下几种形式的区别。

使役表达法和放任、许可、无奈等表达形式有相似之处。

【形式】1. 主要用各种使役句表示,参见“使役文”项。其中しめる只用于文章。(さ)せる的使役对象用に或をを有区别,参见“対人関係表現”项的5。

①皆を部屋から出<sup>で</sup>させて内緒を言っている。/让大家从房间里出去,正说着秘密话。②私に(或:私をして)言わしめれば~/依我看~。

2. 用由文言使役态动词(〜す、〜さす)转成的他动词表示。

①愛犬に薬を飲ます(飲ませる)。/给爱犬灌药。②水を澄ます。/使水澄清。

3. 用授受动词もらう、いただく表示。

①先生に一度家にいらっしゃっていただきたいです。/请老师到

我家来一下。②パパに写真を取ってもらいなさい。／去让爸爸给你照个相吧。

4. 动词命令形后加という（とおっしゃる、と申しあげる）。是借用引语表示的抽象的使役形式。

①それでは、どうせよというんだい？／那么你是让我怎么着？②田中社長はあなたは明日の午後家に居なさいとおっしゃいました。／田中社长说让你明天下午在家里等着他。③私は彼によく勉強しろと何度も勧めたが、聞いてくれない。／我多次劝他好好学习，就是不听。

使役文 シエキブン 使役句

按主谓关系的性质划分的句子种类之一。即，以使役态动词为谓语，表示主语的使役、许可、原因、经验等的句子。

【结构】1. 谓语。使役句的谓语由动作动词的使役态构成。意志动词或非意志动词、自动词或他动词均可。如，降らせる、行かせる、学ばせる。但非动作动词不能构成使役态。因而不能作使役句的谓语。如，※あらせる、※高すぎさせる、※似させる。

2. 宾语和补语。

1) 由自动词的意志动词构成的使役句谓语需要用宾语或补语，分别用を和に表示。

①彼を行かせる。／让他去。②彼に行かせる。／让他去。

用を时，主语对宾语作强制性使役，因而动作主（宾语）被迫从命；用に则作许可性使役，即使役主尊重动作主的意愿，有放任、许可等含义。

2) 由自动词的非意志动词使役态构成的谓语只需要宾语，要用を表示。

①彼は彼女を（※に）怒らせてしまった。／他让她生了气。②肺炎で子供を（※に）死なせてしまった。／由于肺炎失去了孩子。③興奮のあまりのどを（※に）つまらせた。／因为极度兴奋，说不出话来。

由自动词的使役态构成的谓语所需要的宾语或补语一般是人名词，但整个谓语表示使役所造成的状态时，也可以是非人名词。如上例中的“のど”即是。又例：

①露のため貝割菜は緑色の葉っぱを光らせている。／由于露水，幼

菜的绿叶闪闪发光。

3) 由他动词的使役态构成的谓语同时需要补语和宾语。分别用に和を表示。补语表示动作主，宾语表示动作对象。没有由自动词使役态构成的谓语那样的只需要宾语或只需要补语的情况。因此也没有使役主对动作主作强制性使役还是许容性使役的区别。

①先生が学生に(※を)字を書かせる。／老师叫学生写字。②お母さんが花子に(※を)弟を勉強させる。／妈妈要花子让弟弟学习。

这时补语只能是人名词。宾语可以是人名词，也可以是非人名词。见上例①。

使役句的主语通常是人名词，这是因为只有人才有使役他人、他物的能力。但是造成某种状态的使役主可以由非人名词充当。

①試験の失敗が彼女をがっかりさせた。／考试落榜，使她大失所望。②何が彼女をそうさせたのか。／什么事情使她那样做呢。

由于谓语的动词性质不同因而构成不同的句型，归纳如下。

使 役 主	动 作 对 象	动 作 主	使 役 态
主 语	×	宾 语 を	自 动 词
主 语 } ハ 或 主 语 } ガ	×	补 语 に	自 动 词
主 语	宾 语 を	补 语 に	他 动 词

文语中还有“～は～をして～动词+しめる”的形式。如：私をして言わしめれば（言わせば）……／依我看来……

【意义】使役句除表示单纯的使役外，还有许多其他用法。主要有：

1. 使役。

①ボスはいつも労働者に働かせて自分は遊んでばかりいる。／工头总是让工人干活，自己却不干。

2. 原因。主语是造成某种状态的原因，可以是人或事物。

①大国の力関係の均衡が小国の環境を安定させている。／大国间力量关系的平衡使小国环境安定。

## 3. 诱发。

①彼は人を考えさせる一問を投げ出した。／他发出令人深思的一问。

## 4. 许可、放任。

①この映画館では一メートル以下の児童は入らせない。／这个电影院一米以下的儿童不准入场。②離れたいものにはそうさせておけ。／想离开的你就让离开算啦！

## 5 表示无意的、但有责任的动作行为。主语是人名词。

①肺炎で子供を死なせてしまった。／因肺炎失去了孩子。②彼はシンナーを蒸発させてしまった。／他不慎把稀释液蒸发了。

## 6. 表示实现某种动作。

①気象学者たちがサバクで人工的に雨を降らせることに成功した。／气象学家们在沙漠上成功地搞了人工降雨。

## 7. 表示作用功能。

①色とりどりの花が観光客の目をたのませている。／各种颜色的花使游客们赏心悦目。

## 8. 表示身体部位的不随意动作。

①口を尖らせて怒っている。／在撅着嘴生气。

⇒せる、させる、使役

## 字音 シオン

【解释】亦称“汉字音”或“音”。与“字訓”或“訓”相对。指对中国汉字读音的日语转写音。汉字是音形义统一的文字，但日本人最初使用汉字时只用了其音和形。因为形是一种符号，可以照搬照抄，但是音是一种习惯性发音运动的产物。所以，日本人模仿汉字音，是用当时的日语发音模仿的。因此，两种字音不可能完全相同。所谓的字音就是日本式的汉字读音。

中国的汉字读音，随着历史发生了整体性的变化发展。所以后来原则上只存在一种读音，而在日语的情况根本不同。

在漫长的中日文化交流中，日本在不同历史时期，从不同文化地区模仿了不同的中国字音，结果就有了吴音、汉音、唐音（宋音）之别。奈



良朝以前日本主要与中国的南朝来往,吴音就是当时长江下游的吴国音。后来因中国的政治文化中心北移,奈良后期日本人又开始模仿隋唐时期的长安一带的语音,这就是平安时代的正统音汉音。镰仓时代后,虽然中日文化交流得到了加强,但是当时日本已有了完整的字音体系,所以,新的字音只有少数得以传入日本,称唐音或宋音。

另外,由于种种原因,有些字音是错读,但经过人们的惯用之后成为一种正式读音,称之为惯用音。由于以上原因,一个汉字往往是多种字音,个别的甚至具有所有的字音。如:“頭”有吴音  $\text{ヅ}$  ( $\text{ズ}$ ) (頭痛), 汉音  $\text{トウ}$  (頭目), 唐音  $\text{ヂュウ}$  ( $\text{ジュウ}$ )、(饅頭<sup>じゅう</sup>), 惯用音  $\text{ト}$  (音<sub>ど</sub>頭) 等。

【中日字音的对应关系】 尽管中日字音都经过了漫长的演变过程,但就吴音和汉音而言,至今仍能发现中日字音的对应关系。这种对应规律比较复杂,但是掌握这种对应规律对于掌握字音是很有帮助的。为了便于说明,把声母和子音,韵母和母音分别加以比较。

1. 汉语声母和日语子音的对应关系。/前为汉音,后为吴音。

1) 汉语塞音  $\text{b p d t g k}$ , 日语吴音读浊音, 汉音读清音。有的汉吴音均读清音。在日语转写中无送气不送气的区别,  $\text{f}$  和  $\text{h}$  分别归入  $\text{b p}$  和  $\text{g k}$  中。

$\text{b p f} \rightarrow \text{h}$  或  $\text{b}$ : 伴 (ハン/バン)、判 (ハン/パン)、凡 (ハン/ボン)、兵 (ヘイ/ヒョウ)、破 (ハ)、反 (ハン/ホン)。

$\text{d t} \rightarrow \text{t}$  或  $\text{d}$ : 台 (タイ/ダイ)、道 (トウ/ドウ)、定 (テイ/デョウ)、对 (タイ/ツイ)、体 (テイ/タイ)。

$\text{g k h} \rightarrow \text{k}$  或  $\text{g}$ : 花 (カ/ケ)、工 (コウ/ク)、口 (コウ/ク)。

△ $\text{h}$  少数转写为汉音カ行, 吴音ワ行子音。

会 (カイ/エ)、恵 (ケイ/エ)、黄 (コウ/ワウ〔オウ〕)。

2) 汉语鼻音  $\text{m, n}$ , 日语中吴音读鼻音, 汉音读相对的口音。

$\text{m} \rightarrow \text{b}$  或  $\text{m}$ : 米 (ベイ/マイ)、美 (ビ/ミ)、木 (ボク/モク)。

但在  $\text{jng}$  韵前汉吴音均读鼻音  $\text{m}$ 。

命 (メイ/ミョウ)、名 (メイ/ミョウ)。

$\text{n} \rightarrow \text{d}$  或  $\text{n}$ : 男 (ダン/ナン) 奴 (ド/ヌ)、女 (ヂョ/ニョ)。

少数n转写为〔g〕。

擬（ギ）、逆（ゲキ／ギヤク）。

3）汉语边音l，日语中汉吴音均读r。

来（ライ）、礼（レイ／ライ）、令（レイ／リョウ）、力（リョク／リキ）。

4）汉语舌尖前音z c s，有的吴音为浊音，汉音为清音；有的汉吴音均为清音。

自（シ／ジ）、財（サイ／ザイ）、似（シ／ジ）、左（サ）、村（ソン）、死（シ）。

汉语舌尖后音sh同上。

上（ショウ／ジョウ）、示（シ／ジ）、詩（シ）。

5）汉语舌尖后音zh、ch，在古汉语中分别为舌尖前音（尖音）和舌尖中音（团音）。日语中分别转写为z、s和d、t。有的则无清浊之别。

古舌尖前音：状（ショウ／ジョウ）、成（セイ／ジョウ）。

古舌尖中音：治（チ／ヂ）、伝（テン／デン）、展（テン）、恥〔チ〕。

6）汉语舌尖后音r，日语吴音读为n，汉音读j〔ぢ〕

若（ニャク／ジャク）、女（ニョ／ジョ）、人（ニン／ジン）。  
儿化韵亦同。

児（ジ／ニ）。

例外：荣、鋭、容、融。

7）零声母有如下几种情况。

读为ア、ヤ、ワ行的。

安（アン）、役（エキ／ヤク）、有（ユウ／ウ）、余（ヨ）、位（イ〔ヰ〕）。

读为g的。

岸（ガン）、餓（ガ）、義（ギ）、芸（ゲイ）、隅（グウ）、五（ゴ）。

读为k的。

蚩（ケイ）、完（カン）。

吴音读为m，汉音读为b的。

万（バン／マン）、文（ブン／モン）、物（ブツ／モツ）。

我国有些方言中仍有清浊、尖团、口鼻音以及零声母的区别发音，都可以用来区别日语字音中的分化现象。

## 2. 韵母的转写。

1) 单韵母。一部分转写为ア行和ヤ行（在zh ch sh后），原则上和汉语的单韵母的性质相同。如a—ア、ヤ，i—イ，u—ウ、オ、ヨ，o—ア、e—ア，ü—ヨ、オ。

砂（サ／シャ）、伺（カ）、者（シャ）、机（キ）、已（キ／コ）、書（ショ）、無（ブ／ム）、拠（キョ／コ）、詩（シ）、磨（マ）。

有一部分读为促音音节，促音类别和粤语入声t、k大致相同。

八（ハチ）、膜（マク）、革（カク）、熱（ネツ）、七（シチ）、極（キョク／ゴク）、突（トツ）、服（フク）、浴（ヨク）、質（シツ／シチ）、直（チョク／ヂキ）。

少数读为长音，与粤语入声p相对应。

塔（タフ→トウ）、合（ガフ→ゴウ）、浹（ジフ→ジュウ）、習（シフ→シュウ）、入（ニフ→ニュウ）、十（ジフ→ジュウ）。

## 2) 渐强复合韵母的转写。

j q x 后的ia、ie，汉音读ア，吴音读エ，有的汉吴音均读ヤ。

家（カ／ケ）、下（カ／ゲ）、仮（カ／ケ）、解（カイ／ゲ）、界（カイ／ゲ）、写（シャ）、夜（ヤ）。

ua、uo读为ア。有的吴音读エ。

化（カ／ケ）、多（タ）、左（サ）、裸（ラ）、果（カ）、貨（カ）。

渐强复合韵母中有不少读为两拍的。（促音或长音）。

押（アフ→オウ）、結（ケツ）、節（セツ／セチ）、協（ケフ→キョウ）、借（シャク）、活（カツ）、説（セツ）、落（ラク）、国（コク）、学（ガク）、月（ガツ／ゲツ）。

## 3) 渐弱复合韵母的转写。

ai、ei读为ai两个音拍，ei有的读为i一个音拍或ui两个音拍。

待（タイ）、来（ライ）、買（バイ）、梅（バイ）、肺（ハイ）、雷（ライ）／、悲（ヒ）、美（ビ）、／類（ルイ）、淚（ルイ）。

ao、ou读为オ段长音，有的吴音读为ウ短音。

刀（タウ→トウ）、老（ラウ→ロウ）、包（ハウ→ホウ）、豆（トウ／ヅ）、走（ソウ）。

舌尖后音zh、ch、sh、r后的ao、ou读为拗长音。有的读为拗短音。

小（セウ→ショウ）、朝（テウ→チョウ）、舟（シウ→シュウ）、手（シュ）、授（ジュ）。

有少数读为两拍一ク。

白（ハク）、着（チャク）、北（ホク）、肉（ニク）。

4）三合元音的转写。

iao读为オ段拗长音。但在j q x后者汉音读直长音。

苗（ミョウ）、寮（リョウ）、条（ジョウ）、教（キョウ）、交（コウ）、巧（コウ）、校（コウ）。

iou (iu) 读为ウ段拗长音，但在j q x后者，吴音读为ウ短音。

由（ユウ）、休（キュウ）、丘（キュウ）、流（リュウ）、九（キュウ／ク）、右（ユウ／ウ）。

文白异读的个别字读为一ク。如：角、較、藁、脚、六、陸。

uai、uei (ui) 分别读为アイ和ウイ，有的吴音读エ（エ）。

怪（カイ／ケ）、懷（カイ）、塊（カイ）；衰、師、吹、水、粹（以上スイ）；追（ツイ）、規、婦、揮、鬼、貴（以上キ）、回（カイ／エ）、惠（ケイ／エ）、会（カイ／エ）。

5）鼻韵母—n的转写。在主韵母和介音的转写基础上添加ン（n）即可。（ ）内为吴音。

アン 安、干、单、漫、伴、三、覽、暫、完、官、算、乱。

煩（ボン）、反（ホン）；眼（ゲン）、間（ケン）、言（ゴン）、建（コン）。

エン 占、染、展、然、戰、辺、典、鍊、研、鮮、錢、件、伝、



川、軟、玄、犬、全、宣、卷、縁、専。

イン 人、真、臣、身、任；因、銀、貧、新、敏、進、斤、隱、心、林、均、菌。

オン 恩、恨、門、本；溫、存、尊、昆、損、困。

ウン 分、憤、粉；雲、軍、群、訓；文（モン）、聞（モン）。

ユン 遵、春、順；巡、旬、俊。

6) 鼻韵母→ng的转写，均读为长音。

读为才段直长音的。如：忙、党、郎、倉、当；方、放、仿；江、項、降；広、鉦、黄；霜、忘、創、壮；崩、層、灯、等；東、洞、冬、宋；風（フ）、奉（ブ）；工（ク）、功（ク）、宮（ク）、貢（ク）。

读为才段拗长音的。如：羊、強、詳、良、将、釀；狂、床、状；升、承、証。

汉音读エイ，吴音读ヨウ的。如：声、成、正、生；定、星、形、名、井、性、平、病、命。

读为ウ段拗长音的。如：中、虫；終、充；雄、勇。

しか 〈提示助词〉

【接续】上接词的范围极其广泛，后续词一律用否定形式。

1. 接体言、体言性词组。

①日本語しか話せない。／只会说日语。②もう小さいのしか残っていない。／只剩小的了。

2. 接动词、形容词（极少见）终止形。

①遊ぶしか能がない。／只有玩儿的能耐。②彼女は色が白いしかとりえがない。／她除了肤色白之外再没有可取之处。

3. 接形容词、形容动词连用形后。

①土が固くて浅くしか掘れなかった。／土很硬，只能挖得很浅。②あれの言うのは、いつもでたらめにしか思われない。／那家伙说的总令人觉得是胡说。

4. 接消极内容的程度、状态副词后。

①すこししか余っていません。／只剩下一点儿了。②ぼんやりとしか知っていない。／只是模糊地记得。

△这类副词再如“ちょっと、わずか”等。

### 5. 用于格助词、副助词后。

①宣伝としか思われない。／只能认为是宣传。②学校でしか教えない。／只在学校里教。③北京にしか行かない。／只去北京。④女の子としか遊ばない。／只和女孩子玩儿。⑤結婚のプレゼントは姉からしかもらっていない。／只有姐姐给了结婚礼物。⑥ここよりしか居る所がなくなりました。／除此外别无安身之处了。⑦十分ぐらいしかかからないと思う。／我想只需十分钟左右。⑧母親は自分の子供だけしか好きでない。／母亲只喜欢自己的孩子。⑨新聞は朝日一つのみしか読まない。／报纸只读《朝日新闻》一种。

△偶尔也接接续助词后。

①僕はあのとき勉強してしかいなかった。／当时我只知道用功。

### 6. 接形容动词和助动词だ的连用形で后。

①彼の態度はまさに冷淡でしかなかった。／他的态度只能用冷淡一词来形容。②歴史を創造するものは大衆でしかない。／创造历史的唯有人民。

△必须和否定形式呼应，原以否定形式结束的仍保留否定形式。如，現在のところ出版されているのは，数冊にしかすぎない。／目前出版的只有数册。

【意义・用法】 1. 以排除其他方式限定并提示该项。提示主语时が必要省去，宾语的を也常省去，に有时也省去。其他格助词重叠成でしか、からしか等。

①酒はワインしかありません。／酒只有葡萄酒。②簡単な共同声明しか発表しなかった。／只发表了一项简短的共同声明。③問題の輪かく（に）しかふれなかった。／只涉及到了问题的轮廓。④今度の訪問はルーマニアへしか行きません。／这次访问只去罗马尼亚。⑤この部品は道具でしか取り付けられません。／这个零件只有用工具才能安装。

### 2. 接各种副词性成分后表示程度的限定。

①委員は二人しか欠席しなかった。／委员只缺席2人。②私はちょっとしか見なかった。／我只是看了一眼。③この本は世界中に一冊しか

ありません。／这书世界上只有1册。④漢字の輸入は長くしか言えなかったことを短かく言えるようにした。／（日语）引进汉字使得只能长说的话可以短说了。⑤先生は大ざっぱにしか教えていない。／老师只教了个大概。

3. 以（する）しかない形式表示唯一可行的选择。

①いやなら止めるしかない。／如不感兴趣就只好作罢了。②沙漠だからラクダを使うしかあるまい。／因为是沙漠，所以只好用骆驼吧。③あやまるしか仕方がない。／只有道歉了。

4. 以でしかない形式表示唯一的结论和评价。

①台湾はもちろん中国の一部でしかない。／台湾当然只能是中国的一部分。②それはアメリカの模倣でしかない。／那只不过是模仿美国而已。③動物という概念は抽象的でしかありえない。／动物这个概念只能是抽象的。

【参考】1. しか出现于江戸时代，和否定相呼应的用法产生于江戸末期。シキ和ハ缩合而成。否定用法与ハ一脉相承。

2. しか和同样有限定意义的だけ、のみ、ほか、きり、より等可以重叠使用，这时只为加重语气。但必须和否定呼应。见接续。

3. 根据表达目的的不同，一句中的不同部分和全句都能用しか加以限定。试比较：

①私は北京へ行く。／我去北京。②私しか北京に行かない。／只有我去北京。③私は北京にしか行かない。／我只去北京。④私は北京に行くしかない。／我只好去北京。

4. しか和だけの区别，参见“だけ”、“しか”、“ばかり”项。

しかし（然し、併し） 〈接续词〉

由しかしながら简略而成，文章、口语均用。

1. 逆接。后项内容与前项内容的预料相反。多用于句子间。

①私は会社の電話番号を廻した。しかし、パパはいなかった。／我拨了公司的电话号码，可爸爸不在。②彼の話すことはたわいもないものだった。しかし、彼には誰に教えられたのか，特技が一つあった。／他讲出来的全是胡言乱语。但是，也不知是谁教的，他有一个绝招儿。

③食事は普通にとった。食欲はしかし翌日から衰え、午後になると水さえも飲まなくなった。／吃饭和平常一样。但从第二天起食欲减退，到了下午就连水也不喝了。

2. 表示后项是与前项有关的新的话题。后项多为疑问句。

①ノミは跳ねる。しかし、なぜ跳ねるのだろう。／跳蚤会跳。可是，为什么跳呢？②インスタントは今の社会の要求かもしれません。しかし、これが中学生たちにどんな影響を与えているのでしょうか。／方便食品或许是当今社会的要求，然而，它给初中生们以什么影响呢？

3. 后项中补充说明与前项有关的意外内容。

①このようなことは今回が始めてだが、しかし、実に困ったことだ。／这种事这次是第一次，又确实是棘手的事。②日本の夏は暑い。しかし、今年は特別に暑い。／日本的夏天很热。而今年特别地热。③昼休みの時が来たら、大工場ではサイレンが鳴り渡り、オフィスではベルが壁から響く。しかし、私だったら、休みのシグナルにはチャイムを使いたい。／午休时间一到，在大工厂里，汽笛传遍各处，在办公室里则有电铃在墙上作响。然而，若是我，则宁愿使用门铃作为休息的信号。

4. 表示前后两项的对立并列关系。用于句中，一般连接地位相同的句子成分。

①真によき社会を作ろうと思うならば、物言いという一見ささいな、しかし、本当は大切な事を、よく考え直してみる必要がある。／如果要建立一个真正美好的社会，就有必要重新认真考虑一下说话这件看起来微不足道，实际上却很重要的事。②自分の思うことを端的に、しかし筋道を立てて他人に分るように発表することが必要なのである。／有必要把自己所想的直截了当而又有条理地、以他人能懂的方式表达出来。

5. 其他。

①それはそうだが、しかし……。 (朦胧表达) / 那倒是。不过……。②それはしかし考えものだよ。／那可得考虑考虑。③「やってみましょう」「しかしですよ。……」 / “试试看!” “不过……”  
△しかしながら是强调形式。实质意义相同，但一般只连接句子，多



用于文言体文章。

①永遠に墮ちて行くのは無為の陷穽である。しかしながら無為の陷穽にはまった人間にもなお一つ残されたる信仰がある。／无止境地滑下去的是无为的陷阱。然而，陷进无为的陷阱的人也仍有一个残存下来的信仰。

しかして（然して） 〈接续词〉

文言残余，同口语そうして。由文言副词しか、形式动词するの连用形、接续助词て构成。

①しかして，ここで，研究の方法について一言しておかなければならないであろう。／那么，就应该在这里针对研究的方法说一说。②彼は折り返し点を通過した。しかしてますます快調です。／他通过了折返点，于是越来越顺利了。

「しか」と「だけ」と「ばかり」

1. しか是提示助词，和否定形式呼应，专门用于提示或强调句子成分。

2. だけ和ばかり同属副助词，除了表示限定外，还有其他用法。

3. 表示限定时，だけ表示明确提出事物或其数量界限，而ばかり只表示大体的范围和程度。因此ばかり后的用言可以采取推量形式，だけ则不能。如：“学生が10人ばかりあろう。／约有10名学生。”而“※学生が10人だけあろう。”

4. だけ和しか都表示明确的数量界限，但だけ只有肯定所提事项之意，しか则只有否定所提事项以外一切事项的含意。如：a. 一人だけいる。／只有1人。b. 一人しかいない。／只有1人。c. 一人だけいない。／只少1人。a句只肯定一个人的存在，c句是肯定一个人不存在。而b句在肯定一个人存在时，否定了这以外所有人的存在。

5. だけ含有“所限定范围是足够的”的语气，而しか含有不足的语气。下例中不能互换。

①「ちょっと一杯やっていくか」「今日は三千円しか持っていないのだが……」「それだけあれば十分だ」／“我们喝一杯走吧”，“不过今天我只带着三千日元”，“有那些就够了”。

### しかのみならず 〈接续词〉

只用于（文言体）文章中。由文言副词しか（然）和接续词组のみならず构成。等于そればかりでなく、その上。

①突然この要職に就いたという事も不自然だった。しかのみならずこの天降<sup>あまくだ</sup>りは従来のしきたりを踏襲していないから疑われている。／突然就任此要职，此事有些蹊跷。加之，这一上级的指派没有依照过去的惯例，从而受到怀疑。②代助に言わせると，親じの考えは万事中途半端だ。しかのみならず，今利他本位でやっているかと思うと，何時の間にか利己本位に変わっている。／按代助的说法，老头子（代助之父）凡事半途而废。这还不说，有时一切为他人，不知何时又变得处处为己。

### しかも（而も） 〈接续词〉

1. 以追加方式表示一个主体所具有的两种状态或同时进行的动作。一般后项比前项在程度上更进一步。

1) 连接句中两个地位相同（如都是状语）的成分。

①気がついた法夫<sup>のりお</sup>は，なぜ，こんな所に，しかもソファーに横たわっているのか，全然，見当もつかない。／法夫苏醒了过来，他一点儿也不明白为什么会躺在这样的地方，而且躺在沙发上。②「どうした」と鷹見は私たちの顔を見比べてしかも笑いながら聞きました。／鷹见看着我们的脸色，而且是笑着问道：“怎么了？”

2) 接中顿形后，一般两项相当于地位相同的句子。

①花壇という花壇にバラが植わっており，しかも満開の姿態を見せている。／所有的花坛里都栽着蔷薇，并展现着盛开的姿容。②これはロシアの景でしかも林は樺の木で，武蔵野と甚だ異なっている。／这是俄国的景色，况且树林是桦树，与武蔵野迥然不同。③彼らの一部は徹底したエゴイストになり，しかも役人と結びついて暴力的に人々を支配する。／他们中的一些人成了彻底的个人主义者，并且和官吏勾结以武力奴役他人。

△接形容动词及助动词“だ”的连用形之后时，“で”有时可省略（下例①），但并不能用于体言的累加（②）。

①彼は大学の教師（で），しかも教授である。／他是大学教师，并且还是教授。②※大学の教師，しかも教授になりたい。

3) 用于句子之间。

①お互いに差入れを分ち与える事は殆どない。しかも，他人のものを有無を言わせず奪い取ってしまう。／互相间几乎不分送来的东西。更有甚者，不清红皂白抢夺他人的。

2. 表示互相矛盾的两项间的并列接续。用于分句之间。

①彼は日本語が上手だが，しかも人の前でしゃべることはめったにしない。／他日语水平很高，而在别人面前很少开口说。②こんなけしからんことをして，しかも何ら恥じる所がない。／做出此等可恶的事来，却又毫无愧色。

しかり系 〈接续词系列〉

文言う変動詞しかり（然り。しかありの約音，等于そうである）的各活用形和接续助词等结合成的词组。起接续作用，只用于文言体文章中。各形式分别与由そう、そんな、その构成的词组相当。

1. 然<sup>しか</sup>らずんば。等于そうでなければ。

①生かしからずんば死か。／生耶？ 反之死耶？

2. 然らば。等于それなら、そうすれば。

①求めよ。さらば与えられん。／去争取吧，那么你将能得到它。

3. 然れども。等于そうであっても、それでも。

①「予は常に懷疑主義者なり。」「しかれども君は少なくとも心靈の存在を疑わざるべし？」／“余常为怀疑主义者。”“然君至少盖不怀疑心灵之存在歟？”

4. 然れば。

1) 等于だから、それゆえ。

①然れば余も保守的になりけり。／由是，余亦变保守矣。

2) 转换话题。等于ところで、さて。

5. 然るに。

1) 等于それなのに。

①おとなしい人だった。然るに、その日は，どうしたのか，ひどく

怒ってくれた。／是个老实人。然而那天不知怎么了，竟对我大动肝火。

2) 转换话题或从前述内容引出新话题。同さて。

①私はいつも楽しみにして此人の手紙を待っていました。然るに、私が19才の秋の事でした。11月の半過ぎ、学校から帰って見ますと机の上に一通の手紙がのって居ます。／我一直盼望着他的信。后来，正是我十九岁那年的秋天，十一月后半月的一天，我放学回来，看到桌上放着一封信。

**時間の表現** シカンノヒ ヨウゲン 时段表达法，时间表达法

指动作、状态的时间幅度、范围等时间量。有以下几种。

【存在和持续的时段】用裸格时间名词表示。

①病気で一週間休んだ。／因病请假一周。②10日間泊まる。／住10天。③空席がなかったので30分も立たされた。／没有空席，竟站了30分钟。④それで加工時間が10分縮まった。／这样，加工时间缩短了10分钟。⑤この工事は三ヶ月要る。／这项工程需要3个月。⑥新聞のコラムを5分間読んで休んだ。／读五分钟报纸专栏后休息了。

【动作所需的时间量】用格助词中表示。

①作文を一時間で書き上げた。／用一个小时完成了作文。②授業はあと10分で終わる。／还有十分钟下课。③300ページもある本を二日間で読み終わった。／三百页的书两天就读完了。④川が広くて30分で泳いだ。／河面宽，用30分钟游了过去。

△上述1、2用法的区别是：1只表示持续的时间里作某事，2表示用一定的时间来做完某事。试比较：

①30分泳いだ。／游了30分钟。②30分で泳いだ。／用30分钟游完了。

【经过的时间】用格助词を后续“過ごす”之类的动词表示。

①外国で十年を送った。／在外国度过了十年。②外国で十年の青春を送った。／在外国度过了十年的青春。③今年は郷里でお正月を過ごすつもりです。／今年准备在老家过新年。

△除上述“送る、過す”以外，还有“使う、かける、見込む”等都能以时间词为宾语。总的说来，这是把时间词作为一项事物来对待的说



法。

【最大时间量】 1、用まで表示最大限度或期限。

①一週間まで待てる。／我最多可以等一周。②このペンキは三年間まで保つ。／这种油漆最多保持三年。③休暇は十日間まで許してくれた。／批准我休假十天以内。④八時間までは眠ってられない。／睡不上八小时。

2. 格助词に和表示延续、跨度的动词搭配。

①研究時間 3 年に及ぶ。／研究时间长达三年之久。②今日で一週間になる。／到今天有 1 个星期了。③30 年にわたって……／历经 30 年……

【时间量基准】 用を表示超过或不足的基准。

①1 个月を越えて 3 个月になってしまった。／超过 1 个月, 结果用了 3 个月。②予定の 10 時間をはるか上回った。／远远超过了预定的 10 小时。

【时间范围】 即期间。

1. 用まで、までに表示。前者表示连续时间, 常和から搭配使用。后者表示最终时点, 后续动作在此时点前的任何时点上实现均可, 但最终不超过该时点。另有にかけて, 和まで相似, 但不象まで那样明确表示出终到时间。

①毎日, 午前 9 時から午後 5 時まで勤務している。／每天从上午 9 点工作到下午 5 点。②帰ってくるまで, ここで待って下さい。／我回来之前请在这等着。③会議は 5 時から 6 時にかけて行なわれた。／会议由 5 点进行到 6 点。④ 9 時までにここへ来て下さい。／请在九点之前到这儿来一趟。

2. 用裸格的“間”表示。如用～に则转为时点。试比较:

①家族が出かけている間, ずっと眠っていた。／在家人出去的时间里, 一直睡觉来着。②家族が出かけている間に, 少し眠った。／在家人出去的时候, 睡了一会儿。

しき <副助词>

【接续】 一般只接こ（そ、あ）れ后, 可分别看作独立的副词。一般看作

接尾辞，但偶尔也能灵活运用，所以作一副助词，接体言性词语后。

【意义】 1. 表示数量少或程度低。带有轻视的语气。

①これしきの成績でうぬぼれるものか。／就这点儿成绩有什么自满的。  
②君，それしきで済ませようとは少し虫がよくはないかね。／你想就此不了了之，是不是想得太美了？  
③あれしきのことで悲観してはたのもしく思われない。／那点儿事儿就悲观了，不会有出息的。

2. 偶尔接其他词后，等于しか。

①今日は百円ばかりしき持っていない。／今天我只带了一百块钱。

シク活用 ～カツヨウ シク活用

文言形容词活用类别之一，与ク活用相对。凡口语形容词为“～しい”的在文言中都是シク活用的形容词。词例：悪し、怪し、いやし、悲し、恋し、親し、樂し、頼もし、似つかわし、憎らし、恥かし、喜ばし。以“かなし”为例列活用表如下：

基本形	词干	未 然	连 用	终 止	连 体	已 然	命 令
かなし	かな	し くら しから	し くら (しゅう) しかり	し	し きる しかる	しけれ	しかれ

另有一部分シク活用的词终止形为“～じ”，龟井孝称之为“ジク活用”，如：同じ、忌じ、ひもじ、むつまじ、すさまじ。

从上表可以看出，シク活用各形的词尾除终止形外都比ク活用词尾多一个“し”音节。如果“し”干脆作为词干并按ク活用来活用，则除终止形不说成“～しし”外，其余所得结果完全相同。关于シク活用的词干有两种看法。其一认为“～し”整个都是词干，其二认为其中“し”是词尾。如从第一种看法，则词干与终止形相同。从历史上看，“～し”确实都是词干，“賢<sup>さか</sup>し女<sup>め</sup>、愛<sup>かな</sup>し妹”等词中的前半部与“高山、赤玉”的前半部是一样的词干构词用法。至于终止形，可能是由于“～しし”中的两个“し”由于发音不便省略了一个造成的。

シク活用与ク活用在词义上也有一定差别，参见“形容詞の種類”项。

## 指示詞 シジシ 指示词

虽然表示人、物、场所、方向、状态等，但是不表示其概念意义，只表明以上语言素材属于说者、听者、第3者之中的何方势力范围的一类词，叫做“指示詞”或“指示語”。如，“ここ”表示场所，但不是场所名称，只指出该场所是说者所在的地点范围。又如，あなた表示人，但不指明名字，只表明该人是说者的对方。

【代名词说】大槻文彦认为日语代名词的语法作用与名词相同，可看作其代用词。山田孝雄反对，认为代名词不直接表示概念，只能间接地指示事物。桥本发展了山田说，指出代名词不同于名词，不是根据事物本身的性质对其命名，只根据说者和事物之间的关系进行指示。

【指示词说】佐久间鼎取指示词说，认为指示词不仅包括代名词，而且包括连体词（この、そんな类）和副词（こう类）的一些词，并指出有近称、中称、远称、不定称之别，而近、中、远称与自称、对称、他称有内在联系，并把指示代词命名为こそあど，和人称代词汇为一体。见下表。

主 体	被指示事物	所及人物（人称代词）	所属事物（指示代词）
说者或所属		ワタシ、ワタクシ	コ系
听者或所属		アナタ、オマエ	ソ系
第3者或所属		アノヒト	ア系
不 定		ドナタ、ダレ	ド系

【“係副词”说】森重敏认为指示词兼有提示助词和副词的作用，故称为提示副词。如，副词かなり位于きわめて和やや之间，具有相对性语义。同样，これ、それ、あれ之间也是相对关系，并且没有实体性语义。这是指示词的副词性。而ド系词与句子的疑问陈述有关，コ、ソ、ア系词与确定性陈述有关。这是指示词的提示助词性。

具体用法见以下参考项。

⇒人称代名詞、指示代名詞、コソアド

指示代名詞 シジダイメイシ 指示代词

【性质】代词的一种。指示事物、场所、方向。与人称代词相对。

指示代词也有称格性,属于第三人称。内部还有近、中、远、不定称。如下表。

类别 \ 称格	近 称	中 称	远 称	不 定 称
事 物	これ、こいつ	それ、そいつ	あれ、あいつ	どれ、どいつ
场 所	ここ	そこ	あそこ	どこ
方 向	こっち、 こちら	そっち、 そちら	あっち、 あちら	どっち、どちら

称格分别以こ、そ、あ、ど为语音特征,可看作称格的义素,类别以れ、いつ、っち、ちら为语音特征,可看作表示事物、场所、方向的义素。称格和类别构成井然有序的体系。

指示代词可转用为人称代词或时间名词,指示代词之间也有转用现象。

①それは私の家内です。／那是我内人。②こちらよりあちらの方が丈夫に見えますが。／倒是那个比这个显得更结实。③あれから二度と再び彼女に会ったことがない。／从那以后就再也未见到她。

可以构成丰富的惯用词组。常用的如:これはこれとして、これという～、これだから、これで、そこへ、それもそうだが、ここといって～もない、どれもこれも、どれがどれだか、どっちかというと、どっちつかず。

【诸说】1. 名称。得名于大槻文彦。因“指示”是所有代词的本质属性,后来许多人改称“位置代名詞”(松下大三郎)、“事所代名詞”(汤泽幸吉郎)、“物代名詞”(时枝诚记)、“事物代名詞”(吉冈乡甫)等名称。

2. 分类。木枝增一索性不用“指示代名詞”这一称呼,而分别称为事物代名词、场所代名词、方向代名词,并将这些看成代词的细类,与人



称代名称并列。这种分类反映了代词的语义特征。

山田始终按称格性进行分类，这样区分出指示代词（“称格指示”、有称格性）和反身代词（“反射指示”、无称格性）两类。

3. 体系。佐久间鼎归纳のコソアド系列词比指示代词范围更广。见该项。

⇒代名詞、コソアド

**指示副詞** シジフクシ 指示副詞

三宅武郎把状态副词こう、そう、ああ称作指示副词。把どう称为疑问副词。实际上，这几个词构成副词のコソアド体系，一并看作指示副词更方便。

指示副词是无实质内容的状态副词，三宅武郎称形式副词（包括“どう”），其实际内容由文脉或场面来决定。

**辞書** ジシヨ 词书、词典、辞典

【解释】根据一定的目的收集一定的词语，对此逐一加以释义和使用说明，编排有序，便于检索的工具书，总称词书。对其每一种称作词典。

选词的目的决定词典的类别，如：语文词典、专业词典。选词的多少决定词典的规模，如：大型、中型、小型词典。

词典的正文由词目和内容（释义、用法说明等）两大部组成。此外，正文前通常有前言、使用说明、目录等，后面常有各种附录，如语文词典常有地名表、纪念节日表、度量衡表、活用表等。

【词目】词目是词典的本体，其选定取决于编写目的和使用对象。就语文词典而言，能作词目的除单词外还有：词缀、惯用词组、成语。活用形以终止形为词目，称为基本形或词典形，形容动词以词干为词典形。词目通常括于【 】内。

词目一般按五十音序排列，但假名用法有所不同。古语词典采用历史假名法（如：いふ、がっこう）、现代语词典采用现代假名法（如：いう、がっこう）、为外国人编的词典常用罗马字（如：lu、gakkō）。时枝诚记的「例解国語辞典」采用发音式假名法（如：ゆう、がっこう），但未被其他任何词典所接受。

【内容】就语文词典而言，主要有以下内容。

1. 发音。现代假名虽然和发音有些出入,仍用作发音的标写形式,列于词目之前。新辞典多在发音后带有数码式的重音记号,如:①②。

2. 标写。【 】内的词目本身代表着标写法。另外有的注明历史假名写法。

3. 语法。指出词类,动词的自他及活用类别、常用的造词法等。

4. 释义。主要有两种释义方法,一是描写,如“まご”可以是“子供のまた子供”,二是上位概念和具体特征结合,如“農民”的上位概念是“勤労者”或“人”,所以释义可以是“農業に従事する勤労者(人)”。此外,补助手段还有类义词、反义词、例句等(这对一些词来说可能是主要手段)。如果是多义词,按先基本义、后派生义、引申义的顺序逐一排列。

5. 词源。即词的来源。对正确理解词义有帮助。外来词的词源要标出原词,括于【 】内。

6. 位相。指出使用对象、范围等。如:男性语、学生用语、医学用语、农业用语、俗语、骂语。

【种类】“じてん”可分为“辞典”(语文词典)和“事典”(知识词典)两大类。每类又分普通词典和专门词典。举例如下:

1. 事典 1) 普通词典 百科辞典

2) 专门词典 文学辞典  
国語学辞典  
音楽辞典  
地名辞典  
数学辞典

2. 辞典 1) 日语普通辞典 国語辞典

双语普通辞典 和英辞典  
日汉辞典

2) 日语专门辞典 重音辞典  
标记辞典  
类义词词典  
反义词词典

女性语辞典

敬语辞典

谚语辞典

拟声拟态词辞典

双语专门辞典 英和类义词词典

日汉成语词典

【主要语文辞典举例】 1. 日语普通辞典,

「日本国語大辞典」, 全20卷, 45万词, 属超大型辞典, 小学馆出版(1972~1976)。可称日本文化之集大成。编辑顾问有金田一京助等多名著名学者。

「広辞苑」, 新村出編, 岩波书店出版(1955), 20万词, 中型辞典, 收有人名等, 兼有百科全书性质。也收录了大量的古语。

「学研国語大辞典」, 金田一 春彦、池田弥三郎編, 学习研究社出版。收有10万词, 例句全部从文学作品中摘引, 兼有一定的欣赏价值。

「新明解国語辞典」, 金田一京助等 5 人合編, 三省堂出版(1971)。收录大量新词和造词成分, 注有重音, 释义细致准确, 收词约6万。

「岩波国語辞典」, 西尾实, 岩淵悦太郎編, 岩波书店出版(1963), 收词6~7万。重视基本义, 释义简明。

「外国人のための基本語用例辞典」, 文化厅出版(1971), 收词2.5千, 均系常用基础词汇, 例句丰富, 用法说明详尽。

2. 双语普通辞典。

「新和英大辞典」, 増田綱主编, 研究社出版(1974年第四版)。收词及词组16万。用罗马字排列法, 义项划分细致合理, 例句丰富, 注重词组用法。

《日汉辞典》, 陈涛主编, 商务印书馆出版(1959), 收词7万余。解放后我国第一部日汉辞典。

《汉日辞典》, 申泰海等主编, 吉林教育出版社出版(1986年修订版), 收词5万余。我国第一部汉日辞典。

3. 专门辞典。

「新漢和辞典」, 諸橋轍次等編, 大修館出版(1973), 收字8.6千,

词 5 万。「大漢和辞典」的简缩本。

《日语外来语新辞典》，商务印书馆出版（1984），收词 5 万余。

「全国アクセント辞典」，平山辉男编，东京堂出版（1962），收词 10 万。

「全国方言辞典」，东条操编，东京堂出版（1951）。

自然可能 シゼンカノウ 自然可能

松尾捨太郎的语法术语。动词态的一种。

⇒自発態

しだい （次第） 〈形式名词〉

【接续】 1. 接动词连用形后。

①出来しだい，お届けいたします。／做好就送到府上。

2. 接名词后。

①練習しだいで成績がずいぶん違う。／看练习情况如何，成绩大不相同。②子供は親しだいで育つ。／孩子成长全在父母如何。

【用法】 1. 作接续助词用，表示后项动作和行为是在前项动作和行为（原则上是瞬间性的）发生后立即进行。和接续 1 相当。

①どんな仕事でもあり次第引き受けましょう。／您一旦有任何活计我随时承接。②資金の都合がつきしだい，ご連絡いたしましょう。／筹集好资金，立即通知您。

2. 作名词或接尾词用，表示动作、行为的实现视前项如何而定或变化。和接续 2 相当。

①子供は親次第で，善くも悪くもなる。／因父母的情况不同，孩子既可能变好也可能变坏。②これから先は君の腕次第だ。／从今以后就看你的能力如何了。

3. 作副助词用。以しだいに形式表示完全按某种意志愿望行事。与接续 2 相当。

①彼は細君の言いなり次第になっている。／他对妻子百依百顺。②望み次第にさしあげますから，遠慮せずにおっしゃって下さい。／按希望奉送，您不必客气，尽管说。

したがって （従って） 〈接续词〉



表示由前项原因引出的必然结果或根据前项内容所作的合理结论。

1. 用于句子之间。这是主要用法。

①あすは日曜日だ。したがって、学校は休みだ。／明天是星期日，所以学校休息。②ここでは日常生活にとって必要度の高い品物ほど価値がある。したがって物の価値は外の世界とちがっている。／这里（指监狱）越是日常生活必需的东西越值钱。所以，东西的价值和外部世界不同。

2. 用于句子中连接分句。

①素朴な、自然のもの、したがって簡潔な鮮明なものをそのまま紙にうつしたいものだ。／希望把那朴素自然的，因此也是简洁鲜明的东西如实地再现于纸上。②私はイヌ派であり、従ってネコ派の文学には同調しかねるはずである。／我是狗派，所以按理说难以与猫派文学观点一致。

△したがって与だから。如前后两项之间无必然联系，不能用したがって。如后项是意志、命令、愿望等主观表达形式，要用だから。如：腹が空いた。だから（※従って）食べたい。／肚子饿了，所以想吃。

**実験態** ジッケンタイ 试作体

动作体的一种，指～てみる形式的主要用法，见该项。

**实用文法** シツヨウブンポウ 实用语法

以实用为目的的各种语法理论。即为听说和读写的目的而建立的语法体系系统称为实用语法。教学语法以语文教学为目的，规范语法以语言的规范化为目的，因而都是实用语法。表达语法以正确表达（说和写）为目的，读解语法以正确地读懂文章为目的，因而更是具体的实用语法。以上几种语法的名称有时被当作实用语法的同义词。不过，前二者一般具有完整的体系，理论性较强；后二者侧重于具体的实用目的，实用性更强。

所有的语法研究都始于读解古典、学习外语等的实际需要，开始都是实用性的，后来向理论方面发展，逐渐形成独立的学科。但是，实际语言生活仍然要求理论语法为实际的读解和表达提供正确的规范，因此，包括TG在内的理论语法都多少带有实用性。教学语法应该是理论和实际结合的产物，但是实用性问题尚未得到解决。就是说，虽然日本战后的语文教

学中普编重视了实用性，并出现了各种语法理论，但是无论实用性还是理论性都存在着不少有待解决的问题，系统的实用语法体系还没有真正建立起来。

近年来关于计算机怎样能够理解自然语言的问题正在研究之中，并试图应用各种新的语法理论。这也是一种新的实用语法。

### して 〈助词〉

文言格助词して和接续助词しての残余。する的连用形し和接续助词ての组合。

【接续】して的词性不定，因用法不同接续不同。

【用法】1. 格助词用法。接体言（性词组）后，表示动作主在人数等方面的参与方式。同口语で。

①夫婦して働く。／夫妻双双工作。②親子して大学教授になっている。／父子同为大学教授了。③友人が十人ばかりして見舞に来た。／约有10位朋友一同前来看望我。④みんなしてやれば張合いがあって面白い。／大家一起干就起劲儿，有意思。

2. 副助词用法。接助词（主要是格助词）、形容（动）词副词形、副词等副词性句节后。

1) 表示对原因、方式等副词性成分的强调。

①若くして出世した。／年轻而高升。②その身ぶりからして気に食わない。／单从那举止就不顺眼。③竹入君は忘れたかして，時間どおりに来ない。／竹入君大概忘了吧，没有按时间来。④三人とも期せずして見方が一致した。／三个人的意见不谋而合。⑤とかくしてそうなりがちだ。／常常是这般情景。⑥うちの子は赤んぼうの時からして病気がちだった。／我家小孩儿从婴儿时候起就好得病。⑦何よりもまず，人をけなすことからして，厳しく批判しなければならない。／别的不说，从贬斥人这一点就该严厉批评。⑧日本人の性向は儒教のみを持ってして説明しえない。／日本人的禀性仅用儒教是无法解释的。

△またしても等已固定成词。

2) 以にして的形式表示变化、发生等动作行为的时间状态或方式。

①一瞬にして後ろ姿を消してしまった。／一眨眼工夫就不见背影

了。②半年にして夏目漱石を読み終わりました。／半年时间读完了夏目漱石(的作品)。③今にして後悔したって始まらない。／到如今，后悔已晚。④樋口一葉は24歳にして世を去った。／樋口一葉24岁就去世了。⑤一気にしてやり終わった。／一气呵成了。

3) 以～をして形式表示使役对象。主要与しめる搭配。

①国民全体をして政治に関心を持たしめる。／使全体国民都关心政治。②彼をしてあんな立場に立たしめたのは，全く客観からの理由に由るものと断っておきたい。／我想先申明，使他处于那种地步，全是由于客观上的理由。

4) 表示经过的时间。完全可看作动词する的一种用法。

①しばらくして（から）ベルが鳴った。／过了一会儿，铃响了。②半年して（或すれば）父になるよ。／过半年就当爸爸了。

3. 接续助词用法。(文言) 接续助词して(は)的残余。接形容(动)词副词形后，表示并列或条件关系。

①任重くして道遠し。／任重而道远。②簡潔にして要を得た説明／简明扼要的说明。③生徒に注ぐ愛なくして教育は云々できぬ。／没有倾注于学生的爱，谈不到教育。④涙なくしては読めない文面ばかりである。／通篇内容读起来催人泪下。⑤彼女なくしては一日も生きていられないだろう。／没有她，恐怕一天也活不下去吧。

**指定の助動詞** シテイノジョドウシ 指定助动词

【性质】助动词的一种。指构成判断性陈述形式的助动词，所属词有だ、です、である。时枝语法中还包括でございます、であります。

①オリーブは平和のシンボルだ。／橄榄树是和平的象征。②彼はある会社のサラリーマンです。／他是某公司的职员。③日本は経済大国である。／日本是经济大国。④私は毎日新聞社の記者でございます。／我是毎日新闻社(的)记者。⑤樋口一葉は日本の有名な女流作家であります。／樋口一葉是日本有名的女作家。

指定助动词表示主语(主辞)和谓语(宾辞)之间的逻辑关系的合理性，包括归属、所有、指定、存在、属性等。

①コオモリは鳥でない。(归属)

②あれが富士山だ。(指定)

③私のうちは神田だ。(存在)

作间投助词用的だ、です和敬语助动词用的です(接于形容词后)都是指定助动词的引申用法。

因为指定助动词是一种陈述形式,所以,与叙述内容的逻辑性没有直接的联系,主谓之间(即主辞和宾辞之间)不符合逻辑认识时,这种陈述形式作为语言模式仍然成立。

①鯨は魚類だ。/鯨是鱼类。②コオモリは鳥類だ。/蝙蝠是鸟类。

【诸说】山田语法中把指定助动词看作是存在词。把たり、なり还原为とあり、にあり来认识。因あり是存在词,所以其缩合形式たり、なり也看作是存在词。口语中的だ是由である约音而成的,所以也是存在词。

松下语法、桥本语法、时枝语法都把だ看作是指定助动词,把です看作是敬语助动词。另外,时枝语法把其他语法理论中视为格助词的の(多くの努力)和と(整然と行進する),形容动词的活用形な(駄目な人)、に(月は明らかに風は涼しい)也看作是助动词だ的活用形,な、の为连体形,に、と为连用形。

**指定表現** シテイヒョウゲン 指定表达法、断定表达法、判断表达法

【性质】以判断助动词だ、です等,对某个课题作出判断的表达法叫作指定表达法,亦称“断定表现”、“指定表现”。

①我が輩は猫である。/我是猫。②北京は中国の首都です。/北京是中国的首都。

“我が輩、北京”是课题,“猫、中国の首都”是判断内容,“である、です”表示对课题和判断内容之间的合理性(归属和一致性)的断定。三者依次为逻辑学上的主辞(主辞)、宾辞(賓辞)和系辞(繫辞)。

有的人把叙述表达法看作是“指定表现”,如“風がふく/刮风。”、“風が吹いているらしい/好象刮着风。”、“風が吹いているだろう/在刮风吧。”等。时枝诚记认为“らしい、だろう”以及零形式的句末辞是表示陈述语气的专门记号。

【形式】狭义的断定表达法用 1. だ; 2. である; 3. です; 4. で



ございます等表示。1、3是常用形式，2用于文章、4用于极郑重的场合，已不常用。以上各种形式及其活用词组在郑重程度和断定程度上有一定差别，列表如下。

郑重程度	断定程度	弱	中	強	最 強
敬	肯定でしょう	で す	であります	でございます	
	否定ではないでしょう	で(は)あ りません	で(は)あ りません	で (は) ご いません	
簡	肯定だろう	だ	である	(でござる)	
	否定ではないだろう	で (は) ない	で(は)ない	(でござらぬ)	

试比较：①蚊は害虫だろう（でしょう）。②蚊は害虫だ（です）。③蚊は害虫である（であります）。

だろう、でしょう以及らしい、はずだ等虽含有判断意义，同时推量的语气强烈，一般看作推量表达法的具体形式。

だ等常和の、もの、わけ等形式名词组合成助动词性词组，分别兼说明原因、理由，结论、结果、道理、事实，推论、推测的作用，详见“のだ”等各项。

#### 時点の表現 ジテンノヒョウゲン 时点表达法

【性质】时与句子的陈述态度有关，而时点、时段等时间则与叙述内容（素材）有关。表达某事物的动作、状态、性质的出现或开始、消失或完了的时间的一类语言形式叫作时点表达法。

【形式和用法】1. 出现和开始的时点。

1) 用から表示继续动词的动作开始和动作状态出现的时点。

①僕は15才から働きました。／我从15岁开始工作。②あしたは朝から忙しい。／明天从一清早起就忙。③ずっと前から知っております。／从很早以前就认识。

2) 用に表示瞬间动作发生的时点。开始时点可用から代替。

①こだまはちょうど3時に大坂につく。／回音号准3时到达大坂。②仕事は8時に（から）始まって，12時には家に帰ってくる。／工作

8 点开始，12 点回家。③眠っている間に，財布がなくなった。／在睡觉时间里，钱包儿没了。

2. 存在和进行的时点。此种时点有较长的时间幅度，但在时间的长河中仍为时点。

①現代に生きる人間は物質的よりも精神的に苦労している。／生活在现代的人与其说在物质上，倒是在精神上更受磨难。②晚にはいつも家に居る。／晚上总在家里。

3. 消失完了的时点。

1) 用に表示动作完了的时点。只用于“終わる”等少数词后。

①会議は 3 時に終わった。／会议 3 点结束了。

2) 用まで表示动作和状态持续的截止时点。

①都合により，会談は秋まで延期することとした。／由于有情况，决定会谈延期到秋季。

4. 转换的时点。

1) で和に で表示原有动作结束的同时后续动作相继而起的转换时点。相似的用法有に，但に只表示动作发生的时点。试比较：

①火山からの噴煙は午後 3 時で（或：に）止まった。／译 1（で），火山一直喷烟至下午 3 点才停。译 2（に）：火山的喷烟于下午 3 点停止了。②赤ん坊が朝 3 時で（に）死んだ。／译 1（で）：婴儿到凌晨 3 点死了。译 2（に）：婴儿于凌晨 3 点死去。

因此，无“转变”意义的动作动词只能用に格。

①火山からの噴煙は午前の 10 時に（※で）始まった。／火山的喷烟上午 10 点开始了。②赤ん坊が朝 3 時に（※で）生まれた。／婴儿凌晨 3 点降生。

まで和で都涉及到終了时间。区别是：まで只表示原有动作的持续时间，而で只表示后续动作发生的时点。二者意义相反。

①10 時まで寝る。／睡到 10 点。②10 時で寝る。／（10 点前干活）到 10 点入睡。

2) てから和たあと（で）前者表示主体的有意识的继起动作，而后者连接经过一定时间的有意或无意动作。因此下例句义不同。

- ①ご飯を食べてから映画を見に行った。／吃完饭，就去看电影了。  
 ②ご飯を食べたあと，映画を見に行った。／吃完饭后，去看电影了。

由于以上原因，下例中（ ）内不成立。

- ①10時になってから(※なったあと)家を出た。(继起)／到十点后出门了。②太郎は戦争が終わったあとで(※終ってから)死んだ。(无意识、非继起动作)／太郎在战争结束以后死了。

### 自動詞 シドウシ 自动词

【解释】动词的一种，与他动词相对。指不能带宾语（～を）的动词。自动词所表示的动作，有的是意志性的、可控制的，如：速く歩く。／快走；有非意志性的，即非情物的运动或与人的意志无关的，如：ドアがあく。／门开；还有的表示与其他事物的相关状态，如：猫に似ている。／和猫相似。あれと違う。／和那个不同；甚至有的直接影响他者，非常接近他动词，如：戦争に反対する。／反对战争。可见自·他的区别是相对的，有中间地带。实际上，“勉強する、増加する”等自·他兼类。

有些自动词含有被动的意义，称为中相动词，见该项。

自动词的使役态形式相当于他动词，如：行く→（を、に）行かせる，泣く→（を）泣かせる。

可能动词属自动词，有的还和一般自动词同形，要注意区别。比较如下。

- ①このナイフはよく切れる。(一般自动词)／这把小刀锋利。②このナイフなら，太い木でも切れる。(可能动词)／要是这把小刀，粗大木头也能切。

【特征】1. 不能带宾语。

- ①水が流れる。／水流淌。②地震が起った。／发生了地震。

“川を渡る”、“空を飛ぶ”是活动场所、经过地点的补格～を，不是宾格～を。所以“渡る、飛ぶ”等自动词。

自动词通常能带主语，如以上例。“落雷する、停電する”等是例外。

2. 大部分自动词不能构成被动态，如：※負けられる、※過ぎられる。但另一小部分自动词能构成间接被动态，称“迷惑の受身”。这是日语动词区别于印欧语的一大特征。

①父に死なれる。／失去父亲。②子供に泣かれてたまらない。／让孩子哭得受不了。

3. 后续ている表示进行体和结果体，这与他动词相同。但自动词只在少数情况下能用～である形式，表示事先完成的准备、积累等意义，和～ている实质意义相同。

①ゆうべ充分寝てある（寝ている）から，今日はすこしも疲れない。／因为昨夜睡足了，今天一点儿也不累。

注意，他动词要构成～が～である形式，ある不能换成いる。如：字が書いてある。※ている。

⇒他動詞、動詞の種類

自動詞文 シドウシブン 自动词句

【结构】指以自动词为谓语的句子。基本句式：主语＋谓语。主要包括以下种类：

1. 存在句和所在句（参见“在存文”项）。

2. 以自动词为谓语的总主句（参见“総主文”项）。

3. 动态句。指以动作动词中的自动词为谓语的句子。动态句除主语外通常还需要宾语以外的各种连用修饰成分。

①事故が起った。／发生了事故。②消防車が大通りを通りぬけた。／消防车从大道上开过去。③私は母と二人でスーパーまで買物に出かけた。／我和母亲两个人去超级市场买东西了。

【性质】1. 自动词句表示主体（主语）事物的性质、状态、存在和动作行为等。其中的存在句、以自动词为谓语的总主句有形容词句的性质。

2. 一部分自动词句的背后存在着他动性，很容易改用相应的他动词造他动词句。

①喧嘩は玩具から始まった。／打架是由玩具引起的。②多額の金が集まった。／筹集了大量资金。③A教授の隠れ家<sup>が</sup>が報道陣にみつかった。／A教授的隐寓被记者团发现了。

【与其他句式的关系】1. 自动词句可以转换成使役句。

①娘が旅行に行く。→娘を旅行に行かせる。／让女儿去旅行。

2. 可以转化为被动句的一种“迷惑の受身”。仍是自动词句的一种。



这种被动句的主语是外来的，即不是原主动句的任何成分，而且一般只限于人名词作主语。

①大雨が降る→旅人は大雨に降られて困っている。／旅行者被大雨所浇，正在为难。

### 3. 可转化为可能句。

①ゆうべは充分ねむった→ゆうべは充分ねむれた。／昨夜睡了个安稳觉。

### 始動態 シドウタイ 始动体

活动性动作体之一。由佐久间鼎命名。指～はじめる、～だす、～かける等形式。主要表示：

#### 1. 继续性动作的开始。

①水を入れると、魚が泳ぎ始めた（泳ぎだした）。／一放水，鱼开始游起来了。

#### 2. 复数主体的瞬间性动作陆续开始。

①世界各国の代表団が北京に到着し始めた。／世界各国的代表团开始到达北京。

#### 3. ～かける表示开始并进行了开头部分。

①腹をきめて難しい仕事をやりかけた。／下定决心开始了艰苦的工作。②やりかけの仕事。／刚开始做的工作。

△～かける还表示动作尚未开始，只是到了即将开始的阶段，这是将现态的用法，如，上两例同时有此种用法。

### しな 〈接尾辞〉

接动词连用形后，以～しなに形式表示在前一个动作进行的同时接连进行或出现后一动作。近于接续助词。

①寝しなにそう甘いものを食べると胃腸をそこねますよ。／临睡觉的时候，吃那么多甜东西会损害胃肠的。②戸口を出しなに，お母さんに呼びもどされた。／刚要出门的时候被母亲叫了回来。

### 自発態 ジハツタイ 自发态

【性质】动词态的一种。指动作行为是非意志性的、自然而然产生的。自发态无论在语义上还是在句子格式上都与可能态、被动态、中动态等关

系密切，有时难以区别。自发态又称“自発可能態、自然動的被動（松下大三郎）、自然可能（松尾捨太郎）、自然勢（山田孝雄）”等。

【构成】一般在表示感情、思想、思考等意义的动词后加（ら）れる表示。另外有些动词本身就有自发的意义（例③④）。

①たのしかった子供の時が思い出された。／不由想起了愉快的儿童时代。②前途が案じられる。／对前途担心。③「ふるさと」の歌を聞いたら，小学生時代がなつかしく思えてきた。／听了《故乡》这首歌，不觉怀念起小学时代来了。④彼女の身上話を聞いたら泣けてきた。／听了她对身世的诉说，禁不住哭了起来。

△能够构成自发态的动词为数不多，直接表示感情、思想、思考的有：

案じる、味わう、思い出す、驚く、しのぶ、くやむ、うらむ、知る、想像する、思う、考える、判断する。

间接表示感情、思想、思考的有：聞く、待つ、説明する、推定する、見る、ながめる。

#### 自発動詞 ジハツドウシ 自发动词

口语的可能动词中有的表示自发的意义，因此不需要用自发态形式，汤泽幸吉郎称之为“自発動詞”。如：泣ける、思える、笑える、開ける等。自发动词和可能动词、动词的自发态一样无命令形。

①あの劇には泣ける場面がある。／那台剧有催人泪下的场面。②ぼくが悪かったように思えて仕方がない。／深感内疚。③笑えない失敗をしでかした。／造成了非同小可的失误。④胸が開ける。／心里痛快。

#### 自発の助動詞 ジハツノジョドウシ 自发态助动词

【性质】助动词之一。用来构成自发态动词的助动词。所属词有れる、られる。自发态助动词表示上接动词（限于表示心理活动和伴随心理活动的动作动词）的动作在某种条件下自然而然地发生。

①子供の時のことが思い出される。／想起了童年。②少年の犯罪と見られる。／看来是少年所犯。

上接词有：“思う、思い出す、案じる、感じる、忘れる、驚く、聞く、考える、しのぶ、悔いる、望む、期待する、心配する、想像する、知る、推定する、”等心理活动动词和“待つ、泣く”等伴随心理活动的

动词。

因“可能”是从自发用法演化而成的，所以“可能”和“自发”界限不清。因此又称“自発可能”。

但是，自发助动词在上接词方面有特殊限制，而且在形态上往往采用与可能态不同的形态。所以应看作是与可能动词不同的另一种助动词。

【诸说】除大槻文彦和桥本进吉的助动词说外，还有山田孝雄的复词尾说和时枝诚记的接尾词说。详见《受身の助動詞》项。

自发助动词还有“自然勢”(山田孝雄)、“自然動的被動”(松下大三郎)、“自然的可能相”(三矢重松)等名称。从这些名称中可以看出自发态助动词、被动态助动词和可能态助动词之间的密切关系。

#### 自発の表現 ジハツノヒ ヨウゲン 自发表达法

表示自然地、自发地产生的思想、行为的表达法。主要形式如下。

【形式】1. 用自发助动词(ら)れる表示。行为对象通常用が。

①お正月が待たれて、よく眠れなかった。／盼望新年，睡不稳觉。②成功するかどうか(が)心配される。／对能否成功感到担心。

2. 用某些可能动词表示。

①彼女の話聞いて皆は泣けてきた。／听了她的话，大家都忍不住哭了起来。

3. 用ないでは(或：ずには)いられない形式表示。

①あまりこっけいなので笑わないではいられませんでした。／太滑稽了，没法儿不笑。②長城を築いた祖先たちの大胆さには感心せずにはいられない。／不能不佩服修筑长城的祖先们的大胆精神。

#### 自発文 ジハツブン 自发句

用自发态动词作谓语的句子称自发句。由于自发动词的具体属性不同，构成不同的句型，句意也有区别。分述如下。

1. 主语ニハ对象语が谓语(ラ)レル。

主体(ハ或ニハ)一般是说者本人，这时常省略。表示某种感情不自主地、自发地产生。

①懐かしい故郷が思い出されてならない。／思乡之情油然而生，令人难忍。②老人には幼い子の行く先が案じられる。／老人不禁对年幼

的孩子的前途担心起来。③彼女との結婚が待たれて落ちつかない。／盼望着和她结婚而心神不宁。④彼の純情さには、ほとほと泣けてくる。／他的纯真，使人痛哭。

## 2. ～テ（或カラ）対象語が谓语ラレル。

谓语由“知る、想像する”之类表示认知的动词充当。认知的内容作主语。句中不出现动作主。

①筆跡を見ても、勉強ぶりがいかに真面目であるかが、うかがわれる。／看笔迹便可窥见其学习态度何等认真。②手記からも、彼がどんな人生を生きてきたかということが十分想像される。／从手记中，可以充分想象到他渡过了怎样的人生。

## 3. 主语(ニ)ハ引语と谓语ラレル。

谓语由“思う、考える”等表示思考判断的动词充当。认识主体～ニハ一般不出现。句意是用婉转的语气阐述比较肯定的内容。

①犯人は寝ているすきまを狙ったものと判断される。／可以断定犯人是钻了睡觉的空子。②私には、横綱の四連勝は難しいと思われる。／我认为这位最高级角力士禅联冠军是很难的。

## しめる 〈使役助动词〉

【活用】下一段动词型活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
しめる	しめ	しめ	しめる	しめる	しめれ	しめよ	しめ

### 1. 未然形。

#### 1) 后续ない、ぬ、まい、む(ん)。

①是非を混同せしめぬよう物事をはっきり弁<sup>わきま</sup>えるべきである。／应把事情分辨清楚，以免是非混淆。②ああいう連中は入社せしめまい。／绝不让那种人物进入公司。③舟を行らしめんと欲する船長／欲下令行船之船长。

#### 2) 后续られる表示被迫。



①他の何人<sup>ひと</sup>によっても制限されたり、その支配を一面的ならしめられることがない。／不受其他任何人的限制，也不许任何人独断专行。

## 2. 连用形。

1) 后续て、ても、つつ、たり、た、たい、ます、そうだ(样态)等。

①この一事は私をして、決定的に彼を敬慕する一人たらしめてしまったのである。／这一件事使我最终成为他的敬仰者之一。②夫人と子<sup>こ</sup>を思う心は、山崎君を駆って歌を作らしめた。／是思念夫人及子女的心情驱使山崎君作了一首歌。

2) 古語中しめたまう表示最高敬意，现只保留于皇室用语。

3) 用于中顿。

①国民をして政府の方針を理解せしめ、生産力の向上へと誘導する。／引导国民理解政府的方针，提高生产力。

## 3. 终止形。单独或后续终助词、助动词结句。

①政府の方針は国民生活と産業両方共に向上せしめる。／政府の方針将使国民生活和生产两方面同时提高。②学生をしてむやみに読書せしめるな。／勿使学生一味读书。

## 4. 连体形。文言中为しむる。

1) 修饰体言。

①利点を真に利点たらしめるための努力は十分に行われているとは言い難い。／很难说为使优势真正成为优势的努力做得很充分。

2) 后续接续助词ので、のに、助动词ようだ等。

①自分で考えしめるようお願いいたします。／请允许我自己考虑一下。

## 5. 假定形。后续ば表示假定等。

①私をして言わしめれば、この世に彼ほどえらい人はまたとないであろう。／依我看，世上再也没有象他那么了不起的人了。

## 6. 命令形。

①もゆるがままにもえしめよ。／任凭它燃烧吧。

## 7. 推量形。后续よう表示意志。

①町から公害を無くし、住みよき環境にならしめよう。／让我们从城市消灭公害，使之成为舒适的环境。

【接续】1. 接动词未然形后。サ变接せ（ぜ）后。

①敵意を持たしめる発言はひかえよう。／要节制 会使人抱有敌意的发言。②文化の発展をとげしめるかぎは言論と科学の自由にあると言えよう。／可以说，成就文化发展的关键在于言论与科学的自由。③過重な課税は土地改革計画を水泡に帰せしめるかもしれない。／过重的课税可能会使土改计划成为泡影。

2. 接文言形容词、文言助动词ざり、たり、なりの未然形后。

①敵の心胆を寒からしめる。／使敌人心胆寒。②時勢が彼をして大人物たらしめた。／是时势使他成为风云人物。③見方を一面的ならしめる根源は個人的立場にある。／使意见片面化的根源在于个人处境。

【意义】主要用于文言体文章中，相当于（さ）せる。

1. 表示使役。

①祖国愛，同胞愛が彼をして帰国せしめた。／是对祖国、对同胞的爱促使他回国了。②国民の感情を悪化せしめる言論は慎しむべきだ。／会恶化国民感情的言论应该谨慎。

△～を～しめる形式较之其他使役形式语气更强。

2. 使自动词转成他动词，表示实现。

①世を騒がしめた罪は決して軽くない。／乱世之罪实属不轻。②悪口を言って林君を怒らしめた。／说坏话惹怒了林君。

3. 以～しめられる形式表示被迫、自发等。

①5個年計画は激しい政争によって破棄せしめられてしまった。／5年计划由于激烈的政治斗争而废弃了。②群衆は彼の吾がまな言動に不愉快を感じしめられた。／众人对他的放纵言行感到不快。

しも 〈提示助词〉

由文言助词し和も结合而成。文言中用法较广，接续比较灵活。现代较少使用，有些已固定成副词。

【接续】1. 接体言后。常接的体言有いま、とき、だれ、おり等。

2. 接副词后。常接的有まだ、かならず、さ。

### 3. 接格助词后。

①これをしも非難するといふのか。／连这一点也要非难吗？②まだまだ「望みなきにしもあらず」といふ所だ。／还没达到山穷水尽的地步。

△有时后续格助词が。

①こんな泡沫的な生活からは、誰しもが足を洗いたがっている。／无论是谁都想从这种虚幻的生活中挣脱出来。

【意义】1. 表示强调。其中例②的だれしも有全面肯定的含义，属旧式说法。

①おりしも子供に泣かれて映画館を出た。／就在这时，孩子哭闹出了电影院。②これくらいの妥協は誰しも認めるだろう。／这种妥协任何人都接受的。③それをしも問題視するなら，交渉ははかどらないだろう。／若是连这都当成问题，交涉是不会有进展的。④これよりまだしもその方がいい。／和这个比，还是那个好。

### 2. 表示部分否定或部分肯定。用于まだ、必ず后。

①この証明は必ずしも十分だとは限らない。／这个证明未必是充分的。②あの程度のことのできなくとも，彼などはまだしもだ。／虽然做不到那个程度，他还是可以的。

### 下一段活用 シモイチダンカツヨウ 下一段活用

动词的活用类别之一，如“食べる”。其基本形的最后两个假名是词尾，如“食べる”，而词尾的第一个假名在ウ段的下一段上，故名。与上一段活用统称一段活用。实际上词尾的第一个假名是不变的，由于在未然、连用、推量形中是最后一个假名，所以也看作词尾。这样，“得る”等两个假名构成的词就无词干或说有零词干。属于音节添加型活用，即：未然、连用、推量形的词尾是エ段音，终止、连体、假定、命令形分别在エ段音后添加ru、ru、re、ro或yo。以“食べる”为例整理如下：未然tabe（たべ）、连用tabe（たべ）、终止形taberu（たべる）、连体taberu（たべる）、假定tabere（たべれ）、命令tabero或tabeyo（たべろ或たべよ）、推量tabe（たべ）。たべる的べ在バ行，称为バ行下一段活用动词，同理，“付ける”称为カ行下一段活用动词，余类推。各行下一段动词的活用表如下。

行	基本形	词干	活用形						
			未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ア行	消える	き	え	え	える	える	えれ	えろ えよ	え
カ行	受ける	う	け	け	ける	ける	けれ	けろ けよ	け
ガ行	上げる	あ	げ	げ	げる	げる	げれ	げろ げよ	げ
サ行	見せる	み	せ	せ	せる	せる	せれ	せろ せよ	せ
ザ行	混ぜる	ま	ぜ	ぜ	ぜる	ぜる	ぜれ	ぜろ ぜよ	ぜ
タ行	捨てる	す	て	て	てる	てる	てれ	てろ てよ	て
ダ行	出る	○	で	で	でる	でる	でれ	でろ でよ	で
ナ行	重ねる	かさ	ね	ね	ねる	ねる	ねれ	ねろ ねよ	ね
ハ行	経る	○	へ	へ	へる	へる	へれ	へろ へよ	へ
バ行	食べる	た	べ	べ	べる	べる	べれ	べろ べよ	べ
マ行	止める	と	め	め	める	める	めれ	めろ めよ	め
ラ行	晴れる	は	れ	れ	れる	れる	れれ	れろ れよ	れ

【参考】1. 下一段动词的认定：除个别词外，凡是基本形以“る”结尾，倒数第二个假名在エ段的动词都是下一段动词。如：育てる、嵌める、書ける、～させる等等。



例外有：ける、減る、照る、しげる、たける、ひねる、帰る、湿る、あせる。以上均属五段动词。

2. 关于文言的下一段动词。只有“蹴る（ける）”一个词，现代日语是五段动词。二者对照如下：

	基本形	词干	活用形						
			未然	连用	终止	连体	已然 假定	命令	推量
文言	ける	○	け	け	ける	ける	けれ	けよ	○
现代	ける	け	けら	けり けっ	ける	ける	けれ	けろ けれ	けろ

可见，现代的ける除了命令形也可以用ける（属一段活用）形式外，已完全五段化了。“蹴<sup>けと</sup>飛ばす”中的“け”是文语连用形的痕迹。

下二段活用 シモニダンカツヨウ 下二段活用

文言动词的活用类别之一。这类动词无不变词尾，其基本形和终止形是ウ段词尾，如：忘る。未然形和连用形则是エ段词尾，如：“忘れ”。连体形和已然形词尾则在ウ段词尾后分别添加ル和レ（忘るる，忘るれ），命令形是在エ段词尾后加ヨ（忘れよ）。因为始终围绕エ和ウ这两个段活用，且エ在ウ之下，故名下二段动词。

下二段与上二段相对。“忘る”的基本形词尾是在ウ行，称为“ウ行下二段活用动词”，同理，“植う”是ワ行下二段动词，余类推。

下二段动词数目较多，仅次于四段。分布在五十音图的除パ行外的所有行上。活用表如下。

行	基本形	词干	活用形					
			未然	连用	终止	连体	已然	命令
ア行	得	○	え	え	う	うる	うれ	えよ
カ行	受く	う	け	け	く	くる	くれ	けよ

行	基本形	词干	活用形					
			未然	连用	终止	连体	已然	命令
ガ行	上ぐ	あ	げ	げ	ぐ	ぐる	ぐれ	げよ
サ行	寄す	よ	せ	せ	す	する	すれ	せよ
ザ行	混ず	ま	ぜ	ぜ	ず	ずる	ずれ	ぜよ
タ行	捨つ	す	て	て	つ	つる	つれ	てよ
ダ行	出づ	い	で	で	づ	づる	づれ	でよ
ナ行	尋ぬ	たづ	ね	ね	ぬ	ぬる	ぬれ	ねよ
ハ行	考ふ	かんが	へ	へ	ふ	ふる	ふれ	へよ
バ行	調ぶ	しら	べ	べ	ぶ	ぶる	ぶれ	べよ
マ行	止む	と	め	め	む	むる	むれ	めよ
ヤ行	越ゆ	こ	え	え	ゆ	ゆる	ゆれ	えよ
ラ行	晴る	は	れ	れ	る	るる	るれ	れよ
ワ行	植う	う	ゑ	ゑ	う	うる	うれ	ゑよ

【参考】 1. 下二段动词从镰仓时代起向下一段动词转化，到江戸中期完成了所有词的转化。

2. ア、ハ、ヤ、ワ四行的下二段动词都转化现代语的ア行下一段动词。

3. “得<sup>う</sup>、寝<sup>ぬ</sup>、経<sup>ふ</sup>”三个词属于零词干形。

4. “分<sup>うづ</sup>く、埋<sup>うづ</sup>む、恐る、隠る、触る、忘る”是从四段动词转为下二段的。

5. “砕く、並ぶ、頼む”等词具有下二段和四段两种活用。

じゃ 〈复合助词〉

用格助词で和提示助词は结合而成では，口语中音便为じゃ，有时

发生长音じゃあ。

【接续】主要接体言和体言性（后续助词）词组后。同格助词で。

①あんたがくれたのじゃ不十分だった。／靠你给的，不够。②十分だけじゃ間に合わないから，もっと時間を伸ばして下さい。／只十分钟不够用，请再延长一下时间。③私と上野君とじゃどっちが高いのか。／我和上野君谁个子高？

【意义】对での各种用法和に的存在场所用法的提示。每句话都或多或少包含假定、条件因素。和で、に比起来，后续动词采用否定形的更多，或受到一定限制。只用于口语。主要用法如下。

#### 1. 有关场所的。

①学校じゃどんな勉強をしていますか。／在学校里都学什么？②会場じゃあやじを飛ばしたりしちゃいけませんよ。／会场里不准起哄什么的。

#### 2. 有关方式、状态的。

①三人じゃだめだから，私たち5人でやってみます。／三个人不行，让我们5个人试一试。②この寒さじゃ石も割れちまうさ。／这么冷，石头也会冻裂的。

#### 3. 有关期限、范围、数量的。

①遅くて三日間じゃ出来上がるだろう。／至迟有三天可以做成吧？②貧しかった山村でも，今じゃ世界じゅうのことが分るようになった。／即使曾经很穷困的山村，现在也可以知道天下的事了。

#### 4. 有关原因、理由、根据的。

①私は病気じゃまだ欠席したことはありません。／我因病还未曾缺席过。②うわべだけじゃ人が分らないさ。／光看表面可不能了解一个人啊。

#### 5. 有关材料、工具、方法的。

①普通の頭じゃ解けない問題です。／这可不是一般脑筋就能解开的题。②私の家は電車じゃ行けない町の奥まった所にある。／我家在电车去不了的胡同深处。

#### 6. 存在场所に的提示有时也用じゃ表示。

①春になったので、子供たちは家じゃ居なくなった。／春天到了，孩子们在家里呆不住了。②僕の友達の中じゃ、ああいう連中はいない。／在我的朋友里，没有那种人。

じゃ 〈接续助词〉

接续助词ては的音便形では在口语中进一步音便的结果。有时发成长音じゃあ。

【接续】接ガ、ナ、パ、マ行五段动词的连用形音便形后。

①流れの急な川で泳いじゃあぶないぞ。／在水流急的河里游泳可危险啊。②50才で死んじゃあまり早すぎる。／50岁就死，死得太早了。③タクシーの運転手が酒を飲んじゃ、乗る気はしませんがね。／如果出租车司机喝了酒，我就不想坐了。④しばふの中で遊んじゃいけないことよ。／不要在草坪里玩耍。

【意义】表示假定条件。后项多引出消极的判断、主张等。用于口语。参见接续助词“ては”项。例句见以上。

【参考】活用词终止形、体言后的じゃ～是助动词で（だ的连用形）和提示助词は的音便。

①そこにあるじゃないか。／不就在那里吗？②行こうじゃありませんか。／我们走吧。③これじゃない。／不是这个。

じゃ 〈助动词〉

【活用】形容动词形活用，但不完整。旧拼写法为ちゃ。常用活用形有终止形じゃ、偶尔用连用形じゃっ（た）和推量形じゃろ（う）。

①大騒ぎちゃったのう。／好一阵闹啊！

【接续】接体言、副词、形容动词词干以及动词、形容词（型助动词）终止形后。可后续终助词な（あ）等。

【意义】现只残存于老年用语和西部方言里。

1. 表示肯定判断。同だ。

①この刀は殿の形見じゃ。／这把刀是老爷的遗物。②子供じゃから、ぼく気にせん。／因为是孩子，我不介意。

2. 表示确认、强调、要求。

①昔は、ここもにぎやかだったものじゃ。／过去，这里也是很热闹



的。②早く一人前になるのじゃ。／赶快长大成人吧。③気を付けるのじゃ。／要留神。

### 3. 作间投助词。

①そこでじゃ，皆の意見をじゃ，早くまとめておかんといかん。／所以呀，把大家的意见啊，要快点儿总结出来。

【参考】口语中的じゃない的じゃ是では的熟音。如“これじゃないか。／不是这个吗？”

### 終結態 シュウケツタイ 终结体

活动性动作体之一。由宫田幸一命名。表示动作的彻底完成。用～おえる、～おわる、～てしまう、～きる等形式。表示：

#### 1. 继续性动作体的结束。

①ようやく三千メートルを走り終わった。／总算跑完了三千米。②長すぎて一気に読みおえない。／太长了，一下子读不完。③明日までにやっしまいなさい。／在明天以前做完吧。④言いたいのは山々だが，全部は言い切れなかった。／有很多话想说，可没能全部说完。

#### 2. 复数主体的瞬间性动作全部结束。

①意見が出きったと見えて，何人かがしきりに時計を見ていた。／好象再没有意见可提了，有几个人老是看表。

### 輯合語 シュウゴウゴ 抱合语

按语言的形态特征划分的语言类型之一。这种语言的句子，其主语、宾语等成分都以词缀的形式被包含在动词中。如，日本的少数民族语言阿伊努语把“我给你”说成“a—e—kore”。“a”和“e”是分别表示“我”和“你”的词缀。又如，格陵兰的爱斯基摩语把“他刺杀我”说成“kapi—ba—a-ŋa”，其中kapi是动词“刺杀”，ba、a、ŋa是分别表示“叙述法”、“他”、“我”的词缀。

属于抱合语的主要是美洲各地的印地安语。

有人认为，日语的敬语动词和助动词有抱合语性质，比如说“うらやましいですね”就等于“私はあなたがうらやましいですね”，其中“私は，あなたが”的意思包含在用言性的词组“うらやましいです”之中了。

## 終止形 シュウシケイ 終止形

活用形的一种。主要用于结束句子，故名。

【活用词尾】五段动词的活用词尾都在ウ段上，如：読む、書く。一段动词终止形词尾有两个假名，第一个在イ段（上一段）或エ段（下一段）上，第二个均为“ル”，如：起きる、受ける。カ变：くる。サ变：する。形容词～い，如：高い。形容动词：～だ，如：静かだ。

【用法】1. 单独结句。如：雪が白い。

2. 后续助词和助动词。助词有：终助词，接续助词、并列助词等。如：か、な、よ；と、けれども、し；なり、やら。后续的助动词有：らしい（但形容动词接词干后）、そうだ（传闻）、まい（只接五段）。

⇒動詞終止形、形容動詞終止形、形容詞終止形

## 終止法 シュウシホウ 終止法

核心意义是用言终止形用于结句的用法。如果泛指各种结束句子的方式，可主要列举以下几种情况。

1. 感叹词、终助词、副词的终止法。

①はい、はい。／是，是。②すごいね。／真了不起。③なるほど。／确实。

2. 体言的终止法，称“体言止め”。常见于和歌、谚语、标题、广告等。

①必要は発明の母。／需要是发明之母。②朝顔に釣瓶とられて貰い水。（俳句）／钓桶已缠牵牛上，汲井还须乞四邻。

3. 各种助词的终止法。一般是省略造成的。

①どこに（ありますか）？／在哪儿？②立って（下さい）。／请站起来。

4. 用言词干的终止法。动词限于サ变。

①あら，痛！／哎哟，好疼。②すてき！／好极了！③軍費修正案全面徹廃。／军费修正案全面废除。

5. 用言终止形、命令形的终止法。各种助动词都有终止法。

①雨が降る。風もふくらしい。／下雨，好象也有风。②未来は明るい，しかし紆余曲折も確実だ。／未来是光明的，但是也一定会有困难曲折。

“係り結び”等情况下，文言的连体形、已然形也有终止法。

修飾格 シュウショクカク 修饰格

山田孝雄的语法术语，“位格”的一种。相当于连用修饰语。如：  
はっきり言う。／清楚地說。此外，山田把连体修饰语称为连体格。

时枝语法把修饰格分为连体修饰格和连用修饰格。

以上两种看法都认为副词、用言等也具有格的语法范畴，这种看法和普通语法学相异。

⇒格

修飾語 シュウショクゴ 修饰语

【性质】指修饰限定其他句子成分或成分中的词的句子成分，包括连体修饰语和连用修饰语两大类。连体修饰语相当于汉语的定语，连用修饰语广义上相当于汉语的宾语、状语、补语的总称。被修饰的词语称为被修饰语，同汉语的中心词。

【区别】连体修饰语和连用修饰语主要有以下区别。

1. 最基本的区别是：连体修饰语修饰体言（例①），连用修饰语修饰用言（例②）或全句（例③）或其他连用修饰语（例④），以及伸缩性名词（例⑤⑥）。

①この日，珍しい出来事があった。／这一天发生了一件希奇的事儿。  
②よく出来ました。／做得很好。  
③たぶん雨が降るでしょう。／可能要下雨吧。  
④もっとゆっくり話さない。／请说得再慢一点儿。  
⑤彼女はすごく美人だ。／她漂亮极了。  
⑥もっと前へ出てください。／再往前来。

2. 由格成分充当的连用修饰语，其格标记有时可省去（下例①），有时停止连用功能转成连体修饰语（例②、③）。但同样是格成分的连体修饰语“～の”则无此现象（例④）。

①何（を）する？／干什么？  
②恩師への贈り物／给恩师的礼物。  
③娘との再会／和女儿的重逢。  
④私の考え／我的想法。

3. 连用修饰语可添加提示助词、副助词等，增加格关系以外的各种语气。而连体修饰语一般则不能。

①君には言わない。／对你不说。  
②これをも上げます。／这个也

给。③30年もの間／足足30年时间。④※30年はの間。

4. 连体修饰语和后续体言的关系虽然很复杂，但标记通常只有“の”和零形式（连体形）两种。而连用修饰语的标记，仅格助词便有约十个。另有用言的连用形和裸格体言等。

⇒連体修飾語、連用修飾語

修飾語の省略 シュウショクゴノショウリャク 修饰语的省略

连体修饰语的大部分和狭义的连用修饰语起语义上的修饰作用，有没有它只影响信息量的多寡，不是句子结构上所必需的。所以“美しい花が咲いた”和“花が美しく咲いた”去掉划线部分也不能说是省略。

由于依赖于场面或文脉而不出现的连体修饰语可以看作省略。

- ①（私の）弟はアメリカで勉強しています。／弟弟正在美国学习。  
②（ねずみの）しっぽを押えたが、ねずみはとうとう逃げてしまった。／按住了尾巴，可老鼠还是跑了。

在复合句中，在某一部分出现的各种格成分，在其他部分都必须略去。

- ①（～を）何年習っても、日本語は難しい。／学了几年，日语还是很难的。  
②ミカンがうれたから（～が）食べられる。／桔子熟了，可以吃。  
③田中はいい人だが、（～と）交際しにくい。／田中是个好人，可是不容易交往。  
④東京はいい所だが、（～に）住みたくはない。／东京是个好地方，可是我不想住。

同上，别的句子中出现的词语，也要作为非必要的格成分而省去。

- ①東京はいい所だ。ただ長く（～に）住みたくない。／东京是个好地方。只是我不想久住。  
②これがあなたの下さったあの本です。いままでに何遍も（～を）読みました。／这就是您给的那本书。到现在已经读过许多遍了。

简单句的谓语如果是授受动词、敬语动词之类，涉及人称的格成分等可以省略。

- ①この間、（私に）手紙をくれました。／前几天给我来过信。  
②これを（君に）預けるからしまっておきなさい。／把这个存放在你这里，请收好。  
③明日（私は）（お宅へ）参上致します。／明天去您家拜



訪。

終助詞 シュウジョシ 終助詞

【性质】助词的一种。接于句末，以疑问、命令、感叹等情态意义使句子得以完成。

①むだをするな。／不要浪费。②分ってるよ。／知道啦。

主要有以下特征：

1. 只用于句末。有的终助词是由别的助词转成的，原来的用法有的还保留着。如“とも”，既是终助词，又是接续助词。

2. 对原有的陈述形式增加疑问、反诘、禁止、感叹等语气。如：

①これですね。／是这个吧？（疑问）②心配するな。／不必担心（禁止）。

有些终助词存在着性别、年龄、身分等差异。

3. 部分终助词互相之间可重叠使用，并原则上按决定句子性质的终助词、不决定性质的终助词、间投性终助词的顺序排列。如：そんなばかなことあるかいね。／岂能有这种蠢事呢？与其他助词重叠时一定要位于其后。

【范围】只作终助词的有：い、え、かしら、こと、ぜ、ぞ、さ、ものか（もんか）、よ、わ等。有一种用法属于终助词的助词还有：か、が、けれども、たら（ったら）、って（て）、て（って）、てば（ってば）、とも、な、に、ね（ねえ）、の、のに、や、やら等。

【分类】1. 直接决定句子性质的终助词：か（かな、かね、かい）、かしら（以上疑问）、ものか、なあ、わあ、のう、よ（以上感叹）、よ、ろ、な（以上命令）、な（ない、なよ、なね）、ないで（以上禁止）、ね、さ、よ（以上确定、有时用だ）、たら（劝诱）、っけ（回忆）。

2. 用句调决定句子性质的终助词：の（命令、疑问、叙述）、て（命令、劝诱、疑问、确认）、こと（疑问、感叹、命令）、と（疑问、传闻）、って（疑问、传闻）。

3. 与句子的成立无关的终助词。

1) 为把表达内容向对方传递而用的终助词：ぜ、ぞ、わ、（わい、わよ、わね）（以上用于叙述句后）、よ、や、な、い、わい、ことよ、

のよ、や、な、とも（以上用于命令句、疑问句后）。

2) 使句子带有余韵的终助词。几乎全部由接续助词转成：が（がね）、けれども（けどな）、のに、もの、ものを、もので、ことで。

【诸说】终助词得名于山田孝雄，他把只能用于句末的助词称为终助词，同时也能用于句中的为间投助词。松下大三郎把间投助词称为形式感动词，把终助词称为感动助词。安田喜代门把二者总括为“孤立助词”。桥本进吉的看法与山田相同。时枝诚记把终助词称为感叹助词，不涉及间投助词。森重敏认为，能够用于句终使句子得以成立的所谓终助词，实际上是间投助词的句末用法。尽管不用于句中，本质上仍是间投助词。

总之，一些词能以大致相同的意义出现于句中、句末甚至句首，如：ね，行ったらね、見ておいてね。教学语法等考虑到意义的关连，将上述三种用法都归入终助词。本辞典把用于句首的归入感叹词，因为它能单独成句或句节。同时区分终助词和间投助词。

**重文** ジュウブン 并列句、并列复合句

按句子结构特征划分的句子种类之一，指两个以上包括主谓关系的部分（即分句）并列而成的句子。分句之间用用言连用形、并列助词等连接。在桥本语法、山田语法中可以见到。

①雨がやみ，にじが出た。／雨停了，彩虹出来了。②設備がないし，資金もない。／没有设备，也没有资金。③（子供の時から，三つのものを見たいと思い続けてきた。）その一つは，北極に美しく輝くオーロラであり，もう一つはナイアガラの滝<sup>たき</sup>であった。残りの一つが～／从儿童时代起，我就一直希望看到三样东西。一是北极光彩夺目的极光，再一个是尼亚加拉瀑布。剩下的一个～。④父は大学教授で母は音楽家だ。／父亲是大学教授，母亲是音乐家。⑤空はいよいよ澄んで月はいよいよ明るい。／天愈晴，月愈明。

⇒单文、複文、混文

**主格** シュカク 主格

【解释】格的一种。指这样的格关系：该名词所代表的事物是其关联的用言所表示的动作、状态的主体。

【日语的主格】1. 日语专门表示主格的格助词是が、の，称主格助词。

此外，提示助词、副助词、有提示功能的词组等等在表示各自特定的含义的同时，也有可能暗含着主格关系。

①春子が来た。／春子来了。②春子の来た三月には～。／在春子到来的三月份……。③春子も来るだろう。／春子也会来的吧。④春子なら来たよ。／春子嘛已经来了呀。⑤春子だけ（が）来る。／只有春子来。

2. “解释”里所给定义是普通语言学的定义，日语的主格也主要是表示这种逻辑关系。此外，还可以表示感情的起因或对象（下例①、②）、能力的对象（例③、④）等逻辑关系，时枝诚记称这样的格关系为对象格。

①先生がこわい。／怕老师。②春子ならこわいよ。／春子的话我怕她。③彼は歌がうまい。／他歌唱得好。④歌こそうまいが～。／歌倒是唱得不错，不过……。

#### 受給の表現 ジュキュウノヒョウゲン 授受表达法

【性质】表示给与某人以某物（物的授受，如例①）或为某人作某行为（动作的授受，如例②）的表达法。

①私は友だちに記念切手をあげました。／我给朋友纪念邮票了。②私は友だちに記念切手を買ってあげました。／我给朋友买了纪念邮票。

主要形式有あげる、やる、さしあげる；くれる、くださる；もらう、いただく三组授受动词，其中每组的最后一个为敬语形式。

不同的授受动词要求不同的格关系体系，有以下三种：

1. 授者（包括说者）が受者に～をあげる（或：てあげる）。あげる类。

2. 授者が受者（包括说者）に～をくれる（或：てくれる）。くれる类。

3. 受者（包括说者）が授者に（或から）～をもらう（或：てもらう）。もらう类。

【形式】1. あげる类。表示以授者为主语，以受者为补语并以授者为中心的授受关系。其中やる用于对下或对动物（有时あげる也可用于对动物），对受者常显得不尊敬；さしあげる用于对长上，对受者有敬意；あげる在敬谦上是中立的，对等的。人称上，可以是一人称给二、三人称，

## 或二、三人称给三人称。

①このノートをあげますから日記をつけて下さい。／给你这个笔记本，请你记日记。②私は記念切手を田中にやるつもりだ。／我想把纪念邮票给田中。③あなたは山田先生にアルバムをさしあげましたか。／你给山田老师相集了吗？④田中さんは鈴木さんに何かあげたそうだ。／听说田中给铃木送东西了。⑤犬には残飯をやる。／给狗剩饭。⑥読んでさしあげますから、お聞きになって下さい。／我给您念，请您听着。⑦私は妹に英語を教える。／我教妹妹英语。⑧けが人には包帯をしてあげましたね。／你给伤员上绷带了吧？

あげる易产生给人以好处（恩赐）的语感，不宜用于长上。

作ってあげましょう→お作りいたしましょう。

やる可伴随带来利益（如以上例）或不利（如：殴ってやる）的语感，这是动词本身的问题。やる还有非授受用法，见该项。

2. くれる类。表示以授者为主语，以受者为补语，并以受者为中心的授受关系。受者应该是说者或说者亲近的人。くれる对主语无尊敬意义，尊敬可用くださる。人称上，可以是三人称给与一、二、三人称，或二人称给与一、三人称。这时，二、三人称必须是和一人称是同一立场的人。

①僕にも一つくれないか。／也给我一个呗。②先生はあなたにプレゼントを下さいましたね。／老师给你礼物了吧。③この本はあなたが妹にくれましたね。／这本书是你给我妹妹的吧？④父がこの時計をくれました。／爸爸给了我这块表。⑤ねえさんがセーターを編んでくれました。／姐姐给我织了毛衣。⑥奥さんが教えて下さった道順で訪ねてきました。／我是按照太太您告诉的路线找来的。

用“お动词连用形くださる”或“ごサ变词干くださる”形式则尊敬程度更高。

①奥さまがお教え下さった道順／太太您指示的路线。②ご説明くださるようお願いします。／请求您给作以说明。

3. もらう类。表示以受者为主语，以授者为补语，并以受者为中心的授受关系。受者应该是说者或说者亲近的人。もらう对授者无尊敬，尊敬可用いただく。おもらいになる形式是对受者的尊敬。人称上，可以



是一、二、三人称从三人称,或一、三人称从二人称得到某物或所作的行为。

①あなたからもらった万年筆はなくなっています。／你给的钢笔已经丢了。②私はこれを友達からもらいました。／这是我向朋友要的。③彼はお父さんにビデオをもらいました。／他爸爸给了他录象机。④先日御注文をいただいた品物が出来あがりました。／前几天您定做的东西已经做好了。⑤東京の友達に参考書を送ってもらいました。／求东京的朋友邮来了参考书。⑥あんたに教えてもらったかいがあって成績が一躍トップに飛びあがりました。／向你请教很有成效,成绩一跃升为头名。⑦この絵は誰に書いてもらったのですか。／这画是你请谁画的? ⑧花子さんは家まで車で送っていただいた。／花子请人用车送到家。

△用“お动词连用形(或:ごサ变词干)いただく”形式则尊敬程度更高。

①ご招待いただいてどうもありがとうございました。／承蒙招待,非常感谢。

【参考】用于表示授受的动词还有“与える、あずける、あずかる、たまわる”等。

#### 縮約形 シュクヤクケイ 缩合形

由于脱落、同化等语音变化而缩短的词形(音形),对于原词而言称作缩合形。由于音节脱落而成的缩合形,比原词少一个假名,如:見てる。但有的因只脱落母音,假名数不变,如:んだ(のだ)。缩合形出现于口语中,文章中只出现于人物对话中。主要如下。

##### 1. 由提示助词は形成的缩合形。

じゃ(では)、ころんじゃ(～では)、見られちゃ(～ては)、行きゃ(行きは)、こっちゃ(こっちは)。

##### 2. 由接续助词て形成的缩合形。

見てる(～ている)、見てない(～ていない)、見とる(見ておる)、買っとく(～ておく)、買っといで(～ておいで)、読んだげる(～であげる)、行っちゃった(～てしまった)、読んじゃった(～でしまった)

## 3. 由の、ら、り、れ等音形成的缩合形。

行ったんだ（～のだ）、すばらしいもんだ（～ものだ）今んどこ（今のところ）、こんちくしょう（このちくしょう）、こないだ（この間）、分かんない（分からない）、いらんない（いられない）、足んない（足りない）。

## 4. 由接续助词ば形成的缩合形。

行きゃ（けば）いい、行かなけりゃ或行かなきゃ（行かなければ）、安けりゃ或安きゃ（安ければ）。

## 5. 由引语格助词と形成的缩合形。

薬つう（という）ものは、分かったちゅうん（というのに）。

其他还有：分らあ（分るわ）等。

## 主語 シュゴ 主语

【性质】句子成分之一，与谓语相对。句子“何がどうする（どんなだ、なんだ）”中的“何が”部分。

在形态方面，主语通常用が，或の（定语中）表示，此外还有は、も、こそ以及零形式等借用形式。

在功能方面，主语表示主格，而不管是用什么形式表达。下例只有①和②是主格，因此是主语，其余③是宾语（主题），④是对象语。

①この仕事は難しい。（也是主题）／这个工作难。②先生の（が）言うこと／老师说的话。③酒は飲まない。／酒不喝。④僕は酒が好きでない。／我不喜欢酒。

在意义方面，主语表示谓语所代表的动作、行为、作用、性质、状态的主体。

【主语的构成】1. 体言及下列体言性词组：体言+副助词、体言+提示助词。

①何か間違いがなければよいが。／但愿没有什么差错才好。②大小さまざまな魚が泳ぎまわっている。／各种大大小小的鱼游来游去。③この点だけは正しいのです。／至少这一点还是对的。④ここまですが、僕の限界です。／我只能做到这个程度。⑤誰もが熱心だ。／每个人都热心。

2. 由用言构成的下例体言性词组：用言+副助词、用言+形式体言、

用言+か、用言+たり等并列助词。以上“用言”包括后续助动词的情况。

①本を読むだけが勉強であるというのではない。／并不是说只有看书才是学习。②どんなことでも起りうるのが，世の中である。／什么事情都可能发生，这就是社会。③あした，皆既日食を見ることができる。／明天能看到日全食。④とうとう久野さんに会えなかったのが残念でした。／终于未能见到久野先生，这是很遗憾的。⑤こうなれば出勤したりしなかつたりが出来なくなる。／这样一来，就再不能随便旷工了。

3. 动词、形容词连体形直接作主语。主要是文言残余和惯用说法。

①無いが意見の総じまい。／倾家荡产是最终的说教。（对游手好闲者平时劝说也没有用处）②あしたはハイキングだから早く寝るがいい。／明天野游，早点儿睡好。

4. 和整体、部分有关的副词可作主语。一般类似于总主句（総主文）。

①そして、二つの細胞は、それぞれがまた二個に分かれる。／接着，两个细胞各自又分成两个。②この計画のすべてが悪いというわけではない。／并不是说这个计划的一切都不好。

【“主語抹殺論”和“擁護論”】对于主语，存在着两大派对立的观点。

三上章认为日语不存在印欧语那样在性、数、格等方面对谓语起支配作用的主语，日语的主语应称为主格，属于主格连用修饰语。大量的无主句（见“無主文”）的存在、大量的主语省略句（见“主語の省略”）的存在等事实使三上的观点有了充分的根据。同时，三上也指出，在各格的连用修饰语中，主格处于最优越的地位，表现在以下方面：1. 主格与几乎所有用言建立联系。反之，如ヲ格和形容词就无关。2. 在命令句中脱落。3. 由主动句到被动句是以主格为轴心转换的。4. 在敬语法中，主格对谓语的敬谦形式有最大的支配力等。

另一派以森重敏、铃木重幸等为代表，认为句子是一种判断形式，必须由主语和谓语构成，因此主语是必要的独立的句子成分。

桥本进吉虽把主语作为独立的句子成分，同时也指出它和广义的连用修饰语之间，在对于谓语的关系方面无本质区别，也可归入连用修饰语。

时枝诚记也指出过主语和目的语、补语等对谓语的关系完全相同。

⇒題目語、主語の省略、無主文、総主文、主題、主述関係。

主語の省略 シュゴノショウリャク

主语的省略在句子成分的省略中最为普遍。这和主语与谓语关系最密切、谓语是一般不能省略的最牢固的句子成分等事实有关。

人称主语的省略与敬语法的发达有直接关系。因为包含敬意或谦意的谓语部分或其他部分能够暗示出主语。

①「辞書をお持ちですか」「はい、持っております」／“您带着词典了吗？”“我带着呢。”②では、これで失礼させていただきます。／那我就告辞了。

复合句中，如一部分中已经出现过主语，另一部分可以省略主语。

①長ぐつが少しぶかぶかだけど、（～が）はければ（～が）それだけ長くはけるのだ。／靴子虽然穿着松，如果能穿的话，穿的时间就更长了。

不过，省去的主语，在另一部分里也可以是主语以外的成分。

①彼に頼んでみたが、（～は）受け入れてくれませんでした。／求了他一回，没答应。②中華料理を食べてみたところ、（～は）たいへんおいしかった。／吃了一顿中国菜，非常好吃。③妻と同行するつもりだったけれども、（～が）病気になって私一人で出かけた。／本来准备和妻子同行，得了病，我一个人出去了。

以上例①～例③的情况也同样适用于两个句子时。亦即主语也可以蒙前后句子的主语或别的成分而省略。例句中的○表示被省去的主语。

①それを聞いて寝た者も起きた。○てんでにちょうちんを持ったり，○紙の幟を握ったり，○たいまつをとったりした。／听到这声，入睡的也起了床。有的拿灯笼，有的握着小纸旗，有的拿起火把。②○まもなく肺が弱くなった。それでも彼女は医者にも見せずしばかりをしたり，まゆをかいたりして働く。／不久肺部得了病。尽管如此她也不让医生看，又是砍柴又是缫丝地劳动着。③書さいでものを調べていると，思わぬ人物に遭遇したりする。むろん，○歴史上の人物である。／在书房里查阅资料，常会偶遇意想不到的人物。当然，是历史上的人物。



以上情况都可以补充主语,可视为省略。而以下情况,如补充主语就不自然或根本不可能,所以金田一春彦认为“省略主语”之说欠妥,应视为无主句。主要是关于天气、自我感觉、命令的说法。

①暖かくなりましたね。／暖和起来啦。②かゆい,かゆい。／痒痒,痒痒。③ゆっくり話して下さい。／请你慢点说。④車で行けば30分かかります。／乘车去要30分钟。⑤欲のない太郎ですなあ。／太郎可真是寡欲啊。

在疑问句、命令句、愿望句、感觉形容词句、感叹句,一般不出现主语,也可看作主语的省略。

①教育の質の低下をいかにして防ぐか。(疑问句)／怎样防止教育质量的下降呢?②よく考えてみろ。(命令句)／你好好儿想一想吧。③南極の探検に行ってみたいな。(愿望句)／到南极探险多好啊。④一日新聞が来ないと,なんとなく落着かない。(これは)妙なものだ。(感觉形容词句)／一天不来报纸,心里总觉得有事儿,真怪啊。⑤いいわね。(感叹句)／多好啊!

#### 主述関係 シュジュツカンケイ 主谓关系

主语和谓语总是相对而言的,二者相辅相承。主谓关系是句子的基本关系之一。

主谓关系也存在于句子成分内部。

①彼は口が達者だ。／他很能讲(在谓语内)。②お客さんが訪ねてくると,子供たちは小鳥のようにはしゃぐ。／一有客人来访,孩子们就欢乐得象小鸟(在连用修饰语内)。③田舎のおばあさんが送ってくれた果物を太郎が一人で食べてしまった。／乡下奶奶送来的水果太郎一个人全吃了(在连体修饰语内,或在宾语内)。

谓语中或多或少包含着主语的信息,故主语易省略。这时要把实质上的主谓关系找准,才能正确理解句子。如下例共七处谓语,主语依次是:

1. 死者、2. 说者和众人、3. 死者、4. 死者、5. 说者、6. 说者、7. 无主、

①幾度も 1. 危ないと 2. 伝えられて奇しくも 3. 持ち直して 4. 退院されたと 5. 聞いて, 6. 喜んだのに俄かの 7. 訃報である。／几度传来病危的消息,后来听说奇迹般地康复出院,本来很高兴,讣告却来

得太突然了。

【主谓关系类型】最普通的看法认为主谓关系有三种：1. 是表示“什么是什”（何が何だ）。如：林浩<sup>はやしひろし</sup>は日本人です。／林浩是日本人。2. 是表示“什么作了什”（何がどうする）。如：敵がやぶれた。／敌人败北了。3. 是表示“什怎么样”（何がどんなだ）。如：今日は寒い。／今天冷。

从语义联系上可以分成以下几种：

1. 谓语表示主语的 属性或行为，主语是这属性或行为赖以存在的主体。

①僕は小学校の先生だ。／我是小学教师。②この町では交通規則が厳しい。／这个镇子交通规则很严。③宇宙船は今なお飛行し続けている。／宇宙飞船现在仍在继续飞行着。④中国は地下資源に恵まれている。／中国地下资源丰富。⑤日本が平和国家になるのは、日本国民にとってもよいことである。／日本成为和平国家对日本国民也是好事。

2. 主语表示属性，谓语表示这个属性赖以存在的主体。与1相反。添加强调感。

①私が捜していたのはこれだった。／我一直在寻找的就是这个。②今度遠足に行かない生徒は1年生だけである。／这次不去野游的学生只有1年级学生。

3. 谓语表示主语的原因（下例①）、结果（例②）、时间（例③）、内容（例④）等种种可能有的内涵。

①人間の体温が暑い時でも一定しているのは、汗が分泌されて蒸発する際に体の熱を奪うからである。／人类的体温即使在温度高时也是一定的，这是因为汗液分泌并蒸发时夺走了身体的热量。②知能検査は高いのに学業が悪い。／智力测验（所得的指数）很高而学业不好。③姉からの電話は一週間後であった。／姐姐的电话是一星期以后了。④考えに考えた決心が、生命保険の外務員でした。／经过反复思考所下的决心，是作一名生命保险公司的外勤人员。

4. 主谓间没有直接的语义联系。大多数此类句子要求有特定的场面和文脉，“ダ型文”的主谓关系更是如此。

①費用は父です。／费用由父亲供给。②夏はビールに限る。／夏天以啤酒为最好。③中山君は、うちがいそがしいだろう。／中山君家里很忙吧。

5. 谓语是对主语的评价。

①あんなに若死したのは残念なことだ。／他那样早逝，这太可惜了。②彼が失敗したとしてもそれがなぜふしぎだ。／即便他失败了，这又有什么奇怪。

6. 用同词反复形式表示让步和确认等。

①行くことは行く。／去还是要去。②夏はやはり夏だ。／夏天毕竟是夏天。

【典型错误】1. 格或态失去对应。括弧内为正确用法。

①※漢字は、日本の国で、長い年月用いて（→用いられて）きて、今では捨て切れないものとしている。（→となっている）②※警察本部には（→では）お手柄のAさんに感謝状を送ることを決めた。

2. 和习惯上的句式不一致。下例①应在句末加“ということだ”。②有两种改法，或将“秘密”换成“の”，或将“からである”改成“ところにある”。③或将“の希望”去掉，或改成“～人になることである。”

①※私が近頃つくづく思うのは、人間はお互いに助け合わなければならない（→～ならないということだ）②※人間の体温が暑い時でも一定している秘密は、汗が分泌されて、蒸発する際に体の熱を奪うからである。（→或秘密は～ところにある或～のは～からである）③※僕の希望は、社会に出て、皆のために尽す人になろうと思っている。（→或希望は～と思っていることである或僕は～と思っている）

3. 一般性的主谓重复是不可取的，如下例划线处应改为“こと”。

①※僕の毎日の楽しみは、朝起きぬけに散歩する楽しみ（→こと）です。

4. 多用一次主谓关系。下例可改为“私は～”或“私の趣味は～蒐集することです”。

①※私の趣味は切手を蒐集することが好きです。（→或私は、或～蒐集することです）。

## 授受動詞 ジュジュドウシ 授受动词

表示物品的授受（例①）和行为的授受（例②）的动词。

①本をくれる。／给我书。②本を買ってくれる。／给我买书。

松下大三郎把授受动词分成：1. 他行利己体（くれる、くださる）、2. 自行利他体（やる、あげる、さしあげる）、3. 自行利己体（もらう、いただく）。

上述三组词各组的意义完全相同，其中每组最后一个是敬语。另有“頂戴”はもらうの郑重体，无活用。

授受动词的主要作用是作授受句的谓语。

⇒授受文

主体 シュタイ 主体

1. 语言主体（言語主体）。指进行语言活用的说（作）者和听（读）者。其中，说（作）者为表达主体，听（读）者为理解主体。

这两个概念要和第一、二人称相区别。比如，在“僕は君に教えた”一句中，“ぼく”和“きみ”是语言主体的客体化表现，而不是语言主体本身，语言主体是说者ボク和听者キミ。这是主体和人称相一致的情况。而在“彼は食べた”中，语言主体说者和听者都没有出现，也不能出现。

时枝诚记把主体看作语言成立的条件之一，特别重视语言主体这一概念在语言研究中的重要性。比如，他把单词分为“词”和“辞”两大类，就是因为他认为词表现客体化、概念化的内容，而辞直接表达语言主体的感情、意志、要求等。又如，把敬语分为词的敬语和辞的敬语，也是因为他认为前者与素材内容有关，而后者与主体（说者与听者）之间的人际关系有关。

2. 语言的主体（言語の主体）。指动作主体，即素材内容中的动作主。有的主动句中主体就是主语或主格。如“梅の花が咲いた”一句中，“梅の花”既是动作主，又是主语和主格。而在被动句“弟が兄に殴られた”中，动作主体是“兄”，主格和主语是“弟”。可见主体与主语、主格不是同一概念。

动作主这一概念同主体这一概念一起，对句子的成立有重大的意义。如，愿望句“私は水が飲みたい”一类句子中，主语只能由动作主充当，



这句中的动作主就是表达主体（语言主体）。再如，“～たがる”一类句子中的动作主一般不能由表达主体充当。

### 主題 シュダイ 主题

1. “文章論”的术语。指作品的中心思想即通过作品所表现的作者的叙述目标。主题是根据作者个人的认识方法和结果而产生的统一的思想主义，它贯穿于作品的始终，构成具体情节，所以，读解一篇作品必须首先分析了解情节的发展情况、题材的处理方法、人物和事件的安排布局等作品的全面情况。但也有些时候主题发生分裂、变换、发展等等。日本语文教育中，主题通常指文艺作品的主题，其他文章的主题称作“要旨”即提要。

2. 句法术语。和文章、段落一样，句子也有叙述的目标即思想的题目，其他内容都冲着这个题目进行说明，这个题目就叫做句子的主题。主题是各种语言中都存在的普遍事实，只是表现形式不同罢了。在日语、朝鲜语中，主要是用助词等特殊的语法词来表示。而在汉语里，虽然当作主语处理，但已如赵元任指出的那样，主谓关系的50%是话题与说明的关系，主要用语序来表示，位于句首。在英语等西方语言中，主题通常用逻辑重音、语序、冠词等随机地表现出来。日语的主题作为句子成分通常称“題目語”，详见该项。

### ⇒主語

### 述格 シュッカク 述格

山田孝雄的语法术语。山田认为日语句子是经人的“统觉作用”而成立的。统觉作用属于内在意识，而其在语言上的外在表现就是“陈述”。

“陈述”的方式有两种，一种是以叙述的方式结句。例：笛の音妙なり。/ 笛声美妙。另一种是以呼唤的方式结句。例：妙なる笛の音よ。/ 美妙的笛声啊！此外无第3种结句方式。这样，以叙述方式成立的句子就是“述体の句”，以呼唤方式成立的句子是“喚体の句”。述体句中的谓语相对于其他词所占有的“位格”（见“格”项），山田称之为述格。具体说，“私は山田だ”中，“私”是主格，“山田”是被叙述的，是“宾格”，“だ”便是述格，述格把主格和宾格总括起来。一般的用言则兼有宾格和述格。

### 述語 シュツゴ 谓语

【性质】句子成分之一。指句子（何がどうする、何がどんなだ、何が何だ）中划线部分。

形态上，谓语用用言的终止形、命令形表示。体言要带助动词。

意义上，谓语回答做什么、怎么样、是什么，亦即表示动作、性质、状态等。

①広田君は力いっぱいシュートをしました。（动作）／广田用力射了门。②夕焼け空は真赤だ。（状态）／晚霞映照的天空通红通红的。③日照りの時の西瓜はとてもおいしい。（性质）／旱天的西瓜非常好吃。④東京にはきれいな川がない。（存在）／东京没有美丽的河流。

在功能上，首先，谓语具有总括连用修饰语和主语的作用。连用修饰语和主语都是补充谓语的，是谓语语法性质的外部表现，因此要通过谓语总括起来。谓语的这种功能叫“统叙”。理论上一般认为，谓语中不同的部分统括不同的格，下例可作日语句子结构关系的代表。

①昔太郎は次郎に本を読ませなかった。

——→←（统括对〔宾〕格）

——→←——（统括使役格）

——→←——（统括主语）

——→←——（统括时格）

从上述意义上看，主语与它之前和之后的连用修饰语相比并无特殊之处，称为主格连用修饰语是适当的。

其次，谓语以断定、推测、命令、疑问、感叹等各种语气结束句子。这种语法功能叫“陈述”。可见，统述（叙述的一种）和陈述二者同寓于谓语之中。陈述虽与全句有关，但在形态上却与谓语合为一体，构成桥本语法中所说的断止句节。时枝诚记把句末的助词、助动词及零记号都看作陈述部分，这样，起统叙部分的是谓语的其余部分，只有这一部分才和主语及修饰语对应，见下例：

彼が 行くだろう。

（主语）——→ ←——（句子成分。谓语）

（主语）——→ ←——（统叙部分）

（叙述部分）——→←——（陈述部分）

【教学语法中的谓语】以上论述是以谓语使句子成立为前提的,这是一种与句子的本质和成立条件有关的谓语观。在教学语法中,受重视的是主谓之间的语义关系,把句末的用言(终止、命令形式等)和句中的用言(连体、连用、假定形式等)都看成同样的谓语。把上述两种观点结合起来看,谓语有如下作用。

1. 作句末谓语。具有统括叙述内容(统叙)的功能和结束句子的陈述功能。由命令、终止、推量形式或相当的活用词组构成。

①茂さんも一緒に乗りなさいね。/阿茂也一起上车吧。②会議を長引かそうとして,あんな無理なことを言って反対するのだ。/是想要延长会议,便说那种无理的话来反对。

2. 作条件分句和并列分句的谓语。通过统叙作用,使分句表示一种完整的思想,然后以并列、条件的形式继续向后面展开叙述,所以又具有展叙作用。以连体、连用、假定等形式的用言或词组充当。

①僕は、バスに乗って,父は自転車に乘りました。/我乘公共汽车,爸爸骑自行车。②部屋に入って見ると,十六、七ばかりの少年が一人で本を読んでいる。/进屋一看,有一个十六七岁的少年在一个人看书。③もし、お金の形が三角や四角だったら,どうだろう。/假如钱币的形状是三角形或四角形的,那会怎么样呢?

3. 位于体言之前,一方面和关连的成分一起作该体言的定语(这是展叙作用),一方面作其前面的关连成分的谓语(这是统叙作用)。用连体形式的用言及词组充当。

①サンダルをはく季節になりました。/到了穿凉鞋的季节了。②私はそれ以後今日まで彼に会ったことは一回しかない。/我从那以后直到現在,只遇到他一次。③世の中には、毎日の仕事をするために、いつも天気のことに関心を配ってはいない人たちが、たくさんいます。/世界上有许多人为了每日里的工作,必须始终关注着天气。

【谓语的构成】1. 由用言、用言+助词或助动词、用言+补助用言及以上词语的其他混合形式构成。

①病人の様子が変だ。/患者的病情恶化了。②やすいのに誰も買わない。/便宜却谁也不买。③慎重に考えてほしいね。/希望你慎重考虑

啊。④とうとう会えませんでした。／终于没能见到。

2. 由用言和体言等混合而成。

①負けてやるわけにはいかない。／可不能输给他。②火星に空気があるとしても非常に希薄であろうということである。／据说即使火星上有空气，也是很稀薄的。

3. 由副词、体言或体言性词组后续助词、助动词构成。

①お二人はいつもご一緒だね。／你们俩总在一起呵。②UFOとは何か。／什么叫飞碟？③そのことはどうも嘘らしい。／那件事很象是虚传。

4. 由サ变词干、名词之类单独构成，常用于标语、口号、标题之类。在随和的口语中也可使用。

①中国水爆に成功／中国氢弹试验成功。②「君だれ？」「田中」／“你谁？”“田中。”

【谓语的结构】佐治圭三对于谓语的结构作了详细的描述。他认为谓语由1. 独立词部分、2. 助动词部分、3. 终助词部分构成，依次相连，有稳定的词序。下面以动词性谓语为例稍加介绍。

1. 独立词部分由动词，复语尾（せる、れる）、补助动词（含补助形容词）等“词”充当，表示素材内容，位于最前（a）。

2. 助动词部分，位于1后，其中用来表示对于素材内容的各种判断的有ナイ、ダ、ハズダ、ヨウダ、ラシイ、ノダ、ソウダ、デス、マス（b），用于传达时的判断的有ウ（ヨウ）、ダロウ（デシヨウ）、マイ（c），这两者也依次相连。

3. 终助词位于最后，其中与对方构成对话关系的有ゾ（ゼ）、カ、トモ、ワ（d），作用于对方的有ヨ、サ、ネ（e），两者依次相连。

整个谓语结构中的语序是a b c d e。

①御注文の品は、もう作り始めさせていただいておるようでした  
a b

わよね。／要订购的产品好象已要求（厂方）开始生产啦。

d

⇒主述関係、述語の省略



### 述語の省略 ジュツゴノショウリャク 谓语的省略

谓語是日語句子的核心部分和成立的前提，以各種關係承接前面的各成分和這些成分之間保持着重要的文脈，所以通常不省略。但在其他成分能夠暗示其文脈的條件下，謂語也可以省略。這在文体簡練的諺語、標題、口號中表現最為突出。在對話中，也經常有謂語的省略現象，如例④。

①千里の道も一步より（諺語）／千里之行，始於足下。②大火事  
ホテル全館煙攻め（報紙標題）／大火災 飯店全樓被煙吞沒。③子供た  
ちに嫌煙權を（口號）／給兒童們厭煙權！④「したたか叱ってやった」  
「誰を」／“我狠狠訓了一頓。”“訓誰了？”

由於上面提到的原因，省略謂語的句子帶有余韻，常用於婉轉的表達。

①ずいぶん努力はしてみたが、やはり能力が不足しているので（失敗した）。／狠下了一番苦功，但由於能力不足……。②先日よりお伺いたしたく存じましたが、こちらに不都合がありまして。／前幾天就想去拜訪您，無奈我這邊脫離不開。

在並列結構的句子中，如果謂語承接一個以上的相同的格成分，最好只保留最後一個謂語。

①子供たちにはキャンデーを，染子には花を持ってきた。／給孩子們帶來了糕點，給染子帶來了鮮花。②姉さんは文學を，私は語學を，弟は工學を専攻している。／姐姐專攻文學，我專攻外語，弟弟專攻工科。

謂語省略後，省略句一般都可以借助於だ、です表示原來的意思，稱ダ型句。這時要靠說話的場面或上下文脈來正確理解。

①僕は大來さん（を選びたいです，或：と一緒にいきましょう、からもらったのですよ，等等）→僕は大來さんだ（です）。／我想選大來。等等。②私の目にはバラだけ見えるのであった。→私の目（に）はバラだけであった。／我眼睛只看了玫瑰。

謂語的省略還造成一些慣用的說法。

①どうぞよろしく（おねがいします）。／請多關照。②では，あしたまた（会いましょう）。／好，明天再見。③どうぞ，こちらへ（来て下さ

い、いらっしゃい)。／请到这边来。

谓语的省略往往使句子和词组的文脉发生跳跃紧缩现象需要加以补充，以加深理解。

①漢字にちなむものの連載を（願います）というご注文をいただいた。／约我连载有关汉字的文章。②モスクワの中心街から車30分（行くと）駅前広場に、二階建て（がある）。／从莫斯科的中心街，驱车30分钟，在站前广场上有两层楼。

#### 述体の句 ジュッタイノク 述体句

山田语法术语。和“喚体の句”相对。山田把句末成分分为用言（含存在词なり、あり）的句子称为“述体の句”。述体句通常可以分析成谓语以及和谓语关联的主语、宾语等。

①夜空が美しい。／夜空很美丽。②生活が以前より豊かになった。生活比以前富有了。③月の光は慰安の光である。／月光是安慰之句。

山田把述体又分为“説明体の句”、“疑問体の句”、“命令体の句”，上例均为说明体，下三例分别疑问体和命令体（含禁止）。

①常夏の南洋はどんな所であろうか，／常夏在南洋会是什么样的地方呢，②御覧なさいな，／看一看啊，御覧なさんな，别看，

⇒喚体の句

#### 受動態 ジュドウタイ 被动态

【性质】态的一种，与主动态等相对，指这样的语法形式：主语是所关联的谓语所表示的动作行为的承受者。被动态是常用的语法形式，且自动他动、主动态和使役态等形式都可以造成被动态，又称“受け身”。

①警官が殺された（他动词）／警察被杀害。②女房に逃げられた。（自动词）被老婆抛弃了。③愛児を戦場に行かせられた。（使役）／爱子被拉到战场去了。

但有些自动词不能构成被动态，三上章称之为“所動詞”。如：有る、起こる、異なる、伝わる、始まる、できる等。有些自动词本身有被动意义，称为中相动词，如：教わる、うかる等。

【构成】动作发出者由に、にあって、から、で表示，动词后续れる、られる。详见各项及“受身文”等项。

【种类】一般根据被动态主语由相应的主动态的何种句子成分充当来把被动态分为直接对象被动态和第三者被动态两大类。

1. 直接对象被动态。指由主动句中的格成分或其定语转换成主语得来的被动态。这种被动态常有主体（句中主语）或说者本人（如例②）受到某种不利影响的语感。

①おやじが子供をこらしめた。→子供がおやじにこらしめられた。/ 孩子被老子教训。②社会党が新提案を打ち出した。→新提案が社会党によって打ち出された。/ 新提案被社会党（抢先）提出来了。

直接对象被动态有三种特殊情况。

1) 是所谓非情物被动态（非情の受身），即以无生命体作主语的被动态，例②即是。但典型的情况是：无需或无法指出被动的发动者，也难以还原成相应的主动态。这种被动态主要表示一种状态。

①保健知識が老人の間に広められた。/ 保健知识在老人中间得到普及。②たこが高く上げられている。/ 风筝放得很高。

2) 是所有主被动态（持ち主の受身）。即ヲ格成分的定语转换成主语，ヲ格仍不变的被动态。

①三毛がねずみのしっぽを押えた。→ねずみが三毛にしっぽを押えられた。/ 老鼠被花猫把尾巴捉住了。

3) 是所谓“对方被动态”（合い方の受身）。即由主动句のニ、カラ、ト格转换为主语得出的被动态。当然不是所有这些格成分都可以随意转换，还是有限制的。

①警官が一部の旅客からフィルムを取り上げた。→一部の旅客は警官にフィルムを取り上げられた。/ 一部分旅客被警察收缴了胶片。

②部長が課長に別の措置を依頼した。→課長が部長に別の措置を依頼された。/ 科长被部长请求采取别的措施。③花子は太郎と離婚した。→太郎は花子に離婚された。/ 太郎被花子离弃了。

2. 第三者被动态（第三者の受動態）。即：以相应的主动句中不存在的人物作为被动态主语的被动态。这种被动态通常伴有主体（主语或不出现）受到不利影响（迷惑）的语感。所以又称“迷惑の受身”，但这种语感在直接对象被动态中也部分存在，因此此名称不尽合理。

- ①一人娘が死んだ。→彼は一人娘に死なれた。／他死了独生女儿。  
 ②雨が降る。→旅人は雨に降られた。／旅游者受到雨淋。

### 瞬間動詞 シュンカンドウシ 瞬间动词

【性质】根据动词的时间性划分的动词种类之一。松下大三郎、佐久间鼎、服部四郎等都论及过这种动词，金田一春彦把它纳入动词四分法。

瞬间动词表示一刹那间发生并立即消失的动作行为或运动，人们所能观察到的只是其结果状态（～ている），这就是瞬间动词的最主要特征。

- ①田中さんの奥さんはもうなくなっている。／田中先生的夫人已经去世了。②太郎は一年前から花子と結婚している。／太郎一年前就和花子结婚了。

瞬间动词的数目也很多，仅次于继续动词。如：死ぬ、消える、触れる、届く、離れる、決まる、みつかる、覚める、止まる。意义较抽象的如：始まる、始める、～始める、～出す、終わる、～終わる、出発する、到着する、離婚する、知る、残る、尽きる、失う、忘れる、出来る（产生）。

除“忘れる、知る”等个别词外都是自动词。基本上都是非意志动词，“忘れる、残る”等意志动词的意志性也不很强。

【用法】1. 终止形只表示最近将来的事实。

- ①彼はすぐ結婚する。／他即将结婚。

作为复数主体的谓语，此外还可表示现实的连续发生的事件。

- ①私の友達が次々と結婚する。／我的朋友们一个接一个地结婚。

2. 连体形用法和终止形大致相同。

- ①明日届く小包の中味は何だろう。／明天到的包裹里是什么呢？

3. “お连用形だ”形式表示过去或将来。

- ①何時にお立ちですか。／您几点钟出发的（过去）？您几点钟出发（将来）？

△某些用于词组形式的用法。

1. 其中的意志动词和一部分非意志动词很容易构成使役态（～させる）和被动态（～れる）。

2. ～ない形式是对过去或未来事实的否定。

- ①列車はまだ到着しない。／列车还没到。（过去）②多分晴れない



でしょう。／多半不会晴的吧。(将来)

3. ～ながら形式只是偶尔使用，一般表示逆态动作。

①大学を卒業しながら手紙一本ろくに書けない。／大学毕业却连封信都写不好。

4. 过去时表示过去或完了，无表示现在和未来事实的用法。

5. ～ていない形式的用法是表示现实状态的否定。

①まだ結婚していない。／还未结婚。

6. ～らしい、～だろう形式只用于未来的事实。～まい形式亦同。

7. ～な形式只表示对未来行为的禁止。

①忘れるな。／不要忘了啊。

【参考】1. 主要是表示移动、穿着的动词很多兼有瞬间动词和继续动词两种性质(参照“継続動詞”项的参考)

①あの人は鏡を見ながら背広を着ている。／他正在照着镜子穿西服。(继续) ②あの人は新しい洋服を着ている。／他穿着一件新西服。(瞬间)

2. 主体是复数，或者动作行为反复发生时，瞬间动词可作为继续动词使用，可以有进行体。

①ペストで人がどんどん死んでいる。／因鼠疫不断地死人。②あの人はうまい論文をひきつづき発表している。／他继续发表高质量的论文。

3. “曲る、くっつく”等兼有瞬间动词和状态动词的性质。

①この釘は曲っている。(瞬间)／这根钉子弯了。②この道は曲っている。／这条路是弯的。(形状)

順序数詞 ジュンジョスウシ 序数词

数词的一种，日语也称“序数詞”或“順位数詞”，表示排列顺序。如：第一、第三、一つ目、一番。形态上有以下几种类型。

1. 单纯的：一、二、三

2. 加接头辞：第一、第二

3. 加接尾辞：三等、五番、六位、一番目

4. 同时用2、3的方式：第一番、第五回、第二行目

【用法】1. 通常只有名词性用法，这与“数量数詞”不同，可后续格助

词。

①一番目が僕のほしいものだ。／第1是我所希望的。②僕は一番目にこれを選んだ。／我先选了这个。

2. 有时序数词和基数词同形，具体意义要根据全句来理解。

①この本の50ページを読みなさい。(序)／请读这本书的第50页。

②この本を50ページ読みなさい。(基)／请把这本书读50页。

**顺接条件の表現** ジュンセツジョウケンノヒョウゲン 顺接条件  
表达法

【一般条件】特点是反映普遍的、反复的、必然的规律，主要用ば表示。

①煙草をのめば，ガンになりやすい。／抽烟就容易得癌。②そのころは，田舎へ行けば，いつでも米のメシが食べられた。／那时候，如果到乡下去总能吃上米饭。

△ば和と。上述ば均可用と代替，由理论性的假定转为表示实际意义的假定。试比较：

①春が来れば（来ると）桜の花が咲く。／ば：（如果）到春天，樱花儿就开了。と：一到春天，～。

【个别条件】反映个别的、一次性的、偶然的联系。主要用たら和と表示。

①あるときたまたま田舎へ行ったら（行くと）米のメシが食べられた。／有一次，我偶尔到乡下去，吃上了米饭。②大そうじをしたら（すると）お父さんの大きな登山靴が出てきた。／搞大清扫，（结果无意中）找到了爸爸的大登山靴。

△たら和と和て。如前后两项是：1. 同一主体，2. 都是意志动词，3. 过去，则只能用と或て，不能用たら。

①私は電車に乗ると（乗って、※乗ったら），窓のそばにこしかけました。／我上了电车，坐在窗边。

如上述三个条件缺一个时，用と和たら都可以，但不能用て。

①私はお金があると（あったら、※あって）むだづかいをしてしまいます。（前项是非意志动词）／我一有钱就乱花。②ゆり子が帰りかけたら（帰りかけると，※帰りかけて）後ろからハーモニカの音が聞こ

えてきました。(后项是非意志动词) / 百合子刚要回去, 身后传来口琴的声音。③猛獣がおそいかかってきたら (くると, ※きて) かがり火で追いはらってしまいます。(不是同一主体) / 如果有猛兽袭来, 就用篝火赶跑。

当后项是劝诱、许可、希望、命令、请求、意志等内容时, たら最常用, ば次之。下例均可用ば代替。但不能用と。

①ご質問でもあったら, どうぞ。(劝诱) / 如果有问题, 请提。②宿題が終わったら寝てもいいよ。(许可) / 作完作业你就可以睡了。③お金があったら私も行きたい所だが。(希望) / 如果有钱, 那地方我也想去呢。④飲みたかったら飲みなさい。(命令) / 如果想喝就喝吧。⑤ご都合がよかったら出席して下さいませんか。(请求) / 如果您方便, 请您出席好吗? ⑥今度見つけたらひどい日にあわせてやろう。(意志) / 如果再发现, 我就不饶你。

△如前后两项是很明显的前后相继而起的动作, 并且后项是意志、命令、请求形式, 则只能用たら。

①大阪についたら (※つく と, ※つけば) すぐ友達に電話をかけなさい。(或: かけよう。或: かけて下さい。)/ 到了大坂, 马上给朋友打电话吧。(～咱们马上给朋友打电话吧。～请马上给朋友打电话吧。)

【思想前提】用なら。表示后项的推测、判断、意志、意见、要求等主观叙述得以成立的条件。属陈述性条件的一种。因此不能用于客观内容的叙述和有关过去内容的叙述, 也不可用作确实内容作为条件。试比较 (※为错句, ○为正确):

①※よく勉強するならよく出来る。(客观叙述) ※よく勉強するならよく出来た。(过去) ○よく勉強するならよく出来るでしょう。(主观叙述) / 如果用功, 就能学好 (的吧)。○～はずだ。(主观) / ～就可能学好。○～にちがいない。(主观) / ～就肯定能学好。②※春が来るなら, 花が咲きます。(确定事实。春天来无需假定) ○もし私にもう一度春が来るなら, うれしいのだが。(非确定事实。主观) / 我如果再能有一次青春, 将会很高兴的。

△なら和たら。如果用たら代替则转为表示实际内容的条件, 句义有

变化。

①天候が悪いなら，連絡船は出発しないはずだ。（规律。不是就具体情况或具体的某条船而言）／如果天气不好，连运船就可能不出发。

②天候が悪かったら，連絡船は出発しないだろう。／如果天气不好，（那条）连运船就不会出发吧。③この本を読むなら，貸してあげます。／如果你读这本书，就借给你。④この本を読んだら，貸してあげます。／这本书等我读完了，就借给你。

如后项在时间上先于前项，只能用なら。

①先生の所へ行くなら（※と、※たら、※ば），これを持って行って下さい。／如果到老师那儿去，请把这个带去。

△有时把既定事实或不能实现的想象作为前提，用～たなら表示。与～なら只有时态上的区别，比较：

①もし私が家を建てたなら小さな家を建てたでしょう。／如果我盖了房子，我会盖小房子的。②もし私が家を建てるなら小さな家を建てるでしょう。／我若是盖房子就会盖小房子。

△以消极事态的发生或不可能实现的假设为前提的，要用ものなら（もんなら）。

①成績が下がろうものなら旅行は認めてやらない。／一旦成绩下降，就不准去旅行。②それでやり通せるものなら，やってみるがいい。／如果现在的作法行得通，你可以试一试。

【其他】1. 形式名词“かぎり、以上”等。带有消极语气，与さえすれば相对，前两者表示既定条件，后者表示假定条件。

①東西の軍事対立が存在するかぎり（以上，※存在しさえすれば）平和はありえない。／东西方的军事对立存在一天，就一天不会有和平。②着実した受験勉強をしておきさえすれば（※しておくかぎり，※しておく以上）何も心配することはない。／只要做好扎实的考试准备，就没有什么可担心的。

2. 形式名词“場合、時”等。见各项。

3. 接续词と、だとすれば、それなら之类。见各项。

準体言 ジュンタイゲン 准体言



1. 岡泽铎次郎用语,指通常说的体言以外的一些无活用词:副词、感叹词、形容词词干、形容动词词干、无活用的接辞等。金田一京助也把形容动词词干称为准体言。

2. 山田孝雄的用语。指在不失去用言意义的情况下当作体言来用的动词和形容词及其活用词组的连体形。

①足るを知り,乏しきを憂えず。/知足,不忧贫。②過ぎたるは及ばざるが如し。/过犹不及。

山田还把下列用法中的动词连用形称为“目的準体言”。这种用法详见“動詞の連用形、に”等项。

①本を買いに出かけた。/出去买书去了。②ほめられに来たのが叱られてしまった。/本来是来受表扬的,不料挨了批评。

準体助詞 ジュンタイジョシ 准体助词

【性质】桥本进吉的助词十分法之一。接于除连用成分以外的种种词后,构成具有体言性质的词组,并增添种种意义。所属词有:ぞ、から、の、ほど、だけ、ばかり等。

①これは私のだ。/这是我的。②言うのはやさしく,するのは難しい。/说容易,做难。③もっときれいなのがほしい。/想要个更好看的。

(以上,の相当于“のもの、こと、もの”)④何ぞ買いたいものはないか。/没有什么要买的吗?⑤誰ぞに頼もう。/求个人吧。(以上,~ぞ相当于“ある物、ある人”之类)⑥そうなってからが心配ですよ。/担心的是那以后的事。⑦自分でしくじったからには人をうらむわけにはいかない。/既然自己搞糟了,就不应该怨别人。(以上,から等于“以後、以上”)⑧喝采するほどの事はないよ。/没什么值得喝采的呀。⑨三日ほど待ってほしい。/请你等三天。(ほど相当于“程度”)⑩書けるだけ書いておこう。/能写多少就写多少吧。⑪三寸ばかり足りない。/缺三寸左右。(だけ、ばかり都等于“程度”。另有其他用法,除外)

准体助词在桥本之前分别被看作格助词、提示助词、间投助词、副助词以及接尾辞。桥本出于如下理由将其独立为一种助词:1.没有断续性。这区别于格、提示助词。2.不接连用成分后。由此区别于副助词。

3.不单独使用。由此区别于体言。另外,桥本认为准体助词多是兼类

的，如“から”也是格助词。

【诸说】准体助词中，对“の”的看法最不统一。三矢重松、山田孝雄、松尾捨治郎等认为是格助词的一种用法。松下大三郎、时枝诚记作形式名词解。佐久间作名词性吸着语亦即形式名词。杉山荣一命名为“名助詞”。另外，佐久间等都认为だけ、ほど等副助词具有形式名词的性质，正由于这一特性，杉山荣一有“副名助詞”的命名。教学语法不设准体助词，将“の”归入形式体言，から为格助词和接续助词，其余为副助词的一种用法。

#### 準副助詞 ジュンフクジョシ 准副助词

桥本进吉的助词十分法之一。接各种词后，构成相当于副词的成分。所属词有：と（兼）、ながら（兼）、まま、きり、がてら、ごと。

①自分ながら不思議に思われた。／连自己都觉得不可理解。②出かけたまま帰ってこない。／出去就再没回来。③それきり音沙汰がない。／那之后就再没有音信。④散歩がてら行ってこい。／散步顺便去一趟吧。⑤リンゴは皮ごと食べられる。／苹果可以连皮吃。

准副助词的用法近于构成副词的接尾辞。区别是：后者参与构成一个副词，前者只是参与构成副词性成分，其前面的词仍具有原来的词性。现在通常将与归入格助词、ながら和がてら归入接续助词、きり归入副助词、まま归入形式名词、ごと归入接尾辞。

#### 準副体助詞 ジュンフクタイジョシ 准副体助词

桥本进吉的助词10分法之一。亦称“連体助詞”。接于各种词后，构成定语。所属词只有の。

①僕の本。／我的书。②ちょっとの間／一会儿功夫。③学校からの帰り道。／由学校回来的路。

现在作格助词处理。桥本将其另立一类的理由是：格助词都构成连用成分，而“の”构成连体成分。

#### 準名詞 ジュンメイシ 准名词

金田一京助用语。指只作谓语，不作主语，意义上是用言，形式上是体言的词，即通常所说的形容动词词干及个别副词。包括“爛漫、堂堂、悠然”之类的汉字词和“そよそよ、うらら、ほのか、さわやか”

之类的固有词。他认为准名词有如下特点。

1. 可后续に、と构成副词句节，如：堂々と、そよそよと、さわやかに。

2. 原形可作谓语。如：酒が大好き／特别喜欢酒。

3. 后续とあり、にあり构成文言形容动词。音便为～たり、～なり。

4. 以“お～”形式构成敬语形式。如：お丁寧に、おはやばやと。他认为这一点与“やや、まだ”等副词不同。

#### 情意表現 ジョウイヒョウゲン 情态表达法

不仅叙述思想和事件，同时表示说者的主观看法、情绪、要求的表达形式叫作情态表达法。一般作为“感动表现、咏叹表现、希望表现、愿望表现”的总称。有时作叙述表达法之外的各种表达法的总称。不同学者对此看法不尽相同。中岛文雄把所有句子划分为判断表达法和情态表达法两大类，后者包括疑问句、命令句、愿望句、感叹句。与此相反，时枝诚记认为，包括判断在内，任何表达形式都有主观陈述的因素，因此所有句子都是情态表达法的具体形式。

#### 状況語 ジョウキョウゴ 状况语

铃木重幸用语。铃木等人把补语（补充语）在深入研究的基础上区分为宾语和状况语。状况语表示动作行为的时间（例①）、地点（例②）、原因（例③）、目的（例④）等外部条件。

①来月，衆議院選挙がある。／下个月要举行众议院选举。②日本に（は）長い川が無い。／日本没有很长的河。③戦争で大きな被害を受けた。／因战争而遭受了很大的损失。④社会福祉のために予算案を調整した。／为了社会福利而调整了予算。

其他还有方式、手段、范围等。

①ペンチで戸をこじあける。／用钳子撬门。②先生といっしょにアメリカ旅行に行く。／和老师一起去美国旅行。③これで一人前三千円だ。／这些一个人摊三千日元。

【参考】《話しことばの文型》中把下列情况也看作状语。

①食堂に行って昼食を食べる。／到食堂吃午饭。これは冷やせば固くなる。／这个冷却了，会变硬。

⇒補充語、連用修飾語

将現態 ショウゲンタイ 将現体

活動性動作体之一，指动词的～かける、～かかる、～（よ）うとする形式，表示已经达到某种动作出现前的状态。由金田一春彦命名。

①電気不足で電灯が消えようとする。（或：消えかける、消えかかる）／由于电不足，电灯就要灭了。②ひどくゆられて，棚から荷物が落ちかかる。（或：落ちようとする）／由于摆动厉害，行李眼看要从架上掉下来了。

意志动词的将现体兼表意志。

①彼は死のうとしたが，死に切れなかった。／他要死，但没死成。

继续动词后续かかる时，除将现体外还表示始动体即意志动作已经开始。

①本は読みかけてやめた。／书读个开头就不读了。（始动体）书马上要读时又不读了。（将现体）

条件表現 ショウケンヒョウゲン 条件表达法

接续表达法之一。指后项以前项为必要条件的表达形式。条件的性质较复杂，可分为陈述性条件、引题和客观性条件三种。

①早く芽が出るといいな。（陈述性）／早些出芽该多好。②ほかの言葉で言えば……。 （引题）／换句话说，……。③君が来れば五人になる。（客观性）／如果你来，就是五个人。

通常所说的条件表达法多指客观性条件。

【种类】可总分为顺接和逆接条件两大类（见各项）。这两大类又分别分为个别条件（该条件对后项是偶然的、具体的事件）和一般条件（表示规律、后项在该条件下必然成立）。个别条件又可分为假定和既定两种。见下表。

		順 接	逆 接
个 别	假定	①風が吹けば，行かない	②風が吹いても行く。
	既定	③風が吹いたら，花が散ってしまった。	④風が吹くのに傘を持って行く。
一 般		⑤風が吹けば，海が荒れる。	⑥風が吹いても雨は降る。



【与活用形的关系】条件表达法用活用形后续接续助词的形式表示，而活用形的种类常常决定着条件的种类。如，ば接于假定形后，而假定形是古代日语的未然、已然两形合流而成的，结果是形式上同于已然形，意义上主要继承着未然形的用法。这样，ば以表示假定为主。と接于终止形后，而终止形本来表示陈述的结束，所以と没有假定性，只能表示确定条件。たら由未然形たら和已然形たれ合流而成，兼有假定和确定条件用法，因而用法最广、最灵活。

逆接条件用法也是由接续助词接于何种活用形决定的。如，のに接终止形（一说接连体形），终止形和古代的连体形都有陈述性，所以のに表示确定条件。

另外，ても、ながら等接于既不表示既定，又不表示假定的连用形后，所以这些条件的性质由前后两项的内容决定。

【与接续助词的关系】有的接续助词只起连接作用，没有决定条件性质的作用。如，单就“外に出たら”，我们不能知道是假定条件还是既定条件，需要补充后项才能断定。が、けれども、ながら、等也是这样。

另外一些接续助词不但有连接作用，还能决定条件的性质。如，“外に出れば中のば使条件句具有假定的意义，不能后续“ものすごく暑かった”之类的既定事实（文言残余用法除外）。のに等也有类似的性质。

#### 自用語 ショウゴ 自用语

山田语法术语。山田把所有词分为观念语和关系语，接着把观念语分为自用语和副用语。自用语包括概念语即体言和陈述语即用言。参照“品詞分類”项山田的划分表。

#### ⇒副用語

#### 将然態 ショウゼンタイ 将然体

静止性（状态性）动作体之一，指继续动词的～（よ）うとする和～ところだ、～ばかりだ形式，表示动作行为即将开始前的状态。由金田一春彦命名。有时两种形式合用，起强调作用，造成紧迫感。

① 3時を打つばかりだ。／就要打3点了。② 時計が2時を打とうとしているところだ。／时钟就要打两点了。

意志动词的将然体～（よ）うとする兼表示决心、意志，因此不纯粹是体。

①子供が絵本を読もうとしている。／小孩儿就要看画册了。（将然体）小孩儿打算要看画册。（意志）

常体 ショウタイ 简体

句末形式即句体（文体）之一。亦称“普通体”（宫地裕）。指以“体言だ、である、形容词い、动词する、～た、等”结句的句末形式。与“敬体”相对。有时具体地称“だ体、である体”。

“だ体”用于日常生活，但只限于自言自语、对好友、家庭内，如用于其他场合（如，在社会上用于晚辈）可能成为卑体。

“である体”用于报道、论文、预告、文章等，可与“だ体”混用。但简体在同一文脉中通常不能和敬体混用。

⇒だ、である、敬体

状態動詞 ショウタイドウシ 状态动词

【性质】根据动词所表示的动作的时间性而划分的动词种类之一。指表示超时间的性质、状态的动词。首先发现状态动词的是大槻文彦，金田一春彦把它纳入动词的四分法。

因为本身表示超时间的性质、状态，所以不能后续～ている形式。

①頭の要る仕事です。／是要动脑筋的工作。②値段が高すぎる。／价格太贵。

状态动词都属于自动词，除“いる”外都是非意志动词。

所属词主要有：ある（机が～，猫で～）、所有可能动词（分る、できる、話せる、書ける等）、要る、いる、要する、値する、～という、形容词和形容动词词干すぎる。

“分る”“出来る”也可以用～ている形式，这是瞬间动词用法，分别表示早已知道”和“完成”。

①あのことなら分かっている。／要是那事儿早知道。②高いビルが出来ている。／盖好了一座高层楼房。

【用法】1. 终止形表示习惯性事实、现在或将来的性质状态。

①この子はいつもよく出来る。／这个孩子总是学习很好。②英語が

分る。／懂英语。③明日お暇がありますか。／明天您有空儿吗？

表示过去的性质状态要用过去时。

①昨日なにかご用がありましたか。／昨天您有什么事情来着吗？

2. 连体形表示一般状态。与终止形大体相同。

①よく切れるナイフ／很锋利的刀。

3. 只有“いる”有命令形和禁止用法。其余状态动词无此用法。

①もっといろよ。／再呆一会儿。②長くいるな。／可不要呆久了啊。

△某些活用词组有以下性质。

1. 一般不构成使役（～させる）和被动（～られる）形式，以及～たい形式。

2. ～ない和～だろう形式用于现在或将来的性质状态。对于过去用相应的过去式（例③、④）。

①何かあるだろう。／有什么东西吧？②今日は（明日も）出来ない。／今天（明天也）不会。③昨日は出来なかった。／昨天没做上来。

④アメリカに十年以上も居ただろう。／在美国呆了十多年吧？

3. 除いる外～ながら形式只能表示逆态。

①日本人でありながら日本語がよく分らない。／是日本人却不太懂日语。

【参考】以上只是大致用法，就某些用法来说，不一定始终相当于状态动词。如在“そんな事があってみる。／如果发生这种情况你再看。”一句中，“ある”相当于瞬间动词“起る”。

另外，“違う、当たる”等几个词又有～ている形，所以也同时是形状动词。

⇒継続動詞、アスペクト

情態副詞 ジョウタイフクシ 状态副词

【性质】副词的一种，主要用于修饰限定后续的用言，表示属性和状态。主要有：

1. 表示质和量方面的状态的。这类最多。如：すっかり、はっきり、ちょうど、少し

2. 表示时间的，川端善明称之为“時の副詞”的。例：かつて、あらかじめ、しばらく、しばしば、すでに、すぐ、当面、まもなく。

3. 有关意志行为的。例：わざと、あえて、ことさらに、再三、じっと、堂堂と。

4. 表示方式方法的，拟声拟态词均属此类。例：直接、ともに、互いに、ころころと、ぱたんと。

5. 指示副词。时枝诚记称“副詞的代名詞”。例：こう。

状态副词具有用言连用形性质，主要修饰动词。这是基本用法。

①こっそり（比较：静かに）逃げる。／悄悄逃走。②はっきり（比较：詳しく）言う。／清楚地说。

有些副词只修饰用言的概念本身，而另一些副词修饰包括用言的语法形式在内的整个谓语。如：はっきり言わない。／不明说。わざと知ら

せない。／故意不告诉。

有关时间等的状态副词还可修饰“体言だ”和形容词。

①もう，すっかり夏だ。／已经纯粹是夏天了。②彼はいつもやさし

い。／他总是很和蔼。

状态副词的用言性质还表现在：表示量和质的状态副词能接受程度副词的修饰。

①ずいぶんのんびりと育つ。／很悠闲地长大。

状态副词也有体言性，比如下列用法即是。

①かねてのうらみ。／积怨。②それはもちろんです。／那是当然的。

状态副词中有大量的拟声拟态的。以ニ和ト结尾的也很多，分别表示结果状态和动作状态。

①酒に酔って，ふらふらと歩いている。／喝醉了，走路东倒西歪。

（动作状态）②飲みすぎて，ふらふらに酔っぱらった。／喝多了，醉得东倒西歪。（结果状态）

【诸说】状态副词首先由山田孝雄从其“词的副词”中划分出来，当时



包括“静か、堂々と”之类，吉泽义则和桥本进吉的词类中后来有了形容动词，才把这些从副词中分离出来。有的学者不单独做分类，如松下大三郎与形容动词一起合为“象形動詞”，金田一京助与形容动词合为“準名詞”。

#### 象徴語 ショウチョウゴ 象征词

【解释】用模拟性语音形式表示音响或事物属性的词称为象征词，亦称“音象徴語、オノマトペ”，有的学者用拟声词作象征词的概念来用。象征词有拟声词和拟态词两种，前者模拟声响，如チリンチリン、ガンガン，后者模拟性质状态，如くよくよ、ぴったり。有的象征词兼有拟声拟态两种作用。如：時計がカチカチ音を立てる。／表滴答滴答地响着。パンが古くてかちかちになった。／面包时间长了，硬棒棒的了。还有的象征词介于拟声和拟态之间。如：棒がぽっきり折れた。／棍子一下就断了。

象征词古已有之，是一种较原始的词汇。它不断地转化为一般性的副词，或作其他词的构词成分。如“ちっとも、もっと”是拟态词转化为一般副词的例子，“ウグイス、ホトトギス”是由拟声词转成的名词，“フク、ススル”中的“フ、スス”原为拟声词成分。至于“びっくり”一类词是一般性的副词还是象征词（象征词均属状态副词）的一种，界限不十分清楚。

象征词在日语中很发达，具有强烈的感染力，在口语和口语体的文学作品及一般性文章中都经常使用，只是在排除感情色彩的公文、法令中不能使用。

绝大多数象征词都要译为中文的实义性词语，这是值得注意的现象。如：そんなにがぶがぶ飲んだら今にふらふらするぞ。／你那样大口大口（咕嘟咕嘟）喝，一会儿非东倒西歪地不可。

【结构】象声词具有特殊的语音结构，据佐久间鼎的研究，主要有以下类型

1. 单式。由一个长音或短音组成，其中长音语气更强。原则上后续“と”才能使用。

1) 由促音音节构成。如，パッと／パーッと、ザッと／ザーッと、

ズッと／ズーッと。

2) 由拨音音节构成。如, ピンと／ピーンと、ポンと／ポーンと、ドンと／ドーンと、

2. 复式。由多音节构成。有同音反复和异音连缀两大类。

同音反复的有:

1) 长音节反复。如, ヒューヒュー、ドードー、スースー。

2) 促音节反复, 后续“と”方能使用。如, タッタッと、セッセッと、キャッキャッと。

3) 拨音节反复。如, チンチン、プンプン、ゴンゴン。

4) 不同音节交替反复的。如, ピカピカ、クシャクシャ、ボリボリ。

异音连缀的有:

5) 以促音结尾的。要后续“と”使用。如, ニコッと、キラッと、ピシッと。

6) 以拨音为结尾的。后续“と”使用。如, ガタンと、ピシヤンと、ズシンと。

7) 以“り”结尾的。如, ニッコリ、スッキリ、タツプリ、コトリ、ピシヤリ、ドキリ。

8) ABCB结构的。如, メチャクチャ、テキパキ、アタフタ。

9) 一般连缀。如, ガタピシ、スタコラ。

形容动物叫声和铃声等, 也属于一般连缀, 同时有重叠使用的特点。如: コケッコ、ピーチク、チリリン。

【参考】象征词研究始于江戸时代的音义说(音義説)即一定种类的音表示一定意义的理论。昭和年间, 佐久间鼎深入研究了象征词的结构特点、语义和语音形式的关连。他指出了カ行音表示金属性的音(カンカン、キーキー)、タ行音表示打击音(トントン、タンタン)、ナ行音表示粘利性的状态(ヌルヌル、ネバネバ)。这些可看作长期使用中形成的音义联系。

有关象征词的辞典有: 天沼宁的「擬音語・擬態語辞典」和浅野鶴子的同名辞典。

⇨擬声語、擬態語

**常用漢字表** ショウヨウカンジヒョウ 常用汉字表

【解释】实行现行语文政策的成果之一，于昭和56年（1981）10月1日公布。在原有“当用汉字表”所收的1 850字的基础上，该表又新增加了95字，共1 945字。附有音训共4 087条，其中音2 187条，训1 900条。详见附录《常用汉字表》。

原有的当用汉字表限制了日常使用的汉字的范围，即法令、公文、报刊杂志及其他社会生活方面所使用的汉字的范围。而常用汉字表只作为使用汉字的准绳和要求，而不是限制性规定，不仅字数增多，而且放弃了硬性规定的方针，采取了指出努力目标的方针。

由于常用汉字的公布，原有的“当用汉字表”、“当用汉字别表”、“当用汉字字体表”、“人名用汉字别表”、“当用汉字音训表”、“人名用汉字追加表”予以废除。

【经过】昭和21年11月，内阁告示“当用汉字表”只收字种1 850字。

昭和23年2月，内阁告示“当用汉字别表”即教育汉字表收881字，同告示“当用汉字音训表”（音2 006条，训1 116条，共3 122条）。

昭和24年4月，内阁告示“当用汉字字体表”。

昭和26年5月，内阁告示“人名汉字别表”（92字）。

昭和29年3月发表“当用汉字审议报告”，减28字，加28字。

昭和48年6月，内阁告示“当用汉字音训表”，对原“当用汉字音训表”追加357条音训，并载有106个熟字训。

昭和51年7月，内阁告示“人名用汉字追加表”（28字）。

昭和52年1月发表“新汉字表试案”，共1 900字。从当用汉字1 850字减33字，增83字。

昭和54年3月，向文部省报告“常用汉字表案”（1926字）。

昭和56年3月，向文部省报告“常用汉字表”（1945字）。

昭和56年10月，内阁告示“常用汉字表”（1945字）。

昭和56年10月，法务省令“人名用汉字别表”（166字）。

**省略** ショウリャク 省略

广义地说，将本来可以出现的音、字、词、句子成分等在不影响表

达的条件下省去的现象，都是省略。如：おもし（重石←おもいし）、予←豫、高校←高等学校、おはよう←おはようございます。但一般所说的省略则专指语法中的共时的省略现象，以下限于此意。

【省略的条件】1. 依存于场面而省略。如，面对一个可爱的儿童，可说“かわいらしいね”即可，不仅句义通顺，而且带有自然的感情流露，因为场面中“この子（は）”已经出现，双方都了解。

2. 依存于文脉而省略。主语、宾语、补语、表示时间、地点的成分等等，如果在前面（有时是后面）已经出现过，在不产生误解的情况下均可省去。如：前途は遠い。而して暗い。／前途遥远而渺茫。「お子さんは？」「ない。しかも癌だ。」／“孩子呢？”“死了，还是癌。”

3. 不省略会成为另一个意思时应该省略。如“私は行きます”和“私が行きます”分别表示提示和区别。为了表示纯粹的“我去”的意识，要说“私行きます”。可见，不省略は或が就会和上面的用法混淆。再如，“これはいくらですか”表示只想了解价钱，省略了“は”则含有为了买而问价的含义。当然，上述现象严格地说不能算省略，因为～が、～は、～〇三者是并列的，各有各的使用领域。

4. 谚语、惯用句等的省略是为形式的简练、醒目而用的。如，“鬼は外，福は内”可看作“鬼は外に出ろ，福は内に入れ／鬼出去，福进来！”的省略。

5. 转换生成语法中的省略或勾销（消去，deletion）还包括理论上存在而实际上不可能存在的词语的省略转换（消去变形，deletion transformation）。如，认为“これは本か”是由“これは本だか”转换而成。道理是：尽管后者是错误说法，ですか、だったか、であるか、なのか等形式确实是存在的。

【省略的意义】省略尤其对日语意义重大。

1. 使句子或文章简练。省略使句子之间的依赖性增强，彼此紧密地结合在一篇文章中，把读者或听者吸引到情节中来。

①結婚すれば，子供が生れる。九十九パーセントの若い妻は，子供をほしがらないでしょう。私だって，ほしくなかった。でも，出来てしまった。自然発生的なのね。そういうことに，私はあまりにも無自覚す



ぎたようだね。いまごろになって、その罰があたっているのよ。そのくせ子供は可愛いね。動物的ね。／结婚就会生孩子。百分之九十九的年轻妻子，都不想要孩子吧。我也曾不想要，可是有了。是自然而然的呀。对这事，我好象太不自觉了。到如今，惩罚落到头上来了。但是，孩子，却很喜欢。是动物的本能吧。

2. 省略可作为修辞手段，使句子或段落等有余韵，给人以想象、思考、玩味的余地。书名、广告、新闻标题之类常省略动词、助动词及后续用言等，以使其更醒目，耐人寻味。

3. 履历、记者日记等文体中，省略是必需条件。

①昭和16年（に）、徴用（され）、大阪から輸送船で南方へ（赴く）。香港沖で大平洋戦争（の）開始を知る。／于昭和16年应征，从大阪乘运输船赴南方。在香港深海，得知太平洋战争开始。

【注意】1. 省略是日语会话的必要条件。外国人往往不会使用省略而使说出的话很累赘，但学习省略必须在掌握格助词和完整句子的基础上进行。

2. 要把省略和遗漏区分开。汉语中没有格助词等，所以更应注意。如下例“学校”后应加“に”：私学校行きます。另外成对使用的并列助词的后一个也常见遗漏，如下例“書いて”应为“書いたりして”：私は、音楽を習ったり、絵を書いて一日を過ごした。／我又是学音乐，又是画画儿地渡过了一天。下例的“仕事の”应为“仕事やらの”。去年僕は病気やら仕事の忙しさで、さんざんだった。／去年又是作病、又是工作忙，弄得我焦头烂额。

⇒ “助詞の省略”等各项。

**省略文** ショウリャクブン **省略句**

指在语义的容量不变的情况下省去通常应该有的成分而成的句子，和完整句（完全文）相对。省略句在日语中使用比率较高。省略句与无主句、独词句等有相似之处，不同的是省略句可把省去的部分补充上。

通常省略句指整体的句子成分省略的句子而言（例①），不包括成分中一部分的省略（②）。

①田中首相来週にも中国へ／田中首相将于下周访华。②田中首相来

週にも訪中／田中首相将于下周访华。

句子成分容易被省略的依次为 1. 主语、2. 宾语和补语、3. 其他成分。

【省略的条件】 1. 因场面（例①）或文脉（②）会话双方或读者已经了解的部分可以省去。

①「（あなたは）行きますか」「（私は）行きます」／“你去吗？”“我去。”②日本語の勉強は五年も続けていますが、（日本語は）なかなか上達しません。／学习日语已经坚持五年了，可是进步不大。

2. 敬语动词和授受动词本身即暗示着人事关系，因此主语、补语等均可省去。

①（あなたが）（私に）おっしゃったように私は（彼に）教えてあげました。／照您的吩咐，我告诉了他。

3. 有特定的呼应、转折关系时，后续部分容易省略。

①もうどんな治療も。／什么样的治疗也不行了。②決して負けるなど。／决不会输。

【作用】使句子简练、含蓄。如上例中，如把括号中都补上，反而累赘、不自然。这一特性被广泛活用于新闻报道、谚语等。

⇒省略

書簡文 ショカンブン 书信文

【解释】指专门用于书信中的文体，又称“書簡体”“消息文”等。大体上同书信文，但是多指从奈良、平安时代发展起来的历史上的各种书信文体。用书信文写成的书简，有其特定的对象和目的，因而需要有统一的形式和尺牍用语。

书信文的主要性质是对话性，即要有特定的对象。因而文中要用上下尊卑表达形式。从这一点区别于新闻报道和文艺作品。书信文还兼有文书性质，可作有关事实的证据和纪念，因而需要内容明确、完整、双方姓名、日期等要准确。书信文比起口信、电话等更加郑重（但缺少及时性），能够廉价传递大量信息，因而自古以来与人们的生活有着密切的关系。因而发展为多种书信文。

【现代书信】书信文是在现代生活中极常用的一种文体，在实务和社交

中经常有不同的书信往来。书信不同于面谈,内容要简明扼要,格式、文体、用语等都是一些固定格式、规矩等。

不同类的书信有不同的格式,下面以一般书信为例。

追って書き	(4)あとづけ	(3) 末文	(2) 本文	(1) 前文
11. 添え書き	7. 日付 8. 署名 9. あて名 10. わき付け	5. 末尾(終りのことば) 6. 結び(止め書き)	4. 手紙の用件	1. 起筆(書きだし) 2. 時候のあいさつ 3. 相互の安否のあいさつ

11 追伸 来週日ようから修学旅行に出かけます。すばらしい写真を取ってお送りしますから、ご期待下さい。以上	10 小林敬二様 「侍史」	8 松本正雄	7 五月十五日	6 敬具	5 まずはお知らせまで	4 さて……	3 みなさまお変わりありませんか。当方も、おかげさまでそろって元気です。	2 緑の風かおるきょうのころ	1 拝啓
--	---------------------	-----------	------------	---------	----------------	-----------	---	-------------------	---------

△要注意“末文”及あとづけ各项在信纸中的位置。格式有逐渐简化的趋势。

- 1. 实用书信中有时将前文省去,代之以“前略”、“冠省”等。
- 2. “起筆”用语还有“謹敬”、“拝復”(回信时)、“(森田)くん、(久子)さん、前略”、“お手紙うれしく拝見いたしました”等。
- 3. “時候のあいさつ”还有:春暖のそろろう、日ごとに春めいてきました、朝晩めっきり寒くなりました等。

4. “止め書き”用语还有：敬白、顿首；省去前文时用：草草、匆匆、早早、かしこ（女性用）等；对亲友可用さようなら。

5. “終わりのことば”用语还有：まずおねがいまで等。

6. 收信人名、如亲友可将姓省去。如：幸一様。如长辈可用“父上様、姉上様、おじ上様”等。

7. “追って書き”用语还有：追白、二伸、追って等，主要补充正文里遗漏的内容。信中和信封上的“わき付け”用语还有：机下、侍史、御許、御中等。

8. 收信人的常用敬称有：様、先生、殿（郑重场合）等。

△信封的写法如下。要注意各项内容的位置。

背面		正面
八月一日	林山	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">邮票</div> 大野春雄様 机下
中国吉林省长春市红旗街23号		日本国東京都文京区大塚街二十五番地

職能 ショクノウ 职能、功能

指词在句中的语法作用。相当于“機能”的1。不过“機能”一词意义较广，“職能”专指其中的语法作用。

职能是词类划分的重要根据。如“行く”前接格助词，后续助动词，这种职能，使一类词概括为动词。同时动词中，其职能有若干差异，据此可做下位分类，如自动词、他动词等。

⇒機能



## 助詞 ジョシ 助词

【性质】词类之一。附属词的一种，无活用。主要接于独立词后，表示句中词和词之间的语法关系或增添各种语法意义，使之成为句子成分。如，

“鳥が鳴く。”中“が”接于“鳥”后，构成句节，表示该句节是“鳴く”的主语。又如，在“誰にも言うな。”一句中，“も”规定了“言う”的范围，“な”增添禁止的语法意义。助词和助动词一样，在日语语法中起着极重要的作用，这是粘着语的基本特征之一。

【诸说】助词的名称很多，如“辞、てにをは、助辞、静辞、無活用辞、関係詞、後置詞”等，现统一为助词。当然，以上名称的内容有些不尽相同。松下大三郎在「改撰標準日本文法」中首次明确规定了助词的范围，目前学者对助词性质的理解区别不大。山田孝雄认为助词的作用是接于体言、用言等之后来确定其语法地位或添意。桥本进吉强调其接于其他词后构成句节的造句功能和不活用的形态特征。时枝诚记强调助词和助动词一样直接表现说者的主观态度，是非概念性的，但它无活用和陈述作用，这又不同于助动词。

【助词的来源】助词中由古代其他词类转来的很多。终助词和间投助词形成较早，是由感叹词转来的。古语终助词由于其较强的感叹、强调语气而带有指示性，有些很容易转为格助词、提示助词等。如，格助词を就是由文语终助词を转成的。古语终助词を来自更古的感叹词を（读ウオ）。提示助词は的转成经过同を。古语指示词因其区别、强调意义而有一部分转为助词。其中，如果强调、区别的对象是心理因素时便转为提示助词，是客观因素时转为格助词。一部分格助词和大部分副助词来自体言，如，格助词へ和副助词くらい分别来自古语“辺”和“位”。此外，不少接续助词来自同形的古语格助词，如が即是。即使现在格助词が也有时起接续助词作用，如，三日いるつもりが，長くなった。／原想呆三天，结果却延长了。

【问题】助词是一个词类，这没有异议，问题是其范围的确定。如，1. きり、ところ等与形式名词难以划清界线，2. ずつ、がてら等又很接近接尾辞。1作为助词也好，作为形式名词也好，总之可在语法范围内解决。至于2，如作为接尾辞，则纯属词汇学内容。尽管接尾辞和助词基本

上能够区分开（参照“附属語”项的“附属词与接尾辞”），有些问题仍难免众说纷纭。总的来说，助词被承认的范围在逐渐扩大。如，形式名词こと、もの的一部分用法作终助词处理，くせに、ところが以及における、について、という等从实用角度出发也作为准助词处理。至于准助词的范围就更难确定。参照“助詞相当連語”项。

#### 助詞相当連語 ジョシソウトウレンゴ 助词性词组

指由两个以上词语（其中必有一个助词）结合起来，起一个助词的作用的惯用词组，如における、ものを、かわりに等。因其中的用言或体言部分等还具有原属词类的含义以及其他原因，一时还难作为助词处理。至于にて（文语）、ても之类由于结合紧密、用法固定，早已被作为助词，不再看作词组。

【范围】1. 相当于格助词的：をして、をもって、について、によって、において、における、にして、して、でもって等。

2. 相当于接续助词的：して、といへども、といふとも（以上文语）、としても、にしても、ところが、かわりに、には、わりに、ところで、ところに、ものを、ものなら、ものの、ものだから、もので、や否や、くせに、うえに、ために、という（といえ、といったら等）、いじょうは等。

3. 相当于提示助词的：だと（だったら、なら……）、という（といえ、といったら……）、ときたら、に至っては、となると（となれば……）、とは等。

4. 相当于终助词的：ものを、ことか、ではないか、ものか等。

这些词语都有自己独特的用法，而且是原有助词不能代替的。如“かわりに”具有利益交换的用法，这对原有接续助词是一个重要补充。也是由于这一原因，ところが、ところで已被普遍承认是接续助词，ものの、もので也得到广泛承认。我们也可以认为，ものか、だといって已经有もんか、だっの音便形式，已经获得了作独立的助词的资格。今后如何认定，取决于这些词语本身的发展变化和人们的主观态度。

【诸说】桥本进吉和松下大三郎最先提出这一范畴，后来的学者作了补充。吉田金彦把“助詞相当連語”称为“補助詞”。国内有“慣用型”等说法。

## 助詞の省略 ジョシノシ ヨウリャク 助词的省略

助词的省略主要出现于会话。

①おい、おまえ（は）、学校（が）おもしろいか。つまないだろ。あんな所（を）やめろよ。／我说，你上学有意思吗？无聊吧？那种地方再别去啦！

在特殊的文章语如电报文中，助词的省略是必需条件之一。

六ヒ（日）（ゴ）ゼ（ン）10 ジ（ニ）ウエノ（ニ）ツクムカエ（ヲ）タノム／六日上10时到上野接站。

谚语中助词的省略也很多。

①喉元（を）すぎて熱さ（を）忘る。／好了疮疤忘了疼。

能够省略的助词有が、を、へ、に等格助词以及能够代替这些词的是。が和を的省略与文言中主语和宾语多用裸格形式的传统有关。副助词、接续助词、终助词、は以外的提示助词一般不省略。非选择性并列助词也可省略。

①タンポポ（や）スミレなどが所所にはえている。／到处生长着蒲公英、紫花地丁等。

助词的省略常使某些常用的词组接近于复合词，使句子结构更紧凑。

①実り（が）ゆたかな秋が来た。／硕果累累的秋天来到了。②町（を）行く人々の服装～／街上行人的服装～。

有些复合词是经省略得来的。如，役立つ←役に立つ，気高い←気が高い。

ハ、ガ、ヲ是经常省略的助词，但下列情况不能省去。

1. 在很长的修饰语后不能省。

①規律を従えないやつは出ていけ。／不遵守纪律的出去。②命がけて取り組んできた発明が成功した。／拼命从事的发明成功了。③大事な事に使うためのお金を泥棒に盗まれてしまった。／要用在大事上的钱被小偷偷去了。

2. 对照性句子成分中不能省。

①人は人，自分は自分。／别人是别人，我是我。②兄貴が兄貴ならおやじもおやじだ。／哥哥有哥哥的错儿，父亲有父亲的不对。

## 3. 疑问词后或前不能省略。

①今自分たちのどこに若さがある？ 友情がある？／现在我们哪里年青？ 哪里有友谊？ ②一体君は私に何をしろというんだ。／你到底让我干什么？

## 4. 惯用词组中不省。

には，とは，てからは，だけのことはある，～ようがない，方がいい，ざるをえない，をものとせず，～を～として。

## 5. 在如下句中，有关助词也不能省。

①彼女はもうおかあさんだ。(判断句中的は)／她已经当母亲了。  
②私は兵隊の義務はもうない。(否定句中的は)／我已经没有军人的义务。  
③この私がポックリと言ってもあなたは平気なんでしょう(子句中的が)／我这个人突然说出来，你还不在乎？④俺はお前を俺みたいな目には合わたくねえ。(使役对象的を)／我是不愿意让你有和我一样的遭遇。

## 助詞の分類 ショシノブンルイ 助词的分类

【各种分类】比较科学、合理的分类法始于大槻文彦。他根据助词的接续法将其分为3类，分别称为第1类(接于名词后)、第2类(接于种种词后)、第3类(接动词后)。

山田孝雄对大槻的分类作了补充和发展，共分为格助词、副助词、提示助词、终助词、间投助词、接续助词以上6类。山田的分类奠定了助词分类的基础。

桥本进吉主要根据意念的断续性，把助词分为十种：1. 副助词、2. 准体助词、3. 接续助词、4. 并列助词、5. 准副体助词、6. 格助词、7. 提示助词、8. 终助词、9. 间投助词、10. 准副助词。桥本第1次提出了准体助词、并列助词、准副体助词(亦称连体助词)。

时枝诚记认为助词的本质意义在于表现说者对客观事物的态度，应从分析说者态度着眼进行分类。结果他分为4类：格助词、限定助词、接续助词、感叹助词。

教学语法虽然在其他方面多与桥本相同，但助词以山田的六分法为基准，把提示助词归入副助词、把间投助词归入终助词，成为四类。一般小



型词典、初级语法书等都采用教学语法的这种四分法。

本辞典的分类以山田的六分法为基础，吸收了桥本的并列助词，成为七分法。属于关系助词的有格助词、并列助词、接续助词。属于添意助词的有提示助词、副助词、终助词、间投助词。

【分类的标准】迄今的分类出发点和标准不尽相同，但大致有以下3条基准。

1. 是关系助词还是添意助词。前者只表示词、词组等之间的关系，如桥本的分类中的格助词、并列助词、接续助词。后者重点在于对上接词、词组增添种种语法意义、调整句子语气、规定句子的陈述方式，等等。如副助词、提示助词、终助词、间投助词。

2. 接续法。如，格助词多接体言，接续助词多接用言类，间投助词接于句中句节，终助词接于句末句节，副助词、并列助词、提示助词可接于多种词语后，等等。

3. 断续性。如，终助词有结句功能，而接续助词、并列助词相反有连续功能，副助词和提示助词从语义上连接前后句子成分。

#### 叙述 ショジュツ 叙述

桥本进吉认为，叙述就是用言表示某种事物具有某种属性的语法功能。如“花が咲く”中的“咲く”在表示“开花”这一动作概念的同时，还表示：客观上存在着“开花”这一事实，这就是叙述。后来渡边实等把叙述的概念用于句法，用以说明句子的成立条件。认为句子的成立条件有二。一是句子必须反映一定的现实和思想。现实和思想不仅反映在主语、谓语等句子成分中，而且也反映在成分之间的有机联系上。ボクハウナギダ之所以成为一个句子，是因为每个词都有本身的具体含义，而且相互间有一定的语义联系，只不过这种联系不直接而已。这种词和词及其联系所反映的素材内容叫作叙述或叙述内容。二是叙述内容必须经过说者的判断、推理或情态上的处理。这种表示说者对于叙述内容的判断或情态的语法功能就是陈述（陳述）。

在句子的成立过程中，叙述和陈述的作用各不相同。前者是素材的反映，后者是人们认识态度的反映。二者体现为一体，才能成为句子的谓语。假如只有叙述功能而没有陈述功能，则只能是连体形或连用形等活用形。

如“花が咲く。”中的“咲く”反映现实内容，这是叙述性，同时还有以断定语气结束句子的功能，这是陈述性。所以，它具有作谓语的资格。而“花が咲く季節になりました”中的“咲く”虽然也反映现实内容，有叙述功能，却不具有结束句子的陈述功能，所以不是真正的谓语。当然，在教学语法以及一般场合下同样作谓语看待。

句子各部分的叙述作用也不一样。如在“花が咲く季節になりました”一句中，“花”有朝着“咲く”进行叙述的功能，这叫作“展叙”，而“咲く”则有统括“花が”的语法功能，称作“统叙”。而且，“咲く”并不结句，继续向“季節”进行展叙，这种叙述性叫作“再展叙”。如果该句在“咲く”处结句，“咲く”则只有统叙性，没有展叙性，并带有陈述性使句子得以成立。以上内容也是渡边实等的看法。

⇒文の構造、係り受け、連文節、陳述

助数詞 ショスウシ 量詞

【解釋】接辞（词缀）的一种。表示数量或顺序的单位。如：一つ、二人（ふたり）、三日、四冊、五枚、六箱、七つがい、八千円。另外，“第一、二番”也是一种量词。量词不仅是数词的构成成分，而且使抽象的数字具体化，以实际应用。

有的量词无生产性，和本数词固定成一个词，如：ふたり、みっか。有些专门作量词用：一冊、二枚。有的兼有名词用法：一箱、三ページ。度量衡单位也是量词：一キロ、二尺、三坪。

所有量词可从意义上分为个体量词（つ、り、枚、冊、本、ページ）和集体量词（足、つがい、組、そろい）。

【特征】1. 数量和顺序一律用量词表示单位。这点与汉语相同，而英语只有极少数情况有量词。英语通常基数词直接修饰名词。

2. 几乎所有事物都有自己独特的量词，有时一个事物有一个以上量词。如：

果物（不同）：～山、～皿、～個、～房。試合（相同）：～勝負、～戦、～試合、～回、～節、～本。

3. 有很多表示形状的量词，可供同一形状的事物共用。如，“枚”用于具有薄平面形状的物体：纸、板、衣服、桌子、皮革、铺盖等“本”

用于细长物：棍子、铅笔、树、列车、瓶子等。汉语要分别用：根、枝、树、列、只，可见区别。

4. 汉语量词有名量词和动量词，日语则只有名量词，动量词多用副词等表示。

①整他一下。／ひとつやっつけよう。②连修了三次。／続けて三度も修理した。③看了一眼。／ちらりと見た。④歇一歇。／ちょっと休む。

【诸说】“助数詞”是罗得里格斯(ロドリゲス)和张伯伦(チャンブレン)最早从语法上注意到的，是Auxiliary Numerals的译词，沿用至今。

山田孝雄和金田一京助考虑到量词接尾辞化程度的不同，认为“斤、石、円”等尚未彻底接尾辞化，不属于量词。但考虑到用法上的一致，还是作为量词为妥。

所相 ショソウ 所相

大概语法用语。态的一种，同“受動態”。

助動詞 ショドウシ 助动词

【性质】属附属词，与助词相对，有活用。接于体言或用言后，表示说者的种种判断和意图或增添种种意义。如，“これは本だ”中的だ表示判断，“子供を遊ばせる”中的せる增添使役的含义。だ和せる分别有形容动词活用和下一段动词活用。

助动词有以下特征：

1. 范围很广，性质各异。既有使役、被动等直接接于动词活用形后，活用形完整，表示客观内容的动词接尾词性质的助动词，也有う、よう、まい等一般用于句末，没有其他活用形（偶尔用连体形），只表示主观内容（判断意志等）的终助词性质的助动词。很多助动词的性质则介于两者之间。

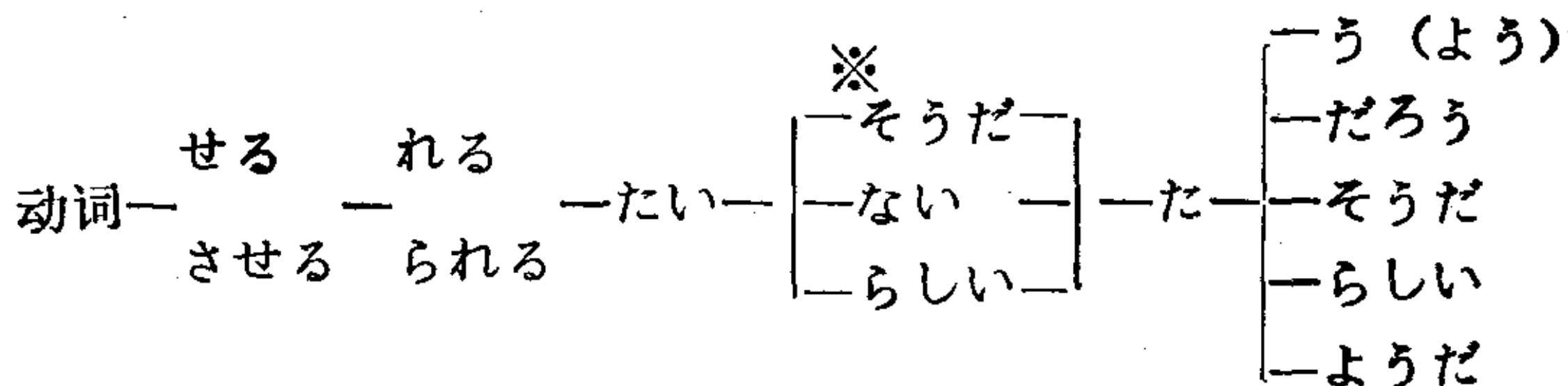
2. 活用型多样。既有动词型、形容词型、形容动词型等用言形，也有活用形不完备的特殊型（如，ます、です）和没有活用形的不变型（如，う、よう、まい）。有的活用形极不完备，有的助动词的活用严重退化或正在退化。如文语助动词たり（た），现存的只有终止形た。连用形たり已转为并列助词或接续助词，未然形（假定形）たら正向接续助词转化，推量形たろう正在退化，被“～ただろう”来代替。助动词だ也是如

此，で接近于接续助词，连体形な构成なので等接续助词性词组、假定形なら也向接续助词转化。推量形だろう已独立为推量助动词。总之助动词的活用体系已经崩溃，所有活用形都向助词、助动词转化。

3. 大部分助动词的意念用法也正在退化，或已经退化，退化的用法被助动词性惯用词组取代。因此，助动词数目大有扩大的倾向。如，助动词う、よう，文语里有推测用法和意志用法，现代日语里推量用法已基本退化，用终止形后续だろう的方式表示推测。如，ないだろう、降るだろう等。推量形后续う的形式，主要用来表示意志，如，行こう、教えよう。一般认为だろう是新产生的助动词。

4. 助动词互相之间往往重叠使用，称“助動詞の相互承接”。重叠顺序有一定的规律。客观性强的れる、せる等在前，う、まい、そうだ等主观性强的在后，其余的位于其中。如，読ませられた、読ませそうでなかった、読みたいそうだが、読ませなかったらしい、読ませたくないかっただろう。

北原保雄的分类接续表如下：



※此三者互相间可交错出现。

【所属词】主要有させる、せる、しめる、そうだ、(样态、传闻)た(だ)だ、たい、たがる、です、ない、ぬ、ふうだ、べし、ます、みたいだ、ようだ、らしい、られる、れる。

诸家看法不尽相同。补助用言与助动词性质相似，佐久间鼎把「ておく、ていく、てくる、てみる、にくい」等称作“準助動詞”。时枝诚记把存在动词ある、否定形容词ない(寒くない)，敬语「でございます、でございます、であります、あります」等也看作助动词。

另外，永野贤把“ませんでした”“かもしれない”“みたいだ”“なければならぬ”等相当于助动词的词组称作“複合助動詞”。



【诸说】助动词一词来自英文auxiliary（实际上相当于日语的补助动词），首先由大槻文彦提出，并作了较详细的科学论述。他把明治年间的动词说加以扩大，确立了现代助动词理论，指出助动词是为了弥补动词的活用不尽其义的不足，接其下增添各种意义的一类词。并举有“所相、勢相（れる、られる）”等12类约30个助动词。为后来的助动词的研究奠定了科学基础。

山田孝雄不承认助动词是一种词类，把通常所说的助动词划归存在词（だ、です）和复词尾。所谓复词尾（複語尾）就是为了使用言表示复杂的意思而添加的特殊词尾。用言和复词尾结合为一词，因此两者之间不能插入其他任何词。他对复词尾作了如下分类。

表示属性的有れる、られる（状態性間接作用）せる、させる（発動性間接作用）。

表示统觉作用的有たい（希望）、ない、まい（否定）、た、う、らしい（肯定）。

时枝诚记把复词尾中的表示属性的和表示希望的，即れる、られる、せる、させる、たい称作是接尾词，把助动词限制在直接表示说者陈述态度的“辞”的范围内。即だ（指定）、ない（包括でない和高くない中的ない否定）、た（过去、完了）、う、よう、だろう、らしい、べし（推量）、ます、です、あります、であります、ございます、でございます（敬让）等。

桥本进吉也曾指出，接于用言后的助动词中，使役、被动、希望助动词与接尾词在构成句节的活用方面难以加以区别。但他仍把这些都看作是助动词，从意义、接续、活用三个方面作了全面详尽的论述。

参见“助動詞の分類”项。

**助動詞相当連語** ジョドウシソウトウレンゴ 助动词性词组

有些词组虽然不是一个单纯的助动词，却起着与助动词相同的语法作用。如，だろう是由判断助动词だ的推量形だろ和推量助动词う结合而成的词组，其语法作用与う相同，现已普遍认为是独立的助动词。又如，かもしれない是由助词（かも）动词（しれ）助动词（ない）等不同词类结合而成的复合词组，其语法作用仍与う、だろう大致相同，只在推测的

可靠性上有所不同(见“推量表现”)。因此,可以认为,这些词组弥补了原有助动词的不足,从数量和质量上更丰富了日语助动词。对于这一点,有些语法学家早已注意到,并做了一些研究,如永野贤称之为“複合助動詞”,看作是“複合助辭”的一种。

不过,助动词性词组和其他词组的界限不十分明确,因而对于其数目和类别也很难加以整理。主要如下。

有关判断的:にちがいない、にほかならない、にすぎない、はずだ、わけだ等。

有关传闻的:ということだ、とのことだ等。

有关禁止和命令的:てはいけない、べきだ等。

有关无奈和必需的:ざるをえない、なければならない等。

有关容许的:ていい、てかまわない等。

有关意志、决心的:つもりだ。

**助動詞の省略** ショドウシノショウリャク 助动词的省略

助动词无论在口语或文章语中都可以省略,尤其在谚语中判断助动词省略现象较多(例⑤、⑥)。

①これは私のもの。／这是我的。②今日は何よう日(ですか)?／今天是星期几?③15年も前のこと。／是15年前的事了。④万作は、かせぐに追いつく貧乏もないが、貧乏はただ子のないのがこれ一つ。／万作由于勤奋而不穷困,但是,要说穷困,就是没有孩子这一条。⑤短気は損気。／性子急吃亏。

补助动词、补助形容词的省略情况同上,不常见。

①極刑判決が出た場合に国民に急激なショックを与えないようにとの配慮があつたのでは(ないだろうか)とも推測される。／也可以推测,这是不是因为出于这种考虑,即在宣判死刑时避免给国民造成强烈的冲击。

**助動詞の分類** ショドウシノブンルイ 助动词的分类

【分类】由于对助动词性质的观察角度不同,有种种分类法。

1. 按有无活用分类。有无活用与助动词的意念用法有密切的联系,有活用的助动词客观性强,而无活用的助动词主观性强。

2. 有活用的助动词还可以按活用型,如动词型、形容词型、形容动词型以及特殊型来划分。此种分类对于掌握助动词的活用有决定性作用。

3. 按助动词的构成,划分为单纯助动词和复合助动词。一般所说的助动词就是指单纯助动词。复合助动词指させられる、ませんでした、られたくないらしい等。

4. 此外,有的划分为陈述性助动词和叙述性助动词。接尾性助动词(使役、被动、愿望)和纯助动词(其他),主观性助动词和客观性助动词。这些划分法从不同角度研究助动词的特性有一定的意义。

但是划分助动词种类时,一般是根据活用、接续、意义三要素来进行的。

1. 根据意义分类。这种分法只是根据每个词的主要用法划分。实际上有的助动词意义多歧。如,よう和う有表示推测和意志的用法,ようだ有举例、比喻、语气婉转的判断、愿望等很多用法。因此有时会产生一词多类现象,如,れる、られる兼有四种意义。普遍的分类法如下。1) 被动: れる、られる, 2) 可能: れる、られる, 3) 自发: れる、られる, 4) 尊敬: れる、られる, 5) 使役: せる、させる, しめる(文语), 6) 谦让、郑重: です、ます, 7) 否定: ない、ぬ、ん、ず(文语), 8) 过去、回想: た, 9) 完了、确认: た, 10) 推量、意志: う、よう、まい、らしい、だろう, 11) 愿望: たい、たがる, 12) 指定: だ、です、のだ、のです, 13) 比况: ようだ、ようです, 14) 样态: そうだ、そうです、ふうだ、ふうです、みたいだ、みたいです, 15) 传闻: そうだ、そうです。

有的学者将谦让、郑重、尊敬合并为敬语助动词,把过去、完了、将来合并为时制助动词(時の助動詞),根据表达特点可归纳为以下三种。

A. 只添加使役、被动、可能、自发等意义。因而近似接尾辞的。

B. 表示断定、否定、确定、完了等与句子的陈述有关的。

C. 表示意志、劝诱、想象等,直接向对方表明说者意图、态度、因而近似终助词的。

以上三种在互相重叠使用时按A B C序加以排列

2. 根据接续法分类。

1) 接于用言及助动词后的, 按上接用言及助动词的不同活用形又可分成: 接于词干后的, 未然形后的, 连用形后的, 终止形后的, 连体形后的。

2) 接于体言及其他词后的。列表如下:

上接词	活用形	所接助动词
用言及助动词	词干后	そうだ (样态, 接形容词、形容动词后) らしい (形容动词后)
	未然形后	せる、させる、れる、られる、ない、ぬ (ん、ず)、まい (五段以外动词后)
	连用形后	ます、た、そうだ (样态, 动词后) たい、たがる
	终止形后	そうだ (传闻)、らしい、まい (五段动词后) です (推量形でしょう)だ (推量形だろう、假定形なら)
	连体形后	ようだ、みたいだ、ふうだ
	推量形后	う、よう
体言及	体言后	らしい、だ、です、ふうだ、みたいだ
其他	助词后	らしい、だ、ようだ、です、
连体词	连体词	ようだ

3. 根据活用分类。

活用形	所属词
动词形活用 (下一段活用)	せる、させる、れる、られる、
形容词型	ない、たい、らしい、
形容动词型	だ、ようだ、そうだ (传闻) そうだ (样态)、ふうだ、みたいだ
特殊型	ます、です、た、ぬ (ん、ず)
不变型	う、よう、まい



有的语法书把不变化助动词归于特殊型中。但它一般只用终止形，并直接表示说者的主观态度，与终助词极相似，因而自成一类。

另外，金田一春彦把「そろそろ帰らない?」「さあ，どいた，どいた。」「さあ，ここでだ，よく考えてみよう。」中的ない、た、だ特称不变化助动词。这些助动词的终止形与其他活用形不同，直接表达说者的主观态度，其用法与不变型助动词极相似。

### 所有格 ショユウカク 所有格

格的一种，亦称“属格”(属格)。指这样的格关系：该名词对其它的名词处于领属的地位。属格表示的是名词和名词之间的关系，属于连体格。其他的格则表示名词和用言之间的关系，属于连用格。这是属格的特殊之处。日语的属格在现代日语中除文言残余的が(我が国)和つ(睫←目つ毛)及な(港←水な戸)外，一律用の表示，称属格助词。实际上“领属”的内涵是复杂的，虽不仅日语如此，但日语尤甚。以“私の絵／我的画”为例，可以有几种逻辑关系：1. の表示动作主(私が描いた絵)。2. の表示所有主(私が持っている絵)。3. の表示动作对象(私を描いた絵)。

其他格助词有可能省略而属格助词不可。汉语“的”有可能省略而“の”不可。例：我们(的)学校(的)老师都出席了。／私たちの学校の先生は全員出席です。

### 自立語 シリツゴ 独立词

词的一种，亦称“詞”。指这种词：能独立运用，而不是必须附属于别的词。反之是附属词。一般地说，除助词、助动词以外的体言、用言、副用语都是独立词。

在桥本语法和教学语法中，能单独作句子成分的就是独立词，如：私，何も知らないよ。／我什么也不知道啊。或者，能作句节的主要部分的就是独立词，如：私は何も知らないよ。／同上。这样，“私、何、知る”都是独立词，而“は、も、ない、よ”是附属词。

山田孝雄和时枝诚记确定独立词的出发点与桥本进吉不同，但结果上区别不大。并且三人一致认为独立词之间的关系要靠附属词表示。在词类划分上，首先把所有单词分为独立词和附属词，这一点三人也是一致的。

山田语法的“觀念語”和“關係語”、时枝语法的“詞”和“辭”都分別相当于独立詞和附屬詞，參照這幾項。

⇒付屬語

進行態 シンコウタイ 進行體

【進行體】靜止性（狀態性）動作體（見“動作態”）的一種。表示動作行為正在進行之中，是對正在進行之中的動作的靜態描寫，與繼續體相對。原則上只有繼續動詞才能有進行態。常用形式：～ている、～つつある、～中だ，等。

①お母さんは本を読んでいる。／母親在讀書。②お母さんは本を読んでいるところだ。／母親正在讀書。③お母さんは本を読んでいる最中だ。／母親正在讀書。

文章語性質的有：

①お母さんは読書中だ。／母親正在讀書。②発展しつつある。／正在不斷發展。

比較起來，上例②、③的形式強調時間性，文章語性質中的例②的形式強調變化。標準的進行體只有～ている形式，可以通過後續附加成分（前例②、③）添加“處於某一點”的色彩；也可以通過和副詞、時間詞呼應等方式添加已經或仍然持續的色彩。

①もう（7時から）一時間も本を読んでいる。／從7點起已經讀了一個小時書了。②まだ火が燃えている。／火還在燃燒着。

【反復進行體】即對於復數主體的連續動作或同一主體的反復動作的靜態描寫，與反復繼續體相對。用～ている表示，句中常出現表示連續或反復的副詞。

①お母さんは毎日本を読んでいる。／母親每天都在讀書。②海外から移住者がどんどん入っている。／不斷有移民從海外涌入。

【參考】1. 進行體和固定體（已然體）形式也相同，有時語法意義也無法辨別。

①雪が積っている。

但下兩例可通過副詞辨認：

①雪がどんどん積っている。（進行體）／雪越積越多。②雪が3センチ

チぐらい積っている。(固定体)／雪积了大约有3厘米。

2. 进行体不受时、语气等的制约。表示可能语气的成分等常接于进行体之后，按态、体、时、语气的顺序排列。

①生活苦から本ばかり読んでいられない。／由于生活艰难，无法光是读书。②雨だから家で本を読んでいなさい。／下雨了，就在家看书吧。③昨日は一日じゅう本ばかり読んでいたらしい。／昨天好象一整天光看书了。

但被动态部分位于体之前。

①この本は広く読まれている。／这本书有广泛的读者。

親属関係の呼び方 シンゾクカンケイノヨビカタ 对亲属的称呼法

場面 称呼对象	称呼本人时	对自家其他 成员说话时	和他家成员 说话时	说他家成员时
夫	名字	名字(さん)	主人、たく(姓)	ご主人、(姓) さん
妻	名字	名字	家内	おくさん
父	おとうさん	同 左	ち ち	○
母	おかあさん	同 左	は は	○
兄	(お)にいさん	同 左	あ に	○
姐	(お)ねえさん	同 左	あ ね	○
弟	名字	名字	おとうと	おとうとさん
妹	名字	名字	いもうと	いもうとさん
子女	名字	名字	(うちの)こども むすこ、むすめ	おこさん ぼっちゃん(昵称) むすこさん おじょうさん むすめさん

场 面 称呼 对象	称呼本人时	对自家其他 成员说话时	和他家成员 说话时	说他家成员时
祖父	おじいさん	同 左	そ ふ	○
祖母	おばあさん	同 左	そ ば	○
孙	名 字	名 字	(うちの) まご	おまごさん
伯父	おじさん	同 左	お じ	○
伯母	おばさん	同 左	お ば	○

【说明】 1. 自家内对夫、妻称呼法只适用于和长辈及平辈说话时,同子女说话时则用“おとうさん”、“おかあさん”,这和中国习惯相同。和亲近的人说话时也可借用子女的称谓,同上。同用人说话时 称夫为“だんなさま”,妻为“おくさん”。

2. 城市儿童互相间常称父母为“パパ”、“ママ”。

3. 说话特别礼貌的家庭把“さん”都说成“さま”。

4. “ちゃん”是昵称词尾,用于对儿童的称呼。如:花子ちゃん、にいちゃん。儿童称呼亲属时也可用“ちゃん”以示亲近。如:おじいちゃん、にいちゃん。

5. 称呼他人亲属时,多数情况是称呼前添加姓。如:高山さんのおくさん、高山さんのむすこ。

6. 以上称呼对父系、母系亲属用法相同。

7. 表中伯父母栏包括除父母亲以外所有比自己年长一辈的亲属。

【用法】 1. 对于长辈,无论直接称呼还是和其他成员提起,均用敬语形式。

2. 和亲属外的人称呼自家亲属时,包括长辈在内,一律用谦语形式;和亲属外的人称呼他们的亲属时,包括晚辈在内,一律用敬语形式。

3. 对他人亲属的敬语形式(上表基本上没包括。如:尊父、令嬢)和家庭内对本人的敬语形式有很大区别,前者不分对象,而后者只适用于



长辈。

人代名詞 ジンダイメイシ 人称代词

大槻文彦、桥本进吉的用语，同“人称代名詞”。有人认为，“人称”一词已用于人称代词的内部（如：第2人称），所以把人称代词改为“人代名詞”为宜，与“事物代名詞”相对。

# す ス

## ず 〈助动词〉

【活用】无变化型活用。有连用、终止、假定三形，均为ず。

### 1. 连用。

#### 1) 用于中顿。

①来る者は拒こばまず，去る者は追へいぜいわず。／来者不拒，去者不追。②言うことは間違まちがっておらず，することも平生へいぜいの通りである。／说的话不错，做的事也正常。

#### 2) 修饰后续用言。有的固定为副词。

①あまりうれしかったので思わず電話におじぎをしてしまいました。／因为太高兴了，不觉向电话鞠了一躬。②これしきで快からず思うには及およばないだろう。／这点小事用不着不高兴吧。

△常后续に、も、して等，成ずに、ずして……

①三根子は電灯を消さずずに，外へ出て来た。／三根子没关灯就出来了。②これは一個人の問題にあらずして，社会全体の問題である。／这并非某个个人的问题，而是整个社会的问题。

#### 3) 构成名词。

①稲子かわずは世間知らずだ。／稻子不懂世故。②猫要らず／耗子药。③不買同盟／不买同盟。

### 2. 终止形。

#### 1) 结句。

①親の心子知らず。／儿女不知父母心。

#### 2) 后续逆接接续助词と、とも。

①みんな言わずと知れた「貧乏たれ」だ。／都是些不言自明的“穷鬼”。②他人の事なんか考えずともよろしい。／用不着考虑旁人的事。

### 3. 假定形。后续（ん）ば。

①鳥も鳴かずば，打たれまい。／鸟不叫也不会挨打。（人怕出名猪

怕壮) ②成功か然らずんば死か。／成功抑或死亡?

△终止形ず可用ぬ代替。假定形可用ぬ或ざる的假定形ね、ざれ代替。未然形无，可用ざる的未然形ざら代替。连体形无，可用ぬ和ざる代替，也可用～ず的形式修饰体言。

【接续】一般接口语动词、助动词未然形后。

①「殺人？」私は思わず聞き返した。／“杀人？”我不由得反问道。②親にも知らせずに結婚してしまった。／连父母也没告诉就结婚了。③どうぞ悪しかりませず。／请您多包涵。

△还能接文言形容词、形容动词、助动词あり、たり、なり、べし等的未然形后。文言调更重。

①少なからず感銘を受けた。／感受很深。②寒くあらず。／不冷。③立ち入るべからず。／不得入内。

△サ变动词要接せ后，非标准用法有接し后的。

①心配せず（しず）にはいられない。／不能不担心。

【意义】表示否定，有文言语气，相当于ない。

①智也は，就職先が決まらず，卒業単位を故意に落として，留年した。／智也就业单位定不下来，（于是）故意少得毕业学分而留级了。②二人は何も言わずに，手を振りながら離れた。／二人无言地挥手告别了。③高からず，低からず，中背の男です。／不高不低，是个中等个头的人。

△构成惯用形式～ずばなるまい，等于なければならぬだろう，表示义务。

△构成惯用形式～ずじまい～，表示“终于没能……”。

①時が時だけに，とうとう会えずじまいに地下にもぐった。／正值危急关头，终于没能见面就潜入地下了。②数人の学生の演説のため，先生は教壇に上れずじまいだった。／由于几名学生的演讲，老师最终未能上讲台。③薬をたくさん持って旅行に出かけたが，一度も病氣せず，薬ものまずじまいで帰ってきた。／带了许多药去旅游，结果一次病也没得，药没吃上就回来了。

△还构成にもかかわらず、のみならず、に劣らず等，见各项。

△还构成许多副词（思わず、少なからず、取りあえず、絶えず、相変わらず／不由地、不少、暂且、不断、依旧）、名词（恥知らず、恩知らず、食わずぎらい／不知耻〔的人〕、忘恩负义〔者〕、有成见）等。

【参考】学校语法把ず作为ぬ的连用形处理。其实二者有各自的活用形。如：ず的连用形为ず，ぬ的连用形为ん（如：言わんでくれ／不要说）。ず原为文言，只有连用形常用于口语，而ぬ文言和口语都常用，但连用形不常用。综上，把二者归而为一也无不可，但ぬ要在两行内活用，不利于学习。

另外，松村明等把ざる和ず合并为一个词，这样口语中假定形有两个，也不方便。

金田一春彦把ず、ぬ、ざる三个合为一词，结果活用表愈加复杂。

本词典考虑到形态特征和学习的方便，作三个独立助词处理。

**推定の助動詞** スイテイノジョドウシ 推断助动词

【性质】助动词的一种。指根据某种理由和事实进行推测性判断的助动词。所属词有ようだ、らしい。属广义的推量助动词。

①部屋の中には誰も居ないようだ。／屋子里好象谁也不在。②この字は彼が書いたらしい。／这字好象是他写的。

推断助动词表示有根据的推测，因而客观性很强，其内容接近事实。因此，常用来表示语气委婉的判断，即形式上是推测，而实际上是判断。推断助动词的性质位于推量助动词和判断助动词之间。

ようだ、らしい所表示的推断内容的客观性还表现在它们的独立用法上。

①「そとは雨らしいね。」「らしいね。」／“外面好象在下雨。”“好象是。”②「どうしてもだめようです。」「はい，そのようですね。」／“好象无计可施了”“是啊，好象是。”

【诸说】大槻文彦、松下大三郎、时枝诚记、桥本进吉等人把らしい看作是推量助动词。但山田孝雄看作是用来表示统觉作用的复词尾（不确定的陈述状态）。时枝诚记则把ようだ看作是形式名词よう和判断助动词だ的结合。

**推量形** スイリョウケイ 推量形



活用形的一种。

【活用词尾】五段动词推量形词尾均在才段上，如：書こ、読も。其他动词的推量形均与未然形相同。

历史上并无推量形，只是由于五段动词的未然形与后续词“う”发生音化，才导致产生了新的词尾。如書かう→書こう、読まう→読もう。所以至今仍有些语法理论（包括学校语法）不设推量形，将该用法包括于未然形中。赞成设立推量形的有吉冈乡甫、三上章、鹤田常吉、汤泽幸吉郎、三尾砂等。

形容词推量形：～かる，如：高かる。形容动词推量形：～だろ，如：静かだろ。这两种词的推量形来历与五段动词相同，即：高かろう←高からう←高くあらう。静かだろう←静かだらう←静かであらう←静にてあらう。

【用法】只能后续助动词“う”（五段、形容词、形容动词）或“よう”（其他动词），表示推量或意志决心。此外参与构成几种惯用型。如，行こうが行くまいが、行こうと行くまいと、行こうとする。

#### 推量の助動詞 スイリョウノジョドウシ 推量助动词

助动词的一种，表示对于不明的事物的推测和对于非现实事物的想象。所属词有う、よう、まい以及だろう。另外，推断助动词らしい、ようだ、样态助动词そうだ都可以用来表示推量。

推量助动词具有陈述作用，以推测的语气，使句子的叙述内容得以表达。推量助动词所表达的叙述内容不限，可以是过去、现在、将来的任何事物，也可以是对客观事物和规律的推理，甚至也可以是假想。

①会議には彼も参加しただろう。（同～したらう，过去）／会议他也参加了吧。②少し飲んでもよっぱらってしまうだろう（将来）／喝一点儿也会酩酊大醉的。③皆見ていたらよかろうに。（假想）／大伙儿来看多好。④彼女は太っただろう。（现实）／她胖了吧。

推量助动词的叙述内容必须是第三人称事物，如果叙述内容是第二人称事物和第一人称事物，就转为劝诱表达和意志表达，推量助动词不再表示推量。

①彼も考えよう。（推量）／他也会想的。②あなたも考えよう。（劝

誘) / 你也想一想吧。③私も考えよう。(意志) / 我也想一想。

由于推量助动词具有不同的语法意义, 现代语里主要用来表示劝诱和意志, 推量用法一般用だろう(←う、よう)和ないだろう(←まい)来代替。

推量助动词う、よう、まい无活用, 在和其他助动词重叠使用时位于末端, 和终助词很相似。另外, 接于推量形后的う、よう推量语气较重, 接于终止形后的まい、らしい、ようだ客观性较强。由于推量助动词所表达的叙述内容极丰富, 上接词没有象其他助动词那样的限制, 可以接于任何词后。

【诸说】大槻文彦把う(む)看作是未来助动词。后来的大部分学者都认为是助动词。反对意见有山田孝雄的复词尾说, 认为う、よう、まい表示陈述状态, 是用言的一部分。时枝诚记虽然提出了动词型助动词的接尾辞说, 但把う、よう、だろう仍看作是助动词。其理由是它们只表示陈述, 而不表示属性概念。用罗马字拼写推量助动词时, 它和上接词合为一体, 很难看作是一个词, 因此, 也许作复词或接尾词更为合适。

#### 推量表現 スイリ ヨウ ヒ ヨウ ゲン 推测表达法

【性质】推测不能断定的不确实的事实或想象中的事实的表达法称为推测表达法。其中根据某种原因、理由、根据或情况、条件来推测其结果和归宿的表达法特称“推断表现”。

推测未来事实时, 与意志表达法相似, 而且用同样的形式: う、よう、まい等。在表示不确实的事实时则与疑问表达法形式相近, 如: あしたは雨かな。另一方面, 推测表达法又常用于口气委婉的判断。所以又与判断表达法有相通之处。可以说, 它是介于疑问和断定两个表达法之间的一种表达法。

推测所反应的事物范围很广。从时间上看, 可以是过去、现在或将来; 从属性上看, 可以是存在、性质、运动、状态、原因、理由等。

【形式】1. 借助主观性较强的推量助动词う、よう、まい、だろう、でしょう等。

①雪が降ろう。/ 可能下雪。②雪が降りましょう。/ 同①。③富士山はもう見えよう。/ 现在能看到富士山了吧? ④あすは雪が降るだろう

(でしょう)。／明天要下雪吧。⑤さぞ寒かろう。／想必很冷吧。⑥あすは、雪が降るまい（降らないだろう）。／明天不会下雪吧。⑦君が来ようとは思わなかった。／没想到你会来。

△だろう、でしょう是新型的推测形式。まい正在被ないだろう或ないでしょう取代。例①、②、③、⑤的形式是旧式说法，目前不如④的形式常见、稳妥，但⑦的形式是常用的。

2. 借助客观性较强的助动词らしい、ようだ、そうだ等。

①雪がやんだようだ。／雪好象停了。②鼠かなにかが動いているらしい。／好象老鼠或者什么在动似的。③雪がやみそうだ。／好象雪要停。

△ようだ和らしい都表示有一定根据的推断，但ようだ有表面观察的含义，らしい有明确说出推断结果的含义。みたいだ和ようだ基本相同，但みたいだ口气较随便。そうだ是对眼前现实进行推论的结果。

3. 形式体言后加助动词だ（です）等。はず以习惯、规律等为依据，わけ对结果进行推测，つもり带有估计的语气。

①苦しいわけです。熱が四十度もあるのですから。／准是很难受。因为发烧到40度。②近道をしたつもりだったが、実は遠回りになってしまったのです。／自己以为抄了近道，其实是绕远儿了。③汽車は十時に出るはずです。／火车应该十点开出。

4. 伴随推量形式的陈述副词。偏重于主观想象。

①おそらくあしたも雨は晴れまい。／恐怕这场雨明天也停不了。②はっきりとは言えないか、おおかただめだろうと思ったよ。／我也说不太清楚，不过以为多半是不会成功的。③その話、まさか嘘ではないでしょうね。／那件事不会是假的吧。④大学に受かってさぞうれしかろう。／考上了大学，想必很高兴吧。

5. 疑问形式：か（副助词、终助词）、かもしれない（分らない）、かしら（ん）、にちがいない、にきまっている。～か形式有慎重的语气，～に～形式是确信。

①自分の書いた本にも、そういうミスがなかったかと、気になって、仕方がない。／十分怀疑自己写的书上是否也有这种错误。②本名は

分らない。宮本秀二だろうか。／真名不清楚。莫非是宮本秀二？③気のせいか、顔色が悪い。／可能是心理作用吧，脸色不好。④あしたは雪（が降る）かもしれません。／明天也许下雪。⑤これ，誰かの忘れ物かしら。／这东西，是谁落在这里啦？⑥ねこが取ってきたにちがいない。／准是猫抓来的。

6. 用可能动词うる、える表示，常用于文章语。

①そのようなことは十分に起りうることだ。／那样的事是很有可能发生的。②この現象が変わらない限り，日本の芸術的創造力は再び活発になりえない。／只要这种现象不改变，日本的艺术创造力就不会重新振兴起来。

7. 用具有想象等意义的词组。多用于文章，以下是几个例子。

①コンピューターは第二回の産業革命をもたらしているのではないかと思われる。／电子计算机仿佛引起了第二次产业革命。②彼のことだから，どんなことも出<sup>で</sup>かしかねない。／他那个人，什么事情都可能干出来。③その苦勞は全く察するにかたくない。／其所受磨难完全是可想而知。④今年のオリンピック大会には中国も参加する見通しである。／今年的奥林匹克大会，估计中国也会参加。⑤この根本原因が規則自体にあるとも言<sup>て</sup>うことができる（とも言える）。／也可以说，这根本原因存在于规则本身。

【参考】几种推测形式的比较。

确实性强	彼も行ったかもしれない。↑	推测性强
	彼も行っただろう。	
	彼も行ったはずだ。	
	彼も行ったらしい。	
	↓彼も行ったにちがいない。	

数 スウ 数

【解释】普通语言学的语法范畴之一。现实事物的数的概念成体系地反映在某种语言的语法形式上就成为数的语法范畴。数包括两个方面，一是实义词的单复数形式，二是语法上的意义，如主谓之间、定语与名词之间的数的一致等。这一语法范畴在印欧语系尤其是斯拉夫语族中是至关重



要的，以上两种情况在语法形式上都很严格。在现代印欧语言里，只有单、复数的区别，双数已淘汰。有的语言的数分得还要细。在日语里，一般说来没有单复数的对立形式，更谈不上句中各成分间数的一致，所以日语中不存在这个语法范畴。

【日语的数】但是，日语中关于数的表达的几个特点，在语法学习和研究中也应忽视。

1. 仅限于人称代词存在单、复数的严格区别。如：わたし（单）／わたしたち（复）、あなた（单）／あなたがた（复）。たち、がた、ら、ども等可看作表示多数的接尾词，たち等还可以接在人名词后，如親たち、田下さんたち。要注意的是：日语中的复数“私たち、田下さんたち”等，不等于英语的复数we和they。后者各成员间是平等的，前者各成员间不是平等的，指以わたし和“田下さん”为中心的一些人，确切说应是多数。就是这些复数也往往没有相对应的单数形式，如与“親たち”相对应的“親”还是复数。另外，たち等不能接在人称名词、人名以外的词后面，不能说诸如“木たち、事件たち”。

2. 常用叠词表示多数。如：人々、家々、国々、日々、山々、時々、所々。这些词表示比两、三个更多的数，甚至是“所有个体”。这些词都是固定的，所以不是真正的复数形式，也不能随意造新词：※犬々、男々、川々。

3. 用おのおの、それぞれ、めいめい等副词表示个体，有代词性质。

①水資源を用途によって分類し、そのおのおのについて説明せよ。／把水利资源根据用途进行分类，然后对每一种进行说明。②それぞれの好みに応じて仕立てる。／按照各自的爱好来制作。③自分の教科書はめいめいで買っておきなさい。／自己的教科书请各自买好。

#### 数詞 スウシ 数词

【性质】体言的一种。表示数量、顺序。前者为基数词（数量数詞），如：ひとつ、みっか、5本。后者为序数词（順序数詞），如：5月、3番目、四つ目、第2学年。

日语数词语法功能上和名词相同，又同时兼有副词性质，所以归属有争议。下例①是副词用法。②是名词用法，

①果物をひとつ食べた。／吃了一只水果。②果物一つを食べた。／同上。

副词用法只限于基数词，并且一般限于和主语、宾语相关连时。试比较：

①一番目の果物を食べた。／吃了第1种水果。②※果物を一番食べた。③子供が3人遊んでいる。／3个孩子在玩儿。④※遊んでいる子供に3人果物をあげた。

可见日语数词的名词性更明显，其副词性可看作另外一些名词（如：昨日）也兼有的特点。英、汉语的数词形容词性较强。

【形态】数字和由数字构成的词组是数词的基本形式。“若干、すべて、すこし、たくさん（以上数量副词）”以及“長男、次女、上級、中等”等虽然也表示数目，通常不看作数词。但“何個、いくら、何番目”之类和答句中的数词对应，可看作疑问数词。

基数词和序数词有严格的一致性，可通过添加词缀构成序数词，如：四→第四，四→四番目。这点与汉语相同。

体系的复杂程度是各语言中少见的。有固有词系列（ひ、ふ、み、よ……）、汉语系列（いち、に、さん……）、混用的系列（ひとり、ふたり、さんにん……）。同时，使用众多的量词（助数词）来表示不同的事物的数量或顺序，这一点与汉语相同。

【诸说】山田孝雄认为数词有计算、查数的思想作用和作副词的语法特征，因此与名词、代词一起作为体言的次类。吉泽义则也作同样处理，只是把名词中表示时间且兼有副词性的词（今年、きのう等）也包括在数词内，称“時数詞”。

桥本进吉、时枝诚记认为副词用法只限于其中的“数量词”（量词），而且名词中的一些词也有这一用法，故不同意上述处理，而把数词归入名词中。这一看法目前较通行，“数词”一词只作为方便的名称。

奥津敬一郎指出，只有基数词而且只在和主语、宾语关连时才有副词用法，他建议把表示不定数量的ミナ、スベテ、タクサン、スコシ也作为数词。

⇒数量数詞、順序数詞、疑問数詞、助数詞

# 数詞の読み方 スウシノヨミカタ 数词的读法

【解释】日语数词原则上把基数词和量数词结合起来使用，而且根据不同事物采用不同的基数词和量数词。基数词有时采用音读数词，有时采用固有数词，有时则采用日汉混合形式。当基数词イチ、ロク、ハチ、ジュウ后续以カ行、タ行、ハ行假名为头音的量数词时，又常常发生促音便。如，六階（ロッカイ←ロクカイ）、一冊（イッサツ←イチサツ）、八拍（ハッパク←ハチハク）、十着（ジッチャク←ジュウチャク）。这样仅基数词就形成极其复杂的不同的读音系列，大体上可归纳为20类。详见基数词的读音系列。

另一方面，以カ行、サ行、タ行、ハ行假名为头音的量数词，当接于以促音（原为〜チ、〜ク、ジュウ）和拨音为末音的基数词后时，也常常发生浊音便或半浊音化。如，一杯（イッパイ←イチハイ、）三階（サンガイ←サンカイ）。这样量数词的读音也形成若干个系列，我们把它归纳为以下8类。

每个数词的读音就是基数词的某一读音系列和量数词的某一读音系列合併而成的。为了便于查找，将基数词和量数词的读音系列分别列出如下。最后还列出常用量数词，在每个词后标有两个读音系列的结合形式。读者根据其结合形式分别查找基数词和量数词的读音，然后前后一连便可读出整个数词的读音。例如，数词“〜本”的结合形式是A<sub>12</sub>e，所以要先查A<sub>12</sub>，读音是：イッ、ニ、サン、ヨン、ゴ、ロツ、シチ、ハッ、キュウ、ジッ。再查e，读音是：在1、6、8、10后读半浊音，在3后读浊音。因此，整个数词的读音是：イッポン、ニホン、サンボン、ヨンホン、ゴホン、ロツポン、シチホン、ハッポン、キュウホン、ジッポン。

【基数词的读音系列】A类基本上是音读数词，C类基本上是固有数词，B类是日汉混用形式。

A <sub>1</sub>	イチ	ニ	サン	シ	ゴ	ロク	シチ	ハチ	ク	ジュウ
A <sub>2</sub>	イチ	ニ	サン	ヨ	ゴ	ロク	シチ	ハチ	ク	ジュウ
A <sub>3</sub>	イチ	ニ	サン	ヨン	ゴ	ロク	シチ ナナ	ハチ	キュウ	

ジュウ

A<sub>4</sub> イチ ニ サン ション ゴ ロク シチ ナナ ハチ キュウ

ジュウ

A<sub>5</sub> イチ ニ サン ヨ ゴ ロク シチ ナナ ハチ ク キュウ ジュウ

A<sub>6</sub> イチ ニ サン ヨン ゴ ロク シチ ナナ ハチ ク キュウ

ジュウ

A<sub>7</sub> イチ ニ サン ヨ ゴ ロク シチ ナナ ハチ キュウ ジュウ

A<sub>8</sub> イチ ニ サン ヨン ゴ ロク シチ ハチ キュウ  
イッ ニ サン ヨン ゴ ロック シチ ナナ ハッ

A<sub>9</sub> イッ ニ サン ヨン ゴ ロク シチ ナナ ハッ キュウ  
シッ

A<sub>10</sub> イッ ニ サン ヨン ゴ ロック シチ ナナ ハッ キュウ  
シッ

A<sub>11</sub> イッ ニ サン ヨン ゴ ロック シチ ナナ ハッ キュウ  
シッ

A<sub>12</sub> イッ ニ サン ション ゴ ロック シチ ナナ ハッ キュウ  
シッ

A<sub>13</sub> イチ ニ サン ヨン ゴ ロク シチ ハチ キュウ  
イッ ニ サン ヨン ゴ ロック シチ ナナ ハッ

B<sub>1</sub> ヒト フタ ミ ヨン イッ ゴ ロク シチ ハチ キュウ  
ヒト フタ ミ ヨン イッ ゴ ロック シチ ナナ ハッ

B<sub>2</sub> ヒト フタ サン ヨン ゴ ロク ナナ ハチ キュウ



## ジュウ

B<sub>3</sub> ヒト フタ ミ ヨン イッ ム ナナ ヤ ココノ  
 ジュウ

B<sub>4</sub> ヒト フタ ミ ヨン ゴ ロッ ナナ ハチ キュウ ジッ  
 シチ

B<sub>6</sub> ヒト フタ ミ ヨン イッ ロク シチ ナナ ハチ キュウ ト  
 ナナ

C<sub>1</sub> ヒト フタ ミ ヨ イッ ム ナナ ヤ ココノ ト

C<sub>2</sub> ヒト フタ ミ ヨ イッ ム ナナ ヤ キュウ ト

## 【量数词的读音系列】

- a. 不发生音便。
- b. 在3后发生浊音便。
- c. 在1、3、6、8、10后发生半浊音便。
- d. 在1、3、4、6、8、10后发生半浊音便。
- e. 在1、6、8、10后发生半浊音便，在3后发生浊音便。
- f. 在1、6、8、10后发生半浊音便，在3后发生浊音便或半浊音便。
- g. 在音读数词6、8、10后发生半浊音便。
- h. 一般读ワ，在3后读バ、在6、8后读パ或ワ，在10后读バ。

## 【量数词及结合形式一览】按五十音序排列。

アール A<sub>3</sub>a 位 A<sub>3</sub>a いろ B<sub>3</sub>a インチ A<sub>3</sub>a 円 A<sub>7</sub>a 億 A<sub>8</sub>a  
 オクターブ A<sub>3</sub>a オンス A<sub>3</sub>a

課 A<sub>10</sub>a 階 A<sub>10</sub>b 回 A<sub>10</sub>a 回忌 A<sub>10</sub>a 角 A<sub>10</sub>a 画 A<sub>10</sub>a  
 個月 A<sub>10</sub>a 個国 A<sub>10</sub>a 個所 A<sub>10</sub>a 個条 A<sub>10</sub>a 月 A<sub>1</sub>a 学期 A<sub>3</sub>a  
 個年 A<sub>10</sub>a 巻 A<sub>10</sub>a 貫 A<sub>10</sub>b 貫目 A<sub>10</sub>b 騎 A<sub>10</sub>a 期 A<sub>10</sub>a 機  
 A<sub>10</sub>a 脚 A<sub>10</sub>a 級 A<sub>11</sub>a 球 A<sub>11</sub>a 球目 A<sub>11</sub>a 行 A<sub>3</sub>a 局 A<sub>10</sub>a  
 曲 A<sub>10</sub>a 切れ B<sub>3</sub>a キロ (メートル・グラム) A<sub>3</sub>a 斤 A<sub>10</sub>b 区  
 A<sub>10</sub>a 句 A<sub>10</sub>a 件 C<sub>2</sub>a 組 B<sub>4</sub>a グラム A<sub>3</sub>a 桁 B<sub>3</sub>a 軒 A<sub>10</sub>a  
 個 A<sub>10</sub>a 語 A<sub>3</sub>a 校 (学校) A<sub>10</sub>a 校 (校正) A<sub>11</sub>a 合 A<sub>3</sub>a 号  
 車 A<sub>3</sub>a 光年 A<sub>3</sub>a 石 A<sub>10</sub>b 言 B<sub>3</sub>a

歳 A<sub>9</sub>a 差し B<sub>3</sub>a 字 A<sub>2</sub>a 時 A<sub>2</sub>a 時間 A<sub>5</sub>a 時限 A<sub>5</sub>a

次元 $A_5a$  室 $A_9a$  社 $A_9a$  尺 $A_9b$  種 $A_9a$  重 $A_4a$  週間 $A_9a$   
 巡 $A_4a$  昇 $A_9b$  勝 $A_9a$  章 $A_9a$  乗 $A_3a$  疊 $A_5a$  色 $A_9a$  食 $A_9a$  審 $A_9a$  筋 $B_3a$  寸 $A_9b$  世紀 $A_9a$  節 $A_9b$  千 $A_9b$   
 戦 $A_9a$  選 $A_9a$  銭 $A_9a$  膳 $A_3a$  センチ $A_9a$  層 $A_9a$  艘 $A_9b$  足 $A_9b$  揃い $C_2a$

ダース $A_3a$  台 $A_9a$  代 $A_9a$  代目 $A_2a$  段 $A^63$  着 $A_9a$  着(衣) $A_9b$  兆 $A_9a$  丁 $A_9a$  丁目 $A_9a$  町 $A_9a$  通 $A_9a$  つかみ $C_2a$  月 $C_1a$  続き $C_2a$  坪 $B_3a$  つまみ $C_2a$  点 $A_9a$  度( $^{\circ}$ ) $A_3a$  度(たび) $A_9a$  度目 $A_9a$  等 $A_9a$  頭 $A_9a$  通り $B_1a$  所 $C_2a$  年 $B_3a$  ドル $A_3a$  トン $A_9a$

日 $A_1a$  人前 $A_2a$  年 $A_5a$  年忌 $A_5a$  年生 $A_5a$  ノット $A_3a$  パーセント $A_8a$  杯 $A_{12}f$  敗 $A_{10}d$  倍 $A_4a$  拍 $A_{10}c$  泊 $A_{10}d$  箱 $B_3g$  柱 $C_2a$  発 $A_{10}C$  版 $A_{10}d$  番 $A_9a$  番線 $A_3a$  番地 $A_3a$  番手 $A_5a$  番目 $A_9a$  匹 $A_{12}e$  百 $A_{12}e$  票 $A_{12}f$  秒 $A_3a$  部 $A_3a$  ふり $B_5a$  ブロック $A_3a$  分 $A_{10}d$  ページ $A_8a$  遍 $A_{12}e$  歩 $A_{10}d$  ボルト $A_3a$  本 $A_{12}e$  ポント $A_8a$

間 $C_1a$  枚 $A_9a$  マイル $A_3a$  幕 $B_2a$  幕目 $B_2a$  万 $A_3a$  ミリ $A_3a$  昔 $C_2a$  棟 $B_3a$  名 $A_1a$  メートル $A_3a$  面 $A_3a$  問 $A_9a$  刃 $A_9a$

山 $B_3a$

里 $A_2a$  リットル $A_3a$  両 $A_3a$  列 $A_3a$

羽 $A_{13}h$  把 $A_{13}h$

#### 【特殊读音数词】

人数: 一人(ひとり)、二人(ふたり)、三人(さんにん)、四人(よにん)、五人(ごにん)、六人(ろくにん)、七人(しちにん)、八人(はちにん)、九人(きゅうにん)、十人(じゅうにん)、百人(ひゃくにん)、千人(せんにん)。

日期和天数: 一日(いちにち、日期常说ついたち)、二日(ふつか)、三日(みっか)、四日(よっか)、五日(いつか)、六日(むいか)、七日(なのか)、八日(ようか)、九日(ここのか)、十日(とおか)、十一日(じゅう)

いちにち)、十四日(じゅうよっか)、十九日(じゅうくにち)、二十日(はつか)、二十一日(にじゅういちにち)、何日(なんにち)

△天数后可加“間(かん)”。

个数: 一つ(ひとつ) 二つ(ふたつ) 三つ(みっつ) 四つ(よっつ) 五つ(いつつ) 六つ(むっつ) 七日(ななつ) 八つ(やっつ) 九日(ここのつ) 十(とお) 十一(じゅういち) 幾つ(いくつ)。

△个数均用音读数词也可, 如いち、に、さん、し等。

数量数詞 スウリョウスウシ 基数词

数词的一种, 表示事物的数量概念。又称“基数词、量数词”。

【用法】川端善明把基数词分为3种: 次数数词(度数数詞)、个数数词(個数〜)和量数词。分述如下。

1. 次数数词。表示运动次数, 如: 一度、二回、三遍、四たび等。主要有副词用法, 修饰后续用言。

①私はこの本を二三回読んだ。／我把这本书读了两、三遍。

这类词还可以作名词。如: 三度におよぶ訪問／达三次之多的访问。四たびの当選／四次当选。但不能修饰无动作性的名词, 如上例1不能说成※二三回の本を読んだ”。副词“しばしば、ときどき”也和这类词用法相同。

2. 个数数词。表示个体的数目, 如: ひとつ、ふたり、四匹、三組、四箱。既有名词用法, 又有副词用法(下例③)。

①三冊の本が並んでいる。／摆放着三本书。②本三冊が並んでいる。／同上。③本が三冊並んでいる。／同上。

名词性和副词性用法有细微的语义上的区别, 后者强调具体数量, 前者表示整体。另外, 只有与主、宾语相关时才可能有副词性用法。参照“数詞”项的说明及例句。

副词用法经常受动词的制约, 此时只有名词用法。试比较:

①あの人は三人の息子を自慢している。／他总是夸耀他的三个儿子。②※あの人は息子を三人自慢している。③百人の委員会が成立した。／成立了一百人的委员会。④※委員会が百人成立した。⑤百ページ

の本を買った。／买了本一百页的书。⑥※本を百ページ買った。

这种制约是语义上的问题，如在上例②中，“夸耀儿子”这件事不能用人数来限定，所以是错的。

以下两句都成立，但意义不同。

①百ページの本を読んだ。／读了本一百页的书。②本を百ページ読んだ。／读了一百页书。

表示部分场所的词只有副词用法。

①手が二カ所切られた。／手被砍了两处。②手を二カ所切った。／把手砍了两处。③手に二カ所薬をつけた。／往手上两处上了药。④手から二カ所血が出た。／手上有两处出血。

例③、④的数词与に、から格名词关连，不多见。

3. 量数词。表示时间、长度、重量、广度、价格等等，如：一日、二時間、三メートル、四グラム、百円。用法和2大体相同，有名词和副词用法，意义相同。

①体重が五キロ増えた。／体重增了五公斤。②五キロの体重が増えた。／增加了五公斤的体重。③肉を百グラム食べた。／吃了一百克肉。④百グラムの肉を食べた。／同上。

与后续动词的制约关系亦同2，试比较：

①百キロの人を見た。／见到了一百公斤重的人。②※人を百キロ見た。

**数量表現** スウリ ヨウヒ ヨウゲン **数量表达法**

数量是自然界和社会生活中最基本的范畴之一。数量表达法就反映这各种各样的数量关系。它和程度、比较、时间表达法等有部分重合，以下只说明不重合的部分。

【用法和形式】1. 总体数量。

1) 用裸格数量词表示。

①記念切手を千円買った。／买了1千日元的纪念邮票。②この研究は費用が千万円かかる。／这项研究需要经费1千万日元。

2) 用格助词を表示。也可用裸格形式表示。

①賠償金10万円を3人で分担した。(=賠償金を三人で10万円分担)



した) / 三个人分担了10万日元赔偿费。

3) 用接头辞のべ。

①参観者は延10万人に及ぶ。 / 参观者达到10万人次。②1時間にのべ20機が飛来した。 / 每小时飞来20架次。

2. 数量范围。

1) 用まで表示连续数量范围的容许限度。

①この講堂には1000人まで入る。 / 这个礼堂可以容纳到1千人。

②入学者は20才まで認める。 / 许可入学的年龄到20岁为止。

2) 用で表示需要量的限度。

①会議はあと30分で終わる。 / 会议还有30分钟结束。②3人分のおかずは肉1キロで足りる。 / 三个人的菜量用1公斤肉就够了。

3) 用で表示共同行为的主体的数量。

①4人でトランプをして遊ぶ。 / 4个人玩儿扑克。②チャンピオンは3人で争うことになった。 / 冠军要由3个人来争夺。③一人で歩けるようになった。 / 可以一个人走路了。

3. 数量变化。用格助词に表示，常后续“及ぶ、なる、達する、増える、減る、満たない、すぎない”等。

①20mにも及ぶ大樹 / 有20米高的大树。②人口は5億にのぼった。 / 人口上升到了5亿。③本月の犯罪率は先月の4分の3になった。 / 本月的犯罪率是上个月的4分之3。④スイカを10個に切って食べた。 / 把西瓜切成10块吃掉了。

△“増える、減る”等如用裸格则表示绝对增减数量。试比较：

①飼育頭数は100頭増えた。 / 饲养头数增加了100头。②～100頭に増えた。 / ～增加到100头。

4. 模糊数量。

1) 用助词ほど、ぐらい、ばかり表示大体数量。ほど语气积极，ぐらい语气消极，ばかり有限定的语义。

①郷里には四、五年に一回ぐらい帰ることがある。 / 老家四、五年回去一次。②出張で三日ほど家をあけた。 / 出差家里空了三天左右。③病氣をして5キロばかりやせてしまった。 / 生病瘦了大约五公斤。④風

邪をひいて10日ほど（ぐらい、ばかり）学校を休んだ。／患感冒，有十来天没上学。

2）由邻近的两个数组成的词组、接头辞、接尾辞、副词等也能表示模糊数量。

①四、五日の休暇／四、五天的休假。②およそ百人が遭難した。／约有一百人遇难。③数十人／数十人。几十人。④百メートル余の長さ／百米余的长度。⑤30余才で死んだ才人／30多岁而死的才子。

5. 数量界限。用接尾词“以上、以下、以外、以内、未滿”等表示。其中“以内、以上、以下”包含所示的该数目，“以外、未滿”不包含该数。

①18才未滿の者／不满18岁者（不包18岁者）。②18才以下の者／18岁以下者（包括18岁者）。

すこしも（少しも） 〈陈述副词〉

由程度副词すこし和助词も结合而成。和否定形式呼应，表示对程度、行为的全面否定。

①少しも分らない。／一点儿也不懂。②少しも晴れそうな様子もない。／毫无转晴的兆头。③その本はまだ少しも読みません。／那部书还一点儿都没读。

ずつ 〈副助词〉

【接续】1. 接数词后。

①一人ずつ教室に入る。／一个一个地进教室。②毎年5%ずつ伸びる。／每年递增百分之五。③一度に10人ずつの飯をたく。／每次做10个人的饭。

2. 接某些表示较少数量、程度的副词后。

①字の書き方は少しずつよくなってきた。／字写得一点一点好起来了。②土産はわずかずつでも皆に分けてあげたい。／尽管是一点点，这些特产想分给每一个人。

△※たくさんずつ。

3. 接由副助词构成的数词性词组后。

①これっただけずつしか飲めなくなった。／我现在每次只能喝这么一点儿。②生徒数は毎年10人ぐらいつつ減っている。／学生数每年减少

10人左右。

【意义】1. 表示以某个总体为对象的等量分割、分担。其单位常以に、ごとに、から、あたり等表示。

①みんなで少しずつ金を出しあって小さなライブラリーを作った。／大家凑钱办了个书库。②ちょうど3千円もっていたので、本とノートとを8冊ずつ買いました。／因为正好带了3千元，书和笔记本各买了8册。③10人に10個のミカンだから、一人（ごと）に一つずつ分けられる。／10个人10个桔子，每人能分1个。④各国から3人ずつの代表を派遣する。／各国分别派出3名代表。⑤一戸当たり百円ずつ国債を買わせる。／要求每户购买一百元国债。

2. 表示等量的（或近似量的）重现，反复或连续变化。

①文法というものはいつも若干ずつの例外がある。／语法这东西，总是有一些例外。②世界人口は一年間に9千万ほどずつ増えているという。／据说世界人口每年增加大约九千万。③十分ぐらいずつでもいいから毎晩散歩でもやりなさい。／每次十分钟也可以，你每晚散散步。

【参考】有少数人认为ずつ是接尾辞，但ずつ可以接だけ、ばかり等助词后，并能构成句节，直接参与造句，所以应作一副助词。

ずと 〈接续助词性词组〉

由ず的终止形ず、接续助词と构成。接续同ず。

1. 表示否定条件的逆态接续，也说ずとも以加强语气，相当于～なくとも。

①目が見えずとも，人の気配は分るものだ。／虽然看不见，却知道来人去客的动静。②みんながやるから君は心配せずとよろしい。／因为是大家搞，你不必担心。

2. 表示不作某动作行为而作别的动作行为。同ずに的相同用法。

①おい，甲野さん，理屈ばかり言わずと，ちとあの琴でも聞くがいい。／喂，甲野，别光摆大道理，还是听听那琴声吧。②そう素気なく言わずと，何か考えがあるなら聞かして御呉れな。／别说得那么冷淡，有什么想法就让我听听。

⇒ず

## すなわち

〈接续词〉表示后项是前项的更明确的说法、具体说明、简略说法、别称等等。

## 1. 用于词（组）之间。

①大統領の選挙，すなわち総選挙が迫っている。／总统选举亦即大选已迫近。②これは沙翁<sup>しやおう</sup>すなわちシェークスピアの代表作の一つである。／这是莎翁即莎士比亚的代表作之一。③三韓すなわち新羅<sup>しらぎ</sup>・百濟<sup>くだら</sup>・高句麗<sup>こうくわ</sup>は上代朝鮮半島にあった三つの国である。／三韩，即新罗、百济、高句丽是上古存在于朝鲜半岛的三个国家。

## 2. 用于（分）句之间。后句是前项的具体解释、说明。

①これですべてのことが分った。すなわち，葉子は次郎の生みの親ではない。／这样，一切都明白了。就是说，叶子不是次郎的生母。②私たちは，ここで呼吸の意義を学んだ。すなわち，呼吸とは，生活活動を行うために，ブドウ糖などの栄養分を分解することである。／我们在此学习了呼吸的意义。——呼吸就是为了进行生命活动而分解葡萄糖等营养成分（的过程）。

## 〈陈述副词〉 1. 加强肯定的陈述语气。

①このような単語はすなわち名詞である。／这样的单词就是名词。②この習はすなわち練習の習である。／这个“习”是指“练习”的“习”。

## 2. 表示在前项假定条件下必然出现后项内容。用于文言体。来自古汉语“则”的译词。

①戦えばすなわち勝つ。／战则（能）胜。

## ずに 〈接续助词性词组〉

由否定助动词ず的连用形ず和接续助词に构成。文言残余，口语仍常用。岩井良雄作ず的连用形之一。

【接续】同ず。但多接动词，特别是动作动词后。

【意义】1. 表示没进行前项动作的情况下进行有关动作。常有应做而未做或不该做而做的语气。相当于ないで。

①朝ご飯も食べずに学校に行った。／没吃早饭就上学了。②振り向



きもせずさっさと離れてしまった。／头也不回地大步走开了。③椎名を早く来させてくれよ。週末なんて言わずにさ。／快让椎名来呀！别周末周末的。

△～ずに只作连用修饰语，中顿作用很弱。～ず既可作连用修饰语，又可用于中顿。

## 2. 构成各种动词体的否定形式。

### 1) ～ずにいる。同～ないでいる。

①意識不明で何も知らずにいる。／因不省人事，一切全然不知。  
②私は今までまだ「紅樓夢」を読まずにいます。／我至今仍没有读《紅樓夢》。

2) ～ずにいられない。表示由于一定原因自然而然、情不自禁地做某事。

①この漫画は面白くて面白くて笑わずにはいられない。／这幅漫画太有趣儿了，令人忍俊不禁。②「一夜にして海の底に？」こんなことを聞いて、私が目をみはらずにはおられようか。／“一夜之间沉入海底？”听了这话，我怎么能不惊骇呢？

### 3) ～ずにおく。表示把事情搁置起来。

①ああいう連中はひどくこらしてやらずには置けない。／那帮家伙，非严厉教训教训不可！②私は彼女のカンニング事件を誰にも言わずにおいています。／她的考试作弊事件，我一直没对任何人讲。

△以ずに（は）おかない形式表示无法抑制的倾向、强烈的意志。

①科学の進歩は、いつか生命の謎を解かずにはおかないだろう。／科学的进步终将揭开生命之谜。②彼女の髪は人眼を惹かずにはおかない鮮やかな赤毛だ。／她的头发是极其惹人注目的红发。③私は作家として、この歴史をざっと書きつらねずにはおけない。／我作为作家，不能不把这段历史勾勒出来。

4) ～ずにすむ、～ずにすまず、～ずにすまされる。表示把面临的事情绕过去。

①僕は億病者で、言いたいことも言わずにすまず。／我胆小，想说的话也不说就了事。②体の不自由な人は税金を上げずにすみます。／残

疾人可免缴税款。③さんざんな目に会わしたくせに、謝まらずにすまされるものか。／让人家吃了那么大苦头，不道歉怎么能过去？④僕は禿にはならず済んだが、その代りにこの通りその時から近眼になりました。／(那次病后)我总算没成秃头，可是，这不，从那时起我就近视了。

5) ～ずに来る。不常用。近于ないで来る。(也不常用)。

①この事實は私も知っていたのだが、書かずに来た。／这段经过我也是知道的，可是至今一直未动笔(写成书)。

6) ～ずにしまう。表示终未见实现。

①姉はそれについては何もあからさまに打ち明けずにしまった。／姐姐对此最终什么也没照直讲出来。

すら 〈提示助词〉

【接续】1. 接体言后。

①禽獣すら恩を知る。／连禽兽都知恩。②大学卒だというのに手紙すら満足に書けない。／说是大学毕业却连信都写不好。

2. 接除が、を、へ(以上直接用すら取代)以外的格助词和接续助词て后。

①この仕事は親にすら隠している。／这项工作甚至瞒着父母。②彼は夏ですらセーターを着る寒がり屋です。／他是个甚至在夏天也穿毛衣的怕冷的人。③見てすら一体何か分らない。／甚至看了也不知道到底是什么。

3. 接于ダ型活用词等的连用形和补助成分之间。

①教育を受けることは権利というより、むしろ義務ですらある。／受教育与其说是权利，其实甚至是一种义务。②グリーン先生の箸を使う手つきは、ぎこちないようにすら見える。／格林先生使用筷子的动作显得甚至有些笨拙。

△可后续も以加强语气，偶尔后续格助词が。

①ご飯どころか水すらも飲めないのだ。／谈什么饭啊，连水都喝不下。②君すらがそんなことを言うとは思わなかった。／没想到连你也那么说。

【意义】主要用于文章。以下两种用法界限不太明确，在不同文脉中可互

相转换。

1. 提示某种极端情况。无推及其他的含义。

①文字すら書けない。／连字都不会写。②今年はおろか、3年後にすら出来あがる見込みはない。／别说今年，3年后都没有完成的希望。③戦争で一人子まで死なせた彼は、生きていく力すら失ってしまった。／他在战争中失去了独生子，连活下去的勇气都没有了。④あの子は試験の時ですら遅刻する。／那孩子甚至考试时也迟到。⑤走るところか歩くことすらおっくうだ。／跑什么，连走都懒得走。

2. 从一种极端情况推知一般情况。

①ささやかなる滴すら，流れゆけば海となる。／纵然滴水亦能成河。②カナすら書けない。／连假名都不会写。③お医者さんすら匙を投げたのだから，直しようがない。／连大夫都束手无策，看来是没有办法治疗了。④今年は鹿児島ですら雪が降ったほどなんだ。／今年连鹿儿岛都下了雪。

【参考】すら和さえ很相似，但是，除文体不同（すら用于文章）外，すら没有条件用法。※すらあれば→さえあれば。另外，さえ推論性强，すら强调性强。如“十円さえないのです”内含“千円のあろうはずがない”的意思，而“十円すらないのです”内含一点钱也没有的意思。

する（為る）〈动词〉

除“何をしているか／在做什么？”等基本用法外，还有如下用法。  
サ变活用。

1. 他动性代动词用法。

1) 以“名词+を+する”形式表示人体特征和其他事物的外表。

①かわいい顔（澄んだ目、いい体）をしている。／长着可爱的脸（明亮的眼睛、结实的身体）。②いい年をして，みっともない。／好大一把年纪了，真不象样子。③見苦しいなりをしている。／打扮得难看。④金持のふりをしている。／装财主。⑤尖った形（黄色い色、赤い屋根）をした礼拝堂／尖顶的（黄色的、红屋顶的）基督教堂。

2) 以“名词+を+する”表示生理方面的现象。

①あくびをする。／打哈欠。②せきをする／咳嗽。③げっぷをする

る。／打嗝。④まばたきをする。／眨眼睛。

△再如：怪我（火傷、下痢、結核、病氣、妊娠）をする。

△例外：風邪（を引く）、頭痛（がする）。

2）以“～をする”表示有关着装、穿戴的动作行为。

①包帯をする。／打绷带。②晴れ着をする。／着盛装。③今日はどんな服装をすればいいですか。／今天穿什么衣服好？④見苦しいなりをしている。／打扮得不顺眼。⑤栓をした瓶／盖上口的瓶子。

“帽子、ズボン、口紅”等例外。

4）以“～をする”表示职业、职称。

①先生をしている。／作老师。②百姓をする。／当农民。

△再如：委員（主任、世話役、相手、商売、旅館、店屋）をする。例外：教育者（医者、学者、アナウンサー、社長、大学生）になる。

5）以する代替有关动词，或和动作性名词一起以“～をする”形式表示一种动作行为。

①いたずらをする／淘气、恶作剧。②よそ見をする／左顾右盼。③噂（鬼ごっこ、雑談、キス、トランプ、運動、研究、勉強、アルバイト、クラス会、パーティー、会議、展覧会、試合）をする。

6）以“～を～にする”形式表示把前项事物变成（转换成、兑换成、顶替为、培养成、看成……）后项事物。

①長男を学者に、長女を医者にするつもりです。／打算把大儿子培养为学者，把大女儿培养成医生。②あんな意気地なしは相手にしてやらない。／那种没出息货，不理他。③衣服をたたんで枕に（或と）して寝る。／把衣服叠起来当枕头来睡觉。

△ニスル和トスル相似，前者为实际上的改变，后者为用法上的改变。

①講堂を教室にする。／把礼堂改为教室。②講堂を教室とする。（临时）拿礼堂当教室。

7）构成“口にする、耳にする、手にする”等，均相当于他动词。

①言ってはならないことを口にする。／说不应该说的话。②鉄棒を手にした奴が追ってくる。／手拿铁棍的家伙追来了。

## 2. 自动性代动词用法。



1) 接数词类之后表示时间的经过、东西的价值价钱。

①十日ぐらいしないと戻らないらしいわ。／好象没有10天是回不来啦。②一週間もしないうちに仕終った。／没过一周就做完了。③しばらくしてからまた言い続けた。／过了一会儿,又接着说。④これは日本円で20万円はするでしょう。／这个按日元要值20万元吧?

2) 以～がする形式表示感觉。

①寒けがする。／发冷。②めまいがする。／头晕。

△再如: 匂いが(音が、声が、臭気が)する。

3) 表示某些自然现象。

①夕焼(地鳴り、稲妻)がする。／起晚霞(大地震动、打閃)。

4) 以とする、にする形式接各种词语后,表示主观的、意志性的选择、认定、决定。

①食事はパンだけにしよう。／饭就光是面包吧。②もう遅いから早く寝るとしよう。／已经很晚了,我们快睡吧。③ハワイに旅行することに(と)した。／决定去夏威夷旅游。

3. 构词用法。

1) 接形容(动)词连用形后,整体相当于一个他动词。也可接部分副词之后。

①挿絵はこの本を面白くした。／插图使这本书变得有趣儿。②主席の話は会場を静かにした。／主席的话使会场安静下来。③機械をばらばらにした。／把机器拆散。

2) 接续同1)。整体相当于自动词。

①優しくする。／对人和蔼可亲。②人目につかないようにして下さい。／请注意别被人看见。③堂々とした態度。

3) 构成サ变动词。如“汗する、がっかりする、運動する、パスする、先んずる、害する、歴とする”。

4) 构成动词的自兼形式。见“お～する”和“ご～るる”项。

5) 构成若干接续词、接续助词系列。见“とする系、にする系、そうする系”等各项。

4. 形式动词用法。为接续或加强语气功能而用。

1) 以“动词连用形+は(或も、さえ、こそ等)+する”形式加强否定或逆转之类的语气。

①そんなこと、ありはしないよ。／是不会有那种事的。②読みはしたが、よく分らない。／读是读了，可不大懂。③笑いもしない、くもった顔だ。／表情阴沉，没有笑容。

2) 为使表示并列、例示作用的たり、し、か、とか、など等具有有接续功能而用。

①雨が降ったり歇んだりして、年が暮れかかった。／雨时下时停，眼看就到了年关。②今日は日曜日だし、天気もいいしするから、ピクニックに絶好だ。／今天星期天，天气又好，郊游是再好不过了！③「打倒」とか「必勝」とかした文字が，壁に残っている。／墙壁上还残留着什么“打倒”、“必胜”之类的文字。④彼は家を増築するか，別に一軒家を借りるかするよりほかなかった。／他只好把房子扩建或租用独所房子了。

3) 用于动词连用形的重叠形式后。

①仲間は一ふえ，二人ふえした。／伙伴一个、两个地增加。②書いては消し，消しては書きしている。／在写了抹、抹了又写。③心の中には不安と希望が同居していて，互いに押し合い，へし合いしている。／内心里不安与希望搅在一起，难分难解。④お婆さんは不審そうに誠太郎を眺め，孝二をみやりしていた。／婶母不解地瞧瞧诚太郎，望望孝二。⑤白波が女たちの足もとに行っては消え，行っては消えするのが見えわたる。／远远地望见白浪一次次地涌过去，消失在女人们脚下。

4) 接助动词(よ)う后。

①雨が降ろうとしている。／就要下雨了。②太郎は出かけようとしていてところを呼びもどされた。／太郎正要出去的时候被叫了回来。

する系 〈接续词系列〉

【构成】由形式动词する的各活用形和接续助词一起构成一些起接续作用的词组。主要有して、すると、すれば、してみると、してみれば等。其中几乎为所有词典所收录的有常用的すると等。它们的共同特点是：用する(的活用形)来概括(复指)前项的内容或气氛，再通过て、ば、と

等起承上启下作用。すると見另項。

【用法】各自均相当于一个接续词。

1. して，表示前项内容告一段落，后项转入新的话题或内容。

①して，それから？／那么，然后呢？②して又この「ろおれんぞ」は，顔かたちが玉のように清らかであった。（芥川）／且说这个“罗连藏”面如玉石，眉清目秀。③夏目にとって偽る事程大きな罪はないのである。して世の中を見るのに偽りならざるものは殆どないのである。／对夏目来说，再没有比欺骗更大的罪过了。而观察社会，又几乎没有什么东西不是欺骗。

2. すれば。表示后项是以前项作为假定条件而作的判断、疑问。同すると（另項）的2。

①すれば，この頭蓋骨は類人猿のものではないことになる。／这样看来，这个头盖骨就不是类人猿的了。②おまえのその無比な力を光明のために働かせよ。すればおまえは天界と人界の愛児となって，いたるところ，おまえをよろこび迎える。／把你那无比的力量用于光明之目的吧！如此，你将成为天上与人间的宠儿，到处都将热烈欢迎你。

3. したら。同では，用来提出新话题。

①はんちゃんが花模様のワンピースを着て現われ，したら行ってくっ（＝くる）からねえ，と古田商店の奥さんに声をかけて横断歩道を渡ってゆく。／范子穿着一件花连衣裙来了，向古田商店的老板娘喊了声“那我去一下”，便过人行横道。

4. してみれば、してみると。表示前项是某种认识的机缘。

①してみると，私はむしろ賛成することにする。／如果是这样，我宁愿赞成。②してみれば，お耻しい気のするのも無理はございません。／如果是这样，感到害羞也是很自然的吧。③天地万有は神が作ったそうなの，してみれば人間も神の御制作であろう（夏目）。／据说天地万物都是由神创造的，这样一来，人类大概也是神御制的吧。

5. 其他。主要有以上各形式的敬语形式，如，しましたら，してみますと等。意义对等，不常用。

すると 〈接续词〉

1. 表示前项内容无意中导致了后项事实。

①彼は走った。すると、小川にさしかかった。／他跑着，不期然来到一条小河边。②みんな寝てしまった。すると、台所で鼠があばれた。／大家都睡着了，于是厨房里闹起耗子来了。③鉄郎は立ち上がった。すると、それを待っていたかのように、ドアがノックされた。／铁郎站起身来。这时，就象是在等着他似的，门被敲响了。

2. 后项是在作前项动作行为时所发现的事件。

①あかりをつけた。するとそこに弟がご飯を食べずに寝ていた。／点着了灯，于是发现弟弟不吃饭躺在那里。②私は首をうしろにもたげて家屋の上の方を眺めた。すると窓という窓にはいっぱい人の顔が見えた。／我把头向后仰，望房子的上部，看见所有的窗子（里）全是人（脸）。

3. 后项是以前项为假定条件所作的推论、推测。等于だとすると、それだとすれば等。常后续はずだ、わけだ、にちがいない等。

①勿論，UFOの故郷の星も異なるだろう。すると彼らの目的や計画も違うはずである。／不用说，飞碟（所来自的各自的）故乡的星体是不同的。那样的话，他们（指外星人）的目的和计划也应该是不同的。②本当に、窓から落日が望めたのではないだろうか。すると、ここはどこだ。／这不是真的从窗子望见夕阳了吗？那么，这里是什么地方呢？③「事件が起きましたので我々は捜査しております」「事件？すると例の誘拐ですか」／“因为发生了案件，我们正在搜查。”“案件？那么说，还是那桩拐骗案吗？”

△敬语形式为しますと，不常用。

⇒する系



# せ      ぜ

## ぜ 〈终助词〉

【接续】用于句末用言及助动词终止形后。不能用于请求、命令句后。不能后续其他终助词。

【意义】男性用语。

1. 稍许强调自己的发言,以和气的口气引起对方注意,只用于使用粗俗的用语也没关系的朋友等熟人之间。

①向こうからバスが来るぜ。／对面来公共汽车喽。②こう冷えるんじゃない,あすの朝は霜がおりるぜ。／这么冷,明天早晨要下霜的哩。③あごがおちるほどおいしいぜ。／好吃极了。④頭がいいと褒められたぜ。／表扬了脑筋聪明。⑤お正月には皆で大いに飲もうぜ。／过年时一起开怀畅饮吧。⑥そんなことをすると顎が干あがるぜ。／那么做,可要丢饭碗啊。⑦チューリップが咲いたよ。とってもきれいだぜ。／郁金香开了。开得可好那。

2. 通过粗俗的口气表示得意、要挟、轻侮等意思。也可用于です、ます后。

①今さら泣きごとを並べても通用しませんぜ。／事到如今牢骚也没有用喽。②これでもいやなら,俺はもう知らんぜ。／如果这还不中意,我可不管啦。③君は知らないというが僕はちゃんと知っているぜ。／你说不知道,我可知道得很清楚。④彼は日本語しか出来ないが,僕にはロシア語も出来るぜ。／他只会日语,我还会俄语呢。⑤まだ子どもなんだから,こまかいことをぐずぐず言わない方がいいですぜ。／还是孩子嘛,细小的事情上最好不要叨叨起来没完。

【参考】1. 和ぞ比起来,ぜ主张性弱。只能用于会话,不能象ぞ那样用于自言自语。和よ比较,语气较俗,使用要慎。

2. 词源。由终助词ぞ和え结合后,中间经ぜえ,简化为ぜ。

## せい 〈形式名词〉

【接续】1. 接用言连体形后。

①吾一は炉の火をまともに受けているせいか、ほおも、目も、まっ赤に燃えた。<sup>う</sup>／是由于正冲着炉火的原因吧，吾一的脸颊、眼睛都映得通红。②子どものないせいもあるが、吾一のことを，自分の子のようにしてくれるのだ。／恐怕也有无子女的原因，（他）把吾一当作亲生的孩子一样。

2. 接“ない”、“た”等助动词后。

①去年は，雨が多かったせいか，くだものの甘味がたりない。／去年由于雨水多的原因吧，水果不够甜。②長い間会わないせいかこどもが私を見るとただちに泣き出した。／也许是长时间没见面的原因，孩子看到我当即哭了起来。

3. 接体言加“の”之后。

①それは全く気のせいだ。／那纯粹是精神作用。②失敗を不運のせいにすることができるだろうか。／难道能把失败归罪于运气不好吗？

4. 接“～の”形式的连体词后。

①そのせいだろう。／是由于那个原因吧。

【用法】表示造成不利、消极结果的原因，与“おかげ”表示有利结果的用法相对。“せい”还带有归罪于某某的语气，其原因可能不真实。同时，“せい”在句子结构上比“おかげ”灵活。试比较：

①失敗を不運のせいとする。／把失败归罪于不走运。②成功を運のおかげとする。／把成功归功于运气。③気のせいか（※気のおかげか），若く見える。／可能是精神作用吧，他显得年轻。

性 セイ 性

【解释】普通语言学的语法范畴之一。指名词、代词在性别方面表现出来的特点，即由性别决定的词形（如俄语）或冠词（如德语）的不同。名词、代词在词形上的性别特征在造句时对动词和形容词的词形变化产生直接的影响。

印欧语言大都有性的语法范畴。意、法等语言一般分阳性和阴性，俄、德语等还有中性。

语法性与自然性在人和动物名词方面基本一致，如俄语отец（父亲、

阳性)和мать(母亲、阴性)，петух(公鸡、阳性)和курица(母鸡、阴性)。但又不完全一致，如俄语товариш(同志、阳性)也可以指女同志，德语的das mädchen(女孩)是中性。本不存在自然性的物体也有语法性的区别，这方面各语言区别较大。如“太阳”一词在德语中是阴性，在法语中是阳性，在俄语中是中性。

【日语的性】日语没有性这一语法范畴。下面是和性关系较大的两个方面。

1. 语义范畴。用表示性别的类似接头词的词或词素表示。关于人的有：男優／女優、男の子／女の子、男性の～／女性の～、男子学生／女子学生，等。关于生物的有：雄鳥／雌鳥、牡牛／牝牛、雄蕊／雌蕊。

某些词本身包含性别语义：父／母，姫／彦。

2. 语用范畴。男女用词有明显的区别。这在代词、感叹词、终助词、间投词的选择上更为突出，构成日语的一大特征。见下表(不包括男女通用的)。

	代 词	感 叹 词	终 助 词
男	ボク オレ キミ オマエ	おお、ほう、ほら、 うむ、なるほど	ゾ、ゼ、ナ(ヨ)、 (ダ) ヨ
女	アタシ アンタ (アナタ)	あら、まあ	コト、ワ、テヨ(デヨ) ノヨ、ネ

静辞 セイジ 静辞

相当于松下语法的“静助辞”和学校语法的助词。富樫广荫<sup>ことばのた</sup>在「詞玉<sup>まはし</sup>橋」一书中，从划分词类的角度首先把辞从其他的词类中划分出来，有活用的称作“動辞”，没有活用的称作“静辞”。

⇒動辞

正書法 セイシヨハウ 正字法

【解释】日语亦称“正字法”、“オーソグラフィー”(orthography)。指词的正确书写方式及其体系。正字法以社会规范为依据，如“規律”和“紀律”、“そこちから”和“そこじから”都以前者为准，这是有关部

门在语文政策中规定的；“学問”和“学門”以前者为准，这是社会习惯约定俗成的。

正字法的语言学根据是语音，但其最基本的根据是社会规范。这就是为什么英语的正字法和语音存在着严重脱节现象，日语的助词ハ和ヘ不写成ワ和エ的原因。日语中长音的不同表示法（ねえさん、せんせい）、ヂ与ジ和ヅ与ズ的并存等原因也在此。一般说来，文部省规定的文字使用上的原则可看作正字法的依据。

印欧语等的正字法原则上一词只有一种写法，而日语则有三种。如“inu”除常写成“犬”外，还可写成“いぬ”或“イヌ”。因此可以说日语没有严格意义上的正字法。有时情况更复杂，如“たちいふるまい”有“立居振舞、立ち居振舞、立ち居振舞い、立ち居振る舞い”等种种写法。

【有关规定】除“关于正字法”（正書法について）外，有关文字用法的有：常用汉字表、人名用汉字表（包括異体字表），利用同音汉字的改写法（同音の漢字による書き換え）、外来词的表示法（外来語の書き表し方）、现代假名用法（現代仮名づかい）、罗马字拼写法（ローマ字のつづり方）等。有关词的规定有：送假名用法（送り仮名の付け方）、“当用汉字表”所附的“使用上の注意事項”等。

另外，有些部门已制定了本部门的正字法，如内阁法务局的“法令用語改善の実施要領”。

⇒仮名づかい、分ち書き、返り仮名

**勢相** セイソウ

大概语法用语，“相”的一种。

⇒可能態。

**性別語** セイベツゴ 性别语

在口语中，男性用语和女性用语除大量的共同成分外，还有各自的专用词汇，分别称为男性语和女性语，统称性别语。性别语主要表现在词类、文体和敬语方面。

在词类方面，性别语特征表现明显的有1. 人称代词，例：ぼく、おれ、わし（男性语）；あたし、あたくし（女性语）。2. 终助词，例：ぜ、ぞ、な（男性语）；わ、かしら（女性语）。3. 感叹词，例：ほう、お



い、なあ（男性語）；あら、あらまあ、ちょっと（女性語）。

在文体方面，男性更常用生硬的汉文体，而女性更常用柔和的和文体（固有文体）。多用间投助词、婉曲表达、语义较广、较含糊的词语，也是女性语的主要特征。女性语例：

①それでね，あたしはね，そとへ出ましたの。／然后啊，我呀就到外面去了。②もう大丈夫でしょうかしら。／已经没问题了吧。③あなたの気の済むように（试比较：好きなように）しますから。／我要保你满意。

在敬语方面，首先用词上有一定区别。如“ます”的命令式“まし、ませ”是女性语，敬语助动词“（ら）れる”主要是男性使用。其次敬意程度上有区别，女性使用比男性高一级的敬语，因而多用“お～になる”、“いらっしゃる”和敬语接头辞お等形式。

男性语和女性语在句子中的不同表现举例如下。试比较（男／女）：

①おお，大変な人出だぞ／あら，大変な人出なこと。／哎呀，人太多了呀！②あんまり早く起きるなよ。／あんまり早く起きないでよ。／不要起得太早。③一時間もよ，待ったんだよ。／一時間もさ，待ったのよ。／都等了一个小时了。

目前，随着女性地位的提高，两者之间的距离在不断缩小。另外，越是低年龄层，这种区别也越小，以至完全没有。

#### 節 セツ 子句

桥本语法术语。指镶嵌于句中某一部分的主谓结构。相当于英文的 clause。同山田语法中的“述体句”相当。（句另有非主语结构的唤体句）桥本进吉在“新文典別記”中，把“節”分为“従属節”（内含主語節、述語節、連体修飾節、連用修飾節、独立節）和“対立節”。举例如下。

①空がよく曇るのは煤煙のためだ。（主語節）／天空常阴是因为煤烟所造成的。②中国は土地が広い。（述語節）／中国幅员广大。③色の美しい花ですね。（連体修飾節）／颜色多美的花啊。④子供が病気がちなので心配している。（連用修飾節）／因为孩子常闹病，总是担心。⑤そんなことがあるなんて，とうてい信じられない。（独立節）／竟有那

种事，简直不能相信。⑥空は高く（高いし）、海は深い。（対立節）／天高海深。

因日语中主语常省去或根本不需要主语（无主句），所以把主谓结构看作是“節”或句子的必备条件有些不符合日语的实际。

①ねだっても買ってやらない。（“お前”省略）／你闹着要，也不给买。②学校で教えているなら大丈夫だ。（无主语）／如果学校教就问题不大。

后来，森冈健二把连用修饰（包括主谓关系）结构称作“節”。下例是具有两个節的复合句。

①庭に咲く花を觀賞する。

宫地裕的“節”是形态论的概念，指单词具有语法机能的形式，等于桥本语法的句节。如，花が 咲いたら しい。（一为单词，=为助辞）。

接続語 セツゾクゴ 接续语

句子成分之一。位于词与词、分句与分句、句子与句子之间起接续作用。

关于接续语是否应该作为单独的句子成分种类，它包括哪些内容都没有最后结论。如果单独作为句子成分种类，下例①～③的划线部分是其三种代表类型。

①きのう大平君と田中君が来た。／昨天大平和田中来了。②日本にも外国人が沢山住んでいます。しかし，諸外国に比べて，その人数は少ないです。／日本也住着许多外国人。但是，与许多外国相比，其人数很少。③風邪をひいたら，この薬をのんで下さい。／如果得了感冒，就吃这个药。

桥本认为例②之类不和句中其他成分发生直接的语法关系，是独立语，认为例③之类整个作连用修饰语。

通常的作法是：将例①的“大平君と田中君が”整个作为主语，例②、③可按桥本。

接続詞 セツゾクシ 接续词

【性质】词类之一，属副用言。指无活用、无实质性内容，直接连结句与句、词与词、句节与句节、段落与段落的一种词类。在语义上表示前

后两项的各种联系，在语法功能上具有承接前项并展开后项，或构成并列成分和句组的作用。

①移植は春もしくは秋にするのがいい。(词与词) / 移栽要在春天或秋天进行就很好。②風邪でのどをやられ、おまけに頭痛もする。(词组和词组) / 因感冒嗓子疼，又加上头疼。③彼は学級委員です。つまり学級の代表者です。 / 他是年级委员，也就是班级代表。④……以上が主な項目です。(另起行) では、次に項目別に詳述することにしましょう。……。 (段和段) / ……以上为主要项目。下面，让我们按项目详细说明。……。

日语中，起接续作用的另有中顿法、零形式、接续助词等。其中接续助词和接续词尤其相似，有的接续词就是从接续助词转来的。如：が、けれども、と。但二者仍有几点主要区别：接续助词是附属词，接续词是独立词，前者在结构上，后者同时也在意义上连结前后两项，接续助词多用于口语，接续词多用于文章。

另外，副词（とりわけ、特に）和コソアド系列词在执行各自功能的同时，客观上也起着连接前后两项的作用。区别是：接续词或者和句子结构独立（如：しかし），或者位于一个成分之内（如：および）。

【位置】一般位于句首。但由于受英语影响等原因，也有位于句中的。

①日本は、また、地震が多いのでも有名です。 / 日本另外也因地震多而闻名。

还有一类接续词位于前后两个句子的句首，表示并列、对照、顺序等，也可看作副词。如：または～または～、一つには～一つには～、あるいは～あるいは～、一方は～一方は（他方は）～、一面的には～一面的には～、やれ～やれ～、第一に～第二に～、始めに～次に～、始めに～次に～終わりに～、まず～次に～最後に～。

①一方では戦争のにおいが漂い、他方では反戦の声が高まりつつある。 / 一方面散发着战争的火药味儿，另一方面反战的呼声也在高涨。

②始め大久保氏，ついで稲葉氏，そしてふたたび大久保氏が入会し，現在に至っている。 / 开始是大久保先生，接着是稻叶先生入会，然后大久保先生第二次入会，直到现在。

【接续词的重叠】 1. 同种接续词的重叠使用有强意的作用。

①君の言うことはそれでいい。が、しかし、こちらにも言い分がある。／你说的自然对。但是，我也有说的。

2. 不同种的接续词重叠使用，表示双重接续关系。

①首相が賛成した。しかし，だから国民全体が賛成したことにはならない。／首相同意了，但是，并不等于因此全体国民就同意了。②それを見ても「行革」の重みがわかる。が、それなら，他に問題がないか，となれば，疑問も多い。／由此可见行政改革的重要。那么是否再没有其他问题了呢？（回答是）仍有不少疑问。③その提案はなかなか工夫されている。しかし，また不備な所があるのも見逃がしてはならない。／那一提案下了很大功夫。不过，另外也要看到还有不周详之处。

3. 也与接续助词重叠使用。同一种类的表示强意，不同种类的表示双重关系。

①魅力的な外見の青年なのに，それでも私は言われのない深い嫌悪感をおさえることができなかった。／本是外表很吸引人的青年，尽管如此，我还是抑制不住一种无名的、深深的反感。②ここは日当たりもいいし，それに辺りも静かです。／这里日照充足，而且环境幽静。

【诸说】接续词是英文conjunction的译词，最初曾译“接統言”，由大概文彦确立为一种词类。桥本进吉及学校语法均系此说。但还是有许多分歧之点，主要有：

1. 山田孝雄、松下大三郎、渡边实的副词说。山田认为接续助词才相当于欧语的连词，而接续助词相当于conjunction adverb，故称“接統副詞”。

2. 佐久间鼎的“誘導詞”说。认为接续词和感叹词、陈述副词一样，主要是位于句首造成诱导后一句的气氛，构成诱导成分，故把这三种词合称诱导词。

3. 时枝诚记的辞说。认为是附属词，只表示人们对词、句、句节之间关系的认识而无实质的内容。

4. 鹤田常吉除与山田说相仿外，还把“乃至、及び”看作并列助词，后来杉山荣一改称“並立語”。



### 接続詞相当連語 セツゾクシソウトウレンゴ 接续词性词组

【构成】接续词是连接句子、词的最明确、有效、稳定的形式（另有其他形式，如连用形、指示词等），是人们逻辑思维程序和类型在语言形式中的反映。接续助词的出现早于接续词（一般地说），而接续助词这种形式往往因包容量太大而使句子冗长，反而使关系不易理解，因此一部分接续助词从前一个子句中独立出来，成为接续词，如が、けれども、と。而这样形成的接续词毕竟很少，于是人们为表示更多更复杂的接续关系，又通过如下办法造出了大量相当于接续词的词组。了解它们的构成方式，将有助于系统掌握它们。

1. 指示词 + 形式用言的活用形 + 接续助词。如：そうすると、そういえば、そうかとおもったら、それでないと。

2. 格助词と + 形式用言的活用形 + 接续助词等。如：とすると、といえば、とおもったら。

3. 形式用言的活用形 + 接续助词等。如：すると、して、したら、すれば。

4. 助动词的活用形或词组 + 接续助词等。如：だったら、ならば、でないと。

一般地说，第3种形式是第1种省去指示词そう（也有时是それ、こう等）造成的。个别时候形式用言的活用形也可省去，这是一种倾向。一个典型的例子是そうすると→すると→と。应该注意，人们头脑中是以1为背景来理解3的，比如，以そうすると为背景理解すると。

【分类】根据构成形式，可以进行按组归纳，比如さもないと、さもないければ、さもなくば、さもなくとも等均来自さもない，我们归纳为“さもない系”。这样归纳出来的还有：する系、そうする系、しかり系、そうおもう系、それだ系、それでない系、それという系、だ系、という系、とする系、とおもう系，等等。

此外还有一些孤立的词语，如それはさておき、それもそのはず等等。

【特征】1. 系列化。能从一个基本形式（它本身不能起接续作用，相当于用言的基本形）派生出许多个接续性词组，每一个都有独特的作用，如：それだ（基本形）→それで（顺接）、それでも（逆接）。我们把这

样构成的一组词称为一个“系”（系列）。本词典以“～系”为词目。

2. 生产性。一个系列能派生出许多常见的形式，还常能根据实际需要派生出不常见的形式。如：从だ可以派生出でございますのに（だ的连用形で、ござる的连用形ござい、助动词ます、接续助词のに），可以看作なの（であるのに）的郑重语形式。

这种生产性是由于其中包含形式用言的缘故，实际上形式用言的变化和用言的活用形式是相同的。

3. 不稳定性。由于可以按需组装或拆散，具有可分析性，所以一般词典的处理方法是：不收不常用的形式（如：かとおもったら、であるから）、而把常用的形式作为孤立的条目（如それで、だから）。虽然目前还未见先归纳为一个系列，再分析其派生形式（实际上是理解为它的活用）的收词办法，但所收词目有增加的趋势。比如《学研国语大辞典》就收了すると、なのに、それでいて等。

4. 可分解性。即使是第一次见到了形式，人们也能立刻理解，这就是因为它有可分解性。比如：それでいながら，可分解为それ、で、い、ながら。それ复指前项（前句、上文）的内容，で表示对这一内容再次加以认定，いる表示一种持续性、固定性，ながら表示并存性的矛盾状态，所以それでいながら的意思是“承认前项的内容，而在前项内容持续存在的情况下，也存在后项的矛盾的事实”。

典型的情况是：由指示词复指前项内容（如そう）、中间由形式用言表示认识类型（如，だ是单纯的认定、肯定，する表示种种前后、推移关系，おもう是想象等）、接续助词表示接续类型（如：たら表示一旦A则B，ば表示A B两项必然的因果关系），如そうすると。

5. 具有和用言类相同的敬简体，文章与口语的区别。如：だから与でございますから、だから与であるから、とすると与としますと及といたしますと。三尾砂、三上章等人都注意到这一点，三上章还提议将接续词改称“承前詞”。

#### 接続詞の構成 セツゾクシノコウセイ 接续词的构成

接续词全部是由其他词转来或复合而成的，是比较新的词类。

【转成接续词】1. 由副词转成的：また、なお、さらに、むしろ。

2. 由接续助词转成的：が、けれども、と。

3. 由动词连用形转成的：および、つまり、ならび（に）。

【复合接续词】 1. 由ソ系词和助词、形式名词、形式动词等结合成的，我们称ソ系接续词：それから、それでも、それとも、それで、そうして、そうしたら、そうすると、そこで、その上、そのため、そのかわりに。

2. 由助动词“だ”的活用形与各种助词结合成的。我们称ダ系接续词。だが、だから、ですから、なのに、なら、だとすると、でも、であるのに。

3. 由形式名词和助词结合而成的：ときに、ところが、ゆえに。

4. 由助词和动词结合成的：（其中，我们可以分出“と思う系、という系”等等）とおもうと、かとおもうと、かとおもったら；という  
と、といいますと、といえ、とはいふものの；にもかかわらず、と  
すると、としますと。

△一般说来，复合接续词的前一部分担负承接上一句的作用。如：それ—から、だ—が、ゆえ—に、いずれにし—ても、そうする—と。其实前一部分的“だ”、そうです、それ”等是前一句内容的复述，真正起接续作用的是后一部分的助词。

△对某些结构复杂的情况，如：そういうわけですから，看法可能会有所不同，某些人可能会认为是分句、词组等等而不认为是接续词。

△复合接续词有文体上的不同。如：だから、ですから、であるから、でございますから。

#### 接続詞の種類 セツゾクシノシュルイ 接续词的种类

接续词一般按语义联系的特点进行分类，可分三大类（市川孝）十小类（井手至）。

1. 表示前后两项间的逻辑关系。

1) 顺接：だから、したがって、ゆえに、それで、だとすれば。

2) 逆接：が、しかし、だが、けれども、ところが、でも、そのくせ、とはいえ、それでも、それなのに、さりとて、とはいっても。

3) 时间顺序：それから、そして、で、次に。

4) 事件的机缘：すると、そこで、と、で、かくて。

2. 表示分别叙述前后两项。

5) 添加 (累加): それに、そのうえに、また、かつ、なお、そして、しかも、それから。

6) 选择: それとも、ないし、あるいは、もしくは、または、むしろ、それより。

7) 并列、对比: および、ならびに、また、かつ、そして、それから。

8) 转换: では、さて、次に、ところで、ときに、ともあれ、とにかく、いずれにせよ、もっとも。

3. 表示对前项的扩充叙述。

9) 再论: すなわち、つまり、要するに、言いかえれば。

10) 补充: だって、もっとも、けだし、ただし、なぜなら、事実、ちなみに、ついでに、例えば、というのは。

各个学者的划分会有些出入。如，市川孝分七个小类: 顺接、逆接、添加、对比、转换、同列、补充; 森田良行分八小类: 并列、累加、选择、顺接、逆接、说明、补充、转换。

有的词兼属两个以上的类别。以“それから”为例:

- ①パンそれからたまごを食べた。/ 吃了面包，还有鸡蛋。(并列)
- ②買い物に出かけてきた。それから映画を見た。/ 去买了东西。然后看了电影。(时间顺序)
- ③山本さん，それから伊藤さんも助けてくれた。/ 有山本先生，此外伊藤先生也帮了忙。(添加)

接続助詞 セツゾクジョシ 接续助词

【性质】助词的一种。接于用言和助动词后，表示前后句子的接续关系。接续助词的接续方式是多种多样的。可列如下表。

用法 接续方法	条 件		非 条 件	
	假 定	既 定	并 列	引 言
顺 接	ば、なら、たら等(例①)	と、ので、から、からは等(例②)	し、ば、て等(例③)	けれども、
逆 接	ても、とて等(例④)	のに、けれども、が等(例⑤)	けれども、が等(例⑥)	が等(例⑦)



①北京に着いたら、手紙を寄せて下さい。／到了北京，就给我来信。②つゆときだから雨も多くなるさ。／因为是梅雨季节，所以雨也多起来了。③収入も高いし、生活も便利です。／收入也高，生活也方便。④酒をいくら飲んでも顔が紅潮しない。／喝多少酒脸也不红。⑤酒は飲んでも煙草はすわない。／酒虽喝，烟不吸。⑥日が照っているけれども同時に雨も降っている。／太阳照着同时又下着雨。⑦残念ですが、忘れてしまいました。／很遗憾，我忘了。

起接续作用的还有接续词和并列助词等。其中同形的接续词和接续助词一般说来后者是顺接还是逆接不如前者明显，所以，注重逻辑关系的论文中多用前者。试比较：

①行ってみましたが、何もありませんでした。／去看了看，什么也没有。②行ってみた。が、何もありませんでした。／去看了。可是，什么也没有。

【范围】公认的接续助词除上表所列外还有たり（だり）、ながら等。し的部分用法和たり在教学语法中是并列助词。

有许多复合词组能够起接续助词作用。这些词的出现是更精确地表达复杂思想的需要。其中一部分也已作接续助词处理。如：くせに、こととて、たって、ところが、どころか、ものなら、ものの、ものを等。

还有一些尚未作接续助词处理的接续助词性词组。参照“接続助詞相当連語”项。

【分类】主要有以下几种分类方式。

1. 按接续法分类。接连用形的有：て、ても、ながら（接动词后）、たり等。接终止形的有：と、けれども、が、から、ながら（形容词后）。接连体形后的有：のに、ので等。接假定形后的有：ば。现代日语中没有接未然形的。

用言的连用形本身就有接续作用，不需接续助词帮助。有的人把一般所说的假定形加“ば”的形式看作假定形，这样，这个形式本身也有接续作用。

2. 按意义分类。见前面的表。要注意的是：假定和既定是按该词的主要倾向来说的。许多词兼有假定、既定两种用法。如でも在例④、

⑤分别是逆接的假定和既定。

3. 按在句子结构上表现出来的统括能力的强弱、统括范围的大小来分类。这是新出现的分类方式，对认识句子结构等有很大帮助。南不二男、三上章等作过此类研究。参照“複文の構造”项。

【诸说】接续助词得名于山田孝雄。后来的学者虽名称有的不同，都立此一类。山田认为接续助词连接分句和分句。松下大三郎用的名称是“用言の格助辞”，他认为分句之间也有格的关系，用接续助词表示。因此他的格助词包括接续助词和通常的格助词（“体言の格助辞”）。安田喜代门称“法助詞”，认为象格助词说明格关系一样，接续助词说明接续关系。桥本进吉认为接续助词是表示上接用言和后续用言之间的连用接续关系的助词，同时把专门起并列作用的助词独立为并列助词。时枝诚记认为接续助词表示同时存在的动作、行为或时间上相继而起的事项之间的关系，它接于谓语后使其具有后续性。三上章认为只有接于终止形后的才是接续助词，接于连体形后的のに、のでは是のだ的活用形，スレバ、シテ是スルの活用形。

#### 接續副詞 セツゾクフクシ 接续副词

山田孝雄的术语。指接续词。山田认为日语中只有接续助词与欧州语言的conjunction相当，从而把接续词看成副词的一种。山田又把接续副词分成两类，一是连接词与词的，二是位于后句句首连接两个句子的。

#### 接續法 セツゾクハウ 接续法

1. 虚拟语气。见“假定法”项。

2. 连用形的用法之一。指用连用形（五段动词为音便形）后续接续助词“て”（称テ形）表示并列、对比、顺序、伴随动作、原因、手段、逆接、假定关系的用法。

①リンゴがあって、ミカンがあって、ブドウもある。（并列）／有苹果、有桔子、还有葡萄。②日本は南北に長くて、東西に狭い。（对比）／日本南北长，东西窄。③家から出て、車に乗った。（顺序）／从家出来，上了车。④手を振って歩く。（伴随动作、方式）／摇着胳膊走路。⑤腹ただしくてがまんできない。（原因）／气得了不得。⑥電車に乗っ

て行く。(手段)／乗电车去。⑦知っていて猫をかぶる。(逆接)／知道了却装着若无其事。⑧歩いて15分かかる。(假定)／步行需要十五分钟。

接续法和中顿法部分用法相同，但手段、假定等用法不能用中顿法表示。另外，接续法多用于口语，中顿法多用于文章。

### 絶対敬語 ゼットイケイゴ 绝对敬语

1. 金田一京助の术语。金田一把敬语史分为禁忌时代、绝对敬语时代、相对敬语时代。绝对敬语就是对同一现象总是使用一种不变形式的敬语，不受场面、人称的制约。典型例子是天皇的自称“朕”。但现在除“天皇陛下”一人外已经不用了。

目前使用的是相对敬语，这种敬语要因人称、场面、说者和各方的关系等等而发生相对的变化。

2. 玉上琢弥の术语。指平安时代对天皇、皇后、东宫等最高权威使用的“御幸、敝す、奏す”等敬语。

3. 山田孝雄の术语中有“絶対敬称”。按山田的观点，“おっしゃる”之类为绝对敬称，而“下さる”之类为“関係敬称”，因为前者表示的动作与说者并无关联，而后者通常是行为与说者有关连时才用的。

### ぜったいに(絶対に) 〈陈述副词〉

1. 与否定的形式或意义呼应，表示不留余地的彻底否定。

①絶対に可能なことではない。／是绝对不可能的事。②核兵器の使用には絶対に反対する。／坚决反对使用核武器。③絶対にいけないことを知らないでやりとおしている。／不自觉地坚持做着绝对不应该的事。④ぜったいに、うそをつくな。／千万不要说谎。

2. 与肯定形式或内容呼应，表示不留余地的全面肯定。

①海外に出るには、外国語の勉強が絶対に必要だ。／要到海外去，学习外语是绝对必要的。②無意味な衝突は絶対に避けねばならない。／无谓的冲突应绝对避免。③あなたは何をしても絶対に自分の本分を守りなさい。／你无论做什么，要严守自己的本分。

【参考】ぜったい和けっして。

1. 用法1可用けっして代替，但ぜったいに毫無例外地绝对否

定，否定内容是客观事实，而けっして表示对某种想法、看法的否定，事实上可能有例外。

2. ぜったいに可以和否定、肯定形式呼应，けっして只和否定形式呼应。这与二者否定的内容不同有关。

①それは絶対によいことではない（或：～よくないことだ）。／那绝对不是好事。②それは決してよいことではない（※～よくないことだ）。／那决不是什么好事。

### 説明文法 セツメイブンポウ 解释语法

explanatory grammar的译语。以科学研究为目的的语法可以分为描写语法和解释语法两种。解释语法对各种语法现象的发生、变化、消亡的原因和过程进行解释。与此相比，描写语法只限于对表面现象进行描写。但是，实际上，描写语法甚至实用语法等等有时也对某些现象进行解释（指纯学术性的解释），也有解释语法的倾向。

藤冈胜二在「国語研究法」一书中认为解释语法包括“歴史的説明語法”、“比較的説明語法”、“一般的説明語法”三个类型。

### ぜひ（是非） 〈陈述副词〉

相同用法的还有ぜひとも、ぜがひでも，语气依次加强。和愿望、请求、命令等形式呼应，表示这些主观感情的强调。

①ぜひあの大学に入りたい。／一定要考入那所大学。②ぜひ参りたいと思います。／我无论如何也要去（来）。③ぜひほしい。／极想得到。④ぜひそう言おう。／我（们）一定就这样说！⑤ぜひやめたまえ。／一定不要（继续）搞了。⑥ぜひ受け取りなさい。／请一定收下。⑦ぜひとも一度会いたい。／真想见一面。⑧教育改革の方法論，つまりそれを誰がどのように進めてゆくべきか，ぜひとももう一度問い返す必要があります。／教改的方法论、亦即应该由谁搞、应该怎么搞，大有必要重新考虑。⑨匈奴は是が非でも南へ下らなければならない。／匈奴无论如何要南下。

### せられる 〈复合助动词〉

使役助动词せる和被动助动词られる结合而成。接续同せる，与させられる为互补关系，接于五段动词和サ变动词未然形后。活用同られ



る，属下一段活用。因せる和られる都是多义的，所以各种组合产生不同的新义。主要如下。

1. 由せる的使役用法和被动助动词られる结合，构成“被役態”，表示动作主被迫作该动作或行为。

①一月に何回も寄附金を出させられる。／一个月就收去了好几次捐款。  
②昔の女性は見知らぬ人に嫁入りさせられることがよくあった。／旧时代的妇女常有被迫嫁给陌生人的。

△“被役態”常被约音为される。

①何かの薬を飲まされ，私は自動車に乘せられて家に戻った。／我被灌了什么药，塞进车里回到了家。

但サ行五段动词一般不能用约音形式。如前例①一般不能略为される。

2. 由せる的诱发用法和被动助动词られる结合，表示强烈的诱发。

①突然の訪問にびっくりさせられた。／因为突然的来访，我大吃了一惊。

3. 由せる的放任用法和被动助动词结合，表示单纯的“受害”。

①わたしはこの年までこんな目にあわされた事はない。／我活这么大岁数，从未碰到过这样倒霉的事情。

4. 由せる的尊敬用法和敬语助动词られる结合，表示皇室敬语。此用法不能用约音形される。

①殿下が，御臨席あらせられる。／殿下光临。

5. 由せる的使役用法和可能助动词られる结合，表示使役的可能。

①雲のない日に雨を降らせられますか。／没有云的天，也能(人工)降雨吗？

せる　　〈使役助动词〉

【活用】下一段动词型。

基本型	未 然	连 用	终 止	连 体	假 定	命 令	推 量
せ　　る	せ	せ	せる	せる	せれ	せよ せろ	せ

1. 未然形。后续助动词ない、ぬ(ん)、まい、られる等。

①先生は少しも私に読ませない。／老师一个字也不让我读。②まだ子供を学校に行かせずにいる。／还没让孩子上学。③ほんの少しの誤差がもとで失敗させられた。／因一点点误差而遭失败。

2. 连用形。

1) 用于中顿。

①女の子には書かせ、男の子には読ませる。／让女孩儿写, 让男孩儿读。

2) 名词用法。

①人泣かせ／难为人(的行为)。②子供に読ませもしないでほったらかす。／连读也不让孩子读, 任其自流。③突然お伺いして, 本当にお騒がせして申し訳ございません。／突然拜访, 打扰了您, 实在抱歉。

3) 后续助动词た、たい、ます、そうだ(样态)等。

①重い荷物は若者に持たせましょう。／重件儿让年青人拿吧。②子どもを買物に行かせた。／让孩子买东西去了。③みすぼらしい身成りをさせたくない親心。／不愿让孩子穿着褴褛的父母心。④今度は彼を行かせそうに見える。／看来这一次是让他去。

4) 后续接续助词て、ても、ながら等及并例助词たり等。

①親を困らせたり, 心配させたりしてはいけません。／不要让老人为难或操心。②誰にやらせてもうまくやれないだろう。／我想无论让谁做也做不好。③人を働かせながら自分は遊んでばかりいる。／让人家干活儿, 自己却尽是玩儿。

3. 终止形。

1) 单独或后续终助词结句。

①生徒はややもすれば先生を怒らせる。／学生动不动就惹老师生气。②このレストランではおいしいものを食わせるね。／在这家西餐馆, 可以吃到可口的饭菜啊。③坊っちゃんにも行かせるの?／让少爷也去吗?

2) 后续助动词だろう、らしい、そうだ(传闻)等。

①地下鉄工事は日本の高松会社に請<sup>うけお</sup>負わせるそうだ。／据说地铁

工程要承包给日本高松公司。②工学は田中先生に担当させるだろう。／工学可能让田中老师担任吧。③あしたは休ませるらしい。／明天好象让休息。

3) 后续接续助词が、と、から、けれども、并列助词し等。

①水を蒸発させると水蒸気になる。／使水蒸发就变成水蒸气。②先に三木に発表させるが、君はどう思う。／先让三木发表,你是怎么想的? ③うちの者を食わせるし、困っているよその者にも施しをしなければならぬ。／又要养家糊口,又要向生活无着的别人施舍。

4. 连体形。

1) 后续体言类, 构成其连体修饰语。

①もういつも遊ばせるわけには行かない。／不能再让你总玩儿了。②若くても要職に就<sup>つ</sup>かせる時代になりました。／年青也可以担任要职的时代来到了。

2) 后续助动词ようだ、のだ等。

①親を泣かせるような子供も少くない。／也有不少孩子让家长毫无办法。②この方面の研究は女性にもさせるのだ。／这方面的研究也让妇女做。

3) 后续接续助词のに、ので等。

①先生はいつも花子さんにやらせるので、皆は不平に思っている。／因为老师总是让花子做,大家都不满意。②私を行かせるのに、弟がくっついてる。／明明是让我去,弟弟却跟着。

5. 假定形。后续ば。

①彼に書かせれば書けるだろう。／估计如果让他写他会写。

6. 命令形せろ、せよ。以命令形式结句或结束分句。

①子供にはよきを学ばせよ。／要教育孩子学好。②今月中に終らせろという指令が来た。／来了要求本月中做完的指令。

7. 推量形。后续よう、多表示意志。

①ワインは女の方<sup>かた</sup>に飲ませよう。／葡萄酒给女士们喝吧。

【接续】与另一助动词させる在接续上是互补关系。

1. 接五段动词未然形后, 如“読ませる、言わせる、話させる、打

たせる”。

2. 接サ变动词未然形さ后, 如“させる、勉強させる、訳させる”。

△文言中サ变动词未然形只有せ一种, 一律接さす(させる), 如, “訳せさす(訳せさせる)”。但在口语体中, 除ズル型サ变动词仍和文言一样接ぜ(如: 信ぜさせる)外, スル型要发生音便(信用させる←信用せさせる)。这样, 通常为方便起见, 便把さ看作サ变动词未然形词尾, 把せる看作助动词。山田语法仍从历史角度把せ看作未然形, 而吉田金彦主张把させる整体作为“使役动词”。

△通常、状态动词和形状动词不能构成使役态, 如“※あらせる、※そびえさせる”。

△“任せる、馳せる”是以せる为词尾的下一段动词。

“飲ませる、聞かせる、合わせる”等, 已由使役态形式演变为独立的他动词。

【意义】1. 指使别人进行某种动作行为。

①校長は幸田先生に数学を担当させた。／校长让幸田老师担任数学课。②娘にタイプと速記を習わせている。／让女儿学打字和速记。③可愛い子には旅をさせよ。(谚语)／要让心爱的孩子经风雨见世面。

△下例也是此用法的转用。

①外に自動車が待たせてある。／让汽车在外面等着。

2. 表示主观促成动作或状态的实现。通常接自动词后, 并实际上使其起他动词的作用。

①急スピードで車を走らせる。／快速驾驶车辆。②学科を終らせる。／结束课程。③一本の木にあまり多くの実をならせると, 大きい実はありません。／让一棵树结实太多, 果实就长不大。④お世辞を言って彼女を喜ばせた。／说奉承话让她高兴了。⑤人間は人工的に雨を降らせることに成功した。／人类成功地实现了人工降雨。⑥犯人は電車の窓を開き, 身をおどらせた。／罪犯打开电车窗跃身而下。

3. 表示许可、默许、放任自流一类的意思。

①あと30分ほど眠らせておこう。／再让他睡30分钟吧。②お邪魔させていただきます。／打扰您了。③言いたいことは勝手に言わせるがい



い。／想说的话只管让他说。④あまり乳飲児を泣かせるのはいけないことです。／让乳儿哭得太多可要不得。⑤私に言わせれば三文の価値もない。／让我说，一文不值。

4. 表示负有责任的行为动作。常有无奈、为难、内疚等语感。

①金を使わせてすまなかったな。／让你破费，对不住啦。②やあ，どうもお待たせしました。／呀，让您久等了。③戦争で子供を三人も死なせた。／由于战争死了三个孩子。

5. 以非生命体作主语，表示功用、诱发性的关系。产生于西文翻译体文章。

①科学技術が経済を発展させることができる。／科学技术可以使经济得到发展。②泣かせる話／催人泪下的故事。③これにはなるほどとうなづかせるものがある。／其中确有服人之处。④父の死が彼女をがっかりさせた。／父亲的死使他沮丧。⑤早ばつが虫害を大量に発生させた。／干旱促使虫害大量发生。

6. 对不能从主观上控制的身体部位动作、心理状态的形象的描述。文学作品中尤其常用。通常是把主谓结构的词组变为动宾结构。

①染子は，唇のはしをふるわせた。／染子颤抖着嘴角儿。②娘はいい試験成績に顔をほころばせていた。／女儿考试取得了好成绩，脸都笑开了花。③大粒な汗をにじませながら，セッセッと働く。／淌着大颗大颗的汗珠，不停地工作。④足をすべらす。／打滑。⑤のどをつまらせる。／哽咽。⑥気をもませる。／心里着急。

7. 以せられる、せたまう等形式表示高度的敬意。

①殿下はこの春結婚させられる。／殿下今春结婚。②当山開祖に当らせ給うお方です。／这位乃本寺师祖。

【参考】1. 有些他动词来自使役态，如“動かす、燃やす”，还有一些浮动的，如“行かす／行かせる、持たす／持たせる”。但这些词不能再构成使役，如“※動かさせる”。

2. 使役和被动有交接之处，这时二者无实质区别，如“面白い人だと思わせた”和“面白い人だと思われた”，只是角度不同。所以，武士语言里用使役表示被动才成为可能（出于武士不服输的心理），如“敵に打た

せた。(=敵に打たれた)。／让敌人打了(挂了彩,牺牲了)。

⇒させる

ぜん(然) 〈接尾辞〉

1. 接于汉字词后,构成タルト型形容动词词干。表示外观上和某事物非常相似。

①紳士然とした格好をしている。／打扮得俨然是位绅士。②学生然としてふるまう。／举止象是学生的样子。③易者然たる服装。／易者般的装束。

△好好爺然たる／厚道的。有名人然たる／名人派头的。

2. 和单个汉字构成副词或(タルト型)形容动词词干。

啞然、依然、敢然、公然、雜然、さん然(涙が)、さん然(宝石が)、純然、整然、端然、断然、超然、判然、茫然(以上タルト型)、偶然、自然(以上ダ型)、公然、全然、当然、突然(以上副词)。

ぜんぜん(全然) 〈陈述副词〉

和否定的形式或内容呼应,表示对状态的存在、动作行为的发生的彻底否定。

①何度も手紙を出したが、全然返事がない。／发了多次信,可根本没有回信。②試験問題は、全然難しいとは思わなかった。／我丝毫没感觉到试题难。③今のような気温では種蒔きは全然だめだ。／象现在这样的气温,根本不能播种。

△“全然”和なんら。一般可用なんら代替,如例①、②。涉及自然现象等的时候,只能用ぜんぜん。

△青年人的口语中,以“全然比較にならないほど”的意思用于肯定,表示程度极高。如“電卓で計算する方が全然速い／用电算机计算绝对快”。目前不看作标准用法。

選択表現 センタクヒョウゲン 选择表达法

为了供选择而并列的表达法。它往往只反映不定内容或某一个范围。

【形式】1. 用并列助词か、とか、なり。なり有轻视、随意的语气。

①それは一つの形態素であるか、二つの形態素であるかの違いにすぎない。／那只不过是一个词素还是两个词素的區別。②電車なりバスな

りで帰るといいです。／可以随便乘电车或公共汽车回去。

2. 用接续词または、それとも、あるいは、もしくは、むしろ、ないし、それより等表示。

①買ったのですか、それとももらったのですか。／是买的还是别人给的?②家にじっとするよりむしろ気晴しに散歩に出かけた方がいいんじゃないか。／在家干呆着,那还不如出去走一走,散散心。③2000円ないし6000円はかかる。／需要两千到六千日元。

3. 用接续助词が、と表示。接于助动词う、よう、まい后,表示从正反事项中选择一项。

①勉強しようがしまいが,君の勝手だが,よく考えて見ろ。／学习不学习全随你的便,但是你要好好考虑一下。

4. 用言肯定否定的重复形式。有“用言+用言ない、用言+か否か、用言+かどうか等。

①資金のあるない(或:有無)は別に大した問題ではない。／有没有资金倒不是什么大问题。②やさしいかどうかつき合ってみないと分らないのです。／是不是对人和蔼,要实际处一处才能知道。

**前置詞** ゼンチシ 前置词、介词

主要在印欧语中,出现于名词之前,表示该名词和句中其他词之间关系的词。preposition之译。如英语: There is a book on the table. 汉语有少量介词,如: 在桌子上有一本书。日语中的助词起着前置词的作用,因其位于名词之后,故可称为后置词(後置詞postposition)。如: 机の上に 本がある。

# そ      ソ

## そ 〈副助词〉

【接续】1. 接体言，主要接疑问词以及これ、ここ后。

2. 接少数副词后。

△可后续に、の、と、へ等格助词构成句子成分。

【意义】1. 接疑问词后表示不定。相当于副助词かの相同用法。そ语气比か强，文体稍旧。

①なんぞいいものはないか。／没有什么好东西吗？②誰ぞ来たのか，出て見なさい。／好象有人来，你出去看看。③どこぞへ行ったらしいが，しばらくして帰るでしょう。／好象上哪儿去了，过一会儿就能回来。

2. 表示强调。“正是、就是”。不能用か代替。

①ここぞという時は必ず打つ。／看准了时机，一定要打。(棒球) ②彼ぞまさしく愛国の英雄。／他才正是爱国的英雄。③よくぞ話してくれた。／幸亏你告诉了我。④これぞというほどのものはない。／没什么值得特殊提及的。⑤ついぞ見かけたことのない人だが，どなたかしら。／是个从未见过的人，不知是谁？

【参考】山田孝雄等人根据历史渊源，把その终助词和副助词用法等都看作间投助词；桥本进吉把句中用法作准体助词，句末用法作终助词；国立国语研究所的「国語の助詞・助動詞」则不列句中用法。

## そ 〈终助词〉

【接续】1. 接活用词终止形后。不能接于推量（らしい除外）、请求、劝诱、命令形式后。一般不能后续其他终助词，偶尔构成终助词组ぞよ。有时发成长音ぞう。

2. 偶尔构成ものぞ形式，见意义的3。

【意义】男性用语。强调发言内容。

1. 以不顾有无他人存在、不顾对方是否同意或接受的口气强调自



己的判断、主张。所以，有时等于是自言自语。

①こいつはいけるぞ。／这可真好吃啊。②ウェー，うわぎを人のと取りちがえたらしいぞ。／哟，我好象把上衣和别人的拿错了。③あ，郵便屋さんだぞ，手紙が来たかな。／啊，是邮递员。不知来信没有。④困ったぞ，困ったぞ，これはよくないぞ。／难办，难办，这不行。

2. 用于告诫、提醒、发现、警告。其中只有“警告”能偶尔用于长上。

①お前の望みはかなったぞ。／你的愿望实现了！②おい，あれはヘリコプターだぞ。／喂，那是直升飞机来了！③ばかめ，つった魚にえさをやるばかはないぞ。／傻瓜，哪有给钓上来的鱼喂食的！④さっさとしないでまた遅れるぞ。／不麻利点儿又要晚啦。⑤またとこないたずらをしてはいかんぞ。／可不要再干这种恶作剧了啊。⑥試合を見に来たんだぞ。練習を見に来たんじゃないぞ。／是来看比赛的，不是来看练习的。⑦せっせとやるぞ。油を売るな。／欢点儿干啊！别磨蹭。

3. 以（よ）うぞ或ものぞ形式表示反诘。陈旧的说法，一般可用か代替。

①そんなこっけいな事がどうしてあろうぞ。／怎么会有那么滑稽的事呢？②あれほど頑張った上は，失敗したって，誰がとがめられようぞ。／作了这般努力，即使失败了，有谁能责怪呢？③泣くほど自分のものを惜しんでそれを人に施したとて何の役に立つものぞ。／心疼自己的东西甚至要哭，即使施舍给别人，又有什么意义？

4. 以の（ん）だぞ、まいぞ的形式表示命令、禁止之意。文言用法的残余。

①しっかりやるんだぞ。／要好好干！②行くまいぞ。／不要走！

【参考】除用法3外，不能用于文章。ぞ的前身是文言提示助词ぞ，可用于句中或句末，可接于用言或体言后。后来句末用法得到发展，转化成终助词，而句中用法随着“係り結び”的消失而衰退，现代日语只接疑问词等少数词后，作副助词。见另项。

相 ソウ 态

语法范畴之一，也称“態”，但比普通语言学中的态的范围广。大概

语法中把主动、被动、使役、可能、自发、自动、他动、中相、尊敬等都称作相。

其中，主动、被动、使役、中相等相当于普通语言学中的态，表示主语名词和谓语之间不同的格关系。自动、他动等则和上述几种态不是一个层次上的问题，不涉及主谓之间的格关系，因此不应看作态。尊敬主要是词法上的问题，在造句中不改变格关系，如：先生が字を書く→先生が字を書かれる→先生が字をお書きになる，故尊敬也不是态。可能和自发属于动词的性质、样态，和动词的体很相似。但有时改变动词和有关名词的格关系，如：お菓子を食べる→お菓子が（を）食べられる／息子の身上を案じる→息子の身上が案じられる，因此日语中把可能和自发也看作态。

【参考】时枝诚记把表示动作性质的所谓“相助動詞”（そうだ）称作动词的相。三矢重松把自他称作“性”，把被动、可能、使役、尊敬称作“<sup>すがた</sup>相”。仁田义雄把アスペクト称为相。

### そういえば 〈接续词〉

由副词そう、形式动词いう（言う）的假定形、接续助词ば构成。多少带有实义。

#### 1. 承接对方话语（前项内容），以此回想或联想有关内容。

①そう言えば彼がこそこそ逃げるのを見た覚えがあります。／这么一说，我真记得曾看到他鬼鬼祟祟地溜走。②悦子は自分は優等生だったと言った。そういえば、彼女の青白い皮ふなどに、いかにも級長さんらしい所があった。／悦子说过她曾是优等生。要这么说，她那苍白的皮肤还真有些类似班长大人的味道。

#### 2. 对于对方看法表示赞同。典型形式是“そういえば そうだ”。

①そういえばそうだね。／你这么一说，可也是。②彼は私の小説に社会性のないことをきびしく非難したことがあった。そういえば確かにそうであった。／他曾严厉批评我的小说无社会性。这样说，倒也是。

#### 3. 表示从对方的话题上找新的话题。

①そういえば、彼はどうしている。／那么说，他现在怎么样？

【参考】若明确表示受了对方的话语的影响，可用被动形式。也是实义用法。

①幸夫はそんなことを言った。そう言われれば、そうであるに違いないと思われた。／“……”幸夫说道。经他这么一说，我不禁觉得肯定是如此。

#### そうおもう系（そう思う系） 〈接续词系列〉

由副词そう、形式动词おもう的活用形、接续助词构成。每个词组相当于一个接续词。主要有そう思えば、そう思うと（敬体为そうおもいますと）两个。表示以前项内容为条件推出后项结论。

①そう思えば、あなたはもう大人のように振り舞っていい。／这么看来，你可以象大人一样地行事了。②（父は）今までたえず君と君の兄上とを見つめていたのだ。そう思うと君はなんともいえない骨肉の愛着にきびしくとらえられてしまった。（有島）／父亲（我）至今一直注视着你和你哥哥。由此看来，你已被难以言状的骨肉亲情所牢牢地俘获了。

#### そうかといって 〈接续词〉

由再现前项内容和气氛的副词そう、助词か、形式动词いう的连用形、接续助词て构成。表示承认前项判断的同时，又在后项对另一极端的判断进行限定或否定。

①そうかといって、ひらがなばかりでは読みにくい。／然而，如果只有平假名，会难以阅读。②酸素がなければいけないことはすぐ分るが、そうかと言って酸素ばかりの大気でもいけない。／没有氧气是不行的，这一点容易理解，然而，光有氧气的空气也是不行的。③日本の大学にはいるには、まず日本語を勉強しなければならない。そうかといって、日本語だけを二年も三年も勉強するよゆうはない。／为了进日本的大学，必须先学日语。话虽这样讲，又没有两年三年地专学日语的充足时间。④もちろん、人間は自然の与えた能力上の制限を越えることはできぬ。そうかといって、なまけていれば、その制限の所在さえ知らずにしまう。／毋庸置疑，人无法超越自然所赋予的能力的限度。然而，如果懒惰，则会连这限度的所在都不知道。

#### そうかとおもうと 〈接续词〉

由重现前项的指示词（副词）そう、助词か、助词と、形式动词お

もう（思う）、助詞と構成。

1. 表示极端的事物、状态、性质并存。后项是出乎意料的新发现。

①ある時は巨大な棒状のUFOや、そうかと思うとバスケットボール位の小さなUFOまでが現われている。／有时出现巨大的棒状的飞碟，但甚至也出现过篮球般的小飞碟。②短歌をたしなんだり，熱帯魚に凝ったり，そうかと思うと氷の上をすべったりする多様の趣味の高蔵は，くせの人物らしい。／高蔵有着多种爱好，你说他喜欢短歌迷恋热带鱼吧，却又在冰上出溜，象是个很特别的人物。③嫂は西洋の音楽が好きで，よく聞きに行く。そうかと思うと易断に非常な興味を持っている。／嫂嫂爱好西洋音乐，常去听。可有时，又对占卜有着浓厚的兴趣。④教授は寝る時間も惜むほどの勉強家ですが，そうかと思うと半年かかったの旅行に出ることもあります。／这位教授是废寝忘食的用功人，但也不尽然，有时也进行费时半年的旅游。

2. 前项动作、状态完成的同时，紧接着出现后项的与此对立的意外的动作、状态。

①雨が降りそうになったが，そうかと思うと，雨雲がどこへともなく消え失せてしまった。／看样子就要下雨了，可突然云彩又消失得无影无踪了。②若者は水の上には見えなくなりました。そうかと思うと，ぽこんとはね上がるように高く水の上に現われ出ました。／小伙子在水面上不见了。就是这时，象跳起来似的又突然高高地出现在水面上。

そして 〈接续词〉

口语中一般说成そして。

1. 表示前后项的时间的先后（例①）、轻微的因果关系（例②）等衔接关系。

①先生はまず本文を読んでくれた。そして、難しい単語などを説明してくれた。／老师先给念了课文，然后解释了难懂的单词等。②歩哨は日中の勤務で夜は疲れている。そして欄干を枕に，思わずうとうとしたりする。／哨兵因白天的勤務晚间已经累了。于是，有时便枕着栏杆不觉沉沉欲睡。

2. 表示追加性并列。有时连接句节（如下例④）。



①兄は借金を払ってくれた。そうして一口の小言も言わなかった。  
 /哥哥替我还了债，并且一句责备的话也没说。②これほど丈夫な生地  
 はない。そうしてこれほどきれいな生地もない。/再没有如此结实的布  
 料了。同时，也再没有如此华丽的布料了。③もう一度くり返すと，芸  
 術はまさに表現である。そうして，表現する所は，勿論作家自身のほ  
 かはない。/我再说一遍：艺术就是表现。而且，其所表现的当然不外乎  
 作家本身。④私はこの時始めて言いようのない疲労とけんたいとを，そ  
 してまた不可解な，下等なたいくつな人生をわずかに忘れることがで  
 きたのである。/我只有这时才得以稍微忘记那无以言状的疲劳和厌倦，  
 以及那不可理解的、下等的、无聊的人生。

⇒そうする系

**総主** ソウシュ 总主语

草野清民の命名，指总主句（参见“総主文項”）中整个句子的主语，  
 如“象は鼻が長い”中的“象は”。“鼻が”称小主语。

【诸说】由于印欧语里没有这类句子，后来引起了语法界的关注，出现  
 各种解释。主要有：

1. 提示语说。认为总主语不是主语，而是被强调了的副词性成分。
2. 主格说。认为“象”是提示整体的正主格，“鼻”是表示细部的  
 副主格，二者都关联到“長い”。
3. 主题说。如：三上章认为“象”是主题，“鼻”是部分主格，作  
 主语连用修饰语。
4. 主语说。认为“象”是主语，以下是主谓谓语。

除4外，都承认总主语的提示作用，而且都自觉不自觉地承认了句  
 子由题目语和说明语（述部）两部分构成。所以3目前较有说服力。

**総主文** ソウシュブン 主谓谓语句、总主句

以主谓关系的子句（即节）为谓语的句子。即主谓谓语句。子句中  
 的主语称作小主语，大句中的主语称作总主语。（総主）

①象は鼻が長い。/象鼻子长。

$$\begin{array}{ccc}
 & \xrightarrow{\quad} & \xleftarrow{\quad} \\
 & \text{小主语} & \text{谓语} \\
 \xrightarrow{\quad} & & \xleftarrow{\quad} \\
 \text{总主语} & & \text{谓语}
 \end{array}$$

1. 小主语必须是总主语的一部分或属性。其中，例③的“人口”是“中国”这事物的一部分；例④“中国（の人口）”是“（各国の）人口”的一部分，所以这两句都成立。而例⑤的“私”和“はさみ”是所有关系，所以是错误的，比较例⑥即可知。

①おじいさんは足が不自由になった。／爷爷腿脚不灵了。②日本は桜と富士山が有名だ。／日本樱花和富士山著名。③中国は人口が多い。／中国人口多。④人口は中国が多い。／人口中国多。⑤※私は鋏みがよく切れる。（应为：私の鋏みはよく切れる。／我的剪刀很快。）⑥私は頭が痛い。／我脑袋疼。⑦たばこは体に害がある。／烟对身体有害。

如果小主语同时也可视为对象语（见该项），其和总主语也可以是别的各种关系。

①彼は英語がよく分る。／他很懂英语。②君は何が困ったのか。／你有什么难处？

其他类型的关系和这里不是同一个问题，参照“ハガ文”项。

2. 一般地说，总主句的语义关系是：小主语以其谓语作为属性，二者合起来是总主语的属性。所以，总主语与小主语的谓语之间通常没有直接关连。亦即，若将小主语拿掉，则或者句子不成立，或者句义有很大变动。如上例①将成为“おじいさんが不自由になった。／爷爷瘫痪了。”

3. 子句中的谓语由形容词、形容动词及状态性动词充当，见以上各例。

【参考】总主句是并非日语独有，汉、朝、蒙等语言都有主谓谓语句。

#### そうする系 〈接续词系列〉

【构成】系由副词そう、形式动词するの活用形、接续助词构成的一些词组，每个词组相当于一个接续词。主要有そうして（见另项）、そうしたら、そうすると、そうすれば等，其中头两个可缩为そして、そしてたら。公认为接续词的有そうして、そうしたら等。共同点是：由そうする重现（复指）前项的内容或气氛（承上）、由接续助词引导下文（启下）。

【用法】1. そうすると。

1) 表示后项是从前项（可以是对方的话）来分析而得出的。近于与とすると。

①そうすると必要な時に鉄砲を打ってもいいんですか。／那么必要时也可以开枪吗？②そうすると君は第二子ではなかったのですね。／那么说你本来不是排行第二啊。③友だちは何度となくあいつが疑わしいと注意してくれた。そうすると、遠ざかる方が危険はないかもしれない。／朋友多次提醒我说那家伙可疑。这样说来，也许还是疏远些更保险。

2) 表示相继发生的相关事件。

①祖母は祖父の左の耳に口を寄せ、声を張りあげて用を伝える。そうすると、祖父は頷き、低い声で返事をするのだった。／祖母把嘴凑近祖父的左耳向他大声告诉什么事。接着，祖父点点头，低声回答。②疲れはて、昼間どうしてもうたた寝しないではいられないが、そうすると玉もそっとそばによってきて……／精疲力尽，午间无论如何也要打个盹。每当这时，玉（猫名）也悄悄地凑到旁边来……

△そうすると和とすると。后者用于假定条件下，前者用于假定和既定条件均可。

2. そうすれば。是结合较松散的形式，表示前项成立的条件下后项结果自然而然产生。

①1月で5千円でいい。そうすれば10年後にちゃんとした貯金ができる。／1个月5千日元即可，这样，10年后就会有一笔可观的存款。②そうすれば，部下の者も進んで話すようになり，内部の空気は明朗になるでしょう。／这样，部下也会主动出来讲话，内部的空气就会活泼起来。

3. そうしたら。可缩为そしたら，用于口语。

1) 以前项为假定事实，表明主观愿望、疑问。常和接续助词并用。

①ぼくが大人になったら，そうしたら南極探検に行くのだ。／等我长大了，就要到南极去探险。②あした雪が降ってきたらそしたら雪合戦をして遊ぼう。／明天如果下雪那我们就打雪架玩儿。

2) 根据前项的确定事实提出后项中的命令和要求。用于对话。可用

それなら代替。

①「いつもゆうべからせきが出る」「そうしたら薬を飲みなさい。  
／“总是一到傍晚就咳嗽。”“那就喝药吧。”②「コップにひびが  
できました」「そうしたら新しいのに換えましょう」／“杯子有裂缝了。”  
“那就换个新的吧。”

### 3) 表示相继发生的关联事件。

①月が出た。そうしたらまわりが明るくなった。／月亮出来了。月  
亮一出来，周围就明亮了。②教員室に行ったら，そうしたらさんざん  
叱られた。／到教员室去了，结果受了好一顿训。③そうしたら，どうな  
ると思うのか。それは損になることばかりだよ。／你那么做会怎么样？  
那不会有好事儿的。

4. 其他。主要有以上各形式的敬语形式，如そうしますと、そう  
しましたら。意义对等，不常用。そうしていたら同そうしたらの③，  
只是前项的行为或行为的结果有一定时间上的持续。

①25日，三角錐のようにUFOが二つ現われた。そうしていたら，  
27日，三角錐の図形が再び頭の中に投影された。／25日，出现两个三棱  
锥式的飞碟。后来27日，三棱锥图形又一次出现于脑海中。

### そうだ 〈传闻助动词〉

【活用】形容动词型活用。活用形不完全。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
そうだ	そう	○	そうで	そうだ (そうな)	○	○	○	○

#### 1. 词干。单独或后续ね、よ结句，属女性用语。

①公園のバラがきれいだそうね。／说是公园里的蔷薇花可好看呢。  
②その上にすみれの花を乗せてあったそうよ。／据说那上面摆了紫花地  
丁呢。

#### 2. 连用形。

##### 1) 用于中顿。对于后项多少有修饰关系。



①お父さんの病気がなおったそで、安心しました。／听说你父亲病好了，（我也）放心了。②丹頂鶴は珍しい鳥だそで、動物園でも大切にされています。／丹顶鹤据说是一种珍禽，在公园里也受到珍视。③秋田さんは残業をするそで、職場に残っていました。／秋田说是加班，留在车间里了。

2) 后续ある、ない、ございます等补助用言。

①私の夫も野坂参三氏に入党を勧められたことがあるそである。／据说我丈夫也受过野坂参三先生要求入党的劝诱。②深田久弥君に鎌倉へ住むように説き勧めたが、物価が高いそうじゃないかといって聞き入れぬ。／我曾劝说深田久弥到鎌仓来住，可他认为物价高而不肯去。③悠一っつあんは滅私奉公の権化だそうではないか。／你没听说悠一是大公无私的化身吗？④そうだそでございます。／据说是这样。

△非标准用法又有そうにございます。

△连用形又有そうに，偶见于早期作品。

①其子も昨年の暮はチフスにかかって死んだそうに聞きました。  
(樋口)／我听人讲，那孩子也在去年年底因伤寒病而死去了。

3. 终止形。

1) 单独或后续某些终助词结句。

①この小説はあまり面白くないそうだ。／听说这本小说不太有趣儿。②先生の所では、女の赤ちゃんが生まれたそうだ。／听说老师家生了个女孩儿。

△截至明治，终止形又有そうな，现除老人中偶尔使用外，已废。

①坂井さんはひどい目にあったそうな。／听说坂井先生倒霉了。②天地万有は神が造ったそうな，して見れば人間も神の御製造であろう。  
(夏目)／据说天地万物都是神创造的，如此看来，人类也是神御制的了。

2) 后续接续助词から、し、が等。

①グラウンドではどこかの運動会だそうだが，行って見ようか。／听说运动场上某单位在开运动会，去看看啊。②近衛という人は聞き上手だそうだから瞞<sup>だま</sup>されてはいけないと思ったけれども，そうではなか

った。／原来听说近卫这人善于诱人讲话，所以我生怕上当，其实不然。

【接续】接活动词终止形后。

1. 用言后。

①この物語は悲しいそうだ。／听说这故事很悲。②この生地は大変丈夫だそうだ。／听说这种布料非常结实。③遠足には一年生も行くそうだ。／听说野游一年级学生也去。

2. 接全部的动词型助动词和ない、たい、た、だ的终止形后。

①成人して成人映画を見させるそうだ。／听说成人之后才让看成人电影。②あの子はよく学んでいないそうだ。／听说他（她）不好好学习。③花子も一緒に行きたいそうだがら、連れていこう。／听说花子也想一起去，就领她去吧。④今年は中国でも震災がひどかったそうです。／听说今年中国震灾也很严重。⑤いたずらの太郎も時々ほめられるそうだ。／听说调皮的太郎也时常受表扬。⑥珍しい動物だそうだ。／听说是珍奇的动物。

△方言中还可接形容动词及同型助动词的连体形后。

①丈夫なそうな。／听说很结实。

【用法】1. 表示传达。即直接向对方转告某人的话语。

①私は田中さんに電話したが、今晚の会には出席できないそうだ。／我给田中先生去过电话，他说不能参加今晚的会。

△此用法有引语的作用，相当于间接引语，所以在传达时要作某些调整。

①田中：「あした（ぼくが）君の家へ行くよ」→传达者：「きょう，田中君が僕の家へ来るそうだ」（说是今天田中要到我家来。）

2. 表示传闻。即告诉对方听说了什么。

①英語は発音が難しいそうだ。／听说英语发音很难。

△有时，也可能故意利用传闻来源不清、内容不实的特点来表示推测、判断，以起到减少主观色彩的作用。

①あれは悪ものだそうだから、私は大嫌いだ。／听说那人是个坏东西，我很讨厌他。

【参考】1. 这里暂依学校语法，称传闻助动词。另，汤泽幸吉郎称传

达助动词。两种命名都不够全面。

2. 时枝语法中看作体言性质的接尾辞。

3. 有些书（如国立国语研究所的「現代語の助詞助動詞」）把 そうだ和そうです作为一个助动词处理。

4. 过去也曾有人（如浅野信）和样态助动词 そうだ作为一个词处理。

そうだ 〈样态助动词〉

【活用】形容词动词型活用。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
そうだ	そう	○	そうで そうだっ そうに	そうだ	そうな	そうなら	○	そうだろう

1. 词干。

1) 结句。用于报章标题等。

①米ソ軍縮会談遅れそう。／美苏裁军会谈可能延期。

2) 主要在女性会话中用以结句。可后续ね、よ、か等。

①名前からこの本面白そうね。／从书名就觉得这本书有趣儿。②どうやらできあがりそうよ。／总算要完成了。③なんとか今日中に片づきそうかい。／看样子今天能做完吗？

3) 引语中用作谓语。

①どうも，世界中で日本が一番早くこの社会を迎えることになりそうという。／据说日本将有可能在世界上最先迎来这种社会。

4) 构成 そうもない、そうにない等否定形式。其中前者否定语气比后者强。

①読めそうもない本をむりに読ませられた。／被迫读了根本读不懂的书。②ちょっと試合が始まりそうもありません。／比赛不大可能马上开始。③病気が直ったばかりでうまいものでも食べそうにない。／他病刚好，好吃的东西也不一定吃下的。④そんな気のきいたものはありそうにもない。／根本不会有那么称心如意的东西。

## 2. 连用形。

## 1) そうで。

## (1) 用于中顿。

①すぐ放課なのに、雨が降りそうで心配だった。／就要放学了，却眼看要下雨，很着急。

## (2) 后续补助用言ある、いる、ございます、ない等。

①大風で10メートルもあるポプラの木が倒れそうであった。／由于大风一棵十米多高的白杨树摇摇欲坠。②一滴も降りそうでない。／一点儿雨意也没有。③お父さんに言ったところが、とても信じて下さりそうではありません。／和你父亲说过了，可是看样子他根本不相信。④あの人はさも親切そうでいながら実はとても意地が悪い。／他看似亲热，其实心地很坏。

## 2) そうに。

## (1) 修饰后续用言。

①良いことがあってか、正子はうれしそうににこにこ笑っている。／大概因为有好事，正子很高兴地微笑着。②乞食の子が寒そうに立っている。／一个乞儿一脸冷相地站着。③妙子は、おいしそうにコーヒーをのみおえた。／妙子香甜地喝完了咖啡。④生徒たちは少し物足らなそうに帰ってしまいました。／学生们有些余兴未尽似地回去了。

## (2) 后续形式动词する、なる等。

①ポチを寝かしかえようとしたら、ひどい声を出してかみつきそうにした。／我想把给花狗翻身时，它发出了尖叫声，摆出要咬人的架式。②中途に負けそうになったが、きりかえしてとうとう勝った。／中间险些输掉，转守为攻，终于取胜了。

## 3) そうだ。后续た等。

①遅くなりそうだったら、前もって電話をかけて下さい。／如果有可能很晚，就请提前来个电话。②今にも雨が降りそうだったが、瞬く間にからりと晴れてしまいました。／眼看要下雨，转眼间又一晴如洗。

## 3. 终止形。

## 1) 单独或后续な、ね、よ等结句。



①雨が降りそうだ。／要下雨了。②吉岡に言われそうだぜ。／恐怕要挨吉冈说呀。③誤解ばかりではなさそうだな。／看样子不 仅仅是误解。

2) 后续接续助词から、が、し等。

①雨が降りそうだから、この傘を持って出かけなさい。／要下雨啦，请带这把伞出去吧。②丈夫そうだが，家庭用には向きません。／看起来很结实，可是不适于家庭用。

4. 连体形。

1) 修饰体言。

①それは、作り話にもかかわらず、本当にありそうなことだ。／那尽管是编造的，却又是很可能存在的。②そのため，娘は殺されそうな目に会った。／因为这个，姑娘差点儿让人杀害。③経済白書によれば，インフレは引き続き続きそうな雲行である。／据经济白皮书，通货膨胀势将持续下去。

2) 后续のだ、のに、ので等有体言成分的助动词、接续助词、副助词等。

①もうそろそろ退院できそうなのよ。／看来马上就能出院啦。②何か悪い事が起りそうなので，外出をやめました。／象要发生什么坏事似的，所以没有外出。③食べてもよさそうな程煮えた。／已经煮得可以吃了。

5. 假定形。也可后续ば。

①お父さんが承知しそうなら，登山に行くと申し入れましょう。／如果看爸爸能同意的话，咱们就提出去登山。

6. 推量形。后续う表示推测。

①どうだ，あらしでも来そうだろう。／怎么样，是要起暴风雨了吧。②見るからに元気そうだろう。／看上去显得很有精神吧？

【接续】1. 接动词和同型助动词连用形后。

①桜が今にも咲きそうだ。／樱花就要开了。②この問題なら僕にも解けそうだ。／就这道题，好象我也能解开。③今度は大分勉強したから，合格しそうだ。／这次用了不少功，看来能通过。④タクシーは，こっ

ちに来そうもないね。／看来出租车是不会来这里的。⑤父に叱られそうな気がする。／觉得要挨爸爸批评似的。

## 2. 接形容(动)词和同型助动词词干后。

①どこか強そうなチームに申し込んで、大いに試合をやったらよかろう。／可以找某一个比较强的队来大赛一场嘛！②おじいさんは、愉快そうに笑った。／爷爷高兴地笑了。

△助动词ない、たい构成的なさそうだ、たさそうだ见另项。

△形容词ない、よい以及由他们组成的复合形容词要在中间插入さ。

“濃い”以及也可以看作形容词的つまらない、すまない等可加也可以不加さ。

①心配はなさそうだ。／看来不必担心。②情なさそうな口ぶりで物を言う。／以很难为情的口气说话。③子供が気持よさそうに眠っている。／孩子安祥地睡着。④面白くもなさそうな話ばかりされては困る。／尽和我说一些无聊的话可受不了。⑤まんざらいやでもなさそうだ。／看起来也并不是很不愿意。

△よかりそうだ是よい的文言形式的连用形よかり接そうだ构成的。

△表示纯自然现象或推论性的形容(动)词后难以接そうだ。如“※当然そうだ、※あいらしそうだ、※寒冷そうだ(但“寒そうだ”)、※“具体的そうだ”。

【意义】1. 表示根据表面或外部特征作出的不确实的视觉上的判断。多用于形容(动)词和状态性动词。

①よく切れそうなナイフ／显得很锋利的刀。②あいかわらず元気で何よりです。／你看上去仍很健康，这太好了。③この料理はおいしそうだ。／这菜看样子很好吃。④食べられそうもない青いリンゴを売っている。／卖不能吃的青苹果。

△主观性较强的心理形容词后可不加そうだ，如“悲しい顔(悲伤的脸)、悲しそうな顔(显得悲伤的脸)”，不过前者主观性更强。而后者既可以理解为主观的，也可以理解为客观的感觉。客观性较强的心理形容词只有加そうだ才能表示主观的感觉，如“面白そうな顔(说者的感觉)，面白い顔(该人脸的长相)”。

△否定有～なさそうだ和～そうでない（そうもない、そうにない）两种，动词一般用后一种，其中～そうでない较少用。

2. 接动作动词后，表示动作的变化即将发生或实现的状态。

①雨になりそうだ。／看样子要下雨。②10時になって会議はようやく終わりそうになっ。／到10点，会议总算要结束了。③子どもが泣きだしそうな顔付きで，おもちゃをねだっている。／孩子闹着要玩具，几乎要哭出来的样子。

此用法用来比喻心理或生理状态达到极度。

①腹が空いて死にそうだ。／简直到饿死了。②心臓がつぶれそうだ。／心胆俱裂。

△そうだ和だろう比较如下。

①雨が降りそうだ。（客观现实的发展趋势）。②雨が降るだろう（降っただろう、降っているだろう，等）。（主观推测）

3. 表示主观推测、估计、展望、感觉、印象等。

①販売員は，宣伝に利用できそうなものには，何でもとびつく。／推销员不放过任何可以用于宣传的东西。②柴田さんは忙しくて今夜のパーティには来られそうもない。／柴田先生很忙，不会来参加今晚的晚会。③真っ暗で，誰かあとを付けて来そうでたまりません。／漆黑漆黑的。好象有人要跟来似的，真受不了。④第一印象ではとても引き受けてもらえそうもなかった。／凭第一印象，他似乎实在难以承担。⑤この調子では，先月の赤字が埋められそうだ。／看这情况，上月的赤字好象能抵销。⑥今ごろは子供たちが内であばれていそうだ。／这会儿孩子们可能正在家里闹呢。

△否定的情况见用法1和接续。

【参考】时枝语法把そうだ看作体言性接尾辞，汤泽幸吉郎等只把动词后的看作助动词，其余仍看作名词性接尾辞。

そうだ系 〈接续词系列〉

由副词そう、助动词だ的活用形等构成，主要有そうなら、そうだったら、そうだとすると（すれば、したら）等形式，均表示后项是以前项为条件所作的进一步推论。如①有副词性质。

①平和とは、こんな気持ちのことを言うのであろうか。もし、そうなら、私はこの時、生まれて初めて心の平和を体験したと言ってもよい。／所谓和平，就是指这种心情而言吗？如果是这样，也可以说此时我毕生第一次体会到了心中的和平。②世の中の親は、皆、こんなに子供を愛したのだろうか。そうだったら、何をおいても親孝行をしたくなる。／世上的父母都曾这样爱孩子吗？如果是，我首先要孝敬父母。③駅まで普通25分かかります。そうだとすれば、間に合うのだけは大丈夫です。／到车站通常需要25分钟，以此说来，至少不会晚。

「そうだ」の見分け方 ソウダノミワケカタ そうだ的词类鉴别

【区别】1. 活用的不同。样态助动词そうだ具有一般形容动词的所有活用形，其中连用形有三种，而传闻助动词そうだ只有一种连用形そうで和终止形。同时，传闻没有否定形式，只偶尔构成反诘形式～そうではないか。

2. 接续不同。样态接动词及同型活用词的连用形以及形容（动）词及同型活用词词干后，而传闻一律接活用词终止形后。

3. 意义不同。样态表示予想，主观性很强。传闻表示传达或传闻，客观性很强。

4. 造句功能不同。样态的造句结构是“雨が降りそう+だ”。だ表示说者的判断，其余部门是客观内容。从这个意义上说，そう相当于接尾辞。但客观内容部分也有主观因素。如“雨が降り+そう”中的そう可以说是主客观的结合，そう所接的不只是“降り”，而是整个“雨が降り”。就是说，そう是“雨が降り”这个客观内容和だ这个主观判断的媒介，因此从实用出发，最好以そうだ作为一个整体独立单位。

传闻のそうだ的造句结构是“雨が降る+そうだ”。そうだ作为一个整体独立单位表示说者对话语的立场，其余是素材或称客观内容。总之，作为一个独立的语言单位，传闻比样态独立性更强。

【举例】将传闻、样态助动词以及词形类似的其他词一并举例如下。

①あしたはおばあさんが帰るそうだ。(接终止形。传闻)／听说明天奶奶回来。②あしたはおばあさんが帰りそうだ。(接连用形。样态)／好象奶奶明天能回来。③面白そうなものをもって来るそうだ。(接词干，样态；



传闻) / 听说要带来很有趣儿的东西。④そんなことはなさそうでもあるし、ありそうでもある。(样态; 样态) / 这种事好像不会有, 又好像会有。⑤彼に聞いてみたら, 彼女はとても幸福そうな生活をしているそうだ。(样态; 传闻) / 我向他打听, 他说她生活得很幸福。⑥そういう話があるものか。(连体词的一部分) / 竟有这等事! ⑦昨日の宿題もそうですが, よく考えないとできあがりません。(指示 副词) / 昨天的作业也是如此, 不认真思考就做不上来。⑧そう, そうだね。(感叹词、副词) / 对, 是这样。

そうです (传闻助动词)

【活用】特殊型活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
そうです	○	そうでし	そうです	○	○	○	○

1. 连用形。后续て、た。

①大雪で新幹線が麻痺したそうでして, 上京は見合わせにしました。/ 据说由于大雪新干线瘫痪, 暂不进京了。②きのうの話では, 来週あたりから御出勤になられるそうでしたが。/ 我昨天听说, (他) 大致从下周就要上班了。

2. 终止形。

1) 单独或后续终助词ね、よ等结句。

①天気予報によるとこの週末には天気がくずれるそうです。/ 根据天气预报, 本周末天气要变坏。②古川さんは昨日こっちを発ったそうですよ。/ 听说古川先生昨天离开了这里。③大学に受かったそうですね。/ 听说考上大学啦。

2) 后续接续助词が、から、し等。

①大臣にお会いになりたいそうですが, ご用件は何ですか。/ 听说您要面见大臣, 您有何贵干? ②今週は都合が悪いですから, 来週にくりさげましょう。/ 说是这周安排不开, 那就延到下周吧。③あの人はいよいよ名作家になりますね。長編小説も上梓<sup>じょうし</sup>されようとしているそうですしね。/ 他眼看就要成为名作家了。听说(他写的)长篇小说都

快要出版了哪。

【接续】同そうだ。

【意义】そうだ的敬体形式。表示传达传闻等。见そうだ及以上例句。

そうです 〈样态助动词〉

【活用】特殊型活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
そうです	○	そうでし	そうです	そうです	○	○	そうでしょ

1. 连用形。后续て、た、たり等。

①値段が高そうでしたので、買いませんでした。／觉得价格贵，就没买。

2. 终止形。

1) 单独或后续终助词结句。

①この辺は草木が茂っていて、狼でもおどり出そうですね。／这一带草木繁盛，说不定会跳出条狼来呢。②いよいよスタートを切りそうですね。／马上就要开始啦。

2) 后续接续助词から、し、が等。

①晴れそうですから出かけましょう。／要晴天了，出去吧。

3. 连体形。较少见。后续接续助词の、に等。

①遅れそうですのに、自転車のキーはなかなか見つかりません。／眼看要晚，偏偏自行车钥匙怎么也找不到。

4. 推量形。后续う表示推量。

①あの辺，安全そうですね。／那一带很安全吧。

【接续】同样态助动词そうだ。

【意义】そうだ的敬体形式。

1. 表示根据表面或外部特征作出的视觉上的判断。

①黒く日焼けして見るからに丈夫そうです。／晒得黝黑，一看就是结实样。②とんちんかんなことを言うのを見ると何か不審なところがあ

りそりです。／看他前言不搭后语，觉得有些可疑。

2. 接动作动词后表示动作和变化即将发生或实现的状态。

①船が揺れて、棚から荷物が落ちそうです。／船体颠簸，行李几乎从架子上掉下来。②私が病院にかけつけた時には、友人はもう息が切れそうでした。／等我赶到医院的时候，朋友已经奄奄一息了。

3. 表示主观推测、估计、展望、感觉、印象等。

①遅くて来週には出来あがりそうです。／至迟下周能完成。②これから、いろいろお世話になりそうですから、お願いいたします。／今后也许会有许多事情麻烦您的，请多关照。

**そうでない系** 〈接续词系列〉

由指示副词そう、助动词だ的连用形、补助用言ない的活用形、接续助词构成的若干词组。主要有そうではなければ、そうでないと、そうでなくては、そうでなかったら、そうでないなら等，每一个相当于一个接续词。用法大体相同。

1. 表示选择性的并列。

①学校から帰ると、テレビを見るか、そうでないと宿題をする。／从学校回来，或是看电视，若不然就做作业。②きっと森本ちゃん，そうでなければ中野ちゃんが先生に知らせたのだ。／准是森本，不然就是中野告诉老师的。

2. 表示如果没有前项，后项就难以成立。

①そうでないとどの顔さげて会社に行くというのか。／要不然（你）还有什么脸到公司去呢？②中学生を扱うには、まず彼らの立場を理解しなければならない。そうでなければ、中学生はかわいそうです。／对待初中生，首先要理解他们的处境。不是这样，初中生可太可怜了。③井伏ぐらいちゃんとした理念を持った作家は珍しいのではないかと思う。そうでなくては、救いなき世相に救いをもたらすなんて作品が書けるはずはないのである。／我认为象井伏这样有坚定信念的作家恐怕不多。否则是不可能写出这样给无可救药的世态带来希望的作品。

**挿入語** ソウニョウゴ 插入语

句子成分的一种。指插入句子中间或出现在句首的、脱离句子原有文

脉的成分。插入语都是补充性的、解释性的附加词语,省去后句子仍然是完整的。也正因为以上原因,有人把它归入独立语。

①Tさんは、これも実は僕の先輩だが、やはり同じようなことを言ってたね。/T君,其实他也是我的兄长,也是这么说的哩。②背の高い人が、何という名前だったかな、午前中に訪ねてきたんだよ。/有个高个儿的人,叫什么名来着,上午曾来找过你。③もう一度強調ですが、それは誤解です。/我再强调一遍,那是误解。

以上插入语从形态上看都相当于子句。在书面语中,插入语也可以用括号或破折号表示,这时的插入语可以是不完整形式甚至一个词。

①逮捕されたのは中野(32才),無職です。/被捕的是中野(32岁),无职业。②こういう表現は、「僕」の気持ち——わがままで、かんしゃくを起こしている——を表わしている。/这种表达方式把“我”的心理——任性、正在发火——表现出来了。③現行憲法の文章論的(政治論的ではない)欠点は少なしとしない。/认为现行宪法中的文章方面的(不是政治方面的)缺点不少。

候文 ソウロウブン 候文

【解释】指文言中主要用于书信中的文体。因句末形式为“候(そうろう)”而得名,又称“書簡文体”。“候”是补助动词,相当于口语的ます、ございます。

①いかがお過し候や。/近况如何。

“候”原为口语,是由“侍<sup>さぶら</sup>ふ”转成的,有“侍从”之意。平安时代后期与“侍<sup>はべ</sup>り”并用。从镰仓时代起,作“有り、居り”的敬语和谦语使用,逐渐形成了所谓的“候文”体。因候文是为了书写当时的口语而产生的,所以主要用于日记和书信中。江户时代达到鼎盛,一直用到战前。战后,日本用口语体取代了候文体,只在方言和个别人的文章中见其残迹。

【用法】1. 作补助动词时,接于用言连用形后,常用活用形有终止形和连体形,但也有未然形和已然形用法。

①危ぶみ思はれ候まま御伺申上候(连体、终止)。/十分惦念,特驰函问候。②甚ダ恐入候得共(已然)。/不胜冒昧之至。

2. 句中“候”(连体形)常后续“間、処、段”等接续用语。



①無事暮し居り候間(=いますから)御安心下され度候。／粗体  
 頑健，请释远怀。②長らく病氣にて引きこもり居り候所(=いましたが)  
 漸く全快仕候。／长期卧病，闷居斗室，现已日渐康复。③夫故危難を免  
 かれ候事と遙察仕居申候段幾重にも御礼申上げ候。／由是免于灾难事，  
 深蒙挂念，不胜感激之至。

3. 使用大量音读词，甚至全部用汉字（包括万叶假名）书写，有的  
 词的语序仍保留汉文的特点，所以必须按返点阅读。

①御惠投被下度奉願候。

敬 请 赐 稿 为 荷。

(くだされ)(ねがいたてまつり)

②次に拙者事も不相変罷在候間御懸念被下間敷候。

(あいかわらず)

(くだされ)

其 次， 鄙

人依然如故，切勿悬念。

4. 因用于公文或个人信件中，所以用一整套的尺牍用语。如：拜  
 啓、陳者(のぶれば)、顿首、前略、机下等都属于敬语表达形式。

促音 ソクオン 促音

【解释】亦称“つまる音”。指发音时形成并持续某种阻塞，抑制子音或母  
 音的实际音响(如，p、t、k、和s、ʃ)，只能以一个音拍的时间感觉来感知  
 到的音位。用小写假名っ或ッ来表示。促音是一种音拍，总是位于直音拍  
 或拗音拍后(ロンドンッ子是例外)共同构成促音音节。

促音音拍用罗马字或国际音标表示时，重复使用和后续子音相同的字  
 母，如ittan [ittan]、issyō [iʃʃo]、itchi [ittʃi] 等。

促音拍只有成阻和持阻过程，无除阻过程，而后续子音却只有持阻过  
 程和除阻过程，无成阻过程，所以 [tt][ʃʃ] 等给人以长子音的印象。但  
 是，在缓慢而认真的发音中，我们不难听出 [tt][ʃʃ] 中的两者之间都有一  
 种音谷，而在促音拍之前绝无这种音谷，所以以上例词的音节，应划分  
 如下：

[it][tan] [iʃ][ʃo] [it][tʃi]。

古代汉语的入声对日语促音音位的形成起了很大的推动作用。所以，  
 大多数促音分布于音读词中，古汉语和现代粤语、吴语中的入声有严格的  
 对应关系。了解这一点对于促音字母的掌握有很大帮助。不过，入声有固定

音值，不按拍节发音，而促音无固定音值，但按拍节来发音，这一点要特别注意。

促音还分布于固有词中的拟态词、副词等（ばっと、ぐっと、どっと、きっと），还有表示强意的接头词（まっくろ、ひっかく）和其他强义用法（やっぱり、よっぽと）以及动词的促音便等。

【种类和发音方法】促音音拍不带有音响，但要有一个音拍的时间长度和发音器官的无声发音运动。无声发音运动表现在发音部位上所形成的阻塞的持续时间上。阻塞的发音部位与后续子音的发音部位完全相同。按发音方式可分为以下几种：

1. 闭塞促音。根据发音部位的不同，可进一步划分为以下几种。

1) 双唇闭塞促音（両唇閉鎖促音）。出现于パ行子音前，外来语中可出现于バ行子音前。

イッパイ（一杯）、モップ（mob）。

2) 舌齿闭塞促音（歯茎閉鎖促音）。出现于タチツテト子音前，外来语中可出现于ダヂヅデド、ザジズゼゾ的字音前。

ナットウ（納豆）、コッチ（此方）、ミッツ（三つ）、ラッダー（ladder）、ダズル（dazzle）。

还有感叹词中的词末促音。

アッ，危ない。こらっ，出ていけ。シーッ。

服部四郎认为是声门闭塞促音。浜田敷氏认为是舌齿闭塞促音。

3) 舌根闭塞促音（軟口蓋促音）。出现于カ行子音前。外来词中可出现于ガ行子音前。

コッカ（国家）、ニッキ（日記）、ドッグ（dog）。

2. 摩擦促音。根据发音部位的不同，可进一步划分为以下几种。

1) 舌齿摩擦促音（歯裏・歯茎摩擦促音）。出现于サ行子音前。

イッサツ（一冊）、ケッシン（決心）。

2) 声门摩擦促音（声門摩擦促音）。出现于拟声词和外来词ハ、フ、ヘ、ホ的子音前。

ホッホッホ、マッハ（Mach）。

3) 双唇摩擦促音（両唇摩擦促音）。出现于外来词ファ、フィ、フ

エ、フォ等的子音前。

バッファ (buffer)、ラッフル (ruffle)。

4) 硬口盖摩擦促音。出现于外来词中的ヒ的子音前。

アビッヒ石 (arichi石)

另外，外来词和口语词中还有位于ラ行子音前的促音，如あっれ等，可称作舌边促音(齿茎侧面促音)。发音时，舌尖抵住上齿龈，呼气从舌部两侧流出。

促音拍原则上位于清音的塞音〔p〕〔t〕〔k〕和擦音〔s〕〔ʃ〕前。但在外来语中可位于浊塞音〔b〕〔d〕〔g〕和浊塞擦音〔dz〕〔dʒ〕之前。这时后续子音要发成清音。转音情况如下：

グッド→グット (good)

モップ→モッブ (mob)

バッジ→バッチ (baage)

ダッグ→ダック (dag)

促音的发音在发音运动上要 and 后续子音保持相同的发音部位。持阻过程要和前后音拍保持相同时间。

そこで 〈接续词〉

1. 表示后项动作行为是为了适应或克服前项中的事态而做。

①春とはいえ、たいへん寒い。そこで防寒帽子に防寒靴の姿で出かけた。／虽说是春天，还相当冷，所以出去时穿戴了棉鞋棉帽。②萬一消防夫の試験に落ちると、また失業で苦しまねばならない。そこで看守の試験を受けるとそれがうかってしまった。／万一考不上消防队员，还得受失业之苦。想到这，去参加了监狱看守的考试，竟然考上了。③彼らはきっと集っているだろうと思った。そこで私も急いでそこへ足を速めた。／我想，他们一定集合起来了。于是，我也加快脚步向那里赶去了。

2. 说明后项是前项的自动性结果。可用すると代替。(用法1不能)

①列車は規定のスピードをオーバーした。そこで安全装置が働いて列車は自然とスピードを落とした。／列车超过了规定的速度。于是，安全装置启动，列车便自动减速了。

3. 表示转变谈话的角度，对前述内容作举例说明（例①、②）。或变换话题，等于さて、ところで（例③、④）。

①そこで、試みにいくつかの新聞を読み比べてみよう。四つか五つの新聞を並べで読んでみますと、おやおや、いろんな違いが目につきます。／那么就让我们对比着读几份报纸。把四五份报纸摆开一读，可不是，发现各种区别。②そこで、ここにある一つの事件が起きたとします。そこへ各新聞社の記者がどっとかけつけます。／那么，假定这里发生了某一个事件，于是各报社的记者便蜂拥而至。③そこで君に尋ねてみたいことがある。／那么，我有件事要问你。④そこであの件について検討してみよう。／那么，让我们就那件事商量一下吧。

【参考】1. そこで和それで。用法1当前后项有明确的因果时也可用それで代替，如例①、②。反之不能，如例③。

2. そこで和だから不同，不表示纯粹的因果关系。如“十年も勉強した。だから（※そこで）うまい。／学了十年，所以很高超。”

3. 下例的そこで是そこ和で两个词。

山の頂に登った。そこで皆で弁当を食べた。／登上了山顶，大家在那儿吃了盒饭。

但下例可作两种解释。

みんな校門の前に集まった。そこで宣誓式が行われた。／大家集合于校门前，于是（或：在那儿）举行了宣誓仪式。

若是接续词，应该用逗号隔开。

そこへ 〈词组〉

表示前项动作行为完成时，偶然发生了后项的事态，二者衔接在一起。相当于副词或接续词（例②）。

①初の崩壊で、辰吉は土砂に足をすくわれて倒れ、いったんそこから立ちあがったが、そこへ二回目の崩壊が襲ってきたのであった。／由于第一次坍塌，辰吉被绊住脚倒下了，随后曾站起来，可就在这时，第二次坍塌袭来了。②母は台所から西瓜の切ったのを持ってきて、菓子鉢をずらしてそこへ置いた。そこへこんどは巡查と父の捷作がやってきた。／妈妈从厨房里拿来切好的西瓜，挪动点心盒把西瓜放在那里，这时又有警



察和爸爸捷作来了。

### 素材 ソザイ 素材

时枝诚记的术语。语言的成立条件之一。指语言主体的表达内容或理解内容。素材对于语言主体来说是客体。任何事物通过概念化过程都可以成为素材内容。其中包括听者和说者这两种语言主体。句子中出现的第一、二人称代词之类就是成为素材内容的说者和听者本人。

素材也是语言成立的必要条件之一。没有主体或没有素材都不成其为语言。时枝把素材和语言的关系比作乘客和列车、自来水和自来水管。

关于素材的理论对于解释语言现象有一定的积极意义。如，同样的素材内容可以用不同的语言形式表达，是因为素材和语言形式是不同的概念。决定语言形式的不是素材内容，而是语言主体的认识方法。

### そして 〈接续词〉

来自そうして的约音。

1. 表示单纯的并列关系，前后项甚至可以对调。这是そして的本质用法，其他均由此派生。

①商店へ行って、そして書店へ行った。／去了商店，还去了书店。  
（也可说成“書店へ行って、そして商店へ行った”。）②なんという真剣なそしてけわしい漁師<sup>りょうし</sup>の生活だろう。／多么严肃而艰难的渔民生活啊！

2. 表示动作、状态的按顺序累加。

①彼はアメリカに留学し、そして博士号を得た。／他到美国留学，还得了博士学位。②ここではすべての売買は物々交換である。そして日常生活にとって必要度の高い品物ほど価値がある。／这里一切买卖都是以物易物，而且越是日常生活需要的东西越有价值。

3. 表示轻微的因果关系。

①いっしょうけんめいに仕事をやりつづけ、そしてとうとう倒れてしまった。／拼命地坚持工作而终于累垮（病倒）了。

【参考】1. 以上3种用法没有明确的界限，比如3的用法也兼带1、2的意义，有些例子不在语言场合中就看不出是哪个用法。下面这个极端的例子可作3种解释。

大いに飲んだ。そして酔いつぶれてしまった。／喝了许多，然后（而且，所以）酩酊大醉。

2. そして和それからの区别。一般可以替换，但そして只表示累加意识，而それから更注重前后的时间顺序。因此，只有顺序性的前后两项不能用そして，要用それから。如“先に復習して，それから（※そして）予習しなさい。／你先复习，再预习。”另外，それから难以用于连体修饰语内部。

そのあげく （其挙句、其揚句） 〈接续词〉

表示后项是由前项中的动作、行为而造成的结果、结局。

①その晩，4人はいろいろ相談した。そのあげく，一緒に出かけることに決ったのである。／那天晚上4个人商量来商量去，最后决定一起出去。②多喜二多喜二と一人で騒いで，その挙句，何人かの友だちにトバッチリをかけることになった。／一个人“多喜二”、“多喜二”地吵吵嚷嚷，结果连累了好几位朋友。

△强调可用“そのあげくのはてに”（其挙句の果てに）形式。

そのうえ （その上） 〈接续词〉

由连体词その、接续性的形式名词うえ构成。也说成そのうえに。表示对前项追加更进一步的内容或另外的内容。

1. 用于句子之间。

①会場は薄暗かった。その上妙に静かだった。／会场光线暗淡，并且静得出奇。②代助は此額が甚だ嫌である。第一，字が嫌だ。そのうえ文句が気に入くない。／代助甚为讨厌这个条幅。首先，字儿（写得）讨厌。再加上词儿不称心。③総面積は実に55萬平方メートルに達します。そのうえ，周囲には，水をいっぱいたたえて三重のほりをめぐらせています。／总面积竟达到55万平方米，周围环绕着三层水量充足的护城河。

2. 用于分句之间。

①香央の娘は，両親によく仕え，その上，歌を詠むし，琴も上手です。／香央家的小姐很孝敬父母，而且知诗（和歌）、善琴。②家はもう破産状態なのに，その上主人を殺された。／本来家业已到破产边缘，又被害死了丈夫。③それは僕には番外の用だったし，そのうえ五月のはじ

めの暑い日でずいぶん苦労した。／那对我本来就是份外的任务，这还不算，正赶上五月初的热天，真让我吃苦了。④伝染病は一度発生すると、たちまち広がり、その上に死亡率の高いものです。／传染病一旦发生就立即传播，而且死亡率很高。

【参考】 1. そのうえ和それから。前者不能用于主观陈述形式中。如：※金がほしい。その上，名声もほしいなあ。应为：金がほしい。それから，名声も得たいなあ。或把句末改为愿望、意志、命令以外的形式，如：金がほしい。その上，名声も得たいんだ。

2. 形态上也作副词用，意义与以上完全相同。

①10人の子供を生んだ私の両親は、その上に2人の孤児を育てたのです。／我的父母生了10个孩子，此外又养育了两个孤儿。

そのうえで （その上で） 〈接续词〉

由连体词その、形式体言うえ、助词で构成，表示前项动作或状态结束后进行新的动作或出现新的状态。

①城外の兵士たちは悉く城内に呼び入れられ、その上で七つの城門は堅く閉ざされた。／城外的兵士们被悉数叫进城内，然后，七个城门都紧闭了。②この富子の命一つは助けてほしい。そして、その上で私をどこにでもつれて行け。／我请求你饶了富子这一条命。然后你就把我随便带到什么地方去吧。

そのかわり （その変り） 〈接续词〉

由连体词その、形式名词かわり构成。有些副词性，因此有人认为是副词。和かわりに的接续用法一样，更近于接续词。也说成そのかわりに，用于句子间或分句间。

1. 表示后项内容是前项内容得以实现的补偿性条件。

①貸してあげよう。その代わり約束を守って2月までだぞ。／借给你吧。不过你也要遵守约定，是到2月为止啊。②まあ辛抱しな。そのかわり，家についたらうんとで馳走してやるからな。／你就坚持一下吧。那我就等回家时多多给你好吃的。③「もしかしたら，あなたの気にさわることを話すかもしれないけど，黙って聞いてくれる？」「ああ、いいとも。そのかわり正直に話せよ。」／“我要说的话也许是你介意的，你

耐心听吗？”“噢，当然。可是，你也要说老实话。”

## 2. 表示前后两项利弊各半。

①私は別に驚きはしなかった。そのかわり，“しまった”と思った。  
／我并没怎么吃惊，不过心想：“糟了！”②ええ，すっかり片付けちゃいました。そのかわり，どうも骨が折れましたぜ。／是的，我全收拾好了。可也累得够呛。③「あの人なぞは，出来の良い人だから，卒業するとすぐ大会社に入ったじゃないか」「そのかわりしくじって，もう帰ってきました」／“象他不就是因为学习好，一毕业就进大公司了吗？”“可是，他没干好，已经回来了。”

## 3. 表示后项状态填补了前项的空缺。

①ここには貨幣がない。ここではそのかわりにタバコがその役割を果す。／这里（指监狱）没有货币。在这里香烟取而代之行使这一职能。②悠一はびっこだから追いかけられない。そのかわりに逃げ出して行く当人は「逃げると，ぶった斬るぞ」とからかう。／悠一因为是瘸腿没法去追。相反跑的那个人却要笑他：“你跑我打断你的腿。”

### そのくせ （其癖） 〈接续词〉

由连体词その、形式名词くせ构成。有意外，厌恶的语感。

## 1. 表示前项的言论、地位等和后项的实际情况不相称。表里不一等。

### 1) 用于句子之间。

①青二才に何が分るものかという様な風をする。其癖自分は實際何も分って居ないらしい。／装出一付“小毛孩子你懂个什么”的派头，其实看来他自己什么也不懂。②いかに軍規が寛大かということを語っとる。そのくせ，わしらがシャツ一枚でも盗まれたら，重罪じゃ。／说军规是多么宽大，可是我们哪怕是被偷了件衬衣，也是大罪。

### 2) 用于连接分句。前项常带ながら、が、のに等逆接接续助词。

①いつも弱い者もあわれむというが，そのくせ，一度も実行しない。／总是说也要怜悯弱者，却一次也不实行。②別に有力な地位ではないのに，そのくせ，いかにも威張っている。／本不是什么有实力的地位，却大显威风。

## 2. 表示对立、并列的性质、状态之间差异很大，以至于不相称。



## 1) 连接句子和句子。

①ビールはいくらでも飲める。そのくせ、ウイスキーを少しでも飲んだら酔っぱらってしまうやつだ。／他啤酒有多少喝多少，而威士忌只要喝一点儿就醉。②思いがけないほど彼女の父はやさしかった。そのくせ、母はきつすぎる。／她父亲意想不到地和蔼，可她母亲却太厉害了。

3) 连接分句。如上例②可说成～さやさしかったが、そのくせ～。省略。

## 3) 连接句中相同地位的成分。

①ゆっくりとした、そのくせ、刃物のように鋭い波濤／缓慢的，却又象利器一般锋利的波濤。②階下で、妻の笑い声が聞こえた。押し殺したような、そのくせ、よく通る声だった。／从楼下传来妻子的笑声。是一种用力压低了似的，却又能传得很远的声音。

【参考】连接句子时，后项必须是说者厌恶的事实，反之不自然。试比较：

①あの人には金持ちだ。そのくせ寄付となるとそっぽを向く。／他是有钱人，而一到捐款却不理睬。②※あの人には貧乏だ。そのくせ困っている人のために喜んでお金を出す。

## そのくらいなら 〈接续词〉

由连体词その、形式名词くらい（位）、だ的假定形构成。表示如前项（事实或假定）属实，宁可作后项消极的选择。后项多为～方がいい，～ばいい，～にしよう等形式。

①音楽を聞いている、気持ちが悪くなったという。そのくらいなら、無理に聞かなければいいのに。／据说他听着听着音乐，心情烦躁起来了。早知如此，何必非要听呢。②別れたあとの事を思うとさびしくてたまらない。そのくらいなら今のままがいい。／一想将来分开（离婚）以后的事心里非常寂寞。若是这样还不如象现在这样的好。③成功しなければとんだ損になるのだ。そのくらいなら始めからやらない方がいい。／如果不成功就要受很大损失。与其那样，还不如一开始就不搞。④そのくらいなら行かないことにしよう。／如果是那种情况，干脆别去了吧。

## そのせいで 〈接续词〉

以肯定语气表示前项是后项不良结果的原因。

①雑事いっぱいだ。そのせいで、研究はあまり進まない。／杂务缠身。所以研究进展不大。②何事につけても正直な人だが、そのせいで、彼の悪口を言う人も多い。／他遇事正直，由于这一原因，说他坏话的人也多。

そのため 〈接续词〉

由连体词その、形式名词ため构成。有副词性质，尤其是后续に、には时。

1. 表示前项是后项的原因。前项成立于后项之前。主要用于句子或分句之间。

①電源は破壊された。そのため、机の中央には、ろう燭が立てられていた。／电源被破坏了，因此桌子的中央立着一根蜡烛。②今日は日ようです。そのため、大変な人出です。／今天是星期日，所以人很多。③うんと勉強したからとてそのために成績がよくなるとも限りますまい。／未必因为努力学习了成绩就因此而好起来。

2. 表示为了前项所陈述的目的而进行后项的行为等。前项成立于后项之后。主要用于句子之间。

①当時、私は人間の表情を研究したかった。そのために、私は骨相学を学んだ。／当时我很想研究人的表情，为此而学习了观相术。②日本の大学に入りたいという外国の青年も多いが、そのためには、まず日本語を勉強しなければならない。／想进入日本的大学的外国青年也很多，（他们）为此要先学日语。

そのついでに 〈接续词〉

表示进行前项的同时顺便进行后项。主要用于句子或分句之间。有接续作用。

①六日から一週間集団旅行する予定です。そのついでに定年退職した社長を訪問するそうです。／预定从六日开始集体旅游一周。听说要顺便去访问已退休的经理。②知り合いの家に七日ほど泊めてもらい、そのついでに、高野山にも入った。／在熟人家里留宿了七天，其间顺便进了趟高野山。

### そのとたん 〈接续词〉

表示（几乎）在结束前项的一瞬间里发生了后项。主要用于句子和分句之间。也说成そのとたんに。

①鉄郎は、胸をはった。そのとたんに、雪道に足をとられて尻もちをついてしまった。／鉄郎挺起了胸脯。就在这时，脚陷在雪地里坐了个屁股蹲儿。②突然，列車がとまった。そのとたん，打てばひびくように車内放送が，この先に崖崩れがあって列車が進めません，と告げた。／突然，列车停了。同时，车内广播立即报告说前方发生滑坡，列车不能前进。

### そのはんたいに （その反対に） 〈接续词〉

表示后项是与前项相反的事物及其性质、状态等。

①探偵小説などは非常に広く読まれている。その反対に，純文学はかげがうすい。／偵探小说等拥有众多的读者。相反，纯文学受冷落。②こうして見れば，日本も欧米型の社会的病理を共存することになる。その反対に，歴史的文化的な伝統の強さを基礎に社会の発展をはかれば，日本はいつまでになっても例外的な先進国として生き残されるのではないか。／这样看来，日本也同时具有欧美式的社会病态。与此相反，假若以历史和文化方面的传统之强大为基础来谋求社会的发展的话，那么日本不是将永远作为例外的发达国家而生存下去吗？

### そのはんめん （其反面） 〈接续词〉

由连体词その、名词はんめん构成。表示后项是与前项相反的或另一个极端的情况。主要用于句子或分句之间。

①お調子もののところはありますが，その反面，勤勉さも実直さも併せ持っているように見受けられました。／他言行不谨，但给人以勤奋耿直的印象。②戦前にすでに作家として注目された芹沢は現在もなお，書きつづけている。その反面，戦後に出発した小説家のなかで，ここ数年既に創作力の枯渇したかに見える作家もある。／战前即已作为作家而受到瞩目的芹泽现在仍继续创作着。相反，在战后开始起步的小说家中，也有的人看来似乎创作能力已经枯竭了。

### そもそも

〈副词〉文言指示词そ（＝それ）和助词も结合的叠语。表示发展为现实

状态的事物的最初出发点，常用于文章、讲演。一般指事实的开端、重要的起因等。

①それは、僕が小説を書きだしたそもそもの原因なんだ。／那就是我写起小说来的最初的原因。②彼を行かせたのがそもそも行けなかったのだ。／坏就坏在派他去了。③たまたま彼女と帰りのバスが一緒になったのがそもそもの始まりだ。／在回家的公共汽车上偶尔和她赶在一起，这就是事情的发端。

〈接续词〉表示结束上文，另起有关上文的真象、本质、由来等的下文。意在说明事物的本来面目。

①進学，進学と気やすく言うが，そもそも大学へ行くにはいくらぐらい費用がかかるか，考えたことがありますか。／升学、升学，说的挺轻松，其实，你（们）考虑过上大学需要多少费用吗。②そもそも自分の子供を育てる時でも，その子が将来，自分の老後の面倒を見てくれる，といったことをあてにして育てるのではない。／说起来，既使抚养自己孩子的时候，也并不是指望着孩子将来养自己的老才抚养的。

それが 〈接续词〉

可看作接续词。理论说明见“が”项。

1. 表示新旧事物的矛盾性的对照。常有意外、惊叹的语感。

①長原駅から歩いて二、三分の所に私は住んでいる。それが，いつからか五分から十分もかかるようになってしまった。／我住在离长原车站步行三分钟的地方。可是不知从什么时候起，需要五分钟以至十分钟了。（因衰老）②小学校時代には教室まで一つだったのだ。それが十年かそこらの年月の間に，二人の生活は恐ろしくかけ離れたってしまったのだ。／在小学时代，连上学也在一个班。可是在十年左右的时间里，两个人的生活惊人地拉开了距离。③光秀は部隊を動かしたくても動かさなかった。それがこの夜九時に，京都から使者が来たことで一切は決った。／光秀即使想调动部队也调不动了。可在这天夜里九时因京都来了使者，各项事宜都定了下来。

2. 表示前项中的估计与后项的实际有很大出入。常有意外、感叹的语感。



①もう二、三人はありそうなものである。それが、この男のほかに誰もいない。／本来觉得还应该有两三个人。没想到除了这个人之外谁也没有。②お母さんたちは、学校から帰るとすぐ机に向う子どもの理想像を持っている。それが現実には意の如くならず、多分にお腹立ちです。／在母亲们的心目中，孩子的标准形象是放学回来立刻伏案学习，而现实偏不如意，使母亲们大为气恼。③いろんなデータを調べたあげく、力学的にこの種の蜂の飛行は不可能なんだそうです。それが、実際には平気で飛んでいる。／据说经查证多种数据，证明这种蜂从力学上看不可能飞行。而实际上却飞得安然自得。

【参考】 1. 有时それが介于接续词和主语之间，或者说兼有二者的职能。

①昔々，大昔，さるのしっぽはとてもとても長かったのです。それがくまに騙されて，あのような短いしっぽになってしまったのです。／很久很久以前，猴子的尾巴是很长很长的。（可是）由于上了熊的当，变成那种短尾巴了。

2. 在“それがしるしに”（其证据是）等各别固定说法中，“が”是文言属格助词，“それが”等于“その”。

3. 参照“それを”的“参考”。

それから 〈接续词〉

可用于句子间、分句间、句节间。

1. 表示累加、追加。

①これから言うことに，よく注意して下さい。それから，このことを，人にしゃべらないで下さい。／请认真注意我下面要讲的话，并不要把这件事告诉别人。②それで，大阪のお住い，どこですか。それから，お名前と，年齢は。／那么，你在大阪的住处是哪儿？还有，你的姓名和年龄？③部屋は衣類，書籍，それからいろいろな道具で一杯になっている。／房间里堆满了衣服，书籍以及各种工具。

2. 表示两个无关的动作事件在时间上的顺序。

①去年は11月4日初めて霜が降った。それから11日には二度目の霜が降った。／去年11月4日第一次下霜。然后，11日下了第二次霜。②

私は彼から外套と<sup>かばん</sup>鞆を受けとり居間にとおした。それから、寝室で着替をした。／我从他手里接过外衣和皮包，把他引到居室。之后，我在寝室换了衣服。③学校の井戸へ行って水を飲み，それからまた運動場へ引きかえした。／到学校的水井喝了水，然后又返回到运动场。

△それから和そして。为表示前后动作有关连，要用后者。如无关连，二者均可，但前者强调顺序性，后者强调累加性。

①学校の井戸へ行って水を吸み，そしてそれを花壇にまきました。／到学校的水井打了水，把水浇到学校的花坛里。②彼の楽しみは寝る前にコーヒーを飲み，それから（そして）ステレオを聞くことだ。／他的乐趣就是睡前喝咖啡，然后（和）听立体声。

3. 用于催促对方接着说下去，或作为没想起下文时的插入语。

①「それから?」「それから北のほうへ防風林を一区画，なるべくは林を多く取っておくことにしました。」／“然后呢?”“接下来准备朝北边划出一块儿防风林，尽可能多地划进一些树林。”②訪ねてきた人は，背の低い，それから，めがねをかけて，それから顔色の黒い人でした。／来访的人是个矮个子，另外，戴眼镜，另外，脸色很黑的人。

【参考】下例的それからは副词用法。

①二人はそれから仲よくなりました。／他们俩从那以后关系密切。

△和そして的区别详见“そして”项。

それきり 〈副词〉

兼有接续词性质（如1例①等）。有それぎり、それっきり等变体。

1. 表示前项动作行为至此嘎然而止，紧接着出现静止性的状态。

①代助は<sup>とう</sup>籐の安楽椅子に腰をかけた。夫れ<sup>そ</sup>限り<sup>き</sup>ぽかんと何か考えこんでいる。／代助坐到籐椅上，然后就一直呆呆地想着什么。②課長はそばの順太郎をちょっと見た。それきり黙りこんでしまった。／科长看了一眼旁边的顺太郎，就再也不言语了。

2. 表示前项行为进行之后就一直没出现设想应该出现的行为。和否定呼应。

①彼は私の本を借りて，それっきり返さない。／他借了我的书，就

一直不还。②又屋上のハトはどうなったろうか。私はそれっきりもうあそこには帰らなかった。／还有，房上的鸽子后来怎么样了？我从那（次离开）以后再也没有回去。

3. 表示就此为界，近于それだけ。

①二人の交際はそれきりになっている。／他们俩的交际从那时就终断了。②私の知っているのもそれきりさ。／我所知道的也只有（你说的）那些。

それだ系（1） 〈顺态接续词系列〉

【构成】由指示词それ、助动词だ的活用形，助词等构成，每一个相当于一个接续词。最常用的是それで、それでは、见各独立项。此外主要有：それだから、それであるから、それであればこそ、それだからして、それだと、それだったら等。

【用法】1. それだから。主观上明确表示前项是后项的原因。常用のだ结句。

①岡田君，この呉<sup>ごしゅん</sup>春<sup>きふつ</sup>は偽物だよ。それだからあの親父<sup>おやじ</sup>が君にくれたんだ。／冈田君，这张吴春（的画）是赝品，所以那老头子才给你的。②母の住んでいる町は新聞などでは戦争中に全滅してしまったと伝えられたけれども実際に行ってみなければ分ったものではない。それだから，私は母が生きているのか死んでいるのか分らなかったのだ。／报上说母亲住的镇子在战争期间变为废墟了，但是不实际去看就搞不清楚。所以，我当时不知道母亲是活着还是死了。

△另有文章语形式それであるから、敬体形式それですから。意义完全相同。

①彼は文盲であつた。それであるから，つい昇進し得ずに8年の軍隊生活をすごした。／因为他是个文盲，所以，过了八年军队生活而一直没能提升。②4時になっても人はあまり集まらなかったのです。それですから，私たちは会期を一日延長しなければならなかったのです。／直至4点也没集合起多少人来，所以，我们只好把会期延长了一天。

2. それだからこそ、それであればこそ。后者是前者的文章语形式。“正因为如此”。

①二郎は生まれつきの身体障害者である。それだからこそ、子供の時から両親に一層のこと愛護されてきたのである。／二郎是先天性的伤残人，也正因为如此，从小就倍受父母的爱护。②それであればこそ、おびただしい古代人の遺品が、この地域から発掘されたのである。／正因为如此，才能有大量的古代人遗物从这一地区出土。

3. それだからして。近于それだから，但推论性强。

①それだからして，皆が反対しているのでしょうか。／是因为这一点，大家才反对的吧？

4. それだと、それだったら。表示以前项所述作为假定条件，作出后项的判断。

①いっそここの物は，終日家を守っている彼女の夫に預ってもらおうか。それだと，盗難の危険は少ない。／干脆，这里的東西就委托她終日不出门的丈夫保管吧。这样，被盗的危险性小。

⇒それだ系（Ⅱ）、それで、それでは、それなら

それだ系（Ⅱ） 〈逆态接续词系列〉

【构成】由指示词それ、助动词だ的活用形、助词等构成。每一个相当于一个接续词。最常用的有それでも，见另项。此外主要有：それなのに、それなのに、それでいて、それでいながら等。

【用法】1. それなのに、それなのに。表示前项的内容所应该有的结果、文脉上的趋向与后项的实际情况矛盾或者相反。それなのに比前者常用。

①半年も勉強すれば少しは日本語が話せるようになっていた。それなのに，さっぱり上達しない。／原以为学上半年就能说一点日语了，哪知毫无长进。②君は——君は警官だぞ！それなのに，殺人を黙認しているのか。／你，你可是警察噢！难道你对杀人默许了吗？③松川のお袋は地味な<sup>かすり</sup>緋の和服を着ていた。それなのに，胸や腰の丸味だけは隠すべくもなかった。／松川的母亲穿着淡素的碎白点花纹的和服。尽管如此，胸部和腰部的发福总是掩饰不了的。

2. それであるのに。1的文章语形式，意义相同。

①あれからもう10年以上経っているであろう。それであるのに私



はあの事は忘れたくても忘れられないのはなぜであろうか。／从那时起，已经过去十几年了吧。虽然如此，我想忘掉那件事也忘不掉，这是为什么呢？

△それなのに等和ところが的区别：前者用于两项的因果关系没有实现而出现矛盾的情况，这时用后者亦可。但若无这种背后的因果关系，则只能用后者。试比较：

①約束の時間になったので家を出た。ところが（※それなのに）途中で急に腹が痛くなった。／因为到了约定的时间，出了家门。可是，半路上突然肚子疼起来了。②薬を飲んでから家を出た。それなのに（＝ところが）途中で急に腹が痛くなった。／吃过药从家里出来，可是半路上突然肚子疼起来了。

△それであるのに、それなのに也可表示两个事件的对照。对比。

①ほかのセールスマンは、必死になって売ろうとしても、なかなか売れない。それなのに、彼はスイスイ売ってしまう。／别的推销员即使拼命地想卖也卖不出去。可是他却销路畅通。

3. それでいて。表示发现前项事实始终存在的同时发现后项相矛盾的、相反的事实。连接句子、分句、句节。

①その顔には年の割に肉が多い。それでいて頬は痩せている。／脸上的肉按年龄论多了一些，但面颊清瘦。②誠太郎は言い返す言葉はなかった。豊太のいうのは、いかにも尤もだった。それでいて、妙に腑に落ちかねるふしがある。／诚太郎无言以对了。丰太说的的确有道理，同时又说不出地有些难以理解之处。③『本日休診』は救いなき戦後の世相を反映しているのであるが、それでいて牧歌的な作品となっている。／《今日休诊》反映的是战后的不可救药的世态，而同时又是牧歌般的作品。④奇妙な音楽が、単調な、それでいて耳慣れないメロディーをくり返している。／一种奇怪的音乐重复着单调的，却又不熟悉的旋律。

4. それでいながら。同それでいて，但转折语气更强一些。

①それでいながら，吾一の心は草の葉のようにゆれていた。／尽管如此，吾一的心还是象草叶儿一般地动摇着。②私たちの間にはもうな

にもないのです。それでいながら、私はあなたから離れることができません。／我们之间已经什么（感情）也没有了。虽然如此，我又不能离开你。③弟は別に喧嘩したくもなかった。それでいながら、相手に対する虚勢があって、逃げるわけにもいかない。／弟弟并没想打架。但是为了不向对方示弱，又不能逃避。

⇒それだ系（I）、それでも  
それだけでなく 〈接续词〉  
表示相同性质的并列。

①彼はクラスのトップです。それだけでなく皆に好かれています。／他不但是班上的尖子，而且受到大家的喜欢。②醜い女だった。それだけでなく、自分の醜さを知っていない。／是个丑女人。而且，一点也不知道自己的丑。

それだけに 〈接续词〉

从前项事实出发理所当然地，或与前项事实（的程度）相应地，出现后项的结果。

①神山は刑事歴30年のベテランである。それだけに、容疑者の扱い方にも慣れている。／神山是一位有30年侦探经历的老手儿。因此，熟知该如何处理嫌疑犯。②中の空気がむっとしていた。それだけに、ドアがあげられ、ひやりとする空気にふれると、気持ちがよかった。／正因为里边的空气闷热，所以一打开门接触到凉爽的空气便心情舒畅。③三根子はこの7年間、一度も欠勤したことがなかった。それだけに、突然休んだりすると、話題になることは避けられまい。／三根子这七年中一次也没缺勤过。正是这样，一旦突然不来上班，就难免成为话题了。④この種の建物は費用もかかるが、それだけに丈夫です。／这种建筑费资金，但也相应地坚固。

それで 〈接续词〉

1. 表示后项结果是由于前项事实引起的。和それだから的推论性不同，是客观性的描述。用于句子或分句之间。

①一生懸命に働いた。それで、彼は金持ちになった。／拼命地干，于是他成了富翁。②とにかく要心は肝心だといわれて、それでうかが

いにまいりました。／有人劝我遇事总该三思而行，所以向你求教来了。

## 2. 表示转换并发展话题。

①可哀そうにね。大阪から来たのでは、疲れてるでしょう。それで、大阪のお住い、どこですか。／真苦了你了。从大阪来的，那一定累了吧？那么，你在大阪的住处是哪儿？②以上が向こうの考え方でございました。それで、折り入って頼みたいことがございますが。／以上就是对方的意思。对了，有件事要恳求你办一下，不知……。

## 3. 用于催促对方把话接着讲下去。

①「私ね、さっきから考えてたんだけど……」「それで？」「何だか分ってきたような気がするのよ」／“我刚才就在想……”“怎么样？”“觉着好象有些明白过来了。”②「あのねえ、昨日ね、見たことのない猫がうちにはいつてきたの」「それで」「うちで飼うことにしたわ。いいかしら」／“我跟你说，昨天哪，一只没见过的猫进咱家来了。”“那你就……”“决定在咱家里养起来。可以吗？”

【参考】1. だから和それでの区别：两者都表示原因，但后者客观性很强，不能用于前项或后项是主观表达形式的句子中。试比较：

①雨が降っていました。それで（＝だから）旅行をやめました。／当时正下着雨，所以不去旅行了。②雨がひどく降っています。だから（※それで）旅行をやめましょう。／雨下得挺猛，所以旅行别搞了吧。

另外，当前项是后项的根据而不是原因的时候，要用それで，不用だから。

①調査報告によれば、ねじが一本折れていたという。それで（※だから）飛行機が墜落した原因が明らかになったのである。／据调查报告说，一颗螺钉断了。这样，便查清了飞机坠落的原因。

2. 下例是それ and での临时组合，其中で在下例①是格助词，在②是だ的连用形。

①つまり、いくら角や線をかいても、それで角を三等分することができないのです。／就是说，无论划多少角和线段，也无法以此来把角三等分。②それでこそ男だ。／那才是个男子汉呢！

⇒それだ系 (I)

それでは 〈接续词〉

口语中常音便成それじゃ、それじゃあ、是では的郑重说法。

1. 在前项话题或对方话语的基础上，在后项提出疑问、问题、意见等。

①「学校は東京です。」「東京？ それじゃもう始まっているじゃないか。」／“我在东京上学。”“东京？ 那不是已经开学了吗？”②「明日帰るんです。」「それでは、今日きっぷの予約をした方がいい。」／“我明天回去。”“那样的话，最好今天预约车票。”

2. 用于结束语之前，表示结束全文。

①それでは、さようなら。／那么，再见。②それでは、もう時間ですから、今日の授業はこれで終わります。／好，已经到时间了，今天的课到此结束。

3. 以前项为条件引出愿望、要求等。

①「ひどく痛いか。」笑ってかぶりを振った。「それじゃあ、頼む。ぼくをこれから竹子のところへ連れていってくれよ。」／（我问他：）“很疼吗？”他笑着摇摇头。（我又说：）“那么，我求你，把我领到竹子那儿去。”

⇒それだ系 (I)

それでも 〈接续词〉

1. 表示与前项中“不利”的前提无关，后项仍然成立。连接句子或分句。

①宇宙人は人間のかたちをしていない。それでも人間なのですか。／宇宙人没有长成人的样子，而即使这样仍然算是“人”吗？②クラスの中には、宿題をやっていかない者もいた。それでも、高松先生はべつに叱らなかった。／班上也有到校时没做作业的，但是高松老师不大批评。③何と小さな村だろう，と驚く。それでも通りには結構忙しそうに村人たちが行き交っている。／我觉得惊奇，多小的村庄啊！尽管如此，道路上村民们满匆忙地来往着。④確かに欠点は多いが，それでも僕は彼が好きだ。／确实缺点很多，但我还是喜欢他。



△常和～のに、～が、～ても、～ながら等逆接形式重复使用。如例④。

2. 连接句中相同地位的成分，表示前后项是负和正的对立并列关系。

①男はぶきっちょに、それでも四角に<sup>しもぎ</sup>下座にすわって、ていねいに頭を下げた。／他笨拙然而端端正正地坐在下座，恭敬地行了礼。②お堀<sup>ほりばた</sup>辺には西洋作りのあまり立派ではないが、それでもかなりの建物があつた。／护城河边有西式建筑，虽不怎么堂皇倒也说得出。

【参考】1. それでも中的それ复指前项，でも表示转折。因此それでも和でも相近，常通可通用，如下例①。当前后项无逻辑关系时，不可用それでも。试比较：

①試験はあまりできなかった。でも（＝それでも）65点とれたからいいや。／考试没答好。不过得了65分也行啦！②今日は運動会だ。でも（※それでも）観客があまり来ていないね。／今天是运动会。可是，没来多少观众啊。

2. 另有文章体形式それであっても。

3. 另有口语形式それだって。

①走っているうちに息が苦しくなった。それだって彼は足をとめなかった。／跑着跑着，感到呼吸困难。尽管这样他仍不住脚。

⇒それだ系（Ⅱ）

それと 〈接续词〉

同それに，但没有それに常用。表示并列、追加。

①何かの予告のような気がしたんです。それと，単なる普通の夢ではないようなんです。／觉得好象是某种预言似的。而且，不象是很通常的梦。②「円盤は見えなくなったんですか？」「以前ほどじゃなくなったんです。それとあまり見たくなくなったんです。」／“后来就再看不到飞碟了吗？”“不如从前（那样频繁）了。再加上我也不太愿意观察了。”

それという系 〈接续词系列〉

由指示词それ、格助词と、形式动词いう、接续助词构成。主要有

それとはいえ、それといっても、それとて、それといつて等、均屬逆接用法，表示针对前項内容可能有的原因、逻辑結果等，后項中作否定性補充。

①何年も母に会っていないのだ。それとはいえ，会いたくないというわけではない。／好几年都没见到母亲了。虽然这样，并不是说不愿意意见。②自分が悪かったことは分っている。それといっても，どうしてもそれを認めたくはない。／知道自己错了，尽管如此，无论如何也不愿意承认。③道は悪いが，それとて働き盛りの男の足にしてみたら物の数ではない。／虽然道路不好，但是对于年富力强的男子汉的腿脚来说，根本算不了什么。

【参考】此外还有それかといつて（同そうかといつて）、それというのも（顺接，承接前文，提出其解释或理由，也说それというも）等。

①彼は真剣に病人たちをいたわっているのではないと察せられるふしが多かった。それかといつて，つらく当たっているとは勿論思えないのである。／许多迹象表明他不精心照料病人。当然，尽管如此，并不令人觉得待病人刻薄。②小学生などは分っていることでも作文にはまとめることができない。それというのも漢字が難しいからである。／小学生虽然事情懂得却不会归纳成作文。这都是因为汉字太难。

それどころか 〈接续词〉

1. 表示不利事項的递增关系，即后項的严重程度远远超过前項。

①彼はいつも忘れものをしている。それどころか，本まで忘れたことがある。／他总是忘事。不止是忘事。有时连（教科）书都忘（在家里）了。②妻の姿が消えた。病院は無断退院だと怒った。それどころか，事務局から請求書をつきつけられる始末だった。／妻子不见了。医院很恼火，认为是擅自出院。这还不算，总务处又发来了付款通知单。

2. 表示不仅前項不成立，更有后項中的不利事态等。

①金星の気体は生物が生きられるような気体ではなく，それどころか毒素が含まれている。／金星的气体不是那种生物能够生存的气体，正相反，里面含有毒素。②そんなことを考えているのなら，協力して

やらないぞ。それどころか、徹底的にじゃましてやる。／如果你是那么想的，我就不帮你的忙啦！非但如此，还给你捣乱到底。③今の学生はめぐまれた環境に感謝することを知りません。それどころか、いつも不満をいんでいます。／如今的学生非但不感谢优越的环境，还满腹牢骚。

#### それとて 〈接续词〉

也说それとても。由それといって（も）缩合而成。表示虽有前项的原因、前提，但与后项的事实是无关的。相当于副词或接续词。

①途中に石ころ道に難渋しますが、しかし、それとて毎日のように駄馬の往復している往還ではあり、働き盛りの男の足にしてみたら物の数ではありません。／虽在途中石子路行走艰难，但毕竟是每天都有驮马往返的路，对于年富力强的男子汉的腿脚儿来说也算不了什么。②ホテルの二階以上は皆空部屋にされている。それとて一階だけで沢山である。／饭店的二层以上都空着，不过只用一层也就够了。

#### それとも 〈接续词〉

1. 表示前后项的二者择一的关系。主要用于疑问句之间表示选择疑问。

①国語を勉強しようか。それとも数学を勉強しようか。／是学语文呢？还是学数学呢？②「偶然かね？それとも——」「殺人か。二つに一つね。」／“是偶然呢？还是——”“还是杀人呢？二者必居其一。”

2. 表示连续提出可能的有关连的疑问。

①どうやって、これだけの人込みから彼を見つけられるだろうか。それとも彼は来ていないのだろうか。／怎么样才能把他从这么多人的人群中找出来呢？要不然，他是没来不成？②それは誰からきいた話か思い出せない。それとも誰かの書いた物語の一部であつたかも知らない。／想不出这是从哪儿听来的了。也可能是谁写的故事的一部分。

【参考】不能用来并列单纯的（非句子的）词语。如1例①不能说成“国語、それとも数学を勉強しようか”。

#### それなら 〈接续词〉

另有それならば形式，不常用。口语中常用そんなら，见该项。

1. 表示后项是根据前项得出的认识、所作的主张。

①「だが今は分るだろう?」「もち論法律的にはね!」それなら、なぜやめさせない!」／“可是现在你懂了吧?”“从法律上,那当然懂。”“那为什么不让他们住手?!”②人がいないだろう。それなら玄関から声をかけてみましょうがない。／没有人吧? 没有人,进大门口喊也没用。③高校入試は1年からもかなりの問題がでます。それならば,1年の最初からのテキストを整理していいと思う。／高中考试从(初中)1年级(学的内容中)也出相当数量的题。既然如此,我认为可以把从1年级初起学的教材整理一遍。④磁界の中に鉄をもっていくとその鉄は磁石になる。それならば,コイルに電流を流すとその中に磁界ができるのではないだろうか。／把铁置入磁场中,这块铁便成为磁铁。若是这样,给线圈通上电流,其中难道不会产生磁场吗?

2. 用于讲话,话题的结束以及道别等。

①それなら,帰っていい。／那你就可回去了。②それなら,これで失礼いたします。／那就失陪了。

それに 〈接续词〉

1. 在客观叙述中,表示同类内容的补充、追加关系。用于日常口语。

1) 用于连接句子。

①雨はひどく降った。それに,風さえも加わってきた。／雨下得很猛,风也刮了起来。②どのビルにも,遠くからすぐ分るような標示はなかった。それに,同じようなビルばかりであった。／哪栋楼上也没有从远处一眼就能认出来的标记。而且尽是一样的楼。

2) 连接分句。

①会費も納めないし,それに活動ぶりも望ましくないから,除名になった。／不缴纳会费,加上活动情况不好,因此被开除了。

3) 连接句子中相同地位的成分。

①「御家族は何人?」「父、母、それに姉と私の四人家族です。」／“家里几口人啊?”“爸爸、妈妈、还有姐姐和我四口人。”②学生にとっては,よく学ぶこととそれによく遊ぶことが大切だ。／对学生来说,好学习和好好玩儿是很重要的。

2. 逆态转折关系。前后项的内容不相应。一般只用于句子之间。同



それなのに。

①太陽があんなに中天高くかかっている。それに 暗い。／太阳那么样高高地挂在中天，（这里）却很暗。

【参考】それに和それから。

1. 用法1 可用后者代替。反之，表示时间的推移时不能用前者。如：～して，それから（※それに）～した。

2. 命令、愿望、意志等主观叙述中不能用それに，要用それから。それから主客观叙述通用。试比较：

①もっと勉強しなさい。それから（\*それに）たくさん本を読みなさい”。／你要进一步学习，还要看很多书。②もっと勉強した。それに（=それから）たくさん本を読んだ。／又继续学习，还看了许多书。

それにしては 〈接续词〉

表示后项的实际情况与前项的说法等相比有一定的出入。

①今晚は帰りが遅くなるということだったが、それにしては ずいぶん早かったね。／你说今晚要晚些回来，照你说的（回来得）还真早呢。

②本人は10メートルもあるという話だったが、それにしては 短かすぎる。／据本人讲是有10米，照此说法就太短了。

それにしても 〈接续词〉

1. 表示依前项的让步性判断看，后项仍为严重。

①戦争で物価が高くなっていることは確かだが、それにしても、これは飛び切り高い値段に思えた。／的确由于战争 物价上涨了。但我觉得，即使如此，这价格也太高了。②それにしても，ちと横暴すぎる事が多いのじゃないか。／即便是那样也罢，有许多事情不是有些蛮横了吗？

2. 表示后项成立不受前项的约束。

①人々は一緒にわめいている。それにしても，船はひどく流されていたものだ。／人们一起喊叫着，然而船还是被急流冲得很远。②海は猛りをあきらめ，風と雨とに圧倒されたようだった。それにしても何と荒涼たる町か。／海不再咆哮，象被风雨压倒。然而，这是多么荒凉的小镇啊！

3. 表示前项已解决，但仍有后项中的问题。

①気楽に雨宿りをなさって下さい。それにしても、どこにお泊りなのでしょうか。／您请避雨，不必拘束。可您在何处住宿？②これが井伏氏の小説の味です。それにしても、その奇想天外の着想は、一体どこから得たのでしょうか。／这就是井伏先生的小说的韵味。这不必多说。而那神妙莫测的构思，到底是从哪里得来的呢？

【参考】更口语化的形式是それにしたって。意义相同。

①「あんまり近寄るのは、危険だよ。私たちの車はいけない。」「それにしたって、もうすこし近付いても、大丈夫だと思うな。」／“靠得太近了危险啊。我们的车不行。”“可是，我看再稍靠近一点儿也没关系。

それにつけても 〈接续词〉

表示后项是由于前项中内容而引发的某种想法。

①成程親は有難いものだ，他人ではとてもこうはいかないと，呑気な僕もその時だけは大いに感動した。それにつけても，こんなにのろくらしえては勿体ない。／漫不经心的我那一次确实很感动，觉得父母到底是可贵的，别人是根本做不到的。就凭这一点，象这样游游逛逛太不值得了。②許仙は白娘子を妻として迎えて，すべてに満足であったが，それにつけても，前に蛇に化かされたことが，ちらちらと思い出されるようであった。／许仙娶白娘子为妻，对一切都如意。但是这又有些使他若明若暗地回想起前次被蛇迷住的事来。

それにつれて 〈接续词〉

表示后项的进展变化是随着前项的。主要用于句子或类似句子的成分（例②）之间。

①支店長との折り合いは、融和するようになった。それにつれて、彼の自分に対する態度も段々変わってきた。／和支店长的关系融洽起来了。随之，他对我的态度也渐渐转变过来了。②列車は臨港線から本線へ入ったらしく、速度が急に増して来、それにつれて電灯も明々と輝き出した。／列车好象已从港口专线进入了干线，速度突然加快，随着，电灯也开始放出明亮的光芒。

それにもかかわらず 〈接续词〉

表示后项内容与根据前项予想的结果矛盾。一般只用于连接句子。文

章中それ也可以省去也。说成にもかかわらず。

①現実はいつも私たちにそむいた。それにも拘らず、私たちは理念をすてようとはしない。／尽管现实总是违背我们，但是我们不愿抛弃信念。②君は目前の生活を決して悔やんでいるわけではないのだ。それにも拘らず、君は何かにつけてすぐ暗い心になってしまう。／你肯定并不悔恨目前的生活。尽管如此，你一有什么事就马上心灰意冷。

そればかりか 〈接续词〉

以反诘的语气表示在后项对前项追加新的，程度比前项更严重的情况。多用来连接句子或句中相同地位的词语。

①カメラとラジカセと、そればかりか書類まで取り上げられた。／照相机、收录机，甚至文件都被没收了。②私は今質に入れる物は全然ない。そればかりか、今身につけている着物まで質物になっている。／我现在岂止是无任何东西能够典当，甚至连现在身上穿的衣服都是抵压品。③<sup>のりお</sup>法夫は、目は、ちゃんとあけているのだが、返事をしない。そればかりか、狂人の目のように焦点がぼやけている。／法夫眼睛睁得好好的，就是不回答。非但不回答，眼睛都发直了。

そればかりでなく 〈接续词〉

主要用于连接句子，在后项补述又一新的内容。有时说成そればかりではなく。

①私は彼が帰ると、古い傷の痛みを感じた。そればかりでなく、自分をたずねてくるものを恐れた。／他回去后，我不仅感觉到旧时的伤痛，而且害怕有人来找自己。②悠一がこんな真似<sup>まね</sup>をするのは珍しい。そればかりでなく、悠一は肩で息をしながら泣き出してしまった。／悠一作出这样的举动是很少见的。而且，竟然肩膀一耸一耸地哭了起来。

それはさておき 〈接续词〉

表示把前项内容搁置起来，专门谈后项。也说それはさておいて。主要用于演说、文章。口语中用近义的それはそうと。一并举例如下。

①それはさておき、利子さんが家に帰ってね。父にひどく叱られたよ。／先不论那事儿。利子回到家里，被父亲狠狠训了一顿。②それはそうと（して）、お願いした手紙は出しましたか。／这事儿说到这里吧，我

托你寄的信寄出去了吗?

それも 〈接续词〉

用于句子、分句、句节之间。

1. 表示后项事实是前项所述事实范围内需要强调的部分或方面。

①米だ、それももち米だよ。／是米，而且还是粘米哪! ②悠一の喧嘩をかける対象は青壮年者に限られ、それも笹山部落の顔見知りの人に限られる。／悠一寻打架的对象只限于青壮年人，而且只局限于笹山村认识的人。③柴元は今、レッキとした県庁の、それも学務部の指導課にいる。／柴元现在身居赫赫的县厅，并且还是学务部(教育局)的指导科。

2. 表示有必要在后项对前项作重要补充。

①どこかでこれと同じ光景を見たことがある。それも、そう遠い過去ではない。／曾在哪里见过这般情景。而且并不久远。②東海道の沿線では、彼岸花が山すそなどを赤くいろどっている。それももうしほむ前の最後のおどりのようである。／在东海道沿线，石蒜花把山脚等处染成红色。并象是行将凋谢前的最后一次骄矜似的。③二台目にはなんとか乗れた。それもうしろから尻を押されてやっとのことだった。／第2辆总算上去了。那还是让人家从后面推着屁股勉强上去的。

3. 在后项陈述与前项不相吻合的事实或补充事实。近于それでも。

①千円もするのに、それも良い品じゃないんだ。／要一千日元，却不是好货。②日本語は知っているが、それも大したものではない。／日语虽然懂得，但不太精通。

それもそのはず 〈接续词〉

以理所当然的语气，对前项作种种解释。

①父は私の勉強部屋へ上がってきてびっくり、大声で母を呼んだそうです。それもそのはず、私は疲れきって、たたみの上でグーグー寝ていたのだった。／(后来)听说爸爸来到我的学习室，大吃一惊，大声喊妈妈。这也难怪，我累极了，便在榻榻密上呼呼地睡着了。

それゆえ 〈接续词〉

常用于逻辑性严密的政论体文章以及文理科的论著等。也说成それゆえに。另有それがゆえ、それがゆえに，有文言色彩。表示因果关系。そ



れ也可略去，成ゆえに，系古汉语“故”的译语。

①あなたたちは外国から来た留学生であるが，暫くの間日本に滞在することになる。それゆえに日本の法律に従わなければならない。／你们是从外国来的留学生，要在日本居留一段时间。所以，应该遵守日本的法律。②角Bは角Cに等しい。ゆえに三角形ABCは二等辺三角形である。／角B等于角C，故三角形ABC是等腰三角形。

### それより 〈接续词〉

1. 表示把前项告一段落不再提起，转入更关心的新话题即后项。一般只用于连接句子。另有それよりか、それよりも、それよりは，语气略强。

①「なんだい，それは？」「タイプのようなものだよ。それより，あなたは，いま，どこへ行ってきた？」／“什么呀，那是？”“一种类似打字机的东西。先别说这个，你刚才到哪儿去了？”②「妻を貰ったら君の所へ通知位する筈じゃないか。それよりか君の」と言いかけて，びたりとやめた。／“我若是娶媳妇还能不告诉你一声？还是先说你的……”刚说到这，突然把话头打住了。

2. 表示前后两项中选择后项更适宜。

①フロサーを有罪にする可能性はない。それよりも，オデットを見つけることだ。／没有可能给福罗萨尔定罪啦。倒是应该先抓到奥德特。②僕は例の旅行さえもしなくなった。それよりは，友だちの家で話してこんでいる方がマシに思えた。／我连往常的旅游都不搞了。总觉得与其旅游，莫如在朋友家里畅谈更好。

【参考】下例是纯粹的实义用法。

その腐ったのを捨てなさい。それより良いのが沢山あるから。／把那个腐烂的扔了吧。有的是比那个好的。

### それを 〈接续词〉

表示通过后项的行为，意外地使前项的事态发展转向不利方面。属逆态接续。用于句子之间。

①娘はこの秋に結婚する身だ。それをこともあろうに殺人の容疑をかけるとは。デッチあげにもほどがある。／我女儿是今秋就要结婚的

人了，可谁料你们偏偏要（给他）安个杀人的嫌疑，捏造也太过分了！

②中隊での、僕たち初年兵のみじかい教育期間でも、いつも、実弾をもっていた。それを、部屋の中で銃口をほかの者に向けたまま、引鉄をひくというのは、とんでもないことだ。／在中队即使是对我们新兵的短期教育期间，也常常是实枪荷弹。然而，在房间里把枪口对着别人扣动板机，真是岂有此理。

【参考】それを和それが二者相似，区别是：それが趋向于说明转折是自然产生的，それを说明转折是人为的并有批判语气。所以，如上例①中それを不可用それが替换，但若改说成“～。それがこともあろうに殺人の容疑がかけられた。”则也是可能的。

### 尊敬語 ソンケイゴ 尊敬语

【性质】敬语的一种。又称“敬称”（山田孝雄）、“尊称”（松下大三郎）、“上位主体语”（辻村敏树）。指说者对话题人物（可以是第二、第三人称）及其所有物、动作、存在、状态等表示敬意的敬语形式。

①先生はもうお帰りにになりましたか。（三人称）／老师已经回去（回来）了吗？②先生，もうお帰りにになりますか。（二人称）／老师，您要回去吗？

尊敬语的使用与谈话对方没有直接的关连。当谈话对方就是话题人物时，尊敬语后必须后续对话敬语，如例②。

对动作、状态的主体表示敬意的尊敬语叫作主体尊敬语。

①会長はお帰りになる。／会长回去。②女王はお美しい。／女王漂亮。

对所有主表示敬意的尊敬语叫作所有主尊敬语。

①（あなたの）お話はごもっともだと思います。／我认为您言之有理。②親のご恩は絶対に忘れられない。／父母之恩绝对不能忘记。

对于人物、神、佛等本身表示尊敬的尊敬语称作自体尊敬语。例如：山田氏、お医者さん、み仏。

尊敬语从内容特征上可分为两类。其一是与他人无关的上位者的绝对敬语，山田称“絶対敬語”，石板正藏称“自体敬称”，辻村敏树称“絶対上位主体語”。如“くださる、読んでくださる”。

【形式】1. 使用表示尊敬的名词和动词。如：あなた、どなた、この方、先生、閣下、旦那；あがる、あそぼす、めしあがる、いらっしゃる。

2. 添加敬语接头词和接尾词（敬称）。如：お宅、お話、お出かけ、お休み；お美しい、おさびしい、お元気、おきれい；ご本、ご両親、ご安心、ご満足、ご決心；ごゆっくり、ごゆるり；貴校、貴意、貴社；尊父、尊宅；高兄、高弟；令兄、令夫人、令嬢、令息。

还有：～様（さん、さま）、～殿、～君、～氏、～先生、～夫人、～女史。

3. 助动词“（ら）れる”。

4. 补助动词的尊敬语形式或尊敬语的补助动词。如：～ておしまいになる（～てしまう）、～ていらっしゃる（～ている）。

5. 动词的尊敬语形式。1）お（ご）～あそぼす（お帰りあそぼす、ご覧あそぼす）、2）お（ご）～になる（お帰りになる、ご出発になる）、3）お（ご）～下さる（お許し下さる、ご許可下さる）、4）お（ご）～なさる（お話しなさる、ご計画なさる）、5）お（ご）～だ（です）（おあります、ご研究です）。6）尊敬语助动词（さ）せられる。

不同的尊敬语形式敬意程度各不相同，把主要形式由低向高排列如下：1. 尊敬语助动词（ら）れる。2. お动词连用形になる。或尊敬语动词。3. お尊敬语动词连用形になる。4. 尊敬语助动词（さ）せられる。

【分布】尊敬语分布极其广泛，在体言中有：尊敬语的代词、名词、由接头词构成的尊敬语名词（お二人）。在动词中有尊敬语动词和一般动词添加尊敬语助动词、补助动词等构成的尊敬语形式。在形容（动）词中主要是添加“お（ご）”构成的，如“お白い、おきれいだ。在副词里没有尊敬语，下面是例外：ごゆっくり、ごゆるり、お少し（召しかかって）。助词“には”表示主语时也有敬语用法。

**尊敬の助動詞** ソンケイノジョドウシ 尊敬态助动词

助动词的一种。指构成敬语态动词对动作主表示尊敬的助动词。所

属词有れる、られる。

①先生は本を読まれる。／老师读书。②午後、日本のお客さんが本学を参観される。／下午有日本客人来参观本校。

尊敬态助动词是由被动态助动词分化而成的。在等级观念森严的古代社会中，贵族总是受人伺候，处于“被动”地位。如，在访问时，被人邀请；在出门坐轿时，被奴婢们抬着走。久而久之，尊敬用法就从被动用法中独立出来，成为一种独立的助动词。由于以上原因，尊敬态助动词和被动态助动词形态上相同。但是，尊敬态助动词没有象被动态助动词那样使上接动词的格关系内容加以改变的语法作用，而只是增添尊敬的意义。

①先生は本を読む。／老师读书。②先生は本を読まれる。／同上。

由于尊敬态助动词的性质是表示人和人之间动作关系的接尾词，因此，上接词必须是有关人的行为的动词。与人的行为无关的动词都不能构成敬语态动词。

※降られる、※流れられる、※建設される。

存在文 ソンザイブン 存在句

指以ある、いる等存在动词为谓语的句子。

【存在句】“存在文”的典型句型是：存在場所に（或には）＋主語が＋谓语。

①テーブルの上に「エコノミスト」が一冊ある。／桌上有一本《经济学人》。②部屋に誰もいない。／房间里谁也没有。③森の中にはけものがいます。／林中有野兽。④きのう大使館に用事がありました。／昨天我在大使馆里有点事儿。⑤昔から言うことに嘘はない。／自古留下来的话都没错儿。

存在句表示具体的或抽象的（例④、⑤）事物的存在。特点是，主语通常是无定的（非特定的），存在句是客观描写性的。

【所在句】有时构成如下句型，特称为“所在文”：主語は或が＋存在場所に＋谓语。

①「エコノミスト」が一冊テーブルの上にある。／有一册《经济学人》在桌子上。②けものは森の中にいます。／野兽在森林里。③誰も部



屋にいない。／谁也没（不）在房间里。④問題はここにあります。／问题就在这里。

所在句的主语通常是有定的（特定的）事物。全句是对已知事物的存在场所的判断。

存在句和所在句之间的这种无定和有定（大体上就是新情报和旧情报）的区别在句中有数词时更明显。

①ホテルの各室に一冊の本が備えつけてあった。（存在句。各房间的不一定相同）／饭店的各个房间里都备有一本书。②一冊の本がホテルの各室に備えつけてあった。（所在句。各房间的书是相同的）／有一本书备放在饭店的每个房间里。③どの池には三種類の魚がいた。（存在句。各池中的三种鱼不一定相同）／每个池中都有三种鱼。④三種類の魚がどの池にもいた。（所在句。同样的三种鱼）／三种鱼在每个池中都有。

【参考】有一类句子，尽管谓语不是存在动词，但是谓语动词作用的结果物（所有物、生产物、出现物、发生物、认知物）所存在的场所同样要用に表示，所以和存在句很相似。铃木忍把这类句子也称为存在句。

①彼は東京に土地を買った。（所有物的存在）／他在东京买的地产。②彼は庭に物置きを作った。（生产物的存在）／他在庭院里盖了仓房。

### 尊大語 ソンダイゴ 尊大语

由汤泽幸吉郎命名。亦称傲语、傲称。指表达主体把自己置于对方或话题人物之上，以此给人一种蛮横印象或以此贬低别人的表达方式。在现代日语中很少用，偶尔用于玩笑。父母对子女进行语言训练时较常用。如：和子や，お母さまがなにをなさっているか，あててごらん。／和子，猜猜妈妈干什么呢。

1. 特定词语。尊大语并不发达，只有几个词可看成固定的尊大语，如とらす，つかわす等。

①名前を付けてとらすぞ。／给你取个名。②許してつかわす。／饶了你。

2. 故意把尊敬语用于自己。

①おれさまのお手並を見ろってんだ。／看看老子的本领。

3. 故意把谦让语用于别人。常并用2的形式。

①おれ様のおっしゃることを有難く拝聴しろ。(敬・敬・謙)／恭敬地听着老子说话。

4. 其他语言形式只要是为尊大而用也能成为尊大语。

①起きろ。(命令)／起床! ②買ってやろう。(授受)／我给你买。③行かせよう。(使役)／让你去!

尊大语主要是尊敬语和谦让语的相反用法，因此石板藏称之为负敬语（マイナス方向への敬語），分为自体傲称（おれ）和关系傲称（とらす）。尊大语和卑骂语相近，但是前者除感情因素外还和等级因素有关，而后者只和感情因素有关。同时卑骂语有专门的词汇，这也和作为敬语延伸用法的尊大语不同。

そんなら 〈接续词〉

系それならの音便形式。

1. 表示根据前项得出的认识、所作的主张。

①「頭痛は、もう大分前からです。」「そんならそうと僕にひとこと言っておかなくちゃ。」／“头痛从很久以前开始的。”“那你应该如实地告诉我一声。②「もちろん跳び込めるさ。」「そう，そんならあの跳込み台から跳んでごらんなさい。」／“我当然敢跳。”“真的？那你用那个跳台跳一下。”

2. 表示话题的转换、讲话的结束、道别等。

①他人の意志の<sup>もと</sup>下に働くということは無論どうあってもできない。そんなら自分の意志の鞭を背に受けて，厳肅な人生の途に<sup>のぼ</sup>るかというに，それもできない。／不消说，在别人的驱使下工作，这我无论如何也做不到。那么，是不是要用自己意志的鞭子抽打着脊背而走上严肃的人生道路呢？这也做不到。②そんなら，さようなら。／那么，再见。

⇒それなら

# た            夕

た 〈过去完了助动词〉

【活用】特殊型。

基本形	未然	连用	终 止	连 体	假 定	命令	推 量
た (だ)	○	○	た (だ)	た (だ)	た(だ)ら	○	た(だ)ろ

## 1. 终止形。

1) 单独或后续终助词、某些助动词结句。

①きのう映画を見た。／昨天看了个电影。②そろったかい。／齐了吗？③フィリピンに地震があったそうだ。／听说菲律宾发生地震了。

2) 后续接续助词。

①春が来たから洒落着の人が多くなった。／春天来了，衣着漂亮的人多起来了。②おかあさんになったが、それと 見えない。／已经做母亲了，可是看不出来。③外も寒かったし，うちも寒かった。／外面也冷，屋内也冷。

## 2. 连体形。

1) 后续（形式）体言。

①しわくちゃになった手紙／褶褶巴巴的信。②あんなにシボられたこと，ありませんでしたよ。／那样挨剋，还是头一回。

2) 后续のに、ので和ようだ等有体言性成分的接续助词、助动词，以及大部分副助词。

①お父さんがかんかんに怒ったたので，何かの本を読まずにはいられなかったたようなこともありました。／有的时候因为父亲大发雷霆，我不得不找本书看。②来たばかりです。／刚来。

3. 假定形。可后续ば。たら也可看作一独立的接续助词，见该项。

①電車に乗ったら，からからすいていました。／上了电车，里面空荡荡的。②行けと言われるから行って見たらば，誰もいなかった。／让我去，去了一看，谁也没有。

△假定形たら由文言未然形转化而来，意义与口语假定形相同。文言的已然形在口语中也有所见，表示既定条件。

①人一倍の努力をしたればこそ，あれだけの成果をかちとったのだ。／正因为比别人加倍努力，才取得了这么多成果。

4. 推量形。后续う表示推测。

①さぞ苦しんだろう。／想必受苦了吧。②精神的格闘が想像以上のものであったろうと感じた。／我想到，（他当时的）思想斗争是超过想象的。

△现在多以终止形加だろう来表示推量。

①さぞ苦しんだだろう。／想必受苦了吧。

【接续】1. 接用言连用形后。五段动词(さ行除外)要接音便形后。接ガバナマ行五段动词时要音便为だ。形容动词接连用形～だっ，形容词接连用形かっ。

①飛行機に乗らないでよかった。／多亏没乘飞机。②海は穏やかだった。／海很平静。③あった！／有啦！（找到啦！）④舟が沈んだ。／船沉了。⑤駅についた。／到车站了。⑥道を急いだ。／急着赶路。⑦財布を落とした。／丢了钱包。⑧犯罪を認めた。／承认了犯罪。⑨成功した。／成功了。

△例③、④、⑤、⑥依次是促音便、拨音便、イ音便、イ音便。

2. 接除う、よう、まい、そうだ(传闻)、ぬ之外的几乎所有助动词后。

①皆にほめられた。／受到大家的赞许。②外の人を行かせた。／让别人去了。③寒くなりました。／冷起来了。④お待遠様でした。／让您久等了。⑤彼は弁護士だった。／他曾是律师。⑥新しい車を買いたかった。／当时想买辆新车。⑦無理なようだった。／好象做不到。

【意义】1. 与动作状态的客观实现有关的用法。

1) 表示过去时间里发生的动作行为或存在过的性质状态。



①きのう日本へ留学に行った友人が帰ってきた。／昨天，去日本留学的朋友回来了。②去年の冬は寒かった。／去年冬天冷。③この辺には、昔大きな寺があったという。／传说这一带过去曾有个大寺庙。④父はずっとこの工場の門番だったが、最近やめた。／爸爸一直是这个工厂的门卫，最近辞退了。⑤聞かなかった人も、聞いた人もある。／听说过的和没听说过的人都有。

2) 主要接状态性的词语后，除表示过去外还兼有回忆的语气。

①大学時代には、よく友達同士との手紙のやりとりがあった。／在大学时代，常和朋友之间有书信往来。②戦後は、余所着は<sup>よそぎ</sup>おろか着たきり雀もろくにない有様だった。／战后的情况是，慢说出门衣服，连家里穿的衣服都有困难。③僕の小学校の先生はとても親切だった。／我小学的老师非常热情。④彼は胸を患って長い間病床に寝ていた。／他曾一度患有肺病，久卧病床。⑤私はただ一人の女性だったものですから、いつも特別扱いされました。／因为我是唯一的女性，所以总是受到特殊照顾。⑥大丈夫よ。彼は親切な人だと友達は言っていた。／别担心。朋友们说他是热心肠的人。

△后续ものだ能加强回忆的语气。

①君は子供の時、よく寝小便したものだ。／你小时候，常常尿床。

3) 主要接于与意志有关的（意志性的）继续动词或瞬间动词后表示经历。句末用法其主语为一人称，连体、连用结构中不受此限。

①僕だって若いころは百メートルを20秒で走った。／我年轻时也曾12秒跑过百米。②戦争を経験した人はとくに平和を渴望する。／经历过战争的人尤其渴望和平。③社会に置きざりにされた時ほどあわれなものはない。／再没有比被社会遗弃的时候更可怜的了。

4) 主要接瞬间动词和继续动词后，表示某种行为目前业已完成。带有确认的语气。

①彼女はもう子供ができました。／她已经有孩子了。②いや、僕もいま、起きたところです。／哪里，我也是刚刚才起来。③花が散ったら、もう訪ねる人もいないだろう。／花落之后，不会再有来看的人了。④両親に見舞いの手紙を書いたか。／给父母写慰问的信了吗？

## 2. 与主观想象中的时间有关的用法。

1) 表示将来时间或一般时间(下例④)中首先完成的动作,前项类似或相当于假定事实。

①今からでも,勉強したら間に合いますか。/现在开始学习也来得及吗?②よい点数を取った人にご褒美をあげよう。/(我)要给得好分数的人奖励。③明日伺ったらお目に掛かれましょうか。/明天去拜访能见到面吗?④借りたものは返さなければならない。/借来的东西一定要还。

2) 表示过去可能发生而实际上未发生的动作行为或变化。

①もうちょっと多かったら,この分量を満たしたたかもしれない。/如果再多一点,说不定能够这个分量。②私なら問題なしにパスできたと思う。/我想,若是我,就顺利地通过了。③君の援助がなかったら,僕の事業は失敗だったかもしれない。/当时不是你的援助,我的事业可能会失败。④外国の干渉がなければ,政局を静められたにちがいない。/如果没有外国的干涉,肯定已经稳住政局了。

3) 表示应做而未做的行为动作。带有后悔的语气。

①いつもよく使うのを,一つ買うのだつた。/本来总要使用,当时就应该买一个。②いっしょにつれてきたらよかったのに。/一起领来就好了。③すなおに白状したなら,おおげさにならずにすんだだろうに。/如果当初如实交待,本来不至于闹得这么大的。

4) 表示事态的假定实现(例①~③)或确定实现(例⑤、⑥)。

①早くうちに帰って寝た方がいい。/还是早点回家睡觉的好。②化粧したところで若返りはできぬ。/即使化了妆也不能返老还童。③もし盗まれてしまったとしたら,どのようにして保険会社に認めてもらえますか。/假定被盗了,怎样才能得到保险公司承认呢?④あと一勝すればいいんだから,もう優勝は決まったね。/再胜一场就行了,夺冠军是定了。⑤一週間たっても返事がないところを見ると,断られたな。/过了一周也没答复,看来是被拒绝啦。

3. 表示说者的种种情态。

1) 一般接表示状态、性质的词后并常后续疑问终助词,表示想起或确认已有的认识。

①君はたしかお母さんがいたね。／你大概还有一位母亲吧?②失礼ですが,お名前は何でしたかね。／对不起,您叫什么名字来着?③明日試験があったっけ?／对了,明天要考试吧(自言自语)?④今晚の会議は何時からでしたかね。／今晚的会议预定几点开始来着?⑤これは日本語特有の現象ではなかった。／(上面我们讲到了,)这不是日语特有的现象。

2) 终止形(包括文言的たり)接动作动词后表示命令。语气粗俗。

①どいた,どいた。／靠边儿!靠边儿!②ちょっと待った。／你等一下。③おい,独仙君,起きた起きた。面白い話がある。起きるんだよ。／喂,独仙君,起来起来!告诉你个趣闻。倒是起来呀!④さあ,遠慮なく,飲んだり、飲んだり。／来,别客气,喝!喝!

3) 以假定形表示请求、愿望。

①この辺でやめたら?(=やめては)／就到这儿好不好?②鳥のように空を飛べたらなあ。／要是能象鸟一样在天空飞么!③美智子のように美しかったらなあ。／如果象美智子那么漂亮该多好啊。④孝二,こんどはほかのを読んだら。／孝二,这次换一个读好吗?

4) 表示所关心的事成为事实。

①バスが来た。／公共汽车来啦。②時間になりました。／到时间了。③やっぱり彼が犯人でした。／果然他就是罪犯。④いい成績でよかった。／总算得了好分数。⑤あ,見えた,富士山が見えるよ。／啊,看见了!看见富士山了。

5) 接有关心理活动的词后,表示感叹、领悟。

①こりゃ,驚いた。／嗨,真没想到。②まあ,あきれたわ。人をばかにしてる。／哟,真不象话,你欺负人。③あさってがよかったな。／本来就应该是后天。④来月とは困ったね。／下个月可不行。

△后两句若说成よい、こまる,就失去感叹的语气。同理,前两句不能改用现在时。

6) 其他。表示决心(例①)、强调(例②、③)。只能用～たものではな

い形式)。

①よし、おれが引き受けた。／好吧，我接受了。②油断もすきもあったものじゃないわ。／万万不可粗心大意啊。③大事な仕事の最中に、かなったもんじゃありません。／正处在重要工作进行期间，(发生这样的事)实在是受不了。

#### 4. 作定语，表示状态。

1) 主要接于表示状态的自动词(形状动词)后，表示不变的自然状态和性质。一般可用ている代替使状态具体化。

①南に面した家／朝南的房子。②栄養に富んだ食品／营养丰富的食品。③尖った塔／尖尖的塔。④澄んだ瞳<sup>ひとみ</sup>／清澈的眸子。⑤違った色／不同的颜色。⑥まとまった考え／成熟的想法。⑦まがった釘／弯钉子。⑧やせた足／瘦腿。

△某些形状动词可以有三种形式，如“違う色、ちがった色、ちがっている色”、“あすこにそびえる(そびえた、そびえている)山”。但总的趋势是用～た形式。

2) 接于瞬间性动作动词后，表示结果状态。可用ている形式代替使之具体化。

①あいた窓／开着的窗子。②咲いた花なら散るのは覚悟。／开了的花注定要凋谢。③死んだ犬／死狗。

#### 3) 接他动词后，表示后续体言的人为的状态。

①絵に書いた餅。(谚语)／画饼充饥。②良く焼いた魚／烧得很好的鱼。③巻いた紙はくせがあって使いにくい。／卷过的纸好打卷儿，不好用。④すこし焦したいものはおいしい。／稍微烧糊了的地瓜好吃。

4) 构成连体词组。有些已固定成词，如“大した、とんだ、こうした”等。

①それはどうしたものでしょう。／那怎么回事?②政治に関する言論／关于政治的言论。

【参考】1. 动作动词后续た时，既可以表示完了(动作的体)，又可以表示过去(动词的时)。

①もう、昼飯を食べた。(完了) ②きのう、昼飯を食べた。(过去)



两句的否定形式不同。例①的否定是まだ～たべない或～たべていない，例②的否定是～たべなかった。状态性动词、形容词、名词（～だ）的过去形式一般只能表示过去。

2. 关于名称。た的名称有“過去の助動詞”，“過去、完了の助動詞”、“過去（回想）の助動詞”等。一般都称作过去助动词，因为基本用法就是表示过去。

3. 金田一春彦认为，作命令、回想等用法的た直接表述说者的主观情绪，与其他用法根本不同，因此看作是无变化助动词。

だ 〈判断助动词〉

【活用】形容词型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
だ	○	だっ で	だ	な	なら	○	だろ

1. 连用形。

1) だっ。后续た、たり等。

①今にして思えば、なんとという不始末だったんだろう。／现在想来，当时是多么粗心大意啊。②あの人のためだったら，あたし留置場へでもどこへでも行くつもりだったわ。／若是为他，不管是去拘留所还是去哪儿，我都准备去的啊。③入場者が子供だったたり，大人だったたりする場合を考えて，医務室を設けた。／考虑到入场者既有儿童又有成人，开设了医务室。

2) で。

(1) 用于中顿。

①上の子は男の子で，下のは女の子です。／大孩子是个男孩儿，小的是个女孩。②同じ学級には，市長の一人娘で，バイオリンの上手な人もいました。／同班里还有个人是市长的独生女，擅拉小提琴。

(2) 后续は、も等。

①いくら先生でも，何でも分るはずがありません。／即使是老师，也不可能什么都懂。②運動会は，少しぐらい雨でも行われる予定です。

／运动会即使下一点儿雨也要照常开。③運転手が大酒飲みでは困りますね。／司机是大酒包可不行啊。

(3) 后续ある、いらっしゃる、ございます等, 详见である等各项。中间可插入は、も、しか等, 也可后续ない、いる等。

①大学は教育機関であるとともに研究機関でもある。／大学是教育机关, 同时也是研究机关。②できれば友達でいたいと言った。／说如果可能想作个朋友。

## 2. 终止形。

### 1) 单独或后续终助词结句。

①堪忍は一生の宝だ。／忍耐是终生的法宝。②30年前のことだよ。／已经是30年前的事了。③とてもきれいな絵なこと。／真是漂亮的画啊。

### 2) 后续传闻助动词そうだ等。

①夏休みは来週からだそうだ。／听说暑假从下周开始。

3) 后续接续助词と、から、が、けれども、のに(接连体形则更好)、し等。

①私だと何日もかかるでしょう。／若是我(来做), 准得好几天。②酒に酔うと危ない男だから, その相手になるなよ。／那是一喝醉就板不住的人, 你可不要理他。③幼い子どもだが, 物言いは大人以上にも情けがある。／虽然是个小孩子, 说起话来比大人还懂事。

## 3. 连体形。

### 1) 后续接续助词ので、のに等。

①会社が休みなので京都に行ってきました。／公司放假, 我去了趟京都。②自分がしでかしたのは事実なのにどうしても認めようとしな。／明明自己捅了娄子, 却根本不承认。

### 2) 后续形式名词の。

①自分の両手が, 古ぼけた熊手そっくりなのに苦笑せずにいられない。／自己这双手和破旧的耙子别无两样, 对此禁不住苦笑起来。

△偶尔后续もの、はず、くらい等形式体言或带有体言性成分的助词。但不能后续普通名词。

①うそを言え, あれで学者なものか。／你瞎说! 就那样怎能算是学

者? ②犯人が彼なはずはないと思う。／我想他不可能是罪犯。

需要后续普通名词时，要用の（或改用其他说法，如用だという等，文章中还可使用である）。时枝诚记认为のは的连体形之一。

①私たちのクラスでは父が会社員の生徒も父が工員の生徒もある。／我们班上，既有父亲是公司职员的学生，也有父亲是工人的学生。

3) 后续助动词のだ、のです。

①このお嬢さまは、いったいどなたなのだろう。／这位小姐到底是谁呢? ②「そうですか」「はい、そうなんです」／“是这样吗?” “是的，就是这样。”

5. 假定形。表示假定条件、假定的话题等。也可后续ば。

①十分ぐらいなら、待ってあげよう。／若是十来分钟，就等着吧。

△用言后的なら作为接续助组处理。见该项。

6. 推量形。后续う表示推测。

①明日晴天なら、たいへんな人出だらう。／如果明天是晴天，会人山人海的。

【接续】1. 接体言、形式体言、体言性词组后。

①あれはカナリアだらうか。／那是金丝雀吗? ②生命の有り無しで生物・無生物の区別がつけられるわけではありません／不能凭生命的有无来区分生物和无生物。③戦いはこれからだ。／战斗还在后头。④反対するのは君ぐらいだろう。／反对的也就是你吧? ⑤使えるペン是一本だけである。／能用的钢笔只有一支。⑥工業の一番発達した資本主義国家はアメリカや日本などである。／工业最发达的资本主义国家有美国，日本等。⑦会議は終わったばかりだ。／会议刚结束。⑧いいえ，当り前の事をしたまでなんです。／哪里，只不过是做了应该做的事。⑨合格したのは君と僕とだ。／合格的是你和我。

2. 接副词后。

①こういう珍しい動物を見るのは始めてだ。／看到这种珍奇的动物还是第一次。②「上手だね」「いいえ，まだまだだよ」／“真有水平啊。”“哪里，还差远了。”③もうすこした，がんばれ。／只差一点儿，加油!

3. 接格助词及接续助词て后。

①「書いたか」「なにをだ」／“写完了吗？”“写什么呀？”②「歩いて帰ったの？」「いや、バスに乗ってだよ。」／“走着回来的？”“不，是坐公工汽车回来的。”

4. 接活用词，主要是动词和形容词及同型助动词终止形后。假定形なら和推量形式だろう见各该项，此外主要有以下几种情况。

- 1) 反诘形式ではないか等，见意义9。
- 2) 以でもない形式接ない后，见意义9。
- 3) 相当于接准体言或准引语后。

①「何をしろというんだ」「出てゆけだよ」／“你让我怎么样？”“让你滚蛋。”②毎日，その余香を拝すだね。／这是要每日拜其余香啊。

△在非标准语法中还可接活用词终止形后，如“食うだ、なつかしいだ、見ただ”等。可看作终助词。

△在“に違いない、に決まっている、にすぎない”等词组前，だ或者省去，或者仿文章语改成である。

①コウモリは鼠が塩を食って変わったもの（である）に違いない。／蝙蝠准是老鼠吃盐变来的。②私は一介の私塾教師（である）にすぎません。／我不过是一介私塾老师。

△“と思う”等词组前的だ可省可不省。

①前から走ってくるのは太郎（だ）と思う。／我看前面跑来的是太郎。

【意义】だ构成的活用词组在句中充当谓语，构成名词句。文体上称ダ体句，用于口语。和である体统称为简体（常体），和敬体的です、であります相对。

1. 表示各种判断，只用于男性对下的会话中，常后续ね、よ或だと思う、だと考える等。

①私が社長だ。（同一判断）／我就是经理。②チンパンジーは人間の親属で，人間ではない。（归属判断）／黑猩猩是人类的父戚，而不属于人类。③彼女は18歳で，私は20歳だ。（谚语）（属性判断）／她18岁，我20岁。（人们希望生活永远美好）④2たす2は4だ。（规律性的判



断) / 2 加 2 得 4。⑤いたるところ満開の桜だね。(认知性的判断) / 到处都是盛开的樱花阿。⑥あの人<sup>ひと</sup>はまるで子供だ。(比喻性判断) / 他简直是孩子。⑦実験が成功したのは全く先生のおかげだ。(联系性判断) / 实验获得成功全亏了老师。⑧かしこい太郎だね。(认定性判断) / 太郎真聪明。

2. 用于疑问词或词组后, 表示疑问、反诘、反问等。

①あしたは何曜日だ。/ 明天是星期几? ②こんないたずらは誰がしたのだ。/ 这恶作剧是谁搞的? ③この時, 体裁がなにだ。/ 这种时候, 什么叫脸面? ④一体, 君は何をする気だ。/ 你到底想干什么?

3. 以“そうだ”形式表示想到某事而理解、领会, 或以“なーんだ”即“何だ”的长音形式表示领会而感到意外。

①そうだ, こうすればよかったんだ。/ 真的, 这么做该多好。②何だ, そんなことか。/ 原来是这样!

4. 在具体文脉中或场景中代替前导句子或场景中的“谓语”部分。具有选择或指定的含义。

①「君は何を食べるか」「僕はうなぎだ」/ “你吃什么?” “我吃鳊鱼。” ②「お姉さんは女の子がお好き?」“いや, 姉は男の子だ」/ “你姐姐喜欢女孩儿?” “不, 姐姐还是(喜欢)男孩儿。”

△详见“ダ型文”项。

5. 以～だ～だ并列形式表示列举。

①日本人は師走だ越年だと重大視しすぎる。/ 日本人对腊月、过年之类的, 重视得太过分了。②土道のままだから雨だ雪だ霜解けたとなりゃすねまで漬かる泥濘<sup>ぬかるみ</sup>だったそうじゃ。/ 据说因为还是土道, 所以每逢下雨、下雪、化冻之时, 泥水就漫过小腿。③始めは, 数学を教えてやる約束だけだが, 半年ほど経つと, やれ音楽だ, やれ美術だと, 一方的に間口が広げられてしまった。/ 当初只是约定教他们数学, 可是过了半年, 又是音乐, 又是美术, 被任意地扩大了范围。

6. 以だが、では(じゃ)、でも(だって)、だと、だったら、なら、でなければ等形式提示有关成分。

①宿題だが, 月曜日までに出して下さい。/ 我说一下作业, 作业请在

星期一之前交上。②女ばかりだといざこざがよくあるものだ。／女人聚在一起总是有纠缠不清的事。③偉人だって人間なもの、多かれ少なかれ間違いはあるさ。／伟人也是人嘛，多少总会有错误的。④夜道は、男だって一人だけでは何となく心細い。／走夜路即使是男的只一个人也有些心慌。⑤元来不人望な先生のことだから、生徒など殆ど寄り付いたことがない。／本来就是個没威信的老师，学生几乎不接近他。⑥朝鮮語なら私も少し出来る。／朝鲜语我也会一点儿。⑦朝鮮語でなければ、私も出来ない。／不是朝鲜语我也不会。

7. 构成独词句“体言+だ”，表示发现、惊叹、呼吁等。

①火事だあ。消防団に電話だ。／失火啦！快给消防队打电话！②おい、水だ、水だ、水をくれ。／喂！水，水，给我水！

8. 构成动词的敬语（尊敬语）形式之一“お+连用形+だ、ご+サ变词干+だ”，表示较轻度的敬意。详见“お～だ”项。

①おう，よく聞いておくれた。／好，你答应我！

9. 以でもなく形式表示正反两个方向的否定，以ないでもない形式表示让步，以ではないか（ではあるまいか等）表示反诘。

①ベンチに掛けて、来し方行く末を、思うでもなく思わぬでもなく、長旅の疲れでいつかは知らずとろとろッとした。／坐在长凳上，似想非想地想着过去和将来，由于长途旅行的疲劳不知何时就迷糊起来。②実は野中も真佐子からの電話を期待していないでもなかった。／其实野中也未尝不期待着真佐子的电话。③現に要らないと言ったじゃないか。／你不是都说不要了吗？

10. 构成だから、だけれども（だけれど、けど）、だったら、では、でも、だって等复合接续词，见各项。

【参考】1. 从以上可见判断虽是だ的主要用法，但不是唯一用法。“判断助动词、指定助动词”这些名称都不全面，故不可因名称而望文生义。另外，时枝语法把形容词词干都看成体言，把其词尾だ看作助动词だ。

2. だ的活用形有两个来源，其一是古典日语活用词组にてあり，其二是助动词なり。连体形な和假定形なら来自后者，其余来自前者。にてあり→であり（である）→であ→だ。だ首先形成于江户时代的东国方言。

3. 关于时枝语法的ダ活用表。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令
だ	で	で、に、と	だ	な、の	なら	○
后续词	ナイ	依次为アル、ナル、スル	终助词	体言	ば	○

时枝语法将教学语法中的格助词の的一部分用法看作助动词だ的连体形,与な并列。事实上な以及此时的の确实能用である代替,所以时枝的看法有一定的道理。在下例中,が的前后两项很明显是判断性的主谓关系。“父が幹部で,母が労働者の子供／爸爸是干部,妈妈是工人的孩子。”中の与で处于相同地位,只不过の起连体作用,で起中顿作用。

だ 〈间投助词〉

由判断助动词だ转成,也构成だね的形式。

【接续】接于句中句节后。

【意义】1. 表示单纯的语气停顿或告诫对方的语气。

①僕はだ,何としてもだ,納得できない。／我啊,无论如何啊,也接受不了。②そこでだ,あんたに頼みがあるのだよ。／所以啊,有事求你啊。

2. 接于引语性词组后表示轻蔑,反感等语气。

①イイーだ,もう知りませんヨだ。／得啦得啦,我不管啦。

【参考】金田一春彦认为这种用法和だ的其他用法的不同在于表现说者当时的心情,把这种用法的だ看作不变化助动词之一。

たい 〈愿望助动词〉

【活用】形容词型。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
たい	た	○	たく たかつ	たい	たい	たけれ	○	たかろ

## 1. 词干。

## 1) 后续さ构成名词。

①逢いたさ見たさにこわさを忘れる。／相逢相见心切，不顾害怕。

## 2) 后续げだ构成形容词。

①もの問いたげなようすだった。／看样子有问题要问。②食べたけにじろじろ見つめている。／显出想吃的样子眼睛盯着看。

## 3) 后续がる构成另一助动词，見たがる。

## 4) 后续そうだ表示样态。

①早く帰りたいそうにしている。／好象要早些回去。②病人は起きたような顔をして医者顔を見た。／病人以一种要起来的表情望着医生。

## 2. 连用形

## 1) たく。

(1) 中顿。主要用于文章，口语则多用～たくて、～たいし等。

①地底<sup>ちてい</sup>の採炭現場を見物したく、その旨を会社側に申し出た。／想参观地下采煤现场，便向公司提出了申请。

(2) 后续接续助词て、ても等。口语中有时音便成たくって、たくっても等。关西方言产生う音便成とうて。

①参考書が読みたくて図書館へ借りに行った。／想看参考书，到图书馆借书去了。②母に早く会いたくてしょうがない。／非常想见到母亲。③帰りたいくってもぬけ出せない。／想回去，却无法脱身。④たばこが吸いとうて困る。／来了烟瘾，叫人难受。

(3) 后续补助成分ある、ない、なる、する、おもう等。其中たくおもう有文言色彩，通常说たいとおもう。口语中たくはない可音便为たかない，たくもない可音便成ともない。

①そう気やすく言ってもらいたくないね。／希望你讲话不要太随便。②そうされれば、私もなんとか言いたくなりますね。／若那么对待我，我也有话要说。③それは私も読みたかっていた。／那我也想读来着。④見たかない。／不想看。⑤帰りともない。／想都不想回去。

(4) 后续ございます、ぞんじます的肯定形式产生う音便，参见“形容詞のう音便”项。



## 2) たかっ。后续た、たり等。

①一日も早くあなたに会いたかった。／恨不得早一天见到你。②いじめたかったりさわりたかったりするとかまれるぞ。／想逗它摸它，可要当心挨咬。

## 3. 终止形たい。

### 1) 单独或后续终助词结句。

①人並みの生活がしたい。／希望过上普通人的生活。②の みたいか。／想喝吗？③パッと話を聞きたいね。／想听点儿令人振奋的消息。④今日一日じゅう，こうしていたいな。／今天一天都这样该多好啊。

### 2) 后续助动词らしい、だろう、そうだ（传闻）等。

①大使は友誼病院で手術してもらいたいらしい。／大使似乎想在友谊医院接受手术。②富士山なら君も登りたいだろう。／若是富士山你也想登吧？

### 3) 后续接续助词が、けれども、から及し等

①挙手可決をしたいが，御意見はありませんか。／下面想举手通过，对此有没有意见？②もう寝たいからベッドの上を片付けなさい。／想睡了，你把床上收拾一下。③外国語はやりたし（＝たいし），時間はなし（＝ないし），困っている。／又想学外语，又没时间，很为难。

## 4. 连体形たい。

### 1) 修饰后续的体言类。

①発言したい人は手を挙げなさい。／想发言的人请举手。②言いたいことは山ほどあるが，どこから言いたしたらいいか分らない。／想说的话很多，但不知从何说起。

### 2) 后续有体言成分的助词、助动词。

①御希望にそいたいのですが，予算が許しませんので……。／很想满足您的要求，无奈预算不允许。②何か言いたいような顔をしている。／流露出有话要说的表情。③英語を勉強したいのに，教えてくれる先生がいない。／想学英语，可没有老师教。④お教えを聞きたいのでわざわざまいりました。／想听听您的指教，才特来拜访。

5. 假定形たけれ。后续ば。口语中可音便为たけりゃ、たきゃ等。

①休みたけりゃ休みなさい。／想歇你就歇吧。

6. 推量形。后续う表示推测。但口语中更常用的是たいだろう形式。

①さぞ両親に会いたかろう。／想必很想见父母吧。

【接续】接动词及同型助动词连用形。所接动词原则上应是意志动词。但用法4例外。

△接（さ）せる后时，有人说成诸如“行かしたい、来さしたい”等，应以“行かせたい、来させたい”为规范。

△“煙たい、眠たい、重たい、じれったい”中的たい为形容词本身的一部分。

【意义】1. 用终止形表示说者本人的内心愿望。这是たい的最主要用法。

①つめたいビールが飲みたいなあ。／真想喝冷啤酒。②私は歌いたくはあるが踊りたくはないのです。／我想唱歌，但不想跳舞。③英語を教えていただきたいです。／我想请您教我英语。

2. 用终止形以委婉的语气表示某种打算、计划等。

①来年度は七か年計画の平均目標を達成できるように努力したい。／我们努力在下年度完成七年计划的平均指标。②所得制限については合理的改革をしていきたい。／准备对所得限制继续进行合理的改革。③北京市代表団を来春東京へ招きたい。／打算明春邀请北京市代表団来东京。④術語については、第2版の付録を参照するように勧めたい。／关于术语，建议参照第2版的附录。

3. 在客观叙述中（如直接的转述，～のです、～のだ、～た、～だろう、～そうだ、～はずだ等形式）可以表示第二、三人称的愿望。

①佐野も仲間入りしたいと言っている。／佐野说也要加入。②彼は勉強したくなかった。／他那时不愿意学习。③高校に行きたくても行けない人もいる。／也有想上高中而去不成的人。④妹もこのワンピースを着たいだろう。／妹妹可能也想穿这件连衣裙吧。⑤秋山は早く帰りたいそうです。／据说秋山想早些回去。⑥帰りたければ、とっとと帰れ。／想回去的话，赶快回去！

#### 4. 接于动词的敬语形式后，表示请求对方做某种行为。

①次の例文を見られたい。／请看下列例句。②御厚免下されたくお願い申し上げます。／恭请海涵。③道具は各自持参願いたい。／请各自带工具。④これでご勘弁いただきたい。／就这些请原谅。

△此用法要接于表示对方动作后，如接于说者的动作后则表示被动的愿望。

①きさま，殴られたいのか。／你小子想找着挨揍吗？②もう子供扱いされたくはないよ。／我不愿意再被当孩子对待。

#### 5. 接补助动词ある后，表示希望的状态或性质。稍有文言色彩。

①乗客に対する取り扱いはどうありたいものだ。／希望对待乘客就能如此。②犯罪のない理想国でありたいと願っている。／期待着成为一个没有犯罪的理想的国度。③最終の判決は慎重でありたい。／但愿最终的判决是慎重的。④若く見せたい美しくありたいと渴くほど願う。／渴望年轻、漂亮。

#### 6. 某种心理倾向，多用于比喻性说法。

①目を疑いたくなるほどの身成り／令人不敢相信的打扮。②泣きたいような、怒りたいような気持だった。／当时的心情是又想哭，又想发脾气。③その熱心さはもの狂いとでも言いたいほどだ。／那热情达到几乎是疯狂的程度。

【タイ的敬语】尊敬语用オ～ナリタイ形式。

①本をお読みになりたいとおっしゃった。／说要读书。

谦让语形式有“谦让语动词タイ”形式和其后复加谦让语的两 种形式。

①拝見したい。／想拜见。②拝見したいと存じます。／同上。

【参考】1. 文言中有未然形たく，后续ば表示假定，同口语体的たければ。

①寝たくば寝ろ。／想睡就睡吧。

#### 2. 方言中有てい、てえ形式。

①ここで冬籠りしていな。／真想在这里过冬。

⇒たがる、希望文

## 対 タイ 〈并列助词〉

【接续】接体言间。

【意义】1. 表示后项是前项的目标。

①地对地、地对空ミサイル／地对地、地对空导弹。②ストライキは労働者对資本家の闘争だ。／罢工是工人对资本家的斗争。

2. 前后两项互为对象。

①これは教師对社会，社会对教育の根本的問題である。／这是关系到教师与社会、社会与教育之间关系的根本性问题。②早稲田对慶応の試合はいつも引きわけだ。／早稻田大学对庆应大学的比赛总是平局。③私は私が属する国家对芸術の關係を今更に憤慨もしていない。／我对我所属的国家与艺术之间的关系，已无什么特别的愤慨之心。

3. 表示数量间的比较（下例①、②）和比例（③）关系。

①予算案は三百票对百票の大差で下院を通過した。／预算以三百票比一百票的悬殊之差在下院通过了。②今度の試合では2对3で私たちが負けた。／这次比赛我们以2比3输了。③中国人口と日本人口のわりあいは11对1です。／中国人口和日本人口之比为11比1。

## 態 タイ 态

决定谓语动词和主语之间关系的语法形式叫作态。主要有主动态、被动态、使役态三种。“态”是Voice的译词，也叫“ボイス”。

①太郎が次郎を殴る。／太郎打次郎。②次郎が太郎に殴られる。／次郎被太郎打。

上两例中，例①的主语是动作“打”的发出者，这种关系称主动态，此句称主动句。例②是被动句，主语是动作的承受者。

③父が太郎に次郎を殴らせた。／父亲让太郎打了次郎。

例③中，主语是使役主，使役对象“太郎”是动作“打”的发出者。这种关系称使役态。

从以上例子可看出，态是格关系的反映，而格关系表面上是可变的，“太郎”在例句①～③中起三种作用，可见主动与被动、主动与使役之间潜在着转换关系。

日语的动词态尚有：中相态（见中相动词）、可能态、自发态。狭



义的动词态只包括主动与被动。大概语法中把尊敬、希望的表达形式也看作是“態”，但这些与表达意图有关，并不是主谓（主宾）之间格关系的类型，这些表达形式也没有变动原有的格关系。

有的人将アスペクト也称为“態”，为避免混乱，可用アスペクト（体）和ボイス（态）加以区别。

### 对格 タイカク 对格

普通语言学术语，同日语的目的格。指用来表示某事物是某种动作的直接对象的格。西方语言是一般用词形变化来表示，而在日语中主要用格助词を来表示。

松下语法把“道を歩く”也看作是目的语，由此可见日语中对格（目的格）和地点格之间的区别不十分明显。另一方面，转换生成语法家们把“彼に反対する”中的格关系也看作是宾格（目的格、此句可转换为被动句“彼は～に反対される”）。这样一来，可以说日语中也没有表示对格的专门形式。然而，对格和动词之间保持着最直接和最密切的联系，这是日语和其他语的共同之处。

### ⇒目的格

### 对義語 タイギゴ 反义词

【解释】词义之间既有联系又互相对立的词互称反义词。日语亦称“反意語、反義語、反語、対語、反対語”等。如：左／右、甘い／苦い、起きる／寝る。反义是一种语义现象，多义词可以有与义项数相等的反义词。如：子ども／おとな、おや。

反义关系的认定又常受主观认识和习惯的约束。“白”与“黑、赤”等几种颜色均构成反义词，原因就在这里。

原则上，反义词之间应同属一个词类。如：にひる／すむ（※きよらかだ）、ぞんざいだ／ていねえだ（※ちゃんと）。也有词性不一致的，这主要是由于词义原则和词性原则不完全一致的缘故。例：ある／ない、貧しい／豊かだ・富む、若い／老いる・年取った。

反义词之间文体也要一致。如：のぼる／くだる、上昇する／下降する、※のぼる／下降する、レフト／ライト、左翼手／右翼手、※レフト／右翼手。

大部分反义词在词形上没有对应关系。在音读词的反义词之间，词形上有反义成分，如：進歩／退歩、平凡／非凡、器用／不器用、公開／非公開。

一般认为，一个词和它的否定形式不构成反义关系。比如，“買わない”包括了“買う”以外的一切（借りる、もらう、あずかる、見る……）、所以“買わない”连同这些词都不是“買う”的反义词。其反义词是“売る”。

反义现象是一种极其广泛的词汇现象，分布在性别、生命、色彩、人事、形状、性质、方向、位置、感觉等各个语义领域中。但也有相当一部分词没有反义词，如：おし、やまやま、筆、おかしい、叫ぶ。

【种类】1. 词义绝对对立的反义词。称“対極語”。这种反义词，否定一方就是肯定另一方，反之亦然。例：表／裏、男／女、生きる／死ぬ。

2. 词义相对对立的反义词。称“反対語”。所有表示状态、性质的词如形容词构成的反义词都属此类。否定一方不完全等于肯定另一方，因为，这样的反义词在语义联系中处于两端。例：高い—（高くない—低くない—）低い。又例：長い／短い、重い／軽い、多い／少ない、好き／きらい、ふとる／やせる。

3. 词义方向相反的反义词。例：教える／教わる、買う／売る、行く／来る、上がる／下がる。

4. 把连续的语义划分成几个片断的反义词。又称“関連語”。其中一些片断之间构成复杂的反义关系，但另一些之间并无反义关系，所以整个词群包括无反义关系者构成同位词。例：上／中／下、過去／現在／将来、気体／液体／固体（无反义关系）、朝／昼／夕／晩／夜、黒／赤／青／白、あつい／あたたかい／すずしい／さむい、春／夏／秋／冬、花／風／鳥／月（无反义关系）。

【作用】反义词和类义词一样，对在词义和词义之间的联系中准确地理

解某个词的意义有重要作用。在词典的释义中常把反义词作为辅助手段，其着眼点也在于此。

通过反义词的学习，不仅能够准确地把握词义，同时也能扩大词汇量。反义词的学习有趣味性，逻辑性，因此效果较好。

反义词具有很强的强调、反衬、对照等修辞作用。

①寒さには弱いが，暑さには強い。／尽管怕冷，却很抗热。②くやしいどころか，かえってうれしい。／不但不难过，反倒挺高兴。③休まないで，せっせと働け。／别歇着，抓紧干！④菜の花や月は東に日は西に。／月儿东升，太阳西斜，好一派美丽的油菜花。

反义词（素）构成词语的能力特别强。例：愛憎、異同、有無、遠近、往復、緩急、強弱、公私、出納、内外、利害、多少。

以下是临时性的构词法。

①それは別に好ききらいのためでもない。／那并不是因为喜不喜欢的原因。②お金のあるないはかまわない。／有没有钱没关系。

**待遇表現** タイグウヒョウゲン 待遇表达法

【性质】根据表达主体与对方以及表达对象之间上下尊卑亲疏关系的认识而区别使用的语言形式。

待遇首先表现在词汇方面，如“医者、この人”等是普通用语，“お医者さん、この方”是尊敬语，“医者め、このやろう”是卑骂语。其次还表现在手势、态度等非语言行为上。

待遇表达法可以综合成几个级别，一般说来连贯的表达需要在某个级别内保持一致。如“この人が言った”是普通用语的搭配，“この方がおっしゃった”是尊敬语的搭配。

除固定的上下亲疏关系外，待遇的选择还和其他临时的因素有关。比如，久别的亲友自然多使用敬语交谈，交谈一段时间后，气氛又回到从前的旧交之中，于是就可以改用普通用语了。

表示待遇的词称为“待遇語”，而“待遇語”的使用规律称“待遇法”。

【种类】1. 敬语。用于上级、长辈、面对公众の場合等。

2. 卑骂语。表示对对方、第三方的蔑视。

3. 尊大语。故意抬高自己，并以此贬低对方。可看作前两者的混合用法。

4. 亲昵语。表示亲昵的感情。

2和3的说法社会基础不广，因此在语言形式上也不成体系。4完全取决于个人的语言意识，常用普通用语或敬语来表示，本身在语法和词汇上也不成系统。最有社会基础，因而也最发达，在语法、词汇上自成体系的只有第1种。所以有时“待遇表现”和“尊敬表现”几乎是同义的。

另外，不仅宪法条文、历史记载等需要作“中立”的描写，而且大量的文献杂志报章之类的语言也多是无敬谦可言的，我们也可以把这看成待遇中的一个级别，日语称“中立の待遇表現”。

【参考】“待遇”一词出现于明治中期。冈田正美把待遇分为敬语法、谦语法、平语法、傲语法、卑语法五个类别。松下大三郎的“尊遇、卑遇、不定遇”、保科孝一的“尊称、谦称、平称”、三宅武郎的“敬語、親愛語、対下語”也都是以全部的“待遇”现象为课题的，可是后来的研究只偏重尊敬语，以致“待遇法”和“敬語法”几乎成为同一概念。

战后，重新开始了对尊卑现象的全面研究。如水谷静夫的《待遇表現の基礎》、山崎久之的《国語待遇表現体系の研究》、国立国语研究所的《待遇表現の実態——松江二四時間の調査から》等著作。

体言 タイゲン 体言

【解释】指无活用、能作主语（这是最主要的特征）、能独立运用的一类词。只表示素材概念，语法关系通常用助词、助动词表示，如：后续が、は作主语（例①、②），后续其他格助词作各种成分（例②～⑤），后续助动词作谓语（例⑥）等。

①花が咲いた。／花儿开了。②彼はもう帰国した。／他已经回国了。③筆で書く。／用毛笔写。④三番目から数えなさい。／请从第三个开始数。⑤引き出しの中にある。／在抽屉里。⑥社長は病気だ。／经理有病了。

【分类】通常从语义出发把体言分为三类：名词、数词、代词。此分法源于山田孝雄，他将表示客观实体的词称为“実質体言”，即名词；将表



示抽象意义的词称为“形式体言”，包括代词和数词。

名、数、代三分法即印欧语名词的传统分法，汉语亦同此。

【诸说】山田认为体言表示概念，最主要的语法特征不在于没有活用，而在于能作呼语。如：花よ，咲け。／花啊，快开吧。

桥本不仅考虑体言无活用的形态特征，更重视能单独构成句节或作句节主要成分这一语法作用。他还把体言看作“名詞”的别称，不作细分。

时枝诚记注重形态，因此把同样无形态变化的形容词词干、形容动词词干、接头辞、接尾辞都归入体言。时枝还认为代词表示说者与客体的关系概念，应有别于名词或体言。

大槻文彦也把体言看作名词的别称，并细分为固有名词、普通名词、代词、数词。

铃木重幸认为体言后续不同的格助词是体言的变格，从而把日语名词与俄语等的名词等同起来。

【名称】体、用之说源于佛教。17世纪的契冲论述过词的体和用。18世纪的富士谷成章将体、用之说用于词类划分。

たいして（大して） 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，表示没有达到值得特别提出的高程度。

①彼は酒やタバコが大して好きではない。／他不太喜欢烟酒。②朝晩の凍<sup>し</sup>みかたは大して冬と変わりはない。／一早一晚的冷劲儿和冬天差不太多。③私はこれが大して悪いことだとは思いません。／我不把这看成多么坏的事情。④大して勉強しないのに試験にうまくパスできて得意になっている。／不怎么用功却顺利通过了考试，觉得很得意。

【参考】“大した”是相同意义的连体词，但句末是肯定或否定形式均可。

①大したものだ。／真了不起。②大したものじゃない。／没什么了不起的。③これは大した名作ですね。ノーベル賞を受けたでししょう。／这真是了不起的名作啊。得诺贝尔奖了吧。④大した業績を残さなかった。／身（死）后没有留下著功绩。

対象語 タイショウゴ 对象语

## 1. 时枝语法用语。句子成分之一。

形态上，对象语用主格助词が或を表示。

①足が痛い。／头疼。②水が（を）飲みたい。／想喝水。

意义上，对象语表示谓语所代表的心理活动（感觉、愿望等）的起源、对象。下例①的“母”就是“恋しい”这一心理状态的原因和对象，这句以及其他许多情况下译成汉语后对象语成为宾语，这在一定程度上说明了其特性。

①母が恋しい。／想念母亲。②水がほしい。／想要水喝。③山が見たい。／想见到山。④算術がおもしろい。／算术有趣儿。⑤園部は私がそのべ耻ずかしいのか、来なくなってしまった。／园部是对我感觉害羞还是怎么，不再来了。

在功能上，对象语是后续用言的对象格成分，补充其概念上的不足。当句中无主语时，如后续用言是感觉感情形容词，实质上的主语就是说者，如例①～④。谓语后添加表示疑问、推测的词语时、主语也可以是别的人称。

△时枝诚记本人也指出主语和对象语没有明确的界限，有时甚至是无法区分的。还有的词，既可以带主语，也可带对象语。以さびしい为例：

①町が淋しい（主语）。／街上冷冷清清。②（私は）独り暮らしが淋しい（对象语）。／我对一个人的生活感到寂寞。

另外，日语中句子形式与带有对象语的句子形式相同的还有很多，似乎把这些统一起来处理更有意义（可参照“ハガ文”项）。

2. 铃木重幸的语法术语，相当于英语中的object（宾语）。但是，除包括直接宾语（～を，称“直接的な対象語”）和间接宾语（～に、～と，称“あいての対象語”）外，还包括表示工具、材料、归着等的连用修饰语（～に、～から、～で等，称“間接的な対象語”）。

⇒感觉感情形容词、补充语

对照文法 タイショウブンポウ 对比语法

对两种或两种以上的语言，如日语和汉语之间，或同一语言的不同阶段，如文言和现代语二者之间利用对比的方法找出相同点和不同点的语

法，主要目的是找出可用于语言教学与翻译等实际问题的原理。在外语教学中对比的方法是必不可少的。如：汉语和日语的语序对比可帮助我们理解日语的句子结构。进行对比研究的重要线索之一是语言学习者所犯的错误（具体说即“誤用例”），因为这些错误恰好指点出所学语言和母语之间最容易混淆之处。

目前，中日比较语法还未成熟，较有影响的如望月八十吉的「中国語と日本語」<sup>1</sup>。另外，日本已有以对比方法编写的文言文的教科书，以利在现代语基础上学习文言。

这种对比的方法也用于词汇、语音等领域。这些合起来构成对比语言学（Contrastive Linguistics，对照言語学）。

这种“对比”的方法不可称为“比较”，因为“比较”一词已经被历史比较语言学（参照“比較文法”项）占用了。比较和对比有着方法、目的上的根本区别。前者是纯学术性的，后者是实用性的。日语汉语之间已弄清无亲属关系，所以只能对比，不能比较（但近来用词上似不太严格）。

#### 対人関係表現 タイジンカンケイヒョウゲン 人事关系表达法

在日语中，因交际双方或说者与所涉及的第三方之间的上下尊卑关系的不同，故要区别使用不同的语言形式，这是陈述态度方面的人事关系问题。（参照“待遇表現”项）亦称为敬语。另外，作为叙述内容的授受对象、行为对象、共同行为对象、使役对象等也构成一种人事关系表达法。

【种类和形式】 1. 主体立场。用から表示，相当于主语。

①議長から次のようなあいさつが述べられた。／由主席作了如下讲话。②貧乏人から見ればそれでも多すぎる金であった。／在穷人看来那还是够多的钱了。③事故については，私から全部の責任を受け持ちます。／关于事故，由我来承担全部责任。④ああいうやつから言い出したことで，おれは知らない。／是那家伙说出来的，我不知道。

2. 授受对象。用に或から表示。大体上二者都表示方向，から是从那里出来的方向，に是归于那里的方向。

①敵に致命的打撃を与えた。／给敌人以致命的打击。②学校から褒美をもらう。／从学校得奖品。

△对某些授受动词（之类的词）来说，其上接成分既可看作行为或物体的出发点而用から，又可看作所请求的对象而用に。

①大人から（に）教わったことばを不思議がっている。／对从大人学来的词儿感到稀奇。②父に（から）お金をもらう。／向父亲要钱。

△某些授受动词的主格同时是起点（格），这时用が和用から完全是一回事。

①太郎から（が）次郎に本をやった。／太郎把书给了次郎。

3. 行为对象。用に或へ表示。

①遺家族には弔電を打ちました。／给遗属拍了唁电。②お兄さんへよろしくお伝え下さい。／请代向您哥哥问好。

4. 共同行为对象。

1) 用格助词と和に表示。と表示主动的、に表示被动的共同行为对象。能否通用と和に或能用哪一个决定于动词的性质和表达内容。

①妹とショッピングに出かけた。／和妹妹出去买东西。②彼と停留所で会うことを約束した。／约好和他在汽车站会面。③彼に（と）は停留所で会った。／和他是在车站遇见的。④父母と（に）商談して志願学校を決めた。／和父母商量，定了报考学校。

2) 用で表示行动的共同对象。

①三人兄弟で会社の財政を押えている。／三兄弟控制着公司的财政。②皆で討議する。／大家来讨论。

5. 使役对象。用に和を表示。他动词用に。自动词用に有尊重其志愿的语感，用をを有强制的语感。

①子供に新聞を読ませる。／让孩子读报。②子供に（を）行かせる。／让孩子去。

△就自动词来说，如果是非意志的动词，如：喜ぶ、悲しむ、気絶する、感心する、安心する、笑う，则必须用を，如果是意志动词用にを均可。

①彼女の歌は審査員を感心させました。（※～に感心させた）／她的歌打动了评审员。②落語家はお客さんを（※に）笑わせています。／单口相声演员（的表演）使观众发笑。



△人以外通常用を不用に，道理可按以上类推。

①馬を走らせる。／驱马。

△个别他动词在无宾语时也可用。试比较：

①皆に来させよう。／让大家来吧。②皆を来させよう。／同上。

たいてい（大抵） 〈副词〉

1. 程度副词。

1) “一般、基本上、大部分”

①工事は大抵終わった。／工程大体结束了。②大抵の場合。そんなおそれがありません。／一般情况下，不会那样。③日本語の文法書は大抵読んでいる。／日语语法书差不多都读了。

2) 表示一定限度。

①嘘も大抵にするがいい。／你撒谎也（不能）撒得太过分了。

2. 陈述副词用法。

1) 表示可能性较大的推测，常与だろう等呼应。

①大抵古いものだろう。／大概是旧的吧。②行ってもいいが，大抵何も釣れずに帰るだろうよ。／去也可以，不过多半是回来什么也钓不着。

2) 和否定形式呼应，表示不是一般的程度。常用连体形式。

①大抵のことじゃ承知しまい。／他不会轻易地饶恕的。②たいていの努力では留学に行っても上手にならない。／不下苦功夫，去留学了也学不好。

「たい」と「たがる」たい和たがる的区别

たがる由愿望助动词たい和表示印象的接尾辞がる结合而成，一般认为已是独立的助动词，少数人认为是临时组合。

1. たい和心理形容词一样，具有主观性质，表示内心的愿望；たがる和其他动词一样，具有客观性质，着眼于愿望的外部表现。

2. たい多是一次性的、具体的、即兴的愿望，たがる多是倾向性的愿望。因此たい可后加とおもう，たがる则不能。

3. たい多以第一人称作主语，たがる多以第三人称作主语。这种倾向是以上两点决定的。

4. たい可构成～を（が）～たい两种句式, たがる只能构成～を～たがる一种。

①水が（を）飲みたい。／想喝水。②水を（※が）飲みたがる。／想喝水。

5. 以下情况两者共用, 但たい表示说者和感情主体是同一立场, たがる表示说者从客观立场观察感情主体。

①山田君は酒が飲みたかった。(或を飲みたがった) / 山田君想喝酒。  
②山田君は酒が飲みたい (或を飲みたがっている。) らしい。 / 山田君好象想喝酒。  
③山田君は酒が飲みたい (或を飲みたがっている) 仲間をおごってやった。 / 山田君请客招待了想喝酒的朋友。

代名詞 ダイメイシ 代词、代名词

【性质】词类之一, 属体言。指以关系概念来指示人、事、物、场所等的一类词。如: わたし、それ、あそこ、どちら等。

代词就其造句功能来说, 和名词是完全一样的, 所以有些人不看作独立词类而归入名词中。区别主要表现在意义上: 名词表示事物的实质概念, 数词表示数量和顺序概念, 代词表示事物的关系概念。换言之, 代词有指示事物、代替名词的作用。在实际语言生活中, 因为有语言的和非语言的具体场面, 我们无需一一说出每个事物的名称, 而用代词指出事物本身或代替其名称就可以了。这就是代词的指示性和代用性。代用性可看作其词义用法, 而指示性是其主要的语法功能。

【日语的代词】首先, 有完整的体系。人称代词有一、二、三人称及不定称之别, 指示代词根据空间或心理上的位置, 有近称、中称、远称、不定称之别。

没有性的语法范畴, “彼女”一词只是近代才有的, 没有数的语法范畴, 只是以～たち、～ら表示多数; 没有格的语法范畴。

体系复杂, 如有近、中、远称之别。数目多, 如, 第一人称代词就有: わたし、わたくし、あたし、あたい、わし、ぼく、おれ、てまえ、わがはい等。

代词和代词之间有转用现象。如: あなた来自古语指示代词, 指示代词こちら可转用为第一人称代词。名词转用为代词的情况也不少, 如武士

用语的“拙者、貴殿”，尺牍用语的“小生、貴兄”，演说用语的“諸君、諸氏”等即是，但一般不看作是代词。

以上各语法特征基本上是日语特有的。

【种类】有人称代词、指示代词、反身代词3种。见各该项。

无关系代词，这也是乌拉尔·阿尔泰语系的主要特征之一。

【诸说】1. 关于性质。大槻文彦、松下大三郎、桥本进吉持名词说，认为其代替名词，语法功能与名词相同；山田孝雄、安田喜代门等持指示说，认为其具有指示性，区别于名词；时枝诚记持关系概念说，认为指示性是语言的普遍性质而非代词独有。认为其区别于名词、数词的特征是关系概念，同时也指出代词在文脉中的指示作用。

2. 关于种类。大槻文彦持人称代词、指示代词二分法。桥本进吉是三分法，另有反身代词。

时枝诚记认为反身代词无人称区别，应归于名词，并把代词分成名词性的（私）、连体形的（この）、副词性的（そんなに）三种。这与他的关系概念说有关，与佐久间鼎のコソアド系说一脉相承。

明治年间还有过田中义廉、金泽庄三郎等的三分法：人称、指示、疑问代词。但后来的学者仍将疑问代词看作各种代词的不定称。

⇒人称代名詞、指示代名詞、コソアド、反照代名詞

題目語 ダイモクゴ 题目语

【性质】指作为句子的题目（参照“题目”项）的成分。是句子成分之一。

1. 句子反应客观内容和主观态度两个方面。如果把客观内容的一部分在主观上认定为句子的中心，把它放在句首，就成了主题。主题既然是叙述的中心或起点，其余部分自然都是对它进行说明的，称“叙述部”。

①日本（に）は長い川がない。／（在）日本没有很长的河。

例中，“日本（に）は”就是主题，后面是对这个主题的说明。

2. 同时，通常主题还兼任一个格成分，如上例的“日本（に）は”兼任场所格，表示存在的地点。

①あの人を知っていますか。／那个人你认得不认得？

上例中“那个人”是主题，同时在语义关系上又兼任宾格成分。

3. 主题和主语的最本质区别是：主语表示格关系，而格关系是比较客观的，主语通常是谓语所代表的动作的发出者、执行者；主题则是说者认定的叙述中心，它在第一层意义上是超越于任何格关系之上的。这种差异造成主语句和主题句在表达效果上的区别，先看例句。

①雨が降っている。／下雨了。②雨は降っている。／雨在下。③雪子さんが今日訪ねてくる。／今天雪子来访。④雪子さんは今日訪ねてくる。／雪子今天来访。

例①是对眼前的事实的描述，是现象句（現象文、物語り文），句中没有传达的中心，或者说整个句子都是中心。例②则不然，说话前“雨”就已是对话双方心目中的题目，这个句子是对“雨”进行的说明、判断，属于判断句（判断文、品定め文<sup>しなまだ</sup>）。例③和例④的区别与此相同。

【主题的标记】1. 用は、こそ等提示助词表示，这是最基本的。除代替が、を外（但是をば、こそが现在罕用），要和其他格助词重叠。个别时候は也代表には。

①料理は和子が作りました。／饭菜是和子做的（兼宾语）。②和子は料理を作りました。／和子做了饭菜（兼主格）。③東京（に）はまだ行ったことがない。／东京还没去过。④「行革」と（いうの）は行政改革のことです。／所谓“行革”就是行政改革。⑤こここそ世界一暑い所です。／这里就是世界最热的地方。

2. 用提示助词性词组“という”、“だ”、“となる”、“とする”的各假定形式以及“ときたら”等表示。

①魚といえば、鯉より清潔なものはない。／要说鱼，没有比鲤鱼更干净的了。②オーストラリアというと、すぐ羊の群を連想するでしょう。／一提澳大利亚，马上就联想到羊群吧。③上海なら中国最大の工業都市です。／上海，中国最大的工业城市。④冬だと（だったら），食物が腐るおそれがない。／若是冬天就不用担心食物腐烂。⑤歌ときたら，僕は全く音痴だ。／至于唱歌，我纯粹是个音盲。⑥外国語としては，もちろん英語が一番使い道があるよ。／（作为）外国语，当然是英语最有用途啦。⑦一課の連中は皆夕子の事を良く知っているが，他の課 となると話は別だ。／同一个科的同事都很清楚夕子的事儿，至于别的科



那就另当别论了。⑧電子計算機となつては、「計算」はその機能のほんの一部分である。／至于电子计算机，“计算”只不过是其功能的一部分。

### 3. 用零形式或独立语。

①ご飯食べました？／饭吃过啦？②戦争，これは人間の悲劇である。／战争是人类的悲剧。

【主题和格】1. 作叙述中心是主题的本职，同时又起格成分即广义的连用修饰语的作用。如下例①来自主格，②来自宾格，③来自连用修饰语。

①歴史は最後の審判を下す。／历史将作出最后判决。②最後の審判は歴史が下す。／最后判决将由历史作出。③今日は和子が当番する。／今天和子值日。

和格助词重合的比较容易理解，例句从略。

另外，三上章等人认为也可以兼任属格（ノ格）。

①象は鼻が長い。／象鼻子长。②蟹工船はどれもボロ船だった。／捕蟹船都是破船。③大学は法政科に入った。／大学，进了政法科。④彼は職業が医者だ。／他职业是医生。⑤大根は根を食べて葉を捨てる。／萝卜吃根扔叶。

上例就句子本身来看，确实可看作“象の鼻”、“蟹工船のどれ”，但意义差别很大。

2. 主题相对于句中两个以上的谓语，兼任两个以上不同性质的格。例①的“本”相对于“難しい”是主格，相对于“読む”是宾格。例②的“この意見は”相对于“提出”是宾格，相对于“反対される”是主格，相对于“賛成”是补格（に格）。

①この本と言えは，難しすぎて，私は読むことができません。／要说这本书，太难了，我读不了。②この意見は，彼が提出したにもかかわらず，皆に反対されたので，今は彼自身も賛成しない。／这个意见虽然是他提出的，由于受到大家的反对，现在他自己也不赞成。

3. 主题直接从非语言环境中提示出来，因而不兼任格成分或连用修饰语，这种情况下的主题和谓语没有直接的关系。一般情况下，主题所代替的非语言环境，可用语言描写出来。如例①中的（ ）部分。

①さっきは（私が失礼なことをしたが）ご免なさいね。／刚才，请原谅。②日本語ときたら，私はあなたの足元にも及ばない。／至于日语，我还不如您的一角儿呢。③新聞を読みたい人は，ここにありますよ。／想看报的人，（报）在这儿。④肉饅頭なら，中にお入り下さい。／包子往里走。（如果您想吃包子，请您往里走）⑤その喜びようは，勝ったのでしょう。／那高兴劲儿，准是赢了。⑥虫だけは山に育った人のようじゃないね。／怕虫子这一点，你不象是山里长大的人。

【参考】松下大三郎把题目语分为大题目和小题目。如，“象は体は大きいが目は小さい。”一句中“象は”是大题目，“体は”和“目は”是小题目。现在一般把题目语限制在“大题目”的范围，也称主题。

题目语是句子成分之一，但在一定的文脉中，可以省略。

「今は何時ですか」「（今は）十時十分前です。」

たえて（絶えて）〈陈述副词〉

和否定呼应，表示时间、经历等方面的全部否定。近于まったく、ちっとも等。

①それ以来，彼は絶えて姿を現わさなかった。／那以后，他就再也不露面了。②たえて御無沙汰に打ち過ぎました。／久未通信。③<sup>かける</sup>駆が，このように熱した言葉を口にすることは，私の知る限り絶えてないことだった。／阿驱这般慷慨陈词，据我所知还从未有过。

だが〈接续词〉

1. 表示前后两项内容不一致或相反。比しかし更口语化。

①すごいあらしだ。だが，被害は思ったより少なかった。／暴风雨很猛。但是受灾比预想的要轻。②「私はそれを悪い事だとは，考えもしませんよ」「だが今に分るだろう」／“我根本不认为那是坏事。”“但是你马上就会明白的。”

2. 后项对前项作特殊的或相反内容的重要补充。

①浩一とは対照的に，彌生は冷静だった。だが，その冷静さは普通ではない。／和浩一形成对照，弥生是冷静的。不过她的冷静有些不寻常。②家並に沿って谷川が流れているようだ。だが私には見えない。／好象有溪流沿着成排的房屋在流着。不过我看不见。③そう言えば確かに

そうであった。だが『遙拝隊長』は社会性をもった狂人小説と見るべきであろう。／若那样说倒确实可以这样认为。不过《遥拜队长》这一篇应该看作是具有社会意义的狂人小说吧？

【参考】1. 有时可移至后句句中，意义不变。

①この碑は、二年前に建立された。長崎平和公園の一角にあるこの碑は、だが、長崎市民もその存在すら知らない者が多い。／这个碑是两年前建的。但是，位于长崎和平公园一角的这个碑，连长崎市民也有许多人甚至不知道它的存在。

2. だが口语和文章均用，但女性会话一般不用，代之以でも、でもね等。

3. 文章专用形式为“が”，见另项。敬语形式为ですが，意义完全相同。

①ヘリでも構いません。ですが、あまり高い所から撮ると小さすぎてはっきりしないでしょう。／当然直升飞机也没关系。只是，如果从太高的地方拍摄就会太小而不清楚。

ダ型文 ダガタブン ダ型句

指形式上与名词句相同，但只有在特定的环境里才能表达具体思想的句子。

①僕はウナギだ。／我来份鳗鱼（盒饭）。②北京は天津だ。／去北京在天津换车。

【特点】以上两句如果分别作为比如“君は何を食べるか”“北京へはどこで乗りかえるか”的答话，就等于“僕はウナギを食べる”和“北京へは天津で乗りかえる”。由于有适当的环境，这两句经过省略谓语，再由ダ来代之，就成了例①、②的形式。可见ダ型句与通常单纯省略谓语的句子不同。也有的时候ダ型句碰巧也是一个普通的名词句，如“僕は太郎だ”，如出自“太郎”之口，意为“我是（叫）太郎”，否则为“我要（我选，我喜欢……）太郎”。

ダ型句虽然是多义的，但是在实际运用中，在场面、环境的作用下，只有一个意思。也正是因为对这种场面、环境有很强的依赖性，ダ型句多用于对话之中。

【谓语】ダ型句是普通的谓语句省略谓语，在连用成分(包括主语)后添加ダ构成的。省略的形式大致有两种。一是将原句中的谓语和有关助词都略去。

①二つの事件は同じ犯人だ。(←が行った等)／两个案件都是同一罪犯所为。②私は新宿です。(～で会う、～に行く等)／我在新宿见他。我去新宿。③姉さんは男の子です。(～を生みました、～が好きです等)／姐姐生了男孩。或：姐姐喜欢男孩。④君は土井だ。(～を教える、～と行く等)／你教土井。或：你和土井一同去。

另一种是只将谓语省略，保留原句连用成分中的助词等。

②'僕は新宿です。／我是在新宿(遇见他的)。③'姉さん男の子です。／姐姐(生的)是男孩。④'君は土井とだ。／你和土井一起去。

这两种省略比较起来，第一种省略彻底，意思较模糊些。第二种省略不彻底，意思稍清楚些。如，②'从“新宿で”所连想的限于“会う、働く”之类和デ格有关的动词。例②则不然，它也可能是“～新宿が好きです、新宿に住んでいます、新宿から来ました”等的省略造成的。

另外，有时原句谓语后面的助词助动词之类可以保留。

①汽車は三時のはずだ。(←汽車は三時につくはずだ)／火车应该是三点(到达)。②兄さんらしいね。(←兄さんが今さき一度来たららしいね。ダ被らしい吸收。)／好象是哥哥。③和子は和服だろう。(←和子は和服を着て来るだろう。ダ被だろう吸收。)／和子大概会穿和服来。④今日は安岡先生だそうです。(←今日は安岡先生が講議するそうです)听说今天是安冈先生(上课)。

【ダ型句在句中】ダ型句作为更复杂的句子的一个成分来使用的情况也比较常见。这时ダ的活用比前面作为独立句时更多样，尤其常用词组でない。主要类型有：

1. 并列结构的子句中，前部分是否定，后部分是肯定，并且实际上谓语也相同时，前一个子句的谓语省去，用ダ的否定形式代替。这时ダ(でない等)代表的谓语很容易通过后半部来理解。有时后半部也形成ダ型句(如例④)，这时就要依靠场面等来理解。被省谓语之前的格助词之类也可保留(例3、4)



①僕はアフリカでなく、ヨーロッパに旅行したい。／我不是要到非洲，而是要去欧洲旅行。②戦争でなく平和こそが全世界人民の望みである。／不是战争，而正是和平才是全世界人民的愿望。③彼は母とではなく、父と行くのです。／他不是和母亲，是和父亲一起走。④彼は母とではなく、父とだ。／同3。

2. 作ダ型子句的并列谓语。下例中的なら则是ダ型子句作条件句的例子，用法同4。

①あの日が修善寺で今夜が湯ヶ島なら、あすは天城を越えて湯ヶ野温泉へ行くのだろう。(伊豆の踊子)／那天是修善寺，今天夜里在汤岛，那么明天就会越过天城山，南行到汤野温泉去吧。

3. 作定语。因为有上下文，实质意义较易理解。ダ要转为の、という等。

①京都は昔の長安と深い縁故の都市である。(←～と深い縁故だ←～と深い縁故を持っている)／京都是和古代的长安有密切关系的城市。

4. 作条件句。实质意义可根据上下文理解。

①学校なら(行ったなら)呼ばなくてもいいよ。／如果上学了，不用叫他。②そう類には顕微鏡でなければ見えないような小さいものもある。／藻类之中也有一些很小的，不用显微镜(来观察)就看不见。③食塩水は100℃より高い温度でないと沸騰しない。／食盐水不是100℃以上的温度就不沸腾。④あなただったら(あなたがしたら)どうしますか。／若是你，怎么办？

5. 作引语用。

①それを厚生省へ相談に行くと、日本語は文部省だという。／到厚生省去商量这件事，结果说是日语是文部省(归文部省管)。

6. 省略代用法。例①中的である、です，实际上是第一句的省略代用。

①A氏は政界引退を余儀なくされ、自宅軟禁状態にある。最も有力な次期大統領と見なされていたのに、である。(である之前省略的是“A氏は～にある”这个句子)／A氏不得已退出政界，处于自宅软禁状态，

尽管他一直被认为是最有希望的下届总统。②娘の母親に話があります。その母親が面目ということを考えるならばですが。／和姑娘的母亲有话讲。假如她的母亲考虑面子的话。③「その事は決まったのですか。」「だと思います。（←その事が決まったと思います）」／“那件事定了吗？”“我想是的。”

【参考】以上（特别前半部分）观点主要来自奥津敬一郎。关于ダ型句的生成过程另有以下观点。奥津认为，比如“私は新宿です。”是“私は新宿で彼に会ったのです。”之类通过省略转换，抹去划线部分而生成的。而仓持保男认为经主语所包含的行为部分被省略而成。和奥津敬太郎的观点比较如下。

ぼくはうなぎ（を食べる）だ。（奥津）

ぼく（の食べるもの）はうなぎだ。（仓持）

だから 〈接续词〉

1. 表示主观推论的依据。有时移至后句句中。

①牟田は、アメリカ、イギリスと旅行している。だから、英会話に苦労することはない。／因为牟田曾到美国、英国旅游，所以英语会话不成问题。②収入が万円，支出が二万円。だから損害は差し引き万円である。／收入一万日元，支出二万日元，所以收支相抵损失一万日元。③あの二人組は場所が分るはずはない。しかえしに来ることは，だから，できないのだ。／那两个人不可能知道地点，所以是不会来报复的。

△有时后续こそ，成だからこそ，表示强意。

①家庭はもともと内部の人を規制します。だからこそ，そこに秩序と調和が生みだされます。／家庭本来就是对内部的人实行制约的。正因为如此，才从中产生出秩序与和谐。

2. 在会话中，可用于接过别人的话头，引出自己的主张、疑问等。

①だから言わないこっちゃ（＝ことでは）ない。／所以我不是不说嘛！②「鶴田に近寄っている君は，こんなことぐらいはとっくに分ってるはずだ」「だから私に何を教えろというの？」／“你接近鹤田，这点事儿总该早就知道的。”“所以，你让我告诉你什么呢？”

【参考】敬语形式为ですから，意义相同。

①私は外では、タバコは吸わないんです。ですから、持ってません。  
あしからず。／我在外不吸烟，所以没带。别见怪。

たがる 〈愿望助动词〉

【活用】五段动词型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
たがる	たがら	たがり たがっ	たがる	たがる	(たがれ)	(たがれ)	(たがろ)

1. 未然形。后续ない、ぬ（ん）。

①彼はあまり自分のことを口にしたりしない。／他不太愿意提自己的事。  
②映画を見たがらぬ子もたまにはある。／偶尔也有不乐意看电影的孩子。  
③物を食べたがらず、遊びをしたがらず、どうしたことでしょう。  
／不想吃东西，不想玩儿，这怎么啦？

2. 连用形。

1) たがり。（1）中顿。

①非常に学びたがり，知りたがっている。／非常好学善问。

（2）后续ます。

①年寄りにはバレエなどは見たがりません。／到岁数人不喜欢看芭蕾舞什么的。

（3）后续ながら，表示逆接关系。

①彼はこの方面の研究をやりたがりながら資金問題でやめさせられた。／他虽然很想做这方面的研究，但由于资金问题只好作罢了。

2) たがっ。后续た、たり、て、ても等。

①秋山も帰りたいがたが，あとに残された。／秋山也想回去，却被留下了。  
②熱があるのに遊びに出たがってしょうがない。／发烧还想出去玩儿，真让人没办法。  
③いくらボクシングを習いたがっても，母が許してくれません。／我非常想学拳击，妈妈就是不准。  
④勉強したがつたり，遊びたがつたり，落ち着かない。／一会儿张罗做功课，一会儿又张罗玩儿，安不下心。

## 3. 终止形。

## 1) 单独或后续终助词结句。

①子どもはよく鬼ごっこをやりたがる（ね）。／孩子可真乐意玩儿捉迷藏。

## 2) 后续助动词らしい、だろう、そうだ（传闻）等。

①子連れクマはよく人を襲いたがるそうです。／据说带幼仔的熊好袭击人。②学生たちはみな見学に行きたがるだろう。／学生们都想去参观吧？

## 3) 后续接续助词から、が、けれども、と、し等。

①どうしても帰りたいから帰しました。／一个劲儿张罗要回去，所以让他回去了。②いつも人をいじめたがるどころしてやるぞ。／总想着欺负人，当心教训你。③子供は全部が全部あめばかり食べたがるが、あまり多く食べさせない方がいい。／小孩儿有一个算一个专爱吃糖，但是最好不要让吃得太多。

## 4. 连体形。

## 1) 后续体言。

①外国からの観光客が見たり聞いたりしたがるのは歌舞伎です。／外国游客喜闻乐见的数歌舞伎。②うちのやつはむやみにしゃべりたがるくせがある。／我家那口子有个多嘴多舌的毛病。

## 2) 后续有体言成分的助词、助动词等。

①娘が画家になりたがるので、絵本を何冊も買ってやった。／女儿总想当画家，给她买了许多本画帖。②子供が学校に行きたがるのに行かせない親もあるという。／据讲还有的父母孩子要上学却不让去。③学者という者はとかく自分の業績を過大評価したがるのだ。／学者这种人往往要夸大自己的成就。

## 5. 假定形。不常用，一般用たがるなら或たい的假定形たけれ。

①親が見たがれば，子供もテレビに夢中になるのは当然だ。／大人愿意看，孩子也当然会对电视着迷。

## 6. 命令形。极少见到，多数人认为たがる无命令形。

①本ぐらい読みたがれ！／想着读点儿书吧！



7. 推量形。极少见到，偶尔用たがるだろう形式，一般用たいだろう形式代替。

【接续】通常接意志动词、动词型助动词连用形后。意义3还可接非意志动词后。

【意义】1. 表示对第三人称出于愿望而显露的状态或采取的行为、行动的客观描写。

①子供がどうしても公園に行きたがるので，一度連れて行った。／孩子非要去公园儿不可，就领着去了一趟。②かえるは向う岸にわたりたがっています。／青蛙一心想游到对岸去。③だれが運動会に行きたがらないのか。／谁不想参加运动会！④若者は宇宙飛行士に成りたがっても，牧師には成りたがらない。／青年宁愿当宇航员，也不愿意当牧师。

2. 表示说者对自己或对对方的愿望在外部流露的客观描写。通常只用于非现在时和条件句。

①子どものころ，私はいつも人の食べている物を食べたがっていた。／小时候，我总是眼馋别人吃的东西。②皆浜辺へ休暇を取りに行ってしまうなら，僕も行きたがるだろう。（将来时）／假如大家都到海滨去度假，那我也会想去的。③私が行きたがっているのに，あなたは知らん顔をしている。／你明明看着我想去，却装着不知道。④あの時，君もあの本を読みたがっていたのだ。／当时，你也张罗着要读那本书来着。

3. 表示自发的、自然的倾向。

①花見時分の天気はどうかすると降りたがる。／赏樱花时节的天气，说下一场就下一场。②それまで私は，面倒なことにぶつかり，正面からの対決を避けたがるくせがあった。／在那之前我有个恶癖，一遇到棘手的事就想回避正面交锋。③お前は人の言うことを聞かず，いつも叱られたがる。／你不听别人的话，净找着挨训斥。④人というのは金ができるととかく贅沢したがるものだ。／人啊，一有了钱就容易奢侈。

【タガルの敬语】只有尊敬语形式，很少用。

①お読みたがりになる。／想读。②お読みになりたがっていらっしゃる。／同上。

【参考】 1. 有些书中不看作是独立的助动词，而视为たい 和 接尾词がる的结合。本书从岩井良雄等的普遍看法，另立为助动词。

2. “眠たがる”等词中的“がる”是接尾辞，即“眠たい”和“がる”的结合。

だけ 〈副助词〉

【接续】 1. 接体言后。

①あれだけのものは中々手に入らない。／那么好的东西很难弄到手。②言葉だけでもありがたいと思います。／只是说说我也领情。③いつも自分のことだけを考えるのはあまりにも利己的だ。／总是只顾自己就太自私了。④君だけに教えてあげよう。／我只告诉给你吧。⑤ここだけの話だよ。／这可是只能在这儿说的话啊。

2. 接用言、助动词连体形后。

①口で言うだけではだめよ。／老嘴上说可不行。②背が高いたけで選手に選ばれた。／只因个子高被选为运动员。③ただ丈夫なだけがとりえだ。／只有结实这一点是可取之处。④考えただけでもぞっとする。／一想便不寒而栗。⑤うちの子は年がいかないだけに、聞き分けがない。／我的孩子还小，不懂事。⑥事件は親と先生に叱られるだけで終わった。／（这次）风波只挨了大人和老师一顿批评就过去了。

3. 接の、が外的格助词后。

①親類へだけ知らせた。／只通知了亲属。②母にだけ教えられる内緒だ。／是只能告诉母亲的秘密。③隣りのおじいさんは子供とだけ遊ぶ。／隔壁的老爷子光和小孩儿玩儿。

△与が、を重叠时，が、を一般省去。和へ重叠时，当へ位于だけ之后时也可省去。

①おかずがまずかったので、ご飯（を）だけ食べました。／菜不好吃，只吃了饭。②先生だけ（が）小学生の良き友達だ。／只有老师是小学生的好朋友。

与其他格助词重叠时，一般格助词位于其前其后意义均相同。如だけに等于にだけ、だけと等于とだけ、だけから等于からだけ、だけ（へ）等于へだけ。

但でだけ和だけで、表示引用的とだけ和だけと意义有明显区别。

①注射でだけなおる。／只有注射才能治好。②注射だけでなおる。／只注射就能治好。③太郎とだけ言った。／只说出了一句太郎。④太郎だけと言った。／说只有太郎。

4. 插入性的接续法。可接て和补助用言之间，动词连用形 和する之间，形容（动）词连用形く、に、和なる之间，等等。

①あんたは勉強してだけいればいい。／你只管学习就行了。②読ませ書かせだけはするものだ。／让读读写写总还是需要的。③背が高くてだけはあったが，物分りがまだだ。／光是长了个头儿，还不懂事。

5. 接某些表示“少量”的副词后。

①分らない点はちょっとだけです。／不明白的问题很少。②少しだけ残しておこう。／只留一点儿吧。

【意义】1. 以只顾所提事项不顾及其余的口气，表示对于最小范围的限定。

①第一印象だけで，人は信用できない。／不能只凭第一印象就相信一个人。②君にだけ責任があるわけではない。／并不是只你自己有责任。③実の大きいものだけ残して，あとは取ってしまった。／只留下果实大的，其余都摘掉了。④そう勝手に，自分だけの都合で決められては困る。／你那么随随便便地光顾自己方便来决定，我可不好办。⑤そうすると損をするのは私だけだ。／这样一来，吃亏的只有我了。⑥見るだけなら見せてやる。／若是光看就给你看。⑦朝は飯とみそ汁とつけ物とだけで二百円だから，まあ，一日千円かかるかな。／早晨只吃米饭、酱汤和咸菜，要三百日元，那么一天要用一千日元啦。

△此用法构成许多惯用形式。

①経営の成功ではなく，ただ値上がりしたただけだ。／不是经营的成功，只是涨价了而已。②あの人はただ生きているというただけだ。／他仅仅活着而已。③どうしてもうまく行かないので，実験を中止するだけでした。／怎么弄都弄不成，所以只好停止了实验。④稲子は空港から帰るだけになっていた。／稻子（办完了事）只等从飞机场回来了。⑤この論文は序論だけしか読んでいない。／这篇论文我只读了序

论。⑥ハイキングには、サンドイッチだけで（は）なく、ジュースもチョコレートも持っていくつもりだ。／野游时不光是三明治，我还想带果子露和巧克力去。⑦山や林を緑でおおうことは、単に国の美感だけのことではない。／绿化山林，这不仅仅是为了美化国家。⑧いいわ。しょうがないから、連れていくだけは連れていくわ。／好吧。领你去还是领你去的，真是没办法。⑨日本には自分の研究はしないで、ただ外国の学説の紹介だけに熱心な学者も少なくない。／日本还有不少学者不进行自己的研究而专门热心于介绍外国的学说。⑩初めは冗談を言いあっているだけのことにすぎなかったのにどうしたわけか大喧嘩になってしまった。／开始只不过是互开玩笑而已，不知怎么着就大吵大闹起来了。

2. 表示某范围内的最大限度。常用するだけする的形式(例①～④)。

①降るだけ降ればいい天気になるよ。／下透了就能晴天。②桐原は吐くだけ吐いて、蒼白な顔でぐったりとシートにもたれている。／桐原吐尽了食物，苍白着脸颓然靠在座席上。③やれるだけやってみよう。／尽力而为吧。④休みだから飲みたいだけ飲んでもかまいません。／因为是假日，可以开怀畅饮了。⑤月給はあるだけ使ってしまって月月赤字が出るぐらいだ。／工资有多少都花光，几乎月月都入不敷出。⑥ボールは紐が許すだけ遠く飛ばされている。／被绳系着的球被抛到绳能到达的最远处。⑦言うだけのことは言い，するだけのことはする。／该说的都说，该做的都做。

3. 表示最低限度或最低而足够的条件。

①わずかだけなら，私の手元にもあります。／如果是少量的，我手头也有。②話すだけは話してみてもほしいと言っている。／他要求最低也要讲一讲。③私は子供に高等学校だけはやらせるつもりだ。／我至少也要让孩子念高中。④考えてみるだけで怖い気がします。／只是想一想也都惧怕。

4. 表示前后两项间的一种比例关系。

1) 随着前项程度的变化，后项也在程度上与之相应地发生顺态变化。



①だが都会は、過剰な人口分だけ競争も苛酷である。／但是，城市里，人口的过剩部分越增加竞争也越严酷。②考えるだけむだだ。／再想也白搭。③液体中の物体は，その物体がおしのけた液体の重さだけ軽くなる。／液体中の物体所减少的重量，等于该物体所排开的液体的重量。（阿基米德定理）

△一般常以下列惯用形式来用：～ば（或たら等）～だけ（に）～的同词反复形式、～ば（たら等）それだけ～、～だけそれだけ～等。

①山は掘れば掘るだけ少なくなるもので……／山挖一点就会少一点……②品物は高ければ高いだけいいとは限らない。／东西未必是一分钱一分货。③練習したら練習しただけの効果があって，今会話が何とか出来るようになっている。／练习果然有效果，现在能作一些会话了。④今出かければそれだけ早く帰れるよ。／现在就走，就能早点儿回来。⑤休むだけそれだけ着くのも遅くなるから，続いて歩きましょう。／休息一会儿到达就会晚一会儿，还是接着走吧。

2) 随着前项程度的变化，后项在程度上相应地产生逆态变化。前项也可看作原因。

①物腰が柔かいだけかえって無気味だ。／越是和言悦色，越令人害怕。②いつもは体が丈夫なだけ，一度病気になると危険だ。／正因为平时身体健壮，一旦得病都很危险。③それは私の殆ど見る機会のなかったものであるだけ，その突然の出現には一種の新鮮さがあった。／那是我几乎没有机会看见的东西，正因为这样，其出现便有一种新鲜感。

5. 表示两种事物的等价、等量关系。

①五円切手を百円だけ下さい。／我买一百日元的五日元邮票。②私だって食べるだけの収入は必需だ。／即使我也需要够吃饭的收入。③誰が見ても彼はあれだけの人間だ。／无论谁看，他就是那么个人。④国会議員選挙に関心を持つ国民はどれくらいあるだろうか。／关心国会议员选举的国民到底能有多少呢？⑤それは，やっぱり女優さんだけです。経験で写真の撮られかたを心得ていますから。／这可到底是女演员。凭经验懂得如何让人拍照。⑥三郎は戸を打ち破って踏みこむだけの勇氣はなかった。／三郎没有足够的勇气敢破门而入。⑦私だって，人から変

な目で見られないだけの服装はしている。／我也注意穿着，至少免得别人用奇怪的目光来看我。

△此用法 5 还构成～だけのことが（は）ある、～だけのものが（は）ある。

①どんな事でも骨を折れば折っただけのことにはある。／无论什么事费力总不会白费的。②さすがはスポーツマンだけのことはあって、ちょっとした病気には寝ない。／真不愧为运动员，不因一点小病而躺倒。

△还构成だけあって，见该项。

【参考】 1. “教科書だけが勉強ではない。／并不是只有学教科书才算学习”相当于说“教科書だけが勉強だというわけではない”。换一个句子就可能是歧义的：“彼だけが学生ではない。／不是只有他一个人是学生。或：只有他不是学生。去掉が则只有后一种意思。だけは的含义是“别的先不顾及，至少这一个”，没有歧义。

2. だけ由表示尺度的名词“丈”（たけ）转成。至今なるだけ、あるだけ等中的たけ仍是清音。

3. だけ有时有类似形式体言的用法。

①僕はよく岸に立ってその景色を見わたして、家に帰ると、覚えているだけを絵に書いてみようと思いました。／我常常站在岸边眺望这种景色，回到家就试着把记住的一切都画下来。

だけあって 〈词组〉

由副助词だけ、动词ある的连用形音便形あっ、接续助词て构成。接活用词连体形或体言后。

【意义】表示事物本身的价值、程度、性质决定的理由、原因、条件。常用于积极肯定、赞美。

①彼は若いころ体を鍛えただけあって、いまでもしゃんとしている。／他多亏了年青时锻炼身体，现在也满硬朗。②なるほど名人と言われるだけあって、どこか違ったところがある。／不愧为名人，有些独特之处。③阿蘇山は世界に名高いだけあって、大したものさ。／阿苏山不怪扬名世界，真是壮观啊！④エジソンは天才だけあって、することはすべて常人の想像以外だった。／爱迪生真是天才，做的事都是常人想不

到的。⑤彼女は幼い時苦労した下女だけあって、物分りが速い。／她到底小时当过受苦的女用人，遇事儿马上心领神会。

【参考】不用于自己的事，这时要用だけに表示。

①ゆうべよく寝ただけに（※だけあって）きょうは頭がはっきりしている。／多亏昨晚睡得好，今天脑袋很清醒。

だ系（I） 〈顺态接续词系列〉

【构成】由だ的活用形、接续助词等构成。公认为接续词的有で、では（じゃ）、だから等，见各该项。另外还有だったら、だとすれば、だとすると、だとしたら等。由である派生的接续词见“である系”。

【用法】1. だったら。在前项的推测、对方话语等的假定基础上，提出后项的判断、疑问等。

①あなたはパパと同じ見方なんでしょう。だったら，改めてあなたの話しなんか聞かされるまでもないわ。／你和爸爸是同样的看法吧？那样，我就不必再听一遍你那一套话了。②こういうのは経費として請求できるんでしょう。だったら，ぼくが無理をすることはないです。／这是能作为经费报销的吧？要是那样，我就不逞强（掏腰包）了。③「歌舞伎じゃないけど，新劇でもないって」「だったら<sup>せりふ</sup>台詞まわしはどうするんだろうかねえ」／“听说，不是歌舞伎，但也不是话剧。”“那台词该怎么念呢？”

△だったら的敬语形式是です派生的でしたら，意义相同。

①「私はどうしてもこう思わずにはいられない」「でしたら，やはり本をお書きになりますね。」／“无论如何，我不能不这样认为。”“这样一来，您还是要写成书喽？”

2. だとすれば、だとすると、だとしたら。意义同1，推论性略强。其中だとすれば最常用。

①「平吉の家に行ったのは確かですね」「ええ」「だとすれば，平吉に会ったのですね」／“你确实到过平吉家吧？”“是的。”“这么说，你见到平吉了？”②ヒロインは心の強い母性型の一人であった。だとすれば，作者の壺井栄はやはり「人生の教師」と言えよう。／女主人公是一位很有骨气的母亲的典型。这样看来，作者壺井栄仍可以说是一位

“人生的教师”吧。

### だ系（Ⅱ） 〈逆态接续词系列〉

由助动词だ的活用形，接续助词等构成。主要有でも、なのに、なのに、だって、だが、だけれども等，均可看作独立的接续词，见各项。

另有だからといって，表示从前项的理由并不能得出后项中的似乎很可能的结论。一般用于连接句子或分句。

①どんなに立派な計画でも，実行度の割合はよくて80%ぐらいでしょう。だからといって，計画そのものが無意味だと思ふのは間違いです。／无论多漂亮的计划，能得以实行的百分比，弄得好也只能有80%。但是，如果因此而认为订计划本身无意义，那就错了。②彼自身も予感がないではなかったが，だからといって，彼にどうすることができたろうか。／他自己也并非没有予感，但他又能怎么办呢？③人助けのための<sup>せきよう</sup>施行所を建てたほどの金持ですが，だからといってすべての人のくらし向きを良くする力があるとは限りません。／（他）是个甚至能办起救济他人的慈善机构的富翁，即使如此，也未必有力量改善所有人的生活状况。

### だけに 〈复合助词〉

由副助词だけ、接续助词に（来自文言）构成。に在古日语中有顺态和逆态接续两种用法，だけに亦有两种用法。见意义。

【接续】同だけ。其中接用言及助动词连体形的近于接续助词，其余为だけ的一般副助词用法。

【意义】1. 表示与某种（特殊的、程度更强的）事物或原因相应地产生某种顺态结果、结论。有赞美、积极的口气时可用だけあって代替。如例①。

①さすが銀座だけに高級品を揃えた店が多い。／到底是银座，高档商品齐全的商店很多。②戒厳態勢をしいている最中に起きただけに今回のデモは，小規模といえども注目される。／这次示威，正因为是正在戒严期间发生的，所以规模虽小仍受到关注。③年を取っているだけに，父の病氣は直りにくい。／因为上了年纪，父亲的病难以治愈。④さつまいもはおいしいだけによく売れる。／甘薯好吃，所以很好卖。

△有时还构成～が～だけに的同词反复形式，表示该事项的特殊性。



①私は二年前と何一つ変わったもののない場所が場所だけに、つい二三日前に彼にあったような感じがしたほどだ。／正是由于那地方和两三年前没有什么变化，所以我甚至觉着就在两、三天之前还曾见过他似的。

## 2. 表示反比例的关系。

①外が明るいだけに、教室の中は暗くなって、私の心の中のようにでした。／外面很明亮，相比之下教室里更显得黑暗，就象我心里一样。②すべて世の中は相対的なもの，偉ければ偉いだけに，風当りもひどかろう。／世上的一切都是相对的，越著名也就越招风。③収入が低ければ低いだけに，彼女たちは一層作業に根<sup>こん</sup>をつめねばならないのだ。／收入越低，她们就越发需要拼命做工。④予期しなかっただけに，優勝の報に接した時の喜びはたえようもなかった。／正因为当初没抱希望，当接到得冠军的消息时，高兴得无法形容。

【参考】下例中だけに<sup>①</sup>是だけ<sup>②</sup>和に<sup>③</sup>的临时组合。

①拾った貝が持てないだけになると，岸の砂地へ運んだ。／拾到的贝壳多得带不动了，就搬到岸上的砂地上去。

だけれども 〈接续词〉

另有だけれど、だけど等简略形式。

### 1. 承认前项，后项做否定性补充。

①多分ね。だけれど可能性がないわけじゃない。／多半是（那样）。但也不是说没有可能性了。②今年に入ってからずっと雨が降らない。だけれど貯水池があるのでかんばつの被害はない。／年初以来一直无雨。但是由于有水库，没有因干旱受损失。③私もそう思う。だけれども実際に行ってみなければ分らないね。／我也那么认为。不过，只有实际去看才能知道。

### 2. 就前项内容的某个方面，以意外的语气在后项做评论。

①彼はマラソン大会で優勝したそうだ。だけれどあんな小さな体でよく優勝できたものだね。／听说他在马拉松赛上获得冠军。可凭他那瘦小的身体，这冠军得的可不容易啊！②「午前中にやってしまいました。」「だけれど，はやいものだね。」／“上午干完了。”“干得真快！”③逃げる

道はなかった。だけど、映画はこれで終りだ。殺した者は殺される。／无路可逃了，而电影也就到此结束了——杀人者被杀。

【参考】另有敬体形式ですけど、ですけど、ですけども，与以上意义相同。

①私はそれを見るに忍びません。ですけど、それをどうして私にと止めることができますしょう！／我不忍看（这事）。但是我怎么能制止得了（这事）呢！

⇒だ系（Ⅱ）

だす（出す） 〈接尾辞〉

五段活用。除实义动词外，有下列接尾辞用法。可接于自、他两种动词后，不改变原词的自他性质。如，走り出す（自＋他→自），読み出す（他＋他→他）。

1. 表示前接动词的方向是由里向外。

捜し出す（找出来）、追い出す（赶出来）、誘い出す（叫出来，约出来、引诱出来）。

2. 表示前接动词的完成、结果。

編み出す（编好、织好）、醸し出す（酿出）、考え出す（想出、想好）、作り出す（做出）。

3. 表示前接动词的开始、起动。

（雨が）降り出す（下起〔雨来〕）、動き出す（开始动）、書き出す（開始写）、駆け出す（起跑）。

如接于瞬间动词，表示复数主体的动作的开始。街のあかりがつき出した。复合后的整体动词是瞬间动词。因此，下句不成立。今論文を書き出しているところだ。应为もう～書き出している。／现在已经开始写论文。

△接自动词的另有“出る”。与だす的区别是：出る是指从里到外的具体动作。试比较；

噴き出す（喷出）、噴き出る（喷出来）、飛び出す（开始飞）、飛び出る（飞出来、飞到外面来）、あふれでる（溢出来）。

上例“噴き出す”是他动词。

△だす与はじめる的区别是：前者表示事态的发生。后者表示动作的开始。雨が降り出す。／下起雨来了。雨が降り始める。／雨开始下了。書き出す。／写起来了。書き始める。／开始写。因此，～出す往往需要非意志性副词的修饰，～はじめる需要意志性副词的修饰。

①思わず叫び出した。／不由得叫起来了。②そろそろ本を読みはじめようか。／该看书了吧。

たそうだ・たそうです <助动词性词组>

由愿望助动词たい的词干た和样态助动词そうだ结合而成。たそうです是敬体形式。

【活用】同そうだ和そうです。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
たそうだ	○	たそうだった たそうでした たそうに	たそうだ	たそうな	たそうなら	○	(たそうだろう)
たそうです	○	たそうでした	たそうです	○	○	○	(たそうですね)

【接续】同たい。一般接意志动词连用形后。

【意义】表示根据外部特征做出的对某人的愿望的判断、推测。

①太郎は水を次郎に飲ませたような顔をしている。／看太郎的表情好象要把水喂给次郎似的。②ほかの子も食べたそうですから少しずつ分けてあげましょう。／别的孩子也好象想吃似的，每人给分一点儿吧。③上の子も一緒に来たような様子だったが，むりやりに留守番をさせた。／大孩子好象也要一起来，但是我硬让他看家了。④春子さんは英語の勉強を始めたそうでも，自信がなさそうです。／春子小姐好象想开始学英语，但又好象没信心。⑤サッカーのチームには誰もかれも加わりたそうだった。／足球队每个人都想加入。⑥何か話したそうに見えるが，口をあかないでいる。／好象要说什么似的，却不开口。

【参考】1. 下例的可以是たい的词干，也可以解释成过去助动词た，

这种歧义能从上下文或其他方面解决。

①太郎も来たそうだ。／看样子太郎也想来。②据说太郎也来了。

2. ねむたそうだ、つめたそうだ、めでたそうだ中的た是形容词本身的一部分。

### ただ

〈陈述副词〉多和表示限定的だけ、ばかり、のみ等呼应,有时无呼应形式(例⑦、⑨),表示对数量、程度的最低限定。

①それは、ただ彼だけが持っている。／那只有他有。②ただ私の仕事の邪魔をするのだけはやめてもらいたいものだ。／我只想让人不再干扰我的工作。③三千代はただお辭儀をしただけで引込んで仕舞った。／三千代只鞠了一躬就退回去了。④ただ読むだけでなく、書くことも練習しなさい。／不光是读,也要练习写。⑤ただ医者が針を皮ふに刺した瞬間だけ、口元がちょっと動いた。／只是在医生把针刺进皮肤的一瞬间,嘴角动了一下。⑥恐らく、ただ褒めてばかりいてはいけないでしょう。／恐怕只表扬是不行的吧。⑦ただ五点の差で不合格になった。／只因五分之差没有及格。⑧午後になると、ただの水さえ飲まなくなった。／到了下午就连水都不喝了。⑨誰も見えず、ただ、おりに入れられていた小犬が一匹、時々悲しそうに吠えたてていた。／一个人影也没有,只有一只关在笼子里的小狗不时悲哀地叫着。

〈接续词〉表示对前项进行例外的、保留性的说明和补充。多用于句间。

①すると、セキセイインコもまた翔び立った。ただ雀ほど俊敏には行かない。／接着,阿苏儿也飞了起来。只是不如麻雀来得利落。②順介は、法夫<sup>のりお</sup>が宿題をやっているときでも、そばでラジオを聞いていた。ただ、じゃまにならないように、イヤホーンをつけている。／順介即使是法夫做作业时也在旁边听收音机。但为了不打扰,带着耳机。③彼は学校を休んだことはなかった。ただ、病気の場合は例外だ。／他迄今从不缺席。当然有病例外。

【参考】ただ和なお作为接续词很相似。但是,当前后两项无矛盾时,不能用ただ。试比较:

①あしたは登校しません。なお(※ただ)あさっても休みです。／



明天不到校。另外，后天也休息。②明日は登校しません。ただ(=なお)学級委員は登校して下さい。／明天不到校，但年级委员请到校。

ただし(但し) 〈接续词〉

表示前项不是百分之百地正确、行得通，用后项做必要的补充说明。没有部分否定的含义，这点不同于もっとも。

①いつ来てもいいです。ただし来る前に電話をかけて下さい。／你什么时候来都可以，只是来之前请打个电话。②委員の任期は五年とする。ただし補欠の委員は前任者の残任期間在任する。／委员的任期定为五年。另，候补委员可在前任者任期未满期间留任。

【参考】ただし和ただ极相似，但后者有主观上否定评价的语气，前者后项只表示客观条件。所以，纯客观的补充不能用后者。试比较：

①大学構内に入るてとを禁ずる。ただし(※ただ)教職員はこの限りではない。／禁止进入大学院内。教职员不在此限。

たち(達) 〈接尾辞〉

接体言后表示复数。

1. 接代词后。

私たち、あなたたち(～がた)、君たち(～ら)、彼たち(～ら)、俺たち、自分たち。

△たちの敬让程度在がた和ら之间。要接敬让程度适当的代词后。

2. 接有关人的类别的词后。

お母さんたち、家族たち、子供たち、息子たち、学生たち、仲間たち、党员たち、犯人たち。

3. 接人名后表示以其为代表的一些人。

中村さんたち、花子たち。

たって(I) 〈接续助词〉

由过去助动词た、助词って构成。理解上可看作“と言ったって(=と言っても)”的缩合形式。前面常加促音，变成ったって形式。有时为加强语气可后续も。如：今帰る(っ)たって(も)電車がないよ。／说现在回去，也没有电车呀。

【接续】接体言及活用词终止形后。

①旅行ったって、ちょっと伊豆の温泉へ行ってくるだけだ。／虽然说是旅游，也不过是去一趟伊豆的温泉。②なんたって、足が速いからかなわない。／再说走的也太快了，我算服了。③どんなに速く読めるたって三日ぐらいはかかるだろう。／无论读得多快，总得要三天吧。④多いったって、10人分には足りないさ。／多也不够10个人的份儿啊。⑤いくら字がへただったって、もう少し読めるように書けないものだろうか。／即使字写得再不好也罢，就不能写得更好认一点儿吗？⑥遊ばせるたって、ただではないよ。／虽说让你玩儿，可不是无条件的啊。⑦叱られるたって、親の恩情を忘れるわけにはいきません。／即使挨训，也不该忘记父母的恩情。⑧行かないたって、内心行きたくないものでもない。／嘴上说不去，可心里并不是不想去。⑨何か書きたいたって、全然ひまがない。／想写点儿什么，却一点儿空儿也没有。⑩この混み具合じゃ、見ようたって見られやしない。／这么个拥挤劲儿，想看也看不成。

△体言后的だ也可以省略。

①子供（だ）ったってこのくらいのことはできるよ。／即使是个小孩子，这点儿事情还能办。

△也可以接能接と（引用）的其他词形后。

①貸せったって、ないものは出せない。／让我借给你，可我没有拿出。

【意义】表示尽管承认前项，仍有后项的不足或剩余，限定或条件等。同いっても。见接续例。

△有时用于句末，表示不相信、不说透等语气。

①「すみません。稼いで返します。」「かせぐったって」と海南子<sup>かなこ</sup>は思った。／“谢谢。我挣钱再还你。”“嘴上说挣钱吧！”海南子在心里说道。

【参考】1. 体言后的たって实际上更近于提示助词性质。

2. 有的书把たって（Ⅰ）和たって（Ⅱ）看作一个词。实际上二者来源、接续、语法意义均不同，应该看成两个不同的接续助词。

たって（Ⅱ）〈接续助词〉

由过去助动词た和接续助词とて（＝と言って）结合后，经音便而

成。

【接续】同接续助词ても。接动词、形容词、形容动词、形容词型助动词的连用形后。サ行外的五段动词要接连用形的音便形后。在ガナバマ行五段动词后要浊化为だって。在形容词及同型助动词后时多插入促音，成了たって。

①悲しんだって，今となってはどうしようもない。／悲伤也罢，事到如今什么办法也没有了。②知ったって知らなくったって同じです。／知道不知道都一样。

【意义】1. 和否定形式或内容呼应，表示前项条件不足以使后项结果成立。可用ても替换。たって只用于较随便的会话。

①今から行っただって，間に合いっこないよ。／即使现在去也来不及了。②今どき5千円や6千円の手当をもらっただって何にもなりゃしないわよ。／这时节拿个五六千日元的津贴，啥也不顶。③わずかばかりの天文学知識があるとしたって，天体の秘密を全部解明することは到底無理だ。／就算有那么一点儿天文学知识，要把全部天体秘密都解开，绝对办不到。④語学が上達したけりゃ苦しくたって何年もつづいて頑張らなくちゃだめだ。／若想提高外语水平，尽管很艰苦，没有几年的努力是不行的。⑤いくら働いたって，くらしは良くならなかった。／无论怎么工作挣钱，生活也没能改善。⑥私は鳥狩に行く時はあっただって釣りは行かない。／我尽管有时也捕鸟，但不去钓鱼。⑦あいつはたたいたって，ふんだってしない。／那家伙揍他踢他硬是不干。

2. 终助词用法。基本意思同上，同时使表达有余韵。

①いいわよ。そんなに気をつかわなくったって。／不必了。不必那么费心。

【参考】1. 見たって（I）的参考2。

2. たって同て一样，只能接动词和形容词连用形后。名词、副词、格助词、形容动词词干后的だって可看作助动词だ和词尾だ本身的变化（だ+といつて→だとて→だって），但语法意义确与たって相同。

①あの男は，どんな金持だって，娘をやる気なんか全然ない。／他不管你多么有钱，丝毫无意把女儿嫁给你。②物質的には幸せだって精

神的には不幸だ。／尽管物质上是幸福的，精神上却是不幸的。

参见“だって、って”项。

だって 〈接续词〉

用于气氛融洽的会话中，女性多用。

1. 对自己的行为、说法（前项）说明理由（后项）。可用なぜなら代替。

①あなたには厭よ。だってあんまりじゃありませんか。／不能顺从你。你也太那个了。②昨日は遅刻しました。だって，ストで交通がまひしていたからです。／我昨天迟到了。因为罢工交通瘫痪了。③今日は，大人しく家で勉強しなさい。だって明日から試験でしょう。／今天你要在家老老实实地学习。明天开始该考试了。

2. 用于对对方的疑虑、批评、申斥等进行辩明、解释、否定。有时可用なぜなら代替（例②）。

①「ひとこと僕に言っておかなくちゃ」「だって、あなたは家にいない時が多いのに」／“你应该事先告诉我的呀！”“可你不常在家呀。”

②「どうして坐ってばかりいるの?」「だって足が痛いんだもの。」／“干吗一个劲儿坐着?”“我腿疼嘛。”

3. 说明对对方的看法、命令、劝诱表示不从、否定的理由。

①「今日は早く登校しなさい」「だって，まだ準備ができていないのよ」／“今天早点到校。”“我还没准备好哪。”②「田中さんの長男が昨日渡米したんですってね。」「だって，今朝会社で会ったよ。そんなはずがないだろう」／“听说田中的大儿子昨天去美国了。”“可我今天早晨在公司见过他呢，不会的吧。”

【参考】だって(用法3)和でも的区别。前者表示拒绝，以辩解的语气说明理由。后者以遗憾的语气说明愿望不能实现，并无拒绝的含义。试比较：

①「一緒に旅行をしましょう」「だって父が許してくれないわ」／“我们一起旅游吧。”“不，爸爸不让。”②「一緒に旅行をしましょう」「でも父が許してくれないわ」／“我们一起旅游吧。”“但是，爸爸不让。”

用法1、2不能用でも代替。



だって 〈接续助词〉

由助动词だ（或形容动词词尾だ）的终止形与とて（= と言って）结合后经音便而成。或看作だ和っての临时组合。

【接续】接体言、形容动词（型助动词）词干。

①相手が子供だって特別扱いはしない。／即使对象是儿童也一律对待。②表向きはあんなにぜいたくだって，実は火の車だ。／别看表面上大手大脚的，实际上捉襟见肘。③うわべは強そうだって，中味はからからだ。／貌似强大，实则空虚。

【意义】可用でも代替。但だって更口语化。

1. 表示尽管有前项条件，后项中的相反情况仍能成立。

①どんなにきれいだって半日も経たないうちにきたなくなる。／无论多干净，不过半天就脏了。②芽が出そうだって，やはり水をやらないのがいい。／即使眼看要发芽，还是不浇水为好。③虎ちゃんは娘のようだって，喧嘩となると勇士のようです。／小虎虽然象个姑娘似的，可一打起架来就象勇士一样。

2. 终助词用法。基本意念同上，并使句子有余韵。

①「親切なようだって」「気を付けろというのか」／“别看挺亲热似的。”“你是要我当心吗？”

【参考】だっての语法地位。だって的意义同たって，但二者对于上接词的关系不相同。如下表所示，たって整个可以看作接续助词，而だって按理说只有って部分能算接续助词，即って和たって部分是对应的，だ是助动词或词尾。

词 别	对应 部分	词 干	词 尾	助 词
たって		親し	ん	だって
		親し	く	たって
だって		親切	だ	って
		(名词)	だ	って

だって 〈提示助词〉

【接续】 1. 接体言后。

①そんなこと、誰だって出来ますよ。／这样的事儿谁都会呀。②こうやって暮してみることだって、たいしたことだよ。／这样过上几天日子，就已经不容易啦。

2. 接副词后。

①少しだって分けて食べる。／即使少也分着吃。②もっとゆっくりだって間に合います。／再慢点儿也来得及。③いくらだって借してやろう。／无论多少我都借给你。

3. 接格助词、副助词、接续助词等之后。

①子供の絵本にだって出ていることだよ。／这是连小人书上都写着的事情啊。②あんたにはどこまでだってついていくわ。／我将跟你走到底。③今は南極へだって行けないこともない。／现在即使南极也不是去不了。④身回りのものなら、近くの店でだって売っています。／日常用品，即便附近的商店也有卖的。⑤今からだって遅くないからがんばって見なさい。／即使现在开始也不晚，努力吧。⑥日本人とだって恥ずかしがらずにすらすら話せる。／即使和日本人也能落落大方，对答如流。⑦ざっと見るだけだって一年かかる大作だ。／这部大作光是浏览一遍也需要一年。⑧50万円ぐらいだって都合できる。／50万日元也筹措得到。⑨借金をしてだって子供を大学に行かせようとする。／即使借钱也要供孩子上大学。⑩女なら編物ぐらひは話しながらだってできるものだ。／妇女织东西即使一边说话也能织。

【意义】在不同的文脉和句式产生不同的具体意义。

1. 举特定或极端的例子，表示与其他一样，并不例外。在句中往往用来提示主语或其他句子成分。

①赤ん坊にだって食べられるお菓子だ。／是连婴儿都能吃的糕点。②日よう日だって休むことがない。／星期日也从休息。③いくら警視庁だって年がら年中大物種があるはずはありませんよ。／就算是警視庁也罢，不能一年到头儿总有大号新闻啊。④この風呂敷は大きく広げれ

ば、トランクまでだって包める。／这个包袱皮展开，连皮箱都能一起裹上。

2. 从有关事项中举出类似或相关的几项，表示这几项 和 其它事项一样都不例外。

①英語だって日本語だってからきしだめだ。／无论英语还是日语都一窍不通。②教科書代だって，バス代だって，食費だって全部自己負担になっている。／无论书费、车费还是伙食费，全部自理。③日本へだって，アメリカへだって，留学ならどこだって同じです。／到日本也好，美国也好，到哪儿留学都是一回事。

3. 举出正反两项，表示任何一项都不碍于后项成立。

①今だって昔だって人情に変わりはない。／现在也好，过去也好，人情都是相同的。②うまいのだってまずいのだって栄養に富んでいる物なら好き嫌いなしに食べなければならない。／无论是好吃的还是不好吃的，只要有营养的就不应该挑食。③男だって女だって同じく選挙権が認められている。／无论男女同样享有选举权。

4. 接疑问词后表示全面肯定或全面否定。

①誰にだってできるかというと，そうはいかない。／是不是谁都会呢？并不是。②誰だって知っているから新しいことはないね。／谁都知道，不新鲜。③いくらなんだって死を選ぶことはないよ。／无论样么样也不该寻短见啊。④ご主人はいつだって帰宅しませんね。／您丈夫总是不回家啊。⑤名勝地はどこにだって行ったことがない。／名胜地哪儿也没去过。

5. 接最小数量单位后，与否定内容呼应表示全面否定。

①はずかしいせいかしら，彼女は一度だって顔を出しませんわよ。／是因为害羞吧，她连一次都不露面呢。②継父から一円だってもらったことがない。／从没得到过继父的一分钱。③あめがきらいな子は多分一人だっていないだろう。／不喜欢糖的孩子恐怕连一个也没有。

【参考】1. 有时后加も构成だっても以加强语气。例如，いつまでだってもやりぬくつもりでいる。／我准备坚持到底。

2. 词源：或为であつても的缩合形式，或为だをとて结合后经音

便而成。

だって 〈终助词〉

【接续】接于引语的末尾。有时后续其他终助词ね、さ等。见下例。

【意义】表示直接引用他人的话，以惊讶或不满的语气转告他人。相当于という、といった等。

①こんなにあったかいのに、この子ったら、寒いねだって。かぜでもひいたのかしら。／明明这么热，这孩子却说冷。是感冒了不是？②あいつ、知っていたくせして、僕は全然気がつかなかっただってさ。／他明明知道，却说什么他自己根本没发觉。③おばあさんも<sup>もうろく</sup>耄碌したね。僕の顔を見て、どなた様ですかだって。／奶奶真是老糊涂了。看见我，竟问“您是哪一位？”

【参考】下例だって是助动词だ和って<sup>て</sup>的临时组合，但意义相同。参照终助词<sup>て</sup>项。

①あいつは私のことを気違いだって。／那家伙竟说我是精神病。②あれが芸術だって。子供のままごとさ。／那是艺术？简直是儿戏！③あいつが正直者だって。とんでもない。／说他是老实人？岂有此理。

「だって」の見分け方 ダッテノミワケカタ だって 的词类鉴别

可根据だって在句中的位置、接续、意义加以区别。

①いくら呼んだって返事もしない。(た<sup>て</sup>てⅡ的浊音化。接续助词)／怎么喊也不答应一声。②だって、あやまるのはいやだ。(句首。接续词)／可是，我不愿意道歉。③大人だってかなわない相手だ。(体言后，提示主语。提示助词)／是个大人也敌不过的对手。④彼はいくら部長さんだって、現場を離れることができない。(体言后，表示句子间的逆接关系。接续助词)／他即使是部长先生，也不得离开现场。⑤山の中は静かだってさ。(句末。だ是词尾，<sup>て</sup>是表示传闻的终助词)／说是山里很静哪。⑥これでも学校だって。全くお婆け屋敷だ。(<sup>て</sup>是表示反诘的终助词，だ是助动词)／这算是学校？简直是闹鬼的地方。⑦お母さんは怒るたびに、バカねえだって。(<sup>て</sup>是表示传达的终助词)／妈妈每次生气都骂我“真混”。



△因为助动词だ的一些活用形都有提示作用，以及主语省略等原因，提示助词だって和接续助词だって之间往往没有截然的区别。

### 他動詞 タドウシ 他动词

【性质】动词的一种，与自动词相对。主要有以下语法特点。

1. 能够带宾语（～を）。这是规定他动词的依据。表明该动作直接影响到某一客体。当然，受影响者未必一定用～を形式。如“戦争に反対する”中“戦争”承受“反对”的影响，但因用に，习惯上不作宾语。他动词例：

①ドアを開ける。／开门。②花を折る。／折花。③人を殴る。／打人。

有的他动词含有使役态性质或者以使役态形式作他动词用。

①子供を使いに行かす（行かせる）。／打发孩子出去办事。②ブタに薬をのませる（のます）。／给猪灌药。

2. 他动词比较自由地构成被动态。

①太郎は泥棒にお金を盗まれてしまいました。／太郎被小偷偷了钱。②太郎は先生に褒められた。／太郎受到老师表扬。

3. 他动词可以较自由地用～てある形式表示结果体。

①机の上には本が置いてある。／桌子上放着书。②黑板に先生の字がそのまま書いてある。／黑板上老师写的字还在留着。

【自・他动词的对应关系】日语中自・他成对的动词大多数语义相同，也有一小部分有细微的语义差别，如“立つ⇔立てる”，前者是一种状态，后者表示一种变化。

有一些词没有形态上对应的他动词或自动词。

自：行く、遊ぶ、寝る、死ぬ、くもる

他：読む、殴る、打つ、追う、置く

自・他兼类的词也较多，而且多数有语义上的差别。如：風が吹く。／刮风。笛を吹く。／吹笛子。水が増す。／涨水。水を増す。／加水。子供が笑う。／小孩儿笑。人を笑う。／嘲笑人。サ变动词中自他兼类的更多，但通常没有语义上的差别。如：国会が解散する。／国会解散。国会を解散する。／解散国会。再如：生じる、集中する、混同する、終了

する、再開する。

自・他对立也有一对多或多对多的关系。

漏る・漏れる／漏らす

伸びる／伸べる・伸ばす

生きる・生かる／生ける・生かす

“漏れる、生かる”带有被动的意义，称中相动词。而“伸ばす、生かす”带有使役的意义，比“伸べる、生ける”他动性更强。

自・他对立从形态上的认定较复杂，但也可举出几点大致倾向。如：  
 ～ru↔～su对应的，通常前者是自动词，后者是他动词（起る↔起す、生かる↔生かす、帰る↔帰す、回る↔回す）；～aru↔～eru对应的，通常前者是自动词，后者是他动词（集まる↔集める、休まる↔休める、止まる↔止める、受かる↔受ける）；～aru通常为自动词，～asu通常为他动词，前者与被动有关，后者与使役有关（つかまる、見つかる、教わる、つまる／明かす、飛ばす、走らす、驚かす）。

⇒自動詞、動詞の種類

他動詞文 タドウシブン 他动词句

指以他动词为谓语的句子，与自动词句相对。基本句式：主 语＋宾 语＋谓语。

【结构】他动词当然以有宾语为特征，但主语必须是有行为作用的活动体，才能和他动词搭配构成他动词句。

①兵士たちは敵の司令部を囲む。／士兵们包围敌人的司令部。

没有行为作用的非活动体如构成人、事现象时，也可以作为原因、能力的主体而做主语。

①父の死が花子の運命を変えた。／父亲的死改变了花子的命运。②

この映画館は観衆を千人も容れます。／这座影院能容纳一千名观众。

但构成纯自然现象时，不能以非活动体做主语。

①※海は日本を囲んでいる。（应为：日本は海に囲まれている。）

／日本被海包围着。

句中除主要成分外，还可以有各种连用修饰成分，这些通常不是句子结构上必需的。

①だから私は彼女の話しを“原寸”に戻しながら聞かなければならない。／所以我必须把她的话恢复到“本来的尺寸”上来听。

谓语句可后续助词、助动词。另外通常把以授受动词、使役态动词为谓语句的句子都包括在他动词句之内。

【意义】他动词句一般描写主语对宾语施加的各种行为动作。见以上各例。另外还有一些他动词句，描写的是无意的行为、经历和事实。

①伝染病で一人息子を殺してしまった。／因传染病把个独生儿子死了。②電車の中で財布を落としてしまった。／在电车上把钱包弄丢了。③額に深いきずを作りました。／在额头上造成很深的伤。④学生数は男子学生が2 000人，女子学生はわずか500人を数える。／学生数，男生2 000人，女生只有500人。⑤それからは彼の消息を聞かない。／从那以后他就没消息了。

【与其他句式的关系】1. 他动词句一般都能转化为被动句。

①警視庁の捜査員が石野を疑っている。→石野が警視庁の捜査員に疑われている。／石野受到警视厅的侦察员的怀疑。

但是，主谓宾关系十分明确的他动词句中的宾语是无生物名词时不能转为被动句（如例①），动词是授受动词时也不能转化（例②）。

①猫がかつおぶしを食べた→※かつおぶしが猫に食べられた。②太郎は次郎に物をやる→※次郎は太郎に物をやられる。

2. 可以转换成使役句和可能句。

①生徒が作文を書く→生徒に作文を書かせる。／让学生写作文。②日本語を話す→日本語を（或が）話せる。／会说日语。

たとえ 〈陈述副词〉

和ても、でも、たって、だって、としても、たところで、（よ）うが、にしろ等形式呼应。也说成たとい。表示：

1. 即或是在前项的非常条件下，后项行为仍然进行。常有强调、决心的语气。

①たとえ，雨が降っても行きます。／即使下雨也去。②たとえ除名されようとも，正しいことは正しいと言います。／即使可能被开除也罢，对的事情就说对。

## 2. 即或前项是极端情况，后项的评价仍然成立。

①たとえ冗談でも，そんなことは言ってはいけません。／尽管是玩笑，那种话也说得不得。②たとえ小説であつても余りにも非人情的である。／就算是小说也罢，（情节）也太残忍了。③たとえその人が生きているとしても精神的負担から脱出するのは困難だろう。／即使那个人还活着，恐怕也难以从精神负担中摆脱出来。④たとえ本当に子供が出来ないにしたらところで，それは離婚の理由にはならない。／纵令真的不能生育，那也不成其为离婚的理由。⑤たとえどれほど小さなものであれ，人のものを盗んではいけない。／不管是多么小的东西，都不该偷别人的。

たとえば（例えば）

〈接续词〉表示后项是对前项的举例说明。

①私はしみじみとした歌が好きだ。例えば「荒城の月」のような歌だ。／我喜欢深沉的歌曲，比如象《荒城之月》这样的歌。②電圧の大きさの単位はボルトで，記号Vで表わす。たとえば1.5ボルトの電圧は1.5Vと書く。／电压大小的单位是伏特，用符号V表示。例如，1.5伏的电压写为1.5V。

〈副词〉以假定语气表示对同类事物的例示，用于句中。例③用于分句。

①有機物以外のたとえば食塩のような物質を無機物という。／我们把有机物以外的比如食盐之类的物质称为无机物。②発作中の彼は，たとえば通りすがりの人にいきなり「おい，下士官を呼べえ」と大声でどなりつけることがある。／当他（精神病）发作时，比如对过路人有时也大声吆喝，“喂！把下士官叫来！”③例えばあなたが私だったら，あなたはどうかえられたでしょうか。／假如你是我，你会怎么回答呢？

【参考】副词用法例③可用かりに代替，但たとえば仍是从许多可能性中选出—个，以此作为假定。

ダナ活用　ダナカツヨウ　ダナ活用

口语形容动词的主要活用种类，除个别词属于“タルト活用”外，绝大多数词都是ダナ活用。“～ダ”是终止形，如：静かだ、健康だ、ナウだ。“～ナ”是连体形，如：静かな、健康な、ナウな。因ダナ两行中活用，故名。形容动词型活用的助动词也按ダナ活用。如：～ようだ、～よ



うな、～そうだ、～そうな。

⇒形容動詞、形容動詞の活用、形容動詞式活用、形容動詞の連用形（及其他形）。

だに 〈文言助詞〉

【接続】主要接体言后，有时接活用词连体形后。

①聞くだに寒き冬の雨／听着都寒冷的冬雨。

有时接格助词等后重叠使用。

①夢にだに見ず。／连梦中也没有见到。

有时接すら、さえ后构成すらだに、さえたに。还可以构成だにも形式，だも是其简略形式。

【意义】现在只用于文章。主要见于较旧的小说，用于文言体文章。

1. 用于否定句，以最小限度为例否定其他更严重情况。

①推しても引いても微動だにしない。／无论推还是拉，纹丝不动。

②喜助の有難がる二百文に相当する貯蓄だにこっちはないのである。／我连相当于喜助所感恩戴德的那二百文钱的积蓄也没有。③堤の上はそよ吹く風あれど，川面はさざなみだに立たず。／堤上虽有微风轻拂，河面不见涟漪。④山吹<sup>やまぶき</sup>の実の一つだになきぞ悲しき。／悲然棣棠树，枝上果全无。（俳句）⑤雲はますます低くたれ林は霧に包まれどこを見ても，光一閃だも（＝だにも）ないのである。／云垂得越来越低，树林被雾包围着，无论向哪处看，连一线光亮都没有。

2. 构成副词いまだに、さなきだに、さらでだに等。

だね 〈间投助詞〉

由间投助词だ、ね构成。接于句中或句末的句节后，表示单纯的语气停顿或提醒对方注意的语气。语气比だ柔和。

①この問題はだね，きのうの復習だよ。／这道题呀，是复习昨天的。②彼はだね，この事態をだね，どう考えているのか。／他呀，对这种事态，是如何看的？

だの 〈并列助詞〉

【接続】1. 接体言及形容动词（型助动词）词干后。

①市場には野菜だの，果物だの何だので売り台があふれんばかり

になっている。／市场上又是蔬菜，又是水果什么的，货架堆得满满的。

②日よう日は洗たくだの虫干だのと普段よりも忙しい。／星期天又是洗衣服，又是晒东西，比平时更忙。③上手だの下手だのといっぺ言争っている。／水平高水平低地争论不休。④サルのようなだの犬のようなだのと、人の悪口ばかり言っている。／又是象猴子啦又是象狗啦的，尽说别人的坏话。

## 2. 接引语末尾用言（形容动词除外）的终止形、命令形后。

①値段が高いだの品が悪いだのとうるさく言っている。／价钱贵啦质量差啦地絮叨。②学校には行かないだの、宿題はしないだのと、結局は勉強はしたくないということだ。／又是不上学啦，又是不做作业啦，说到底就是不愿意念书。③けるだの殴るだのとひどいことをすると、皆でこらしてやるぞ。／你敢又踢又打地胡来，我们大家可要教训你了。④出てゆけだの、死ねだのと、何かにつけてつらくあたられた。／不是让我滚出去就是让我死，一有什么大事小情就要受到粗暴的对待。

△后续情况大致是：1. 整个～だの（～だの）词团相当于一个名词，后续格助词等。2. 整个词团相当于一个副词，常后续格助词と（引用的と或副词标记的と）。

### 【意义】1. 表示逐一列举。

①温室にはバラだのつばきだのダリアだのが美しく咲いている。／温室里蔷薇啦、山茶啦，大丽啦，都开得很美。②山だの川だのそこに架かる橋までが絵で示されている。／山啦，河啦，甚至上面架的桥都用图形标志着。

## 2. 表示对主要事项的列举，暗示有其他事项。

①もとより幹部だの、役員だのを望んではない。／我本来就没指望当个什么一官半职。

### △常用～だの～などの形式。

①米国だの日本などの経済大国／美国、日本等经济大国。②お菓子だの果物などで腹一杯ごちそうになりました。／又有糕点又有水果什么的，我吃得饱饱的了。③ジャズだの流行歌なんかばかりを聞いて

いるんじゃないだよ。／光听些爵士乐、流行歌曲之类的可不行。

3. 借用列举形式，以不满、不耐烦等口气来引述或评论别人的语言、心理活动。常用相似或正反部分相重复的形式（例①～④）、肯定否定相重复的形式（例⑤）、指示词或疑问词前后搭配等形式。

①あっちへ行けたの，こっちへ行けたの，全く役所というものは不親切だ。／把人支过来支过去，官厅这地方就是对人不热情。②頭が痛いのだ体がだるいなど怠ける口実ばかり探している。／又是头疼，又是四肢无力，尽找些偷懒的理由。③良いのだ悪いのだとあとをにごさないではっきり言って見なさい。／别一会儿好一会儿不好地含糊其辞，要说个清楚。④ただで譲ってもらったからには，古いだのきたないのだと文句は言えない。／是人家白送的，所以不能旧啊脏啊地挑毛病。⑤食べるのだ食べないのだって言わないで，何でも食べなければならない。／别吃这个不吃那个地，应该什么都吃。⑥世間では，彼のことを何だのかんだのとよく言う。／社会上常风言风雨地议论他。⑦どうだのこうだのと難しいことばかり言っている。／说话左右为难人。

【参考】由判断助动词だ和并列助词の构成。主要接体言后，接用言后时等于接准体言后。其中形容动词后的だの也可看作词尾だ和并列助词の。だの和の各有侧重，参见“の”项。

だのに 〈接续词〉

表示前后项内容不相称、后项与根据前项所作的予想相反。另有なのに，意义相同。

①ゆうべ遅くまで練習したんです。だのに，朝になってまた忘れちゃったんです。／昨晚练习到很晚。可是，到了早晨，又忘了。②祖父は，年老いて耳が少し不自由です。だのに毎朝ジョギングを欠かしません。／爷爷年老，耳朵有点儿背，但每天早晨仍坚持慢跑。③暗くなって，あたりが見えなくなった。だのに，彼はまだテニスコートでがんばっている。／天黑下来，看不清周围的东西了，可是他还坚守在网球场上。

⇒だ系（Ⅱ）

たび（度） 〈形式名词〉

接动词连体形、名词（加の）后，构成～たびに形式的副词节。为强调，也用たびごとに，口语中可音便为たんび。表示每一次前项动作行为都伴随后项。

①旅行のたびにお土産を買ってくれる。／每次旅行都给（我）买礼物。②地震がおこるたびに大なり小なり被害を出す。／每次地震都造成程度不同的灾害。③彼女は会うたびごとに美しくなっている。／她每次见到都比上一次更漂亮了。

たぶん（多分） 〈陈述副词〉

1. 表示推量。程度低于きっと。和推量形式呼应。

①約束があるから，たぶん大丈夫だろう。／约好了的，恐怕问题不大。②分らないが，多分ヨーロッパのどこかの言葉でしょう。／可能是欧州某地的语言吧？我搞不清楚。

△有时不呼应，或和～にちがいない等呼应。

①なあに，たぶんあいつ，まっさきにあなたの悪口を言っているよ。／哪里的话。大概那家伙最先说你的坏话了。②玉は多分飢えているにちがいないのに，私の顔を見あげてからでないと，食物にとりつかない。／白玉（猫名）本来肯定已经饿了，可是它不先抬头看看我（的脸色）就不吃食物。

2. 用于过去事实，表示不确实的记忆。常和“と思います”呼应。

①たぶんおじいさんの使っていた筆だったと思います。／我想那可能是爷爷用过的毛笔。②たぶん去年の夏休みだと思います。／我记得是去年暑假（的事）。

たまう（賜う、給う） 〈补助动词〉

五段活用。接动词连用形后。

1. 雅语尊敬语。现只用于某些特殊情况。

①皇位は神の決め給う所です。／皇位是神所决定的。②「君死にたまうことなかれ」／《你不要死去》

2. 命令形常用于成年男子同辈之间或对后辈的不拘束的谈话中，表示语气较随和的命令、请求。

①よし，そうやりたまえ。／好！就那么办吧。②めずらしいな。ま



あ上がりたまえ。／少见啊？（进）来（进）来！

ため（為） 〈形式名词〉

【接续】 1. 接用言及助动词连体形后。

①言葉の意味を知るために、字引きを引く。／为了解词义而查辞典。②毎月赤字が出るのは物価が高いためです。／每月入不敷出是由于物价高。③交通が不便なため商品がよく入らない。／由于交通不便商品不容易进来。④バスが遅れたため遅刻した。／由于公共汽车误点而迟到了。⑤本番で失敗しないためには十分のリハーサルをしておく必要がある。／若想在正式演出时不失败，就需要事先充分排练。

2. 接体言加“の”后。

①この本は学生のためにはならない。／这本书对学生没有帮助。

3. 在文言体文章中，常借助属格助词“が”接于体言或用言、助动词连体形后。

①それがために（＝そのために）／因此。②新しい住宅を売らんがために言葉巧みに働きかける。／为推销新住宅用花言巧语地来鼓动。

【意义】 1. 利害用法 1) 对某人、某事有益处。

①君のためを思って言うのだよ。／是为你着想才说的嘛。②非常にためになるお話だ。／他这番话很有教益。

2) 表示为某人的利益而做某行为、动作。

①老人のために庭を掃除する。／为老人打扫院子。②七重は、洪作のためにも美しいクレヨンを買った。／七重也给洪作买了漂亮的蜡笔。

3) 表示某动作、行为所要完成的目的、目标。

①何のために勉強するのか。／到底是为什么而学习的呢？②彼の憤慨を静めるために、私は彼に謝まるほかありませんでした。／为了平息他的愤怒，我只好向他道歉了。

2. 基准用法 1) 以ために（は）形式表示进行某种与利害、成败有关的判断的客观标准。多可用“には”代替。

①植物が成長するためには、栄養が必要である。／植物生长需要营养。②コミュニケーションが成立するためには、お互いに理解力がな

ければならない。／交际得以完成，双方必须具有理解能力。

2) 表示进行某种判断的主体立场和角度。多可用にとって代替。

①彼は私のためにはおじに当る人だ。／他是我的叔父。②私のためには門閥制度は親の敵で御座る。（福泽谕吉）／对我来说门阀制度就是（犹如）杀父的仇敌。

3. 原因用法 1) 说明原因、理由。多接于形容词等状态性词语后。

①収入が少ないために生活が苦しかった。／当时由于收入少，生活很苦。②父親が頑固なために皆困っている。／由于父亲固执，大家都很难。③勉強しすぎたためか，頭が痛い。／怕是用功过度了，头疼。④ただ飽きたがために捨てることだってある。／甚至有的时候仅仅由于用烦了而扔掉。

2) 用于被动句，表示动作的发动者。带有原因的含义，和古汉语“为”字的一个用法相当。

①二人の話は，私のために中断された。／两个人的谈话被我给打断了。②我らが見つけたごちそうは何度も彼らのために掠奪せられた。／我们找到的佳肴有很多次为他们所掠夺。

【参考】1. 原因用法和目的用法易混，区别如下。

1) 接动作动词后时，可能有表示原因和目的两种用法，要根据上下文判断。但一般说来，原因用法的前后两项是依次发生的（例①、②），目的用法的前项只有后项成立才能成立。

①仕事を忘れるために，上役によく注意される。／由于忘记工作常受到上司警告。②仕事を忘れたために，上役に注意された。／由于忘了工作，受到了上司的警告。③仕事の忙しさを忘れるために旅に出た。／为了忘掉工作之繁忙而出去旅行。

2) 接于“健康、幸福、自由、安全、便利”等兼有形容动词和名词性质的词后时，“～なため”表示原因，“～のため”表示目的。

①自分が幸福なために人の苦しみが分らない。／因为自己幸福而不了解别人的痛苦。②自分の幸福のためにたばこをやめましょう。／为了自己的幸福戒烟吧。

3) 接一般名词后时，如果有关动词是状态性的，则“ため”表示

原因，如果有关动词是动作性的，“ため”表示目的。

①貴様のために散々な目にあったんだぞ。／都因为你这家伙我吃尽了苦头。②貴様のために苦勞をしてきたのだ。／为了你，我一直吃苦受累。

## 2. 表示原因的ために还有接续词用法。

①飲んだ翌日は、二日酔い<sup>ふかつよ</sup>で仕事にならず、ために休息明けの日の工場製品は不良品だらけ。／喝酒的第二天没醒酒无法工作，因此这天的产品尽是次品。

たら 〈接续助词〉

【接续】接用言及助动词的连用形后。五段动词要接音便形。

高かったら、立派だったら（であったら）、出来たら、書いたら、勉強したら、食べたら、来なかったら、僕だったら。

【意义】1. 表示后项动作的进行或发生的个别的、一次性的、偶然的外界条件。这种条件可以是假定的，也可以是既定的，也没有过去、现在、将来的时间限制。

①冬休みになったら、スキーに出かけよう。／到寒假，就去滑雪。②僕だったら、そうは言わない。／如果是我，可不那么说。③火に油をかけたらパッと燃えあがった。／向火上一浇油，“忽”的一下子就烧起来了。

前后项的搭配不具备上述个别性、一次性、偶然性等条件，即成病句。

①学校に行ったら勉強させられた。／到了学校，结果被强迫学习。②※学校に行ったら、いつも勉強する。（非一次性）③※学校に行ったら勉強した。（非偶然）

2. 表示发现后项事物时的场合和时间。可用と代替。后项必须是过去形式。

①またしばらく歩いたら、小さい店があった。／又走了一会儿，有一个小商店。②部屋に入ったら、かあさんが寝ていた。／一进房间，发现母亲正睡着。③東京タワーに登ったら全市街地が眺められた。／登上东京塔，便看到了整个市区。④山に着いたら雨が降り出した。／到山上

的时候下起雨来了。

3. 表示同一主体将要进行的动作、行为中的前提动作。可用“～たあと”代替。后项多为请求、意志等主观形式。

①読んだら、もとの所へ返して下さい。／读完请放回原处。②宿題を終えたら、手伝ってあげよう。／等我做完作业，就给你帮忙。③東京に行ったら上野公園を見物します。／到东京要参观上野公园。

4. 以“～といったら（或：ったら）＋否定”的形式主要接于和心理有关的词语后表示极端。

①ゆうべは心細さと言ったらありませんでした。／昨天晚上别提有多怕了。②子供たちがはしゃいでさわがしいといったらない。／孩子们嬉笑玩耍，吵得不得了。③気の毒といったらどうしようもありませんでした。／不好意思劲儿简直没法提了。④その見ぐるしさといったらない。／不能再难看了。

5. 作终助词用，表示语气婉转的命令和愿望。

①一度入って見たら。／进去看一回好不好。②今になっても、あの先生がいたらなあと思います。／直到现在我还想如果那位老师在该多好。

【参考】1. たら可表示假定条件和既定条件的原因，据松下大三郎，有两个来源。一个来源是文言助动词たりの未然形たら，可后续ば构成たらば，另一来源是文言たりの已然形たれ，也可后续ば成たれば，经过音便形たりゃあ，与未然形たら合为一体。文言中未然形表示假定条件，已然形表示既定条件，现在的たら因此也保留这两种用法，如意义1中的例①在文言中应是“～なったらば～”，例③应是“～かけたれば～”。

2. 佐久间鼎把たら、なら等看作准接续助词，铃木忍支持此观点。总之，たら已超出助动词的用法范围，既然だろ可作为独立的助动词，则佐久间、铃木的观点也是合理的。参见“なら”项的参考1。

たら（ったら） 〈提示助词〉

【接续】①接体言后，这是主要接续法。

①君ったら，いつも人の気にさわるようなことばかり言う。／你啊，总说那种伤和气的话。②あの山ったら高くて高くて誰だって登れ



ないね。／那座山么，高极了，谁也登不上去。

## 2. 接动词、形容词及同型的助动词终止形后。

①ラッシュアワーで、出勤は時間がかかるったら二時間ではどうも足りないのだ。／赶上乘车高峰去上班很费时间，两小时根本不够用。

②カンカン日照りで、むしあついたら到底我慢できませんね。／太阳暴晒着，这闷热劲儿可真受不了。③あの子の勉強しないったらあきれくらいです。／说起那孩子不学习，简直让人拿他没办法。

## 3. 接形容动词及同型助动词词干后。

①あいつはいじわるったらないんだ。／那家伙别提有多坏了。②苦しそうったら，見ていられなかった。／那痛苦模样真是目不忍睹。

【意义】由助动词た的假定形たら转成，常插入促音成ったら。主要用于口语。相当于“と言ったら”。

1. 表示把某事物提示为话题，后述消极内容，常带有既亲切又责难的语气，如例②～④。

①昔の看守ったらひどいものだったんだ。／若说过去的监狱，可真凶啊。②あの人ったらいつもふざけたことを言って，人を笑わせるんですよ。／他那个人啊，总说些逗乐的话惹人发笑。③このペンったらすぐインキが切れてしまってだめなんだ。／这支笔啊真糟糕，墨水一会儿就光了。④あんたったら，私のことちっとも分らないの。／你啊你（指丈夫），一点儿也不了解我的事儿。

2. 以惊讶的口气把某事物的某一方面提示为话题，后述其程度不寻常。

①琵琶湖の大きいったら海ほどもあるね。／要说琵琶湖之大，都赶上大海啦。②桂林の景色ったら，天下一品だ。／提起桂林景色，真是天下第一。③シベリアの寒さったら，けだものもこわがるそうだ。／提起西伯利亚的冷劲儿，据说野兽也打怵。

3. 以たらない（ったらない）形式表示性质、状态程度极高，无以复加。带有惊叹的语气。

①さわがしいったらない。／别提有多闹了。②林の中はひっそりしていて，心細さったらありません。／林子里死静死静的，别提心里多怕

了。③そのざまったらない。／那副德行真够一瞧的。④あの女のおしゃべりったらない。／她的绕舌劲儿就不用提了。⑤人をばかにするったらない。／甭提多能欺负人了。

【参考】1. 除提示主语，谓语及句子（见以上）外，有时也提示宾语、补语等。

①あの痛さったら大人だって耐えられない。／那疼劲儿连大人也受不了。②僕の筆箱ったら長い鉛筆が入らない。／我的这个文具盒，装不进长铅笔。

2. 京都、中国方言中另有一个たら是とやらの约音，意义也同とやら。如，桜餅たらしいもの／叫什么樱饼的东西。

3. 在拨音后一般不插入促音。

たら（ったら） 〈终助词〉

【接续】不同意义用法有不同接续法。

【意义】1. 表示因对方不听从等而产生的急躁心情。常用ったら形式，但拨音一般不和ったら连接。接续法有：

1) 接（人）名词后。

①田中さんたら，聞こえないのか。／田中！你听不见是怎么？②お母さんたら。いいの。／妈妈，行了。

2) 接活用词终止形后。

①今行くったら，ちょっと待ってくれよ。／这就去呢，等我一会儿啊。②暑いったら，窓をあけてくれよ。／多热啊，给我开开窗户。③いやだたら。／我不说不愿意嘛！④いっそのこと，やめようたら。／我说过咱俩干脆不干嘛！⑤ちゃんと片付けたたら。／我已经收拾好了嘛。⑥僕も読みたいたら。／我也想读呢！⑦もう沢山だたら。／已经够了嘛。

3) 接各种命令等形式后。

(1) 接命令形后。

①ふざけるのはやめろたら。／你少扯好不好。②よく勉強しろたら，二三度言えば分るもんだ。／让你好好学习呢。说个两三回就该懂啦。③遠慮しないでいただきなさいたら。／（对自己孩子说）你别客

气，快收下（吃）吧。

（2）接て后。

①さっさと書いてったら。／让你快点儿写啊！

（3）接副词、形容（动）词连用形后。

①もっとったら。／再多（快……）点儿好不好。②速くったら。／你倒快点儿啊！③静かになったら。／嗨，静点儿嘛！

2. 表示劝诱、（语气委婉的）命令。带有商量、亲热的口气。用升调。女性常用。接续同助动词た，是～たらどうですか等的省略形式。

①あなたも一緒にいらっしゃったら。／您也一起去好不？②あそこにいる人に聞いて見たら。／问一下那边那个人好不？③このへんでやめたら。／就到这儿，怎么样？

3. 表示不满、诉说。是提示助词省去后项造成的。接续同提示助词たら。

①山の中でしょ。とても淋しいったら。／你知道，那里是深山。别提有多孤寂了。②その時の気持ったら。泣きだしそうなのをやっとこらえた。／当时的心情，嗨，强忍着没有哭起来。

【参考】虽途径不同，但以上用法均来自助动词た的假定形。

「たら」の見分け方 タラノミワケカタ たらの词类鉴别

たら可作提示助词、接续助词、终助词用，且三者都源于た的假定形。根据位置、接续和意义，三者可以区分开。试比较：

①寝なさいと言ったら寝なさい。（连用形后。接续助词）／让你睡你就睡。②速く寝なさいったら。（引语后。句末。终助词）／你倒快睡啊。③うちの子，寝るったら12時間ほどでなければいかんよ。（句中，但接于终止形。提示助词用法）／我家小孩，要说睡觉啊，没有12个小时可不行。

たり 〈并列助词〉

【接续】上接。1. 接用言连用形后。サ行外的五段动词要接音便形后。在ガマバナ行五段动词后要音变为だり。

①テレビを見たり勉強したりしているうちに日が暮れた。／看看电视，做做功课，一天就过去了。②すねたり怒ったり，泣いたり笑った

り、嘘をついたり悲しんだりする。／时而赌气时而发火,时而哭闹时而高兴,时而说谎时而悲伤。③辛かったり悲しかったりしたら,すぐ手紙で知らせなさい。／当难过或悲伤的时候,要马上来信告诉。④同級生でも上手だったり下手だったりして,差が大きい。／虽是同班同学也有好有差,差别很大。

2. 接助动词连用形后,音便同同型的用言。但そうだ(传闻)、ぬ、まい、う、よう、た等不能后续たり,です、ます等也不经常后续。

①彼は人に笑われたりばかにされたりしても平気そのものだ。／他即使被人嘲笑、被人戏弄也是依然故我。②著名人の原稿は殆どデッチあげだったり,他誌からの転載だったりしている。／著名人物的稿子几乎都是编造或从别的杂志转载的。③どの顔も忙しげだったり沈痛そうだったり,淡い希望に輝いたりしていた。／每个人的表情或是显得忙碌,或是显得沉痛,或者闪着暗淡的希望之光。④水にぬれて色が変わるようだったりしたら,すぐお取替します。／如有遇水变色等情况,(本公司)马上调换。⑤バスは時間通りに来たり来なかったりで,あてにならない。／公共汽车有时准时有时不准时,靠不住。⑥おっしゃることは本当でしたり,嘘でしたり,取りとめがございません。／所说的话真真假假地没准头。

后续。1. 以～たり(～たり)形式直接作后续用言的副词成分。最后一个たり后也可加して。

①参会者は立ったり,坐ったり,<sup>ちゆうこし</sup>中腰だったり,それぞれ<sup>はんぱ</sup>半端な姿勢でいた。／与会者站者有之,坐者有之,半蹲者有之,一个个都没有正经姿势。

2. 整个～たり(～たり)词组作为一个名词性成分,后续格助词、助动词、する(いたす、なさる、できる)等。其中たり和する之间还可加进など、は、も等。

①彼は学校に行ったり行かなかったりの状態です。／他现在上学是三天打鱼两天晒网。②彼は学校に行ったり行かなかったりです。／同上。③彼は学校に行ったり行かなかったりしている。／同上。

【意义】1. 表示反复交替进行的动作。



①ハンカチで鼻をこすったり手をふいたりした。／用手帕又是蹭鼻子又是擦手。②彼の話の聞いているうちに彼女は赤くなったり青くなったりした。／听着他说话，她脸色红一阵白一阵。③今日一日じゅう雨が降ったり風がふいたりしました。／今天这一整天不是下雨就是刮风。

2. 表示并列、列举。以～たり～たり（……）形式为正则，但由于たり之间相距较远等原因，有时不出现最后一个たり，应视为不规范。

①聞いたり見たりして実感したことを日記にとどめておく。／把通过耳闻目睹而切身感受到的事记在日记里。②私は銀座に出て買物をしたり，浅草へ行って芝居を見ました。（或：見たりしました。以下略）／我去銀座买了东西，又到浅草看了剧。③昼間は大学に出講していたり，図書館へ行くなどして不在のことが多い。／白天或是到大学讲课或是去图书馆什么的，常常不在家。④方方に電話をかけたり使いが飛んだが，そういう職業の人は一人もない。／向各个地方打电话、派人四处寻找，结果这种职业的人还是一个也没有（找到）。⑤店内を見ると，熱帯魚の水槽があったり，お酉様<sup>とりさま</sup>の熊手があたりで，いわゆる上品さはない。／看一下店内，有热带鱼的鱼缸啦，有酉日庙会用的耙子啦，看不到什么高雅。

3. 表示二者（以上）的“时进时停”的动作，常用一正一反等形式。

①うちのわとりはたまごを生んだり生まなかったりする。／我家的鸡怠怠拉拉地下蛋。②僕の腕時計は速かったり遅かったりして，全く気違いみたいだ。／我的手表时快时慢，就象精神病似的。③学校に行ったり休んだりして，勉強に不熱心な子です。／常常有学不上，是个学习不用心的孩子。

△后续1中的例①等也是较典型的对照用法。

4. 表示列举可选择的事项。

①その時になって悩んだり，腹を立てたり，苦しんだりしても始まらないよ。／到那时，烦恼也好，生气也好，痛苦也好，都没有用啦。②内職は一家ごとに単独でしたり，あるいは二三家ずつ協同するのが能率があがっていい。／副业还是每户单独搞或者两三家合伙搞效率高。

5. 以～たり（など）する的形式表示强调性或概括性地举其一例，同时暗示其他。

①この文章は、抽象的な表現を取ったりして、どうにでも解釈できる。／这篇文章因为采用抽象的表达法等，怎么解释都可以。②いつも忙しかったりで、旅行はあっさり断念してしまった。／一直忙（再加上别的原因），旅游干脆不打算了。

△常后续表示否定、禁止的内容。

①壁に落書をしたりしてはならない。／不许在墙上乱画什么的。②それぐらいのことで喜んだりするものではない。／不要因那点区区小事沾沾自喜。③交渉の相手を軽く見たりしてはいけない。／不可小看了交涉的对手。④やたらに水道の蛇口をあければなしにしたりしては困るじゃないか。／随便把自来水龙头打开就不管，这怎么行。

6. 用于句末，类似终助词，表示命令或劝诱。这种用法可看作助动词たり（完了）。不常用。

①さあ、飲んだり飲んだり，今日は日曜だから。／来，喝呀喝呀，今天是星期日嘛。

7. 构成一些成语。

①顔立ちが母と似たり寄ったりだ。／脸型长得和母亲象一个人似的。②今年はふんだりけったりでさんさんでした。／今年祸不单行，倒霉透了。③願ったり叶ったりの本を買った。／买到了称心如意的书。④部屋の中を行ったり来たりする。／在房间里踱来踱去。

【参考】1. たりの形成。由文言助动词たり（完了）的连用形演变而成。たりの其他活用形逐渐消亡，只剩其连用形由表示完了转为重叠使用表示并列，所以现在通常把たり看作独立的助词。

2. 助词4分法中（如教学语法），たり为接续助词。另外，不同语法学家之间有接续助词说和并列助词说之争。たり接续上近乎接续助词，但其最根本的语法意义是表示并列，并且最常用的～たり～たり形式本身成一词团，后续格助词、だ、形式用言する等，这与其他连接名词的并列助词相似。自桥本进吉以来，一般作并列助词处理。至于教学语法，因不设并列助词，权宜地归入接续助词。

3. 关于～たり～たりする敬语表达法。たり前动词和する敬意程度要一致。

①社長は本をお読みになったり手紙をお書きになったりなさいます。／经理又读书又写信。②社長は本を読まれたり書かれたりされます。／同上。

一般情况下只把する部分敬语化即可。

③社長は本を読んだり手紙を書いたりなさいます（或：されます）。／同上。

作副词性句节时して用简体也可。

①本をお読みになったり手紙をお書きになったりして一日をお過しになります。／读读书，写写信度过一天。

たり 〈文言判断助动词〉

由古语表示判断的词组とあり缩合而成。

【活用】タルト型形容动词型活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	已然	命令
たり	たら	たりと	たり	たる	たれ	(たれ)

1. 未然形。后续む(ん)、ぬ、ざる、ず、しめる等。

①言葉を素材として芸術にかかわる限り、なにものも文学たらざるを得ず、文学たらねばならぬ。／只要以语言为素材，与艺术相关，就不能不是文学，一定是文学。②大丈夫たらんとする者は皆第二張騫たらんことを夢みているのである。／欲为大丈夫者都梦想将成第二个张骞。③大詩人を大詩人たらしめるものは、生活者であることに帰着している。／使大诗人成其为大诗人者，归根结底要成为生活者。

△たり本无推量形，而在现代文言中，未然形的推量法也 有时音便为たろ。

現行法体系の忠実な守護者たろうとする。／欲为现行法律体系之忠实卫道士。

## 2. 连用形。

1) たり。后续补助性用言和助动词。

① 芸術家たりうるためには、何よりもまず人生の探検家でなければならぬ。／欲得以为艺术家，首先必为人生之探险家。② 嘗て自分の妻たりし女は既に此の世にはいない。／曾是自己妻子的女人现已不在此世。

2) と。只能后续ある、する、なる。现代日语中有时解释为格助词と。

① ずいぶん叱った。でも一人としてヘソを曲げる者はいない。／我狠狠批评他们。可是，没有一个闹别扭的。② 神さまともあろう天皇が……／身为神体之天皇……

## 3. 终止形。

1) 结句。

① 人の鑑たり。／人之龟镜也。

2) 后续とも。

① 百姓の物は糸一筋たりとも手に触らず。／不拿百姓一针一线。

4. 连体形。后续体言以及や、べき等。但有时不出现按现代语法本应出现的形式体言。② その喜びたるや、全く形容し難いものがある。／其喜悦实难形容。③ いやしくも国民たる以上は、国に尽す忠誠を持っていなければならない。／倘为国民，就必须具有为国尽忠之心。④ 「ハムレット」は、思想家たるべきハムレットが父のかたきを打った悲劇である。／**《哈姆雷特》**是一部表现思想家哈姆雷特报杀父之仇的悲剧。

## 5. 已然形。后续ば、ども等。

① 彼は指道者たれども、謙虚この上なし。／他虽为领袖，却无比谦逊。

## 6. 命令形。不常用。表示命令、愿望。

① 立派な後継者たれ。／要做出色的接班人！

【接续】接体言及体言性词组后。

△接动词连用形的たり是另一表示完了的助动词。例如“月出でたり。／月出矣。”

【意义】たり与なり都表示断定，相当于口语的だ、である。与なり比。



たり有认定某种资格、品格的含义在内。口语文章中常用形式有：

1. 以いやしくも（或：かりそめにも）～たる～的形式，表示既然处于某种地位上就应该有某种责任、义务、性质。

①かりそめにも，主将たるものが，試合時間に遅れるとは何事だ。／身为一员主将，比赛迟到成何体统？②男子たるもの，この期に及んでは，あとに引けない。／身为男子汉，此时此刻，不可退缩。

2. 以～たるや形式表示提示。如〔活用〕4中的例②。

3. 以“～たるを失わない”的形式，表示“不失为”之意。

①世界のどの国と比べても，日本は経済強国たるを失わない。／无论和世界哪国相比，日本都不失为一经济强国。

タリ活用    タリカツヨウ    タリ活用

【解释】文言形容动词的活用种类之一。与ナリ活用相对。来自副词词尾と与动词ありの约音，如：堂々たり←堂々とあり。但由于连用形中有“～と”形式，所以不是所有活用形都与动词（ラ变）相同，故分离出来立为形容动词的一种。

タリ活用的形容动词全部是汉字词。例：依然たり、整然たり、泰然たり、呆然たり、啞然たり、平然たり、漫然たり、冷然たり（以上为“～然”型）；炎炎たり、赫々たり、巍々たり、颯々たり、蕭々たり、淒々たり、滔々たり、堂々たり、淡々たり、茫々たり、漠々たり、満々たり、綿々たり、洋々たり、朗々たり（以上为叠字型）；荒涼たり、蹉跎たり、颯爽たり、慘憺たり、自若たり、爛漫たり、潑刺たり、寂寞たり。

【活用】

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	已然	命令
堂々たり	どうどう	～たら	～たり ～と (～として)	～たり	～たる  (～とした)	～たれ	～たれ

各活用形用法如下。

1. 未然形。后续接续助词“ば、で”和助动词“む、ず、じ、しむ、す、る”等。

①月光朗々たらば、化物の住める域と思いたまえ。／如若月光朗朗，你只当是妖怪所居之界。②一読するや、感慨無量たらざるを得なかった。／一读之下，不能不感慨万千。

## 2. 连用形。

1) ～たり。后续助动词“き、けり、つ”等。

①涼風颯々たりし夜半／凉风瑟瑟的午夜。②その態度堂々たりき。／其态度堂堂然也。

2) ～と。修饰后续用言，相当于副词。

①戦々兢々と暮す。／战战兢兢地度日。

3. 终止形。作谓语结束句子。也可后续とも、や等。

①自信満々たり。／信心十足。

## 4. 连体形。

1) 作连体修饰语。

①荒涼たる土地／荒凉之土地。②君は前途洋々たる大会社の幹部社員だからね。／你是前途无量的大公司的高级职员嘛。

2) 后续助动词べし等。

①未開の地ゆえ荒涼たるべし。／未开发之地，故必荒凉也。

3) 后续助词が、に、を、より、も、か、かな等。

①山岳の巍々たるより百尺の滝水漲り落ちたり。／百尺瀑布由巍巍之山岳直泻而下。

4) 和“ぞ”呼应，构成“係り結び”结构，见另项。

## 5. 已然形。

1) 后续“ば（顺态）、ど、ども（逆态）”。

①そは態度自若たればなり。／其态度泰然自若故也。

2) 与“こそ”呼应，构成“係り結び”结构。

①一木は林を成さず，万木こそ森々たれ。／一木不成林，万木始森森。

## 6. 命令形。表示命令、愿望。

①無名の小川も滔々たれ。／无名小河亦滔滔。

△连用形と和连体形たる仍用于口语，分别看作是副词和连体词，或形

容动词のタルト活用。

タルト型活用 タルトガタカツヨウ タルト型活用

文语形容动词たりの活用已基本退化,现在只用其连用形と和连体形たる。一般看作是副词和连体词的词尾。还通过形式动词する构成补助活用形として(相当于连用形と)和とした(相当于连体形たる)。活用词组としている还可作终止形用。

①呆然と(して)立ちすくんでいた。／茫然地站着不动。②広々とした平野／广阔的平原。③外交方針は依然として変わるところがない。／外交方针依然没有变化。④確固たる(同～とした)態度／坚定的态度。

有时把这种活用也作为口语形容动词活用种类的一种,称为“タルト活用”,与“ダナ活用”相对。音读词多为这种活用。如双声词(颯爽<sup>さつそう</sup>)、叠韵词(蒼茫)、叠词(茫茫)以及“突然、敢然、断固”等。

だろう 〈推量助动词〉

由であろう约音而成,是其口语简体,口语敬体是でしょう。是だ的推量形式,由推量形だろ和う组成。时枝诚记认为是独立的推量助动词,这已成普遍看法。

【活用】无变化型。只有终止形和连体形。

1. 终止形だろう。

1) 单独或后续终助词结句。

①問題が問題だから,即時解決は難しいだろう。／问题非同小可,即刻解决很难吧? ②今度も失敗だろうか。／莫非这次又要失败? ③暑苦しいのだろうね。／热得慌吧?

2) 后续に、が、から、し等接续助词。

①車がすぐつくだろうから,外へ出て待てよう。／车马上就能到,去外边等着吧。②元来不人望な主人の事だから,学校の生徒などは正月だろうが暮だろうが殆ど寄り付いたことがない。／我丈夫本来就没威信,学校的学生无论是正月还是年末几乎没来过。③点数が良いと,両親もうれしいだろうし,褒美ももらえるものだ。／得了好分数,父母也会高兴,自己也能得奖。

2. 连体形だろう。只后接形式名词，做其定语。

皆が僕を認めてくれるだろうことは心配にならない。／大家会肯定我的，这我放心。

【接续】1. 接体言、形式体言、体言性词组、副词、副助词、て等接续助词等之后。可看作助动词だ的推量形式，见だ项。

2. 接动词、形容词（终止形）后。此用法可看作独立的助动词。

①皆うれしいだろう。／大家都很高兴吧。②この仕事は恐らく暗くならないうちに終わらないだろう。／这活儿怕是天黑前完不了吧？③「黒い」は恐らく「暗い」と関係があるだろう。／“黑”恐怕和“暗”有联系吧？④ここで騒いでは門番のおやじに言われるだろう。／在这儿打闹会挨看门儿老头儿说的。

△形容动词的词尾だ的变化（推量形式）也有だろう形式。时枝认为也是独立的助动词。

【意义】1. 表示推测、想象，句末用法当句调上升时转为带推测性的疑问。

①あしたから天気にくずれるだろう。／明天起天气可能会变坏。②いくら速くたって，一時間に百キロはぎりぎりだろう。／即使再快，一小时一百公里顶天了吧。

2. 表示提醒对方或要求赞同的语气。常用升调。

①次郎，今になって違約してもらっちゃ，己<sup>おれ</sup>が困る。貴様だって男だろう。／二郎，到现在你违约，我可不好办。你也是男子汉吧。②ちょっと窓をあけて，かまわないだろうね。／开一下窗子，你不会介意吧？

3. 通过后续か或疑问词呼应表示强调、疑问、反语等。

①こんなひどい話もあるだろうか。／怎么竟有这等事！②退院はいつごろになるだろう。／出院得什么时候？③この調子でも，来週いっぱい片付けられるだろうか。／照这个样子，下周一周也能完成吗？④あしたも好天気だろうか。／不知明天还是不是好天。⑤古人の絵を見るたびに，私はいつもどうしてこんなによく描けるだろうと思います。／我每次看古人的画时都想，为什么能画得这么好呢。



## 4. 表示设想，偶尔用于翻译体文章。

①満場一致で採択されるだろうことは受け合いだ。／肯定会全场一致通过。②部下を使うだけでは部下の信用を得るだろうはずがない。／单凭指使不会得到部下的信赖。

## 5. 以だろうに形式表示与事实或自己认为适当的状态相反的现象。

①寒いだろうに、雪の上でころぶなんて。／该多冷，还在雪上滚。②生みの親ならいっしょに喜んでくれたただろうになあ。／若是亲生父母，会和我一起高兴的。③もう少し手を入れれば見ばえがしたただろうに。／再稍稍修一下，本来会很漂亮的。④行かなくてもいいだろうに、なにも無理をすることはない。／本来不去也行，何必这样勉强。

【参考】金田一春彦认为助动词だろう直接表述说者的推测，这一点近似于终助词的同种用法，并将だろう处理为不变化助动词。

## だん（段） 〈形式名词〉

接动词连体形、この型连体词后。常构成“だんになると”、“だんでない”等形式。

【用法】1. 以“段になる”形式表示时间场合，常和いざ、いよいよ等副词搭配。

①いざ机に向かって筆を取る段になると、何も頭に浮んでこない。／一到伏案提笔的时候，脑袋里就什么也想不出来了。②いよいよ実行する段になると、彼はいつもしり込みする。／一到要付诸行动时，他总是打退堂鼓。

## 2. 以“段でない”形式表示不是一般的程度。

①この件については知っている段ではない。／对这件事岂只是知道。②うれしいのうれしくないのの段じゃありません。／我高兴极了。

## 3. 以“この段”等形式表示有关问题。

①この段よろしくお願い申し上げます。（书信用语）／关于这件事就拜托您了。

## 断句 ダング 断句

松下大三郎认为“文”既指句子又指文章，故特用“断句”专指句子。他认为断句是说话和文章的单位，是表示对事物的观念认识的最高

语言单位。根据观念认识（自称“断定”）的性质，把断句分为“思维断句”和“直观断句”。前者进一步分为有题的（如：今宵は十五夜なり。／今宵乃中秋之夜）和无题的（如：花咲きたり。／花开也），后者进一步分为概念的（如：君よ。／君啊）和主观的（如：否。／否！）。认为断句由词或词组（連詞，如：春の風）组成。认为断句的构成有两个条件：一是绝对性，即要有有关的从属概念。如“花咲く”中“咲く”要有“花”这一从属概念；其二是独立性或终止性，即不要从属于其他。在“花咲かば見む”中“咲かば”从属于“見む”，故无独立性，不成为断句。

### 単語 タンゴ 单词、词

语言中最基本的单位之一。单词不仅是对现实认识的思想片断，也是句子结构材料，所以既是词汇单位，又是语法单位。

对单词进行切分之后，对一部分单词来说，切分所得的片断不过是语音片断即音节或音拍，不能表示任何思想。如将サクラ（桜）切分成サ、ク、ラ的情况就是如此。对另一些单词来说，虽然分割的片断仍能表示一定的思想甚至仍旧是单词，但已经不是原来的思想，而是两个或更多的思想。如サクライロ（桜色）不等于サクラ和イロ。所以派生词、复合词仍被看作单词。相反，同一个思想往往既能用单词表示，又能用词组表示。如サクライロ和“桜の花と同じような色”。但前者是思想片断，后者是“经过语言”的思维过程，所以只有前者是单词。

“単語”和“語”（词）概念大致相同。前者有“单位”的含义，适于作语法单位。后者含义较广，多指词汇体系中的每个词。

【诸说】日语的单词在认定上有些问题。主要原因是，没有欧文那样在标写法上分开来写的形态特征，而且部分不能单独运用的词仍有相对意义上的独立用法和形态特征。

1. 有一种看法，基于单词是对现实认识的思想片断，同时直接作句子材料的认识，把部分或全部附属词都视为起语法作用的词素，而不看作独立的词。这种看法的词与英文的word或俄文的слова相当，可谓欧文单词说的翻版。铃木重幸即持此观点，这样，“運動会が”和“行われた”各为一个单词。松下大三郎的“詞”包括“春の風”、“飛ぶ鳥”

之类称“連詞”。山田仅把助动词看作动词的一部分，称复词尾，助词仍是独立的词。在以上观点中，单词具有丰富多彩的形态变化，如同俄语的变位变格一样。

2. 另一种观点，根据语音形式的相对独立性确定单词。如服部四郎规定出最小的自由形式作为“単語”，这样，助词大都是单词，而タ、ナイ、ウ等不是单词而是词素。“幸福一な”、“読み一なさい”分别由两个单词构成。单词是音义统一体，这种重视语音形式的观点应当受到重视。

3. 不仅把所有独立词，而且把附属词也看作单词。明治前的传统语法、现代的桥本语法和时枝语法中的“語”就是这种含义。桥本认为词是有意义的语言单位之一，是做句节的材料。时枝认为词是思想内容经过一次过程而成立的语言表现，词（包括附属词、独立词）都是直接造句的材料。这些体系中的词没有形态变化，即使是用言的活用，也不认为等于欧文中那种表示特定语法意义的形态变化。

だんじて（断じて） 〈陈述副词〉

1. 和否定形式呼应，表示坚决禁止、拒绝的意志行为。

①断じて，行ってはならぬ。／断不可去。②断じて，そんなこと許せない。／坚决不容许那样做。③柴三郎はそんな考えは断じて受けつけませんでした。／柴三郎断然拒绝了那种主张。

2. 和肯定形式呼应，表示决心。

①断じて行おう考えである。／下决心要做。②今度のオリンピックでは断じて金メダルを獲得する。／在这（下）次奥运会上一定要获得金牌。

単文 タンブン 简单句

按句子的结构特征划分的句子种类之一。

桥本语法中指只有一个主谓结构（称“節”）的句子。与并列句（并列文）、复合句（複文）相对。按桥本的观点，在下例中例①是典型的简单句，例②和例③是多谓语简单句和多主语简单句，例④是倒装简单句。

①空が晴れた。／晴天了。②夕日は赤くて大きい。／夕阳红而且大。③米国とソ連とは世界の制覇を争っている。／美国和苏联在争夺世界

霸权。④困っているよ，私は。／不好办啊，我。

问题：主语在日语中常省略（例①）或根本没有（例②），谓语也可省略（例③），一般认为这也应算简单句，这就需要打破主谓关系的框子。但即使这样也无法包括主谓均没有的感叹句（例④）和山田语法中的唤体句（例⑤）。

①（雨が）降っている。／正下着（雨）。②駅まで電車で行けば30分です。／到车站坐电车是30分钟。③あなたは（どうする）？／你（怎么办）呢？④おや！／哎呀！⑤美しい夜空。／美丽的夜空。

山田语法中简单句指由一个“句”（见另项）构成的句子。山田把简单句分为唤体、述体两种。（见另项）。后者相当于桥本语法中的简单句，分为说明体、疑问体、命令体三种。山田说更符合日语实际。

⇒文の種類、節、句、混文

段落 ダンラク 段落

【解释】文章所表达的统一思想，在内容和形式上都由若干部分组成。这种内容和形式上的文章单位称作段落。日语里又称“段”“文段”“パラグラフ”等。

如果文章段落是按文章结构形式划分的，称之为自然段落（形式段落）。自然段落是构成文章的最小单位，具有换行的明显标志，根据文章内容的转折、间歇、强调等情况而划分。如果文章段落是按文章的内容层次划分的，称之为内容段落（意味段落）。内容段落和形式段落是不同的文章单位，但又有着有机的联系。一般情况下，连缀数段方能成为一个内容段落。但是，也有一个形式段落，即一个内容段落或一个自然段由数个内容段构成的情况。

无论是形式段落还是内容段落，一般都由若干个句子组成，但也有由一个句子组成的段落。

划分段落在阅读文章和作文时有着重要意义。只有理解了每段的内容及其联系，才能理解整篇文章，只有把所要表达的内容按一定的层次和顺序叙述，才能写出一篇有条理，有说服力的文章。

如果把文章看作是一种语言单位，那么，文章结构必须用段落和段落之间的各种关系来说明。



【段落の確定】確定段落の基準は表达内容の层次。不仅内容段落如此，形式段落也是如此。

每个内容段落必须表现单一而完整的思想，因此都可以用小标题来加以概括。每一段落所表现的内容在全篇文章中的比重，长短都不同，但又都保持着一定的内在联系。内容段落的确定取决于作者对于表达内容的认识的清晰程度。形式段落则必须根据内容段落的长短和精细的分布以及作者的表达心理加以划分。段落的安排或确定有很强的主观性，需要提高对于表达内容的分析能力和组织能力。

段落的基本单位是句子。句子和句子往往构成句组，表达比较连贯的思想。句子和句组的有限量的逻辑的结合就成为一个段落。

【段落之间的关系】对于段落之间的相互接续关系尚无定论。一般的作法是，借用句子之间的连结方式来加以说明。市川孝把段落之间的连结类型分为以下几种。

1. 承接。后段来源于前段或与前段有关联。1) 归结（顺接，以だから、それで等接续；逆接，以しかし、それでも接续）。2) 转机（以すると等接续）。3) 因果关系（以かくて、こうして接续）。4) 添加（以さらに、また等接续）。5) 选择（以それとも、または接续）。6) 对比（以むしろ、一方等接续）。7) 限定（以ただ、とくに等接续）。8) 保留（以ともあれ、とにかく等接续）。9) 应答（以いや、しかり等接续）。

2. 重述。后段对于前段以某种方式加以重复。1) 换言（以言いかえれば、すなわち等接续）。2) 详述（以すなわち、つまり等接续）。3) 归纳（以“要するに”、“結局”等接续）。4) 反复。

3. 转折。前后两段在时间、场所、场面等方面发生转折。（以いったい、ところで等接续）。

4. 补充。后段依赖于前段，使前段更加明确。1) 说明（以なぜなら、だって等接续）。2) 例示（证明）（以例えば、だって等接续）。

5. 引言。1) 提示，前段作后段的绪言。2) 例示，前段作后段的实例。

段落和段落之间的关系不仅仅是平面的前后序列的关系，而是包容和

被包容的立体结构关系。时枝诚记认为段落之间的关系和句子成分之间的关系一样，也是套匣式结构体。

段落在组合为全篇文章的过程中，在内容上关系密切的若干个段落首先结合为一个整体，称之为大段落。

【段落的种类】森冈健二根据每个段落在全篇文章中所起的作用，把段落划分为以下几种。

1. 主要段落。与文章主题的发展有着直接关联的段落。
2. 导入段落。首先介绍全篇文章的目的或提要的段落。
3. 结束段落。将对于主题所进行的讨论加以结束的段落。
4. 连接段落。为连接前后两个段落而安排的过渡段落。
5. 补充段落。对于前段中尚未讨论完的内容做补充说明的段落。
6. 强调段落。为强调内容，使其更加醒目而安排的段落。
7. 会话段落。人物对话、自白、文章引用等。

# ち ち

## ちっとも 〈陈述副词〉

和否定形式呼应,用于口语,表示某种状态完全不会出现。

①この本はちっとも面白くない。／这本书索然无味。②雨がちっとも降らない沙漠では営農は難しい。／在根本不下雨的沙漠上难以经营农业。③君がここにいるとはちっとも知らなかった。／我压根儿不知道你在这里。④いたずら好きで,ちっともじっとしてられない。／爱淘气,一会儿也不消停。

## ちなみに (因みに) 〈接续词〉

顺便补充和上述内容相关联的内容,以供参考。用于文章或讲演。

①マージャンは中国から伝わってきたものだ。因みに中国では「麻雀」でなく「麻将」と書く。／麻将是从中国传来的。顺便提一下,在中国是写做“麻将”,而不写日本的“麻雀”。②この工場は完全にオートメーションによって操業するアジア一の設備の整った工場であり,ちなみにその生産量は世界第三位という誇るべき実績を示しているのです。／这座工厂是完全自动化操作、亚洲设备最齐全的工厂。另外,它创出了产量居世界第三位这一值得自豪的成绩。

## ちゃ 〈接续助词〉

接续助词ては的音便,有时说成ちゃあ。只用于口语。其中浊化了的では相应地说成じゃ(あ),见该项。

①行っちゃいけない。／不准离开。②今度こそ勝たなくちゃあ(ならない)／这次一定要赢。③地方の情勢も慎重に考慮しつつ,進展させなくちゃ,全国的な発展はおぼつかないね。／如果不是慎重地把地方的形势也加以考虑来推进,那么,全国性的发展就很难设想了。

【参考】“面白っちゃありません／有趣儿极了”中的“ちゃ”是“と言ったら”的口语约音形式。

## ちゃん 〈接尾辞〉

有时也说成ちゃま。

1. 接于姓、名、家属称谓名称后,表示亲昵或尊重。主要用于大人、小孩互相呼唤。

花子ちゃん(常简为“花ちゃん”)、三ちゃん、(お)父ちゃん、(お)姉ちゃん。

△ぼくちゃん、坊っちゃん、赤ちゃん、お嬢ちゃん。

△ごぶちゃん、はげちゃん。(成人上对下也用)

2. 儿语中用于动物名称后表示亲昵。

熊ちゃん、ワンちゃん、小鳥ちゃん。

△一般不用“運ちゃん(運転手)、薬屋ちゃん、弟ちゃん、妹ちゃん”。

中止形 チュウシケイ 中止形

用于中止法的连用形。

【活用词尾】动词的中止形就是连用形,形容词指“〜く”形式、形容动词指“〜で”形式。

【用法】“中止”就是句子文脉的暂时停顿,句子尚未终止,有后续性,因此前后项之间有一定的关系。

1. 时间关系。有的表示同时发生的事件、状态(例①、②),有的表示前后关系(例③)。

①にわとりが鳴き,犬が吠える。/鸡鸣狗叫。②あたりが静かで,緑も多い。/周围很安静,草木也多。③家に帰り,ふろに入った。/回家,洗了澡。

2. 反映一定的条件如前提、原因、方法、目的等。有的是顺态条件,有的是逆态条件。

①雨が降り,川が溢れそうになった。/下雨,河水眼看要出槽了。②崖から落ち,傷一つ負わなかった。/从悬崖上掉下来,连一点儿伤都没受。

2是1的转用,其条件种类取决于前后两项间的意念关系。所以,意念关系不明确时可能产生歧义。

①荒地を開き,豊作を勝ち取った。/顺态:开荒,获得了丰收。逆



态：开了荒地，却获得了丰收。

中止法常用于文章和新闻报道等，口头语常用连用形加“て”的形式，如2中例①为：雨がふって～。

**中止法** チュウシホウ **中顿法**

连用形用于中顿的用法。

动词的中顿法用连用形表示。形容词和形容动词的中顿法分别用连用形“く”和“で”，均非专门中顿法。所有用于中顿法的连用形统称为“中止形”。具体用法见“中止形”项。

①春雨が降り，青い草をうるおす。／下春雨，滋润绿草。②美しくみずみずしいダリア。／美丽而水灵灵的大丽花。③坂がゆるやかで長い。／坡缓而长。

动词和形容词连用形可后续て，此用法特称为接续法。见另项。

**注釈副詞** チュウシャクフクシ **注释副词**

渡边实认为山田孝雄的三分法并不能把所有副词划分完毕，另立了注释副词和“限定副词”。

注释副词表示说者对于叙述内容的评价或解释，具有诱导后续内容的作用，但不增加叙述内容。又称“評価の副詞”（市川孝）、“解説副詞”（井手至）等。

①もちろん，世界は広い。／当然，世界是广阔的。

一般用“～（の）は～だ”句式把注释副词做谓语也说得通。

世界が広いのはもちろんだ。／世界是广阔的，这无需多说。

注释副词还有：さいわい、あいにく、当然、事实、等。相当于注释副词的用言连用形也有一些，如：珍しく、けなげにも、よくも。固定形式主要有：～ことに。

①事実，私には関係がない。／事实上与我无关。②確かに，それは一人や二人の人が決められることではない。／确实，这不是一两个人就能决定的事。③驚いたことに，何百人もの人が集まっている。／令人吃惊的是，聚集着几百人。

**中称** チュウショウ **中称**

【解释】第三人称的一种。中称表示在听者、说者的关系中，在空间距

离和心理的远近亲疏距离方面近于听者的事物。表示中称的代词有：その、かた、それ、そこ、そちら、そっち等。再加上そう（副词）、その（连体词）、そんな（形容动词），就构成こそあどのそ系列。

【用法】1. 场面用法。指距听者较近或与听者直接关联的事物、时间、场所、状态等。

①あなたのそばにある、その本を取って下さい。／请把你旁边的那本书递给我。②そちらはもう桜が咲いているでしょう。／你那樱花已经开了吧。③そんなにいそがなくてもいいよ。／用不着那么着急。④きみがそういうのも無理はない。／你那样讲也有道理。

## 2. 文脉用法。

### 1) 指代对方刚刚说过的事物等。

①「インクはどこですか」「ああ、それは本棚にあるよ」／“墨水在哪儿？”“噢，它在书架上。”②「今日、僕、学校で先生に褒められたよ。」「それはよかった。」／“今天我在学校里受到老师表扬啦。”“那好啊。”③「あと三日で実験の成功が分りますよ。」「本当にそううまくいくかな。」／“再过三天就会看到实验的成功啦。”“真的进展这么顺利吗？”④「あいつは私たちのものまで盗んでいくに違いない。」「そんなことをして見ろ。あとでやっつけるぞ。」／“那家伙准会连我们的东西也给偷走。”“他敢那么做！过后非收拾他！”

2) 指代说者自己刚刚说（写）过，并且估计听（读）者已经了解了的事物等。

①むこうから大きなトラックがやってきた。それを見た店の人たちは急いで表に出ていった。／从对面过来一辆大卡车。店里的人们看见后都赶紧奔到外面去了。②遠くにあかりを見つけた旅人は、そちらに向かって足を速めた。／旅行者在远处发现了灯火，朝那边加快了脚步。③彼は毎日ぶらぶらと遊んでばかりいた。そんな彼を町の人たちはみんなあざけた。／他每天尽是东游西逛。他这样做镇上的人们都嘲笑。

△用法2) 口语中有时用こ系列，在小说的叙述部分有时用あ系列的词代替。这样可以缩短说（写）者与听（读）者的心理距离，给人以亲近感。

3) 有时特别指代谈话之前估计听者不了解或对方说过而说者仍不了解的事物等。

①「昨日、柳田という人が訪ねてきました。その人は西洋人のような鼻をしていました。」「その人、どんなことで訪ねたのですか。」／“昨天有个叫柳田的人找我来了。他长着象西洋人那样的鼻子。”“他为什么事来找你的？”

#### 中相 チュウソウ 中动态

普通语言学术语，动词态的一种，是 middle voice 的译词，和主动态、被动态并列。中动态指这种主谓关系：形式上是主体（主语）发出某动作，意义上主体（主语）是该动作行为的对象（宾语）。这样折衷的结果，中动态与被动态极相似，区别只在于谓语动词的种类。

①泥棒がつかまった。（比较～がつかまえられた）／小偷捉住了。

小偷自己不能“捉”，但形式上确实是本身发出动作的，我们只能从意义上理解为“被捉”，这便是中动态。将构成中动态的动词称做“中相動詞”。日语中中相动词很多，这是日语的特点之一。如：聞える、伝わる、売れる、焼ける、（橋が）かかる、煮える、刺さる、受かる、教わる、植わる、休まる、等等。在自动、他动的分类中，中相动词都属于自动词。实际上从意义方面说中相动词介于自动和他动之间。另外，中相动词和可能动词以及纯粹的自动词之间就日语本身来说难以截然分开。

#### 中相動詞 チュウソウドウシ 中相动词

由细江逸记、金田一春彦等用于动词分类中，自动词中有一部分词本身是主动态形式，却具有被动的意义，（因而不能再构成被动态～られる），表示接受外部的动作而产生的结果状态。

①さつまいもが煮えた。／地瓜煮好了。②魚がやけた。／鱼烤好了。③教えられて助かった。／多亏你告诉我。

以例①为例，表面上说的是“地瓜”自己“煮好了”，是自发的，而实际上是人去“煮”才产生的结果。这样的动词就是中相动词。其语法意义介于自动词和他动词或主动态动词和被动态动词之间，故名。

中相动词多数是～aru, ～eru 形式，如：

受かる、植わる、教わる、聞える、売れる、つかまる、見つかる。

中相动词的构成几乎都与文语被动助动词（る、らる）有关。其被动意义及其语法特点即来源于此。

还有一些中相动词有相应的自动词，如（括号中为自动词）：

休まる（休む）、緩まる（緩む）、縮まる（縮む）、合わさる（合う）、生かる（生きる）。

很多中相动词同时也有可能的意义，甚至有的和可能动词同形。例：

見える、聞える、勤まる、受かる、助かる、売れる、書ける。

但一般情况下中相动词用法和可能动词用法能区分开。

- ①あの人は手紙もろくに書けない。（可能）／他连信都写不好。  
 ②この作文はよく書けていますね。（中相）／这篇作文写得真好啊。③  
 高い山が見える。（中相）／望得见高山。④目が見えない。（可能）／  
 眼睛看不见（东西）。

【参考】语态通常分为主动态和被动态。也可以设立中动态（中相態，middle voice），即由中相动词作谓语构成的语态。见以上例句。中相态介于主动态和被动态之间。汉语中的所谓“半被性”类似中相态，如“北京解放了”等于“北京被解放了”。

長音 チョウオン 长音

【解释】日语特殊音位之一。把相当于两个音拍的单音节称作长音。如，〔odʒisan〕（おじさん）和〔odʒi: san〕中〔dʒi〕是一个音拍，〔dʒi:〕是两个音拍，因此把前者称做短音，后者称作长音。有时只把长音的后一拍〔:〕叫做长音。长音永远位于其他音拍之后。长音是单音节，其内部不存在发音上的松弛和听觉上的音谷。如，“砂糖屋”其发音为 satooya，如发音为 sato, oya 就成为“里親”。由此可见，长音实际上是一个子音和一个长母音的结合，即 t 和 oo 的结合，而不是 to 和 o 的结合。

长音在古日语中就有，但只表示一种强调的语气或为发音方便而用，（如，カア／蚊），与语义区别无关。因此，并没有构成音位系统。从镰仓时代起，在汉语字音的影响下（音读词中长音特别多），日语中长音的使用更加频繁，种类也增加了。结果，人们开始用长短音对立的观点观



察了当时的音韵体系,并用来表示不同的单词,丰富了日语的音位系统。

汉语中没有音位的长短之别,所以日语学习中,长音是一个难点和重点,必须在与短音的比较中去认真掌握它。

【应用】长音不仅具有区别词义的作用,而且经常用于口语实践中,简要而生动地表现各种细微的情感。

①しいんと静まりかえる。(加强)/鸦雀无声。②それじゃあしかたない。(失望)/那么,就没办法了。③ねえ,あたしも行かしてねえ。

(央求)/好吗,也让我去嘛。④これはなあに。(疑惑)/这是什么?

【种类和标记法】根据前半部分假名的所属段,分为ア段长音、イ段长音、ウ段长音、エ段长音、オ段长音。在用平假名书写时,

1. ア、イ、ウ段长音分别用あ、い、う表示。如,おばあさん、おじいいさん、くうき(空气)。

2. エ段长音,在日本固有词中用え、在音读词中用い。如,ええ、ねえさん、めいいれい(命令)、けいいえい(経営)。

3. オ段长音,在日本固有词中原用ほ标记的要用お,其他用う,音读词中用う。如,とおい、おおかみ、とおる、こおり、どう、とうほう(東方)、こうそう(構想)。

在用片假名书写的外来语中,所有长音用ー表示。如,スーパ－フリーマーケット、フリー・レーバラー。

罗马字文章中用母音重复形式表示,有时也用aā等符号。

片假名 アア イイ ウウ エイ/エエ オウ/オオ

罗马字 aa ii uu ei/ee oo

训令式 a i u ei/ê o

黑本式 a ī ū eī/ē ō

ちょうだい(頂戴) 〈动词〉

为“頂戴する”的词干,常作命令形用。

1. 以サ变动词形式作もらう的自谦语。

①沢山のみやげを頂戴しました。/得到许多礼物。②おほめのことばを頂戴する。/承蒙夸奖。

2. “飲む、食べる”的自谦语。

①「どうぞ、沢山めしあがって下さい」「はい、もう沢山頂戴しました」／“请多吃。”“是，已经吃很多了。”

3. “下さい”的儿语、妇女用语。

①お小遣をちょうだい。／给我点零花钱。

4. 构成补助动词てちょうだい，见该项。

ちょうど（丁度） 〈副词〉

1. 陈述副词用法。和ようだ、みたいだ等呼应，表示某事物和另一（常见的）事物相似。同あたかも、さながら。

①ちょうど雪のような，白い花びら／雪一样的白色花瓣。②ちょうど花が咲いたように美しい。／犹如鲜花开放般美丽。③何かあったら小言ばかり言って，ちょうど老婆みたいだね。／一有点儿什么事就叨叨起来没完。跟个老太婆似的。

2. 程度副词用法。

1) 表示一事物在性质、时空、数量等方面正好符合或相反于某一基准。也可修饰体言。

①ちょうど5時／5点整。②ちょうどそれと反対のうわさも聞いた。／也听到了与此正相反的传闻。③ちょうど妹の体に合う服を買ってきた。／买来一套正合妹妹身材的衣服。④小えびは湖と海とのちょうど中間みたいな所に多いんだって。／据说小虾多生在恰好介于湖海之间这类水域里。

2) 表示整数。

ちょうど一時間で会社についた。／到公司正好用了一个小时。

**直接話法** チョクセツワホウ 直接引述、直接引语

【性质】把别人的话语、想法不加文脉和语气等方面的任何变动，直接加以引用的方法叫做直接引语。与间接引语相对。直接引语是原话的重复，不仅保留原话的文脉、语气等，还尽量如实地传达原话的语调、音高等语音特征。

①彼は私に「今度行きませんか」と聞いた。／他问我“你这次不去吗？”②彼は私に「行け」と言った。／他对我说：“走开！”③彼女は私に「ねえ。あなたが行くことになったのでしょうか」と尋ねた。／她向

我寻问道：“我说，这次是要你去吧？”

直接引语可以引用完整的句子，也可以引用省略句、独词句，在书面语中甚至可以引用文章或默言。

①「どうも困った相手だ」と、二人は仲よく笑いながら彼を見送った。／“真拿他没办法。”两人亲热地笑着目送他。②「はてな？」と信吾は思った。／信吾心想：“这事真蹊跷？”③首相は昨日の記者会見で次のように語った。……（文章）……と。／首相在昨天的记者招待会上做了如下发言：……。④「こんなことをして、私が喜ぶとでも思ったのか。」「……（默言）……」／“你认为这样做我就会高兴吗？”“……”

【直接引语的形式】直接引语在口语中用语气停顿表示，在书面上用引号，但也有不用引号的情况，此时句末语气成分很重要。下例是直接引语，但如将“勝ちます”改为“勝つ”就分不清是哪种引语了。

①彼は私に私が必ず勝ちますといった。／他对我说：“我一定胜。”

直接引语一般位于动词之前。下例属于倒装句，引语记号也随之倒装。

①彼はどなりつけた。「いくじなしめ」と。／“草包！”他怒斥道。

引语动词“言う、思う”在文脉作用下很容易脱落，只保留引号，如下例①。有时动词和引号都没有。

①「ヘリコプターだ。」「どの辺かい？」／“直升飞机来了。”“在哪边？”②お早うと鈴木が入ってきた。／铃不问声早安走了进来。

句中有“そう、こう、次のように、以上のように”等指示词语时，引用记号と常可省略。

①「きみの負けだよ。」僕はそう言った。／“你输啦。”我这样说道。

【用法上的注意】直接引语使用简便，且能再现原来的场面，使描述更生动，适宜用于作品中的人物对话。有时引用部分过长，内容过于复杂，表达方式和语气妨碍理解，这时以不用纯粹的直接引语为好。这在转述某人对另一人的要求、命令时尤为突出。

①しばらくここでお待ち下さいとのことでした。／说是让您先在这儿等一下。

上例是女用人向要求面见总经理的客人传达总经理的答复。如用直接引语说成：社長は「しばらく待たせろ」と言いましたよ。／（我问经理了，）经理说：“让他等一会儿！”那就很不妥。

⇒話法、間接話法

ちょっと 〈副词〉

1. 陈述副词用法。和否定形式呼应表示在通常情况下不成立、不可能。

①あまり高いから、学生ではちょっと買えない。／太贵了，学生可有点儿买不起。②この問題ができる人は、このクラスにはちょっと居ないだろう。／会做这道题的人，这个班上大概没有。③ここから学校まで30分ではちょっと行かれまい。／从这儿到学校，30分钟可走不到吧。

2. 程度副词。表示较少量、较低程度。

①ちょっと待って。／你等一下。②あの人はちょっと変だね。／他有点儿怪啊。③ご主人にちょっとお目にかかりたいですが。／我想见您先生一面，不知……。

3. 感叹词用法。用于打招呼。

①ちょっと、どこへ行くの。／喂，你上哪儿？②ちょっと、林さんが来たようだね。／你听，好象林先生来了。

陳述 チンジュツ 陈述

日语语法学专用术语。指对于叙述内容作出说者的主观判断，使之成为一个句子的语法作用。如“花が咲くだろう”一句中，“花が咲く”是对现实的写照即叙述，而だろう是说者对于叙述内容的推测判断，即陈述的一种。又如，“花が咲く。”中，“花が咲く”是叙述内容，而非语言性标记句号（口语中的降调）则表示单纯的判断，这也是一种陈述。可见，陈述是句子成立的决定性条件。

陈述的主要内容有判断、疑问、感叹、呼吁等，一般用终助词、类似终助词的助动词（う、よう、ない、だろう等）以及零形式表示。



①赤ん坊がすやすや眠っている。(零形式)／婴儿安静地睡着。②皆で一度試してみよう(助动词)。／大家来试一次吧。③美しいバラだこと(终助词)。／真是美丽的玫瑰呀。

陈述虽然主要表现在句末的语法形式中，却始终贯穿于全句，否则就不能按表达意图不断整理叙述内容，使之有重点、有比较、有条理地组织起来。比如，是用格助词还是用提示助词、用哪种语序、用不用陈述副词来呼应等等，都是陈述作用在句中的表现。

最先使用“陈述”这一术语的是山田孝雄，他认为句子是人的思想的表现，句子之所以成立是由人的思想决定的。而人的思想是有统一性的，叫做统觉作用。统觉作用表现在语言形式上就是陈述，它寓于用言(包括存在词)之中。时枝诚记认为陈述就是说者的判断在语言形式上的反映，他认为用言、终助词等都没有陈述作用，陈述作用只寓于助动词和用言后的零形式中。

三宅武郎和三尾砂等人主张把概念内容的统一性和陈述加以区别。渡边实最终把二者区别开来，认为用言统一概念内容的功能是叙述，而把说者对概念内容的认识态度叫作陈述。这样，渡边的叙述相当于山田的陈述。按渡边的观点，连体形(鳥が飛ぶ山～)、连用形(鳥が飛び，花が咲く)中都没有陈述，只有叙述作用。这和山田及时枝的观点很不相同。

总之，句子是叙述内容和陈述态度的复合体，陈述态度最终使叙述内容作为句子得以成立，二者相辅相成，缺一不可。

⇒係り受け、係り結び、言い切り、切れ続き、叙述

**陳述語** チンジュツゴ 陈述词

山田语法术语。在山田语法中，陈述词就是用言的别称，包括形容词、动词、存在词。

山田认为，陈述词即用言的本质在于陈述，具有使语言材料即概念结合成一个统一体，表示完整思想的作用。他认为，陈述词首先是位于概念词之后表示陈述，如：花が咲く。／开花儿。花が美しい。／花儿好看。其次，陈述词还具有属性概念，它又能从属性上修饰概念词即体言，如：咲く花／开的花儿。美しい花／美丽的花儿。

山田主张陈述词具有陈述作用，时枝主张陈述作用寓于用言后的助

动词中，这是二者的区别。

⇒概念語

陳述副詞 チンジュツフクシ 陈述副词

【性质】副词的一种，修饰、限定谓语的陈述方式。亦称“叙述の副詞”或“呼応の副詞”。陈述副词不能修饰和限定谓语的叙述内容，而只是规定谓语的陈述方式是肯定的、否定的、推量的、条件的等，并用这种形式增添一定的陈述语气，如：注意、推测、愿望等。所以，典型的陈述副词即使略去，叙述内容也不增不减。

①（決して）忘れまい。／我是绝不会忘记的。②（たぶん）来るだろう。／可能要来吧。

有些陈述副词兼有程度副词或状态副词的意义，故不能省略。试比较：

①ろくにものも言えない。／话都说不好。②ものも言えない。／话都不能说。③なぜ泣いているの？／为什么在哭？④泣いているの？／在哭吗？

另外，表示意外，无奈、尝试等语气的副词，虽然不要求句末的特殊形式，其本身的语义也与陈述形式相关，可看作一种特殊的陈述副词。

①あいつのやることだから、どうせ大したことはない。／那家伙干的，反正不会有什么名堂。②とにかく，出来ることはいたします。／总之，我将尽力而为。

【种类】根据与之呼应的谓语陈述方式可以分为：

1. 与肯定形式呼应的，表示强意或决心、决断。例：さすが、いやしくも、必ず、きっと。
2. 与否定形式呼应的。例：決して、到底、とても、めったに。
3. 与愿望形式呼应的。例：ぜひ、どうぞ、くれぐれも、なにぶんにも。
4. 与比况形式呼应的。例：まるで、あたかも、ちょうど、さながら。
5. 与推量形式呼应的。例：恐らく、さぞ、さだめし、あるいは、さも、いまにも。

6. 与疑问或反语形式呼应的。例：どうして、なぜ、なんと、あに。

7. 与否定推量形式呼应的。例：とても、まさか、よもや。

8. 与假定形式呼应的。例：もし、かりに（以上顺接）、よしんば、たとえ（以上逆接）。

9. 与过去完成助动词相呼应的。例：ついに、あんのじょう、てっきり、とうとう、とくに、めっきり。

10. 与将来时间相呼应的。例：いずれ、いっそ、さしあたり、当分。

一个陈述副词也可能有几种呼应方式。

①まるで違う。／完全不同。②まるで芝居のようだ。／简直是在作戏。③まるで知らない。／全然不知。

【诸说】时枝诚记把整个呼应结构（如：決して～ない）看作是一个分裂的辞。渡边实认为陈述副词和注释副词、限定副词都位于后述内容之前起预告、诱导的作用，从而统称为“誘導副詞”。

## つ ツ

## つ 〈接尾辞〉

【构词法】只和一至九结合，构成ひとつ、ふたつ、みつ（みっつ）よつ（よっつ）、いっつ、むつ（むっつ）、ななつ、やっ（やっつ）、このつ。いくつ可用于十以下或十个以上数目的疑问，古代还可接大数目后：五百<sup>いお</sup>つ，或：五百<sup>いお</sup>ち。

【意义】1. 表示数值，只用于儿童式计算和自言自语。

①「三つに七つをたしたら，答えはいくつ」「とお」／“7个加3个，得几？”“10”。

2. 表示年龄中的虚岁。

①子供はいくつになっても，親から見ると赤んぼうです。／孩子无论到多大，在成人来看还是小孩儿。②「お嬢さんはいくつなの」「三つ」／“令爱多大了？”“三岁。”

周岁要用“～歳”表示。如：3歳／三（周）岁、6歳と3個月／六岁零三个月。

3. 表示抽象事物的数量。

①三つの議題／三个议题。②二つの方法。／两个方法。③漢字の書き方と読み方の二つだけでも大変なことです。／仅是汉字的写法和读法这两样就够受的了。④作文を一つ一つ読んでみる。／一篇一篇地读作文。⑤もう三つ寝るとクリスマスになる。／再睡三宿就到圣诞节了。⑥皆一つにまとまっている。勝手な行動は許さぬ。／大家要在一个地方，不准随便行动。⑦間違った所が二つある。／错误之处有二。

4. 可以表示无统一或一定形状因而无特定量词的事物。

①今年は台風が三つ日本に上陸した。／今年有三次台风在日本登陆。②温泉がいくつかあります。／有几处温泉。③日本にはこれという地下資源は一つもない。／日本数得着的地下资源一个也没有。④このホテルには大きな部屋が八つもある。／这个饭店有八个大房间。⑤地球に



は衛星一つしかない。／地球只有一个卫星。

5. 表示虽有特定形状，但以复数、部分形式出现，或不具有个体形式的事物以及圆状物。

①そのぶどう二つ下さい。／请拿两盒儿葡萄。②トイレットペーパーが安いんで二つも買って来ちゃった。／手纸便宜，一下子买来两包。③味の素を二つ買ってちょうだい。／请拿两包味素。④リンゴは一つでいくらですか。／苹果多少钱一个？

6. 用于人造的物体。有时无特定量词，有时用～つ代替特定量词。

①指輪を二つもはめている。／带着两个指环。②この町に学校が八つ（八校）ある。／这个镇上有八个（所）学校。③テーブル一つ（一脚）と椅子四つ（四脚）でどれぐらいかかりますか。／一张桌子和四把椅子要多少钱？④飛行機が全部で三つ（三機）西の方へ飛んでいった。／共三架飞机向西飞去。

⇒個（こ）

つ 〈文言并列助词〉

来源于文言完了助动词つ。现在除残存在某些词组中的以外，已很少见到。

【接续】主要接动词和助动词（ら）れる的连用形后。一般不需要接音便形后，有时接拨音便后浊化为づ。

組んづほぐれつ。／分分合合。

【意义】只用于文章体。只有～つ～つ并列形式，主要用来构成惯用词组。

1. 以同一动词主动态，被动态相重复的形式，表示双方之间共同进行的相关动作行为。

①追いつ追われつ／你追我赶。②抜きつ抜かれつ／互相赶超。③差しつ差されつ飲んで明かす。／你斟我劝地喝到天明。④自民党と財界のもちつもたれつの関係に野党は不満をもらした。／在野党对自民党和财界之间互相利用的关系表示了不满。

2. 以相关的两个词或相反的两个词相重叠的形式表示交替进行的动作。整个～つ～つ词团做サ变动词词干（例①、②）或副词。

①実は彼女は今見た夢のあとを、なお一人で行きつ も どりつして  
いたのだ。／实际上她仍在延着先前的梦境独自萦回。②名も知れぬ小川  
は、林をくぐり、隠れつ現われつして、しかも曲がりくねっている。／  
不知名的小河穿过树林，时隐时现，且弯弯曲曲。③その煙は春風に浮き  
つ沈みつ、流れる輪を幾重にも描いた。／那烟随着春风忽上忽下，绘成  
一层层流动的环。④お客さんは骨董品をためつすがめつ調べている。／  
顾客前后左右地仔细查看着古玩。

### ついぞ 〈陈述副词〉

和否定形式（主要是～たことがない）呼应，表示从未发生某事。

①わしは過去においてついぞ一度も名声と物質を羨んだことはな  
かった。／本人（我）过去从未有过任何一次羡慕名声与物质之事。②私  
はついぞあなたの悪口を言ったことはありませんよ。／我从来没说过  
你的坏话啊。

### ついで（次いで） 〈接续词〉

来自动词つぐ。用于文章。表示顺序中第二位的或接下来的。

①世界で人口の多い国は、多い順で中国、インド、ついでソ連、ア  
メリカなどです。／世界上人口众多的国家按多少的顺序是中国、印度、  
还有苏联、美国等。②まず校長先生が挨拶をした。ついで来ひんの代表  
が祝辭を述べた。／首先由校长讲话，接着，来宾代表致祝辞。

### ついては（就いては） 〈接续词〉

用于文言体书信、郑重的对话等。就前项中提出的现时或未来的事  
实，在后项中提出有关愿望，打算等。

①来週の土曜日は私の結婚記念日です。ついては皆様をお招きし  
てささやかな宴を催したいと存じますので、ぜひお越しいただきたい  
と思います。／下星期六是我的结婚纪念日。为此，我准备邀请诸位，略  
备酒宴，谨请务必光临。②一度お話申したいと思います。ついては、明  
日十時にお伺いいたしたいのですが、いかがでしょうか。／想和您谈  
谈，明天十点拜访您，可否？

### ついに（遂に） 〈陈述副词〉

1. 和肯定形式呼应，表示终于达成某种结果。

①ついに完成した。／终于完成了。②どうなるか分らないとしても、遂には破局のやってくることを恐れている。／尽管前景如何尚不知晓，可还是害怕最终会有败局临头。

2. 和否定形式呼应，表示某种事实终于未能实现。

①遂に彼に会うことができなかった。／终于未能见到他。②彼は海外に渡って遂に帰らなかった。／他远涉重洋，终于没有回来。

つかまつる（仕る） 〈接尾辞〉

五段活用。接于表示说者自身的动作行为、且与对方有关的动词后，构成动词的自谦语形式。用于“（お）连用形＋仕る”和“（ご）サ变词干＋仕る”形式。与“お（ご）～申しあげる、お（ご）～致す”相同，但一般只用于书信等特殊场合。

①あなたの寛大を固く信じ仕ります。／在下深信您的宽大。②失礼ながら貴意を得たく、御見舞を兼ねて御<sup>おもうし</sup>申入れ仕ります。／不揣冒昧，愿恭听高见，特上书如右。顺致问候。③謹啓。青木南八<sup>なんぱち</sup>のご逝去，<sup>つつしみてごちようもん</sup>謹而御弔問仕ります。／谨启者。对青木南八的去世，谨表悼念。

っしゃる 〈助动词〉

特殊五段活用。命令形有～っしゃい、～しゃれ。接ます时为～しゃいます。其余同五段。有时促音消失，成～しゃる。

用于方言。接五段、サ变未然形（サ变用～さ）后，表示尊敬。

①行かっしゃれ。／请您去吧。②大人しうして，教えて貰わっしゃい。／你要规规矩矩请教人。③妄念は起さずに此处を退かっしゃいました。／没起任何妄念就离开了这里。

【参考】接一段、カ变动词时，要用さっしゃる。二者用法、活用均相同，均相当于～なさる。

もっと居さっしゃい。／请再坐一会儿。

つつ 〈接续助词〉

【接续】接动词及同型助动词连用形后。

①遅いと知りつつ出かけた。／明知晚了，可还是出去了。②芭蕉は弟子たちに見守られつつ，厳肅に死を遂げた。／松尾芭蕉在弟子们的看护下，庄严地死去了。③青年教育は，未来への希望を持たせつつ行うべ

きである。／进行青年教育时应该使他们对未来怀有希望。

△可后续副助词も加强逆接语气。

①倒産を予期しつつも、原料を沢山仕込んでいる。／明知将破产，却购进了大批原料。

【意义】1. 表示两项动作同时平行进行或前项是后项的伴随动作、伴随状态。口语体中用ながら。

①アルバイトをやりつつ、夜学に通う。／一边做工，一边上夜校。  
②ふりかえりつつ去っていった。／不住地回头望着远去了。③今度の成功は、両者が緊密な連撃を保ちつつ行動をとったことが大きな原因だ。／这次的成  
功，主要原因是二者保持密切联系，采取共同行动。④車はスピードを出しつつ目的地に近づいている。／车子不断加速，越来越接近目的地了。

2. 连接前后两项相矛盾的同时性动作或状态。可后续も使逆接更明确。口语中主要用ながら（も）等。

①何とかしなくてはと思いつつ、とうとうこんな事態を招いてしまった。／尽管想着要采取点儿措施，最终仍招致这种事态。②犯罪事  
実は認めつつも、犯罪動機については一言も触れていない。／承认犯罪事实，却对犯罪动机只字不提。③失礼とは知りつつもお願いするのです。／我自知不礼貌，可还是要请求您。

3. 构成～つつある形式。（本为英语动词进行式的译词）

1)接瞬间性动词后，表示事态向前接词的方向持续发展。一般可用ますます～、～て行く、～ようになる等形式代替。不能用～ている代替，如下例②若说“色あせている”，则意为“已经褪色了。”

①豊太の顔は刻一刻蒼ざめつつあった。／丰太的脸色眼看着越发苍白了。②母親の教育熱心がますます高まって、「教育ママ」という輕蔑的な代名詞さえ、もはや色あせつつあります。／母亲们的教育热情不断高涨，甚至连“教育母亲”这个贬义的代名词也已逐渐黯然失色。③闘いの勝利への結束はより強固になりつつある。／为争取斗争的胜利，团结得越来越牢固。④その記憶がやっと薄れつつあるとき悪夢を思い起させるように発生した事件である。／当这种记忆逐渐消失的时候，又发生



了这次事件，就象让人重温旧梦似的。

2) 接继续动词后，表示持续进行。可用ている代替。

①30年あまり，いわゆる純文学を書きつつあった。／30余年，一直在写所谓纯文学。②国民生活は向上しつつある。／国民生活在逐步提高。③日本海側は，年々地盤が沈下しつつあるという話だ。／据说日本海一侧地表在逐年下沉。

4. 表示完了，口语中可用て替换。不常用。

①本望を達しつつめでたく帰国おはしませ。／祝你实现夙愿，衣锦还乡。

【参考】词源不详。有认为是完了助动词つ重叠的，也有认为是动词す（する）重叠的。

つづける（続ける） 〈接尾辞〉

下一段活用。接动词连用形后，可接自、他两种动词后，不改变上接词的自他性质。

1. 接继续动词后，表示动作的持续进行。

①前にやめた所から読みつづけなさい。／请从上次中断的地方接着读。②何十年もこんな服を着つづけてきた。／已连着几十年穿这种衣服了。

△主要在文章中，也有时接于状态性词语后，表示（有意识地）保持某种状态。

①その歌は「懐<sup>なつ</sup>メロ」として今だに愛唱されつづけている。／那首歌作为“难忘的歌曲”至今仍受到喜爱。②こんな状況では良心的であり続けるのは難しい。／在这种情况下，要始终做到对得起良心是很难的。

2. 接于瞬间动词后表示反复性动作行为连续发生。

①このモーターは先月から故障しつづけている。／这台发动机从上月开始就不断出故障。（同一主体）②満開の梅は少しも衰えず，三月のすえまで美しく咲き続けた。／盛开的梅花丝毫不见彫零，一直艳丽地开到三月末（多数主体）。

って 〈格助词〉

## 【接续】 1. 接体言。

①金田って人を君は知ってるか。／你认识金田这个人吗？②安川元判事ってのは、汚いやつという印象ですなあ。／这个前审判官安川，看来是个肮脏的家伙啊。

## 2. 接引语。

①これが大人の言う悲しいっていう気持なんだなって分ってきたの。／我渐渐明白了，原来这就是大人所说的那种叫悲痛的心情。②皆留守だって言ってますよ。／说是都不在家。③一万円貸してくれないかって頼みに来たんです。／是来求我借给他一万块钱。

## 【意义】 只用于口语。

1. 表示前项名词是后项名词的指定、说明性同位语。可用という代替。

①见「接续」1中例①、②。②「何かご用ですか」「用ってほどのことじゃないけど、ちょっと来てほしいんです」／“有什么事吗？”“算不上什么事，我想让你来一下。”③将棋って奴は，碁と違って，素朴で庶民的な味がしますね。／象棋这东西和围棋不同，简单而且大众化。④どこへってあてもなく歩きつづけている。／茫无目标地走个不停。

2. 表示前项是后项名词的具体内容或解释。也可用という代替。

①来年には出来るって話だが，今後の成行きが注目される。／说明年完成，这就要看今后的进展了。②腕は日本一だってうわさだが，直接当たって見るよりは判断ができない。／传说（他）本领日本数一，除非亲自了解一番，否则下不了结论。③自己本位で，自己の利益を守るためには，なんでも利用するって感じた。／（给人的）印象是以我为中心，为维护自己的利益不择手段。

3. 表示后续动词（语言、思维活动）的具体内容。可用と代替。

①超能児童は本当らしいな。この前，新聞にも出てたっていう話だぜ。／看来特异（功能）儿童是真事儿啊。据说前些天的报纸上也登过啦。②生まれた子犬をポチって名付けました。／给新生的狗崽取名小花。③38だって言っても，疑うものはいないだろうよ。／即使说38岁也不会有人怀疑。④君のことを人が良いてほめてくれましたよ。／他

称赞你人品好。⑤酒とたばこはやめた方が良いてさんざん言われました。／他严厉训斥我要我戒掉烟酒。⑥お腹をいやっていうほど殴られて、気を失った。／腹部遭毒打，昏了过去。

△这种用法的という词组仍可以说成って。

①そのために僕にそんな真似をさせようってんだな。(= いうの  
だな)／原来你是让我为此去干那等事!

4. 表示引起后项动作或行为、状态的心理原因、前提等。って前也大致相当于引语。相当于“と言って、と思って”等。

①困った。なにして、立ち上がったとたんに、言うべき言葉を忘れてしまった。／糟了。我想反驳，站起来时，把该说的话忘光了。②共稼ぎだから、子供が家でひもじいって、泣くときがよくあります。／因为是双职工，孩子常在家里饿得直哭。③なんだってまたそんな古くさいことを持ち出すんだ。／因为什么又把那套陈词滥调搬出来?④どこかの学者も、降霊術は本物らしいって、いま研究しているんだって。／据说有位学者也正在进行研究，认为招魂术可能是真功夫。

5. 接助动词た、だ后，构成接续助词，等于“と言っても、としても”等。详见接续助词的“たって”和“だって”项。

①今から行っただって、まにあいっこない。／即使现在去了也来不及了。②大統領だって、法律的には国民と平等でなければならない。／即使总统在法律上也应该和国民平等。

【参考】1. って是由“と言ひて”缩合为とて，再经音便而成的。

2. 在拨音后用“て”，见该项。

って 〈接续助词〉

1. 形容词及同型助动词的连用形〜く后续て时产生的音便形。口语中较常用，具有加强语义的作用。意义同て。

①その日から絵の具がほしくってほしくってたまらなくなりました。／从那天起，我就一心地想得到画具。②ほんとに曾呂崎の焚いた飯は焦げくさくって芯があって僕も弱った。／曾吕崎烧的饭是连糊巴带夹生，我也挠头了。③あの男は言わなくって済むのにやたらに吐くんだから始末に負えないじゃありませんか。／他不吱声就完了，却偏偏咧咧

起来没完，拿他有什么办法？④芸術におぼれたものでなくて、そういう時のエクスタシーを誰が味わい得よう。／若不是沉醉于艺术的人，谁能体会到此时的心醉神迷？

2. 接续助词としての音便形。表示逆接条件。只用于た、だ之后。见格助词“って”项及“だって”（接续助词）和“たって”2项。

①これだっていいだろう。／这个也行吧？②復習したってだめです。／复习也没用。

って 〈提示助词〉

【接续】1. 接体言、体言性词组后。

①カナリアって美しい鳥ですね。／金丝雀可真是美丽的鸟儿啊。②長野県の話だ。長野って知っているね。／是长野县的事。长野这地方，知道吧？③長いってどれだい。／你说的长的是哪个呀？

2. 接引语后。

①どうするかって、僕にだって分らないよ。／“怎么办？”连我也不知道。②お嬢さんはパリへ留学するって本当ですか。／听说您女儿去巴黎留学，真的吗？③「つまらないって何がつまらないの」「何がって分ってるじゃないか」／“无聊？什么事儿无聊？”“什么事儿，你不是知道吗？”

【意义】只用于口语。

1. 表示主题，有提示作用，相当于というのは。一般用于对方提到的或已经成为谈话题目的事项，常带有气氛融洽，轻视对方，轻视话题事项等语气。

①「じゃ、言ってみ。石の上にも三年って、何のことや。」／“你说说看，‘只要功夫深，铁棒磨成针’是什么意思？”②化学実験で、どんなことをやるんだ？／所说的化学实验，都搞什么？③川喜田先生って、化学の先生でしょうね。／那位川喜田老师，就是化学老师吧？④子供って見れば見るほど本当にかわいい。／孩子，就是越看越觉得可爱。⑤教えるってこうも難しいとは知らなかった。／真没想到教别人这么难。⑥美しいって、何よりも心の要素を指すものである。／所谓“美”，最主要的是指心理上的因素。⑦それでいて、私って、和服を着ると、痩せ



て見えるわよ。／不过我这个人一穿和服并不显得胖啊。⑧仕事中には、体を休める時ってなかった。／工作中没有工夫休息。

2. 接过对方的话头，或作陈述、或作反问等。常用于疑问词后。

- ①「先生，どう返事かけばいいの?」「どうって，好きなら好きとさ。」／“老师，你看我怎么回信好?”“怎么回信好? 喜欢就说喜欢呗。”  
 ②「結婚する気がないんです」「どうして」「どうしてって……」伸子は窓を開けた。／“我没有心思结婚。”“为什么?”“为什么，这……”伸子打开了窗子。  
 ③「君は，あれをどう思う?」「どう思うって，立派なことだと思いますよ」／“你怎么看这事?”“怎么看? 我看这事很好啊。”  
 ④雨が降るかって，あしたになって見なければ分らない。／(问我) 能不能下雨，这要到明天才能知道。  
 ⑤いつにするかって，君はいつがいいんだい。／(你问我) 定在什么时候，(那我问你) 什么时候方便?  
 ⑥誰かって，もう決まっているよ。／你问是谁吗? 这已经定了。

3. 实义性的词组というのは的缩略形式，多用于命令式后，后项是对这项命令本身的评论。(“命令形+って”是一种使役形式的提示形式。参照“命令形”项)

- ①子供にせたくしろって，ひどいじゃありませんか。／你让孩子洗衣服，这不过分吗?  
 ②年寄りを<sup>ごんご</sup>出てゆけって，言語道断だ。／让老年人“滚出去”，真是大逆不道。

【参考】用于末音是拨音的词之后时，一般用て形式。见1的例①、②及て(提示助词)项。

って 〈终助词〉

【接续】接包括不完整句在内的各种引语后。可后续终助词さ、ね、よ等。

- ①「母からこれをあなたへって」「要らん」「要らんと言ってもあげろって」／“妈妈说把这个给你。”“我不要。”“妈妈说你不要也得给。”  
 ②あしたの朝には学校だってさ。／听说明天早晨要登校呢。  
 ③勉強が難しいのは五年生からって。／据说课程难学是从上五年级时开始。  
 ④おじさんがいらっしゃるって。／听说叔叔要来。  
 ⑤子供のくせに機械が運転できるかって。／一个小毛孩子还会开机器?

①あいつに何が出来るって。／他会个啥！（若升调：你说他会什么来着？）②そんな説明で誰が納得するって。／你这种解释，谁能满意！③とんでもない。あんなことを僕がするかって。／岂有此理！我怎么能干那种事！④誰があんな所へ行行ってやるかって。／谁往那地方跑！（我才不去呢！）⑤あんな所で物を食うかって。みっともない。／我哪能在

那地方吃东西! 多不成体统。

5. 表示以自不待言的口气坚持己见。

①彼は必ず来るって。／我说他一定会来么。②そんなこと言わなくても、分っているって。／那事你不必说我也明白的。

「って」の見分け方 ッテノミワケカタ っ的的词类鉴别

って兼有格助词、接续助词、提示助词、终助词等词性，可用代替法来鉴别。

1. 格助词。位于句节后部，可用と、という、といって等替换。

①知らないって(=と) 言えばいいのに。／本来说句不知道就行了。  
②「子供の日」って(=という) 祝日を作ったのは、世界では始めて  
だってね。／据说确定“儿童日”这一节日在世界上还是第一次。③大学  
を出なければ損だからって(=といって、と思って)，勉強しているん  
です。／抱着不是大学毕业就会吃亏的想法来学习。

2. 提示助词。位于句中，可用というのは等代替。

①知らないって(=というのは)，本当?／你说不知道，可是真的?

3. 终助词。位于句末，表示传闻、反问等。可用という代替，可以和主语呼应。

①おじさんは要らんって。／叔叔说不要。

4. 接续助词。用于た、だ后起连接作用，可用とて、といつて代替。

①どんなに丈夫だって，病気はするよ。／再健康，也会得病的。

ってば 〈提示助词〉

【接续】1. 接体言后。

①あたしってばだめよ。／我呀，不行。

2. 接于相当于引语的句节、完整句、不完整句后。但形容动词及同型助动词一般接其词干后。

①お金があるってば，中村君はお金があるよ。／说起有钱，中村君很有钱。②本を貸したってば，君，この間も貸したんだろう。／提起借书么，你，前些日子还借过吧?③おもしろいってば，これおもしろいわ

よ。／若说有趣儿，这是很有趣儿啊。④にぎやかってば，君のうちもお客さんが多いね。／若说热闹，你家里客人也不少啊。

【意义】是“と言えは”的缩合形式，主要用于日常会话中。

1. 主要接人名词后，以责难或爱昵的口气提示为主题。

①よしちゃんってば，何か所も間違いだね。／小佳啊，你错了好几个地方哪。②このごろの若いやつってば，全く礼儀を知らない。／如今这小年青，一点儿礼貌也不懂。③私ってば，どうしてこんなに物忘れがひどいだろう。／你说我怎么就这么好忘事呢？

2. 以对方的话语或自己提起的事项为话题，后述有关事项。常有“回忆”的语气。

①よく歌うってば，奥さんもよく歌うじゃないか。／若说爱唱歌，你太太不也挺爱唱吗？②そう，そう，財布ってば，古いのがここにあったよ。／对，对，钱包啊，刚才这里有一个旧的。③悪いことをやったってば，君もいっしょにやったのだ。／若说干坏事，你也一起干了。

3. 以～ってば～的同词反复形式，表示保留的、旁观的观察。

①「その小説，面白いかい」「そうだな，面白ってば面白いけど，何か一つ物足りない感じだな」／“你看的那本小说有意思吗？”“怎么说呢？若说有意思还算有意思，可总是感到缺少点儿什么。”

【参考】下例是实义性的词组“と言えは”的口语约音形式。

①一言ごめんなさいってばすむことです。／说一句“对不起”不就得了。②君が行けってば行きますよ。／你要我去我就去。

ってば 〈终助词〉

【接续】一般接以拨音结尾的词时用てば，否则用ってば，但有时例外。另有长音てえは，意义相同，语气较强。

1. 接体言后。

①ねえ，お母さんてば。いいでしょう。／我的好妈妈，你就答应吧。

2. 接活用词的终止形。

①今，やめるってば。／我现在就停！（你急什么！）②よしなさいよ，見苦しいってば。／快别，多难看啊。③おい，格好が変だってば。



／喂，你这打扮真怪。④つまらないこと，聞かないってば。／无聊！我不听！⑤いいんだってば。たかが絵本一冊じゃないか。／“算了算了”的哩。不就是一本连环画吗。

### 3. 接各种命令形式后。

#### 1) 接命令形后。

①近いうちに遊びに来させろってば。／不是告诉你这几天让他来玩儿么？②ゆっくりしなさいってば。／你多呆一会儿嘛。

#### 2) 接て后。

①ちょっと待ってってば。／你等一下好不？②ねえ，もう一度教えてってば。／我说，你倒是再教一遍啊。

#### 3) 接形容（动）词连用形后。

①もっと太くってば。／再肥（粗）点儿嘛！②静かにってば。／静一点嘛！

#### 4) 接副词后。

①はっきりとってば。あとになって自分も分らないじゃないか。／你要（写得）清楚点儿，过后你自己也看不懂的。

【意义】1. 主要接于各种命令形式后和对方人名后，表示对对方不予响应而产生的急躁、不满心情。有再度提醒的口气。相当于终助词たら意义1。

①静かにしろってば。／安静一点儿！（听见了没有？）②ねえってば。／你倒答应啊。你怎么不言语啊。③あんたってば。待って待って。／瞧你，等一下啊。

2. 主要接于用言和助动词终止形后。以反驳的语气表示不耐烦、坚持己见。

①行くってば。そんなにせかすなよ。／我说要去嘛。别那么催。②おれ，そんなこと言っていないってば。／我根本没有说过那种话啊！

っても 〈接续助词〉

只用于口语。

1. 接用言及助动词终止形后。是“と言っても”的约音形式。表示承认前项或以前项为话题，在后项引出部分否定、限制保留性内容。

①高いって一カ月の給料では買えるだろう。／虽说贵，一个月的工资够买的了吧。②静かだってもやはり都会だから田舎が懐しくなる。／尽管很安静，毕竟是城里，还是乡下好。③大学に進学するっても、今の成績では難しいようだ。／说是上大学，可按现在的成绩，似乎很难。

2. 接形容词和同型助动词连用形后。是てもの强调形式。意义同接续助词ても。

①私一人悪くっても皆のためになるから結構です。／尽管对我一个人不利，可是对大家有利，这就好。

っぽい 〈接尾辞〉

接复合词以外的各种词后，表示前接词的某种倾向或因素比较明显。带有否定评价的语气。

1. 接动词连用形，表示容易产生前接词的行为状态的不良倾向。

①飽きっぽい／没常性。②忘れっぽい／健忘。③疑ぐりっぽい／多疑。④疲れっぽい／好累。

2. 接形容词（多为表示色彩的）和形容动词（多为表示精神活动的）词干后，表示这种情况或性质很严重、很特别、很刺眼等等。

あだっぽい、哀れっぽい、気障っぽい、いたずらっぽい、浮気っぽい、不良っぽい、赤っぽい、黄色っぽい、茶色っぽい、熱っぽい、安っぽい。

3. 接名词后，表示具有这种性质。

粉っぽい、油っぽい、田舎っぽい、男っぽい、色っぽい、俗っぽい、子供っぽい、書生っぽい、理屈っぽい。

【参考】1. っぽい和らしい都表示性质，前者有否定评价的语气，后者有肯定评价的语气。如：子供っぽい／小孩子气、子供らしい／象孩子样儿。

2. っぽい可能是“多い（おおい）”的音便形式。

つまり

〈接续词〉表示后项是前项的另一种说法。

1. 后项是前项的进一步的具体说明。

①壁は厚いほど逃げ方は遅くなる。つまり熱が逃げ難くなるわ

けである。／壁越厚散失得越慢。就是说，热就不易散失。②つぎの日，つまり3月1日に帰国した。／于第二天即3月1日回国了。③超大国つまり米国とソ連邦は軍備拡張に拍車をかけている。／超级大国，亦即美国和苏联正在加紧扩充军备。

## 2. 后项是前项的更概括的、概念性的说法。

①イントネーションとは言葉の上げ下げ，つまり抑揚である。／语调就是话语的升降即抑扬顿挫。②日本語の中には，古い中国語から取り入れた単語，つまり漢語が非常に多い。／日语中，从古汉语引进的单词即汉源词非常多。

## 3. 表示推论的结论。

①自然の物は，そのままの状態では，殆ど人間の生活に役立ちません。つまり，生活のためには，自然と，自然に対して働きかける人間の労働とが必要だということになります。／自然之物在其本来的状态下几乎对人的生活是无助的。也就是说，为了生活，需要自然以及人对自然所进行的劳动这两方面。

〈副词〉用于谓语之前，暗示结论或具体内容。

①私の意見はつまりこうである。／我的意见就是这样。②僕の家は，つまり長女と次女との四人ぐらしだが，次女は来年高校に入る。／我家是和大女儿、二女儿共四个人生活，二女儿明年上高中。

【参考】つまり与すなわち的区别。つまり和すなわち都表示前后项的同一性。但是，つまり也表示后项是推论性的结论，这时不能用すなわち。见〔用法〕3。另外，与此相关，すなわち一般只能用于连接词与词。

## つもり 〈形式名词〉

【意义・用法】1. 主要接于动作性动词或词组的连体形后、动作性名词加“の”后，表示计划、打算，多用于第一人称，用于第二、三人称时常伴有疑问、推测。

①僕もたばこをやめるつもりだ。／我也打算戒烟。②あなたも旅行するつもりですか。／你也准备旅行吗？③彼は今の仕事が終わったら引退するつもりらしい。／他好象是打算现在的工作结束后就引退。④金もうけのつもりはみじんもない。／（我）丝毫没有赚钱的打算。

△否定形式有～ナイツモリ和～ツモリハナイ两种形式。前者表示大致的想法,后者则根本上否定想法的存在。试比较:

①私は進学しないつもりです。/我不打算升学。②私は進学するつもりはないです。/我没有升学的打算。③私は進学しないつもりはない。/我并不是不打算升学。

△否定形式另有つもりでない,暗含另有其他打算。其过去形式表示假定事实。

①私は進学するつもりではない。/我不是想升学。(而是……) ②私は進学するつもりではなかつた。/原来我不打算升学。(已经升学)

2. 主要接于状态性的用言或词组的连用形, 名词(～の)后。表示主观想法、自我感觉。

①分かっているつもりですが、深く問いただされて見当がつかなくなりました。/自以为懂得,可是一被深入追问,就糊涂了。②なれているつもりでも、敬語はむずかしい。/尽管我们觉得习已为常,但敬语还是很难的。③どちらにお取りになっても結構です。ただ、思ったままを言っているつもりよ。/悉听尊便。有一点,我自信说的是心里话。④けど一つ、私は決してガリガリの平和主義者ではないつもりなんです。/但是要说明一点,我自以为我决不是个铁杆的和平主义者。⑤そんな事を言ったつもりはない。/我不记得说过那样的话。⑥多分に謙遜のつもりであった。/自认相当谦逊。⑦変わり者で、自分では日本一の彫刻家のつもりでいるらしいです。/(他)是个有怪癖的人,好象自己觉着是日本头号雕刻家。

3. 主要接于助动词“た、ようだ”的连体形后,表示假定。

①先生になったつもりで、皆に説明してごらんなさい。/请你以老师的心情,为大家解释一下。②いろいろな物を買ったつもりで貯金した。/我把钱存了起来,就当是买各种东西了。③仕方がないから、だまされたつもりで、言われたとおりにやりましょう。/没办法,权当作是上当受骗了,照他说的干吧。

づらい(辛い) <接尾辞>

形容词型活用。接动词连用形。表示某动作行为进行时的难以忍受



的感觉，或事物本身的这种性质。

①聞きづらい音楽。／难听的音乐；刺耳的音乐。②食べにくいのではなく，食べづらいです。／不是（因为太硬等）不得劲儿吃，而是（由于众人看着等）难以下口。

【参考】にくい、がたい、づらい的区别是：にくい是客观的性质或由此造成的难度。がたい是心理上难以实现、难以说服自己、有难以逾越的障碍的意思。づらい表示心理或生理方面的不良感觉。

## て      テ

## て 〈格助词〉

同格助词って。て只用于末音是拨音的词后。

①京都の金子さんて（いう）人訪ねてきました。／京都的叫金子先生的人来访过。②パンダは中国語で何ていうの。／パンダ用中文说叫什么？

△有时拉成长音てえ。

## て 〈接续助词〉

【接续】1. 前接。

1) 接动词及同型助动词连用形后。其中五段动词除サ行外都产生音便，见“動詞の連用形の音便”项。同时，音便的结果，在ガナバマ四行的五段动词后要浊化为で。

①熱が下がって安心した。／退烧，放心了。②私も頼んでみるつもりです。／我也想请求一下。③彼はそのことを知っていて言わない。／他知道那件事却不说。④皆の意見を集めて，聞かせて下さい。／请你把大家的意见收集起来，告诉我。⑤失敗させられて，つらかった。／因遭受失败，心里难受。

△在文言中，接五段（四段）动词后也不需音便。

①時くだりて昭和になる。／星移斗转，到了昭和时代。

2) 接形容词及同型助动词连用形后。口语常音便为って。

①荷物が重くて，女の方には持てません。／行李重，妇女是拿不动的。②この子は親のいうことを聞かなくて困るんです。／这孩子不听大人的话，真没办法。③暑くって，いやだねえ。／热的受不了啊。④彼女は自分の自慢話を聞かせたくて，みんなをお茶に誘った。／她想把自己得意的事讲给大家听一听，便邀大家去喝茶。⑤ゆうべはどうしてか一晩中眠れなくって弱った。／昨晚不知怎么了一夜没睡着，真够受。

△接ない后时，另有ないで形式。

①朝ご飯も食べないで学校へ行きました。／早饭也没吃就上学去了。

3) 接助动词です、ます连用形后。

①お越しいただきまして、おそれいます。／让您到这里来，实感不安。②ちょうど会社の引け時でして、ひどく電車が込みました。／正是公司下班时间，电车很挤。

△助动词た、う、よう、まい等不能接て。

△形容动词不能后续て，其本身连用形～で能起て的部分作用。

2. 后续。除单独用外，还可后续助词：～ても、～てこそ、～てから。补助动词：～ている、～てある、～ていただく。时间名词：～て以降、～て以来、～て間もなく、～て5年間、～て始めて等许多词语。详见意义项。但除ても等外，只限于接动词和ます。

【意义】て的语法意义只是把前后两项连结起来，使其统一在一个句子里。由于前后项的性质的不同，使て具有了顺态、逆态、并列、从属等多种含义。是使用范围最广、频率最高的接续助词。文章语中比口语较少用シテ形式，而多用シ形式。

1. 连接对等的两个词或者分句。两项属于同一题目或同一主体。

1) 表示同类状态、属性及行为的并列关系。

①白くて、美しい花が咲いた。／开了白色而好看的花儿。②彼女は背が高くて、目が丸くて、髪が黒い。／她高个子，圆眼睛，黑头发。③新しいビルが両側に並んでいて、広い通りが皇居方面にのびている。／崭新的楼房排列在两侧，宽阔的街道伸向皇宫。④歌って、おどって、楽しくすごしました。／又唱又跳，玩得很愉快。

△除了习惯等的制约外，各并列项可以调换位置。如上例①也可说“美しくて、白い～”。

2) 表示单纯的语气停顿，连结句子。这是て的最本质用法。不产生具体含义。口语中常后续间投助词ね等。

①僕の友人がある雑誌社にいましてね、そいつが何年前に起った砂糖関係の汚職を調べたということです。／我的一个朋友在某家杂志社里工作，据说他调查过几年前发生的制糖业的贪污案。②他人のことばかり

言って、あんたと女優さんのことはどうなったの？／光说别人的事儿，你和女演员的事儿怎样啦？③その車を買いたいと思ひましてね。中古品ですが。／我打算买那台车。是半新不旧的。

3) 表示相继而起的动作行为等的先后顺序。

①頭が痛いから、帰ってすぐ寝ます。／头疼，我想回去就睡。②大学を出て、会社に勤める。／大学毕业后，到公司工作。③小説を書き出してほぼ15年になる。／开始写小说大约有15年了。④泥棒を見て縄をなう。（谚语）／临阵磨枪。

△若用てから或“～して、それから”代替，则后项成为重点。

①子供が生まれてから、生活が窮屈になりました。／有了孩子之后，生活拮据起来。

△可后续时间名词等（见接续）。

①やってみて始めて難しいことが分った。／实际一千才知道很难。②正常化が成就して以来，友好往来が一層盛んになった。／自正常化实现以来，友好交往更频繁了。③雨がやんで間もなく，美しい虹が出た。／雨停后不一会儿，出现了美丽的彩虹。

4) 表示相反的状态、属性、动作的对比对照关系。

①南の国は暑くて，北の国は涼しい。／南方热而北方凉爽。②顔で笑って，心で泣く。／笑在脸上，哭在心里。③罪を憎んで人をにくまず。（谚语）／恨其罪，不恨其人。

5) 表示前项中的既定条件没有引起所期待的相应结果，却引起了后项中的相反结果。

①あれほど叱られて，まだやめない。／那样挨训，还不作罢。②分ったようでいて分らない。／看似懂了，实则没懂。③簡単に見えて難しい問題です。／问题看似简单，实际上很难。④だめだと分っていてむりにやろうとするんだから，あきれたやつだ。／明知不行却硬要搞，这种人真没治。⑤仏作って魂入れず。（谚语）／画龙而不点睛。

6) 以～て～て的同词反复形式表示强调，整体做后项的原因或伴随动作等。

①うれしくてうれしくてたまりません。／高兴得了不得。②我が軍



は打って打って打ちまくった。／我军猛打猛冲，穷追不舍。

## 2. 表示前项对后项的修饰关系。

1) 表示原因、理由、前提等。能明确意识到因果关系时也可用ので或から代替。

①お目にかかれてうれしいです。／能见到您，非常高兴。②暑くて、寝てもいられない。／热得睡都睡不着。③試験が終わってほっとした。／考试结束，松了一口气。④彼は用事があって帰ったのですか。／他是因为有事而回去的吗？⑤書こうとしても手がふるえて困ります。／虽然想写，但手发抖，不知怎么办好。<sup>あつもの</sup>⑥羹にこりて<sup>なます</sup>膾を吹く。（谚语）／惩羹吹齏。

△如果后项是主观性强的意志、命令、劝诱、许可、禁止等内容时，一般不能用て表示原因。

①暑いから（※暑くて）窓を開けなさい。／很热，请把窗户打开。

△どうして中的て有时是表示原因的。

2) 表示前项是后项的伴随动作或状态。

①人々は傘をさして歩いている。／人们都在打着伞走路。②飛行機は煙を吐いて墜落した。／飞机冒着烟坠落下来。③あの運ちゃんはわき見をして運転している。／那个开车儿的驾驶中往外卖呆儿。

3) 表示方式、方法、手段。这时前后两项都是意志动词。用法近于によって或格助词で。

①近眼ですから、本などは眼鏡をかけて読むのです。／因为近视，读书什么的要戴眼镜。②バスに乗って帰ります。／乘公共汽车回去。③電卓を利用して計算する。／用电子计算器来计算。④彼の学校ではもう彼が主催して、いく度もモデルティーチングをやった。／他们学校已经在他主持下搞了多次观摩教学。⑤毒をもって毒を制す。（谚语）／以毒攻毒。

△副词あらためて、すべて、かえって、はたして等以及どうして中的て本来都是此用法。

△如后项是非意志动词，て表示原因。试比较：

①注射をしてもらってなおった。（非意志动词。原因）／请大夫给

打了一针，就好了。②注射をしてもらってなおした。（意志动词。方法）／打了一针治好了。

如后项动词兼有意志和非意志两种性质，会产生多意。

①注射を打って死んだ。／因注射而死。或：用注射来自杀。

4) 表示与后项有关的根据、基准。

①きょうはきのうと比べて大分暖かい。／今天和昨天相比暖和多了。②彼の発言は公職にある者として許しがたい。／作为公职人员，他的发言是不能容许的。③以上の三つの点から考えて，こう決めました。／鉴于上述三点，作如下的规定。④これは中学生にとって難しすぎる問題かもしれない。／这对初中生来说也许是过于复杂的问题。

△许多固定的助词或助动词性词组中的て本来也是此用法。如：にかんして、にたいして、にはんして、にあたって、ていい、ていけない、てほしい等，见各项。

5) 表示假定条件，后项一般是体言性或状态性词语。明确意识到假定关系时则应用ば等。

①今度の試合ではうまくいって五分五分だろう。／恐怕这次比赛弄好了也是平局。②よくて70点というところか。／顶好才得70分吗？③田中さんが参加して5人だ。／田中先生参加就5个人。④歩いて15分ぐらいかかります。／步行大约需要15分钟。⑤合わせて千円要る。／共需一千日元。⑥どんな作品でも，悪口をいっていけないという作品はない。／无论什么作品，想说坏话没有说不了的。

△后续は、も構成ては、ても，见各项。

△副词こうして、そして等的て有时也是此用法。

6) 表示后项行为的目的，思想前提。

①新鮮な空気を求めて休日になると山や海へ遠出する。／为了呼吸新鲜空气，一到休息天就出远门到山上和海边。②目標を目ざして計画的に行動する。／针对目标有计划地行动。

3. 补助或构词用法。

1) 后接补助动词和部分形式形容词，表示各种状态的具体内容。

①笑っている。／正在笑。②“禁煙”と書いてある。／写着“禁

烟”。③よく考えておこう。／好好想一想吧。④電車の中で、つい居眠りをして、三つほど乗りこしてしまいました。／在电车上不小心打了个盹儿，竟坐过了三站。⑤私にも分けていただけませんか。／也分给我好吗？⑥5年制の高等学校も出来てよい。／5年制高中也可以成立。⑦ちょっと来てほしい。／想让你来一下。

2) 还构成与陈述态度有关的各种词组。如：ていけない、ておしまい、てかなわない、てかまわない、てさしつかえない、てたまらない、てやまない、てやりきれない。见有关各项。

3) 构成许多副词。见上文中所示各例。

【参考】由文言完了助动词つ的连用形て转成。

て 〈提示助词〉

同提示助词って。て只用于末音是拔音的词后。表示谈话的题目，等于というのは。

①ママ，エレクトーンでそんなに面白い？／妈妈，电子琴就那么好玩儿？②人間て，勝手なものね。／人啊，真是任性。

△有时拉成长音てえ。

て 〈终助词〉

1. 接用言及助动词连用形（音便形）后。在ガナバマ行五段动词后要音便为で。

接续助词て的派生用法，是て省去后项造成的。后项内容要由て来承担，所以意义很复杂。多用于较随便的会话中。主要用法有：

1) 以希望对方确认的口气表示疑问。女性用升调。

①何か良い考えがあって？／你有什么好主意了？②あなた，これ信じてことができて？／你，能相信这个吗？③きのうの劇映画おもしろくて？／昨天的故事片有意思吗？

2) 主要以てね、てよ（女性）等形式表示口气委婉的说明、解释、主张。用降调。

①私，お願いがあってよ。／我有事要求你呢。②「何かありそうだわね？」「うむ，ちょっとこっちに招待する客がいてね。」／“你好象有什么事？”“唔，我有个客人要请到这儿来。”③あんなことをした

ら、誰だってあきれてよ。／那么做，谁都吃惊的。④プールはとても深くってよ。／游泳池深着哪。⑤私，本当に知らなくってよ。／我真的不知道啊。⑥子供をつれてくる同級生もいてよ。／还有带了孩子来的同班同学哪。

3) 表示对对方的要求、命令。可发成长音 て え，可后续ね、よ等，带强烈的句调。接ない后时要用ないで，不能用なくて。幼儿、男性和女性均用。可看做てちょうだい、てくれ、てください之类说法的省略形式。

①ママちょっと来て。／妈妈，来一下。②いらん，いらん。饅頭いらん。人形さんの指つけてえ。／不要，不要！不要馅包！你把偶人的手指给安上！③頼むから貸してよ。／求求你，借给我吧。④どうぞ，おあがり遊ばして。／您请进。请吃吧。⑤誤解しないでよ。／你可别误解哟。⑥お待ちしているから，是非いらっしゃってね。／我等您，一定来啊。⑦すぐ始まりますから，静かにして。／马上就开始，安静！⑧先生，国語に強くなる法，教えてよ。／老师，你告诉我学好语文的方法吧。

4) 其他由于文体上的考虑（～て比简体结句稍谦恭一些）、为使句子结尾更活泼、修辞等原因造成的省略后项和倒装用法，表示原因、理由、方式、假定等，也可看做终助词。

①でも，会ってくれるんですか。見ず知らずの僕が行って？／不过，他肯见面吗，由素不相识的我去？②何よ。そんなにひとの顔をじろじろ見て。／干吗，你那么死盯着人家的脸？③結構な身分ね，こんなところで仕事が出来て。／你真有福气呀，能在这样地方工作。④こっちもゆっくりしたい所ですが，正月早々仕事が待ってましてね。／我也想轻松轻松，无奈刚过了年就有工作等着啊。

## 2. 接句末用言和助动词终止形后。

表示坚持自己的意见或判断，保证自己看法的正确。男性用语。一般用って代替。

①夏はビールに限るて。／（我认为）夏天最好是啤酒。②そうじゃあるまいて。／（我认为）不会是那么回事儿。③口先ではどんなにでも



言われるて。／凭嘴皮子怎么说怎么有道理。

で 〈格助词〉

【接续】 1. 接体言。

①大学で学ぶ。／在大学读书。②芥川賞一つで大作家を気取れるちょっとした文学青年も少なくない。／还有不少区区文学青年只因得了个芥川奖就以大作家自居。③ただ謝ったことで済むことか。／这事光凭道歉就能完吗？

2. 接由副助词、并列助词构成的词组后。

①中国の野人はヒトかサルかで話題を呼んでいる。／中国的野人因是人还是猴的问题引起纷纷议论。②父は会社の用が忙しいとかで来られなかった。／爸爸说是公司的事儿太忙，没能来。③言葉は古代と近代とで違う。／语言古代和近代不一样。④うれしいやらはずかしいやらで、口も聞けなかった。／由于连高兴带害羞，连话都说不出来了。⑤今児童だけで3億にのぼるということだ。／据说现在仅儿童就达3亿。⑥10ページまでで5箇所誤りが見つかった。／到第10页为止，发现了5处错误。⑦日本語の書物なら，外文書店などで売っている。／日语书籍，在外文书店等处有卖的。

△有的体言性词组是由分句或分句的名词化形式、缩合形式构成的。

①われわれは，もはや機械なしでは生きられない。／我们已经没有机器就无法生活了。②その晩僕は久しぶりに出歩いたのと興奮したのとで，急に病状が悪化した。／那天晚上，我由于长时间第一次走动，加之兴奋，病情突然恶化了。③あの人には<sup>い</sup>逝かれる，事業は益々忙しくなるで，大いに困っている。／他（或：丈夫）死了，加上事业越来越忙，简直一筹莫展。

3. 接部分副词后。

①すれすれで列車に間に合った。／将将赶上火车。②石につまづいてもう少しで足の骨をおるところだった。／被石头绊倒，差一点儿折断腿骨。③やっそこさでできたもんですから不備な所も多いと思います。／勉强勉强算做出来了，不周之处一定很多。

【意义】 1. 表示空间范围。

1) 表示动作、行为的空间场所，或状态所出现的空间位置。

①猫がお母さんのベッドで死んだように眠っている。／猫在码码床上象死了似的睡着。②曲がり角で僕は先生にばったりとあいました。／我在拐角处突然碰见了老师。③あの人には一度会ったことがあるが、どこでだったか思い出せない。／和他曾见过一次面，可是想不起来是在哪儿。④ドイツの小学校での国語教育の様子を報告したい。／想汇报一下德国小学的语文教学情况。⑤同じ会社でも，同僚同志の激甚な競争がある。／即使是同一公司，还有同事间的剧烈竞争。⑥深さは，南鳥島の東方で，10 374mもある所が発見されている。／至于深度，在南鸟岛东部，发现了竟有10 374米深的地方。⑦途中で，前方のやぶがガサゴソと動き出した。／在半路，前面的树丛沙沙作响，动了起来。⑧人生のあゆみを本の中で書いている。／书中写了人生的历程。⑨泳ぎ上手が川で溺れる。(谚语)／淹死的都是会水的。

2) 用法1) 进一步抽象化，表示动作行为的场面、环境。多用“～中で、～もとで”等形式。

①先生の指導のもとで立派な論文を書きあげた。／在老师指导下写出了出色的论文。②与党は目下の国際情勢で，防御国防だけでは不充分であると見ている。／执政党认为在目前的国际形势下，单凭防御性国防是不够的。③染子は，うす明りの中で部屋を見まわした。／染子在微光中环视了一下房间。④寒さが厳しくなる中で，食料品や燃料など生活必需品が乏しくなってくる。／正当天气越来越冷的时候，食品、燃料等生活必需品越来越紧张。

3) 表示某种感知的出处。一般可用から代替。

①黄色い声が彼の背後で聞こえる。／在他背后传来尖尖的声音。②何かの本で読んだのだ。／是在什么书上读到的。③シーラカンスは化石でしか見ることができないと思われていた魚です。／空棘鱼这种鱼一度被认为只能通过化石才能看到。

4) 用主体所在的场所、团体名称做主语。

①行政改革は政府で行う。／行政改革由政府进行。②国防予算案については，野党側で反対を示している。／关于国防预算草案，在野党

方面表示反对。③学校ではそんなことを教えていないはずだ。／学校里不会教这些。④警察本部ではこの政治謀殺事件で神経を尖らせている。／警察总署正因为这起政治谋杀案而神经紧张。⑤他の産業でも，自由化決定で大騒ぎをしている。／其他产业也正因为自由化決定而群情大哗。⑥わたくしの雑誌では毎号一流の実業家とのインタビューを企画している。／我们杂志正计划每期登载对第一流实业家的采访。

## 2. 表示所涉及的事项的范围。

### 1) 表示比较、对比的范围。

①彼は僕のクラスで一番できる生徒です。／他在我们班是成绩最好的学生。②黄河は世界でも大河の一つです。／黄河在全世界也是大河之一。③あなたが知っている人の中で，誰が歌が一番上手ですか。／在你认识的人中，谁歌唱得最好？④いつ起きていつ眠るかまで彼の生活で人に知られない部分はなかった。／包括何时起床何时睡觉在内，在他的生活里没有不为人所知的部分。

△常用～と～とで（は）形式表示二者间的对照或比较。

①李さんと王さんとは，どちらが背が高いですか。／小李和小王谁个子高？②敬語は，男性と女性とは用法上の差がある。／敬语男性和女性有用法上的区别。③電球のフィラメントの抵抗は，光っているときと，光っていないときとで違う。／灯泡里灯丝的电阻在亮着和没亮的时候不一样。

### 2) 表示评价、评论的范围。

①彼女は，成績で言えば，下の部でした。／她按成绩来说是下等的。②フィリピンの観光は外貨収入では三位という重要産業となっている。／菲律宾的旅游是在外汇收入方面占第三位的重要产业。③道徳は社会生活のバランスを取る上で欠かせないものである。／道徳是平衡社会生活所不可缺少的。④歳末のあわただしさでは，日本は世界に冠たるものがある。／年末的忙碌程度，日本可谓世界之冠。⑤日本の自動車業は，生産台数で世界一になった。／日本的汽车业在生产台数上已成为世界第一。⑥臆病の方では高段者なみの松枝が，こんな所に居られるだろうか。／高枝胆小出名，能在这样地方呆下去吗？

## 3) 表示数量范围。

①箸は二本で一組です。／筷子两根儿是一副。②一体一升でとっても大変だが、一合ではいく粒だろう。／说一升也太过了，那么一合能有多少粒呢？

## 3. 表示动作手段、构成要素。

## 1) 表示动作借以进行的工具。

①赤インクで書いてはいけないよ。／不准用红墨水写啊。②電話で、川端の急逝を知らせた。／用电话告知了川端的突然去世。

## 2) 表示手段、方式。

①細胞は呼吸で酸素を取り入れている。／细胞通过呼吸来吸收氧气。②両国協同という形でやっている。／以两国协作的方式来搞。③マラソンで帰る。／长跑回去。

## 3) 表示所用的材料、构成成分。

①丸木で家を作った。／用圆木盖了房子。②おりがみで鶴をつくった。／用纸折成鹤。③多くの微生物は、一つの細胞でできている。／许多微生物由一个细胞构成。④日本列島は四つの大きい島と沢山の小島とで構成されている。／日本列岛是由四个大岛和众多的小岛构成的。⑤公園は濃い緑で埋めつくされている。／公园被浓绿色覆盖着。

## 4. 表示动作进行的样态。

## 1) 表示认识及动作行为的根据、依据。

①八日までの調べで、被害者の身元が分った。／通过截止八日的调查，弄清了遇害者的身分。②これはタイ語の由来及びタイ国の歴史で理解できる。／这可以通过泰语的由来和泰国的历史来理解。③親分の命令で、そうやったのだな。／是根据头领的命令那么做的啊。④これで見ても、「経済調整」の重みが分る。／仅从这一点看，即可知道“经济调整”的重要性。⑤判明しているだけで、すでに4人の女性が失踪している。／仅根据已经查明的，已有四名妇女失踪。⑥政治は国で異なるし、言葉は民族で違う。／政治因国家不同而不同，语言因民族不同而有别。

△常用では把根据加以提示。



①田中さんの話では、山田さんはテニスが上手だそうだ。／据田中先生说，山田先生的网球很好。②お淳が聞いた噂では、彼はだいぶん無軌道な遊びをしたことがあるらしい。／据淳子听到的议论，他曾经很放荡。

## 2) 表示原因、理由、动机。

①病気で学校を休んだ。／因病没去上学。②何やかやでゆっくりするひまもない。／这事那事连轻松的空闲都没有。③そのくらいのことで泣くやつがあるか。／哪有因为那么点儿小事儿就哭的！④二人の子供の世話で、新子の手はいっぱいです。／因照料两个孩子，新子一点儿余暇也没有。⑤それはいかなる理由でも，絶対容赦できない。／这无论根据什么理由都绝对不能宽恕。⑥不注意で食器をこれした。／因不慎把餐具打了。⑦入園式で茂子が泣きだしたことで，母は懲りていた。／因为在入园式上茂子哭了起来，妈妈算领教了。⑧両親のすすめで熊本医学校に入学しました。／在父母的劝说下，进入了熊本医专。⑨桜さんはくせでまぶたをパチパチしばたいた。／櫻先生出于习惯不住地眨动着眼睛。

## △常用～おかげで等形式。

①先生のおかげで父に叱られずにすんだ。／多亏了老师才逃过了爸爸的训斥。②君のおかげで雨に降られてしまった。／就怪你，我挨了雨淋。

△有时分不清是格助词还是だ的连用形で，特别是在～が～で形式的状语中。

①うちのはいたずらで困ります。／我家那个（孩子）淘气，真愁人。②心配で仕方がない。／真叫人担心。③酒がもとで死ぬ。／因酒而死。④何が原因で性能が落ちたか。／因为什么原因性能下降了呢？

## 3) 表示进行动作行为伴随的状态。如数量、形式、程度等。

①家族でピクニックに出かける。／全家出去野游。②固体が自分で出す光りは，その温度によって違う。／固体本身发的光因其温度不同而不同。③一人でさびしく暮している。／一个人孤独地生活着。④殆どの石油は，西南アジアから原油で輸入する。／绝大部分石油从西南亚进口原油。⑤夕刊を買うと，事件の記事は写真入りで載っていた。／买了

晚报（一看），事件的报导已经配着照片登出来了。⑥自分のなくしたものと一目で分った。／一眼就认出来是自己丢的东西。⑦豆腐をなまで食う。／把豆腐生着吃。⑧染子は微笑で友達と話している。／染子微笑着和朋友说话。⑨もうちょっとで殺されるところでした。／差一点儿就送了命。⑩ピアノ科を優秀な成績で卒業した。／以优异成绩从钢琴专业毕业。⑪水は攝氏〇度で氷結する。／水在摄氏零度结冰。⑫一人，遺体で発見（报纸标题）／发现一具尸体。

△形容动词的连用形有时能表示与上述完全相同的意思。

①元気で暮している。／精神饱满地生活着。②おまえ，まじめで言っているのか。／你是真心这么说吗？

△例②如换成“本気で、半ば本気で、どんなつもりで”等，很清楚是格助词。

△有时表示评价标准的で〔2中2〕与表示地点的（如下例①）或表示方式的（例②）碰巧重合，逻辑上等于でで（实际上不能这么说）。

①「今夜，一度，お目にかかれませんか」「私とですか」「ええ，新橋あたりでいかがですか」／“今晚能会一次面吗？”“和我吗？”“是，新桥一带怎么样？”②印鑑を押して下さい。印鑑が無ければ指でかまわない。／请盖图章。没有图章可以用手指。

△构成～でいる惯用形式，表示有意志或无意志地处于某种状态中。其中也可看作だ的连用形。

①じゃ，また来るからね。それまでいい子でいなさい。バイバイ。／好啦，我还会来的。一会儿你要做个好孩子。拜拜。②本人が無言でいる。／本人始终沉默。③私は，自分にも責任がある気でいた。／我当时觉着自己也有责任。④50まで独身でいます。／50岁还一直独身。

#### 4) 表示主体的资格。

①私は昭和36年に，外務省次官で退官した。／我于昭和36年作为外务省次官退休。②漁師で一生を終える。／终生作渔民。③大荒れに荒れて，親では手のつけられない子もいる。／也有的孩子玩野了，大人束手无策。④女性で素直でないのは困ったものだ。／女性而不温顺，实在糟糕。

△以下例句的也可看作だ的连用形。

①熊本医学校に、オランダ人でマンスフェルトという先生がいました。／熊本医专曾有位老师是荷兰人，名叫曼斯菲尔德。②男で満20歳以上の者は入社を認める。／男性満20岁以上者允许入社。③田舎の田舎でしたから、学校の生徒でバイオリンを弾くものは一人もなかった。／那是穷乡僻壤，所以学校的学生拉小提琴的一个都没有。④お友達で、夫婦でアメリカに渡った商社マンがいた。／曾有一位商社职员是我的朋友，夫妻到美国去了。

5. 表示动作的有关时间。

1) 表示期限或动作转换的时点。

①願書は、明日でしめきりだそうだ。／听说申请书（的受理）明天截止。②昭和5年に来日して今年でちょうど50年になる。／昭和五年来日本，今年正好50年。③17才で結婚したが，生涯子がなかった。／17岁结婚，终生没有孩子。④18才で单身渡米して21才で文学博士の学号を授けられた。／18岁只身赴美，21岁被授与文学博士学位。

△上例中的“18才で”等若改为“18才に”，则表示单纯的动作发生时间，“18才で”暗示这之前干别的。下例有歧义。

①3日でしめきる。／到3号截止。或：三天受理完毕。

2) 表示动作完成或出现所需要的时间量。

①タクシーなら10分ほどで来られるだろう。／若是乘出租车估计有10分钟就能到这里。②3年で除隊後，工場に工員として就職する。／三年后退役，之后在工厂谋职当工人。③12月は，あと3日でおしまいだ。／12月份还有最后三天了。④僕だって若いころは，百メートルを12秒で走れたよ。／我年轻时也能用12秒跑百米哪。⑤3年たらずで8倍を超える発展ぶりだ。／发展速度，不到三年就增长到8倍多。⑥運動会は一日で済んだ。／运动会一天就结束了。

△还常用～では、～でも形式表示用作观察问题的时间。

①今では，可愛いお子さんが二人もおありですね。／现在您都有两个可爱的孩子啦！②空を飛ぶなんてその当時では全く夢だった。／什么在天上飞，这在当时简直是梦想。③こんな技術は，19世紀では，奇跡

としか考えられなかった。／这种技术，在19世纪只能认为是奇迹。④現在でも科学で解決できないことが沢山ある。／现在仍有许多科学解决不了的问题。⑤今日でも靈魂の不滅を信じている人は多い。／即使今天，相信灵魂不灭的人仍然很多。

【参考】1. で表示场所、理由、手段的用法还构成惯用词组でもって，见另项。

2. で用法不仅取决于上接名词，而且也取决于后续动词。因此，接于同一个词后，有时其意念用法也不同。如：“あの人は自分で失敗して自分でおこっている（原因、方式）／他自己弄失败了，独自在生气。

で 〈接续助词〉

1. 文语接续助词，接于动词、助动词的未然形后，表示否定的接续，同口语的ないで，谚语中仍有所见。

①無い子では泣か<sup>で</sup>有る子に泣く。（谚语）／没有孩子无眼泪，有了孩子眼泪多。②女ならでは夜が明けぬ。（谚语）／没有女人不成事。

2. 由格助词转成的接续助词，接于活用词的终止形或连体形，表示原因、理由，等于“ので”、“から”。产生于室町时代，现代文和口语里仍有所见，口语中仍可看作格助词，表示状态。

①今日はこなたが<sup>よ</sup>能く流して呉れたでさっぱり<sup>し</sup>しました。／今天是这一位给我搓的澡，所以很舒服。②あの人には<sup>し</sup>逝かれる，事業は益々忙しくなるで，大いに困った。／他死了，工作也越来越忙，搅得我焦头烂额。

△有时构成“假定形（ば、なら、たら）同语で”形式表示新出现的情况。

①寒けりゃ寒いでのぎようもあるさ。／一旦变冷了，会有办法度过的。②彼が来たら来たでまた部屋割りしよう。／他来了再（给他）分配房间吧。③貧しい社会から経済力の繁栄する社会に変わり，かつての失業にくらべて，女性でも働き先はいくらもある時代になったが，豊かになればなったで，また別の問題が生まれてくる。（入江徳郎）／如今，贫穷的社会已改变为经济繁荣的社会，和过去的失业相比，女性能找到各种工作，但是富起来了也产生其他的一些问题。



## で 〈接续词〉

来源于判断助动词だ的连用形,同时具有确认前项的指代意义和后述顺态结果的接续作用。可用それで代替。多用于口语。

### 1. 根据对方的话语提出新问题,促进谈话深入。

①「きのう病院に行って、お医者さんの診察を受けました」「で、診察の結果はどうでしたか」／“我昨天去医院接受了医生的诊断。”“那诊断的结果怎么样?”②で、私に用ってどんなことですか。／那么,你说有事找我,是什么事啊?③「あの人は外国語大学の出身です」「で、なにかの外国語がうまいだろう」／“他是外语大学毕业的。”“那么说,该有门外语很好吧。”

### 2. 表示因果关系,或前项是后项的机缘。

①ゆうべは雪が降りました。で、朝起きてみると、外は銀の世界です。／昨夜下了雪。早晨起来一看,外面是银色的世界。②現在のような新薬はすこぶる高かった。で、電気ショックとインシュリン療法を行った。／现在这种新药当时十分昂贵,所以我做了电疗和胰岛素疗法。

3. 还构成それで、そこで、ところで、では、でも等接续词,见各项。

## てあげる (て上げる) 〈补助动词〉

表示授受关系的补助动词之一。接于动词连用形后,表示该动作是主体(主语,包括说者本人)为别人而作的。通常主体是晚辈和下级,有一定尊敬的含义,有时用于同辈,尊敬语气更明显。

①さあ、太郎ちゃんはいいい子ですよ。親切にしてあげて下さいね。／太郎你是个乖孩子啊。要好好待他(们)。②待ってあげるから、ゆっくり食べなさい。／我等着你哪,慢点儿吃。③病人に手紙を読んであげる。／为病人读信。④もう一度、宣伝部に電話して、誰かに来てもらってあげよう。／我再为你往(广告)宣传部打个电话,让谁来一下吧。

△作为责任而做的事不可用,否则可能失礼,如医生不说“※では、血圧をはかってあげよう”,而说“～はかりましょう／量一下血压吧”。

△主要是用于儿童,如上例①和下例①。用于处境不利的人时,常有“给

以恩惠，给以好处”的语气，如上例③。

①花子ちゃん，手を拭いてあげよう。／花子，我来给你擦擦手吧。

这种用法若用于上辈或上级可能失礼。

△用于有“带来损害”意义的词语时，常有谐谑的语气。

①あの人を他人に手渡すくらいなら，手渡すまえに，私はあの人を殺してあげる。／如果让我把他让给别人，在让出去之前我就结束他的生命。

ではありません 〈助动词性词组〉

接续同助动词だ。

【意义】既可以看成です，也可以看成であります的否定形式。也是でない敬体形式。实际上常用的形式是ではありません，其中では口语中常约音为じゃ。

1. 表示各种否定判断。

①これは私のではありません。／这不是我的。②夏は夏で暑く，冬は冬で寒いので，住むには良い所で（は）ありません。／夏天又太热，冬天又太冷，不是个适于居住的地方。

△过去式要后续でした。

①去年は私にとっていい年ではありませんでした。／去年对我不是个好年。

2. 后续か成でありますか，可表示疑问、劝诱、发现（惊叹）、号召、反诘等。

①これではありませんか。／不就是这个吗？②まあ，花が咲いているではありませんか。／哟，这不是开花了！③じゃ，やめようではありませんか。／那就到此为止吧。

△で和ありません之间还可以插入も、しか等助词。

①そういうわけでもありませんよ。／其实也不是那么回事。②そういう制度は，外国の模倣でしかありません。／这种制度只不过是模仿国外。

【参考】时枝语法认为ません、ありません、ごさいません、であります、でございせん等都是谦让否定助动词。教学语法认为であります

是助动词だ的连用形で、补助动词ある的连用形あり、助动词ます的未然形ませ、助动词ぬ（ん）构成的助动词性词组。

である 〈补助动词〉

【用法】活用同动词ある。接于动词连用形（音便形）后。

1. 接他动词后，表示某种人为的动作行为的结果仍然存在。该动词原来的宾语通常用～が（主语）形式表示。有时带有为某种需要而作（例①）或需要作而未作的放任的含义（例③）。小林好日称“である”为“存在態の準助動詞”，松下大三郎称“既然態を示す形式動詞”。

①花瓶には美しい花が何本か挿してある。／花瓶里插着几枝美丽的花儿。②絵の真中に大きいリンゴが書いてあります。／画的正中画着一只大苹果。③洗濯物が一日中外に出してある。／洗的东西一整天都在外面放着。

である的否定形式为てない（てありません），不要和～ていない的省略形式～てない混同。

①「文法全書」をひっくりかえしても、どこにも書いてないんだよ。／你就是把《语法大全》翻烂了也找不着的。

である和ておく虽有相似之处，但前者是静态的，后者是动态的，有“准备”的含义。试比较：

①窓があけてある。／窗子打开着。②窓をあけておく。／（预先）把窗子开好。

である和ている也可以表达同一个客观事实，但前者暗示出人为的因素，后者是客观性的描述。前接动词也有自他的区别。试比较：

①窓があけてある。／窗子打开着（人去开的）。②窓があいている。／窗子开着（没提及是如何开的）。

早期作品中常见接于他动词被动态及自动词连用形后的说法，后逐渐消亡，被ている所取代。现在通常认为只有ている形式是规范的。

①大きな石の碑に、平和・労働・自由・平等・博愛と刻まれてある。（→刻まれている）／大石碑上刻着：和平、劳动、自由、平等、博爱。  
②セーターが枕元に置かれてある。（→置かれている）／枕边放着毛衣。  
③この土地には、あの人の汗がしみ込んである（→でいる）のですよ。

／这片土地上渗透着他的汗水啊。

如果动词所表达的动作行为无结果或其结果不能直接观察到,则这样的动词不能后续である。如※笑ってある、知ってある、持ってある。

である有时接于无对应他动词的自动词使役态后。也有时相应的他动词与自动词词义有差别,这时该句不能用他动词代替(下例③)。

①部屋にはいろいろな花が咲かせてある。／房间里开着各种各样的花。②息子を学校に通わせてある。／已经把孩子送进学校了。③見張りに子供を表に立たせてある。(※立ててある)／打发孩子在门外放哨。

2. 接他动词及某些自动词后,表示预先所做的积累、备用。

①三カ月も休養してあるので、全身が力に満ちている。／休养了3个月之久,浑身充满了力量。②その茶碗は煮立てて消毒してあるから大丈夫よ。／这个碗已经煮沸毒过啦,没问题。③皆が訪ねてくると言うので、部屋を暖かくしてある。／说是大家要来作客,所以把房间烧得暖暖的。④この犬、もう三日間も餌をやってありません。／这条狗,已经饿它3天了。(为某种目的)。

【参考】有些动词兼有以上两种用法。具体意义视文脉而定。

①この本にはたくさんのデータが集めてある。(用法1)／这本书里收集了大量数据。②私は研究のためにたくさんのデータを集めてある。(用法2)／我为研究收集了大量的数据。

である 〈助动词〉

【构成】由古日语表示肯定的にてあり演化成であり→である。だ是进一步演化的结果,所以である与だ相比有一定文言色彩。有时人们把である解释为だ的连用形で和ある的结合,这是权宜的说法。更普遍的作法是把である作为一个独立的助动词。で和ある中间可插入は、も等。

【活用】五段动词型活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
である	○	であり であっ	である	である	であれ	であれ	である



## 1. 连用形。

1) であり。用于中顿或后续ます、ながら等。

①名前は徳川康弘であり、勤め先は三洋電気であります。／名字叫徳川康弘，工作地点是三洋电气。

2) であっ。后续た、て、たり等。

①あそこ二一郎は大学生であった。／当时二一郎是个大学生。②参加者は主婦であったり、老人であったり、一定しない。／参加者情况不一，有时是主妇，有时是老人。③信濃川は日本屈指の川であって，流れも急である。／信浓川是日本屈指可数的河流，水流湍急。

## 2. 终止形。

1) 单独或后续终助词か等结句。

①春闘もいよいよ本番である。／“春季斗争”即将决定胜败。②日本歴史上，もっともさんぜんたる1ページは何であるか。／日本历史上最光辉的一页是什么呢？

2) 后续助动词そうだ、みたいだ、らしい等。

①鳥の声も人間のと同じく声帯からひびく音であるそうだ。／据说鸟的叫声也和人类的声音一样是从声带发出的。

3) 后续接续助词から、と、なら、が、し、けれども等。

①日本は北から南へと細長い島国であるから，温帯植物はもちろん，寒帯植物にも亜熱帯植物にも恵まれている。／日本是南北方向狭长的岛国，所以，温带植物自不待言，寒带植物和亚热带植物也很丰富。

## 3. 连体形。

1) 后续（形式）体言。

①リーダーである彼が利己のために職務をおこたるとは。／身为领导者的他竟出于私心而玩忽职守！②他人を敬愛するのは国民一般の道德であることは言うまでもない。／勿庸置言，尊敬别人是全体国民的道德。

2) 后续接续助词ので、のに等，副助词だけ、ばかり、ほど等，助动词ようだ等。

①名勝地であるので，観光客はあとをたたない。／因为是名胜之地，

游客络绎不绝。②ベテランであるだけに、わけもなく犯人を捕えた。／不愧是老手，轻而易举就抓获了罪犯。

#### 4. 假定形。后续ば。

①人間であれば、人の情というものがあるはずだ。／人是应该有感情的。

△还可以～でもあれば～でもある形式表示并列。

①小林多喜二はすぐれた作家でもあれば、政治活動家でもある。／小林多喜二既是卓越的作家，又是政治活动家。

#### 5. 命令形。

1) 偶尔表示对某种状态的愿望，是文言体。

①心だけはいつまでも少年であれ。／愿永保少年之心！

2) 表示一种让步关系。

①どんなささやかなものであれ，一度特権を味わった者は，容易にその習慣から脱することができない。／哪怕是微不足道的事情，一旦尝到了特权滋味儿的人，就不容易从这种习惯里挣脱出来。

3) 以～であれ～であれの并列形式表示这几种场合均无例外。

①日本であれアメリカであれ，公害に悩んでいる。／日本也罢，美国也罢，都苦于公害。②何であれかんであれ勉強のためになる本は全部手に入れるつもりだ。／管他是什么，只要对学习有用的书都想弄到手。

#### 6. 推量形。后续う。であろう可看作独立的助动词。详见该项。

①イイ戦争で大損をしたのは，イラク・イラン両国は勿論，ここから石油輸入をしている国であろう。／因两伊战争受到重大损失的——伊拉克、伊朗两国自不必说——恐怕是从这里进口石油的国家吧。②何の考えもなしに，ひょっとそんなことをしたでもあろう。／大概也没出于什么想法，而是无意之中做了那种事吧。

【接续】1. 接体言、形式体言、体言性词组后。

①著者は，中学の教師を8年間している人である。／作者是作了八年初中教师的人。②その本当の原因については，よく調べるものである。／就其真实原因，应该认真核查。③国の建設に尽しているのは一部の名人ばかりではありますまい。／为国家建设尽力的恐怕不仅仅是一些

名人吧。④参考書が多すぎて、困るほどである。／参考书太多，简直不知如何是好。

## 2. 接某些副词后。

①本屋へ行くのは成績のいい生徒だけかと思うと、そうではありません。／以为到书店去的该都是好学生吧，其实并不如此。

## 3. 接格助词、接续助词て、から等之后。参照“だ”项。又如：

①それはきらいだからであろう。／那是由于讨厌的原因吧。

4. 接活用词后。一般只有推量形であろう可以不借助的直接接活用词活用形（终止形）后。见该项。其他特殊情况可参照だ的接续。

【意义】由である结句的句子叫である体句或である调句，和だ体、です体等一起构成现代日语体。与だ体统称为简体。だ体是口语（口头）体，である体是文章体。

だ只表示判断，である同时带有确认、证明、强调的语气，因此多用于书面、演讲等。另外，である活用形式比だ齐全。如，命令形式只能由である构成，以～も～ば～も表示并列判断也只能借助である（でもあれば～でもある），等等。见“活用”。如果要用は、も、さえ等对判断部分加以强调等，也只能通过である。如，でもある、でしかありません、ではありませんか等。甚至有插入主语的现象，如“後ろ指をされる人で、彼はあったのだ。／他曾是背地里挨骂的人。

## 1. 表示各种判断。

①人間は万物の霊長である。／人为万物之灵。②日本は経済大国の一つである。／日本是经济大国之一。③中国の産業は農業が主である。／中国的产业农业是主要的。④科学者も高級サラリーマンも社会につくす手段でしかない（ありません）。／无论是科学家还是高级职员，都不外乎是服务于社会的手段。⑤猛勉強のかいあって、ついに好成绩である。／没有白努力学习，终于获得了好成绩。⑥誰であろうと，遠慮することはない。／不管他是谁，都不必客气。⑦世の麗<sup>うるわ</sup>しいものを壊滅させて見せるのが悲劇である。／悲剧就是把世间美好的东西毁灭给你看。⑧例えば，彼は霜雪の下に萌える若草である。／他好比是冰雪中萌发出来的嫩芽。⑨釣りは彼の趣味というよりも，習慣でさえあった。／钓鱼何止是

他的爱好，几乎成了他的习惯。⑩雪子はどうもソワソワしているらしい。カンニングをしているのである。／雪子心神不定似的，原来是在打小抄呢。

2. 在具体文脉或场景中表示前导句或场景中的“谓语部分”。参照だ和“だ型文”项。

①手続きは直接大使館でである。／手续直接到大使馆办理。②杜甫は日本でも尊敬されている。いわんやわが国においておやである。／杜甫在日本也受到尊敬，何况是我国了。

3. 构成であるから、であるが、であるのに、であるけれども等接续词，详见各项。

【参考】1. 否定简体形式是でない，见该项。

2. 时枝认为ある本身就是指定助动词，因此である被解释成两个助动词的结合。

3. 不承认形容动词是独立词类的学者把である式的词尾(立派である)也看作助动词である。

である 〈间投助词〉

由助动词である转成，用于句中句节后，调整语气或提醒对方。等于间投助词だ，但语气更郑重。不常用。

①若者はである，何よりもまず勉強が太切なのだ。／年轻人么，学习要比什么都重要。②ゆくゆくはである，中国も先進国の仲間入りをすると固く信じて疑わないさ。／我坚信，将来啊，中国也要与发达国家为伍。

【参考】如不作为间投助词，也可作为である在句中的不变化用法处理。见だ的〔参考〕。

である系 ～ケイ 〈接续词系列〉 である系列

1. であれば。表示以前项作为后项推论的根据。

①現実には厳しいのである。であれば，可能で現実的な道は何なのだろうか。／现实是严酷的。那么，可能的和现实的道路又是什么呢？

△有时あれ是已然形，であれば等于であるから（だから）。

①10人に9人は知らずに秘密を周囲にしゃべるものだ。であれば始



めから何もメンバーに知らせない方がいいという考えです。／是这样一种主张：10人中有9人会不知不觉地把秘密传给周围的人，所以，最好从一开始就什么也不告诉其成员。

2. であるから（に）は。表示“既然如此”之意。

①敬語は社会の要求である。であるから（に）は、敬語を正しく使うように努力したい。／敬语是社会的要求。既然如此，我们就要为正确使用敬语而努力。

であろう 〈助动词性词组〉

助动词である的推量形式。可看作独立的助动词，だろ的文章体。

【活用】无变化型。只有终止形和连体形。

1. 终止形であろう。

1) 结句。

①あの明るく光る星は、金星であろう。／那颗明亮的星星是金星吧。

②南九州では、もう桜も満開しているであろう。／在南九州，樱花已经盛开了吧。③愛情とは、已を無にする意味であろうか。／所谓爱情，就是自我牺牲的意思吗？

2) 后续に、と、が、し等接续助词。

①大学にも進めたであろうに、秋子は高校2年のときに中退してしまった。／要不已经上大学了，可秋子在高2时退学了。②失礼であろうが、小林を「日本の魯迅」と例えるのは感心できない。／恕我直言，把小林比作日本的鲁迅，实难苟同。

2. 连体形であろう。不常用，只偶尔后续某些形式名词。

①愛し合っているであろう所の二人／很可能正相爱着的两个人。②あの男がこんなに早く死を迎えるであろうことは思いもよらなかった。／万万没有想到他如此早逝。

【接续】1. 接体言、形式体言、体言性词组、副词、副助词、格助词、て等接续助词等之后。这种用法看作助动词だ的连用形で和ある的组合亦可。参照“だ”项。

2. 接活用词（形容动词除外）终止形后。正因此种用法，才可把であろう看作独立的助动词。

①彼女は子供があるから、稼ぎが難しいであろう。／她有孩子，作工挣钱有困难吧。②出来るであろうと，出来ないであろうと，試して見ること自体は間違いではない。／成也罢，不成也罢，试一试这本身并不错。③戦争で壊されたであろうと思ったところが，大仏の写真を見てびっくりすると共にほっとした。／原以为可能因战争而被破坏了，看到了大佛的照片，感到又惊又喜。④今になっても天皇は神とされるであろうか。／至今天皇仍被当成神吗？

【意义】表示不确实的判断或推测，句调下降。也可表示疑问、反诘，句调上升。口语中用だろう或でしょう。

①花壇は誰が荒らしたのであろう。／花坛是谁给践踏了呢？②遠くに見えるのは富士山であらう。／远远望到的就是富士山吧？③明日の午前中には着けるであらう。／明天上午能到吧。④民主とはエゴイズムであらうか。／所谓民主就是利己主义吗？

#### ていい 〈助动词性词组〉

由接续助词て和形容词いい构成。为便于叙述，把てよい以及语气更谦恭的“てよろしい、て結構だ”也归入本项。て后可插入助词も等。

【接续】同接续助词て。接活用词连用形（音便形）后，在ガナバマ行五段动词后浊化为でいい。

【意义】1. 表示许可。

①車から降りなくてもいい。／不必下车。②帰ってよろしい。／你可以回去。③すみません，窓をあけてもいいんですか。／对不起，我可以把窗子打开吗？④もし，相手がこの規約を守らなければ腕力に訴えていいぐらいのものだ。／如果对方不遵守这一规章，甚至诉诸武力也无妨。⑤その本は，今お買い戴く気はなく，そのままお納め戴いて結構でございます。／那本书不要求您买了，您留用好了。

#### 2. 表示符合常规、常理或实际。

①もし10時に出発したのなら，もうこっちについていい時だ。／如果是10点出发的，按理该是到这里的时候了。②成功したといってよい。／可以说成功了。③いかに確信をもつと言っても，口に出していいことと悪いことがある。／无论多么地有把握，有些话该说，有些话则不该说，

④こんな事件は必ずと言っていいほど毎日見られる。／这样的事件几乎无例外地每天都能见到。

3. 对て之前的事项本身所下的肯定性的价值判断。いい是实义用法。

①お前が助かってよかった。／你得救，太好了。②ひどい降り方ですね。紅葉狩りに行かなくてよかったのですね。／（雨）下得好凶啊。多亏没去赏红叶。③電車に乗った方が速くてよい。／电车快，坐电车好。④新鮮な野菜が栄養があっていい。／新鲜蔬菜好，有营养。

ていく 〈补助动词〉

口语中多用ていく，较少用てゆく，并“い”常脱落，如“一体どうしてやってくつもりなんだ。／你今后到底打算怎么做下去？”接于动词连用形（音便形）后，在ガナバマ行后音便为でいく。

1. 表示前接动词是离去前做的动作（例①）、伴随动作（例②）、方式（例③）、方向性动作（例④）、目的性动作（例⑤）等。其中いく仍有实义，即“走”的意义。

①思い出にこの花を置いていくよ。／我把这花给你留作纪念（就走）啦。②展覧会に友達をつれていった。／把朋友领去看展览会了。③皆は次々家へ帰っていった。／大家都一个个回家去了。④先生を訪ねていく。／去访问老师。

2. 接于继续动词（意志动词）后，表示动作以某一时点为起点，继续进行下去。

①人間はこの習慣を続けていくだろう。／人类会把这一习惯保留下去的。②国を発展させていく計画／使国家不断发展的计划。③生活していく。／生活下去。

3. 接于瞬间动词（无意志动词）后，表示完成这一状态的过程。

①誰も年をとると，身心ともに弱っていく。／不管谁，上了年纪就会身心不断衰弱。②大火がだんだん消えていった。／大火渐渐地灭了。③習慣といっても時代によって変わっていくものである。／虽说是习惯，也要随着时代的不同而变化下去的。

【参考】以上用法有人称“远向体”，均有对应形式～てくる。

### 提示語 テイジゴ 提示语

有时，为了强调而把句中某一成分调到句首，使其脱离原来的文脉而独立起来，同时又补充一个新的词语使原来的文脉得到恢复。提到句首的这个成分就是句子的提示语。

①寛容と忍耐，これが私のモットーです。／宽容和忍耐，这是我的座右铭。②5月8日，この日を永遠に紀念しよう。／5月8日，让我们永远纪念这一天吧。③ある時——その時はもう夕方だった。／有一次，那天已经是傍晚了。

提示语和题目语一样，是全句叙述内容的中心，而且，也同样可以由各种体言性成分转换而成。

①仕事と読書，これが私の日課だ。（主语）／工作和读书，这就是我每天做的事。②ストライキは，これを認めない。（宾语。此句只用于法令条文）／罢工不准许之。③8月15日，この日，戦争が終わった。

（连用修饰语）／8月15日，这一天，战争结束了。④海辺，一人であんな所へ行くのは危ない。（补语）／海边，一个人到那地方去危险。

有时连体子句也可以充当提示语。

①寝ながらテレビを見る。これが私の楽しみです。／躺着看电视，这是我的乐趣儿。

此句由“寝ながらテレビを見るのが私の楽しみです”转成。

因此，可以把提示语看作题目语的一种，或者把题目语看成提示语的一种。山田的作法是把二者都称为提示语，然后在内部又分成两种，其一句中出现代替提示语的代名词，其二句中无此类代名词。

提示语和狭义的独立语一样，都为后续部分造成先决条件。所不同的是，前者除此之外还是内容上的中心，它本身有明确的概念意义。

【诸说】松下大三郎把带有提示助词的成分都叫作提示语。三上章把带有は的成分总称提示语。

### ていただく 〈补助动词〉

表示授受关系的补助动词之一，てもらう的自谦语形式。接于动词连用形（音便形）后，在ガナバマ行后音变为ていただく。表示客气、委婉的请求、要求、命令。用于被要求者（对方）的动作。



①具体的に言っていただけますか。／能请你谈得详细一点吗？②窓をあけていただけませんか。／请您打开窗子好吗？③そうして預けると有りがたいですねえ。／你那么做，那太好了。④小社に来て戴ければさいわいです。／您若能到敝公司来（工作），我很荣幸。⑤じゃ，しばらく退避していただきます。／那么，请你暂时躲避一下。

△如用于对方主动为自己（一方的人）做某事的情况，则语气更委婉，有承受恩惠的意思（下例①）。有时，单单一个述说的形式（下例②）而无上下文，是分不清是要求还是委婉语气的。

①分りました。いや，そう言っていただくと気が楽です。／明白了。真的，承您这样一说，我心里轻松了。②洪作は先生に要所を説明していただきました。／洪作请老师讲解了要点。或：老师为洪作讲解了要点。

#### 丁寧語 テイチョウゴ 郑重语

宫地裕的命名。属敬语三分法中的“丁寧語”。指以郑重语气向对方表达素材内容的敬语形式。

【构成】郑重语来源于谦让语，动词的郑重语又和对话敬语“ます”结合起来才能使用。有以下主要形式。

1. 名词性的。较常用的有：お～（お詫、お礼）、ご～（ご恩、ご無事）、本日、申し分け、どなた、わたくし、あいにく等等。较陈旧的文章语有：小生、拙稿、愚作、豚児、荆妻，等。这些词一般都有相对应的普通用语，如：どなた→だれ。

2. 谦让动词（后续“ます”）。例：致します、参ります、申します、存じます、存じあげます、ございます。

3. “お・动词连用形・谦让语・ます”。例：お～いたします（お知らせいたします）、お～申します（お詫び申します）、お～申しあげます。

4. 某些补助动词。如：～ております、～てまいります。

5. “お・形容（动）词”。如：お粗末ですみません。／招待得不好，真对不起。お美しいお嬢さんですね。／您女儿真漂亮。

6. 副词、感叹词。如：いかが、結構、ごくろうさま、どういたし

まして、お大事に、よろしく、どうか、ようこそ、くれぐれも。

【郑重语和谦让语】二者很相似，但是谦让语表示素材之间的谦让关系，而郑重语同时还表示说者对听者的敬意。这种情况在以第三人称为主语的句子中表现得比较明显。试比较：太郎が先生をお訪ねします（谦让语）。太郎が先生をお訪ねいたします（郑重语）。因此，郑重语完全可以用于以非人事物为主语的敬语句等中，如：変な音が致しました。／有怪声音。今更やめるわけにはまいりません。／到如今不能作罢了。另外，郑重语包含素材内容，因此也区别于对话敬语（です、ます）。

【参考】大石初太郎的“丁寧語”与常通所说的“丁寧語”同义。

#### 程度表現 テイドヒ ヨウゲン 程度表达法

【性质】程度反映动作、状态、性质的发展水平和客观指标，程度表达法就是表达这些水平和指标的。程度包括绝对的和相对的，还包括初级的和高级的，因此其表达方式也很不相同。一般说来，绝对程度是用数目表示的，相对程度是用其他形式表示的。

【相对程度】相对程度可相对地分割为初级、高级和可变几种。

1. 高程度。用副助词ほど、ぐらい表示。前者有后续肯定和否定两种形式。后者只能后续肯定形式。后续否定形式时表示最高程度。

- ①手が痛くなるほど（ぐらい）拍手をした。／鼓掌鼓得手都疼了。  
②日本には富士山ほど高い山はまたとない。／日本再没有象富士山那么高的山了。

2. 低程度。用副助词でも、さえ、ぐらい表示。でも有类推其他的意义，さえ有出乎意料的语感，ぐらい有轻视的语感。

- ①そんな事は子供でも知っている。／那种事儿连小孩儿都知道。②そんな事は子どもさえ知っている。／那事连小孩儿都知道。③これぐらいの本は子供でも読める。／这个程度的书即使小孩儿都能读。

3. 可变程度。用副助词ほど、だけ构成的惯用形式表示。

- ①蛋白質の多いものほど煮れば固くなる。／越是蛋白质多的东西煮了就越硬。②山は上へ登れば登るだけ気温が低くなる。／山越向上攀登气温就越低。③大豆から油をしぼれるだけしぼって残りは飼料にする。／从大豆中提取尽可能多的油，剩下的作饲料。

4. 比喻性程度。用副助词ほど、ばかり和助动词ようだ表示。后者还表示最高临界程度（例③）。

①足が棒になるほど歩き回った。／奔走得腿都直了。②近付くと言わんばかりに無表情です。／毫无表情，就象不让人接近似的。③野菜もそれはそれはきれいに、土の気など薬にしたいくてもないようになっていて、またそれを上等の紙で包んでくれる。／蔬菜也特别干净，不带一丝一毫的土味，而且还用高级纸包装。

【绝对程度】1. 格助词。

1) “に”后续和发展有关的动词。有时前面加まで（程度发展为最高）、よう（状态的转变）等。常用的动词有：なる、及ぶ、達する、至る、（数）のぼる。

①事ここに至っては収拾の余地もない。／事到如今已无法收拾了。②参観者の延人数はおよそ十万にのぼると言われている。／据说参观者合计达十万人次。③一日の生産量は1トンまでに達した。／一天的产量已达到一吨。

2) “を”后续“オーバーする、上回る、下まわる、超える、割る、超過達成する”等动词。

①責任量をオーバーした。／超过了定额。②明大への志願者は2万を割るという。／据说报考明治大学的不足两万。③目標を5%下回る。／低于目标百分之五。

2. 语法词组。

1) ～といったらない、～てならない、～しかたがない、～しようがない、にたえない等。主要是用主观感受来表示客观程度严重。

①眠くてしかたがない。／困得受不了。

2) ～といえるだろう、～といってもいいすぎではない、～どころの騒ぎではない、等等。主要从应如何评价的角度表示程度的高或低。

①彼は全クラスで一番の勉強家だといえるだろう。／可以说他是全班最用功的。

3. 接尾词。名词性的有あまり、限り，动词性的有すぎる、極まる、

きる，形容词性的有がたい，等等。

①出来るかぎり～／尽可能～。②うれしさのあまり涙をこぼした。／因为太高兴而流了泪。③横暴極まる行い。／极端霸道的行径。④言葉ではいいあらわしがたいデリケートさがあった。／有着难以言表的微妙之处。

4. 名词性词组。最常见的如“(～が) 関の山、精一杯、一杯”等。这几个是极限程度。

①毎日散歩するが，2キロが関の山です。／每天散步，可是至多不能超过2公里。②胸は怒りに一杯だった。／简直要气炸肺了。③自分一人で食べていくのが精一杯だ。／勉强应付自己一个人吃饭。

5. 副词。是程度表达法的最主要形式。表示低程度的有せいぜい、きりぎり、たった、やっと等，表示高程度的有まったく、非常に、ほとんど，極めて等，表示相对程度的有もっと、もう、ちょうど等。

①やっと間に合えた。／总算赶上了。②まったくだめだ。／简直不行。③もっと分けていただきます。／请再分给一些。

#### 程度副詞 テイドフクシ 程度副詞

副词的一种，在程度上修饰后续词的性质和状态。

【修饰范围】1. 形容（动）词。这是最基本用法。

①大変辛い。／非常难过。②きわめて便利だ。／极其方便。

2. 状态副词，部分连体词（即杉山荣一的“一活用だけの用言”）。

①かなりしっかり出来ている。／做得相当结实。②もっと大きなやつ／更大的。

3. 状态性的动词。

①全く困りきっている。／一筹莫展。难办极了。②大変注目に値する。／很值得重视。

4. 修饰动作性动词。也可以看作是后续词脱落的结果。

①ちょっと（の間）眠る。／睡一会儿。②もっと（多く）飲みたい。／还想再多喝点儿。

5. 修饰方位名词、时间名词等具有程度性的各种名词。

①ずっと昔のことだ。／是很久以前的事了。②少し前へ出る。／往



前靠一点。

无程度性的体言无此用法。试比较：

①※もっとここへ来なさい。②もっとこちらへ来なさい。／再往这边来一点儿。

【特征】程度副词可修饰多种词类，但都是从意义上修饰其状态和性质。在语言形式上，则没有陈述副词那样的特定的修饰、呼应关系。所以，“もっと早く（早ければ、早かった、早かろう）”均成立。山田孝雄把程度副词和状态副词均看作属性副词原因也即在此。

程度副词的这种性质和用言连用形相同。实际上，“ひどく、すごく、非常に、はるかに”就是从用言连用形转来的。另有“きわめて、めだって、いそいで、ばかに”等连用形也正向程度副词转化。

程度副词和状态副词一样，也具有体言性质，见下例：

①よほどの事でなければ口をきかない。／不是重大事情不言语。②あれからしばらくでしたね。／从那以后很久没有见面了。

丁寧語 テイネイゴ 对话敬语

【性质】敬语的一种。亦称“谨称、恭称、对者敬語、對話敬語”等。指说者为使对话或谈话的语气客气文明而用的敬语，主要用助动词です、ます表示。主要用法有：

1. 直接表示对谈话对方的尊敬。

①ここからは富士山が見えます。／从这可以看到富士山。②京都まで往復一枚，いくらですか。／（对售票员）买一张到京都的往返票，多少钱？

2. 用于儿童和晚辈，以文雅语气表示亲昵、疼爱等感情。

①よくかんで食べるんですよ。／好好嚼着吃。

3. 用于公共场合，如会议发言、教师课堂用语、机关事务、广播电视等。

无论哪种用法，着眼点都在于与对方保持一定的距离，以保持自身的格调。因此，初次见面的人、关系疏远的人用“です、ます”，而亲友间、家庭内部完全可以用简体。

用于句末的“です、ます”与表达内容无关，用于句中的“ご飯、致

す”之类虽用法和“です、ます”有一致性，但同时与表达内容也有关系。宫地裕把“ご飯”一类用法另立为“丁寧語”，辻村敏树则称为“美化語”，见另项。在敬语的三分法中，这些仍属于“丁寧語”。

【构成】主要形式是助动词“です、ます、であります、でございます”。其中最常用的是“です、ます”。“であります”主要用于文章、演说。“でございます”比较正式，使用不普遍。

⇒ます、です、であります、でございます、丁寧語、美化語

丁寧の形容動詞 テイネイノケイヨウドウシ 敬体形容动词

【解释】指以“です”为词尾的形容动词。如：静かです、安全です、スマートです。

教学语法把这种形式看作形容动词词干和敬语助动词“です”的结合。

【活用】形式上与“です”相同。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
らくです	らく	○	でし	です (です)	○	○		でしょ

1. 连用形。主要后续“た”，有时后续“て、たり”等。

- ①動物園は子供たちで賑やかでした。／动物园由于孩子们很热闹。  
②昨日は非常に心配でした。ご飯を食べる気はなかったのです。／昨天可把我担心坏了，连饭都不想吃了。

2. 终止形。

1) 单独或后续终助词结句。

- ①彼女は物腰がしとやかです。／她举止文静。②あまりのんきですな。／你真是漫不经心。

2) 后续接续助词と、けれども、が、から、し等。

- ①説明は簡単ですが、要を得ています。／解释很简单却又很得要领。②帰っても結構ですし、ここに残りたいなら残っても結構です。／回去也可以，愿意留在这的话留下也可以。

3. 连体形。只用于后续接续助词のに、ので。简体连体形“～なのに、～なので”更常用。

①人が正直ですので、皆に好かれています。／由于人很正直，受到大家喜欢。②表は立派ですのに、内部に入ってみたら思ったほどではありませんでした。／外表很华丽，可是进到里面一看，不象想的那样。

4. 推量形。学校语法中不设推量形，而归未然形。只能后续“う”表示推测。在口语中“う”有时脱落。

①これだけは確かでしょ（う）。／至少这一点是确实的吧？

【考参】因为无未然形和假定形，有关内容要用如下形式表达。

①それは本当ではありません。／那不是真的。②人が愚かですとよく人につけこまれます。／人如果愚笨，就常被人钻空子。

**丁寧の助動詞** テイネイノジョドウシ 敬体助动词

【性质】助动词的一种，属敬语助动词。指构成郑重语态动词的助动词。敬体助动词直接表示说者对听者礼貌相待的语言品格，与被表达人物及听者本人的上下尊卑等身分关系无关。因此，区别于尊敬助动词和其他敬意的表达形式。

所属词有です、ます。ます只用于动词和动词型助动词的连用形后。です兼做判断助动词用，用于体言后时，两种用法合为一体。但用于形容词后时，只作敬体助动词用，此用法战后才成为规范用法。另外，接于形容动词词干后的です兼做词尾。以上3种情况比较如下：

①今日は暖かいです。（敬体）／今天暖和。

②今日は月曜日です。（判断，敬体）／今天是星期天。

③今日は暖かです。（词尾，敬体）／今天暖和。

敬体助动词构成デス・マス体，デス・マス体是口语中极常用的句体，在谈话、会话中，原则上敬体和简体不得混用，要保持单一性和一贯性。

【诸说】大部分学者都认为，敬体助动词是一种独立的敬语助动词，但名称各不相同。如，“対話敬語”（三矢重松）“对者尊称”（松下大三郎）“謹言”（小林好日）“恭称”（金田一京助）“对者敬語”（辻村敏树）“敬語的汎称”（石坂正藏）“辞の敬語”（时枝诚记）等。

在山田语法里,“对者の敬称”不作独立助动词,而归于敬称。

ていらす (居らす) 〈补助动词〉

ている (でいる) 的尊敬语,偶尔用于随便的口语,可看作ていらっしやる的简略形式。い有时脱落。

①「もう知ってらしたの」「いや,当て推量です」/“您已经知道啦?”“不,是猜测。”②これまで昼夜兼行でいらしたのだから,身心ともにお疲れでしょう。/您夜以继日地工作到今天,身体和精神上都劳累了吧。

ている 〈补助动词〉

由接续助词て和补助动词いる构成,吉田金彦把整个ている看成一个助动词。

いる属上一段活用。其中,连用形中顿法てい几乎不用,多用ているし、ており。口语中常把假定形ていれば约音成ていりゃ、てりゃ、てりゃあ。另外,い常脱落,成てる,见该项。接于动词连用形(音便形)后,在ガナバマ行后音变为でいる。

【用法】表示动词的各种体。其共同点是使前接动词状态化。吉田金彦称之为“客観的状态化の助動詞”。

1. 表示动词的进行体。接于继续动词后,表示动作仍在进行、正在进行的状态。句中常出现表示时段的副词等。

①あなたは何をしていますか。/你作什么工作?②朝日が庭いっぱいにかがやいている。/朝阳洒满庭院。③私はある米国人と話していて,一つのことに気づきました。/我在和一个美国人谈话过程中,注意到一个现象。④きのうの晩,12時まで本を読んでいた。/昨晚我读书读到12点。⑤明日の10時までは内で先生を待っている。/明天10点之前,我将在家里等着老师。⑥バスを待っていては,あと10分は立ちん坊しなければならない。/若等着公共汽车,至少还要站10分钟。⑦芸術家は現実を見ながらねむっていることがある。夢を見ながら目を見開いていることがある。/艺术家有时面对着现实而睡大觉,有时又在睡梦中观察着(现实)。

△意志动词常以～ていられない形式表示不能持续做某种动作或维持



某状态。

①明るくて目を明いていられない。／太亮，睁不开眼。②じっとしていられない。／呆不住。

2. 表示动作的结果体。接于瞬间动词后表示动作的结果继续保留下来的状态。句中常出现表示过去的时间起点的副词。

①星が空いっぱいに出ている。／满天星斗。②田中さんの長男はもう死んでいる。／田中的大儿子已经死了。③太郎は1年前から花子と結婚している。／太郎从1年前就和花子结婚了。④すっかり忘れていた約束を思い起してはっとした。／（突然）想起来忘到脑后的约会，大吃一惊。⑤私の過去の傷痕<sup>きずあと</sup>も，実は，ちっとも直ってはいはしないのである。／其实，我过去的（精神）创伤也丝毫没有愈合。

△将来的事实也有结果体。如：じゃあ，私は先に会場へ行っているよ。／那么说好我先去会场啰。

3. 表示动作状态的单纯体。接于形状动词（第四种动词）后，表示恒常的静止状态。

①中国は石油資源にめぐまれている。／中国石油资源丰富。②酸素が不足している状態でも発芽できる。／即使在氧气不足的状态下也能发芽。③あの子は顔も性格も母に似ている。／那孩子长相和性格都随母亲。④薄暗い廊下はひえびえとしていて，曲がりくねっている。／微暗的走廊冷冷清清、弯弯曲曲。

△做定语时可用～た形式，如上例②也可说“～不足した～”。

4. 表示经验体。接于继续动词和瞬间动词后，表示已有过某种经验，经历。句中常出现表示次数、过去时间的副词等。

①彼はもう3年間も英語を勉強している。／他已经学了三年英语了。②富士山は去年まで三度も登っている。／富士山到去年为止已登过三次。③僕は沢山の本を読んでいるから，別に心配がない。／我读了许多书，不用担心。④彼は事件をその場で目撃している（或：した）唯一の証人である。／他是在现场目击了事件的唯一的证人。

5. 表示反复体。接于继续动词或瞬间动词后，表示动作的反复进行。句中常出现表示反复的副词、复数的主语等。

①英語の勉強には、毎日アメリカ人先生が来ている。／英语学习，每天有美国老师来这里。②彼は年のせいか、日常の言葉もどんどん忘れている。／他也可能是年龄的关系吧，日常的词语也接连忘掉。③子供の時から父母や先生がこう教えているからね。／因为从小开始父母和老师总是这么告诉嘛。④この学校では有能な卒業生が輩出している。／这所学校有才干的毕业生辈出。

【否定形式】ている的否定有ていない和只在意义上对应的“未然形ない”两种，各有不同的含义。以“知る”为例简述如下。

1. “知っていない”表示从过去持续到现在的状态，“知らない”表示目前的状态。

①田中は花子の性格をほんの表面しか知っていない。／田中（一直）仅仅了解花子的表面。②～知らない。／田中（目前）仅仅了解花子的表面。

下句意在“现在”，所以只能用“未然形ない”形式。

①「あなたは日本語を知っていますか。」「知らない。」（※知っていない）／“你懂日语吗？”“我不懂。”

2. “知っていない”侧重动态，暗含不久可能转为“知る”的含义，而“知らない”表示单纯的静态。

①田中は、今のところ、まだこの秘密を知っていない。／田中现在还不知道这个秘密。（暗含“将会知道”）②～知らない。／译文同上，但无暗含内容。

3. “知っていない”是从客观上观察到的状态，而“知らない”表示主观状态，如能力、知识等。

①花子は、アメリカ歴代大統領の名前を一人も知っていない。（考试结果等）／花子对历届美国总统的名字一个也不知道。②～知らない。（知识）／译文同上。

【参考】1. 动词被动态后续ている形式，常说成である，以前者为标准。如：写真がかざられてある→写真がかざられている。／摆放着照片。二者均为与“写真がかざってある”对应的形式。以上三句都表示人为的状态。

2. ている的尊敬语一般有两种情况,或者前面的动词敬语化,如“お書きになっている”,或者いる敬语化,如“書いていらっしゃる”。表示高度敬意时两部分都敬语化,如“お書きになっていらっしゃる”。但“お書きになられる”的用法不妥。一般说来,重状态时いる部分敬语化,重动作时前面的动词敬语化。因此,下两例(状态动词)前者成立而后者不成立。

①スミスさんは青い目をしていらっしゃる。(※～なさっている) / 史密斯先生长着蓝眼睛。

由于上述道理,下两句前者有歧义,后句只一种意思。

①山田先生は大きな顔をしていらっしゃる。 / 山田先生脸长得大。  
或: ~傲慢。②～顔をなさっている。 / ~很傲慢。

自谦语形式也有两种。如与对方相关,要用お～する(いたす)形式,无关则要用～ておる形式。

①※丁度その時,私は先生の宅の前をお歩きしていました。(→歩いておりました) / 我当时恰好从您门前走过。②丁度その時,私はそば屋の前を歩いておりました。(※お歩きしていました) / 我当时恰好从面条铺门前走过。

ておく (て置く) <补助动词>

由接续助词て和补助动词おく构成,吉田金彦把ておく看成一个助动词。

【活用】おく是五段活用。使役态在口语中常略为おかす、假定形おけば约音为おきゃ(あ)。另外,在口语及方言中て和お约音为と,成为とく。

①貼っとく。 / 贴好。贴上。②時間を決めよう。 / 把时间定下来吧。

原则上接于意志动词的连用形(音便形)后,在ガナバマ行后音变为でおく。

【意义】 1. 表示做某行为,并使其结果持续下去。

①実験用の人工衛星を2000年まで打ちあげておく。 / 发射一颗实验用的人造卫星,使之运行到2000年。②なわ跳びのなわは教室の壁に掛けておきました。 / 跳绳用的绳子挂在教室墙上了。③よく乾燥させて置

いておけば、十年ぐらいは持てます。／如果晒好后存放，十年左右是能保存的。

2. 以上用法在一定文脉中，变成事先准备的含义。

①会議の前日までに、発言の原稿を書いておきます。／到会议的前一天为止把发言稿写好。②本を沢山読んでおけば、作家になれぬとも限らない。／多多地读一些书说不定能成为作家。③手術台や道具を前もって消毒しておいた。／已事先把手术台和工具消过毒了。

△另外，有些具有积蓄力的自动词和不产生可见的结果的他动词则只能表示准备。

①姉さんに手伝いを頼んでおいた。／已经说好了，让姐姐帮忙。②明日試験があるから、十分眠っておこう。／明天有考试，所以，要睡足。

3. 以上所有用法，根据文脉，都可能成为一时性的应急处理，

①その場で一応の手当をしておいて、病院へ連れていった。／在现场简单处置了一下，就领到医院去了。②使わない本は、当分の間本箱の中に入れておく。／不用的书，暂时先放到书箱里。

4. 1 在一定的文脉中表示放任。接于使役态之后时，一律是放任。

①行きたい者は行かせておけばいいじゃない。／原意走的，让他走不就得了吗？②それはしかたがない。そのままにしておこう。／那可没办法。就那么着吧。③あいつのすることはあいつに任せているのだ。少し位変なことがあったってほったらかしておく方がいい。／他做的事我从来都不管。即使有些古怪，还是不要去管他。

ておる 〈补助动词〉

接于动词连用形（音便形）后。在ガナバマ行动词后音变为ておる。属五段活用。

1. 以～ております等形式作～ている的自谦语。

①お待ちしております。／我在等着您。②父は以前、教員をしておりました。／我父亲从前作教员。

2. 以～ております等形式作～ている的郑重语。



①古代のエジプト人は、人間は死んでも再びよみがえると信じておりましたので、死体をミイラにしました。／古代埃及人相信人死后还能复活，所以把尸体做成木乃伊。②暗く、わびしく、見ちゃ居られない風景であった。／是一种暗淡、凄楚、不忍多看的场面。

3. 在文章中以～ており来作中顿，以代替本不得使用的“※～てい”。

①秋成は20歳の頃には俳句を始めており、30歳の頃には和歌を作るようになった。／秋成20岁时已开始作俳句，30岁起作和歌。

4. 以～ておられる形式作～ている的轻度尊敬语。

①あなた方そこで何をしとられる（しておられる）のですか。／诸位在那儿做什么呢？②推古天皇は西歴592年から628年まで位についておられました。／推古天皇从公历592年即位至628年。

5. 以～ておる形式用于有关对方的动作，表示尊大。

①うまいことを言っておるな。／你还挺会说的啊。

△在关西方言中，ておる与ている没有区别，并经常约音为とる（teoru→toru）。

①聞いとらん（＝聞いておらぬ）。／我没听说过。②知っとります。／我知道。③黙っとれ。／你少插嘴！

てから 〈复合助词〉

由接续助词て和格助词から结合而成。已成为较固定的惯用词组。

【接续】接动词及同型助动词连用形后。五段动词除サ行外要接音便形后。在ガナバマ行五段动词后要浊化为でから。

【意义】表示由于前项动作或变化的发生或完成而造成的后续动作状态的时间起点。主要有如下用法。

1. 以～てから形式作副词节。

①散歩するなら、夕飯を食べ終わってからするといい。／如要散步，可以吃完晚饭后去。②あの子は先生に叱られてから宿題をやるようになった。／他从打被老师批评了以后，开始做作业了。③日が出てから畑に行き、日が沈んでから畑から帰る。／日出而做，日暮而息。

△可后续提示助词、副助词等。

①私が卒業してからでも、雅楽は続いて俳優をしていた。／我毕业以后，雅乐继续当演员。②結婚してからは、酒を飲まなくなった。／结婚之后就不再喝酒了。

## 2. 用“～てから始めて”形式表示后项的先决条件。

①人はなれてから始めてそのよしあしが分るものだ。／人只有熟悉了之后才能知其好坏。②人間って者は結婚してから始めて責任感を持つようになる。／人么，结婚之后才开始具有责任感。

## 3. 以～てから～までの形式表示一整段时间。

①人間という者は、生まれてから死ぬまで勉強を重ね、経験を積むといってよい。／可以说人从生到死都在不断学习、积累经验。②日本語の勉強を始めてから今までまる三年になる。／从开始学日语到现在已有三整年。③小学校に入ってから大学を卒業するまで18年もかかるから、人生の三分の一は学校生活だということになる。／从入小学到大学毕业需要18年，这就等于人生的三分之一是学生生活。

## 4. 以～てからというもの（は）形式提示后项成立的整段时间。

①友人は中野の方へ新しい家を造って移ってからというもの、ずっと声をひそめてしまった。／朋友自从在中野那边盖了新房搬去之后，就再也没有消息了。②これらの若者は、社会に巣立ってからというもの、生活態度がまじめになり、仕事も実績をあげるようになった。／这批年轻人自从走上社会，生活态度严肃了，工作也有成绩了。

## 5. 以～てから形式作为时间名词。

### 1) 后续格助词。

①50前後になってからの勉強に、こうも少年のように真剣になっている。／对待五十来岁才开始的学习，竟象少年一样如此认真。②掃除は皆帰ってからにしてください。／扫除等大家都回去之后再说吧。③事故が起ってしまってからではどうにもなりません。／事故一旦发生，一切都无济于事了。④満20歳になってからを成人と言う。／把满20岁以后称为成年人。

### 2) 后续助动词，主要是だ，作谓语。

①私が読書に愛着をもつことになったのは、恋に失敗してからで

ある。／我迷恋上读书，是恋爱失败以后的事。②大きくなってからでなくては，遠い旅ができない。／长大之后才能作长途旅行。③馬車が村を出たのは，もうとっぷり日が暮れてからだった。／马车是天大黑了以后才出的村子。

【参考】てから和たあとの区别。てから表示单纯的时间完了，而たあと表示动作的场面完了。

①友達の家へ行ってから酒を飲んだ。／到朋友家后（在那里或别处）喝了酒。②友達の家へ行ったあと酒を飲んだ。／到朋友家去了之后（在别处）喝了酒。

无场面可言的情况下不能用あと。

①20歳になってから（※なったあと）日本に来ました。／20岁以后来到日本。

而只表示时间完了时二者可通用。

①6時に食事をしてから（＝したあと）7時に出かけた。／六点吃完饭，七点出去了。

当句中不出现时间词时，てから表示关连动作的连续，たあと表示有时间间隔的不同动作。

①走ってから跳び上がる。／（助）跑之后起跳。②走ったあと跳びあがる。／跑完步又跳。

当前后项的主语不一致时，てから表示有目的的行为（等待完了），而たあと无此含义。

①太郎は父が死んでから山林を売った。／太郎等父亲死后出卖了山林。②太郎は父が死んだあと山林を売った。／在父亲死后，太郎卖了山林。

的だ テキだ 〈接尾辞〉

1. 形容动词型接尾辞。主要接于名词性音读词或外来词后构成形容动词。

连体形词尾な可以去掉，可直接用词干作连体形用。如：客観的（な）研究。另外，“比较的”已由词干转为副词。例：比較的簡単に扱う。／处理得比较简单。

“～的”是汉语的借用，却作英语的形容词词尾～tic 的音义来用。主要用法如下：

1) 表示有关方面、范围、内容等。相当于汉语的“～上”“～方面”。

①これは費用的に難しい。／这在经费上有困难。②時間的に最短コースをとる。／取时间最短的路程。③今の青年は政治的関心が薄すぎる。／如今的青年政治观念太淡薄了。

又如：経済的、精神的、年齢的、道德的、学問的、物質的、事務的、本質的。

2) 表示性质、意义等，相当于汉语的“～性”、“具有～意义的或倾向的”。

①トルストイのもっとも代表的な著作は「戦争と平和」である。／托尔斯泰最有代表性的著作是《战争与和平》。②これは彼にとってほとんど致命的となるだろう。／这对他来说几乎是致命的（打击）吧。③客観的事実についての主観的把握はつつしむべきである。／对于客观事实要防止主观地去认识它。

又如：大陸的、天才的、人間的、教訓的、理想的、ローマン的、反イスラエルの。

3) 表示状态、比喻、程度等。相当于汉语的“～地”或“～的”。

①これについては系統的な研究が望まれる。／对此需要做系统的研究。②事件はあまりにも瞬間的で喜劇的であった。／事件发生在一刹那间，而且富有喜剧性。③やり方が機械的なら，やる気にならない。／如果做法太机械，就不想做了。

又如：一般的、意識的、消極的、自動的、標準的、具体的、印象的、人間的、合法則的。

△以上用法可接于一个字的汉字词素后。如：史的唯物論／历史唯物论、全的支持／全面支持、病的人生価値観／病态的人生观、学的根拠／理论根据、端的に指摘する。／一针见血地指出。

△要注意与汉语“～的”的区别。如：“近代的建築”，汉义是“近代所建建筑物”，而日语意义是“有现代特征的建筑”。又如：“教育的



手段”，汉义是“教育所需要的手段”，而日义是“具有教育意义的手段”。

2. “的”亦作名词性接尾词用，接于人名后表示语气婉转的“やつ”之意。如“正的”等于“正夫のやつ”、“正子のやつ”。“泥的”等于“泥坊”。

できる（出来る） 〈动词〉

上一段活用。无命令形用法。

1. 实义动词用法。

1) 事物的产生、出现。常用～に～ができる句式。

①子供ができた。／有了孩子。②笑うと、ほおにえくぼができる。／一笑，面颊上便现出酒窝。

2) 事项的完成、得以实现。

①御飯ができたよ。／饭做好啦。②いつからでも入場ができるように準備ができた。／已做好准备，随时可以入场了。③すぐ捜し出すことができました。／一下子就找到了。

3) 出产、生产。是从结果上说的，如说明人为的生产制作及其过程，则要用つくる。

①ここではリンゴがよく出来る。／这里盛产苹果。②日本家屋は木と紙とでできている。／日本式住房是用木材和纸建造的。

4) 客观上行为的可能与不可能。

①そんなことができるか。／能做那样的事吗！②もちろん、反対の意見も無視することができない。／当然，反对意见也不能（不应）忽视。③息つぎのできないような面倒な台詞<sup>せりふ</sup>／令人喘不过气来的麻烦的台词。

5) 从主观能力上说的能与不能，会与不会、出色与不出色。

①彼（に）は運転ができる。／他会开车。②私（に）は英語（を話すこと）ができない。／我不会说英语。③この問題は高校生にも出来る。／这道题高中生也会。④できる生徒と出来ない生徒／学得好的与学得不好的学生。

2. 形式动词、补助动词用法。是形式动词する的各主要用法的可能

态，通常可换成することができる而句子仍通顺。

1) 代替サ变词尾，表示可能或能力。是サ变的可能态。

①別の方法で解決できる。／能用别的方法解决。②今の状態では合格できそうもない。／看现在的情况，不可能合格。

2) 代替形式动词する，表示能力或可能。

①これからもう学生ですからな，喧嘩したり嘘をついたりできませんよ。／从现在起你就是学生了，可不能打架、说谎啦。②いやでも，そうあっさりと袖にはできない。／不愿意，也不能那样一拒了之。③もしもフロサルを逮捕してみても裁判で有罪に出来る可能性はないわ。／即使把福罗萨尔逮捕起来，也没有在审判中使他获罪的可能性啊。

3) 代替自谦形式お～する等的する，表示能力或可能。

①すぐには御返事できません。／不能马上回答您。

△有时也能代替尊敬形式お～なさる中的なさる。

①もしお許しできるなら，感謝しますよ。／如您能谅解，我很感谢。

【参考】当サ变动词又是名词时，有三种形式能表示能力或可能，如“出発できる、出発ができる、出発することができる”。这三种形式的选定，在很大程度上取决于句子结构上的安排和文体上的区别。据神田寿美子的研究，在现代东京语里“出発できる”形式常用于会话，而ことができる常用于文章，但很少用作连体形。“出発ができる”重点在于出发（名词），现已基本不用。

てくださる 〈补助动词〉

活用参见“くださる”项。接于动词连用形（音便形）后，在ガナバマ行后音变为てくださる。てくれる的尊敬语。

1. 要求、请求或期待对方或第三者做某事，从而给自己或自己一方带来某种意义的利益或恩惠。这种用法较多用命令形、假定形。

①静かにして下さい。／请安静。②よく聞いて下さい。／请认真听。③ちょっと来て下さいませんか。／请来一下好吗？④そうして下さいれば，どんなに僕も子供も，うれしいか知れません。／如果您（他）能这样做，我和孩子该多么高兴。⑤春大夫に怒らないと約束して下さいら

なければ言いません。／如果（您）不保证不向春大夫发脾气，我就不说。

△禁止性的用法有～てくださるな和～ないで下さる两种，前者是动作行为开始后所作的禁止，语气稍简慢而紧迫。后者是对未然事态的禁止，语气和蔼。

①このことは記録しないで下さい。／这件事情不要记录。②このことは記録して下さい。／这件事您可别记录。

2. 有时只是出于礼貌才用。

①もっとここに居て御養生なさって下さい。／请在此再住些天养养身体。

3. 表示并非自己要求的对方动作给自己或自己方面的人带来益处。带有感谢的语气。多用终止、连体、连用形。

①先生は熱心に教えて下さいました。／老师热心地教我们。②今、僕の小説で、女性が読んで下さるのは「墓」だけです。／现在，我的小说承蒙女性阅读的只有一部《坟墓》。③それ程に思っ居て下さるのに、どうして澄子を感じないことがございましょう。／（您）如此思念着，澄子怎么会感觉不到呢？（“澄子”是说话人的家里人或比听者更近的人）

4. 以上都是接表示别人动作的词之后的。也可以用～（さ）せて下さる形式接表示自身动作的词后，表示第二、三人称的人允许自己或自己一方的人作某事，从而给自己（一方）带来利益或恩惠。

①赤ん坊の時に、だいて乳を飲ませて下さったのはどなたですか。／小时候抱着给喂奶的是谁呀？②あしたの始発が出るまで、ごろ寝させて下さい。／明天头班车发车之前，就让我在这合衣而睡吧。

てくる 〈补助动词〉

属五段活用。接于动词连用形（音便形）后，在ガナバマ行后音变为でくる。

1. 表示前项动作与后项“来”的动作有关，两项语义并重或重后项“来る”。实际上属于实义动词用法。具体说，前项动作有：“来”之前的动作（例①、②）、伴随动作（例③）、方法方式性动作（例④）、方向性动作（例⑤、⑥）、目的性动作（例⑦）等。

①煙草を一個買っ来なさい。／你去给我买一盒烟。②いま注射を頼んできてあげるわ。／我这就去为你请（大夫）注射。③周旋屋にだまされて、連れて来られた。／受了掮客的骗，被带到这里了。④歩いてくる。／走着来。⑤あなた早く帰ってきてちょうだい。／（妻对夫）你早点儿回来。⑥笑い声が流れてきた。／有笑声传过来。⑦二人の女性が高蔵を訪ねてきた。／有两位女性来看望高蔵。

△知らせて来る有双义。親類が知らせて来た。／亲戚来告诉了。親類へ知らせて来た。／告诉亲戚后回来了。另外，やって来る等于くる。

2. 表示动作行为从过去某时一直继续到说话当时。属动作的近向体（时间）。

①彼は今日まで皆に輕蔑されながら生きてきました。／他至今是在众人的蔑视中活过来的。②中国は高い文明をほこる国として長い間発展してきた。／中国是长期做为一个拥有高度文明的国家而发展（起来）的。③大昔から人間は「今の若い者は」とくりかえしてきた。／从古代人们就不断地重复着“现在的年青人啊，（真不行）”。④水上さんは私小説を書いてこられたわけですね。／就是说，水上先生您一直在写私小说？⑤こう述べてくると，礼儀作法の重要さがもう分るでしょう。／讲到这里，礼节的重要性已经清楚了吧。

3. 接非意志动词后，表示动作、状态的发生及其变化过程。

①としよりは誰しも身心ともに弱ってくるのを経験する。／所有老年人都要经历身心俱衰的过程。②大火事がだんだん消えてくる。／大火渐渐地熄灭。③だんだん痩せてくる。／渐渐地瘦起来。④最初になつてきたのは子供だった。／最先（和我）熟识起来的是孩子。⑤男は年を取るにしたがって，洗練されてくる。／男人随着年龄的增长，都将变得更成熟起来。

4. 接动作动词后，表示该动作、行为是朝向说者接近的，属动作的近向体（地点）。与1的区别是：1所用的“来る”有“来”的实质意义。

①父はロサンゼルスから誕生日のお祝いを送ってきてくれた。／爸爸从洛杉矶给我邮来了生日礼品。②チャーチルは昨夜電話をかけ，私を



たずねたいと言ってきた。／彻其尔昨晚打电话，对我说要来看我。

以上四种～てくる用法，除 4 外都有对应的～ていく形式。见“いく”项。

### てくれる 〈补助动词〉

【活用】下一段活用。较特殊的活用形（口语变体）有：

1. 未然形。一般用くれ。后续ナ行音起头的词时有时变成くん。

①君に一任するから，君がよいと思った通りにしてくんないか。／一切托付给你了，就按你认为适当的去办，好吗？

2. 假定形为くれれ，后续ば，有时约音为くれりゃ。

3. 命令形。一般只用くれ，稍敬形式为おくれ。而くれろ、くれよ很少用。

①それを渡してくれ。／把那递给我。②バラよ，いつまでもそこに咲いてておくれ。／蔷薇花啊，但愿你永远（为我）开在那里。③この手紙が着いたら来てくれろ。（「それから」）／这封信一接到你马上就来。

【接续】接于动词连用形（音便形）后，在ガナバマ行后音变为でくれる。

【意义・用法】相当于助动词。接于动词型活用词连用形后。是表示授受关系的主要方式之一。

1. 主要以命令形式请求别人（平辈或下辈）作出对自己或自己一方的人有利的事。

①どうか許してくれ。／请原谅我。②引越したら，遊びに来てくれるかい。／搬家之后能来玩不？③忘れないでくれ。／别忘了啊。④本当の事を言うから，決して疑ってくれるなよ。／我说实话，千万别怀疑啊。⑤ちょっと待っておくれ。／等一下。⑥忘れておくれでないよ。／可不要忘了啊。⑦気をつけておくれでないと本当に困りますよ。／你不注意我真没办法啦。

2. 有时仅仅作为比命令式稍文雅一点的命令式来用。近于 1。

①すぐ帰ってくれ。／你马上回去！

3. 表示别人（一般是平辈、下辈）做某事，从而给自己或自己一

方的人带来利益、好处（下例⑤亦表示相同心理），常有感谢的语气。个别时候也可能是损害、坏处（例④）。

- ①ひどい雨に、よく来てくれたね。／真难为你下这么大雨还来了。  
 ②始めの時彼らは僕に口をきいてくれなかった。／起初，他们都不肯和我说话。  
 ③三宅先生が嚴重に抗議してくれて、まもなく釈放された。／三宅先生为我提出严正抗议，不久（我）就被释放了。  
 ④この裏切者め！よくも母親の私を裏切ってくれたな！（松本清張）／这个吃里扒外的家伙！竟然背叛了老娘我。  
 ⑤花が咲いてくれるといいんだがなあ。／若有花开放着该有多好啊。

4. 以上都是接于表示别人动作的词之后的。～（さ）せてくれる形式由自己（一方）的动作的动词构成，表示允许自己（一方）做某事，从而带来利益或好处。

- ①僕にラジオ聞かせてくれない？／让我听一听收音机好不？

5. 有时和てやる一样，表示利他或害他，属特殊用法。

- ①殺してくれる！貴様のような奴を殺したって、お上じゃ許してくれるのだ！／我宰了你！即使把你这样的东西宰了官厅也会饶恕我的！

でございます 〈助动词性词组〉

由判断助动词だ的连用形で、ござる的连用形、音便形ござい、ます组成。时枝成记称其为“指定の敬讓助動詞”。

【活用】特殊型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
でございます	～ませ	～まし	～ます	～ます	～ますれ	○	～ましょ

1. 未然形。后续ぬ（通常音便为ん）。

- ①私は都の者ではございません。／我不是京城之人。

2. 连用形。后续て、たり、た等。

- ①後学でございまして、どうぞよろしく申し上げます。／后学之

輩，请多关照。②昨日は天気でした。／昨天天气很好。

### 3. 终止形。

#### 1) 单独或后续终助词结句。

①ご苦労さまでございます。／您辛苦了。②あしたから出勤でございますか。／您从明天起上班吗？

#### 2) 后续某些助动词。

①何しろあれだけのものをお書きになるのでは、並大抵の骨折ではございますまい。／无论怎么说，写到这种程度，下了不少工夫吧。

#### 3) 后续接续助词し、が、けれども、から等。

①私はもともと都の生まれでございますが、両親に早く死に別れ……。／我本来出生在京城，早年父母双亡……。②始めてでございますから、私をご案内申しあげましょう。／因为是第一次，由我来给您作向导吧。

### 4. 连体形。后续体言，有体言性成分的接续助词等，但很少用到。

①私が女中でございますことはご承知の通りでございます。／我是女佣，这您知道。

### 5. 假定形。后续ば，常用でございましたら代替。

①先生でございますればどうなさるでしょうか。／若是您，将怎么做呢？

### 6. 推量形。后续う表示推测。

①如何でございましょう。／怎么样？

#### 【接续】1. 接体言（性词组）后。

①結構なお出来でございます。／做（写、制……）得很好。②思わぬ出来事も再会の機縁になるのでございます。／想不到的事也会成为重逢的机缘。

2. 接用言及助动词的终止形后。但一般只限于用推量形，是だろ  
うのございます体。

①それには大殿様も，<sup>さすが</sup>流石にお驚きになったでございましょう。／恐怕连大老爷也为此吃了一惊吧。

△だ的其他接续法原则上でございます也适用，但不常见，参照“だ”项。

另外，形容词的ございます体只能是连用形（〜く。通常要ウ音便）后续  
ございます。形容动词后的でございます通常视为连用形的活用词组。

【意义】原则上可以具有だ的所有义项，但远没有だ（です）常用。属于  
敬语中的郑重语，只起使语言郑重、谦恭的作用。

1. 表示各种判断。で后可插入は、も等。

①これは旦那様のところの末の子様ではございませんか。／这不是  
大老爷家的末少爷吗？②さ，こちらでございます。お入り下さい。／  
来，就是这儿，请进吧。③盗人じゃございますが，中中唯の人に出  
来る事じゃございません。／尽管是个盗贼（所为），却绝非凡人所能为之  
事。④女王陛下には，ことのほかお喜びのごようすでございます。／女  
王陛下显得格外高兴。

2. 其他代替谓语、构成接续词等用法。

①いいえ，先生は洋間でございます。／不，老师住（或：在）西式  
房间。②ではございましょうが，そこを一つ御奮発願いたいので，如何  
なものでございましょう。／话虽这么说，但仍求您解囊相助，不知意下  
如何。

【参考】でございます来自でござる。でござる在旧文章中可单独用。

①私のために門閥制度は親の敵<sup>かたき</sup>で御座る。（「福翁自伝」）／对  
于我，门阀制度乃杀父之仇也。

でさえ〈提示助词性词组〉

由助动词だ的连用形で和提示助词さえ结合而成。也可构成でさえも  
以加强语气。

【意义】接体言（性词组后），起提示作用。表示以极端情况来说明问题，  
同时以此推论一般情况，相当于さえ的用法1。一般只提示主格成分（例  
①）、宾格成分（例②）和时间状语（例③、④），一般不用于助词后。

①あの人でさえ山登りに行きますか。／连他也要登山？②子供でさ  
え許さぬ暴挙を目にして怒りを禁じえぬ。／目睹连儿童也不放过的暴  
行，怒火难忍。③富士山の頂上は夏でさえ雪におおわれている。／富士  
山顶即使是夏天也被白雪覆盖。④今でさえ，そのわけが分らなくてぼん  
やりしている。／即使现在仍茫然不知其所以然。



△下例的でさえ是さえ插入である之间构成的。

①きれは木棉でさえあれば結構です。／布料只要是棉的就可以了。

△下例的でさえ是格助词で和さえ叠用构成的。

①近年には，東京でさえ北京ダックが食べられる。／近年即使在东京也能吃到北京烤鸭。

てさしあげる 〈补助动词〉

てあげる的自谦语，参见“さしあげる”项。

てしまう (て仕舞う) 〈补助动词〉

由接续助词て和补助动词しまう构成。整体可看成一个(补)助动词。松下大三朗认为しまう来自“済む”变化的“すまふ”。

【活用・接续】五段活用。敬语形式常用～ておしまいなさる、～ておしまいになる。

接动作动词、助动词(ら)れる、(さ)せる的连用形后。五段动词接音便形后。在ガナバマ行后音便为でしまう。

①落第してしまった。／落榜了。②死んでしまえ。／死了算了！③雨に降られてしまうよ。／会挨雨淋的啊。

不能接状态性动词。

【意义・用法】因作为动作体的用法和感情色彩混在一起，故难以分条说明，以下是便于学习的分法。其中1和2一般被看作动词“完成体”。

1. 接继续动词后，表示动作全部完成结束。

①昨日買った本は一日で読んでしまった。／昨天买的书一天就读完了。②ベルが鳴る前に答案を書いて仕舞わなければなりません。／要在打铃前把答案写完。

2. 主要接瞬间动词，有时接继续动词，表示动作的完了、既成事实。暗示着造成了一种新的、(暂时)不能恢复原状的状态，因此常伴有遗憾、无奈、愤恨、出乎意料、赞美等语感。

①勉強の最中に，電気が消えてしまった。／正学习的时候，电灯灭了。②雨はとうとう一週間降りつづいてしまった。／这场雨到底连着下了一个星期。③答案に大きな間違いを書いてしまった。／(坏啦！)我的解答犯了个大错误！④男女共学は女生たちに何か大きな自信を植えつ

けてしまったようです。／看来男女同校使女生们树立了一种很强的自信心。⑤事故が起ってしまってからではどうにもなりません。／等到发生了事故之后，就什么办法也没有了。⑥やっと結婚できると思ったら，あなたは戦いに連れて行かれておしまいになる。／我心想这回总算能结婚了，不料你又被拉去打仗。

3. 表示果敢处置、简单行事。常有不满、反感的语气。常用命令，推量形。

①そんなつまらない犬，殺してしまえ。／你那破狗，宰掉算了！②この秘密は皆に言ってしまう。／干脆把这个秘密向大家说了吧。③隠し立てをして言わないようなら外に追い出してしまう。交番につきだしてしまう。／如果是隐瞒不说，就把你赶出去。就把你交给派出所。④青年との食い違いをすべて世代のせいにしてしまうわけにはいかない。／我们不能把同青年的隔阂一味地归罪于世代的不同。⑤人間が望みを捨ててしまえるなら世の中は簡単なのだ。／假如人能抛弃欲望，那社会就简单了。

4. 有时只是单纯地加强语气。

①すっかり感心してしまいました。／彻底服了；佩服之至。②そうになると，こっちも困ってしまう。／那样一来，我也不好办啊。③母は料理を何も知らない。刺身にするか，それとも丸ごと焼いてしまうか，煮てしまうかするだけである。／妈妈对做菜一窍不通，总是做生鱼片，要不然就整个烧、整个煮。

【约音・音便形式】以下4种形式用于非正式场合的口语。

1. ちまう。由てしまう的て和し约音而成，用法等均与以上相同。

①君がそこまで言うなら，いっそ本当のことを言っちゃまおう。／既然你说到这一步了，我干脆把实情告诉你吧！

2. ちゃう。ちまう的进一步约音。

①修さん逃げちゃおうよ。／修，快跑啊！②うるさいですって。わざわざ来たのに失礼しちゃうわ。／你说烦我？我是特地来的，你太不象样子。

3. じまう。是ちまう接拨音便连用形后的形式。同ちまう。

① 3号を助けてくれ。ほうっておくと死んじゃう。／救救3号！放任不管他会死的！

4. じゃう。じまう的进一步约音。

① ああ，太陽が半分沈んじゃっている。／啊，太阳已经落了一半儿了。

【参考】1. 关于てしまう的用法，久野暉分为三种。一是“单纯完了”，只表示动作的完了和实现，无其他语气。

① すぐ見てしまいますから，お待ち下さい。／我马上就看完了，请等一下。

二是“主语被害完了”，在表示动作行为的完了和实现的同时，带有其结果对主语不利的语气。

① 私は人の手紙を見てしまった。／我看了人家的信了。（做了不应做的事）

三是“当事者被害完了”，在表示动作行为的完了和实现的同时，带有其结果对说话当事人（说者、听者或话题人物）不利的语气。

① 彼は秘密文書を人に見せてしまった。／他把秘密文件给别人看了。（我们不好办）

以上三种情况根据上下文脉一般都能区分开。

2. 关于てしまう的敬语形式。尊敬语、“单纯完了”和“主语被害完了”要用ておしまいになる形式，“当事者被害完了”要用お～になってしまう形式。

① 山田先生は，その本を一ヶ月で書きあげておしまいになった。

（单纯完了）／山田老师一个月写完了那本书。② 山田先生は，予定の飛行機に乗り遅れておしまいになった。（主语被害完了）／山田老师误了预定的飞机。③ まだ質問があるのに，山田先生がお帰りになってしまった。（当事者被害完了）／本来还有问题，可山田老师回去了。

自谦语只有“お読みしてしまう”一种形式，用于所有用法。※読んでおしまいする。

でしょう 〈助动词〉

是です的推量形式，已固定成词，可看作独立的助动词。口语中常

缩减为でしょ。时枝语法看作“推量の敬讓助動詞”，同类助动词还有でございましょう、らしいです、らしゅうございます。

【活用】无活用型。

1. 终止形でしょう。

1) 单独或后续终助词结句。

①太郎も眠いでしょう。／太郎也困了吧。②その音は、一体なんなのでしょう。／那声音到底是什么？③得になるなら、君もやるでしょうね。／如果有好处，你也会干的吧？

2) 后续接续助词が、けれども、から、し等。

①のんきでいいでしょうが、どうするんでしょうね、将来？／自在倒不错，可是将来怎么办呢？②良い点を取ると、親もうれしいでしょうし、本人は言うまでもありません。／得了好分数，父母也会高兴，本人更不用说。

2. 连体形てしょう。一般只后续に，表示对未能实现的事的追悔心情。

①あたり前なら大学生になったでしょうに、学資に困ってやめさせられました。／按理说应该是大学生了，却因缴不起学费被迫退学了。

【接续】1. 接体言、副词、形容词终止形和过去式、形容动词词干；同です。

2. 接动词及同型助动词及过去式终止形，这是です没有的用法。

①ご両親も喜ぶでしょうね。／您父母也会高兴的哩。②どうですか、うまく行かないでしょう。／怎么样？不顺利吧？③何か話があったでしょう。／说什么事了吧？

△常见接ます及其活用词组后的情况，表示高度的郑重语气。

①そのうち通知がありますでしょう。／最近就会有通知吧。②まだ咲きませんでしょう。／还没开吧。

【意义】だろの敬语形式，含有对对方的敬意。属敬语中的郑重语。

1. 表示推测性的判断（句调下降）和疑问（句调上升）。

①これは白井さんのノートでしょう。／这是白井的笔记本吧？②こんなつらい思いをしたのは始めてでしょう。／心里这样难过还是第一次吧？③もう二、三日したら、刈入れが始まるでしょう。／再过两三天，就



该开始收割了吧。(?) ④この分では、今日も暑いでしょう。／看这种情况，今天也是热天。(?)

2. 肯定判断、疑问、反语的委婉形式。一般只起缓和语气的作用。

①失礼でしょうが、お名前と、職業を教えてください。／对不起，请告诉我您的姓名和职务。②この仕事は私に出来るでしょうか。／这工作我做得来吗？③なんて罪の深いいけない女なんでしょうね。／多么造孽的坏女人啊！

3. 表示要求对方赞同、回忆、确认自己说法的语气。具有终助词性质。

①私たち一緒に行ったでしょう。ね、その帰ってから旅行に興味を持つようになりました。／咱们是一起去的，对吧？回来以后，我就开始对旅游感兴趣了。②電報には三月三日とあるでしょう。／电报上写着三月三日吧？③冷え込んだからでしょう。また咳が出はじめました。／是因为着凉了？又咳嗽起来了。

です 〈敬语判断助动词〉

【活用】特殊型活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
です	○	でし	です	(です)	○	○	でしょ

1. 未然形，无。要用でない的敬体形式ではありません代替否定形式。

2. 连用形，后续て、た等。

①学生時代からとてもオペラが好きでして、藤原オペラの「椿姫」を見たのが最初でした。／我从学生时代起就喜欢歌剧，最初看的是藤原歌剧团演的《茶花女》。

△でして是唯一的中顿形式，でし的形式不能中顿。即使でして也不常用，一般代之以で。只要句末用です，就是敬体。

3. 终止形。

## 1) 单独或后续终助词结句。

①これは私の消しゴムです。／这是我的橡皮。②なぜですの。／为什么?③本当ですか。／是真的吗?

2) 后续接续助词と、から、のに、が、けれども、し等。因郑重语气过重，除了から和が等，一般不用，而代之以だ。(郑重语气用句末的 です表示即可)

①人は色々ですから，そう簡単にはまいりませんよ。／人是各种各样的，可不能那么简单从事啊。②今は殆ど見かけない本ですが，どこから入手できました?／这可是现在几乎看不到的书了，从哪里弄到的?

## 4. 连体形，不常用。一般只能接有体言成分的接续助词、终助词。

①これは鈴木さんの鉛筆ですので，届けてあげましょう。／这是铃木同学的铅笔，捎给他吧。②こんな寒さですのに，ようこそ。／难为您这么冷天来，欢迎欢迎。③まあ，きれいな花ですこと。／哎呀，真是美丽的花儿啊。

## 5. 假定形，无。可用でしたら等形式表示假定。

①借覧を禁じられているのでしたら，決して無理にとは申しません。／若是规定禁止借阅，我决不让您为难。

6. 推量形，后续う。口语中う常脱落。でしょう可看作独立的助动词，见该项。

## 【接续】1. 各种活用形共同接续法。

## 1) 接体言及体言性词语。

①生徒です。／是学生。②それは女の方です。／那是妇女用的。③今度褒美を受けたのは，僕と姉とです。／这次得奖的是我和姐姐。④生命のある星は地球だけでしょう。／有生命的星球只有地球吧?

## 2) 接副词及副词性句节后。

①「いかがですか」「あいかわらずです」／“您好吗?”“还好。”②いいえ，まだまだです。／哪里，还差得远。③どうしてもですか。／非这样不可吗?④夜勤は八時からです。／夜班是从八点开始。⑤誘われて散歩にいったのは橋のたもとまででした。／被邀散步到大桥边。⑥新しく発見された古墳はあそこから3キロほどです。／新发现的古坟离那

儿约三公里。⑦消えたのは現われてからどのくらい経ってですか。／消失是出现之后经过多长时间的事？⑧「なにげなく見付けたんです」「ええ，なにげなくですか」／“是无意之中发现的。”“嗯，无意之中？”

3) 个别时可能接于句子形式的引语后。

①天気予報では，あしたはくもりだ，です。／天气预报说明天是阴天。

4) 接形容词动词及同型助动词的词干后。可看作其敬语词尾，但数学语法看成两个词，即形容词词干和助动词。例如“静かです、こんなです、同じです、近代的です、～ようです”。

2. 部分活用形的特殊接续法。

1) 终止形和推量形 可接形容词及同型助动词的终止形、过去式终止形后。例如“高いです、寒いでしょう、低かったです、読みたかったでしょう”。

△形容词终止形后续です是一种新用法。明治年间一般用ございます。直到昭和初年两者该用哪一个仍无定论，昭和27年「これからの敬語」确认了です的这一用法。

2) でしょう可接动词等，见另项。

3) でした可接ません后。例如“行きませんでした／没有去”、“それは古跡の一部ではありませんでした／那原来不是古迹的一部分”。

△でした不能接形容词终止形（※高いでした），相应的形式是“高かったです”。

【意义】可用だ（简体）代替。です的活用词组（如：先生です）在句末充当谓语，全句叫做です体句。与であります、でございます体一同构成敬体，表示对听者的敬意。因相应的动词句用ます结句，二者统称“ですます体”。实际上です比ます敬意程度稍低，只为交际而用，可以说是“不是敬语的敬语”（吉田金彦语）。另外，还同だ体、である体、であります体、でございます体一起构成口语体叙述法。

1. 表示各种判断。

①勉強は日常の体験の積み重ねです。／学习就是日常的体会的积累。②牛も羊も人類に肉類を提供してくれる動物です。／牛和羊都属于

为人类提供肉类的动物。(以上属性判断) ③さあ、何でしょう。あてて  
 くらんなさい。／你说，是什么？猜一猜。④受験勉強で一番苦しむのは  
 一年の復習です。／在应考准备中最艰苦的是1年级课程的复习。⑤発車  
 時刻です。お乗りの方はお急ぎ下さい。／发车时间到了，要上车的旅客  
 请抓紧。(以上指定判断) ⑥「どうして?」「寒いのです。」／“为什  
 么?”“因为冷的。”⑦鉄が磁石に引きつけられるのは、そのそばで鉄  
 も磁石になるからです。／铁被磁石吸引是因为铁在磁石旁也成了磁石。  
 ⑧気のせいでしょうか、私は今日悪い予感がして仕方がありません。／  
 是因为心理作用吧，我今天总有不好的预感。(以上以固定词组表示原  
 因)

2. 在具体文脉或场景中代替前导句(或场面)的“谓语部分”。详见“だ型文”项。

①「花は何が好きですか」「僕はダリアです」／“花儿你喜欢什么……  
 “我，大丽花。”②「今は青年時代から遠ざかっているという感じはな  
 いですか。」「うん」意識的にですけど。逃げたい気持です。／“你现在  
 没有正在和青年时代疏远的感觉吗?”“有，不过是有意识地(疏远的)。  
 有一种要逃避(青年时代)的心情。”

3. 以单独或ですと、でしたら等形式把话题对象指定出来，起提示作用。

①先日お話のあった件ですね。あれについては……。／前几天说  
 起的事，关于那件事……。②二万サイクル以上の振動ですと，人間には  
 音として感じられないんです。／两万赫以上的振动，人们就不能  
 作为声音而感觉到了。③あんたでしたら，人に笑われなくてすむで  
 しょうけど。／倘若是你，也许不至被别人嘲笑的。

4. 只表示敬意，没有具体意义。

1) 用于形容词后。

①うらやましいですね。日本留学ができて。／我真羡慕。能到  
 日本留学! ②飛行機で墜落とはちょっと情なかったです。／坐飞机坠  
 毁，太倒霉了。

2) 用于形容动词词干后。



①田中さんは外国語の中で、中国語が一番上手です。／田中先生在所会外语中汉语最好。②あさには降りそうでしたね。／早晨那阵儿真象要下似的。

3) 构成“お+动词连用形+です”一类的敬语形式。

①みなさん、おそろいでしたら、ご案内させていただきます。／诸位，如果到齐了，我就来作向导。

4) 另外，ですから、ですけど、ですが、～べきです、～でしょう分別是だから、だけれど、だが、べきだ、だろう的敬语形式。

【参考】です的起源有であります简化说（松井简治）、でございます简化说（大槻文彦，松下大三郎等）、<sup>そうろう</sup>“で候”简化说（汤泽幸吉郎）等，无定论。です的用法广泛普及始于明治20年代始。

在有些方言中，です音便为でん（な行前）、でっ（か、さ行前）。ことです也音便为こんです、こってす、こったす等。

です 〈间投助词〉

由判断助动词です转成，也可看作是其特殊用法。

【接续】接于句中句节后，常和な、ね、よ等间投助词重合使用。

【意义】调整语气并起提醒对方、强调句义的作用。一般一句只用一次。

①例えばですよ，もし奥さまが突然離婚されたと仮定します。／举个例子吧，假定您太太突然离婚了。……。②それはですね。ご承知のように，古川さんは大へん忙しいからなんです。／这是因为，如您所知，古川先生是个大忙人。③そんなら今日すぐです出発すべきですよ。／如果是那样，今天啊应该立即出发。

△です和前接成分之间可以有停顿。

【参考】是由です的指定、判断用法派生出来的。偶尔出现于句首。

①「厄年<sup>やくどし</sup>をさきにすませたと思ったら，それでいいのよ」そう言って康子は隣の夫の同意を促すように横を向くと，「でしょう，あなた」「うん」／“权当先过了灾年，不就完了。”说到这，康子象催促身旁的丈夫同意似的转过身去，“是吧，你说？”“是。”

ですら 〈提示助词性词组〉

由助动词だ的连用形で和すら构成。接体言后，强调某种特殊情况，

一般只提示主格（例①）和时间状语（例②）。

①受験問題は難しくて、クラスでトップの彼ですら見込みがないくらいだ。／考题很难，甚至连他这个班里的尖子都没希望。②冬ですら雪が降らない所がある。／有的地方甚至冬天也不下雪。

△下例是格助词で和すらの叠用。

①学校ですら学べなかったものを現場で習得する。／在现场学会在学校里都没能学到的东西。

△下例是すら插入である之间构成的。

①くたびれて、作業着のまま寝てしまいたいくらいですらあった。／累极了，真想不脱工作服就睡上一觉。

てちょうだい 〈补助动词〉

接动词连用形（音便形）后，在ガナバマ行后音变为てちょうだい。可后续よ、ね、な等，相当于命令形。主要是妇女儿童用语。相当于てください。

①一緒に行ってちょうだい。／请一起去吧。②ぼうや、まくらを持って来てちょうだい。／小子啊，把枕头拿过来。③まあまあ、よくいらっしゃって、さあさああがってちょうだい。／哟哟，欢迎您，快快，请进来。

△偶尔可见以サ变动词形式作自谦语，相当于～ていただく的一种用法。

①どうも遅くなりまして、大変待って頂戴しました。／实在太晚了，让您久等了。

「で」と「から」で和からの比较

1. 表示材料、原料。

①お母さんは毛糸で（※毛糸から）手袋を編んでくれました。／妈妈用毛线给我织了手套。②豆腐は大豆で（或から）作ります。／豆腐用大豆做。③ビデオは沢山の部品で（或から）できている。／录象机是由众多的零件组成的。

在例①中，“毛糸”是材料，织成“手袋”后，材料未经加工，形状和颜色都没变，因此只能用で，不能用から。但材料和产品之间距离较大

时，仍可用から，如“あんな古着からこんなすてきな服をつくるとはさすがだ。／用那旧衣服改做成这么漂亮的衣服，真有你的。”例②中，“大豆”做成“豆腐”后，原(材)料经过加工。此时二者都可用，用で有材料(手段)的意义，用から有原料(来源)的意义。例③里，“部品”是组成部分，此时二者都可用，但以用から为常。用で仍保留着作材料的含意，用から“构成”的含意较强。

## 2. 表示原因、理由。

①太郎君のお母さんは病気で(※から)寝ている。／太郎同学的母亲病倒了。②受験勉強で(※から)忙しい。／因升学复习很忙。③ちょっとした油断から(※で)大変なことになった。／由于小小的疏忽酿成大祸。④民衆の不満から(※で)暴動が起った。／由于民众的不满而发生了暴动。⑤過度の疲労から(或で)病気が再発した。／由于过度的疲劳疾病复发了。⑥地震から(或で)火災が発生した。／由于地震发生了水灾。

从以上例句可看出，客观性的原因要用で表示(例①、②)，心理上的主观原因要用から表示(例③、④)，当客观原因成为某种结果的发展起点时，から和で都可以用(例⑤、⑥)，但前者强调最初起因。

## てな 〈复合助词〉

というようなの省略。常用于引语后。

課長は採炭中の坑内員に向い、「災害防止に熱心なお医者さんがいらっしゃった」てなことをふれ回るので、ひどく恐縮したものである。／科长对正在采煤的井下作业人员一一介绍什么“热心防止灾害的大夫光临指导”，使我受宠若惊。

△口语也说ってな。通常只在拨音后才说てな。

## てない 〈补助形容词〉

1. ～である的否定形式，敬体为～てありません。表示某一主体(例句画线部分)仍处于没有按目的完成某一动作(画波浪线部分)的状态。

①A. このバケツには、水が入れてある。／这只水桶装着水。B. このバケツには、まだ水を入れてない。／这只水桶还没装水。②A. ポチには、えさを沢山やっています。／已经给花狗喂过许多食了。B.

ポチには、もう3日間、えさをやってありません。／已经三天没给花狗喂食了。③A. 気に入った食物を用意してある。／准备了满意的食物。B. 気に入った食物を用意しなかつたので、ブリブリおこり出した。／因为没准备满意的食物，闷闷不乐地生起气来。

2. ～てる的否定形式，敬体为～てません。是由～ていない、～ていません经元音脱落造成的。

①A. 時計はこわれて（い）る。／表坏了。B. 時計はまだこわれて（い）ない。／表还没坏。②食事はまだ出来て（い）ません。／饭还没做好。③君の言葉がまちがって（い）ないにしても、現実の社会はそんなものじゃない。／就算你的话没错，可现实社会并不是这样的。

### でない 〈助动词性词组〉

由判断助动词だ的连用形で和形式形容词ない组成，敬体形式是ではありません，实际上常用的形式是ではない，此外还有でもない、でしかない等。

#### 【活用】形容词型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
でない	○	でなかつでなく	でない	でない	でなけれ	○	でなかる

#### 1. 连用形。

1) でなかつ。后续た、たり等。

①彼はもともとこの方面の専門家ではなかつた。／他本来就不是这方面的专家。②場合によって、主語であつたりでなかつたりする。／看情况，有时是主语有时不是。

2) でなく。

(1) 用于中顿。

①先生、落書きをしたのは秋男でなく、僕です。／老师，乱画的不是秋男，是我。②お金でなく，信用が大切です。／重要的不是金钱，是信誉。③賛成するでもなく，無意識的に「はい」と言った。／并非由于赞成，是无意识地说了声“是”。



(2) 后续补助用言する、なる等。

①明日からは夏休みでなくなるよ。／明天起就不是暑假啦。②政治紛争はスポーツをスポーツでなくしてしまった。／政治 纠纷 使得体育不成其为体育了。

(3) 修饰后续用言。不常用。

①「私も見たいな」彼も冗談でなく言った。／“我也想看看”他也并非开玩笑地说道。②歌ならちゃんと調子外れでなく歌える。／歌满能唱出调儿来。

2. 终止形。

1) 单独或后续终助词结句。

①そういうこともないではない。／那样的事也并非没有。②ノー、そうでもないよ。／不,也不是那样。

2) 后续から、し、が、けれども等接续助词及らしい等助动词。

①本物ではないから買うのはよそう。／不是真货,不要买了吧。②取り締り役ではないが、その代わり役をしている。／不是董事,但是代行其职。③社会党は第一党ではないらしい。／社会党好象不是最大党。

3. 连体形。

1) 后续(形式)体言。

①大学卒でないものが発明ができないとは限らない。／未必不是大学毕业就搞不成发明。②人間でない犬に洒落着を着せるなんて全くいたずらだ。／狗又不是人,给它穿漂亮的衣服,简直是儿戏。

2) 后续ので、のに、のだ、ようだ等有体言成分的接续助词、助动词及ほど、だけ等副助词。

①私は本人でないので、返事はいたしかねます。／因为我不是本人,难以作答。②よく見ると鳥ではないようだ。／仔细一看,好象不是鸟。

4. 假定形。后续ば表示假定、并列等。

①それが原因でなければ、私は分らないというしかありません。／如果那不是原因,我就只能说不知道了。②社会主義でもなければ資本主義でもないという国家がある。／有的国家既不是社会主义,又不是资本

主义。③子供向きの本は、趣味はもちろん、安価なものでなければならぬ。／儿童读物固然要有趣味性，还必须便宜才行。

5. 推量形。后续う表示推测。通常情况下更多用でないだろう的形式。

①こういう星は既知の星ではなかろう（＝ではないだろう）と思われる。／看来，这种星体不属已知的星体。②女でもなかろうし，これは何という髪型だ。／又不是女的，这叫什么发型！

【接续】1. 接体言、体言性词组后。

①彼は学者で芸術家ではない。／他是学者而不是艺术家。②ただで済むぐらいのことでもない。／不是一件可以不了了之的事。③ロッキード事件につながるものは田中前首相だけではない。／和洛克希德事件有牵连的不只是田中前首相。

2. 接副词、格助词、副助词、て等接续助词等后，见だ项。

3. 接用言及助动词终止形或连体形加の后。形容动词（型活用词）后的でない一般看作其本身的活用词组。

①日本では，科学者を一番重要視しているのではない。／在日本，并不是最重视科学家。②ときには，例外もない（の）ではない。／有时，也不是没有例外。③有吉氏は，なつかしむでもなく，あこがれるでもなく，あくまでその世界を向こうに置いて眺めている。／有吉氏对他的（创作）领域始终是不怀恋，不追求，而是作为客观对象加以观察。

【意义】作だ和である的简体否定形式，兼有口语和书面语体。中间可插入は、も、しか等，含义有所不同。

1. 表示各种否定性判断。见以上例。

△常用ではない、でもない等形式。中间还可插入某些副词。

①気のきいた言い方をせよというのでは決してない。／这决不是说让你说出令人动听的话。②かって気ままなことをしゃべり散らしてよいということではもちろんない。／当然不是说可以信口开河。

2. 在具体文脉或场景中代替前导句或场景的“谓语部分”的否定。

①「お父さんがこれで絵を書かないといいお父さんだと先日誰かおっしゃったわ」「私じゃないよ」「私でもないわ」／“前些天不知谁

说过，如果爸爸不再画画儿了就是一位好爸爸。”“我没说。”“我也没说。”

3. 以ことでない、ものでない等形式表示禁止。

①いたずらばかりするものでないよ。／不要光淘气啊。

4. 以ではないか形式表示劝诱、发现、号召等。

①一緒に待とうじゃないか。／我们一起等吧。②悲しく泣いているではないか。／瞧，他伤心地哭了。

5. 构成でないから、でないの、でないが、でないのに、でないけれども等接续词，见“でない系”项。

でない系 ～ケイ 〈接续词系列〉 でない系列

由“だ系”派生而来。由だ的连用形で、ないの活用形、接续助词等构成。接续关系和“だ系”正相反。如でなければ和であれば、でなかったら和だったら对应，依此类推。主要形式有でなければ、でないと、でなかったら、でなくては。

1. 表示前后项间二者择一的选择关系。主要用でなければ。可用于句间或句中。

①「家にいる時は、何をしますか」まあ、大抵寝ていますな。でなければ散歩でもしますかな」／“在家的时候都干什么？”“怎么说呢。多半是在睡觉，不然，也许散散步什么的。”②原稿を書くとか，でなければ，読書をするとかして，大体11時ごろ寝床にはいる。／写写稿啦，要不读点儿书什么的，一般11点就寝。

2. 表示后项是前项判断的反证。各种形式都可以用。

①この猫はきっと悪疾持ちにちがいない。でなければあんなに脱毛するわけがない。／这只猫准是个有恶性疾病的。不然，不会那样脱毛的。②誤解しないでよ。私，あんたのためを考えて言ってるのよ。でなかったら，こんないいツボを教えるわけがないじゃないの。／别误解哟！我是为你着想才说的呀！要不然，我怎么会告诉你这么好的主意呢？③描写には，作家の郷愁が息づいているように見て取れる。でなくては，こんなに美しくは書けないと思う。／我们可以觉察到，描写中流露着作者的乡愁。否则，我想是写不这么美的。

3. 表示假定前项不成立，就会出现后项的消极或积极结果。主要用

でないと、でなかったら等。

①中学生は、親と対等の地位が与えられるべきです。でないと、彼らの自覚の芽は中途半端でつま取られてしまう。／初中生 应该得到与父母平等的地位。否则，他们的自主意识的幼芽便在尚未成熟时被摘除了。②僕が助けたからいいようなものの、でなかったら危なかったですよ。／敢情我救了他，否则就危险啦。③設備の悪いところで実験したから失敗したのだ。でなかったらあるいは成功したかもしれない。／是在设备不完善的地方做的实验，所以才失败的。不然的话可能成功。

### てにをは

也称てには。不同时期其含义不尽相同。てにをは最初产生于汉文训读中，古代日本人读解汉文时，汉文中没有的助词、助动词、活用词尾等用星点标在汉字的不同位置上。按左下左上右上右下的顺序分别表示助词テ、ニ、ヲ、ハ，其他也有其固定的位置。因此，当时的てにをは实际上是助词、助动词、活用词尾等日语特有词类的朦胧的称呼。从镰仓时代起其范围逐渐缩小，主要指助词、助动词，到明治时期大槻文彦只作助词的名称来用过，但后来不见有人继续使用。

てにをは集中反映了日语的粘着语性质。对于てにをは的观察和研究为后来的助词、助动词、活用乃至整个日语语法的研究开辟了广阔的前景。

### ての 〈复合词组〉

【接续】接动词及同型助动词连用形后。后续体言。

【意义】1. 表示后续体言存在、发生的时间。

①東京へ戻っての最初の宿泊先は、東中野のSの所だ。／返回东京后的最初住处，是东中野的S那里。②「僕のために忙しい時間を割いて、どうもありがとう」一緒に交差点に立って、信号が変わるのを待っての話だった。／“为了我在百忙中抽出时间来，谢谢你了。”这是我们一起站在交叉路口等信号时他说的话。③学職もあり，事に当たっての判断も凡庸ではない人物である。／是位既有学识，遇事的决断又不凡庸的人物。

2. 表示后续体言的性质、状态。



①交通の整理は被害者を代表しての願いであった。／整顿交通是代表着受害者的愿望。②一日中肌を刺すような寒風にさらされての行軍であった。／行军是在终日顶着刺骨寒风情况下进行的。

### 3. 表示后续名词所必需的前提、根据。

①法律に基づいての判決／基于法律的判决。②実験に立証されての法則／经实验证实的法則。③高校入試はそれこそ、自分という人間のすべてを動員しての大事業で、健康や体力のすべてを挙げての戦いです。／高中入学考试，正是需要动员出自己一切的大事，是需要倾注一切健康与体力的战斗。④命あつての物種（谚语）／有生命才有一切。

### 4. 表示造成后续事项（体言）的原因。

①途中、警察に寄った。別に目的があつてのことではなかった。／中途到警察署去了一下。并不是因为有什么目的才去的。②去年の秋、志賀先生を失つての気持のたかぶりがまだ収まっていない。／因去年秋天失去志賀先生而造成的情绪波动尚未平息。

### での 〈复合助词〉

【构成】由格助词で和の结合而成，接续法同で，接于体言或体言性词组。下接词多数为动作性体言。

【意义】1. 表示进行动作或出现状态的场所。

①川での水泳はプールでのそれより危険性がある。／在河里游泳比在游泳池里危险。②彼の学校での成績はあまりかんばしくなかった。／他在学校的学习成绩不太理想。

### 2. 表示进行某种行为、动作的手段、工具、方法。

①書物での勉強と実物での勉強とで、どちらがてきめんに効果が現れるだろうか。／用书本学习和用实物进行学习，哪一种方法立杆见影呢？②汽車での旅はよく疲れるものだ。／坐火车旅行是容易疲劳的。

### 3. 表示进行某种行为的伴随状态、规模。

①うちじゅうでの反対で、意志を曲げられた。／由于全家的反对，改变了主意。②この会社では、はれ着姿での出勤は許さない。／这家公司不许穿华丽服装上班。

△以上用法只和での表示地点、手段、方法、伴随状态等部分用法相对

应。

### 「で」の見分け方 デノミワケカタ での词类鉴别

这里只区分格助词で和助动词で（通常处理为だ的连用形）。

格助词で和助动词で都源于古日语にて，因にて既有陈述作用（助动词），又有格助词的作用，所以在现代日语中，两种中有时不易区分。有以下主要情况。

1. “これは～で，あれは～だ”形式中的で。山田孝雄认为这个で是格助词，理由有三：一是在体言后，二是它表示体言在句中的地位，三是它表示该体言和后句谓语之间的关系。桥本进吉也认为它是格助词，同时又指出で有两种，其一是作连用修饰语ので（格助词），其二是接体言后，具有陈述意义，作不结句的谓语，表示判断。松下大三郎认为这个で是助动词だ的连用形，で和だ分别作两个分句的谓语，表示判断。

格助词で和助动词での区别在于，前者构成连用修饰语，与谓语是修饰被修饰关系，后者具有陈述能力，构成并列的谓语，可用でして代替。上例中的で应该属于后者。再如，“彼女は永井藤作の三女で，夏子の妹だ／她是永井藤作的三女儿，夏子的妹妹”这句中，～で和～だ部分是并列的，分成两句则是“彼女は～三女だ。彼女は～妹だ”。稍复杂一点的情况是第二并列部分以用言作谓语时，如“この専門家は私の友人で，こけしをこよなく愛している／这位专家是我的朋友，特别喜欢‘小芥子’（一种偶人）。”其中的“～友人で”仍是并列的谓语。更复杂的情况是这种并列谓语的形式作连体修饰语时，如“私の友人で，こけしをこよなく愛している専門家がいます／有位专家是我的朋友，特别喜欢小芥子。”顺着以上思路，我们可以看出这种连体修饰语中的では助动词为好。

2. “三つでただの百円です／三个才一百日元”形式。这句中的“三つで”是“百円です”的数量基准，修饰“百円です”，是格助词。但如在句前加これは，就可能有两种情况：“これは三つで，ただの百円です／这是三个，才一百元”和“これは，三つでただの百円です／这，三个才一百元”，其中后者的是格助词，前者是助动词。在书面可靠标点区分，在口头可用语调、语气停顿来区分。

3. “昨晚は台風で一晩じゅうさわがしかった／昨晚台风闹腾了一夜”形式。这句的无法区分，这里为便于理解按格助词处理，表示原因。

但如句中有其他补助成分（如，以～で为谓语的主语、连用修饰语等）可以证明其是助动词时，还应看作助动词。

①ほんの少しの誤差がもとで失敗してしまった。／因为一点小小的误差而失败了。②五つになるかならぬかの柳は大福餅が楽しみで祖父を迎えに行ったりした。／快到五岁的柳儿盼着吃豆馅年糕，不时地去接爷爷。③いつも太郎で気の毒だから，たまには次郎にも行かせよう。／总是太郎（去），怪过意不去的，偶尔地也让次郎去去吧。

ては 〈接续助词〉

由接续助词て和提示助词は构成。在口语中常音便为ちゃ或じゃ。

【接续】同接续助词て。在ガナバマ行五段动词连用形音便形后要浊化为では（口语常为じゃ）。

【意义】1. 表示引起不如意的、消极的结果或结论的各种条件。

①雨に降られては大変だから走って帰ろうよ。／挨雨淋就糟了，我们跑着回去吧。②あわててはだめだ。落ちついてやるのだ。／不要慌。要做得沉着。③品質が悪くては，誰も買う気がしない。／质量不好就没人想买。④無断で入られては困る。／不打招呼就闯进来可不行。⑤こういう田舎にいては，何かと修業の妨げになる。／在这样的乡下，对学业会有种种影响。⑥優勝旗を奪われてはたまらまい。／被别人夺走优胜旗怎么受得了。⑦麒麟も老いては驚馬に劣る。（谚语）／骏马老后，不如驽马。⑧こうした身の上になっては，運命の下に項<sup>うなじ</sup>を屈めるより外はない。／既已沦落到这种地步，也只好向命运低头。⑨そうおだてられては断れないね。／这么一捧可真没法拒绝了。⑩お前が居ては，仕事のじゃまになる。／有你在，影响我的工作。

△还构成てはいけない、てはならない等词组，见各项。

△以上用法后项一般不能用过去式。

2. 表示（两个）动作行为的交替、重复、习惯性反复。一般用以下固定形式。

1) AではB形式。这是最基本形式。有两种情况。

(1)前项的条件每次出现,就必须有后项内容。

①日曜日ごとに町に行っては、映画を見た。／毎星期日上街必看电影。②匈奴は、隙を見ては南下して内地を襲った。／匈奴一有机会便寻机南下侵扰内地。③家の前に切口が板のように平たい<sup>けやき</sup>樺の根の切株があって、子供達や通る人達が腰をかけては重宝がっていた。／房前曾有个断面象板一样平的大山毛榉树的树墩儿,孩子们和过路人坐在上面,都很珍惜它。

(2)表示一组动作反复交替出现。

①光秀は幾度も眼をつぶっては、眼を開けた。／光秀多次把眼睛闭上又睁开。②<sup>りようし</sup>漁夫たちは浸水をいそがしく汲んでは舷からすてている／渔民们不断地把进水舀起来从船舷抛出去。③安じゅは泉の畔に立って、並木の松に隠れては又現われる弟の後影を小さくなるまで見送った。／安寿站在泉水边,目送着弟弟掩映在松树行间的背影远去。

2) AではB, AではB形式。强调重复次数多。

①雨は降ってはやみ,降ってはやむようにして,一日続いた。／雨下下停停,持续了一天。②おぼれた人が舷に手をあてがってはすべり,手をあてがってはすべりしていた。／落水的人把手扒在船帮上,滑了下去,又扒在船帮上,又滑了下去(就这样反复多次)。

3) AではB, BではA形式。表示两个动作行为多次反复交替。

①二人は母が恋しいと,言っては泣き,泣いては言う。／两个人说想妈妈,说过就哭,哭过又说。②受験生たちは書いては消し,消しては書いて答えている。／考生们写了又涂,涂了又写地在答卷。③この川の堤防は毎年築いては崩れ,崩れては築いている。／这条河的堤防每年修起来就冲坏,冲坏了又修。

4) 其他形式。如“AではB, CではB”、“AではB、CではD”等。这些形式常是借用反复的形式表述一个中心意思,如下例①意在“总找借口从娘家要东西”,例②表示“惊慌不知所措”。

①五節句だと言っては、里方から物を貰い、子供の七五三だと言っては、里方から子供に衣類を貰う。／不是逢年过节从娘家要东西,就



是借口孩子过节日从娘家给孩子要衣服。②蛇を見た弟子は、師匠の前を忘れて、立っては防ぎ、坐っては遂い、狭い部屋の中を逃げ惑いました。／徒弟见到蛇，忘了是在师傅面前，又是站起来挡，又是坐下来追，在小房间中东奔西窜。③私がうまく答えられないと言っては笑い、とんちんかんに答えたと言っては笑う。／（他）忽而说我回答得不好就笑起来，忽而说我回答得荒唐，又笑起来。

3. 对て的其他一些用法的提示、强调、对照。主要有：

1) 插在ている等形式之间加强否定语气。

①私は、心配で、仕事もしてはいられなかった。／我惦记得连工作也干不下去了。

2) 対にして、にとって、について等形式强调造成ては。

①中国としては核兵器の無条件放棄に賛成できない。／作为中国，不能赞成无条件销毁核武器。

3) 对前后两项て部分加以对照造成ては。

①神田へ行っては本を買い、銀座へ行っては帽子を買った。／到神田买了书，到银座买了帽子。

4) 对连用修饰语的限定造成ては。

①壁に沿うては、五十に余る本箱が、唯古びた桐の色を、一面に並べている。／沿着墙壁，有五十多个书箱，把那里用陈旧的梧桐色给占满了。

【参考】用法1 的て和は结合较紧密，口语中容易约音成ちゃ。3 是临时组合，一般不能约音成ちゃ，并且去掉は句子仍通。

てば 〈提示助词〉

同提示助词ってば，只用于末音是拨音的词后。

①お母さんてば私の言うことを一つも聞いてくれないんだから。／妈妈，我说的事你一件都不答应。

てば 〈终助词〉

同终助词ってば。てば有时用于末音是拨音的词，如“お母さんてば”。

では 〈接续助词〉

【构成】山田孝雄认为是格助词で和提示助词は的结合，汤泽幸吉郎等认为是助动词だ的连用形で和提示助词は的结合。总之，都看成临时结合的词组。实际上两种情况都有。

①働き手が一人では，暮しが難しいだろう。（助动词で+は）／一个劳力，生活困难吧？②この仕事は一人では完成が難しいだろう。（格助词で+は）／这项工作，一个人难以完成吧？

接动词和形容词活用连用形的ては与では在意念上相同。例如“三食ともパンを食べては飽きるだろう／三餐都吃面包会厌腻的”和“三食ともパン食では飽きるだろう／同上。”不过习惯上还是把ては看作一个词，而では由于接于体言后，一般看作两个词，其中只有は相当于接续助词部分。同时，考虑到搭配的固定性（常音便为じゃ）和意义上的谐调关系（联系ては，便于学习），完全可以作一个词处理，相当于格助词或接续助词或提示助词。

【接续】1. 接体言、体言性词组、副词性词组、形容动词词干后。见意义例。

2. 接用言及助动词连体形（形容动词除外）后。不常见。可看作のでは的省略形式。

①単に短大を卒業した（の）では，就職は難しい。／仅是短期大学毕业，就业很困难。②カナも読めない（の）では新聞が読めるはずがない。／连假名也不会读，不可能读懂报纸。

【意义】1. 表示造成不良、消极、否定后果的条件。

①あれが先生では，生徒も苦勞するだろう。／那样的人是老师，学生可够呛。②半分ぐらいでは足りない。／如果是一半儿左右可不够。③この仕事は雨天ではできません。／这件工作雨天做不了。④連絡が取れないのでは仕様がな。／联系不上，也就没办法了。⑤こんなに冷やかでは野菜が育つま。／这么冷，蔬菜不会生长。

2. 表示各种评价的依据。

①出発が10時では，あまり遅すぎる。／出发是10点的话，太晚了。②見たところではたやすく出来そう。／看去上好象很容易做成。

△下例的では是对格助词で（表示范围）的提示。

①同じ年代の学生でも、男と女とではかなりの差が出来ます。／即使同一年龄层的学生，男女有相当大的差别。

では 〈接续词〉

由だ的连用形，提示助词は构成。口语常音便为じゃ。郑重说法为それでは。

1. 承接前项，提出新话题和疑问。

①10月までいらっしゃるのでしょうか。では，村祭はご覧いただけますのね。／您是要待到10月的吧？那您就能看到我们的村祭活动了。②こんな方法でもことがすまないと言われている。では外にまたどんな方法があるだろうか。／据说即使这种方法也是无济于事的。那么，另外还有什么方法呢？③監獄法第26条には「……」とある。では実際はどうか。／监狱法第26条上说：“……”那么，实际上如何呢？

2. 用于谈话、段落开始或结束，以引起注意。

①分かりましたか。ではもう一度くり返します。／听懂了吗？好，我再重复一遍。②「分かりました」「では，話を先に進めましょう」／“听懂了。”“那么，我接着往下讲。”③では，要点を述べますから注意して聞いて下さい。／下面我讲一下要点，请注意听。④じゃ，明日また。／明天见！

【参考】用法1 有时用于句中，这时也可能以句子的前半部为逻辑上的前项。

①外国に住み，外国姓を名乗りながら，常に日本人だと言われてきた戦争孤児たちが，では日本のどこのだれだか分らないという不安は，想象以上のものがある。／这些战争孤儿，住在外国，姓外国姓，却又常被称为日本人。那么，是日本的何处的何人呢，又不知道。（孤儿们的）这种不安，实在是超出想象的。

⇒だ系（I）

ではないか 〈助动词性词组〉

【活用】では助动词だ的连用形、は是提示助词、ない是否定助动词、かは终助词。可以有ではありませんか（敬体）、ではあるまいか、ではなかろうか、ではないでしょうか等形态变化，语气文体等有细微区别。

口语中では部分常说成じゃ。

【接续】1. 接名词和ダ型活用词词干。

- ①ちがう。あしたは水よう日ではないか。／不对，明天不是星期三吗？②あなたも見ていたのではありませんか。／你当时不是也看了吗？③どうも空模様が変ではないか。／好象要变天啊。

2. ダ型以外の活用词的终止形。

- ①何だい，変なことを言うじゃないか。／怎么了，你怎么这样说话呢！②もう行こうじゃないか。／咱们该走了吧。③ちょうどいいじゃないですか。／不是正好么？④三つあったじゃないか。／不是有3个来着吗？

3. 接于副词、接续词等后。

- ①背中までぐっしょりじゃないか。／连背都湿透啦。②君の意思はつまりこうじゃないか。／你的意思就是这样吧？③怒ることはないよ。例えばじゃないか。／不必生气，我这不是打比方吗？

【意义】1. 以提醒、责备、诘问、反语的形式表示实际上的确认。

- ①この本，あんたも読んだことがあるんじゃないか。／这本书，你不是也读过吗？②これも興味ある問題ではあるまいか。／难道这不也是有趣的问题吗？③気を付けろい。危ないじゃないか。／注意！危险！④また悪いことをしたのか。もう決してしないと約束したではないか。／又做了坏事？不是保证再也不做了吗？

2. 以～（よ）うではないか形式表示劝诱、号召。详见该项。

- ①そんなに心配なら，一つ，かけをしようじゃないか。／你这么不放心，咱们打个赌好了。

3. 表示推测或想象。

- ①観衆の涙は，映画の筋に共鳴したことの現われではないか，と思う。／我想，观众的眼泪不就是对电影的情节产生了共鸣的表现吗？②劉さんは日本人ではないかと思われるほど日本語が上手です。／刘君日语很好，令人怀疑他是不是日本人。③それは社会全体についても，同じように考えられてよいのではないか。／这一点，对整个社会来说亦可作如是观。



## 4. 以惊叹语气表示发现。

①奥へ声をかけようとする、驚いたことに繁一が血相を変えて奥から走り出てくるではないか。／刚想朝里面喊，令人吃惊的是，繁一大惊失色从里面往外跑。②拾おうとすると、帽子は上手に僕の手からぬけ出して、ところどころ二、三間先にころがっていくではありませんか。／刚想拾起来，帽子竟然巧妙地从我手中溜掉了，骨碌骨碌地滚到前面四五米远的地方。

てほしい 〈补助形容词〉

接于动词、动词型助动词之后。

1. 表示内心里期待（非主动）对方做出说者所希望的动作。接于表示被请求者（通常为对方，即听者）的动词的动词后。

①とにかくすぐ来てほしい。／总之是希望你马上就来。②捜査当局は何よりもまずその責任を痛感してほしい。／希望调查当局首先痛感到自己的责任。③そう思わないでほしいです。／希望不要那样想。④自分の詩がこの人々に分ってほしくないような気がした。／心里觉得不想让这些入理解自己的诗。⑤早く帰ってほしいとうちの息子に言って下さい。／请转告我家的儿子，要他快回来。

△～ないでほしい（上例③）仅仅是因为期待的内容本身是否定的，而～てほしくない（例④）则是连这种期待也没有。

2. 接表示自然现象或某种状态的词语后，表示这是希望发生或存在的。

①雨が降ってほしいな。／真希望能下雨啊！②そして、できればまだ友人でいてほしいと頼んだ。／另外，还要求如果可能的话希望仍保持朋友关系。③牟田刑事官は、心情的には柏原が白であってほしいと思った。／牟田侦探长在心情上希望柏原是无罪的。

△此外，ほしい另有独立的形容词用法。一般用～は～がほしい形式表示第一人称的希望、愿望。“ほしいと思う”和“ほしく思う”前也可用を。

①私は時計がほしい。／我想要手表。②仕事をほしく思う。／希望得到工作。

## てまえ（手前） 〈形式名词〉

除一般名词用法和代词用法（一、二人称）外，还有下列用法。

## 1. 形式名词用法。表示面子上的原因。

①いかに物分りのいい老人でも世間の手前娘の不埒<sup>ふらち</sup>を許しては置けないであろう。／无论怎么通情达理的老人，由于在社会上的面子，恐怕都容不得女儿的放荡。②別段用事がないと言った手前，今更断わるわけにもいかなかった。／已经说了“也没什么事”，碍于面子，就不好到现在又拒绝了。

## 2. 以“その手前”形式作接续词，意义同上。看作副词亦可。

①弟がそばに寄っているから，その手前，彼は泣きたいのを我慢してこらえていた。／由于弟弟在旁边，所以，他竭力忍着不哭。②その時私はいかにも昔のままの友情を今も変りなく持っているという顔付や態度を殊更に，彼に示して見せていた。その手前，今も彼にそっ気なく応対する事が出来そうもなかった。／当时我特地向他表现出一种友谊仍一如既往的表情和态度。顾及到这一点，现在就不能很冷淡地对待他。

## てみる 〈补助动词〉

【接续・活用】接于动词或动词性词组的连用形（音便形）后。属一段动词活用。

【意义】1. 在表示试做意义的同时，みる还或多或少保留着用眼睛“看”的意义。みる介于实义动词和补助动词之间。

①さあ，行ってみようか。／我说，咱们去看看啊。②君の手紙を見て，ぜひ君に会ってみたくなった。／看了你的信，我非常想见一见你。③朝庭に出てみると，雪が厚くふりつもっていた。／早晨到院子里一看，就有厚厚的积雪。

2. 接于意志动词后构成动词的试做体，表示动作主体为自己而做的试探性的动作行为。

①ちょっと薬の匂を嗅いてみた。／试着嗅了一下药品的气味儿。②彼の話を聞いてみる気があった。／曾有意听一听他的意见。③自分でやってみないで人にやらせる。／自己不去做，让别人做。④失敗してもかまいませんから試<sup>ため</sup>して見ましょうか。／失败了也不要紧的，试一试好吗？

⑤人には添ってみよ，馬には乗ってみよ。(谚语) / 人怕习，马怕骑。

3. 以某些惯用形式表示意志、决心。

①池内という男には俺が会ってみよう。/ 池内这个人，我去见见他。  
②どうしても旅行してみたいなあ。/ 我实在是想搞一次旅游。③「資本論」を研究してみることにしたのは，高校二年の時でした。/ 下决心要把《资本论》研究一番，是在高2的时候。

4. 以てみると、てみれば、てみたら等形式接于非意志动词后，表示等到前项出现时才发生后项事实。

①朝になってみたら，熱はさがっていた。/ 到早晨一看，已经退热了。②「気持でも悪いの？」そう言われてみると，確かに，額には冷や汗がにじんでいる。/ “不舒服吗？”经这么说才发现额头上真的渗出了冷汗。③朝顔を植えたが，咲いてみると白いのしか生えなかった。/ 种了牵牛花，等到一开，原来只种出了白的。④さあな。事件が起ってみなければ私たち警官には何ともいえない。/ 是啊，只要没有真的发生案件，我们警察就不好说什么。

5. てみれば形式还表示观察问题的立场、角度。①夫婦であってみれば，ちょっと口喧嘩などしてもすぐ仲直りするものだ。/ 做了夫妻后，吵两句嘴巴会马上和好的。②演技者にしてみれば，手品の秘密を暴かれたようなものだ。/ 对表演者来说，就好比魔术师被揭穿了戏法的秘密一样。

6. 以てみろ、てみたまえ形式表示假说。即：命令对方或自己站在假定发生了这种状态的立场上来看问题，在后项引出予想的结论。通常接非意志动词和意志动词的被动态之后的较多。三上章认为是～たとしてみろ的省略形式。

①俺が死んでみろ。お前たちはどうなる。/ 我真的死了，你们怎么办！②これが旨く行ってみろ，赤字一ぺんに解消だぜ。/ 如果这办法可行，赤字就一笔勾销啦！③下手にさわいでにらまれてみろ，すべてがおしまいだぞ。/ 要是瞎吵吵让人注意到了，那就全完啦。④そんな事を大声で言っではいかん。もし巡査にでも聞かれてみろ，大変なことになるよ。/ 那话不能大声说。一旦让警察听到了，可不得了啊。⑤「もう半月たっ

て見給え、立派な軍艦が出来上がってしま<sup>しま</sup>うから。だけどたった一発、彼処<sup>あそこ</sup>に水雷をくって見給え、あの大きな艦も、人間も、皆海の底へ沈んでしま<sup>しま</sup>うんだからね。」／“再过半个月，漂亮的军舰就造成啦。可是，假如那地方吃了一枚水雷，大舰和人都会沉到海底去呢！”

7. てみる形式还能表示警告，主要用于吵架之类。接意志动词。

①もう一ぺん言ってみろ。／你再说一句！②やれるならやってみろ。／你能耐，你来试试啊。③私に手が触れられるものなら触れてみる。／敢碰我你就碰一下试试。

【参考】1. てみる构成动词的一种体即用法②

2. 松尾捨治郎称之为“経験態”，佐久间称之为“嘗試態”、樗垣实称之为“試験態”。国内有人叫试做体。但，以上名称都没有概括上述全部用法。

3. てみる的敬语形式有两种，例：お読みになってみませんか。或読んでごらんになりませんか。／您要不要读一读。

ても 〈接续助词〉

由接续助词て和提示助词も结合而成的逆态接续助词。

【接续】接动词、形容词及同型助动词连用形后。在サ行外的五段动词后要接音便形，其中，在ガナバマ行五段动词后音便为でも。在形容词后常音便为っても。

①真理のために死んでも後悔することはない。／为真理死而无憾。

②苦しくっても我慢した。／痛苦也忍受了。

“見てても知らぬふりをする／知道却佯装不知”中的ても不是接于“見て”后，而是“見ていても”的省略形式。

名词、形容动词（词干）后要用でも，见另项。

“目がねなどかけないでも，何とか読める／不戴眼镜也能对付读”中的でも应该看作ても的浊化，与なくても的ても相同。

【意义】1. 表示后项的成立不受前项的约束。

①恐らく今行っても間に合わないだろう。／恐怕即使现在去也来不及了。②岩はいくら大きくても山ではない。／岩石再大也不是山。③雨は朝になっても収まらなかった。／雨到了早晨仍没停。④ずいぶん日が



のびたと見えて、六時になってもまだ明るい。／看来天长了许多，到了六点天还亮着。⑤苦しくても音をあげるものがない。／艰苦却无人叫苦。⑥自分たちが学問を修めることができても，国が滅びてはなにもならない。／即使自己的学业修成，国家灭亡仍将一事无成。⑦獨学者は，誰だって教科書の説明を読んでも，参考書を見ても納得できない時がある。／所有自学者都会有看教科书的说明、看参考书还是弄不懂的时候。⑧行っても行っても着かない。／干走也不到。

## 2. 表示两种不同情况的对照、常用～ても～ない形式。

①彼は酒を飲んでも，たばこはすわない。／他尽管喝酒却不抽烟。②日本語では，「いい腕を持っている」とは言っても，「いい頭を持っている」とは言わない。／日语说“有着好本领”，却不说“有着好脑筋”。③飢饉や天災のない年はあっても，匈奴との鬭いのない年はなかった。（井上靖）／纵有无饥饉与灾荒之年，绝无与匈奴无战事之年。

## 3. 以正反并列形式表示后项的成立不受前项所列的任何条件的限制。

①サボテンは水があってもなくても一向に枯れない。／仙人掌无论有没有水，从不会枯萎。②出席してもしなくてもよい。／出不出席都行。

## 4. 表示例示性条件。即仅此条件也足够引起后项的结果。

①見つめていても目がくらむ。／看着都眼晕。②高が一尺<sup>しほう</sup>四方の面積だ。猫の前足で掻き散らしても滅茶苦茶になる。／不过一尺见方的面积。只要猫用前爪子一挠扒都能挠乱了。③このことは，彼の人の扱い方を見ても分ります。／这一点，看一下他如何对待人也就清楚了。④世の中は進んでいる。参考書一つ手に取っても，実に豪華に出来ている。／社会进步了。就拿一本参考书看看，也印制得十分精美。⑤そんなこと，考えても罪。／那种事，想一想都是罪过。

## 5. 表示承认前项中的总体看法的同时，在后项引出部分否定或限制保留性内容。常用といっても等形式。

①一口に勉強法と言っても，誰も全く同じわけではありません。／都笼统地叫学习方法，可每个人不尽相同。②食塩や砂糖が水に溶けると

いっても、いくらでも沢山溶けるわけではない。／虽说食盐、白糖溶于水，但并不是说能无限地溶解。③この地方の山の高さは、高くてもせいぜい4千メートルぐらいです。／这个地区山的高度，高也不过4千米左右。④いくら寒くてもせいぜい2度ぐらいで、それ以下になることはありません。／即使再冷2度也就到头儿了，不会再下降。

#### 7. 构成副词、接续词、助动词性词组等。

①何としても入手したい。／无论如何也要弄到。②相手がどうしても納得がいけない。／对方怎么着也想不开。③80点取った。それにしても叱られた。／得了80分，可还是挨了批评。④今日からいつ来てもかまいません。／从今天起，可以随时来。⑤私，帰ってもいい？／我回去也行吗？

【参考】1. 关于假定、既定和恒定条件。ても只是把逆态关系显示出来，至于条件类别，主要是意念关系的派生，因此常是相对的。如“かぜをひいても，学校を休まない／即使感冒也不缺课”是恒定条件，“かぜ～なかった”则是既定条件，“たとえ，かぜ～ない”是假定条件。

2. 有时ても是て和もの临时组合，不如上述ても结合紧密。も只是附加强调的气氛，去掉后句意仍成立。如“先生のところに一度行ってもみたいが，ただぶらりと出かけるわけにもいかないし。／很想到老师那儿去看看，可是空着手也不能去啊。”

でも 〈提示助词〉

【接续】1. 接体言及副助词等构成的体言性词组后。

①勉強でもしたらいいのに。／学习学习该多好。②そんなことは誰でもできる。／那样的事谁都会。③親の言うことでも，正しくないと思えば従わなくてもよい。／即使是父母说的话，认为不正确也可以不听从。④簡単なコンピューターなら，小学生ぐらいでも使える。／简单的电子计算机，连小学生也能用。⑤命が助かっただけでも，奇跡ですよ。／光是保住了性命也是奇迹啊。⑥お茶やらコーヒーでも飲もうか。／喝点茶啦、咖啡什么的吧。⑦悪いことなんかでも仕でかしちゃ大変なことになるぞ。／万一干出什么坏事儿来可就坏啦。

#### 2. 接副词后。

①猫が少しでも<sup>そば</sup>側に来ると犬が吠える。／猫稍稍一靠近，狗就叫。

②その頃は世間が不景気だったせい<sup>あきま</sup>か、空間はいくらでもあった。／那时，也许是由于世道不景气，空房间多得是。

3. 接格助词后。但接が和を后时，が和を要省略。

①これは専門の学者にでも，簡単に解ける問題ではない。／这是个即使专业研究人员也不能轻易解决的问题。②山の姿は，私の立っている所からでも，はっきり見えた。／山的景致即使从我站着的地方也能看得很清楚。③私が隠しているとでも思っているのか。／你莫非认为我藏起来了？④公園の中には，どこへでも移せる椅子が二脚あります。／公园里有两把可以四处移动的椅子。

4. 接接续助词て、ながら等。

①殆どの生徒は，テレビを見ながらも勉強できる。／绝大部分学生看着电视也能学习。②電圧が非常に高いと，気体を通してでも電流が流れる。これを放電という。／当电压非常高时，电流即使通过气体也能传导。称之为放电。

5. 插入サ变词干和词尾、词组以及用言活用形和补助成分之间。

①負けでもすると大変だから。／输了还得了。②気味が悪いわ。これ，爆発でもするんじゃないかしら。／我怪害怕的。这东西，能不能爆炸啊？③ぐずぐずして遅くでもなったら，それこそ大変だ。／慢慢腾腾的，万一晚了，那可真糟糕。④もっと便利にでもなったら，気軽に来られるでしょうに。／如果能再方便一点儿么，你随时就可以来的。⑤叱られてもしただらう。／大概是挨训了吧？⑥あれは寛政の頃でもあっただらうか。／那大概就是宽政年间的事吧。⑦ちょっと見せてでももらえませんか。／能不能让我看一眼？

【意义】 1. 表示某个方面和其他情况一样，并不例外。

①気体でも電圧を高くすれば，その気体に電気を流すことができる。／即便气体，如果把电压加高，就可以把电流通到这气体里。②法夫は，家でも，学校でも，遊びの場所に思い込んでいる。／法夫把家和学校都当成了游乐的场所。③今からでも遅くないでしょう。／现在开始也不晚吧。

2. 表示极端的例子。

## 1) 以程度低的为例, 暗示一般情况更不例外。

①仮名ぐらいいは子供でも知っている。／假名什么的连小孩儿都懂得。②テストが存在する以上は、一点でも多く点をかせようという気持は当然でしょう。／只要存在考试，希望尽量多得一分的心情是理所当然的。③私達の国の中に、一人でも貧乏で苦しむ者があってはならない。／在我们国家，不应该有哪怕一个因穷困而受苦的人。④私が五分でも遅れると彼女はひどく怒る。／我哪怕晚五分钟她就大发脾气。⑤少しでも油断したら、まき込まれてしまいますよ。／稍有不慎，你就会被卷（牵连）进去的啊。

## 2) 以程度高的为例暗示一般情况更不例外。

①先生にでも読めない漢字が試問に出た。／试题里出了连老师也不会读的汉字。②立っている者は親でも使え。(谚语) 有急事时谁都可以使唤。③彼はすもうさんとでも勝負できる強力だ。／他力气大，甚至可以和相扑运动员比高低。④私はこじきをしてでも京都にとどまるつもりだ。／我打算即使行乞也留在京都。⑤知事は、テレビ局から声がかかると、どんなに早朝でも、あるいは深夜でも、またときには重要な会議を中座してでも出かけていく。／知事一旦电视台有请，无论大清早，还是深夜，甚至有时中途离开重要会议也要赶去。

3. 举出作大体标准的例子, 以暗示不拘泥于此, 其他类似例子也可。常常只起一种避免生硬语气和主观性过强, 使表达更委婉的作用。后续用言多为表示意志、许可、可能、希望、比喻的。

①お茶でも飲みながら話し合いましょう。／咱们边喝茶边聊吧。②何か面白い話でもありそうです。／象有什么趣闻似的。③日曜日にでもいいから先生の病気見舞に行きましょう。／趁星期天也行, 我们去探望老师吧。④本書の記述が、いくらかでもこの面の研究に役立てば大変さいわいである。／本书所描述的如能对这方面的研究有所裨益, 作者甚感欣慰。⑤変なことを言うね。気でも違ったんじゃないか。／你这是什么话。疯了怎么? ⑥馬は油でも塗ったように汗で濡れている。／马就象涂了层油似的, 汗淋淋的。⑦太郎は褒美でももらったようににこにこしている。／太郎笑咪咪的, 就象得了奖似的。



#### 4. 接于疑问词（组）后，表示全面肯定。

- ①どれでもお好きなのをお取り下さい。／请您喜欢哪个就拿哪个。  
 ②名人となると誰でも尊敬する。／一成为名人，谁都会尊敬他。③何でも出来る人を何でも屋という。／把什么都会的人称为“万事通”。④どうにでも勝手にしておけ。／管他怎样，随他去吧。⑤どこへでもあんたについて行くわ。／无论到哪儿我都跟随你。⑥桜井は，好奇心が強く，何にでも首をつっこみたがる男だった。／樱井是个好奇心强、遇事都想试一试的人。

【参考】由助动词だ的连用形与助词も结合而成。主要是提示助词性用法。此外，还有接续助词でも和临时组合成的でも，详见接续助词“でも”和“「でも」の見分け方”项。

#### でも 〈接续助词〉

【构成】山田孝雄认为是格助词で和接续助词もの结合，汤泽幸吉郎等人认为是判断助动词だ的连用形で和接续助词もの结合。两人都认为でも是接续助词性质的。因口语体も已不作接续助词，因此这里把でも当做一个整体，即接续助词。为便于理解，看做であつても的省略也无妨。

#### 【接续】1. 接体言。

- ①行くつもりでも，行かせないだろう。／想去也不会让去吧？

#### 2. 接副词后。

- ①向こうはどうでも，こちらは後退しない。／不管对方怎样，我们不让步。

#### 3. 接形容动词词干后。

- ①いくら好きでも控え目に食べなければ腹をこわしてしまう。／再喜欢，不节制点儿吃就会坏肚子。②一見出来そうでも，やってみると全然できない場合も多い。／有很多时候，乍看好象会，可做起来一点儿也不会。

【意义】语法地位和接续助词でも基本相同，但用法比でも要少。总的意思是表示后项内容的成立不受前项内容的约束。

#### 1. 假定的逆态关系。

- ①明日の運動会は雨天でも決行します。／明天的运动会即使下雨

也要举行。②彼が欠席でも私は必ず出席します。／即使他缺席我定要出席。

## 2. 既定的逆态关系。

①今日は日曜日でも、私は朝早く起きました。／尽管今天是星期日，我还是一早就起来了。②値段が千円でも、必要だから一つ買っておい。／虽然价钱是一千日元，因为需要，就买了一个。③米は重要な食品でも、それだけでは生きていけない。／大米虽然是主要食品，但是光靠它无法活下去。

## 3. 恒定的逆接关系。

①山椒は小粒でも辛い。(谚语)／身小才大不可侮。②記述がどんなに厳密でも、例外はあるものだ。／无论论述得多么严密，例外总还是有的。

でも 〈接续词〉

由だ的连用形、提示助词も构成。只用于口语。

1. 表示后项结果与根据前项所做的予想或前项的可能的结果相反。多可用それでも代替。

①学ぶだけ学んでおいたが、でも活用しようとする物足りない感じがする。／能学到的都学了，可一旦要实用时犹感不足。②受験勉強はあまり熱心にしなかった。でも進学できて一安心した。／没怎么用心地做考前准备，不过能升上学，我也算松了一口气。③ずいぶん叱った。でも一人としてヘソを曲げる者はいない。／好一顿批评他们，但是没有一个人闹别扭的。

2. 肯定前项，又在后项做部分保留性的疑问、补充。不能用それでも代替。

①よかったわね。でも、あの二人が、しかえしに来ないかしら？／这下没事儿了。可是，那两个人会不会来报复呢？②うん。ぼくも、いまそれに気がついたんだ。でも、けものなき声ではないみたいだね。／嗯，我刚才也听到了。不过好象不是野兽的叫声。③停事中は見物できるから退屈はしないわ。でもね、発車時間に乗り遅れたりしてはだめよ。／停车时间可以参观，所以不会厌倦的。不过赶不上发车时间可不行啊。

3. 对对方的话表示反对、辩解。多可用だって代替。

- ①「これは大したものじゃありません」「でも、随分骨が折れたものでしょう」／“这不是什么大不了的東西。”“但是可能下了不少工夫。”  
 ②「あまり面白くない本だね」「でも、ぼくは何度も読んだ」／“不是怎么有意思的书。”“可我还是读了多遍。”③「満足のいくタイムではなかった」「でも、優勝できたのだからいいじゃないか」／“成绩（时间）不能令人满意。”“但是得了冠军，就可以了嘛。”

#### 4. 用于句中表示对照性并列。

- ①いたずらばかりして、でも頭が悪くないような生徒には困っている。／对只管淘气而脑袋又不笨的学生很挠头。

#### ⇒だ系（Ⅱ）

#### でもって 〈格助词性词组〉

由格助词で、动词“持つ”的连用形音便形、接续助词て构成。

【接续】接体言、体言性词语后。要与接于形容动词连用形后的もって加以区别。

【意义】での强调说法，有时有“主动利用、积极地意识着、以”之类的语感。只与での部分用法重合。主要用于文章。主要用法如下。

#### 1. 表示手段或材料。一般可用をもって代替。

- ①お酒や料理でもって迎える。／酒菜相迎。②私は鯉を洗面器に入れた。そしてその上を無花果の葉<sup>いちじく</sup>でもって覆った。／我把鲤鱼放在盆里，然后在上面用无花果的叶子蒙上。③その物語りは、それ自身の力でもって生き始め、展開している。／这个故事以其自身的力量而发生，而发展。

#### 2. 表示原因、理由、根据等。一般相当于によって。

- ①近所の義理でもって、入りたくない婦人まで加入させられてしまった。／出于为邻之义，连不想加入的妇女也加入了。②関係事項は本庁の通達でもって執行する。／有关事项的执行，以本厅的通知为准。

#### 3. 表示场所或范围。

- ①世界でもって一番目の軍備大国はどこの国だろうか。／全世界头号军事大国是哪个国家？②私が此处でもって、こんなに満足しているのが、あなたにはお分りにならないの。／我在此处是如此满足，这您不知

道么？

4. 表示数量或时间的界限。

①40人でもって一組とする。／以40人为一组。②募集は来る3日でもって締め切る。／征集截止下月3日。

5. 表示动作进行时的状态。

①大学を首席でもって卒業した。／以第一名的成绩大学毕业。②いろいろな業績でもって一生を終えた。／以诸多业绩终其一生。

【参考】1. 个别时候有连体用法。

①最新武器でもっての攻撃／动用最新武器的进攻。

2. 下例是助动词で和词组もっての复合，起并列作用。

①美人でもって頭がいいときている。／不仅漂亮而且聪明。

「でも」の見分け方 デモノミワケカタ での词类鉴别

1. 提示助词和接续助词でも。二者有时无法区别。大致有以下倾向。

1) 明显是提示助词的，可用格助词替换。

①僕たちはいい音楽でも（←を）聞いているよううっとりした気持だった。／我们心荡神驰，如同听着优美的音乐。

2) 明显是接续助词的，出现于主谓结构后。

①試験点数は60点でも，知識を活用する力は100点にも勝る。／虽然考试成绩是60分，但是运用知识的能力超过100分。

2. 其他。

1) 格助词で和もの重合。

①鉛筆のほかに，ペンでも書けます。／除了铅笔，还可以用钢笔写。②多くの植物の種子は，固く包まれた種皮の中で，酸素が不足している状態でも発芽できる。／许多植物的种子，在紧紧包裹的种皮里，在氧气不足的情况下也能发芽。

2) 判断助动词だ的连用形后续も。

①そうでもありません。／也不是那样。

3) 形容动词连用形后续も。

①賑やかでもない町である。／是个不太繁华的集镇。

4) 接续词。位于句首或句节后。



①家計はたしかに苦しい。でも、他人には迷惑をかけたくない。／家境确实很苦，但是不愿给别人添麻烦。

5) 接续助词て的浊音化和もの重合。

①子供たちがいくら騒いでも叱らない。／无论孩子怎么吵闹也不批评。

3. 下例中的でも既可以是接续助词，又可以看作格助词で和提示助词もの重合。对意义的理解无影响。

①かなり大きなもので、狭くなった口のところでも、直径20センチはあったでしょう。／是个很大的东西，收口处的直径至少有20厘米。

てやまない 〈补助用言〉

也用てやまぬ、てやみません形式。接动词连用形后。

1. 表示希望、惊叹等的程度，由汉文“不已”的训读发展而来。

①民族の永遠を祈ってやまぬ熱い思い。／对民族之永存期望不已的热切心情。②貴社の隆盛を願ってやみません。／衷心希望贵公司繁荣昌盛。

2. “やむ”的实义用法，表示“不停息”。

①古代よりの、他者主体の思想を、滔々として脈うたしめてやまぬ、わが日本語の「資性」は……。／令以他人为中心的思想，如滔滔之水，生生不息，我们日语的这一古已有之的“禀性”是……。

てやる 〈补助动词〉

属五段活用动词，接动词及动词型活用词的连用形后，做授受关系的补助动词用。

1. 表示为他人做某种行为动作。针对的对象一般是同辈、晚辈或动植物，可用～に表示。松下大三郎称这一用法为“自行他利态”。

①私は弟に写真を取ってやった。／我给弟弟照了相。②友達に「少年少女文庫」を貸してやれば喜ぶだろう。／把《少年少女文库》借给朋友，(他)一定会高兴的。③巡査がやってきて、彼を助けてやった。／警察赶来，把他救了。④犬はかわいがってやれば、よくなつくものだ。／狗你如果喜欢它，它就愿意跟你。⑤遅れたら、承知してやらないよ。／要是迟到，我不饶你。

△针对的对象应是说者一方以外的人。如上例③，说者是站在“巡查”的角度说的。假如“彼”是说者的朋友等，或者说者站在“彼”的立场上，就要说～てくれた。

## 2. 表示对他人带来某种不利、损害，或进行发泄。

①あまりにくらしいから，少しからかってやった。／实在太可恶，便嘲讽了他几句。②（彼に）怒鳴りつけてやったらうんともすんともしなかった。／冲他发了一通火，结果他一声也没吭。③殺してやれ！／杀了他！④余り腹が立ったから，余<sup>よ</sup>っ程<sup>ほど</sup>怒鳴りつけてみてやりたかったんだけど。／太生气了，真想痛痛快快地骂他一通。

## 3. 本来是没有针对性的动作，在发牢骚时等，也可借用此形式。

①「嘘をついてはいかん」「嘘なんかついてやるもんか」／“撒谎可不行啊。”“我干嘛要给你撒谎！”②私の言うのを聞いてくれないなら，自殺してやる。／若是不听我的，我就自杀给你看。③「どこへ行った？」「変に疲れちゃって頭がぼんやりしているから，むやみと歩いてやった。／“到哪儿去了？”“特别地疲劳，脑袋混混浆浆的，乱走了一气。”

## 4. 无特定谈话对象，主语（不出现）和说者一致时，表示强烈的意志，决心。

①あんな大学，きっとパスしてやる。／那样的大学，我非考上它不可！②資本などはどうでもいいから，これを学費にして，勉強してやる。／什么本钱根本算不了一回事儿。我把这（钱）作学费，学他一番！

## 5. 表示强迫或放任。

①豚を柵の中に追いこんでやった。／把猪赶进猪圈里了。②太郎が海辺で亀を助けて，逃がしてやった。／太郎在海边帮助海龟逃跑了。

△敬语形式有～てあげる，～てさしあげる。～てつかわす，见各项。

てやる如用于同辈之间语气粗鲁。

てよ（でよ） 〈终助词〉

终助词て（で）和よ的结合。接动词连用形（音便形）后。女性用语。

## 1. 表示命令、要求。

①じれったいわね。早速捜してよ。／急死我了，快给我找啊。②お医者さんと呼んでよ。けが人ですわ。／叫医生啊，有受伤的。③早くいらっしゃってよ。皆お待ちしてますよ。／快点儿来啊，大家等着呢。

## 2. 表示主张、告知。

①あの人なら誰だって知ってよ。／那个人谁都认识他。③もしかしたら，それは私のせいかもしれなくてよ。／说不定，那本是我的过错呢。③綾子さん，お手紙来てよ。／綾子，你来信了。

てよこす（て寄越す） 〈补助动词〉

由接续助词て、动词よこす组成。

【接续】接意志动词中可以带方向性的动词的连用形（音便形）后。

【意义】表示动作行为朝向自己一方，并将目的物或结果物传输给自己一方。

①皆に投げキスをしててよこした。／（他）朝大家送来了个飞吻。②その奇妙な音楽は，どこからか，彼に与えてよこす指令らしいのです。／那奇怪的音乐好象是从某个地方发给他的指令。③誕生日に，父が東京から送ってよこした贈物です。／这是生日里爸爸从东京给我寄来的礼物。④会社を休むと，赤塚さんから電話をかけてよこした。／我没到公司上班，赤冢先生就打来了电话。⑤その本を取っておよこし（なさい）。／把那里那本书递给我。

てらっしゃる 〈补助动词〉

ていらっしゃる经元音い脱落而成。接动词连用形后。属特殊五段活用。

【意义】和ていらっしゃる相同。用于无拘束的会话。ている的尊敬语。

①お父さんは，どんな仕事をしてらっしゃいますか。／你父亲做什么工作？②待ってらっしゃる方はどなたですか。／是哪一位在等着（我）？③向こうが何を言っただって，我慢してらっしゃい。／不管对方说什么，请你忍耐。

てる（でる） 〈补助动词〉

是由ている的元音い脱落造成的，但其词性较难确定。从词源上看等于ている，但日语中没有单音节动词。所以，岩井良雄等以及国立国语研

究所编《現代日本語の助詞・助動詞》等都把てる看作独立的助动词。

【接续】接动词连用形（音便形）后。

【活用】一下段活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
てる	て	て	てる	てる	てれ てりゃ	てろ	て

1. 未然形。后续られる、させる、ない等。主要后续ない。

①見ると、誰も来てない。／一看，还谁都没来。

2. 连用形。后续て、た、たり、ます、なさる等。

①あのねえ、母さんたら、今日もお豆煮てます。／你瞧，我妈呀，今天还在煮豆呢。②ちょっと待ってなさい。／稍等一下。③お前はさっきから起きてて、おれたちの話を聞いてたのか。／你从刚才就一直醒着听我们说话来着吗？

3. 终止形。直接或后续终助词结句。

①あたりを見ると不思議に野菊が繁ってる。／环顾四周是一片繁茂的野菊花，令人不解。②中は相当こんでるな。／里面很拥挤吧？

4. 连体形。后续体言、ようだ、ので、のに、ものだ等。后续词以ナ行音开头时有时用てん形式、以カ、タ行音开头时有时用てっ形式。

①冗談言っちゃいけない。千賀子の一生は生きてれば生きてるほどきれいだよ。／不要开玩笑。千贺子的一生可是越活越纯洁的呀。②何言ってん（＝てる）の。英治さん、離してよ。／说的是什么呀！英治先生，放开我！③まるであばれ馬に乗ってるようだ。／仿佛是骑在一匹烈马上。

5. 假定形。后续ば表示假定。见上例①。てれば又可约音为てりゃ。

①こうして稼いでりゃあそれで沢山じゃあないか。／就这么样挣饭吃，不是满好的吗？

6. 命令形。

①子供は黙ってろ。／小孩子别插嘴！



有时用てて形式表示请求。

①待ってて。／请等一下。

7. 推量形。后续よう。

①ここにじっとしてようか。／咱们在这呆着吧。

【意义】同ている。不同在于：てる多用于无拘束的口语，关西方言多作女性用语。

**添加表現** テンカヒョウゲン **添加表达法**

以添加的方式罗列事物的表达法称添加表达法。因为是在原来的某种基础上来追加件数、累计数量、加重程度等，所以表达的是累加总值。和并列、程度表达法有联系，在“添加性”上区别于这两者。主要形式如下。

【形式】1. 并列助词に、し。接于名词、动词活用形后。

①半袖のシャツに長ズボンを着ている。／穿短袖衬衫配长裤。②迷いに迷って、一睡も出来なかった。／不知如何是好，一夜未能入睡。③日本の主な果物としてはリンゴにミカンにブドウが数えられる。／日本<sub>の</sub>的主要水果，可以举苹果、橘子、葡萄。④このホテルは料理もうまいし、客に親切である。／这个饭店饭菜好，对客人也热情。

2. 提示助词、副助词も、さえ、まで。

①車がだめになったのに、雪で道さえ分らなくなった。／车坏了不说，因为雪连路也找不到了。②入獄も，流刑も，死刑さえも避け難いことを覚悟していた。／清楚地知道入狱、流放，甚至死刑也是在所难免的。③君にまで裏切られるとは思わなかった。／没想到连你也背叛了我。

3. 用接续词。

①彼女は金持ちで、おまけに美女だ。／她有钱，又是美女。②頭がいい。その上よく勉強する。／聪明，而且用功。③三絃・琵琶は弦楽器に属し、そして、<sup>かね</sup>鉦や太鼓は打楽器の仲間である。／三弦琴、琵琶属于弦乐器，而钲和大鼓之类属于打击乐器。

4. 接续性的形式名词及词组。

①隣のうちに泥棒が入って、室内を荒らした上、お金をも盗んでいった。／邻居家进了小偷，搞乱了室内摆设，还把钱偷走了。②彼は英

語以外にも日本語を知っている。／他除英语外还懂日语。

5. 用有“添加”的意义的动词。常接于に后构成同词反复或类似的形式。

①苦勞に苦勞が重なって、つい病床に倒れてしまいました。／积劳过度，终于病倒了。②資金難に火災が加わって、会社は潰れそうになっている。／资金缺乏又加上火灾，公司眼看要垮了。③経験に経験を積んで、何でも旨く出来るようになりたい。／我希望不断积累经验，达到什么都会做。

#### 転成語 テンセイゴ 转成词

指不改变词形由一种词变成另一种词的构词法构成的词。一般指“流れ（动词连用形→名词）、全体（名词→副词）、よく（连用形→副词）”之类的词，也有的人把“広がる、広さ、うっかりする”之类的词（一般看成派生词）也看成转成词。主要有以下转成方式：

1. 由表示动作的动词连用形转变为名词，表示动作名称、有关该动作的人物、时间、场所、工具等。有的连用形和名词等结合后，才能做名词用。例：つり、およぎ、書きとり（名称）、すり、よっぱらい、でしゃばり（主体或名称）、流れ、こおり、うき（主体）、あみ、ちらし、おろし（対象）、はかり、はさみ（工具）、通り、渡し（場所）、はじめ、帰り（时间）。

2. 由形容词转成名词，表示数量、地点、时间等。为数不多。例：多く、少なく（数量）、遠く、近く（地点）、古く、早く（时间）。

3. 由名词和连用形转成副词，这类词和原来的名词或连用形的词义相距较远。有的后续“に”等。例：第一（首先）、一体（究竟）、実に、次第に；あまり、たとえ、極めて、始めて、よく。

4. 由名词转成形容动词，其义发生变化。

例：ばか（の娘）→ばか（な娘）、自由（の女神）→自由（な女神）、安全（の保障）→安全（な保障）

#### てんで 〈陈述副词〉

1. 和否定形式呼应，表示彻底否定。用于口语。

①私なんか，そんな真似はてんで出来なですよ。／我可绝对不搞

那一套。②せりふもてんで覚えていないので、こんなことで、いったい芝居がやれるかしら、と不安になってきた。／觉得不安起来，连台词都根本没记住，这个样子，真的能演剧吗？③てんで問題にならないことを問題にしてさわぎたてる。／拿根本不成问题的问题大做文章。

2. 和肯定形式呼应，表示程度极高。俗语。可看作仍潜在着“てんで～ないほど”。

①あいつの言うのはてんでおもしろい。／那伙计说的话绝对有意思。

### 伝統文法 デントウブンポウ 传统语法

可以定义为：迄今我们用于语言教学的一套术语、规则及其伴随的指导思想的总和。传统语法是规定性的语法，它指导人们应该怎么说、怎么写。传统语法的核心是学校语法。

语法起源于希腊，起初属于哲学，研究写作的艺术。至中世纪，始被看作一套规则。现在我们一般所说的传统语法多是和结构主义、转换生成语法等相对而言的，固通常所言语法即是传统语法。

我们也常把某具体语言中长期以来形成的某一传统的语法研究的总和称为传统语法。这种意义上的传统语法中掺杂着各个时期的新语法学说的理论和具体成果。这样，在日本从中世纪直到三大语法的语法研究，便构成日语的传统语法。最能代表其传统的部分是“てにをは論”“活用論”“係り結び論（係り受け論）”等。

### 天秤型統一形式 テンビン ガタトウイツケイシキ 天平式统一形式

时枝认为日语句子结构的本质特征是套匣式结构，与此相反，印欧语句子结构的本质特征表现为系词（繫辞、copula）的作用。系词在中间，结构图式类似天平： $A \text{ is } B \rightarrow A - B \rightarrow \Delta \uparrow \Delta$ 。所以命名为天平式统一形式。意即系词起统一作用，把主词和宾词统一起来。

⇒入子型構造

### 伝聞の助動詞 デンブンノジョドウシ 传闻助动词

【性质】助动词的一种。指构成传闻的陈述形式的助动词。所属词有そうだ、そうです。接于句末词的终止形后。传闻助动词表示叙述内容是来

自他人的传闻，说者常用来客观地反映事实，或表示委婉语气的判断。

①東京では物価がこいのぼりするそうです。／据说在东京物价直线上涨。②オーストラリアでは今が夏だそうだ。／听说澳大利亚现在是夏天。

传闻助动词必须和语言、非语言的传闻源相呼应。前两例中传闻源未出现在句中，但仍有“放送によれば”“旅行者の話では”之类的非语言传闻源。如果出现在句中，这些语言表现就是语言化了的传闻源。

【诸说】有助动词说和“形式名词+だ”说。桥本进吉、浅野信等人属于前者，金田一京助、时枝诚记等属于后者。助动词说又分为两种，一种是桥本进吉的传闻，样态分立说，另一种是浅野信的合立说。合立说过时。另外，汤泽幸吉郎认为“传闻”不宜作助动词的名称，指出“传闻”是“听别人传达”之义，并没包括向他人传达之意。如“甲氏はたばこをやめるそうだ”，如果说者只当作自己的新知识来说，就是传闻（别人的传达），但当作新知识向他人说，就是传达（对别人的传达）。所以，他主张把两种用法合称为“伝達の助動詞”。

#### 伝聞表現 デンブンヒョウゲン 传闻表达法

【解释】指把从别处得知的信息加以转述的表达方式。日语又称“他説表現”、“伝承表現”。传闻的来源有两种情况，一是来自当事人，常出现于句中，再就是通过别人得知当事人的或别人的信息。汤泽把前者称为“伝達”，把后者称为“伝聞”。如果必要，传闻来源可用“～の話では、～によると”等各种形式表示出来。

【形式】1. 叙述句+そうだ。这是最典型形式，事实的可信度高，断定性强。

①新聞によると，最近五つ子が生まれたそうよ。／报纸上说，最近有人生了五胞胎啊。②お客さんがいらっしゃるそうで，人の出入りがあわただしかった。／说是要来客人，人们进进出出很忙碌。

2. 叙述句+という或ということ（はなし、うわさ）だ或とのこと（はなし、うわさ）だ等。

①これは昔から伝わってきた習わしだという。／据说这是从很早以前传下来的习惯。②判決は来月にも下るという話です。／听说判决可能



就在下月做出。③市にはもうミカンが出荷しているとのこと。／听说市场上桔子上市了。④新しい先生が来るとのことだったので、迎えに行ったが、来なかった。／说是要来新老师，所以去迎接，却没有来。⑤戦争の可能性があるとされている。／普遍认为有战争的可能性。⑥知事の奥さまも出席するとかいう話でした。／我听说知事的夫人也要参加。

3. 叙述句后续って、んだって（のだと）、とさ、と、とか等终助词或类似的词，表示不确实的或有怀疑的传闻。也有时是单纯的传达，近于引语。とさ多用于讲故事，一般情况下使用则有轻蔑、漠不关心的语气。

①あれから足を洗ったってね。／听说从那以后就洗手不干了。②大雨で駅へ行くタクシーが動かなくなったんだって。／听说因为大雨去车站的出租汽车不运行了。③昔，3年寝太郎があったとさ。／话说过去曾有个三年睡不醒的老大。④3時間半の路程なんですって。／说是三个半小时的路程。⑤今日はだめだとさ。／说是今天不行了。⑥北海道の方に向つりたいとか。／说是想搬到北海道那边儿去。

4. 用表示传闻来源或与以上形式并用的方式。

①お医者さんが言うには，あまり大した病気でもない。／大夫说，并不是什么了不得的病。②本人に聞けば，お金を落としたからだという。／据本人讲，是因为弄丢了钱。③ <sup>はやし</sup>林さんの話では，佐野は汽車に乗り遅れてしまったそうです。／据林先生说，佐野没赶上火车。④放送によると，また物価があがるとか。／据广播里说，物价再次上涨呢。

5. らしい、ようだ都表示推断，而推断的根据有时是传闻。其中ようだ要和表示来源的成分照应，否则仍是推断。

①聞くところによれば，交通費の値上げも今すぐらしい。／听说，好象交通费这就要涨价了。②自分の話では，全然不本意でもないようです。／听他本人的话，好象也不是绝对地不情愿的。

6. 用实义动词。

①政府公務員の首切があると政府筋から聞いている。／从政府方面获悉要解雇政府工作人员。②労働者騒動とのニュースが伝わってきた。

／传来闹工潮的消息。

【比较】1. そうだ和以ということだ为代表的几个形式的区别是：そうだ不能表示“我过去曾获得～的情报”的概念，而ということだ等不受其限，下句中不能用そうだ。

①天気予報では午後から雨になるということだったのに，雲一つなく晴れ渡っている。／天气预报明明说下午开始下雨，却晴得没有一丝云彩。

2. 传闻表达法和推断表达法等有一定联系。首先推断常以传闻为根据，二者综合在一起，见形式的5；另外，也有时借用传闻形式来做推断、来避免武断或逃避责任。

①歌がうまいそうだから，ちょっと披露しなさいな。／都说是唱歌好听，你就表演一下吧。

## と ト

## と 〈格助詞〉

## 【接 続】 1. 接体言類。

①兄と相談する。／和哥哥商量。②これについては佐藤君と協議中だ。／正就此和佐藤君商议。③私のと違う。／和我的不一样。

## 2. 表示引用或类似于引用时能接各种词的各种形态后。

①「静かにしろ」と注意された。／被提醒要肃静。②きっと合格するだろうと思います。／我想一定能合格的。③みんなはこの事は誰も知らないと言っていた。／大家都说这事谁都不知道。④「鬼に金棒」という諺がある。／有句谚语叫“如虎添翼”。

△后续词有：助词の（との）、ともに（とともに）、提示助词（とは等）、动词等。

## 【意 義】 1. 表示共同行为者。

①柴元は千賀子と結婚した。／柴元和千贺子结婚了。②良子とは東京で会いました。／和良子是在东京见面的。③中国との国交正常化に成功した。／实现了和中国的邦交正常化。④クラスメートと二人で町に出かけた。／和同学一起两个人上街去了。⑤悪い友達とは一緒に遊ばないでくれ。／不要和坏伙伴一起玩儿！⑥服装や風俗は、時代の流れとともに変えることは世の習いである。／服装和风俗随时代变迁而变化是人世之常。

△共同行为者有完成该项动作行为所必需的（上例①～③）和临时性的（上例④～⑥）。有些动词由于性质的原因可能产生歧义。

①日本は第一次世界大戦でドイツと戦っていた。／A. 日本在第一次世界大战中和德国交战。（同相手に）B. 日本在第一次世界大战中和德国一同（同といっしょに）参战。

## 2. 表示交换性行为一方中的人或物。

①農産物を工業製品と交換する。／用农产品交换工业制品。②本物

がにせ物と入れ換えられた。／真货被假货掉包。③そば粉をうどん粉と混ぜる。／把荞麦面和白面掺起来。

### 3. 表示形成某种状态或关系所需要的对象。

①私は妹とアパート暮しです。／我和妹妹一起住公寓。②私は太郎と兄弟です。／我和太郎是兄弟。③彼は山本とは犬と猿です。／他和山本水火不相容。④一日も早く，一人でも多くの中国の人達と友人に成りたい。／愿意尽早一天，和尽可能多的中国人交朋友。

### 4. 表示比较的基准。

①昔と違って社会はずいぶん民主化した。／今非昔比，社会已经相当民主化了。②私と同じ考えの方はいませんか。／没有哪一位和我看法相同的吗？③田中さんと比べると，山田さんの方が背が高いです。／和田中先生相比，还是山田先生个子高。④父とうり二つの顔をしている。／和父亲长相一模一样。⑤この魚は牡丹色とかわりはない黄色の斑点がある。／这种鱼带有可与（黄）牡丹色匹敌的黄色斑点。⑥校庭は，人間や車の氾濫する大通りとは嘘のように静かな世界だ。／校园和人车熙攘的大街不同，是异常肃静的另一个世界。

△这种用法的と之前的形式体言常省掉。

①ベッドだからホテルに泊った（の）と同じだ。／住的是床，所以和住西式旅馆一样。

### 5. 表示行为，变化的结果。

①名前を正平直と改めた。／改名为正平直。②雨が急に雪と変った。／雨突然转雪。③交通事故で廃人と化す。／因交通事故成了废人。④5分間以上の遅刻は欠席とする。／迟到5分钟以上按缺席处理。

### 6. 表示语言和心理活动的具体内容。

①水平線に見えるのは，陸地と思う。／我看，地平线上的那就是陆地。②山下は不良児とされている。／山下被当做阿飞。③長女を花子と名付けた。／为长女取名花子。④70歳以上とおぼしい老人／看上去有70多岁的老人。⑤立入禁止とある。／写着禁止入内。⑥一日も早く全快されるようにと祈ります。／祝愿您早日痊愈。⑦出かけようとするところです。／我正想出去。⑧この案については反対意見がつよくて否決され



たと聞いている。／我听说关于这个计划反对意见很多，被否决了。⑨何<sup>なん</sup>だかんだと内心に不平不満をつのらせる。／心里怨天尤人地越发恼火起来。⑩身に余る光栄と感激している。／觉得无上光荣而心情激动。

文章中常用倒装句式。

①昔イタリアの大家アンドレアが言ったことがある。自然はこれ一幅の大活画なりと。／昔日意大利大师安德烈曾说过。自然乃一幅活生生的图画也。

7. 接名词后，用来形容某一状态。多用于惯用说法中。时枝诚记认为这个とは助动词だ的连用形。

①絞首台の露と消える。／化为绞架之露。②柱と頼む息子／恃其为支柱的儿子。③弾丸<sup>たま</sup>があめ，あられと降ってくる。／弹如雨下。④花が雪と散る。／落花如雪。⑤製品が多くて山とある。／产品堆积如山。⑥バッタの群が雲と飛んでくる。／蝗群遮天蔽日而来。⑦柳に風と受け流す。／巧妙应付。

8. 接数词后表示后续词的实际数量。多数と可用助动词だ的连用形で代替，～と部分相当于表示状态的副词。

①昨年の原油産量は1億5百90萬トンと前年より0.2%減少した。／去年的原油产量为1亿5百90万吨，比上年减少0.2%。②営業時間が午前8時から午後9時までと長い。／营业时间很长，从上午8点到下午9点。③一世帯の居住専用面積は，最高でも35平方メートルと狭い。／每户的纯居住面积窄到最多才35平方米。④外国語研修が制度化したのは51年からと，歴史が古い。／外语进修制度化已有很长历史，始于昭和51年。⑤あそこには局員が何千人といるだろう。／那里的职员有几千人吧？

△常后续否定形式，表示最多不超过此数。

①小さな店で，メニューの裏表，残らず食べても1萬円とかからない。／是家小店，就是按菜谱全吃遍，也用不上1万日元。②赤ん坊は元気がよいから，一分とじっとしてられない。／婴儿很活泼。1分钟也不老实。

9. 接某些副词（包括拟声拟态词）、副词性句节后，加强语气。如无强意可以去掉。

①しっかりと勉強する。／努力学习。②ボールがころころところがっていく。／球骨碌骨碌地滚去了。③幸いと何のこともなかった。／幸好没有发生什么事。④部隊は西へ西へと進んで行った。／部队一直向西开去了。⑤応募者が次から次へと殺到してきた。／应招者接踵而至。⑥中世の錬金術は近代化学へと進歩した。／中世纪的炼金术最终发展成近代化学。⑦カキの葉が三枚五枚と紅葉し始めた。／柿树的叶子三片五片地开始红了。

10. 接9所列词以外的词或词组后,构成类似副词的成分,不能去掉。带有顺序性或反复性(例①)及其他形象色彩。

①女女と続いたから次はぜひとも男の子がほしい。／一个接一个净是丫头,下一个说啥也想要个男孩儿。②米国, パナマ, エジプトと亡命生活をよぎなくされた。／被迫先后在美国、巴拿马、埃及过流亡生活。③戦艦は大海せましと回りました。／战舰在整个海面上纵横驰骋。④はがきには所狭しと小さな字が書いてある。／明信片上写满了密密麻麻的小字。⑤まだかまだかと父の帰りを待っている。／急切盼望父亲回来。⑥かきつばたが今をさかりと咲いている。／燕子花正逢时盛开。

11. 表示后续动作的心理上的目的、原因、状态等。可看作省略了语言心理活动的动词,如下例可分别补充して(例①)、“願って”(例②)、“思って”(例③)、いわん(例④。此句是拟人写法)、いって(例⑤)等,补充后也自然。

①庭に出ようと腰をあげた。／站起身来想到院子里去。②私にも出来るようにと練習に練習を重ねた。／希望自己也能学会,便反复练习。③父の死を早めたのは私の責任だと、とてもつらくなりました。／觉得促成父亲早逝是自己的责任,心里非常难过。④春の灯火は良夜を惜めとばかり床しげに輝いて見える。／春日的灯火象有意让人尽情享受良宵似的津津诱人地辉映着。⑤「お早う」と鈴木が入ってきた。／“早安”,铃木走了进来。

と 〈并列助词〉

【接续】接体言类。

①政治と経済とは、別個に考えられない。／政治和经济不是无关的。

②くつは黒いのと茶色のを一足ずつ持っている。／鞋有黑色的和茶色的各一双。

△活用词后的形式名词こと、の常省去。

①見ると聞くとは天地の差だ。／眼见和耳闻有天地之差。②あるとないとではこうも違うものか。／有和没有竟如此不同！③あらゆる詩人の虚栄心は、言明すると否とを問わず後代に残ることに執している。／所有詩人的虚栄心，无论言明与否，都执著于流传后世。

△后加か构成另一并列助词とか。见该项。

【意义】由と连接的词团仍相当于一个名词，可后续助词、助动词等做各种句子成分。

1. 表示穷尽性的并列，所以没有※と～となど句式。

①休みはきょうと明日です。／休息今天和明天。②父と母と姉はきのう旅に出た。／爸爸、妈妈和姐姐昨天出去旅行了。③アメリカとソ連との間に交渉が行われた。／美国和苏联之间进行了交涉。④胸のうちは怒りと恥とで燃えているようであった。／心里又气又羞象着火一样。⑤夫婦喧嘩と夏の餅は犬も食わぬ。(谚语)／两口子打架用不着管。⑥校舎は建築家が要求通りにしないのとズルいために、ごらんの通り不服なものなんです。／校舍由于建筑师不按要求做和偷工减料的原因，结果象你看到的那样令人不满意。

△上例①～⑥各连接项分别做谓语、主语、连体修饰语、连用修饰语、主题、连体修饰语。

△文章里出现三个以上名词时，一般不用并列助词。

①朝日と毎日と読売は日本の三大新聞です。(口语)／《朝日新聞》、《毎日新聞》和《读卖新聞》是日本的三大报纸。②朝日・毎日・読売は日本の三大新聞である。(文章)／同上。

2. 表示列举、对照，用于比较。

①夏と冬と，どちらが凌ぎやすいですか。／夏天和冬天，哪个好过？②今と昔とは違いますよ。／现在和过去不一样啊。③物価の安定と経済の成長とをどう両立させるか。／怎样使物价的稳定和经济的发展并举呢？④月とすっぽん。(谚语)／云泥之别。

【参考】1. 格助词と（例①）和并列助词と（例②）的区别。

①犬が猫と喧嘩している。／狗正和猫打架。②犬と猫が喧嘩している。／狗和猫正打架。

例①二者是对手，例②可能是对手，也可能分别或一起与别的对手打架。

2. ～と～と形式一般把后一个と省去，但下列两种情况例外。

1) 省去后产生歧义。

①私は小林と山田の弟を訪ねた。／A、我访问了小林的弟弟和山田的弟弟。B、我访问了山田的弟弟和小林。C、（把と看成格助词）我和小林一起访问了山田的弟弟。

A B C三个意思可分别修改为：

A、私は小林と山田との弟を訪ねた。（口语也可说“～小林の弟と山田の弟～”）B、私は小林と山田の弟とを訪ねた。C、私は小林といっしょに山田の弟を訪ねた。

2) 用言后不能省。

①言うと言わないとは大いに違う。／说和不说大不相同。

3. 和其他并列助词的区别。其他助词有选择（なり）、逐一并列（とか）、举例（や）、追加（に）等含义，而と表示全部有限量事项的同等并列。

と 〈接续助词〉

【接续】接活用词终止形。不能接助动词た后。

①嘘か本当か，見ると分る。／是真是假一看就知道。②まわりがうるさいと落ち着いて本が読めない。／周围吵闹就无法静心读书。③一所けん命に勉強しないと，大学入学は出来ません。／不拼命学习是进不了大学的。④浦島太郎がつりをしていると，かめがやってきました。／浦岛太郎正在钓鱼，这时来了一只乌龟。⑤普通だと，なかなかそんな所には通してくれない。／一般情况下那地方是不轻易让进去的。⑥あなたが行こうと，行くまいと，私には関係がありません。／你去也好，不去也好，和我没关系。

【意义】1. 表示同时或相继而起的两个场面或事项在时间上的连结。

1) 表示前后两项同时发生或并存。一般表达习惯性、真理性、规律



性的事物。常以终止形结句，如用过去时结句则表示回顾。

①夏になると暑い。／一到夏天就热。②ゆだんをすると間違える。／马虎就会弄错。③母は買物に行くと、きまってお菓子を買ってくれました。／那时妈妈每次去买东西都一定给我买来糕点。④田舎道は大雨が降ると不通になる。／乡村的道路一下大雨就不通了。

2) 表示在进行前项动作或出现前项状态的一瞬间发现或出现了后项动作、状态。全句必须以过去时形式结束，原则上前后动词各有主语，但常省略。

①家に帰ると、先生が見えていた。／回到家里一看，老师来了。②勉強していると、友だちが遊びに来ました。／正在学习时，伙伴来玩儿了。③沢山木を植えると、壺のように空気がきれいになりました。／栽种了许多树，结果空气非常清新。④玉手箱<sup>たまてばこ</sup>のふたを取ると、中からパッと白いけむりが出ました。／一打开玉匣，打里面啪地冒出一股白烟。  
(日本神话)

△“发现”和“出现”有区别，见下例。

①花子がかびんを持つとかびんが割れていた。(发现)／花子拿花瓶一看，原来是坏的。②花子がかびんを持つとかびんが割れた。(出现)／花子把花瓶一拿就坏了。

3) 表示一个主体(主语)的两个关连动作相继而起。常用“と同時に、とすぐ”等形式。通常后项为过去式。

①正広君は顔をしかめると、コンコン咳をした。／正广君把脸一皱，喀喀地咳嗽起来。②部屋に入るとすぐ背広をぬいでハンガーに掛けた。／一进房间就立即脱下西装挂在衣架上。③車は走り出すと、間もなく左に折れた。／车开动后，不久向左拐去。

4) 表示以前项为假定条件，做出后项中的预测或判断。

①日本円になおすと百万円になる。／换算成日元，是一百万元。②それを日本語に訳すと、どう言いますか。／如果把它译成日语的话，该怎么说？③この空模様だとあすは晴れるらしい。／看这个样子，明天好象能晴。④汽車だとどのぐらいかかりますか。／如果坐火车需要多少时间？⑤三平というと、そのあたりで知らないものがない。／提起三平，

那一带没有不知道的。⑥昔の若者と比べると、あなたは幸せですよ。/和过去的青年相比，你是很幸福的啊。

△常见的惯用形式 有 といい、といけない、といられない、によると等，见有关各项。

5) 借用假定条件，作插入性成分，表示发话主体的陈述态度、方式等。

①もう一度くりかえすと、芸術はまさに表現である。/我再说一遍：艺术正是表现。②考えてみると、この問題はかなりやさしいのです。/想一想，这个问题是很简单的。③試験結果をあげると第一表Aの通りである。/考试结果如第一表A所示。④別の言葉で言うと，彼は先生に向かないのです。/换一句话说，他不适合做教师。

△此外常见的如“～から見ると、詳しく言うと、換言すると、言い換えると、示すと、図示すると”。

6) 以“かと思うと”形式表示两个同时出现的事态的意外的关连方式。

①一日中遊んでいるかと思うと，また一日中勉強をつづけることもある。/有时成天玩儿，有时成天学习。

2. 作为文言残余，口语体中主要以ずと的形式表示轻度的逆接关系。等于ないで（例①）或なくとも（例②）。

①君は行かずと（も）よかろう。/你不去也行吧。②そんなことは言わずと知れたことだ。/那件事不说也是明摆着的。

3. 接（よ）う、まい后，表示后项的成立根本不受前项中推测的条件的约束。

1) 以（よ）うと～（よ）うと的形式表示无论是哪种情况，后项均不受约束而成立。

①1時に起きようと，10時に起きようと，僕の勝手だ。/1点起床也好，10点起床也好，随我的便儿。②雨が降ろうと，風が吹こうと，毎日よく学校に通っている。/无论刮风下雨，每天坚持到校。③それが田中であらうと，スミスであらうと，一向にかまわない。/管他是田中还是史密斯，我都不怕。

2) 以(よ)うと～まいと、(よ)うと～なかりうとの同词反复形式表示无论情况是否如此,后项均不受前项约束而成立。

①君が行こうと行くまいと、僕は行くよ。／不管你去不去,反正我去。②拾い子であろうとなかりと褒姒にとっては他に父も母もなかった。／是捡来的孩子也罢,不是也罢,总之对褒姒来说,此外既无父亲也无母亲了。

3) 以(よ)うの单独形式,表示即或可能如此,后项也不受前项的约束而成立。

①君が先方の申し出を甘んじて受けようと、私は拒否する。／即使你甘愿接受对方的要求,我也不接受。

4) 以“疑问词～(よ)うと”的形式表示后项不受任何条件的约束而成立。

①どうしようと君の勝手だ。／随你怎么办。②どんな反対論が提出されようと、自由派はあくまでやりぬく決意である。／无论提出什么反对意见,自由派都决心坚持到底。③なんと言われようとも私は私なりに楽しんでいるのである。／任别人怎么说,我独行独乐。

### と 〈接续词〉

由接续助词と转化而来。意义同すると。

【意义】1. 表示前后两个相关的事实相继而起。

①電車のドアがあいた。と、人々はわれ先に乗り込んだ。／电车门开了。门一开,人们争先恐后地上车了。②雨雲が低くたれこめていた。と、急に雨が降り出した。／乌云黑压压的。突然,下起雨来了。

2. 表示某种事件或状态突然发生。

①鳥の啼き声も起らず、なに一つ動かない。と私の前を、小さな黒いものがふわっと横ぎり、足元の石にとまった。／听不见鸟啼,一片死寂。突然一个黑色的小东西在我眼前飘然而过,停在脚下的石头上。

### と 〈终助词〉

由表示引用的と转化而成,也可看作表示引用的と的一种用法。多用于男性老年人之间。

1. 表示为了确认对方所说的内容而提出的反问。句调上升。

①なんですか？／你说什么？②煙草を買ってこいと？／让我去给你买烟吗？③三島が自殺したと？／你说三島自杀了？④なに、やめろと？／什么，让我放弃？

2. 如句调下降则表示传闻。另外此用法有とさ、とね等复合形。

①三島が自殺したと。／据说三島自杀了。②ともかく、そういう話なんだとさ。／总之，说是这种情况。

### と 〈助动词〉

时枝诚记认为と有叙述性，看作助动词だ的连用形之一，现无人采用此说。按一般观点，时枝当作助动词的と可分别解释为副词的一部分（整然と）、表示状态的と（花が雪と散る／花如落雪）、表示引用的と（～という）、固定词组中的と（山となく野となくかけまわる／不分山地平原四出跋涉）等。

### ど 〈文言接续助词〉

【接续】文言中接活用词的已然形后，主要接动词已然形后。现仍保持文言的接续。可后续も成ども，以加强语气。

①落花情あれども流水意なし。／落花有情，流水无意。②本日天気明朗なれども波高し。／本日天气晴朗而浪高。③故郷懐しけれど帰られず。／虽思乡却不得而归。

【意义】现只用于书面，有文言色彩。另外残留于谚语、固定词组等。

1. 表示逆接的既定条件。相当于けれども、が。

①押せども引けども戸はあかなかった。／门推也不开拉也不开。②大平原にまっすぐ続く道は，行けども行けども果てしない。／大平原上笔直的路漫无尽头。③この種の「残酷映画」は数あれど，その悪影響は無視できぬ。／这种“恐怖片”虽数量不多，但其不良影响不可忽视。

2. 表示逆接的假定或恒定条件。多见于谚语等。相当于ても、たととしても等。

①煩惱の犬は追えども去らず。（谚语）／烦恼是没有办法摆脱的。②風は吹けども山は動ぜず。（谚语）／风吹浪打，岿然不动。

3. 对发话场景的说明、附加说明。与が、けれども的这种用法相当。



①年は十八ばかりなれど、<sup>びもくきよ</sup>眉目清らに、<sup>あかざか</sup>朱鞘の太刀を肩よりつりたり。／年約十八，眉清目秀，肩挎一朱鞘大刀。

4. 以1或2的意思构成といえども，是古汉语“虽”的译词。等于といっても、とはいえ。有“也不例外”的意思。

①友人と言えども友情を押し売りにするわけにはいかんのだ。／虽说朋友，也不该把友谊强加给对方。②女工たちは，一日といえども休むことができなかった。／女工们连一天也不得休息。<sup>じやくはい</sup>③若輩といえども，その資質は侮りがたい。／虽属后辈，其天赋不可轻视。④これは恐らく，いかなる僕の敵といえども，喜んで認める真理だろう。／这恐怕是连我的所有敌人也都乐于接受的真理。

とある 〈补助动词〉

由格助词と和动词ある结合成的词组。按ある活用。接于体言或用言后。

【用法】1. 接于时间名词后，表示正值某时。

①折からメーデーとあって，各公園とも園遊会でにぎわっていた。／恰巧赶上五一节，各公园都因游园会而很热闹。②「少産時代」とあって，生み分けの関心は次第に広く根強いものになりつつある。／正值“少产时代”，对胎儿性别的关心，正在变得越加广泛、根深蒂固。

2. 接于引语之后，表示其内容。相当于“書いてある”之类。

①憲法には「労働者は休息の権力を有する。」とある。／宪法上明文规定“工人有休息的权力”。②規則によれば臨時委員会を設くべしとある。／章程规定可设临时委员会。

△有时と和ある之间可插入有关词。

①「速記50年」と副題にある。／副题为“速记50年”。

3. 文言判断助动词タリ的分裂形式トアリ 在现代日语中的残余，有“正是何物”等语气。

①パンダは珍獣中の珍獣とあって，世人の関心は格別なものである。／由于熊猫是珍兽中的珍兽，世人的关注非同一般。②校長ともあろうものがパチンコなどに夢中になるとは。／没有想到身为校长竟然热衷于弹球。

## 4. 表示样态。

①僕らの学校は、前は庭が下庭，上庭<sup>うわにわ</sup>とあって，とても広い校庭でした。／我们学校从前操场分“下场、上场”，是个很大的操场。②東京などでは，公庫の公譲住宅が空家だらけとある。／在东京都等地，国家出资兴建并出售的住宅尽是空屋（没人买）。

5. 以“～ば”形式接用言及体言、副词后，表示对于可能情况的假定。

①もし必要とあれば自分の生命を投げ出す忠誠心に貫かれている。／忠贞不渝，如果需要不惜牺牲自己的生命。②お望みとあれば，お目にかけます。／如果您想看，就给您看。③被害者を召喚しているとあれば，告訴状をあらためて読んでおく必要がある。／如果被害人被传到就有必要重新读起诉书。

【参考】连体词とある也有“碰巧遇到的那一个”之意，这与上述总的用法是一致的。

①非常にひもじくなったので，車をとめて，とある料理屋に入った。／觉得非常饿，于是停下车进了一家饭店。

## という 〈词组〉

由表示语言、思维内容的格助词と和形式动词いう构成。通过いう的活用，可以构成许多词组。如：といわず、といい、という、というものの、といえ、といえ、といおうか等等。

这些词组在句中作为一个语法单位使用，但在普通词典中不作一个词条收录。这些词形式、用法多样，是一群不可忽视的固定词组。所以，根据我们的“系”（系列）的概念，从语法意义上处理为若干个系列，各个具体的词组（如：表示逆接的といっても、表示提示的といっても）都可以在各个系列中找到。主要有以下系列：という系（副助词性词组）、という系（提示助词性词组）、という系（顺态接续词性词组）、という系（逆态接续词性词组）、という系（顺态接续助词性词组）、という系（逆态接续助词性词组）。另有という（助动词性词组）和ということ、というもの、というの。

以上见各项。

という 〈同格助词〉

由格助词と和形式动词いう构成。

【接续】总的说接续灵活，没有限制。大体情况如下。

1. 接体言性的词、词组后。

①カルシウムという金属は人体に大切です。／钙这种金属对人体很重要。②お味噌やしょう油といった調味料は中国や日本でしか使われない。／大酱、酱油之类的调料只在中国、日本使用。③窓ガラスのため目に見える景色が赤・黄・緑・青・鳩羽<sup>はとば</sup>というように変わります。／由于（列车）窗玻璃的原因，映入眼帘的景色变成红、黄、绿、蓝、带黑浅绿色。

2. 接用言和助动词后以及由它们结尾的连句节后。

①国語を使ってはいけないという学校もあります。／也有不准使用国语的学校。②最近、月球には生物がないという事実をつきとめました。／最近证实了月球上没有生物这一事实。③近年になって、面白いという本は全部が全部推理小説みたいなものだ。／近年来，凡属有趣儿的书无一例外，都是推理小说之类的。④耐えられないというふうに腹を押えて笑い出した。／象是忍耐不住的样子捂着肚子笑了起来。⑤命ぜられたとおりのことをしたというだけだ。／只是按命令照办了罢了。⑥二人は菊の節句に逢おうという約束を結んだ。／二人定下了重阳节相会的契约。⑦僕の話を知ると、彼は「何を言っているんだ。」といった顔をした。／听了我的话，他的表情似乎在说“瞧你说些什么！”

3. 接副词、副词性词语后。

①全くという程ではないが、殆どの内容が分りません。／虽然不能说是全部，大部分内容都不懂。②もしかしたら、という気持ちでやった所、うまく成功した。／抱着试试看的心情做了，结果很顺利地成功了。③将棋界も戦争の痛手から復活し、これからという時期でした。／当时象棋界也处在从战争的伤痛中恢复过来，欲重整旗鼓的时期。④僕はこれぞという理想を奉ずることもできぬ。／我又无法信奉一种特定的信仰。

【意义】1. 表示后续体言的名称，通常兼有将其从同类中区分开来的作用。

①富士山という山／富士山这座山；叫富士山的山。②インシュリンという糖尿病の特効薬は深海魚の肝ぞうから取れる。／胰岛素这种治疗糖尿病的特效药是从深海鱼类的肝脏提取的。③「源氏物語」という小説は清少納言という女流作家の作品です。／《源氏传》这部小说是女作家清少纳言的作品。④緑色をした微生物は葉緑素という色素を持っている。／呈绿色的微生物都具有一种色素叫叶绿素。

## 2. 表示后续词的具体内容。

### 1) 表示抽象名词的具体内容。

①財布があなたのものだという証拠でもあるのか。／你有这钱包属于你的任何证据吗？②駅の周辺では、神田はまだ学生の街という気がする。／在车站一带，感觉到神田仍是学生之街。③妊婦は、救われたといった表情を浮べて席に腰をおろした。／孕妇流露出得救了似的表情在席位上坐下来。④ほかの人には出来ないことをしているという喜びが、彼をみたしていたのだ。／他沉浸在正在做着别人做不了的事的喜悦之中。⑤台風が近づいたので、最近の天気は毎日降ったり晴れたりといった具合である。／因台风接近，最近的天气情况是晴晴雨雨。⑥匈奴では、軍事においても、月盛んなれば攻撃し、月かくなれば兵を退くという有様であった。／在匈奴那里，即使军事方面也是这么一种情况：月盈则进攻，月亏则退兵。⑦趣味は絵とゴルフ、それに暇を見ては旅行という程度です。／爱好大体上就是绘画和高尔夫球，另外抽空旅游。

### 2) 表示后续的形式名词、体言性的副助词等所指内容。

①ただ仲がいいというだけの関係ではありません。／不仅仅是处得来的关系。②さいわいに天気がよかったので、楽しい遠足が出来たというわけです。／多亏了天气好，郊游才搞得很愉快。③美人というほどではありませんが、なかなか器量がいいというものです。／虽然算不上美女，长得也相当漂亮。④生教材というものの中には、新聞雑誌の記事などがある。／所谓活教材，其中包括报纸杂志的报道等。

3) 表示传闻和样态的具体内容。前者常用ということだ（另项）、というはなした、というようだ、というふうだ等形式。后二者多表示推测性、顺序性、罗列性、比喻性内容。一般去掉という便无法接续。



①生徒の話では、先生はひどく叱ったことは一度もないという話です。／据学生们说，老师一次都没严厉训斥过。②三根子は、花婿探しというような意識で、今の会社に勤めたのではなかった。／三根子当初并不是抱着找女婿的目的才到这个公司工作的。③火尻は自分の記憶を呼びもどしながら話すというような、ゆっくりした口調で話し始めた。／火尻以一种边回忆边讲似的缓缓的语调讲了起来。④人は、光の刺激に対しては目，音の刺激に対しては耳というように，感覚器をそなえている。／人具备感觉器官，诸如对光的刺激有眼睛，对声音的刺激有耳朵。⑤私はこれまで尾道・松江・我孫子・山科・奈良というふうに景色のいいところに住んできている。／我迄今曾先后在尾道、松江、我孙子、山科、奈良这些景色秀丽的地方住过。

3. 表示后续词的行为、性质、状态等方面的属性。后续词一般是表示物体、人、时间等的实义词。带有“由观察或传闻得知”的含义。という可以省略（有时接续上需要，不能省），但失去以上含义。

①午後の会議に参加するという人たちはぼつぼつと集まってきた。／要参加下午的会议的人们陆续会集起来了。②児島は仕事だけが生甲斐のような男で、女房の臨終にも駆けつけなかったという奴です。／児島这人认为只有工作才有意义，这家伙连老婆的临终都没到场。③あと四日で正月になるという日，綾子は朝早く起きました。／还有四天就要过年的时候那一天，綾子一大早就起来了。④20歳になるかどうかといった年頃でしょう。／是差不多有20岁那么个年纪吧？⑤その部落でたった一軒だという宿屋に泊った。／住在据说是这个村庄唯一的一家旅店里。⑥馬の病気にきくという山奥のくまざさを食べさせたが，効目はなかった。／（给马）喂了据说能医治马病的深山里的山白竹，却没见效。⑦案の定，その晩啓作はアメリカ製だという養毛剤の瓶を買って帰ってきた。／果然，当天晚上启作买一瓶说是美国产的养发剂回来了。

4. 表示后续词的数量，带有确指的语气，有时带有～之多，～之少的含义。

①何千という馬匹が草原を群をなして走りまわる。／几千匹马匹在草原上成群奔跑。②一月に五万円という収入では口糊さえできない。／

凭每月五万元的收入，甚至无法糊口。③日本語辞典には普通何万という沢山の言葉が集めてあります。／日语词典通常收录多达几万的单词。④この駅では毎日何十万という大ぜいの人が乗りおりをします。／这个车站每天有多达几十万的人上下车。⑤107という原子量／107这个原子量。

5. 以AというA的同词反复形式表示某一类事物的全部，有强调全部的语气。有时用于时间词（いま等）之间，只表示单纯强调。

①山という山は一様にまっ白な雪で覆われている。／每座山都覆盖着洁白的雪。②必要な本という本は全部借りてきて調べて見た。／把所需的所有书都借来查了一遍。③村という村は兵隊で一杯になっている。／所有的村庄都挤满了军人。④今という今になってそんなことを言たって始まらないでしょう。／事到如今，你这样说也无济于事吧。⑤「とにかく家の中にはいろいろ」「いいえ，あたしは今日という今日はどうしても出かけて行きます」／“反正进屋吧。”“不，今天我可无论如何也要出去。”

6. 以これという～ない、疑問词という～ない以及类似形式表示没有特别提出的对象、时间、场合等。

①部屋には別にこれといった物はないが，家具はととのっている。／房间里并没有什么特别值得一提的东西，但家具齐全。②どうしたらよかろうと考えて見たが，別にこれという分別も出ない。／考虑了一下该怎么办才好，可想不出什么好主意。③寛三は特にこれをやるという~~め~~てはなかった。／寛三并没有明确的目标要干什么。④どこというあてもなくさすらっている。／漫无目的地流荡。

【参考】という和といった只有语气上的区别。后者评论性强，是从类别、性质上着眼的。试比较：中野という先生／（叫）中野（的）老师。中野といった先生／中野这一类老师（很可能有贬义）。虎がひそんでいるという山／（据说）藏着猛虎的山。虎がひそんでいるといった山／这种藏着猛虎的山。

并不是所有という都能换成といった。

という（と言う） 〈助动词性词组〉

【活用】同五段动词いう。

【意义】1. 表示传闻（例①）、传达。

①人体の組織は七年ごとに全く一新するという。／据说人体的组织每七年全部更新一次。②さっきは驚いたよ。こんこんと眠りこんで、うわごとまで言っているというのだから。／刚才我可是害怕啦。说你昏昏沉沉的，还直说胡话。③タバコは体に悪いというじゃないか。／没听说烟对身体有害吗？

△常后续“ことだ，話だ”。

①西洋人は刺身も食べるという話だ。／据说西方人也吃生鱼片。②ここが一番浅くて渡りやすいということです。／据说这儿最浅，容易过。

2. 主要以と（よく）いわれている形式表示一般公认的事项和看法。

①来年は大地震の可能性があるとされている。／据认为明年有大地震的可能性。②細胞はふつう一個の球形の核を持つとされている。／一般认为细胞通常具有一个球形的核。③日本語は論理的でないといよく言われている。／人们常说日语缺乏逻辑性。

3. 表示从主观上给予的评价。通常以各种较复杂的固定形式出现（没有という形式）。

①目下の国際情勢はいつもより不安定だといえよう。／可以说目前的国际局势比以往更加动荡不安。②このことができれば、われわれ人間の将来は或は明るいと言われるだろう。／如果能做到这一点，或许人们能够说我们人类的未来是光明的。③母親は子供の初めての教師ということが出来る。／可以说母亲是孩子的第一任教师。④芸術家にとっては夢と<sup>うつつ</sup>現とのしきいはないといっている。／可以说，对艺术家来说不存在梦幻和现实之间的鸿沟。⑤彼は世界的な文豪（だ）と言っても過言ではない。／说他是世界性的文豪也不过分。⑥氾濫といってもいいくらい，自動車はひっきりなしに通過している。／汽车络绎不绝，几乎到了泛滥成灾的程度。⑦数えきれないといってもよいほど多い。／多得数不尽。

## 4. 表示某种判断性认识的内容。

①中学を終わったことは、義務教育が終わったというにすぎません。／读完初中不过就是说义务教育结束了。②それは、戦争にまき込まれたというにひとしい。／这等于说被卷进了战争。

## 5. 说明事物的名目、名称。也可位于句中进行同位性的说明。

①こんなところはロータリーという。／这种地方叫环行交叉。②「大仏開眼」といって、大仏が完成した時、儀式が行われることになっている。／大佛造完的时候要举行仪式，称为“大佛开眼”。

という系 (I) ～ケイ 〈副助词性词组〉 という系列

由という的连用形或其他活用形式后续副助词 (ばかり、か) 等构成，主要形式如下。

1. といわんばかり (に)、といわぬばかり (に)、といわないばかり (に)，表示前接的动作行为即将发生的临界状态。常用的规范形式是といわんばかり，是一种带夸张性的描写。

①天地を覆<sup>くつがえ</sup>そうといわんばかり，あらしはますます物凄くなつた。／暴风雨越来越猛，大有翻天覆地之势。②お前は誰だといわぬばかりに鈴木君の顔を見つめている。／就象对待一个完全陌生的人似的盯着铃木的脸。

△有时省为とばかり。

①とたんに、「はい，いいわよ」とばかりにしおらしくなります。／马上就乖顺起来，简直象是在说“行，我愿意”似的。

## 2. といい，表示以前项足以说明问题。

①うす汚れた，浮浪者のような服装といい，どことなく不気味な感じであった。／只那显得肮脏的，象流浪者一样的衣服，就令人有些害怕。

3. というのは、というか，表示评论性的、但无法或不急于下结论的根据。

①57才になる彼女は、年齢のせいというのか，この頃，3時というときと眼がさめる。／她已经57岁了，是年龄的原因吧，现在一到3点准醒。②兵本君は移転癖というのか，何かと因縁をつけて一ひとところに数か



月と居つかない。／兵本君有搬家的嗜好还是怎么，找某种理由，在一个地方住不上几个月。

という系（Ⅱ） ～ケイ 〈提示助词性词组〉という系列

由助词と、动词いう的活用形及接续助词等构成，表示以各种假定口气把话题提示出来。

1. といったら。主要以といったらない（ありません、ございません）形式表示某事物的程度是最高的、无法形容的。

①生徒たちの勉強意欲といったらありません。／若说 学生们的学习热情可真是没比的。②その時の心細さといったらございません。／别提当时有多担心了。③その時私たち三人がたがいに見合わせた目といったら，顔といったらありません。顔は真<sup>まつさお</sup>青でした。目は飛び出しそうに見開いていました。／当时我们三人（因惊恐）互相对视的那眼神儿，那脸色，真没法提了。脸色煞白，眼睛瞪得几乎要冒出来。

△下两例是带有感慨语气的提示用法。

①その時の私の苦しみといったら，到底あなた方には想像もおよばないものでした。／提起我当时受的苦，你们是根本想象不到的。②松本さんといったら，口を極めてほめたたえないものはありません。／一提起松本先生，没有不竖大姆指的。

2. といえば、というと、といえども（逆态）等。多用于重新明确对方提到的事物，接过来做话题。

①そういう 趣味を持つ人間といえば，大分年寄りね。／照你说他有这种爱好，那岁数可不小了啊。②一口に勉強法といっても，誰も同じではありません。／都叫学习方法，却并不是每个人都一样。③「私は本を落としました」「本というとはテキストのことですか」／“我把书弄丢了。”“书？就是教科书吗？”④こんな場合，男の子といえども，驚いて泣き出すものが多い。／这种情况，即使男孩子也会有很多吓得哭起来。⑤日本というと，すぐ富士山と桜を思い出すでしょう。／一提日本，首先会想起富士山和樱花。

という系（Ⅲ） ～ケイ 〈顺态接续词性词组〉という系列

由という系列顺态接续助词性词组转成。主要形式如下。

1. というと、といいますと。

1) 表示要求对方对所述之言进行说明。

①「おやめになった方がいいでしょう。」「といいますと?」「むづかしいと思うのです。」／“我看您还是放弃了好。”“你的意思是……。”“我认为有困难。”②「実は僕がまたここへ来たのはそれだけじゃないんです。」／“其实我又到这儿来不光是为这个。”“你是说……。”“有事情牵挂着我。”

2) 表示为自己所述之言引出新的话题。后项是解释、说明性的。

①私には日本語が全然できません。というと、不思議がるかもしれませんが、実は生まれも育ちも外国だからです。／我根本不会日语。这样说你可能觉得奇怪，其实我出生和成长都是在外国。

2. というのは、といいますのは。

1) 用于接过对方的话询问其具体内容。

①「私は彼があそこで何をやろうという魂胆が推測できた。」／“我已经猜测到了他在那里要干什么的企图。”“这话怎讲?”

2) 用于对自己所述之言说明理由。常和句末的から等呼应。

①A点からB点までの距離が一番みじかい。というのは、それが直線になっているからだ。／由A到B的距离为最短。这是因为这之间是直线。②「あの男にはやらせないと?」「というのは、あの男のやることには一度も満足したことがないというわけさ。」／“你说不让他干?”“这么说是因为我对他干的事从不满意。”

△以上的いう在口头上可用おっしゃる（尊敬语）或もうす（自谦语或郑重语）代替。

①私は近いところはなるべくのりものには乗らずに、歩くことにしておきます。と申しますのは、このごろ運動不足で、どうも体の調子がよくありませんので。／我准备近处尽量不乘车而走着去。这是因为，最近由于运动不足，总觉得身体不好。

という系（Ⅳ） ～ケイ 〈逆态接续词性词组〉という系列

由格助词と和形式动词いう的活用词组构成，其不同形态表示各种逆接关系。因とは表示引用、语言心理活动的助词，所以整个词组仍保留

着对上述内容与以承认的意念。由接续助词用法转来。主要形式有以下几种。

1. といって、といっても。

1) 连接两个否定句，表示前项中的不利情况不能用后项办法加以改变，无所适从，毫无办法。

①それはあまり愉快なことではなかった。といって、誠太郎には対策がない。／那并不是怎么愉快的事情。尽管如此，诚太郎又没有对策。②背中のこの子がいては自由に剣をふるうことができない。といって、また子供をすててしまうわけにもいかない。／有背上这个孩子，就无法灵活地舞剑。但是，又不能扔下这个孩子。

2) 后项是对前项的否定性补充。

①みなさんに集まっていたいたのは、この研究を助けてもらいたいからです。といって、大してごめいわくはおかけしません。／把大家请到一起，是想请大家协助这项研究。不过，不会给大家添太多的麻烦。②少し村の中を歩かれますか。といってもアッというまに端から端まで行ってしまいますがね。／您想不想在村里走走？当然，一眨眼工夫就从一头儿到另一头儿了。

3) 以插入语性质的后项作为对前项内容的修正。

①実はね、以前、といっても、つい二年前の話ですが、そう提案した人がいます。／其实啊，过去——虽说“过去”，也只是两年前的事——有人这样提议过。②部屋の中はきれいに片付いて、といっても隅においた一つの櫃ひつ似外には何もなかったが、清潔で涼しかった。／房间里拾掇得很干净（当然，除了角落里放着的一只柜子以外也没有什么），既清洁又凉爽。

4) 以反论的语气接过对方的话阐述己见。

①「何か行動しなきゃ」「といってどうするんだ？」／“要采取点儿行动。”“可是，怎么办呢？”②「とにかく、落ちついて、お話を聞こうじゃありませんか。」「といって、こんな所で、立ち話をするわけにもいかない。」／“不管怎么说，咱们平心静气地听一听吧。”“可是，也不能在这样地方站着谈话。”

2. というより (というよりも、というよりは)。表示后项是对前项的修正或更准确的说法。

①政治はますます不明確な、というより高度に緊迫した段階に入っている、／政局进入了越来越不明朗的，更准确地说，高度紧张的阶段。②もちろん，彼女たちはそれっきり，あの少年のことを忘れた。というより，少女の羞恥心が男の子を意識すまいとした。／当然，她们过后就把那位少年忘了。不，应该说少女的羞涩心理促使他们竭力不去想男孩子。③私はこれという目的もなく英語を学んだ。というよりも，これと言ってやることもないために，それを学んだといった方が正確である。／与其说我茫无目的地学了英语，倒不如说由于无所事事而学了英语更准确。

3. というものの、とはいいうものの。表示虽然总的事实或道理上如前项，但是具体事实或实际上如后项。

①私たちは早くから知り合っている。とはいいうものの，お互いの家族の様子は殆ど何も知りません。／虽说我们很早以前就相识，可是对方家人的情况几乎一无所知。②「兄上はいつお帰りになりますか」「月日の流れるのは早いものだ。とはいいうものの，遅くとも今年の秋を過ぎることはあるまい」／“请问兄长何时归还？”“光阴似箭。不过，至迟也不会超过今年秋天。”

4. とはいえ。承认前项，同时指出仍有后项中的问题。转折的语气很强。前后项都是既定的。

①病状はやや安定し始めた。とはいえ，長い間のわずらいを直すにはまだ時間がかかるそうだ。／病情稍有缓和。尽管如此，据说要治好长期的疾患，还需要时间。②ぶつぶつ言っている。とはいえ，全然不服でもないらしい。／他满腹牢骚，不过好象不是绝对不服。③妹は大学に入るのが夢である。とはいえ，何の試験準備もしていない。／妹妹的志向是上大学，但是没做任何应考准备。④評価すべきものも少なからずある。とはいえ，矛盾や不統一の所も見逃すことができない。／值得肯定之处也有不少。同时，也不能忽略自相矛盾和不统一之处。

という系 (V) ～ケイ <顺态接续助词性词组> という系列



主要有以下几种形式。

1. というと。

1) 以他人话语或自己心中提起的事为主题, 后述说者关心的事项。

①年齢のせいというのか, この頃, 3時というときと眼が覚める。／大概是年龄的关系吧, 现在, 一到三点钟准醒。②留学というと, 専攻は何ですか。／说去留学, 那么专业是什么? ③先生に叱られたというと, 昨日蛇を教室に放ったからだろう。／提起挨老师的批评, 是因为昨天往教室里放蛇吧?

2) 接～か形式后, 前项相当于设问, 后项是回答。

①どうしてこんなにくたびれたかというと, あまり走りすぎたからです。／怎么累成这样, 因为跑得太急了。②なぜ経済的に日本に敵わないかということ, それは歴史の差異にその原因がある。／为什么在经济上赶不上日本呢? 其原因在于历史的差异。③それではガンを直す方法はないかということ, そうとも限りません。／那么, 是不是就没有办法治疗癌症呢? 也不一定。

3) 构成副词性惯用词组どちらかということ, 表示认识、主张偏向于某一方。

①僕はどちらかということ賛成する方です。／我还是倾向于赞成。②どちらかということ, 汽車の方がはやい。／比较起来还是火车快。

2. といえば。

1) 提示话题。等于というとの1)。

①馬といえば, 君は競馬を見たことがありますか。／提到马, 你看过赛马吗? ②変わったといえば, 家の変わりようもひどいものだった。／若说变了, 家里的变化也太大了。③楽しいといえば, 学生時代ほど楽しい時代はないだろう。／说快乐, 再没有比学生时代更快乐的时代了吧。

2) 接～か形式后, 前项相当于设问, 后项是回答。相当于というとの2)。

①牛乳がなぜいやかといえば, 飲めばへどが出るからです。／你说我为啥不喝牛奶? 我一喝就恶心。②三千代の暮らしはどうかと云え

ば、今心細い境遇に居る。／提起三千代生活得如何，目前境况令人不安。③どうして今度の試験にパスできたかといえは、やはり不断の知識が物を言ったからなのだ。／想一想这次考试为什么通过了，还是平常的知识起了作用。

3) 构成副词性惯用词组どちらかといえは，表示认识、主张偏向某一方。同というとの3)。

①ぼくにはどちらかといえは，学校の教師のような仕事に向いているようである。／对于我似乎学校教师一类的工作更合适。②栄治はどちらかといえは，弱々しい感じです。／栄治比较起来给人以弱不禁风的印象。

4) 以同词反复（下例①～④）或类似的形式提出一种性质、状态并加以确认。常以～といえは～が～的让步形式出现。

①こうした現象は恐ろしいといえは恐ろしく，何でも無いといえは何でも無いことだ。／这种现象说可怕就可怕，说无所谓就无所谓。②世間は，不公平といえは不公平だが，しかたがない。／世道说不公平确实不公平，可又有什么办法。③高尚といえは高尚ですが，不親切な言方と思います。／这种说法确实高深，但是不易懂。④まことに不思議な，面白いといえは面白い，そんな人たちはばかりです。／都是些不可捉摸的，确有风趣的人。⑤どんな状況に陥っても，がっかりしないのが，繁一の美点といえはいえた。／如果说，陷入何种境地也不灰心是繁一的长处，确实是如此。⑥流行<sup>はや</sup>っているといえはそうですが，私は好きになれません。／说时兴倒是不假，但我喜欢不起来。

5) 构成とい（ってしま）えはそれまでだ形式，以无奈的语气表示认可前项观点或情况，常后续本来坚持的观点。

①好きでないといってしまえはそれまでですが，栄養があるから沢山食べた方がいいと思います。／若（说）不喜欢当然不能强求，不过我想，因为有营养，还是多吃为好。②スポーツをやらなくても結構丈夫な人も多いといえはそれまでです（が，少なくとも散歩ぐらいはするものです）。／如果说有许多人不锻炼也满结实，这倒是事实（，但至少应该散散步）。③誰だって手落ちのあるのは当然だ，といってしまえはそ

れまでだが、私は、自分の専攻でないことにぶつかると、いつも専門家にうかがう。／不错，任何人都会出差错，不过，我每遇到不是自己专业的事情，总是请教专家。

3. といって。

1) 表示主观认定的原因理由。

①生徒だけでは危ないと言って、先生もついて行きました。／说是光是学生危险，老师也跟去了。②谷瀬は刈井と和解できなかったと言って、彼を殺そうとするものだろうか。／谷瀬会不会是因为没能和刈井和解，便想干掉他呢？③地藏様をいじめて、いたたまれない様にすれば病人は大丈夫だといって、昼夜交替で騒ぐ。／（他们）认为如果折磨地藏菩萨，让他不得安宁，病人就会无恙，于是昼夜轮番闹腾。

2) 以模拟引语的形式表示后项行为的理由。

①御飯だといって、女中が呼びに来たけれども帰らなかった。／女用人因开饭了来叫，但没回去。②三カ国語も言えるといって大きな顔をしている。／因能说三国话而自命不凡。

3) 接～から形式后，表示前项原因理由不足以妨碍后项结论的成立。

①テレビが好きだからといって、それを見てばかりいては学業はだめになる。／如果因为喜欢看电视就只管看，那学业就完了。②やすいからといって、役に立たないものを買うわけにはいかない。／不能因为便宜就买没用的东西。

4) 以～といって、か～といって形式表示对照性逆接关系。

①詩によって有名になろうと思いつながら詩の名人と交わりをしなかったか～といって、またおれは俗物の間に伍することも潔しとしない。／我想通过诗而出名，却未和诗坛名人交往，而我又不敢与庸人为伍。

4. というので。表示以他人的话或普通看法、自己认定的想法等作为后项的原因、理由。

①父が倒れたというので、私は会社からかけつけました。／听说父亲病倒了，我从公司里赶了去。②早婚は有害だというので、禁止され

ました。／早婚被认为有害，所以禁止了。③この人に来てもらえたら，  
 というので，はるばるたずねていきました。／希望把这个人请来，于是  
 长途跋涉去走访。

という系（Ⅵ）～ケイ 〈逆态接续助词性词组〉という系列  
 主要形式如下。

1. といっても、とはいっても。表示承认前项内容，同时提出后项  
 的问题和保留。

①食塩や砂糖が水に溶けるといっても，いくらでも溶けるわけでは  
 ない。／虽说食盐、白糖能溶于水，并不是说能无限地溶解。②バンガ  
 ローだとはいっても，板をうちつけただけのそまつなものだ。／虽说是  
 带凉台的平房，只不过是板钉的简陋的东西。③横浜はにがやかだとは  
 いっても東京とは比べものにならない。／虽然说横浜热闹，但和东京  
 不能相比。

2. とはいえ。有时也说といえ。表示即使承认前项的既定事实，也  
 不能改变后项的消极或否定内容。

①期待していなかったとはいえ，優勝できなかったのは，やはり残念  
 だ。／即便没抱希望，但是没能得冠军毕竟很遗憾。②平吉役がいくら  
 彼の当り芸だとはいえ，年齢的に68才である。／虽说扮演平吉是他的  
 拿手戏，可看年龄已68岁了。③大きな病院（だ）とはいえ，各室に看護婦  
 が一人ずつあてがわれているはずはなかった。／尽管是家大医院，也不  
 是各病室都配一名护士。④たとえ身体が不完全だといえ，人里離れた海  
 辺で過ごすなどというのは，私の性分に合わない。／就算身体有缺陷，在  
 远离人烟的海边渡日，这不合我的性格。

3. というのに。以与明摆着的事实相反、相矛盾的口气表示逆转。

①もう午前2時だというのにまだ起きている。／都上午两点了，还  
 没睡。②先生，入試があと二カ月だというのに，うちの子まるでノン気  
 なんですの。／老师，还有两个月就是入学考试了，可我家的孩子根本不  
 当回事儿。③四時を過ぎたばかりというのに，黄昏<sup>どき</sup>時のように暗かった。  
 ／刚过四点，却黑得象黄昏时分一样。④その辺は泳ぎに適さないらしく，  
 夏だというのに人影らしいものがなかった。／那一带看来不适于游泳，



明明是夏天，却连个人影儿也看不见。

△也有时用于结句，带有不满的语气。

①私には死ねなかったことが、不運に思えた。まだ40にまでも間のある年だというのに。／尽管到40岁还早，我却觉得没能死成是不幸的。

②椎名はなぜ私の話を信じてくれなかったのだ。私が、生死の境にあるというのに。／椎名为什么不相信我的话？明明我正处在生死关头！

4. というより、というよりは、というよりも。表示后项是对前项的修正、补充或否定性的最终认识。

①話を聞いてゆくと私は、腹が立つというより情なくなってきました。／我听着他的话，不是生气，而是感到可怜。②むざんというより見事な最期だった。／与其说死得悲惨，不如说死得很光荣。③星から星へと旅してみることは、子供たちの夢（だ）というよりは、むしろ全人類の永遠のあこがれである。／在星际旅行与其说是儿童们的梦想，不如说是全人类的永恒的向往。④それは、巨大な宇宙船というよりも、まさに宙に浮上する城でした。／那哪里是巨大的宇宙飞船，简直是浮在天空的城堡！

5. 其他。类似形式还有：

①長年の研究をしてきたといえども，成果は何も得ていない。／虽说多年来一直进行研究，但没取得任何成果。②一度聞いたことがあるとはいいうものの，20年も前の事なのではっきりは覚えていない。／听倒是听过一次的，但那是20年前的事了，所以记不清楚。③大学を卒業したとは言いながら，それは自分の専攻でないから自信はありません。／虽然是大学毕业，但那不是我的专业，所以没把握。④スポーツは必要だというけれども，遊んでばかりいても困る。／虽然说体育是必要的，但是光玩儿也不行。

という系（Ⅶ） ～ケイ 〈并列助词性词组〉という系列

【构成】由表示引语的格助词と和动词いう的一些活用形和词组构成。为便于掌握，把ともうす（郑重语）也归于本条。

【接续】主要接体言后。个别时候用于词组（2中例①）或句子（1中例④）后。一般以～と～と～的重复形式使用，也有时只用一次。

【意义】 1. ～といい（～といい）形式。表示并列项无一例外。

①アリは、蛇といい、ケモノといい、すべての死骸を一掃する。／蚂蚁把所有尸体一扫而光，管他是蛇是野兽。②それは声といい，話様といい，ことさらに彼に聞かせようとして，しゃべり立てているらしい。／那声音，那口气，都象是为了给他听而起劲儿地讲似的。③筋肉隆々とした腕といい，見るからに丈夫そうです。／就说那粗壮的胳膊吧，一看就是健康样儿。④この映画は，上映時間も二時間半といい，画面は九割がポルノシーンといい，色々な意味で“大作”であり“巨編”である。／这部电影，从上映时间达两个半小时来说，从画面百分之九十是色情场面来说，从各种意义上，都是“大作”，是“巨篇”。⑤背といい毛並といい顔の造作といい敢えて他の猫に勝るとは決して思っておらん。／个头也好，毛长的样儿也好，五官的安排也罢，我的确不敢认为比别的猫强。

2. ～という（の）か（～という〔の〕か）形式表示所列项目无法确定的关系。

①本当になつっこい，というのか，いい人たちね。／说对人随和也行，反正都是些好人。②この数字は意外というか驚きである。／这一数字我觉得意外，令人吃惊。③どうもあの人はそこらを誤解というか，理解しておらんよね。／他或许是误解，我觉得他没理解这一点。④本来そうする必要はないんだが，弟に対する僕のささやかな抵抗というか，良心というか，或は，一人良がりのジェスチャーかもしれない。（「箱庭」）／本来是没有必要这么做的，这可能是我对弟弟的一点抵触情绪，或者是良心，或者是自以为是的姿态。⑤何か新しい規律，道德といえますか，モラルといえますか，どういう言葉でもよろしいです。／是某种新的纪律、道德，或是伦理，怎么说都可以。

3. ～といおうか～といおうか形式。与2意义基本相同，只是语气更委婉。

①ハウスと言おうか，ホテルと言おうか，あそこは悪評高い人間の巣窟といったような所だ。／是叫住宅还是叫饭店呢，那里可说是恶名昭著的“黑窝”。

4. ～といわず（～といわず）形式表示所举项均不例外。

①昼といわず，夜といわず，机に向かつてばかりいる。／不分白天黑夜，终日伏案工作（学习）。②体中の血が鎖に循環を止められたので，顔といわず体といわず一面に皮ふの色が赤走ってきた。／全身的血液循环受锁链所阻，脸上、身上、皮肤的颜色到处泛起红色。③燈を見ると船頭と言わず人々の胸の中には底深い喜びがひとりでに湧き出してくる。／一看见灯火，不必说船老大，大家都从心底里油然泛起喜悦。④写真を見ると，顔と言わず，全身の姿勢までが父に似ている。／一看照片，不仅脸，连全身的姿勢都象父亲。

△注意有时といわず不是并列助词。例如“お母さんがといわず，自分でやるんだ／不要（说）让妈妈做，要自己做。”

5. “～と申し（～と申し～）”形式。是～といい（～といい）的郑重语形式。

①これは，仇討の真似事を致す程，義に勇みやすい江戸の事と申し，且はかねがね御一同の御憤りもある事と申し，さような輩を斬ってすてるものがないとも，限りません。／这既是因为江戸人见义勇为，甚至效法复仇，又是因为大家早已义愤填膺，所以未必无人来斩除此辈。

6. “～と申しましょうか（～と申しましょうか）”形式。是～といおうか（～といおうか）的郑重语形式。

①堀川の御邸の御規模を拝見致しましても，壮大と申しましょうか，豪放と申しましょうか，到底私どもの凡慮には及ばない思い切った所があるようでございます。／即便是瞻仰一下堀川宅邸的雄风吧，似乎有些大大出乎我等的凡虑之外的独到之处，不知该说是壮观呢，还是豪放。

ということ 〈词组〉

由という和形式体言こと构成。

【意义】主要有以下几种情况。

1. ということだ。

1) 表示传闻。

①この人たちは湯治をするためにやってきたということだ。／据说这些人是来洗温泉治病的。②昔の中国では，めずらしい貝がらがお金と

して使われていたということである。／据说在古代的中国，稀奇的贝壳曾被当作钱来使用。

## 2) 表示传达。

①彼は二人の同級生を連れてきました。聞けば親友ということですから。／他领来两位同学。听他说是好友。②僕の養母の話によれば、幕末には銀座がいよいよタヌキがあったということである。／据我养母讲，在幕府时代末期，银座一带也有过狗獾。

## 3) 强调句子主题的具体性质。

①卒業とは、いわば、新しい勉強の始まりということです。／可以说，毕业是新的学习的开始。②これらは彼らが人々を害した悪業あくごうの報いが、その身にふりかかったということであろう。／这些恐怕就是他们害人罪孽的报应。

4) 指明说者的主张、结论。“我说的事情就是～”之意。经常在句子结构上找不出相当于“ということだ”的主语的部分，这是与3)的不同。

①それまでにない説である。つまり、佐賀氏が最初に出した説だということである。／是前所未有的观点。就是说，是佐贺先生最先提出的观点。②極端に申せば、わが子の出来ばえは、自分の身につける服飾品などとそう変らないということです。／极端地说就是，自家孩子的成绩，和自己身上的服装首饰之类没有太大区别。

## 2. ということが（或も等）ある。表示可能性的有无。

①もし起したら、その病情を悪化させるということがありませんか。／如果叫醒，会不会使病情恶化？②場合によっては、栄養を取りすぎて、「肥大児」になるということもある。／在有些情况下，也有可能摄取营养过量而成为“肥胖儿”。③この世界では厳守中立ということは絶対にありえない。／在这个世界上绝不可能存在严守中立。

3. 疑问词＋ということもなく。通常用简略形式ともなく。偶尔用于句末，成～ともない形式。表示在时间、地点、人物等方面没有个别的认定，确指。

①燕はどこということもなく南へ南へとかけりました。／燕子无特



定目標地继续朝南飞去。②誰でも一人来ればいい。誰ということもない。  
／随便来个谁都行。不是非某某人来不可。

4. ということにする, ということになる。分別表示主观上假设为某种情况、推论的结果或客观结果。

①まず誰も中を見ていないということにしておきましょう。／让我们先假定谁也没看里面。②長く美しく生きるには、たばこは禁<sup>きんもつ</sup>物ということになる。／就是说, 若想活得长久而美好, 烟是大忌。③教科書一冊が終わったことは、その中のどこの問題を出されても解けるということになっていなくてはなりません。／考到其中的哪个地方的问题都能解答, 这才等于学完了一册教科书。

5. ことができる。表示可以作出某种评价、判断、结论。

①中学生は成長ざかりにあることができる。／可以说, 初中生正处在成长期。②チンパンジーは人類の親戚だということもできましよう。／也可以说黑猩猩是人类的亲戚吧。③これだけで, UFOの地球侵略が近づいているということもできないでしょう。／仅凭这, 似不能说飞碟对地球的侵略已经临近了。

6. ということ。表示认为合理的原因、前提。

①私はその晩, 知っている若い教師に売ってやるということで, その四冊の本を捜しだした。／那天晚上, 我为了卖给一位认识的年青教师, 就把那四本书找出来了。②皇太子は「どうしていつも人々に迷惑をかけることができますでしょうか」ということで自殺なさいました。／皇太子想到自己不能永远麻烦别人, 因而自尽了。③しばらく仏教の修行をしようということで庵を結んだ。／准备修行一段时间, 便搭了个茅庐。

7. 其它由于定语性质的需要而在こと前加という的情况。只起使定语名词化并使其内容所指明确。

①自分が軍人であるということを忘れてはなりません。／不要忘了自己是个军人。②いたずらっ子などは工作などにかけてはとてもうまい, ということは何を意味していますか。／淘气包儿一到手工课就很巧, 这一点意味着什么呢?③誰にだって向きと不向きとがあるということには, 多くの教師と父母は気がついていない。／许多教师和家长没有

注意到（凡事）对每个人都有适合与不适合的区别。

### というの 〈词组〉

由という和形式体言の构成。主要接名词和引语后，仍构成名词性句节，可后续各种助词。

1. 后续は表示陈述的主题。近于とは（另项），前接的名词等是人们熟知的或双方共知的，后述评论性内容或ことだ、からだ等说明性内容。

①世襲というのとはものごとの進歩には不向きな制度である。／世袭，这是一种不适于事物发展的制度。②第三次産業というのとは，商業，遊覧業のようなサービス業のことである。／第三产业就是商业、旅游业等服务行业。③「猫の額」というのとは，非常に国土が狭いからです。／之所以说是“弹丸之地”，是因为国土非常窄小。④僕はその時始めて恋の楽しさと悲しさとを知りました。二カ月というのとはまるで夢のように過ぎました。／我这时才第一次懂得了恋爱的欢乐与悲伤。那两个月就象梦一样过去了。⑤日本語が非論理的だというのとは，ただ日本人がよく遠回しをするからです。／说日语不合逻辑，只不过是因为日本人说话好绕弯子的缘故。

2. 后续其他助词，做各种句子成分。“名词＋というの”和“名词”相比，前者是把双方共知的或关心的事实作为话题内容重新说出来，进行解释、介绍。

①昔の人の言葉に「死生命あり」というのがある。／古人的话里有一句叫作“死生有命”。②私は古典小説というのには興味がない。／我对于古典小说不感兴趣。③「まえ向き」というのを「マル向き」と解してはならない。／不能把所说的“向前看”理解为“向钱看”。④ただ一軒残っている角屋というのへ，烏打帽の紳士が入っていった。／一位戴鸭舌帽的先生，走进了传说只剩一家的街心商店。⑤それは，小さな，しずかな町だった。松下村塾というのもそこにある。／那是个小小的、静静的镇子。传说的松下村塾也在那里。

### というもの 〈词组〉

由相当于格助词的という和もの构成。

1. 以というもの（は）的形式接于から、てから和表示时段的名词后，强调这整个期间。只用于过去。

①代助と平岡とは、卒業して後、一年間というものは、殆ど兄弟の様に親しく往来した。／代助和平岡在毕业后的一年里，亲如兄弟，来往密切。

②学校に行くようになってからというものは、次郎は泣く癖を直しました。／自从上学以后，次郎把好哭的毛病改掉了。

③この一月というもの、この村には雨一滴も降らないので、雨乞の祈禱が始まる始末です。／这一个月里，这个村庄滴雨不下，闹得搞起祈雨来了。

④果して翌日から当分の間というものは、主人は書斎で昼寝もしないで絵ばかり描いている。／果然，从第二天起有那么一阶段，主人在书房里连午觉也不睡只管画画儿。

⑤工場作りに仕くじってからというものは奇麗さっぱり何もやらない事にしてしまった。／自从办工厂失败以后，干脆什么也不干了。

2. 接名词后，仍构成名词性词组。和单个的名词相比，有评论性和区别性。这个名词通常表示双方已知的事物、话题。

①老人というものはこらえ性のないものである。／老人就是没有耐性。

②それがうぬぼれていうものだ。／这就是骄傲自大。

③外国語というものは、そう簡単に身につけられるものではない。／外语这东西不是那么轻易就能学会的。

④その僧が鬼になったのは過去の因縁というものであろう。／那位僧变成了鬼，可能是所谓前世因缘吧。

#### 同音語 ドウオンゴ 同音词

【解释】当两个以上的词具有相同的语音形式时，就互称为同音词，也称同音异义词。同音词主要在口语中起着妨碍理解的作用，在书面语中，由于有汉字、平假名、片假名等标写手段在起作用，问题不那么突出。但如果全部使用罗马字或一种假名书写，书面语的同音词问题也和口语里一样严重。

有些同音词之间词义近似，称为“同音類義語”（同音类义词）。如：異常／異状、制作／製作、追求／追究／追及。

个别同音词甚至是反义词，可特称同音反义词（同音反対語）。如：礼遇／冷遇、排外／排外、買価／売価、匹夫／匹婦。作为极端情况，个别词同音同形，虽为一词却兼有正反两义。如：帰る（回来）／帰る（回

去)、今度(这次)／今度(下次)、やもめ(寡妇)／やもめ(光棍)、てまえ(我)／てまえ(你),可看作两个同音反义词。

日语中同音词的大量存在与日语语音的种类较少、结构简单有直接关系。比如,“しゅうと”在固有词中已经有同音词“舅、姑”等,加上外来词和音读词的大量输入,同音词为成倍地增加了。如增加的音读词有“囚徒、州都、宗徒、衆徒”,外来词有chute、shoot。

日语语音的逐渐简化的历史过程也促进了同音词的大量产生。如,藤(ふち)／富士(ふじ)、菓子(クッシ)／下肢(カシ)、飢える／植ゑる等在古代无论读音还是标写,都是有区别的,在近代则成了同音词。

词汇的发展是产生同音词的又一个原因。如“新聞屋／新分野”是派生造成的同音词,“書く／掻く”是词义分化造成的同音词。

【辨异】1. 一部分同音词可根据重音来区别,如:はな(花)／はな(端)／はな(鼻)。有的仍不能准确区别,如:あつい(厚、篤)／あつい(暑、熱)。有另一些根据重音无从辨认,如:くも(雪、蜘蛛)。

2. 大部分同音词能根据文脉和场面加以区别。这也是同音词得以存在的消极的理由。如,“家をかう”不可能是“家を飼う”,而“犬をかう”也可根据当时场面断定是“～飼う”或“～買う”。

3. 根据词性和用法来辨认。如:雄だ／押すな、鯉／来い、北／来た。

还有少量词通过上述方法仍不能辨别。如,この学校はシリツ(私立、市立)だ、ぼくはカガク(化学、科学)者になろう。在广播用语中作为辅助手段常用“ばけがく”(化学)、“いちりつ”(市立)来与另两者サイエンスがく(科学)、わたくしりつ(私立)相区别。

【同音词的应用和整理】总的来说,大量同音词的存在是语言的缺陷。而把它作为优点来利用的有以下两种情况。一是便于造出双关语。如谚语“あんずよりうめ”谐“杏より梅”(梅果比杏便宜)的音,表示“案ずより生め”(实际比想象容易)。二是用同音字代替当用汉字表以外的汉字,对限制汉字数量有一定帮助。如:希(稀)有、活発(潑)、車両(輛)、保(哺)育。

关于限制同音词的使用,整理同音词,首先是由法务部门提出来的。



1954年の「法律用語改正要領」对一些同音类义词作了归并。如：紀律→規律、召集→招集、浸害→侵害、更代→交代、停年→定年、配布→配付、改訂→改定。

【参考】关于同音词的主要著作有国立国语研究所报告第20号「同音語の研究」(1961)，对同音词的若干主要问题作了调查。

### どうか 〈副词〉

1. 状态副词用法。一般可看作どう和かの临时组合。主要用どうかするの词组形式。

①彼は今日どうかしているね。／他今天有点儿不正常。②どうかしたいのですが、品切なので、どうにもなりませんね。／本来想想点办法儿，无奈脱销，实在是帮不上忙啊。③どうかすると、プンプン怒ってしまう。／一有点儿事就大发雷霆。

△“こうしたらどうか（这么办如何？）”之类用法的どうか也是实义用法。敬体はどうですか。

2. 陈述副词用法。和表示愿望、请求之类的用法相呼应。

1) 用于要求对方为自己做某事。

①どうかご指導下さい。／请您指正。②どうかわしも仲間に入れてくれまいか。／也算我一个可以吗？③どうかわしの願いを聞き入れて、おまえらの仲間のひとりにしてほしい。／希望接受我的请求，让我成为你们的一员。④どうかよろしくお願い致します。／请多关照。

2) 表示内心的愿望，用于自言自语等。

①どうか早く戦争が終わりますように。／但愿早日结束战争。②どうか今年も無事で過ごせますように。／但愿今年也太平无事。

【参考】第二人称时，どうか和どうぞ区别是：前者易和表示请求的～くれ，～下さい呼应，而难和表示劝诱的～なさい呼应。试比较：

①※どうか（→どうぞ）好きなように（しなさい）。②どうか（或：どうぞ）好きなようにしてください。／请您随便。

例②中どうぞ表示单纯请求的语气，どうか表示明知有困难仍要请求的语气。同理，下句不成立。

③※さあ，どうか（→どうぞ）召しあがって下さい。／来，您请吃

啊。

另外，どうぞ只用于第二人称，而どうか不受人称限制。见用法2。

統語論 トウゴロン 句法，句法学。

⇒構文論

動作態 ドウサタイ 动作体

在某一运动、动作、状态的开始、继续、结束各个阶段中，从不同阶段对运动、状态进行反映的各个语言形式称为动作体。以“書く”为例，可举出下列几种不同的阶段和动作体：

开始以前（書くこうとする）→开始（書き始める）→进行（書いている）→结束（書き終わる）→结束以后（書いてしまう），等等。

动作体实际上表示双重动作，即动作的动作。因此有些可以说成诸如“書くことを始める”、“書くことを終える”等。

动作体和动词体往往都称为アスペクト，但二者是不同的。动作体反映动作阶段的不同，而动词体反映动词本身所表示的动作和状态的性质、样态的不同。金田一春彦曾区分了四种动词体（参见“アスペクト”项）。

动词的动作体形式本身又相当于一个动词，所以整个形式又具有动词体。例如，始动体～はじめる相当于一个瞬间动词，和其他动作体重叠使用时，只能后续能用于瞬间动词的动作体。

書き始めている（动词+始动体+固定体，亦可看成瞬间动词+固定体）／已开始写。

※書き始めつづける

※書いてい始める（进行体相当于状态动词，不能后续始动体）

字を書こうとしている（动词+将然体+进行体，亦可看成继续动词+进行体）／正要开始写字。

动作体可分为静止性动作体（状態相）和活动性动作体（動作相）两种。静止性动作体表示处于某种状态中，包括进行体（進行態）、反复进行体（反復進行態）、固定体（既然態）、单纯体（単純状態態）（都用～ている形式）和将然体（将然態）。活动性动作体表示在动作的某一阶段中进行，主要包括始动体（始動態）、终结体（終結態、～おわる）、继续体（継続態、～つづける）、反复体（反復継続態、～し～しする）、既现

体（既現態、～てしまう）等。一般静止性动作体用于活动性动作体之后。

有时一个语言形式兼有体和语气两种职能：

①今君の所へ行こうとしている所だ。（行こう表示意志，兼将然体）  
／正要到你那去呢。

動詞 ドウシ 动词

【性质】词类的一种，属于用言。基本形以ウ段音结尾，活用词尾（的第一个假名）分布于所属行的不同段上，亦即在同一行上活用。动词的意义是表示人物的动作（歩く，打つ）、行为（褒める，考える）、存在（ある，いる）、状态（違う，そびえる）等等。就意义来说，动词和形容（动）词并无本质区别，特别是表示状态的动词和形容（动）词更为接近。实际上，动词区别于其他用言的最大特点是其形态特征。在语法功能上，动词可以以终止、命令形单独作谓语（当然，后续助〔动〕词是更为普遍的用法），以其他几种活用形后续一些词来扩展叙述。这种语法作用与形容词、形容动词没有本质上的区别，因而共同构成用言。

【诸说】山田孝雄认为用言具有属性概念和陈述作用，属性概念反映事物的“推移性”、“突发性”的性质、状态等，并把只表示陈述作用的“あり”之类排除于动词之外，另立为存在词，与动词、形容词并列，共同构成用言。

时枝诚记承认用言的叙述性而不承认陈述作用，所以把表示判断的“ある、ござる”等视为助动词，而把られる、させる等表示属性概念的助动词视为动词的一种，称接尾辞。

松下大三郎说的“动词”等于用言。动词称为“动作动词”，形容词称为“形容动词”。“动作动词”为细分为：1. 运动性的，如，行く。2. 静止性的 1) 意志性的，如，居る、堂堂たり。2) 自然性的，如，在り、静かなり、遠かり。

桥本进吉认为动词有如下特征：1. 有命令形。2. 无副词法。3. 连用形有名词法。4. 助动词的接续法最自由。5. 可后续补助动词スル（形容词后续アル、ナイ）。

動辭 ドウジ 动辞

富樫广荫在<sup>ことばのたまはし</sup>《詞玉橋》一书中，从划分词的角度，首次把辞从其他词类中划分出来，有活用的辞命名为动辞，没有活用的辞命名为静辞。大槻文彦从英文语法中借用助动词一词以后，仍有人（如，冈泽铎次郎）沿用动辞这一名称。松下大三郎、高桥龙雄则称作动助辞。

### 動詞式活用 ドウシシキカツヨウ 动词型活用

【性质】指动词所具有的活用类型，是活用的主要类型。最大特点是活用形齐全，共有7种，即：未然形、连用形、终止形、连体形、假定形、命令形、推量形。在文言中，无假定、推量二形，另有已然形。

活用类别复杂是另一特点。现代日语计有5种：五段活用、上一段活用、下一段活用、カ行变格活用、サ行变格活用。古代日语计有9种，除以上5种（其中五段改为四段）外有：上二段活用、下二段活用、ナ行变格活用、ラ行变格活用。

具体活用方式见上述的各具体项。

【参考】1. 关于活用形的形式特征。古代和现代日语的活用形共有3种形式特征。一是通过元音交替，二是通过音节附加，三是二者的混合。通过元音交替来活用的有五段活用、四段活用和ラ变活用。各个活用形的区别体现在词尾元音的不同上，如“書く”的未然形和连用形：kaka（書か）、kaki（書き）。通过音节添加来活用的有古代和现代的所有一段动词。各活用形的不同表现在除不变部分之外有无音节的添加、添加哪个音节。如现代上一段动词“起きる”的未然形、连体形、假定形：oki（おき。无添加音节）、okiru（おきる。添加る）、okire（おきれ。添加れ）。通过混合方式来活用的有上二段、下二段、ナ变、现代和古代的サ变、カ变。如，现代カ变动词“来る”的连用形和未然形体现为词尾元音的不同：ki（き）、ko（こ），而连体形和假定形则表现为添加音节的有无或不同：kuru（くる。添加る）、kure（くれ。添加れ）。

三上章等人将第1和第2两种变化形式分别称为强变化和弱变化，合起来构成规则变化，第3种为不规则变化。

2. 关于文言动词的活用类别和现代日语的对应。由文言到现代日语，总的来说，活用类别由9种减至5种，而活用形数目增加了一个。可以认为，前一个变化说明语法的规则性更强了，后一个变化说明活用形



的意义用法分工更加明确了。活用类别的对应如下：

文言（终止形）	现代（终止形）
四段（書く）	五段 （書く） （蹴る） （死ぬ） （有る）
下一段（蹴る）	
ナ变（死ぬ）	
ラ变（有る）	
上一段（着る）	上一段 （着る） （起きる）
上二段（起く）	
下二段（受く）	下一段（受ける）
カ变（来）	カ变（来る）
サ变（為）	サ变（為る）

### 同時性表現 ドウジセイヒョウゲン 同时表达法

【性质】两个或更多的动作、状态经常是同时发生的，而且它们之间的关系也多种多样，如伴随性的、对等性的、互逆性的，等等。反映这些关系的表达法就是同时表达法。同时表达法不表示条件和归宿的关系，这一点区别于条件表达法；它是以同一时间为前提的，这一点又区别于并列表达法。

#### 【用法和形式】 1. 伴随动作。

1) 接续助词ながら、つつ（文言）都表示同一主体的伴随动作。

①彼はコーヒーを飲みながらゆっくり休んでいる。／他喝着咖啡悠闲地休息。②対策を検討しつつ時勢の動きを見守っている。／一边研究对策一边注视着形势的动向。

2) 用接续词かたがた、がてら、かたわら。均以前项为本动作，后项为伴随动作，亦即语义中心在前项。

①勉強のかたわらアルバイトをして学資を賄っている。／学习之外，还做零活筹措学费。②お客さんを見送りがてらに百貨店に行ってきた。／借送客人的便去了趟百货商店。③休みかたがた，郷里へ帰ってきた。／趁休息回了一趟老家。

3) 用接续助词性词语“一方、とともに、と同時に”等。主要用于书面。

①外部からの浸透にそなえる一方、内部からの策動をも未然に防ぐ体制を取っている。／采取一方面防备外部的浸透，另一方面防止内部的策动的防患于未然的体制。②新製品の開発とともに、新しい技術陣の養成にも注意を払う。／在开发新产品的同时注意新的技术队伍的培养。

#### 4) 动词连用形的重复形式。

①びっこを引き引き，職場から帰ってきた。／一瘸一拐地从单位回来。②顔を見い見い(长音化)いたずらっぽい目つきで，こっそり言った。／看着脸，以调皮的眼神儿，悄声说。

#### 2. 对等的动作和状态。用接续助词し、ば表示。

①日本語科の学生は，日本語も勉強しますし，英語なども勉強します。／日语专业的学生既学日语，也学英语等。②子供も泣けば女たちも泣いた。／孩子也哭，女人们也哭。

#### 3. 互逆关系。用接续助词が、けれども、ながら、つつ表示。

①花は美しいけれどもかおりが全然出てこない。／花儿好看可是一点儿香味也没有。②よく勉強していますが，成績はだめです。／很认真学习，可是成绩不行。③彼は知っていながら猫をかぶっている。／他明知道却装着不知道。

#### どうして 〈陈述副词〉

##### 1. 和推测、疑问的用法呼应，表示对手段方法的疑问或不定。

①どうして持って帰ろうか。／怎样带回去呢？②どうして資金を集めるかについて討議したい。／准备讨论一下如何筹集资金。

##### 2. 呼应同上，表示理由方面的疑问或不定。比なぜ更通俗。

①夏はどうしてこんなに暑いのか。／夏天为什么这么热呢？②ひとはそのことにどうして気がつかないのか。／人们为什么注意不到这一点呢？③どうしてか彼は元気がなさそうです／不知为什么他显得无精打彩的。

##### 3. 以上用法的转用，表示反诘，常有感叹的语气。

①どうしてそんなことがあるだろうか。／怎么会有那种事呢？（绝没有那种事）②それをどうして私に止めることができますようか。／那

我怎么能阻止得了呢？（我怎么也阻止不了）

△“どうしてどうして”（哪里哪里。不谢不谢。）是感叹词用法。

どうしても 〈陈述副词〉

1. 和表示意志、请求的形式呼应，表示排除一切理由，千方百计去做某事。

①この本は来週までにどうしても戻して下さい。／这本书请你一定在下周（末）之前还回来。②どうしてもここを離れるつもりですか。／非要离开这里不可吗？

2. 和否定的成分呼应，表示只有如此认定、如此行动、别无选择。

①字の書き方からして、どうしても女性とは思われない。／仅从字的写法（字体）上来看，无论如何也想象不到是女的。②疲れ果て、昼間どうしてもうたた寝しないではいられない。／精疲力尽，中午怎么也得打个盹儿。

3. 和肯定的强调形式呼应，表示不可避免的结局、情况。

①どうしてもそんなになるものだ。／最终势必如此。②一緒に行くと、どうしてもお供という恰好だった。／每次一块儿走，总是我做随从。

動詞の已然形 ドウシノイゼンケイ 动词的已然形

文言动词活用类别有9种，各类别的已然形见下表。

活用类别	四段	上一段	上二段	下一段	下二段	カ 变	サ 变	ナ 变	ラ 变
基本形例	謀る	見る	起く	蹴る	受く	来	す	死ぬ	あり
已然形	はかれ	みれ	おくれ	けれ	うくれ	くれ	すれ	しぬれ	あれ

【用法】1. 后续接续助词ど或ども、ば。表示假定条件，和口语相同，如例②。或表示确定条件及引题性的条件，如例①③。

①今朝は日曜なれば，家に在れど，心は楽しからず。／因为是星期天，今天早上虽在家中，心情却不愉快。②人を謀れば人に謀らる。／欲

损人者反害己。③あたりを見れば、獣苑の傍らに出でたり。／四下里一看，已来到动物园的近旁。

2. 四段还可后续完了助动词り。

①彼を憎む心今日までも残れりけり。／恨彼之心至今未息。

3. 和句中的系助词こそ呼应。亦即“係り結び”用法之一。

①大臣は見たくもなし。ただ年久しく別れたりし友にこそ逢ひに行け。／吾并非愿见大臣。而只是去见阔别多年之好友。

△然れど、されど等是用法1的残余。～こそ言え，～こそすれ等是用法3的残余，有强烈肯定前项而否定后项之意，如：

①貸しこそすれ，借りた覚えなどない。／只是向外借，我可不记得往里借过什么。

**動詞の音便** ドウシノオンビン 动词的音便

五段（文言四段）动词后续助词て、たり时，不同行的词都可能发生音便。文言和现代语不同的是，文言里不把音便的连用形作为独立的活用形，因为文言的音便不是必需的。音便有イ音便、拨音便、促音便、ウ音便四种，见次页表。

文言中有时也因后续けり、たまふ而音便，如：給ひける→給うける，泣きたまふ→泣いたまふ。

ア行（文言ハ行）ウ音便也出现于关西方言中。買う→かい→こう（た、て）。作为例外，行く（五段）→いき→いっ（た、て）属促音便。

口语五段特殊活用动词连用形（～ます）和命令形也发生イ音便。如，いらっしゃい（ます）いらっしゃい。（命令）

**動詞の假定形** ドウシノカテイケイ 动词的假定形

现代日语动词的活用形之一。各活用类别的动词的假定形不相同，但未音都在エ段上。如888页的表。

【用法】只有一种用法：后续假定接续助词ば。表示假定、引题、根据、并列等。

①明日来れば結果が分る。／明天来会知道结果的。（假定）②文学といえは，まず小説が思い出される。／提起文学，首先想起小说。（引



音便类型	行	基本形	连用形	音便形	变化情况 (国际音标)
イ音便	カ行	驚く	おどろき	おどろい	k i → i
	ガ行	仰ぐ	あおぎ	あおい	ŋ i → i
	サ行 (文言)	おほす	おほし	おほい	ʃ i → i
ウ音便 (文言)	ハ行	思ふ	おもひ	おもう	Φ i → Φ → w
	バ行	呼ぶ	よび	よう	b i → b → w
	マ行	頼む	たのみ	たのう	m i → m → w
拨音便	ナ変	死ぬ	しに	しん	n i → n
	バ行	喜ぶ	よろこび	よろこん	b i → b → n
	マ行	飲む	のみ	のん	m i → m → n
促音便	タ行	打つ	うち	うっ	tʃ i → tʃ → t
	ワア行 (口语) ハ行 (文言)	買 <sup>う</sup> <sub>ふ</sub>	か <sup>い</sup> <sub>ひ</sub>	かっ	Φ i → Φ → t
	ラ行	祈る	いのり	いのっ	r i → r → t
	ラ変 (文言)	有り	あり	あっ	r i → r → t

活用类别	五段	上一段	下一段	カ变	サ变
基本形例	言う	似る	教える	来る	する
假定形	いえ	にれ	おしえれ	くれ	すれ

題) ③うわさに聞けば, 二人は離婚するらしい。(根据) / 听传言, 好象两个人要离婚。④文学も教えれば言語学も教える。(并列) / 既教文学, 也教语言学。

⇒ば

**動詞の語幹** ドウシノゴカン 动词的词干

动词的词干和词尾是紧密结合的, 所以词干不能单独用。但是サ变复合动词是例外, 其中由动词性名词和する复合成的词, 有一部分具有词干用法。

【用法】主要有以下几种用法。

1. 作谓语时省略する。用于单纯传达事件的发生, 常见于报章标题、日记等。相当于终止形, 有时相当于连用形的中顿法, 如例③前部。

①両国代表調停書にサイン / 两国代表在调停书上签字。②米国, ソ連の軍縮案を拒否 / 美国拒绝苏联的裁军方案。③朝5時にテントを出発, 午後2時に目的地に到着 / 早晨5点由帐篷出发, 午后2点到达目的地。

这种谓语的时、体、语气的表达被略去了, 因文脉可做多种解释。如: 国会に対策を検討(する、した、している、するだろう等)。另外, 进行时可用“～中だ”形式。如: 検討中(=検討している)。

2. 作命令形用, 表示命令、口令。

①もっと工夫して頂戴。 / 请再想想主意。②30ページを参照。 / 参照30页。③全体起立! / 全体起立。

3. 用于句子(子句)的名词化。主要用于前述主要成分都是汉字词时。

①交通法規違反（＝交通法規に違反すること）はいけません。／不准违反交通规则。②北方領土返還（北方領土を返還すること）を要求（する）大会／要求归还北方领土大会。

4. “名词＋の＋サ变词干”也是使动词结构名词化的特殊形式。の通常起宾格或主格的作用。

①日本語の勉強（日本語を勉強すること）はむずかしい。／学习日语很难。②田中の失敗（田中が失敗すること或：～失敗したこと）は確かである。／田中的失败是确实的。

5. 在文章语中，两个并列词的前一个不用する。

①地形を調査、研究する。／调查、研究地形。

6. 在“ご～だ（です）、ご～なさる、ご～いたす、ご～いただく、ご～になる”等敬语形式中起其他动词的连用形的作用。

①今度ご帰国なさるんだそうですね。／听说您这次要回国啦。②今何をご研究ですか。／您现在在研究什么？

【参考】就サ变动词的词干用法，有宫田幸一的“動詞基名詞”说和松下大三郎的“無活用動詞”说。前者侧重于其名词性质，后者侧重动词性质。

**動詞の終止形** ドウシノシュウシケイ 动词的终止形

现代日语动词的基本形是以终止形为依据的，所以，反过来说，所有动词的终止形都与基本形相同，见下表。

活用类别	五 段	上一段	下一段	カ 变	サ 变
基本形例	書 く	見 る	食べる	来 る	す る
終 止 形	か く	み る	たべる	く る	す る

理论上动词都有终止形，实际上形状动词不能以终止形结句。结句要用～ている形式。

【用法】1. 做谓语，并结句。

①明日皆さんが校長を見舞いに行く。／明天大家去看望校长。②夏は精神が疲れる。／夏天精神上疲乏。

2. 后续助动词らしい、そうだ（传闻）、だろう、でしょう、まい（只接五段）等。这些助动词都是只与陈述语气有关。

①新入生が来るらしい。／好象要来新生。②彼は演劇もできるそうです。／听说他还会演剧。③千円はかかるまい。／不至于一千日元的吧？④びっくりするでしょう。／会大吃一惊的。

3. 后续终助词か、な（禁止）、な（あ）、ぞ、さ、ね、よ、とも、わ等。

①「君も行くか」「行くとも、行くとも」／“你也去吗？”“去，当然要去。”②分るわ。／我理解。③これをプレゼントするよ。／把这个送给你。

4. 后续接续助词けれども、が、と、から、し、なり、なら等。

①風が吹くと、ほこりが立つ。／一刮风，就起灰。②よく勉強するし、スポーツも上手です。／学习也刻苦，体育也很擅长。③やるならやりとおせ。／干就干到底。

5. 后续并列助词と、か、とか、の、なり等。

①言うと行うとは大違い。／说和做大不相同。②散歩するか一杯やるかしょうか。／我们散散步或者喝点酒吧。

6. 重叠构成副词。都是历史上形成的。无生产性。如：泣く泣く、見る見る、ゆくゆく、ますます、おそろおそろ。

①泣く泣く結婚させられた。／哭哭啼啼被迫结了婚。②見す見す家を全焼させた。／眼睁睁地看着把房子烧了。

【意义】动词终止形与其他活用形不同之处在于能表示体、时、语气等，对句子的成立起决定性作用。分述如下。

1. 时。动作动词（继续、瞬间）的终止形表示将来时。状态动词终止形表示现在或将来，依文脉或副词等决定。

①僕が担当する。／由我来担任。（将来）②もう三時間もここに居る。／已经在这呆了三个小时啦。（现在）③しばらくしてからここに居る。／过一会，我在这呆着。（将来）



△终止形还可以表示历史现在时（歴史的現在），见“テンス”项及该项。

2. 体。表示反复体，如一般情况，规律、习惯等。

①ときどき訪ねて来る。／经常来访。②私は6時に起きる。／我6点起床。③水は100°でふっとうする。／水一百度沸腾。

3. 语气。意志动词终止形表示意志、主张（与一人称陈述有关时）、强硬语气的命令（与二人称有关时）。

①これには反対する。／我对此表示反对。②さあ，帰る。／我说，回去吧。

所有动词的终止形都能表示断定，判断、报告等。

①この生地は地味すぎる。／这种布料太素。②彼女は日本文学を専攻する。／她专攻日本文学。③うそをつく。／你撒谎！

4. 其他。终止形还有一种无时无体无语气的特殊用法，如：做词典中的词条、做动词的基本形、特别是剧本中的“ト書き”（说明部分）专门用这种用法，如：

男の声：おたかはおらんかの？

母：へえ！（吸いつけられるように玄関へ行く。以下声ばかり聞える）

男人的声音：“阿鹰”不在家吗？

母亲：噢！（快步向门口奔去。以下只听见声音）

※ ※ ※

文言动词的活用类别有9种，各类动词的终止形如下。

活用类别	四段	上一段	上二段	下一段	下二段	カ变	サ变	ナ变	ラ变
基本形例	言ふ	似る	満つ	蹴る	上ぐ	来	す	死ぬ	あり
终止形	いふ	にる	みつ	ける	あぐ	く	す	しぬ	あり

注意ラ变的终止形为～り。文言中也以终止形为基本形（词典形），

所以，反过来说，终止形和基本形相同。

【用法】 1. 结句。

①かれこれと材料を集む／收集各种材料。②猿<sup>さる</sup>楽<sup>がく</sup>町<sup>ちよう</sup>に仁寿堂<sup>にんじゆうどう</sup>と  
称<sup>よ</sup>ぶ薬種店あり。／猿乐街有一中药店称仁寿堂。

2. 后续助动词らし、べし、まし等。ラ变除外，接连体形。

①春過ぎて夏<sup>きた</sup>来るらし。／春天已过，夏天将至。②後生畏る可し。/  
后生可畏。

3. 后续接续助词とも等、终助词な（ラ变除外）、や等。

①悔ゆとも及ばざらん。／恐悔之晚矣。②よしや彼に誠ありとも  
〜。／即使她有诚意〜。③我が友、いずこにありや。／我友在何方？

4. 做人名和构词成分。

新村出、吉田茂、鈴木忍、水上勉。

相撲（すまふ）、向う（むかふ）、陽炎（かげろふ）、釣瓶（つるべ）。

動詞の種類 ドウシノシュルイ 动词的种类

动词的性质在用言中最复杂，同时动词也是最重要的用言，所以其种类也最繁多。

1. 按活用特征划分。有五段（四段）活用动词、上一段活用动词、下一段活用动词、サ行变格活用动词、カ行变格活用动词 5 种。有时把第二、三种合为一段活用动词，把第四、五种合为变格活用动词，这样共 3 种。

2. 按语法意义划分。

1) 他动词和自动词。一般地说，通常需要有宾语（〜を）的动词就是他动词，不能带宾语的词就是自动词。根据奥津敬一郎等的观点，凡是动词所涉及的格成分能转化成被动句的主语，该动词就是他动词，不管这个格成分用哪个格助词（当然通常是を、に）。如，根据下列转换，“殴る、反对する”都是他动词。

①太郎が花子を殴る→花子が太郎に殴られる。②与党が野党に反对する→野党が与党に反对される。

而不论是传统的看法还是奥津的观点，“飛ぶ”都是自动词。“飛行機が空を飛ぶ”不能做上例①那样的转换。

2) 归着性动词和非归着性动词。是松下大三郎的分类，认为：归着

性动词本身不包含与客体事物的关系，因此需要用（主格以外的）各种格成分来补充，如：本を読む、人と喧嘩する。非归着动词则本身包含着和客体事物的关系，因此不需要用（主格以外的）格成分来补充。如：起る。不过此说几乎无人沿用。

3) 能动词和所动词。三上章根据能否构成被动态所做的分类。能构成被动态的为“能動詞”，不能的为“所動詞”。把能动词中能够同时构成一般被动态和利害被动态的称为他动词，其余的能动词和所有的所动词合起来构成自动词。

金田一春彦设“中相動詞”，和能动词、所动词并列。按自・他的划分法，中相动词绝大部分是自动词，如：見える、煮える。但“教わる”等是他动词。见“中相動詞”项。

4) 状态动词、继续动词、瞬间动词、特殊动词。金田一春彦根据动词能否后续～ている以及～ている形式有何意义而做的分类。这一分类和其他用法如活用形的用法、助词、助动词、接尾辞的用法等也有密切的关系。三上章的“完成”“未完成”二分法也是按上述方法做的分类。

5) 意志动词和非意志动词。金田一京助根据动词所表示的动作是否受主体意志支配而做的分类。有无意志性和句法上的一系列问题有关，见另项。

6) 本动词和补助动词。如おくってもらう中おく（おく）具有本来的动作、行为的意义，即实义，属本动词；而もらう只表示前一动作的授受关系，即已失去了东西的授受动作的意义，所以属于补助动词。

7) 按动词价（動詞価），由仁田义雄做的分类。如，“起る”只能与一个格成分（～が）发生联系，为“一价动词”。同理，“読む”（～が～を読む）和“喧嘩する”（～が～と喧嘩する）为二价动词，“あげる”（～が～に～をあげる）为三价动词。也许有零价动词（停電する）或三价以上的动词。这一分类很有利于句型教学。上述的“格成分”是指通常必须出现的格成分。

8) 非穷尽性的分类还有：可能动词、敬语动词，授受动词、形式动词等。见各项。

3, 按结构特征划分。分为单纯动词和复合动词。サ变复合动词也

是复合动词的一种。

**動詞の推量形** ドウシノスイリョウケイ 动词的推量形

口语动词的活用形之一。各活用类别的动词的推量形见下表。

活用类别	五 段	上一段	下一段	カ 変	サ 変
基本形例	立 つ	見 る	負ける	来 る	す る
推 量 形	た と	み	ま け	こ	し

【用法】只有一种用法：后续推量助动词う（五段）或よう（五段以外），表示意志，劝诱、号召、推量。

①私がやろう。／由我来做吧。②行ってみようか。／我们去看一看呗。③あなたが来ようとは思わなかった。／没想到你会来。

⇒う、よう、推量の表現

**動詞の未然形** ドウシノミゼンケイ 动词的未然形

动词活用形之一。现代日语各种活用的动词未然形列表如下。

活用类别	五 段	上一段	下一段	カ 変	サ 変
基本形例	読 む	起きる	受ける	来 る	す る
未 然 形	よ ま	お き	う け	こ	さ、し、せ

【用法】1. 后续否定助动词ない（サ变用し、ずる型用じ）、ぬ或ん（サ变用せ、ぜ）、ず（サ变同“ぬ”）、否定推量助动词まい（五段除外）、助动词れる、せる（用于五段和サ变的する型）和られる、させる（五段和サ变する型以外。其中サ变ずる型用じ或ぜ均可）。

①この本は広く読まれている。／这本书拥有众多的读者。②子供に六時に起きさせる。／让孩子六点起床。③誘惑に負けない。／经得起诱惑。④先生に褒められた。／受到老师表扬。⑤来させても来られないだ



ろう／可能让来也来不了吧。⑥人を困惑せしめる。／令人困惑。⑦信じられない。／不可信。

2. 作复合形容词的词根。是历史上形成的，不可类推。

いさましい、よろこばしい、うたがわしい、思いがけない、つまらない、すぐれない、やりきれぬ、にえきらない、ものたりない、はじまらない。

※ ※ ※

文言的动词活用类别有 9 种，各类动词的未然形列表如下。

活用类别	四段	上一段	上二段	下一段	下二段	カ变	サ变	ナ变	ラ变
基本形例	読む	着る	起く	蹴る	燃ゆ	来	為	死ぬ	あり
未然形	よま	き	おき	け	もえ	こ	せ	しな	あら

【用法】1. 后续接续助词ば（假定）、で（否定中顿）。

①気の小さい<sup>かく</sup>恣に斯と知らさば，失望の余り病にても<sup>ひきおこ</sup>惹起さば 何とせん。（「変目伝」）／若如此般告之小度量的儿子，倘因过度失望而惹出病来可如何是好？②<sup>がん</sup>竈には頭のみならで，胴をも手足をも具えたる骨あり。（森）／棺中有骨骸，不仅有头颅，胴体及手足之骨亦俱全。③死なでかなわぬ（森）／不死不堪忍受。

△～ならば、～たらば、～いわば、～ならでは等说法就是上述用法的遗存。

2. 后续助动词ず（否定）、ぬ（否定）、む或、う（推量、意志）、る和らる（被动等）、す和さす（使役）、しむ（使役）。其中，る和す接于四段、ラ变和ナ变动词，らる和さす接这以外的动词。

①已むを得ざる事なり。／不得已之事也。②天に口無し，人を以て言わしむ。／天无口，令人言之。③羨まるる男とて身内に金脈のあるにはあらず，～。（尾崎红叶）／虽说是为人所羡慕之人，亦非摇钱树。

動詞の命令形 ドウシノメイレイケイ 动词的命令形

动词活用形之一。现代日语各活用类别的动词的命令形如下表。

活用类别	五 段	上一段	下一段	カ 变	サ 变
基本形例	読 む	起きる	出 る	来 る	す る
命 令 形	よ め	おきよ おきろ	で よろ	こ い	せし よろ

关于五段的特殊情况见“五段活用、特别五段活用”等项。くれる的命令形为くれ。

命令形的末音ヨ（关西方言）和ロ（关东方言）有活用词尾说和终助词说，尚无定论。东京语中ヨ主要用于文章，ロ主要用于口语。

形状动词“似る、富む”等实际上无命令形。

【用法】命令形和终止形一样，有结束句子这一重大语法功能，但没有时、体等的区别特征，专门表示命令等陈述语气。但也有条件用法。

1. 结句作谓语，表示命令。

- ①あれを持ってこい。／把那个拿过来。②さっさとしろ。／快点！  
③米ソ，軍縮に応ぜよ。／美苏，要响应裁军！

可后续终助词い，加强语气，或后续よ，缓和语气。

- ①立てい！／站起来！②受けろい。／收下吧。③来いよ。／来吧。  
④いらっしゃいよ。／您来吧。

2. 用于引语中表示要求、劝诱乃至使役等。

- ①私に何をしろと言うのですか。／你是让我做什么呀？②鼻をかめ  
と言えば血の出るほどかむ。(谚语)／你让他擤鼻涕他就擤到出血。(故意找麻烦)  
③もっと頑張れ頑張れと勧める。／劝他坚持再坚持。④手紙の内容は、  
タイプの安いのを見つけてくれという依頼である。／来信的内容是委托我为他找一架便宜的打字机。

3. 表示说者的愿望。条件是：动词是非意志动词或主语是人以外的事、物。

- ①あした天気になれ。／但愿明天是好天气。②貧しき者に<sup>さち</sup>幸あれ。／

愿贫者有福。③雷よ，天下の盗人を悉く殺せ。／雷公啊，把天下盗贼全都杀尽！④集会のあと，北方領土返還を祈願する太鼓が，島に届けと打ち鳴らされた。／集会后祈望归还北方领土的振振鼓声，响彻海岛上空。

△非意志动词用于人时，表示让其装出一副某种样子。

①こんな時には落ちついていないで，少しはあわてろよ。／这种时候，不要死不动，要着急点。

4. 表示许可、放任的语气。

①どうしても行きたいなら行け。／非要去的话就去吧。②おやじが飲めというので，ここぞとばかりに飲みほした。／因为老头子让喝，就迫不及待地一饮而尽。

5. 表示抗议、警告。汉语口语中也有这种用法。

①うそをつけ。本当ならなぜ恐<sup>こわ</sup>がるんだ。／你撒谎！要是真的你为什么害怕。②もういっぺん言ってみろ。／你再说！③ばかをおっしゃい。／瞧您胡说。

7. 表示让步条件。通常只限于ある、言う、する等个别动词。

①親切だとはいえ，お節介すぎでうるさい。／虽说热情，多管闲事让人絮烦。②君の本意ではないにしろ（せよ），すこし軽率だったね。／即便不是你的本意，毕竟有些轻率了。③程度の差は（或こそ）あれ，上達している。／学习都有不同程度的进步。

8. 表示全部或各种可能性对于后项的成立无妨碍。最主要形式是～であれ～であれ和～にしろ～にしろ。

①日本であれ，外国であれ，この点ではかわりはない。／日本也罢，外国也罢。在这一点上没有区别。②外国はどうであれ，私たちは自分の見方を堅持する。／不管外国如何，我们坚持自己的观点。③判決の結果は有罪にしろ無罪にしろ，党内の対立は治まり そうもない。／不管判决结果是有罪还是无罪，看来党内的对立不会平息。

△副词なにしろ、ともあれ就是上述用法的残余。

9. 表示假定条件。包含让对方站在这个角度想一想、考虑一下这种可能性之意。一般只限于补助动词みる，有时也用～て見たまえ等形式。三上章认为是“～するとして見ろ”的省略。

①雨でも降ってみろ，青青になるよ。／下雨之后你再看，那就绿油油的了。②もし巡査にでも聞かれてみろ，一寸駐在所まで来いやがな。  
（や方言，同だ）／要是让警察听见了，会把你叫到派出所去的。

※ ※ ※

文言动词有九种活用类别，各类别的命令形如下表。

活用类别	四段	上一段	上二段	下一段	下二段	カ变	サ变	ナ变	ラ变
基本形例	断つ	着る	起く	蹴る	受く	来る	する	死ぬ	あり
命令形	たて	きよ	おきよ	けよ	うけよ	こよ	せよ	しね	あれ

文言中非意志动词的命令形也经常使用，如：あり→あれ。ナ变和ラ变的变化方式同四段一样，其余的词尾末音均为ヨ。

【用法】和现代语的用法大致相同。

#### 1. 命令。

①その子を知らざればその友を見よ。（谚语）／若不知其人，可观其友。

#### 2. 用于引语表示要求、劝诱、使役的内容。

①意を決して断てと。これその言のおほむねなりき。（「舞姫」）  
／要我决意断绝（和她的关系），这就是他说话的大概。

#### 3. 愿望。

①明日は晴れよと祈る。／乞求明日天晴。

#### 4. 放任。各种可能性的肯定或否定。

①後は野となれ山となれ。（谚语）／管他以后怎样呢！

**動詞の連体形** ドウシノレンタイケイ 动词的连体形

现代日语动词的活用形之一。各类动词的连体形如下表。在现代日语中，连体形一概同终止形相同，也与基本形相同。

理论上动词都有连体形，实际上形状动词只能用～ている或～た的形式来用，所以等于无连体形。如：すぐれた能力／卓越的才能。



活用类别	五 段	上一段	下一段	カ 変	サ 変
基本形例	行 く	出来る	立てる	来 る	す る
连 体 形	ゆ く	できる	たてる	く る	す る

【用法】 1. 后续体言，作连体修饰语，或连体修饰语中的谓语。

①日本語の出来る人は一人もない。／一个会日语的人也没有。②することがない。／没有事情可做。③行く人は少ないが，来る人は多い。／走的人少，来的人多。

△后续形式体言时，结构上与以上无区别，但通常不把这种连体形式的动词（用言）作为定语，而是把连体形和形式名词一起作为一个名词词组。即认为：形式名词把前面的动词或句子体言化了。

①読むのはやさしい。／读是容易的。②書くことは大変むずかしい。／写非常难。③あの人が喧嘩をすることは，めったにない。／他很少和人打架。

2. 后续助动词ようだ、ふうだ、のだ等（这些词的前部分原是体言）。

①するようでなかなかしない。／象是要做却迟迟不做。②それには理由があるのだ。／其中是有原因的。

3. 后续由名词转来的副助词ぐらい、ばかり、だけ、ほど、まで、きり等。

①働くだけ（ばかり）が能じゃない。／光干不算能耐；只顾干是不够的。②読むほど面白くなる。／越读越有意思。③わざわざ来るまでもない。／不必特地来。④やさしくて子供もできるぐらいです。／很简单，甚至小孩子都会。

4. 后续接续助词のに、ので等。

①十日もたつのに，まだ返事がない。／都过去10天了，可还没有回信儿。②家内がするので，上手には出来ません。／因为是由我妻子来

做，所以做不好。

5. 作体言用亦即准体言。是文言残余用法。

①やるに手間取る。／做起来要费工夫。②足るを知る。／知足。

※ ※ ※

文言动词的活用类别有 9 种，各类别动词的连体形如下表。

活用类别	四段	上一段	上二段	下一段	下二段	カ 变	サ 变	ナ 变	ラ 变
基本形例	組む	見る	恥づ	蹴る	燃ゆ	来	す	死ぬ	あり
连体形	くむ	みる	恥づる	ける	もゆる	くる	する	しぬる	ある

除四段、上、下一段外，连体形和基本形（终止形）均不一致。这是现代语中区分连体形和终止形的原因。

【用法】1. 后续体言，做其连体修饰语或连体修饰句中的谓语。

①吠ゆる犬は打たれる。（谚语）／人怕出头猪怕壮。②天は自ら助くるものを助く。（谚语）／天助自助者。功夫不负有心人。

△连体修饰部分后续体言性的同位成分时，可后续の。例：花を見るの記／赏樱记。

2. 后续助动词なり、ごとし等，ラ变还后续べし、らし、まじ等。

①紅葉燃ゆる（が）ごとし。／枫叶如火。②斯の事あるべし。／可有此事。

3. 后续接续助词が、に、を、も、副助词まで、ほど等，终助词か等。

①察するに，彼と我との距離甚だ遠きなり。／察，彼与我之距离甚远矣。②「的」字の活字他の活字の一倍を備ふるも猶ほ足らざるを愁ふ。／“的”字之铅字，虽备他字之两倍，犹愁不足。③渠に助けを求むるあるのみ。／只有求助于渠（他）。④余は明旦出発するべし。随いて来べきか。（べし的连体形）／我将明日行，能否随我行？

4. 与系助词は、ぞ、や、か呼应结句。

①この地に善き世渡りの手段<sup>たつき</sup>あらば、とどまりたまわぬこと やはある。（「舞姫」）／此地若有好的谋生之道，（吾）岂能不久住？②君を思ふ心の深き底をば今ぞ知りぬる。（ぬる是助动词ぬ的连体形）／今日始知思君之心之深底。

5. 作体言用亦即准体言。无论动词带什么成分，都直接名词化，而不必后续の、こと。

①花の散るは，蝶の舞ふに似たり。／花落似蝶舞。②疑議のあるは無し。／无持异议者。

**動詞の連用形** ドウシノレンヨウケイ 动词的连用形

动词活用形之一。现代日语各类动词的连用形列表如下。

活用类别	五 段	上一段	下一段	カ 変	サ 変
基本形例	読 む	起きる	得 る	来 る	す る
连 用 形	よみ・よん	お き	え	き	し

关于五段动词的连用形的音便等参见“五段活用”项。

【用法】1. 后续助动词ます、た（五段用音便形）、たい、たがる、そうだ（样态）。

①明日までには届けます。／我最晚明天给您送去。②ぐっすり眠った。／睡得很熟。③誰もやりたくないだろう。／谁也不会愿意做。④天気が寒くなりそうです。／好象天气就要转冷。⑤発表を聞いて、がっかりした。／听了发表，我大失所望了。

2. 后续接续助词て、ながら、つつ、たり、に等。其中，て、たり（文言有时包括つつ）接五段时接其音便形后。

①彼は経理でありながら，いろいろの趣味の持ち主です。／他虽然是管财务的，却也有多种爱好。②見て見ぬふりをする。／看见装着没看见。③アルバイトをしつつ独学に励む。／一边做杂活赚钱一边致力于自学。④行ったり来たりする。／来来去去。来回走。⑤考えに考えた。／

反复想过了。

3. 用来使句子中顿，称中顿法。主要用于书面语。

① 5時に起き、6時に食事をし、6時半に会社に出る。／5点起床，6点吃饭，6点半去公司。

△口语中主要用“连用形（音便形）＋て”的方式中顿，这种方式称为第二中顿法。如上例①可说成“～起きて～して～出る”。

4. “动名词”用法。主要用于“～连用形＋に＋行く（来る、帰る……）”和“连用形＋は（も等）＋する（しない）”两个形式。而其前面可以带各种格成分，完全相当于动词。

① ふなをつりに行く。／去钓鱼。② 彼に会いに行く。／见他去。③ そんなことはありはしない。／不会有那种事。④ 僕は行きはするが、別にあてにしないで下さい。／我去是要去的，不过你别抱太大的希望。

5. 作体言用（名词法）。限于部分动词。转为名词后，语义上有变化。如：つり（动作名。“つりが好きだ。／喜欢钓鱼）、教え（该动词的内容）、ながれ（原来动词的动作主）、はかり（工具）、帰り（时间）、渡り（场所）、よっぱらい（动作主。）

△很多动词的连用形只能作复合名词的词素，不能单独作名词。如：立ち話、物置き。

6. 构成动词的敬语形式。

① ようこそお帰り。／您回来啦。② お持ちいたします。／我给您拿着。③ お子さんが何人おありますか。／您有几个小孩儿？④ 自分でお確かめになって下さい。／请自己确认一下。

△サ变和カ变因有“なさる、まいる”等固定的敬・谦动词，不用以上敬语形式。

7. 重叠起来表示后项动作的伴随动作，或复合后表示强调、重复、连续等。

① 波をかき分けかき分け、船は前に進む。／船不停地冲开波浪向前行驶。② 子供が鉛筆を動かし動かし字を書く。／孩子拿着铅笔，一动一动地写字。③ 舟が回りに回って、由良の港に来た。／船展转来到了由良港。④ 説得に骨身を削った坂本課長の顔と声は苦渋に満ち満ちていた。



／为了进行说服而搞得疲惫不堪的坂本科长，表情和声音中充满着苦涩。

△限于“見る、する”两个词有长音化现象：見い見い（＝見ながら）、しいしい（＝しながら）。

△有少数重叠形式转为副词。

①思い思いの服装／各人各样的服装。②屋根が思い思いに彩られている。／房顶被涂成各家所喜欢的颜色。③馬鹿も休み休み言え。／少来胡说八道！

8. 复合动词中作前项部分。属连用形的连用法的残余，有的已固定成词。

①急ぎ出る。（文言用法。同急いで出る）②呼び戻す。／叫回。招还。③取り付ける。／安装。④引き起す。／引起。⑤蹴飛ばす。／踢飞（ける过去是下一段，故此）。⑥思い出す。／想起。⑦切り開く。／开拓。打开。⑧はぐくみ育てる。／培育。⑨余が鈴索<sup>すずなわ</sup>を引き鳴らして～。／余扯响铃索～。⑩これからもそう思い続けるでしょう。／今后也将继续这样认为吧。

9. 后续某些形容词。有时，动词原来的宾语照常用～を，有时可用～が。

①この仕事は，人を頼みにくいです。／这件工作难以求别人。②～とは言いがたい。／很难说（认为）～。③この本が読みやすい。／这本书易懂。④おしつけがましい。／强加于人。

△“连用形＋ない”等形式与以上不同，可看作～がない的省略。有时也可插入が、は等。要注意区别与未然形ない之间的语义区别。例：違いない（一定）、違わない（无不同、相同）、限りない（无限）、限らない（未必、不限于）、変りない（无不同）、変らない（相同、不变）、たよりない（无依靠）、たよらない（不依靠）。

※ ※ ※

文言动词的活用类别有九种。各类动词的连用形如下表。

【用法】主要有以下用法。此外用法可参照现代语的情况类推。

1. 后续き、けり、ぬ、たり、たし、つ等助动词。

①石炭をばはや積み果てつ。／煤早已装完了。②発表の必要上，文

活用类别	四 段	上一段	上二段	下一段	下二段	カ 变	サ 变	ナ 变	ラ 变
基本形例	定まる	着る	起く	蹴る	果つ	来	す	死ぬ	あり
连用形	さだまり	き	おき	け	はて	き	し	しに	あり

飾を多少したり。／由于发表的需要，做了一点润饰。③あかつきは来ぬ。／黎明已经到来。④5年前のことなりしが……／已是5年前的事了…。⑤定まりたる業なき若人／无固定职业之青年。

## 2. 后续接续助词て、つつ、ながら等。

①鉛筆取り出でてかれこれと材料を集む。／取出铅笔收集各种资料。②足元覚束なきを介抱しつつ，家外へ出たり。／挽扶着行走不便者，来到宅外。③事を好む人ありて，それを官長に報じつ。／有好事之人，将其报与官长。

## 3. 用于中顿。

①借金返却の日も近づき，我が命はせまりぬ。／还债之日已近，吾已走投无路。

## 4. 后续其他动词，作连用修饰语用。相当于口语～て。

①伝吉は我にもあらず走り戻りつ。／传吉拼命地跑回来了。②夜ごとにここに集い来る<sup>カルタ</sup>骨牌仲間／每晚都聚到这里来的牌友。

## どうせ 〈陈述副词〉

### 1. 表示抛开细节和过程所得的最终结论、认识，与断定形式搭配。

①泣いたところでしょうがない。どうせ実らない恋だもの。／哭也没用。终究是不能实现的爱情。②どうせ犯人はもう日本にいないのだ。今更じたばたしても始まらない。／反正罪犯已经不在日本。到如今手忙脚乱的也晚了。③どうせ私は手紙を書くのがおっくうだよ。／我就是懒得写信啊。④どうせ私たちが勝つにきまっている。／不管怎么说，我们赢定了。

### 2. 常和から、なら等呼应，作为后项动作行为的不可否认的条件

或原因。可用どっちみち代替。

①どうせ嫌なものなら何をやっても同じことだと思う。／我看，反正是不愿意，做什么都一样。②どうせ今日はだめですから，あとにしましょうか。／反正今天是不行了，以后再说吧。③ああ，つかっていますよ。どうせ，あたしはむだづかいばかりしている人間ですから。／啊，正在花。反正我是尽随便花钱的人了。④どうせ受けるからには，人に見られて恥ずかしくないだけの成績を修めるようがんばろう。／既然应考，就争取得个拿得出手的成績。

### 当然義務の表現 トウゼンギムノヒョウゲン 当然、义务表达法

表示事物的客观必然性和行为的必要性。

【形式】1. 用助动词性的词组。大部分是由“ない”的活用形组成的双重否定形式。用“ぬ”的活用形组成的语气较生硬，可用于文章。口语常音便为“なきゃ～、なけりゃ～、なくちゃ～”。

①外国語の勉強はまず発音と単語から始めなければならない。／外语学习首先要从发音和单词开始。②今から仕事をしなくちゃだめだよ。／现在得开始工作啦。③余所着は明るいものでなければならぬ。／出门的服装应该鲜艳。

2. 用文言助动词べしの连体形べき。参见“べきだ”项。

3. 与以上各形式对立的否定形式。有：てはならない(いけない)、なくてもよい、なくてもかまわない，等与禁止、许可表达法相通。

①子供一人で行ってはなりません(いけません)。／小孩一个人去可不成。②あまり長くてはいけません。／不要过长。③店員は客に不親切ではいけない(～であってはいけない)。／不准店员对顾客冷淡。④休み中は登校しなくてもいい(～てもかまわない)。／放假期间不必到校。

4. 用はずだ、わけだ、ものだ及其否定形式表示，わけだ表示有根据的结论、はずだ表示有根据的理论上的推测、ものだ表示人的行为等应遵循的道理。

①新築だから部屋があたたかくないわけだ。／由于是新房儿，房间

里不暖和。②今度の会合には一人残らず出席するはずです。／这次集会可能全部出席。③疲れた時には充分休むものです。／累了的时候就应该充分休息。④英語字典だから日本語の単語が引けるわけではない（引けないわけだ）。／英语字典，不可能查到日语单词。⑤苦勞を買ってする人間はあるはずがない（ないはずだ）。／找苦头吃的人是不会有的。⑥能力以上に無理をするものではない（しないものだ）。／不应该超出能力勉强从事。

5. 用までもない、までのこともない等表示。

①次は一一説明するまでのことではないと思う。／我想，以下就不必一一解释了。②強調する必要がない。／没有必要强调。

6. 用“当然だ、当前だ、勿論だ、無理もない、論を待たない、必要だ、必要とする”等形式作谓语。

①これは当然すぎるほど当然である。／这是理所当然的。②こんな事を言われてはやめてしまうのも当前だ。／被人这么一说，撂挑子也是当然的。③労組がゼネストに入ったのも無理はないことだ。／工会加入总罢工也不是没有道理的。④集団でやる仕事は自分を押えることを要する。／集体干的工作，需要抑制自己。

【注意】わけだ和はずだ的区别：前者表示结论，因而用于即定事实；后者表示推论，因而用于假定事实。

①4年も日本に住んでいたのだから，日本語がうまいわけだ。（事实）／因为在日本住了4年之久，难怪日语好。②～うまいはずだ。（推测）／……应该（肯定）日语好。③4年も日本に住めば日本語がうまいはずだ。／如果在日本住上4年，日语肯定好。④※～わけだ。⑤だから，この本はおもしろいわけだ。（从经验所得结论）／所以说这本书很有趣儿。⑥～はずだ。（从事实或道理所得出的推测）／～会～。

どうぞ 〈陈述副词〉

和表示劝诱、请求的形式呼应，劝诱或请求对方自主地做某种行为等。常用于寒暄语。所以也可看做感叹词。

①「とってみてもいいですか」「はい，どうぞ」／“拿起来看可以吗？”“是的，请。”②さあ，どうぞ，めしあがって下さい。／来，您



请吃。③はじめまして、どうぞよろしく。／初次见面，请多关照。④どうぞ、最後までがんばるように。／请坚持到最后。

【参考】どうぞ和どうか相近，区别参见“どうか”项。

### 倒置 トウチ 倒装、倒序

【解释】句子内各个组成成分之间的排列次序同通常的次序不相同的现象，就是倒装。日语亦称“倒装”、“転倒”。倒装在各语言中普遍存在，英语助动词和主语倒装可以构成疑问句，此外大多数情况下起修辞作用。汉语和日语的倒装一般只起修辞作用，而且一般被看作修辞法的一种。

倒装是由正序转换来的，二者的语法意义应该相同，只有修辞上的区别。所以，下例①和②的语序虽互为颠倒，却各有各的语法意义，所以哪一个也不是倒装。

①庭に木がある（表示存在）／院子里有树。②木が庭にある（表示所在）／树在院子里。

口语中的倒装多是无意中自然出现的。因场面的复杂性和时间的局限，句子成分常有遗漏，为表达完整就要加以补充，于是形成倒装。

①知りませんよ。そんなこと。／不知道啊，那种事。②教えてくれ，大切なことなから。／告诉我吧。因为是件要紧的事情。

在书面语言里，倒装是有意识地进行的，主要原因是为加强表达效果，而把急于要表达的放在前面。是纯粹的修辞手段。

①僕はのがれてきた。あの精神の貧困から，また，<sup>むほう</sup>無法なかり出しから。（诗）／我逃到这里。从那精神的贫困，从那残暴的征集。

句子成分的倒装一般限于句子的直接成分之间。如“從僕の知らせで兄の五郎が駆けつけた／得到仆从的报告哥哥五郎赶到了”中的划线部可以互相调位，但若把“兄の”“知らせで”等部分调位，就不可理解，成为错句。这只能算语序混乱，不是倒装。不过，简单句中偶尔也有这类倒装，见种类6。

【种类】1. 主题或主语和谓语颠倒。

①咲いたよ，花が。／开啦。花儿。②本当にかわいいものだ，パンダといら動物は。／真可爱，熊猫这种动物。

2. 主题或主语和连用修饰语颠倒。

①問題点はここにあると、松島氏を見る。／问题就在这里，松岛先生认为。②幾つも並べた手桶に釣瓶の水を麻子は入れていた。／麻子向好几个水桶里不住地倒着吊桶里的水。

3. 主题和某几个陈述副词可以插入通常结合很紧密的谓语的两部分之间，这也可以看作倒装。

①ひとごとを聞いているような気が染子はした。／好象在听无关的事，染子觉得。②性急に決めなければならない性質のものでも必ずしもない。／也并不是非要急着定下来不可那种性质的事儿。

4. 谓语和连用修饰语的颠倒。

①赤蛙は再び動き出した。前と同じように流れの方へ向って。そして飛び込んだ。これも前と同じに。／红青蛙又动起来了。和先前一样朝着水流的方向。然后跳了进去。这也和先前一样。②吾人は歓迎する——そのような意味における読者，利用者の声を。／吾人欢迎。欢迎这种意义上的读者、用户的声音。③起きられるだろう，早く。／能起床吧，早点儿。

5. 接续语、感叹语之类和句子其余部分的颠倒。

①どうしようもないんだよ，しかし。／什么办法也没有啊，可是。②火事でも出たらどうしますか，もしも。／假如失了火怎么办，一旦？③さようなら，皆さま。／再见了，诸位。④さっさとやれ，お前。／抓紧干，你！

6. 连体修饰语和被修饰的颠倒。不常见。只有名词性连体饰语有被颠倒的情况。

①本ですか，あなたの。／是你的书吗？②カラーテレビはどこだろう。日本の。／这彩电是日本什么地方造的。

用言性连体修饰语不能颠倒。

7. 条件句可与主句倒置。

①ゆうべは寝ちゃったのよ，すごくねむかったから。／昨晚是睡来着，因为太困了。②いつも絵本を買ってくれるのです，書店へ行くと。／总是给我买来画册，去书店的话。③いまさら無理だよ，そんなこと言たって。／已经不行了，说那些。

とうてい（到底） 〈陈述副词〉

和否定的形式和内容呼应，表示某事在任何意义上、用任何办法都不能成立。

①そんな難しいことは、とうてい、小学生にはできません。／如此困难的事儿，小学生根本做不倒。②ガンだから、彼はとうてい助かるまい。／因为是癌，他终究是无法得救了。③とうてい不可能だと思いながら未練がましいことばかり言う。／尽管认为根本不可能，还是尽说些留恋的话。

どうにも 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，表示无法办到。

①簡単そうだが、どうにも解けない数学の問題が多くあります。／有很多数学问题看似简单却根本解不出来。

△“どうにもならない（没办法、无济于事、一筹莫展）”是惯用说法。更强调的形式是“どうにもこうにもならない”。

動名詞 ドウメイシ 动名词

铃木重幸的用语。指具有名词的形式和作用的动词，即“动词＋の”形式。可见铃木是把“动词＋の”看成动词在名词化时所取的形态，而不是看成通常意义上的词组。

【特点】1. 动名词首先是动词，然后才是名词。作为动词，它可以带主语、状语等各种成分，作为名词，可以后续格助词、提示助词等。下例①是单个动词的名词化，②、③是动词和其他与动词有关的成分组成的整体（略等于句子）的名词化。

①遊ぶのをやめましょう。／不要玩儿啦。②私は妹が字を書いているのを写真に取った。／我把妹妹写字的情景照了下来。③行かないのはなぜだろうか。／不去是为了什么？

2. 动名词或整个被名词化了的部分所表示的是有关的人或事。

①ほめられるのは気持がいいだろうね。（事）／受表扬会心情愉快吧？②一番強く反対したのは野党の指導者たちです。（人）／最激烈反对的是在野党的领导人。

3. 动名词可以使普通句子的谓语转换成主语。

①太郎がガラスを割った。／太郎把玻璃打碎了。→ガラスを割ったのは、太郎です。／打碎玻璃的是太郎。

【参考】こと、もの虽也有使动词体言化的作用,但这些是独立词,有自己的意义,与附属词的不同。

### どうも 〈陈述副词〉

1. 作程度副词用,表示强意。也可单独用做感叹词。

①どうも（ありがとう）。／实在感谢。②どうも難しい出題だ。／题出的可真难。

△此用法多见于寒暄语。除例①外再如:～ごぶさたしました。／久疏音讯。～ご苦労さま。／您太辛苦了。～お世話になりました。／太麻烦您了。～すみません。／真对不起。～失礼しました。／请多见谅。

2. 和否定的形式或内容呼应,表示基于直觉的判断。带有“不知其故”的语气。

①どうもうまく説明出来ない。／怎么也解释不清。②そんな仕事はどうも僕には向かない。／那种工作总觉得对我不合适。③どうも不思議でならない。／太不可思议了。④どうもこの頃兵隊が臆病になっていけねえ。／这阵子当兵的胆子小得简直不行。

3. 和らしい、ようだ、かもしれない等推量形式呼应,表示无论从哪个角度上都有这一特征。

①前のはどうも僕のなくした犬らしい。／前面那个很象是我丢失的狗。②今度ばかりはどうも駄目かもしれない。／这次可能无论如何是不行了。③どうも見たことのある人だと思つた。／当时觉得很象是见过面的人。

### どうやら 〈陈述副词〉

1. 和肯定形式呼应,表示盼望之中的事情终于实现。强调形式有どうやらこうやら。

①どうやら終戦に向かせた。／总算迫使其走向停战了。②一月に少しずつ貯金すれば年末にはどうやら「三種の神器」も買えます。／如果每月储蓄一点儿,年末还可以买上“三种神器(三大件)”。③こうして私たちはどうやらこうやらこんぶの人工養殖に成功した。／就这样,我



们终于搞成了海带的人工养殖。

## 2. 和推测形式呼应, 表示不太确切。

①どうやら晴れそうだ。／好象要晴天。②彼はどうやらしっかりした人らしい。／他似乎是个很坚强的人。③まさかと思いますね。でも、どうやら事実のようです。／想来不太可能。可是, 这看来是事实。④自分たちの生活はどうやら破滅の方に向っていることは感ずるが、……。／感觉到我们的生活象是在走向毁灭……。

### どうりで (道理で) <接续词>

表示明白了自己曾以为奇怪的事情的原因、理由。用于句之间。后句句末多为“～わけである、～と思った”等。

①どうりで彼はどうしても来てくれないわけである。／怪不得他怎么也不肯来。②道理で君は彼を弁護すると思った。／难怪你为他辩护。③「サチエは引越したか、いつ?」「随分前ですよ」「そうじゃったな。道理で顔を見せないと思つた」／“幸惠搬家了吗? 什么时候?” “都很长时间啦。” “原来是这样。我觉得她没露面嘛。”

### どおし (通し) <接尾辞>

接于动词连用形后, 构成动名词结构 (对前面成分是动词, 对后面成分是名词), 表示状态在一段时间里的持续。句中常出现时段词。

①終点まで立ち通しでした。／一直站到终点。②立ち通しで終点についた。／一直站着到了终点。③学生たちは、学期の始めから、宿題になやまされどおしだ。／学生们从学期初开始就一直受到作业的困扰。④マラリアの発作にきれめがなく、三日三晩にうなされどおしということもあった。／疟疾的发作没有间隔, 有时, 连续三天三夜烧得神志不清。

### とおもう (と思う) <助动词性词组>

由格助词と, 动词おもう构成。五段活用。常用形式 (除1外) 有とおもわれる、とおもわれている、とおもえる等。接于可作引语的任何形式的词、分句后。

【意义】1. 心理判断。这是实义性的。

①私は「だめだ!」と思いました。／我心想: “坏了!” ②どちらが一番いいと思いますか。／你看哪个最好? ③やってみようと思うもの

が一人もいない。／没有一个人想试一试。④ここであなたとお会いできるとは思わなかった。／没想到能在这里和您见面。

## 2. 主要用～とおもわれ（てい）る形式,表示公认的看法。

①一般に芸術家はお天気屋だと思われている。／一般认为艺术家都是喜怒无常的人。②ガンは不治の病と思われる病気の一つです。／癌症是人们认为不治之症的疾病之一。

## 3. 主要用とおもわれる形式,表示不确实的判断。

①どうも本当と思われる。／总觉得是真的。②部隊は水勢の一番弱いと思われるところを選んでそこを渡河点とした。／部队选择一处看起来水势最弱的地方,以此作为渡河地点。③行手に二、三十人と思われる武士たちが歩いている。／前面约摸有二、三十个武士在走着。④それはどうしてもこの世のものとは思われなかった。／那东西难以想象是这个世上的东西。⑤やや二時間もたったと思うころ,やっと山頂についた。／过了大约有两小时的时候,终于到达了山顶。

△おもえるはおもわれる的约音,意义与2或3相同。

①派手な襟えり飾かざりをして,どうしても苦沙弥君の旧友とは思えない。／系着鲜艳的领带,根本不象是苦沙弥先生的(那位)老朋友。②私は高校生活はつまらないなあって思えてしょうがない。／我总觉得高中生活实在无聊。

## 4. 以とおもわせる形式表示令人产生某种印象或联想。

①彼は人に彼一人でそれをやったと思わせた。／他让别人以为那是他一个人做的。②何でも分っていると思わせるのは相手への威嚇と同時にわが防ぎよでもある。／装出什么都懂的样子,这是对对手的威吓,同时也是自我防御。③玉を思わせる目／水晶般的眼睛。④この旋律は波のうねりを思わせる。／这个旋律令人联想到滚滚的波涛。

とおもう系 (I) (と思う系) 〈接续助词性词组〉とおもう系列

【构成】由格助词と和形式动词おもう的活用词组构成,主要有とおもうと,とおもったら,とおもえば。一般接动词终止形或过去式后,个别时候插入终助词。也可把たとおもう看成一个单位。

①短夜の月傾くと思えば,いつか山の端白み……。／短夜的月亮刚

落，不觉山边已泛白光……。②石が飛んできたなと思ったら，後ろからも，背中を棒でどやしたやつがある。／只觉得石头飞来了，这时从后边也有个家伙用棍子朝背上打来。

【意义】连接两个前后继起的动作或事项。在时间上有紧迫感。

①「ヘリコプターだ！」轟音<sup>ごうおん</sup>がぐんぐん近付いたと思うと，私たちの頭上で動かなくなった。／“直升飞机！”轰隆声迅速接近，忽然间在我们头上停住了。②大道具の岩が何となく，形を変えていったと思うと，最後にカニの形になったじゃありませんか。／大道具岩石不知不觉地变形，突然间竟变成螃蟹的形状了！③その時村の人たちがワッとどよめいたと思うと，囲いの中へ，祭りの動物が投げ出された。／这时只听得村民们喧声骤起，祭祀的动物被扔进了围栏里。④変な飛行機が，山の上に行ったと思ったら，急に方向を変えて飛び去っていった。／一架奇怪的飞机刚飞到山上，突然改变方向飞走了。

△“と思うまもなく”构成副词节。

①午後になったと思うまもなく，どんどん暮れかかる北海道の冬……。／刚到下午夜幕就很快降临的北海道之冬……。

とおもう系（Ⅱ）（と思う系）〈接续词性词组〉とおもう系列

由格助词と、形式动词おもう的若干活用形、接续助词等构成，主要有“と思うと、と思ったら、と思うまもなく”三个。描述两个动作在时间上紧相连，主要表示心理上的连续性和紧迫感。

①その時，ドアがあいた。と思うとまっ白なコック帽が，まず見えた。／这时，门开了。紧接着先看见一顶雪白的厨师帽。②やっと誠太郎の足が止まった。と思うと，どうと倒れるように彼は沙上にへたばりてんだ。／诚太郎终于停住了脚步。就在这一瞬间，他扑通一声斜身瘫倒在沙滩上了。③子供らはいっせいに私の顔を見た。と思ったら，一度に「わっ」とはやしたてて，くもの子を散らすように逃げ散った。／只见孩子们不约而同抬起头来望着我，霎时间齐声“噢！噢！”地哄起来，四散奔逃了。④胴体は消えて見えなくなった。と思うまもなく，その白い大きな帆さえが見えなくなってしまった。／船体消失不见了。转眼间，那大大的白帆也不见了。⑤まもなく，世界滅尽を思わせるような爆破が

起った。と思うまに、かれは意識を失ってしまった。／随即发生了毁灭世界般的爆炸，同时他失去了知觉。

とおり（通り） 〈形式名词〉

【接续】 1. 接动词连体形或过去式连体形后。

①子供も大きくなると、親の思うとおりにはなりません。／孩子一大，就由不得大人了。②文字で説明したとおりに取扱えば結構です。／可按文字说明来操作。

2. 接名词或有名词性的副词等词语加“の”之后。

①こわれた茶碗は元のとおりにはなりません。／破了的碗是无法复原的。②いつものとおりです。／和平常一样。

3. 接～の型连体词后。

①神田は本屋の町，学生の町と言われているが，本当にそのとおりだ。／都说神田是书店街，是学生街，确实如此。

【意义・用法】 1. 表示后项行为完全按照前项所述的方式进行。

①習ったとおりにやってみよう。／照学的做吧。②私の言う通りにすれば間違いはない。／按我说的办就不会错。

2. 表示后项事实完全符合前项观察。

①天気予報で言ったとおり，今日も雨でした。／天气预报说对了，今天又下了雨。②本で見たとおりの物が博物館にも陳列されていました。／在博物馆里也展出着和在书本上看到的完全一样的东西。③ごらんのとおりの狭い家ですが，どうぞゆっくり泊って行って下さい。／如您所看到的，房子很小，可多住几天吧。

3. 表示后项随着前项进行。

①僕も帽子の走るとおりを，右に行ったり左に行ったりしながら追いかけてました。／帽子（被风刮得）往右跑我也跟着往右，帽子往左跑我也跟着往左。

【参考】 1. 另有接尾用法，直接接于名词后面，读为ドオリ，意义同1、2。

①命令どおりに完成した。／按照命令完成了。②「音楽とは呼べない」という妙子の言葉どおりである。／正如妙子所说的，“不能称为音



乐”。

2. 接数词后表示方法、原因等的种类,相当于量词。

①この問題は二通りの方法で解ける。／这道题可以用两种方法来解。

3. “ひととおり、文字とおり、型とおり”等已固定成副词。

とか 〈副助词〉

由格助词と和副助词か构成

【接续】可接各种词和活用词组,构成体言性词组。可后续格助词、形式动词等。

【意义】1. 表示不太确实,大致不错的事项。

①法務局の役人とかが来て、調べ回っているよ。／来了可能是法務局官员的人,正在四处调查。②同期の旧将校たちの集まりがあるとかで出かけました。／说是有什么同期的旧军官的集会,就出去了。③小さい時のハシカをこじらせたとかで、ツネ子の目はかなり不自由になっている。／可能是由于小时候的麻疹没有及时治好,恒子的眼睛视力很差。

④<sup>おこり</sup>瘡とかを煩っていると聞いたが。／我听说得了什么“疟疾”。

2. 以～とかいう形式表示不确实的记忆、传闻等。

①「何とかいう人でしたね」梅子さんとかいう女の人ではない?／“是个也不知叫什么名的人。”“不是叫什么梅子的妇女吗?”②テレビによると、明日から日本列島は寒冷前線に見舞われるとかいう話です。／据电视报告大概从明天起日本列岛将受冷空气前锋的影响。

とか 〈并列助词〉

【接续】1. 接体言、体言性词组。

①小遣は交通費とか昼食代とかで無くなってしまう。／零用钱全用在交通费和午餐费上。②普通にあるくのとかが階段を上るのとかが何でもないので、妙なことに、階段を下りるときに右足がひどく痛む。／平常常走路或者上楼梯没什么事儿,可是奇怪的是,下楼梯时右腿特别疼。

2. 接用言和助动词的终止形后。

①晴れてるとか曇ってるとかは観測にあまり関係ない。／天晴或者天阴对观测关系不大,②認めるとか認めないとか、もめていた。／有的

承认，有的反对，争执不休。

3. 作为表示引语或类似于引语的とか，接续上没有限制。

①日本人は「と思う」とか「らしい」とか「ようだ」とかいう文句をよく使う。／日本人惯于使用“我想”、“似乎”、“看来”之类的字眼儿。②正確な言葉は忘れたが、「大したものでしょうね」とかなんとか。／准确的措辞我忘了，大概是一句“真了不起吧”之类的话。③寒いとか，さびしいからと言っては，勉強をやめてテレビのある茶の間へ来てしまう。／动不动就说冷，或说寂寞，放下学习到有电视机的饭厅来。

【意义】由并列助词と和副助词か组成，表示举例性并列（とは穷举性并列）。只是语言形式上并列，内容上不一定并列，用法2就不是真正的并列。と与表示引用的格助词と也相通。

1、为说明一个问题而列举出若干个较有特征的下属项。主要形式有：

1) ～とか（～とか）词团的作用相当于同位语。

①ちがう。スパイなら，大臣とか，政治家とか，直接に影響力を持つ人をねらうでしょう。／不对。若是间谍，全在大臣啦，政治家等有直接影响的人身上打主意。②農相のことだから，農業視察とか，いろいろ名目だけはあるのだろう。／因为是农业大臣，什么农业视察啦，各种名目总还是有的吧。③世界一周に失敗した遠藤に向かって，「いたずら金のむだ使いだ」とか，「殺せ!」とか，いろいろなことを言い出す者もありました。／也有的人出来冲着环球旅行失败了的远藤说三道四，什么“白浪费钱”啦，“杀了他!”等等。

2) 整个词团相当于一个名词，作各种成分。但后续いう，おもう等词时一般不必再加と，而说とかいう等。这时と表示语言思维内容，か单独表示并列。

(1) ～とか～とか（～とか）形式。

①この雑誌には，生命の本質とか，生命の起源とか（と）いった見出しばかりです。／这本杂志上全是些生命的本质、生命的起源之类的标题。②モーターなどには，300ワットとか600ワットとかいうように，ワットという単位が書いてある。／马达等都写着“瓦”这个单

位，比如：300瓦，600瓦。③捜査には，この人は善人だとか，この人は悪人だとかの先入観は持ってはならない。／捜査時，不能抱有“这个人是好人”，“这个人是坏人”之类的先入之见。④ハイキングに行くとか，泳ぎに行くとかして，夏休みを過ごしました。／不是去野游，就是去游泳，这样渡过了暑假。

(2) ～とか(～など)形式。

①棄権とか反対といっても，極わずかな数でしかない。／说到弃权或反对，那也只是极少数。②人間は緊張した時脇の下とか掌とか足の裏に必ず汗が出る。／人紧张的时候腋下、手掌或者脚底肯定出汗。③わざわざお越しただかなくても，電話を下さるとか手紙でお知らせ下さるなどで結構です。／您不必特地来，给我打个电话或用信告诉一声就可以的。④木材とかあしなどは製紙工業の主な原料となる。／木材、芦苇等都是造纸工业的主要原料。⑤シックとかエレガントというよりは，色っぽいと形容した方がふさわしい先生であった。／这位先生，与其说“俏丽”或者“高雅”，倒是形容为“妖艳”更恰当。

2. 以一反一正(用言)的形式表示所争论的问题。

①神様があるとかないとか言って世の中はずいぶん騒いでいる。／或说有神或说无神，社会上争吵不休。②地蜘蛛<sup>じぐも</sup>のためどこの家でも引きあげるとか引きあげないとかでもめている。／因为出了囊蜘蛛，家家都在争论要不要返回的事。

3. 以～とかなんとか形式表示不明确，或无足轻重的内容。

①留守のとき，スミスとか何とかいう外国人が訪ねてきた。／不在时，叫史密斯还是什么的外国人曾来过。②どうせ起りは，湯がはねかかったとかなんとかいうつまらない事からなのでしょう。／起因大概就是因为什么溅上热水了这样一件无足轻重的事吧？

とか 〈终助词〉

由格助词と和副助词か构成。

【接续】接于句末。可接各种体言、用言等后。但一般不说～だとか，这时一般省去だ。

【意义】表示不确实的传闻。等于とかいうことである。

①彼は病氣おしているとか。／恍惚听得他在生病。②E子は東京の短大を卒おえて、目下花嫁修業とか。／据说E子从东京的短期大学毕业后，眼下正在接受婚前教育。③糖尿病になったりして自宅で静かに本を読んだりする毎日とか。／有人说（他）得了糖尿病，每天在自家里静静地读一点书。④もう行ったとか。／据说已经走了。⑤この時，自分の前世を初めて聞いた。中国の騎馬民族だったとか。／这时，我第一次听说了自己的先世，是什么中国的游牧民族。

### 時 トキ 时、时态

【解释】普通语言学术语，语法范畴之一。日语亦称“テンス”、“时制”。用来表示客观时间的存在性和区别性的语言或语法形式叫做“时态”或“时”。客观的物理时间象大河一样不断向前运动。而人们认识时间，一般是以说话当时为相对静止的时间，称为现在时，把其以前称为过去时，以后称为将来时。这样，连续的时间流动被人为地分割为三个部分。可见物理时间和语言中的时不是相同的概念。

各种语言对时的反映是不同的。日语的时反映表达内容和说者之间的相对的时间关系。日语的时没有专门的语言形式，并与体结合成一体，因此很难专门从时的角度来论述。日语的时通常以用言的终止形、助动词タ、补助动词（て）いる，以及时间名词等表示。分述如下。

【现在时】1. 表示说话当时进行中的动作。用动作性动词的～ている、～つつある等形式以及“～中”等表示。有时和表示现在的时间词相呼应。

①きれいな泉が流れ出ている。／清潺的泉水涌出来。②今，客間で待っております。／现在正在客厅等着您。③国民生活は向上しつつある。／人民生活正在提高。④授業中の先生／正上课的老师。

2. 表示说话当时的状态。包括动作结果的状态，恒定的性质、感觉、不变状态等。动作结果用瞬间、继续两类动词的～ている形式表示（例①、②）、感觉、性质及非动作状态用用言终止形表示（例③～⑥），不变状态用形状动词的～ている形式表示（例⑦）。

①彼はもう結婚している。／他已经结婚了。②もう三度読んでいます。／已经读过三遍了。③僕は頭痛がする。／我头痛。④僕は頭がいた



い。／我头痛。⑤静かだ。そして交通の便もいい。／很安静，交通也方便。⑥今お金がたくさんある。／现在有好多钱。⑦高層ビルが聳えている。／耸立着高层楼房。

### 3. 表示超时间的习惯性动作、真理等。用用言终止形表示。

①太陽は莫大なエネルギーを出す。／太阳发出巨大的能。②生物は空気がなければ生育できない。／生物没有空气不能生长。③いくら腹がへっても、食っていい時と食っていけない時とがある。／无论多么饿，有时候该吃，有时候不该吃。④夜はいつでも家にいる。／晚上总是在家。⑤僕は毎日朝五時に起きる。／我每天早晨五点起床。⑥夏になると、この人はいっせいにきれいな服を着る。／一到夏天，这里的人们都同时穿上漂亮的衣服。

【将来时】将来时表示将来的动作、状态。日语表示将来时的词形和表示现在时的词形完全相同。有时和表示将来的时间词呼应。

①妹は来年結婚します。(行为)／妹妹来年结婚。②いついらっしゃいますか。(动作)／您什么时候走啊？③このビルはデパートに成るのでしょうか。／这座楼是要作商店的吗？④努力さえすれば、あなたにも出来る。(状态)／只要努力，你也能做(能学会)。⑤いよいよ新学期が始まって、新しい先生が教える。／新学期就要开始了，将由新老师来教。⑥お前が20になれば、わしは死んでいる。(结果)／等你到了20岁，我都已经死了。⑦来年のこの頃、どこに住んでいるだろう。(状态)／明年的这个时候将在什么地方住着呢？⑧息子が高校を出るのを待ちかねている。／盼望着儿子高中毕业。

△表示命令、请求、劝诱等的句子，就其“要求”来说是现实的，就其“实现”来说是将来的。因此可以看作将来时的一种用法。

①あしたはお休みなさい。／明天休息吧。②お正月は仕事を休ませてもらいます。／过年时给我几天假。③手つだってもらえませんか。／能帮一下忙吗？

【过去时】过去时表示某种动作已经结束，或某种状态已经形成。

1. 已经结束的动作行为和存在用助动词た表示，接于动作动词和状态动词后。常和表示过去的时间词连用。

①昨年、僕は日本に行ってきた。／去年我去了一趟日本。②本棚の上にグラフがあった。／书架上曾有画报。

2. 已经形成的状态或结束的状态。如果是动作动词的结果要用(て)いる表示, 如果是非动作性状态要用助动词た表示。

①1922年と言えば、中国共産党はもう誕生している。／要说1922年, 中国共产党已经成立了。②去年は大変暖かかった。／去年非常暖和。③10年前までもこちらへんは水に恵まれていた。／直到10年前这一带水源还很丰富。

日语时的表达方式与动词的性质有密切的关系, 归纳如下。

时态 \ 动词	继续动词	瞬间动词	状态动词	形状动词	非动词
现在	シテイル	动作 无 结果状态 シテイ ル	表示现在的副词 +アル、イル	テイル	～イ ～だ
将来	スル	动作 スル 结果状态 シテイ ル	表示将来的副词 +アル、イル	—	～イ ～ダ
过去	シタ	动作 シタ 结果状态 シテイ タ	アッタ イタ	テイタ	～カッタ ～ダッタ

【和其他语法范畴的关系】时和体、语气等范畴关系密切, 有时也形态上寓于一个词形, 但体和语气不受时态的限制, 比时灵活。

①昨日、うちで十分休んだ。(完了, 过去)／昨天在家休息得很充分。②明日、うちで十分休んだ方がいい。(完了, 将来)／明天还是在家里充分休息一下好。③彼も行くだろう。(将来, 推量)／他也去吧。④彼も行っただろう。(过去, 推量)／他也去了吧。⑤彼も居るだろう。(现在, 推量)／他也在吧。

寓于终止形和タ形中的语气类型很多。

①さあ、こちらへ来た。(命令)／喂, 到这边来。②今年は一所げん

命に頑張る。(意志) / 今年我要努力奋斗。③そうだ、明日は会議だった。(重新确认) / 想起来了，明天开会。④彼は昔よく走った。(回忆，过去) / 他过去很能跑。

### 時枝文法 トキエダブンポウ 时枝语法

【语言观】由时枝诚记（ときえだもととき，1900—1967）创立的语法体系。时枝认为语言是思想的表达过程和理解过程本身。或者说，是用声音或文字进行的表达行为和理解行为。这一思想称作“语言过程说”。认为语言的成立需要主体、场面、素材三要素。认为语法就是思想由语言表达出来时，支撑这种表述的一种形式。素有“心理语法”之称。

语言单位设单词、句子、文章等。认为单词反映一个思想，句子是具体思想的表述，有统一性、完结性，文章是句子的集合，也有统一性。把文章包括在内是该体系的特点之一。

主要思想反映在「国語学原論」「日本文法（口語篇）」「文章研究序説」等著作中。

【词法】时枝根据有无概念化过程，把单词划分为实词（詞）和虚词（<sup>し</sup>辞）两大类。实词以表达性为基础，用于表示事物；虚词表示说者的判断、推测、疑问、否定、感叹等等。实词根据有无活用，分为用言和体言。用言分为动词和形容词。体言包括名词、代词、连体词、副词。后二者是根据功能区分出来的。代词是根据词本身包含和说者的关系这一特性区分出来的，有：名词性代词（即代词），连体性代词（即连体词この等）和副词性代词（即こう、こんなに等）。虚词划分为助词和助动词、感叹词和接续词。前二者的区别在于有无活用。后二者是从功能上区分出来的。

不设形容词。认为しずかだ、あわれなり、堂々たり分别是体言和指定助动词だ、に＋あり、と＋あり的组合。这样，しずかだ和学生だ之间没有任何区别。口语助动词包括五类：指定助动词だ（活用如：学生だ。健康である。明らかに間違っている。整然と進行する。立派な～。多くの努力）、ある（寒かろう←寒くあろう）、否定助动词ない（包括さむくない）、ぬ、まい。过去完了助动词た。推量助动词う、よう、だろう、らしい、べし。敬谦助动词ます、です、でございます、ございます。时枝语法中把（ら）れる、（さ）せる、たい看作是接尾辞，属动词

和形容词。助词分为表示格的助词、表示限定的助词、表示接续的助词，表示感叹的助词四类。

【句法】时枝语法中虚词决定实词的语法功能。实词有一定的格：谓格（まわりが静かだ）、主语格、修饰语格、对象语格（犬がこわい）、独立语格等。句法中最大的特色是用套匣式结构的理论来阐明句子的形成过程并分析句子的结构层次（见“入子型構造”项）。在这种分析的基础上，句子分为谓格句和独立格句。即判断句和感叹句。

【敬语法】时枝的实词虚词二分的理论（即“詞辞二大別説”）也贯穿在敬语理论中。根据这一理论，敬语被划分成实词敬语（包括尊敬语和谦让语。因为主要用实词表示，故名）和虚词敬语（指郑重语。主要用ます、です等虚词表示，故名）。

ときに（時に）

〈副词〉“有时、那时”。

①彼も時にはうまいことを言っているね。／他有的时候也很会说话。

〈接续词〉口语中用于转换话题，同ところで。引出与原话题无关的疑问或突然想起的事情。

①ときにお父さんはお元気ですか。／啊对了，你父亲身体好吗？

②そうですか，それは大変だったですねえ。……ときに，お願いしておきました例の件，あれはどうなりましたか。／真的？那可不得了了。……我想问你，我托你办的那件事，办得怎么样了？

時の助動詞 トキノジョドウシ 时相助动词

助动词的一种。指构成谓语时态特征的助动词。通常所说的时，表示动作发生、进行、结束的时间，以说话当时为基准，可以划分为过去、现在、将来三个时相。而日语中的时相与此不同，时相助动词带有一定的陈述语气。如，现在时相还表示说者的直观表象（判断），过去时相还表示说者的再现表象（确认、回想），将来时相表示想象（推测、意志）。

日语各种时相没有其专门的语言形式，一般用过去完了助动词た表示过去，用推量助动词う、よう、まい表示将来，用动词原形或补助动词ている、である等表示现在。



①雨が降った。(过去) / 下雨了。②雨が降っている。(现在) / 正在下雨。③雨が降ろう。(将来) / 可能下雨。

总之，日语中时相既没有特有的意义范畴，也没有专门的语言形式。所以，有些学者认为“時の助動詞”这一概念没有多少实际意义。

#### 時の名詞 トキノメイシ 时间名词

指“昔、去年、今、あした”等表示时间的名词。这类名词区别于其他名词的主要语法特征是有的可以不加助词而做状语。如：去年入学した。 / 去年入学。三矢重松、木枝增一等人认为这些词已由名词转化为副词，桥本进吉、山田孝雄、时枝诚记等认为副词用法只是例外，这些词最基本的用法是做主语、宾语等，这是副词所不具备的，所以仍是名词。

另外，时间数词（3時、10世紀、昭和55年）我们也可看成时间名词，只是这些词做状语时通常加“に”。但有些时间名词也要加“に”。

时间名词常决定句子的时态。如：先週試験があった。来週にも試験がある。 / 上周考了试。听说下周也考试。

【用法】1. 大部分时间名词做副词时无需加“に”。这样的词有：きょう、あした、きのう；けさ、今晚、昨晚；今、さっき、いつ；今週、来週、先週；今月、来月、先月；今年、来年、去年；毎日、毎月、毎年、いつも、等。

2. 有些词需后续“に”做副词。有：～日、～月、～年、～時、～曜日、休日、休み、～時代。这些词与时间数词一样，表示客观时间进程中的固定的某一时点，所以用“に”。而1中的时间名词表示主观的、随发话时间不同而变化的时段，所以不用“に”。

3. 有些时间名词（正月、暮れ、夕方、春、午後、夜、～ごろ、～とき、～うち、まえ）“に”格和裸格都可用，区别是：裸格是一个时段，“に”格在于明确表示时间进程中的某一时点。

①菊は秋咲きます。 / 菊花秋天开花。②この菊は秋には咲きません。夏に咲きます。 / 这种菊花秋天不开。在夏天开。

有些词（午前中、3年間、あいだ）用“に”格和裸格有语义差别。用“に”格表示这一时段中的一个时点，而裸格表示整个时段。

①午前中ずっとお待ちしておりました。 / 一上午一直等候着您。

②午前中にお客さんが見えました。／上午（的某个时刻）来过客人。

【参考】受句子结构或文体的影响。复合格助词“には”可接于1类时间名词后，而文言中的时间名词和带定语の2类时间名词（包括时间数词）也可以用裸格。

①明日もう一度検討しましょう。／明天再商讨一次吧。②明日にはもう一度検討できましょう。／明天还能讨论一次吧？③8月に帰国します。／8月份回国。④来年の8月帰国します。／来年8月份回国。⑤8月帰国する。（日记、文件等）／8月归国。

**特殊形容動詞** トクシュケイヨウドウシ 特殊形容动词

【解释】“こんなだ、そんなだ、あんなだ、どんなだ”和“同じだ”这几个词活用形式有特殊之处，合称特殊形容动词。

有些语法书不把“こんなだ”系列几个词看作形容动词，而是把这里所说的连用形（に）看作副词，把词干（～んな）看作连体词。

【活用】“こんなだ”系列和“同じだ”的活用如下。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
こんなだ	こんな	○	だっ、で、に	だ	（な）	なら	○	だろ
おなじだ	おなじ	○	だっ、で、に	だ	（な）	なら	○	だろ

从上表亦可看出，除连体形以外的活用形与其他形容动词无区别。连体形只用于后续の、ので、のに。

①もう一つそんななの（同そんなの）を作ってもらいたい。／想请你再做一个那样的。②学校が同じなので（※同じので），同窓と言えます。／因为同是一所学校，所以可以说是同学。

当后续实义体言和其他形式体言时，一律用词干作连体形。

①あんな事には別に干渉しなくてもいい。／不必参与那种事情。②そういう意味で、世の中に全く同じ物はありません。／在这个意义上，世界上不可能存在完全相同的东西。

【意义特征】主要有两点稍特殊之处。

1. こんなだ等内容较空洞, 所以常修饰后面的“定语+名词”这个整体。

①私はそんな面白い小説を読んだことがない。／我从未读过这么有意思的小说。②なぜこんな毒々しい顔だろう。／表情干吗这么凶神恶煞似的？

2. こんなだ系列修饰单个名词时, 有轻视所指事物的语气。与带郑重语气的こういう系列相对。试比较:

①そういう事は皆さんも知っていますよ。／这种事大家也都知道。  
②そんな事は皆さんも知っていますよ。／这类事大家也都知道。

**特殊数量数詞** トクシュスウリョウスウシ **特殊基数词**

【种类】分数词。如: 二分の一 ( $\frac{1}{2}$ ), 三分の二 ( $\frac{2}{3}$ ), 五パーセント (5%), 三点五 (3.5)。

倍数。如: 二倍、三倍、四点五倍。

概数。如: 数カ月、約三分の一、二つぐらい、百人あまり、三十余歳、74%弱(強)、二週間ほど、十人ばかり、四五日、十二三世紀。

累计数。如: のべ80万人、延8時間、計174億余元、合計一万五千人。

【用法】具有一般数词的用法: 名词性用法、副词性用法, 略(参照“数量数詞”项)。还具有以下特殊用法。

1. 倍数和分数。表示增减时和汉语有所不同。

①生産高が去年の二倍になった。／产量比去年增加了一倍。②生産高が去年の三分の二となった。／产量比去年减少了三分之一。

用表示“增、减”的动词时, 数词是否用裸格意义不同, 用“に”表示成为该数目。

①体重が5キロ減った。／体重减少了5公斤。②体重が5キロに減った。／体重减少到5公斤。③病院のベッド数は83台増やす計画である。／医院的床位计划增加83张。④病院のベッド数は83台に増やす計画である。／医院的床位计划增加到83张。

纯增减数还有“～増(減)”形式。

①三割の減である。／減少三成。②20年で五割の増<sup>ぞう</sup>になった。／20年増加五成。③当初の人口の65.5%増となった。／增加了当初人口的65.5%。

2. 概数。使用频繁，这也和日本人喜欢委婉的心理有关。下列各组例句中，后一个有概数的说法更自然。

①3時間で向うに着きます。／3个小时可以到达那边。②3時間ほどで～。／（大约）3个小时～。③この部屋には100人入ります。／这个屋可以容纳一百人。④この部屋には約100人入ります。／～（大约）一百人。

### 独立語 ドクリツゴ 独立语

【性质】句子成分之一。指不与句子的其他特定成分发生语法关系，而是以感叹、应答、呼唤、提示等陈述态度修饰（或关联）全句的成分。

形态上，独立语位于句首，没有成分标记。语调为高平调或上升调，说明与后续部分有一定联系，这与由感叹词等构成的独词句不同，例②为独词句。

①まあー，おどろいた。

②まあ。おどろいた。

意义上，表示感叹、应答、呼唤、提示等，可依次称为1. 感叹语（如下例①）、2. 应答语（例②）、3. 呼唤语（例③）、4. 提示语（例④）。

①ああ，なんとすばらしいことでしょう。／啊，多好哇！②はい，分かりました。／是，我明白了。③山田君，どうしました？／山田，怎么了？④8月15日，この日，戦争が終わった。／8月15日，这一天战争结束了。

功能上，独立语修饰或关联的是全句而不是某一特定的句子成分，它为后续内容创造先导条件，上述1～4所起的作用分别是：为后续部分造成感情色彩、表明肯定或否定态度、吸引对方以造成交际环境、确定交际的题目。

北原保雄认为独立语具有陈述作用，相当于一个子句，与后续部分是“并列”与“被并列”的关系。山田孝雄把独立语作为修饰语的一种，认



为它起预示句子内容的诱导作用。佐久间把独立语称为“誘導語”。他们都把独立语看作句子成分之一。

【范围】通常认为包括上述1～4。但4接近于主题或题目语，所以狭义上只包括1～3。

在桥本语法中，独立语还包括：5. 接续语、6. 题目语（～は、～も），这是最广义的独立语。教学语法中不包括5，5与1～4用法上的差别是很大的（参照“接統語”项）。

山田语法的独立语包括4（参照“提示語”项）。

有的把插入语也归入独立语。

三上章除上述1～3外，还举出表示范围和理由的独立语。

①三十六計，逃げちまおう。／三十六计走为上策，干脆跑吧！②人間，全く辛抱が肝心だからな。／人，最重要的是忍耐嘛。③天機漏らすべからず，絶対秘密だよ。／天机不可泄露，绝对保密。

关于位于句首并表示发端或正式内容之前的场景描述的词语，三上没有肯定是否属独立语。

①あの，駅はどこでしょうか。／请问，车站在哪儿？②ちょっと伺いますが，駅はどこでしょうか。／请问，车站在哪儿？③のみと言えは，つちはどこへおいたかな。／提起凿子，我把锤子放到什么地方去了呢？

渡边实主张取消独立语，将1～3归于陈述成分里，将提示语和“読みはする”等另称“独立素”。

### ところ 〈名词〉

1. 普通名词用法。

1) 表示某一地点。

①あの桜の咲いているところまで散歩してこよう。／咱们往那开着樱花的地方去散散步吧。

2) 表示住的地点。

①兄のところに住んでいる。／住在哥哥那儿。

3) 表示有事物存在的地点。

①「あなたの本を貸して下さい」「私の本は兄さんのところにあ

ります」／“请把你的书借给我。”“我的书在哥哥那里。”

2. 形式名词用法。表示连续的时间、状态、程度等的过程上的某一点。具体如下。

1) 表示问题、特征等的所在部分、一点。

①生物の分類の基本は、似ているところと違うところです。／生物分类的基准是互相间的相似点和不同点。②お母さんは眉が濃く太いところが秋男によく似ている。／（秋男的）母亲眉毛又浓又粗这一点很象秋男。③私のスケッチに取るべき所があるでしょうか。／我的写生（小品）有可取之处吗？④平吉は文盲だったにもかかわらず、書家の掛軸まで残している所が面白い。／平吉尽管是文盲，却有趣儿的是死后竟留下书法家的条幅。⑤テーブルの上に、すでに明かりがともされているところを見ると、これから会合でも始まるのだろうか。／看桌上已经点起灯，是不是这就要开会了？

△此用法的惯用形式有：

①猿と比べて、人間の場合、家族・社会という二重生活が同時に営まれる所に、進んだ生活形態があるといえよう。／可以说，和猴子相比，人的进步的生活形态在于同时进行家庭、社会这双重生活。②工業化の実現は全国民の労働意欲があるかどうかによるところが大きい。／工业化的实现在很大程度上取决于全体国民是否有劳动热情。③本書の完成は次の諸氏の成果に負うところが大きかった。／本书的完成，从以下诸位先生的成果中得益非浅。

2) 表示与精神活动有关的动作、行为的内容。相当于其逻辑上的宾语，但只能作被修饰语，和汉语文言的“所”有相通之处。

①それは私の願う所です。／那是我所希望的。②一年の最初から習った所はどこを出されても出来ます。／凡是一年级以来学的东西，无论从哪儿出题都会。③皇位は神の決めたまう所です。／皇位是神所惠定的。④これは三千代が代助に話したところである。／这是三千代向代助说的。

△此用法的惯用形式有：

①新聞の報道したところによると，三つの登山隊がエベレストに

挑戦している。／据报纸报道，有三个登山队在向珠峰挑战。②この現象は、多くの研究家に取り上げられるところとなっている。／这一现象成为许多研究家探讨的问题。③彼女の美貌は仲間たちがねたむところとなった。／她的美貌被同伴们所嫉妒。④議員としての彼の奉仕精神は皆の称賛するところとなった。／他作为议员的服务精神受到了大家的称赞。

### 3) 表示后述内容的根据、来源。

①見たところ唯、背の低い老人でした。／看上去不过是个矮个子老头儿。②見たところから無骨らしい。／一看就似乎很粗鲁。③見受けたところこのお母さんは、教養もあり上品です。／根据所得印象，这位母亲是既有教养又文雅。④日ごろ一風かわっているところから「哲学者」のあだなで呼ばれている。／由于平常有些特别，别人都用“哲学家”这个外号称呼他。⑤私の知っているところではそう人が悪い人間でもなさそうだ。／据我所知，好象不是人品特别坏的人。⑥保田君は、兵本の語るところ、何も知っていないらしい。／看兵本的口风，保田君好象还什么都不知道。

4) 表示动作、行为进行的时间或场面，可后续だ、へ、に、で、を等。有时分不清是时间还是场面。

#### (1) ところだ。

①食事をする（した、している、しようとする）ところだ。／就要（刚、正在、准备）吃饭。②さっきから二人で待ちに待ったところなんだ。／刚才我们两个人就一直等着你。③英子が車から下りるところであった。泉はそちらの方向に歩き始めた。／英子正在下车。泉开始向那边走去。④二人は車道に飛び出してしまった。ちょうど何台もの自動車が走っている所だった。／两个人冲到了车道上。正有许多辆汽车在奔跑着。⑤法夫たちが行ったとき、今酋はちょうど大学から帰ったところであった。／法夫他们到了的时候，今酋刚巧从大学放学回来。

(2) ところで。表示前一动作结束之后再做后一动作。另有接续词用法，见另项。

①この裁判が、決着を見たところで党大会が招集されるという。／

据说当这一审判有结果后将举行党代表大会。

(3)ところに。

①部隊が部落に近づいた時、どこかの工兵部隊が架橋工事をして  
いるところに遭遇した。／部队接近村落的时候，遭遇到某工兵部队正在  
进行架桥施工。

△ところを及ところで、ところへ其他意义见各项。

5) 表示应该采取的行动方式、事情应有的性质等。

①この字は赤で書くところだった。／这个字本该用红字来写。②昔  
なら島流しというところだった。／若在过去，应该流放了。③こっちか  
らお詫びしなければならないところです。／按理该我们向你道歉才是。

6) 表示事物达到某个程度或将要造成某个结果的程度。一般能用ほ  
ど、“程度”等词代替。

①また弟がいます。是は銀行の——まあ小使に少し毛の生えたと  
ころなんでしょう。／还有个弟弟。他是银行的，怎么说呢，比打零杂的  
强一点儿吧。②もう一足遅かったら，子供は死なしてしまうところだっ  
た。／若再迟一步，就送孩子的命了。③反目している両方がお互いに一  
歩譲らずのところまでくると，もう和解の望みもなくなる。／一旦反目  
的双方到了寸步不让的地步，就没有和解的希望了。④きのう屋根から  
雪を降ろさなかったら，家がつぶれてしまうところだった。／假如昨天  
不把雪从房顶弄下来，房子会塌的。⑤べらべらというところまではい  
かないが，普通の会話なら何とかできるようになった。／尽管还谈不上  
流利，一般的会话可以应付了。

△以下惯用形式都表示几乎达到某一程度的意思。

①あやうく転ぶところだった。／险些滑倒。②すんでのことで川に  
落ちてしまうところでした。／差一点儿（没）掉到河里。③もう少しで  
落第してしまうところだった。／好悬不及格。

△副助词どころ来源于此用法。

7) 以ところの作定语（一般是较复杂的分句）标志，常见于欧文  
翻译体文章。一般去掉后句子仍通顺。

①世間で一般に言うところの「自由」とは「わがまま」という意



味のような。／社会上一般说的“自由”好象就是“随便”的意思。②我々が念願とするところのものは、一日も早くそれを完成することである。／我们期望的就是早一天把它完成。③この辞典で「共通語」と呼ぶところの言葉は、東京語ではない。／本词典称之为“共同语”的语言，不是指东京语。

8) 构成副词性词组或副词。大部分是固定搭配。

①彼は早いところ(=早く)結果をききたかった。／他想早些听到结果。②計画は今のところ実行されずにいる。／计划目前还没有实施。③今迄<sup>まで</sup>のところではまだはっきりした結論は出ていません。／到目前为止还没有明确的结论。④ここの所しばらく会っていない。／最近一段时间一直没见到。⑤実の所、生徒よりも、その親の方が点数を重要視している。／其实，与学生相比，倒是其父母更看重分数。⑥つまるところ、彼一人が私の説教を受けるということになります。／最终结果是，只有他一个人接受我的忠告。

△词组再如“現在のところ”(现在、目前)、“実際のところ”(实际上、事实上)、“行きつくところ”(最终、到头来)。

ところ 〈接续助词〉

有ところ和ところが两种形式，意义完全相同。

【接续】只接于助动词た的终止形，并且たところ只接于动词后。汤泽幸吉郎把たところ整个算一个单位。

①うまく行くだろうと思ったところが、失敗した。／原以为会很顺利的，结果失败了。②打ち見るところ、どこも異状はない。／乍一看，哪儿也没有异常现象。

【意义】1. 以不出所料或出乎所料的语气表示后项发现或结果的思想前提。

①多分10日とはかかるまいと思ったところが、思ったとおり8日間で完成した。／原来以为大概用不上10天，果然不出所料，8天就完成了。②頼んでみたところ、快く引き受けてくれた。／一请求，爽快地答应了。③遅れたと思ってご飯を食べないで出かけようとしたところが、息子は日曜日だと教えてくれた。／以为迟到了，想不吃饭就出门，儿子

告诉是星期日。④友達を訪ねたところが留守だった。／去看朋友，结果不在。

2. 表示进行前一动作行为，偶然发现后一情况或导致后一结果。一般以た結句。和1的不同在于，前项相对于后项是无意的。

①仲律子<sup>なかりつこ</sup>は家で宿題をしていたところ、やがて母もその宿題に興味を持つようになった。／仲律子在家里做作业，结果后来母亲也对作业（的内容）感起兴趣来。②部屋を調べたところ、遺書が見つかった。／搜查房间，结果发现了遗书。③久しぶりにクラス会に出席したところが、みんなすっかり年を取って、出る話は体のことや子どもの進学のことばかりだった。／隔了好久出席了同学会，发现大家全都老了，谈的话光是身体、孩子升学的事。④収支決算をしてみたところ、半年で30万円の赤字になっていることが分った。／搞了一下收支決算，才知道半年赤字30万日元。

3. 表示前项中的试做性假定条件对于后项的成立无济于事。后项多用否定式。文体已旧，可用ところで代替。

①あのチームとじゃ、試合をしたところが、とても勝てる見込はない。／和那个队即使比赛，也没有取胜的希望。

【参考】1. ところが在候文中亦作接续助词。

①拝啓 又々御無音に打ち過ぎ候処如何お暮しなされ候や。／谨启者 久疏音讯，起居安否？

2. 下例的ところが也相当于接续助词，是由表示事情应有性质的形式体言ところ（其用法5）和文言接续助词が构成的，可以说成ところだが。

①維新の騒ぎで殿様が甲府の町奉行になるところが駄目になった。／由于维新的动荡，老爷本该当上甲府的奉行官，却吹了。

3. 下例的ところが是形式名词ところ表示问题所在の用法（其用法1）和主格助词が的一般搭配。

①英語では所有表現となっているところが、日本語では存在表現となっている。／在英语里用所有来表达的，在日语里用存在来表达。

どころ 〈副助词〉

【接续】 1. 接体言后。

①戦争は贅沢どころの騒ぎではない。／戦争何止是浪费。②それどころではない事態が、今眼の前に迫ってきた。／比那更严重的事态迫在眉睫了。③半年どころの話でなく、二年の留学ができる。／岂止是半年，能留学两年。④ありそうな事どころではない。／这事太可能了。

2. 接活用词连体形后。

①病気が直ったばかりで、出かけるどころではない。／病刚好，还谈不上出门。②試験が近付いたので眠いどころの話ではない。／考试临近了，顾不上什么睏不睏的了。③知らないどころの語ではない。／再清楚不过了。

【意义】～どころ整体相当于一个体言，可后续格助词、助动词だ等。

1. 表示大体的程度、基准。

①彼は大砲のそばで「発射!」とどなるくらいが役どころで、政治については分っちゃいない。／他顶多能做个在大炮旁喊“发射!”的差事，对政治不通。②職員の年令は20台どころが多数を占めているそうだ。／据说职员的年龄20多岁的占一大部分。③村では中堅どころの青年がまず眼ざめた。／在村里，中坚层的青年首先觉悟了。④今度の出演は、<sup>あたまかず</sup>頭数だけは揃っているが、どれを見てもみんな第二流どころだ。／这次演出，需要的人员倒是齐全，可是看哪一个都是第二流的。

2. 构成否定句形式，表示远远达不到或远远超过这个程度。

①サイレンが鳴り続けている。議案どころではなかった。／警笛响个不停。哪里谈得上议案。②毎月赤字で貯金どころではない。／每个月都赤字，谈不上贮蓄。③歴代の政府は国交回復の条件を探るどころでなく，それを妨げてきた。／历届政府根本不探索恢复邦交的条件，反而不断设置障碍。④私などまだ結婚どころの沙汰ではない。／我哪里谈得上结婚啊! ⑤その時の私の苦しみと言ったら，今あなたの想像できるどころの騒ぎではない。／提我当时的痛苦，远不是你现在所能想象得到的。⑥すぐ返すと言っているが，二，三日どころの話ではないでしょう。／说是马上就还，两三天是还不成吧。

【参考】 1. 另有接尾辞用法。有的书把用法的1也看作接尾辞。此外还

有两个用法。

1) 接动词连用形后, 表示该动作的指向之处或其时间。

①この映画は見どころがある。／这个电影有看头儿。②実力と天運ばかりが、漁夫のたのみどころだ。／只有实力和天运是渔民的指望所在。③少し弁解したかったが、ここが我慢のしどころとかたずをのんで聞いている。／本想辩解一下，想到此刻正需要忍耐，便屏着呼吸听着。

2) 接名词后表示盛产之地。

①米どころ／米乡。②茶どころ／茶叶之乡。

2. 国立国语研究所编「現代語の助詞・助動詞」和松村明「日本文法大辞典」等，把どころ放在どころか条（接续助词）处理。汤泽幸吉郎等人认为两者都是副助词。而二者词形不同，用法也不完全相同，所以这里分为两个词，どころ为副助词，どころか为接续助词。

ところが（所が） 〈接续词〉

1. 表示后项内容和从前项内容期待的结果相反。可用しかし、だが等代替。

①10年も待っていた。ところが、とうとう帰らなかった。／等了10年，却终于没有回来。②中学生は中学生なりの目標や、将来の夢があっ  
ていいはずですが。ところがそれがありません。／中学生应该有中学生的  
目标和追求，然而（他们）却没有。③私は早く彼に帰ってもらいたかった。  
ところが、彼はひどくじめじめした様子をしていて。／我很希望他  
早点回去。可是他那样子迟迟不想离去。④始めは私たちは自信を持っ  
ていました。ところが、一年、二年とたつにつれてそれがもろくも崩  
れてしまいます。／起初我们是有信心的。而随着时间一年两年地过去，  
信心不攻自灭。

2. 表示与前项内容关联的意外事件的发生。一般不能用しかし、だが等代替。

①彼のことを父に聞いてみた。ところが、彼はもう日本にはいないらしい。／向父亲问了一下他的事。不料，他好象已经不在日本了。②会社から帰ってきた。ところが、すぐ会社から非常会議があるとの電



話がかかってきた。／从公司回来了，不料，紧跟着就从公司打来了有紧急会议的电话。

どころか 〈接续助词〉

【构成】由表示程度的形式名词ところの浊音便形式どころ和表示疑问（反诘）的副助词か组成。

【接续】1. 接体言、体言性词组后。

①外に出る<sup>けはい</sup>気配どころか、根が生えたように、そこに坐りつづけている。／哪里是要出去的样子，倒象生了根似的在那儿坐起来没完。②南極へまでどころか、公海に出たことさえありません。／谈不到南极，还没到公海上去过呢。

2. 接用言及用言性较强的助动词连体形后，需要接だ后时要去掉だ，形容词动词也可接词干。

①あれでは味方にひき入れるどころか、逆に敵の陣営におしやるようなものだ。／这哪里是争取来做朋友，简直是为渊驱鱼。②寒いどころか暖かくてコートがじゃまなくらいだった。／不但不冷，暖和得外套都嫌多余。③それは例として不適切（な）どころか、全くの見当違いというものだ。／那何止是作为例子不恰当，实在是谬之千里。④叱られるどころか、自分の非を認めたのはよろしいと言ってかえって褒められた。／非但没挨批评，反倒受了表扬，说承认了自己的错误是好事。⑤その彼が一年たっても死なないどころか元通りの身体にかえった。／就是他过了一年之后非但没死，身体又恢复原样了。⑥雨は上りそうどころか、ますます降りが強くなってきた。／雨哪里有什么要停的样子，下得越来越猛了。

3. 接副词后。

①あの歩き方じゃゆっくりどころか、止まっていると変わりはない。／那么个走法，岂止是慢，和停住没有两样。

4. 接格助词后。

①彼は友達にどころか、親や兄弟にまで見放されてしまった。／他岂止是被朋友，甚至于被父母兄弟都疏远了。②その件は部内でどころか、部外でもだいふ問題にされてきたらしい。／这件事好象不独在内

部，在外部也一直成为议论的中心。

【意义】1. 表示前项所举轻者不在话下，就连后项所举重者也是成立的。

①今年は豊作どころか、今までかつてなかった大豊作なのです。／今年何尝只是丰收，是从未有过的大丰收。②今年の春闘には、この工場だけでも、千人どころか五千人も加わった。／今年的春季斗争，仅这家工厂就有远不止一千人，而是五千人参加。③時が時だから、そんな罪では二、三個月どころか、場合によれば永久にとじこめられるかもしれない。／正赶上这个时候，这种犯罪漫说两三个月，说不定得蹲一辈子。④そんな乱暴な運転をすると、怪我をするどころか、命までなくしかねない。／车开的这么毛，受伤是轻的，弄不好会送命。

2. 表示前项所举程度重者不在话下，连后项所举程度轻者都不能成立。

①医者どころか、水一杯運んでくれる者もありません。／何谈医生，连给送一杯水的人都没有。②あの人は文章どころか自分の名前すら満足に書けない。／他甬说文章，连自己的名字都写不成样子。③ああいうお天気屋には万円どころか百円だってかしてやる気がない。／那种无定性的人别说一万元，一百元也不想借给他。④子供の身なりに気を使うどころか、自分の身なりにも全くだらしなしの女だ。／这个女人别说关心孩子的衣着，自己的衣着也吊儿郎当。

3. 以出乎意料或对照的语气，说明实际情况不是前项，而是正相反的后项。

①もうかるどころか、元手まですってしまった。／还赚钱哩，连本儿都搭进去了。②成績がさがるどころか、よくなったわ。／成绩非但没下降，反而提高了哪。③相手を言い負かすどころか、自分の方がたじたじになってしまった。／非但没说倒对方，自己倒招架不了了。④テスト重視の教育は、子どもたちの「豊かな個性を伸ばす」どころかまるで正反対の結果を大量に作り出しています。／只重视考试的教育哪里是“发展”儿童们的“丰富的个性”，反倒大量地造成恰恰相反的结果。

【参考】1. 个别时候也用敬体形式どころですか。

①「そんな事が世間へ知れちゃ困るでしょう」「困るところですか大得意よ」／“这种事让外界知道了对你不利吧？”“不利什么呀，我正喜欢。”

2. 以それどころか形式构成接续词，一般相当于上述意义的3。

①今の若者はめぐまれた環境に感謝することを知らない。それどころか、いっも不満をいだいている。／如今的年青人不懂得感谢优越的环境，相反，总是抱怨。

3. 对于意义的2、3来说，如果どころか接用言后，这个用言是肯定形式或否定形式都能最终表达同样的意义。这是因为どころか是反诘即否定性的，“肯定的不存在”和“否定的不存在”都表示同一个问题的不存在。如意义2中例④改成～使わないどころか～意义也不变。而意义1的前项包括在后项的肯定范围之中，所以不能变成否定形式。如例④不能改成～怪我をしないどころか～。

#### ところで 〈接续助词〉

由形式名词ところ和格助词で构成。又因ところで只接于助动词た后，汤泽幸吉郎等把たところで算作一个单位（接续助词）。

【接续】1. 一般只接“动词连用形+た”及“动词型助动词+た”后。

①今さら行ったところで何にもならないでしょう。／事到如今去也无济于事的。②何をやらせたところで、あの性格じゃ長続きはするまい。／无论让做什么，凭那性格也长久不了。

2. 有时也用于其他用言的过去式后。

①いくら顔がきれいだったところで、心が美しくなければだめです。／无论长的多漂亮，心灵不美就不成。

【意义】1. 表示即使某一假定或既定条件成立，也无法期待有什么积极的结论、结果。同义词有不太常用的ところが。

①そんなことを言ったところで、あの人はききいれないだろう。／怕是即使那么说了他也不会答应。②故郷に帰ったところで、待っている者が誰一人いるわけでもない。／即便回到故乡去，又没有谁等着。③それらは見つかったところでありふれたものだ。／那些东西就算找到了，也是很平常的东西。④五万円集めたところで、どれだけのことが

できますか。／即使湊了五萬元，又能頂多少事呢？

△以下屬於較固定的說法。

①腹を立てたところではじまらない。／生氣也無濟於事了。②謝まったところでどうにもならない。／即使道歉也不頂什麼事。

2. 和疑問詞呼應，表示任何努力或存在都不能得到預期的積極結果或結論。可用ても代替。

①狭い女中部屋の中は，いくら丁寧に探したところで，高が知れていた。／狹小的女用人房里無論怎么仔細地尋找，不會有什麼東西。②こんな本は，何冊出てきたところで同じことだった。／這種書出多少冊，結果是一碼事。③こんな場合，誰がやったところで，うまく行かない。／這種情況，無論由誰去搞也搞不好。

3. 表示後項的實際情況與前項中的說法、看法有很大出入。

①町とは言ったところで，その時は何百人しかいなかった。／雖說是個鎮子，當時也只有几百個人。②よしんば一人や二人そんなのがあったにしたら，どうしてそんなことが，一般に言えるか。／縱令有那么個把那種人，這又怎么能一概而論呢？

【參考】ところ和での臨時組合，見“ところ”項。

①皆揃ったところで膳部<sup>ぜんぶ</sup>が出た。／等到大家都到齊了的時候，飯菜端上來了。②私の聞いたところでは，これは根も葉もない話です。／據我所知，此事毫無根據。

ところで（所で） 〈接續詞〉

1. 表示突然轉變話題。

①ところでお宅はどちらでしょうか。私の方から使いをさしあげますから。／對了，您家在哪儿？我好派人去。②「もう授業はすんだのですか。」「ええ，今試験が終わったところです。」「そうですか……ところでコーヒーでも飲みませんか。」／“已經上完課了嗎？”“是，剛考完試。”“是吗？那麼喝咖啡怎麼樣？”

2. 為話題的深入做一臨時停頓。

①われわれの祖先は，文字を發明した。ところで，文字には大きく分けて二つの種類がある。／我們的祖先發明了文字。而文字，大致分



为两种。②そんなことはありませんよ。ところで、あんたにぜひあとでゆっくり話たいんだけど。／不要多虑了，我以后一定和你好好谈谈。  
③意見がいろいろ聞かれています，所で君はどう見るかね。／听到了各种意见，那么，你是怎么看的呢？

### ところへ 〈接续词组〉

【意义】ところ是形式名词，へ是格助词，合起来表示恰好在前项动作进行时发生了后项的事件，引起事态的变化。

①二人が相談しているところへ変な人が入ってきた。／两人正在商量，进来一个奇怪的人。②財布を落として困っている所へ，拾ったという人が出てきた。／弄丢了钱包，正在发愁的时候，有人说拾到了。

【参考】1. 下例中的ところは表示地点的普通名词。

①殿様の居るところへ案内しようか。／我带你到老爷那儿去吧。

2. 下例也是表示地点的，但虚化了。

①彼は債権者に一万円のところへ五千円ずつ支払った。／他给每个一万元的债权人各支付五千元。

3. 在特殊的文脉中以同样的意思成为接续词。可看作省略了前项。

①ところへ電車が来た。／就在这时，电车来了。

### ところを 〈词组〉

由形式名词ところ和助词を构成。作为整体，二者的结合有的松散，有的紧密，但都向意义的定型化发展（1是一般用法）。因此，虽尚不能看作一个词，但作为一个单位归纳为几个意义有利于学习。主要如下。

1. 表示以问题所在（ところ形式名词用法的1）、动作行为的场面（同上用法的4）等做为宾语。

①来ないところを見ると急用でも出来ているのでしょう。／看他现在还不来，怕是遇到急事了吧。②おじさんが魚をつっているところを見たことがあります。／我看过叔叔钓鱼（的情景）。

2. 表示后续动作行为进行或发生的时间场合，同时を兼有宾语性质。

①巡査は泥棒が家に帰ったところを捕まえた。／警察在小偷儿回家时把他捉住了。②私は学校から逃げだしているところを先生に見つけ

られた。／我从学校溜走时被老师发现了。③「母を知っているの?」「実は、危ない所を、お母さんに助けてもらったんです。」／“你认识我妈妈?”“是这么回事，正当我处在危险之中时，你母亲救了我。”

3. 前项是一种情景，这一情景由于后项的变化性的、转换性的动作行为而发生了变化。

①レンズを調えているところを動いて、うまく取れなかった。／正赶上调镜头时（他）动了一下，所以没拍好。②殺人で死刑になるところを、恩赦で無期になっている。／因杀人该判死刑，因为恩赦改为无期。

4. 表示前项中通常的行为或状态被后项中特殊的行为或状态所取代。

①夏休みに家に帰るべきところを、わざと避けて東京あたりで遊んでいる。／暑假里本该回家，偏逃避而在东京一带游玩儿。②嫂を連れて音楽会へ行く筈のところを断って、大いに嫂に気をもました。／本该带嫂子赴音乐会的，却拒绝了，使嫂子很担心。③一本で済むところを二本引き三本引き、きれいな平行線を描く。／本来一条就可以的，偏要引两条、三条，画出整齐的平行线来。④人が50円で買い求めるところを、彼は70円も使わないとだめです。／人家花50日元能买到的，他非用70日元不可。

5. ところ表示一个特殊的时间场面，を表示后项在这个时间场面里进行（与表示活动场所的を并列）。下例②是寒喧语一例。

①ほかの者が地震だと言って狼狽<sup>うろた</sup>えている所を自分だけは二階の窓から飛び下りた。／正当别人因为地震乱成一团时，自己一个人从二楼的窗子跳了下来。②お忙しいところを（おいで下さいまして、）どうもありがとうございました。／您在百忙之中光临，十分感谢。

とさ 〈终助词〉

用于句末的用言、助动词等之后，有时音便为ってさ。

1. 表示相距久远的传闻。常用于讲故事。

①昔、ある所に、どんなに日照りでも水のかれない井戸があったとき。／过去，有个地方，有一口无论多么干旱也不干枯的井。

2. 以不关心的语气表示传闻。常带有嘲笑、不满、轻视等口气。

①だめなんだとさ。／说是不行。②あいつ、あの声でノド自満に出たんだってさ。／我听说那家伙就凭那嗓子还参加歌咏比赛了呢！

として 〈副助词〉

由格助词（或看成文言たりの连用形）と和形式动词するの连用形、接续助词て构成。可看作独立的副助词，有些人仍看作临时性词组。常后续は、も等。

【接续】接体言后。

【意义】1. 表示身分、地位、资格、立场、作用等。有的人把此用法看作格助词。

①日本政府を預かる鈴木首相としては、裁判の成り行きに憂慮しています。／作为负责日本政府的铃木首相，对审判的动向感到忧虑。②賭事は学生としてあるまじき行いである。／对学生来说赌博是不应该的行为。③それは会長としての意見で、個人としての意見ではない。／这是作为会长的意见，不是作为个人的意见。④幸子さんはもう一人前の芸術家として舞台上で活躍している。／幸子已经作为成熟的艺术家活跃于舞台了。⑤生徒たちは主体としてではなく、大量生産の客体として扱われている。／学生们不是被当作主体，而是被当作批量生产的客体来对待。⑥「感力」という君の造語は立派な内容を持つ言葉として私の胸にひびいた。／你造的“感力”这个词作为内涵高雅的词感染了我。

2. 表示范围，场合等。

①公主に助言を与え得る人物としては中行説の右に出る者はない。／在能给公主出主意的人里，没有比中行说更强的了。②微分法の応用としては、平均値の定理、関数の増加などを扱う。／微分的应用涉及到平均值定理、函数的增加等。③日本人としては英語が上手だ。／作为一个日本人来说，英语很好。④日本人の食生活としては、米、魚、野菜などがあげられる。／在日本人的饮食生活方面，我们可以举出大米、鱼、蔬菜等。

3. 以～一つ（一人、一冊、一本、……）として～ない形式表示全面否定。还可以用“誰一人として，何一つとして”形式，不过这时とし

て可以省去。

①広い東京に、誰一人として頼りになる人間はいなかった。／在偌大的东京，没有一个可以指望的人。②家の生計は一日として楽<sup>らく</sup>なことはなかった。／家里的生活没有一天富足过。③私は生徒を随分叱った。でも一人としてヘソを曲げる者はいない。／我没少批评学生，但是没有一个人赌气的。④彼のしたことは、一つとして私の意表に出ていないものはありません。／他所做的事没有哪一件不是出乎我的意料的。

4. 以～は（を）～としての同词反复形式表示按照事物的本来性质行事。

①事実を事実として述べているのではない。／不是实事求是地来论述。②過ちは過ちとして反省せねばなりません。／错误就该认真反省。③それならいっそのこと、法律に基づいて措置をとって権利は権利として主張したいと考えます。／如果那样，我打算干脆依照法律采取措施，名正言顺地争取权利。

5. 主要以～は～としての同词反复形式构成插入性词组，表示暂时搁置的语气。有转换话题的作用。

①それはそれとして、その次の話を聞かせて下さい。／这个就这样吧，请你谈下一个问题。②冗談は冗談として、私の頼んだことを忘れては困るよ。／玩笑总归是玩笑，把我托你的事忘了可不成啊。③秋男は成績は別として、外見は頼もしい男生に見えます。／秋男成绩另当别论，表面倒是个很有主心骨的男生。

6. 表示动作行为的结果、目标、名目

①人生を金銭として見る。／把人生作为金钱看待。②好きな人を議員として選ぶ。／把喜欢的人选为议员。③私は趣味として切手を集めている。／我在作为兴趣蒐集邮票。④炭水化物・脂肪・タンパク質は、どれも成分元素として炭素を含んでいる。／碳水化合物、脂肪、蛋白质都含有炭作为组成元素。

とする 〈助动词性词组〉

由格助词と（或看作たりの连用形）和形式动词する构成。活用同する，各形齐全。



【接续】接用言和助动词终止形后。

△接だ型词后时常省去だ。

①経験の不足が失敗した原因（だ）とされている。／据认为经验不足是失败的原因。

【意义】1. 表示主观的、断定性的看法。

①昔の人々は、地球が宇宙の中心に静止しているとした。／过去的人们认为地球静止于宇宙的中心。②中間単位として「語」を設けるのがこのましいとする。／认为设立“词”作为中间单位是可取的。③それは、複雑な歴史上の原因があるのだとする見方が支配的だ。／认为其中有复杂的历史原因的看法占主导地位。④両書とも「6年」,春,小林多喜二奈良に訪ね来る」としている。／两书都认定“(昭和)6年春,小林多喜二来访奈良”。⑤可能性なしとしなし。／并不认为没有可能性。⑥兄妹は今なら逃げ出せるとして,そのことを母に説いた。／兄妹看准此时可以逃走,便把这件事向母亲讲了。⑦地球内部に関しては,まだ満足すべき成果は得ていないとしてよいようである。／似乎可以断定,关于地球内部我们尚未获得满意的(研究)成果。

2. 以として形式表示普遍认定的内容,并作为全句的原因、理由。

①内政干渉の動きがあるとして,国際世論がさわがしくなってくる。／国际舆论哗然,认为有干涉内政的动向。②この研究は,特質を持ったものであるとして各方面からの注目をあつめている。／这项研究被认为有特色而受到各方面的关注。③「が」の使用が,悪文を生む,一つの大きな要因になっているとして,しばしば問題にされている。／普遍认为“が”的使用是产生病句的一大原因,因此常被看作是难点。

3. 以とされる形式表示通常的、一般认可的、众人的看法。

①喜多<sup>き</sup>方<sup>たかた</sup>から 檜<sup>ひ</sup>原<sup>ばら</sup>まで通常六里の道のりとされております。／从喜多方到桧原,一般认为有六日里路程。②それが,石油にとぼしい地質的理由（だ）とされている。／这一点被(公)认为石油贫乏在地质方面的原因。③この方法が好ましいとされたのは,次のような考慮によるものであった。／一般认为这种方法可取,是出于如下的考虑。

4. 表示虚构及假设(例①、②)、主观上的处置(例③、④)。

①2点A・Bがあるとしよう。／（让我们）假定有A、B两个点。  
 ②太陽が存在しないとする。では地球はどうなるだろうか。／假定不存在太阳，那么，地球会如何呢？③解答は避け，読者におまかせするとして，判断のための材料だけを提供しておこう。／我们想先不做解答，让读者判断，而只提供判断所需要的材料。④お金のこと，父に知れたら大変だから，落としてしまったとしておきましょう。／钱的事万一让爸爸知道就糟了，就说是丢了吧。

5. 以としよう、とするか等形式接于意志性词语后，表示决心（包括劝诱者同下决心）、意志。接于非意志性词语则成为用法4，见以上。

①では，九時が鳴ったら，一同出発としよう。／好吧，一打九点，就全体出发！②それならここで休むとしよう。／那（咱们）就在这儿歇一会儿吧。③どれ，もう一仕事するとしようか。／唉，再干一会儿活儿。④さあ，お二人をフィンファンパラダイスへ，ご案内申しあげるとするか！／来，我领您二位到芬芳乐园去吧！

6. 构成（よ）うとする形式。接意志动词后表示愿望，接非意志动词后表示将要出现的状态（下例⑤）。另有まいとする形式，意义恰与（よ）うとする相反，参见“まい”项。

①兄たちは旅行に出ようとしている。／哥哥他们正想出去旅游。②出かけようとしているところへお客さんに来られてしまった。／刚要出门，不巧来了客人。③高校二年というのに，うちの子は，ちっとも勉強しようとはしないのです。／都高二了，我那孩子还是根本不想用功。④やっと巡查にすかされて警察へ同行しようとして，橋を渡ろうとしたとき，娘は巡查の隙を見て再び水中に身を躍らせた。／好容易被警察说服，要带到警察局去，在将要过桥的时候，姑娘乘警察不备，又跃身于水中。⑤右の写真は高層ビルが倒れかかろうとしているところです。／右面的照片是高层楼房即将倒塌时的情景。

7. 主要以～を～とする形式表示规定、决定或认定的内容。一般应把する看作实义的他动词。

1) 接于名词后（不包括应看作省略だ的情况）。

①デザイナーを職業とする。／以设计师为职业。②満二十をもって

成年とする。／以满二十岁为成年。③母が日本人なる時はその子はこれを日本人とする。／当母亲为日本人时，其子作日本人视之。（法律）④定価は三百円とする。／定价定为三百元。⑤彼らの苦しみを苦しみとし、彼らの喜びを喜びとすることが私の理想です。／与他们同甘共苦，就是我的理想。

2) 用于文言形容词终止形后。多为惯用说法。

①万里を遠しとせず。／不远万里。②カンニングをいさぎよしとしない。／以考试作弊为耻。③邦枝は寿久に会うことを快しとしない。／邦枝不愿见寿久。

3) 用于形容动词词干后。实际上整个～とする形式相当于一个他动词。

①こういう勉強は、専門家の術語などを必要としません。／这类学习，不需要专家们的术语。②「虞美人草」は作者自身が晩年その名を聞くことさえ不快としたという。／《虞美人草》，据说作者本人在晚年甚至一听到这个书名都觉得不快。③科学的なものの見方をもっとも得意とするのは勿論科学者たちです。／最善于科学地思考问题的，当然是科学家们。

8. 作タルト型形容动词的补助活用词尾，参见“タルト型形容動詞”项。有些副词也以～とする形式作动词用（有时把と看成副词的一部分）。

①依然として低迷の境にある。／依然处于停滞状态。②揚子江は、川というより、洋々とした海という感じである。／扬子江给人的感觉与其说是河，更象汪洋大海。③ぼんやり（と）した目付き。／呆滞的目光。④「勉強がすきか？」彼は私の質問にキョトンとしています。／“喜欢学习吗？”他对我这句问话不觉一震。⑤種子植物では、根・茎・葉の区別がはっきりとしている。／种子植物根茎叶的区别很明显。

とする系（I） ～ケイ 〈接续助词性词组〉とする系列

由格助词と（或看作たりの连用形）和形式动词するの活用词组构成。由于活用词组内的接续助词的性质不同，可分为顺态和逆态两大类。

1. 顺态接续助词性词组。主要有とすれば、とすると、としたら等。接于用言及助动词终止形后，表示“假定条件”。具体意义因接续助词的不

同（ば、と、たら）而有细微区别。

1) とすれば。

①バスに乗らずに歩いていくとすれば、どのぐらいかかるでしょうか。／假定不乘公共汽车而走着走需要多少时间？②厳密に言うとしたば、過去と未来があるだけで、「現在」は存在しないであろう。／严密地说，只有过去和未来，“现在”是不存在的。③猛<sup>たけし</sup>の言う通りだとすれば，美智子夫人は別に亭主を裏切っているわけではない。／如果真象阿猛所说的那样，美智子夫人并没有背叛丈夫。

2) とすると。

①あのとき始めていたとすると，今ごろはもう終わっているでしょう。／如果那时就开始了的话，现在也该结束了吧。②植村の言う通りだとすると，あの山<sup>やま</sup>上<sup>うえ</sup>って若者は一体何者なんだろう。／假定象植村说的那样，那么那个叫山上的小伙子到底是什么人物呢？③たけ（竹）やぜに（銭）なども漢字の「竹」や「銭」の音読から由来しているとしたと，これらも固有語ではなくなる。／如果认为たけ和ぜに等也是从汉字“竹”和“钱”的音读起源的，那么这些也不是固有词了。

3) としたら。

①この世の中に二度の命が与えられるものとしたら，私はあなたの様な生き方をしたい。／如果在这个世上人有两个生命，我愿意象你那样生活。②今10万円もらったとしたら，何に使いますか。／假如你现在得到了10万日元，用来做什么？③もし私が飲んだとしたら，どうなるかしら。／假如我喝了下去，会怎么样？

2. 逆态接续助词性词组。主要有としても。还有としたって、としたところで等。表示即使主观上做出这种认定（前项），也无法约束后项的成立。

①彼はそのお金を全部ではないとしても半分以上使ってしまった。／他把那笔钱即便不是全部也花掉了一半以上。②先天的欠陥は仕方ないとしても能力はもともと流動的なものだと思う。／我想，就算先天缺陷是无法弥补的，但是能力本来是有可塑性的。③この経験を誰かに訴えたとしたところで，誰も信用してくれないでしょう。／即使把这个经历讲



给别人听了，也不会有谁相信的。④見学ができるとしたってそれだけで分るものではありません。／即使能参观，那也不是光参观就能明白了的。

### とする系（Ⅱ） ～ケイ 〈接续词系列〉 とする系列

由格助词と、形式动词する<sup>的</sup>若干活用形、接续助词等构成。主要有とすれば、とすると、としたら 3 个以及其敬体、谦语形式としますと、と致しますと等。表示以前项做为确定的前提，在后项引出推论性认识。

①その声は、法夫<sup>のりお</sup>にしか聞えなかった。とすれば、たしかに、法夫には一般の人と違って、特殊な音を聞きとる才能があるらしい。／那声音只有法夫听见了。这样看来，法夫确实与普通人不同，有听到特殊声音的能力。②「どこかに落としたのだろう。どこを捜しても眼鏡<sup>めがね</sup>は出てこない。」「とすれば新しいのを買うしかないね。／“可能是丢在什么地方了。眼镜到处找都找不到。”“那，就只好买新的了。”③シーラカンスは少くとも一匹だけは生きていたことが分った。とすると、この魚のなかまは、まだどこかにいると考えることができる。／现在弄清楚了，至少有一条空棘鱼曾活着。这样看来，我们便可以认为，在某个地方还会有这种鱼的同类。④「バスは事故で不通です」「とすると、歩いて帰らなければなりませんね」／“公共汽车因事故不通。”“那么说，我们只好走着回去啦。”⑤「夏休みから半年ほどアメリカへ行ってきます」「としたら、お帰りになるのは来年ですね」／“我将从暑假起到美国去半年左右。”“若是这样，您回来就是来年了？”

### とする系（Ⅲ） ～ケイ 〈提示助词性词组〉 とする系列

由格助词と和形式动词する<sup>的</sup>活用词组构成。接体言后，按サ变活用。最主要形式是として（参见副助词“として”项），其他形式均不常用。表示对陈述范围的限定。

①私としたら，君と違って，たまにはオペラまでも見えています。／我么，和你不同，有时甚至歌剧都看一看。②私は随分ひどく生徒を叱るから，時とすると，「先生もあんまりね」という訴えを受けます。／由于我训学生非常狠，有时学生抱怨：“老师也真是的”。③変だな。サラ

リーマンとすれば、この時間にビルの裏で喧嘩するひまはないはずだ。  
／奇怪啊。若是职员，在这个时间里按理没有空闲在楼后打架的。④私としたことがとんだ粗相をいたしました。／我这个人，竟出了这么个大错。

とたんに（途端に）

〈副词〉表示前项动作结束的一瞬间突然发生后项的动作或事件。

①私は銃を投げ捨てて、縄ばしごに思い切って飛びついた。とたんにヘリコプターは急上昇し始めた。／我抛弃枪支，狠劲地扑到绳梯上。说时迟那时快，直升飞机开始急速上升。②ふでは小溝をとびこえるべく身構えた。とたんに、小溝は滔々たる大瀾となって彼女をさえぎった。／阿笔拉好架式要跳过一条小沟。突然间，小沟变成滔滔大河，堵住了她的去路

△有时明显地有副词性。

①小さな店だから、注文が切れると、とたんに開店休業になる。／因为是个小店，一旦没有订货，马上就会“开店停业”。

〈接续助词〉意义同1。也说成とたん。

①よかったと思ったとたんに、私はこの火事の原因に気づいてぎょっとした。／就在我感到万幸的时候，忽然意识到这场火灾的原因，大吃一惊。②初江は、娘が大阪でつかまると分ったとたん、どこかへ遂電してしまった。／初江得知女儿在大阪被捕，马上就溜之大吉了。③遊びに出かけようとしたとたんに、お母さんが呼びとめてくれた。／刚要出去玩，母亲把我叫住了。

⇒そのとたんに

読解文法 ドッカイブンポウ 读解语法

实用语法或应用语法的一种，是为读解文章而编写的语法。其中用于读解古典的语法特称为解释语法。见另项。

读解语法一般以出现复杂而特殊语法现象的现代日语文章为研究对象，常以句子和文章的结构、句子和句子以及段落和段落之间的关系为主要内容。而实际上读解语法尚未建立起完整的体系，此将「口語文法講座」第4卷「読解と文法」一书的主要内容介绍如下，以见其大概。

读解和语法：文章の形態和其语法特征；推理性文章的读解和语法

指导；文学性文章的欣赏和语法学习和辞典的使用方法

读解语法和表达语法相对，二者分别反映语言的两个侧面即理解过程和表达过程。作为教学语法，理应兼顾这两个侧面。

とて 〈提示助词〉

词组“と言って”的缩合形式。常用とても（＝と言っても）形式，语气更强。

【接续】接体言、体言性词组。

① こういう難問は，先生とてだめだ。／这样的难题，老师也不行。

② 親の話したものととても，何でも正しいわけにはいかない。／父母说的话也不能全都正确。

【意义】1. 前项情况并不构成使后项成立的例外条件。常和否定形式或内容呼应。可用といって、といっても、だって等代替。

① 民主社会では，総理大臣とて一般国民と変わりはありません。／在民主社会，即使总理大臣也和普通公民一样。② 私とてそれを無視して言うわけではない。／我也并不是忽视了这一点来说的。③ 人の情というものは，今とても昔と同じである。／人的感情，虽说如今，也和过去是相同的。④ 武郎とても，そういたずらに父性愛に溺れたりはありません。／其实就是武郎也没有一味地沉溺于父爱之中。

2. 把某方面问题作为一般问题提示出来，后述具体解释。等于というものは。和否定形式呼应。

① 小説とていくらかも読んだことがない。／小说没读过多少。② 名勝地とて別に行ってきたところがない。／名胜没有去过什么地方。

とて 〈接续助词〉

来自格助词と和“言う、思う”等复合成的“といって、とおもって”等。偶有とても形式，语气更强。二者都已固定成词。

【接续】1. 接活用形终止形后。

① いくら規則が厳しいとて，これぐらいは許されよう。／无论规章多么严格，这一点，还是允许的。② いくら彼がばかだとて，そんなことはしまい。／他再蠢也不会那么做。③ 初犯だとて免罪はできない。／尽管是初犯却不能免判。④ 呼んだとて叫んだとて，誰が助けに来て

くれよう。／无论是喊还是叫，有谁会来相救呢？

とて在た、だ后通常音便为たって、だって，看作独立的词。见各项。

2. 接体言后。常以それとて、こととて形式出现。

①お人よしとて，それまではしないだろう。／即使是老好人，也不至于那么做吧。②しかし，それとて「荷物をお持ちしましょう」とか言えはすむことです。／但是，即便如此，只要说句“我给您拿东西”什么的，就没事儿的。③知らぬこととて失礼いたしました。／我不知道，对不起。

3. 接接续助词から后，常音便为からって。等于からといって。有时接ば后。

①貧乏だからとて，人を輕蔑するな。／不要因为穷就轻蔑人家。②何をすればとて熱心がなければならない。／不论做什么事，都要有热情。

4. 接某些文言用言的终止形后。

①道は幾らありとて，故郷への道はいずこにありや。／道路纵有千万条，通往故乡的路在何方？②皮肉でも，さりとてお世辞でもない率直さが，その口調にあった。／那语气中有一种既非嘲讽又非恭维的直率劝儿。

【意义】1. 前项事实不能导致预期的相应的结果。后项为否定形式或内容。

①金があるからとて幸福だとは限らない。／有钱不一定就能幸福。②あたまかずが足りないからとて，途中でやめるわけにはいきません。／不应该因为人数不够而在半途而废。③来いと言ったとて行かれはしない。／即使让我去我也去不了。④さればとて，外にいい方法もない。／尽管如此，也没有别的好办法。⑤これとて完全とは言えまい。／即使这样也不能算完备。

2. 和疑问词呼应，表示该疑问范围内的任何情况都不导致可能预期的结果（后项）。

①そんな体の調子では，どこの役所に行くとして，うまくは行かないだろう。／那种身体状况，怕是到什么机关（工作）也不会顺利。②こ



ういう仕事は、誰がやったとて、完璧を期することはできない。／这种工作无论由谁来干都不能指望完美无缺。

3. 表示原因、理由。只接体言，或以こととて形式接用言。

①初めての仕事とてあまりうまくはできなかった。／由于是第一次干这个活，没太干好。②連休のこととて，どのデパートも人で一杯です。／由于连续放假，哪家商店都挤满了人。③慣れないこととて，とんだ失敗をしてしまった。／因为不熟悉，出了个大错。

「とて」の見分け方 トテノミワケカタ とて的词类鉴别

1. 提示助词和接续词とて都可以接体言后，前者表示的是后续内容的话题，后者前后项间是逆接关系。试比较：

①いくら彼はお人よしだとて，それまではしないだろう。（位于两个分句间，逆接。接续助词）／他再是老好人，总不至于那么做吧。

若把前半句略为“お人よしだとて”，仍是接续助词。改为“お人よしとて”有两种可能，但能区分开。相当于“お人よしだとて”时，应视为接续助词。

2. 下例中的とて是“と思って、と言って”的省略形式。

①頭痛がするとて（＝と言って）パーティーに行かなかった。／说是头疼，没去参加晚会。②頑張ってもだめとて，学業をやめて，何かの会社に入った。／认为努力也没用，便放弃学业，进了一家公司。

とても 〈副词〉

1. 程度副词。“很、非常”。

①とても遠い。／相当远。

△与“非常に”相比，とても主观色彩强，因此不宜用于客观叙述。

①地球は非常に（※とても）速いスピードで自転している。／地球以很快的速度自转着。

2. 陈述副词。与可能动词的否定形式等呼应，表示从主观上做不到、认识不到等。

①歩いてはとてもついていけない。／步行怎么也跟不上。②とてもこれ以上は速くなれない。／怎么也不能再快了。③一度跳込台の上に立ったが，とても自分には他の子供のような芸当はできなかった。／在

跳台上站了一下，可是自己就是学不上来别的孩子样儿。④私にはこんな拳銃が父親の持物だとはとても思えなかった。／我无论如何也没想到这样的手枪竟为爸爸所有。⑤こんな重い責任なんて、僕にはとても無理だ。／如此重任，我可不胜任。

△单独形式也表示否定。

①「あなた，通訳していただけますか。」「私なんか，とてもとても。」／“请你给翻译，好吗？”“我，不行不行。”

△とても和“絶対に”相似。不同的是前者表示主观程度，后者表示客观程度。试比较：

①瀬戸内海を泳いで渡することは絶対にできない。／游过濑户内海是绝对不可能的。（客观上）②～とてもできない。／怎么也游不过去濑户内海。（能力上）

因此，不受人支配的自然现象只能用“絶対に”。

春を経ずして絶対に（※とても）夏は来ない。／不经过春天绝对不能到夏天。

とどうじに（と同時に）

1. 接续词。也说成“同時に”。多用于文章，表示两个同时性状态或动作的并列。

①それが私の申訳です。と同時に私の誇りです。／这就是我要说的。也是我的自豪之处。②それは架空の物語なのかもしれないという疑念が生じた。と同時に，作者の虚構の才能に，私は今更感嘆した。／我怀疑那也许是编造的故事。与此同时，也愈加钦佩作者的虚构能力。

2. 接续助词。主要接用言连体形之后。表示同一时间发生的动作行为，或性质、状态的并列。

①簡単であると同時に，明瞭であることが大切である。／要紧的是既要简单又要明了。②読むことと同時に書くことも勉強しなければならない。／读写应同时学习。③赤ちゃんが生まれると同時にお母さんが息を引きとった。／在婴儿出生的同时，母亲咽气了。

「と」と「に」 と和に的区别

1. 表示行为的对象的用法。と表示双方行为的共同执行者，而に表

示单向行为的接收对方。因此，双方协同进行的双向动作要用と，而一方  
向另一方进行的单向动作要用に。

①太郎は花子と（※に）結婚した。／太郎和花子结婚了。②私は田  
中さんに質問した。／我向田中先生提出了问题。（用と则另外意思：我  
和田中先生一起问了别人）

表示双向动作的动词如：“話し合う、結婚する、約束する、喧嘩す  
る、対面する、交際する、握手する、談判する”。表示单向动作的动词  
如：“教える、伝える、頼む、押しつける、聞く、わびる、見せる、  
話しかける”。

兼有以上两种性质的动词，视情况选用と或に。这类词如：“会う、  
相談する、ぶつかる、出会う、結びつける”。

①太郎は花子と会った。／太郎和花子约会了。②太郎は花子に会っ  
た。／太郎遇见了花子。

以～の～形式名词化时二者也不同。双向动词如“花子との結婚/和  
花子的结婚”，单向动词如“田中さんへの質問/向田中先生的提问”。

## 2. 表示变化结果的法。

1) 结果和过程的区别。との表达重点在结果的内容，而に则表示  
变化过程的方向或归宿。

①ちりも積れば山と（※に）なる。／集腋成裘。②原爆で火と  
（※に）化した長崎／因原子弹化为火海的长崎。③雨は夜にはいって、  
急に雪と（※に）なった。／入夜，雨突然转雪。④十万年前からこち  
らは陸地に（※と）なり始めた。／从十万年前开始这里逐渐变成陆地。  
⑤卵をひよこに（※と）するには適切な温度が大切です。／把蛋孵成  
幼雏重要的是温度适宜。⑥先生になるつもりです。／想成为教师。（用  
と是另意）

と和に的选用与动词有一定关系。只能用に的有“転化する、改造  
する、ふえる”等，只能用との有“一変する”等。两个最主要的动词す  
る、なる都可与と、に二者搭配，产生不同的侧重点。

①氷が溶けて水に（と）なる。／冰化成水。

2) 真实性的区别。とする、となる表示假定的内容。にする、にな

る表示变化的结果。因此前者无真实性，后者有真实性。试比较：

①倉庫を実験室とする。／把仓库做实验室用。②倉庫を実験室にする。／把仓库改建为实验室。③花子は母となって、子供の世話をする。／花子母亲般地照看孩子。④花子は母になって、子供の世話をする。／花子作母亲，照顾孩子。

以上区别也和と主观性强而に客观性强有关。可参照3。

3. 表示思想内容的用法。と表示主观的估计、判断的内容，因此，主观性强的动词，如“思う、考える、認める”只能用と。

①自分の責任と（※に）認める。／承认是自己的过失。

に表示对客观事实的描述，因此，表示感觉的“感じる”只能用に。

①恩に感ずればいかなることをも辞さない。／感恩则万事不辞。

“見る、見える”等要视情况选用と或に。

“見る”和“見える”在有些情况中共用，但有细微的区别。

①山田さんの方が田中さんより年上と見える。／看来山田君比田中君年纪大。②山田さんの方が田中さんより年上に見える。／看上去山田君比田中君年纪大。

上二例中と見える表示确有根据的判断，に見える表示表面的观察。因此，下二例只能用と或に。

①あの兄弟は弟さんの方が兄さんより年上に（※と）見える。／他们哥俩显得弟弟比哥哥年令大。②だいぶ疲れたと見えて（※に見えて）死んだようにねむっている。／看来很累了，象死了一样地睡着。

4. 表示比较基准的用法。と表示相互比较的相对基准，因此，具有“不同”含义的动词，如“違う、変る、ことなる”等只能用と。

①私の考えと（※に）違う。／和我的想法不同。

に表示单向比较的绝对基准，“類する、対する、反対する”等只能用に。

①猫はとらに（※と）類する。／猫类似虎。

具有以上两种意义的词要视情况选用と或に，这样的词如“比べる、等しい、似る”。试比较：

①AはBと等しい。／A B相等。②AはBに等しい。／A等于B。



③学校は海に（※と）近い。（空间距离，因此是绝对比较）／学校离海近。  
 ④花子は太郎と近い関係にある。（心理比较，可以是双方比较）／花子和太郎二人关系密切。  
 ⑤花子は太郎に近い関係にある。（心理距离，可以是单项比较）／花子亲近太郎。

となく 〈副助词性词组〉

【构成】由格助词と和形式形容词ない的连用形构成，有时成とはなく形式。另有となしに和ともなく，见各项。

【接续】1. 接疑问词、疑问词性词组后。

①何となく言う。／无意识地说。②幾度となく遅刻した。／屡次迟到。

2. 接包括疑问词在内的句节后，一般用ともなく形式。

①「カインの末裔」の主人公は，どこからと（も）なく現われ，またどこへと（も）なく去って行く，という人物です。／《凯因的末裔》的主人公是个来无影，去无踪式的人物。

3. 接包括疑问词的分句后。一般用ともなく等形式。

①娘は誰に言うともなく，放心したように呟いた。／姑娘也不知道对着谁，很茫然地自言自语。

4. 接名词、用言（一般为动词）终止形后。一般连接相同或类同的两个词。

①眠ると（も）なく目をとじた。／似睡非睡地合上了眼睛。②雪となく風となく十年もプールでがんばって，水泳の王様になった。／不顾下雪还是刮风，在游泳池里奋斗了十年，成为游泳大王。

【意义】1. 表示具体情况不明而又确实存在的原因、地点、时间、数量等。

①春とはいふものの何となく肌寒い気がする。／虽说是春天，总觉得有那么点儿冷飕飕的。②中学生はまだどことなくあどけなさを持っている。／初中生有些地方仍带着稚气。③こういう類の事は，その外まだいくつとなくある。／这类事还有很多。④釜の周囲には，沸きあがって流れだした米の汁が，かさかさに幾条となくこびりついている。／锅的周围干巴巴地沾着许多条开锅后溢出来的米汤。⑤土手の上に松が何

十本となく植わっている。／水坝下栽着多达几十棵的松树。⑥日ごろ愛惜した樹木や草花などが、いつとはなく落葉してしまっている。／平日里珍惜的树木花草不觉间已凋零残尽。

2. 以否定的形式表示数量众多、程度高或全部事项。一般接于有联系的两个词后，构成～となく～となく形式。

①海賊がやってきて、フランスのどここことなくあばれまわった。／海盗闯来，在法兰西到处横行。②怪しげな鷺鳥が10羽となく，20羽となく紛々と飛びめぐっている。／怪异的猛禽何止10只20只，纷纷扬扬地盘旋着。③野となく，山となくかけまわって，色々な植物の標本を採集した。／不分山地原野四出跋涉，采集了各种植物标本。④夜となく昼となくピアノを引きつづけた。／没日没夜地连续弹钢琴。

⇒となしに、ともなく

となしに 〈副助词性词组〉

由格助词と、文言形容词なし（终止形）和格助词に构成。常用とはなしに，ともなしに形式加强语气，接续同となく，参照该项。

【意义】1. 表示具体情况不明而又确实存在的数量、地点、目的、原因等。同となく的意义1。

①誰が音頭を取ったとはなしに，みんな今さき見た映画の主題歌を歌っていた。／没有谁来起头儿，大家都在唱着刚看过的电影的主题歌。②彼女は美人というほどではないが，色白の丸顔で，どことなしに愛嬌があります。／她虽算不上美人儿，但白皙的圆脸儿，有种惹人喜爱之处。

2. 表示不自觉的、不是特地作出的动作行为。

①私は見るともなしに見て，思わずびっくりした。／我无意之中看了一眼，不觉大吃一惊。②これは幼い日に母の手に抱かれながら，聞くとはなしに聞きながら覚えた子守歌です。／这是我幼时让妈妈用手抱着，无意中听着听着学会的一首摇篮曲。③目の前の物がずるずるあとずさりを始めるのを待つともなしに待ちかまえていた。／自觉不自觉地在等待着眼前的景物一连串向后退去（如在火车）。

⇒となく、ともなく

## となる 〈词组〉

由表示变化结果的格助词と和动词なる构成。接体言（性词组）后。

【意义】表示客观事物或主观认识的各种变化结果。

### 1. 客观事物变化的结果。

①総選挙の結果、レーガンは大統領となった。／经过大选，里根成为总统。②私生活が小説となるなんていい商売だね。／私生活能成为小说，真是好行当啊。③その情報をえて，植村は早速，乗用車の人となった。／得到这份情报，植村立即上了轿车。④宴会は，テレビ局のロケ隊三人を送り出してから，11時過ぎにやっとお開きとなった。／宴会在送走了电视台的外景拍摄队的三个人之后，于11点多钟终于结束了。⑤佐佐木課長が戻ってきた。早速，幹部会議となった。／佐佐木科长回来了，于是，立即举行了干部会议。⑥両親や校長の知るところとなって，二人は無理に別れさせられた。／被父母和校长知道后，两个人被迫分手了。

### 2. 以となっている的形式表示既成状态和构成。不存在变化过程。

①駅の前は広場となっている。／站前是广场。②佐野は三階に住んでいて，一階と二階はデパートとなっている。／佐野住三楼，一楼和二楼是商店。③いつの手紙かと思って，スタンプを見ると昭和7年1月1日となっている。／不知是何时的信，一看邮戳，是昭和7年1月1日。④身体はみそ汁，すまし汁<sup>からだ</sup>からとる食塩が最も多く，次いで煮物となっている。／身体从大酱汤和清汤<sup>じる</sup>摄入的食盐最多，其次是熟食。

### 3. 表示常识、规则、习惯的内容。

①連合軍の接受地区は「日本人立ち入り禁止」となるが，……。／联军的接管地区“禁止日本人入内”，而……。②我々同族間では一番先に見つけたものがえを食う権利があるものとなっている。（夏目）／在我们同族之间，按常规谁最先发现谁就有吃的权利。

### 4. 表示推断的内容。

①もちろん暗示の受け止め方は，染子独自のやり方となる。／当然，接受暗示的方法是染子独特的。②自然環境保全法により，六カ月

以下の懲役か10万円以下の罰金となる。／根据自然保护法，处6个月以内的徒刑或10万日元以下的罚款。

となる系 ～ケイ 〈接续助词〉となる系列

由动词性词组となる派生而来。在句中作用相当于接续助词，并常有提示功能（包括接于用言及助动词之后的场合）。主要有となったら、となると、となれば、となって等，以及敬语形式となりますと、逆态形式となっても等。

【接续】1. 接体言后。

①次に海底となるともっと暗くなる。／再说海底，则更暗。

2. 接句末的用言及助动词后。

①もしアメリカ政府がUFOの行動の全貌を公表したとなると，一体どのようなことが起るのだろう。／一旦美国政府公布飞碟的全貌时，将会发生什么事呢？

【意义】1. 表示伴随着话题转移或情况变化的顺态假定条件。

①もし私がお金のためにとやかく云うとなると，お前も心持ちが悪かろう。／如果我为了金钱说三道四起来，你心情也不会好吧。②当校より有名な人が出たとなれば，生徒たちも大いに励ますから，是非，お話をおうかがいします。／知道从本校出了著名人物，学生也会大受鼓舞，所以，无论如何请您讲讲话。③水泳のように練習の有無によって人は生きもすればおぼれもするとなったら，それはいやでも考えなければならぬ。／如果是象游泳那样练习的有无决定人的沉浮，那么，（是否练习）这一点就非考虑不可了。④自分一人で生きていかなければならないとなつて，奥さまは何をして生きていかれますか。／太太您必须一个人单独生活下去了，请问做什么来生活下去呢？⑤昼でさえ寂しいこの御所は，一度日が暮れたとなりますと，遺水の音が一際陰に響いてしまいます。／连白天都凄凉的皇宫，一到天黑下来，庭院中流水的声音更加显得阴森。

2. 表示观察对象的转移。主要接体言后。

①ところが，彼女，いざ勉強となると，驚くほど積極的です。／可是，她一到学习上，那劲头儿惊人。②「子どもの死」は悲しい。ほかな



らぬわが子の死ともなれば、特にそうだと思う。／“孩子的死”是悲痛  
的。如果恰恰是自己孩子的死，想必更是如此。③彼がぱったりと現わ  
れなくなったとなれば、それは確かな事実である。／至于他突然就再不  
露面了，这倒是确凿的事实。

3. 表示伴随着情况变化或话题转移的逆态假定条件。

①しかし、父が私たちといっしょに生活し始めるとなっても、家  
庭の雰囲気改善が難しい。／但是，即使到父亲开始和我们一起生活的  
时候，家庭气氛的改善还是很难的。

とにかく 〈副词〉

1. 表示排除种种议论、想法（前项。或不出现），做出后项中的最  
终结论。近于接续词。

①とにかく君より点数が高い。／反正比你分儿高。②とにかく近頃  
は忙しくてならない。／总之，最近忙得不可开交。③早く出ようが満期  
で出ようが、とにかくそんな事問題じゃねえんだろうから、さわいだっ  
ていいさ。／早点出去也好，刑满出去也好，反正都无所谓，所以闹也没  
关系。④相手がどうであろうと、とにかく約束だけは守って下さい。／  
无论对方怎么样，请你一定要信守协议。

2. 以“～はとにかく、～”形式表示搁置前项内容而谈论后项内  
容。可用ともかく等代替。

①人力はとにかく、まず資金の問題だ。／人力暂且不论，首先是资  
金问题。②私はとにかく、君がさきに帰りたまえ。／别管我，你先回去  
吧。

との 〈复合助词〉

と和の都是格助词。

【接续】1. 接体言、体言性词组后。

①外国との貿易も大切です。／和外国的贸易也很重要。

2. 在接于引语、语言心理活动或类似的内容后时，接续上没有限  
制。

①明日、母が上京するとの知らせがあった。／有通知说妈妈明天  
进京。②会議は10時からとのことです。／听说会议10点开始。

【意义】 1. 表示后续体言的“共同进行”这一属性。と表示共同进行的对象，の表示属性。

①友達との約束をやぶってしまった。／违背了与朋友的约定。②私は彼女との結婚を十年も待っていた。／我等着和她结婚足足等了十年。③色色の面での外国との交流は国の発展に大きく寄与するものがある。／和外国在各方面交流对国家发展大有好处。

2. 表示传达、传闻、引用以及其他语言、心理活动的具体内容。后续抽象名词。相当于という。と表示语言心理活动，のは同位性修饰。

①すぐ、右側の襖を女中は開けた。「どうぞ、ここでお待ち下さいとのことでございます」／不一会儿，女用人打开了右侧的隔扇，“（我家主人）说请您在这儿等着。”②新村さんは、持病がおこって、会社をやめるとの話です。／听说新村先生旧病犯了，要从公司退职。③男子御誕生（と）の由おめでとうございます。／听说您喜得贵子，恭喜。④野党側から、国防予算案の追加はやめろとの反撥が強かった。／在野党方面<sup>きようせい</sup>严厉反驳，要求取消国防予算草案的追加（费用）。⑤強勢は権利なりとの格言／“势大为权”这句格言。⑥後天性は遺伝するものにあらずとの有力な説／“后天性非遗传”这一有影响的学说。

3. 表示后续体言的状态、特征。后续具体名词。2的引申，不常用。

①そよとの風／微拂的风。②泣けとの鐘がなる。／催人泪下的钟声响了。

【参考】下例中との的とは是并列助词。

①対物レンズと接眼レンズとの組み合わせを変えると、倍率が変わる。／改变物镜和目镜之间的搭配，放大倍数就会变化。

どの（殿） 〈接尾辞〉

接于他人姓名后表示尊称。主要用于公文等中，如官厅发出的书信，官方文件等，语气比さま郑重。一般不用于官职名称后。个人只在老年人中有所使用。例如：

高橋一郎殿、編集長殿、総理大臣殿、保護者殿。

とは 〈提示复合助词〉

由表示引语的格助词と和提示助词は结合而成。

【接续】 同と。

### 1. 接体言、体言性词组后。

①教育とは内在能力を引き出すことだ。／所谓教育,就是把内在能力引发出来。②中学という年代に達すれば,もうそろそろ「人間とは……」「人生とは……」などと,真剣に考え始める頃です。／到了初中年龄,就到了开始认真思索人是什么、人生是什么的时候了。③似たもの夫婦とは,世間でよく聞くことですが。／什么人配什么人,这是社会上常听到的话。

### 2. 接引语后。

①そんなことをするとは気でも狂ったのか。／竟然作那种事,疯了不成? ②代表が君だとは。／代表竟是你? ③先生がいらっしゃらなかったとは意外だった。／老师没来,这真是意外。

【意义】 1. 主要和接续1对应,把人们经常谈论的、常听说的、已经成为论述中心的事项提示出来,后面出现定义性,评论性内容或要求作出定义性回答的疑问。大体上同というのは。

①煙とは一体何でしょうか。／烟究竟是什么呢? ②煙とは,ほこりと同じで,空中に浮んでいる粒の集まりです。／所谓烟和灰尘一样,是悬浮在空中的微小粒群。③辞書とは,言葉を集めてその意味を記した書物のことである。／辞典就是把词收集起来,记录其意义的书籍。④呼吸とは生活活動を行うために,ブドウ糖などの栄養分を分解することである。／呼吸就是为了进行生命运动而分解葡萄糖等养分(的生理机制)。⑤絵のような景色とはこういう所をいうのだろう。／所谓风景如画,说的就是这样的地方吧。⑥日本が封建的だとは終戦直後によく聞かれた批評だった。／日本封建,这曾是停战不久经常听到的批评。

2. 构成～とはこのことだ,～とはよく言ったものだ、～とは何ごとだ等惯用形式。整句话表示一个比喻,常用于谚语后。

①手を翻せば雨,手を覆せば雲とはこのことだ。／这正是翻手为云,覆手为雨。②李下の冠とはよく言ったものだ。／正所谓“李下不整冠”。③この時,三つ子の魂百までとはよく言ったもので,私は堪らな

く小説というものを書いて見たくなりました。／常言说得好，江山易改，禀性难移，这时我又迫不及待地想写一写小说这个东西了。

3. 主要和接续2对应，表示对前项内容的惊讶、迷惑、愤怒、感慨等。属于广义的“提示・说明”型结构。通常不能用というのは替换。

①こんな山の中で、冷やした牛乳が買えるとは驚いた。／在这样的深山里买得到冰镇牛奶，真令人惊奇。②どこの店も八時で看板とはひどい。／所有商店都八点闭店，太过分了。③正月にもかかわらず，じゃんじゃん電話してくるとは迷惑千万だ。／虽说过年可电话仍不断，真烦透了。④えらいのう。その話が分るとはほんまにえらい。／真了不起啊。能明白这样的事真了不起。⑤あんな正直者を追い出すとはあきれるじゃないか。／把那样的老实人赶走，真不象话。⑥事ここに至らんとはさても嘆かわしいことである。／事情竟至如此地步，实乃可叹之事。

4. 以只提示不加说明的方式表示出乎意料、惊讶。相当于终助词。用法2省去后项造成。

①そんなことがあったとはね。／竟然有这样的啊！②君ほどの人物がやれないとはねえ。／没料到象你这样的人物还干不了。③子供に負けるとは。／竟然输给孩子了！④あんな美人があんな醜男と夫婦とは。／那么个美人和那么个丑男人是夫妻！

△有时分不清是3的倒装还是4。

①信じられないことだ。数千万年も前に死にたえたはずの魚が生きているとは。／真是无法相信。本以为数千万年前就已绝迹了的鱼居然还生存着！

【参考】另有些とは是と和は的临时复合，大致如下。

1. 格助词と和は构成的惯用形式。

①常に意見の交換をしていますが、必ずしも一致するとは限りません。／经常交换意见，但难免不一致。②西欧の単調な紅葉とはうってかわった，極彩色の紅葉／和西欧那单调的枫叶截然不同的，极其鲜艳的枫叶。

2. 格助词と的一般性的提示。

①あなたは佐野とはいっお知り合いになりましたか。(と表示対象)



／您和佐野是何时相识的?②大学の授業の仕方は、高校とは大分違って  
います。(と是比较対象)／大学的授课方式和高中很不相同。③ロボット  
は、例えどんなに聡明だって、人間とはなりません。(と表示变化结果)  
／机器人无论多聪明也不会变成人。

### 3. と是副词的一部分。

①はっきりとは言えないが、このあたりだったと思います。／说  
不太准，我想就是这一带。

### 4. 并列助词と和は的重合。

①平仮名と片仮名とは日本特有の文字である。／平假名和片假名  
是日本特有的文字。

△以上とは之间能插入まで、だけ、ばかり等副助词。

①所長は、練習してみろとは言ったが、家族に質問されたとき、ど  
う答えろとまでは指示していない。／所长只是让我们练习一下，没有指  
示被家里人问到时应该怎样回答。

△口语中作为粗俗的说法可音便为たあ。

①來年たあ，ひどいじゃねえか。／明年？你真说得出口。

### とも 〈接续助词〉

【接续】1. 接形容词及同型助动词连用形后。其中すくなくとも等已固  
定为副词。

①会いたくとも会えない。／即使想见也不能见。②会わなくとも平  
気なのか。／不见面你也不在乎?③多くとも13人ぐらいいです。／多也不  
过13人左右。④丸くとも一角あれゃ人心。(谚语)／谦恭亦不可过度。

2. 接动词、动词性助动词终止形。也可接无活用助动词う、よう、ま  
い、ず的终止形后。

①鶏口となるとも牛後となるなかれ。(谚语)／宁为鸡口，不为牛  
后。②ただ何等の腹案計画なくして行くとも，何程の仕事が出来よう。  
／连一点儿腹稿都不打，即使去了，能做多少工作呢?③世間沙汰になろ  
うとも，それはそれでいいではないか。／即使传扬到社会上，又有什么  
了不得的?④吹聴せずともよい。／不必吹嘘。

### 3. 偶尔用于形容词终止形后。

①左右の間隔は、<sup>それ</sup>夫より短かいとも長くはない。／左右的间隔毋宁说比它短，绝不比它长。

#### 4. 接文言形容动词及同型助动词终止形后。

①わずかなりとも融資は受けられないだろうか。／哪怕一点点儿贷款也借不到吗？

#### 5. 另有接副词的“多少とも、ぜひとも”等，仍看作副词。

【意义】相当于口语的ても。除固定词组和谚语、及意义的3以外，一般都用ても代替。（当然接续法不全相同）

1. 表示后项的成立不受前项所述条件的约束。和接续的1～4对应。

①目は見えなくとも、天気の良いし悪しは分るものだ。／尽管眼睛看不见，却明白天气的好坏。②離婚したくとも離婚ができない主婦も多い。／也有很多家庭主妇虽想离婚但离不成。③寒くとも、苦しくとも、ひもじくとも、男と名のつくものは泣きつら吠えづらはかかぬもの。／即使寒冷，即使痛苦，即使饥饿，只要是男子汉就不应该愁眉苦脸。④和子さんには子供がないから、一家の煩しさを経験しなくともすむのよ。／和子没有孩子，所以就没有家庭生活的烦恼。⑤先生の学は古今を貫き、識は東西を圧しているのは、今さらのように言わずともよい。／先生才贯古今，学压东西，这已勿庸赘述。

#### 2. 和疑问词呼应，表示所有情况对后项的成立都没有约束力。

①作ったものを何に使おうとも自由です。／将制成的东西做何用可自行决定。②いかに困るとも弱音を吐くものではない。／无论多么困难都不要说不争气的话。③たとえどんな非難を受けようとも、私は計画どおりに事を運ぶつもりだ。／不管受到什么非难，我都准备按计划行事。④今更いくら謝られようとも、僕は君を許す気など毛頭ないわ。／如今你怎么向我道歉，我也丝毫不想原谅你。

#### 3. 表示量和程度上的极端情况或极限。有的已固定成词。

①日本人自身としては、少なくとも表面的には仏教に無関心なものが多い。／从日本人本身来讲，许多人至少在表面上对佛教不感兴趣。②遅くとも今月すえまでに何とかしたい。／至迟本月底之前我要想点儿办

法。③近年になって、おじいさんの体は多少とも良くなってきた。／近年来，爷爷的身体多少有些好转。

【参考】由逆态接续助词と和提示助词も构成，中世纪后由于接续助词ても的出现，逐渐退至文章中。

とも 〈副助词〉

【接续】接体言后。

【意义】表示无例外，具体如下。

#### 1. 表示有关项的总括数或总体。

①砂糖と食塩は両方とも白くて、すぐには見分けられない。／白糖和食盐二者都是白色，一下子区分不开。②この二方法とも実行できんとなると甚だ心細い。／若是这两套办法都实行不了，可太令人担忧了。③もっとも，この三人とも必ずしもスターとは言えない。／当然，这三个人都未必够得上明星。④この辺は閑静な住宅地で両側とも大きな家が多い。／这一带是宁静的住宅区，两侧都有很多高大的住宅。⑤バレーボールでは男女チームとも優勝した。／排球男女队双双获得冠军。⑥息子娘とも出世して，親の顔を立たせる。／儿子姑娘都成功了，令父母脸上有光。⑦夫婦とも稼ぐのをとも稼ぎという。／把夫妻都工作的称为双职工。

△还可构成～が～ともの同词反复形式。

①その6人が6人とも，60才以上の老人ばかりです。／那6人6个都是60岁以上的老头儿。

#### 2. 表示计算在内的附带事项。

①運賃とも3千円かかりました。／算上运费花了3千元。②風袋とも3百グラムになっている。／带皮（毛重）3百克。③税とも6万5千円です。／税款在内共6万5千日元。

#### 3. 接疑问词后表示全部肯定或否定。一般代之以でも。

①ひどくぶつけたようだけど，何ともなかったですか。／好象撞得挺重，没什么事儿吗？②どうともするがよい。／随便怎么干都行。③映画館はどことも超満員であった。／电影院家家爆满。

#### 4. 构成一些副词和惯用词组。

①能力はともあれ、もうあの年では勤まらない。／能力先不提，凭那年龄已经不能胜任。②冗談はともかくどうするつもりだ。／玩笑归玩笑，你是怎么打算的？③会話は沈みがちで、ともすれば気まずい沈黙が流れてしまう。／谈话常出现低潮，不时袭来令人难堪的沉默。④今後ともよろしくお願いします。／今后仍请你多加关照。

とも 〈终助词〉

【接续】接于句末用言和助动词后。接だ及形容动词终止形时有时去掉だ（例⑤、⑥）。

①来るとも。／当然来。②ええ，ええ，読んであげますとも。／是的，是的，一定读给您听。③元気だとも。／当然很健康。④「本当に御存じでないんですか」「知りませんとも」／“你真的不知道？”“真的不知道。”⑤ま，巧者とも。／是啊，当然是高手。⑥「宿題は自分でやったの」「そうとも（或：そうだとも、そうですとも）」／“作业是自己做的？”“当然是啦。”

△可后续终助词さ、な、よ等。

①「向こう岸まで泳いで渡れるかい」「泳げるともさ」／“能游过对岸去吗？”“没问题。”②「あのこと，覚えてる？」「覚えてるともな。」／“那件事，还记得？”“当然记得啦。”

△不能接于表示劝诱、请求、命令的句子后以及助动词そうだ、らしい后。

【意义】表示对自己所发之言的坚信不疑或不言而喻的口气。相当于说もちろん……。确信的内容原则上是对方的问话，看法的中心内容即谓语部分，或其同义变体。有以下两种情况。

1. 对对方的提问、命令等做肯定的答复。

①「もっと頑張きなさい」「頑張りますとも」／“你要更努力。”“我一定努力。”②「こんな具合でよろしいでしょうか」「結構だとも」／“就这样，行吗？”“当然可以。”③「証人になってくれるかい」「なるとも」／“为我作证人好吗？”“当然可以。”

2. 对对方的判断等表示十分赞同。

①「今は随分事情が違ふようですわね。」「そうですとも。」／“现在



看来情况很不同啦。”“确实是。”②「こんな状態がそう長く続くとは思えないよ」「当然だともさ」／“我看这种情况不会太长久的。”“那是当然的啦。”

### ども（共） 〈接尾词〉

#### 1. 表示低身分者的复数。

家来ども、子分ども、手下ども、ぜがれども。

#### 2. 表示被蔑视者的复数。

ちんぴらども、わんぱくども、がきども、悪魔ども、手先ども、野郎ども、女ども、きさまども。

#### 3. 接第一人称代词后表示谦让。

私ども、手前ども。

【参考】こども已固定成词，复数为こどもら、こどもたち。

### ともあれ 〈副词〉

同とにかく、ともかく。只用于文章。

#### 1. 表示不顾及前项中的议论（可能不出现）而做后项判断或动作。近于接续词。

①ともあれ山田氏の説は卓抜なものと私は考えている。／无论如何，我认为山田先生的观点是精辟的。②君は血に染まった僕の手から目をそむけるだろうか。あるいは，君さえも利用した僕を憎んでいるだろうか。ともあれ，君に最後の手紙を送ろう。／你也许不正视我这沾满了鲜血的双手，或者，也许恨我甚至利用了您。不管怎样，给你写这最后一封信。

#### 2. 以～はともあれ，～形式表示暂不谈前项着重谈论后项。

①成績はともあれ，無事卒業できてよかった。／成绩别管它，能顺利毕业就很好。②能力はともあれあの年では勤まらない。／能力如何暂且不提，这年龄就不能胜任。

### ともかく 〈副词〉

另有ともかくも、ともかくとして，意义相同。

#### 1. 以“～はともかく，～”形式表示经比较之后搁置或默认前项内容，以后项为议论的中心。同とにかく、ともあれ等。

①味はともかく見た目にはとてもうまそうだ。／味道怎么样不说，看起来好象挺好吃。②成功不成功はともかくやり甲斐のある仕事だ。／成不成功姑且不论，这工作值得一做。③「伏せえ」の号令の場合に野良着ならばともかくも，よそ行きの羽織など着ていると迷惑である。／喊“卧倒！”时，如果是穿田间劳动服还好说，倘若穿着出门用的和服外套什么的，就为难了。④かなはともかくとして，漢字をおぼえるのは，外国人にとってたいへんな苦勞です。／假名且好说，记汉字对外国人是很费力的。

2. 与表示意志行为的内容呼应，表示不顾前项条件而付诸行动。有“试着看”的语气。

①間に合うかどうかは知りませんが，ともかく速く行ってみましょう。／是否来得及不知道，反正先快点走吧。②設計図を見ただけではどうであるか分らない。ともかく作りながら確めよう。／光看设计图看不出来怎么样，还是边做边明确吧。③よく分らないけれども，ともかく一応答えは書いておいた。／不太明白，反正答案是写上了。

3. 表示排除种种议论（前项。有时不出现），做出后项中的最终结论。

①ともかく読まないことには上達するわけにはいかない。／总之，不读是不能长进的。②ともかく，あの先生の言われることだから間違いない。／总之，那位老师说的，不会错。③これらの，生活に必要な品物の種類や数量は人によってまちまちですが，ともかく，私たちが生活するためには食糧や衣服，住居など，たくさんの品物が必要です。／上述生活必需品的种类、数量是因人而异的，但不管怎么说，我们在生活中需要粮食、衣服、住房等许多东西。

#### ともない 〈助动词性词组〉

1. たくもない（助动词たい的连用形、副助词も、形容词ない）的音便。たくもない→とうもない→ともない。接动词和同型助动词连用形，表示否定的愿望，关西方言中常用。

①人形がすきで，ここを離れともない。／喜欢布娃娃，真不想离开这儿。②つまらない内容ばかりなので，読みともない。／尽是些无聊的

内容，看都不想看。

2. 格助词と、副助词も、形容词ない的复合。接疑问词后，表示具体情况不明而确实存在的事项。

①幾万人ともない難民が国境地帯へなだれ込んだ。／几万名难民拥进了国境一带。

【参考】みっともない一词也是由上述1的途经演变来的，みたくもない→みとうもない→みともない→みっともない。

ともなく 〈副助词性词组〉

构成、接续等参见“となく”项。

【意义】となく的强调形式。

1. 表示具体情况不明而确实存在的原因、地点、时间、数量等。

①嵐扇太郎はどこへともなく逃げてしまった。／嵐扇太郎已不知逃向何方。②被告はまるで詫びてでもいるかのように、誰にともなく深く頭を下げるのだった。／被告就象是在道歉似的，不知道朝谁，深深地鞠躬行礼。③それは誰が発案したともなくいつのまにかそうってしまった。／这无所谓谁提出的，不知不觉就这样了。④二人はどちらからともなくお互いに肩をたたきあった。／两个人几乎同时互相拍了拍肩膀。⑤どこか何万里ともなく遠い所へ旅立った。／出游到几万里远的地方旅行去了。⑥ハトがいく羽ともなく群れをなして穀倉の方から飛んできた。／许多只鸽子成群地从粮仓那边飞来。⑦誰に言うともなく言った。／茫无对象地说。⑧どこをどう歩いたともなく，家に帰りました。／也说不清是从哪儿怎么走的，回到了家里。

2. 表示不自觉地、无意识地做的动作行为。

①行くともなく，その方へ引き寄せられるように行った。／无意之中被吸引着似的朝那边走去。②彼のひっぱる所へ五六間歩くともなく歩いた。／我朝他要拉我去的地方半走不走地走了十多米远。③法夫も喧嘩のことは，忘れるともなく，気にかけないでいた。／法夫也把打仗的事几乎忘了，不放在心上了。④はじめ筆を下した時，彼の頭の中には，かすかな光のようなものが動くともなく動いていた。／开始下笔时，他的脑袋里有一种微光似的东西在几乎感觉不到地蠕动着。

3. 以～ともなくへともなく形式表示对两种情况的不明确的否定，言外之意是都是或都不是，或茫然。

①天からともなく地からともなくわきおこる大叫喊／处处骤然而起的高声呼号。②「大丈夫だな。朝になったらやむよ。」小坂は自分にも魚津ともなく言った。／“不要紧，到早晨就会停的。”小坂不知是对自己还是对鱼津这样说道。

「とも」の見分け方 トモノミワケカタ ともの词类鉴别

1. 接续助词接于用言及助动词后，终助词位于句末，所以容易区别。

①君が何と言おうとも，私は決行するつもりでいる。(接续助词)／不管你怎么说，我决心付诸实行。②「やってもらえますか」「よろしいですとも」(终助词)／“你能替我做吗？”“当然可以。”

2. 副助词接体言后表示总体事物或数量。

①似ているのは二人とも頑固な点だ。／相似之处是两个人都固执。

3. 格助词と和提示助词もの重合。

①そうでないとも限りません。(とは是界限、も是可能)／也未必不是如此。②何とも言えなかった。(とは是引用，も是全面否定)／无言以对。③やがて一時近くなった。誰言うともなく，一時まで待ってバスが来なかったら解散するということになった。(固定词组)／眼看快到1点了。大家共同商定，等到一点，巴士仍不来就解散。④泣くのととも笑うのとも分からぬ声(とは是心理活动内容，も连用表示并列)／分不清是哭是笑的声音。⑤良いとも悪いとも解釈できる。(とは是语言活动内容，も同④)／既可以解释为好，又可以解释为坏。⑥椅子ともソファともつかぬ物を作ってしまった。(同③)／做了个分不清是椅子还是沙发的东西。

4. 其他。

①校長先生ともあろう人がパチンコごときにこるとは。(と可看作格助词，或文言中的判断助动词たりの连用形，も是暗指性的)／身为校长先生之人，竟迷恋于弹子游戏！②相変らずそよとも風のない真暗い山野(とは是副词的一部分，も是彻底否定)／仍旧没有一丝风的漆黑的山



野。

# とやら 〈副助词〉

【接续】接体言、体言性词组、活用词终止形，可后续格助词。

【意义】文体较旧，相当于口语的副助词とか，也和やらの部分用法相同。

1. 表示不确实的事物、知识。常用于婉曲表达中。

①春秋荘とやらに，ああした人が五，六人住んでいるらしいんです。／大概是春秋庄，那里住着五六个那样的人。②年回りが悪いとやらで，縁談は中止になった。／说什么流年不利，就搁置了婚事。③先月から「私の一生」とやらを読んでいる。／从上个月起在读什么《我的一生》。

△常用于谚语后。

①仏の顔も三度とやら，堪忍にも自ら限度がある。／佛爷也有发怒的时候，忍耐是有限度的。

2. 位于句末表示不确实的传闻，比とか更不确实。

①その後，彼はどこへともなく立ち去ってしまったとやら。／据说那以后他到什么地方去了。

# な ナ

## な 〈终助词〉

【接续】用于句末，接动词和同型助动词及ます的终止形后。

①誉める人には油断するな。／对表扬你的人不要麻痹大意。②子供にそんな真似はさせるな。／不要让孩子做那种事。③甘言にだまされるな。／不要被花言巧语所骗啊。④何もおっしゃいますな。／什么也不要说了。

可后续い、よ、って、よな等其他终助词。

①余計なことするな。／不要多此一举！②びくびくするなって。／别畏首畏尾的嘛。③騒ぐなよな。／别慌张啊！

【意义】表示禁止，即否定命令，与命令相对。女性一般不用，男性对长上也不能用。

①「パーマをかけるな，長いスカートをはくな，遅刻、早退するな，欠席する時は連絡しろ，土足で校内を歩くな，トイレや屋上でタバコをすうな，先生と話すときはきちんとした言葉を使え，他人のものを黙って使うな，あいさつをしろ。」と校則は厳しい。／“不许烫发，不许穿长裙，不许迟到、早退，缺席时要请假，不准泥脚在校内走，不准在厕所及房顶吸烟，和教师说话时用词要恭敬，不准随使用别人的东西，见面要问好。”诸如此类，校规严明。

△な因口气强硬，可后续よ等使其缓和。另外，接于なさる后时，女性也可以用，常音便为なさんな。如“大丈夫，心配しなさんな。／不要紧，别担心。”

## な 〈终助词〉

由敬语动词なさる的命令形なさい经省略而成。

【接续】1. 用于句末，接意志动词和动词型助动词连用形后。可后续终助词よ。

①坊やはよい子だ，寝んねしな。／宝宝是乖孩子，来睡觉觉儿。

②お上さんに電話口へ出ろって御云いな。／你让内当家来接电话。③しっかりした職につけさせな。／要给他找个可靠的职业。④寒くもあろうが、まあ辛抱しなよ。／你也许冷，要忍耐点儿。

△接う行五段动词时常发生拨音变。

①早く帰んなよ。／你要早点儿回来（去）啊。

2. 接动词，主要是特殊五段活用敬语动词的命令形后。

①どの本でもかまいませんから、持って行って下さいな。／哪一本书都可以，请你带一本去。②大変お歌が上手ですってね，今度一つご披露なさいな。／听说你歌唱得很好，请来一首吧。③ちょっと見て御覧なさいな。／看一下。

△“ご覧、ご免”这两个词有几种同义的命令形式：ご覧／ご覧な／ご覧なさい／ご覧なさいな。

【意义】1. 表示命令。男性用语，女性用语要用“お连用形な”或“お连用形”形式。只用于会话。命令口气不如动词命令形强。用于不拘束的会话中，口气较粗俗。用例见接续1。

2. 接命令形后，使其增添和蔼、劝说、催促的口气。只用于女性的非郑重的口头语言。例句见接续2。

【参考】也有人把接续2的な看作表示感叹的终助词之一。这是因为命令形后的な和感叹的な来源不同。后者可发长音なあ，前者不能。但是敬语动词的命令形和连用形形式上相同，所以接续1、2在本质上有相通之处。

な〈终助词〉

由间投助词な转成。常发长音なあ，以加强语气。从なあ又经音便产生出なう、のう、の。见另项。

【接续】1. 用言、助动词终止形后。

①あすは雨は止むと思うな。／我看啊，明天雨能停。②この天気が続くといいなあ。／这种好天气保持下去该多好啊。③この盆栽きれいなあ。／这盆花可真好看。④不衛生な所は，養鶏には向きませんなあ。／不卫生的地方不适于养鸡啊。⑤専門家にも手落ちがあるんだなと思った。／心里想，原来专家也会有差错啊。⑥お羨ましいですな。／真羡慕你。⑦あんまり買い被<sup>かぶ</sup>らないでもらいたいな。／不要把我看得太高。

⑧ふうん、驚いたな。／喏，真令人惊奇！

2. 接句末的接续助词が、に、から及终助词か、け、さ、よ等后。

①あの人は随分わがままだからなあ。／他太任性嘛。②花が咲いてくれるといいんだがなあ。／花儿若是开了多好啊。③さぞ辛かったろうにな。／那该多么难过呀。④早く正月にならないかなあ。／怎么还不快过年！⑤来いよな。／你来呀。⑥小野君だったっけな。／对了，是小野君吧。⑦そうさな。／对呀。

【意义】男性用语。句末句调要稍微加重。只用于会话或引语。

1. 表示轻度的感叹。没有要求别人理解、附会的语气。

①随分ひどいあらしだなあ。／暴风雨真猛！②君の話は長いなあ。／你的话真长！③よく辛抱するなあ。感心感心。若いものはそれでなくちゃいかん。／你真能忍耐，佩服，佩服！年轻人就得这样。④あの子生きていたら，もう小学校だったろうにな。／那孩子若活着，该上小学了。⑤どうだったけな。／是怎么来着？

2. 以不果断的语气表示判断、主张等。

①分ったな，分ったら，今日限り，君の部屋をよく片付けろ。／听明白了吧。明白了，今天之内就把你的房间认真收拾一下。②いや，安い方がいいな。／不，还是便宜的好啊。③帰ってはいけないな。／回去不好吧。④彦子は絶望して帰ったと思うな。／我看彦子是绝望了而回去的。

3. 表示要求对方赞同或开导对方回答问题的语气。

①「この先には，たしか寺があったな。」「広福寺だよ。」／“这前面是有个寺院，对吧！”“是广福寺啊。”②じゃ君は町の警察へ走ってくれ。できるな？／那你到街里的警察局去给我跑一趟。行吧？③結構なお天気でございますな。／天气可真好。④お嬢さんにお目にかかるのは始めてですな。協力してくれるでしょうな。／小姐，和您初次见面，您能协助我吗？⑤これですか。／是不是这个呢？

4. 以～ないかな、假定形式+いいな、がな等形式表示愿望。

①誰か来ないかなあ。／怎么不来个人呢！②会えるといいな。／能



见到该多好啊。③お金が沢山あればいいがなあ。／有大笔钱就好了。④どの外国語もできるならいいがなあ。／哪一门外语都会该有多好。⑤早くお父さんが帰ったらなあ。／爸爸早回来多好。⑥僕は今でもあの先生がいたらなあと思います。／我至今仍想着如果有那位老师在該多好。

5. 表示对于对方的言行的愤怒，警告。

①田舎者のくせに人を見くびったな。／你这个乡下佬小看人了吧！

6. 表示劝诱、约定的语气。

①あしたの夜にはきつと来るな。／明天晚上会来吧。②いっしょにスキーに行こうな。／咱们一起去滑雪吧。

【参考】な（あ）还可作感叹词用，表示用法3的意义，即要求赞同或催促。

①なあ，君そうだろう。／你说，是那么回事吧。

な 〈间投助词〉

【接续】接于句中句节后。

①しかしな，遅くなるとだめだ。／可是呢，晚了可不成。②君，当人に逢ってな，よく利害を論<sup>さと</sup>して見てくれんか。／你找他本人啊，好好地讲清利害关系。

△也能接其他间投助词后，构成复合间投助词。

①そうしてですな，はじめて成功の可能性が出てくるんだと思うんです。／这样做么，我想才有成功的可能性。

【意义】加强语气，带有告诫、提醒的语感。只用于男性不拘束的会话中。可发成长音なあ，以加强语气。

①ずっと昔はな，この辺で何べんも大きないくさをしたんだと。／据说很久以前呵，这一带打过好几次大仗。②僕はな，警視庁の幹部は全部知っているんだぞ。／我么，警视厅的干部可全都认识。③人生はまるで分らないものでしてな，きな子はあべ川と夫婦になりました。／人生可真是捉摸不透啊，季那子和安倍川结为夫妻了。④あのなあ，今のうちに終えたほうがいいんだ。／我说啊，还是趁现在就结束为好。

ない（無い） 〈形容词〉

形容词型活用。另，接そうだ要以なさそうだ形式。另有助动词な

い、接动词未然形，见另项。

### 1. 实义用法。

1) 表示无情物的不存在、不出现。常用～に～がない形式。

①今夜は月がない。／今晚没有月亮。②床の上にはちりひとつなかった。／地板上连一点儿灰尘都没有。

2) 表示有情物的抽象的不存在、不出现。

①夜道には、人が一人もなかった。／夜道上一个人也没有。②ない母を偲ぶ。／怀念过世的母亲。

△有情物的具体存在要用いない。

①部屋に誰もいない。／房间里谁也没有。

3) 表示非所有。当主体是人时此意义更明显。常用～（に）は～がない形式。

①日本には長い川がない。／日本没有很长的河。②我が国は他国を侵略する意志はない。／我国没有侵略别国的意思。③彼は妻も子供もない。／他没有妻儿。

4) 表示不足以满足需要。

①暇も金もないので、国内旅行しかできない。／既没有时间又没有钱，只能做国内旅行。

5) 在特定的句型中表示唯一的存在，或最高程度。

①またとない。／再不会有。不可多得。②年末だからといって、日本ほどあわただしい国はない。／虽然是年末，也没有象日本那么忙碌的国家。

### 2. 形式形容词用法。

1) 接形容（动）词及同型助动词后，表示否定。

①面白くない。／没意思。没趣。②よくもないが、わるくもない。／既不好，也不坏。③健康でない子供／不健康的孩子。④わざとらしくなくもの静かな起居振舞<sup>たちいふるまい</sup>／不做作的、沉静的举止。⑤あれくらいの裾を持っている山ならば、少なくとも、もう1.5倍高くなければならない。／按说有那么大的山脚的山，至少应该再高1.5倍的高度。

2) 构成でない，作助动词だ、である的否定。参见“でない”项。

3. 补助形容词用法。以～てない形式作である的否定。参见“である”项。

①箱には何にも書いてなかった。そのくせ、頑丈に釘づけにしてあった。／箱子上什么也没写。可却又钉得严严实实的。

△“まだ出来てない?／还没做好?”之类是“いない”约音造成的，是助动词。

#### 4. 构词用法。

1) 以～となく等形式，表示无法确切指出。参见“となく”项。

①長年の修行なども，いつとはなく怠りがちになった。／长年的修行也说不上是什么时候变得玩忽起来。

2) 以“名词(は、も)なく”之类的形式构成状态性词语。

①言葉もなく漠然と立ちつくした。／连话都不说漠然地一直站着。

②<sup>さえ</sup>冴えわたる月光の下に，鈍く音なく白く光る富士、／在清澈如洗的月光下微弱无声地发出白光的富士山。③兵隊が遠ざかった。往来には常になく新しい馬糞が沢山落ち散っていた。／士兵走远了。路上，散落着平时少有的许多新马粪。④彼らは，こんな生活を，誇りもなく，矯飾もなく，不平もなく，素直に受け取っている。／他们诚实地过这种生活，不引以自豪，不加修饰，毫无不满。

3) 构成形容词。

①頼りない／无依靠。②仕方ない／没办法。③さしつかえない／无妨。没关系。④ちがいない／无疑。

△下列词中ない本身无实质意义，只做形容词标记，带有否定评价的语气。切ない、忙<sup>せわ</sup>しない、だらしない、きわまりない、突拍子もない、減相もない。

ない 〈助动词〉

【活用】形容词型活用。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ない	な	○	なく なかっ	ない	ない	なけれ	○	なかろ

1. 词干用法。原则上没有，只有某些因常用而具备了形容词性质

的词(组)可按形容词形式后续すぎる、そうだ、さ等。

①あまり道理が分らな(さ)すぎる。／过于不懂道理。②資金が足りな(さ)そうです。／资金似乎不足。③予測のつかなさ／不可预测性。

## 2. 连用形

### 1) なく。

(1)后续する、なる、ない，分别表示人为的变动、自然的变化和双重否定。

①敵軍が道をふさいで通れなくした。／敌军堵塞道路使人无法通过。②近ごろは本ばかり見て，遊ばなくなった。／最近光看书，不玩儿了。③これで十分だと言えなくはないが，指摘できる点がないでもない。／不是不可说已经很好，但是仍有值得指摘之处。

(2)后续て、ても、ては、たって等。

①勉強に精を出す一方，体にも気を付けなくてはならない。／在刻苦学习的同时，也一定要注意身体。②雨が降らなくて困っている。／为不下雨而发愁。③あしたは日曜日ですから，そう早く起きなくてもいいです。／明天是星期日，不必起得那么早。④夜更し<sup>よふか</sup>をしなくたって，及第はできるでしょう。／不熬夜也能及格吧。

△在口语中用法(2)有促音便形式：なくっ(て、ても、ては)。另外，なくては还有约音形式なくちゃ、なくっちゃ。

△文言中可后续ば表示假定，如“書かなくば(=書かなければ)”。

### 2) なかつ。后续た、たり、たら等。

①どんなに苦しくても，妻は苦情一つ言わなかった。／不论多么艰苦，妻子没有叫过一声苦。②もし雨が降らなかったら，ピクニックはもっと面白かったでしょう。／如果不下雨，野游会更有趣儿的。③雑誌は注文したりしなかったりという程度です。／订杂志我是时续时断。

△关西方言把なかった说成<sup>お</sup>なんだ。

①誰も<sup>お</sup>居らなんだ。／谁也没在。

## 3. 终止形。

### 1) 单独或后续终助词结束句子。



①流れる水は腐らない。(修語) / 流水不腐。②助けてくれないか。/ 帮我一下好吗?

△终止形可用于现在或将来。

①「賞品をもらったか」「もらわない」 / “得奖了?” “没得。”(目前情况) ②「賞品をもらうか。」「もらわない」 / “得奖吗?” “不得。”(将来情况)

2) 后续接续助词と、から、けれども、が、し等。

①危ないから、気を付けないといけないよ。 / 危险，可要注意啊。②詳しいことは分らないが，不注意から起った火事でない気がしますね。 / 详细情况不明，但是我有个感觉，不是因不慎而发生的火灾。③酒も飲まないし，たばこも吸わないという青年は今のところ珍しい。 / 既不喝酒也不吸烟的年青人如今不多了。

3) 后续助动词そうだ(传闻)、らしい、みたいだ等。

①火星には生命が存在しないらしいと言われている。 / 一般认为火星上不存在生命。②ストで電車が通れないそうです。 / 听说因罢工电车不通了。

4. 连体形。

1) 做体言的连体修饰语。

①彼女はちょっとしたことに涙を流さない人です。 / 她这个人一般不为小事小情流泪。

2) 后续副助词、接续助词、终助词、助动词中的带有体言性因素者。

①汽車が目にとまらないほどの速さで通りすぎた。 / 火车一掠而过。②ビザを持っていないかぎり，たとえば友好国家でも自由往来ができない。 / 在没带签证的情况下，即使友好国家也不能随便出入。③実情が分らないので判断ができません。 / 因不了解实情，无法下结论。④まだ二週間しか経っていないのに，もう随分日が立ったような気がする。 / 本来刚过两周，却觉得过了很长时间似的。⑤よそみをしないこと。 / 不许向旁边看。⑥火事を出さないようにしなければなりません。 / 必须做到不发生火灾。

△惯用形式～ないまでも表示一种让步关系，即使达不到前项这个应有的、较高的水平，总应该达到后项这个说得过去的水平。

①たとえ勧めないまでも，人が勧めるのを妨げる道理はないものである。／即便不相劝也罢，总没有妨碍别人相劝的道理。②同情しないまでも，身体不自由者を笑いものにしては困ります。／不同情可以，至少不要拿伤残人取笑。

5. 假定形。后续ば，表示假定，并列等。

①雪がやまなければ出て行かれない。／雪不停就出不去。②水不足な地方で，魚も取れなければ，野菜も取れません。／是个缺水的地区，既不产鱼，也不产蔬菜。

△なければ在口语中常讹化为なけりゃ、なきゃ。

①返事を出さなきゃ失礼だ。／不回信不礼貌。②すぐ出かけなけりゃならない。／必须马上出去。

6. 命令形。无。但下列形式可以表示否定的命令或劝诱。

①三、悪い本を読まないこと。／第3条，不准看坏书。②白い線の前に出ないように。／不要越过白线。③バカにしないでくれ。／你别欺负人。④母に知らせないで下さい。／请别告诉我妈妈。

7. 推量形。后续う表示推测。但现在不常用，可用ないだろう、ないでしょう、まい代替。

①それだけでは足りなからう。／仅仅这些不够吧？

△时枝语法中把接于形容词、形容词动词后的ない也看作助动词。同时，活用形不设なから（う）、なかっ（た），而分别看作连用形なく与ある（う）あっ（た）结合形式的约音形。

【接续】接于ある外的动词、动词型助动词未然形后。サ变动词用未然形し。

①工業が発達していない。／工业不发达。②努力しない。／不努力。③染子さん，何も存じないの？／染子，你什么也不知道？④どうしても早く起きられない。／怎么也不能起早。⑤来ないことが分れば，こんなに待たなくても済んだものを。／知道不来，何必这么久等呢。⑥そんな所には子供を行かせない方がいい。／那种地方最好不让孩子去。⑦

誰も行きたがらない山奥です。／是个谁也不愿去的山沟。

△有些方言说“来<sup>き</sup>ない”。口语中てい<sup>き</sup>ない的“い”常脱落。

①教室にはまだ誰も来てない。／教室里还没来人。

△注意不要把接于动词连用形（作名词用者）后的ない（形容词）与助动词混淆。连用形与ない之间有时可补充助词が等。相当于复合形容词。如“かぎりない（不同于かぎらない）、かわりない（不同于かわらない）、ちがいない（不同于ちがわない）、まちがいない（不同于まちがわない）”。相当于复合副词的有如“おかまいなく、狂いなく”。

【意义】1. 否定，即动作状态等不进行、不发生、不变化的状态。

①むさ苦しいところだから誰も来はしない。／寒酸之家，无人肯来。②ご飯も食べないし，水も飲まないし，病気は重くなる一方だ。／既不吃饭，又不喝水，病情越来越重。

2. 以～ない（か）形式（升调）表示请求、劝诱（下例①、②）或要求确认的疑问（例③、④）。

①このナイフ，僕に貸してくれないか。／这把小刀，借给我好不好。②一緒に宿題をしないか。／一起做作业好吗？③宿題はまだしない？／作业还没做？④窓が締まらない？／窗户关不上吗？

3. 以～ないかな、～ないかしら、～ないといいが等形式表示内心愿望。下例③是不现实的愿望。

①字がよく見えない。誰か読んでくれないかな。／看不清字。谁来，给我读好吗？②誰か来てくれないかしら。兄さんのお嫁さんに。／能不能有人嫁给我哥呢。③蒸暑い夏なんか来ないといいがな。／闷热的夏天不来该多好。

4. 构成双重否定形式。

1) 构成助动词性词组なければならない、なくてはならない、なくてはいけない、ないといけない、ないわけにはいかない、ないといられない、なければいけない、なければおかしい、ないとおかしい等。表示责任、义务、断定（下例⑤）、情不自禁或某种需要（例⑥～⑧），不罢休（例⑨）等。

①君はもっと勉強しなければならないね。／你要更加努力学习。

②子供はすなおにならなくてははいけません。／小孩儿必须学着诚实。  
 ③国民は誰だって法秩序を守らないといけない。／公民人人都必须尊  
 守法规。④面倒だからといって、細かい所に注意を払わないわけに  
 はいかない。／不应该因为麻烦就忽略细微之处。⑤犯人が現場の近くに  
 住んでいなければならない理由はもう一つある。／还有一个理由说明  
 罪犯肯定住在现场的附近。⑥聞いていて、皆笑わないといられなくなっ  
 た。／听着听着，大家都忍不住笑了起来。⑦猫は時々動物質のものを食  
 べないといられない。／猫不经常吃肉食就不行。⑧あれほど大事にかわ  
 いがってやっていたのに、彼はどうして僕を困らせなければならない  
 のでしょう。／我那么疼他爱他，可他为什么就非要让我为难不可呢？⑨  
 3年もかけて練習してきたから優勝しないとおくものか。／费3年工  
 夫练到现在，不得冠军怎么能甘心！

2) 其他双重否定框架：定语和谓语中各有一个否定形式、ないで  
 もない形式等。主要表示全面肯定、让步。

①画面のどこを眺めても、うそ寒い秋の気の動いていない所はな  
 い。／无论看画面的哪一部分，到处都荡漾着微寒的秋天的气息。②全般  
 的に見てうなずけないこともない。／总的看来并不是不可首肯。③い  
 ささか、そんな気がしないでもない。／多少有点儿这种感觉。

5. 以～ないてよい或类似形式表示与4正相反的意义，即“不必要”等。

①名前を記さなくていいんですか。／可以不标姓名吗？②女の子に  
 は勉強させなくてもよいという考えはもう昔の話である。／“不必让  
 女孩子读书”的想法已经是老皇历了。③会費は今日払いこまなくていい。  
 ／会费今天不缴也可以。

6. 在意志动词后可以表示禁止。只用于对儿童。女性语为ないこと，  
 也可用于同伴间。

①いい子だから泣かない，泣かない。／乖孩子，不哭，不哭。②風  
 の日には窓を明けないこと。／风天不要开窗。

## 7. 构词用法。

1) 构成不完全形容词。不仅在意义上兼有动词否定式和形容词两种  
 性质，在形式上也如此。如：すまない（形容词）／すみません（动词）。



おもいがけない、いけない、すぐれない、たまらない、はかりしれない、もの足りない、やりきれない。

2) 与其他词类组合，构成许多语法词组。

～かねない、～えない、～かもしれない、～わけにはいかない、～ほかならない、～にすぎない、～やむをえない。

8. 以上用法都与否定有关。还有一种特殊用法，不表示否定而只起加强语气的作用。泉井久之助把这种意义上肯定而形式上否定的形式称为“負相語”。

1) 用于某些特殊形式之前。例如“結婚しない(=結婚する)前から兄妹のように親しくつきあっている。／从结婚之前就象兄妹一样亲密相处。”

2) 构成具有否定色彩的词语。多数与括号中的词意义基本相同。

くだらない(←くだる)、つまらない(←つまる)、はじまらない(←はじまる)。

【参考】1. 关于ない的本质，时枝诚记认为属于主观性质，认为“否定”完全取决于主观态度，森田良行也认为否定形式在不承认话题内容的前提下才产生。而金田一春彦认为同形容(动)词一样属于客观性质，比如“来ない”等于“未着だ”。吉田金彦则认为兼有主、客观性，终止形主观性强，连体形容观性强。

2. ない的否定范围在一些情况下是不清楚的。如在“私は他の三人と行かない”一句中，ない可能否定“他の三人と行く”，意为“我不和另外三个人去”，也可能只否定“行く”，意为“我与另外三个人不去”。前者可在と后加は，后者可在と后加逗号(口语中可用停顿)。

ない 〈终助词〉

源于助动词ない，表示劝诱，接动词类的未然形。

①読んでくれない? ／读给我(听)好吗? ②遊びに来ない? ／来玩好吗?

小松寿雄认为是终助词，金田一春彦看作不变化助动词，并指出它近于终助词。这样认为的理由有：1. 无否定含义，只表达主观态度。2. 只有终止形式。3. 用升调。

不过，通常仍认为是助动词ない的一个用法。

ないし（乃至） 〈接续助词〉

【接续】接体言后。主要接数量词后，也可接名词或“～的”型形容动词后。连接句子或连句节时用ないしは形式。

【意义】主要用于文章。

1. 表示数量、方位的选择范围（起点和终点）。“两端之间的任何一点都可能”之意。

①学童の年齢は7歳ないし13歳である。／学童の年齢は7歳至13歳。②4万ないし6万の収入／4到6万元的收入。③今度のシンポジウムには全国から八百人ないし千人の会員が東京に集まる。／这次讨论会将有八百到一千名会员从全国聚集到东京。④10日ないし15日で一課ずつ学ぶというありさまだ。／情况是每10天到15天学一课。⑤10年乃至終身の懲役／10年以至于终身的徒刑。⑥今晚は、北ないし北東の風、晴れたり曇ったりの天気でしょう。／今天晚间，北风转东北风，晴有时阴。

2. 位于两个名词之间或分句之间，表示二者均可选择。可用か（名词间）、または、あるいは代替。

①両親ないし保証人のゆるしが必要です。／需要有父母或监护人的允许。②科学的ないし合理的方法で生産を推しすすめていく。／用科学的乃至合理的方法推进生产。③損害には賠償金を出すか、ないしは現物で償<sup>つぐな</sup>わなければならない。／对于损失必须付赔款或用实物赔偿。

【参考】1. あるいは和ないし。二者必居其一式的选择不能用ないし，而要用あるいは、または。

①父かあるいは（※ないし）母が共犯者に 取りあげられよう。／父母中的一方将被视为同案犯。

2. 符号“～”可以读作ないし。

ないで 〈接续助词〉

【构成】关于ないでの构成众说不一。山田孝雄认为ない是准体言，で是格助词。松下大三郎认为是由ないの连体形和だ的连用形で构成。岩井良雄认为ないで整体是连用形。林大认为由方言～なんだ（～なかった）的连用形なんで经约音而成，吉田金彦支持林大的看法，并作了进一步的

考证，主张ないで整体是“打消接続の口語助動詞”。汤泽幸吉郎把整体看作接续助词。本书从汤泽说。

【接续】只接动词未然形。（なくて也接于形容词）

【意义】1. 表示关联性动作的并列性中顿。可用ず、なくて代替。

①彼等は一個の財物をも掘り出し得ないで空しく引揚げねばならなかった。／他们一个宝贝也没能挖出来，只好空手返回来。②名前を書かないで，番号を書いて下さい。／请不要写名，要写号。③苦手な科目はやらないで，好きな方をやっているだけです。／不学不擅长的科目，光学喜欢的科目。

△非关联性动作时不能用。如：※私は日本語が分らないで，英語が分る。

2. 表示同一主体行为的伴随状态。也可用ずに代替。但不能用なくて。

①川の水は音も立てないで流れている。／河水无声地流着。②彼は誰にも一言も言わないで出発した。／他没向任何人打一声招呼就出发了。③私は中ごろまでは泣かないで聞いていたが，とうとう我慢し切れなかった。／我到一半时仍忍着眼泪听着，可是后来终于忍不住了。

3. 表示后项成立的顺态条件、原因、理由等。可用なくて代替。

①私も何だか結論が出ないで困っている。／我也因为不知为什么得不出结论而为难。②雨が降らないで作物が枯れそうになった。／不下雨，作物眼看就要枯死了。③先だってはお目にかかれなくて，残念でした。／上次没能见到您，真遗憾。④藤原はまじめに働かないで叱られてばかりいる。／藤原不认真工作，尽挨批评。⑤ひどい雨だったが，水がまだ出ないでらくらくと向こう岸に渡れた。／虽然下了场很大的雨，但水还没涨，所以轻而易举地到了对岸。

△后项是判断或静态内容时，不能用ないで。

※彼女が居ないで，淋しい（→彼女が居ないで，淋しい思いをしている）／因为她不在，很寂寞。※ここは雨が足りないで，農耕に適していない（→～足りないの）／这里雨量不足，不适于农耕。

△以ないでは形式可以表示更明确的条件关系，后项是消极内容。

①真佐子が居ないではどうにもしようがない。／如真佐子不在，便一筹莫展。

#### 4. 表示后项成立的逆态条件。

①ろくに勉強もしないで，優等生になった。／不怎么用功，却成了优等生。②よくも知らないで知ったふりをするのは悪い。／不懂装懂不好。③あまり出かけないでよく世間の事を知っている。／不太出门却很了解社会上的事。

△ないでも形式表示后项内容不需要某个条件仍能成立。

①復習しなくてもちゃんとできる問題が多い。／有许多题即使不复习也能做上。②職名の場合は，「さん」をつけないでもよい。／如果是职称，（后面）不必加敬称さん。

5. 后续补助用言，构成合成谓语。一般不能用ず、なくて代替。有的可用ずに代替。意义都能从肯定的～て～形式类推。

①鳥任はまだその事を知らないでいる。／鸟任仍然不知道那件事。②誤解をしないで下さい。／请不要误解。③かれには何も聞かないでもらいたい。／请你什么也别问他。④乱暴な言葉は使わないでほしい。／请别讲粗话。⑤道具はまだ片付けないである。／工具还没收拾。

6. 用于句末，类似于终助词。也可看作ないでくれ、ないでください的省略。表示口气委婉的禁止。

①私をおいてきぼりにしないで。／不要撇下我。②運転中，話しないで。／驾驶时不要说话。③僕が，ちゃんとするから，騒がないでね。／由我来做，你们不要吵了。④どこへも行かないで。／哪儿也别去。

#### 「ない」の見分け方 ナイノミワケカタ ない的词类鉴别

ない兼作助动词、形式形容词、实义形容词等，表示否定。

1. 接续法不同。助动词ない接动词及同型助动词未然形后，如：来ない／不来，来させない／不让来。而形式形容词接形容（动）词及同型助动词后，如：良くない／不好，静かでない／不静，来たくない／不想来，来そうでない／不象要来的样子。

2. 与上接用言的结合程度不同。助动词ない与动词结合成一个句



节，中间不能插入其他词，如：書か（※は、も……）ない。而形式形容词和上接词分别是两个句节，之间可插入は、も等，如：美しく（は、も、さえ……）ない。

3. 替代词不同。助动词ない因为接于未然形，可用同样接续的ぬ、ず代替，只有文体的不同，如“書かない、書かぬ、書かず”。形式形容词不能这样替代。同时，后者可用ありません替代，作为敬体，如“美しくない→美しくありません”，前者则不能这样替代。

△“死んでない”只能是“死んでいない”的省略，而他动性的“書いてない”可能是“書いていない”，也可能是“書いてある”的否定形式。

△“あぶない、きたない”等的“ない”是形容词本身的一部分。

なお（尚）

〈接续词〉口语中不常用。用于句子之间。表示对新内容、遗留的问题、特殊情况等做补充说明。

①なお希望者は先生の所まで申し出て下さい。／还有，申请的人请到老师那里报名。②明日またお伺いいたします。なお、詳しいことはその時お話し申しあげます。／明天还来见您。详细情况到时再向您讲。③明日は授業がありません。なお、創立記念日なので生徒会委員は式に出席しなければなりません。／明天不上课。另外，因为是校庆，学生会委员要出席仪式。

〈副词〉1. 程度副词。表示程度加重、动作或状态持续、重复。

①薬を飲んだらなお悪くなった。／吃了药，更重了。②今でもなお絶えずに続いている。／至今持续不断。③先生の話は今なお耳底にある。／老师的话至今仍响在耳边。

2. 陈述副词。文言残余，“猶”的译语，和ごとし呼应，表示比喻。

①鯨の魚にあらざるは猶馬の魚にあらざるがごとし。／鲸之不为鱼犹如马之不为鱼。

⇒ただ

なかなか（中中） 〈副词〉

1. 和动词的否定形式呼应，表示在时间、程度、心理上处于很难实现的状态。

①来ると言っていたのに、忙しいためか、なかなかやってこない。／说是要来，可是由于忙吧，迟迟不来。②こんな説明では、なかなか納得のいくものではありません。／凭这样的解释，很难说服人。③でも、主人が偏屈ですので、一度いやだと言った以上、なかなか承知しないんじゃないかと思います。／不过，主人性格偏执，既然他说不干，我想那就很难再答应了。④それにあたる言葉で、ピッタリとしたのがなかなかないというわけだ。／就是说，很难找出与此对应的贴切的词来。

△形容（动）词类等无此种用法，如“※なかなか高くない”，当然，“なかなか高くない”可以。例④可看作包含着“なかなか見つからない”的含义，所以可以。

△也可单独作谓语，是完整的谓语省略的结果。如“来週まではなかなかだ／下周之前很难办到（很难完成）”。

2. 修饰形容词等状态性词语，表示程度很高，带有超出想象、预料的意思。

①何しろ、おおぜいの科学者がやる仕事ってものは、なかなか難しいもんでね。／总之，多数科学家共同工作很困难。②どうだ、なかなかえらそうな顔をしているだろう。／怎么样，装得很了不起的样子吧？③これはなかなか大きな問題である。／这是个相当大的问题。

△なかなか修饰高程度的词语和积极的词语。试比较：なかなか高い（早い、美しい……）／相当高（早、美……）。※なかなか低い（遅い、醜い）。例外：なかなか暑い（寒い）／相当热（冷）。

3. 修饰名词，说明其状态和性质的程度。名词须是有程度性可言的，如“なかなかい人物”，反之“なかなかの人”就不妥。

①彼の奥さんはなかなかの美人だし、彼自身もなかなかの愛妻家だ。／他太太是个相当漂亮的女人，他本身也很疼爱妻子。

ながら 〈副助词〉

【接续】1. 接形容动词词干后。

①気持ちがわずかながら軽くなった。／心情稍微轻松点儿了。②実

験の成功を祝し、ささやかながら慰労会を催すことにしよう。／庆祝实验成功，虽然小，开一次庆功会吧。

## 2. 接体言后。

①木綿ながら自分で仕立てた<sup>いげた</sup>井桁模様の<sup>あわせ</sup>衿を着た。／别看是棉布的，可穿了件自己做的花格夹袄。②二つながら使えるものがない。／两个没有一个能用的。

## 3. 接动词连用形后。

①こう見えても、はばかりながら洋裁には自信があるんですよ。／别看我这样，冒昧地说裁西装还是有把握的。

## 4. 接于某些副词、某些起副词作用的成分后。

①ゆっくりながら、とにかく全コースを走り抜いた。／虽然很慢，总算跑完了全程。②行ったり行かなかったりながら、20年もの間やりとおしてきた。／尽管是时去时不去，可也坚持20年了。

△常后续に、の、も、構成ながらに、ながらの、ながらも等。

【意义】1. 表示同一个主体后项行为的伴随状态。

①少年は涙ながらに自分の身の上話を聞かせてくれた。／少年流着眼泪向我讲述了自己的身世。②いやいやながら、しぶしぶながら、世界の大勢に遅れてはならないというように、両国の関係が開かれた。／似乎为了跟上世界潮流，勉强地开辟了两国关系。③こわごわながら試しているうちに急に驚いてやめにした。／提心吊胆地试着，突然害怕起来，不干了。

2. 表示与后项的成立相矛盾的条件、状态等。可后续も加强逆态语气。

①同年ながら妻の方が私よりずっと若く見える。／虽然同岁，妻子显得比我少相多了。②金額もさることながら、問題の性質がもっと重大であると見える。／金额固然是一方面，我觉得问题的性质更严重。③民間人ながら「バチカン貴族」とささやかれる実力者となった。／尽管是个平民，却被议论为“梵蒂冈贵族”的实力人物。④考えてみると自分ながら不思議な気がする。／一想，连自己也觉得不可思议。⑤この答は我ながら上出来だと思った。／这个回答我自己也觉得很圆满。⑥寂し

い村ながらさすがに正月は正月だ。／尽管是个冷落的村庄，但过年毕竟是过年。⑦軽少ながらお受け取り願います。／一点薄礼，请您收下。

3. 接数量词后表示全部，无一遗漏。可用“とも、ともに、全部”等代替。

①となりの家では子供が3人ながら名門大学に入っている。／邻居家3个孩子全都进了名牌大学。②船が裏がえる拍子に5人は五人ながら水に落ちてしまった。／在翻船的一瞬间，5个人一个没剩地掉进了水里。③私は今の乞食に対して，同情と反感と二つながら感じている。／我对现在的乞丐同时具有同情和反感两种心情。④書生が3日目に裏の池へ持って，玉の様な子猫を4匹ながら捨ててきた。／书生在第3天把4个玉石般的猫崽儿全都拿到屋后的水池扔掉了。

4. 表示原有状态。

①昔ながらの美風良俗を保っている。／依然如故地保持着过去的优良习俗。②世間には生まれながらに恵まれた人とどうあがいてもそこそこの人とがある。／世界上有一生下来就幸运的人和拼命挣扎也不过尔尔的人。

5. 构成注释副词（例①④），或单纯接于副词或副词性句节后（例②③），以表示“附带说一下”的语气。

①我が国では残念ながらこの方面の研究がなされていない。／很遗憾，在我国还没有进行这方面的研究。②いつもながら結構なお出来ですな。／每次您做得真好。③毎年のことながら小学校の新入生に手を焼く。／每年，都对小学的新生很棘手。④与党のねらいは当然のことながら野党によって追究された。／执政党的企图理所当然受到了在野党的追究。

△接续词的しかしながら中的ながら也属于用法5。

【参考】有些书把副助词用法的ながら看作接尾辞，但ながら除同接尾辞一样能添加新义外，还能构成副词节。有的语法学家把副助词用法和接续助词用法的ながら放在一起处理。其实，副助词用法先于接续助词用法，到了近代才以接续用法为主。所以，副助词用法中惯用表达法较多。尽管如此，二者依然无法截然分开，即二者都有表示逆态和伴随状态的用法；即



使接续用法的ながら也有副助词特征。

①うちの春三は、ご飯を食べながらでも、五七五と指を折って、数えることがあります。／我家春三有时一边吃着饭还掰着手指头5、7、5(俳句的音律)地算计。

ながら 〈接续助词〉

【接续】1. 接动词及同型助动词连用形。

①「はい」妹は、赤くなりながら、すなおに言った。／“是”，妹妹红着脸如实地回答。②子供に勉強させながら、自分では結構遊んでいる。／让孩子学习，自己却玩儿得起劲儿。③奴隷たちは、農場で鞭うたれながら働いている。／奴隶们在皮鞭抽打下劳动着。

2. 接形容词和同型助动词以及助动词ぬ、ず终止形后。

①この果物は高いながらもおいしい。／这种水果别看贵，却很好吃。②高山君は、知らないながら知ったかぶりをするのが、癖です。／高山君的毛病就是不懂却装懂。③伊兵衛に促されて、気は進まぬながら、小静は路地を出た。／在伊兵卫的催促下，尽管不情愿，小静还是出了胡同。④及ばずながらお骨折りしましょう。／虽然能力有限，我要为您效劳。

△其他接续法参见副助词“ながら”项。不能接助动词た、(よ)う、だろう、ます后。

【意义】ながら的基本意义是表示前后两项动作的共存，但根据各个具体的文脉、场面，产生种种不同意念。

1. 表示一个主体的非相关动作同时进行。全句重点偏于后项，若前后两项互换意义不同。两项的谓语均为意志动词肯定形式。

①地球は自転しながら、太陽のまわりを公転している。／地球一边自转，一边围绕太阳公转。②働きながら夜間大学へ通う。／边工作边读夜大。③うれしさのあまり歌を歌いながら踊り始めた。／由于太高兴了，以至于边唱边舞起来。④私はいろいろなことを考えながら庭を歩きました。／我左思右想，在院子里转悠。

2. 表示前项是后项动作行为的伴随状态或伴随动作。前项对后项是修饰关系，所以两项不能互换，否则或不通或成他义。两项均为一个主体

的同时性意志性动作。

①おれは六百円の使用法について寝ながら考えた。／我躺着考虑这六百元的用法。②どうすればいいだろうと、三根子はいらだちながら考えた。／怎么办好呢？三根子焦虑地想着。③漁船は波にもまれながらさびしく漂っている。／渔船颠簸在波涛之间，孤零零地漂流着。④私は足音を殺しながらとんぼのとまっている所へ近付いた。／我压低脚步声向蜻蜓落着的地方靠去。⑤笑いながらしかし真剣に私はあやまりをさとした。／我笑着，然而却是严肃地向他指明了错误所在。

3. 表示相同或不同主体的前后两项动作在矛盾中共存的关系。常用ながらも形式以加强逆接口气。常接状态性词语（～ている、～ない、形容词等）后。

①何も彼も知っていながら、いざとなると、口をあこうともしない。／明明一切都清楚，可一到要紧的时候，连口都不开。②四人も居ながら、静けさを保っているのが異様である。／尽管有四个人都不出声响，这有些不寻常。③「知らん」私はほっとしながらも、不機嫌に言った。／尽管心里一块石头落了地，我还是没好气地说道：“我不管！”④答案には分らないながら色々苦心し答えようとしたあとが見える。／答卷上可以看出虽然不懂仍费尽心思来回答的痕迹。⑤生あくびをかみ殺しながらも、テレビを離れようとしません。／不住地把哈欠咽回去，却仍不想离开电视机。⑥幼いながらも最上級生らしく振舞うのですっかり感心してしまった。／尽管很小却有最高年级学生应有的行动，我从心里佩服了。

△当ながら连接的两项是同一主体的同时性动作时，根据文脉可以作1（或2）和3两种解释。有时在具体文脉中仍兼有这两个意思，可见ながら的本质是表示两个动作行为的共存。

①芸術家は現実を見ながら眠っていることがある。／艺术家有时看着现实睡觉。或：艺术家有时虽然看着现实却在睡觉。

【参考】1. 关于顺接和逆接的语法特征。

1) 顺接的ながら（用法1、2）前后两项必须是同一主体的、意志性的、同时共存性的，其中前项的动词应为继续动词。否则就会出错。

①雨が降るし（※降っているながら。非同一主体，且非意志动词），風が吹いている。／下着雨，还刮着风。②きれいな着物を着て（※着ながら。非同时性动作）芝居に行く。／穿着漂亮的和服去看戏。③電車に乗って（※乗りながら是瞬间性的）新聞を読む。／坐在电车上看报纸。④橋を渡る時（※渡りながら。后项是非意志动词）下駄の鼻緒を切ってしまった。／过桥时把木屐的带儿弄断了。⑤※部屋へ帰って，少し休みながらコーヒーを飲みます（“休む”是表达重点，应该颠倒前后项）。

2）逆接时，无论两项动作是否同一主体均可成立。

①雨が降っているながら，日が照っている。（主体不同）／下着雨却还露着太阳。②不快に思いながら顔には出さない。（主体相同）／觉得不快，脸上却不表现出来。

3）逆态的ながら接续上不受限制，也可以接于瞬间动词的连用形或～ている形式的连用形后、状态动词及其否定形式后、形容词、助动词、名词、副词（见副助词ながら）后。

①電車に乗りながら（或：乗っているながら），たばこを吸っている。（瞬间动词）／坐电车还抽烟。②お金がありながら，けちけちしている。（状态动词）／尽管有钱，却小里小气的。③年は若いながら，言うことはしっかりしている。（形容词）／虽然年龄小，说话很老成。④知らないながら，知ったかぶりをする。（终助词）／不懂装懂。⑤我が子ながら，本当に愛想がつきた。（名词）／尽管是自己的孩子，我烦透了。⑥小柄ながら，均整のとれた体格をしている。／体态虽小却很匀称。

2. 表示伴随动作的ながら可用其他一些形式替换。

①雪をふみしめふみしめ，ふもとへ下っていった。／踏着雪一直向山脚下走去。②社会の動きを考慮しつつ計画を練る。／考虑到社会的动向拟定计划。

**ナ行变格活用** ナギョウヘンカクカツヨウ ナ行变格活用、ナ变文言动词的活用类别之一，只有“往ぬ、死ぬ”两个动词。活用规律：未然、连用、终止、命令4个活用形为～な、に、ぬ、ね，与四段完全相同；连体、已然形分别为～ぬる、ぬれ，与二段动词完全相同。见下表。

基本形	词干	活用形					
		未然	连用	终止	连体	已然	命令
往ぬ	い	いな	いに	いぬ	いぬる	いぬれ	いね
死ぬ	し	しな	しに	しぬ	しぬる	しぬれ	しね

如上表所示，ナ变动词的六个活用形均不相同。语法上规定文言动词活用形总数为六个，就是以ナ变活用为基准的。

由文言到现代语，终止和连体二形逐渐一致起来，通常是连体形吸收终止形，只有ナ变是例外，终止形吸收了连体形。

ナ变的两个动词“往ぬ”目前只保存于方言，“死ぬ”转入五段动词。  
なくて 〈接续助词〉

本条包括三种不同情况：1. 助动词ない的连用形和接续助词て的结合。2. 形式形容词ない（见接续2）和て的组合。3. 实义形容词“無い”和て的组合。其中1、2相当于接续助词。

【接续】1. 接动词及同型助动词未然形后，同ないで。

2. 接形容（动）词及同型助动词连用形后，ないで无此用法。

①短かくなくて，ちょうどよかった。／不短，正合适。②あの子はおなでおなくていけません。／那孩子太不听话了。③そうでなくてもかまいません。／不是那样也没关系。

【用法】1. 表示造成后项消极结果的不利条件、原因、理由。例①（接动词后）也可用ないで来代替。

①仕事が進まなくて，皆心配している。／工作不见进展，大家都很担心。②怪我人が多なくて，ほっとした。／受伤者不多，心里一块石头落了地。③時間がなくて，借りた本はそのまま寝ている。／没有时间，借来的书原样闲放着。

△なくては是强调形式。

①花嫁のベールは白くなくては困るよ。／新娘的垂纱不白不行。



②家を造るなら，南向きでなくてははいけません。／若是盖房子，应该朝南。

2. 表示修饰性（下例①②）或并列性（例③）中顿。动词也可用ないで代替，成为并列性中顿。

①東京へ行かなくて大阪へ行った。／没去东京，而去了大阪。②午前中は宿題もしなくて，公園に行って充分たのしんだ。／一上午也没做作业，去公园玩儿了痛快。③日本の川は長くなくて流れが急だ。／日本的河流不长而流速急。

△非继起性动作不能用なくて连接。

①この事件は訴訟にならないで（※ならなくて）解決された。／这次事件没打官司就解决了。

后项结构单一有时也使句子不成立。

①この老人は，誰も頼りにできる人がいなくて一人で生活している。（去掉“一人で”即成错句）／这位老人没有能依靠的人，一个人生活着。

有时用ないで替换后由继起性并列转为替换性并列。

①太郎が来なくて花子が来た。／太郎没来，而花子来了。②太郎が来ないで，花子が来た。／太郎没有来，由花子来了。

3. 以～なくて（も）形式表示后项内容可以不依靠前项条件而成立。可用ないで（动词后）代替。

①そう多くなくても足ります。／不那么多也够。②そんなに心配しなくていい。／不必那么担心。③親の言うことでも，正しくないと思えば従わなくてもよい。／即使是父母说的话，如果认为不正确，也可以不服从。④典子は，金を貸してくれる人がいるので，あわてなくてもすみません。／典子因为有人借给钱，所以用不着着急。

なさる 〈动词〉

【活用】特殊五段活用（ラ変）。なさる的以下活用形有特殊之处。

1. 连用形。

1) なさっ。后续た、て、たり。有时音便为なすっ，非标准用法。

①竹野さんが，さぞびっくりなさったでしょう。／竹野先生想必

是大吃一惊吧?②お待ちなすってもよいでしょう。／你等也可以。

2) なさい。为なさりの音便，只后接ます，成なさいます。

3) なさり。用于中顿（下例①）和做名词形式（例②）。

①署名をなさり，筆をお置きになりました。／签过名，放下了笔。

②ここへいらっしゃる路で誰かにお会いなさりはしませんでしたか。／在您来这儿的路上，您没遇到什么人吗？

△旧时有なさります的用法。

2. 终止形。后续な等也可说成なさんな。

①辞退なさるな。／请不要推辞。②大丈夫，大丈夫，心配しなさんな。／没关系，没关系，请不必担心。

3. 命令形。なされ是旧式说法，现在用なさい。

①お帰りなさい。／你回来啦。②先にお出でなされ。／请您先走。

△～なさい形式的命令只用于对平辈、下辈的语气亲切的命令。常进一步简化为な。

①そろそろ，気をお付けな（さい）ね。／喂喂，你可当心啊。

【用法】1. 实义动词。作する的尊敬语，与いたす相对。

①先生は今何をなさっていらっしゃいますか。／老师现在在做什么？②弘法大師は何事も簡単になさる。／弘法大师没有难事。

2. 补助动词用法。

1) 以“お动词连用形なさる”和“ごサ变词干なさる”形式构成一种动词敬语形式。尊敬程度与用法和“お（ご）～になる”大体相同，但比其更随和一些。

①あなたはぜひぶんで謙遜なさいますな。／您可真谦虚。②さて，この度はクイズにご当選なさいまして，おめでとうございます。／这次您猜谜中奖，恭喜恭喜。③お母さんに地図を見せておもらいなさい。／让你妈妈给你看看地图吧。④そんなにお飲みなさると，体に毒ですよ。／喝那么多酒对身体有害。

2) 接动词（包括サ变）连用形后构成敬语形式。目前只有命令式常用，表示对平、下辈的客气的命令，无敬意。

①もう止めなさい。／该收了吧。②お母さんと相談しなさい。／和

你母亲商量一下。③馬鹿言いなさい。／你尽瞎说！

3) 接サ变词干后，构成敬语形式，表示轻度敬意。

①家柄がとても釣り合いませんから、先方が承知なさるかどうか心配です。／因为门第很不相称，所以很担心对方能否同意。

4) 形式动词する的敬语形式。

①がっかりなさらないといいんですけど。／望您不要灰心。②お体を大切になさいまし。／请您保重身体。③「どうなさったんです？」母が心配そうにたずねた。／“怎么啦？”妈妈很担心地问道。④どうか気になさらないでね。／请您不要介意。⑤あなたの体験を本になさい。／请把您的经历写成书吧。⑥ただ、お前さんの妻君だけが約束を守って、家から出ようとはなさらなかった。／当时，只有你妻子不失信，没有打算离家出走。⑦あなたは誰の味方をなさろうとするのでしょうか。／您打算支持谁？

なし（無し） 〈形容词〉

1. 文言形容词なし的残余。其中用于句末时文言色彩最强，其余多半成为固定形式。

1) 结束句子。ない的文言形式。

①何も言うことなし。／无可奉告。②断る理由なし。／无拒绝之理由。

2) 作名词性构词成分。

①親無し／无父母、孤儿。②袖無し／坎肩儿。③名無しの権兵衛／不知姓名的人。④名無し草／无名草儿。⑤人でなし／畜生。

3) 以なしで形式接于名词后表示在不存在某物的情况下进行后项动作行为。なしでは形式表示强调这一条件。

①明日からは、帽子なしで学校に通わなければならない。／从明天起得不戴帽子上学。②一週間タバコなしで済ませますか。／一星期不抽烟行不？③それなしではすまされない。／少了那一样可不行。

4) 以なしに形式接于意义较抽象的词后，表示一种否定性状态。なしには形式表示对这种状态的提示，后述消极内容。

①白井はひっきりなしにタバコを吸いつづけている。／白井一支接

一支地连续抽着烟。②研究は昭和50年来殆ど休みなしに続けられた。／  
 (这项) 研究自昭和50年来几乎不间断地进行。③聞くとなしに(=と  
 もなく) お客さん同士の話が耳に入ってきた。／无意之中听到了客人之  
 间的谈话。④春・夏の丹精なしには、果樹園の実りの秋はない。／没有  
 春夏的汗水，就不会有果园里丰硕的秋天。⑤皆さんの協力なしには、こ  
 のような成功は望めなかったものだ。／如果没有大家的协助，如此成功  
 是不可想像的。

5) 以なしに形式起到与中顿式なく相同的作用。

①この漢文はあたりまえの漢文でなしに、やわらかな言葉づかいの  
 ものである。／这篇汉文非通常(难懂)的汉文，而是措词通俗易懂的文章。

2. 文言なしの省略。即形容词なし的终止形なし与接续助词し  
 的结合形式なしの同音脱落形式。表示并列(下例①)或例示性理由  
 (②、③)。同ないし。

①時間もなし、教えてくれる人もないから、あきらめました。／既  
 没时间，又没人教，所以放弃了。②どうせ自分一人の世の中じゃなし、  
 そう自分の思う様には人はならないさ。／社会毕竟不是个人的，人不能  
 自己想怎么样就怎么样。③もうお前も小娘ではなし、自分で決めるこ  
 とだ。／你又不是个小姑娘，应该自己做主。

なぜ(何故) <陈述副词>

表示对原因、理由的疑问。和表示推测、疑问的形式呼应。

①なぜ病気になるか。／为什么得病？②なぜ昨日来なかったのか。  
 ／为什么昨天没来？③飛行機はなぜ地に落ちないのだろう。／飞机为什  
 么不会掉到地上来呢？④なぜ教えてくれないか。／为什么不告诉我？

△在口语中，由于语调(上升)的作用，句末的か、だろう等可以省  
 去，但仍然是问句。

①なぜ前もって知らせてくれなかったのだ。／为什么不事先告诉  
 我？

△可以作谓语或独词句。

①毎年台風が日本をおそうのはなぜですか。／为什么每年台风都袭



击日本? ②なぜ (ですか)? / 为什么?

△なぜか表示不定。可作句子的各种成分。

①彼はなぜか急に烟草をのむようになった。/ 他不知为什么突然抽起烟来了。②なぜかと思って調べてみた。/ 查了一下原因。③そのなぜなのかが不明だ / 就是这个“为什么”还不清楚。④「なぜ」「別になぜってこともない」 / “为什么?” “也不为什么。”

△俗语形式有なんぜ, なんで。

なぜなら <接续词>

另有なぜならば, 意义同, 多用于文章中。表示设问, 把前项作为疑问提出, 在后项解释其原因理由, 常后续～は～からだ句型。

①今日はスキーに行けません。なぜなら学校があるからです。/ 今天不能去滑雪了。(为什么呢?) 因为今天上课。②「なぜ」「なぜなら, 君に教えたら大変だからです」 / “为什么?” “为什么, 就因为告诉你就坏了。”③いま世界の平和勢力と日本国民の眼は小菅にそそがれている。なぜなら, 三百名近い人間が小菅に投獄されているからだ。/ 现在世界和平力量及日本国民的眼睛都注视着小菅。这是因为, 有近三百人被投入小菅监狱。④法には従うべきです。なぜならば日本は法治国家ですからね。/ 应该守法, 因为日本是法治国家啊。

【参考】口语中还常用なぜって、なぜ (か) というと、なぜ (か) といえば等, 文章中还用なぜというに、なぜなれば等。意义均与なぜなら相同。

①なにかものたりない気持ちがした。なぜっていうと, ストーリーが単純すぎるからだ。/ 觉得缺少什么。因为情节过于简单。②今更そんな思想を持てはならない。なぜかというに, 大多数の人がとんでもないと言うにきまっているからです。/ 在今天不该再有那种想法了。因为, 肯定大多数人都会认为荒谬。③なぜというに, そのことは子供のしたものとは思えないからであった。/ 原因是, 那件事使人觉得不是儿童所为。④面白い会話ではなかった。なぜなれば, 君はくもった顔をしていたからだ。/ 并不是一次愉快的谈话, 因为你一直阴沉着脸。

なぞ <副助词>

【接续】接于体言、用言终止形、各种句节后。详见“など”项的接续。

【意义】多用于文章和老年人，也说なんぞ，有文言语气。基本用法同など、なんか。

1. 表示例示（例①）、轻视（例②）、自谦（例③）、强调（例④）、提示（例⑤）等。

①時々こういう名前の青年はいないか知らないかなぞとたずねてみた。／常向别人询问有没有、知道不知道叫这个名字的青年。②あの人なぞはあまり出来のよい方じゃないです。／他呀，成绩不算好。③文芸人だけあって，その生活が僕なんぞの生活とは非常に違っている。／到底是文艺界人士，和我这种人的生活很不相同。④私は決してうそをついたりなぞいたしません。／我绝不撒谎。⑤答案のまるまった中から，ハナをかんだ紙が現われるなんぞ，一体何のクラクリだ。／从一卷答案试卷里出来擤鼻涕的纸，这到底是什么把戏！

2. 构成惯用形式～かなんぞ、～やなんぞ，表示同质的不特定事物。

①どうしたんだね。病人かなんぞのような歩き方をして。／是怎么了？走路象个病人似的。②私のほしいものは金やなんぞではない。／我希望的不是金钱之类。

【参考】1. なんぞ由なにぞ（疑问词、副助词）经音便而成，而なぞ是なんぞ进一步音便的结果。nanizo→nanzo→nazo。

2. 另有副词用法。

①なんぞいい本はないか。（＝なにか）／没有什么好书吗？②文法とは何ぞや。（＝何であるか）／何谓语法？

なそうだ 〈助动词性词组〉

由否定助动词ない的词干な和样态助动词そうだ结合而成。なそうです是敬体形式。

【活用】同そうだ和そうです。

【接续】接动词未然形后，同助动词ない。

【意义】表示对某种不存在的事态的推测。

①当の本人が進んでやらなそうで，みんなは手をやいている。／似

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
なそうだ	○	なそうだっ なそうで なそうに	なそうだ	なそうな	なそうなら	○	なそうだろ
なそうです	○	なそうでし	なそうです	○	○	○	なそうでしょ

乎当事人本人不积极搞，大家很为难。②彼女は用事があって，時間どおりに来られなそうだ（そうです）。／她有事，看来无法准时来了。

△现在此用法基本废弃，代之以样态助动词そうだ的否定形式，如例②可说成～こられそうに（或も）ない。参见“そうだ”项。

なと　　<副助词>

なりと（も）的省略形式，用于方言和随便的会话中，用法同なり（副助词）。

①何処へなと行ったらよかろう。／你随便到哪儿去吧。②何なとお申しつけ下さい。／请尽管吩咐。

など　　<副助词>

【接续】 1. 接体言后。

①ときどき新聞や雑誌などに随筆など（を）書いている。／常常给报纸、杂志等写一些随笔什么的。②私などとても出来ない仕事です。／这工作可不是我这样的能干得了的。③若者など経験があさいのでそんな重任には適わないと思う。／我想，年青人经验少，胜任不了这种重任。④摘み草など，私には興味がない。／采花草这样事儿，我没有兴趣。

2. 接活用词终止形。构成副词节或引语句节（～と）。下例①～③中有些提示作用。

①不幸な人を見捨てるなど私には出来ない。／抛弃不幸的人，这等事我可作不出。②まだ親がかりのくせに，車を買いたいなどもってのほかだ。／仍在靠父母养活，却要买汽车，太越格了。③そんなこと，子どもにやらせるなど，とても承知できない。／那种事让孩子干，无论如何不能同意。④いい家庭がほしいなどと思ったことはまだない。／还没

想过建立一个美满的家庭。⑤苦勞が好きだなどという人はこの世に恐らくないだろう。／喜欢受累的人恐怕这个世界上不会有。⑥古人の糟粕をなめないなどとは、誰でも安々と放言できるものだ。／不啃古人的糟粕云云，这是谁都能随口说出的大话。⑦一つ間違えば、今頃は青山土の下にあおむけになって寝ているところだったなど（と）思う。／心想：差一点现在就死在青山下了。

3. 插入性地用于接续助词て、形容（动）词连用形和后续补成分之间，以及サ变词干和する之间等。

①ひどく気がかりであるけれども、訊ねてなどいく暇はない。／虽然极度惦念，但是没有时间去拜访。②美しくなどないくせに化粧にだけ苦心している。／本来就不漂亮，却专门讲究化妆。③興味がなければ、何をやっても上手になどなりはしない。／如果没有兴趣，什么也学不好。④こんなに不景気じゃ賃金アップは当分の間望めそうになど見えない。／这么不景气，最近是根本不能指望涨工资了。⑤そんなにきれいでなどありません。／根本不是那么漂亮。⑥高価なものですから、見本を提供などできません。／因为是高价品，恕不提供样品。⑦子守り歌を歌ったりなどして、あやしてみなさい。／唱个摇篮曲啦怎么地哄一哄吧。⑧発車の時間が近づいたので、ゆっくりなどしてられない。／发车时间快到了，不能再慢慢腾腾的。⑨そんなことぐらいで驚きなどする彼じゃない。／他可不是因为那么一点儿事就害怕的人。

4. 接が、を以外の格助词、并列助词、副助词后。

①わしも子供の時は、学校へなど行かなかった。／我当孩子的时候，也不上学。②10年も勤めて、ボーナスがたったそれだけなどということはないだろう。／工作10年，奖金不会仅仅那么一点儿吧。③それはともかく、ワシはなぜ急にこの辺になど来なくなったのだろう。／那先不说，我为何突然间不再到这里来了呢？④玉子を産む動物は，生活場所が水中か陸上かなどによって，産む場所も違っている。／产卵的动物，视其生活场所是水中还是陆地，产卵场所也不同。

5. 接引语后。

①親に向かって、「行け」などとは何ごとだ。／冲着父母说“走



开!”这成什么样子?

【造句特点】1. 作体言性词组用。后续各种助词、助动词, (が、を、は、と等有时可以省略) 作句子的各种成分。

①あの動物園にはジラフやライオンなど(が)ある。/那个动物园里有长颈鹿, 狮子等。②池や小川などの水中には, 微生物が多い。/在池塘、小河等的水中, 有很多微生物。③酒など(を)飲みませんか。/你不喝酒吗? ④大雪だから山などへ登るな。/雪很大, 不要登山什么的。⑤自由は命や愛などよりもたつといものである。/自由比生命、爱情更宝贵。⑥いわゆる先進国としては, 米国・西ヨーロッパ諸国や日本などが数えられます。/所谓发达国家, 可以包括美国、西欧各国以及日本等。⑦正月など, 教え子の二, 三人が訪ねてくれます。/逢年过节的时候, 有两三个学生来拜访。

2. 使前项作后项的同位语。前项是罗列、说明性的, 后项是综合性的。有体言性的(下例①~③)和用言性的。若去掉这种など句子则不成立。

①水中, 水辺, 草原, 山地など場所によって, 植物の種類も違っている。/由于水中、水边、草原、山地等地点的不同, 植物的种类也不同。②水中には, ミジンコやワムシなど, 魚のさえになるような小さな生物が多い。/在水中, 水蚤、轮虫之类可作鱼饵的小生物很多。③すべての物質は, 色, におい, 光沢, 固さ, 手ざわり, 結晶, 味など, それぞれ特有な性質を持っている。/一切物质都具有颜色、气味、光泽、硬度、触感、结晶、味道等各自特有的性质。④今年は1年中盗難に合うなどさんざんでした。/今年1年又是被盗又是什么的, 倒霉透了。⑤友人を訪問したり, 見物をするなど, 一カ月の滞在はきりきり舞でした。/又是看望朋友, 又是参观, 1个月的逗留忙得不可开交。

【意义】1. 表示举例(暗示其他)。所举之例是最典型、突出的, 或需要的、方便的。

①日本を愛した外国人は少なくない。例えば, 小泉八雲などもその一人である。/曾有不少外国人热爱日本。比如小泉八云就是其中之一。②身の回り物ならとなりの売店へなど行けば何でも買えます。/日

用品到旁边的小卖店去就什么都买得到。

2. 表示对所举并列事项的概括。有时重点在概括,有时暗示其他的色彩较强。举例的并列事项可用并列助词(と、とか、たり、や)或裸格或二者混合形式连结起来。

①僕らの思想や感情などは、必ずしも容易に見えるものではない。／我们的思想、感情等并不是很容易看得到的。②酢のものとかさしみなど適当に見つুকろって出して下さい。／醋拌凉菜也好,生鱼片也好,你就看情况选几样拿上来吧。③たまの休みでも、庭の手入れをしたり、部屋の片付けをしたりなどで結構忙しい。／偶尔休息,也由于修整庭院、收拾房间什么的,够忙的。④勉強法は、実力や理解の程度、個性や体質などによって、皆違います。／学习方法因水平和理解程度、个性和体质等的不同而各不相同。⑤この国では、ドイツ語、フランス語、ポルトガル語など三つの言葉が通用している。／这个国家通用德语、法语、葡萄牙语这三种语言。

3. 作为1的派生用法,可表示轻视所提事项的语气。用于别人时表现为轻蔑,用于自己一方时表现为自谦以至自卑。

①ハワイなどに何度も行ったよ。／夏威夷啊,我去过多次啦。②君などに出来る代物じゃねえ。／这东西你那样的做不上来。③私になど出来そうもないから、先生にかわってもらいます。／我辈实难完成,请先生代劳。

4. 作为1的派生用法,借用举例的形式来避免断定式的语气。

①お酒などはおきらいですか。／你不喜欢喝酒吗?②うそなどつくものではありません。／不能撒谎啊。③この本などはお読みになっておくといいですね。／这类书您可以读他一遍。

5. 作为1的派生用法,借用举例的形式表示提示(下例①、②)和强调(用于否定句中。例③、④)。

①成績のことなど気に掛けていたら、勉強はできない。／总考虑成绩,就没法学习了。②組長の高橋さんなどが班長の立後補に適しているんじゃないか。／小组长高桥不是很适合当班长的候选人吗?③せかしなど致しませんから、丁寧にやって下さい。／我不会催你的,请你认真

做。④この映画はちっとも面白くなどないね。／这个片子一点儿也没意思。⑤この年まで苦勞の連続で、生活を楽しんでなどいる余裕はなかった。／这么大岁数，一直受苦，根本没有条件过舒适的生活。

【参考】1. 同类的助词还有なぞ（なんぞ）、なんか、なんて、など，见各项。其中などは标准用法，なんか和なんて在口语中也常用。

2. など来源于なにと。など后续と（いう）时可省去と就是因为など中已经包含着と。なにと中的に经音便（元音脱落）使と发生浊化，成为なんど。（即nanito→nanto→nando）现在仍有时用，如：“こんな有様であるから田園生活ななどは毛頭思いもよらないことである。／就是这么种情况，田园生活么根本不敢想。”后来拨音脱落，在平安时代形成など。（即nando→nado）

3. 关于词性。三矢重松认为是接尾辞，松下认为是形式名词，还有“複数表示説”。实际上，接续1近于接尾辞，接续4纯粹是副助词。形式名词说从接续2看也有些可能。另外，接续3具有提示助词的性质。至于复数说似不妥，下面两例就与数无关：

①私たちなど見てもかまいませんか。／我们看看也没关系吗？②小泉八雲などもその一人である。／比如小泉八云就是其中之一。

なにとぞ（何卒） 〈陈述副词〉

和表示请求、愿望的用法呼应。常用于语气十分郑重的寒暄、书信，是比どうか、どうぞ更谦虚的说法。

①何とぞご許可下さいますようお願い申し上げます。／敬请同意。②何とぞよろしくお願い申しあげます。／请您多关照。

△书信中往往用惯用的省略说法。不能用どうぞ代替。

①何とぞご自愛のほどを。／谨请珍重。②何とぞお体をご大切に。／请您保重身体。

なには～（何は～）

构成なにはさておき、なにはさておいて（も）、なにはともあれ、なにはどうあれ、なにはなくとも等形式，起副词或接续词作用。总的意思是先不考虑其他，后项才是优先要论述、要作出的事情之意。

①何はさておいても全力をあげて生徒のためにつくす。／首先，全

力以赴为学生服务。②なにはともあれ、これだけは仕上げておこう。／别的不管，至少要完成这个吧。③なにはなくとも体の丈夫なのが一番だ。／别的怎样都行，首先要紧的是身体好。

**なにも（何も）** 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，表示没有特殊的必要、原因、理由等等。常有反论、埋怨的语气。

①ところが自然界というものは、本来、なにも人間のためにあるわけじゃない。／不过，这自然界本来并不是为了人而存在的。②なにも借金までして、子供を大学にやる必要はないでしょう。／没有什么必要不惜借钱供孩子上大学吧。③この土地の人は、なにも無理をしてあぶない仕事をしなくてもいいわけです。／这一地方的人按理说也不是非冒险干危险活计不可。④川柳の軽視せられるのは、なにも諷刺詩であるためではない。／川柳被人轻视，并非因为是讽刺诗的缘故。

△下例なに是名词，も是提示助词。也和否定形式呼应，表示全面否定。

①何も知らない。／什么也不知道。②すばらしい出来栄えだが、もう何も不備な点がないというものではない。／搞的相当出色，但并不是说一点儿毛病也没有。

**なにゆえ（何故）** 〈陈述副词〉

同なぜ，但有些文言色彩。

①何故私を疑うのか。／为何怀疑我？

**なにを（何を）** 〈陈述副词〉

用于追究或责问其原因。常和のか、だろうか等呼应，可用なんで代替。

①何をあわてているのか。／你慌什么呀！②なにをぼんやりつつたってるんだ。／干吗楞楞地站着不动？③雇人の分際でなにを生气言うのだ。／作为用人，说话岂能如此狂妄。④なにを乱暴なことなさいます。子供相手に！／你发什么威，跟个孩子！⑤何を二人は喧嘩しているのだ。ばかな。／你们俩打个什么架？混帐。

△下例是名词なに和助词を的一般用法。



①何をしていますか。／你在做什么？

△还可作感叹词。

①何をっ！／干什么！

なのだ 〈助动词性词组〉

由助动词或形容词词尾だ的连体形な和助动词のだ构成。口语中常音便为なんだ。松村明的「日本文法大辞典」中归于助动词。

【活用】形容词型活用。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
なのだ	なの	○	なのだっ なので	なのだ	○	なのなら	○	なのだろ
なんだ	なん	○	なんだっ なんで	なんだ	○	(なんなら)	○	なんだろ

1. 词干なの。后续终助词ね、よ、さ和助动词らしい等结句。

①ひどい寒さなのね。／冷得真厉害啊。②殆どの先生は学制を伸ばしてもいいという考え方なのらしい。／好象绝大多数教师认为学制可以延长。

2. 连用形。

1) なのだっ、なんだっ。后续た等。

①一人っ子を大学まで勉強させるのが彼の唯一の望みなのだった。／让独生子读到大学是他唯一心愿。

2) なので、なんで。

(1) 后续ある、ない，其间常插入は、も等。～なのではないか是一种反诘用法。

①日本人は二<sup>ふたこころ</sup>心あるを恥とする。特に武士にあってはそうなのである。／日本人以有二心为耻。在武士更是如此。②そんな無責任な。第一，あなたは，所長なのではないですか？／这么不负责任！不说别的，你不是所长吗？

(2) 用于中顿。

①本名は鳥山なので、鳥島というのではない。／本名叫鳥山，而不是叫鳥島。

△下列表示原因，一般认为是だ和の的结合。

①いつも勉強なので、目が悪くなった。／由于总是学习，视力变坏了。②頭がわれるほどなんで、休ませてもらいます。／脑袋象要炸开似的，我要休息了。

### 3. 终止形。

#### 1) 单独或后续终助词结句。

①実は、嘘なんだよ。／其实，是假的。

#### 2) 后续から、が等接续助词。

①ほかの人もしょなのだから、心配はないだろう。／别人也在  
一起，不必担心吧。②もう昔話なんだが，こういうことを本で読んだ。  
／已经是过去的事了，我在书上看过这样的（故）事。

### 4. 假定形。直接或后续ば表示假定条件。

①もし，心細い程度なのなら，塾にでも通わせてやりましょう。／  
如果（他学习）是没把握的样子，就让他上家庭补习班吧。

### 5. 推量形。后续う表示推测。

①君の友人なら，きっと出来のいいお方なんだろうな。／你的朋  
友，那肯定是学习成绩好的人啦。

【接续】1. 接体言、各种体言性词组、副词、副词性词组。

①きっと立派な研究なんだと思うな。／我想，一定是很出色的研究  
啦。②君自身は，一体どういう気なんだ。／你自己到底是怎么想的？  
③そうなんだね。／是吧。④私たち，こんな目に会うのは，どうしてな  
んだろう。／我们落得这般地步，是为什么呢？⑤熱心だけから言えば，  
十分すぎるほどなのだ。／如果光从热情上讲，那简直是太充分了。

2. 在一定场面、文脉中取代“前导句”的一部分内容（话题、重  
点），这时可接于任何种类的句节后。

①いいや，誰一人お付き合いはなく，一人でなのだ。／不，没有人陪  
伴，是一个人。②どうしてもそれを要求するのではない。<sup>したて</sup>下手に出なけ  
れば，なのだ。／并不是非要你那样不可，对人谦恭才行。

3. 接于形容动词词干后。

①あの人が？ 余っ程妙なね。／是他？ 真太奇怪了。②ビールなら  
お好きなんだろう。／啤酒还是喜欢的吧？③結局のところ，実力が不足  
なのだ。／归根结底，水平不够。

【意义】 1. 以强烈主张的语气表示确认性判断。如“これは本だ”是  
客观描写，而“これは本なのだ”是对于这一事实的主张，是主观强调。  
主张的内容多为原因、理由和结论。

①餌が豊で世界で指折りの漁場なのだ。（结论）／饵料丰富，是世  
界上屈指可数的渔场。②雨漏がひどい。地震で屋根瓦がずれたからなの  
だ。（原因、解释）／漏得很厉害。这是因为地震时房顶的瓦离位了。

2. 以なのだった形式表示带感叹性的回忆。

①私が困っているとき手を貸してくれたのは彼なのだった。／就  
是他曾在我困难的时候帮助过我。

なのです 〈助动词性词组〉

由助动词或形容动词词尾だ的连体形な和助动词のです构成。なのだ  
的敬语形式，口语中常音便为なんです。松村明的《日本文法大辞典》  
中归于助动词。

【活用】 特殊型。

基本形	未然	连 用	终 止	连体	假定	命令	推 量
なのです	○	なのでし	なのです	○	○	○	なのでしょ
なんです	○	なんでし	なんです	○	○	○	なんでしょ

1. 连用形。后续た等。

①私を救ってくれたのは名も知らぬ 通行人なのでした。／救我的  
是个素不相识的过路人。

2. 终止形。

1) 单独或后续终助词等结句。

①どこのお医者さんに見てもらってもガンという病気なのです。／  
找哪个大夫看都说是一种叫“癌”的病。②君は絵をやる気なんですか。／  
你是准备要搞绘画吗？

2) 后续から、けれども、が等接续助词。

①それから殆ど毎日、夜の七時ごろからなんですけど、変な音がする。／从此，几乎每天，时间是从晚上七点左右开始，有奇怪的声音。

3. 推量形。后续う表示推测。

①背の高い人と低い人とがあるのは、どうしてなのでしょう。／  
有的人个子高，有的人矮，这是为什么呢？②これなのでしょう，探しているのは。／就是这个吧，你在找的？

【接续】同なのだ。

【意义】なのだ的敬语形式。例句见以上。参照なのだ、のだ项。

「な」の見分け方 ナノミワケカタ なの的词类鉴别

1. な兼作终助词、间投助词和感叹词，分别用于句末、句中和句首，所以容易判断。

2. 作终助词时又有命令，禁止、感叹等不同用法。前二者接续和意义都不同。

①まあ，辛抱しな。(接动词连用形。命令)／先忍耐一下。②うそを言うな。(接终止形。禁止)／不许撒谎。

3. 表示感叹的终助词な接各种用言，表示命令的终助词な只接于动词。接于动词后时，要通过上下文才能分开。在口语中，前者句调稍有上升，后者用大降调，二者都要加重。

①早く来るな。↘／能早点儿来啊？②早く来るな。↘／不要来得早。

なら 〈接续助词〉

【词性】一般认为是助动词だ的假定形，文章中常后续ば成ならば。而佐久间把它看作接续助词，铃木忍也从日语教育的立场出发，看作接续助词。从以下接续可看出，なら（ば）已是独立的助词。

【接续】1. 接于体言、体言性词组、副词后。

①御暇なら一つ御覧に願ひましようかな。／如果有时间我就请您给过过目吧。②それだけなら，黙認してもいいよ。／如果只是这一点，



也可以默认。③普通なら新米がうまいはずですよ。／通常 应该是新米好吃。④ここからなら、それほど時間はかからないだろう。／如果从这儿，用不着太多的时间。⑤料理史を書くぐらいなら、そんなに多忙でもなさそうだ。／如果是写菜肴史，似乎就不会怎么忙了。

## 2. 接于各种连用修饰句节后。此接续法具有副助词性质。

①君は、そんな発言は私にならいいがね、上司たちに言ってはいかんよ。／你呀，那种言论冲我还没什么，对上司说可不成啊。②遅くなら別だけれど、早くは出来ません。／晚一些可以，早是做不到的。③歩いてなら、どれくらいかかりますか。／走着去，需要多少时间？

## 3. 接形容词动词及同型助动词词干，相当于其本身的假定形。

①交通が便利なら一回りしてみよう。／如果交通方便，就转他一圈儿吧。②どうせ分らないのなら，どうして良い結果の方に賭けないのだろう。／反正是个不知道，干么不往好结果上打赌呢？

## 4. 接于动词、形容词及同型助动词的终止形后。应看作完全独立的接续助词。

①お手伝いさん稼業をするなら，こんな家が一番よ。／作女佣人，这样的家庭最好啦。②暑いなら，こかげで涼みなさい。／热了就到树荫下乘凉吧。③見たいなら，持って行ってもよろしいです。／您想看的话，拿去好了。

## 5. 接助动词た后。

①核戦争に発展したならば，自国だけがやぶれないことは絶対にはない。／如果发展成核战争，只有本国不败，这是绝对不可能的。

△不能接助动词う、よう、まい、だろう及だ之后。

【意义】 1. 表示前项中的对方话语和看法是后项陈述的假定条件。

①短大に行くなら，なにを勉強したいと 思いますか。／如果上短期大学，你想学什么？②お国のためなら，何でもいたします。／为了祖国，我什么都可以做。③もし，酒をよすなら，今度だけはゆるしてやろう。／如果戒酒，就饶你这一回。

## 2. 借用なら的假定意义（见1），与其他形式配合，表示各种更复杂的关系。主要有如下几种。

1) 以～ならいざしらず(或: 別だ、話は別だ、ともかく、ともかくとして……) 形式表示另当别论的含义。

①子供の事ならともかくとして、あなたの仕わざにとしては感心できませんね。／若是小孩子做的事还将就，是你干的可不怎么样。②ほかの人ならいざ知らず、あの人に限って疑う理由がない。／别的人且不论，唯独他就是没有理由去怀疑。③記憶を喪失したというならそれまでだが、どう尋ねても、浮かぬ顔をしているだけです。／如果说是丧失了记忆，那就没什么可说的了，可是无论我怎么问，他只是做出忧心忡忡的样子。

2) 以～なら～的同词反复形式表示前项是后项 陈述 的认可条件或内容。

①あるならあってもよいし、ないならなくてもよい。／有也好，没有也行(无所谓)。②「近付くな! 撃つぞ!」「撃つなら撃て!」／“不要靠近! 我开枪了!”“开就开吧!”③ばかならばがでもよろしいとして、私はもう農村に行くことにした。／说我傻，那也没关系，我已经决心到农村去了。④いやならいやと、はっきり言うはずなのに、日本人はそうしない。／不同意就该明确地说不同意，可日本人不然。⑤誤解したなら誤解したでやむをえない。／误解就误解了吧，那有什么办法。

3) 表示各种相关关系。有时也用～なら～ほどの同词反复形式表示比例关系。

①子供の遊びではあるが、本気なら本気ほど面白くなる。／尽管是孩子的游戏，越认真，越有意思。②嘘つきって? 私が嘘つきなら、あなたは何ですか。／骗子? 我是骗子你是什么?③ご主人が変わっているなら、奥さんのあなたも変わってますね。／说您丈夫古怪，那么做太太的您也是很古怪的哟。④あれでも高校生なら、僕は大学生だ。／如果那也能算高中生，我就是大学生。⑤もしチンパンジーが高等動物ではないなら、高等動物というのはもうないことになります。／如果黑猩猩不是高等动物，那就等于没有高等动物了。

### 3. 表示限定性提示。

①桜なら日本の国花です。／樱花是日本的国花。②僕たちなら、大丈夫だと思います。／我看我们问题不大。③今日はだめだ、明日ならい

いって。／他说今天不行，明天还行。④和子さんなら，私も知っている。／和子么，我也认识。⑤鏡なら，あすこに大きいのがあぜ。／镜子啊，那儿有个大的。⑥父は，自分の作った畑の中にあるものなら，何にも自信を持っているらしい。／爸爸好象只要是自己开垦的田里的东西，对什么都很有信心。⑦短大に行くなら，高校卒で就職するのとう違いますか。／上短期大学和高中毕业就业有什么区别？

△这一用法的否定形式是でなければ（でないなら，でないと）～ない。试比较：

①私は総じて，見たものならかけます。／我一般说来看过的东西就能画出来。②私は総じて，見たものでなければかけません。／我一般说来没有见过的东西就画不出来。

4. 作为3的进一步转用，表示提示性并列。

①育ちなら，家柄なら申し分のないお嬢さんですね。／这位小姐，说教养，说门第，真是无可挑剔。

5. 以たなら形式表示愿望，类似于终助词。

①勉強に対する母親の関心の半分ぐらいが中学生の健康に向けられたならと，私はいつも思います。／我始终在想，母亲哪怕把对初中生学习的关心的一半儿用到他们的健康方面来呢。

なら 〈接续词〉

由助动词だ的假定形转来，也说ならば。表示以前面的（对方或自己的）说法为问题或依据，说明自己的看法。等于それなら。

①さっき日本の首相の名を質問してくれましたね。ならばスズキです。／你刚才问我日本首相的名字来着吧？好吧，是铃木。②三島の真門ってお家は，洪ちゃんの伯母さんの家でしょう。なら，いいわよ，一晚ぐらい泊ったって。／三島の真门家，是洪娃的伯母家吧。那样的话，住上一宿也没关系。

ならでは 〈副助词性词组〉

【构成】由文言指定助动词なりの未然形なら、否定接续助词で和提示助词は构成。

【用法】接于体言后，表示必要的唯一条件。

1. 以～ならでは～ない的形式表示只限于特定情况才会有后项的结果，等于でなくては～ない。

①女相手ゆえ，女ならでは勤めかねる役儀なのじやよ。／因为以妇女为对象，这差事不是妇女就干不好啊。②それはナポレオンのごとき者ならでは出来ない事であった。／那是非拿破仑那样人干不出来的事。③愚人ならではそんな愚論を信じるものはない。／除非是愚人，没有人相信那种愚论。④奇跡ならでは命を全うすることができなかつたろう。／不是出了奇迹，怕是不会保住命的。

2. 以～ならではの～的形式表示后项事物得以存在的唯一条件。

①スキーにはスキーならではの楽しさがある。／滑雪有滑雪独具的乐趣。②生徒は学校ならではの環境をよく利用しなければいけない。／学生必须充分利用学校所特有的环境。③湯の花は，硫黄泉の涌く芦ノ湯ならではの特産品である。／温泉沉淀是只有有硫黄泉涌出的芦汤温泉才有的特产。

△报章标题等的省略情况看作1或2均可。

①こんな投票風景もオーストラリアならでは。／这种投票情景是澳大利亚特有的。

ならない（成らない） 〈词组〉

由动词“成る”的未然形和助动词ない组成。另有敬体なりません、文言式的ならぬ、推测的なるまい、反诘的なるものか等。除单用外，还构成如下惯用形式。总义是“不成”。

【用法】1. 以てならない、でならない形式表示程度非同一般，带有无法摆脱、难以忍受的语气。主要用于表示感觉、感情的用言及助动词后。

①娘が嫁に行ってしまうて，淋しくてならない。／女儿出嫁了，（我）实在寂寞极了。②何か不吉な事が起りそうな気がしてならない。／总是有要发生什么不吉利的事的感觉。③試験点数が心配でならない。／非常惦记考试分数。④余り暖かいので，眠気がさしそうでなりません。／因为太暖和，睡意袭来，难以忍受。⑤綾子は彼女が可哀相でなりませんでした。／綾子非常可怜她。⑥なんだか聞いて見たくてならな



かった。／我不知怎的就是想问一问。⑦私にはお母さまが嘘をついていらっしゃるように思われて（或：思えて）ならない。／我总觉得母亲似乎在瞒我，心中很不安。

2. 以てはならない形式主要表示禁止，或需要避免的状态。

①時が時だから，油断をしてはなりません。／不比平时，你不要马虎大意。②見てはいいが，触ってはならないよ。／看可以，可不要碰啊。③うっかりして火事になってはならない。／可不能不小心失火。④火と水は人間の生活に無くてはならないものです。／火和水是人类生活中不可缺少的。

3. 以なければならぬ、なくてはならない、ねばならない等形式，表示必要条件（下例①、②）、责任义务（例③、④、⑤）、推论的结果（例⑥、⑦）。

①外国に学ぶには先ず言葉から学ばなければならぬ。／向外国学习必须先从语言学起。②履歴書はペンで書かなくてはならない。／履历表一定要用钢笔填写。③外国に行ってはその国の法律と習慣などを厳守せねばならぬ。／到了外国，就要严格遵守该国的法律和习惯等。④まず本人が立派でなければなりません。／首先本人必须好。⑤こっちから謝らなければなるまい。／该我道歉了。⑥こうして見ると，地球が回っていないなければならぬことが分るはずだ。／由此可见地球肯定是在旋转着。⑦粗末な封筒からしても，それは戦前の手紙でなければなりません。／单从那粗糙的信封上看，那也应该是战前的书信。

4. 单用的ならぬ也能表示“不可能（下例①、②）、不应该（③）”等意思。

①我慢がならぬほど冷やかされた。／受到几乎不能忍受的嘲弄。②身動きならぬ壁の中であがいている感じです。／是一种在无法动身的墙壁中挣扎的感觉。③いくら自由だからといって，犯罪行為を許すことはならない。／无论多么自由，不能因此而容忍犯罪行为。

【参考】下例是助动词的なり。

①買う客ならぬ売る客。／买卖两条心。

ならびに（並びに） 〈接续词〉

文章用语。表示并列，但以前项为主。一般只用于连接句中相同地位的体言性成分。

①氏名，生年月日，性別ならびに職業を必ず記入すること。／務必填写姓名、出生年月日、性別以及职业。②会場においては，父兄ならびに教職員の車以外は駐車できません。／会场上，除家长及教职员的车辆以外不可停放。

【参考】1. 因重点在前项，所以“生徒ならびに父兄”的说法不自然，应互调。

2. 在多项并列中与および一起用时，ならびに隶属于および的下一层。

①父兄ならびに生徒，および来ひんの方方はご起立願います。／请家长和同学以及诸位来宾起立。

なり 〈副助词〉

【构成】原由文言助动词なり和逆态接续助词とも结合而成，从江戸时代起作副助词用。后なりとも省略为なりと、など、なり等，现在なり是最规范形式，其他也时有所见。

【接续】1. 接体言，由助词组成的词组等。

①せめて粗酒の一杯なりとさしあげとうございます。／我至少敬您一杯薄酒。②せめて君だけなりと私の気持ちが分ってもらいたい。／我希望至少是你能理解我的心情。

2. 接形容动词型以外的活用词终止形。常后续する。

①大部疲れているようだから，休むなりする方がいい。／你好象很累，该休息了。②もうすこし長いなりすればどうにかなる。／再长一点儿就够了。

3. 接副词、形容（动）词副词形及其他副词性句节（～て、～格助词，等）后。

①もっと穏やかになりと話していただけませんか。／您能不能讲得再平静一点儿。②今は鋼材を薄くなりして使うのは難しい技術ではない。／现在把钢材压成薄片等来使用不是很难的技术。③すこしなりと時間をのばしたいのです。／一点儿也好，我想延长时间。④僕になりちょ

って言ってくれさえしたらよかったのにねえ。／哪怕对我说一声也好。⑤見本を示してなり生徒に自信を持たせるといい。／至少可以做出示范让学生增强信心。

【意义】1. 以例示的方式指出起码的对象、条件、方式、程度等,暗示也许另有更适当的情况。与表示消极限定的也相同。

①こんなに時間がかかるなら,母になり話してくればよかった。／早知道这么费时间,和妈妈或谁说一下就好了。②どうぞ私の思う心の一部分なりともお汲み取り下さいませ。／哪怕一部分也好,请您体会一下我的一番好意。③もっと積極的に質問するなりした方がいいですよ。／还是要更积极地提问题。

2. 接疑问词后表示全部同类中的任何一项 均符合后项的要求、条件。

①我々は今何を為すべきであるか。何なりと(も)言って見よ。／我们现在该做什么,请大家畅所欲言。②お前のようなうるさい子は、どこへなりと行っておしまい。／你这个讨厌鬼,赶快上一边儿去! ③遊びたい人は誰なりとかまいません。／愿意玩儿的谁都可以。

3. 表示某事物本身区别于其他的(很可能是不充分、不妥当的)状态、程度、立场、方式等。具有接尾辞性质。

①普通は二つに分けているが,ここでは私なりに三つに分けて見る。／通常分成两种,这里按我个人想法分成三种。

△此用法常用于同词反复形式～は～なり。

①彼は彼なりに,自分の老後について一心に考えている。／他也按他自己的想法专心地思考自己的晚年。②企業は小は小なりに政治家に金を出しあっている。／各企业小就按小的合伙儿给政治家拿钱。③では、家内工業はどうかというと、それはそれなりにまた組合を作っている。／那么,再看一看家庭工业的情况,也根据自己的特点组织了工会。④学生には学生なりの意思があり,大学には大学なりの方針があるので,学生と大学との話し合いはつかず到頭ストライキに発展した。／学生有学生的主张,大学有大学的方针,所以学生和大学之间谈不拢,终于发展到罢课。

4. 表示逆态接续，连接互相矛盾的两种性质和状态。这是なり（とも）最原始的用法。

①このホテルは田舎臭いなりに堂々としている。／这家饭店虽有些土气，倒也很有排场。②小さいなりに張りがある元気のよさそうな赤ん坊である。／是个虽小却很活泼、很精神的婴儿。③雪が深いなりに表面が固まるから，行軍にはさほど困難がない。／雪很深了，表面就会坚固，所以行军不太困难。④首相なりと法律は法律として守らねばならぬ。／尽管是首相，法律必须作为法律来遵守。

5. 表示动作完成后的不变状态。可作后项动作的伴随状态来用。和接续助词なりの一个用法部分重合，但这里可用于句末、可后续で等格助词。

①父は，それなり，一言も言わずに，息を引きとってしまった。／之后，父亲一句话也没说就咽气了。②時間がなかったのも，あのことはそれなりになっていた。／因为没有时间，那件事不了了之了。③返そうと思っているうちに外国に行ってしまったので，この本は借りたなりになってしまった。／想还还没还的时候就出国了，所以这本书就一直借着。④半身不随になり，寝たなりで十年も過ごしてきた。／得了半身不遂，在病床上过了十年。

6. 表示对一个状态不加任何变更。

①リンゴは皮なりにも食べられる。／苹果也可以带着皮吃。②彼は何事によらず，上役の言うなり（或：言いなり）になっている。／凡事他对上司都唯命是从。

【参考】另有一个词形相同的接尾词なり，“弓形”以及“身体を海老なりに曲げて苦しんでいる。／把身体弯成虾的形状痛苦地翻滚”中的なり即是。另外上述用法3、6等也有人认为是接尾词。

なり 〈并列助词〉

词源同副助词なり，也用なりと形式。

【接续】1. 接体言、由副助词等组成的体言性词组。

①道が分らなかつたら駅員なり警官なりに聞いて下さい。／找不到路时你就问一问站务员或警察。②読むだけなり書くだけなりなら外国



語も簡単だが，話すのは難しい。／如果只是读或只是写外语并不难，说就难了。

2. 接动词、形容词及同型的助动词终止形后，常后续する。

①すぐ帰ってきますから，レコードを聞くなり雑誌を読むなりして待っていて下さい。／马上就回来，请你听听唱片看看杂志什么的等着我。②帰らせるなり泊らせるなり，はっきりしないと困ります。／或者打发回去，或者留宿，明确表态才成。③太いなり細いなりして，手ごろな棒さえ見つからない。／不是粗就是细，连根合手的棍子也找不到。④来るなり来ないなりはっきり言いなさい。／来不来要说清楚。

3. 接各种连用修饰句节，如形容（动）词副词形、て、格助词，等后。

①交通の改革は近くなり便利になりするのが主眼となる。／交通的改革以就近，就便为重点。②この事件については新聞でなり雑誌でなり調べればすぐ分るだろう。／关于这个事件，在报纸上或杂志上一查就能查到。③京都へなり，大阪へなり，どこへなりとも行くがいい。／上东京还是上大阪，无论哪儿你只管去。④その前歴を当人なりよそからなり聞いたことがある。／他的经历我曾经不是从本人就是从别人那里听说过。⑤そちらへ行ってなりこちらへ来ていただいてなりして一度相談しましょう。／或者我到您那儿或者请您到我这儿，我们商量一下吧。

【意义】1. 表示从列举的事项中任选其一，有另选其他也可的语气。有以下几种形式。

1) ～なり～なり。

①買いたいものがあつたら，なぜお母さんなり，姉さんなりに言わないの。／有要买东西，为什么不跟妈妈或姐姐说呀？②鉛筆なりボールペンなりをお使い下さい。／请使用铅笔或圆珠笔。③夏休みは，好きな本を読むなり旅行するなりして，自由に楽しんで下さい。／暑假读读喜欢的书或者搞搞旅游，随便过去吧。④祭りが過去の人なり事件なりに対する追憶の意味を持っているのは普通です。／通常节日都具有对过去的人物或事件的追怀之意。

2) ～なりと～なりと

①北海道なりと九州なりと，行きたいところへ行ってきたさい。／北海道也好，九州也好，到你愿意去的地方去一趟吧。

3) ～なり～。

①教室の壁は普通白くなり緑色に塗られている。／教室的墙壁通常涂成白色或绿色。②本人が入所する時に持ち込むなり，或は差し入れの中にしのばせる方法で囚人たちは煙草を手に入れた。／囚犯们通过本人入监时带进来或者让人藏在送的东西里的方法弄到烟。

2. 有时用于成对的词后，表示游移交替于二者之间。

①走り続ける船は，舵によって右なり左なりに向けなおされる。／行进中的船靠舵忽而拨向左忽而拨向右。②この間の台風で大なり小なり被害を受けなかった所はない。／因这次台风各地都多多少少地受害了。

【参考】1. 并列助词なり和副助词なり在下面这种情况下只从形式上区别。

①規制が厳しいから，早くなり（遅くなり）するのは，許されていない。／因规章严格，不许提前（或拖延）。

去掉括号为并列助词，只用前一个为副助词，意义相同。后者可看作前者的省略。

なり 〈接续助词〉

【接续】接于动词、助动词（ら）れる、（さ）せる、た的终止形后。

①二，三人の男が傍に素早く寄ってくるなり，ガチャリと手錠をかけた。／只见两三个人敏捷地靠近跟前来，咔嚓一声扣上了手铐。②帽子をかぶったなり，あわてて礼をかえした。／戴着帽子，慌忙还了个礼。③子どもは褒められるなり大人しくなるものです。／小孩儿一表扬当时就老实起来。

【意义】1. 主要接于瞬间动词后，表示前一动作行为刚一完成，紧接着转到下一动作行为。やいなや则强调其同时性。

①うちの子は学校から帰ってくるなり，おやつを催促するんです。／我家小孩儿从学校一回来就催着要零食。②部屋の中へ入るなり，いきなりあお向けに，ドシーンと畳の上に寝ころんだ。／刚进房间，咣当一声，一下子脸朝上地躺在草垫上了。③阪本君は学校が終わるなりスケー

トリンクへ一目散に走った。／阪本一放学就一阵风儿似地向溜冰场跑去了。

2. 接于た后, 表示后项动作在前项动作的结果状态下进行。可用～たまま形式代替。

①どうかすると, あま戸を一枚あけ忘れたなり, 一日を過ごしてしまうこともある。／有时把一块木板套窗忘了打开, 就过一天。②服を着たなり寝こんでしまった。／穿着衣服就睡着了。

3. 接た后, 表示前项动作完成后便转到所期待的情况以外的某一动作或状态上去了。可用～たきり形式代替。

①下女は立ちながら「いいえ」と答えたなり黙っていた。／女佣人站着答了声“不”就不再作声了。②店の方のおばさんに何か言<sup>ほう</sup>ったなり, ゲタをはいてすぐ出てしまった。／向商店大婶说了一声什么, 就穿上木履马上出去了。

なり <文言助动词>

【活用】文言形容动词なり型活用。作为指定助动词的活用如下。

基本形	未然	连用	终止	连体	已然	命令
なり	なら	なりに	なり	なる	なれ	(なれ)

1. 未然形。

1) 后续ぬ(ん)、ず表示否定判断。

①ヒットラーならずとも民族の純粹を守る必要がありそうです。／虽然不作希特勒, 似乎也有必要保持民族的纯洁。②都市の環境を汚している元はほかならぬ煙である。／污染城市环境之源不是别的正是烟尘。

2) 后续む(ん)表示推测。

①何ごとならんとかけつけて見た。／跑去看了个究竟。

3) 后续ば表示假定。相当于口语だ的假定形なら。

①それならばよろしゅうございます。／如果是这样, 那好吧。

2. 连用形。

1) に。

(1) 用于中顿。已不常用。

① 山紫に、水潔し。／山青水秀。

(2) 后续补助用言ある、接续助词して等。

① ゴーリキは政治家にあらず、作家なり。／高尔基并非政治家，乃是作家。② それは社会の傍観者にして始めて口にすべき話である。／那是社会的旁观者才能说的话。

(3) 形容动词连用形に和构成副词性词语的格助词に，即“小刻みに、真剣に”之类，也可看作连用形。

2) なり。后续助动词き、けり等。

① いたずらに「父権華やかなりし戦前」を懐<sup>なつか</sup>しがっても仕様がな<sup>な</sup>い。／一味地怀念“父权鼎盛之战前”也是徒然的。

△后续ません。似只有ほかならぬ的敬语形式有此接续。

① それこそ，背信的行為にほかなりません。／这才正是背信行为。

### 3. 终止形。

1) 单独或后续终助词や（疑问）等结句。

① 油断大敵なり。／马虎是大敌。② 誠者天之道也<sup>まこととはてんのみちなり</sup>という額が掛けてある。／挂着“诚者天之道也”的匾额。③ 自殺するは容易なりやいなや。／自杀容易也？非也？

△用于表示认定的となす等之前的也是终止形。

① 「君はその詩を佳作なりとなすや？」「予は必ずしも悪作なりとなさず。」／“君以为此诗乃佳作乎？”“余未必视为劣作也。”

2) 后续接续助词とも等。和副助词、接续助词等的なり(と)是同源。

① 「北」と「南」の相違を，たとえ短期間なりとも自分の目で見<sup>み</sup>ておきたい。／即使时间很短，我仍希望能亲眼观察到“北方”和“南方”的差异。

### 4. 连体形。

1) 后续体言做其定语。这是口语文中最常用的活用形式，其意义后述。

① 自分に特有なる思索力を持っている。／具有自己独特的思考能



力。②「大日本帝国」なる映画は軍国主義鼓吹の趣あるとされている。  
／《大日本帝国》这部影片被认为有意鼓吹军国主义。

2) 后续属格助词が、接续助词も等。可以认为～なる部分 是准体言化了。

①熱帯氣候なるがゆゑに天然ゴムなどの栽培が可能となる。／因是热带气候，所以天然橡胶等的栽培成为可能。②不確實なるも兵力およそ一万と見る。／纵不确切观兵力凡一万。

## 5. 已然形。

1) 后续ど表示逆态既定条件。

①休診なれど、ぜひ往診を、と請<sup>こ</sup>わる。／虽休诊，被请务必往诊。

2) 后续ば表示假定条件（例①）或既定的原因。

①匈奴では軍事においても月盛んなれば攻撃し、月欠くれば後退す。／在匈奴那里，即使在军事上也是月盈则攻击，月亏则后退。②「その理由は如何？」「成功を求めること痛切なればなり。」／“其原因为何？”“系求成心切之故也。”

## 6. 命令形。基本不用。

①明日晴天なれ。／但愿明日天晴。

【接续】文言中可接于体言、用言及助动词连体形后，助词と、ば、て后。现在常见的接续法有：

1. 接体言、体言性词组、形容动词词干、副词后。

①チョウチョウが一匹ならず前後左右に舞い上がっている。／几只蝴蝶在前后左右飞舞着。②健全なる精神は健全なる身体に宿る。（谚语）／健全的精神寓于健全的身体。

2. 在惯用词组中还可接于动词终止形、助词と、のみ等。

①言うなれば、地球は普通な星の一つにすぎない。／说起来，地球不过是普通的星体之一。②何となれば、自信がないからである。／若说为什么，是因为没有把握。③石油危機は米国のみならず、日本にも莫大な悪影響を及ぼした。／石油危机不仅仅对美国，也严重地祸及日本。

3. 传闻、推测助动词なり接于终止形后，见用法7。

【意义】口语体文章中保留的用法大致如下。

1. 表示指定判断，相当于だ、である。

①お前たちの父なる私がその時お前たちの目にどう映るか。／作为你们的父亲的我到那时在你们眼里会是什么样子呢？②今は国家存亡の秋なり。／今乃国家危急存亡之秋也。

2. 在形容动词后时表示对性质状态的判断。

①親愛なる兄さん／亲爱的哥哥。②その細緻<sup>さいち</sup>なる描写は実にうまい。／那细腻的描写实在精彩。

3. 表示对存在的判断，相当于にいる、にある。

①昭和4年元旦，東京なる母堂重病のため奈良を引き上げた。／昭和4年元旦，因在东京的母亲病重从奈良返回。②若い人は，自分の中なる力を正しく認識してほしいと思う。／我希望年青人要正确认识自身内在的力量。

4. 接活用词终止形后加强认定的陈述态度，相当于のである。

①尚手近く云えば，品物に就ての独立と，精神に就ての独立と，二様に區別あるなり。／再近而言之，则有物质上之独立与精神上之独立，此两种区别也。②こは我がために泣くなり。我が遠からず分かれ去るべきを思いて泣くなり。／此乃为吾而哭也。念吾之不久将离去而哭也。

5. 表示后续体言的内容，相当于という。

①この住恵なる人は，私の友達<sup>あくるひ</sup>の母親である。／这位叫住惠的人是我的朋友的母亲。②その明日の新聞に始めて日糖事件なるものが現われた。／那以后的第二天的报纸上首次出现了所谓“日糖事件”。

△这一用法产生于汉文训读，如“顔回なる者／顔回者”。

6. 表示发话场景、心理等的提示或附带说明，主要用于惯用词组。

①面白い会話ではなかった。なぜなれば，君は曇った顔をしていたからだ。／并非一次愉快的交谈。因为，当时脸色阴沉。②昔なれば，斬罪になる所である。／这在过去是要斩首的。

7. 表示金额的整数。

①金1万円也。／日币1万元整。②10万円なりを渡す。／交付10万日元整。

8. 表示内容是听说或根据声音推测的。(属传闻、推测助动词)

①風吹く音すなり。／闻此乃风吹之声也。②都に長くとどまるなり。／据说长住京师。

【参考】词源：由格助词に和文言助动词あり缩合而成。各活用形缩合程度不同，最紧密的是连体形にある→なる。最松散的是连用形，に仍可单独作指定助动词。

ナリ活用 ナリカツヨウ ナリ活用

【解释】文言形容动词的活用种类之一，与タリ活用相对。来自副词词尾～に与动词あり的约音。如：しずかなり←しずかにあり。但是，由于连用形有副词法和中顿法词尾に和で，所以把这些词从动词中分离出来，立为形容动词。其活用形都与ラ变动词あり相同。

ナリ活用形容动词包括几乎全部固有形容动词和一些汉原词。例：あからさまなり、かすかなり、はるかなり、おぼろげなり；異様なり、神妙なり、不思議なり、分明なり。

【活用】ナリ活用是口语ナダ活用的一个来源。对照如下：

	基本形	词干	推量	连用	终止	连体	假定	命令
ダナ活用	静かだ	しずか	～だろ	～だっ ～で、～に、	～だ	～な	～なら	○
ナリ活用	静かなり	しずか	～なら	～なり ～に	～なり	～なる	～なれ	～なれ

从上表可见ダナ活用中的连用形に、连体形な、假定形なら均来自ナリ活用。各活用形举例如下。

1. 未然形。

1) 后续接续助词“ば、で”。

①静かならば行かん。／若安静则去。②特別ならでは許可できぬ。／若非特殊情况不能允许。

2) 后续助动词“む、ず、しむ、”等。

①大勇は勇ならず。（谚语）／大勇非勇也。②多ならん（同なら

む) や, 多ならざるなり。/ 多乎哉? 不多也。

## 2. 连用形。

1) ~なり。后续助动词“き、けり、つ”等。

①真相すでに明らかなりき。/ 真相已明。

2) に。

(1) 用于中顿。

①波穏やかに, 風爽やかなり。/ 波涛平稳, 海风清爽。

(2) 修饰后续用言, 相当于副词。

①あれよりから二人仕合せに暮しゆきにけり。/ 那以后二人一直幸福地生活下去。

3. 终止形。用于结束句子。有时可后续助词“とも、や”等。

①月おぼろげなり。/ 月朦胧。②いささかなりとも不便を感じず。

/ 丝毫未感不便。

## 4. 连体形。

1) 修饰体言, 作连体修饰语。

①健全なる精神は健全なる身体に宿る (谚语) / 健全的精神寓于健全的体魄。

2) 后续助动词べし等。

①事实に忠実なるべし。/ 当忠实于事实。

3) 后续助词が、に、を、より、も、か、かな等。

①大賢は愚なるが如し。 (谚语) / 大智若愚。②正直なるをもって信ぜられにけり。/ 因正直而取信于人。

4) 和“ぞ”呼应, 构成“係り結び”结构。

①天照る月の影ぞまれなる。/ 普照长天之月光兮, 难得见兮。

## 5. 已然形。

1) 后续“ば”表示顺态接续。

①<sup>かみ</sup>上直なれば<sup>しも</sup>下安し。 (谚语) / 上直则下安。

2) 后续“ど、ども”表示逆态条件。

①われの語彙豊かなれど, つい口の聞きよう無かりけり。/ 纵我词汇丰富, 终无言以对。



3) 和“こそ”呼应，构成“係り結び”结构。

①好きこそ物の上手なれ。（谚语）／喜欢才能学会。

6. 命令形。表示命令、愿望。

①事に処して慎重なれ。／处事当慎重。

⇒形容動詞の活用、タリ活用

なる（成る） 〈动词〉

1. 实义动词用法。表示行为和变化的结果。例：①為せばなる。／为则成。②国会は二院よりなっている。／国会由两院组成。

2. 虚化的、形式化的用法。

1) 接形容词、形容动词的连用形（〜く、〜に）之后，表示状态的变化及其结果。

①寒くなる。／变冷。②ざわめきで俳優の台詞が聞こえなくなった。／因为吵嚷听不见演员的台词了。③海が静かになりました。／大海静下来了。④そのころから筆十郎は、よく夢を見るようになった。／从这时起，笔十郎经常做起梦来了。⑤はっきりとなった。／变清楚了。

2) 以“名词になる”形式表示领受关系，与“名词をする”相对。

①お世話になって、ありがとう。／承蒙关照，谢谢。②私たちは農家の一軒でお茶をご馳走になった。／我们在一户农家里受到茶水招待。③私が厄介になった家も，留吉たち五人が厄介になった家も大家族でした。／我麻烦的那一家和留吉他们五人麻烦的那一家，都是大家庭。

3. 惯用法。

1) 以〜となる、〜になる形式及各活用形起接续助词或提示助词作用，见各项。

2) 以ことに（或と）なる形式表示事态发展的结果，见另项。

3) 构成ならない，见另项。

4) 以なるか、なるのか、なるものが等反诘形式表示不应该、不许。ならない的反诘。

①帰ってなるか。／怎么能回去呢？②帰られてなるもんか。／让回

去，这怎么行呢？

5) 构成敬语お～になる、ご～になる，见各项。

### 難易文 ナンイブン 难易句

【构成】形容词やすい、よい、にくい、つらい（づらい）等接于动词连用形后作接尾词用时，有两种含义：1. 表示执行这项动作的难易（例①、②），2. 表示动作产生的可能性的大小，亦即一种倾向（例③、④）。

①子供にはフォークが使いにくい。／小孩用不好叉子。②道が凸凹で歩きづらい。／道路坑坑洼洼，很难走。③梅雨<sup>つゆ</sup>時<sup>ゆどき</sup>なので，雨が降りやすい。／因为梅雨季节了，容易下雨。④大国の对外政策は変わりにくい。／大国的对外政策不易改变。

为便于说明，以下只把第1种称为难易句，称第2种为倾向句。

【结构】1. 谓语。难易句的谓语动词必须是意志动词。

①昔の辞書は引きにくい。／过去的词典不好查。②一般の人はこの見方に賛成しがたい。／一般人很难同意这一观点。

在很多情况下谓语是主动态还是被动态句意不变。

①このような計画は変更され（変更し）やすい。／这样的计划容易变更。②今度のキャンペーンは長く続けられ（続け）にくいと受けとられる。／据估计这次斗争难以长期持续。

非意志动词谓语构成倾向句。

①この季節には天気くずれやすい。／这个季节里天气很容易变坏。②仕事が不順調か，彼は怒りやすくなった。／可能是由于工作不顺利吧，他变得易怒了。

2. 主语。难易句的主语必须是统称事物，如上例①的“昔の辞書”或特称事物，如上例②的“今度のキャンペーン”。不定称则只能作倾向句的主语，如下例①的“何か不幸事”，不能作难易句的主语。

①困った時ほど何かの不幸事が出来やすいものだ。／越是窘迫的时候越容易发生某种不幸。②※生徒には何かが使いよい。

难易句的主语（～が）是由连用格修饰语转换来的，但是这种转换不是强制性的，如下列例句既可以用主语形式，也可以用括号中的连用

格修饰语形式。

①日本人はカナが（を）書きやすい。／日本人写假名容易。②ローマ字は筆が（で）書きにくい。／罗马字用毛笔不好写。③エベレストは北側が（或から）登りにくい。／珠穆朗玛峰（从）北坡不好攀登。

なんか 〈副助词〉

【接续】同など，接体言、用言终止形和各种句节后。

【意义】用于口语，本质用法同など。

1. 表示例示。只用于随便的口语中，口气稍粗俗。

①クラシックだったら、モーツァルトなんかがいいな。／古典（音乐）么，莫扎特就很好啊。②うちの子，きのうなんか叱ったら自分の部屋に逃げこんでご飯の時も出てきません。／我家小孩儿，昨天啊，我一批评他，跑进自己的房间，吃饭的时候也不出来。③お母さんが居たときは，町に行くたびにいつもくりやあめだまなんかを買ってきてくれた。／妈妈在的时候，每次上街总是给我买来栗子啦糖块儿什么的。

2. 表示对所提事物的轻视语气。这是なんかの最主要用法，などの用法3也常用なんか代替。常用于否定句或消极表达中。用于自身则表示自谦或自卑。

①あいつなんかに負けるものか！／岂能输给那个家伙！②勉強が好きで，結婚なんか頭にはないようです。／爱学习，好象没有什么结婚的想法。③真樹子は，初江のような女に子供の世話を任せる気になんかとてもなれない。／真树子怎么也不想把孩子委托给初江这样的女人来照顾。④そんなピンク映画は見たくなんかありません。／我才不愿看那种色情片儿。⑤うち沈んでなんかしてたら，てきめんに子供にひびくわ。／那样情绪消沉，马上就会影响到孩子的啊。⑥この絵はどうでしょう。昨日のそれなんかはくだらないでしかだけれども。／这张画儿怎么样？不过昨天那张画可不怎么样。⑦勉強もしない君なんかに，これが安々と分ってたまるものか。／你又不用功，岂能轻松弄懂它。⑧それは，僕なんかとても真似できないことだ。／那事儿我这个人可做不来。

3. 构成惯用形式～やなんか，表示模糊的并列项。

①子供たちがゲームやなんかして楽しく遊んでいる。／孩子们在做

游戏什么的，愉快地玩儿着。②毎日会議やなんかで帰りが遅くなる。／每天又是会议又是什么的，回来就晚了。

【参考】1. なんか由なにか（疑问词、副助词）演变而成。nanika→nanka。

2. 下例中的なんか（何か）是副词，表示不确定的原因等。

①なんか体の具合が悪い。／不知怎么，身体不舒服。

なんだ 〈助动词〉

1. なのだ的口语约音形式，由の的元音脱落而成，即：nanoda→nanda。参见“なのだ”项。

2. なかった的关西方言。

①この本は，そのような目的では書かなんだ。（＝書かなかった）／这本书并不是按那种目的而写的。②いいえ，痛いことはございませなんだ。（～ませんでした）／不，没有疼过。

なんて 〈格助词〉

【接续】1. 接体言后。

①兵隊なんて職業は女に向かない。／当兵这职业不适合于妇女。

2. 把各种引语或类似于引语的句节等作为体言看待，接于其后。

①愛想が尽きたなんて言わないでね。／不要说什么讨厌不讨厌的。

②気味が悪くなったの？ さっきは「すてきね」なんて言っていたくせに。／害怕起来了？ 亏你刚才还一个劲儿“好！ 好！”的。③そうね，二人が同じ音を聞いたとすると，幻聴だなんてすましているわけにはいかない。／对呀，倘若是两个人听到了同一个声音，就不能认为是幻觉而了事儿。

【意义】1. 表示语言、心理活动的内容。常带有意外、轻视的语气。相当于などと。

①返事に「不参」なんて書いてあったんですけれど，どういうわけでしょう。／回信上写着“不出席”，这是怎么回事？ ②どうでもいいなんて言うことじゃないよ。／这可不是一件无所谓的事啊。③君はどうして「私がこわしたんじゃない」なんてうそをつくの？／你干嘛撒谎说不是你弄坏的？ ④死んでしまえなんてどなったってしょうがないじ



ゃないの。／你即使骂他该死又有什么用呢？

2. 表示同格修饰关系,即后续名词的名称、内容。和1一样,有时具有轻视的语气。相当于などという。

①甲斐さんが無断欠席するなんてことはないよ。／甲斐无故缺席,这是不可能的事。②タバコなんてものは百害あって一利なしだ。／烟这东西是有百害而无一利。③オアシスなんて喫茶店,知らないわよ。／我不知道什么“绿洲”茶馆儿啊。④その頃はまだテレパシーでUFOを呼ぼうなんて考えはなかったんですか。／当时还没有用精神感应招来飞碟的想法吗?⑤昔この辺に山下なんて愚者がありましてね……／过去这儿有个叫山下的傻瓜……

【参考】下例中的なんて分别为副词(同なんと)和词组(同なんという)。

①喜助は何ておだやかで欲がないのだろう。／喜助是多么的温和而寡欲啊!②今の人,何ていう名前でしたか。／刚才那个人叫什么名字来着?

なんて 〈终助词〉

【接续】接句末用言及助动词终止形后,以及各种引语之后。参照提示助词“なんて”项的接续。

【意义】是提示助动词なんて省略后项造成的。

1. 对意外事项的发生表示不满、惊讶的语气。

①美智子夫人も運が悪い。旅行にあって災難に会うなんて。／美智子夫人也真不走运,去旅游,竟遇到灾祸。②そりゃひどい。何もしていない者をいきなり警察へ連れていくなんて。／这太过分了。把无缘无故的人突然带到警署。③こうなっているのに黙っているなんて。／事到如今地步,还闷着!④いくらなんでも,泥棒をするなんて。／再怎么样呗,竟偷东西。⑤兄さん,パパさっきはひどかったじゃない。あんな風に電話を放り出すなんて。／哥哥你看,爸爸刚才可真是的,就那么地把电话摔了。⑥おかしいことね。あなたが進んで人に挨拶するなんて。／真少见啊。你主动向别人打招呼。

2. 接于引语后,对意外事情表示不满、责难、不信任等语气。

①先生のことをバカだなんて。／天哪，说老师是混蛋！②あの人が政治家だなんて。／他竟然是政治家！③信じられないわ。その時のことを，少しも覚えていないなんて。／不可信，当时的情况竟然一点儿也不记得。④この仕事は，誰かが言ってたけれど，天に登るよりも難しい，だなんて。／好象谁说过，这件工作比登天还难。

なんて 〈提示助词〉

【接续】1. 接于体言、体言性词组后。

①足のはえた魚なんて，あるものかしら。／怎么会有什么长腿的鱼？②賠償金20万円なんてばかばかしいじゃないか。／賠償20万日元，这不是胡闹吗？

2. 接于引语及类似于引语的各种成分后。

①今さら悔しがるなんてあとのまりつだ。／现在后悔呀，晚啦。②嘘！いくらなんでも，手をつないでなんておかしいわ。小学生でもないのに。／我不信！再怎么样，竟然手拉着手，多可笑，又不是小学生。③もっと上手になんて無理だよ。／让做得再好一点儿，这不可能啊。④火に丈夫だなんて，信じられません。／说不怕火，我不信。

△接于带有格助词的句节时，が、を要省略，其他则要保留。根据情况，有时也要省略。

①結婚なんて（←は、が），私には何の魅力もない。／结婚，对我没有任何吸引力。②私塾先生の家庭訪問なんて（←を）聞いたこともない。／补习班老师家访，听都没听过。③教会なんて（←に）もう長いこと行ったことがありませんもの。／教会呀，我很长时间没去过了。④明日までなんて，無理ですよ。／什么到明天以前，这做不到。

【意义】以举例的方式表示话题。相当于など、などということ（もの、の）は。

①友永さん，あんたに<sup>ふたご</sup>双子の兄弟がいたなんて，ちっとも知らなかったわ。／友永君，你有个孪生弟兄，我一点儿也不知道。

△一般具有对所提事项加以消极的、轻视的评论的语气。

①となりの人なんて，やつは人の迷惑などちっとも考えはしない。／什么邻居不邻居的，这家伙丝毫不考虑对别人的影响。②坪井を30年以

上も前から知っていたなんて、作り話もいいとこだ。／说是30多年以前就认识坪井，真会编造。

なんと 〈格助词〉

不常用。相当于などと、なんて（格助词）。

①だいたい、会議なんというものは長引きになりやすいものである。  
／总的说，会议这东西就是容易拖延时间的。

なんと 〈何と〉

〈副词〉相当于どう、どのように。

①なんとしたものか。／这该怎么办啊！②なんとしても苦境からのがれようと必死のあがきをしている。／为挣脱困境拼死挣扎。

常和だろう、ことだろう呼应，构成感叹句。近于陈述副词。以感叹语气表示程度很高。

①なんと高いことだろう。／多高啊！②なんと立派な若者でしょう。／多好的年青人啊！③なんと速いだろう。／真快呀！④ここに群れとまる若者の中に，尋常とは思われない髪形や服装がなんとふえたとか。／（瞧瞧）聚居在这里的青年里，奇特的发型及衣着（与从前的青年比）增加了多少啊！

〈感叹词〉1. 以惊奇的语气表示意外。

①なんと42台もあった。／竟有42辆！②目が醒めて見ると，私はなんと飛行機の上に乗っていた。／睁开眼睛一看，天呀，我已经在飞机上了！③なんと，まあ。／哎呀，真是的。

2. 用于征求对方同意或意见。

①ごらんなさい。なんと，絶景じゃありませんか。／你瞧，多好的景色。

3. 呼语。

①なんと，その人。／喂，那位。

4. 表示制止对方的话语。

なんと，文句があるか。／怎么？不满意啊？

△还可以和动词いう等的各种形式构成词组，可根据构成成分理解，其中なん（何）是名词用法，とは表示引用的格助词。

①信頼できるのは、何といっても中村君だ。／不管怎么说，还是中村值得信赖。②中国はなんといおうと4千年の歴史を持つ国だ。／中国毕竟是有4千年历史的国家。③しかし、なんと呼ばれるにもせよ、いわゆる「新感覚」をもった作家たちは、必ず今後も現われるであろう。／但是，不管被称为什么，具有所谓“新感觉”的作家们今后还会出现。④なんといつか（なんと申しますか），そこが，いわゆる第六感ですよ。／怎么说呢？这就是所谓第六感觉。

△另有俗语形式なんて，意义相同。

①なんておいしいんだろう。／多好吃啊！

なんと 〈副助词〉

などの未完全演化形式。参见“など”项的参考2。

なとなれば 〈接续词〉

同なせなら。用于两句之间，后句是对前项的原因理由的说明。

①必ず悪い結果になるに違いないと信ずる。なとなれば，彼は何をしだしてもすぐいやになる人だから。／我相信结果准好不了。因为他是个什么事情刚开个头就厌烦的人。②三角ABCは等辺三角形である。なとなれば，角Aと角Bは等しいから。／三角形ABC是等腰三角形，因为角A和角B相等。

△和“故に”是反义词。例②可改为：

①角Aと角Bは等しい。故に，三角形ABCは二等辺三角形である。／角A等于角B，故三角形ABC是等腰三角形。

なんとも（何とも） 〈副词〉

1. 和表示语言、思维有关的词语的否定形式呼应，是对引语内容的否定。なん相当于名词，とは是引用，も是提示助词。

①なんとも言えない。／很难说。②向こうは何度も謝るが，こちらは何とも思わないよ。／对方多次道歉，其实我根本没介意。③なんとも返事をしていない。／没做任何答复。④彼からはまだなんとも便りが無い。／尚未得到他的任何音信。⑤なんとも解明がつかない。／一点儿也解释不清。

△个别用法与以上有所不同，和语言思维无关，只表示彻底否定。



①ころんだが、なんともなかった。／摔了一跤，但没怎么样。

2. 在寒暄语中表示惶恐的心情，或表示程度高，加以强调。多和否定、消极用法搭配。

①なんともお礼の申しあげようありません。／真是不知该怎么感谢您。②なんとも失礼した。／实在是对不起。③なんとも感心しました。／佩服之至！

△有时用于寒暄以外的场合，意义相同。

①なんとも大変なことになった。／这可真不得了！

なんら（何等） 〈陈述副词〉

和否定呼应，以坚定、断定的口气表示全面否定。只用于人的行为。

①なんら不思議もない。／没什么可奇怪的。②こんなことをしても，なんら得るところがない。／即使这么做了也是一无所获。

△是“なんらの体言～ない”经の脱落形成。在这种句式中，なんら可用なんの、なにも代替。

①なんら（なんの、なにも）証拠がない／无任何证据。

△なんらか表示不定事物。

①なんらかの理由があるらしい。／似有什么原因。②なんらかの処置をとる。／采取某种措施。

△与说者无动作关系时不能用。

※雨はなんら降らない。

# に 二

## に 〈格助词〉

【接续】 1. 接于体言、各种体言性词组后。

①川には、もう魚がいない。／河里已经没有鱼了。②多くの家屋が強風に倒壊した。／许多户屋因大风而倒塌了。③北海道までには行かないが、青森県ぐらいには行くつもりです。／不到北海道（那么远）去，而青森县（这样的近处）我打算去。④ひもじいのと寒いのはどうしても我慢ができません。／对饥饿和寒冷实在无法忍受。⑤演奏が終わるか終わらないかに、拍手が湧きおこった。／演奏刚要结束就爆发出掌声。

2. 表示目的、评价基准等的に可不借助の直接接于动词、形容词及同型助动词连体形后。

①使うに手ごろな道具を下さい。／给我好用的工具。②老人を喜ばせるには、お酒が一番だよ。／想让老头儿高兴，酒最管用啦。③背が低いにしても、そうばかりにするものではない。／纵使个子矮，也不该太小瞧人家。

3. 表示“来、去”等动作的目的时，可接动词及同型助动词的连用形后。

①本を取りに教室に帰った。／回教室去取书了。②これじゃまるで、叱られに來たみたいだ。／这简直是挨训來了。

【意义】に的用法固然很多，但其根本意义是表示“附着点”，各种用法都可解释成各种“附着点”。～に在句中作连用修饰语。

1. 表示地点、位置。

1) 表示事物存在的地点，包括抽象的位置。

①村の外れにはず小さな店が一軒あります。／村头有一家小店铺。②僕のおばあさんは田舎にいます。／我奶奶在乡下。③方方で搜したけれども、どこにもなかった。／各处都找了，哪儿也没有。④あのやさしかった母も今はこの世にない。／那慈祥的母亲也已不在人世了。⑤その原因

は結局、責任の無自覚にある。／究其原因，没有责任心。⑥この事実には誤りがない。／此事实无误。⑦日本には高い山が少ない。／日本高山很少。⑧台湾に福建系の人が圧倒的多い。／在台湾福建出身的人占绝大多数。⑨5年ほど前のオイル・ショックは記憶に新しい。／约5年前的石油冲击仍记忆犹新。

## 2) 表示行为的结果所存在的地点、场所。

①赤とんぼが物干竿にとまっている。／红蜻蜓在晒衣竿上落着。②大学では数学科に在学した。／在大学曾就读于数学专业。③染子は化粧台の鏡に自分を映した。／染子对着梳妆台上的镜子照了一下自己。④池の中に咲いている蓮の花は、皆玉のように真白でした。／池塘中开放的朵朵莲花象玉石一样洁白。⑤国王は外国に沢山の財産を持っている。／国王在国外拥有许多财产。⑥川には大鉄橋が掛けてある。／河上架着大铁桥。⑦都心近くに10階立てのマンションを買っておいた。／在市中心附近购置了一座10层楼的高级公寓。

## 3) 表示事物出现、消失或被发现的地点、场所。

①まっかな夕日が地平線に沈む。／火红的夕阳降到地平线上。②その障碍は主として精神的欠陥に由来するのである。／其障碍主要来自于精神上的缺陷。③その時，洛中洛外に烈しい飢饉が起った。／当时，京师内外发生了严重的饥荒。④五弦のびわという楽器は，インドに始まったものである。／五弦琵琶这种乐器起源于印度。⑤船はだんだん沖に消えていった。／船渐渐地消失在远海中了。⑥雪の上に遭難者の遺品を見付けた。／在雪地上找到了遇难者的遗物。⑦船は家々を兩岸に見つつ，東へ走っていく。／船目送着两岸的房屋径直向东驶去。⑧子供の髪の毛の生え際，鼻などに，千恵子は夫の面影を見た。／在孩子的发际、鼻子等处，千恵子发现了丈夫的面容。

△下例也可看作消失的抽象场所。严格说是“分离”。

①飢饉のため，親兄弟に離れ，可愛い妻子を失った者は無数であった。／由于饥荒而与父母兄弟离散，失却了娇妻爱子者不计其数。

## 4) 表示移动性动作的接触点、归着点、目的地。

①教室に行き（来、戻り、帰り……）ます。／去（来到、返回、回

……) 教室。②子供が母にすがりついて泣く。／孩子缠住妈妈哭。③登山隊は5千メートルの地点に移動した。／登山队已移动到5千米高的地点。④去年，新しい住まいに移りました。／去年迁到新居。⑤五弦のびわはインドから中央アジアを経て中国に伝えられたものである。／五弦琵琶是从印度经中亚传至中国的。⑥ファッションの展示会にも，音楽会にも出かけません。／既不到时装展览会，也不去音乐会。⑦末の娘はピアノ教室に通っている。／小女儿正在上钢琴学习班。

5) 表示动作、行为进行的地点。带有文言色彩。除谚语等外都可用で代替。

①ちょっとした広場に二三人の子供が遊んでいる。／在小小广场上有两三个少儿在玩耍。②一人でそこに何をしていらっしゃいますか。／您一个人在那儿做什么呢？③こうして二人は幾日か舟に明け舟に暮らした。／就这样，二人在船上渡过了几个日日夜夜。④病床に呻吟している。／在病床上呻吟着。⑤私は子供心にも美しい山だと思った。／我虽不大懂事也觉得是很美的山。⑥瓜田に履<sup>くつ</sup>を納れず，李下に冠<sup>い</sup>を正さず。(谚语)／瓜田不纳履，李下不整冠。

△表示地点的用法还构成惯用词组において、における、には、にある、にとどまる等，见各项。

## 2. 表示时间和场合。

1) 表示动作、行为或状态发生、结束、进行或存在的时间。

①3年前に逝去した。／于3年前去世。②昭和50年に出版した本です。／是昭和50年出版的书。③北海道では，5月に桜が咲きます。／在北海道，5月份樱花儿开。④子供が眠っているうちに，買物に出かけてきた。／趁孩子睡觉的工夫出去买了趟东西。⑤事が事だけによく考えてからにして下さい。／此事非同小可，请你三思而后行。⑥日本の文明<sup>あした</sup>開化は明治維新に始まる。／日本的文明开化始于明治维新。⑦朝には紅顔あってゆうべには白骨となる。(谚语)／人生如朝露。

2) 表示场合，

①結婚式には花嫁は和服，花婿は洋服といったしきたりです。／结婚典礼时，习惯是新娘穿和服，新郎穿西服。②彼は大学入試にも三度



落ちてあきらめた。／他高考三次落榜，死心了。③中国の卓球選手はすべての項目に優勝した。／中国乒乓球选手在所有项目中夺魁。④目撃者の少年の取り調べに保護者を同伴させている。／在查询少年目击者时，让监护人陪伴。⑤春めいた明るい日和に花見に行く。／在春意融融的晴日里去赏樱花。

△用法2 还构成惯用词组“に際して、に当って、における、において”等，见各项。

3. 表示行为、状态的主体，作逻辑上的主语。

1) 作敬语动词的主语。详见“には”项。

①宮様にはことの外お喜びであった。／殿下格外高兴。②母上様にはいかががお過ごしでいらっしゃいますか。／母亲大人生活得如何？

2) 表示具有某种能力的主体，具有限定范围的语气。

①これは、あなたに読める本ではありません。／这不是你能读懂的书。②しかし、私にどうすることができましょうか。／但是，我又有什么办法呢？③そんな仕事は子供にも勤まります。／这个工作儿童也能胜任。④今の自分には、そんな自由はとても望めない。／现在的我，根本不能奢望那种自由。⑤それがいいことだとは私には思えないのです。／我觉得那不是好事。

3) 表示处于某种状态的主体，具有限定范围的语气。

①観光客には富士山が見えた。／游客们看见了富士山。②私には、この狂言が一寸面白かった。／我觉得这段狂言挺有意思的。③梅子さんには、睡眠薬はいらないわ。不似合よ。／梅子小姐可不需要睡眠药，不对路。④市民たちに必要なのは、静けさと、新鮮な空気です。／市民们需要的是宁静和新鲜的空气。⑤中行説には見るもの、聞くものが珍しかった。／中行说对所见所闻均感到新奇。⑥新興住宅地の住人には、地域共同体としての意識が欠けている。／新兴住宅区的居民缺乏地域共同体应有的思想。⑦彼女にはもう生きていく力がなくなっていた。／她已经没有活下去的勇气了。

4) 表示构成一种状态的主体内容。

①牛に比べて、馬は忍耐力に欠けている。／和牛相比，马缺少耐

力。②日本は水資源にめぐまれている。／日本水资源丰富。③若者は経験にはとぼしいが、創意性には、富んでいる。／年青人虽缺乏经验，但富于创造性。

#### 5) 表示被动性动作行为的动作主体。

①犯人は尾行中の捜査員に見つかり、取り押えられた。／罪犯被跟踪的侦察员发现，被捕获了。②小犬は、とうとう子供たちにつかまった。／小狗终于被孩子们捉住了。③法夫は先生に作文をほめられた。／法夫让老师表扬了作文。④新学期の教材編集に追われる毎日です。／每天忙于搞新学期的教材。⑤血と涙にいろどられた生いたち／布满了血和泪的成长史。⑥わしは船着場の附近で敦子にボートに乗せられた。／我在码头附近给敦子带到了小船上。⑦ダヌンチオによって代表されるイタリア文学。／由邓南遮代表的意大利文学。

#### 6) 表示授受关系的主体即授者。除例①外，均可用から代替。

①生徒に帰ってもらいましょう。／让学生回去吧。②これは彼に借りたもので、彼にもらったものではない。／这是向他借的，不是向他要的。③日本語は直接日本人に教わる方がいい。／日语最好是直接跟日本人学习。

### 4. 表示行为动作的各种对象。

#### 1) 表示动作行为的接受者、对象人物。

①父に電報を打った。／给父亲打了电报。②私はポスター書きを浩君に頼んだ。／我把写广告委托给浩君了。③電車の中で、新聞を読んでいる人に話しかけた。／在电车里向一个正在读报的人搭了话。④明日おじいさんに会いに行きましょう。／明天我们去见爷爷吧。⑤わたしに使い方も説明してくれた。／还向我说明了使用方法。⑥相手に負けないで思いっきりやりかえした。／没向对方示弱，狠狠地顶了回去。

#### 2) 表示授受的对象即授受关系中的受者。

①このおはぎを桃ちゃんに上げて下さい。／请把这个黏米饭团给阿桃。②すべての国民に、選挙権を与えよ。／给全体国民以选举权！③僕にも見せて下さい。／也给我看看。

#### 3) 表示心理活动的对象。

①私は彼の馬鹿正直にあきれている。／我真想不到，他这样死心眼。②妹はもう小学生なのに，なお母にあまえている。／妹妹都是小学生了，可还向妈妈撒娇。③物事に熱中すると案外疲労しないものです。／对什么事情热中起来反而不疲劳。④清水君は虹の美しさに見とれた。／清水君被彩虹的美丽迷住了。⑤私は弟に学者になってほしい。／我希望弟弟成为学者。⑥小鳥はようやく彼になついたし，彼も小鳥に親しむようになった。／小鸟终于跟他熟了。他也和小鸟亲近起来了。

#### 4) 表示使役的对象。

①北京には誰に行かせましたか。／上北京让谁去了？②恩師に恥をかかせるとは持てのほかだ。／让恩师蒙辱，真是岂有此理。③彼の行動は多くの人に反感を起させました。／他的行动引起了许多人的反感。

#### 5) 表示关联、涉及到的事物。

①医学は人命にかかわる大事な学問です。／医学是事关人命的重要学问。②両国の協力は世界平和につながる。／两国的合作与世界和平相关。③石油危機にひんしている。／濒临石油危机。④これに関連して，首相は次のように述べた。／与此相关联，首相作了如下的发言。⑤日本海溝は北はカムチャッカ半島から，南は小笠原諸島に及んでいる。／日本海沟北起堪察加半岛，南至小笠原群岛。

6) 表示动作行为的对象事物，亦即“受事”。是动词本身的性质决定的，只能和动词一起记住，无法类推。

①誰もこの計画に反対（賛成）しません。／谁也不反对（赞成）这项计划。②中日友好協会の招きに応じて，中国を訪問した。／应中日友协的邀请访问了中国。③祖国の呼びかけに応える。／响应祖国的召唤。④潮流に逆う。／逆潮流。⑤以上の諸氏に感謝したい。／对以上诸位表示感谢。⑥人衆<sup>おお</sup>ければ天に勝つ。（谚语）／人众则胜天。

△此用法还构成惯用词组“に関する、について、に対して、に反して、にかかわらず”等，见各项。

#### 5. 表示结果。

##### 1) 表示动作、行为或状态转换、转变的结果。

①寝巻きに着かえた。／换上睡衣。②娘が医者になった。／女儿成

了医生。③娘を医者にしたい。／想把女儿培养成医生。④戦争で人々は惨めな生活に陥ちこんだ。／由于战争人们陷入了悲惨的生活。⑤難病にかかっている。／患了难治的病症。⑥イギリスの地中海における地位にかわって、アメリカは覇者にのしあがった。／美国取代英国在地中海的地位，一跃成为霸主。⑦日本語に訳する。／译成日语。

## 2) 表示行为的各种结局、归宿。

①直角に交わる直線／相交成直角的直线。②私も男に生まれたら、きっと学者になる。／我若生而为男子，必成学者。③首脳会談は5月7、8日に決定された。／首脳会谈定为5月7、8日。④二人は結局、いざこざの末、結婚にゴールインした。／二人在纠葛之后终于结了婚。⑤娘を嫁に出した。／把女儿嫁出去了。

## 3) 表示心理活动的结果内容。

①私はそちらの態度を疑問に思う。／我对对方的态度感到怀疑。②人間が人間に見えない。／人不象人。③むっつりして晴々した姿に見えない。／绷着脸，看上去不是很高兴的样子。④この文章は正に女性の世論を代弁したものに思えた。／这篇文章令人觉得就是代表妇女舆论的。

△此用法还构成惯用词组にする、になる、ことにする、ことになる、にしては、にせよ等，见各项。

## 6. 表示行为目标、目的。有以下三种形式。

### 1) 接体言（性词组）后，多接动作性名词后。

①工場の見学に行く。／去参观工厂。②買い物に出かける。／去买东西。③彼は映画に行ったよ。／他看电影去啦。④お客さんたちは、帰り仕度につぎつぎと席を外した。／客人们为准备回去纷纷退席了。⑤気を静めるのに顔を洗おうかと，邦枝は洗面所に入った。／邦枝想洗洗脸来平静一下心情，走进了盥洗室。⑥父の折かんを逃げるために，正夫は嘘をついた。／为逃避父亲的责骂，正夫扯了个谎。

△ために详见另项。

### 2) 接于连体形后。

①訪ねるに手ぶらでは悪いだろう。／空着手访问不好吧？②外国人に教えるにも，日本人の心理の伝達が重要です。／传授日本人的心理在



教授外国人时也很重要。③これを話すにはこのへんから始めましょう。  
 /要讲这件事,就让我们从这儿开始吧。④吉<sup>きち</sup>祥<sup>じょう</sup>日<sup>にち</sup>とは陰陽家で何事をするにも吉とする日のことである。/所谓吉祥日就是阴阳家认为做什么事都吉利的日子。⑤駅に行くにはどう行ったらよろしいでしょうか。/请问要到车站去该怎么走? ⑥鶏を割くに何ぞ牛刀を用いん。(谚语) /杀鸡焉用牛刀。

△还构成～に(も)～ない的同词反复形式,表达想达到而达不到的目标。

①余りの情なさに、怒るに怒れなかった。/太不象话,想发脾气也发不了。②電車が込んでいて、降りるにも降りられなかった。/电车很拥挤,想下却没法下。③彼は引くに引かれぬ立場になった。/他陷入了骑虎难下的境地。④大学を出てもろくに漢字を使いこなせないから、笑うに笑えない。/大学毕业却不能熟练地使用汉字,让人哭笑不得。

3) 接动词连用形后,多后续移动性动词。

①映画を見に行った。/看电影去了。②平岡も、代助の様に、よく菅沼の家へ遊びに来た。/平岡也和代助一样常到菅沼家来玩儿。③染子は、ハンドバッグを拾いに部屋に戻った。/染子又回到房间来拿手提包。④忙しい時など、生徒たちも手伝いに送られてくる。/繁忙的时候,学生们也被派来帮忙。⑤50カラットのダイヤが売りに出された。/出售有50克拉的钻石。⑥代助の方でも、門野を教育しに生まれて来たわけでもない。/从代助方面讲,也不是专门为教育门野而出生的。

7. 表示基准。

1) 表示比率的基准。

①料理教室は週に3度ずつです。/烹饪学习班每周三次。②国民10人に3人は児童です。/10名国民中3名是儿童。③保育費は子供一人につきただ2.5元だけです。/托儿费每一名儿童只收2.50元。④10キロの原料に6キロの水という割合でやりなさい。/请按10公斤原料兑6公斤水的比例来做。

2) 表示比较的基准。

①正夫は母に似ている。/正夫象母亲。②AはBに等しい。/A等

于B。③博士は今人間に遠い下等動物から、人間に近いサルに至るまでの集団と個体の生活を比較研究している。／博士现正对从远离人类的低等动物直至近于人类的猴子的集体和个体的生活进行对比研究。④1キログラムにはほんの少し足りない。／只差一点儿不足1公斤。⑤国際勤労婦人デーに先がけて上海・蘇州などの都市をまわってみた。／在国际劳动妇女节前夕,到上海、苏州等城市转了一圈。⑥日本語ができるなら、それにこしたことはない。／如果会日语,可再好不过了。⑦夏はゴム靴に限る。／夏天穿莫过于胶鞋。⑧その仕事は私の力に余ります。／这项工作我不胜任。⑨婚期に遅れる。／错过婚期。⑩帯に短し、<sup>たすき</sup>襷に長し。(谚语)／高不成,低不就。

△作修饰成分时有时省略。

①不作の続いた30年代は大干ばつ時代で、この地域は50度近い毎日が続いた。／连续歉收的30年代是严重干旱的年代,这个地区每日持续高温接近50度。

3) 表示判断性评价的基准。

①このくつは六つの子供には大きすぎる。／这鞋对6岁的孩子太大。②あの奥さんはいかにも彼にふさわしい。／那位太太对他很般配。③松も竹も霜や雪に強い。／松和竹都耐霜雪。④この薬は頭痛によく利く。／这药对头痛很管用。⑤私に有利だ。／对我有利。⑥スポーツに長じる。／擅长于体育运动。⑦そんなことをしては彼に悪い。／那么做对他不好。⑧赤いリボンと白いワンピースは正ちゃんによく似合います。／红色发带和白色连衣裙对正娃很合体。⑨勉強とスポーツに一番いい季節がやってきました。／最适宜于读书和体育活动的季节来到了。

△以下是接动词连体形的例子,多为惯用形式。

①取るに足らぬ出来事／不值一提的事。②足は前に進むに重い。／腿沉重得难以迈步。③円治は智者を部下として使うには疑い深い。／圆治把智者用作部下,则太多疑了。④にがい思い出は、たしかに熊さんの心を傷つけるに充分でした。／这苦涩的回忆确实足以刺伤阿熊的心了。⑤彼の成功は敢えて驚くに当たらぬ。／他的成功不足为奇。⑥わざわざ見送るには及ばない。／不必特地送行。

△此用法还构成如下惯用词组：にちがいない、にはかならない、にすぎない、にとって。见各项。

## 8. 表示动作、状态的出处、起因、原因。

### 1) 表示产生心理和生理现象的起因。

①金に困る。／没钱花。②病気に苦しむ。／苦于病痛。③不審に堪えない。／大惑不解。④貧血症になやむ。／为贫血病而烦恼。⑤苦笑に顔がゆがむ。／因苦笑歪斜着脸。⑥希望に胸がおどる。／心里充满着希望。⑦金と色に目がくらむ。／因金钱美女失去理智。⑧飢えと寒さにふるえる。／因饥寒而发抖。⑨やり場のない怒りに体を震わせた。／因无处发泄的怒火而颤抖。⑩私はうれしさに、子供と一緒にびよんびよん飛んで笑った。／我高兴得和孩子们一起连蹦带跳地笑着。

### 2) 表示使某物处于某状态的凭借物。

①血にまみれる。／沾满了血。②舟が波にゆれている。／船在波涛中摇摆着。③赤旗が風になびいている。／红旗随风飘舞着。④雨に煙る春の日／烟雨迷离的春日。⑤朝日にきらめく那覇の海面／朝日下闪烁的那霸海面。⑥母の日はたちまち涙に濡れた。／母亲的眼睛立刻噙满了泪水。

### 3) 表示根据、出处。

①人づてに聞けば、彼女は結婚しているそうだ。／听旁人说，她已经结婚了。②日本製の国字は会意の方法によっている。／日本造的“国字”是根据会意的方法。③ベチューン医師の名にちなんで、ベチューン病院と命名した。／取白求恩医生的名字，命名为白求恩医院。④これは諺に云う群盲の象を撫でるようなものです。／这犹如谚语中说的“瞎子摸象”。

### 4) 表示发生某种行为、动作或状态的转机。

①軽快な音楽につぎつぎに立ちあがって民族舞踊を踊ります。／随着轻快的音乐，纷纷站起来跳起民族舞蹈。②「道子、お部屋の仕度を」村長の言葉に、夫人はすぐ立って部屋を出ていった。／“道子，收拾房间。”村长的话一出口，夫人马上站起来出了房间。③松川の声に、紅子はドアの脇に歩みよってスイッチを消した。／松川一出声，红子就走到门旁把开关闭了。④金大中氏への判決と特赦に思う（标题）／有感于

对金大中先生的判决和特赦》。⑤日本は英米の反対に条約の一部を訂正した。／日本由于英美的反对修正了条约的一部分。

△此用法还构成惯用词组による、ゆえに、だけに、ばかりに、ために等，见各项。

9. 构成副词或副词性句节，表示动作、行为进行的方式、方法和状态。

1) 构成ニ型状态副词。如“特に、ことに、いかに、すでに、単に、別に、つねに、直ちに、お互いに、時に（は）、次第に、一瞬に、ついに、現に、世に、俗に、手に手に、一緒に”。

2) 用于名词等后，构成相当于状态副词的副词节，表示状态。构词数量也相当大。

①上眼使いにこちらをねらっている。／翻着白眼儿盯着这边。②一気に読み終わった。／一口气读完了。③とうとう男泣きに泣き出した。／忍不住流下了男儿少有的泪水。④看護婦が小走りに近づいてきた。／护士小跑着来到跟前。⑤小刻みに歩いている。／碎步紧倒地走着。⑥暫くはよい心持に坐っていた。／半晌坐得很愉快。⑦山々を遠目に眺めます。／远远地眺望群山。⑧妙子は思わせぶりに間を置いた。／妙子煞有介事地停顿了一下。⑨病気は日ごとによくなっている。／病情在一天比一天好转。⑩女は、これ見よがしに、ハンドバッグから分厚い札束を取り出した。／这女人得意洋洋地从手提包里掏出一大叠钞票。⑪電流が一秒間に一方向きに流れる回数をヘルツで表わす。／把电流每秒单向流动的次數用赫兹来表示。⑫トラックとすれ違いに馬車がやってきた。／紧擦着卡车过来一挂马车。⑬三千代は廊下伝いに座敷へ案内された。／三千代被沿着走廊引到客厅。

△此用法还构成惯用词组せずに、とともに、ほどに、ばかりに、ぐらいに、いじょうに等，见有关项。

10. 表示资格、地位、名义、名目。一般能用として代替。从结构上可大致分成以下三种。

1) を～に～和～に～を～形式。

①紺野は教師を父に持つ三姉妹の二女である。／紺野的父亲是教



师，她是三姐妹中的二女儿。②民青は21万数千人をメンバーに持つ。／民主青年同盟拥有21万数千人作为盟员。③片岡さんは、札幌のある酒屋の長女に育った。／片岡女士是作为札幌市一家酒店的长女长大的。④賞品にボールを一つもらった。／作为奖品得了一只球。⑤お金を受け取った証拠に印を押す。／盖章作为收款的证据。

## 2) ～に～がある形式。

①世界の偉大な医学者の中の一人に，わが国の北里柴三郎<sup>きたざとしはさぶろう</sup>があります。／在世界伟大的医学家中，有一位便是我国的北里柴三郎。②その三番目の子に，桜太郎という男の子がありました。／排行第三的是个叫樱太郎的男孩儿。

## 11. 以～ことに～形式表示对后述内容的主观评述、引导。

①そのうえ悪いことに，ローンが住宅金融専門会社から断られてしまった。／更糟的是，贷款被住宅金融专业公司拒绝了。②まもなく，老女の家の<sup>さんばし</sup>棧橋が見えてきた。驚いたことに，老女は庭先に立っていた。／不一会儿，就望见老妇家的栈桥了。令人惊奇的是，老妇就站在庭前。③厄介なことに……／麻烦的是……④うれしいことに……／高兴的是……⑤さいわいなことに……／所幸……

## に 〈接续助词〉

【接续】1. 接动词、形容词终止形。

①よせと言うに，よさないのか。／我让你别干，你还干！②早く来ればいいに，まだ来ない。／早点儿来多好，可还不来。

△下例的には格助词，接连体形后。

①融通自在というのは方法論がないというにはほぼ等しい。／所谓随机应变几乎等于无方法论。

## 2. 接助动词（よ）う后，有时接まい、た终止形后。

①折もあろうに，こんな時にやってきた。／什么时候还不行，偏赶这个时候来。②待っていたに，とうとう来なかった。／一直在等，却到底没有来。

【意义】1. 接动词终止形后，表示后项认识的获取条件或方式。有些文言色彩。

①思うに、これは彼らの計画的な犯行である。／想来，这是他们的有计划的犯罪活动。②読んでみるに、論理の欠陥が数個所発見される。／读后发现几处逻辑上的漏洞。③喜助の様子を見るに、いかにもおとなしい。／看喜助的举止，他非常老实。④正太郎の母の言うには、このあたりは古戦場です。／按正太郎的母亲说的，这一带是古战场。⑤死体を検するに、後頭部に鈍体で形成された傷が認められる。／验尸结果表明，后头部有用钝器造成的伤。⑥要するに／总之；要之；总而言之。⑦察するに／察；我想。

2. 表示后项的实际结果与前项中的推测、期待相反。多有懊悔、不满的语气。

①皆と一緒にゲラゲラ笑って幕に出て来たでしように、自尊心の強い秋男にはそれが出来ません。／按说，和大家一起咯咯笑着亮相了，可是自尊心强的秋男却做不到这一点。②校内でははきはきしているだろうに、学校を出ると悪いことばかりする。／在校内还是聪明伶俐的吧，可是一出校门尽干坏事。③よせばいいに、仲裁をかって出た。／拉倒得了，偏要自告奋勇去劝和。

△除上述だろうに、でしように外，惯用的还有あろうに形式。

①人もあろうに，10も上の女と結婚した。／居然和个大10岁的女人结婚了。②時（或：折）もあろうに，ラッシュ・アワーに停電してしまった。／早不停，晚不停，交通高峰时却停电了。③こともあろうに，人の悪口を一日中する。／干什么还不好，偏要一天到晚说人家坏话。④場所もあろうに，こんな所で言わないことよ。／又不是没别的地方，不要在这里说。

△下例是格助词に，但にもの形式也有逆接意义。

①呼ぼうにも声が出ない。／想喊却喊不出声音来。②座ろうにも場所がない。／想坐也没地方。

3. 以～には～的同词反复形式表示一种让步（部分肯定）关系。

①飲むには飲むがワインぐらいしか出来ません。／喝倒是喝，可是我只会喝葡萄酒什么的。②ほしいにはほしいが，今のところは要らない。／确实想要，不过现在不要。

## に 〈并列助词〉

【接续】接体言、体言性词组合，构成AにBに和AにB两种形式，以后者为主。

【意义】1. 表示对同种事物的穷尽的累加。

①インクは黒いのに青いのに赤いのがあある。／墨水有黑的、蓝的和红的。②私の家族は両親に家内，そして三男二女です。／我家里人有父母妻子，另外三个男孩儿两个女孩儿。③島に，船に，かもめが，遠くに見える。／举目远眺岛屿、船和海鸥。④うめに桜に，桃にかきに，まだありましたね。／有梅和樱，有桃和柿，还有过别的吧。

2. 表示相关事物的对照性并列，用于相称的、相配合的二者之间。谚语中常用。

①白い砂浜に緑の松林が何とも言えない美しさだ。／绿色的松林映衬着白色的海滩，真是无法形容的美。②ぼたんに唐獅子<sup>からしし</sup>，竹に虎の掛軸<sup>つめえり</sup>が掛けてある。／挂着狮戏牧丹，虎啸竹林的挂轴儿。③散髪に詰襟<sup>つめえり</sup>の洋服という清五郎の姿はすっかり板についている。／清五郎散发配立领西装的打扮非常得体。④中には白に紅霞輪<sup>こうかりん</sup>の花色も見られる。／其中还可见到白底带红边的花色。⑤この和歌は，梅に鶯，柳に燕というその季節の特色をよく表わしている。／这首和歌很好地表现了这个季节的特色——梅花对黄莺，柳丝对燕雀。⑥東男に京女。(谚语)／京都的婆娘关东的汉。

3. 以～に～的同词反复形式表示动作的持续，反复、强化。

①家内揃って笑顔に笑顔で，無病息災ほど有り難いものはない。／没有比合家俱欢、无病无灾更宝贵的了。②工夫に工夫をつんで，ついに成功した。／想千方设百计，终于成功了。③我慢に我慢をしている。／一忍再忍。④考えに考えたうえで学業をやめて帰国することに決めた。／经过反复考虑，决定放弃学业回国。⑤ひた走りに走ってやっと間に合うことができた。／一个劲儿地跑，总算赶上趟了。

△ひた～に～还是惯用形式，如“ひた漕ぎに漕ぐ／一个劲儿地划，拼命地划”。

## に 〈终助词〉

【接续】只接于助动词（よ）う的终止形后，构成惯用词组～（よ）うに、～でしょうに、～だろうに、～たろうに等。

△偶尔接まい后。

①お客さんが来てからは仕度をしてても遅くはあるまいに。／客人来了之后再做准备也不晚嘛。

△偶尔接动词、形容词及助动词た后，可用のに代替。

①うるさい女だな，意味も何も無いと云うに。／你这个女人真是缠人！我不是说没别的意思了么。②僕にちょっと言ってくれたら，教えてあったになあ。／当时如果和我说一声，我本来会告诉你的。③速く帰ってしまえばいいにと思いました。／心想：他赶快回去多好。

【意义】接续助词意义2省略后项造成的。表示实际情况和假定、期待的理想情况相反，有懊悔的语气。

①どうしてバルザックの小説を読みませんか。ずっと面白いでしように。／你为什么 unread 巴尔扎克的小说。很有趣儿的嘛。

△多用～ば（或たら）～に形式表示对希望发生而没有发生的事的懊悔。

①あなたが手伝ってくれば，もううまくできたでしように。／你若帮个忙，早该顺利完成了。②道草をしなかったら，間に合ったろうになあ。／不在路上耽搁，本来来得及的。

△偶尔表示多亏没做某事而没有引起不良后果，有侥幸的语气。

①もし，あの車両に乗っていたら，死んでいたであろうに。／如果坐了那个车厢，怕是已经死了。

にあたる（に当たる） 〈词组〉

由格助词に、动词あたる的活用形和活用词组构成。除实义用法外，主要有否定形式にあたらない、にあたりません和连用形式にあたって、にあたり（文章）、にあたりまして（敬体）。

【接续】接体言、动词连体形后。

【意义】1. 表示行为的特定时间和场合。

①出発にあたって一同に訓示した。／临出发时对大家训了话。②問題を討議するにあたっては，相手の気持ちを害さないようにするもので



す。／在讨论问题时应注意不伤害对方的感情。③筆をさしおくにあたって、先生からもっと多い作品を書くようにとねがってやまないのをごさいます。／在搁笔之时，我再一次衷心希望先生写出更多的作品来。

△にあたって与にさいして区别很小，一般当前接词是非动作性名词时最好用にあたって。

①年頭に際して（→にあたって）決意を新たにしたい。／新年伊始，我要更加努力。

## 2. 以否定形式表示不必、不值得做某事。

①そうするにはあたらない。／不必那么做。②何も心配するにはあたりません。／没有必要担心。③わざと迎えたりするにはあたりません。／不必专程迎接。

### にある 〈词组〉

由格助词に和动词ある组成的词组。活用同ある。

【用法】1. 实意动词ある的抽象用法，表示问题所在（例①）、位置状态（例②、③）。

①昇進するもしないも君の腕にある。／提升不提 升都 在于你的能力。②外交の力は経済力と密接な関係にある。／外交的力量和经济能力有密切关系。③今両国は戦争の最中にある。／目前两国正在进行战争。

## 2. 文言判断助动词なりの分裂形式，表示判断。按现代语活用。

①白馬は馬にあらず。／白马非马。②会長は我らに臨時調査会にして合評会にあらざるを注意したり。／会长提醒我等此乃临时调查会而非评定会。③作法の美しい人にあつたのに驚いて，今も覚えている。／没有想到他举止如此典雅，使我至今记忆犹新。

## 3. 以“にあつては”形式表示问题的范围、场合、立场等。

①日本人は二心あることを恥とする。特に武士にあつてはそうなのである。／日本人以怀有二心为耻。在武士中更是如此。②山田博士にあつては，陳述作用とは，話し手の行う判断又は断定の作用をいう。／在山田博士那里，所谓陈述作用指的是说者所进行的判断或断定作用。

### において 〈格助词性词组〉

由格助词に、动词“於く”的连用形、接续助词て构成。接于体言

后，可后续の、は、も、さえ、のみ等。

【意义】主要用于文章或演说中，在句中作连用修饰成分，而作连体修饰成分时要用における（另项）或においての形式。在一般口语中几乎都可用で代替。

#### 1. 表示动作或状态持续或出现的地点、场面。

①卓球試合は名古屋において行われている。／乒乓球比赛正在名古屋举行。②とくに，発展途上国において，人口増加の傾向が著しい。／特别是在发展中国家人口增加的趋势很明显。③北半球においては，低気圧の所では，風は左廻りになっている。／在北半球，在低气压地区，风向是逆时针的。④この件は委員会においてすでに審議されたことだ。／这个问题已经在委员会上审议过了。

#### 2. 表示问题所在和方面，也可看成抽象化了的地点。

①この点においては，色々な論文が発表されている。／在这个问题上，已有许多论文发表。②日本語は情意的体験の表現において優れ，知的<sup>ふんべつ</sup>分別において劣っているという。／据说日语在情感性体验的表达方面见长，在学理性的表述方面见绌。③国際社会においての日本人のイメージ。／日本人在国际社会中的形象。④数学において彼の右に出る者はない。／在数学上没有人超过他。⑤緑化は環境の美化においては勿論，空気汚染の浄化においても大きく寄与している。／绿化对于美化环境自不待言，在净化空气污染方面也有很大作用。⑥憲法において明確にされている基本的人権。／宪法中明确规定的基本人权。

#### 3. 表示问题发生的时间和场合。

①盗難は特に12月において多い。／失盗尤其多发于12月份。②君の夢は近い将来において必ず実現するだろう。／你的理想在不远的将来一定会实现的。③容疑者の取調べにおいては，男より女の方がはるかに手強い<sup>てこわ</sup>。／在嫌疑犯的审讯上，女的远比男的难对付。

#### 4. 表示某人物的立场，使该人物成为实际上的主体。

①科学者においても解明できないことはあるだろう。／即使科学家也会有无法解释的事吧？②警察所長において許可する。／由警察局长批准。③私においては毫も異存はない。／我没有丝毫异议。④それは現

代人においてはよしとされている。／一般认为这在现代人是行得通的。

【参考】1. 用法4 还有敬语形式におかれましては。

①会長におかれましてはお元気でなによりでございます。／会长先生健康，这太好了。

2. 以上各种用法都有敬体形式におきまして，多用于郑重场合上的演说。

①経済面におきまして，われわれ両国はすでに密接な関係を結んでいるのであります。／在经济方面，我们两国已经建立起密切的关系。

における 〈词组〉

由格助词に、动词“於く”的已然形、文言助动词りの连体形构成，可看作一固定的语言单位，用于名词后。

【意义】主要用于文章和讲演。一般只构成后续名词的连体修饰语，可用においての代替。

1. 表示后续内容所处的地点、时间、场合、范围、方面等。和での大体相当。

①文学史における地位。／在文学史上的地位。②学校における教育。／学校中的教育。③ロサンゼルスにおけるオリンピック大会。／在洛杉矶举行的奥运会。④現行制度における欠陥。／现行制度中存在的缺陷。⑤政治問題における知識が足りない。／缺乏有关政治方面的知识。⑥その時の社会における人権蹂躪を暴露する。／揭露当时社会对人权的蹂躪。⑦ただいま今朝六時における台風の進路を申し上げます。／现在报告今晨六点的台风的移动路线。

2. 以～の～における形式表示某物对某物的关系。与汉文言“之于”相当。

①葉の植物に於けるは肺の動物に於けるがごとし。／叶子对植物之关系犹如肺之于动物的关系。②民衆の軍隊におけるは猶水なおの魚におけるがごとし。／民众之于军队犹如水之于鱼。③文芸の士の没するや，その没後に墓穴を守る門下の群小なかるべがらず。正岡子規まさおかしきの「アララギ」同人における，また徳田秋声の中村武羅夫むらおにおける，皆この事実を証するに足るべし。／文艺之士之歿，歿后不可无守墓穴之门下群小。正

岡子規之于《山蒜歌刊》，德田秋声之于中村武罗夫，皆足证此。

### に及ぶ ニオヨブ 〈词组〉

由格助词に、五段动词“及ぶ”构成。接体言、体言性词组、动词连体形后。

【意义】1. 表示达到的地点、时间、数量等。

①流感は全国に及ぶ。／流感波及全国。②会期は三週間に及ぶ予定です。／会期预定三周。③費用は三百万円に及んだ。／费用达三百万日元。④談たまたま政治に及ぶ。／谈话时而涉及到政治。

2. 以否定形式表示事物的发展还未达到需要采取某个行为的程度。

①心配するには及ばないことです。／这件事你不必担心。②もう大分直ったから入院しているには及ばない。／已经好了许多，所以不必继续住院了。③殿下は「それには及ばない」とおっしゃった。／殿下说：“不必如此”。④碁は言うに及ばず，マージャンに進出している中学生もあるということだ。／围棋自不必说，据说还有的初中学生已经向麻将发展。

3. 以否定形式表示事物的程度远远超出人的能力。

①試験のきびしさは想像に及ばない。／考试之严超乎想象之外。②その仕事は私の力に及ばない。／这件工作我力所不及。

4. 以否定形式表示A B比较起来A（は）的程度不及B（に）。

①工業にかけては日本はまだアメリカに及ばない。／至于工业，日本仍赶不上美国。②英語では彼に及ぶ者はない。／英语没有人抵住他。③他の者は彼の足元にも及ばない。／其他人还赶不上他的一个犄角儿。④以前の美しさには遠く及びません。／远不及以前的漂亮劲儿。

△另有惯用的におよびもつかない，语气更强。

①数学にかけては，彼にはとても及びもつかない。／在数学上，就对他望尘莫及了。

5. 表示时间的推移达到发生某事件的情况。

①いざ試験という時に及んで病気になって入院した。／到了真要考试的时候却得了病住院了。②王莽は在位15年。漢の劉秀が長安に入るに及んで敗死。／王莽在位15年，至汉刘秀入长安而毙命。



## 二音節形容詞 ニオンセツケイヨウシ 双音节形容词

指由两个音节构成的形容词。有：無い、良い（いい、よい）、濃い、酸い、憂い，另外还有属于助动词的ない、たい，其中酸い、憂い几乎不单独使用，多接接辞构成多音节词用：すっぱい、ものうい。可见双音节形容词极少，日语大部分形容词有三、四个音节。

【语法特点】主要是“よい、ない、こい”这三个双音节形容词以及由它们参与构成的复合形容词，如：<sup>こころよ</sup>快い、気持よい、ほどよい、みめよい、こころよい；情けない、さりげない、たよりない、かぎりない，等等，具有和其他形容词不同的特点。

1. 后续样态助动词“そうだ”时要加“接中辞”“さ”。

①何もすることが無さそうだ。／好象没什么可做的。

良さそうだ。濃さそうだ。情なさそうだ。

“濃さそうだ”用法没有“濃そうだ”使用普遍，而更普遍的用法应该是“濃いようだ、濃いらしい”。

由于类推作用，助动词“ない”也有说“なさそうだ”的倾向。

①お昼までには着けな（さ）そうだ。／好象中午以前是赶不到了。

2. 除“無さ、良さ、濃さ”属于词干用法外，再无别的词干用法。如※良め（良い目）、※濃茶（濃い茶）。

に限る ニカギル 〈词组〉

由格助词に和五段动词“限る”的活用词组构成。形式较固定，接体言和用言（形容动词除外）的连体形后。

【意义】不同的活用形式往往表示不同的意义。

1. 未然形词组にかぎらず。

1) 用于疑问词后，表示同类事物无一例外。

①いかなる者に限らず，皆歩いていくこと。／无论任何人，都要步行前往。②何事に限らず，関係担当者の許可を得なければならぬ。／所有事情都必须取得有关负责人的批准。

2) 接其他体言后，表示不限于此。相当于だけでなく。

①この二国に限らず総ての西域諸国が匈奴の重斂に耐えかねた。／不只这两国，所有西域诸国都难以忍受匈奴的重斂。②ガラガラ蛇に限

らず、音で敵を驚かす動物はほかにも多くいる。／不光是响尾蛇，此外还有许多动物用声音威吓敌人。

2. 连用形にかぎり、词组にかぎって（は），表示例外适用的范围。具有副助词意义。

①小学生に限り，無料入場が許されている。／只有小学生被允许免费入场。②彼女に限って，落第することはない。／她例外，不可能落榜。③いつも朗らかな彼が今日に限っては曇った顔でした。／平日他很爽朗，唯独今天愁眉不展。

3. 终止形及词组。

1) 以肯定形式表示最佳条件。

①旅行は秋に限る。／旅游秋天最好。②夏は海水浴，冬はスキーに限るとよく言われている。／人们常说夏天最适宜海水浴，冬天最好是滑雪。③疲れた時には，ビールでも飲んでぐっすりねむるに限るよ。／累了的时候，喝点儿啤酒酣睡一场最美了。④ああいう人物に尊敬されるには博士になるに限るよ。／想受那种人尊敬除非当博士。

4. 以～ない（或：ぬ）にもかぎらない形式表示未必是如此不良结果。

①人の運が開けるものなら，善い人に出逢わぬにも限りません。／人如果时来运转，不一定碰不上好人。

にかけて 〈词组〉

由格助词に、动词“掛ける”的连用形、接续助词て构成。接于体言后。

【意义】1. 常以～から～にかけて的形式表示持续的时间空间方面的大致界限，与明确表示界限的から～まで不同。

①春から夏にかけてよく雨が降った。／从春到夏下了很多雨。②北米から南米にかけて空路旅行をした。／从北美到南美乘飞机作了旅游。

△也用～から～へかけて形式。

①庭から向こうの店のあたりへかけて何十台もの乗用車が停車している。／从院子到对面的商店附近，停着几十辆轿车。

△から～にわたる和から～にかけて意义相近，都表示起讫点之间的

整个连续范围。但前者表示一个不分先后起讫的整体,后者有从起点按顺序到终点的意思,所以前者能而后者不能去掉“～から”部分单独使用。试比较:

① 3時から5時にかけて、会議が行われた。／从3点到5点举行了会议。② 3時から2時間にわたって会議が行われた。／从3点起举行了历时两个小时的会议。

2. 同にかけては、表示评论的范围。

① 言語記号は、第一、数の多いことにかけて、ほかの記号とは雲泥の差があります。／语言符号首先在数量多这一点上与其他符号有天壤之别。

にかけては 〈词组〉

由格助词に、动词かける的连用形、接续助词て、提示助词は构成。接体言或用言连体形后,表示后述内容的关联话题范围。同～点では、～に関しては。

① 遊びにかけては、彼らは天才といえる。／在娱乐方面,他们称得上天才。② 作文にかけては、男の子は女の子にとってもかないません。／一到作文,男孩子怎么也敌不过女孩子。③ ラテン語を読むにかけては、彼は私よりずっと上手だった。／至于读拉丁文,他当时远比我水平高。

△有时也用にかけて、にかけると形式。

① この道にかけると、日本中どこを捜しても彼ほど<sup>たんのう</sup>堪能な人はいないと思う。／若说此道,我想全日本也找不出精过他的。

に関する ニカンスル 〈词组〉

由格助词に、サ变动词“関する”的活用词组构成。常用にかんして(连用)、にかんする(连体)和にかんせず(副词性句节)三种形式。

【接续】接体言后。

【意义】1. 表示有关的问题、方面、题目。

1) にかんして形式。

① 大統領は軍縮問題に関して意見を発表した。／总统针对裁军问题发表了意见。② この点に関しては、どんなご感想ですか。／对这一点,

您有什么感想。③若い人たちは、運動神経に関しては勘がいい。／就运动神经而言，青年人非常敏捷。④計画に関しての許可はまだ得ていない。／尚未得到对计划的批准。

## 2) にかんする形式。

①日本文学に関する論文／关于日本文学的论文。②その問題に関する正確な資料が得られない。／得不到关于这个问题的准确资料。③言葉に関する限り，私はあなたに教えるべきものを何も持っていない。／就语言来说，我没有任何东西值得教给你的。

## △にかんする有时也用于句末。

①以上は，すべて最狭義の「言語」の研究方法に関する。／以上都是关于最狭义的“语言”的研究方法的。

2. 以にかんせず形式表示前项中所提任何条件均与后项的成立与否无关。相当于にかかわらず的用法1。

①天気のよしあしに関せず，正常飛行が保証できる。／能够不受天气好坏的影响保证正常飞行。②実力のいかに関せず会社の幹部に抜てきするようなことはしない。／不搞不问水平如何就提拔为公司干部这类事。③年齢・性別・民族・社会的地位のいかに関せず法律の前には，万人平等である。／不论年龄、性别、民族和社会地位如何，在法律面前人人平等。

## にくい（難い） 〈接尾辞〉

形容词型活用。接动词连用形后，意义与やすい相对。

1. 表示由于客观原因，人的动作难以实现。

①この本は漢字が多すぎて読みにくい。／这本书汉字太多，难读。  
②飲みにくい薬を飲まされた。／不得已喝了难喝的药。

2. 表示客观事实本身具有难以成立或进行的倾向。接于非人事动词后。

①電気の流れにくい物質もあれば，その流れやすい物質もある。／有的物质电流难以通过，而有的物质容易通过。②テترونなどの製品は汗を吸収しにくい難点がある。／的确良等制品有吸汗性差的缺点。

⇒がたい、づらい



## にさいして（に際して） 〈词组〉

由格助词に、动词“際する”的连用形、接续助词て构成。形式比较固定，相当于一个助词。

【意义】以にさいして（は）和にさいしての形式分别作连用、连体修饰语，主要接于动词和动作性名词后，表示后续的动作行为的时间场合。

①卒業に際して一言述べさせていただきます。／在毕业之际，请允许我讲几句话。②改革に際して，人々は自分の内在能力を認識し直そうとしている。／面临改革，人们都在试图重新认识自己的内在能力。③開会に際してのあいさつは3分間にします。／开会的致辞规定为3分钟。

【参考】另有敬体形式にさいしまして。

## にして 〈词组〉

取“にして”形态的词组情况复杂，为便于掌握，以下做一个大致的分类。各个にして都可看作固定词组。

## 1. 某些活用词连用形に和接续助词して。

1) 形容动词连用形に和して的组合。同中顿形で或副词形に。

①その掟<sup>おきて</sup>は簡単にして実行し易い。／这规章简单而易行。②「いろは歌」に含まれる四十七の仮名は，当時必要にして十分な仮名であった。／字母歌中包含的四十七个假名是当时必需而又足够的假名。③不幸にして，彼にはその意味が通じなかった。／很不幸，他没能理解这层意思。

2) なりの连用形に和して的组合。相当于口语的で、であって。

①会長は我らに臨時調査会にして合評会ではないと注意した。／会长提醒我们这只是临时调查会而不是评议会。②外交官にして外国に行ったことがないというのはおかしい。／外交官而没到过外国，这很奇怪。

2. 副词词尾に或构成副词性词语的格助词に和表示强调的して的组合（して可去掉）。

①人々は地震が近寄っていると言って，早々にして下山してきた。／人们说快要地震了，便匆匆忙忙地下了山。②和子は，筆子の肩をたたかんばかりにして勧めた。／和子轻拍着笔子的肩膀来劝她。

3. 格助词に和格助词して的组合。整个形式仍相当于格助词で。

1) 表示时点。

①三十にして立つ。／三十而立。②二番目の島は一夜にして海の底に消えてしまった。／第二个岛一夜之间就沉入海底了。

2) 表示经过的时间、路程等。

①そこより更に三里にして米沢に達します。／从那儿再走3日里就到达米泽。②大都市が5年にして達しえた水準へ3年にして達しうるのが、小都市の特長である。／3年达到大城市5年才达到的水平，这是小城市的特点。

3) “にする系”的一个形态。

にしては 〈词组〉

にする的限定性条件用法形式，接于体言或用言、助动词的终止形后。表示以既定事实为前提，后述这个前提与常规情况相比较出入很大或相反。

①男にしては臆病すぎるじゃないか。／身为男子汉，不是太胆小了吗？②千円もとったにしては，品が悪い。／要了1千日元，质量可不好。③正彦は中学3年生にしてはかなり大人の小説を読んでいる。／正彦就初三学生来说，读不少成年人的小说。④彼は40にしては若く見える。／他40岁，可很年青。⑤この手紙は1年生が書いたにしてはりっぱなものだ。／这封信作为1年级学生写的，是很不错的。⑥新聞やテレビがその成果を物鳴入で宣伝しているにしては，一般市民の関心は薄い。／报纸和电视大肆宣传其成果，而普通市民对此却不大关心。

【参考】1. 敬语形式为にしましては。

①三つの子にしましては，上手な絵ですね。／3岁的孩子画得真好。

2. 类似的表达形式还有：にしたら、にしてみれば、にしてみたら等。

①こうしたことにはすぐ照れるはずの魚津にしたら不思議な現象であった。／对一遇这类事情就会感到害羞的鱼津来说，这是一个奇怪的事情。②悪い道ですが，働き盛りの男の足にしてみたら物の数ではあ

りません。／路虽然不好，对于年富力强的男人的腿脚儿就不算什么了。  
 ③敵国にしてみれば，我が国の外交姿勢が気がかりになるだろう。／从敌国的角度来说，对我国的外交姿态一定很担忧吧。

にしても 〈词组〉

にする的逆接用法，接于体言或用言、助动词的终止形后。

1. 表示前项中的既定事实或假设不能改变后项中的结论和评价。

①試験の日に気分が悪かったにしても，これではあまりに出来な  
 きます。／就算是考试那天不舒服也罢，这成绩也太次了。②一度読  
 んだにしても，暗誦を要求するのは無理です。／即便读过一遍，要求背  
 誦是过分的。③詳しく調べるにしても，夫婦のことだから，別人には  
 分らない所が多い。／即使要详细调查，毕竟是夫妻，很多地方旁人看不  
 透。

2. 和疑问词呼应，表示不受任何约束而成立。

①何をするにしても，中国人は歴史に徴したがる。／无论做什么，  
 中国人总是就正于历史。

3. 以一个或更多的事做例，说明这些例子足以说明后述内容或同  
 样能说明后述内容。

①自信がなくではだめです。恋愛の場合にしてもそうです。／非要  
 有信心不可。就拿恋爱来说也是如此。②新幹線は乗心地にしても以前よ  
 りずっとよくなった。／新干线就拿舒适程度来说也比以前强多了。③国  
 語にしても，英語にしても，今の中学生は辞書を引きながら勉強するも  
 のは皆無です。／语文也好，英语也好，现在的初中生没有一个是查词典  
 来学习的。④町にしても，或は田舎にしても，現代文明の躍動してい  
 ない所はない。／无论城市也好或者乡村也好，处处听得到现代文明的脉  
 搏。

【参考】类似形式还有にしたって，にしたところで等。

①誰が来るにしたって，恐れるものか。／管他谁来，我才不怕呢。  
 ②よしんば一人や二人そんなのがあったにしたところで，どうしてそ  
 んなことが一般に言えるか。／纵然那种人有那么一个半个，又怎么能一  
 概而论呢？

## 二重否定表現 ニジュウヒテイヒョウゲン 双重否定表达法

【性质】指以双重否定形式表示肯定的修辞性表达法。首先句中必须出现两个否定词，但是，出现两个否定词未必都是双重否定，比如下面例①是否定句的并列，②是否定句的反诘形式，这些特殊情况都不表示肯定，不是这里说的双重否定。

①暑くもないし、寒くもない。／也不热，也不冷。②泣くことはないじゃありませんか。／哭什么？

下例中的双重否定是为了加强否定语气而用的，属个别例外。

①ないもせん金を無理に出して～（方言）／根本没有钱硬要往外拿。②無一文もない。／一贫如洗。

双重否定不仅仅表示肯定，主要是使肯定的陈述语气染上各种感情色彩。主要如下。

### 1. 以委婉、不确实的语气表示肯定。

①書けないわけではない。／不是写不了。②物足りない感じがなくてもない。／仍感有些不足之处。

### 2. 以“不得已、不禁”的口气表示肯定。

①財布の緒をしめくくらずにはいられない。／不能不限制花销。②おかしくて吹き出さないではいられなかった。／觉得好笑，不由得笑起来。③～ざるをえない。／不得不～。

### 3. 以“理所当然、必须照办”的语气表示肯定。

①吾人は現代を超越せざるべからず（芥川）。／吾人不可不超越于现代。②校則は学生諸君が守らなければならないものである。／校规是各位同学必须遵守的。

### 4. 以十分肯定的语气表示推测。

①本人が知らないはずはない。／本人不可能不知道。

【形式】1. 谓语中出现～ナイ～ナイ或类似形式的词组。

①無断欠席が無いでもない。／也不是没有无故缺席。②決して好きでないのではない。／决不是不喜欢。③私もそう思わないことはありません。／我何尝不那样想。④つねに運動しなければならない。／应该经常运动。⑤もう出かけなくてはなるまい。／该走了吧。



2. 谓语中出现～ズ～ズ、～ヌ～ヌ或类似形式的词组。主要是文章用语。

①引退せざるを得ません。／不得不引退。②失敗だと言わねばならぬ。／只能说是失败。

3. 谓语和主语前的连体结构中各出现一个否定词语。

①日本人だったら知らない人は一人もない。／日本人没有一个不知道的。②いいえ、別に良くないこともないんですが。／不，没有什么不舒服的。③画面のどこを眺めても，うそ寒い秋の気の動いていない所はない。／画面处处充满着秋天的寒意。

4. 带有“不、無、未、非”等否定接头词的词语与句末的否定词语呼应。

①足が悪いけれども不自由なことはない。／脚有毛病，但没有什么妨碍。②それは，非合法的とはいえない権利である。／这是一种不能称之为非法的权利。③無作法にふるまってけはいない。／不得无礼。

【参考】三重否定往往使句义不明确，一般以改为二重否定或肯定为好。

①世の末なりと言わざるを得ずじゃないか。→～を得ずなのだ。／只能说是（到了）世界末日。②来なければならないわけでもない。→来なくてもいい。／不来也行。

にしよう 〈助动词性词组〉

接动词的连体形后，可用ことにするの相应形式代替。

1. 接状态性词语后表示假设。

①まず，地球にだけ生命があるにしよう。／首先我们来假设只有地球上生命。

2. 接于意志动词后表示决心。

①さあ，お二人に事件の始末を教えるにしよう。／来，我就把事情的开始告诉你二位吧。

にしる 〈词组〉

由格助词に和するの命令形しる构成。用于口语，亦可用にもしる，以加强语气。接于体言或用言终止形后，用法同文章形式にせよ。见另项。

## 1. 表示前项不能成为后项成立的条件。

①君が正しいにしろ，人を見殺しにするのは感心できません。／就算你是正确的，可是见死不救这一点不能令人信服。

2. 以正反对照或接于疑问词后的形式表示无论真实情况是哪一方，后项结论是肯定的。

①UFOの存在を信じるにしろ，信じないにしろ，私たちのUFOをめぐる歴史はもう始まっている。／相信飞碟的存在也罢，不相信也罢，总之我们对飞碟的研究已经开始了。②どちらにしろ，もう返事が来そうなものだ。／是否同意都该见回信了。

## 3. 以举出一个或几个例子的形式表示所举情况无一例外。

①君の場合にしろ，それを聞いてすぐ泣いたでしょう。／就拿你说，还不是听到后立刻就哭了么？②英語にしろ，日本語にしろ，くりかえし練習するのが一番大切です。／英语也好，日语也好，反复练习最重要。③一体女は，金にしろ，ダイヤの指輪にしろ，衣類にしろ，自分の物を夫の用に役立てたくはないのだ。／总的来说，女人是不愿意拿自己的东西为丈夫派用场的。钱也好，钻石戒指也好，衣物也好。

【参考】郑重形式为にいたせ。

如何に本朝第一の絵師にも致せ，よくも大殿様の御前へ出て，そのような高言が吐けたものでございます。／纵使是当朝头名画师也罢，竟然敢到大老爷御前出言如此高傲。

## にすぎる（に過ぎる） 〈词组〉

## 1. 格助词に和动词すぎる的组合。

1) 以否定形式接体言，用言及助动词（形容动词除外）的连体形后，表示程度有限。有消极评价的语气。

①彼は名前だけのナンバー・ワンにすぎない。／他只不过是徒有其名的头号人物。②ただなすべきことをなしたにすぎない。／只不过做了应该做的事。③彼とは道で会うと会<sup>えしやく</sup>積するくらいにすぎない。／和他只不过是点头之交。④こんなにまで通りすがりの旅人に過ぎぬ私に親切にしてくださいとは。／我只不过是过路的旅行者，你太热情了！

△有时为加强语气在に后插入しか。

①私にとって、故郷はあくまで、思い出の場所にしかすぎない。／对我来说，故乡只不过是回忆中的场所而已。

2) 以肯定形式表示程度上超过某事物。

①うれしいことこれに過ぎるものはありません。／高兴莫过于此啊。②彼女はあなたに過ぎた奥さんだ。／她是位配你有余的太太。

2. 偶尔由形容动词连用形词尾に和すぎる构成，表示某程度过度、过强。以不用に为规范。

①無鉄砲すぎる。／太鲁莽。②その結論は主観的（に）すぎる。／这个结论太主观。

3. 构成同1，意义同2，这时に不能省略。に前的名词是表示性质的。不是常见用法。

①親思いに過ぎる。／过于孝顺。②素朴な気持ちで，こんな大問題と取り組むのは思い上がりに過ぎましょう。／以朴素的想法来探讨这样的大问题，是太自负了吧。

にする 〈词组〉

由表示变化结果的格助词に和动词する构成，比较固定。接于体言后。为方便起见，将形容动词连用形に后续する形式一并处理。

【意义】になる的他动形式。构成AをBにする句型，由于A、B项的性质不同，产生种种不同的含义。

1. 把某事物人为地改变成另一事物。

①私は子供を商人にするつもりです。／我打算把孩子培养成商人。②荒山を果樹園にしました。／把荒山改变成果园。③砂糖を砂糖水にしてから飲みなさい。／你把白糖沏成糖水后再喝。④林を切り開いて住宅地にした。／开辟树林建成住宅区。

2. 不改变事物的存在，而把它改变为精神产品。

①美しいながめを写真にした。／把美丽的风景拍成照片。②戦争のありさまを本にした。／把战争的情景写成了书。③実にあるようなことを映画にしてほしい。／希望把真实的情景搬上银幕。

3. 赋予某事物以新的地位、作用等。

①小説をテキストにして教えている。／把小说作为教材来教。②現

場での経験を基礎にします。／以在第一线的经验为基础。③復交をきっかけにして、経済交流を進める。／以复交为转机发展经济交流。④今度立派にやってのけたのは、皆さんの助言を原動力にすることが出来たからです。／这次圆满成功，是因为我得到了大家的忠告作为动力。

4. 接于某些人体器官的名称或类似的名称后构成一些动作行为的习惯说法。

①沢山の宝物を手に入れている。／拥有许多宝物。②そんなことは耳にしたことがない。／这种事没听说过。③ついうっかりして大事な所を気にせずにした。／一时不慎把紧要的地方疏忽过去了。④一度でもこの現象を目にしたかった。／哪怕一次也想看到这种现象。⑤口にする。／吃，说。⑥背にする。／背，离开。

5. 接于形容动词词干后，表示使某事物变为前接词的状态。

①この機会を大事にしない。／请珍惜这次机会。②交通をもっと便利にする。／使交通更方便。③先生の一喝が教室の中を静かにした。／老师一声大喝使教室里静了下来。

6. 表示给某事物造成某种结果。

①背が低すぎるので、合格にできなかった。／因为太矮，没让他合格。②子供相手ですから、この本を半価にしましょう。／因为是以儿童为对象，这本书就算半价吧。③病気が彼を半身不随にした。／疾病使他半身不遂。④都合により、今日は外科を休診にします。／因故今天外科停诊。⑤他人の不幸を見過しに出来ないのも人間たるものの本性であります。／不能对别人的不幸视而不见，这也是人的本性。

にする系 ～ケイ 〈助词性词组〉 にする系列

【用法】にする的活用形及其活用词组构成各种复合助词；如：にしては、にしても、にせよ、にしろ（见各项）。另外，还有にしたって、にしたところで（参见“にしても”项）和にしたたら、にしてみれば、にしてみたら（参见“にしては”项）等。有接续用法、并列用法、提示用法等，我们可以归纳为にする系列助词性词组。这些形式接续法大致相同，但意义用法很不相同，详见各项。

【接续】1. 接体言、体言性词组后。



①ふだん不勉強の君にしては、上出来だ。／照你平常不用功劲儿，答的满不错了。②八才にしては形が小さい。／按八岁，长得小。③難しいにしろ，誰でも分るほどにしろ，問題点を中心に書かなければならない。／写得难也好，谁都懂的程度也好，总之应该以问题为中心来写。

## 2. 接动词、形容词及同型助动词以及助动词た等后。

①ちょっとした違いがあるにしても，双児ふたごみたいです。／就算稍微有一点儿区别，还是象孪生兄弟一样。②いくら見たいにしても，盗んではないなあ。／无论多么想看，也不该偷啊。③彼はまだ若いにしては，うがったことをときどき言う。／他很年轻，却时常说出很有见地的话。④自分でやって行かれるにしても，指導する人があると心強い。／即使自己能干下去，也是有人指导心里有底。⑤瀬沼氏がもしそうであつたにしたところで何も冷笑することもないだろう。／瀬沼先生即便如此也罢，有什么值得冷笑的呢？

## にせよ

由格助词に和する命令形せよ结合而成，用于文章语。用于口语时语气郑重。亦可用にもせよ，以加强语气。接于体言或用言终止形后。用法同口语形式にしろ，见另项。

### 1. 表示前项不能成为后项成立的条件。

①事情があつたにせよ，異国に我が子を残してはすまないと思つた。／尽管有特殊情况，我当时仍感到把孩子留在异国有些过意不去。

2. 以正反对照或接于疑问词后的形式表示无论真实情况是哪一方后项结论是肯定的。

①何にせよ，食べられればそれでよろしい。／管它是什么，能吃就成。

### 3. 以举一个或几个例子的形式表示所举情况无一例外。

①君にせよ，侮辱されれば黙ってひっこんではいないだろう。／即或是你，受侮辱时不会忍气吞声吧。②この対話にせよ，会話にせよ，あるいは演説にもせよ，その成立の根本は話すことと聞くことだ。／这种对话也好，会话也好，或者演说也同样，其赖以成立的基础是说和听。

## に対する ニタイスル 〈词组〉

由格助词に、サ变动词“对する”构成，主要以にたいする、にたいして、にたいしては、にたいしての形式来用。连体有以上 第一、四 两种。另有敬体にたいしまして。

【接续】一般接体言、体言性词组及用言的体言化形式～の之后。

【意义】1. “面向、对待”。实义动词。

①老人の家は大山に対してている。／老人的房子对着大山。②親切な態度で客に対する。／以热情的态度对待顾客。

2. 以连用形式表示后续动作行为的对象。

①正直な人に対しては正直にせよ。／对正直的人应该正直。②中国人民は、侵略に対して、断乎とした態度を取っている。／中国人民对侵略采取断然（反对）的态度。③それに対して、博士は「この実験は金銭のためにやったのではない」と答えた。／对此，博士回答说：“这项实验不是为了金钱而做的”。

3. 以连体形式表示后续词针对的事项。

①米国に対する中国の態度。／中国对美国的态度。②日本国民の政治に対する関心の薄いのには驚いた。／我对日本国民对政治的关心程度之低下感到震惊。③ほんの少しですが、これはあなたの手伝いに対するお礼です。／一点小意思，这算是对你的帮助的酬答。④学生の教師に対しての反抗が多くなっている。／学生对教师的反抗增加了。

4. 表示对照性的关系。

①口語体に対する文語体は古い文体である。／和口语体相对的文言体是一种旧文体。②海水浴などに対して、健康のために目に当たることを日光浴という。／与海水浴等相对，我们把为健康的目的而晒太阳叫作日光浴。③去年は3人に対して今年は交通事故で10人の死者が出た。／去年3人，而今年已有10人死于交通事故。④彼が37才なのに対して彼女は30才だった。／他37岁，而她30岁。⑤兄がちょっとした事で怒ってしまうのに対して、弟の方はよい気立ての持主です。／哥哥因为一点点事情就发火，与此相反，弟弟有个好脾气。

5. 表示比例的基准。

①進学率は十人に対して一人です。／升学率是十个里取上一个。②

この国の赤ちゃんは出生千人に対して百五十名の割で死んでいる。／这个国家的婴儿每出生一千名有150人死亡。

## 二段活用 ニダンカツヨウ 二段活用

上二段和下二段的统称。因活用是围绕ウ段和其上一段的イ段(上二段活用)或其下一段的エ段(下二段活用)进行的,故名。实际上,上、下二段的活用规律是完全相同的。

⇒上二段活用、下二段活用。

にちがいない(に違い無い) 〈助动词性词组〉

由格助词に、名词ちがい、形容词ない构成。ない可用敬体形式ありません等代替, 成にちがいありません等, 有时に后可插入は成にはちがいない, 但にちがいはない的说法不对。谦让形式有にちがいございません。

【接续】1. 接体言、体言性词组后。

①デマを飛ばしたのはあの人に違いない。／散布流言蜚语的准是他。②それはよい方法には違いないが、実行が困難です。／这无疑是个好办法, 但是难以实施。③本当に先生のおっしゃった通りにちがいございません。／肯定象老师说的那样。

2. 接动词、形容词、同型助动词及助动词た等连体形后。

①この池は深いに違いない。／这池塘一定很深。②赤チームが勝つに違いない。／准是红队胜。③私は財布をどこかに落としたにちがいありません。／我准是把钱包丢在哪儿了。

3. 接形容词及同型助动词词干后。

①もう夜更<sup>よふけ</sup>だから、通りは静かにちがいない。／已经是深夜了, 路上一定很静。

4. 接于能接助动词だ的其他成分后。

①あとの言葉を控えたのは、小静の姿をいぶかったからにちがいない。／把话头打住了, 这肯定是觉得小静的样子不对头的缘故。

△以上各条均可中介の来接续, 如“等しいのにちがいない、あの人ののにちがいない、静かなのにちがいない”。

【活用】同形容词ない。通常只用终止形式, 中顿或连体形式较少使用。

①私は、私以外の者が運転したら必ずエンストするに違いないお

んぼろ車で出かけた。／我驾着我以外的人开肯定会灭火儿的破车出去了。

【意义】表示语气十分有把握的推测性判断。

①あの人の、あのうれしそうな顔をごらんなさい。何かいいことがあったにちがいありません。／你瞧他那高兴样儿，准是有什么好事儿了。

### について 〈词组〉

由格助词に、动词“就く”和“付く”的连用形、接续助词て构成。作用近于助词，可看作固定的语言单位。可后续は、も、の等。相同用法还有につき。郑重语体为につきまして。

【意义】接体言。用法3因の脱落，直接接于动词和形容词的连体形后。

1. 表示所谈论的问题。～について(は)和～についての分别为连用、连体形式。

①この提案について討議して下さい。／请就这个提案进行讨论。②弥生時代の文化についてのシンポジウム／关于弥生时代文化的讨论会。③「目」という単語について例をあつめなさい。／请就“目”这个单词收集用例。④戦後の日本に交通事故が相次いで発生した(の)について、私はいわば「民主的」弛緩に帰すべきものが、ないとは言わない。／关于战后的日本不断发生交通事故，我并不认为应归因于“民主性的”涣散。

2. 表示问题的范围。

①そのテストは東京の学童千人について行われた。／这次考试是以东京的一千名小学生为对象进行的。②このような生産のしくみを、パンを生産するという実際の例について、詳しく調べてみよう。／我们对照这个生产面包的实例，来详细分析一下这种生产的结构吧。

3. 表示后项动作进行或发生的时间场合。

①今度島へお遣下さるにつきまして、二百円の鳥目を戴きました。／我这次被流放时，得了二百元钱。②今自叙伝を書くについて、当時の書簡の現物を見ることができぬのは残念だ。／到现在写自传的时候，见不到当时书简的实物是很遗憾的。



4. 表示平均分配的基准, 等于にあたり、ごとに等。接数词后。

①一人について試験紙が五枚ずつ配られた。／每人发给了五张试纸。②靴類も一足について20円ぐらい値上げにされた。／鞋类也平均每双提价20元左右。

【参考】下例的については实义用法。

①兄さんについて日本語を習う。／跟哥哥学日语。②この通りについて曲がりかどまで行く。／沿着这条街走到拐角处。

につき 〈词组〉

由格助词に和动词“就く”和“付く”的连用形构成。接体言后。

【意义】与について大体相同。其中用法1、2可用について代替, 但不能作连体成分, 且语气比について郑重。

1. 表示针对的问题。

①A博士は今ロボットにつき研究している。／A博士现在正就机器人进行研究。②次は憲法の第3条につき解釈を加えることにします。／下面就来对宪法第3条加以解释。③調査の方法につき説明すると次のようである。／对调查的方法做出说明如下。

2. 表示平均分配的基准。接数词后。

①太陽の物質は、1gにつき一年間に1.5cal にあたる放射の量を出している。／太阳的物质平均每克在一年里释放出相当于1.5卡的放射能。②この魚を見つけた人には、一匹につき100ポンドの賞金を出す。／对发现这种鱼的人, 将每条给悬赏一百英镑。③三人につき一人は眼鏡をかけている。／每3人有1人戴眼镜。

3. 表示某种事由, 以求对方谅解。

①工事中につき休業させていただきます。／本店因施工, 恕不营业。②満員につきしめきりにします。／因满额不再办理。

につけ 〈词组〉

由格助词に、动词つける的连用形构成。可后续て、ても、ては、构成につけて、につけても、につけては。

【接续】1. 接体言、体言性词组后。

①雨風につけて子を思い出す。／每当刮风下雨就想起孩子。②何か

につけていじわるをする。／一有机会就使坏。

## 2. 接动词、形容词连体形后。

①詳しく見るにつけて心を痛める。／详细端详起来，心里就难过。

②暑いにつけ寒いにつけ，病気が起る。／冷也发病，热也发病。

【意义】1. 以につけて形式，表示生成后项情绪或生理现象、态度的关联条件、起因、机缘。带有触景生情之类的语感。

①君を思い出すにつけて，私の頭にすぐ浮び出てくるのは，北海道の冬の光景だ。／每当想起你的时候，立刻浮现在我脑海里的是北海道冬天的景色。②おばあさまは，孫たちがよろよろ歩きで出て来るのを見るにつけ，そのおい先を考える。／老奶奶一看到孙子们歪歪倒倒地走出来，便联想到了自己的风烛残年。③少年の態度を見るにつけて，私には少年のしようとするのが恐ろしかった。／看到少年的态度，我对少年将要做的事感到了恐惧。

## 2. 以正反对照或接疑问词的形式表示造成后项情绪的一切可能的原因或条件。

①天気がよいにつけ，悪いにつけ，孫の学校からの帰りが待ち遠しかった。／天气好也罢不好也罢，都焦急地盼着孙子从学校回来。②その時の私は何事につけても懐疑的，否定的であった。／那时的我无论对什么事情都持怀疑的、否定的态度。③何につけて謙遜です。／遇事谦虚。④金田君はこの頃どうかしていると見えて，何かにつけてすぐ暗い心になってしまう。／金田最近好象有什么心事，一遇什么问题马上就忧心忡忡起来。

## 日中同形語 ニッチュウドウケイゴ 日汉同形词

【解释】指汉语和日语中汉字标记相同的词，多数为日语的音读词。如“多少、再度、物理、辞典”等。其中包括由于简化方式不同而字体不同的词，如“意見／意见、手紙／手纸”。如果包括纯粹的日语固有词，还有“春、引渡し，走る／春、引渡、走”等。

由于日语限制汉字数量而用同音汉字代替，有些词成为非同形词，如“反乱／叛乱、関数／函数、活発／活泼”。为实用起见，这些词以及汉语中没有而日语中有的词（如：案内、返事、配慮）也作为同形问题一

并加以说明。至于同素反序的词如：平和／和平、紹介／介绍、制限／限制、良妻賢母／贤妻良母，可看作特殊的同形词。

【词义】1. 同形同义词约有70%。

椅子、压力（压力）、期待、厚い、挙げる（举）。

同素反序词也属此类，如：平和、物事、栄光、余剰、抱擁、率直、言語。

2. 同形类义词。又分为：1）日语义项多于汉语义项（夢、横断、調子）、2）汉语义项多于日语义项（意見、簡単、東西）、3）除相同义项外各有不同义项（深刻、進行）等多种情况。

3. 同形异义词。词义差别很大。例：娘、大娘、丈夫、愛人、老婆、弟妹、試験、迷惑、感激、一向、原稿、勉強、野菜、用心、料理、用意、検討、貧乏。

其中有的词与古汉语意义相同，如：走る、舅。

以上两种的总数在同形词中占不到8%。

4. 非同形词约占25%，其中，有的可从字面上推出大体含义，如：暗記、見学、応援、火事、感心、牛乳、飛行機。多音节词有的只和汉语有一字之差，也可从字面上推出其意，可称类形词。如：農産物、農繁期、異口同音、竜頭尾蛇、優柔不断。另有很多词从字面上无从了解其意，如：機嫌、案内、器用、見当、邪魔、馳走、丁度、当分、味噌。

【语体区别】中日同形词在语体上也有相同的也有区别的，特别要注意语义相同，而语体不同的同形词。分述如下：

1. 语体相同的。首先，汉日两语都是口语体的有：“重要、出席、手腕、散步、一般、普通”等。其次，汉日两语都是文章体的有：“確保、周知、休養、把握”等。

2. 语体不同的。首先，汉语中为口语，而在日语中为文章语的有：“打開、起床、加熱、巧妙、比較、要求、身体”等。其次，汉语中是文章语，日语中是口语的有：“自由、販売、女性、落第、知事”。

【词性】同形同义词和同形类义词中，有一部分汉日两语间词性不相同，可能对学习、翻译等造成困难。可归纳如下。

1. 汉语的形容词性与日语的自动词性相对的。如：進歩、腐敗、統

一、緊張。例：进步的思想／進歩した思想（※進歩な～），非常腐败／たいへん腐敗していた（※たいへん腐敗だった）。

2. 汉语的副词性要与日语的自动词性相对的。如：一致、一贯、徹底、独立。例：一致承认／一致して認めている（※一致に～、※一致～）、努力工作／努力して活動する（※努力に～、※努力～）。

3. 汉语的他动词性要和日语的形容动词性相对的。如：純潔、強壯、健全、豊富、明確。例：明确立场／立場を明確にする（※～明確する）。

4. 汉语的他动词性要与日语的自动词性相对的。例：発展、繁栄、充実、成立、聴従、反对。例：发展生产／生産を発展させる（※～を発展する）、听从劝告／勧告に聴従する（※～を聴従する）。

5. 汉语的动词性要与日语的名词性相对的。如：犠牲、参考、関心、根拠、損害。例：牺牲自己／自我を犠牲にする（※～を犠牲する）、关心别人／他人に関心をよせる（※～に関心する）。

6. 汉语的名词性要与日语的动词性相对的。如：挫折、信用、提案、経験、原因、勝負。例：不明白是什么原因／何に原因しているか、わからない。争胜负／勝負する。

#### にて 〈文言格助词〉

【接续】接体言后。偶尔接动词连体形后。

【意义】在文言中很常用，现在只残存于文言体书信文章、标题、档案记录、广告等，一般等于で。

#### 1. 表示动作场所、时间。

① 5日，ワシントンにて。（小標題或落款）／五日，于华盛顿。② 18歳にて上京（履历等）／18岁进京。③ ベランダにて二人で観測，午後12時10分頃にて，UFOが飛行。（观测日记。等于で、に）／二人在阳台上观测，约午后12点10分，有飞碟飞行。④ 全国の有名デパート，専門店にてお求め下さい。（广告）／请到全国各大商店、专门商店购买。

#### 2. 表示手段、方式、方法。

① 特急・富士にて帰京。／乘特快列车富士号回京。② 深き川を舟にて渡る。／乘船渡过深河。③ 人はパンのみにて生きるにあらず。（谚语）／



人不是光吃面包活着（，还要有精神上的满足）。

### 3. 表示原因、理由。

①病気にて欠席す。／因病缺席。②小林多喜二ハ遂ニ同夜心臓麻痺ニテ死亡セルガ……。／小林多喜二终因心脏麻痹于同日夜裡逝世……。

【参考】1. 词源不详，据认为可能是文言格助词に和文言 接续 助词て的组合。

### 2. にて在院政时代音便为で，直至现代日语。

3. にて另有一个，是由文言判断助动词なりの连用形に 和接续助词て组合的，同で、であって。例如：父は学者にて子は芸術家なり。／父为学者，子为艺术家。

### にとって（に取って） 〈词组〉

由格助词に、动词“取る”的连用形、接续助词て构成，常后续の（连体形式）、は、も。另有敬体形式にとりまして。

【接续】接体言后。只能后续形容（动）词，不能后续动词。

【意义】表示站在前接词的立场上看问题。

①これは私にとって難しすぎる問題です。／这对于我来说是个过于困难的问题。②水は人間の体にとっても必要なものです。／水对人体也是必需的。③芸術家にとっては夢と現とのしきいはないといってよい。／对艺术家可以说没有梦幻与现实之间的鸿沟。④現代工業にとって一番大切なのは技術です。／对现代工业来说最紧要的是技术。⑤学習は全国民にとっての義務として見なければならない。／学习必须作为全体国民应尽的义务来看待。⑥彼は私に取りまして命の恩人でございます。／他对于我有救命之恩。

【参考】下例的（に）とっては是是整个动词性词组的一部分。

①カラーテレビが白黒に取って代わりつつある。／彩电正在逐步取代黑白。

### にどと 〈二度と〉 〈陈述副词〉

与否定形式的意志动词类呼应，表示将不再重复某种行为。“二度と再び”是强调形式。近于またと。

①おれのことには二度と口を出すな。／你再少管我的事！②二度と

再び悪いことはいたしません。／我再也不做坏事了。③二度とお前の顔なんか見たくない。／我再也不想见到你！④二度とない青春／一去不返的青春。⑤やつには二度と騙されますまい。／我再也不上他的当了。

### になる 〈词组〉

【构成】由格助词に和动词“成る”构成，可看作一固定语言单位。接体言后。“静かになる”等的になる是形容动词连用形に和なる的组合，与“赤くなる”中的くなる一样，只有用法1。

【意义】1. 表示变化结果。

①赤ちゃんが生まれて、家族は四人になった。／孩子出生，家里四口人了。②梅子はいいい気持になった。／梅子心情舒畅了。③時には零下十何度になることだってあるわ。／有时甚至降到零下十几度哪。④和服になって訪ねてきた。／穿上和服来访问。⑤いつか梅子はベッドの上になった。／不知什么时候梅子已经趟在床上。⑥あなたが宗男さんのお嫁さんになられたと？／您做宗男的妻子了，真的？⑦魚や貝などをとるのでも，10mほどの深さになると容易ではない。／就是捕鱼、采贝什么的，一到十米左右的深度就不容易了。

2. 表示既成状态。是一种只重结果，不考虑过程的描写。

①記念碑は広場の真中になっている。／纪念碑在广场的中心。②廊下は鉄板を敷いたもので、吹きぬけになっている。／走廊用铁板钉成，是透风的。③住宅は松の木陰になっている。／住宅在松树的树阴下。④生物の体はどんな作りになっているだろうか。まず，その体を作るものになっているものは，細胞である。／生物的机体是一种什么样的构造呢？首先，其构成单位是细胞。

3. 表示时间的推移和经过的时间长度。

①戦後になって、私はすでに三度ここに来ている。／战后，我已经来这里三次了。②助けたのは23才になる男でした。／救起的是个23岁的男子。③二年になったとき，法夫のクラスの数学の担任は高松先生にかわった。／到2年级的时候，法夫班上的数学科任换成了高松老师。④卒業してから五年になった。／毕业已经五年了。⑤詳細は受信電波の分析後になるが……／细节要等到分析了接收的电波之后……

## 4. 表示某种效能。

①両者は比較にならないほどかけはなれている。／二者悬殊得不成比较。②スポーツは体のくすりになる。／体育运动有利于身体健康。③むやみに甘やかすと子供のためにならない。／娇生惯养对孩子没有好处。

## 5. 表示造成被动状态的客观描述。

①次郎太夫は、召捕られて獄門になった。／次郎太夫被抓获投入狱门。②私たちは農家の一軒でお茶をご馳走になった。／我们在一户农家被招待喝了茶。（“ご馳走する”则是主动招待别人）③私が厄介になった家は大変な家族でした。／我麻烦的那家家人很多。④裏切り行為を理由に、共産党を除名になった。／由于叛变行为被开除出共产党。

## 6. 表示场合，用于话题的转移，有提示的作用。

①陸地の地形は、じかに目でとらえることができる。しかし、海の底になると、そうは行かない。／陆地的地形能用眼睛直接观察到。但是，海底则行不通。②パパは、仕事のことになると、まだ私を子供扱いしている。／爸爸在工作方面仍把我当成孩子。③また着物の話になりますが、もともとは着物は豊富に手元にありました。／我又说衣物的事啦，原来，我手头有很多衣物。④高田などになると、ABCも分らない。／说到高田之辈啊，他连起码知识都不懂。

7. 以“お+动词连用形+になる、ご+サ变词干+になる”形式构成敬语。详见补助动词“なる”项。

①いつごろから、お会いにならなかったの？／您是从什么时候起不和他见面的？②先生は学校にお出かけになりました。／老师到学校去了。③いつもならご出勤になる頃です。／按平常该是您（或他）上班的时候了。

## 二人称 ニニンショウ 第2人称

人称之一。指表示说者的对方（听者）的代词所代表的人称。另有：对称（大槻文彦）、第二人称（松下大三郎）、第二称格（山田孝雄）等别称。

口语的第2人称代词有：あなた、あんた、きみ、おまえ、きさま等。文语还有なんじ等。あんた主要是女性语，きみ、きさま是男性语。

きさまとおまえ语气较俗，用于同辈之间或晚辈。あなた语气郑重，常用于同陌生人谈话，在和自己所熟悉的长上谈话时一般不用，要用职称、亲属名代替。熟人同辈之间可用あなた以外的代词或名词。

①あなたはこのことをどうお考えですか。／您如何看待这件事。②先生（※あなた）もおいでになりますか。／老师（您）也去吗？③あなた（＝田中君）はこのことをどう考えていますか。／你（田中君）如何看待这件事？

2 人称代词复数用接尾词たち、ら表示。ら不能用于对上。例：あなたたち、きみたち、きみら。

2 人称与请求、命令、劝诱、尊敬等表达方式有一定制约关系。这种句子中的谓语暗示着人称是第2人称。因此，一般性主语不必标示出来。

①a. 連絡しなさい。（一般性主语。省略）／你联络一下。b. あなたから（が）連絡しなさい。（指示性主语。不省略）／由你去联络一下。c. あなたは連絡しなさい。（区别性主语。不省略）／你呢，就去联络吧。②a 李君，これを読んで下さい。／小李，请读一下这个。b. 李君，あなたがこれを読んで下さい。／小李，请你来读一下这个。c. 李君，あなたはこれを読んで下さい。／小李，你请读一下这个。③a. 寝ろ。／睡吧。b. おまえが先に寝ろ。还是你先睡吧。c. お前は先に寝ろ。／你先睡吧。④a. 一息入れよう。／咱们休息一下吧。b. あなたも一息入れよう。／你也休息一下吧。

には 〈复合助词〉

由格助词に、提示助词は构成。

【接续】接名词、动词及助动词连体形等。详见意义。

【意义】1. 表示目的、目标，后项里叙述达到这一目的、目标的必需条件。接动词连体形。

①駅に行くには，どう行ったらいいですか。／去车站怎么走好？②日光が地球に届くには，八分二十秒ほどかかると言われています。／据认为阳光到达地球需要大约八分二十秒。③彼を喜ばせるには，これが一番だよ。／想使他高兴，最好来这个。④日本語を早くマスターするには練習が大切だ。／若要快些掌握日语，练习很要紧。



## 2. 表示后项评价、判断的基准。接动词连体形。

①そこは住むには便利なところですよ。／那是个便于居住的地方。②捨てるには惜しい。／扔掉很可惜。③結婚するにはまだ早すぎる。／结婚还太早了。④彼は<sup>おのれ</sup>己を欺いて、この事実を否定するには、余りにも正直な人間であった。／他这人太正直了，以至于不能自欺欺人来否定这一事实。

## 3. 前项是后项语言思维内容的出处、判断的根据。

①細君が言うには、今日は23間堂です。／据妻子说，今天演《23间堂》（剧名）。②彼女がつらつら考えるには、どうも社会は婦人には不公平である。／她细细想来觉得社会对妇女实在不公平。③彼がこういふには、何か理由があるでしょう。／他这样说，其中会有什么原因吧？

4. 用同词反复形式表示让步性的肯定，通常用が～形式把保留的内容叙述出来。接续较灵活，可接动词类连体形、形容词类连体形、た的连体形、偶尔接形容动词词干。

①バスは通っているには通っているが、下りてからも、しばらく歩かなければならない。／公共汽车通倒是通，不过下车之后还要再走一段时间。②出かけて行くには行ったが、この降りじゃとてもつりは出来ない。／出去倒是出去了，可是这么个下法根本无法钓鱼。③雷もひどかったし、雨も降ったには降ったが、これっぽちでは、二階からの目薬といったところです。／雷声隆隆，雨也真下了，可是这么一点点儿不过是杯水车薪。④顔色が少し黒いには黒いが、器量がいい。／脸色倒是黑一点儿，可长得很好看。⑤丈夫には丈夫だが、軽くて薄い。／结实满结实的，就是又轻又薄。⑥一日じゅう，狭い部屋にいることもあるにはある。／有时候确实整天价躲在一间小屋里。

5. 作敬语格助词用。通过表示“场所”的间接方法表示对主体的高度敬意。原为皇室用语，后民间也用，已成独立的复合助词。不常用。

①殿下には、御満足の御様子に拝されました。／我见到殿下满意。②宮様にはことの外お喜びであった。／皇太子（或其他皇族）格外高兴。③先生にはお変わりございませんか。（书信用语）／老师近来好吗？

## 6. 格助词に和表示提示的は的各种临时组合。に的大部分用法能用

は提示。

①彼には助けを求めまい。／我不求助于他。②裏庭には松の木を一本植えました。／在后院栽了一棵松树。③日曜日には何をするか。／星期日做什么？④卒業式にはどの洋服を着て行こうかな。／毕业典礼我穿哪件西装去呢？⑤子供には分らない絵ばかりだ。／净是些小孩儿看不懂的画儿。⑥日本は天然資源にはめぐまれていない。／日本自然资源不丰富。⑦窓越しには高い山が見える。／隔着窗户可以看到高山。⑧不正行為に抗議せずにはいられない。／对不正当行为不能不表示抗议。⑨いくら薄地には相違なくとも暑いにはきまっている。／尽管无疑是薄布料，穿着肯定热。

に反して ニハンシテ 〈词组〉

由格助词に、サ变动词“反する”的连用形、接续助词て构成。主要在文章中，也用にはんし的形式。

【接续】接用言连体形（ダ型词除外）后，连接两个分句。有时接体言后，有时通过の接于活用词连体形后，成のにはんして。

【意义】表示前后两项间的对比、对照关系。

①自動詞は自身の働きであるに反して，他動詞は他に対する働きである。／与自动词是本身的作用相反，他动词是施于他物的作用。②漢語は公用語，文化語，學術語としての地位を占めるに至ったのに反し，和語は私的な生活用語とされている。／汉源词最终占据了社会用语、文化用语、学术用语的地位，与此相反，固有词被用作个人的生活用语。③期待に反して私にはやはり何も見えなかった。／和期待的相反，我依旧什么也没有看到。

【参考】另有实义用法，如“親に反する／背叛父母，和父母作对”。

にほかならない 〈助动词性词组〉

【构成】由格助词に、形式体言ほか、助动词なりの未然形、助动词ない构成。通常只有にほかならない、にほかならぬ（文言色彩）、にほかなりません（敬体）几种形式。通常用于句末。

【接续】1. 接体言后。这是最常见的情况。

①あらゆる成功は努力の結果にほかなりません。／一切成功都不外

乎努力的结果。②この見解は一般社会人の目から見た社会像,世界像にほかならない。／这一见解不是别的,正是一般的社会人士眼中的社会形象、世界形象。

## 2. 接于能出现だ的副词性成分后。

①親が子を叱るのは,それを愛するからにほかならぬ。／大人训斥孩子,那正是因为爱他的缘故。

3. 接动词、形容词及同型助动词的连体形以及助动词た的连体形、ダ型词词干。这种接续看作接准体言后一般较稳妥(下例①、②),例③从意义上也能在した后加入もの。

①いくら賢そうにふるまっても,それはあくまでもわる賢いにほかならない。／无论表现得多么聪颖,那只不过是一种奸诈而已。②久しぶりの同窓会で,にぎやかなようではあったが,どう見ても真味のないほがらかにほかならない。／是很久没开的同学会了,表面很热闹,却只不过是一种缺乏内涵的热烈气氛罢了。③この映画は小説の前半を脚色したにほかならない。／这部电影无非是改编了小说的前半部分。

【意义】表示主观上认定的唯一正确的认识,有排除其他认识的含义。见以上例。

△也常作连体词用,表示处于特殊关系、地位的人、物。

①ほかならぬあなたの頼みだから,お引き受けしましょう。／又不是别人来求的,我答应您啦。

日本語 ニホンゴ 日语、日本语、日文

【解释】日语是日本民族自古以来所使用的唯一的通用语言。除日本外,在巴西(55万人)、北美(35万人)、夏威夷(22万人)的日本人社会中也使用日语。使用人数为1亿多,在世界各语言中居第6位。但日语的通用范围只限于日本一国,是一种孤立的语言。

第二次世界大战期间,为加强对外扩张,日语曾在朝鲜、我国的台湾和东北、东南亚各国在一定程度上被强行推广,至战争结束,便停顿下来。目前,随着日本作为经济大国的地位的提高,学习日语的外国人又有逐年增加的趋势。

【系属】与日语相比较接近的语言有朝鲜语，故有金泽庄三郎的“日鮮両語同祖論”。不过，“同祖论”的主要依据是语法特征，在语音和词汇方面尚未找到可靠的依据。语法特征和日语近似的还有满、蒙、土耳其语等粘着语。据此，有Boller的乌拉尔·阿尔泰语系说（北方说）。南洋诸岛上的语言不仅有粘着语特征，而且在语音上也同样有开音节特征，因此又有Labberton等人的南方说。过去，北方说略胜于南方说。在理论上，大野晋的南方语言和北方语言重合说、安木美典的日本土语吸收周围语言说（“形成说”）值得重视。

【与周围语言的关系】日语一直受到了周围语言的强烈影响。最早影响日语的是本土上的阿伊努语和邻近的朝鲜语。日语早期词汇中就有コンブ、ラッコ（以上阿伊努语）和テラ、コオリ（以上朝鲜语）。

对日语影响最大、时间最长的语言是汉语。日语的表记采用汉字、词汇中汉源词占一半以上就是明证。日语的ラ行辅音、浊辅音、促音、拨音等都是受汉语影响而形成的。此外，还出现了汉文体、汉文训读体、和汉混淆体等各种文体。

从16世纪起，日本开始接触西方文化，包括语言。明治以前已有不少外来语出现，二战结束后，外来语如潮水般涌进日语。这期间，日语中产生了新的音韵，如ティ、ファ、ウィ等，而且出现了新的句子结构和惯用词组，形成所谓翻译体。

周围语言尤其是汉语对日语的影响尽管很广泛很强烈，但并未改变日语最基本的粘着语性质。无疑问，日语主要是按自己固有的内在规律发展的。

日语同时也给周围语言以一定程度的影响。朝鲜语、汉语等语中有不少词来自明治时期的日语。其中绝大部分是日本从欧洲引进的概念造成的译词。如：物理、体操、科学、干部、政府。个别日语词也进入了英语，如：sukiyaki、kimono、bushido、geisha。

#### 日本語の特徴 ニホンゴノトクチ ヨウ 日语的特征

【解释】所谓日语的特征，是指日语专有的特征。而实际上要说清这一点，就要把日语同众多的语言做精细的比较。目前比较得较多的是日英之间以及某些大语种。所以，以下“特征”主要是相对于英语汉语等而



言的。

【语音特征】 1. 音位数目少。元音5个，辅音14个。这比英语的12元音24辅音、朝鲜语的10元音19辅音少得多。汉语元音6个，但能构成多个双元音等，辅音22个，远多于日语。

2. 音节结构单纯，种类少。（注：这里说的“音节”和音拍同义。如果承认英语那样的音节，则未必简单）除每个假名是一个音节外，每个拗音、促音、长音也都是一个音节，这样看来，大致是111个。

3. 日语是高低重音，英语是强弱重音。汉语也是高低重音（声调），但汉语的高低变化发生在音节内部，日语的高低变化发生在词的内部音节（音拍）之间。汉语重音有区别意义的作用，日语重音则没有。

【文字特征】 文字体系极端复杂。有汉字、片假名、平假名、罗马字等多种文字系统。汉字和假名共同使用，扬长避短，互有分工。平、片假名各71个，常用汉字1 945个，罗马字19个，共2 106个。这比英语的26个字母，朝鲜语的40个字母多得多，比汉语的数以千计的汉字少一些。但是，日语的汉字有音读和训读之别，并且一词同时兼有多种读法，所以文字担负的读音负荷比汉语多得多，而且复杂得多。常用汉字1 945字的读音竟有4 087种之多。

日语在表记方面存在着平假名、片假名、汉字的区别使用问题、假名法问题、送假名问题。日语的单词没有固定写法，也没有连写法。世界上任何语言的表记法都没有这样复杂。

【词汇特征】 1. 由于音节数目少，故单音节词极少，3～5个音节的词竟占单词总量的80%～90%，10个左右音节的词也不稀奇。英语多数为2、3个音节，汉语词多为1、2个音节。

2. 由于音节结构单纯，数目少，加上大量汉语和外来语词的使用，使日语拥有大量的同音词，多者竟有三四十（如：コウカイ）。甚至有的同音词是反义词或类义词。如：礼遇／冷遇、排外／捋外、異常／異状、計る／測る／図る／謀る。

3. 日语词汇成分复杂，外来成分占一半以上。外来成分包括汉源词、外来语。这样，日语词汇主要由固有词、汉源词、外来语、混种词（“混種語”，即前面三种词中的两种合起来构成的词）构成。另一个特

点是外来成分保留外形特征。如汉语用汉字、外来语用片假名书写。

4. 由于词汇成分复杂, 同音词和类义词多, 使词汇量庞大。英语《韦氏大词典》收词60万, 而日语大词典《大辞典》收词75万。

由于词汇不经济, 基本词汇的词汇量也远远超过西方语言。如, 英语、法语、西班牙语中, 掌握5千词能看懂常用文体的90%以上的内容, 而日语要想看懂同样多的内容, 至少要掌握一万词。

5. 就词汇内容来说, 日语中有大量的拟声拟态词、感叹词、间投助词等表示情态意义的词和助词助动词等专门表示语法意义的词以及专门构词的词缀。英、汉语都只有少量拟声词, “拟态词”一般用语义明确的实义词表示, 因此, 外国人掌握日语拟态词的语感很困难。

日语表示细腻的感情词、社会生活和环境方面的词、气象、渔业、林业、植物方面的词很丰富。而天文、矿业、牧业、人体部位、抽象思维方面的词较贫乏, 与英语等形成对照。

【语法特征】1. 句子可以分成句节, 如“自分の|子供が|好きだ。/喜欢自己的孩子”分成三个句节。但句节是语音结构, 和语义结构有矛盾。上句的语义结构是: 自分の子供|が|好きだ。

2. 体言没有性、数、格的语法形式。性和数要用实词素表示, 格用专门的词格助词表示。无冠词。代词与其他名词无语法上的明显差异, 使用频度也不高。第一、二人称代词数目甚多。指示代词构成严整的“コソアド”体系。疑问代词还有非疑问用法。无关系代词。数词有副词用法。量词数目甚多, 序数词和数量数词没有完全分化。

3. 用言和助动词有词形变化, 词形变化的方式与后续词的种类或在句中的位置有关, 与关连词的性数格无关。因此, 与英、俄语等的词形变化有本质不同。汉语无词形变化。

4. 动词无人称变化, 但敬语动词、授受动词、意志推量表达法等含有人称内容。动词的态有使役态和被动态, 二者形态上区别明显, 而汉语的“让”兼表这两个态。自动词也能构成被动态, 这与英语等不同。自动词和他动词在语法性质上不完全对立。动词在形态上只能表示出两种时态: 过去和非过去, 非过去形兼表示现在时和将来时。补助动词发达。

5. 形容词数量少。不足由形容动词、部分动词弥补。形容词、形容

动词以直接作谓语为主要功能，这不同于英语形容词。

6. 其他词。副词中有规定陈述形式的陈述副词，无表示否定和地点的副词。部分助词（さえ、も、ほど等）也能起副词作用。用接续助词或并列助词表示各种关系。

7. 语序。谓语固定于句末。修饰语位于被修饰语之前，其他成分之间无固定语序。一般，主观性较强的成分如接续词、感叹词、陈述副词、话题位于句首，客观性较强的成分距谓语较近。由于对场面的依赖性较强，所以日语句子的省略用得较多，甚至常用“ボクハウナギダ”之类的句子。

8. 敬语很发达。这不仅表现在词汇上，也表现在语法形式上。敬语语法构成独立的语法范畴。

#### にも 〈复合助词〉

由格助词に和提示助词も构成，作用近于副助词或接续助词。接于动词、形容词及同型助动词以及助动词（よ）う、まい等后。

【意义】1. に表示场合。にも和疑问词搭配，表示各种场合无例外；单独或连用两次以上，表示这几种场合都不例外。

①どこへ出かけるにも，兄さんがつねに一緒に行ってくれた。／无论上哪儿，哥哥经常跟我一起去。②何の本を読むにも注意して読め。／无论读什么书都要留心来读。③大体私は，街を歩くにも，旅をあるくにも，何も持たずに歩くのが好きです。／通常，我无论是在街上还是在旅途中，都不喜欢拿着东西走路。④蕎麦を食うにも色々流儀があります。／吃荞面条也有不少规矩。

2. 以类比的语气表示行为目的。通常に也兼有场合的意义。

①子供を育てるにも，長年の苦労をする心得が無いといけない。／要养育孩子，也必须有常年累月吃苦的精神准备。②ある実業家の話だが，金を作るにも多方面にわたる交際がなくちゃいけないというのさ。／这是一个实业家说的，据他说么，要想赚钱也必须搞多方面的交际。

3. 表示前项的主观意图的实现受到后项中的实际条件的限制。从形式上可分以下3种情况。一般可用～（よ）うとしても、～たくても等形式代替。

## 1) A(よ)うにもB形式。

①働こうにも、まともな体ではない。／即使想劳动，身体也不管用。  
 了。②私は感激の余り何を言おうにも、声が出ないので黙っているほ  
 かなかった。／我十分激动，一句话也说不出，只是沉默着。③もう10時  
 を回っているし、連絡を取ろうにも、どこの事務所もしまっている。／  
 十点已过，虽然想联系，各处的办事处都关门了。④私は事情を簡単に  
 説明した。もっとも、詳しく説明しようにも、何も分らないのだ。／我  
 简单地说明了情况。当然，假使想详细说明，也什么都不清楚。

2) 将にも接(よ)う或动词连体形后，构成“AにもAない”的同  
 词反复形式。

①箸がなくでは食べようにも食べられない。／没有筷子就想吃也没  
 法吃。②彼は泣くにも泣けなかった。／他想哭都哭不出来了。③怒るに  
 も怒れない。／想发脾气也发不了。④言うにも言われぬ。／无法形容。

## 3) 接たい后。

①税金を払いたいにも金がない。／即使想缴税款也没有钱。

## にもかかわらず

〈接续词〉同それにかかわらず，表示后项内容与根据前项所作的预想  
 矛盾。

①とても一流校は無理だと先生に言われた。にもかかわらず頑張っ  
 て合格した。／老师说考取一流学校根本不可能。然而经过努力还是考  
 上了。②その服が体に合っていないことも，ちゃんと知っている。にも  
 かかわらず，平気でそれを着ているのは，おしゃれをしても意味がな  
 いと考えているかららしい。／分明知道那件衣服不合身，还是满不在乎  
 地穿着。这好象是因为他认为自己打扮也打扮不起来的缘故。

〈接续助词〉意义同上，接于用言及用言性较强的助动词的连体形后(形  
 容动词只能接～である形式后)。

①生活に対する愛慕がいつも私たちにそむいたにもかかわらず，私  
 たちはどうにかしてそこに辿りつきたいと思っていた。／尽管对于生  
 活的热望时时背离我们，我们仍旧千方百计地寻求它。

## による 〈词组〉



【构成】由格助词に和动词よる构成，可看作一固定的语言单位，按五段活用。用于体言后。

【意义】1. 表示某事物（例①的“趣味”）在某个范围的个体之间有分别。

①趣味は人によって違う。／爱好因人而异。②国によって，言葉も習慣も違います。／国家不同，语言和习惯都不相同。③地表が受ける太陽照射の量は，時刻や季節によって変わる。／地表所接受的日照量随时刻和季节而变化。④好みによって，人々の髪型や服装はまちまちです。／由于嗜好的不同，人们的发型和衣着各不相同。⑤この音楽は聞き方によっては，クラシックのようにも聞えるし，モダンジャズにも似ている。／这部曲子听起来既象古曲音乐，又和现代爵士乐相似。

2. 表示后项的内容在个别的情况下成立。

①外国語は人によっては簡単です。／外语对有些人很简单。②外国語は学び方によっては簡単です。／外语学习方法得当就很简单。③「なぜ発表しないか」「相手によっては，全く否定されてしまうからね」／“为什么不发表？”“因为有的人会全盘否定。”④日によりますと山々がはっきり見える時があります。／有时候，群山看得很清晰。⑤こうすれば，ことによると，何かが発見できるかもしれない。／这么做，说不定会有所发现。⑥「勇気があるの？」「父の態度によってはね。」／“你敢吗？”“这就要看爸爸是什么态度了。”

3. 表示后项传闻或知识的来源或媒介。

①聞くとところによれば，今度の事件で10人が死んだそうだ。／据说，这次事件死了10个人。②以上の結論は実態調査によったものです。／以上结论是根据实况调查得来的。③りえ子さんの話によると，彼女はバスを待つうちに，気を失ったという。／据利惠子说，她在等公共汽车时昏过去了。④これまでの例によると，余震もひどい災害を起します。／根据以往的例子，余震也会引起严重灾害。

4. 表示所依据的方式、方法、工具。

①国際紛争は，外交ルートによって解決しなければなりません。／国际纠纷应该通过外交途径来解决。②機械の発明で，人力によらないで

も、仕事が出来るようになった。／由于机器的发明，不靠人力也能作业了。③第10条，代表理事は，理事の互選による。／第10条首席理事由理事互选产生。④現代人の文化はそのほとんどが本によるものである。／现代人的知识绝大部分来自书籍。⑤コンピューターによる計算。／用计算机进行的计算。⑥電力による生産。／用电力进行的生产。

#### 5. 表示某种事件的原因。

①火災は放火によるものと分った。／查明火灾是放火造成的。②地震による災害。／地震造成的损失。③明帝の西域經營は，判服常ない胡国の態度によって悩まされた。(井上靖)／明帝经营西域，为判服无常的胡国的态度而苦恼。

#### 6. 表示事物的构成主体。

①針金の中を流れる電流も電子によるものである。／在金属线中流动的电流也是电子形成的。②植物の体は，根から吸収する水や養分によって出来ていくのだろうか。／植物的机体是由从根部吸收的水和养分逐渐形成吗？

#### 7. 表示被动态中动作的主体即发动者。

①被害者側によって要求される（被害者の要求による）賠償金の金額／由被害人方面提出的赔偿金的数额。②また，参考文献は氏によってコピーされてお送り戴いたものです。／另外，参考资料是承蒙先生复印送来的。③チャップリンによる（によって出演される）映画。／由卓别林主演的电影。④侯宝林による漫才。／侯宝林说的相声。

8. 以“疑问词によらず”的形式表示无例外。实质是1的否定形式。

①主人は何事によらず，正面からどやし付ける。／当家的不分什么事劈头盖脸地训斥。②罪を犯した人は，誰によらず，法律に問われるべきである。／犯了罪的人，不论是什么人，都应受到法律制裁。③長井は，何によらず，誠心と熱心へ持って行きたがる。／长井事无巨细都往诚实和热心上联系。

人称 ニンショウ 人称

【解释】普通语言学语法范畴之一。指由你我他（它）等不同人物充当

动作行为的主体而引起的各种语法现象的归纳。日语中，体言和用言等所表示的属性属于听者、说者、第3者中的何人（何物）的语法形式，叫作人称。在各种语言中人称的表现形式不同。拉丁语通过动词的词形变化来表示人称。匈牙利语通过后缀。英、俄语等通过不同的、特定的名词和代词来表示人称，同时动词等为和名词、代词保持一致关系，要产生相应的词形变化。

【日语的人称】日语的人称是通过不同的代词即词汇手段实现的，动词没有与代词相应的词形变化。一般认为日语有3种人称：

1. 第1人称（自称、一人称、第1人称）：わたし、わたくし、あたし、あたい、われ、ぼく、わし、おれ等。

2. 第2人称（对称、二人称、第2人称）：あなた、あんた、おまえ、おまえさま、きさま、君等。

3. 第3人称（他称、三人称、第3人称）：かれ、かのじょ、こそあ体系的词等。

第一、二、三人称分别表示对自己、对方和第三方的称呼，其中第3人称包括人物和事物，并且根据距离关系下分为近称、中称、远称等。

以上3种人称统称为定称，和定称并列的有不定称和反身称。不定称（だれ、どこ、どれ等）是对1～3人称不清时的疑问，反身称（自分，等）是1～3人称的反身用法。

以上各人称中代表人的人称的代词叫人称代词，表示事物的人称的代词叫指示代词。不定称和反身称兼有这两种性质，指示代词属于第3人称。

职称、亲属名称、人名等一般作第3人称用。但由于不是专门的人称代词，因场面等的不同所指人称不太固定。以下例①、②是第1人称，③、④是第2人称。

①お父さんも水が飲みたい。／爸爸（我）也想喝水。②兄さんも行くとにしょう。／哥哥（我）也去吧。③太郎が行きなさい。／太郎（你）去。④先生もこちらへ来て下さい。／请老师（您）也到这边来。

当然人称代词本身在所指人称上也有个别时候是可变的。如下例①是妻子对丈夫亲昵的说法，②是母亲对婴儿亲昵的说法。

①ぼくきょう何時に帰る? / 你今天几点回来? ②ぼくちゃん, これを見てもらなさい。 / 我的宝宝, 看看这个。

日语虽无人称和动词词形的一致关系, 但人称与句末动词的意志、感觉、请求、命令、劝诱等陈述有一定的制约关系。见各有关项。

在授受关系的表达中, 不同的授受动词在一定程度上规定着人称关系, 所以会话中往往省去人称代词。

①(私は先生に) 読んでもらう。 / 我请老师读。②(先生は私に) 読んで下さる。 / 老师为我读。

一部分有尊敬语或自谦语的名词本身有规定人称的作用, 旧尺牍用语中较多。有关第一人称的如: 小生、拙稿、愚妻(私の妻)、豚兒、卑見。用于第2人称的如: おん身、おみ足。另外接头辞お(ご)很自然地指明该名词属于第二人称人物所有, 如: お子供さん(あなたの子供)。此时“お子供さん”远比“あなたの~”自然、得体。

日语人称代词比其它许多语言多, 主要是由于日语人称代词需要按说者与被指示人物及听者的远近亲疏等关系区别使用。如“あんた”妻对夫用可以, 学生对老师不能用“あなた”。“おまえは学生ですか”, “あなた様は学生か”不能成立, 需要敬简体互换才能和代词的敬谦程度搭配。

⇒一人称、二人称、三人称、不定称、中称、近称、远称、

人称代名詞 ニンショウダイメイシ 人称代词

【性质】代词的一种。指示人物的代词, 与指示代词相对。有人称及远近称之别。

	第1人称	第2人称	第3人称			
			近称	中称	远称	不定称
一类	わたくし	あなた	このかた	そのかた	あのかた	どのかた
二类	わたし	きみ	これ	それ	あれ	どなた
三类	ぼく	おまえ	こいつ	そいつ	あいつ、かれ、かのじょ	だれ、どいつ
四类	おれ	きさま				



除称格性外，每一称格都有多数代词，按不同的敬谦程度区别使用。上表中一类是敬语，用于对长上和正式场面。以下敬意递减，二类用于同辈或晚辈，三类有轻视乃至视蔑之感，四类同三类，只用于男性之间的粗俗的谈话。当然，以上只是大致的分类。

表示多数时用接尾词，按由敬到简的顺序分别用～がた、～たち、～ら。～ども是谦语。除～たち和～ら外，其余的与人称有制约关系，～がた只用于第二、三人称，是敬语，ども只能用于第1人称。

【诸说】1. 名称。人称代词得名于松下大三郎。大槻文彦和桥本进吉则称为“人代名詞”（见该项）。桥本认为代词分为“人代名詞”和“事物代名詞”没有理论根据，只是一种方便。

2. 分类法。山田的分类法如下：

人称代词	{	定 称	{	第1称格
				第2称格
		不定称		第3称格

汤泽幸吉郎的分类法如下：

代 词	{	人称代词	{	人代名词
				事所代名词（即指示代词）
			反身代词	

# ん 又

## ん 〈助动词〉

【活用】特殊型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ん	○	ん	ん(ん)	ん(ん)	ね	○	○

1. 连用形。不常用，语气较粗俗，可用なくて代替。只能后续て、ても、ては（音便为で、でも、では）。

①無理な事を言わんでくれ。／别说做不到的事。②そうがんがんわめかんでも聞える。／不那么高声叫也听得见。③勉強してくれんでは困る。／你不用功可不行。

△教学语法不列这一形，而把ず看作其连用形。

△从なかった、なければ类推来的下列用法（广岛方言有这种用法）是不规范的。

①妻は決して悪口を言わなかったよ。／妻子根本没说坏话啊。②……言いませんかった（应该说～ませんでした）。③そんな危い所へ行かんけりゃよかったのに。／不到那种危险地方去就好了。

2. 终止形。口语中常音便为ん。

1) 单独或后续终助词结句。

①私には分らん。／我不懂。②次は別の商売をする気にならぬか。／接下来你不想干别的买卖儿吗？

2) 后续助动词でした（只限于ませんでした）、そうだ、らしい等。

①彼はもう黙っていることができませんでした。／他再也不能沉默了。②事件の原因はまだ究明されぬそうだ。／据说事件原因尚未查明。

3) 后续接续助词。

①よく分らんが、そう思い込んでいる。／不清楚，我认定是如此。

②注意しておかぬと子供は思わぬ間違いをすることがある。／不事先提醒，孩子有时会搞出意料不到的差错。

### 3. 连体形。

#### 1) 作后续体言的连体修饰语。

①準備中に思わぬ出来事が起った。／准备期间里发生了意外事件。

②知らんことは知らんと言え。／不知道的事你就说不知道。③一日も欠席せぬのは立派だ。／一天也不缺席这很好。④ここからは富士山が見えぬはずはないのだが。／按理说这里不会看不到富士山的啊。

#### 2) 后续有体言性成分的助动词ようだ等、接续助词ので、のに等。

①食品の種類は<sup>かたよ</sup>偏らぬように。／注意食品种类不要偏。②水害に備えねばならぬので、堤をもっと固めておくことにした。／必须防备水灾，所以决定进一步加固堤坝。

#### 3) 作准体言。

①知らぬが仏。(谚语)／眼不见心不烦。②受けとる，受けとらぬはあなたの自由です。／接受不接受是你的自由。

4. 假定形。口语中不常用，可代之以なければ、ないと、なかったら等。

#### 1) 后续ば，可音便为にゃ。

①君が行かねば，誰が行くというのか。／你不去，你说谁去？②もうあきらめねばならぬであろう。／现在也只好善罢甘休了吧？③さっさと片づけにゃなるまい。／必须赶紧收拾。

△作为文言已然形残余还可后续ど等。

①武士は食わねど高楊枝。(谚语)／武士饿死不倒槽。

【接续】1. 接动词未然形后。不同于ない，也可接ある（限于文章、成語等）后。サ变动词接未然形せ（ぜ）后。

①聞かぬ。／不听。②出来ぬ。／不会。③世の中はよい人ばかりとは信ぜぬ。(是サ変しんずる的否定。しんじる则是上一段活用，否定为しんじぬ)／不相信世上全是好人。④何もせぬ。／什么也不做。⑤あらぬ理由をこじつけて……／以莫须有的借口……⑥約束はそうあらねばならぬ。／约定就该如此。

2. 接动词性助动词(さ)せる、(ら)れる、たがる以及助动词ます的未然形后。其中ます只接ん, 接ぬ有文言色彩, 接ない则是方言(松山)。

①行かせぬ。/ 不让去。②行きません。/ 不去。

3. 接文言助动词なり、たり、かり活用的形容词, ナリ、タルト型活用的形容动词的未然形后。

①冗談にほかならぬ。/ 玩笑而已。②人品<sup>じんぴん</sup>卑しからぬ。/ 人品不俗。③少なからぬ疑問を持っている。/ 存有不少疑问。④十分ならぬ準備/ 不充分的准备。⑤態度は堂々たらねばならぬ。/ 态度须堂堂正正。

△“無理からぬ”是用形容词类推形容动词的个别现象。

【意义】共通语中动词等的否定用ない。而ぬ则多用于否定ます, 另外也用于文章、固定说法和关西方言色彩的书面或口头语。在各活用形中, 终止形和连体形的音便形较常用于口语。

1. 表示否定某种行为、动作、状态的发生或存在。

①許さんと言ったら許さん。/ 说不准就是不准。②知らぬ顔/ 若无其事的表情。

2. 以てはならぬ、てはいかん形式表示禁止、不许可。

①いいかげんな返事をしてはならぬ。/ 不得做敷衍的回答。②怠けてはいかんぞ。/ 不要偷懒啊。

3. 以ねばならぬ、なくてはいかん或类似形式表示责任义务、必然。

①読んでおかなければならぬが, 暗誦しなくてもよい。/ 一定要读, 但不需背诵。②必ずそうせねばならぬ理由はどこにもない。/ 没有任何理由必须那么做。③機会均等は何人にも保証されねばなるまい。/ 机会均等对任何人都有保证才成。④誰か見舞に行かねばなりますまい。/ 应该由谁去看望一下才是吧。⑤中学生なら揺かごを蹴破って, 自分の生活を作らねばなりません。/ 初中生就应该挣脱襁褓创造自己的生活。⑥福祉社会こそ, 吾々の求めるものでなくてはならぬ。/ 只有福利社会才应该是我们所追求的。⑦交通を整理しなくてはいかん。/ 非整顿交通不可。

4. 以んでもいい、ぬともよい、んでもかまわん或类似形式表示许



可、容许。

①お金なんか取らんでもかまわん。／钱不收也没关系。②無理に言訳をせぬともよい。／不必强词夺理。

5. 以んか、ぬか等形式表示语气婉转的疑问、劝诱。或表示反问、反诘。

①この辺で一休せんか。／现在该歇一歇了吧。②もう一度、試してみませんか。／再试一次不好吗？③離さんか。なぐるぞ。／你松不松开？我揍你啦！④王侯も奴れいも同じではありませぬか。（大輪「雨月物語」）／难道王侯和奴隶不都是同样的吗？

6. 构成惯用词组。

①庭に出たかもしれん。／也许到院子里去了。②ほかならぬ／不外乎、正是。③ただならぬ。／非同一般的。④けしからん／岂有此理的。⑤はかり知れぬ。／不可估量的。

【参考】1. 推量助动词む也有音便形式ん，不可混淆。

①あらんかぎりの力を尽す。／竭尽全力。②学ばんとする。／欲学。

2. 教学语法将ぬ和ず并在一起。但鉴于ぬ自有连用形，故做如上处理。这也贯彻了在同行中活用的原则。

3. 关于ぬ和んの差别，吉田金彦认为ぬ语气郑重，常用来表示强调，常用于文章；ん语气粗俗，常用于口语。

4. 关于んばかりの的ん。汤泽幸吉郎认为是助动词む，而在实际运用上是助动词ぬ。泉井久之助认为就是助动词ぬ。

ぬ 〈文言完了助动词〉

【活用】文言ナ变活用。但现在一般只用终止形ぬ，和连体形。连体形应为ぬる，现一般作ぬ。

【接续】主要接动词、助动词连用形后。

△否定助动词ぬ接未然形后，二者不同。试比较：

①雨降りぬ（＝雨が降った）。②雨が降らぬ。（＝雨が降らない）。

【意义】偶尔用于文章，或某些特殊场合。表示动作、变化的完了或结

果状态。相当于た、てしまふ、て（しまつて）いる。

①醒めよ我が同胞<sup>はらから</sup>，暁<sup>き</sup>は来ぬ。（国际歌词）／觉醒吧，我同胞，黎明已经来临。（直译）②習いはしたが，肝要な点は悉く「風と共に去りぬ」有様です。／学是学了，但是要点尽“随风去也”。

# ね      ネ

## ね 〈终助词〉

【接续】因词性及说者性别的不同，接续不同。

### 1. 接活用词后。

#### 1) 终止形。终止形ね（男）／终止形わね（女）。

①よくしゃべるね。／よくしゃべるわね。②えらいね／えらいわね。③そうだね／そうだわね。

△但是：静かだね／静かね。～ますね／～ます（わ）ね。～ですね／～です（わ）ね。

2) 命令形。男性除对儿童说话一般不用。女性常用，但一般只用于敬语动词，如いらっしゃいね、おいでなさいましね。

### 2. 接体言、副词后。～だね（男）／～（だわ）ね（女）。

①富士山だね／富士山（だわ）ね。②ゆっくりだね／ゆっくり（だわ）ね。

3. 接终助词后。男性用～かね、～さね形式，女性用～よね、～わね形式。

【意义】1. 主要接于疑问词后，添加为了确认而问的语气。

①どうだね，やっぱりだめかね。／怎么样啊，还是不行啊？②昔ここにお城があったそうだね。／据说这里过去有座城堡是吧？③いくらかかるね。／要多少价钱？

### 2. 表示要求对方同意或回答的和蔼语气。

①ずいぶんやられたようですね。／看来好一顿挨整。②あんな大彗星はめったに現われないでしょうね。／这样大的彗星很少出现的吧。③あれは君が中学三年生の時だったね。／那是你初三的时候，对吧？④オカンというと野宿のことだね。／你说オカン，就是露营吧？

### 3. 以委婉口气表示判断，主张。

①忙しいだけで，結局，空回り<sup>からまわ</sup>に終るようですね。／光是忙，看来

最后要空忙一场啊。②そうですね。／是啊。③閑静は、いいお住居すまいですね。／真是宁静的好住所啊。④お子さんは成績がいいから、きっと進学できると思いますね。／你的孩子成绩好，一定能升学的。⑤君はだめだね。もっと頑張った方がいいですね。／你不行，还要下更大的功夫啊。

#### 4. 接于命令性内容（包括禁止）后，表示叮嘱的语气。

①むだな事はもうよしなさいね。／别再做无用的事啦。②こうむちゃを言ってはいけませんね。／你这么不讲理可不行啊。③朝寝坊や、起きてよね。／（我的）小懒包儿，快起来吧。④むだづかいはしないね。／不要乱花钱啊。

#### 5. 对叙述内容表示感叹的语气。

①「すると、勝ったのは枝子さん一人ですか？」「いいことを訊くね。そうなんだよ。」／“那么说，枝子小姐一个人取胜了？”“你问的真好。就是。”②そうたのまれては困ったね。／你这样请求我，真叫我为难啊。③まあ、きれいね。何の花かしら。／哟，真好看，什么花儿啊？④本当にすごいわね。／好厉害呀。

【参考】能和敬语搭配。如：先生が御上京なさったそうね。／听说老师进京了。

#### ね 〈间投助词〉

【接续】原则上接于句中句节后。具有句中句节性质的省略句、不完整句后的ね（例②）也看作间投助词。

①あたしね、あれがすきでたまらないわよ。（女性语）／我呀，实在太喜欢那个了。②「だが、今は分るだろう？」「もちろん法律的にはね。」／“但是现在懂了吧？”“当然，在法律上懂了。”

【意义】以轻微感叹的语气引起对方注意，使对话始终保持紧密、连贯。不能用于长上。

①ですからね、よくね、辛抱をなささいというじゃないの。／所以呀，我也说你多忍耐点儿嘛。②それはね、大変ですよ。／那呀，可了不得。③あんたね、そう怒らないでよ。／你呀，别那么发火。④「そこでね。」とおおつぽおおつぽ刑事が説明を読けた。「きのう……」／“于是么，”大坪侦察员接着解释道，“昨天……”⑤あのね、私がね就職したよ。／告



诉你，我啊工作了。

△还构成下列复合间投助词。

①それでだね，行ってもらいたいんだ。／所以么，想让你去呢。②これはですね，誕生日にもらったものですよ。／这啊，是生日里别人送的东西。③おじいさん，あのね，あのね，お願いがあるのだけれど。／爷爷，嗯……，有个事想求您。

ねえ 〈终助词〉

终助词ね的长音形式。基本同ね，只比ね语气更强些。不能接敬语命令形后。かねえ形式除男性外，老年妇女也可用。

①これぐらいで間に合うかねえ。／这些（这样）行不行？②そうとも限らないと思いますがねえ。／我看也未必如此吧。③すっかり困ったねえ。／糟透了！④早く来てよねえ。／快点儿来啊。

【参考】下例是なひ的方音。

①「おまえもそういうか」「おれは言わねえ」／“你也这么认为？”“我不是的。”

ねえ 〈间投助词〉

间投助词ね的长音形式。接续，意义均同ね。但比ね语气稍重，或稍有娇柔的语气。

①そうかねえ，人があんまり良すぎるねえ。／是吗？人太老实了。②私ねえ，実はねえ，行きたくないのよ。／我吧，实际上吧，是不愿意去的。

ねがう（願う） 〈动词〉

五段活用。

1. 实义动词用法。表示“请求、托付”。

①お願いします。／拜托您了。②そのことなら，宇佐見さんに願いました。／那件事啊，托付给宇佐见先生了。③神さまに家内安全を願う。／向神乞求全家太平。

△格助词を常省略。

①どうか応答願います。／请你回答。②彼も登場願った十人の一人です。／他也是请求上场的十人之一。

## 2. 敬语补助动词用法。

1) 以“お+动词连用形+ねがう、ご+サ变词干+ねがう”形式表示对于对方或第三者的请求、愿望。比“お(ご)～くださる”形式敬意程度高，而和“お(ご)～いただく”大体相当。

①軽少なからお受け取り願います。／一点心意，请收下。②手術のあと，すぐ結果を，こっちへお知らせ願えませんか。／能否请您在手术之后马上把结果告诉我？③さあ，竹内君，お二人にお帰りねがいきましょう。／喂，竹内君，请二位回去吧。④その理由をお聞かせねがいたいと思います。／我想请您谈一谈理由。⑤实例は，警察の秘密事項なので，その点ご了承くださいねがいます。／因为实例都属于警察署的秘密，这一点请谅解。

2) 接副词及副词性成分之后，表示请求、愿望。可认为副词和ねがう之间省略了动词之类。“お願いします”更含自谦意义。不能用“下さる”等代替。

①どうぞよろしくお願いします。／请您多加关照。②お静かにお願い致します。／敬请(大家)安静。③ゆっくりと願いますよ。／多坐会儿。

ねがわくは(願わくは) 〈陈述副词〉

与表示请求、命令、希望的形式呼应，表示这些意思。文章语。也说ねがわくば。

①願わくは偉人の出現せんことを。／但愿出现一位伟人。②神よ，願わくはこの哀れなる少女にお恵みを与えたまえ。／上帝！愿你赐恩惠于这可怜的少女吧。③ねがわくはここがいつの間にかそんな都市になっているのだったら。／但愿有朝一日这里变成那样的城市该多好啊。

「ね」の見分け方 ネノミクケカタ ね的词性鉴别

终助词位于完整句句末，间投助词位于句中句节后或不完整句末。另有感叹词ね，用于句首，表示打招呼、引起注意、叮嘱等，显示语气的亲近。

①先生，この宿題の問題教えて下さい。それでね，山下さんたちが教わりに来ても教えないでね，ね，先生お願い。／老师，你教我这道作业题。另外，山下同学他们来问你也不告诉，好吗？啊，老师，我求你啦。

依次为间投助词、终助词及感叹词。

# の

## の〈形式名词〉

【解释】由格助词の转化而成。松下大三郎、时枝诚记称形式名词，桥本进吉称准体助词。

【接续】1. 接体言后，偶尔接由格助词の等构成的词组后。

①このカメラは僕のだ。／这照相机是我的。②これは先生の口ぐせではなく，校長先生のですよ。／那不是老师的口头语儿，是校长先生的。

2. 接用言连体形。

①登るのは骨が折れるが，下るのは楽だ。／攀登很费力，下来就轻松了。②あまり寒いのもつらいが，暑いのも苦しい。／太冷了确实难堪，可是热也难受。③もっと丈夫なのを選びなさい。／挑选更结实的吧。

3. 接助动词连体形后。通常不接う、よう、まい、です、ます、そうだ（传闻）。

①人に笑われるのがいやだ。／讨厌被别人耻笑。②旅行したいのを我慢している。／控制着自己不去旅游。③子供を勉強させるのに苦心している。／想方设法来让孩子用功。④歴史のABCも分らないのには閉口してしまった。／连起码的历史知识都不懂，我算服了。⑤先生を怒らせたのは誰だろう。／惹老师生气的是谁呢？⑥あの子がいつも木に登りたがるのが心配だ。／那孩子总愿意攀树令人担心。

【意义】1. 指代用法。

1) 接体言后，表示属下人（常有贬意或谦意）、所属物等。

①これはどなたのですか。／这是哪一位的。②僕のを貸してあげよう。／把我的借给你吧。③リンゴは青森県のがおいしい。／苹果青森县的好吃。④うちのはいたずらで困ります。／我家的小孩儿淘气令人没办法。⑤うちのはへそくりをためてすっかり困っている。／我家里的偷攒梯己钱，我实在伤脑筋。⑥始めのは，酒と女にだらしないので離婚してしまいました。／起初那个好酒色，所以和他离婚了。

△此用法是格助词の后的名词被省略造成的，如果不省略且用形式名

詞の代替便出現重叠，但不常用。

①これは私のものではありません。／这不是我的。

2) 接活用词连体形后表示具有这个性质或处于这个状态的 人、物等。可用实义词代替。

①前に走ってくるのは誰だ。／前面跑过来的是谁?②いえ，悪いのは私の方だ。／哪里，不好的是我。③表は派手なのがよく，裏は地味なのがよい。／面儿用艳的好，里儿用素的好。④洋服のボロボロになったのを着ている。／穿着破烂的西装。⑤うすいのに厚いのを重ねて着る。／把厚的套在薄的外面来穿。⑥市街地の歩道で自転車の通行を認めているのは，日本だけである。／允许自行车在市区人行道上通行的只有日本。

△接某些表示一定性质的体言后也能构成用法 2 的意义。

①上のは君ので，下のは私のです。／上面的是你的，下面的是我的。②寝台は二人用のが一台と，一人用のが一台ある。／床有一张双人用的和一张单人用的。

3) 接活用词连体形后，表示其地点、时间、场面、原因等。具体是哪一种意义通常能从后续谓语的性质上判断。因意义较抽象，有的能用实义词代替，如下例①可用“场所”代替。

①金の塊りを発見したのはあそこだ。(地点)／发现金块儿是那儿。②被害者が殺されたのは，日よりの午後だった。(时间)／受害者遇害是在星期日下午。③道彦が部屋から出たのと，顔を合わせた。(场面)／正遇上道彦从房里出来。④死んだのは腹膜炎だった。(原因)／死因是腹膜炎。⑤彼が病気になったのは不摂生からだ。(原因)／他所以得病是因为不注意健康。⑥買わなかったのは，高すぎるからです。(原因)／没买是因为太贵。

△其中表示原因的常构成～のは～からだ句式，如上例⑥等。

2. 体言化用法。只和接续 2、3 有关，使前接成分体言化，以便后续各种助词等。

①彼は走るのが速い。／他跑得快。②ミツが駆け出そうとするのをキクはあわててと止めた。／阿密刚要跑，阿菊慌忙把她制止住了。③古木の幹に，すみれの花がひらいたのを，千重子は見つけた。／千重子发



现古树的树干上有紫花地丁开着。④染子は最近稲子が現われなくなっているのに気がついた。／染子发现稻子最近不露面了。⑤女子大生の喫煙者が予想以上に多いのには驚きました。／对女大学生中吸烟者比预料的要多感到吃惊。⑥辞書は言葉の意味を知るのに使う。／词典用于了解词的意义。

△只能直接感觉到的情景不能用こと代替，如上例①～③。抽象的事实可用こと代替，如例④、⑤。试比较：

①私は花子がピアノを弾くのを聞いた。／我听过花子弹钢琴。②私は花子がピアノを弾くことを聞いた。／我听说过花子弹钢琴(这件事)。

3. 和判断助动词だ结合成助动词のだ，见该项。

の 〈格助词〉

【接续】1. 接体言后。

①二人の男の間の激しい争い。／两个男人之间的激烈争斗。②神秘の(な)島に無限の(な)宝物がありました。／神秘的岛上曾有数不清的宝贝。

2. 接副词后。

①しばらくの別れをつげる。／暂时告别。②少しのことですぐ怒る。／因一点儿小事就发火。③成績はすれすれの合格だ。／成绩刚刚及格。

3. 接格助词と、へ、で、から，提示助词も，副助词まで、だけ、のみ、きり、くらい、ばかり、ほど、など，接续助词て、ながら、たり等后。

①妻との内緒／和妻子的秘密。②先生への贈り物／给老师的礼物。③学校での勉強／在学校的学习。④旅行からの帰り／旅行回来。⑤千年もの昔／一千多年前。⑥3時から5時までの会議／从3点到5点的会议。⑦口先だけの愛情／口头上的爱情。⑧自分のみの合点／自以为然。⑨寝たきりの生活／卧床不起的生活。⑩20人ぐらい(或：ばかり、ほど)のクラス／大约20人的班级。⑪王力・呂叔湘などの言語学者／王力、吕叔湘等语言学家。⑫よく考えての質問です。／是认真思考之后的提问。⑬テレビを見ながらのお食事をしている。／边看电视边用餐。⑭うちと学校の間を行ったり来たりの日々を続けている。／每天往返于家门和校门。

4. 有时接在相当于一个句子的连句节后，等于という。

①それはなぜ、ビートルズの音楽が現在もなおはやっているか、のあかしとも言える。／也可以说，这就是为什么甲壳虫乐队的音乐至今仍然流行的原因所在。

5. 文言中还可以接在活用词的连体形后，被修饰的词之前。

①命を国家に捧ぐるの至誠は永く銘じて忘るべからざるところなり。／为国捐躯之至诚当永志不忘。②彼は人に将たるの器量がある。／他有将人之才。③なつかしの故郷。／令人依恋的故乡。

以上用法已在口语体中消失了，下面这些说法已完全固定，口语中常见。

①勝とう 勝とうの心は彼等の日常の談笑中にもちらちらとほのめいている。／事事争先的心理在他们的日常谈笑中也隐约流露出来。②知らぬ存ぜぬの一点張りで押し通した。／一口咬定说不知道。③殴るけるの乱暴を働いた。／拳打脚踢施以暴行。

△后续。通常后续体言，在作主格助词时后续用言。另外还后续ようだ等助动词。见以下。

【意义】1. 构成连体修饰语句节。

1) 表示依赖从属关系。

(1) 表示后项为前项所有。

①私の帽子／我的帽子。②自分の恋人／自己的恋人。③日本女性の優しさ／日本妇女的温柔。④ソ連の意図／苏联的意图。⑤衆議院の選挙法改正委員会／众议院的选举法修改委员会。⑥東大工学部の学生四百人／东大工学系的四百名学生。

△“木<sup>こ</sup>の葉<sup>は</sup>、筍<sup>たけのこ</sup>”等词中的の也来自此用法。

(2) 表示后项是前项（写、发出、提议……）的产物。

①田中角栄の「日本列島改造論」／田中角栄的《日本列岛改造论》。②作家たちの作品を読み，批評家たちの批評を読んだ。／读了作家们的作品，又读了评论家们的评论。③皆さんの意見／各位的意见。

(3) 表示人伦、数量、时空关系的基准。

①奥さんの話相手／太太的陪伴。②布の厚さの三倍／布的厚度的三倍。③来週の水よう日／下星期三。④山の向こう／山的对面（或：

那边)。⑤サラリーマン四人の一人が株式会社です。／每四名工资生活者中有一人在股份公司工作。⑥公立大学のほかに私立大学もある。／除公立大学外还有私立大学。⑦麻の中のよもぎ。(谚语)／蓬生麻中，不扶而直。

(4)表示前项是后项存在的场所、位置、方面等。

①東京都の神田区／东京都的神田区。②スイス(で)のさまざまな国際会議／瑞士的各种国际会议。③山岳地帯の気象現象／山区的气候现象。④近所の学校／附近的学校。⑤そこの家／那里的房屋。⑥国際間の諸問題／国际间的各种问题。⑦理論上の欠陥／理论上的缺陷。⑧長崎の「日本の聖母の寺」／长崎的“日本圣母寺”。⑨左腕の，お母さんが買ってくれた時計／左腕上那块母亲给买的手表。⑩麻の中のよもぎ。(谚语)／同(3)中⑦。

△下例也是这一用法的转用。

①国民経済調整への第一歩／迈向国民经济调整的第一步。②兄からのたより／哥哥来的信。

(5)前项是后项的时间。

①9月3日の会議／9月3日的会议。②現在の軍事情勢／目前的军事形势。③天保年間の<sup>こめ</sup>米騒動／天保年间的“米骚动”。④今からの動きに注目したい。／将注意今后的动向。⑤協定成立までの努力／直到达成协议而做的努力。⑥あとのみづり。(谚语)／事后诸葛。

(6)前项是包括后项在内的整体。

①議題の一つ／议题之一。②青年の過半数が就職難に落ち入る。／半数以上的青年遇到就业难问题。③三分の二の可決で決める。／以三分之二票数表决通过。④本書の冒頭部／本书的开篇部分。⑤ビールの一本ぐらい良いだろう。／一瓶啤酒不成问题吧？

(7)表示前项是后项的存在物、内装物、内容物等。

①兄の所に行く。／到哥哥那去。②おじの青山に預ける。／托付在叔父所在的青山。③リンゴの籠／苹果筐。④菓子の包み／糕点包。⑤物理の本／物理书。

(8)在具体文脉、情景中表示临时性的关联。

①第2部分の田中が来なかった。／（负责写）第2部分的田中没来。②あのたばこの店はどこだったけ？／那天我买烟的那个商店是什么地方来着？③朝鮮語の塚本勲氏もそう発言される。／（搞）朝鲜语的冢本勋氏也这样发言。

## 2) 表示属性关系。

### （1）表示前项是后项的性质、状态。

①半熟のたまご／半熟的鸡蛋。②灰色の月／灰色的月亮。③ジャンパー姿の中年の男が入ってきた。／进来一个着运动服的中年人。④雪の肌／洁白的皮肤。⑤芸術のための芸術／为艺术的艺术。⑥バラック立ての長屋／几户共住的简易房子。⑦在学中の生徒数／在籍的学生数。⑧「人民日報」所載の記事／《人民日报》登载的消息。⑨議題説明の議長／解释议题的主席。⑩学校現用の教科書／学校现用的教材。

### （2）前项是后项的种种特征。

①15才の少年／15岁的少年。②ひげの男／留胡须的男人。③20ワットの蛍光灯／20瓦的日光灯。

### （3）前项是后项的原材料。

①はがねのナイフ／小钢刀。②米の酒／米酒。③丸太棒の橋／独木桥。④玉子の茶碗蒸／碗蒸的鸡蛋羹。

### （4）前项是后项的数量、范围顺序等。

①四頭の馬／四匹马。②十倍の水／十倍的水。③いくらの同情を持っても……／无论怀着多少同情……④多くの外国人／许多外国人。⑤若干ずつの例外がある。／各有若干例外。⑥第二の法則／第2条法则。⑦一部の人々／一部分人。⑧当分の間／暂时。⑨母乳以外の食物／母乳以外的食物。⑩老婆はこうのようにして、43の年から58の今までに50幾つかの人命を救っている。／老太太就这样，从43岁直到现在58岁救了50几条人命。

### （5）前项是后项的前提、起因。

①長い間の苦心の結果／长期艰苦努力的结果。②新婚の喜び／新婚之喜。

### （6）前项是后项的用途、目的等。



①果物のナイフ／水果刀。②ご飯の茶碗／饭碗。③汽車の切符／火车票。④客寄せの愛嬌を振りまく。／施展吸引顾客的殷勤。⑤これを取引の具とする。／以此作为交易手段。⑥弾除の御守り／防弹的护身符。

(7) 前项是后项的逻辑主语、逻辑宾语。

①工業の発展／工业的发展。②新大陸の発見／新大陆的发现。③患者の看病／患者的看护。

(8) 表示比喻的喻体、例示物。经～のよう<sub>な</sub>的省略，紧缩而成。

①夢の（よう<sub>な</sub>）世の中／梦幻世界。②露の命／短暂的生命。③あなたの（よう<sub>な</sub>）わからず屋がよく納得したね。／难得你这样不懂事的人都能理解。

3) 表示前后两项是同一实体，即“同位语”或“同格修饰”。

(1) 前项是后项的名称和内容。

①桜の花／櫻花。②富士の山／富士山。③「今昔物語」31卷は天竺、震旦、本朝の3部に分かれている。／《今昔物語》31卷分为天竺、震旦、本朝三部。④君はこの前会ったときとは全く別人の観がある／你和上次见面时判若两人。⑤受けた印象は「力強い」の一語につきる。／得到的印象可归结为一个词：强有力。⑥生活補助費の名目で……／以生活补助费的名义……⑦すぐ帰れとの電報／要求速回<sub>る</sub>的电报。⑧どちらがよいかの問題ではなく，どちらが適応するかの問題である。／不是哪个好的问题，而是哪个合适的问题。

(2) 表示前项是后项的所属类别。

①先生の田中さん／教员田中先生。②首相の大平正芳氏／首相大平正芳氏。③名所の桂林に行く。／去名胜桂林。④病名の<sup>きんえん</sup>筋炎は初耳です。／病名筋炎还是头一次听到。

(3) 作为主谓关系的连体修饰语从句的连体标记。文章中也可用である代替。

①母は私が五つの時になくなりました。／母亲在我5岁时去世了。②パンが一つと牛乳が一びんの一食でひもじい時を凌ぎました。／面包一个、牛奶一瓶当一顿饭，把饥饿挺过去了。③患者が子供の場合，一番大切なのは看護です。／患者是儿童的时候，最要紧的就是护理。④中日

国交正常化は毛沢東が主席で周恩来が総理の時実現した。／中日邦交正常化是在毛泽东当主席、周恩来当总理的时候实现的。

(4) 接指示性词后，指代后项的具体内容。

①この学校／这所学校。(别义：这里的学校) ②これらの問題／这些问题。③それぞれの仕方／各自的做法。

(5) 后续形式体言，指代前项的具体内容。

①結果はグラフの通りである。／结果如图表所示。②目下のところ北の方がよい。／眼下还是北方好。③世界平和の上からは喜ばしいことである。／对世界和平来说是值得高兴的事。④特別協定は未調印のまま放置されている。／特别协议还搁置着没有签署。

(6) 后续ようだ、ごとし表示前项的例示、比喻、推测的具体内容。

①中国人のように上手に中国語を話します。／象中国人一样流利地讲中国话。②月の光は真昼のごとき明るさだった。／月光如白昼般明亮。

(7) 在文言体中构成用言的连体修饰语。山田孝雄认为の形式比单纯的动词连体形多有という的意义。如“一世を驚かすの事業を成しとげむと心かけりたり。／已准备完成一鸣惊人的事业。”一句中の前は“事業”的内容，而不是性质。详见接续5。

4) 构成“名词＋の＋用言の”形式的特殊连体修饰语。前一个の由格助词が、を、に转成，后一个の指代前一个の前名词，相当于英语的关系代词。

①リンゴの新しいのが(新しいリンゴが)食べたい。／想吃新鲜苹果。②妹はすいかの割ったのを(割ったすいかを)持ってきた。／妹妹拿来了切开的西瓜。③台子火鉢の火の無いの前に……(火の無い台子火鉢の前に……)／在没有火的台子火盆前……

5) 笼统地连结前后、因果、对照等关系，多见于谚语。

①東京生まれの東京育ちだ。／东京生，东京长。②骨折り損のくたびれもうけ。／费力不讨好。③安物買いの銭失い。／买贱货白扔钱。④論語読みの論語知らず。／书本上的学者行动上的蠢人。⑤見始めの見納め。／一面而终。

## 2. 表示主语、对象语。只用于连体修饰语子句中。

### 1) 表示主语。

①夏は食物のいたみやすい季節です。／夏天是食物容易变质的季节。②山水の美しい桂林／山水秀丽的桂林。③体の丈夫な子どもほど運動が好きです。／越是身体健康的孩子越喜欢运动。④この子は親のことを少しも聞かない。／这孩子根本不听大人的话。⑤火のないところに煙は立たぬ。(谚语)／无风不起浪。

△关于の代替が的条件，参见“「が」と「の」”项。

△下列例句可看作后续动词类名词化了，参照1中2)的(7)。

①夫の帰りが遅かった。／丈夫回来得很晚。②いろいろの絵の可否を論じている。／评论各种画儿。③年よりの物忘れ，若者の無分別。(谚语)／老的好忘事，少的不懂事。

### 2) 表示对象语。

①コーヒーの好きな父／喜欢咖啡的爸爸。②日本語の出来る方はいらっしゃいませんか。／不知有没有哪一位会日语？③なんて話の分らない人だろう。／是个多么不懂事理的人啊。

△下例可看作后续用言的名词化。例：

①金のほしさは誰だって同じだろう。／对金钱的欲望谁都是一样的吧。

△除以上外，还可表示宾语，但只限于后续动词名词化时。参照1中2)的⑦。例：

①東京市民が腐心しているのは，道路の整理と建築の改善として木の養成である。／东京市民最关心的是道路的整修、住房的改善以及树木的栽培。②40万人の首切りだ。／解雇40万人。③標題のつけ方を教える。／教怎样拟标题。④感情の持ってゆき場所がない。／无处发泄感情。⑤詩的精神の所有者／有诗一般情操的人。

【参考】の使用频繁，用法多歧，主要应注意以下两点。

1. 多义性。如“私の絵／我的画”在不同文脉中能有多种意思。比如：A. 我所拥有的画、B. 画着我的画、C. 我画的画。

奥津敬太郎认为のは助动词だ的连体形，の的大部分用法可用这种观

点作统一的解释。如上例“私の絵”是由“(この)絵は私が所有している、(この)絵は私が書いた、(この)絵は私を書いた”三句经ダ型句“(この)絵は私だ”和ダ型句的连体化“私の(←だ)(この)絵”而形成的。

2. の多次出现时构成多层次的连体修饰关系。举例如下。

①管の中の空気の共鳴／管内空气的共鳴。②彼の最後の未完の作品／他的最后的未完成的作品。③ぼくのおばあさんのダイヤの指輪／我奶奶的钻石戒指。④角屋の丸ボヤの瓦斯灯の下／拐角处房内带圆形灯罩的煤气灯下。⑤巨大社会の組織の中の人間／巨型社会组织中的人。

### の 〈并列助词〉

【接续】接体言、用言和助动词终止形、以各种形式结束的引语分句、指示副词等。各用法间有所不同，见以下用法。

【意义・用法】1. 主要以～の～の（～の）と的形式表示列举，并含有一种急躁的心情。接体言、活用词终止形等。也用于引语。

①ペンのノートのといろいろあった。／又是笔又是本子的，有各种（文化用品）。②なんのかのと忙しい。／忙得不可开交。③読むの書くのと少しも暇がない。／又是读又是写的，一点儿空闲也没有。④ここのあそこのと，さがすまでもありません。／不必各处寻找。⑤子どものしつけがどうの，PTAの会議がどうのと言って見ても，主人は全然耳を貸してくれません。／虽然说过孩子的教养如何如何，教师家长联谊会如何如何，可我丈夫根本不理睬。

2. 表示对引语的罗列，常用～の～のと、～の～ないのと、～の～なんのと形式，带有嫌罗嗦的语气。

①やれ狭いのきたないのと，けちをつける。／说窄啦脏啦地挑毛病。②貸したの借りないのと，二人は争っている。／两个人争论不休，一个说借了，一个说没借。③どうのこうのと難しいことばかり言う。／这也不是那也不是，左右难为人。④食べるの食べないのとただをこねる。／一会儿要吃一会儿又不吃地磨人。⑤研究の、発明のなんて言たって，まるっきりうその皮だ。／别看他说什么研究、发明，压根儿是骗人。⑥時間が無いのなんのと，誘っても来てくれない。／又是没时间



又是什么的，邀他他也不来。⑦年が若いの若くないのって，そんな水臭いことなんか申しませんことよ。／什么年轻不年轻的，咱不用说那见外的话啊。⑧買物に行ってこいの仕事を手伝ってくれのと言われた。／不是让我去购物，就是让我帮着干活儿。

3. 表示达到非同一般的程度，以至于不容争辩。接活用词终止形后构成～の～ないの的同词反复形式。～の～なん～形式程度比～の～ないの稍低一些。

①きたないのきたなくないの，全く話にならない。／别提多脏了，简直不成样子。②痛い痛い痛くないの，すっかりねむけがさめてしまった。／别提多么疼痛，困劲儿全消了。③飲んだの飲まないのって，二人でビールを2ダースも飲んでしまった。／太能喝了，两个人竟喝了两打啤酒。④北海道の冬といったら，寒いなのなのって，とても我慢が出来ないぐらいだ。／提起北海道的冬天，真是冷极了，简直无法忍受。

△此种用法有时把后面的叙述部分省去，用于结句。

①いや，降るなのなのって。／甭提下得多大啦！②頑固なのなのって。／固执极了。③よほど腹がへっていたと見えて，食うの食わないのって。／看样子饿得够呛，好一顿吃。

【参考】の和だの同属并列助词，都有“逐一列举，暗示其他”的语气。在接续上，の难于接体言后，易于接用言后，のだ反之。

#### の 〈终助词〉

【接续】接用言及除（よ）う、まい、そうだ（传闻）以外的助动词连体形后。

①あんたも行くの。／你也去吗？②今日は少し寒い。／今天有点儿冷。③皆さんも御無事なの。／大家也还好吗？④私は日本料理が好きですの。／我喜欢日本饭菜。⑤結婚の相手はどんな人なの？／对象儿是个什么样的人啊？⑥雨が降るようなの。／象下雨似的。⑦あの人には断られそうなの。／可能被拒绝的。⑧別に変わったことはありませんの。／我过得还好。⑨主にどういうものをお読みになりますの。／您主要读些什么书？⑩今日は何の座談会ですか？／今天是什么座谈会？

△可后续终助词よ、ね、さ、か、かしら等。

【意义・用法】主要是妇女儿童专用语，以柔和的语气表示种种陈述语气。

1. 以柔和的语气表示判断并告诉对方。句末用降调。

①とっても面白いの。／可有趣儿啦。②私もそう考えるの。／我也是那么想的啊。③北海道までは、まだ参りませんの。／还没去过北海道呢。

2. 表示提问、疑问。句末用升调。有时前面有疑问词相呼应。

①何が悲しいの？／在难过什么？②ねえちゃん、まだ詩はできていないの？／姐姐，诗你还没有写好吗？

△这种用法还可转为反诘。如上例①（书面上用句号或叹号）可为：“你悲伤什么！”又例：

どこへ行くの！／你要到哪儿去！

3. 表示督促、命令。の部分带有重音。

①来なさいと言ったら、すぐにこっちへ来るの。／说来，你就马上过来。②何も分らないくせに、文句など言わないの。／你什么也不懂，不要发牢骚啦。③家のことは心配しないで、よく養生していればいいの。／不要惦念家里的事，好好养病就行了。

⇒のだ、のね、のか、のかしら、のさ、のよ  
のう 〈终助词〉

由终助词<sup>な</sup>的长音形式<sup>なう</sup>转成。古语曾用于句中和句末，表示感叹和疑问、征求同意等。现在残存于老年人谈话和方言中，用于句末。

1. 表示感叹。

①与四郎！さすがに其方<sup>そち</sup>は武士じゃのう。／与四郎，你真够武士！  
②殿の噂か，聞えたら切腹じゃのう。／你们在议论老爷？他听了会让你们切腹的啊。

2. 以感叹语气要求对方予以赞同。

①熱いのう。／多热啊。

能相 ノウソウ

大槻语法用语，动词态的一种，参见“能動態”项。

能動態 ノウドウタイ 主动态

态的一种，与被动态等相对。主动态是动词的范畴，表现在动词的形

态上，动词原形即表示主动态。主动态又是句子范畴，表现在以动作行为的主体为主语，以该动作行为作为谓语。

①雨が降る，／下雨。②男が酒を飲んでいる。／有个男人正在喝酒。

主动态是基本的态，其余的态可从主动态通过转换得出。三矢重松称主动态为“平相”。

のか 〈复合助词〉

由形式体言の和终助词か构成。女性还可用的かしら。接用言及助动词连体形后。还可后续终助词ね、な等构成のかね、のかな。敬体形式为のですか。

1. 终助词用法。表示有根据、有针对性的疑问。

①もうオーバーを着たね。寒いのか。／你已经穿上大衣啦。冷吗？  
②それで、あんたは、今は独りで仕事をしているのかね。／那么，你现在是一个人在工作了？③お互いに知っているのかしら。／原来，是互相认识？④では、なまけるためにそうなったのかと思うとそうでもない。／那么，是不是因为懒惰才变成这样的呢？其实不是。

2. 副助词用法。在句中构成副词性句节，表示针对后项内容而提出的可能的原因、来源、内容等方面的疑问。

①サングラスをかけた二人は、かなわないと思ったのか、急に元気をなくしてしまった。／戴太阳镜的两个人大概是认为敌不过吧，突然间没了精神。②彼には誰に教えられたのか，特技が一つだけあった。／也不知道是谁教的，他有一手绝技。③原因が何なのか，調べて見ようか。／原因到底是什么，让我们查一查吧。④天に登るといふのか，燕は黒点しか見えないほど空高く飛んだ。／怕是想登天？燕子在空中高高飞翔，形成一个小黑点儿。

3. 并列助词用法。以并列形式表示对后项内容的原因、来源、内容等的疑问、不确定。

①図星であるのか，ごまかしているのか，泉によく分らなかった。／是被说到要害了呢？还是搪塞呢？阿泉估摸不透。②白井はゆっくりと顔をあげた。怒っているのか怯えているのか興奮しているだけなの

か、分らないような眼つきだった。／白井慢慢扬起脸来。那眼神几分不清是发火，是胆怯，抑或仅仅是兴奋。③忘れたのか，それともわざとしなかったのか，一向に返事がない。／不知是忘了，还是故意这么的，一直没回信。

#### 4. 形式名词性用法。后续助词作句子成分。

①どちらが本当なのかは，今ははっきり言えない。／哪一方是对的，现在还说不清楚。②燕が一体どのようにして巢を作るのかを，長年にわたって丹念に観察してきた。／多年来一直专心地观察燕子到底是怎么样筑巢的。

#### のが〈复合助词〉

由形式名词の和主格助词が构成，主要有以下用法。

1. の使前述成分体言化，が是一般意义上的主语（包括对象语）标记。

①先生と呼ぶのが，一番ふさわしい。／称为“老师”最适当。②今行くのが，ちょっと不思議です。／现在去，这有点儿不可理解。③彼は推理小説を読むのが好きです。／他喜欢读推理小说。

2. の有指代时间、地点、人物的作用。其余同1。

①被害者が殺されたのが日曜の午後と推定できるとすると……。／如果可以推断出被害人被杀害（的时间）是星期日下午，那么……。②首相に始めて会ったのが大阪ですから……。／第一次见首相是在大阪，所以……。

3. の在使前述成分体言化的同时，又指代与上述成分有关的事物或其“变体”（如下例①的の指代计算光速的结果或者说经过计算的“光速度”），が是主语标记，但一般不能因文脉等换成は等。

①このことから光速度を計算したのが，一秒間30万キロメートルという値です。／由此来计算光速，所得值为每秒30万公里。②一枚一枚むいて行くと，中から手製のスケッチ帳が三冊，棒のように巻きあげられたのが出てきた。／一张一张地剥开，里面便现出卷得象木棍似的三本手制的素描册子。③ばかね，花嫁って分らないの？好きな女性を妻として家まで迎えたのが，花嫁なのよ。／真是傻瓜，“新娘子”还不懂？



把喜欢的女性作为妻子迎到家里来，这就是新娘子啊。

4. の的作用同3，が除作一般意义上的主格助词外，因为前后两项的关系是状态转换，所以若去掉の，が便成为表示状态转换的接续助词。

①一尺くらいある大蜘蛛がいたのが，急に見えなくなった。／有一只一尺左右的大蜘蛛，突然就不见了。②神社の祭りに関係した芸能は，本来は祭りその物であったのが，今では，ショーのように感じられている。／与神社的祭祀相关的民间艺术，起初就是祭祀活动本身，现在却给人文艺表演的感觉。③1949年の人口は5億余りだったのが，1953年の人口調査では，5億余りに達している。／1949年的人口是5亿多，而在1953年的人口调查时，上升到6亿多。④去年の交通事故による死者は，毎日平均54人だったのが，今年は50人に減っている。／去年交通事故的死亡人数是平均每天54人，而这个数字今年减少到了50人。

のかしら 〈复合助词〉

のか的女性语形式，用法同のか。

①そう。よかったわね。何をくれたのかしら。／是吗？那好啊。给你什么啦？

のかかもしれない 〈词组〉

由形式体言の和かかもしれない构成，接于体言或用言连体形后。由于の的作用不同，有以下两种用法。

1. ～の部分相当于名词，かかもしれない表示不确定的判断。

①この本は弟のかかもしれない。／这本书可能是弟弟的。②私のは赤いのかかもしれない。／我的也许是红的。

2. 表示有根据、有针对性的不确定判断。

①この方がいいのかかもしれない。／也许这个更好些。②なにかの音がしている。雨が降っているのかかもしれない。／有什么声音。或许是在下着雨吧。

のだ 〈助动词〉

由形式体言の、助动词だ构成。已成固定的助动词。口语中常音便为んだ。敬体形式为のです、んです。

【活用】形容动词型。

基 本 形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
の だ	の	○	のだった ので	のだ	○	のなら	○	のだろ

## 1. 词干。

1) 后续终助词か、ね、よ构成のか（以上男用）、のね、のよ（以上女用）。

①あの子はよく出来るのか。／那孩子成绩好吗？②英語上手なのね。／英语水平真高。③「婦人クラブ」を見ているのよ。／我在看《妇女俱乐部》那。

## 2) 后续助动词らしい。

①何かあったのらしいね。／好象是发生了什么事。

## 2. 连用形。

## 1) のだった，后续た等。

①ぶだんは成績のいい彼も落第したのだった。／那时，他平时成绩很好也留级了。

## 2) ので。

(1) 后续は表示既定的、消极的条件。口语中常音便为んじゃ。

①せっかく手に入れたマイホームを買い換えの際に失ったのでは，元も子もない。／把好不容易弄到手的私人房子在倒换时弄飞了，这真是鸡飞蛋打。②弁護士がそばに居たんじゃ話しにくい。／律师在旁边，不好说。

(2) 后续ある、ない等，有时中间加进は、も等。

①母上にはそれが堪えられないのであった。／当时，母亲对此是无法忍受的。②それは社会全体についても，同じように考えられてよいのではないか。／这一点对整个社会来说不也可以认为是相同的吗？

## (3) 中顿。

①花子がはずかしいので，花子の姉さんがはずかしいのではない。／是花子觉得害羞，而不是花子的姐姐害羞。

(4) 构成固定的接续助词ので，见该项。

### 3. 终止形。

#### 1) 单独或后续终助词结句。

①値段があまり高いのだ。／价格太高了。②空を飛行機が飛んでいるのだね。／有飞机在天上飞啊。

#### 2) 后续助动词そうだ（传闻）。

①佐佐木さんも受験するのだそうです。／听说佐佐木同学也参加考试。

#### 3) 后续接续助词が、けれども、から等。

①戦争は残酷なのだが（けれども）避けられないものである。／战争是残酷的，但又是不可避免的。②お金があまりないのだから，むだ使いをしないで下さい。／因为钱不太多，请不要浪费。

### 4. 假定形。单独或后续ば表示假定，口语通常不用ば。

①それが簡単にできるのなら苦労はない。／如果这件事很容易就办到，可省事多了。

### 5. 推量形。后续う表示推测。

①花子が長い間顔を見せない。私がはずかしいのだろう。／花子长时间没露面儿。是对我害羞吧。

【接续】接用言、助动词连体形后。

①中野君，何を言うのだ。／中野君，你在说什么！②何しろ費用が大変なのだ。／不管怎么说，费用太大。③面白いのは面白いのだが。／有趣儿倒是有趣儿。④このカメラの持ち主は僕なのだ。／这部相机的主人就是我。⑤この秋は美しい紅葉が見られないのではないか。／今年秋天怕是看不到美丽的红叶了。⑥これが出来るということを，もう証明したのだ。／已经证明这是能办到的。

【意义】1. 表示对结果、状态的原因、理由的说明，带有主张、辩解的语气。句中可能出现“结果句”，也可能是对场景乃至表情等等的说明。

①昨日は休んでいた。気持ちが悪かったのだ。／昨天休息来着。因为有些不舒服。②電車が事故を起したのだ。それで遅刻してしまった。

／电车发生事故了，所以迟到了。③試験に失敗したのだ。／（他那么沮丧）是因为考试不及格。

△のだ和だ。下例①のだろう改成だろう就不是对原因的推测，而是对结果的推测了。试比较：

①4時間もかかった。疲れたのだろう。（先果后因）／竟用了4个小时，是累的吧？②4時間もかかった。疲れただろう。／（先因后果）／用了4个小时。一定累了吧。

## 2. 表示根据客观事实而做的判断、主张。

①うれしい顔をしている。もう知っているのだろう。／满面笑容的。他准是已经知道了。②4月も近づいているから、もう花時なのだ。／快到4月了，已经是赏花季节了。③君にも権利があるのだから、何も遠慮することはないのだ。／因为你也有权利，用不着客气。

△下例①如去掉“のだ”则由解说变成告知。

①冬だから、あちは寒いのだよ。／因为是冬天，所以那边很冷的呀。②冬だから、あちは寒いよ。／因为是冬天，那边很冷啊。

△のではないか、のではあるまいか、のではないだろうか等表示语气委婉的判断。

①そう許してやってもいいのではないだろうか。／是否可以允许他那样做呢？

## 3. 表示引题性的说明。

①ゆうべ雪が降ったんだね。今朝出てみると大雪だったよ。／昨晚上雪啦。今早出门一看，是一场大雪啊。②あした東京へ出張に出かけるのだが、何かご用はないか。／明天我到东京出差，你有什么事没有？

## 4. 以のだった形式表示回顾或突然想起。包含感叹语气。

①家という家は無惨にも焼かれ、崩れるのだった。／当时所有房屋被烧毁倒塌，目不忍睹。②君、焼ちゅうを飲むんだったね。／记得你能喝白酒，是吧？③今晚の会議は何時に始まるんだった。／今晚的会是该几点开始来着？④明日は彼と会うのだった。／对，明天要和他见面。

△のだった接于现在形和过去形后，有细微的语义差异。首先有回忆和确认的区别。



- ①寝るのであった。(对过去的习惯性动作的回忆)／(那时)常睡。  
 ②寝たのであった。(以回忆的语气对于过去的个别事实加以确认)／  
 (那时)睡了。③寝たのである。(只确认过去的事实)／睡了。

其次，有对于假定事实的后悔和失望的区别。

- ①人が見ていなければ折るのだった。(后悔)／如果没人看着，该把它折下来了。②～折ったのだった。(失望)／～能把它折下来的。

5. 以のだ形式接于句末意志动词后，表示有事实根据的疑问（下例①）、命令（例②）、决心（例③）、强调（例④）等陈述语气。

- ①出かけるのか。／你这是要出门？②お前はもう帰るのだ。／你该回去了。③僕はどうしても今日行くのだ。／我无论如何也要今天去。④君はまだ中学生なのだ。／你还只是个初中生。

【参考】1. のだ已被大多数人认作独立的助动词。另外一些人，如三上章作“準詞”、奥津敬一郎作“文末詞”。

2. 下两例的のだ是の和だ（で）的临时组合，の是具有明确意义的形式体言。

- ①これはイカのしおづけしたのだ。／这是用盐腌的乌贼。②これが日本ので、それが舶来品です。／这是日本的，那是外国货。

3. のです、のらしい、のか、のよ、のさ、のね、のである、のであります等与のだ都是一个系列的词语，见各项或有关项。

のち（後） 〈形式名词〉

【接续】同あと。接于时间名词后（例①）、与时间有关的名词加“の”后（例②）、动词过去式之后。（见用法）。

- ①三日のち／三天后。②出発ののち／出发后。

【用法】基本上同あと，表示“过……之后”、“完……之后”的意思。

- ①注文すれば三日のちに配達されます。／如果预约三天后就可以送到。②芝生の庭で犬をからかったりのち客間へ上った。／在草坪庭院里戏弄一阵子狗，然后进客厅里了。

但“あと”可作副词用，而“のち”不能。如“あと（※のち）5分で10時だ。／再过5分钟10点。

ので 〈接续助词〉

【接続】口語中常用音便形んで。接用言及助動詞連體形，（よ）う、まい等助動詞除外。

①みんながそっちへ行くので，私もついて行って見たのだ。／大家都到那儿去，所以我也就跟着去看了。②この辺が緑が多いので気持ちが休みます。／这一带树木多，头脑能得到休息。③思ったより元気なので安心しました。／比想象的更健康，所以放心了。④今月のグラフが見たいので図書館に行ってきました。／想看看本月的画报，到图书馆去了一趟。⑤電車の事故があったので会社に遅れました。／电车发生了事故，到公司迟了。⑥こちらの動静に気づいているらしいので平静を装った。／似乎注意到了我方的动向，所以假装平静。⑦東風が出そうなので，帆をあげた。／要起东风，就把帆升了起来。⑧患者があまり苦しいようなので，一本注射をした。／患者好象很痛苦，所以打了一针。⑨ちょっと急ぎますのでお先に失礼いたします。／有点急事儿，不奉陪了。

【意义】1. 表示引起某种结果的客观原因。结果多是既定的或恒常的，因此常用于客观描述，而主观性强的判断（とおもう）、命令、愿望、推测、疑问等句子中一般不能用的。

①余り怠けたので失敗した。／太懒惰，所以失败了。②ほんの二三日というので貸してやったのに何日たっても返しに来ない。／说是只两三天，所以借给他了，可是过了不少天仍没来还。③あまり自信がないので，一人で登山はしない。／不太有把握，所以一个人不登山。④上京したっきり連絡がないんでずいぶん心配していたんだよ。／进京之后就再也没有联系，可把我惦记坏了。

2. 敬語、女性語在表示期求、意向等的根据、理由等时，用来代替から，以使态度和口气更加缓和、委婉。

①都心でわりに便利のいいところですので，一度ぜひお立ち寄り下さい。／在市中心，交通比较便利，请您一定顺路来作客。②雨が降っていますので，ハイキングは中止いたします。／因为下雨，停止效游。③私どもは長年住みなれた日比谷から下記へ転居しましたのでご通知いたします。／我们已从久住之地日比谷迁居于下述地点，特向您禀告。④会議は明後日の予定ですので，遅くて明日は御通知いたしたく存じます。

／会议预定后天召开，所以我想至迟明天通知您。

【参考】 1. 松下大三郎认为のは形式体言の和格助词での结合。这种结合说明了前接部分相当于一个体言，通过格助词で做后续用言的连用修饰语。换言之，ので前不是一个分句，这一点与接续助词から有明显的区别，から联结的是两个分句。

另外，永野贤、三上章都把のは看作是的だ的同一系列词，但同时指出不尽相同之处。如下例中的のは就不是接续助词の。

①正直にそう思ったので，決してお世辞ではありません。／我真的是那样想的，绝不是说恭维话。

2. 下例のは形式体言の、格助词での临时组合。

①生活費は送ってくれるので間に合う。／生活费寄来的钱就够了。

②彼は親しみにくい男に違いない。それは親しい友達の少ないので分かる。／他这人准保不平易近人。这从他密友很少这一点就可以知道。

のです 〈助动词〉

由形式体言の和助动词です构成，口语中常音便为んです。

【活用】特殊型活用。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
のです んです	○	のでし んでし	のです んです	(のです) (んです)	○	○	のでしょ んでしょ

1. 连用形。后续た、たり、たら、て等。

①彼女は優勝したのがうれしくてたまらないのでした。／她得冠军高兴得不得了呢。②そんなことを本気で考えているのでしたら協力してやりませんよ。／你若是对这种事当真，我可不跟你合作啦。

△のでし不能中顿，只能用～て中顿。

①それは私に責任があるのでして，仕置きは私だけにして下さい。／那件事责任在我，请惩处我自己吧。

2. 终止形。

1) 单独或后续终助词结句。

①そこが、彼らの狙いだったのです。／这便是他们的目的。②こんな調子で、今まで続くんですか。／就是这样持续到现在的吗？③よくできましたね。／做得真好啊。

## 2) 后续部分接续助词。

①そのお話，もう少し詳しく聞きたいんですけど……／我想更详细地了解你说的那件事（，请你……）。②先生が教えてくれたんですが，化学薬品は直接鼻に向けて嗅いではいけません。／是老师教的，不能把化学药品直接冲着鼻子来闻。

3. 连体形。一般不用，有时接もの、こと等体言性的终助词。

4. 推量形。后续う，表示推测性判断。

①それは本当の物に見えるのですが，実はそうではないんです。／这个也许看起来象是真货，其实并不是那样。

【接续】接活用词连体形后。同のだ。

【意义】のだ的敬体形式。

1. 表示对于叙述内容的主张、强调。

①普通の夢ではないようなんです。／不象是个一般的梦。②バスク人は優秀な航海家だったのです。／巴斯克人曾是优秀的航海家。

2. 以ののですか形式表示根据实际情况的针对性发问，即对事态的原因、理由、细节等的追究。有时带惊讶、责难的语气。

①どうしたんですか。向こうが迎えに来てくれなかったのですか。／是怎么回事？是对方没来接你吗？②ふるえているようですが，寒いのですか。／你好象有点儿抖，是冷的吗？

3. 表示某种事实赖以成立的前提、原因。

①停電したんです。それでエレベーターが使えなくなりました。／停电了。所以电梯不能用了。②場内は非常に静かでした。みんな校長の話をよく聞きたいんです。／场内非常静。因为大家都想认真听一听校长的讲话。

4. 强调根据某种前提而得出的结论。

①彼女は夫に死なれました。それで一人で子供を育てるのです。／她死了丈夫，所以就一个人抚养孩子。②雨模様だから，関節がつくつ



く痛むのです。／要下雨了，关节剧烈地疼痛起来。③朝が早いか，校庭には誰一人いないのでした。／也许还太早，校园里还一个人也没有。

△3和4在意念上对立（前提和结论）。详见“のだ”项。

のに 〈接续助词〉

【接续】接用言及助动词だ、た、ます（不常用）、です（不常用）以及所有用言型活用的助动词连体形后。

①十人もいるのに，分る人は一人もいない。／有10个人，竟然没有1个人懂。②金もないのに，何でも買ったがる。／本来没钱，偏得着什么想买什么。③品が上等なのに，案外買う人は少ない。／品质优良，却意外地买的人很少。④一週間前に会ったのに，もう大分会わなかったような気がする。／本来一周之前见过面，却觉得好久没见了似的。⑤フランス語なのに，ドイツ語だと頑張る。／明明是法语，偏坚持说是德语。⑥もうすぐ暗くなりますのにまだ帰ってきません。／眼看要黑天了，还不回来。⑦日本人ですが，日本の人口数が分らないと言います。／身为日本人却说不知道日本的人口数字。⑧行きたいのに口に出さない。／虽然想去，嘴上却不说。⑨子供に勉強させるのに，自分は立派に遊んでばかりいる。／让孩子学习，自己却玩儿的满起劲儿。⑩歩いて20分くらいしかかからないのに，電車に乗ってくる。／徒步只需20来分钟，却乘电车来。

△だ型活用词也可用终止形接续，但不规范，最好用连体形。

①本当なのに（→なのに）どうしても信じてくれない。／明明是真的，却怎么也不肯相信。②悪い癖なのに（→なのに）直そうともしない。／明明是坏毛病，根本不想改正。

△在接续上，う、よう、まい接另一个接续助词に（和のに相同意义），属于残存现象。

【意义】1. 表示逆态因果关系，与ので相对。即后项的内容与作为既定条件的前项的本来应有的结果相反。多有意外或不满的口气。

①「知能検査は高いのに学業が悪い」ということをよく聞く。／常听到“智商很高却学业不佳”这样的话。②東京からそんなに遠くないのに，この梅林がそれほど知られていない。／这片梅林离东京没多远，

却不太为人所知。③運動会なのに、朝から雨です。／本要开运动会，偏偏从早晨就下雨。④何もしなかったのに、間違えられて5日間拘留された。／其实什么事也没干，却被弄错挨了5天拘留。⑤来年の1月5日，満で，76歳を迎えるのに，20歳も若く見える。／来年1月5日就76周岁了，可看起来要年轻20岁。⑥一度も宣伝はしなかったのに，多くの注文が殺到した。／一次也没做广告，可却有许多订货蜂拥而来。

△有时把后项的逆态结果省去（如下例①省去了“長い道を麓まで下らなければならない／却要走很长的路到山脚下”），然后补充上针对这一逆态结果的诘问。

①日が暮れてしまい，足も痛んでいるのに，どうやって長い道を麓まで下れるでしょうか。／本来天已黑，腿又疼，我如何能走这么远的路到山脚下去呢？②朝も早いのに，こんな所に何をしに来たのだろう。／大清早的到这儿干什么来了？

△有时把后项的逆态结果省去（如下例①省去了“遊んでばかりいる／却光玩儿”），然后补充上针对这一逆态结果的命令、评价等。

①落第なのに，しっかり勉強しろ。／明明不及格，你要努力学习嘛！②人さまが，せっかく，ご親切に言って下さるのに，そんな口のききようってありません。／人家本来是好心好意地向你讲，那有象你那么说话的。

2. 以不理解、不合理、惊讶等语气表示两项间的对比、对照。即同时性的逆态关系。

①冬が寒いのに，夏は暑いのはなぜでしょうか。／冬天冷而夏天热。这是为什么呢？②気体は簡単に押し縮めることができるのに，液体や固体はそれが難しいのはどうしてだろうか。／气体很轻易地就能压缩，而液体和固体则很难做到这一点。这是为什么呢？③弟の方は勉強家だというのに，彼の方はその反対に怠け者だ。／弟弟是很用功的，而他却相反，是个懒汉。

△有时把对照的后项省去（如下例①省去了“この人だけはノックしている／而偏偏这个人敲门”），然后补充上针对这一对照内容的评论、命令等。

①ノックを聞いて、「大抵の人ならチャイムを鳴らすのに誰だろう」と思った。／听到敲门声，我心里想：“一般来人都按门铃，可这是谁呢？”②お父さんはたばこをやめたのに、君も、やめなさい。／爸爸已经戒烟了，你也戒了吧。

3. 以厌倦、感伤之类的语气表示意外事件的连续发生，言外之意是，前一事件发生后按道理应向事态的另一端发展，而实际上仍向相同方向发展。所以也可看作心理上的逆态结果。

①3回も勝ちつづけたのに、今度もまた勝ったという。／已经连胜了3次，听说这次又胜了。②昨日も雪だったのに、今日も雪だね。／昨天就下雪，今天又下！③家はもう破産状態なのに、その上主人を殺された。／家业本已面临破产，又被人害死了丈夫。

【参考】1. 接续助词のに由形式体言の和文言接续助词に构成（のは后插入的）。应与另一个のに（形式体言、格助词）相区别。见另项。

2. けれども和のに都表示逆接关系。前者不一定是因果关系，而且前后两项并重。のに的语义重点在后项。如意义1中例⑥若把のに换成けれども，只表示单纯连接，没有“意外”的语气。另外，以下情况不能通用。

①あしたは雨だろうけれども（※のに）ピクニックに行きたい。（非既定、因果）／明天可能下雨，但我还是想去效游。②田中さんは来るけれども（※のに）あなたはどうしますか。（非既定、非因果）／田中来，你来不来。③5時の汽車に間に合ったのに（≠けれども）乗らなかった。（既定、因果）／本来赶上了5点的火车，却不坐。

のに 〈词组〉

、形式名词の和格助词に的临时组合。与接续助词のに有区别。可后续は等。

【用法】の和に都是多义项的，主要有以下情况。其中用法1、2中の和に结合较紧密，3、4、5较松散。1、2、6中的のに在一定条件下也可省去。

1. 表示前项是后项条件所指向的目的、目标。

①朝日新聞を読むのには時事用語辞典が必要だ。／读《朝日新闻》

需要时事用语辞典。②その結果が出るのに何カ月、あるいは何年もかかる。／得出其结果需要几个月或者几年的时间。③駅に行くのには、どの電車に乗ったらいですか。／要到车站去，乘哪路电车好？④ヨーロッパに旅行をするのには、百万円ぐらい準備しておかなければならない。／到欧洲去旅行，要准备一百万日元左右。

## 2. 表示前项是后项评价、判断的基准。

①外国人に教えるのに、この教科書が一番良さそうだ。／教给外国人，似乎这套教材最好。②住むのによい所だ。／是个适于居住的地方。③日はまだのぼるのに間があった。／太阳还要过一阵子才能出来。④家族を養うのには収入が少なすぎる。／养活家人，收入太少了。（或：收入太少了，以至于不足以养家糊口）⑤あの手際は、彼が警察の眼を掠めるのに素人じゃないことを証明しています。／这种手腕儿证明了他骗过警察的眼睛并不外行。

## 3. の表示事实，即使上述部分体言化，に表示比较的基准。

①人がどんなに泳ぎがうまくても、魚が気持よく泳ぐのには及ばないものだ。／人无论游得多好，总是不如鱼儿游得自如。。②おれんが沈みこんでいるのに引きかえて、吾一は毎日晴れ晴れした日を送っている。／阿莲消沉下去了，与此适成对照，吾一每天都生活得兴致勃勃。

4. の指代处于某地位、状态上的人、物等。这时に可有结果（下例①）、被动态的主体（②）、名目（例③）等不同含义。

①性能のもっと良好なのに取り換えよう。／换一个性能更好的吧。②気が狂ったのにやられないようにね。／注意别吃发了疯的家伙的苦头啊。③この本は君のに買ってきたのだよ。／这本书是买来给你的。

5. の表示事实，即使上述部分体言化，に表示心理或生理现象的原因。

①急にキジが飛び立ったのにびっくりした。／野鸡突然飞起来，吓了一跳。②神経がいら立っていて、彼女の泣くのに、辛抱出来なかったんだ。／由于心情急躁，她哭得我受不了。③時によると，二人が一緒であるのに，じりじりして来ることもあった。／也有时候对他们俩在一起感到焦虑。④思ったよりうまく出来たのに安心した。／比预想的结果



还好，感到放心了。⑤その時になって始めて自分が社会人であるのに気がついた。／直到这时才感觉到自己已经走上社会了。

△在一些惯用形式中，の通常要略去，如（の）に対して、（の）にしたがって、（の）につれて等。见各项。

6. 表示后项认识或结论的根据。通常の省去，に作为接续助词。有文言色彩。

①核戦争で一体どれだけ死ぬかを推定するのに，最悪の場合は全人類の半分ぐらいにのぼることになる。／推测一下核战争中究竟死多少人，结果是，在最坏的情况下将达到人类总数的一半左右。②日本の立場について見るのに，北方領土の問題が関心にあがらずにはおかなかった。／就日本的处境而言，北方领土问题不能不受到关注。③パリでフランス語を習ってきた人が言うのに，フランス語で一番難しいのはuだということです。／据去巴黎学过法语的人讲，法语中最难的（音）是u。

【参考】以上用法的接续法大都与接续助词のに相同。这时，形态上没有标记，只能从意义上（前后关系）区分。试比较：

①子供を育てるのにずいぶん苦労した。（の形式名词、に目的）／为抚养孩子吃了不少苦。②何度も聞くのに一言も言わない。（接续助词）／问了好几遍，他却一声不吭。③東京タワーがこんなにも高いのにびっくりした。（の形式名词，に心理现象的原因）／对东京塔如此之高感到吃惊。④腹が悪いのに，不消化なものを食べる。（接续助词）／肚子不好，偏要吃不易消化的食物。

のに〈终助词〉

用于句末，接活用词连体形后（同接续助词のに）。可后续终助词ね（え）、な（あ）。

【意义】1. 对于意外、不合常理的事的发生表示惊讶、不满、不甘心等意思。

①これほど勉強したのに。／可惜我如此用功啊！②不思議ですな，まだ一度もお目にかかったことがないのに。／真是奇怪！我可一次也没见过啊！③「もう言葉を話すんでしょ」「少しだけね」「そうなの。お誕生日前なのねえ」／“（小孩）会说话吗？”“会说几句。”“是吗？还

没过生日呢!”

2. 表示愿望、想法未得实现而懊丧、后悔等语气。多和ば、たら等假定形式呼应。

①あんな絵の具さえあれば、僕だって本物に見えるように絵けるのになあ。／若是有他那种颜料，我也能画得很逼真的呀。②知らせておいてくれたら、きれいにしておいたのに。／假如事先告诉我一声，本来会收拾干净的。③もうちょっとで合格できたのに。／可惜呀，只差一点没考上。④中退しなかったらいいのに。／那时不退学就好了。⑤ひどい話をしなかったら、向こうも怒りはしなかったのに。／不说过头儿的话，对方本来不会发火的。

3. 表示自己的主张、愿望得不到对方理解和呼应而责备或强求对方的焦急语气。

①「いらないよ」「あら、あげるのに」／“我不要。”“你看，我给你呢!” ②ぐずぐずしないでね。早く行きなさいと言うのに。／别慢吞吞的。你倒是快点儿去啊。③嘘! そんなことをしてやるものか、子供でもないのに。／不对! 我怎么能干那种事情? 又不是小孩子。④金が要るんなら自分でこしらえればいいのに。／需要钱自己筹集好了。⑤暑いよ、父さん、海水浴にでも連れていってくれるといいのになあ。／热啊，爸爸，领我去海水浴有多好啊!

のには 〈词组〉

由形式名词の、格助词に、提示助词は临时组成，是のに（词组）的各种用法的提示。

①人並の生活をするのには、けん命に仕事をしなければならない。  
（目的、目标）／要想过上一般人的生活，就必须拼命工作。②日本語を習うのには、この辞典が一番よい。（评价基准）／学习日语这本词典最好。③本棚に多くの本が並べてあって、一冊、横になっているのには、きれいなしおりが挟んである。（の指代事物、に存在地点）／书架上放着许多书，在一本倒着的里面夹着一枚漂亮的书签儿。④日本人の中に眼鏡をかけた者が多いのには驚きました。（の事実、体言化作用、に对象、原因）／对日本人中戴眼镜的人多感到吃惊。⑤やがて武士が申し

ますのには、「御両親は健在でございます」（后项认识得自于前项）／随后，武士稟道：“父母大人仍健在。”

### のね 〈词组〉

形式名词の和终助词ね的组合。接活用词的连体形后，与のだ不同的是のね也可接敬体的助动词的连体形后。

【意义】女性语。可在不用敬体的情况下避免以简体结句。

1. 以轻微感叹的委婉的语气表示有根据的、有针对性的判断。相应的男性语为のだね。

①ぶたれたのね。／你，挨打了？②あの人、ずいぶん背が高いのね。／他个子可真高啊。③すっかり秋になったのね。／这可完全是秋天啦。④私も最近物忘れがひどくなりまして、きっと年のせいですのね。／我最近也变得好忘事，准是到岁数啦。

2. 表示疑问，用升调。比のかしら语气稍强。相应的男性语为のか。

①これでいいのね？／这样可以吗？

### のみ 〈副助词〉

【接续】1. 接体言后。

①教科書のみで勉強するのでは物足りない。／只凭教科书来学习是不够的。②それのみの理由ではないらしい。／好象原因不仅这一点。③わたくしどもの目に余ることのみでございました。／尽是在下之辈不忍目睹之事。

2. 接用言及助动词连体形后。

①こんなどしゃ降りではあきらめるのみだ。／这样的倾盆大雨，只好作罢了。②背が高いのみで，物分りが悪い子だ。／光长个高个子，还是个不懂事的孩子。③交通が便利なののみか，景色もいいところで，観光客も多い。／不仅交通便利，而且景色也好，所以游客也很多。④役に立たないのみでなく，有害である。／不仅不起作用，而且有害。⑤少し血が出たのみで，大怪我にはならずに終わった。／只出了点血，终没有酿成重伤。

3. 接各种连用句节（某些格助词、接续助词、形容词和形容动词

副词形等) 后。

①僕の関心はただこの現象をこの目で見るにのみある。／我的兴趣仅在于亲眼观察到这种现象。②時間は空間と相関的にのみ存在するという理論／一种认为时间只能和空间相关地存在的理论。③友好関係はお互いの協力によってのみ保たれるものである。／友好关系只有靠互相合作才能保持。④簡単に出来るとのみ思い込んで日本語を始めた人が多い。／许多人光认为简单易学便开始学习日语。

△のみ通常位于格助词后，也可位于其前。が，を一般只能位于のみ后，并能省略。

①芸術家のみ（が）見得る肖像画／只有艺术家才能鉴赏的画像。  
②母にのみ話す。／母のみに話す。／（译文同）只对妈妈讲。

△但のみで和でのみ有区别。试比较：

①バスでのみ行ける。／只有乘公共汽车才能到。②バスのみで行ける。／只乘公共汽车就能到。③バスでのみ行けない。／只有乘公共汽车到不了。（不通公共汽车）。④バスのみでは行けない。／只乘公共汽车到不了。（需换其他车）

【意义】书面语。与口语体的だけ相同。

#### 1. 表示各种范围、内容的限定。

①女子のみの学校を女学校という。／只有女生的学校叫女校。②いたずらするのみで，別に悪い事をしない。／只是淘气，不做什么坏事。③準備が整って，あと出発するのみになっている。／准备就绪，只待出发了。④戦い抜くのみだ。／只有斗争到底。⑤それをなし得る者ひとり彼のみ。／可完成此事者只他一人。

2. 以のみならず（另项）、のみでなく、のみか（另项）形式作接续助词，均表示追加。

①万葉集のみでなく，能楽・狂言などにも精通している。／不仅是万叶集，还精通能乐、狂言等。

【参考】据大野晋的研究，のみ来自“の身”，即“其本身”的含义。

のみか 〈复合助词〉

由副助词のみ和表示反诘的か构成，相当于口语体的ばかりか，



1. 表示程度超过前项，达到后项所示。

①原爆は日本人のみか，世界を震撼させた。／原子弹岂止震撼了日本人，更震撼了世界。

2. 表示不仅未达到前项目的，反而造成后项中的相反结果。

①会ってくれなかったのみか，今ひとりの女の人が僕を口汚なく罵ってしまったのだ。／何止是她不肯见我，另一个女人还用脏话骂我。

②謝った所が，許してもらえなかったのみか，却って向こうを怒らせた。／道歉的结果，不但没能取得谅解，反把对方惹火了。

のみならず 〈词组〉

由副助词のみ、助动词なりの未然形、助动词ず的连用形构成。类似形式还有のみか（另项）、のみでなく。相当于口语体的ばかりでなく或だけでなく，表示追加。

1. 接续助词用法。接名词、活用词连体形及连用句节后。

①人間のみならず，アミーバなどの下等な生物まで，新陳代謝を行っている。／不独人类，连变形虫等低等生物也进行新陈代谢。②それは単に日本のためのみならず，全世界のためにもなることだ。／这不光对日本，对全世界都是有益的事情。③東京は日本の経済の中心地であるのみならず，文化の中心地でもある。／东京不仅是日本的经济中心，还是文化中心。④日本からのみならず，米国などからも多くの製品を輸入している。／不仅从日本，也从美国等进口许多产品。

2. 接续词用法。

①僕らは時代を超越することはできない。のみならず階級を超越することもできない。（芥川）／我们不可能超越时代。而且，我们也不可能超越阶级。②馬琴は依然として承知しない。のみならず彼は前より一層機嫌が悪くなった。／马琴依旧不肯谅解。不仅如此，他比以往更不快了。

のやら 〈词组〉

由形式名词の（严格说是のだ的词干）和各种词性的やら组成。接用言及助动词连体形后。

1. 并列助词用法。多接成对照的两个词或句节后，表示不知其中

哪一个是与后项相关的事实。

①許可してくれるのやらくれないのやら，まだはっきりした返事がない。／也不知是允许还是不允许，仍不见清楚的答复。②面白いのやらつまらないのやら分らない顔つきで歌舞伎を見ている。／以一种分不清是感到有趣儿还是感到无聊的表情观看着歌舞伎。③生きているのやら，死んでいるのやら，戦時孤児探しの親たちの中国訪問が多くなった。／不知是活着呢还是死了，寻找战争孤儿的父母们对中国的访问增多了。

2. 终助词用法。多表示自言自语式的疑问。

①赤道あたりの国ですね。どれほど暑いのやら。／是赤道附近的国家吧？也不知热到什么程度。

3. 副助词用法。表示疑问的内容，近似于引语。

①いつ出来るのやら分らない。／不知道什么时候才能完成。②何の蝶なのやら，図鑑を調べましょう。／我们查一查图鉴吧，看到底是什么蝶。

【参考】の是有指代意义的形式名词时，也能与各种词性的やら组合成のやら。

①大きいのやら小さいのやら数えきれないほどあります。／大的，小的，多得几乎数不清。②犯人のやら被害者のやら見当のつかないライターが地に落ちている。／地上掉着一只打火机，分不清是罪犯的还是被害人的。

のよ 〈复合助词〉

由形式名词の和终助词よ结合而成。接于活用词连体形后，位于句末。与のだ不同的是，のよ也可接敬体的助动词后。

【意义】女性语，以比较强的感叹语气，表示对某个事物有针对性地作出判断、命令、报告等。可在不用敬体的情况下避免以简体结句。男性用のだよ，如用のよ，语调下降，语气粗俗。

①それがまた，いやなやつなのよ。／那家伙还是个可恶的东西。②「どうしたんです」「ネズミなのよ」／“怎么回事啊？”“有耗子。”③お帰りなさい。うれしいことがあるのよ。／你回来啦。我有喜事儿（告

诉你)。④さあ、急ぐのよ！／我说，你抓紧点儿。

のを 〈复合助词〉

由形式体言の和宾格助词を构成，主要有以下情况。

1. の使前述内容体言化，を是一般意义上的宾格助词。

- ①昔ここに寺があったのを覚えている。／记得过去这里有座寺院。  
②代助は昨日兄と喧嘩したのを少し後悔した。／代助对昨天和哥哥打架有些后悔了。  
③眠りたいのを我慢して本を読みつづけた。／忍住困意继续读书。  
④あれほどくりかえして頼んだのを忘れてしまったのですか。／那么样再三恳求，你竟忘了吗？

2. の有指代作用，表示具有其定语中所述的性质的人或物等。を同上。

- ①赤いのを下さい。／我买一个红的。  
②人の家に居て，ただで食うのを居候と言う。／把呆在别人家里白吃饭的（人）叫做“食客”。  
③先生がくれたのを私に見せて下さい。／请把老师给你的给我看看。

3. の不仅使前接分句体言化，还复指其中一个成分 或其“变体”（如下例①中の指切开的西瓜），を表示以此为宾语。

- ①母は台所から西瓜を切ったのを持ってきた。／妈妈从厨房里拿来切开的西瓜。  
②妹にも見せたくて寝ているのを叩きおこしたんです。／也想让妹妹看一看，正睡着就把她捅醒了。  
③手近な書棚に合本した「演艺事報」があるのを引っ張り出して読みました。／把身边书架上的合订本《演艺事报》拽出来读了。  
④帝王切開後の湯川の細君は，意識を失っているのを担架に載せて病室に運んだ。／剖腹产后的汤川的妻子已失去知觉，把她放到担架上送到病房去了。  
⑤母親が友人宅へ遊びに行ったのを，目黒駅まで迎えに行く途中，この災難にあった。／他到目黑车站去接到朋友家中去玩儿的妈妈，走到半路时遭到这个灾祸。

4. の表示情景，を与后续动词不发生宾格关系，而有“意外地改变”的含义。のを合起来表示感觉上的逆接关系。

- ①まだ三幕の芝居があるのを，彼らは一緒に出てしまった。／戏还有三场，他们却一起出去了。  
②出ていいと言われたのを，「初産なので慎重を期したい」などと口実を並べて二日三日延期してもらった。／

本来被告知可以出院，却故意摆出“因为是初产，想慎重一些”等理由，又请求延了两三日。③日本を出た時は冬支度だったのを数日おきにシャツをぬいでゆかなければならない。／离开日本时还是冬季装束，可现在，每隔几天就要脱掉一件衬衣。④死ぬはずだったのを助かった。／幸免于死。

△4 有一种特殊用法，如“いつもよく使うのを，一つ買うのだった。／经常用嘛，本来应该买一个”。这是逆态接续省去后项直接说出应有结论造成的，如“补充”出逆态部分应是“いつもよく使うのを，（買わないでいた）一つ買うのだった”之类。のに、くせに用法中均有类似情形。



# は           ハ

は〈提示助词〉

【接续】1. 接体言及由并列助词、副助词、形式名词等构成的体言性词组后。

①彼は物理学者です。／他是物理学家。②4は2の倍数です。／4是2的倍数。③日本は、火山は多いが長い川は少ない。／日本火山多而长的河流少。④君のと私のとは同だ。／你的和我的相同。⑤私などはその足元にも及ばない。／我连他一个角儿都赶不上。⑥ここばかりは是非とも暗記してもらおう。／至少这个地方一定要背下来。⑦君ほどは立派に出来ません。／象你那么好可做不来。⑧国民をここまで追いこんだのは軍部です。／把国民逼到如此地步的是军部。

2. 接副词性句节后。

1) 接が、を外的格助词。

①店先には見本が並べてある。／店頭摆放着样品。②ここからは海は見えない。／从这里望不到海。③別府へは行かなかった。／别府没有去。④いいとは言えないでしょう。／算不上好吧？⑤自転車では10分とかからない所です。／是个骑自行车用不上10分钟的地方。⑥似るよりはむしろ等しいのである。／与相说相似，更近于相等。⑦神戸までは行って見るつもりなんだ。／至少神戸还是要去的。

△の、が后不能接は而直接用は代替。を一般也直接用は代替，但在方言、文言体中等也能重合，成をば。

①私をば先生と呼んだ。／把我称为老师。

2) 接副词后。

①少しは出来るだろう。／多少会一点儿吧？②はっきりとは分りません。／知道得不很详细。

3) 接形容（动）词及同型助动词副词形后。

①詳しくは会う時に話しましょう。／详细的我们见面时谈吧。②多くはもらえませんか。／不能多给我一些吗？③年齢的にはもう60を越し

たからね。／因为从年龄上看已经过了60啦。

4) 接接续助词て后。参见“ては”项。

3. 接提示助词こそ后。

①これこそは彼らの狙っている所だ。／这才正是他们想得到的。

4. 插入性地(但下例③前半和④去掉は结构上并不成立) 位于用言及助动词的连用形或连用形式和后续的补助成分之间。

①美しくはないが、いい香りのする花だ。／这花尽管不美,但芳香宜人。②豊かではない。／并不丰富。③読みはしたが、分ってはいない。／读是读了,但是没懂。④そんなことはありや(は的音便)しない。／绝不会有那种事。⑤安くはあるが、品がだめです。／便宜倒是便宜,质量不行。⑥はっきりと教えてはくれなかった。／并没有明确地告诉我。

5. 接某些接续词后。

①普通二年またはそれ以上かかる。／一般需要两年或更多时间。②東ないしは南東の風が吹くでしょう。／有东风或东南风。(天气预报语)

6. 文言体文章或某些特殊情况,直接接活用词的连体形后。

①会うは別れのはじめ。(谚语)／相见是离别的开始。②近くて見えぬはまつげ。(谚语)／近而不能目见其睫。③人数の多い少ないは問題にならない。／人数的多少没有关系。

【意义】1.表示带有格关系的主题。表示主题是本职功能,代替格关系是其兼职功能。

1) 把主格成分提示为主题。

(1)把总体事物作主题提示出来,后述基本属性、恒常性特征等。用来下定义、作判断等。

①学生は学業を自分の本務とする。／学生以自己的学业为本职。②地球は太陽のまわりをまわる。／地球围绕太阳转。③雨の日は静かだ。／在下雨的日子里很安静。④冬は寒い。／冬天冷。⑤馬は一種の動物である。／马是一种动物。⑥チータは速く走る。／猎豹跑得很快。

△此用法若用が代替,则变为对“什么是什么、什么怎么样”的回答,因此只能和上句或情景关联使用。

(2)把特定的具体事物同其他同类事物区别开来,并作主题,后述有

关个别的、临时的特征、属性、归属归类等。

①これはビデオだ。／这是录像机。②私は吉田です。／我是吉田。  
③結局、勝ったのは私たちの学校のチームだった。／最后，获胜的是我们学校的队。④夏の離乳はなぜ難しいか。／夏季断奶为什么困难呢？⑤お母さんが作った食事ほど、<sup>おい</sup>美味しいものはありません。／再没有比妈妈做的饭菜更香的了。

△此用法若用が代替，则变为限定主体（は是区别主体）的含义。如“これがビデオだ。／这个「而不是另外的」是录像机。”

2）把宾格成分作主题提示出来，后述说明性内容。具有区别动作对象的含义。

①この本は父に買ってもらいました。／这本书是爸爸给买的。②経費は国家が提供します。／经费由国家提供。③ワインは飲みませんか。／葡萄酒不喝吗？④私，子供でもないから，そんなことはしません。／我不是小孩子，那种事可不干。

3）把表示时间、地点、位置、对象、方向等以格助词に、へ、と等连用格助词表示的成分提示成主体，具有区别性含义。

①つゆどき（に）は，食べものもくさりやすい。／梅雨时节，食物也容易腐烂。②彼（に）は子供が六人もある。／他竟有六个小孩儿。③日本（に）は人口がわりあい多い。／日本人口比较多。④日本（へ或に）はまだ行ったことがありません。／日本还没去过。⑤著述のある方（と）は，当会社が出版の相談に応じます。／有著作者可与本公司洽商出版事宜。

△处所词（ここ、……前、後、左、右……）只能用には，不能只用は，如“中国の東北には（※は）朝鮮と日本がある。／中国的东北有朝鲜和日本。”

4）把表示主体性场所的～で提示出来作为主题。有区别性意义。

①あの店は（←で）文房具や玩具などを売っている。／那个商店卖文具、玩具等。②日本は一年を通じて四季の移り変わりがきわだっている。／日本一年之中四季变化分明。③村村は，水不足で大変な騒ぎになった。／各个村庄都因缺水极度惊慌。

5) 把属格成分への作主题提示出来。(此说当否争议较大)

(1) 非主谓谓语句。一般只能用于时间、空间方面的领属关系。

①「昨日でしたか、東京からお電話がありましたわ。」「東京はどこからですか?」/“大概是昨天吧，曾有您东京来的电话。”“从东京什么地方打来的?”②「あれは確か1945年だったね」「45年は何月ですか」/“那大概是1945年。”“45年几月?”③日本は東京へしか行ったことがない。/日本只去过东京。④東京は浅草の生まれ。/是东京浅草生人。⑤自慢じゃないが、これでも警視庁は捜査一課の警部である。/不是自吹，我也算是警视厅的，而且是第一侦察科的警部呢。

(2) 主谓谓语句。可表示各种领属关系。

①共産党はこれがこわい。/共产党这一点厉害。②君は学校はどこです?/你学校在哪儿?③象は鼻が長い。/象鼻子长。④山田君はお父さんが病気だ。/山田同学父亲病了。⑤田中さんは英語が上手です。/田中君英语水平高。⑥私はチャーリーと小学校が同じだった。/我和查理曾在同一个小学。

△有时的成分被提示为主题外，其余部分的主谓关系也有变动。例：父は校長が職業だ/父亲以校长为职业。上例可看作“父の職業は校長だ”中的“父の”被提示而成的句子。这时“職業は校長だ”的主谓关系也被颠倒了。又如“カキ料理は広島が本場です/牡蛎菜肴，广岛的地道。”可看作“カキ料理の本場は広島です。”的提示形式。

另外，有的提示成分是来自の格还是其它格不十分明确。

①岸さんは(ノ、ニ) どうも人気がない。/岸君没有什么威信。②沖縄は(ノ、デ) 木の成長が早い。/在冲绳树木成长很快。③去年は(の、〇) 夏休みに北海道を旅行しました。/去年暑假到北海道作了旅行。

因ハ有兼格功能，长句中的各种成分都可以省略。

①上田宏の事件は(が)，田舎町で起った小事件だったが，(上田宏の事件を)すでに週間紙が取り上げていた。(上田宏の事件の)弁護の方法によっては(上田宏の事件に)弁護士の将来を益する可能性は(が)十分あった。/上田宏事件虽然是发生在乡镇的小小事件，但是早已登在周



刊上了。辩护得如何，将很有可能对律师的前途有利。

## 2. 表示不兼有任何格关系的主题。

1) 把被修饰语提示为主题。如下例①是“新しい辞書”中的“辞書”，例②是“第五デパートのテレビ”中的“テレビ”被提示而成的。

①辞書は新しいのがよい。／辞典新的好。②テレビは第五デパートが多い。／电视机第五商店多。③洗濯機は東芝を買いました。／洗衣机买了东芝的。④夏服は出来合いでも結構です。／夏服可以穿现成的。⑤案内状は夫婦あてにするのが本式だろう。／请柬发到夫妻才郑重。

## 2) 提示谓语部分，构成“転位文”。

①花は桜がきれいです。(桜がきれいな花です)／花中 櫻花美。②もっと驚いたのはこのように暑いのにフланネルのシャツを着ている。(このように暑いのにフланネルのシャツを着ているのにもっと驚いた。)／更令人吃惊的是这样热的天还穿着法兰绒衬衫。

3) 以现场或话题中的事物作主题，说明其原因，处理意见、感想等。

①あの喜びようは，優勝したんだよ。／看那高兴劲儿，准是拿冠军啦。②このにおいは，ガスが漏れているにちがいない。／这气味儿，准是煤气漏了。③新聞の読みたい人は，ここにありますよ。／想读报的人，这里有。④詳しい事は，公報第3号を見て下さい。／详细情况请看公报第3号。⑤子供は惜しいことをしたね。／你那孩子，太可惜啦。

4) 以それは、これは、～とは等形式作主题，代指某种事实，在后续说明部分做主观评述。

①それは，僕が悪かった。／这都怪我不好。②これは，とんだ所でお目にかかりました。／这可真是在想不到的地方见面啊。③そいつは，立派なことをやったな。／那，可真有你的啊。

## 5) 表示ダ型句的主题。

①あしたの国語は「徒然草」だ。／明天的国语课讲《徒然草》。②彼は飛魚です。／他是游泳健将。

## 3. 以排他形式表示限定。

1) 表示从所有的同类事项中特举一项，排除其他，暗示其他事项不一定如此的含义。(以下不再做格关系的分析)

①私も本では見たことがあります。／在书上我也见过。②女でさえ、賢い人は、結婚して実家へ帰っても嫁ぎ先の悪口は言わないものである。／甚至女人，聪明的结婚后回到娘家是不说婆家的坏话的。③彼としては精一杯のことをしただろう。／就他来说，已经竭尽全力了吧。④私にとってはいいことではない。／对我来说，不能算好事。⑤色だけは春らしい青空に、ちぎれ雲が急いでいる。／在那只有颜色有春意的蓝天上，碎云急驰着。⑥この日本人の性向は儒教のみを以てしては説明しえない。／日本人的这种禀性，仅仅以儒教是说明不了的。

2) 接“全部、いつも”等表示极限的词后，后续否定形式，表示部分否定，即排除少数情况。

①「数学の試験は全部できましたか」「全部はできませんでした」／“数学考试全都答上来了吗？”“没全都答上。”（比较：全部できませんでした。／全都没答上。）②いつもは来ないが、時には来る。／虽然不经常来，偶尔也来。③毎日は映画を見ません。／不是每天都看电影。

△还有一些情况，は也表示部分否定，但去掉は实质意义不变。

①よくは知りませんが、千円ぐらいだと思います。／详情不太了解，大概是一千日元左右吧。②はっきりとは覚えていないが、確か八番地だったと思う。／没记太清楚，我想是第八号吧。

3) 接于表示少量的词后，后续肯定形式，表示部分肯定。即排除多数情况。

①見ると、旨そうにもあるし、又少しは気味が悪くもある。／一看，既觉得很香，又多少感到瘆人。②三百円ぐらいはかかるでしょうね。／三百日元左右总还是要花的。③志賀直哉に、勝ちはしないが負けないことが、一つはある。／尽管抵不过志贺直哉，可有一样儿能抵得过。

4. 表示对照、对比。（有人认为对照是は之前的两个事物之间的对照关系，有人认为是前后两个整个事项〔コトガラ〕之间的对照关系，这里从实用角度出发不作区分。另，也不作格关系的分析，可参照1）

1) ～は～は形式。

①外は寒いが、室内は暖房がきいている。／外面很冷，而室内暖气

很好。②酒は飲まないが煙草は吸う。／酒不喝但烟还是抽的。③奥さんは口数は少ないが、料理には非常にくわしい。／女主人不善言词，而对烹饪非常内行。④今日は水泳，あしたは山登り，あさっては博物館の見学というふうにスケジュールが一杯になっている。／游泳一天，登山一天，参观博物馆一天，就这样日程排得满满的。⑤第1位は八木，第2位は小沢，第3位は横井と順位が決まった。／名次排定了，第1名八木、第2名小泽、第3名横井。⑥兄さんからは万年筆，姉さんからは時計を誕生日のプレゼントとしてもらった。／作为生日礼品，哥哥给了我一支钢笔，姐姐给了我一块表。

2) 由于句式等原因只出现一个は的。

①山中君は、字はよく書くが、計算と来たらだめだ。／山中字写得很好，可一到计算就不行了。②公害問題は日本ではもちろん，中国でも大いに取り上げられるようになった。／公害问题在日本自不待言，在中国也引起了重视。③学校では聴講に熱心だし，家へ帰ればまじめに宿題をやる。／在学校认真听讲，回家则认真做作业。④ハルビンは冬は寒い，夏が結構暑い。／哈尔滨冬天很冷，而夏天满热。

3) AはAでの同词反复形式。整个AはAで部分是构成对照的两个事项之一。这种形式只比一般的对照（上述1）、2）多一层“另当别论”的含义。

①皆心配でたまらなかったが，宗夫は宗夫で鼻歌を口ずさみながら煙草をふかしている。／大家都忧心忡忡，而宗夫呢，嘴里哼着小调儿在吞云吐雾。②そんな女が店に入ってきたとは知らず，繁一は繁一で受話器に向かっている。／没有察觉这个女人走进店来，繁一这边仍旧对着话筒（打电话）。③世間にはよく人と喧嘩したりするが，妻君は妻君で大切にしている男がいる。／世间有这种男人：常好和别人打架，而对妻子则非常珍重。④私はもう矢吹<sup>やぶき</sup>などは相手にしない。矢吹は矢吹で勝手にやればいい。／我已经不再答理矢吹这种人了。矢吹是矢吹，随他怎么样。⑤冬になると厳しい寒さにおおわれ，また夏は夏で暑さが激しい。／一到冬天就被严寒所笼罩，而一到夏天，却炎热异常。

△下二例是用指示词的重叠形式表示复指，也有“另当别论”的含义。

①本当の所では信用できん男だが、それはそれで使い途がある。／实际上他是不可信任的，不过也有他的用处。②純文学は、もちろん推理小説など（あれはあれで面白いが）と違うわけである。／纯文学当然与推理小说（它有它的趣味儿）之类是不同的。

#### 5. 表示各种判断的内容。

##### 1) 以AはAだ形式表示确认性判断，常又后续让步性判断。

①先生はやはり先生ですね。／老师毕竟还是老师啊。②あそこは外国は外国ですが，先進国ではないんです。／那地方是外国，但并不是发达国家。③偏屈は少々偏屈ですね。学問をするものはどうせあんなですよ。／古怪确实是有些古怪。凡作学问的人就是那样的呀。

2) AことはA的同词反复形式，表示让步性判断。有时保留内容不出现于句中，下例③。

①読むことは読むが，常に読むのではない。／读还是读的，但是不经常读。②美しいことは美しいがいい香りはしない。／美丽倒是美丽但是味儿不香。③でも，彼女は，子供が好きなことは確かに好きです。／可是，她喜欢孩子这倒是确实的。

##### 3) AにはA的同词反复形式。用法看2)。

①見せるには見せるが，ほしいと言ってはだめだよ。／可以给你看，可不准你要。②時によると，軽い雑誌も読むには読むのです。／有的时候，轻松的杂志也还是读的。

##### 4) 以连用形は形式确认前项事实后，再做后项中的让步性判断。

①先生の話は耳にはいりはいっても，何の事だったかちっとも分りませんでした。／尽管老师的话确实是听见了，但一点也弄不懂是什么内容。

#### 6. 表示强调。多为某些惯用说法。

##### 1) ではない等否定形式。

①これではない。／不是这个。②そうするものではありません。／不该那么做。③読みたくはない。／并不愿意读。④ありはしない。／根本没有。

##### 2) 在または等副词性或接续词性句节中。(あるいは、もしくは等已



固定)。

①父もしくは母／父亲或者母亲。②いろいろと意見が出されたが、結局は原案どおりに実行に移すことになった。／提出了各种意见，但结果还是决定按原方案付诸实施。③さすがは江戸っ子だけに日本語がうまい。／不愧是东京人，日语说得很好。

【造句特征】 1. 引导陈述。提示主题，引导全句乃至后一（几）句的全部陈述内容。如，在“私は新聞記者で，毎日新聞社に勤めている。／我是新闻记者，在每日新闻社工作。”一句中，“私は”不仅是～で分句的主语，也是～ている分句的主语。改为“私は～だ。～ている”两个句子后，这种关系仍不改变。又如，在“つゆどきは，しめじめした天気がつづくのでかびが生えやすい。／梅雨时节，阴雨连绵，因此容易发霉。”一句中，つゆどきは与しめじめ～やすい这整个谓语部关联，若改成つゆどきに则只与分句しめじめ～ので关联。

正因为は有这种功能，常用作主句的主语。而格助词が只关联邻近的谓语，常用作从属句的主语。如“私が（※は）生まれた年の戦災／我出生那年的战乱。緑色の葉を持っている植物は（※が）日光が（※は）あたるとよく育つ。／有绿色叶子的植物，受阳光照射就会很好地成长。”

2. 一个句中出现两个以上的是时，通常第一个は表示主题，其余的均表示对照和限定。而反复区别限定的结果，常导致否定或互相抵销的作用（例①、②）。

①黒字は現在のもとでは政府の期待するほどは急速には取捨できない。／黑字在现阶段无法象政府所期待的那样迅速地决定取舍。（第一个は是提示，余均为区别限定）②象は鼻は長いが，しっぽは短い。／象鼻子很长，尾巴很短。（第一个は是提示，余为对照）③太陽の南中高度は季節によって変わり，北半球では，夏は高く冬は低い。／太阳经过子午线时的高度随季节而变化，在北半球是夏季高而冬季低。（主题、限定、对照、对照）

3. は在句中位置。不同的位置可产生不同的效果。试比较（译文中的逗号只为区别而点）：

①あなたは，きのう 3 時に京都へ行きましたか。／你，昨天 3 点钟

上京都去了吗？②あなたは、きのうは3時に京都へ行きましたか。／你昨天，3点钟去京都了吗？③あなたは、きのう3時には京都へ行きましたか。／你昨天到3点时，去没去京都？④あなたは、きのう3時に京都へは行きましたか。／你昨天3点到京都，去了吗？⑤あなたは、きのう3時に京都へ行きはしましたか。／你昨天3点到底去京都没有？

【参考】 1. 关于时枝语法中的主格助词说。时枝认为“万葉集は歌集である。／《万叶集》是和歌集。”中的は是主格助词。确实，主谓结构中的简单句，其主语和主题难以区分。但上句若改为“万葉集は歌集で、多くの人が読んでいる。／万叶集是歌集，有许多人在读着。”则は的主题性质就很明显，は既表示与～で部分的主谓关系，又表示与～でいる部分的宾谓关系，は凌驾于主，宾等成分之上。这就是主题。可见は规定陈述的题目，和主格助词有本质不同。加之は能接于主格以外的成分后有区别限定作用，所以看作格助词是不妥的。

2. は在口语中有时音便为あ或や。见另项。

①そいつあ、どうも、よわったよ。／这下子可难住我了！②いくら警視庁だって年がら年中大物種がある筈あゝありませんよ。／即便警视厅也不可能一年到头儿总有特大新闻啊。③わたしゃ、86歳で、この猫と二人で暮している。／我今年86了，和这只猫我们俩一起生活。

ば 〈接续助词〉

【接续】接用言、助动词假定形后。

①どう行けばいいですか。／怎么走好？②心臓が強ければ長生きする。／心脏好就能长寿。③あんな本は面白くもなければ、ためにもならない。／那种书既没有趣儿，也没有用。④天文望遠鏡を使わなければ、星の観測はできない。／不使用天文望远镜便无法观测星体。⑤泣きたければ心の強い人の事を考えなさい。／想哭时你就想一想坚强的人。

△接だ形活用词及其他的なら和たら后的ば都可省去。

①海が静かなら（ば），出航しよう。／如果海上平静，就起航吧。②足を踏みかえしてやったら（ば），いやな顔をしていた。／我反踩了他一脚，他露出讨厌的表情。③いい返事がもらえないようなら（ば），次の策を立てねばならない。／如果得不到满意的回答，就该订立下一步对策。

④ そうしたいのなら（ば）、これからそうしてもいいわ。／如果你愿意那样做，从现在也可以那样做的呀。⑤ 明日行くな（ば）今日中に準備を整えよう。／如果明天去，今天就准备好吧。

△假定形来自于文言的未然形和已然形，因此有两种接续法。接于已然形的，从接续上（而不是意义上）看同接假定形，见以上。实际上所有以ならば、たらば（上例①～⑤）的形式作假定的都是接未然形（文言）而发展至今的。作为文言残余的例：

① 急がば廻れ。（谚语）／欲速则不达。② 無くばそれでよろしい。／如若没有，这就可以。

△形容词类的假定形式～ければ常发生音便。

① 坊主僧けりゃ袈裟まで僧い（谚语）／憎其人而及其物。

【意义】 1. 表示偶然的个别事项的假定顺接条件。后项应是前项的合乎情理的推论。和文言“未然形ば”表示的意义相同（例⑤）。

① 高くても品がよければ買っておこう。／即使贵，如果质量好就买下来吧。② 一旦計画が出来上がれば、次は実行です。／一经制定完计划，下一步就是实施。③ きのう行ったらば、今はもう目的地に着いているだろう。／如果昨天走的，或许已经到达目的地了吧。④ 必要ならば、お父さんに知らせなさい。／如果有必要，通知你爸爸。⑤ 雨降らば休す。／若雨则休。

△ば无时态，也可用于对过去的虚构。

① 雨が降らなければ、行った。／如果不是下雨，就去了。（实际上没去）

△常用もし～ば、さえ～ば的形式。

① もしこの研究に成功すれば、グリーン・レボリューションに大きく貢献するであろう。／如果搞成这项研究，将对绿色革命做出巨大贡献。

△“～ばの話，～ばのこと”等表示假定性的比喻、比方。

① もし、できればの話だが、おわりまでご協力願いたい。／如果有可能的话，希望您协助到底。② 例えばのことですから。／我只是打个比方啊。（“例えば”已成词）

2. 表示恒定的顺接条件。即满足某一条件，必然产生这一结果。

①抵抗が大きければ電流は小さい。／电阻大则电流小。②学校を出れば社会人と見なされる。／走出校门，就当社会成员看待了。③誰だって結婚すれば子供ができる。／无论是谁，结婚就会有孩子。④年取れば目が悪かったり，心臓が悪かったりする老年病にかかりやすい。／一到岁数，就容易患上眼力差、心脏不好等老年症。⑤彼らは難しければやらない，やらなければ分らない，という悪循環に落ちている。／他们陷入了难学就不学，不学就不会的恶性循环。⑥水清ければ魚すまず。（谚语）／水清鱼不住。

△常用～さえ～ば形式表示条件的唯一性。

①テストは点数をさえかせげば親はモンクはない。／考试只要多得分，家长就没说的。②この問題さえ解ければ，満点は取れたのに。／只要解开这道题，本来是能拿到满分的。

3. 表示前项动作是后项动作的转机，在完成前项动作时便了解到了后项事实。和文言“已然形ば”的形式、意义均相当。在口语中这一用法逐渐被～と、～たら、～たところ等形式所取代。

①冷静に考えて見れば，自分にも責任があることが分った。／冷静一想，发现自己方面也有责任。②応召して途中で逃げたと聞けば彼ならそうであろうと思った。／听到他应征后半路开了小差儿 我便想：“他本来就会这样的。”③彼女はある日同級生を連れてきました。聞けば親友だということです。／她有一天领来一位同学。听她说是自己的好朋友。

△文言中用的很多。

①妻子無ければ，心にかかるものなし。／因无妻儿，无所牵挂。②雨降れば洪水こうずいになりけり。／因下雨而发大水。

4. 导入后述内容的根据、出处、范围、发言场景等。是附带性质的，在句中多作插入语。

①考えれば，人はみな平等です。／想一想，人都是平等的。②狼の仲間意識は，言ってみれば，保身の心理です。／狼的团伙意识，说穿了，是一种护身的心理。③昭和3年2月と言えは，小林24，永井23の



時である。／提到昭和3年2月，那是小林24岁、永井23岁的时候。④前の部分をまとめれば，教育は国民全体にとって不可欠なものだということです。／概括一下前述内容，就是说：教育对全体国民是不可缺少的。

△构成的常用词有：いわば、そういえば、ややもすれば、そうかと言え、かと思えば、然らば、なぜならば等，详见各项。

①コンピューターは，いわば，人間の頭のようなものだ。／电子计算机，打个比方，就类似于人脑。

5. 以～ば～ほど或～ば～だけの同词反复等形式表示比例关系。ば部分常略去，如下例②的括弧部分。

①僕は観察すればするほど自信を固めていきました。／我越观察越增加了信心。②（大きければ）大きいほどいい。／越大越好。③休めば休むだけそれだけ遅くなる。／歇一会儿就晚一会儿。④真剣に勉強すればそれだけ物を見る視野が広がる。／认真学习，观察事物的视野也会随之而开阔。

6. 表示并列。最常用形式是～も～ば～も。

1) 表示并存性并列。

①悪い日だな。雨も降れば風も吹くなんて。／天气真坏。又下雨，又刮风。②今の所，これという物証もなければ，目撃者もない。／目前，既没有确凿的物证，也没有目击者。③小春日和というのは，暖かくもあれば寒くもあるような日のことです。／所谓小阳春，指的是既有些暖和，又有点儿冷的日子。④バスで行くこともあれば，電車で行くこともある。／有时乘公共汽车去，有时乘电车去。

2) 表示选择性并列。表示两种可能性之间的选择。

①彫り込む角度や深さによって，版画の画面が生きもすれば死にもする。／由于雕刻的角度和深度的不同，版画的画面既能生动，也能死板。②教育や環境次第で，若者は良い人にもなれば，悪い人にもなる。／由于在教育和环境不同，年青人既能成为好人，也能成为坏人。

7. 首肯某种事实。

1) Aといえ A 的同词反复形式，常后续让步性判断。

①背が高いといえは高い。／个子高确实是高。个子真不算矮。②面白いといえは面白いが、何のためにもならない。／有趣儿倒真是有趣儿。可是得不到任何收获。③そんなことは美点といえは美点で、癖といえは癖だ。／这一点，说是优点就是优点，说是毛病就是毛病。④足りない原料はしいて輸入で補えは補えないこともない。／不足的原料一定要靠进口补充，也不是不可能的。

## 2) AばA的同词反复形式。

①背が高いといえはいえる。／说个子高确实是高。②これが唯一の記念物だといえはいえる。／确实可以说这是唯一的纪念物。③松川のお袋さんの声は変われば変わるものだ。／松川母亲的声音确实变了。④そんな人もあればあるもので、社会はそんな人のためのものじゃありません。／那种人有是一码事，社会不是为那些人而存在的。

8. 用于句末，作终助词用。表示各种语气，因上下接续的词不同，其义不尽相同。下例④、⑤可看作省略句。

①「よせといえは」野中は再び女房の手を振り放した。／“让你放开手呢！”野中又一次甩开老婆的手。②せめてあの人ぐらいならばなあ。／哪怕能赶上他，该有多好。③うるさいね。知らないてば。／真饶舌！不是说不知道了吗？④あなたがやれば？／你来搞呢？⑤やはり政党は指導性をもってやらねば。／政党办事还是要有领导作用才行。

## ハガ文 ～ブン ハ（ワ）ガ句

日语中“～は～が～”句型很多，用来表达许多种不同的语义关系。本词书拟“ハガ文”一术语，根据森田良行的研究，把主要类型开列如下：

1. 心理形容词句。以ハ表示心理主体，以ガ表示对象语。参照“感觉感情形容詞文”项。

①昭子は姑が好きだ。／昭子喜欢婆婆。②僕は生物先生がこわい。／我害怕生物老师。

2. 愿望句。当谓语是“～タイ”时，以ハ表示愿望的主体，以ガ（或ヲ）表示对象（语）。参照“希望文”项。

①僕はビールが飲みたい。／我想喝啤酒。②子供たちもテレビが見たいだろう。／孩子们也想要看电视吧。

3. 可能句。以ハ表示能力的主体，以ガ（或ヲ）表示能力的对象（对象语）。参照“可能文”项。

①私は（或には）フランス語が話せない。／我不会说法语。②中国人は日本の文化を（※が）よく理解することができる。／中国人能很好地理解日本文化。

4. 巧拙句（拙巧文）。以表示能力的形容词、形容动词为谓语，以ハ表示能力的主体，以ガ表示能力的对象。参照“对象語”项。

①彼はお世辞が旨い。／他善于奉承。②僕は数学が苦手だ。／我数学不善长。

5. 知觉句（知觉文）。以知觉动词“解る、聞こえる、見える、痛む、困る”等为谓语，以ハ或ニハ为知觉的主体，以知觉的内容为对象语，用ガ表示。

①私はこれが困ったのだ。／我为难的就是这个。②政治家には文学がよく分らない。／政治家不太懂文学。③私は近眼で字がはっきり見えない。／我近视，看不清字。

有时“見える、聞こえる”作一般的状态动词用。

①ここからは富士山もよく見える。／从这看富士山也看得很清楚。

6. 所有句（所有文）。以表示所有，需要的用言为谓语，以ハ表示所有、需要的主体，以ガ表示其对象（对象语）。

①彼は恋人がある。／他有对象。②私はお金が要る。／我需要钱。③旅行は時間がかかる。／旅行要花费时间。

7. 总主句。以主谓结构（～が～）来对主题的一部分或属性进行说明。参照“総主文”项。

①彼女は声がきれいだ。／她声音很美。②このテレビは画面がゆれる。／这台电视机画面摇晃。③ゾウは性質が大人しい。／大象性情温顺。④彼はお父さんが病気だ。／他父亲有病。

8. 提示句（提示文）。把主语以外的连用成分提示成主题（～ハ），同时保留主语（～が），也能造成ハガ句。

①資金は国家が提供する（宾语被提示）。／资金由国家提供。②今日は雨が降るだろう（连用修饰语被提示）。／今天会下雨吧？

## 9. 其他。

1) 一部分“AのBはCだ”形式的句子转换成“AはCがBだ”，形式意义不变。条件是C相当于B的属概念。

①彼は医者が職業だ。／他职业是医生。他以医生为职业。(来自“彼の職業は医者だ”) ②日本人は深い遠慮が特徴です。／日本人的特点是待人非常客气。

2) 主题性的说明部分是一个相当于一个词的主谓结构词组，也能造成ハガ句。

①この学生は骨が折れる。／这个学生不好管教。

3) 一些尚难归类的句子。

①旅行は天気が大切だ。／旅行天气很重要。②社長は(=社長なら)話が別だ。／经理那就另当别论。③外国語は一応身につけてからが面白い。／外语大体上掌握了之后才有意思。④東京の雪日数の平均は、1月が2.8日、2月が4.7日、3月が3.1日と、2月が最も多い。／东京下雪日数的平均值是1月份2.8天，2月份4.7天，3月份3.1天，2月份为最多。

ばかり <副助词>

【接续】 1. 接体言后。

①何をしても失敗ばかりしている。／不管做什么尽是失败。②1センチばかりの長さなら足りる。／若是一厘米左右的长度，就够了。③そう甘いものばかり食べては歯によくない。／你尽吃甜东西，对牙齿不好。④彼ばかりをとがめるわけにも行かない。／也不能只责怪他自己。

2. 接用言及同型助动词、助动词た、ん等的连体形后。

①大人しいばかりで頭がよくありません。／只是老实，不聪明。②そのことは、ただ胸に思うばかりで、口には出せない。／那件事只能在心里想，不能说出口。③こういう本は、ただ表紙がきれいなばかりだ。／这类书，仅仅是封面漂亮而已。④受け取ったばかりの贈り物／刚刚收到的礼物。⑤知らないばかりにとんだ恥をかいた。／只因不知道丢了个大丑。⑥泣かんばかりの顔／几乎要哭的表情。⑦あの先生の教え方というのは読ませるばかりだ。／那个老师的教法，光是让读。



### 3. 接各种连用修饰句节后。

#### 1) 接に、へ、で、と、から等后。

①机にばかりかじりついていけない。／总不离桌子也不行。②うちの主人は会社へばかり行っていて、昼はいつも留すです。／我丈夫总是到公司里去，白天总不在家。③だめだとばかり思い込んでいました。／一直认为不行。

△ばかり多接于格助词前，较少用于其后，见以上例。另外，与の、が重合时，只能用于其前。を随便，但通常只用ばかり，を略去。

#### 2) 接形容（动）词副词形后。

①灯は光がなく，赤くばかり見える。／灯没有光，只是发红。②親切にばかりしてやっても，ありがたがっているものは少なかった。／总是热情对待他们，却很少有人领情。

#### 3) 接表示少量的程度副词后。

①すべて部下に分け与え，自分はわずかばかりのお金をも取らなかった。／全都分给了部下，自己分文不取。②すこしばかり／一点，少量。

### 4. 插入性地用于～ている的中间和サ变动词词干、词尾之间。

①本を読んでばかりいる。／光是读书。②人権を無視ばかりする。／一味地践踏人权。

△上例①中的ばかり如移至“本”后（本ばかり読んでいる）则变为“不读其他”之义。但常用此种接续法代替上例①中的用法。

【意义】 1. 表示限定。

1) 表示一直反复出现或持续进行，因而表现突出的动作、状态。与2) 不同，有夸张口气而无排他性。

①うちの<sup>せがれ</sup>ときたら，ただ毎日喧嘩しているばかりだ。／我的那个儿子啊，整天打架。②夏休になると，私は水泳にばかり行っている。／一到暑假，我专门去游泳。③泣いてばかりいてもしょうがないじゃないか。／一个劲儿哭有什么用？

2) 只肯定所提事项，排除其他事项。相当于だけの用法。

①残業に残されたのは，私とおなたばかりです。／留下来加班的只

有你和我。②あの映画はスリルに富んでいるばかりで、何の取柄もない。／那部电影不过是充满惊险情节，没有任何可取之处。③私がこの仕事を引き受けたのは、金のことばかりが理由ではない。／我接受了这项工作，并不仅仅是金钱的原因。④教科書ばかりが勉強の内容ではない。／并不是只有教科书才是学习的内容。

### 3) 表示强调一点。

①ああ、真っ平、真っ平。そいつばかりはいけません。／啊，不行不行。这个绝对不行。②今度ばかりはお許し下さい。／请原谅这一次吧。

### 4) 以ばかりだ形式接动词连体形后，表示倾向性，多为不良倾向。

①今日は遅刻するばかりだ。／今天肯定迟到了。②そういう仕事は、頭を働かすばかりです。／那种工作，白费脑筋。③先刻から荒れ出した空模様はすさまじくなるばかりだ。／刚才闹起来的天气越来越糟。

### 5) 在某个条件范围内全是一种事物。

①売っているのはどれもこれも値段の高いものばかりだ。／卖的全是昂贵的东西。②病院には、皆怪我人ばかりでした。／医院里全是受伤的人。

△用法1 还构成接续词そればかりでなく和接续助词ばかりでなく，表示追加性并列。

①彼は英語ばかりでなくフランス語も話す。／他不光说英语，也说法语。②未成年の喫煙は無益であるばかりでなく有害である。／未成年人吸烟，不仅是无益的，而且是有害的。③あしおとが聞えてきた。そればかりでなく，人々のざわめき声も伝わってきた。／传来了脚步声。而且，还传来许多人吵嚷的声音。

2. 接数词、数量副词后表示大体程度。有时用来表示本来明确的数量，以减轻主观武断的语气。此用法一般不用ばかり、ばかりし等音便形式。

①わずか五つばかりの女の子が、道に迷って泣いている。／一个只有五岁左右的女孩儿迷了路在哭着。②銀行は百メートルばかり前にある。／银行在前面大约一百米的地方。③お金はいくらばかり要りましょ

うか。／不知需要多少钱？④間違った所がちょっとばかりある。／有一點兒错误的地方。⑤かれこれ10年ばかり前になる。／差不多有10年了。

△接指示词后的也是这种用法。

①あればかりの財産に執着してもしようがない。／死守着那么点儿财产有什么用。

3. 接可表示瞬间动作的动词后，表示某一动作即将发生，处于临界状态。或者以这个口气来作比喻，表示一个行为几乎达到的程度（例④以下）。前者多用于动词连体形后，后者多用ぬばかり、ないばかり等形式。

①船は出航するばかりになっている。／船即刻就要起航了。②今にも出発するばかりに万端の準備を整えた。／已经做好一切准备，只待出发。③出かけんばかりの所へ電話がかかってきた。／就在刚要出去的当儿，来个电话。④飛び立つばかりにうれしく思った。／高兴得差点儿跳起来。⑤子供が泣かんばかりにおもちゃをねだっている。／孩子哼唧着，磨着要玩具。⑥顔は湯気が立たんばかりに汗ばんでいる。／脸上汗淋淋的几乎要冒热汽。⑦代助は玄関へ出て、手を執らぬばかりに旧友をざしきへ上げた。／代助来到门口儿，几乎手拉手地把老友让到客厅。

△といわんばかり简略为とばかり，已形成固定格式，形容某种状态。

①これ幸いとばかりその泥棒は逃げていった。／小偷趁机溜之大吉了。②今だとばかり言い出した。／看准机会，说了出来。③いやだとばかりの顔をしている。／表情显然是不愿意。④一丁ばかり向こうから二、三人して町内中に響けとばかり詩吟しています。／从大约100多米远的对面，有两三个人几乎是让全街都听到似的在吟诗。⑤泊るところがないので，ままよとばかり，鎌倉駅のベンチに一夜の宿を借りることにした。／由于没有住宿之处，无奈，在镰仓车站的长凳上借宿了一夜。

4. 以～たばかり形式表示刚刚完成某种动作、行为的状态。

①昨日帰ったばかりです。／昨天刚回来。②買ったばかりの万年筆をなくした。／把刚买的钢笔弄丢了。③風呂を上がったばかりで，花子の顔は上気している。／花子刚洗过澡，两颊绯红。④さっき聞いたばか

りなのにもう忘れてしまった。／刚刚听完，却忘记了。

5. 以～ばかりに、～ばかりで形式表示造成意外结果的原因、理由、根据。～に导致事与愿违的结果，～で导致求之不得的结果。

①ちょっと油断したばかりに大失敗になってしまった。／只因为小小的疏忽导致彻底失败。②私が不注意で怪我をしたばかりに皆の旅行の予定を狂わせてしまった。／只因为我不慎受了伤而打乱了大家的旅游计划。③戦争は贅沢だと言ったばかりに，平手打を食らわされた。／就因为说了一句“战争是浪费”而吃了一耳光。④園田は片輪を売り物にしたばかりでそこたまお金をたくわえ込んだ。／园田仅凭以残废作资本，赚了一笔大钱。⑤犬が吠えてくれたばかりで，火事が起ったことを知った。／只是由于狗叫，才知道起火了。

6. 接表示时间的词后表示大致的时间。文言残存用法。

① <sup>ひつじ</sup>未<sup>とき</sup>の時ばかりに敵艦来襲／未时左右有敌舰袭来。

【参考】1. 词源。来自动词はかる的连用形名词法。文言中ばかり、のみ并用，从中世纪起主要用ばかり，从室町、江戸时代起のみ除惯用形式及文言体以外基本上被ばかり取代。同时，出现了ばかり（强调形式）、ばかりし（俗语形式）等音便形式。

2. 关于んばかり中的ん，参见“む”项的参考。

ばかりか 〈接续助词〉

由副助词ばかり和表示反诘语气的副（终）助词か构成。

【意义】表示后项的程度超过前项，从而构成一个程度更高的事态。和のみか（有文言色彩）本意相同。

1. 连接前后两项体言及体言性词组，构成并列关系的词组。

①すばるは日本ばかりか中国でも広く歌われている。／《昴宿星团》何止在日本，在中国也广泛传唱。②これは党大会の開催ばかりか，この国の建設が着実に進んだことを示している。／这岂止是党代会的召开，更表明了这个国家的建设已稳步发展。

2. 接用言及助动词连体形后。

①そんなことをされたら，困るばかりか，これまでの仕事も台なしになってしまうでしょう。／你那么做，我何止是为难，迄今的工作怕都



白废了。②形がいいばかりか、なかなか長持ちします。／不仅仅是外形美观，而且非常耐用。③体が丈夫なばかりか、成績も申し分ない子供だ。／这个孩子不仅身体好，学业也没说的。④城邑へ一步も入ることを許されないばかりか、その付近にさえも近寄れなかった。／不用说<sup>じょうゆう</sup>不准向城堡里迈进一步，甚至不准靠近城堡。

### 3. 接某些连用修饰性句节后。

①彼は友だちにばかりか兄弟にまですっかり愛想を尽かされてしまいました。／不单是朋友，甚至兄弟也不理睬他了。

ばかりでなく 〈词组〉

表示追加性并列关系。

#### 1. 接续助词用法，接于体言、用言连体形等后。

①小説ばかりでなく和歌などもたくさん作って発表している。／不仅小说，还创作发表了许多和歌等。②幼児に親の死を知らせること<sup>ニ</sup>無益な（同である）ばかりでなく有害である。／将父母的死告诉幼儿不仅是无益的，而且是有害的。③私たちを肉体的ばかりでなく，精神的にも襲いかかってくるように見えた危機を事もなげに切り抜け出した。／轻而易举地摆脱了似乎不仅从肉体上也从精神上向我们袭来的危机。

#### 2. 接续词用法，连接句子时，可用そればかりでなく代替。

①その約束を忘れようとした。ばかりでなく圭一郎はその約束がなかったらと思うのだった。／圭一郎试图忘却这一契约。不仅如此，更想到如果没有这一契约会有多好。

△另有ばかりか形式，意义相同。

ばこそ 〈接续助词〉

【接续・意义】 1. 接用言及助动词假定形（文言已然形）后。形容动词类有～であればこそ和～なればこそ两种接续。表示加以强调的最根本的原因、根据。

①生産の発展が速ければこそ，技術が必要なのである。／因为生产发展很快，所以需要技术。②君の将来を思えばこそ言うのです。／正是因为考虑你的前途才这么说的。③平生，不勉強なればこそ（＝であればこそ）今度の試験に落ちたのだ。／正因为平时学习不努力，这次考试

才落榜了。④戦争に負けたればこそ、今日の日本があると思う人もいる。／也有人认为，正因为战败，才有今天的日本。⑤飛行機が墜落して命をとりとめたのは、神の加護があったればこそだ。／飞机失事而保住性命，全靠上天的保佑。

2. 接动词（主要是五段动词）未然形后，以反诘语气表示强烈否定。是文言未然形后续ば表示假定用法的转用，相当于～などするものか、～決して～しない。可用于句中起接续作用，也可用于句末起终助词作用。

①自動車は、避ける間もあらばこそ、風を切って通って行った。／汽车根本来不及躲闪就呼啸而过了。②人の意見を聞かばこそ、ますます反動的になった。／哪里谈得到听取别人意见呢，只是变得越来越与人对立了。③寝るより楽があらばこそ。／绝没有比躺着更舒服的了。

はじめる（始める） 〈接尾辞〉

下一段活用。接动词的连用形后。表示某一持续性行为的开始。和“終える”相对。

①どこからやり始めましょうか。／从哪儿开始干呢？②寒くなり始めた。／开始变冷了。③この小説を読み始めたのは昨日の夕方七時で、読み終わったのは、今日の午前六時だった。／开始读这篇小说是昨天晚上七点，读完是在今天上午六点。

△自他动词后都可用。はじまる无此种用法。

一般接于继续动词后，表示单个主体的动作的开始。如接瞬间动词，则表示复数主体的相同动作的反复开始。

①街のあかりがつき始めた。／街里开始掌灯了。

接于自动词后整体是自动词（下例①），接于他动词后整体是他动词（例②）。整体一律转化为瞬间动词。

①潮が引き始める。／开始退潮。②手紙を書き始める。／开始写信。

△尊敬语有～になり始める和～始めになる两种形式，非意志行为只用前者，意志行为一般用后者。

①ノドがおかわきになり始めた。（※おかわき始めになった）／开

始口渴了。②そろそろ原稿をお書き始めになって下さい。／这就请您开始写稿吧。

自谦语一般用“お書き始め致します”，而不用“お書き致し始めます”形式。

【参考】作为实义动词有下列惯用法。

①赤旗を始め，いろいろな彩色旗がある。／有红旗等各种彩旗。

橋本文法 ハシモトブンポウ 桥本语法

【语言观】由桥本进吉（1882～1945）创立的语法体系。桥本认为语言是语音和语义的结合体，语法就是语言单位的构成规律。因为他认为语言就是一种结构体，所以重视语言形式，由客观形式入手，系统地分析了各种语法现象，总结出完整的语法系统，素有“形式语法”之称。主要反映在「新文典別記」「国語法研究」「国文法体系論」等论著中。桥本设立句子、句节、单词三级语言单位，其中句节是句子的结构单位，是桥本语法的最主要、最基本的概念，对句子和词的论述都是以句节为基础展开的（参见“文節”项）。桥本语法在理论上受到索绪尔的影响。

【词法】词类划分的依据是能否单独构成句节。能单独构成句节的是实词（<sup>し</sup>詞），从属于实词共同构成句节的是虚词（<sup>じ</sup>辞）。进一步根据有无活用，将实词分为无活用词和用言两大类，将虚词分为助词和助动词。无活用的实词又分为能作主语的体言（即名词。数词、代词都包括在名词中）和不能作主语的副词、副体词（即连体词）、接续词、感叹词。用言根据活用种类的不同分为动词、形容词、形容动词。不能作主语的实词是根据能否修饰和接续划分出来的。副词和副体词能修饰，接续词能接续，感叹词既不能修饰也不能接续。

桥本语法中助词分类较详，共十类：格助词、准副体助词（即属格助词の）、并列助词、准体助词（行くのがいい。何ぞのもの。百キロからの重さ）、接续助词、副助词、准副助词（がてら、きり、まま、ながら等）、提示助词、终助词、间投助词。

【句法】桥本认为句子是由一个或一个以上的句节构成的语言单位。前面的句节向后面关连下去，直到最后的句节而终止，使句子得以完成。完成的句子有语音终止。

根据在句中作用的不同，句节构成各种句子成分。句子成分设主语、谓语、连体修饰语、连用修饰语、独立语。虽然未把主语归入连用修饰语，但桥本认为二者没有本质上的区别。带有修饰成分的主语、谓语、独立语分别称为“主部”、“述部”、“独立部”，如成为相当于主谓结构的句子，则称之为主语节、谓语节、修饰节、独立节、对立节等。认为句节作为句子成分按一定语序结合为一个句子，但各个句节并不是处于一个层次上的。认为关系密切的句节首先结合为一个整体，然后再和别的句节和连句节结合，这样逐级扩大，直到全句。

句子种类有：简单句（单文），即成分中不包含“节”的句子、复杂句（複文），即成分中包含“节”的句子、并列句（重文），即成分中包含对立节的句子。可见句法中也贯穿了桥本以“文節論”为基础的形式主义（此处无贬意）倾向。但他又从意义上将句子分为叙述句、疑问句、命令句、感叹句，这和形式主义相矛盾。

【敬语法】认为敬语可分为尊敬语、谦让语、郑重语三种，每一种都有固定的语言形式。

【意义】桥本语法体系是从语言的客观形式着手、容易观察，有充分的科学依据，因而被学校语文教学所采纳。随着教学语法的推广，桥本语法很快得到普及，在目前的日语语法界中是一种最有影响的语法体系。但是，由于其形式脱离意义，忽视语义形成过程，所以未能揭示出句子的本质。甚至，用句节理论来分析句子结构常常与语义形成过程相矛盾。如「白い花が咲いた」这一句子中，按句节主义的观点，句节就是句子成分，句节「白い」修饰句节「花が」，这显然是错误的。实际上「白い」只修饰「花」，而「が」是接在「白い花」这一整体之后的。由于这些原因，桥本语法受到时枝语法和转换生成语法的强烈反对。当然，其巨大影响力是不会迅速消失的。

#### 場所の表現 バシ ヨ ノ ヒ ヨ ウ ゲン 场所表达法

事物的运动（包括停止状态）离不开时间和空间。就空间来说，运动的发生、经过、结束都离不开一定空间。场所表达法反映着这种空间性，其形式较复杂。

##### 1. 持续运动的场所。



## 1) 无方向的场所用で表示。

①会議はメキシコのカンクンで開かれる。／会议将在墨西哥的坎昆举行。②博物館でいろいろな古代文明に関する文化財を見学させてもらった。／安排我们在博物馆参观了许多反映古代文明的文物。

2) 无方向性的继续动词可用を表示移动方向。用で则限定运动场所的范围，不涉及方向。

①庭を散歩する。／在院中（来回走着）散步。②庭で散歩する。／在院子里散步。③川を（で）泳いでいる。／在河里游着。④川を（※で）泳いで向こうについた。／游过河去到达对岸。

3) 静态动作用に表示其场所，如用で则多少带有“动”的含义。

①うちに（で）じっとしている。／在家里干呆着。②ベッドに（で）寝る。／在床上睡。

## 2. 结果保留的位置。用に表示。

①黒板に字を書く。／在（往）黑板上写字。②山の上に観測所を立てた。／在山上建立了观测所。③道路の両側にポプラの木が植えてある。／道路的两侧栽种着白杨树。④校庭に桜の花が咲いている。／校园里开着樱花。⑤傘を電車で置き忘れてしまった。／把伞忘在电车上了。

3. 存在、发生的场所，用に表示。因发生是一种动作，故可用で代替。

①先生は教官室にいらっしゃいます。／老师在教员室里。②日本には温泉と火山がたくさんある。／日本有许多温泉和火山。③新宿に（で）火事があった。／新宿发生了火灾。

## 4. 起点、出发点、出现点。

1) 用から表示他动词的起点、移动性自动词的起点、出现点。出现点可用に代替。

①学校から出発する。／从学校出发。②田舎から野菜を持ってくる。／从乡下带蔬菜来。③外国から帰ってきました。／由国外回来了。④真赤な朝日が東から出ました。／火紅的太陽從東方升起来了。⑤足から（に）血が出た。／脚（上）出血了。

2) 有些自动词如“出る、出発する、離れる”等如果其起点界线分明，除から外还可用来表示。から有强调出发点的语感，而を有强调动作本身

的语感。场所的抽象用法只能用を表示，界线不明的场所只能用から表示。

①学校から（を）出発する。／由学校出发。②東京から（を）離れる。／离开东京。③私が小学校を（※から）出た時，父が渡米しました。／我从小学毕业时，父亲赴美了。④真赤な朝日が東から（※を）出ました。／火红的太阳从东方升起来了。⑤前のドアから電車を降りた。／从前门下了电车。

5. 经过的场所。“通る、渡る、抜ける”等自动词用を表示经过的场所。

①探検隊は原始林を抜けて，湖にたどりついた。／探险队穿过原始森林，来到了湖畔。②町を通りぬけて橋を渡った。／穿过街道，过了桥。③大きな川が都心を流れている。／一条大河从市中心流过。

6. 到达地点。

1) 目的地用に或へ表示。前者是地点，后者是方向，通常可以互换，但无方向的动词前最好用に，如例②。后续动词是移动性的（歩く、登る）、指向性的（行く、帰る）、归着性的动词。

①友達の家（へ）行って受験勉強のことを相談した。／到朋友家去，商量了准备考试的事儿。②首相を乗せた特別機が空港についた。／载着首相的专机到达机场。

△下列情况下仍用へ表示目的地和方向。

①どちらへ？（惯用形式）／上哪儿去？②太陽は地平線のかなたへ沈んでいった。／太阳朝地平线的那边落下去了。（远距离）③誰かこっちへ走ってくる。／有个人朝这边跑过来。（移动过程）④見学に京都へ行く。／到京都去参观。（避免相同格助词重叠）

2) 终到场所用まで表示。

①銀座まで行って下さい。／请到银座。②新宿まで歩いていく。／走到新宿。

7. 境界场所。

1) 用格助词から、より（文言）表示。包括上接地点。

①この山から（より）前は長野県である。／由这座山往前是长野县。

2) 用格助词の表示。不包括上接地点。

①この山の前は長野県である。／这座山的前面属長野县。

3) 远近基准点用に或から表示，二者有归着点（に）和出发点的不同。

①この町は海から（に）近い。／这个镇子离海近。②父の会社は駅から遠い。／爸爸的公司离车站远。

はず 〈形式名词〉

【接续】 1. 接用言、用言型助动词及た的连体形等。

①分るはずです。／应该懂。②父は生きていれば，国会議員にでもなったはずの人だ。／父亲如果活着，是个能当国会议员的人。③道理で安いはずだ。／怪不得便宜。④郊外だから静かなはずです。／因为是郊区，会很安静的。

2. 特殊活用的形容动词こんなだ系列、“同じ”等的词干后。

①そんなはずはない。／那是不可能的。

3. 接于“动作性名词の”后。

①もう発車のはずですね。／应该发车了吧。

【意义】 1. 表示从某一根据所得出的合乎规律和情理的、必然的推论。不同于纯主观的にちがいない。

①箱根といえば，谷崎は若い時の思い出があるはずである。／提起箱根来，谷崎是应该有年青时的回忆的。②読めば分ってもらえるはずなのに読みもしない。／读了就能明白的，可根本不读。③それで，超音波は普通人間の耳には聞こえないはずですよ。／所以，超声波通常是人耳听不到的。④お前はここの家へは，足ぶみしないはずじゃないか。／你是不应该踏进这个家门吧？

2. 表示预定、估计的内容。此用法无否定形式。

①次の日曜は，またここに集まって下さい。今日と同じバスが迎えに来るはずですよ。／下星期日也请在此集合。将有和今天相同的汽车来接。②シーラカンスは数千年も前に死にたえたはずの古代魚です。／空棘鱼是一种估计早在数千年前就已经绝迹的古代鱼。③これから会うはずの彼女は何を考えているのでしょうか。／这就要相见的她，现在会在想什么呢？④6歳の時から母に死なれたのだから，学校に上れるはずがあ

りません。／因为6岁起就失去了母亲，不可能上学。⑤それは論理的にはできるはずのないことです。／这从逻辑上说是不可做到的。⑥沢山の生徒のうちの一人の父親を校長が知っているはずもない。／一个校长根本不可能认识众多的学生中的一个学生的父亲。

△以はずだった形式使用时，往往比上述两种用法多一层回顾的含意。

①先生はそうのように教えてくれたはずだった。／老师可能那么教过。②兄の代わりに私がうかがうはずだったのです。／那时本应由我代替哥哥去看望的。

△否定形式はずではなかった，表示事实上已成立，但道理上不应成立。

①彼は来るはずではなかった。／按理他不应该来。

派生語 ハセイゴ 派生词

由自由词素和非自由词素（接头辞和接尾辞）构成的合成词称为派生词。

#### 1. 加接头辞构成的派生词。

1) 接头辞起修饰作用。例：大革命、大人物；大雪、大きき<sup>・</sup>わぎ；小アパート、小都市；小鳥、小ぎれい、小うるさい；初春、初恋；新大陸、新発見；現総理；前国王；す足、すがお；ま南、まっ白い、まんまるい；重労働；軽工業。

2) 接头辞表示敬意、赞美。例：お手、ご心配、みほとけ。

3) 接头辞表示否定。例：不自由、非常識、無条件、未発表、没交渉。

#### 2. 加接尾辞构成的派生词。

1) 接尾辞表示敬意、多（复）数、数量、顺序、时空、性质乃至人物、事物等。例：神さま；子どもたち、先生がた；五冊、七番目、1949年；読み手、運転手、弁護士；入場料、料理店、市民権、人間性、紳士然。

2) 决定词性的和改变词性的。例：春めく、勉強する、寒がる（以上为动词）、高さ、深さ、深み（以上为名词）、悲しげ、病気がち、歴史的（以上为形容动词）、水っぽい、忘れっぽい、男らしい（以上为形



容词)。

△决定词性的接尾辞还有概括前述内容的语法作用。

①いわば昔の幕府の役人的な考え方／如同旧时幕府官僚的想法。②西洋の城めいた建物。／西洋城堡式的建筑。③私に何か言いたげにしている。／好象要和我说点儿什么。④彼は嫁にきてもらい手がない。／没人嫁给他。⑤そういつて立ち上がりしなに課長は軽く俊介の肩をたたいた。／说罢，科长站起来，同时轻轻地拍了拍俊介的肩膀。

⇒語構成

はたして（果して） 〈陈述副词〉

1. 和疑问形式呼应，表示对事件的真伪的疑问。

①果してこれは故郷であろうか。／（难道）这真的是故乡吗？②どんな人間でも哀れみの情<sup>じょう</sup>があるというが，はたしてそうか。／据说人人皆有怜人之心，果真如此吗？③私は果して自分の錯覚であるかどうかを確めるため，もう一度調べてみた。／我为了验证到底是不是自己的错觉，又查对了一遍。

2. 和假定形式呼应，表示假定某个事项是真实的。

①はたして政治家の言うようなら，日本は福祉国家になるにちがいない。／若是真的如政治家所说的那样，日本无疑将成为福利国家。②飛行機は安全な乗物だという。はたしてそうだとすると，百パーセント安全だという保証はどこにもない。／据认为飞机是安全的交通工具。即便真的如此，也根本保证不了绝对安全。

3. 和断定形式呼应，表示“果然不出所料”的意思。

①難しい問題だから分るはずがないと思い，質問してみたところ，はたして答えられない。／我想，问题复杂，所以（他）不可能懂，一问，果真答不上来。②誰かが書くだらうと思ったら，はたしてちゃんと書いてある。／我想会有人来写的。可不，已经写的好好的了。

撥音 ハッオン 拨音

【解释】日语特殊音位之一，亦称“はねる音”。指用假名ん（ン）表示的音拍。与直音拍和拗音拍结合，构成拨音音节。除ンマ（馬）ンメ（梅）ンモル（埋る）等极个别情况外，不能位于词首作一个音节来用，而是只

作一个音拍，位于词中、词末，这一点和长音、促音等很相似，但它具有具体音值，因而又区别于前两者。因此在构成音节时，拨音的独立性也比较强。在缓慢的发音中，我们可以感觉到在其前后存在发音上的松弛和听觉上的音谷。

历史上汉语鼻韵母对日语拨音的发展起过推动作用。因此，拨音主要分布于音读词中。日语固有词中主要分布于拟声、拟态词、动词的拨音便、口语中的强调用法中（みんな、あんまり）。

【发音方法】拨音是一种音位，由若干个不同音素构成，其具体音值被后续子音和词中位置所定。

1. 在タ、ダ、ナ、ラ、ザ行子音前，即舌齿音〔t、d、n、r、z、tʃ、ts、dz、ɕ〕前，发成舌齿音〔n〕。例：カントウ（関東）ゲンダイ（現代）、アンナイ（案内）、ロンリ（論理）、センチ、メンツ（面子）、カンジャ（患者）、バンザイ（万岁）。

2. 在マ、バ、パ行子音即双唇音〔m、b、p〕前发成双唇音〔m〕。例：シンピ（神秘）、シンブン（新聞）、アンマ（按摩）

3. 在カ、ガ行子音即舌根音〔k、g〕前发成舌根音〔ŋ〕。例：ニンキ（人气）、コンゴ（今後）

4. 在母音〔a i u e o〕、半母音〔j〕、サ行子音〔s·ʃ〕之前发成〔ɲ〕。例：レンアイ（恋爱）、ホンヤ（本屋）、フンスイ（喷水）、オンシャ（感谢）

在词末亦发〔ɲ〕。例：エン（円）、～ません。但ウン〔m·n〕除外。

〔ɲ〕的发音部位位于〔ŋ〕之后，由小舌和舌根后部轻微接触，使呼气缓慢地通过鼻腔而出。因此音质柔，容易受后续子音的逆同化作用。

〔m、n、ŋ〕都可以看作是〔ɲ〕的同化音。

在拨音发音中，要牢牢记住这种同化作用，随后续子音的性质灵活地确定其具体音值。汉语普通话和方言中都有一n或一m鼻韵母，但它有固定音便，不受后续子音的影响。因此，不能和日语的拨音等同起来。

はては（果ては） 〈接续词〉

表示叙述顺序中的最后一项，这一项是特殊的、极端的或出乎意料

的。可用于句中或句子间。

①日本人、朝鮮人、中国人、はては鼻の高い西洋人もまじっているようであった。／日本人、朝鮮人、中国人、甚至高鼻梁的西洋人似乎也混杂其间。②原料ばかりでなく、鉄くず、石炭がらの類から、はては排気ガスまで利用できる。／不光是原料，从铁屑、煤渣之类，直至废气都可以利用。③多くの螢は或いは一直線に飛び、あるいは椰子の葉の間を縫っている。果ては一本の樹に十数匹が塊って、その樹をクリスマス・ツリーのように輝かす。／许多萤火虫，有的直飞，有的穿梭于椰子树叶之间。更有甚者，在一棵树上聚拢着十多只，把那树辉映得如同圣诞树一般。

### 「は」と「が」

は是提示助词，可提示句中各种成分，但其中最主要的用法还是以取代的方式提示用が表示的主语。这样就产生了は和が的区别问题。通常所说的は和が的区别就是指两者都作主语时的区别。

【描写具体情景时】 1. 对于眼前事物不加任何再思维过程，如实地从直观上来表达时用が。亦即：主语谓语整个是一个新信息，没有在认识上加以分割的过程。例：①月が出た。／出月亮了。②山が高い。／山高。③あ、魚が逃れた。／哎呀，鱼跑了。

2. 对眼前的事物用比较的认识方法来反映时要用は。单句中出现は时，被比较的事项存在于句外。在表示并列的复句中，前后两个は分别表示比较和被比较的事项。主语和谓语在认识上有分割的过程。例：①月は出た。（～が、あたりは暗い）／月亮出来了（可是周围很暗）。②魚は逃れたが、餌は残っています。／鱼跑了，饵食还在。

无任何语言环境时说出“山は高い”之所以不自然是因为句外义不明确。句外义不明确时不能用は表示主语。而“魚は～”一句之所以自然，是因为后分句明确规定了语言环境。

3. 对“某种属性的主体是何物”作判断时用が表示主语，如a、b句。对“某主体的属性是什么”作判断时则用は，如a'、b'句。主语多是用代词之类表示的特定事物。

a . これが本だ。

b . 私が苦しい。

a'. これは本だ。

b'. 私は苦しい。

a 和 b 单独成句之所以不自然是因为听者对主语和谓语均无了解,听起来茫然。但是作为“どれが本か”和“誰が苦しいか”的答句则是自然的。

【描写知识性内容时】 1. 主语是已知事物要用は表示。主语一般是总体事物。例: ①月は東から出る。/月亮从东边出来。②海は青い。/海是蓝色的。魚は泳ぐ。/鱼是游。

以上句中, 谓语部分是未知内容, 是对主语的一般性解释和说明, 所以后续“ものだ”句义不变。如谓语是“～東から出た”、“～泳いだ”等个别性解释和说明, 就转为情景用法 2, 如“海は青い”也可理解为“海是蓝色的, (帆是白色的)”。

2. 主体是未知事物要用が表示主语。例: ①月が東から出る。/月亮(而不是彩虹)从东边出来。②海が青い。/海是蓝色的。③魚が泳ぐ。/鱼是游的。(译文逻辑重音在主体)

以上句子作为情景性用法是自然的。而作为表示知识的独立句子均不自然, 只有作为“何が～か”一类疑问句的回答才成立。

以上内容可列成下表。

	情 景 用 法	知 识 性 用 法
が	表示情景。无句子中心。 月が出た。	表示知识内容的主体。中心在主体, 指明主体。 月が東から出る。
は	表示对照。有句外之意。月 は出た (が, あたりは暗い)。	表示知识内容的主体。中心在谓语, 说明主体。 月は東から出る。

【在文脉中】说话和文章中首次出现的事物即新情报要用が表示。而重复出现, 成为旧情报时要用は。这是が的情景用法和は的知识性用法在连续谈话和文章中的具体体现。例: ①むかしむかし, あるところに, おじいさんとおばあさんがありました。おじいさんは山へしばかりにいきました。



た。おばあさんは川へせんたくにいきました。／很久以前，在一个地方，有一个老爷爷和一个老奶奶。老爷爷上山去砍柴，老奶奶到河边洗衣服。

作品中开头出现的事物当然是新情报，但为了密切与读者的感情联系，有时当作旧情报而用は表示。这是一种修辞用法。如夏目漱石的小说「吾輩は猫である」的开头部分就有“吾輩は猫である。名前はまだない。”这样两句用は表示新情报的句子。

だれ等疑问词不能说“～は”，就是因为这些词只能表示新情报，无法作为话题来提示。作为例外，“なには どうした”中的“なに”实际上是“あれ”的意思，属旧情报，所以可用は来表示。

【复句中的は和が】 1. 包孕句中，子句主语用が、主句主语用は。有时一方主语被省略。

①私は姉が帰ってきた時，外で遊んでいた。／姐姐回来时，我正在外面玩儿。②(私は)日が出るのを静かに眺めた。／我静观日出。③彼女は(彼女が)最近とった写真を私にくれた。／她把最近照的照片给了我。

当子句又由两个子句构成时，其各自的主语也可用は。

①雨は降るが風がない日には出港が出来る。／下雨但无风的日子可以出航。

2. 条件句中，顺接假定条件分句的主语中用が。

①君が(※は)行けば，ぼくは行かない。／如果你去，我就不去。②彼が(※は)帰ってきたら，渡して下さい。／他回来时，就交给他。

逆接假定条件分句的主语也可用が表示，但强调前后两项是并列对照时要用は。

①君が行っても僕は行かない。／即使你去，我也不去。②君は行っても僕は行かない。／你即使去，我也不去。

顺接和逆接确定条件分句中的主语用は还是が视分句的性质而定。分句是情景描写时要用法，是判断时要用法。

①雨が降っているので(同から)遠足は中止した。(情景)／因下雨停止了野游。②目的地は遠かったので(同から)私たちは車で行った。

(判断，如用法成为情景)／因目的地远，我们乘车去了。

③電車があったのに, (彼は)バスで行った。(情景) / 有电车, 他却乘公共汽车去了。④彼の言ったことは非常に重要なことなのに, 私はそのことに気がつかなかった。(判断) / 他讲的事非常重要, 但我却没有注意到这件事情。

⑤(私が)いくら誘っても, 彼は出てこない。(情景) / 我怎么叫他也不出来。⑥値段は高くても, もちは悪い。(判断) / 尽管价钱很贵, 却不耐用。

当条件分句和主句共有一个主语时, 不论分句性质如何一律用は表示。

①彼はちゃんと知っているのに何も話してくれない。/ 他一清二楚, 却什么也不对我说。

3. 并列句中, 分句主语用は表示。

雲はあいかわらず低く垂れていたが, 雨は止んでいた。/ 云依旧低垂着, 而雨已经停了。

包孕子句中的并列分句的主语也可用が, 例见1。ても连接的句子也可按并列关系来理解, 见以上例。

**話し言葉** ハナシコトバ 口头语言

以声音为媒介, 能够听说的语言形式称为口头语言或声音语言。与以文字为媒介的文字语言相对。

口头语言用于在特定场面与特定人进行的对话和会话中。具有重音、句调等语音形式, 而且能借助表情、手势等辅助手段表达部分语义内容。因此, 口头语言具有以下特点 (与文字语言相比):

1. 在语法方面。句子短而结构简单松散, 不完整句多。多有反复、省略、倒装等现象。句子的中顿多用接续助词表示, 如: ぼくも行くし, きみも行く。

2. 在词汇方面。常用指示词、拟声拟态词、感叹词、终助词、间投助词等。指示词不仅有场面用法, 还有文脉用法。方言、俗语、流行语之类用得较多。较少用汉源词。

3. 在文体方面。常用だ体、です体、でございます体, 演讲时常用であります体。很少用文言体、汉文体, 翻译体。根据不同的谈话对方,

原则上要用敬语。常用敬称有“先生、～さん”。

口头语言的媒介是瞬息即逝的声音，在时间和空间上有很大的局限性。但由于电话、广播、录音等机器文明的发展，这种局限性在很大程度上得以克服。尽管如此，在上述广播等场合，由于失去了场面性和特定对象，不能使用手势等辅助手段，这就需要在语法、词汇、文体等方面用文字语言的长处来弥补。

母语的学习，起初主要靠口头语言，入学后主要靠文字语言。这样往往产生轻视口头语言教学的偏向，致使学生不会发言、不会打电话、不会说礼貌语言。战后，日本语文教学比较重视口头语言的训练，在教学大纲和教材中都有具体的要求和内容。

培养学生口头语言能力要注意：

1. 在不同的场合用不同的语言形式，要遵守各种语言形式的运用程序。如，打电话、自我介绍、会议发言等都要有一定的程序和特殊用语。
2. 要善于利用场面、表情动作以及语音语调，尽量简化句子结构和内容，使语言形式与内容融为一体，生动活泼。
3. 要发音准确，用词恰当，注意使用敬语。

口头语言即听说是外语教学的重要组成部分。口译人员的培养主要是学习口头语言的问题。听说也是外语教学的难点，应该要求学生在适应外语的发音、语法、词汇的基础上，进一步主动进行模拟，以达到能用外语想问题，表达思想。听说能力的形成也能推动读写能力的提高。

場面 バメン 场面

时枝诚记认为语言是在某人（主体）向某人（场面）说某事（素材）时成立的。可见他认为场面表示表达主体与理解主体之间的关系，最具体的场面就是听者。

场面制约着语言表达形式。如，敬语的使用取决于说者和听者之间的社会关系。

时枝所说的场面只包括主体场面，不包括这以外的客观环境，所以不全面。例如，“私が校長です”和“私は校長です”两个句子的主体场面是相同的，但必须用于不同的环境中去才恰当。

由于以上原因，永野贤、森重敏、佐久间鼎、三尾砂等人都是从不同

的角度发展了关于场面的理论。三尾砂认为客观环境即主体 场面以外的场面是句子成立的重要条件之一。他把句子根据与场面的关系分为四类：

1. 场面句（場の文）。如：雨が降っている。／下着雨。2. 含有场面的句子（場を含む文）。指包括“課題”和“解決”两个部分的句子。如：これは梅の花だ。／这是梅花。3. 体现场面的句子（場を指向する文）。指句子本身不反映任何具体内容，只笼统地反映场面的句子。如：あ！／啊！雨だ。／雨！4. 和场面相辅相成的句子（場と相補う文）。指没有文脉意义就不完整的句子。如：もともとだ。／确实。诚然。

在以上几类中，第1、2因句子本身反映全部场面，句义完整，无需场面和文脉的帮助亦可。但3、4正相反，句子本身只传达一部分信息，余下的信息要靠场面和文脉的帮助才能了解。

**早い話が** ハヤイハナシガ 〈接续词〉

用于句子之间，表示略去中间步骤直接说出结论、结果。

①早い話が，参議員には大企業の代表者はいるが，中小企業の代表者はおりまへん。（方言，等于ません）／直截了当（开门见山）地说吧，参议员中虽有大企业的代言人，却无中小企业的代言人。②早い話が，この人はしまいには島流しにされました。／简单地说，这个人最终被流放到海岛。

**反語表現** ハンゴヒョウゲン 反诘表达法

【性质】指为加强肯定或否定语气而故意使用疑问方式的表达法。特点是实际意思和字面意思正好相反。

疑问句转换为反诘句的条件还不清楚。下例①可看成是由一般疑问句转成的，例②是由特殊疑问句转成的。

①彼が自殺するはずがあるか。／他怎么可能自杀呢！②いつ宿題をしなかった。／我什么时候没做作业来着？

但有些特殊疑问句，如“いつがいいか／什么时候好啊？”就不能构成反诘，只能构成反问：“いつがいい？／（你说）什么时候好？”

疑问和反问需要回答，而反诘的回答是明摆着的，如例②的意思是说“我始终都完成作业”。

反诘句的形式如果是否定的，实际内容就是肯定的，如例②，反之相



反，如例①。

反诘是针对已知情况进行的，句中主语都用が而不用は。这为明知故问创造了条件。另外句中经常出现有关已知内容和判断性的连用修饰语。

①そんな言い方で相手が受け入れてくれようか。／你这么说对方能接受吗？②これくらいの資金さえ調達できないだろうか。／连这点儿资金都筹措不到吗？

【形式】简单地说，和疑问表达法的形式大体上相同。

1. 是非疑问句表示。谓语中有疑问终助词或词组，常接于推量助动词う、よう、まい后。

①聞いて涙することではあるまいか。／难道不是听了催人泪下的事吗？②化け者なんかあるもんか。／哪有什么鬼！③何度もくりかえし強調したではないか。／我不是反复强调多遍了么！④我国は両国の戦争に沈黙を守るべきであろうか。／我国难道能对两国的战争保持沉默吗？

2. 特殊疑问句（疑问词＋疑问终助词）表示。句末形式同1。具有彻底肯定或否定的语义。

①何故ぐずぐず泣くのだ。／干么哭哭啼啼的！②どうして我慢できないのだろう。／怎么不能忍耐？③なんでそんな無礼な事を聞かされて無言で居られようか。／听了如此无礼之言怎能忍气吞声！④誰が苦しい生活をしたいのか。／谁愿意过苦日子！

△日语“反語”有两个意思：其一相当于汉语的反诘，即以上内容；其二相当于汉语的反语，如对迟到的人说“お早いね／真早啊”之类。

**反照代名詞** ハンショウダイメイシ 反身代词

【解释】日语又称“反射代名词（ハンシャ〜）、自照代名詞（ジショウ〜）、再帰代名詞（サイキ〜）”。和入称代词一样，可以用来指示人物，有人认为是人称代词的一种。区别是：反身代词没有人称的区别，如以下四个“自分”依次代表第一、二、三人称。

①僕は自分を反省しているが、君は自分自身を反省したことがあるか。／我正在反省自己，可是你反省过自己吗？②あの子は自分のことは自分です。／那个孩子自己的事情自己做。

有时反身代词可用先行词替换而句意不变。但也有许多反例。

①私は自分を（私を）鞭打って、務めに励んだ。／我鞭策自己，努力工作。②あの人は自分で（※あの人で）失敗したのに非常におこっている。／他自己弄糟的却大发脾气。

还可以指非情物。这与人称代词不同，而与指示代词的用法相似。

①英国を見給え。……自分だけは得意のようだが，傍から見れば堅くなって化石化しかかっている。／就说英国吧。……自己似乎很得意，可是如果从侧面观察（就会发现）已经僵化，正在变成化石。②働く事，それ自身が人生の目的なのだ。／劳动，这本身就是人生的目的。

反身代词的范围无定论，一般认为口语中有“自分、自己、自身、自体”，前两个单独用于有情物。后两个一般不单独使用，只作复合反身代词的一部分，如“彼自身、警察自体”。“自己、自体”二词不太常用。

“自分自身”有强调的口气。

【意义】 1. 起强调作用。这种用法的反身代词在语法上可有可无。其中“自身、自体”专用于强调。

①妹は，（自分が）困ったときには必ず訪ねてくる。／妹妹（在她）为难的时候准来找我。②ことわざは慣用的であるが，それ自身一つの文相当のものである。／谚语是一种习语，它本身相当于一个句子。③問題はあるが，そのような計画を作ること，それ自身には反対ではない。／问题是存在的，但是我不反对做这样的计划这件事本身。

2. 人称代词客观地反应事实，反身代词具有说者主观地为话题中的人物反映事实的作用。试比较：

①結局，太郎は「僕が間違った」と認めた。／最后，太郎承认了，说“我错了”。（直接引用）②結局，太郎は彼は間違ったと認めた。（客观叙述）／最后，太郎承认他错了。③結局，太郎は自分が間違ったと認めた。／最后，太郎承认自己错了。

3. 有时反身代词与人称代词相比有对某一事情有所了解的语感，如下例“花子”了解“女”嫉妒她，可用“自分”，否则用“彼女”。

①花子は自分を（彼女を）ねたんでいる女とよく喧嘩する。／花子常和嫉妒自己（她）的女人打架。

判断表現 ハンダンヒョウゲン 判断表达法

【性质】指判断并叙述某一事件、事物的表达法。具有向对方提供“情报”的表达意图，但并不要求回答。

判断表达形式的选择首先和客观事实有关，其次和对事实的认识程度有关。比如，看到下雨只能说“雨が降っている”，不能说“～ようだ”；而坐在屋内看不清是否下雨时说“雨が降っているようだ”就比“～降っている”好。另外，也是很重要的，还和说者的心理有关。比如，如果主人是长上，客人说“大変あついですね”，很可能被理解成一种批评，这时说“大変あついようですね”就比较稳妥。实际上，日语中不确定判断用得特别多。判断类别有：一般性判断、确定性判断、不确定判断。

#### 【用法和形式】 1. 一般性判断。

##### 1) 用通常的叙述句、判断句表示。

①人間は考える動物だ。／人是思考的动物。②つむじ風がほこりをまきあげた。／旋风卷起尘土。③日本は機械文化は発達しているが精神文化は貧弱である。／日本机器文化发达而精神文化贫乏。

2) 口语中常用ね、よ、さ等终助词表示。除了判断之外，还有各种语感。女性在较随便的会话中多用。

①あなたが佐藤さんね。／您就是佐藤先生吧。②風が吹いているよ。／刮着风哪。

##### 3) 用与思维、思想有关的一些动词。

①私はあの人は一番えらい人間と見ている。／我认为他是最了不起的人。②挙動から見て、彼は犯人ではないと、私は考えた。／从举动上看，我认定他不是犯人。③相手の動きからして別の狙いはないと受けとられる。／从对方的动向，可以看出并没有别的目的。

4) 表示社会舆论之类的形式有：といわれている、という、という見方もある、というのが通説だ、と見る向きもある、等。

①警察に暗殺されたのだという見方もある。／也有一种看法认为是被警察暗杀的。②日本語と朝鮮語とは親属関係にあるというのが通説となっている。／日语和朝鲜语是亲属语言，这已成为一般的看法。③世界の経済中心がアジアに移りつつあると見る向きもあって、西側の注

目を集めている。／有一种倾向认为世界的经济中心正在向亚洲转移，引起了西方的注目。④次期の農相は三浦氏が任命されると言われている。／据传下届农业大臣三浦先生将得到任命。

## 2. 不确定判断。

1) 用助动词らしい、みたいだ、ようだ以及かな、かもしれない等表示。

①来週中には上京するみたいだ。／好象下周内进京。②両親をかかえて生活が苦しいようです。／养活着父母，生活好象挺艰苦。③僕に分，これかな。／我的一份儿，是这份儿吗？

2) 用陈述副词あながち、かならずしも等表示犹豫不定的判断。后续否定形式。

①研究が進めば、海底都市建設もあながち夢とは断言できない。／随着研究的深入，建设海底城市也未必就一定是梦想。②初実験であるだけに、必ずしも成功するとは思っていない。／因为是初次试验，估计未必能成功。

3) 用という型词组。有：とって（も）いい、といえる、といっても過言（言い過ぎ）ではない等。

①今の世界情勢は風雲に満ちていると言ってよい。／可以说，现在的世界形势动荡不安。

4) て（も）いい（よろしい、かまわない、さしつかえない、さしさわりない）等。

①民間ルートで取引きしてもさしさわりはないと決められている。／规定即使通过民间作生意也不妨。②ここでタバコを飲んでもかまいません。／此处可以抽烟。

## 3. 确定判断。

1) 语法词组のだ、にほかならない等。

①ああ、分ったよ。君はおいぼれに騙されたんだよ。／啊，我明白啦！你是让老东西给骗啦。②倅の仕業にほかならないから、何も言えません。／因为就是犬子所为，无可辩解的。

2) 用“～は～だ”的同词反复形式，“～こそ～だ”形式。



①日本人はやはり日本人で、外国で出合うとすぐ心が融け合うものです。／日本人到底是日本人，在国外遇到一起马上就融洽了。②それこそ正しい道である。／那才是正确的道路。

3) 用副词和接续词表示。如：結局のところ、つまり、まさに、文字通り、全く、とどのつまり、等等。

①結局のところ、経済の自立無しには政治の自立も云云できないものだ。／归根结底，没有经济的自立，也谈不上政治的自立。②まさに生き地獄だ。／简直是活地狱。③アメリカは文字通りエゴイズムの社会である。／美国实实在在是个人主义的社会。

4) 用に違いない（決まっている、間違いない、疑いない）表示。

①皆賛成するに違いない。／肯定都会赞成的。②革新政治によって新しい国作りの基盤が出来あがることは疑いない。／无疑问通过政治改革将出现治国安邦的新基础。

5) 用“～は確実だ（確かだ、明らかだ、必至だ、至難だ）”的形式表示。

①君が騙されたことは確かです。／你被骗了这一点是确实的。②この調子でやっていけば両極化は必至である。／这样干下去，必然导致两极分化。③明るい見通しを持てるのはあまりにも明らかなことだ。／十分明显，可以做乐观的估计。

**反復態** ハンプクタイ 反复体

表示动作或状态的反复出现。分为反复进行体（反復進行態）和反复继续体（反復継続態）。详见“進行態”和“継続態”项。

**反面** ハンメン 〈名词〉

1. 接续助词用法。接于用言及助动体连体形后，表示主体（或主题）同时兼有截然不同的两性质。

①あの人は自慢したり威張ったりする反面，ひどく人のいい所もある。／他自夸、傲慢，但是也有心地极其善良的一面。②父は非常にきびしい反面，やさしいところもあります。／爸爸虽然很严厉，也有和蔼的地方。③彼は真面目な反面ずるいところもある。／他为人老实的一面，也有些滑头。④科学技術は文明を進歩させる反面，戦争の危険を大

きくします。／科学技术推动文明，同时也增大战争的危險。

## 2. 接续词用法。同时有副词作用。意义同上。

①そういう善行は、まず好意的であるが、反面、腑に落ちない所もある。／这种好事，无疑是善意的，但，又觉得有些不好理解。②ようやく大学に入ることができた。反面、勉強しすぎて目が近くなった。／终于考上了大学。而另一方面，由于过度的学习眼睛近视了。

## 反問表現 ハンモンヒョウゲン 反问表达法

【性质】指针对对方的提问向对方重新提问，或对对方的叙述中不明确的地方进行提问的表达方式。不同于以弄清说者自己不清楚的问题为目的的询问表达法以及自问表达法。同时，三者都是疑问，所以形式大致相同。反问以对话为前题，所以文章中一般不出现。

【形式】1. 用疑问终助词か、い、さ等表示，句末语调上升。いは男性语，语气较俗，さ语气较轻松随便。かいは结合形式，增加怀疑的语气。

①誰が来たというのかい。／你说谁来了？②そんな礼儀知らずもあるのか。／竟有这种没礼貌的人？③行きたいところって、一体どこさ。／你说想去的地方到底是哪儿啊？

2. 用って、と结句。实际上是といのか（って言うのか）的省略，所以句末升调，其前面的成分是对方话语的复述（例①）或是疑问形式的再现（例②）或二者兼而有之（例③）。って语气随和，用于亲友之间或对下，と语气较强，容易产生斥责、急躁、逼迫的语气。

①明日から夏休みだって？／（你说）明天开始放暑假？②なんだと？／你干吗？（要打仗怎么）③どこが痛くてならないって？／（你说）哪儿疼得受不了？

## 3. 用指示词后加疑问终助词的形式表示。

①どうだ，もう降参しただろう。／怎么样，已经服了吧？②それは本当ですか。／那是真的吗？③あれですか。あれはこの隣りにいる彫刻家が作ってくれたのです。／（你说的）是那个东西吗？那是我隔壁住的雕刻家给我做的。

## 4. 用“ええ？、そう？、ほんとう？”表示，可后续其他形式。疑

問性质的沉默也表示反问。

①ええ？何ですって？／啊？你说什么？②「あなたはまだ知らないでしょう」／“你还不知道吧？”

# ひ ヒ

ひいては（延いては） 〈接续词〉

也说成ひいて，表示（因为前面的事项的原因）范围进一步扩大到后项。可用于句中或句子间。

- ①ひいて妻とも仲が悪くなりました。／进而和妻子也别扭起来了。  
②このけものは動植物，ひいては人を食物とする。／这种野兽以动植物乃至人为食物。

**比較対照の表現** ヒカクタイショウノウヒョウゲン 比较对比表达法  
【性质】表示对比、对照、比较、区分的表达法就是比较对比表达法。由于客观情况和主观角度的不同，所使用的形式也不同。

【用法和形式】 1. 异同。一般用格助词と表示，“等しい、そっくり”还可用“に”表示。

- ①この品は見本と同じではない。／这件物品和样品不一样。②円Oは円Pと（に）等しい。／圆O等于圆P。③AはBと同類である。／A和B是同类。④鯨は魚と全く別だ。／鲸鱼和鱼截然不同。

表示异同的常用词有：（と）同様、一致する、共通だ（する）；かわる、異なる、違う、対照的だ、反対だ、逆だ、裏腹だ、異にする等。

2. 类似。一般用格助词に表示。双方互为比较时也可以用と表示。

- ①AはBに似ている（と似ている）／A和B相似。②原始人の観察力は瞬間写真に匹敵できるものがある。／原始人的观察力真能抵住瞬间摄影。

常用词有：（に）似かよう、類する、類似する、差がある、相当する、おとらない、負けない、ひけをとらない等。

3. 比较。

1) 动作性的比较用と或に表示。

- ①今の生活を昔と（に）比べれば……／如果拿现在的生活和过去相比……



常用词有：と（に）比較する，に比する，にてらす。

2) 程度性比较用格助词より、副助词ほど、くらい表示。

①彼は僕より二つ年上です。／他比我大两岁。②日本では12月ぐらい（ほど）忙しい月はありません。／在日本再没有象12月那么忙的月份了。

3) 程度性比较还用程度副词表示，有“比较级”和“最高级”两种。

①もっと大きい。／更大。②ちょっと（少し）小さい。／小一点儿。③より多い。／更多。（以上为比较级）④もっともいい。／最好。⑤一番大きい。／最大。⑥最高に速い。／最快。（以上为最高级）

4) 选择性的比较用“～と～とどちら、～のうちで、～の中で、～より、むしろ、（～より）～ほう”表示。常和程度副词搭配使用。

①コーヒーと紅茶とどちらがお好きですか。／咖啡和红茶您喜欢哪样？②コーヒーの方が好きです。／还是喜欢咖啡。③紅茶よりもコーヒーの方が好きです。／喜欢咖啡胜过红茶。④リンゴとミカンとブドウのうちでどれがおいしいですか。／苹果、桔子、葡萄比起来哪样好吃？

4. 超量。用格助词から、より、を表示。

①発車時刻より（から）一分あと駅についた。／比发车时间晚一分钟到达车站。②発車時刻より（※から）一分前に駅についた。／比发车时间提前一分钟到达车站。③志願者は千人を上回る。／申请参加者超过一千人。

5. 等量基准。用に（つき）、ごとに、おきに、ずつ等形式表示。

①会費は一人に（つき）三百円です。／会费每人3百日元。②先進国では週に二日休む。／发达国家每周休息两天。③千メートル登ごとに温度が6度ずつ下る。／每攀登1千米，温度下降6度。④20分おきに2回地震があった。／隔20分钟有过两次地震。

**比較文法** ヒカクブンポウ 比较语法

comparative grammar的译语。用比较的方法研究不同语言间的亲疏关系，阐明语言的系属的一种语法学理论。和比较语言学（比較言語学）大体同义。19世纪在欧洲，比较语法曾经是语言研究的中心课题。对印欧诸语言所作的大量的比较研究，在确立印欧语系进而确立其他语系方

面起了决定性作用。

日本明治以后也进行了日语和朝、蒙、满等北方语言，日语和马来语、波利尼西亚语、以及和其他语言的比较研究。结果表明，朝鲜语和日语非常相近，朝鲜以北的满语、蒙古语次之，西亚的土耳其语也与日语有相似之处。日本境内南部的冲绳语是日语的一种方言，北部的阿伊努语和日语没有亲属关系。

此外，“比较”一词还用于类型学（typology，類型論）。指的是：不考虑系谱关系，根据语音、语法和词汇特征来决定语言的类型（如汉语是孤立语，是声调语言）。

“比较”（comparison）不可和“对比”（contrast）相混。详见“对照文法”项。

### 美化語 ビカゴ 美化语

由辻村敏树命名。属敬语三分法中的“丁寧語”。指说者为保持自己的格调等而用的有关素材内容的美化用语。郑重语和对话敬语都是为了表示对于谈话对方的尊敬而用的，但美化语不涉及谈话对方或素材内容上的上下尊卑关系，常用于无尊卑可言的各种事物甚至自言自语之中。所以大石初太郎、森野宗明不把它看作敬语。

美化语偏重于名词，用接头辞お、ご构成。有的只有美化语形式，有的有相对应的普通形式。如：おやつ、おすそ分け、おでき、おしめ、おなら、ご飯、（お）けいこ、（お）勤、（お）菓子、（お）手洗、（お）ビール、（お）トイレ。另外，おやすみ、いただきます、ごちそうさま等寒暄语也属于美化语的一种。

用言中美化语极少。“おいしい、食べる”等已成普通用语。辻村敏树把郑重语“まいる、いたす、ございます”等也看作美化语。

### 比況の助動詞 ヒキョウノジョドウシ 比况助动词

【性质】助动词的一种。指构成比喻性陈述形式的助动词。所属词有ようだ（ようです）、ふうだ（ふうです）、みたいだ（みたいです）。这些词也作推断助动词用。

比况助动词指出喻体，以说明本体的性质，常用来表示语气委婉的判断。

①肌が白くて雪のようだ。／皮肤象雪一样白。②この田舎町に来て、なかなか東京や大阪で暮すふうにはいきません。／在这乡下小街，可过不上东京、大阪那种生活。③刑場に赴くみたいな心境だった。／当时的心情如同被押往刑场。

【诸说】桥本语法和教学语法中都看作是样态助动词或比况助动词。但桥本语法中所属词只包括ようだ，而教学语法和松村明都把ふうだ和みただ也包括在内。时枝诚记根据词辞说，认为ようだ是体言性词尾よう和指定助动词だ的结合形式，因而不承认是一个助动词。另外汤泽幸吉郎指出，みただ是由“見たようだ”缩合而成的，みたようだ一直沿用到明治年间。见另项。

### 否定形 ヒテイケイ 否定形

未然形的别名，也称“打消形”。未然形不能单独使用，而是后续助动词う（む）、ない等构成活用词组。现代口语中前者可独立为推量形，后一种情况还可以后续助动词（ら）れる、（さ）せる等。因此，否定形作为未然形的名称是不全面的。另外，形容词、形容动词的否定形式用连用形后续形容词ない的方式构成。因此，否定形更难作为活用形的名称来使用。如果把否定形式的活用词组看作否定形，那么似乎还应该有使役形、被动形等。

### ⇒未然形

### 否定表現 ヒテイヒョウゲン 否定表达法

【性质】语言中的肯定否定表达法反映着客观事物的逻辑肯定和否定。问题是，语言的肯定与否定和逻辑的肯定与否定不完全一致。就是说，形式上的肯定与否定和内容上的肯定与否定不一定一致。这一点在日语中尤为明显。如：有时肯定或否定只有语气上的不同，“あつい”比“すずしくない”更肯定，后者比前者含蓄。这里，语言的否定并不是对客观内容，而是对于想中的看法或对对方的陈述态度的否定，如“今日はすずしくない”等于“今日はすずしいだろうと思ったがそうではない”。再如：有时形式和内容的肯定或否定甚至相反，“～かねない”与此正相反。

金田一春彦认为否定表达法用途非常广泛，是日语的一大特征，日本

人的表达心理就是被动的、消极的。日语几乎所有的表达内容都有否定形式。同时，否定也被借用于各种表达法中，以增加委婉等语气。如：さっさとやらないか（命令）。／怎么不快干！一度連れて行ってくれないかな（希望）。／不能带我去一次吗？

形式多样也是否定表达法的一个特征。

【形式】 1. 句末形式。

1) 由否定助动词ナイ、ヌ（ン）、ズ（ザル）、マイ构成的动词否定形式。其中ナイ是普遍常用形式；ヌ多用于关西和惯用词组；マイ是否定推量，可用ナイダロウ置换；ズ用于文言和惯用词组。

①主旨はまだ説明してありませんか。／宗旨仍没有解释吗？②もっと早く寝ないと，朝早く起きられまい。／不再早点儿睡，早晨就起不来吧。③鳴かず飛ばずの人間／默默无闻的人。

2) 用ナイ、アリマセン（时枝诚记仍看作助动词）构成的否定形容词和形容动词。之前可插入副助词等。另外デナイ也是这样构成的，可看作独立的助动词。

①今はちっとも楽しくない。／现在一点儿也没有意思。②サンゴは植物ではない。／珊瑚不是植物。③現代の女性は淑やかではありません。／现代的女性缺少文静。④仕事もなく，家庭もない。／既没有工作，也没有家庭。

3) 用与否定内容相呼应的陈述副词和词组表示。有全面否定（如例①、②）和部分否定（如例③、⑤）的两种情况。

①怪我がいっこう良くならない。／伤一点儿也不见好转。②いまだ何ら意志表明が無い。／还没有任何表态。③「今日誰か来た？」「いいえ，別に誰も（来ませんでした）」／“今天有谁来过吗？”“不，没有谁来。”④すべての問題について何一つ解決を見ていない。／所有问题均未见解决。⑤どこにも見つからない。／哪儿也找不到。

4) 用终助词ナ、词组バコソ、モノカ。ナ表示语气强烈的禁止；バコソ是文言残余；モノカ是反语或反诘，接于肯定形式后。

①人を見くびるな。／别小看人！②一個に千円もするって，安いものか。／一个就卖一千元，怎么便宜呢？③なだめようがすかそうが，



動かばこそ。／连哄带劝，就是一动不动。

5) 用感叹词いいえ，いえ，いや等。

2. 句中形式。专门用于句中的形式有ナイデ、ズニ、ナクテ、ナク，这些形式的用法有部分重合，主要区别如下。

1) 同一主体的前后两个动作行为可用ナイデ或ズ（ニ）。ナクテ还可表示并列，但不表示修饰。

①東京へ行かないで（なくて、ずに）京都へ行った。／没到东京而到京都去了。②傘も持たないで（ずに、※なくて）町に出た。／伞也没带就上街去了。

2) 不同主体的前后两个动作行为用ナイデ，如表示原因多用ナクテ，不能用ズ（に）。

①雨が降らないで雪が降った。／没下雨，下了雪。②仕事が順調に行かなくて，困っている。／工作进展得不顺利，正在为难。③誠実でなくて，皆にいやがられる。／因为不诚实，大伙都讨厌他。

3) 后续补助用言クダサイ、ホシイ或直接用来表示希求时只能用ナイデ。

①忘れないでね。／可别忘啦。②授業の時はこそそしないで下さい。／上课时不要做小动作。③私のことをそう呼ばないでほしい。／希望你不要那样称呼我。

4) 后续いる、おく、しまう时可用ナイデ和ズニ，不能用ナクテ。ズニ稍有文章语色彩。参照“いる”等各项。

5) 后续は、も再后续いけない等只能用ナクテ。但后续よい时也用ナイデ。

①よく勉強しなくてはいけない。／非努力学习不可。②反対しなくてはならない理由はない。／没有理由一定要反对。③その時，値段を上げなくてはだめだ。／这时，不涨价就不行。④別に何もあいさつをしなくてもいい。／也不必打什么招呼。⑤私，ここに残らないでもいい？／我不留在这儿也可以吗？

6) 形容词否定中顿形只能用ナクテ。

①去年の夏はあつくなくてよかった。／多亏了去年夏天不热。

## 3. 词汇形式。

1) 利用否定的接头辞。如：非公式、否決、無愛想、未完成。

2) 语法性惯用词组中否定或否定推量的形式很多。但内容上未必是否定，可能是肯定、推测等。如，ちがいない、～するわけにはいかない。～てはかなわない、～かもしれない、～てはいけない（ならない、なるまい）等。

3) 利用形式上是肯定的用言。例如：きらいだ、だめだ、～かねる、反対する、ひかえる、等等。

【参考】 1. 由于否定形式出现于谓语中，往往否定内容不清楚。为明确否定内容要用は。

①午前，学校に行かなかった。／上午没有去学校。②午前には，学校に行かなかった。（否定午前，下午可能去了）／上午是没去学校。③午前，学校には行かなかった。（否定学校，别处可能去了）／上午学校是没有去。

2. 否定语气的强弱。否定形式的结构越复杂其否定语气越弱。如，くもは害虫ではない。（强硬）／蜘蛛不是害虫。くもは害虫かもしれない。（委婉）／蜘蛛也许是害虫。くもは害虫であるとは限らない。（委婉）／蜘蛛未必是害虫。

副词也使否定语气更强烈或更委婉。

必ず害虫ではない。／一定不是害虫。必ずしも害虫ではない。／未必是害虫。

## 否定文 ヒティブン 否定句

指具有否定形式，特别是谓语中有否定助动词ない、ぬ（ん）的句子。

【谓语】谓语有补助动词和一些陈述词时，谓语的否定形式常有两种或更多，产生意义上的差异。

①言わないでいる。（有意识地）／始终不说。②言っていない。（事实）／还没说。③用意しないでおく。（回避）／先不去准备。④用意しておかない。（该做而未做）／事先不准备好。⑤行かないつもりだ。／打算不去。⑥行くつもりはない。／不打算去。⑦来るはずはない。／不可

能来。⑧来ないはずだ。／可能不来。⑨簡単に引き受けないものだ。／不要轻易接受。⑩簡単に引き受けるものではない。(较委婉)／同上。⑪雨は降らないと思う。(确信)／想必不会下雨。⑫雨は降るとは思われない。(推测)／看样子不会下雨。⑬あまりおいしくなさそうだ。(推测)／好象不太好吃似的。⑭あまりおいしそうじゃない。(确信。有可能失礼)／不怎么象好吃的样。⑮彼は来ないと言った。／他说不来。⑯彼は来るとは言わなかった。／他没说来。

【连用修饰语】句中出现一个以上连用修饰成分时,谓语的否定对象有时不明确,产生歧义。如“あした彼は研究室に来ない／明天他不到研究室来”一句,可以是“あした”的否定(暗示“あさって”等),也可以是“研究室に”的否定(暗示“図書館”等),等等。这可以通过句子重音(口语)、标点(书面语)、提示助词、副词、副助词、语序等手段来加以区别。

“あした”的否定:明日,彼は研究室に来ない。／明天,他不到研究室来。

“研究室に”的否定:明日,彼は研究室には来ない。／同上。

否定的范围也会因ように或ほどの出现而不明确。如“君は彼のように勉強家ではない”一句,如只是否定“君”一个人,可改成:

①君は彼のようには勉強家ではない。／你不如他那么用功。或:②君は彼と違って不勉強だ。／和他不同,你不用功。

如否定的是“君”和“彼”两个人,可说成:

①君も彼のように勉強家でない。／你也和他一样不用功。或:②彼は不勉強だが,君も同じだ。／他不用功,你也一样。

阅读时遇见“～のように”或“ほど～ない”式的句子,就要通过上下文从两种可能性中取一种。

由テ、ナガラ、ツツ构成的伴随性的连用修饰语通常和后续谓语一起被否定,而这三个词的其他用法(逆接、原因等)以及其接续助词连系的成分通常不被谓语后的否定词语所否定。对比如下:

①食べながら歩かないよ。／不要边吃边走啊。②知っているが教えない。／明明知道就是不告诉。③泊って来ないよ。／不要在外边住啊。④用事があつて来ない。／因有事而不来。

⇒ない、否定表現、逆応

否定法 ヒテイホウ 否定法

指未然形用于后续ない、ぬ、まい（五段动词除外）来表示否定的用法。形容词的否定形式属连用法，为了方便可看作否定法。

①まだ読まない。／还没读。②十万円だったら高くない。／若是十万日元，不贵。

未然形后续使役、被动的用法无名称，可称使役法、被动法。

ひとつ（一つ） 〈陈述副词〉

1. 和请求、愿望、命令、劝诱的形式呼应，表示试作某种行为。

①どうぞ一つご感想を述べて下さい。／请您发表一下自己的看法。  
②僕と何か押し問答する暇に，ひとつ，お八重の身について君の考えを聞かされたまえ。／有和我斗嘴的工夫，你讲一讲你关于八重的处境的想法。③ひとつやってみようか。／我（们）来试一试。

2. 作接尾词用，以对有关事项的否定来强调某事实的纯粹性。

①空は雲一つなく淡い藍色に澄み渡っています。／天空万里无云，放眼望去，一片淡蓝。②床の上にはちり一つない。／地板上连点儿灰尘都没有。③町は寝静まって燈一つ見えない。／街上万籁俱寂，连丝光亮也看不到。④簡単な挨拶一つ言えなかったのです。／连句简单的问候都没能说出。⑤僕は英語の単語一つも理解することができない。／我连个英语词都弄不懂。

△和さえ等呼应，也用于肯定形式。

①食べものものをどを通らなくなりました。息一つするのさえ苦しくなりました。／东西也吃不下，就连呼吸都困难起来了。

ひとり（一人） 〈陈述副词〉

与否定形式呼应，表示范围不限于某一个人、物。

①その真似ができるのは一人圭一郎ばかりではない。／会那一手的不只是圭一郎自己。②私はひとり天主閣にとどまらず，松江の市内に散在する神社や梵刹を愛好する。／不仅是天主阁，我还喜欢散在于松江市内的神社和佛寺。

△ひとりとして等于だれひとりとして，参見“なにひとつ”项。



①知事が保守から革新へ一八〇度転換しても、知事のスタッフである官僚群はひとりとして変わらない。／即使知事从保守到革新来个一百八十度大转弯，作为知事的班底的一群官僚并没有什么变化。

### 卑罵語 ヒバゴ 卑骂语

待遇表达法之一。指说者轻蔑、辱骂听者或话题人物、事物的粗鲁的语言形式。亦称“罵詈語、輕蔑語、輕卑語、輕侮語、卑称、罵称、輕視表現、蔑視表現”等。如“このどあほうが、何を言いくさる。／这个混帐，胡说些什么！”

松下大三郎、时枝诚记等把卑骂语看作待遇表达法的一种，后来待遇表达法研究趋向于只研究敬语。

卑骂语总的来说是语言的社会污染现象，它的使用常涉及到使用者的品格，因此社会流通性弱，不可能也不应该得到发展。卑骂语在词汇方面不成系统，只有少量的固定形式。主要有：

1. 名词性的：～野郎（この～）、～いつ（こいつ）、～め（ふくろ～、べらぼう～）、～狂（野球～、戦争～）、～風情（学生～、田舎者～）、ど～（～阿呆、～素人、～百姓）、ボロ～（～学校、～車、～家）。其他再如：ばかやろう、ちくしょう、てめえ、おのれ、ざこ、じゃり、鬼、お多福、けだもの、ひよっ子、ペテン師、うそつき、ほら吹き。

2. 动词性的：～やがる（降り～、立ち～、死に～）、～くさる（泣き～、しゃべり～）、おっ（～ぴろげる、～ぱじまる）、ひん（～まげる、～むく）、ぶっ（ぶん）（～たまげる、～なぐる）。其他如：抜かす、仕出かす。

### 比喻比況の表現 ヒユヒキョウノヒョウゲン 比喻比况表达法

【意义】在表达一个事物（本体）时，为了生动，易于理解，可以用另一个事物（喻体）来类比，这就是比喻比况的表达法。日语亦称“比喻法”。根据比喻比较的方式的不同，可作如下分类（主要据中村明）。

1. 直喻或明喻，指本体（本義）和喻体（喻義）用ようだ等词语连结的比喻法。如：肌が雪のように白い。／皮肤象雪一样白。

2. 隐喻或暗喻，指本体和喻体直连的比喻法。如：肌が雪だ。／皮肤雪白。

3. 譬喻或讽喻，不出现本体，而用喻体间接说出本体的比喻法，格言，谚语中常用。如：棚からぼたもち。／房梁上落馅儿饼。

4. 活喻或拟人法，指以人为喻体说明非人本体的比喻法。如：花笑い鳥歌う。／花儿笑，鸟儿唱。

5. 换喻或转喻。用属性代替主（本）体。如：角帽／大学生。ベートーベンを聞く。／听贝多芬。

6. 提喻。用部分代替整（个）体，或用属概念代替种概念。如：小町／美女。花／さくら。

7. 引喻。指引用格言、谚语的方式。如：古人曰く，光陰矢の如し。／古人曰：光阴似箭。

除以上七种外，还可设张喻（夸张）、字喻（文字游戏性质）等。以上形式中，1、2特别常见。1是被比喻事物（本体）、用来比喻的事物（喻体）和表示比喻的词（ようだ、みたいだ等）都出现的形式，并且经常用まるで、あたかも等副词来呼应。2、3中不出现表明比喻的词，但实际上是比喻。试比较（依次为明喻、暗喻、讽喻）：

花のような人／象花一样的美人。花の人／同上。花／美人（如：社交界の花／交际花儿）。

【形式】比喻是文学性、修辞性的，但日常生活中也常使用，尤其是直喻。把直喻作为语法表达法的一种，大致有以下形式。

1. 叙述句后续助动词ようだ、みたいだ、ふうだ、ごとし（文言）。也可以与陈述副词まるで、たとえば、ちょうど、あたかも、さながら（文言）搭配使用以加强语气。其中ふうだ状态性较强，缺少比喻能力。其余表示程度极高。

①（まるで）カラスみたいに真黒だが，一体何の鳥か分らない。／黑的象乌鸦，不知到底是什么鸟。②（あたかも）目の醒めるような美しい風景である。／简直令人瞠目的美丽风景。③その様子は，何か仮想しているふうに思われた。／那神态似乎在假想着什么。④船が水沫を飛ばしながら矢のごとく水面をすべっていく。／船溅起水沫，箭也般地在水面上划过。

2. 用副助词ほど、ぐらい和格助词と等表示程度性的比喻。

①あごが落ちるほどおいしかった。／好吃极了。②聞こえないほど小さい声／小得几乎听不见的声音。③雪と散る。／（花瓣儿，树叶）雪片般落下。

3. 用后缀よろしく、ばり等构成副词性或连体修饰性的词组。よろしく有贬义。

①だて男よろしくベレー帽を被っている。／戴着贝雷帽儿，活象个花花公子。②この版画のこのあたりは北斎ばりの迫力も見られ，立派な作品だ。／这幅版画的这个部分表现出奔放的北斋风格，是一幅很好的作品。

4. 用由实义动词构成的比喻性词组。

①私を美しい花にたとえるなら，あんたは勤勉な働きバチと言える。／如果把我比成美丽的花儿，你可以说是勤劳的工蜂。②その集いの盛況と言ったら，ちょうどお祭りさわぎといったところだった。／要说那集会的盛况，简直是节日的狂欢。③リンゴを思わせる子供の顔／孩子的如同苹果般的脸。

【用法】中村明对于本体和喻体的连接词语的意义作了如下归纳：

第1类，类似。所属词语有：よう、みたい、そっくり。

第2类，相同。所属词语有：と同じ、と同様、に異ならない。

第3类，比较。所属词语有：に似る、に近い、に劣らない。

第4类，混同。所属词语有：に匹敵する、より、ほど、かと思う、かと疑う。

第5类，联想（連想）。所属词语有を思わせる、を思い起こさせる、をほうふつさせる。

**表記法** ヒョウキホウ 标写法、表記法

【解释】指用文字、符号、记号等视觉方式表示语言的方法。如果把重点放在文字上，则称“用字法”。规范的标写法称“正書法”（正字法）。

用视觉方式表示语言的行为称“表記”或“表記行為”。标写法就是分析表記行为而得出的规律。但标写法与词法、句法不同，有人为规定的性质。表面看来，标写法与语言本身无关。如，假名用法、送假名用法等根据需要可以加以改变，但这种改变无法完全摆脱语言本身的内在规律，

它作为文字序列和符号系统，必须和语义、语音等有一定的对应关系。

【标写符号】表记手段有与语音对应的文字和与语义对应的符号。文字有：汉字、平假名、片假名、罗马字、阿拉伯数字。符号有：各种辅助符号（长音符号“ー”），标点符号（逗号“，”）等。

同时，空白（每段落开始空一格）、字体、书写的方向等也可看作辅助性的标写手段。

【标写法内容】按文章、句子、词、文字等语言单位分述如下。

1. 有关文章的标写问题有：文字体系的选择，如汉字假名混用文章、罗马字文章。使用文字的范围，如常用汉字的范围。文字的大小和布局，如，标题、副标题、落款、年月日的写法、格式、空白、改行、书写方向等。

2. 有关句子的有：标点符号用法、表意符号用法、连写法，总称“句読法”。

3. 有关词的有：汉字与假名的分工、平假名与片假名的分工，特殊类别的词，如人名、地名的写法等。

4. 有关文字的有：字体、书体、笔顺、长音与促音的写法等。

⇒正書法、仮名づかい、分ち書き、句読点、補助符号、くりかえし符号

### 表現文法 ヒョウゲンブンポウ 表达语法

实用语法或应用语法之一。指以正确表达为目的而编写的语法。即充分考虑学习者说和写的实际需要的语法。和“読解文法”相对。近来有人称为“話し手の文法”（反之是“聞き手の文法”）。

表达语法常以教学语法或其他特定的语法为基础，重新组织自己的体系。表达语法原是为写作文言文章而创立的。到了50年代初，出现了现代日语的表达语法。「国語教育事典」指出：表达语法特别重视日语普遍规律中的有关表达的内容，结合语言生活实际，探讨并阐明为使学习者准确并善于使用日语所需要的规律，以建立口头语的语法和作文法为重要课题。以此为指导思想，50年代后期出现了「日本文法講座」第5卷「表現文法」，60年代中期出现了「口語文法講座」第5卷「表現と文法」，70年代出现了广田荣太郎等人的「文章表現辞典」等许多表达语法



方面的著作、辞典等。这些著作偏重作文法的建设，以文章论和句论为主要内容，兼收文体学、文字学、词汇学的有关内容。

日本许多人对学生表达能力的下降不满，迫切希望尽快建立完整的表达语法体系，但普遍公认的体系尚未建立起来。现将上述《口语语法讲座》第5卷《表达和语法》一书的目录介绍如下。

表达和语法 口语和书面语言的语法特征 误用语法 口语的现状和说话所需要的语法 文章表达的现状和作文所需要的语法 作文和语法 假名用法和送假名的语法 句读法 各种符号的语法 推理和语法 今后的敬语表达法

有些人学习外语时只注意读解文章时所需要的语法知识而不重视甚至完全忽略表达所需要的语法知识。这不仅影响用外语正确表达，而且由于缺少积极的实践，无法检验所学知识正确与否，同时所学知识难以牢记。这只能算是完成了学习过程的一半。实践证明，表达以理解为基础，且比理解难得多。日本从40年代起，在对外国人的日语教育中重视表达方法的教学，这是值得借鉴的。

#### 表現法 ヒョウゲンホウ 表达法

正如时枝诚记指出的，语言是思想的表达过程和理解过程。以往的语法只重视理解过程，因此只有说明语法、读解语法等，而这只是语言或语法的一个侧面。有关语言的另一个侧面即表达过程的语法就是表达语法。但是目前的表达语法侧重于作文法，作为语法体系的表达语法并没有真正建立起来，我们可以把它暂称为“表现法”（表达法）。

理解过程是在语言材料的已有基础上进行的，不容许有不同的理解和错误的理解，就是说必须服从于语言材料，这就是理解过程的单一性。表达过程则不同，它是根据说者或作者当时当地的环境、表达意图等多方面因素进行的，因此同一个事实可以用许多不同的语言形式来表达。比如，要求对方做某件事的语言形式，根据说者与对方、第三方的长幼尊卑关系、说者的心情，可强硬、可委婉、可中立。

表达法首先要确立表达方式的类型。按理说，有多少种表达意图就有多少种表达方式，但实际上不可能也不必要做过细的分类，所以表达方式类型的确立不免因人而异。我们只能根据把日语作为外语来学习的实际

需要和日语本身的特点做相应的分类。如：否定表达法、比较表达法等。有的表达法正好和公认的语法范畴一致，如，数的表达法（数）<sup>すう</sup>、时间表达法（時）<sup>とき</sup>等。

其次，我们要进一步研究每种表达法的具体表达形式。确立表达形式的句子类型和结构特点，比较各种形式在语义和语用方面的区别，这对已学知识的综合运用以及表达的多样化、熟练化、系统化有积极作用。

另外，使用某种表达类型或句型时的礼节、习惯性动作、表情等等也构成表达法的内容。寒暄语、打电话、作介绍等尤其如此。

表达法目前尚无具体研究。表达比理解要复杂得多，随机性也大得多，因此表达法研究有一定难度。尽管如此，建立真正实用的表达语法体系，进行与之有关的研究，无疑将成为今后语法界的重要课题。

#### 標準語 ヒョウジュンゴ 标准语

指在语音、词汇、语法各方面能够成为一种语言的标准理想的语言系统。一个地区有一个地区的方言，通常国家的政治、文化、经济的中心地区的方言成为全国共通语，如江户时代之前的京都语和之后的东京语。现在很多人把东京语说成是标准语，如神保格认为标准语是东京“山之手”地区有教养的人们所使用的语言。其实标准语和共通语是不同的概念。标准语必须以作为自然语言的共同语作基础语言，同时要去掉纯方言成分和重复因素。如：行く（いく、ゆく），适当吸收各方面乃至外语中的积极因素。日语以东京语为全国共通语，但还没有发展为标准语，把标准语当作共通语的概念来用，就是因为这个原因。

标准语是一个国家一个民族的代表语言和规范语言，必须加以提炼，由国家推广。日本还没有正式提出建立标准语的问题（虽然有个别人提出）。但是常用汉字表的制定、学校语法的建立、日本广播协会播音员的发音、东京语中的俗语的排除（おっこちる→落ちる）等各项措施，实际上都为标准语的建立创造了具体条件。正因为如此，日本学校语文教育和我国的日语教学都必须以此为标准。

#### ひょっと 〈陈述副词〉

还构成ひょっとして、ひょっとすると、ひょっとしたら等形式。

1. ひょっと，表示意外事件。

①ひょっとと十何年ぶりに中学校の時の先生に遇った。／不期然过了十几年遇到了初中时的老师。

2. 主要以ひょっとして形式和假定形式呼应，表示以意外事件的发生为假定条件来提出问题或看法。

①ひょっとして戦争が来たらどうする。／万一打起仗来怎么办？②ひょっとして彼の言うのが嘘でなければ大変なことになるな。／如果他说的是真的，可要糟糕啦！

3. 以ひょっとして、ひょっとすると、ひょっとしたら等形式和疑问形式呼应，表示无把握的推测。

①ひょっとしたらこんな山奥だがら，虎もひそんでいるかもしれない。／这样的深山，说不定藏着老虎呢。②ひょっとすると先の白い点が飛行機だったかもしれない。／也许刚才的白点是一架飞机。③ひょっとすると私さえ死んでしまえばすべてがうまく解決するのではないだろうか。／也有可能只要我一死，一切都会圆满解决。④ひょっとしたら夢を見ているのではないだろうか。／该不是在做梦吗？⑤ひょっとして君はこういう名の人を知ってませんか。／兴许你知道叫这名字的人吧？

平仮名 ヒラガナ 平假名

【解释】日语文字之一。万叶假名(参见“万葉仮名”项)到了奈良时代末期，变得更加实用，有了一字表示一个音节的倾向，并按汉字的草体简化了笔划和笔划数，其最终结果就是平假名。平假名来自汉字草体，均由曲线构成，字形平滑易读，故称“平假名”。平安初的男人喜欢汉文，而妇女不懂汉文，便用万叶假名的草体来写和歌、日记、书信等，所以平假名又称“女手（おんなで）”。古代日本妇女是平假名的创造者和主要使用者。

万叶假名多用许多汉字来表示相同的音节，所以由此产生了许多读音相同的假名，称变体假名（变体仮名）。如，ア音节除用来自“安”的“あ”表示外，还有分别来自“阿、爱、恶”的草体。明治33年的《小学校令施行规则》作了现在这样的统一规定。

【字源】

安あ 以い 宇う 衣え 於お

加か	幾き	久く	計け	己こ
左さ	之し	寸す	世せ	曾そ
太た	知ち	川つ	天て	止と
奈な	仁に	奴ぬ	祢ね	乃の
波は	比ひ	不ふ	部へ	保ほ
末ま	美み	武む	女め	毛も
也や		由ゆ		与よ
良ら	利り	留る	礼れ	呂ろ
和わ	為る		恵ゑ	遠を

無ん

在书写时，平假名易与其原字相混淆，要注意区别。如：不／ふ、世／せ、毛／も、礼／れ、奴／ぬ、加／か。另外，还有假名间易于混淆的：き／ま、さ／ち、ぬ／め等。易和片假名混淆的有：り／リ、へ／ヘ、ヤ／や等。

【用法】平假名目前主要用来书写助词助动词、用言活用词尾等，和表意的汉字结合起来构成日语独特的标写法。由于限制汉字，用平假名来代表一部分汉字词，这样平假名的使用范围就比古代扩大了。

#### ひるがえって（翻って）

〈接续词〉表示把话题转到相对照的、相反的问题上。近于はんめん、いっぽう。用于文章或讲演，连接句子。

①こうして工業は進んだ。ひるがえって、今の自然の状態はどうかと見るに……／就这样，工业发展了。反过来看看 如今的自然 状况，……②アメリカにおける都市公害問題はおおよそ以上の通りである。ひるがえって、我が国の現状はどうであろうか。／美国的城市公害问题大致如上。回过头来看，我国（日本）的现状如何呢？

〈副词〉表示观察事物的另一角度。

①ひるがえって考えると、この件についてはまた別の問題があることに気づく。／反过来一想，发现这件事情上还有别的问题。

#### 品詞 ヒンシ 词类

为了语法上的叙述和应用，把词划分成若干种类别，这些类别就是词



类。一个词一定属于某个词类，个别词同时属于两个以上的词类，称跨类或兼类。

词类的划分不仅是语法研究的出发点，也是语法研究的结果。不同的出发点导致不同的分类结果。目前一般分为以下12类：名词、代名词、数词、动词、形容词、形容动词、连体词、副词、接续词、感叹词、助词、助动词。其中，名词、形容词、动词、助词等在各家学说中出入不大，其余词类则众说纷纭。在教学语法中，代名词和数词是名词的次类（下位分類）；时枝语法不设形容动词，将其看作名词和“だ”的结合；山田语法的副词就是副用言，其中包括了接续词、感叹词，还把助动词看成动词的复词尾（複語尾）；时枝语法把せる、れる、たい等有客观内容的助动词看作接尾词。

日语的词类划分逐渐形成一套传统，即：首先分出比词类更高的种类（上位分類），然后继续划分，才到达词类。至于词类再分成若干种次类，这在各国语法中都是常见的。以桥本的分类为例，助词是一种词类，它既是附属词的一种“下位分類”，又是格助词、副助词等的“上位分類”。

⇒品詞分類、品詞の転成

**品詞の転成** ヒンシノテンセイ 词类转换

属于某个词类的词，其词性不是一成不变的，常可通过一些形式转化为别的词类。如，“起る”是动词，连用形“起り”可转为名词，形容词“高い”，词干加接尾辞“さ”就转为名词“高さ”，名词“学生”加接尾辞“らしい”就相当于形容词。以上基本上是共时的转化，即在现在这个阶段是可以类推的，是有生产性的。名词“サボ”转化成动词“サボる”，动词“うたがう”转成形容词“うたがわしい”、名词“結局”转成副词“結局”等也是词类转化，这些是历时的现象，不能类推，只能作为独立的词记住。副词、接续词、连体词、感叹词等后发展起来的词类大都是由别的词类转成的。当然，这些都属于历时的转化。

词类转化的认定要满足几个条件。其一，词义完全或部分地起变化。如：“父はつりが好きだ。／爸爸喜欢钓鱼中的“つり”不再表示动作行为，它表示一种娱乐，属于事物，所以它已由动词“つる”转为名词。一

些名词（“昔”等）、数词、形容词、形容动词的连用形等可以和副词起相同的作用，但由于意义上没有变化，所以仍具有原来的词性。其二，必须改变用法。如上述“つり”能作主语，它也可以作宾语等，所以说它变成了名词。而“父が鮭をつりに行く。／爸爸去钓鲑鱼”中的“つり”带有主、宾语，具有动词的全部用法，所以它仍是动词（连用形）。其三，要有稳定性。“行きたいなら行くがいい。／要去去就是了”中的“行く”虽然作主语，但这是临时的准体言用法，它仍旧是动词。

以上是大致标准，难以下定论的情况也很多，如日语名词“時”是否具有接续助词词性等问题。

【种类】主要有以下转换种类。

1. 转成名词。

1) 来自动词连用形和终止形：泳ぎ、流れ、おろし、酔っぱらい、はかり、通り、はじめ；すもう（すまふ）、進（すすむ）（人名）。

2) 来自形容词连用形、词干加接尾辞、终止形：遠く、多く、近く；暖かみ、寒さ；すし、清（きよし）（人名）。

3) 形容动词词干接接尾辞：上品さ、真剣み。

4) 由感叹词转成：あわれ。

2. 转成代词。来自名词：僕，君。

3. 转成动词。

1) 名词加接尾辞之类：孕む、力む、けちる、下卑（げび）る。

2) 形容词、形容动词加接尾辞：寒がる、重宝がる。

3) 逆序派生（日：逆生）：りょうる（←料理）。

4. 转成副词。

1) 来自名词：なに、なぜ、つゆ、ゆめ、事実。

2) 来自动词连用形等：くりかえし、始めて、例えば。

5. 转成接续词。

1) 来自副词：なお、また、さらに。

2) 来自动词：及び、並びに。

3) 来自助词助动词之类：が、けれども、と、で、でも。

6. 转成感叹词。

1) 来自名词: 畜生、糞っ。

2) 来自代词: どれ、それはそれは。

3) 来自形容词: よし。

4) 来自副词: ちょっと、なるほど。

7. 转成形容词。

1) 来自名词: 赤い、四角い、黄色い。

2) 来自动词: のぞましい、いそがしい、たのもしい。

3) 名词等加接尾辞: 男っぽい、わざとらしい。

8. 转成形容词动词。主要是汉源词接“だ”，占形容词动词的大部分。

另外，形容词词干、动词连用形接某些接尾辞: 怒りがちだ、怪しげだ。

9. 连体词由各类词转成: 大した、この（“こ”原是名词）、あらゆる。

#### 品詞分類 ヒンシブンルイ 词类划分

词汇可以出于不同的目的、根据不同的标准来做种种划分。为使语法概念和规则科学化、系统化，主要根据词的语法特征来进行的分类，就是词类划分。

【划分的标准】词类划分的标准有三。

1. 意义。这里指抽象的语法意义。“山、川、水”的词汇意义各不相同，但都是事物的名称，我们说它们语法意义相同，所以都属于同一词类即名词。同样，“に、が、を”之类都表示体言与用言之间的格关系，语法意义也相同，都是（格）助词。

但是，ない和ある、近い和似る的语法意义是大致相同的，都表示性质、状态，应归入形容词。考虑到形容词和动词的普遍的形态特征，我们把ない和ちかい列入形容词，另外两个词列入动词。可见，意义标准不是绝对的、唯一的。

2. 形态。首先，有无活用是一条重要标准。用言有活用，体言无活用。另外，在用言中，有哪种活用也是很重要的，如，终止形是“イ”的为形容词，终止形在ウ段的是动词。

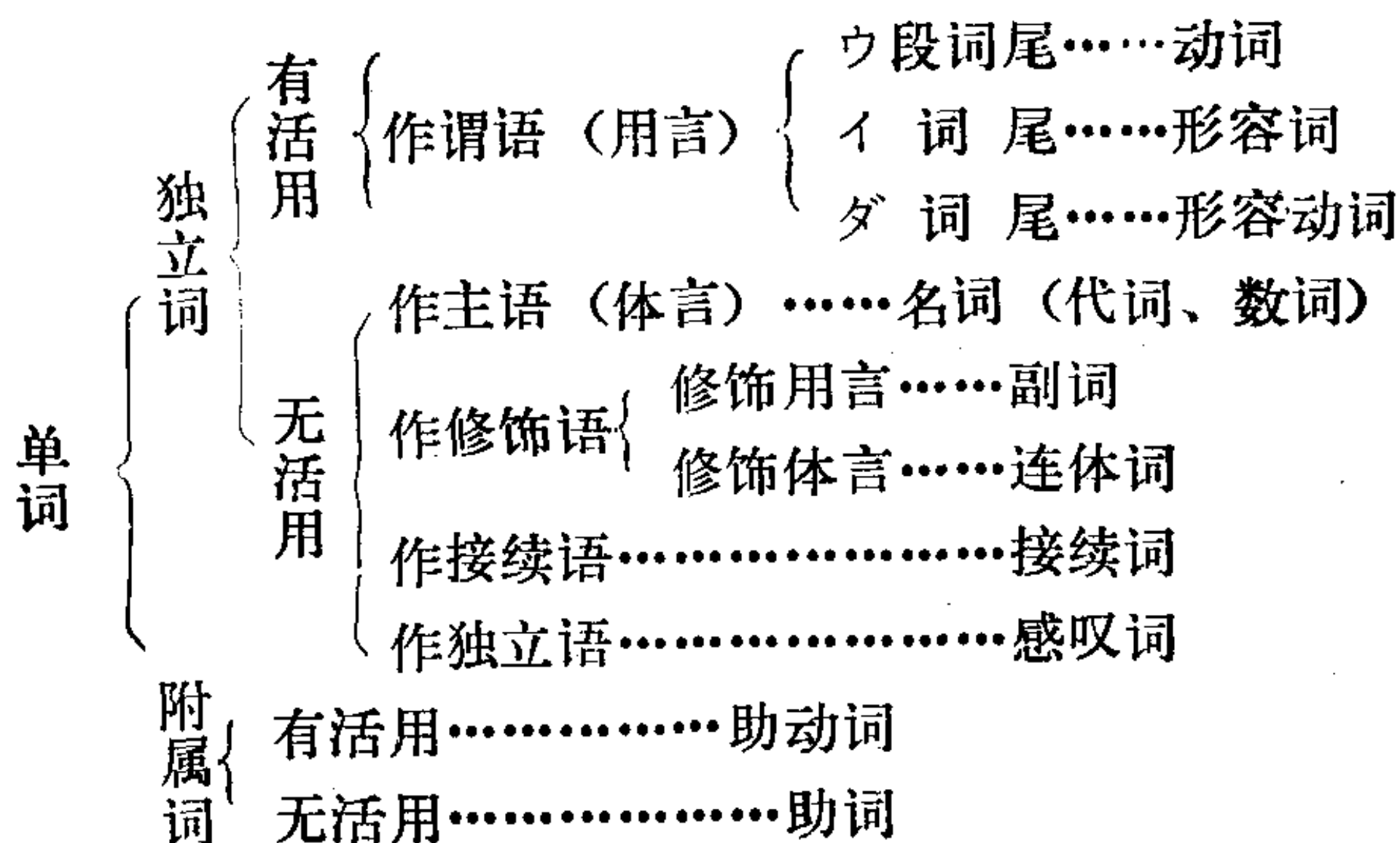
但是，无活用的词要靠其他标准来分类。

3. 功能。指词在句中的作用、地位或在句节中的作用、地位，主要

表现在词与词的关系（格的关系）上。如：一般地说，名词能后续主格助词作主语，作谓语要和“だ”结合成用言性质的句节；动词等用言经常作谓语、定语；至于连体词、副词则只能作句子的修饰成分；等等。

以上三条标准中，3是最基本的，另两个是前提条件和重要依据。从以上也可看到，单独一个标准是不能贯彻到底的，所以通常采用综合标准。

【词类划分表】词类划分法几经变革，现在多以桥本进吉的划分法为依据，学校语法也是如此。下面的划分法是比较简便的一种。



【存在的问题】1. 以往的划分方法，独立词的划分比较严密，而附属词只根据有无活用划分完毕，其他的重要语法特征在次类的划分中处理，这就使独立词和附属词的分类标准和阶段失去平衡。

2. 同类词之间有些词语法特征相差太大。如动词“ある”没有未然形、命令形；名词“稀有”很难作主语、宾语；名词内部的代词、数词以及形式体言之间的差别更大。这些只能通过非正式的次类划分来解决。

3. 有些词介于两个词类之间，如“神秘”作为名词和形容动词都不够完整。而有些词又跨两、三类，如“健康”作为名词和形容动词都很完整。

【参考】1. 山田孝雄的划分表（简表）。



单词 {
   
   观念语 {
   
     自用语 {
   
       概念语……体言（名词、代词、数词）
   
       陈述语……用言（动词、形容词、助动词）
   
     副用语……副词（包括接续词、感叹词）
   
   关系词……助词

## 2. 时枝诚记的划分表（简表）

单词 {
   
   词 {
   
     无活用……体言 {
   
       代词
   
       名词
   
     有活用……用言 {
   
       动词
   
       形容词
   
   辞 {
   
     有活用……助动词
   
     无活用…… {
   
       助词
   
       接续词
   
       感叹词

3. 桥本进吉的词类划分表和学校语法的划分表大致相同，略。区别是：用言中不设形容动词，体言作词类名称用，同学校语法的“名词”。另外把连体词称作“副体词”。

4. 学校语法的词类划分表在不同的书中小有区别，参照前面“词类划分表”所示即可。

⇒品詞、品詞の転成。

**品詞論** ヒンシロン 词法

语法的一个部门。另一个部门是句法。词法亦称“語論”、“形態論”。词法主要研究：词类的划分、词的活用和接续、词的造句特征等等。

词是造句的基本材料，它有具体的词义和抽象的语法意义。一般的看法是：词义属于词汇学。如，“人”表示我们这种有社会性的高级动物，这是词汇学问题。而语法意义是词法问题，如说“人”表示事物名称，因而是名词，能做主语，等等。

目前词法的问题点之一在于是否把名词后续格助词等的形式（人、人が、人を）、动词后续助动词的形式仍看作一个词的形态变化。铃木重幸、松下大三郎（主要在名词方面）、山田孝雄（在动词方面）等都是同意上述观点的，因此他们的词法近于印欧语的词法。

## ふ フ

ふうだ (風だ) &lt;助动词&gt;

【活用】形容动词型活用。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ふうだ	ふう	○	ふうだっ ふうに ふうで	ふうだ	ふうな	ふうなら	○	ふうだろ

1. 词干。可作名词充当句子成分。后续格助词。

①思い返してみれば、松川は意識的にそれを隠しているふうがある。／回想起来，有些迹象表明松川在有意识地掩盖这一点。②天気は、随分変わったふうをしているんだね。／天气很反常啊。③野中がぐったり疲れたふうで家に帰ってきた。／野中精疲力竭地回到了家。

2. 连用形。

1) ふうだっ。后续た等。

①彼は行きたくなさそうなふうだった。／他好象不想去。

2) ふうに。修饰后续用言或后续补助成分。

①そんなふうに感じる。／有这样的感觉。②海は煮えたぎっているというふうに見えました。／大海呈现出沸腾般的样子。

3) ふうで。用于中顿或后续补助用言ある、ない等。

①彼はもう直らないことを知らないふうで、見舞の人と楽しそうに話している。／他就象不知道已经不能治愈了，和看望的人愉快地谈着。②義兄の説明を疑わずに、そのまま信用しているふうであった。／好象不怀疑姐夫的话，怎么说就怎么信。

3. 终止形。

1) 单独或后续终助词结句。

①<sup>げす</sup>下司な心理学者はどうせあんなふうだ。／低劣的心理学家本来就是这个样子。

2) 后续接续助词から、が、けれども等。

①書き方はこういうふうだから、よく覚えなさい。／写法就是这样，你记好。

4. 连体形。后续体言、有体言成分的接续助词等。

①ああいうふうなものの見方ですね。／他是那样一种看法啊。②相手が困っているふうなので、私は話をおさえた。／因为对方显得很为难，我把话咽下去了。

△吉田金彦把ふうの也看作一种连体形。如“あんなふうの青年／那样一种青年”。

5. 假定形。不后续ば而单独用时多。

①喜ぶふうなら話してあげよう。／如果是愿意听，就对他说吧。

6. 推量形。后续う表示推测。

①こんなふうだろう。／是这个样子吧？

【接续】接用言及助动词连体形后。

①まるで遊んでばかりいるふうだ。／看来他光是玩。②朗らかなふうだが、病気はすっかり直ったのですか。／看来很舒畅，病痊愈了吗？③つきものでもしたふうに素振があやしい。／他好象着了魔似的，举止奇怪。

△常接特殊形容动词こんなだ系列词的词干后。见活用例。

△ふうだ的词干ふう现在仍作名词使用，且有几个意义。直接接名词后的ふう一般看作接尾辞。

①学者風の所がある。／有几分学者风度。②大臣風に振舞う。／举止俨然是个大臣。③西洋風の建物／西式建筑。

【意义】1. 表示说话人所得到的印象。

①議長にでもなったふうな口ぶりだ。／就象当上了主席似的口吻。②苦しくてたまらないといったふうな顔付きだった。／是一种表现出痛苦不堪的表情。③どこの何さまってふうに、横着な態度だった。／就象谁家的什么大老爷似的，态度蛮横。

2. 表示例举。

①それは、何々辞典ってふうなもんにもろくすっぽ出ていないん

だよ。／这个在那些数得着的辞典里面也是不容易查到的啊。②一休みして軽い食事ができる，といったふうな店ありませんか。／有没有能够休息一会儿吃点便餐的店铺？

### 3. 表示引用不确实的事项、笼统的内容。

①皆は「環境を守る会」を作るふうなことを相談していた。／大家商量了一下组织“环境保护会”之类的事。②どんなふうな話があったか皆に言ってみなさい。／大体上有哪些内容，你向大家说一说。③見たふうなことは言わないで黙っている。／你住嘴，好象你真看到了似的！

【参考】ふうだ是名词“風”<sup>ふう</sup>和助动词だ构成的，已被一些书籍认定为独立的样态助动词。如不视为助动词，可看作形式名词。

ふうです（風です） 〈助动词〉

【活用】特殊型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ふうです	○	ふうでし	ふうです	(ふうです)	○	○	ふうでしょ

#### 1. 连用形。后续た、て等。

①彼の口ぶりからすれば，えらくなつたふうでした。／从他的口气上看，好象是了不起了。②二人は何かこそこそするふうでして，ぼくは部屋には入りませんでした。／两个人似乎在悄悄议论什么，我没有进房间。

#### 2. 终止形。

##### 1) 单独或后续终助词结句。

①まるで大家のお嬢さんといったふうです。／简直象个大家闺秀似的。

##### 2) 后续接续助词。

①いつも無断欠席をしてもかまわないふうですが，一体どういふことでしょう。／好象经常无故旷课也没人管，到底是怎么回事啊？

#### 3. 连体形。只偶尔用来后续体言性终助词もの、の等。



#### 4. 推量形。后续う表示推测。

①何もかも知っているふうでしょう。／看样子他什么都知道了吧。

【接续】同ふうだ。

【意义】ふうだ的敬体形式。

##### 1. 表示说者从其得到的印象。

①何か心配事があるらしく、いらいらしているふうでした。／好象有什么担心的事，看样子很焦急。②あの方は大会社の社長といったふうですね。／那一位象是大公司的经理似的。

##### 2. 表示例举或大致的引用。

①つまらない演説でした。ほら，こんなふうです。「……」／演说空洞无物。听，就是这样：……。②彼らは入れかわり立ちかわり手伝いに来てくれます。例えば，野中が今日なら川崎はあした必ず来る，といったふうです。／他们轮流来帮助我。比如说就是这样：假如野中今天，川崎明天肯定来。

#### 不完全形容詞 フカンゼンケイヨウシ 不完全形容词

把“つまらない、くだらない、たまらない”等由动词未然形和否定助动词“ない”构成的活用词组称为不完全形容词。

【性质】兼有形容词和动词双重属性。形容词属性表现在：按形容词方式活用，并有后续“さ”构成名词、后续样态助动词“そうだ”的用法，可插入接中辞さ。例如：つまらなさ、くだらなさ、たまらなさ；つまらな（さ）そうだ、くだらな（さ）そうだ、たまらな（さ）そうだ。

动词属性表现为：敬语形式除可按形容词说成つまらないです外，还可按动词说成つまりません。当构成反语形式时也按动词变化，如：負けてたまるものか。／输了怎么成？

所属词还有：はじまらない、にえきらない、はかりしれない、ものたらない。

【参考】 1. “名词＋ない”型复合形容词也具有不完全形容词的性质。试看下列变化。以“情けない”为例：なさけない、なさけなさ、なさけないです、なさけなく、なさけなさそうだ（以上为形容词属性）；な

さけあるものか、なさけありません（以上动词属性）。这类词通常不能用“～なくない”形式。

所属词还有：仕方ない、たよりない、かぎりない、かわりない、だらしがない、なにげない、このうえない和とんでもない、みっともない等。

2. 松尾捨治郎曾把“なり、たり、如し”称为不完全形容词。也有人把“少し、同じ”称为不完全形容词。

### 複合語 フクゴウゴ 复合词

由两个以上词根构成的词称为复合词，为合成词的一种。词素之间的关系主要有以下类型。

#### 1. 修饰和被修饰关系。

1) 名词。(1)主谓（或谓主）关系。例：値あがり、地盤沈下；流れ星。(2)动宾（或相反）关系。例：草取り、工場見学；つみ木、買い物。(3)一项是另一项的手段、工具、材料。例：砂遊び、ラジオ放送、ゴム風船；ぬい針。(4)前项是后项的原因。例：霜やけ、くつずれ、ガス中毒。(5)前项是后项的场所、位置。例：下着、前歯、出口。(6)一项是另一项的时间。例：夏着、秋風、昼寝；晴れ間。(7)前项是后项的性质、范围。例：最新流行、父親、女子学生。(8)前项是后项的连体修饰语。例：茶の間、絵の具、いいかげん、行く末。(9)一项是另一项的比喻。例：枕木、ぬか雨；口車、人波、火花。(10)由三个词素构成的词，通常是前项依次修饰后项。例：鳥打帽子、箱入り娘。

2) 用言。(1)前项是后项的主语。例：気味悪い、気ぜわしい、気の毒だ、勘定高い。(2)前项是后项的连用修饰语。例：気取る、うらがえす、気になる、びくびくする、ただっぴろい。

#### 2. 对等关系。

1) 名词。例：朝晩、草木、真偽、読み書き、浮き沈み。

△反义的形容（动）词可构成名词，有的已固定成词。如よしあし、すききらい。现代日语的反义形容词可构成临时性名词，生产性很强。如早い遅い、多い少ない、高い低い、長い短い。例：うめの開花は、所によ

り、はいおそいの差が大きい。／在不同的地方，开梅花早晚的差别很大。

△对等关系的复合词后项不发生浊化。有些词恰好和发生浊化的修饰关系形成对比。当然，另外场合修饰关系亦并非一定浊化。例：山川：やまかわ、やまがわ；尾鰭：おひれ、おびれ。

2) 用言。例：細長い、暑苦しい、受けとる、はぐくみそだてる。

3. 重复关系（疊語）。

1) 名词。主要表示个数全称或起强意的作用。例：家々、国々；むかしむかし、のちのち。

2) 副词。表示伴随动作和各种状态。例：泣き泣き、読み読み、生き生き（と）、冷え冷え（と）；見る見る、ゆくゆく、泣く泣く；青々（と）、近々、にこにこ、こわごわ。

△除动作动词的连用形（例1、2）的重复形式外，均无生产性，不能类推。

⇒語構成

**複合動詞** フクゴウドウシ 复合动词

指两个单纯动词复合而成的动词。按前后顺序分别称作前项动词和后项动词，前项动词通常用连用形。根据前后两项动词的实意性程度的不同，复合动词可分为以下3种。

1. 前实后虚。即：前项比后项实意性强，后项说明前项的样态、方向、结果等。

泣きやむ、通りすぎる、考え及ぶ、たたきつぶす（以上后项为样态或结果）。もえ広がる、だきあげる、話し合う、立ちあがる（以上后项为方向）。ちちみあがる、ほめちぎる、困りきる、弱りはてる、恐れ入る（以上后项起强意作用）。

这种情况下整个复合词的自他性由前项动词决定。

①本を読み始める。(他+他→他)／开始读书。②花子がまた泣き始めた。(自+他→自)／花子又哭起来了。③石炭を買いこむ。(他+自→他)／大量买进煤碳。④男にほれこむ。(自+自→自)／倾心于一个男子。

这类词的后项属于广义的接尾词，和其他动词的结合能力很强。如“書く、読む、泣く、作る”四个词和“始める、続ける、終る、掛ける”四个词中的随便各一个都能组成复合词。

2. 前虚后实。和1相反，前项表示强意、样态，起接头词作用，后项为实意动词。

ふり立てる、ひき立てる、さし迫る、うちこむ、おし駈ける（以上前项为强意）。ぶち壊す、かき乱す、引き続く、おし進める、もて遊ぶ（以上为强意兼有样态）。

这类动词的自他性由后项动词决定。

- ①赤色のビルが引き立つ。（他＋自→自）／红色的楼特别引人注目。  
 ②赤色がビルを一段と引き立てる。（他＋他→他）／红色墙使楼更引人注目。  
 ③ボールが跳ね起きない。（自＋自→自）／球蹦不起来。  
 ④ボールを跳ね返す。（自＋他→他）／把球踢回来。

△“取り付ける”作“安装”讲时，前项是接头词，作“从固定地点买东西、常买”讲时，后项是接尾词。此类词不多。

3. 前后两项均为实意动词。两项是类义词或近义词的都属这一类。

養い育てる、切り刻む、突き刺す、進み出る、冀う（义音同乞い願う）

这类词的前后项及整体的自他性是一致的。如，進み出る（自＋自→自），養い立てる（他＋他→他）。

#### 複語尾 フクゴビ 复词尾

【性质】山田语法术语。动词活用形除终止形、命令形外，无陈述作用。为了表达复杂的内容，必须在原有活用形词尾后，再加上一些特殊的词尾，这种特殊词尾便是“複語尾”，相当于接续于动词各种活用形后的助动词。如，れる、せる、たい、ない、た、う、らしい等。

山田孝雄另把接于体言后的だ、です等看作是存在词，与复词尾加以区别。

复词尾不是独立词，而是用言的一部分。它总是上接动词活用形，复合成一词，并且两者结合紧密，不得夹入其他词。这一点与英文和中文中的助动词性质很不相同。山田孝雄称复词尾的原因也在于此。



后来，许多语法学家都指出了复词尾和接尾词之间的类似性。桥本进吉虽然没有称作复词尾或接尾词，但也指出过这些助动词和其他助动词的区别点。时枝诚记索性把放在词尾中的れる、せる、たい等看作是接尾词，把助动词限制在有关判断（だ、ない、た、う等）和敬语的（ます、です等）范围之内。

【种类】按语法功能作了如下分类。

有关属性的表现方法的。

表示状态性间接作用的：れる、られる

表示发动性间接作用的：せる、させる

有关统觉的运用方面的。

表示希望的：たい

有关陈述方式的。

否定	{	断言：ない、ぬ
		推量：まい
肯定	{	确定性陈述：た
		预想：よう、う
		不确定陈述 { 推测：らしい

副詞 フクシ 副词

【性质】词类之一，指无活用，能单独修饰后续用言或相当于用言的词句的一类词。有以下主要特征。

1. 语法功能单一，原则上只作连用修饰成分。没有用言那样的活用和体言那样的格的用法。

2. 一般不能受其他词的修饰，但可以受程度副词类的修饰。例：  
もう少しははっきり説明する。／解释得更清楚一点。

3. 部分副词兼具某种体言、用言或接续词性质。有些副词可后续“の”做定语（まさかの時／万一情况下），也可做谓语（～だ。如：そうだ），这些是体言性质。程度副词可修饰体言（すぐ前／跟着），注释副词类可修饰全句（もちろん，君だけの問題ではない／当然，不是你一个人的错误），这些是用言或接续词性质。

【区别】 1. 副词与名词的区别。表示时间、数量的名词可与副词一样直接作连用修饰成分。如：欠席者も少数ある。／也有少数缺席者。あした来るよ。／我明天来。本を三冊買った。／买了三本书。由于这样的名词仍可以作主语等其他成分，所以仍是名词，而不是副词。可看作名词的副词用法。

2. 副词与形容（动）词连用形的区别。～く、～に的形式可以和副词一样做连用修饰成分。由于这只是其一个活用形的一种用法，所以不看作副词。但也有转化现象，如“よく、非常に”作副词处理。

3. 副词和接续词的区别。副词在于修饰后续用言，如：ぼく、またくるよ。／我还来。接续词在于承前启后的作用，如：また、私も来る。／还有，我也来。

【种类・诸说】山田孝雄的分类较有代表性。即：“词的副词”首先分为属性副词和陈述副词，前者又分为情态副词和程度副词，这样共三种。此外，近来常见的分类还包括限定副词和注释副词，这样共五种。有的副词归属不清。如“ただ”兼有限定副词和程度副词性质，“とても”兼有程度副词和陈述副词性质。

山田孝雄认为副词就是“副用言”，把接续词和感叹词都分别看作副词的一种。松下大三郎把接续词看做副词的一种，却把大部分状态副词归入用言。时枝诚记的副词包括状态、程度两类，而把陈述副词连同后面的呼应形式（けっして～ない）看成被分裂了的一个辞。水谷静夫和铃木一彦根据形态主义理论，认为日语应该取消副词而归到体言或用言中去，另外，铃木重幸扩大了副词的范围，把形容（动）词连用形副词法看作副词。

【参考】早在江户时代，富士谷成章看作是“<sup>かざし</sup>挿頭”的一种，铃木朗称作“コトバニ先立ツテニヲハ”，鹤峰茂申称作“<sup>ちまことば</sup>形容言”。江户时代末期作为adverb的译词出现了“副詞”，明治后得到普及，但定义和所属词各不相同。大槻文彦认为副词是“副”于动词、形容词等之前增添种种意义的一类词，并把其语法作用概括为“修词”，基本上确立了现代副词理论。

副詞形 フクシケイ 副词形

用于副词法的连用形，现代语中只见于形容词和形容动词。动词连用

形无副词形用法，形容词副词形为“～く”形式，与中止形相同，形容动词有专职的副词形形式“～に”。

【用法】修饰后续用言。作用与副词主要作用相同，故名。

①楽しく遊ぶ。／快乐地玩耍。②静かに話す。／静静地说。

**副詞の型** フクシノカタ 副词的词形

由于大多数副词由其他词转化而成，这就造成副词在形态上有各种固定格式。了解这些形态特征，对于掌握副词会有所帮助。主要有如下类型。

1. ト型。“と”有的原为格助词或文言“タリ活用”的连用形。例：わざと、ざっと、きちんと、からりと、堂堂と、さんぜんと、だんだん（と）。

2. ニ型。“に”有的原为格助词或文言“ナリ活用”的连用形。例：すでに、ただちに、めったに、ろくに、すぐ（に）、かなり（に）、あまり（にも）。

3. ク型。有的源于形容词连用形，另外一些从现在来看可算固有的副词。例：よく、ひどく、いさぎよく、まもなく、よぎなく、なるべく；あいにく、せつかく、ようやく、とにかく、ことごとく。

4. テ型（デ型）。大多是由动词连用形后续“て”转成的。例：決して、至って、はじめて、たいして、すすんで。

5. デ型。大多是由体言和格助词“で”构成的。例：皆で、ただで、まるで。

6. 重叠型。又有名词重叠型、动词（连用型、终止型）重叠型、形容词词干重叠型、拟声拟态词等。例：いちいち、たまたま、だんだん、ときどき；追い追い、思い思い、生き生き；ますます、恐る恐る；近々、久々、青々と；ぴりぴり、にこにこ、がやがや；いよいよ、やや、そもそも。

7. モ型。多数为固有的副词，少数为其他词与“も、でも”结合而成。例：とても、あたかも、どうも、もしも、いやしくも、ぜがひでも、くれぐれも、いずれにしても。

8. リ型。多数为拟态词。例：ぽっきり、ぐっすり、きっぱり、

ゆっくり、のんびり、やんわり；やはり、かなり、あまり。

9. ラク型。由文言的用言词干加ラク而成。例：長らく、おそらく、しばらく、須らく。

10. 假定型。例：よしんば、たとえば、ややもすれば、やむをえんば、ねがわくば、たとい（たとえ）；もしかしたら、ひょっとしたら。

11. ズ型。由未然形和“ず”构成。例：思わず、あいかわらず、やむをえず；少なからず、遠からず。

12. 命令型。表示不受限制的各种条件。例：ともあれ、どうせ、いずれにせよ；よかれあしかれ。

13. 副助词型。例：どうか、いつも；のちほど、なるほど；どうぞ；どうか；できるだけ、ありったけ。

14. 体言型。例：再三、一応、一向、いちばん、万一、皆、ただいま。

15. 汉语型。例：突然、始終、極、到底、多分、是非、案外、大變、大層、当然、少々。

另外，还有一些无形态特征的，多为固有的副词。例：むしろ、まんざら、おおかた、すこぶる、まだ、すぐ、もう、もし。

#### 副詞法 フクシホウ 副词法

指连用形单独做连用修饰语的用法，也称“连用法”。现代日语动词连用形无副词法，只在复合动词中看到文语动词副词法的一些痕迹。如：飲み明かす、刺し殺す、引き出す。形容词连用形的副词法和中顿法共用连用形〜く一种形式。如：高く飛ぶ。（副词法）／高飞。空は高く海は深い。（中顿法）／天高海深。

形容动词连用形的副词法有其专门的活用词尾に，与中顿法的活用词尾で有区别。如：静かに休む。（副词法词尾）／静养。静かで便利だ。（中顿法词尾）／既安静又方便。

⇒連用形、連用法、中頓法

#### 副助詞 フクジョシ 副助词

【性质】助词的一种。接于某些词语后，从意念上修饰限定后续用言。換



言之，由它参与构成的句节相当于副词。具体地看，主要有以下特征。

1. 接于体言、用言连用形和连体形、部分副词后，使之增添新意。如“毎日本ばかり読んでいる。／每天光是读书”中的“ばかり”为宾格成分“本（を）”增添了限定的意念。但这种意念不是象提示助词那样影响后续用言的陈述方式或范围。

2. 出现副助词时，主、宾格助词往往不出现。这时，主、宾格关系是暗含的。如：私など（←が）できない。／我不会。太郎は褒美でも（←を）もらったのか，にこにこしている。／太郎得奖了是怎么，笑吟吟的。其余的格助词一般要和副助词重叠使用，可位于之前或之后。例如：両親にだけ知らせた。／只告诉了父母。両親だけに知らせた。／同上。山田孝雄、宫地裕认为位于格助词之后的副助词接近提示助词，位于格助词之前的副助词接近于接尾辞。如：上二例中，前一例的“だけ”对后续用言有一定限定作用，后一例，完全可以把“両親だけ”看作一个名词整体。位于格助词之前或之后均可的副助词还有：ばかり、きり、など、まで、ぐらい等。不过，ばかり、だけ、ほど、ずつ表示程度量时一般位于其前。其中，ぐらい、まで在表示程度、量时位于其前和其后有意义上的差别，这以外的用法要位于格助词后。试比较以下三组：

①駅ぐらいから歩く。／从车站一带开始走。駅からぐらい歩く。／如果是从车站就走着走。

②この仕事は日曜日にまでする。／这件工作连星期日里也得干。この仕事は日曜日までにする。／这件工作在星期日之前干完。

③先生は私にまで（※私までに）本を下さった。／老师连我也给了书。

某些情况下可与提示助词重叠，位于其前。如：どろぼうだけはしないでくれ。／至少不要当小偷。

有的互相间可以重叠：そればかりか等。

个别时候可接于接续助词之后：～てこそ、～ばかり<sup>は</sup>こそ、～てまで等。

3. 许多副助词来自体言（如：ばかり←計<sup>は</sup>り），这使它或多或少有具体词义。这在其他助词中是看不到的。

4. 副助词是在历史上、用法上互相联系着的复杂、微妙的助词群。

如：ばかり、くらい、ほど之间，さえ、すら、まで之间，のみ、ばかり、だけ之间存在着交叉用法和同种用法的细微差别，就是由于历史上的意义转变、转让、扩大、缩小造成的。

5. 一些副助词参与构成许多惯用性词组或句式，如：ばかりか、ばかりに、のみか、だけに等；～ば～ほど、～ば～だけ等。

【范围】「現代語の助詞・助動詞」（国立国語研究所編）所收副助词有11个：か、きり、くらい（ぐらい）、など（なぞ、なんぞ、なんか）、のみ、ばかり、ほど、やら、ずつ、だけ、まで。松村明的《日本文法大辞典》所收范围与此相同。

【诸说】副助词最初得名于山田孝雄。他认为副助词是一种不表示格关系，从意念上关连后续用言的助词，现代语中有ばかり、まで、など、やら、か、だけ、くらい等。桥本进吉认为副助词接于连用语后增添某种新意，没有它连用语依然成立。如：私に（连用语）ばかり用事を言いつける。／把事情只吩咐给我一个人。他把山田分类中属于文言副助词的すら、だに、さえ归入提示助词，并把具有形式体言性用法的ほど、やら另立为准体助词。时枝诚记把山田的副助词、提示助词及桥本的并列助词综合为限定助词，认为它表示评介、态度等心理内容，从这一点上和他四分法中的其他三类有区别。教学语法中的副助词和时枝的限定助词大体相同。

最近一些学者认为副助词主要有两种用法。其一，参与构成相当于副词的成分，即句中用法。其二，构成“～副助词だ（です）”的谓语，说明说者的主观态度。有的学者还指出，副助词有时既不暗含着格关系，也不和格助词重叠，没有它句子不能成立。如：びっくりするほどよく食う。／饭量大得令人吃惊。

**副体詞** フクタイシ 副体词

松下大三郎和桥本进吉的语法术语，相当于连体词。在本世纪二三十年代使用过。

**複文** フクブン 包孕句、复合句

从句子结构特征划分的句子种类之一。

1 桥本语法术语。指在由主谓关系构成的句子的某一部分里又包

含着主谓关系的子句的复杂句子。与“重文”“单文”相对。相当于山田语法的“有属文”和“合文”，即包孕句和条件复合句。

被包含的有主谓关系的部分称“节”（子句）。按其在句中的作用分别称为主语节（主語節）、谓语节（述語節）、连用修饰节（連用修飾節）、连体修饰节（連体修飾節）、独立节（独立節），依次为下例①～⑤的划线处。

①背が高いことは良いことだ。／个子高是好事。②春は本当に気持ちがよい。／春天真是心情好。③私は背中のきずが原因で重病になりました。／我因为背上的伤而得了重病。④これは誰の書いた字ですか。／这是谁写的字？⑤僕のどこが悪い，そう思って大宮は怒り出した。／我哪儿不好？想到这里，大宫发起火来。

问题：根据日语实际，下列句子都应看成复合句，但必须打破句子（主句）必须有主谓关系的框子。其中下例①除子句外既无主语也无谓语，例②主句是无主句。下例各划线部分为子句。

①色の美しい花！／色彩艳丽的花！②きょうは8月31日だから，いよいよあしたから学校だ。／今天是8月31日，眼看明天就要开学了。

2. 山田语法术语，指简单句以外的所有句子。内含“有属文”“重文”“合文”。参照“文の種類”项。

⇒文の種類、主語、節、単文、混文、複文の構造

**複文の構造** フクブンノコウゾウ 复杂句的结构

南不二男根据接续助词在构成复杂的句子的结构层次方面的作用，将其分成3类，并在此基础上阐明了“複文”的层次结构，这有理论和实用两方面的意义。

又，南氏“複文”指所有用接续助词连接的句子成分或子句的句子，和山田的“複文”不尽相同，另包括结构较复杂的单句。

【复杂句中的接续助词】南氏根据接续助词在句中的统括作用的范围分成三个阶段。

A类：テ 连用形 ツツ ナガラ（顺接）动词连用形的重复型（あるきあるき）。

A类表示后项动作的方式，相当于一个副词节。如：手をつないで

歩く。／手拉手地走。

B类: テ (时间的前后、并列) 连用形 (时间的前后、并列) ズ  
ニ ナイデ バ タラ テハ テモ テ (理由) ツツ (逆接) ナガ  
ラ (逆接) ノデ ノニ ト

B类表示后项动作的各种条件, 前项相当于一个从属子句。

C类: ガ、ケレドモ、カラ、シ

C类连接的前后两项独立性强, 各自能够独立成句。

【复杂句的层次性】句子的各成分间有着立体的层次性, 而复杂句的层次性往往取决于接续助词的统括范围。据南氏的研究, 句子成分的层次性和接续助词的统括范围之间的关系, 主要如下。

1. 主语管辖范围一般能超越A类却不超越B、C类。就是说, 比如例①中A类的“ながら”前面的“哭”的主语是“孙子”, 后面“睡着了”的主语也是“孙子”。而在②、③中, 主语分别管到たら和から, 一过此界, 后面用言的主语就变了。

①孫が泣きながら寝入った。(A) / 孙子哭着哭着就睡着了。②山田が訪ねてきたら教えて下さい。(B) / 如果山田来访请你告诉我一声。③空がくもるから洗濯物を取り入れた。(C) / 因为天阴我把洗的衣服拿了进来。

2. 主题的管辖范围一般是全句, 但常常通不过C类。

①彼は頭をかきながら謝まった。(A) / 他一边道歉一边挠着脑袋。②主人は部屋に入ると洋服をぬいだ (B) / 丈夫一进屋就把西服脱了下来。③数学は難しいから興味を引かない。(C、通过) / 数学难所以不感兴趣。④選手たちは走り終わると足をしめますが、これはたまった疲労素を早く分解して酸素補給をよくするためです。(C、通不过) / 运动员跑完赛程就捆扎双腿, 这是为了尽快分解积累的疲劳素, 改善氧气供应。

表示对照的是连B类都不能通过。

①体は小兵ながら (彼は) 早い球を投げます。(B) / 身材虽小,



他投球快。②正夫君は行ってもあんたは行っちゃだめよ。(B) / 即使正夫君去了，你也不能去。

3. 表示时间地点的连用修饰语的关联范围通常能超越 A 类而不超越 B、C 类。

①彼は朝から晩までせきをしながら机に向っていた。(ナガラ是 A 类) / 他从早到晚不断地咳嗽着 仍旧伏案学习。②彼は朝から晩までせきをしながら夜になると飲みに出かけた。(B) / 他虽然一天到晚地咳嗽，可是一到夜里就出去喝酒。③彼は朝から晩までせきをしていたが、薬を飲もうともしなかった。(C) / 他从早到晚咳嗽却不愿吃药。

4. 陈述副词的关联范围通常能够超越 A 类之后 却不能超越 B、C 类。和推量形式呼应的陈述副词如タブン、マサカ、オソラク 等还可以超越 B 类。

①きっと帰ってくるから待っていてね。 / (我) 一定回来，你等着啊。(カラ是 C 类。又，若把キッに移于カラ后，句义会变化，这说明这样移动改变了キッ的关联范围)。②もし始めから理科をやめ(A 类) 語学を専攻したら (B 类) どうなるだろう。(モシ超越 A 类的连用形やめ，没超越 B 类的タラ) / 如果一开始就不学“理科”而专攻外语，会怎么样呢？③おそらく雨が降っても (B 类) 運動会は中止しないだろう。 / 也许即使下雨，运动会也不停止。(おそらく通过ても，关联全句。

5. 连体修饰语内部通常只出现 A、B 类，出现 C 类时很少。如下例③，不常用。

①呼ばれて来てくれた人 (A) / 应邀而来的人。②呼ばないのに来てくれた人 (C) / 没有邀请却来了的人。③こちらから呼ばないけれども来てくれた人 (C) / 这边没有邀请但是却来了的人。

【各类的统括范围的层次性】据南氏的研究，接续助词的统括范围是由 A 到 C 逐渐增大，总的倾向是 B 类的范围内可以出现 A 类，C 类的统括范围内可出现 A、B 类，反之则一般不行。有以下几种主要情形。

1.  $A < A$ 、 $B < B$ 、 $C < C$  型。

①手をつないで歩きながらキャラメルを食べました。(A类的テ  
 包容在A类的ナガラ) / 一边手拉手地走着, 一边吃焦糖。②雨が降れ  
 ば運動会はとりやめになりますのでおいでくださなくてもけっ  
 ちうです。(B类的バ包容于B类的ノデ) / 如果下雨运动会就停止, 所以  
 您可以不必来。③デパートは午後こむから午前中に出てきたんだが、そ  
 れでもけっちう客は多かった。(C类的から包容于C类的が) / 由于百  
 货商店下午拥挤我是上午去的, 可是顾客还是多得很。

## 2. $A < B$ 、 $A < C$ 、 $B < C$ 、 $A < B < C$ 型。

①キャラメルをなめながら(A)走ると(B)舌をかみますよ。

( $A < B$ ) / (如果) 一边含着奶糖一边跑就该咬舌头啦。②かきまぜな  
 がら(A)煮たんですけれど(C)それでもこげてしまいました。( $A$   
 $< C$ 型) / 虽然是一边搅动一边煮的, 可还是糊了。③彼がいい所だと云  
 うので(B)行ってみたけれど(C), それほどでもなかったよ。( $B <$   
 $C$ 型) / 因为他说是好地方所以就去看了, 可是并不怎么好。④汗を流し  
 ながら話したのにたれも聞いてくれなかったからがっかりした。( $C <$   
 $A < B$ ) / 虽然汗流浹背地说, 但是谁也不听, 使人大失所望。

3.  $B \rightarrow A$ 、 $C \rightarrow B$ 、 $C \rightarrow C$ 型。B、A类或C、B类同时出现, 但  
 互不包容的并列形式。

①危い所へさしかかったら(B)手をつないで(A)歩きなさい。

( $B \rightarrow A$ 型) / 临到危险的地方就手拉手走。②私は大学教育を受け  
 てきたけれど(C), 振りかえって考えてみると(B), 大学で習ったこ  
 とはあまり役に立っていない。 / 我虽然受过大学教育, 但回想起来, 在  
 大学所学的东西用处不大。③この子は、とても自分では言えないけれ  
 ども(C), どんなぼろの汚れた服を着ていてもいいから(C), 母の  
 そばにいたいのであろう。 / 这孩子虽然自己不能说, 但即使是穿破烂不  
 堪的脏衣服, 也想要在母亲身边的吧。

三上章也做过类似上述的研究, 他称接续助词在构成句子结构层次中

的作用为“切分句子的能力”（句切り力<sup>くぎちから</sup>）。

【参考】三种接续助词对于前接词的接续方面也有一定的制约关系。首先，A类的前接词不能是郑重体、否定形、过去形、推量（意志）形。其次，B类的前接词仍不能是推量（意志）形，但可以是郑重体、否定形，个别的还可以是过去形（～たので、～たのに、～たなら）。最后，C类的前接词基本上没有以上限制。由此可见，C类接续性最强，A类最弱，B类居于其中。

如：

- たばこを飲みながら～（A类）
- ※たばこを飲んだながら～
- ※たばこを飲もうながら～
- たばこを飲むので～（B类）
- たばこを飲んだので～
- ※たばこを飲もうので～
- たばこを飲むが～（C类）
- たばこを飲んだが～
- たばこを飲もうが～

⇒複文、文の種類、文の構造

副用言 フクヨウゲン 副用言

副词、连体词、接续词、感叹词的统称。

【特征】1. 无活用，单独构成句子的次要成分。副词和连体词单独修饰后续用言和体言，感叹词从语气上修饰后续成分，接续词则根据前后的内容关系接续两个词、句等。这些都表示对句子的主要内容（由体言、用言充当）的补充。不过，“次要成分”是从结构上说的，并不是说不能充当意义上的主要内容。如“この人だ”中的连体词“この”就是不可缺的。

2. 用法的单一性和普遍性。单一性是说用法简单，通常只有一种用法。如连体词只能做体言的定语，接续词只起接续作用。相比之下，体言、用言的用法很复杂。尽管用法单一，却具有普遍性，亦即一种用法能贯彻到底。这与体言、用言在语义上受到很大制约形成对比。如：私が行く、※選挙が行く。但是：“この私、この選挙”都可以说。当然，这种

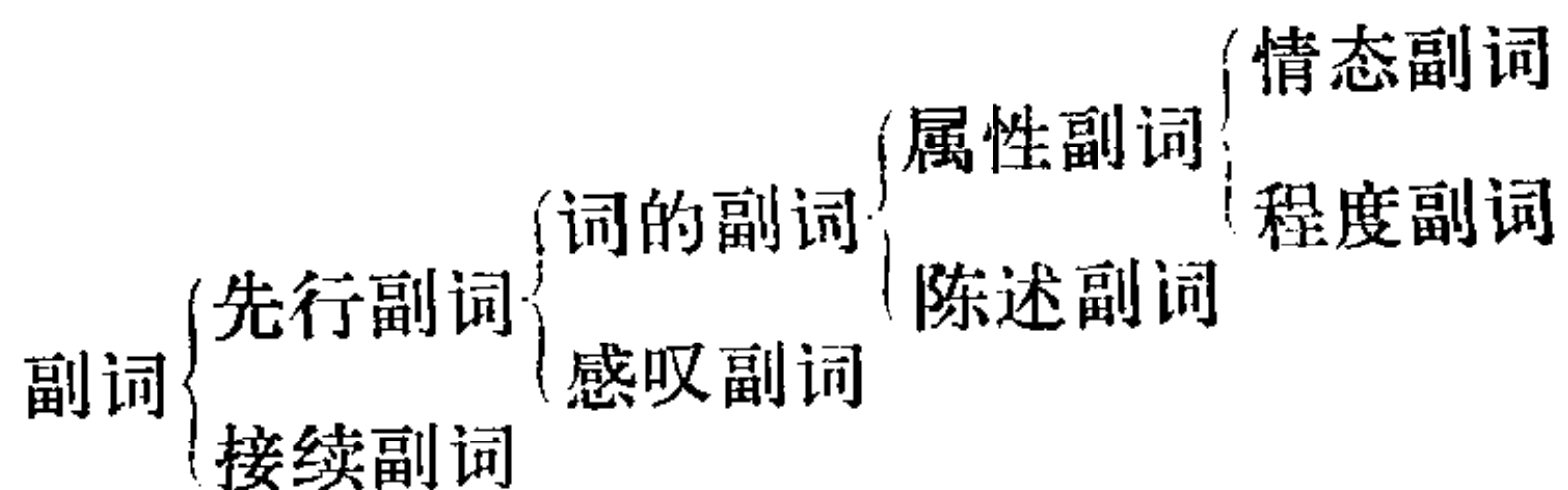
区别只是程度问题。这种普遍性的由来与副用言的高度的语义抽象性有关。

3. 副用言一般不能带有修饰成分。例外：程度副词可以修饰其他副词。如：もっとはっきり発音しなさい。

【参考】早在江户时代，富士谷成章把大体上相当于副用言的词类归纳为“挿頭”<sup>かざし</sup>，与体言类（名）<sup>な</sup>、用言类（装）<sup>よそい</sup>、附属词类（脚結）<sup>あゆひ</sup>相对。铃木朗把副用言称作“コトバニ先立ッテニヨハ”，揭示了副用言对于后续词的语法作用。安田喜代门以后的语法学家多把副用言只看作扩大了副词。如，山田孝雄把接续词、感叹词分别称为接续副词、感叹副词，把副词包括在内统称副用语。桥本进吉的副用言包括连体词、副词、接续词、不包括感叹词。

#### 副用語 フクヨウゴ 副用语

山田语法术语。副用语和自用语相对，二者合起来构成观念词。副用语就是广义的副词，包括通常所说的副词、感叹词、接续词。具体说：程度副词和情态副词合起来构成属性副词，属性副词和陈述副词合起来构成词的副词，词的副词和感叹副词合起来构成先行副词，先行副词和接续副词合起来构成副词即副用语。可见，山田的副词是和其体言、用言处于同一地位上的。列表如下：



#### 部首 ブシュ 部首

【解释】绝大多数汉字可根据其结构和形体特点分解为两个部分，并归纳为若干门类，称之为部首。如分解为左右结构（如：江、形）、上下结构（如：花、盆）等，可得“偏旁冠脚（彳、彡、艹、皿）”，日语中分别称作へん、つくり、かんむり（或かしら）、あし。另外，内外结构的汉字根据其外匡特征，进一步划分为“垂”（たれ，如：広、病）、“構”（かまえ，如：国、同、匹、気）、“繞”（にょう，如：建、近、起）。每一种门类又根据其具体形体分为部首。掌握部首有利于认读和书写，也是传统



的字典检索法之一。

日语汉字的部首原则上和汉语的部首相同，只在数目、归属和称谓上有所不同而已。在称谓上，单独成字的或以其训读作其部首名，如：雨（あめかんむり）皿（さら）口（くちへん）斤（おのづくり）；或以音读作其部首名，如：食（しょくへん）寸（すんづくり）气（きがまえ）走（そうにょう）；个别的以音训结合方式称谓，如：斗（とます）。不能单独成字的或作常用字的偏旁来称谓，如：双〔はつ（発）がしら〕舛〔まい（舞）あし〕彳〔ぎょう（行）にんべん〕〔艮こん（根）づくり〕廴〔えん（延）にょう〕；或以其特征称谓，如：乚（つりばり）彡（さんづくり）匚（はこかまえ）；或看作日语假名来称谓，如：冫（わかんむり）ㇿ（うかんむり）。另外，还有いちのかい（頁→一ノ貝）、のぎ（禾→ノ木）るまた（受→ル又）等，是将部首分解为假名和汉字来称谓的个别例字。

日语中没有的汉语部首有：尤（龙）夊（春、奉）夊（券、卷）等，汉语中没有的日语部首有ツ（单巢営巖）等。

【部首名称】将主要的日语的汉字部首和汉语的汉字部首名称对照如下。

（ ）内为例字。／后为汉语部首名称。

1. かんむり（冠）、かしら（頭）
- 亠（亡、交） なべぶた、けいさん／〇
- 冫（冠、写） わかんむり／秃宝盖儿
- ㇿ（家、安） うかんむり／宝盖儿
- 艸（草、花） くさかんむり／草字头儿
- 戸（房、扇） とかんむり／户字头儿
- 𠂔（発、登） はつがしろ／登字头儿
- 穴（空、突） あなかんなり／穴字头儿
- 𠂔（罪、置） あみがしら／四字头儿
- 竹（答、策） たけかんむり／竹字头儿
- 老（老、孝） おいかんむり／老字头儿
- 𠂔（虎、虚） とらがしら、とらかんむり／虎字头儿
- 雨（雪、霜） あめかんむり／雨字头儿

髟 (髪、鬚) かみがしら／○

2. あし (脚)

儿 (元、兄) ひとあし／儿字底儿

𠂔 (弁、弊) こまぬき／弄字底儿

灬 (然、烈) れんが／四点儿

皿 (益、盆) さら／皿字底儿、皿墩儿

舛 (舞、舜) まいあし／舞字底儿

里 (量、重) さと／里字底儿

3. へん (偏)

亻 (保、仏) にんべん／单人旁儿、单立人儿

冫 (冷、冶) にすい／两点水儿

口 (味、呼) くちへん／口字旁儿

土 (埋、地) つちへん／提土旁儿、剔土旁儿

女 (妹、好) おんなへん／女字旁儿

子 (孫、孤) こへん／子字旁儿

山 (峰、峠) やまへん／山字旁儿

工 (巧、功) たくみへん／工字旁儿

巾 (帳、幅) はばへん／巾字旁儿

弓 (引、弛) ゆみへん／弓字旁儿

彳 (行、役) ぎょうにんべん／双人旁儿、双立人儿

忄 (快、怪) りっしんべん／竖心旁儿、竖心儿

扌 (打、持) てへん／提手旁儿、剔手旁儿

冫 (江、河) さんずい／三点水儿

犴 (猛、狩) けものへん／反犬旁儿、犬犹儿

阝 (防、隆) こざとへん／左耳刀儿

方 (旅、旗) かたへん／方字旁儿

日 (時、暗) ひへん、にちへん／日字旁儿

月 (腹、朝) にくづき (つきへん)／月字旁儿

木 (林、枯) きへん／木字旁儿

歹 (死、殘) がつへん、かばねへん／○

火（灯、焼）	ひへん／火字旁儿
片（版、牌）	かたへん／片字旁儿
牛（牧、物）	うしへん／牛字旁儿、剔牛儿
王（理、球）	たまへん／王字旁儿、斜玉旁儿
示（神、社）	しめすへん／示字旁儿、示补儿
目（眠、眼）	めへん／目字旁儿
矢（知、短）	やへん／矢字旁儿
石（碎、磁）	いしへん／石字旁儿
禾（季、科）	のぎへん／禾木旁儿
衤（初、複）	こもろへん／衣字旁儿、衣补儿
米（粉、糧）	こめへん／米字旁儿
糸（綱、紳）	いとへん／绞丝旁儿、乱绞丝儿
耒（耕、耗）	すきへん／耒字旁儿
耳（聴、取）	みみへん／耳字旁儿
角（解、触）	つのへん／角字旁儿
言（話、語）	ごんべん／言字旁儿
貝（財、貯）	かいへん／贝字旁儿
足（距、路）	あしへん／足字旁儿
車（転、輸）	くるまへん／车字旁儿
舟（船、航）	ふねへん／舟字旁儿
酉（酌、配）	とりへん／酉字旁儿
金（銅、銀）	かねへん／金字旁儿
食（飲、飼）	しょくへん／食字旁儿
馬（駅、駿）	うまへん／马字旁儿
魚（鯉、鮮）	うおへん／鱼字旁儿

#### 4. つくり（旁）

乚（乱、乳）	つりばり／〇
刂（利、劍）	りっとう／立刀儿，立刀旁儿
力（勵、勤）	ちから／力字旁儿
卩（印、即）	ふしづくり、わりふ／单耳旁儿、单耳刀儿

寸 (対、封)	すんづくり／寸字旁儿
彡 (彩、形)	さんづくり／三撇儿
卩 (都、郊)	おおざと／右耳刀儿
攴 (放、攻)	のぶん、しぶん／反文旁儿、反文儿
斗 (料、斜)	とます／斗字旁儿
斤 (新、断)	おのづくり／斤字旁儿
欠 (歌、次)	あくび、けつ、かける／欠字旁儿
殳 (役、段)	るまた、ほこづくり／殳字旁儿
艮 (根、恨)	こんづくり／艮字旁儿
隶 (隸、逮)	たいづくり／隶字旁儿
隹 (雜、雅)	ふるとり／隹字旁儿
頁 (顔、頭)	おおがい、いちのかい／页字旁儿

## 5. たれ (垂)

厶 (雁、原)	がんだれ／偏厂儿
尸 (屈、局)	しかばね／尸字旁儿
广 (店、麻)	まだれ／广字旁儿
疒 (病、痛)	やまいだれ／病字旁儿

## 6. かまえ (構)

冂 (冊、再)	けいがまえ、どうがまえ、まきがまえ／同字匡儿
勹 (包、旬)	つつみがまえ／包字头儿
匚 (匠、匹)	はこがまえ (かくしがまえ)／三匡儿、三匡 栏儿
口 (国、困)	くにがまえ／方匡儿
弋 (式、弑)	しきがまえ／弋字旁儿
戈 (成、我)	ほこがまえ／戈字旁儿
气 (氣、氛)	きがまえ／气字头儿
行 (術、街)	ぎょうがまえ、ゆきがまえ／〇
門 (開、間)	もんがまえ、かとがまえ／门字匡儿

## 7. にょう (繞)

廴 (延、建)	えんにょう／建之旁儿
辶 (近、進)	しんにょう、しんにゅう／走之儿



走（起、越） そうにょう／走字旁儿

附属語・付属語 フゾクゴ 附属词

词的一种，亦称“辞”。指不能单独作句子成分或构成句节，只能附属于别的词，表示各种语法关系或增添某些意义的词类。一般地说，助词和助动词是附属词，如“私はつめたいものがが飲みたい／我想喝点儿凉东西”中的划线的词即是。桥本语法和教学语法中的附属词大致如上。山田和时枝语法的附属词参照“関係語”和“辞”项，其定义和范围均有所不同。

【附属词和接辞】接辞没有独立用法，这点和附属词相同。区别是：接辞是构词成分，它是词的一部分，如“お茶、高さ、私たち”中的划线部分即是，其中“お”是接头辞，“さ、たち”是接尾辞。而附属词本身是独立的词，只不过在用法上没有独立作句子成分的能力，但它可以和独立词一起作句子成分。如“お茶をどうぞ。／请喝茶”、“私たちにも見せなさい／也给我们看看”中的划线部分在附属词“を、に、も”的协助下分别作宾语和补充语。另一点随之而来的区别是：接辞中的接尾辞决定词性，如，“高い”是形容词，“高さ”是名词；“男”是名词，“男らしい”相当于形容词。而附属词并不决定它所属的词的词性。

不过，使役、被动、尊敬、希望助动词等和动词结合起来，确实影响到动词的词性，使结合后的整体相当于一个动词或形容词，从而改变格的关系。如：猫が鼠を捕る。／猫捉老鼠。猫に鼠を捕らせる。／让猫捉老鼠。因此桥本进吉认为还是把助动词归入接辞更妥当。时枝诚记继承了此观点。

普通名詞 フツウメイシ 普通名词

按词义特征划分的名词的一种次类，通常是同类事物共有的名称。与专用名词相对。“鉛筆”一词可以指所有的铅笔，所以是普通名词。普通名词可以下定义，可以意译为外语。

当普通名词失去集合性，变为为了某个或某种特定事物而命名的名称时，它就成为专用名词。如《心》(作品名)。

日语普遍名词的所属范围比印欧语言更宽。如，印欧语相当于“日本、日本人、日本語”这几个概念的词都是专用名词，而在日语中只有“日

本”是专有名词。

不定称 フテイシヨウ 不定称

人称之一。表示说者不清楚的对象的人称。不定称是与定称（第一、二、三人称）相对立的人称。关于其在代词体系中的位置意见不统一。山田、桥本、时枝认为是第三人称的一种，大槻文彦，汤泽幸吉郎认为是与定称对立的人称，而田中义廉、中根淑、金泽庄三郎等人不看作是人称，称为疑问代词，松下大三郎甚至看作名词，称“不定の名詞”。

口语常用的不定代词有：どなた、どこ、どれ、どちら、どの～等，属于コソアド系列。文言中还有：いずれ、いづこ等。此外，名词中表示不定或疑问的词语有：なに、いつ、いくつ、いくら等。有时把以上统称为疑问词。

指示词和名词中表示不定的词用法相似，主要区别是：名词多表示所指对象的种类，而指示词大部分表示种类已明确时的个体。因此前者需要说出种类名。试比较：

①「何がほしいですか」「リンゴがほしいです」／“想要什么？”  
“想要苹果。”②「どれがほしいですか」「これがほしいです」／“想要哪个？”“想要这个。”

不定称代词主要用来表示特定疑问，充当说明性疑问句的成分。

①だれが訪ねてきたか。／谁来过？②しまっておいたのはどれ？／放起来的是哪一个？③あなたはどこに住みたいと思いますか。／你想住在什么地方？

不定称代词后续疑问词か时指不清楚的一类中的某个个体，不是疑问。

①机の上に何かありますか（比较：机の上に何がありますか。）／桌子上有什么吗？（比较：桌子上有什么？）②どこからか（＝あるところから）甘美なメロディーが流れてきた。／不知从哪传来优美的旋律。③誰か（或：誰かが）ノックしています。／有人正在敲门。

后续も时亦不是疑问，表示所有同类事物。

①誰も強い関心を示した。／所有人都表示出极度的关切。②名所はどこにも行ったことがない。／名胜哪儿也没去过。③いつも／什么时候

都，永远。④いっものは／平常。

### 不变化助動詞 フヘンカジョドウシ 不变化助动词

指基本上无活用的助动词。“基本上无活用”就是说只有终止形。有的还有与终止形同形的连体形，但只用于极个别的形式体言前。

【所属词】推量助动词う、よう、まい、だろう，过去助动词た，指定助动词だ（转为间投助词）、否定助动词ない（转为终助词）。所谓不变化助动词就是以上不同助动词终止形的统称。

①声を揃えて歌おう。／齐声唱吧。

②府中駅で降りよう。／在府中站下车吧。

③誰にも言うまい。／不向任何人说。

④彼は海外旅行のつもりだろう。／他是要到国外旅行吧。

⑤おい，待った、待った。／喂，等一等！

⑥御覧にならない？／你不看吗？

【性质】不变化助动词原则上位于句末，无活用，表示意志、推量、命令、劝诱等主观的陈述语气。所以与终助词极相似。这一点，与表示素材内容的动词型和形容词型助动词形成鲜明的对照。因此，把不变化助动词与其他助动词加以区别有一定的理论意义。

不变助动词如出现于句中（连体形）就失去终止形的各种陈述意义，而转为客观的素材内容、性质、状态等。

①みんなが反対するだろうことは目に見えている。／会遭到大家的反对，这是毫无疑问的。

②父が反対しよう気づかいはない。／不必担心父亲会反对。

③やけどをした子は火を恐れる。／烧伤过的孩子怕火。

由此可见，不变化助动词的终止形和连体形用法根本不同。终止形实际上起终助词的作用，而连体形仍有助动词的性质。可以说，不变化助动词的终止形用法是连结助动词和终助词的中间地带。

### 普遍文法 フヘンブンポウ 普遍语法

指所有人类语言中所共同具有的结构、规则、原理、条件的集合。普遍语法的思想最初产生于欧洲中世纪。当时认为，拉丁语语法就是所有语言的语法的典范。后来，由于欧州的学者们发现了欧州以外的语言和语法

体系，加之美国人类语言学的进展等原因，人们逐渐开始对普遍语法持怀疑态度。

最近，由于转换生成语法的促进作用，人们又从人类语言的普遍性这一新的观点来看待普遍语法。认为普遍语法不是根据统计学原理或比较的方法从各个语言中归纳出来的具体的结构、规则等，而是一种更抽象的，纯假设性的理论。儿童之所以能够在不同的语言环境下学会任何一种语言，就是因为各语言的语法中存在着共同的特性。如：任何语言中都有词类，任何语言中都有格关系。这就有可能建立起普遍语法体系，而各自具体语言既在抽象原理方面符合普遍语法，又在具体问题上具有民族特点。

松下大三郎、森重敏等的语法都建立在普遍语言学的基础上，自然具有普遍语法的倾向。

### ぶり 〈接尾辞〉

1. 接名词、动词连用形后，泛指各种状态、样子。

仕事ぶり／工作情况、劳动态度。サービスぶり／服务情况（态度）、回復ぶり／恢复的情况。混乱ぶり／混乱状况。

△口语中常用っぶり形式加强语气。

2. 接时间名词后，表示某动作行为与上一次所距的时间。有时有“盼望已久”的语感。

①25年ぶりに兄と再会した。／时隔25年和哥哥重逢了。②5年ぶりの帰省（第六年，其他类推）／时隔5年的回乡。③ここに，この鳥が飛びかえたのは3日ぶりだ。／这只鸟飞回这里是隔3天之后。④あしたのスキーは10年ぶりになる。／明天的滑雪将是我10年来的第1次。

△包括以上例句，在一定的上下文里，表示恢复到原有状态所隔的时间。

①8時間ぶりに無事に救出された。／8小时之后，平安得救。

### ぶる 〈接尾辞〉

【接续】接名词、属性形容（动）词后。

学者ぶる／以学者自居。偉ぶる／自命不凡。自以为了不起。上品ぶる／自恃清高。

五段活用。各种活用形齐全。



【意义】上接词均为积极意义的词，后续ぶる表示“故作姿态”。

①ハイカラぶって洋服を着ている。／赶时髦，穿上了西装。②学者ぶったことばかり言う。／尽说些有学者派头的话。

### プロミネンス 句子重音

使用强弱、顿促、长短等各种语音形式表示句义重点的口语表达手段叫作句子重音。也称“卓立（たくりつ）”。句子重音位于说者所要表达的重点部分，听者特别关注的部分，为防止误传而需要强调的部分，说者认为重要的部分等。有如下表达手段。

1. 将表达重点部分用强音或弱音与其他部分加以区别。

①コノ本を 君に差しあげるよ。／把这本书给你。

②この本を キミに差しあげます。／这本书给你。

③この本を 君にサシアゲマス。／给你这本书。

重音或弱音形式，有区别限定含义。如：第1句有“別の本でなく、この本”，第2句有“他人でなく，君だけ”，第3句有“貸したり、売りつけたりするのではなく，さしあげる”的意思。

2. 用促音、长音、拨音等特殊音拍或其结合形式表示强调语气和程度。

①サッキ（サッキ、サーッキ）聞きましたよ。／刚刚听到的。

②行くタンビにお菓子をタークサンもらった。／每次回去都得了老多老多点心。

③マックラな夜は特にナガーイ。／漆黑的夜觉得特别地漫长。

3. 用重复形式表示感叹语气和程度。

①タカイタカイ 山がつらなる。／高山峻岭连绵不断。

②ナガイナガイ お話をしました。／作了很长很长谈话。

### 文 ブン 句子

也称センテンス。不同的语言学家对于句子所下的定义不尽相同。这不仅是由于不同的语言学家对于句子的观察角度（内容、形式、活用）各异，而且由于在不同的语言里句子有不同的表现形式所造成的。一般认为，句子是最基本的语言单位，它本身由多数词构成，同时又是构成更大的语言单位即文章的个体单位。一个句子由一个词构成（如“雨！”），同

时也作一篇文章（如，日记中只写“雨！”）的情况是存在的，但是属于个别现象。

日语语法学界对于句子的认识有其长期的研究过程。

大槻文彦认为，句子是表示完整思想的、主谓兼备的语言单位。此理论是西方语言学的翻版，不合乎日语的实际情况。因为日语中有很多句子没有主语或不需要主语。

桥本进吉一方面认为句子是完整思想的反映，同时特别重视其语言形式，指出 1. 句子是一种语音连续。2. 句子前后有语音停顿。3. 句子有特殊的音调以上三个条件。桥本只重视语言的外部形式，而未涉及到其内部形式。

山田孝雄则侧重于内容上规定句子的概念，认为通过人的统觉作用统一起来的思想表现为语言形式上便是“句”。其语言形式表现为“述体の句”和“喚体の句”。山田认为以用言结句的述体句具有陈述的作用。把陈述作用作为句子的成立条件，这是句子理论的真正起点。但他把客观素材看作是陈述，还没有涉及到真正的陈述即语言主体的表现态度。因而，所谓的“句”还不是现实的句子。

松下大三郎与山田说相似，认为句子的成立需要人的判断作用，所以把句子称作“断句”。但同时指出作为句子材料的词要构成句子应具备“绝对性（与它无关）”和“独立性（终止）”。按此理论“咲く”无绝对性（因与“花”关连），“花が咲くと”无独立性，所以都不是句子，而“花が咲く。”兼备以上两种条件，所以是句子。显然，松下大三郎又把句子理论向前推进了一步。

时枝诚记认为，句子表现具体思想，具有统一性和完结性。按此理论“美しい”缺少统一性和完结性，“花が美しいが”则缺少完结性，所以都不是句子。而“花が美しい”具备以上全部条件，所以是句子。由此可见，完结性是句子成立的根本条件。他认为句子的统一性和完结性用句末的助动词、助词以及零记号（见另项）表示。在句末寻求句子成立的根本条件，是句子理论的又一个进步。

渡边实明确地提出“统叙”和“陈述”两个概念，并作为句子成立的必需条件，指出“统叙”是素材内容得到统一的客观作用，“陈述”是使

句子得以成立的语言主体的主观态度（如判断、疑问、感叹等），只有两者结合为一体才能产生现实的句子。按此理说，“花が咲く。”是句子，而“花が咲くと”中只有统叙而没有陈述作用，所以不是句子。可以说渡边实的理论使句子理论更加明确、更加完善了。

⇒陳述、叙述

**文型** ブンケイ 句型、句子模式

【解释】在句子结构和表达形式方面表现出来的类型或典型称为句型。所谓“主谓句、简单句、名词谓语句”等就是根据句子的结构特征而归纳出来的句型，所谓“疑问句、应答句”等是根据句子的表达特征归纳的句型。英语中以表达内容命名的句子类型如疑问句、命令句、感叹句、叙述句四大类在句子结构上有明显的不同，通常说的句型即指以上类型。而在日语中，表达内容和句子结构之间不存在直接联系，如叙述句和疑问句结构完全相同。所以，日语句型的归纳不能只根据一种标准，要从结构和表达两方面进行。

句型的研究和学习特别是对外语教学来说非常重要。句型学习可以举一反三、提高自觉运用能力的作用。实际句子的数量是无限的，而句型是有限的，因此，通过句型学习语言特别是外语是一条捷径，基础部分的外语教材一般都采用句型练习的方式。

日本对句型的研究经历了二战期间和战后这两个阶段。前一阶段的代表作有青年文化协会的「日本語基本文型」，后阶段的有林四郎的「基本文型の研究」和国立国语研究所的「話しことばの文型」(1)和(2)。

【分类】1. 句子结构上的分类。出于对句子结构的认识角度的不同，主要有以下几种不同的分类。

1) 根据主谓关系成立的次数和层次划分，如“单文、復文、重文、有属文、合文”等。

2) 根据主谓的搭配性质划分，如“断定文、描写文、動態文、存在文、名詞述語文、動詞述語文（包括使役、被动）、形容詞述語文”等。

3) 根据句子结构的简繁程度划分，如“省略文”、“独立单文（只有谓语）、展開单文、独立復文、展開復文”等。

4) 外语学习中常用的惯用句型，即词和词的习惯性搭配形式的具体

类别。如“～スレバ～スルホド、～カラ～マデ～、～ガ～ニ～サセル、～ガ～ヲ～スル”等等。

2. 表达形式上的分类。表达形式和句子结构有一定关系,主要表现在句末形式上,这是日语句子的一大特点。由于对表达目的的规定不同,分类法也不一样。永野贤分为“呼びかけ、命令、依頼、要求、反論、問いかけ、疑問”等15项,共147个类型。通常说的判断句、疑问句、否定句、感叹句也都是按表达形式划分的句型。

【句型的确定】奥津敬太郎认为,句型的所有分类都应以句子结构为依据,并提出了“1項目1最小文型”的原则。如,使役句这一项目的最小句型是“使役主が使役対象に使役態動詞”。例:太郎が花子に漢字を書かせる。如改为“～お書かせになりました”,因内含复杂的敬语形式,所以不是最小句型。

奥津不仅考虑句型的表层,同时也考虑其深层,所以把“コレハ本デス”和“ボクハウナギデス”,“太郎がウナギを食べる”和“太郎が道を歩く”看作是不同的句型,把句型和表达内容统一起来了。

奥津还认为,因为谓语确定句中成分之间的格关系,所以根据谓语的种类型确定句型是一种有效的方法之一。如上例中后两例的区别最终还是“食べる”(他动词)和“歩く”(移动动词)的区别。奥津认为谓语应分解为两部分。一部分是动词、形容词、形容动词;一部分是助动词、补助动词、终助词等。两部分分别与不同的主语关联。如,用言与“補文”的主语关联,助动词等与“主文”的主语关联。

太郎は〔(太郎が) 水が飲み〕たかった。

文語    ブンゴ    文言

日语“文語”一词原指与口头语言相对立的书面语言。书面语言又有口语化的书面语言和文语体的书面语言之别,该词通常专指后者。

另外,该词还作“古典日语”(明治前的日语)解,与现代日语相对。不过,现代日语包括口头语言和书面语言,而古典日语一般只指以平安时代以前的口头语言为基础的书面语言。

古典日语的书面语言完成于平安时代中期。从镰仓时代起,虽然口头



语言变化较大，但书面语言仍固守平安时代中期的语言形式，只是用奈良时代和平安时代以后的若干语言现象作了个别补充。文言文作为正统文体，一直延续到明治时代。由于明治年间的言文一致运动，白话得到了特别的重视，并有了迅速的发展，使文言文成为次要的文体，只用于和歌等特定形式和场合。

### 文語体 ブンゴタイ 文言体

【解释】如同文言一词具有多种含义一样，文言体也具有多种含义。1. 书面语言形式。2. 书面语言中以平安时代口语为基础的，明治时期言文一致以前的文章形式。通常说的文言体指后者。

和口语体比较，文言体有如下特点。

1. 活用词的活用形式不同。动词活用除与口语体相对应的四段、一段动词外，还有二段动词、ラ变、ナ变动词等。形容词有ク活用和シク活用。形容动词有ナリ活用和タリ活用。

2. 助动词和助词的使用情况也不相同。文言特有的助动词有なり、たり、き、けり、ぬ、り、む、べし、まじ等。在口语中常用，但在文言中不常用的助词有が（主语格）、の（准体助词）、を（目的格）。

3. 使用口语中所没有的特殊词汇，特别是音读词汇。使用历史假名。

4. 历史上的口语不断变化，因此，口语体流动性也很大。与此相反，文语体始终以平安时代的口语为基础，虽有若干补充，但稳定性很强。

【种类】文言用于不同的目的和不同的语言生活中，构成具体的文言文，主要如下。

1. 拟古文体 始于镰仓室町时代的「方丈記」「徒然草」，发展为江户时代的雅文，现只见于和歌、俳句中。

2. 汉文体 自形成训读法后成为一种传统文体，用于公文、法令、记录。后与明治普通文合流。变体汉文，汉字片假名混用文都是汉文体的派生文体。

3. 和汉混用文（和漢混淆文） 由汉文词汇、语法和固有日文因素混合而成，如「軍記物語」「平家物語」。后来成为文学性文章的主流和明治普通文的基础。

4. 候文 指句末助动词为“候（そうろう）”的变体汉文，成为书信文的主要文体。起初全部使用汉字标记，后夹用平假名。

5. 宣命体 指用来书写诏书的日本文体，现只见于“祝詞”（祭神用词）。

### 文語文 ブンゴブン 文言文

按明治以前的文体（文語体）书写的文章称作文言文。虽然文言文产生于平安时代以前的口语，但以后的文言文都与当时的口语相对立而存在。因而，尽管口语本身不断地发生变化，文言文却始终保持稳定，直至明治时代。明治以后的现代日语中，文言文没有完全消失，如战前的公文，法令仍以文言文书写，战后的俳句、和歌也是用文言文书写的。不过，现代日语中的文語文比明治以前的文言更加简化了，可称作新文言，与明治以前的旧文言相对。

现代日语中，文言文已不再是主要的文章形式。但是，除了在俳句、和歌中专用文言文之外，文言文还保留在谚语、格言、新闻标题以及口语文中的部分叙述中。

①サミット開かる。（新闻标题）／召开首脑会议。②壁に耳あり，障子に目あり。（谚语）／隔墙有耳。③時は金なり。（格言）／一寸光阴一寸金。④駐車を禁ず（启事）／禁止停车。⑤雪舟の絵の名画たるゆえんは、そのおかすべからざる気品にある。／雪舟的画之所以是名画，在于其神圣的意境之中。

### 文語文法 ブンゴブンポウ 文言语法

【解释】1. 指教学语法中与口语语法相对的语法，即明治及其以前的日语语法。核心部分是平安朝中期的文章和文学作品中的语法。当时的书面语和口头语是一致的，后来书面语跟不上口头语的变化，二者逐渐脱节。因此，文言语法仍以平安时代的资料为主要依据，兼顾奈良、镰仓、室町、江戸等时代的独特的重要语法现象。

直到战前，文言应用于包括实用性文章（如书信）在内的所有文章体裁。因此学习文言对于阅读和书写都是必要的。后来，经过明治时期的言文一致运动和战后一系列的语文改革，学习文言语法除有利于创作和歌、俳句及“拟古文”等特殊情况下，只具有读解古典文学作品的意义。

2. 在历史语法和语法史中把历史上各个时代的书面语言所特有的语法称为文言语法。当然，这一定是指书面语和口头语不一致时期即平安朝以后明治的言文一致运动以前的书面语语法。

3. 有时还指“普通文”（见另项）的语法。

【特点】文言语法和口语语法相比有以下主要特点。

1. 用言活用种类多，活用形用法较复杂。如，动词活用种类有九种，形容词有两种。假定由未然形兼任，另有已然形。形容词补助活用发达，且有命令形。动词连用形有连用法（飲み明かす），连体形有名词法（花咲くを見て～）。

2. 助词助动词数目多，用法复杂。尤其是表示推量的助动词，不仅数目多，而且各自虽有固定意义但又有重合。

3. 句子结构特征不鲜明。特别是主格、宾格助词一般不用。

4. “係り結び（の原則）”的存在是句法方面的最大特点。如，句中若出现こそ，句末一定出现已然形；若出现ぞ、なむ、や、か，句末一定用连体形。

5. 同样长的句子，文言比口语包含的信息量要多。各种成分和词语的省略为此创造了条件，但句子过于省略，也造成句意和成分间关系的含混。

### 文章 ブンショウ 文章

【解释】指用多数句子系统地表达完整而统一的思想感情的最大的语言单位。表达完整的思想感情的语言单位还有句子。但是，句子是表达完整思想的最小语言单位，谈不上系统地表达思想感情，因而区别于文章。不过，日本的特殊文章形式俳句和和歌等，形式上由一个句子的语言单位构成。但它是多数句子的缩写形式，了解其含义，必须用多数句子解释，这就是它能够取得文章资格的原因所在。

系统地表达完整而统一思想的，除文章外，还有绘画、雕刻、音乐等艺术形式。但是绘画和雕刻无视心理过程，从某一断面上表达思想和感情，因而区别于用心理过程表达思想和感情的音乐和文章。而文章的心理过程比音乐更长更复杂曲折。所以文章分析难于其他艺术形式的分析。

研究文章的一般性质的语言学部门称作文章论。而研究个别的文学性

特点的部门特称文体论。

【文章形式】文章形式和文章内容、目的有直接的联系。如直接从文章形式特点划分，有韵文、散文、文言文、口语文、候文、汉文、固有文（和文）、日汉混合文（和漢混淆文）等。

如从文章内容和目的特点划分，有实用文章和非实用文章。论说文、说明文、报告文、书信文、日记文、应用文等属于前者；小说、随笔、纪行文、剧本、诗歌等属于后者，又称文学文章。

以上都是书面文章形式。口头文章形式有讲演、谈话、座谈会、即兴诗等。

【文章结构】指文章的构成因素即句子和段落等结合为一篇统一文章的方式。文章的构成因素之间有语法和逻辑的结合关系，也有思想内容上的结合关系。因此，文章结构具有形式和内容的双重性质。

论说文有“序论、本论、结论”三段结构，或“序言、陈述、论证、反论、结论”五段结构。记叙文（叙事文）有“开端、发展、结束”三段结构。汉诗（漢詩）有“起承转结”四段结构。

文章结构是为表达文章内容所需要的，两者是有机统一体。文章结构实际上是体现主题的表达程序。在论说文中主题直接用语言形式出现在开头段落或结束段落中。但在文学作品中，主题往往不以文字形式出现在文章结构的某一部位上，而是通过句子和句子、段落和段落之间的内容的一贯性即文脉来体现的。

文章结构不仅是写作的核心问题，而且是读解文章的根据。因而成为作文教学和读解教学共同关心的问题。

### 文章論 ブンショウロン 文章论

【解释】“文章論”一词曾作句法的概念来用过。如：浅野信的「日本文法文章論」指的是“文論”（句法）。后来，时枝诚记把文章也看作是与词、句并列的语法单位。因此，把“文章論”作为独立的语法理论，与“文論”并列起来了。后来的“文章論”指的是时枝诚记的文章论。

把文章论作为语法学的一个领域提出来，是时枝诚记的首创，使过去在“国语课”里零散出现的语文知识内容有了归宿，自成一个语言体系，对于语文教学理论的确立，奠定了基础，因而在语法史上具有划时代的意



义。但他没有提出严密的文章论体系，实际效果也不很明显。后来的市川孝等人继承了时枝诚记的理论，但他以段落之间的关系无明显的形态特征为理由，主张把文章论从重形态特征的语法理论独立出来，看作是与语法理论并列的语言理论。

【研究对象】文章是最复杂最庞大的语言单位。因此，文章论里所要研究的课题也较多。主要如下：1. 研究文章本质和决定文章本质的因素。2. 研究文脉的展开形式和接续词等接续形式的用法。3. 从语义联系和接续特点，研究句子和句子之间的关系。4. 从语义联系和形式特点，研究段落和段落之间的关系，段落本身的各种性质。5. 从文章的进行和概括，内容的安排和连接研究文章结构。6. 根据文章结构或性质确定分类标准和方法，并对于各种文章加以分类。7. 另外，还研究文章史和文章论对于语文教学的作用以及文章的教学方法等。

#### 文節 ブンセツ 句节

桥本语法中最基本的语言单位之一。定义：将句子尽可能短地加以切分而得到的最小片断。另有“語節”（金田一京助）、“文素”（佐伯梅支）等概念也和句节相当。桥本进吉确定句节有以下根据。1. 一定的音节按一定顺序排列，这些音节始终连续发音。2. 构成句节的各音节之间的高低关系（アクセント）是固定的。3. 在实际语言中，在其前后可以有语音停顿，等等。由此可见，桥本划分句节是以句子的外形特征（即语音）为根据的，与把单词的外形（即语音）划分为音节的方法相同。“文節”一词就是根据“音節”仿造的。

句节论在桥本语法中居于核心和出发点的地位。首先，句节直接作句子成分，尤其是谓语句节在语音上起终止作用，而且把句节间的承接关系统一起来，使句子得以成立。句节又是划分实词（詞）和虚词（辭）的根据。能单独作句节的是实词，只能跟在实词后面共同组成句节的是虚词。

在某些别的语法体系中也有类似句节的概念，如松下语法的“詞”和时枝语法的“句”。但由于语言观不同，所指很有区别。山田语法中词直接作句子成分，所以没有相当于句节的单位。

【句节的划分方法】上面曾提到桥本提出的划分依据。但从结果上看，通

俗地说，句节是这样划分的：一个句子中，有多少个实词就有多少个句节，实词后的虚词无论有几个（也可能没有）一律往前划，和该实词共同组成句节。

①彦星とたなばたとは7月7日の夜天の川でうれしく会いました。／牵牛星和织女星七月七日夜在银河愉快地会面了。②留守中ですから、帰ってくるまでお待ち下さい。（お待ちになって下さい）／现在不在，请您等他回来吧。

可见，一个句节中实词是必需的。其中副词、连体词、感叹词、接续词一般不需要虚词便独立成句节，而用言和体言一般和虚词共同组成句节。

【和句子的关系】1. 句子由一个或两个以上的句节构成。如上面例①由7个句节构成。“行け。”“はい。”等独词句同时是一个词、一个句节、一个句子。

2. 句节大致和句子成分相当。“今日は本当に暑いね”中的三个句节分别是主语句节、（连用）修饰句节、谓语句节。但有时不成为句子成分，如例②中的“帰って”、“くるまで”不直接作句子成分。

3. 认为句节之间存在着关联承接关系（係り受け），这是构成句子的基础。如例①中“彦星と”和“7月7日の”分别关联到“たなばたとは”和“夜”，而后两者分别承接前两者，并和其他句节一起又关联到“会いました”。这种具有后续性的句节称作“続く文節”（后续性句节）。“会いました”承接前面的所有句节，（“彦星と”和“7月7日の”要通过其承接句节）却不能关联后面，所以称作“切れる文節”（断止性句节）。句中句节有承接性和关联性。却没有断止性，因此不能结句；而句末句节（谓语句节）虽然没有关联性，却有承接性和断续性，因此，能够使句子得以完成。

【问题】1. 事实上，语音停顿主观随意性很大，未必象桥本所主张的那样和句节相一致。即使一致，那也是与语义有直接联系。正因为这样，不懂日语的人就不能划分句节。这是最有力的证明。可见，桥本的切分原则不符合语言实际。

2. 句节不能作日语句子结构的单位。如“私が心配しているのは

～”之类的句子，和“私が”关联的既不是“心配して”一个句节，也不是“心配して、いるのは”两个句节，而是“心配している”。再如“美しい人が～”按句节论应分为“美しい”和“人が”两个句节，并认为前一个修饰后一个。实际上，“美しい”只修饰“人”，“が”是接在“美しい人”这一整体之后的。正如在“美人が～”中，认为“美”修饰“人が”是不合理的一样。可见，句节完全打乱了语义层次，根本不符合日语句子结构的实际。

桥本本人后来也注意到了句节论的弊病，在句节论的基础上又创立了连句节论，认为句节和连句节都能作句子的结构单位。

⇒橋本文法、連文節、IC分析、入子型構造

文体 ブンタイ 文体

【解释】各种文章都具有一般的和普遍的性质，使所有人都能了解它。同时，各种文章都具有区别于其它的个别的特殊性质，文章就是一般和特殊的统一。由于表达目的和内容不同、时代不同、以及个人的美学思想不同，在词汇、语法、修辞以及其他语言表达形式上表现出来的个别特点或类型特点称作文体。

【种类】文体首先分为类型文体和个别文体两大类。

类型文体就是一些文章共有的与另一些文章构成异类的文体。

1. 历史上的类型文体有：汉文体、汉字假名混用体等记载方式不同的文体和固有文体（和文体）、汉文直译体、候文体等不同来源的文体。

2. 现代日语文体一般分为文言体和口语体两种。文言体指历史上各种文体的总体，口语体是通过言文一致运动发展起来的现代文体。

3. 口语体根据在语言生活中的实际运用分为常体和敬体两种。常体就是以だ、である为句末表现形式的文体，敬体就是以です、ます、ございます为句末表现形式的文体。实际上作为社会成员常用的文体都为敬体，而不是常体。

4. 修辞学上的文体有散文体，韵文体等在语言形式上有不同特点的文体。

个别文体就是在某一个人，某一流派以及某一作品里所表现出来的个性特点。如：森鸥外的文体、白桦派的文体、《舞姬》的文体。个别文



体是类型文体在个别作家、个别作品中的具体体现。如：森鸥外的《舞姬》，以文言文体为基础，加以他本人的特殊表现形式。据波多野完治的研究，谷崎润一郎的文章是用言型，志贺直哉的文章是体言型。这是用类型文体分析个别文体的结果。当然，个别文体向类型文体转化的现象也是有的。一些人模仿某一个人或作品的文体，就能构成类型文体。

### 文体論 ブンタイロン 文体论

【解释】指有关文体的理论。与研究文章的普遍性质的文章论相对。作为研究领域的文体论与作为研究对象的文体论一样，可以分为研究类型文体的文体论和研究个别文体的文体论。广义的文体论包括以上两种文体论。但由于西方文体论的影响，狭义的文体论只包括对于个别文体的研究。

类型文体具有相对稳定性，既不能创造，又不能消灭，保持一定的数量，始终是个别文体赖以存在和发展的基础。因而便于研究，其研究已基本完成。但是，个别文体论以个别作家和作品为对象，因而其研究有一定的难度，而有做不完的课题有待于人们去完成。

【研究方法】1. 旧修辞学方法。就是根据作者的文章特点和读者的阅读印象进行研究。如：芳贺矢一等人的“简约体”和“蔓延体”、“刚健体”和“优美体”、“干燥体”和“华丽体”、“素样体”和“巧緻体”，坪内逍遙的“雅、俗、雅俗折衷”。

2. 文章心理学方法。波多野完治认为作者的创作心理决定文体特色。因而用个体心理学原理解释文章技巧、文章形式、文章结构、写作方法等。文章心理学方法以句子的长短、句子结构、词类分布等方面的调查统计为其根据。后来，安本美典进一步发展为统计调查的方法。

3. 语言美学方法。小林英夫认为，所谓文体就是具有符合一定的美学思想的一定的语言结构。把文体论限定在个别作家和个别作品，从文章结构、标题、句组语法、句子结构、词汇、节奏、描写等语言艺术的诸侧面进行研究。

4. 语言学方法。有历史的语言学方法和新语言学方法两种。历史的语言学方法就是通过文体史的研究，确定各种文体，如汉文体、和汉混用体、候文体等。新的语言学方法不倾向心理学方法或美学方法，而根据语言事实本身去研究。如：文章的简约和冗长、说明性文章和描写性文



章、句子的长短、引语和说明、句子的接续方法以及词的运用等。由于应用统计调查的方法，对于文体的研究比较客观、准确。

5. 文学文体论方法。此方法也涉及到语言艺术，但更多地研究文学思想和方法。对于分析作品、评价作品有积极意义。

### 文典 ブンテン 文典

江户时代和明治时期，曾把语法或语法书称为“文典”，现已不用。这类文典中，西方人作的较多、较早。如葡萄牙人J·罗德里格斯(J. R odriguez) 1608年曾著「日本大文典」。日本人自己编写的有大概文彦 1879年的「広日本文典」，此书是现代语法研究的先驱性著作，综合了近代日本学者的研究成果和西洋语法观。

### 文の構造 ブンノコウゾウ 句子结构

【解释】整个句子的组织以及句子各个成分之间结构关系的模式，叫作句子结构。如“太郎はにこにこ笑っている／太郎在微笑着”这个句子的结构大体是：“笑う（笑って）”和“いる”结合为一体，相当于一个动词，同时是进行体。再和にこにこ结合起来，构成句子的说明部分或谓部。

“太郎”是全句的主题，它关联到句末。

【句子结构的形式】组成句子的一个一个部分叫作句子成分。每个成分都具有支配或从属于其他句子成分的职能，也有兼具两种职能的。这种职能就表现为成分和成分之间的各种语法结构关系。按桥本语法，主要有从属关系和对等关系，这两种关系又各包括几种关系（参见“連文節”项）。其中，从属关系中的主谓关系在传统上被认为是句子最主要的关系。现在多数学者认为这不符合日语实际，日语句子中最主要关系是主题和说明的关系。

【句子结构理论】句子结构的研究是句法（構文論）的重要内容之一。句子首先是语义的统一体，形式上的统一是语义统一的体现。所以一般认为句子结构分析要同时重视语义和语法结构。当然，二者总的来说是一致的。

句子结构分析的理论就日语来说主要有：传统的分析法，即分成主、谓、宾等各成分的方法，如学校语法中所用的方法；句节理论（文節、桥本）；套匣式结构的理论（入子型構造、时枝）；直接成分分析法（IC分析）；树形图（樹形図，转换生成语法）等。

# 文の種類 ブンノシュルイ 句子种类

指将句子按一定标准进行分类的结果。句子是语法结构和各种语法性质的复合体，所以分类也从这两方面进行。

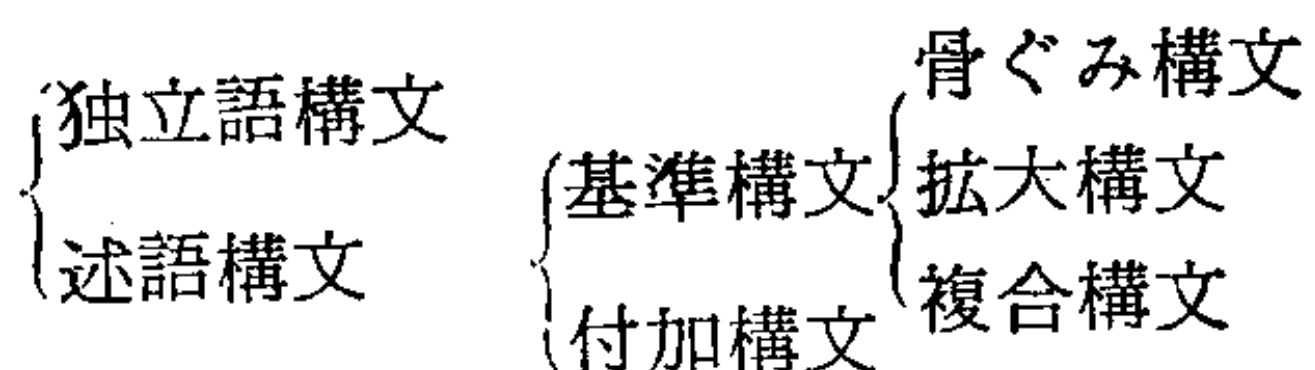
【结构上的句子分类】1. 以主谓关系成立的次数和方式为依据。桥本进吉分“单文、重文、複文”三类。山田分为“单文”和“複文”，“複文”又包括“重文、合文、有属文”。

这种分类法实际上把主语看成句子成立的先决条件，有违日语的实际。另外，吉冈乡甫还设“混文”，即以上不同种类的句子又按不同层次结合成的复杂句。

2. 以句子的核心部分为依据。三上章等认为谓语是句子的核心部分，据此分为“名詞文、動詞文、形容詞文”。其中名词句还可分出“タ文”，动词句也可分成若干种，如“使役文、他動詞文”等，形容词句还可分出感情形容词句等。

不少学者注意到了句子是以用言结句，还是用名词结句。如山田的“述体の句”和“喚体の句”、时枝的“述語格の文”和“独立格の文”、渡边实的“統叙”和“無統叙”、松下的“思維性断句”和“直観性断句”等。

3. 铃木重幸和南不二男把句子结构和句子成分结合起来，作了如下分类。此种分类对于句型的确定、观察句型之间的演化关系有一定的积极作用。



“独立語構文”和“述語構文”相当于山田语法中的“喚体”和“述体”、时枝语法中的“独立格の文”和“述語格の文”。

“骨ぐみ構文”是由主谓宾补（先生とする、白くぬる）构成的句子。“拡大構文”是在“骨ぐみ構文”的基础上添加“連用語”“状況語”的句子。

①酒をチビリチビリ飲む。／一点儿一点儿地喝酒。②図書館で本を読む。／在图书馆读书。③雨が降りそうなのであわてて帰った。／因为

要下雨，急忙回去了。

“複合構文”是在“骨ぐみ構文”的基础上添加共有一个主语或谓语的子句的句子。

①彼は去年沖縄にも行ったし、八丈島にも行った。／他去年去了冲绳，又去了八丈岛。

“付加構文”是在“基準構文”的基础上添加陈述成分、独立语、不带有主谓式谓语的子句而构成的句子。

①どうぞ、あなたもおいでくださいませ。／请您也来。②次に今日のプロ野球の結果をお知らせいたします。／下面，发表今天的职业棒球队的比赛成绩。

【性质上的句子分类】一般分为“平叙文、疑問文、感動文、命令文”4类。这是仿照英语语法进行的分类，始自高津敏三郎。桥本进吉从上述分类，并指出“～すべきだ”表示命令，但主张归入叙述句。另外，“～したい”归入叙述句和感叹句都不妥，有人另立“願望文”。

对上述高津的四分类法，许多学者试图进行改进，如山田关于他的“句”（见该项）的分类和前面提到的时枝的分类，都是考虑到形式和结构，把平面式的四分类法从立体的角度重新进行的分类。

松下大三郎以有无主题作为分类的主线，对后来的分类有极大的影响。松下认为他的“思维性断句”可分为有题和无题两大类。后来的佐久间鼎、龟井孝、三上章等都继承了有题无题的思想。

三尾砂根据“場”和句子之间的相互关系的性质，把句子分为以下4种：

1. “現象文”是内含整个场面的句子。

①とんぼが飛んでいる。／蜻蜓在飞舞着。

2. “判断文”是内含课题场面的句子，带有“题目—解说”结构。

①知ることは愛することである。／知之即爱之。

3. “未展開文”是指向整个场面的句子。

①君！火事だ。／你看，起火了。

4. “分節文”是和场面相辅相成的句子。

①「これは何だ？」「梅だ。」／“这是什么？”“是梅花。”

宮地裕重视说者的表达意图，按着语言交际的开始、进行、完了的过程作了如下分类。

句子→A、有关交际的成立和解除的句子；B、有关交际内容的句子。

A→1. “よびかけ文”、2. わかれ文。

B→3. “詠嘆文”、4. “判叙文”、5. “要求文”、6. “応答文”。

4→“判断叙述文”和“疑念反語文”。

5→“質問文”和“命令文”。

宮地裕认为上述分类概括了语言交际的全过程：语言交际由1. “よびかけ文”开始，紧接着叙述自己的心情时用3. “詠嘆文”，同时用4.

“判叙文”对事物进行判断叙述并传达，然后就到了用5. “要求文”对方进行答复并提出要求的阶段，返回来，再用6. “応答文”对对方的话进行应答（即肯定、否定、或其他价值判断），至此，就完成了一次交际内容，以上过程反复进行，谈话就继续进展，最后，用2. “わかれ文”使交际终止。

#### 文の成分 ブンノセイブン 句子成分

【解释】句子成分即作为句子组成部分的句法单位。句子分解的最终结果是词和词素，而句子成分是位于词、词组与句子之间的位置上。当然句子成分也可以由一个词构成。

日语的句子成分一般由独立词和附属词结合而成，有时独立词可单独作句子成分。附属词只能接在独立词后共同作句子成分。通常借助附属词的补助作用才能作句子成分的词类是名词等体言类，用言在很大程度上也如此。这也说明，句子成分既是句子的意义单位，又是句子的结构单位，而桥本和时枝的句子结构分析理论（参照“文の構造”项）尽管在对句子结构的形成过程的说明上很不相同，在这一点上却是一致的。句子成分之间的联系（係り受け）是构成句子的内在因素。

【种类】教学语法设：主语、谓语（述语）、连体修饰语、连用修饰语、独立语、接续语。

あ、それから 赤い リンゴが 一個 ある。

独立语 接续语 连体修饰语 主语 连用修饰语 谓语



句子成分并不是互相之间都处在一个平面上，而是有层次的。如上例中的“リンゴが”是主语，这是相对于全句来说的。而“赤い”实际上并不是全句的定语，只是“リンゴ”或リンゴが的定语。这种层次性，在教学语法中是通过连句节（連文節）的理论来解释的。

连用修饰语内包含了一些性质很不相同的成分，在有些书中，将其中的某些成分分别称为目的语（即宾语）、对象语、状况语、修饰语、补语、诱导成分等。相反，也有的不单设主语、接续语等，将其归入连用修饰语。有的将独立语细分为同位语、提示语、感叹语等。

桥本的句节和句子成分是大体相当的。但是，有的句节并不能单独作句子成分，如由补助动词构成的句节（笑っている）和并列的句节（梅と桜が）。因此，有的时候，把一个以上句节组成的整体，特别是其中包括次要部分的时候，将其整体称为一个句子成分很方便。如上例中的“赤いリンゴが”整个作主语则很方便。这时，一般不称“～語”而称为“～部”。如“赤いリンゴが”是主部，“一個ある”是谓部（述部）。

#### 文法 ブンポウ 语法

该词有三种含义。分别反映了人的语言活动的客观实践——主观认识——运用这三个阶段。当然，“语法”一词也常常是笼统地来用的。分述如下。

1. 作为语言事实的语法，即遣词造句的客观规律。“语言由语音、词汇、语法三部分组成”这句话中的“语法”就是此意。这种意义上的语法，就一种语言来说，任何一个会说该语言的人都已经掌握了。但这种语法知识并不是理性知识。只有在有意识地提高语言运用的能力或进行外语教学时，这种意义的语法才成为人们观察和研究对象。

不同的语言有不同的语法。汉语、日语、英语等等都有自己的语法，而就上述意义的语法来讲，每种语言的语法只能有一个。

2. 作为语法理论的语法。把客观的语法事实和规律体系化，便成为语法理论，亦称语法。也可称为“文法論”，即语法学，但语法学一般不包括实用性的成分。“我没学过语法”这句话中的“语法”就是此意。这种语法，就某一语言来说，只有主动地、有意识地、系统地观察或研究过该语言，或读过该语言的语法书的人才晓得。

尽管客观的语法事实只有一个,但由于语言观等的不同,语法理论或语法体系却是多种多样的,如“桥本语法”、“松下语法”等等。这些语法体系背后,往往以某语言学理论为依据,如桥本的语法有很强的结构主义语言学的因素。

另外,不同的角度、不同的方法和不同的目的,又决定了各种语法体系具有不同的性质。从性质上,可分为描写语法、说明语法、比较语法、历史语法、规范语法、实用语法等等。

当然,语法事实的客观性,决定了各种语法理论都需要划定语言单位,从语言单位的形态、意义、功能方面作系统的理论阐述。在这些方面,又都保持着共性。

一般认为,语法包括两个组成部分——词法(品詞論、形態論)和句法(構文論、統語論)。

客观的语法事实异常复杂,例外丛生,而任何语法体系都不能概括得十分完满。学习语法首先要注重实际,要掌握更多的语法现象。

3. 专指作为衡量语言对错的那些规则,即各语法体系中所共同承认的,最接近于客观实际的,被大多数人认可的那些规则。“这句话不合语法”中的“语法”就是此意。

另外,过去“文法”一词在中国和日本都作“文章作法”或“修辞学”来讲,这也主要是运用方面的问题。

**文法学** ブンポウガク 语法学

指对语法的系统研究这门学问。亦称“文法論”。见该项。

**文法史** ブンポウシ 语法史

【解释】语言历史中的语法部分即语法的历史。语法史阐述具体的语法事实的演变或者整个语法体系的历史演变。对于何为语法史主要有两种不同看法。其一认为语法是共时系统,所以只能观察个别语言现象的变化,不能观察整个体系的历史演变。另一种看法是:语法在每一个历史阶段都有它共时的体系,再把每个共时体系用历时的观点重新阐述,就是语法史。研究方法也有两种。有人对语法事实的演变作客观的描写,这是描写的方法。另一些人则利用现代语法观(包括个人的语法观)对历史上的语法变化作出解释和评价。

语法史和历史语法关系密切。历史语法是某一时期的语言的共时体系，是语法历史的横断面，如奈良、平安等时代的语法。语法史是整个历史时期的语言的历史研究，是语法历史的纵断面。

【时代划分】历史语法和语法史的研究都需要对语言历史作时代划分。理想的时代划分应当以语言自身的变化特点为依据，而实际上语音、词汇、语法各方面表现各异，很难找出其共同点。另一方面，政治经济等社会因素对语言变化常常起决定性影响。因此，通行的作法是从历史年代上来划分。具体的时代划分见以下论述。

【一般规律】语言三要素中最稳定的部分是语法。语音方面，从上代到近代发生了很大变化，如：元音由8个减为5个、辅音增加、而拗音、促音、拨音、长音等特殊音位或现象的出现在很大程度上改变了日语固有的直音性、开音节性、短音性等本质特征。词汇方面的变化也很大，主要如：从此单音节词为主变为以多音节词为主、词义变迁，如“おかし”原为“趣きある”之意、外来语和汉字词的大量出现与随之引起的词义的更详细的分工，如“直す”分化为“修理する、訂正する、治療する”等等。与此相反，语法方面基本没有本质上的变化。试比较：

文言：ここに五<sup>ご</sup>智<sup>ち</sup>院<sup>いん</sup>の但<sup>た</sup>馬<sup>ば</sup>，大<sup>お</sup>長<sup>ちやう</sup>刀<sup>とう</sup>の鞘<sup>さや</sup>をはづいて，た<sup>い</sup>だ<sup>に</sup>一<sup>いち</sup>人<sup>にん</sup>橋<sup>はし</sup>の上にぞ進<sup>しん</sup>んだる。（「平家物語」）

现代语：さて，五智院の但馬は大長刀の鞘をはずして，ただ一人で，その橋の上に進んだ。

可见，尽管词汇上差异较大，从语法上看，谓语对其他成分的统括作用、语序、句子成分之间的关系等基本特征都没有变化。但是，词法方面的变化还是比较明显的。从文言到现代语，动词、形容词的活用，以及助词、助动词、副词等都有显著变化。由于上述原因，至今为止的语法史研究主要阐述词法部分，而较少涉及句法方面的问题。句法方面研究得不充分也是原因之一。

【各时代语法的特征】1. 上代语法史（到奈良时代末止）。句子基本结构在上代已基本确立，但是，活用词的活用和格助词、接续助词等不够发达，许多用法处于未分化状态。如，形容词词干可直接作连用修饰语（高光る）和连体修饰语（賢<sup>さか</sup>し女<sup>め</sup>）；形容词活用形有特殊形式，没有



简化（未然形有け、しけ。连用形有み、しみ等）；主格助词が、の和连体助词が、の相通；格助词を与终助词相通；接续助词ば、と等尚未出现，直接用已然形表示条件法；等等。很明显，以上这些情况使得句子结构笼统、模糊、形式单一，不适合于根据叙述内容和陈述态度的需要自由地组织完整而复杂的句子。

2. 中古语法史（平安时代）。这个时代“假名文”出现并得到发展，汉文训读也很发达。这些对语法发展起了很大的推动作用。由于形容词活用形和助动词的发达，句子结构更臻严密，句子形式更加多样化。特别是提示助词的发达，使句子得以在意义和形式上统一为一个整体，这是句子发达史上的一个转变。另外，“待遇表现”极度发达，出现了郑重表达法。不过，此时的句子结构仍然缺乏逻辑性，往往是无条理地堆砌词句，句子成分间的关系并不十分明确。

3. 中世语法史（院政、镰仓、室町时代）。这一时代出现了“和汉混合文”，口头语和书面语发生分化，是语法史上的一大变革时期。语法上尤其突出的是接续助词的增加和用法上的进一步分化，这避免了中古时期的逻辑层次不清因而堆砌词句的现象，使句子结构更加明确，朝着用现成的简单句子组成表示多种关系的复杂句子的方向发展。另外，由于“係り結び”用法的趋于频繁，终止形同化为连体形，使活用形简化。

4. 近世语法史（江户时代）。出现了现代日语的萌芽，在语法的细节上出现很多变化，如：二段动词归入一段动词、う变动词归入四段动词，形容词的连体形音便形（～い）可作终止形，音便形的使用普遍化，假定条件用法和确定条件用法产生分化（ので、から、けれども等）。助动词的变化也很显著，接近于现代日语助动词。如，き、けり、つ、めり等表示过去和确定的助动词逐渐淘汰，只用たり、并演变为た。

敬语表达法仍然极其复杂，在句子结构上也有明显的反映。

5. 近代语法史（明治时代始）。随着政治和教育制度的现代化，出现了语言的规范化和科学化的新局面。经过言文一致运动，句末形式统一为だ、です、である、ます等少数形式。敬语也多用れる、られる表示。这些都说明句子形式也出现了规范化倾向。另一方面，为使逻辑关系更明确，主格、宾格助词が、を的使用增多。西洋语法的影响也开始出现，



如：被动句增多、出现关系代词的直译形式。

### 文法辞典 ブンポウジテン 语法词典

为语法学习或研究，以条目化的形式编写的语法书。语法词典有两种。一种是词的语法辞典，如吕叔湘主编的《现代汉语八百词》和森田良行编的「基礎日本語」都属于这种性质。这类语法词典从语法上解释所收的每一个词。另一种是语法理论的语法词典，这类词典也同时收录语法功能词。本词典即属这一类。松村明编的「日本文法大辞典」兼有以上两种性质，除有关语法理论和功能词的条目外，还收有大量的古语动词和形容词。

就日语的语法理论的语法词典而言，可以考虑以下几个方面的内容：

1. 各种语法术语。包括1) 通用的术语，如“体言、名詞、活用、主語”之类。2) 某些学者或书籍中使用，其中有研究参考价值的术语，如“複語尾、概念語、入子型構造”之类。3) 普通语言学和普通语法学中有必要收录的术语，如“標準語、零記号、記述文法、形態論”之类。

2. 各种语法功能词。包括所有的助词、助动词、形式名词、接续词、陈述副词和部分接头辞、接尾辞，以及与以上词语相当的词组。这些是日语语法的核心部分，集中反映日语的粘着语特点，语法书和语法辞典都应予以收录。不过，有些词典只重视助词和助动词。这样，たがる（一般看作接尾辞）的语法作用虽然与たい同样重要，却只收たい，这似乎不妥。同理，起功能词作用的词组的语法作用与功能词同样重要，也应收录。

3. 条目化了的各种语言现象和语法规律。如句子结构方面的被动句、使役句，各种表达方式，各活用形的用法，敬语用法等等。这些条目的侧重点在于实用，而不在于概念和理论。

语法词典和语法书比较，有如下优点：

1. 适用面广，给读者选择的余地。不同程度的学习者都可以直接查找有关条目，收效快。甚至研究人员也可以参考。

2. 内容全面，不必拘泥于某种成见。语法词典可以网罗众多的语法现象和规律，并作客观的描写。读者可通过比较了解真实情况。只要对学习有益的内容，尽可以兼收并蓄，没有体系上的限制。对于了解研究

现状和选择研究课题也有帮助。

### 3. 容易查找，使用方便。

不足之处是：没有语法书那样的严密的系统性。这是由于把整体的连贯的现象或理论进行切割而造成的。这一缺点可以从词条的选择、联系以及增加可读性等方面加以弥补。

文法上許容すべき事項 ブンポウジョウキョウヨウスベキジコウ

语法上认可的事项

简称「文法許容案」，系明治38年（1905年）由日本文部省公布的第158号公告，由正文和“理由書”两部分组成。在正文中，以官方文件的形式对16条语法现象予以承认。这些出现在“普通文”（见另项）中的语法现象都是历来被看作谬误或破例的用法中使用最广泛的现象。内容如下：

1. 「居<sup>ヨ</sup>リ」「恨<sup>ウラ</sup>ム」「死<sup>シ</sup>ヌ」可作四段活用动词使用。

2. 习惯上有使用「シク、シ、シキ」活用的终止形者如「アシシ」、「イサマシシ」等，不妨按习惯使用。

3. 过去助动词「キ」的连体形「シ」也可用作终止形。

①火災ハ二時間ノ長<sup>ナガ</sup>キニ亘<sup>ワタ</sup>リテ鎮<sup>チンクワ</sup>火セザリシ。／大火蔓延达两小时而未扑灭。①金<sup>キンユウ</sup>融<sup>セイヒツ</sup>ノ静謐<sup>ワリアイ</sup>ナリシ割合ニハ金<sup>キン</sup>利<sup>リ</sup>ノ引<sup>ヒキユルミ</sup>弛<sup>ミ</sup>ヲ見ザリシ。／金融稳定，但利率不见下降。

4. 「コトナリ」（異）也可用「コトナレリ」、「コトナリテ」、「コトナリタリ」。

5. 应当用「……セサス」时，有省略「セ」的习惯者也可按习惯使用。

テナラヒ  
手習<sup>テナラヒ</sup>サス。／使（之）习字。

シウセン  
周旋<sup>シウセン</sup>サス。／令（其）关照。

バイバイ  
賣買<sup>バイバイ</sup>サス。／使（其）买卖。

6. 应当用「……セラル」时，有使用「……サル」的习惯者也可按习惯使用。

ザイ  
罪<sup>ザイ</sup>サル。／获罪。

ヒヤウ  
評<sup>ヒヤウ</sup>サル。／被评论。

カイシヤク  
解 釈 サル。／被解釋。

7. 应当用「得シム」时，也可使用「得セシム」。

①優等者ニノミ褒賞ヲ得セシム。／仅使优等者获奖。②上下貴賤ノ別ナク各其地位ニ安ンズルコトヲ得セシムベシ。／无上下貴賤之別，应使之能各安其位。

8. サ行四段活用动词下接助动词「シ・シカ」时，如「暮シシトキ」、「過シシカバ」等也可用「暮セシトキ」、「過セシカバ」。

①唯一遍ノ通告ヲ為セシニ止マレリ。／仅通知过一次。②攻撃開始ヨリ陥落マデ僅ニ五箇月ヲ費セシノミ。／自开始攻击至攻陷仅费时五个月。

9. 助词「ノ」接在动词连体形下也可再接名词。

①花ヲ見ルノ記。／《赏樱记》②学齡兒童ヲ就学セシムルノ義務ヲ負フ。／负有使学齡兒童就学之义务。③市町村曾ノ議決ニ依ルノ限リニアラズ。／不在受市町村会议决条款束缚之列。

10. 表示疑问的助词「ヤ」也可接在动词、形容词、助动词的连体形下。

有ルヤ。／有乎？

面白キヤ。／有趣耶？

父に似タルヤ母に似タルヤ。／似父乎？似母乎？

11. 助词「トモ」有接在动词、使役助动词和被动助动词连体形下的习惯者，可按其习惯使用。

①數百年ヲ経ルトモ，／纵经數百年（之久），亦……。②如何ニ批評セラルルトモ，／即或受到何等批评亦，……。③強ヒテ之ヲ遵奉セシムルトモ，／纵强使之遵奉，亦……

12. 助词「ト」有接在动词，使役助动词、被动助动词及时相助动词连体形下之习惯者，也可按其习惯使用。

①月出ヅルト見エテ，／月似升起……。②嘲弄セラルルト思ヒテ，／觉得遭受嘲弄。③終日業務ヲ取扱ハシムルトイフ。／据云，终日使〈其〉料理业务。④萬人皆其德ヲ稱ヘケルトゾ。／据闻万人皆称其德。

13. 用表示并列的助词「ト」时, 在不生误解的情况下, 可把其最后一个并列词下面的「ト」省略。

①月<sup>シ</sup>ト花<sup>ケウ</sup>(ト)ノ月与花。②宗<sup>シユウ</sup>教<sup>ケウ</sup>ト道<sup>ダウ</sup>徳<sup>トク</sup>(ト)ノ関係ノ宗教与道德之关系。③京<sup>キヤウ</sup>都<sup>ト</sup>ト神<sup>カウ</sup>戸<sup>ベ</sup>ト長<sup>ナガ</sup>崎<sup>サキ</sup>(ト)ヘ行ク。ノ去京都, 神户, 与长崎。

最后一个「ト」省略时可产生误解的例句。

①史<sup>シ</sup>記<sup>キ</sup>ト漢<sup>カン</sup>書<sup>シヨ</sup>トノ列<sup>レツ</sup>傳<sup>デン</sup>ヲ読<sup>ヨ</sup>ムベシ。ノ应读《史记》与《汉书》的列传。

14. 上有疑问词时, 下面可以用表示疑问的助词「ヤ」。

誰<sup>タ</sup>ニヤ問<sup>ト</sup>ハシ。ノ将问于谁?

如何<sup>イカ</sup>ナル故<sup>ユエ</sup>ニヤ。ノ乃何原故?

幾<sup>イク</sup>何<sup>バク</sup>ナルヤ。ノ(为)几何?

如何<sup>イカ</sup>ニスベキヤ。ノ应如何为(之)?

15. 用助词「モ」将产生误解时, 也可使用「トモ」或「ドモ」。

①何<sup>ナン</sup>等<sup>ラ</sup>ノ事<sup>ジ</sup>由<sup>イウ</sup>アルモ(アリトモ)議<sup>ギ</sup>場<sup>ヤウ</sup>ニ入<sup>ハイ</sup>ルコトヲ許<sup>ユル</sup>サズ。ノ纵有任何理由亦不许进入会场。②期<sup>キ</sup>限<sup>ゲン</sup>ハ今<sup>ケ</sup>日<sup>フ</sup>ニ迫<sup>セマ</sup>リタルモ(タレドモ)準<sup>ジュン</sup>備<sup>ビ</sup>未<sup>イマ</sup>ダ成<sup>ナ</sup>ラズ。ノ今日限期已至, 但准备未妥。③經<sup>ケイ</sup>過<sup>クワ</sup>ハ頗<sup>スコ</sup>ル良<sup>リヤウ</sup>好<sup>カウ</sup>ナリシモ(シカドモ)昨<sup>キ</sup>日<sup>ノウ</sup>ヨリ聊<sup>イササ</sup>カ疲<sup>ヒ</sup>勞<sup>ラウ</sup>ノ状<sup>アリサマ</sup>アリ。ノ过程颇佳, 但自昨日起稍有疲劳现象。

可产生误解的例句。

①請<sup>セイ</sup>願<sup>ゲク</sup>書<sup>ワンシヨ</sup>ハ会<sup>ク</sup>議<sup>ワイギ</sup>ニ付<sup>フ</sup>スルモ(ストモ)之<sup>コレ</sup>ヲ朗<sup>ラウ</sup>読<sup>ドク</sup>セズ。ノ用「トモ」, 意思是: 申请书即使送交会议亦不宜读; 用「ドモ」意思是: 申请书虽送交会议, 但不宜读。②給<sup>キ</sup>金<sup>フキン</sup>ハ低<sup>ヒク</sup>キモ(クトモ)應<sup>オウ</sup>募<sup>ボウ</sup>者<sup>シヤ</sup>ハ多<sup>オホ</sup>カルベシ。ノ用「トモ」意思是: 工资纵然低下, 亦可能有不少应募者; 用「ドモ」, 意思是: 工资虽低, 但会有不少应募者。

16. 有用「ナル」代替「トイフ」的习惯者, 也可按其习惯使用。

①イハユル哺<sup>ホ</sup>乳<sup>ニユウ</sup>獸<sup>ウジウ</sup>ナルモノ, ノ所谓哺乳兽者, ……②顔<sup>ガン</sup>回<sup>ククイ</sup>ナルモノアリ。ノ有名颜回者。

文法性 ブンポウセイ 合乎语法性

一个句子合乎语法, 即合乎惯例, 便具有“合乎语法性”。是gramm-



aticalness或grammaticality的译词。

转换生成语法学家乔姆斯基认为所谓语法就是存在于一种语言中的生成合乎语法的正确句子，而不生成不合乎语法的句子的规则总体。他还认为，是否合乎语法要由标准的发话人从语感来判断。

有时，是否合乎语法不是绝对的。“合乎语法度”就是合乎语法的程度。“A. 桜の花が咲いた。B. 花の桜は咲いた。C. 桜が花は咲いた。”这三个句子中，A完全合乎语法，合乎语法度最高，B次之，C根本不合乎语法，因此合乎语法度最低。

传统语法一般把词划分到词类即大范畴为止。这样，对于“僕は犬に歩かせた”之类每个词的用法都合乎常规的句子只能解释说：合乎语法，但实际上不用。转换生成语法在词类下继续划分次类即次范畴。这样，对上述句子可以解释为：非意志性的行为者成为使役对象时只能用を，所以上例不合乎语法，应改为～犬を～。

传统的语法只从实际表达出来的合乎语法的例子为资料，从中归纳语法规则，这固然是语法研究的重要方面。但是，实际上不存在的不合乎语法的句子也能够从反面证明合乎语法的句子的合理性。

自从转换生成语法问世以来，语法学者大多用星号(※<sup>ほしじるし</sup>星印)表示不合语法，用两个星号“※※”表示极端不合语法，用“?”表示语法度不太高或稍有问题，用(??)表示问题较大。

### 文法的事実 ブンポウテキジツ 语法现象

从语法的性质上观察到的现象。和语音现象、语义现象并列。一个语言片断同时具有上述三个现象。如，“知らない”有自己的读音[ʃiranaɪ]，这是语音现象；它表示“不知道”这个意思，这是语义现象；它是动词的未然形后续助动词ない形成的，这便是语法现象。

语法现象是语法规律的外在表现，是探讨语法规律的客观依据。如，从“知らない、分らない、行かない、見ない、来ない”等等语法现象中，我们可以得出一条语法规律，动词未然形后续ない表示该词的否定。

### 文法範疇 ブンポウハンチュウ 语法范畴

【解释】对同类语法现象所包含的共同的语法意义、形式、功能所作的抽象概括和归纳。例如，所有的格的语法意义和形式构成“格”这个语

法范畴。

由于概括程度和归纳范畴的差别，语法范畴的数目和内容不是绝对的。通常公认的语法范畴有：性、数、格、人称、时、体、态、语气等等。这些属于语法形态范畴，除性、数外日语中也存在。还有人认为主语、谓语、宾语、补语、独立语等每一种句子成分都是一个语法范畴，属于语法功能范畴。还有人认为名词、动词等每一个词类都是一个语法范畴，兼有上述两类语法范畴的特点。

语法范畴虽然是在客观世界的基础上和客观逻辑基础上产生的，但是和客观世界及逻辑不是相同的概念。语法范畴有自己的概括和归纳方式，如：命令形（雨雨降れ降れ）表示愿望，就不能按逻辑去推论。正因为这样，各语言的语法范畴互不相同。

【日语的语法范畴】通常认为日语具有下列语法范畴：格、人称、时、体、态、语气。性和数在日语中属于语义范畴。有关敬语的各种表达方式是否可归纳为一个语法范畴，尚无定论。

总之，日语的语法范畴主要是建立在语法功能方面。形态上的语法范畴在日语中是不完整的。

#### 文法論 ブンポウロン 语法学

【解释】以语法为研究对象的学科就是语法学，日语又称“文法学”。通常也称语法学为语法（文法），参见“文法”项的第2个意义。

【日语语法学】语法学主要有三大流派，即所谓三大派——传统语法、结构主义语法和转换生成语法。日本的语法学家中很多人都受到三大派中的某一派或某一个代表人物的影响，但是把这些学者和某一派对应起来却常常是很困难的。

日语语法学起步较早，在江户时代就有了多种语法学说。明治以后，出现了许多种不同程度上受西方语言学影响的语法体系。其中最著名的有：由大槻文彦创立的大槻语法，被称为现代日语语法的鼻祖，以“东西合璧”为特点，直接脱胎于西方语法体系，同时注重和日语实际相结合。由桥本进吉创立的桥本语法和由山田孝雄、时枝诚记分别创立的山田语法和时枝语法，俗称“三大文法”，这是直今最主要的三种日语语法体系。另外的著名语法体系有由松下大三郎创立的松下语法。

【内容】语法学一般包括词法和句法部分，有的语法体系中还设有文章学、敬语以及简单的文字学、词汇学、语音学等。但通常说的语法学是与词汇学、语音学并列的。在新的语言理论中，语法更是中心课题。在音素、音位、词素、词、词组、句子、文章等等语言单位中，语法学研究词以上的单位。日语语法自大槻文彦的《大日本文典》至今，基本上把重点放在词上，即放在词法研究上，这不能不说是严重缺陷。句法学受到忽视，至今未形成系统的句法理论。近年来关于句子如何成立、句子的典型结构关系、句子结构的语义关系及其类型等方面有一些进展。

### 文脈 ブンミャク 文脉

根据表达意图而产生的语言内容的连贯性叫作文脉。可分为句子的文脉和文章的文脉两大类。

【句子的文脉】句子的文脉是由各成分之间的关系构成的。其中，主谓关系是决定性因素，其次是修饰被修饰关系、补助被补助关系等。

日语句子文脉的主要特点。

1. 主语经常省略，真正的主语要依靠上下文脉而得出或理解。参照“主語の省略”项等。
2. 在可能的情况下，“～テ、～シテ”形式后面的动词的格成分也常省略，而正确的理解依存在上下文脉。如“彼に会って、その本を渡した。／遇见他，把书交给他了。”在“その本”之前理论上还有一个“彼に”。
3. 句中用言的“～シ、～シテ”等形式不表示时和体时，实际上的时和体等依存于句末。如上例“会って”表示的时态是什么，可以从“渡した”间接得出：是过去时。
4. 提在句首的主题往往和句中的几个用言相关联，他和各个用言的格关系依存于该用言的性质。如“その本は、読みましたが、まだ分りません／那本书读了，但还没懂。”“本は”相对于读来说，是“～を”，相对于懂来说，相当于“～が”。

【句子的特殊文脉】句子的一般文脉是通过各成分间的语法关系构成的。以下几种情况都在一定程度上脱离了这种关系，所以是特殊文脉。

1. 插入语（插入句）。即插入到一个完整句子之间的词语或小句。



它使句子暂时离开了原来的文脉。详见另项。

先週、何曜日か忘れたが、田中に会った。／上星期——我可忘了是星期几了——我遇见田中了。

2. 提示再归（提示再帰）。用总括性的词语对某部分词语或小句进行提示，并使其重新回到预定的文脉上。

①打倒とか必勝とか，そんなスローガンばかりです。／什么打倒啦必胜啦，尽是这样的标语。②自分が非常に偉い，そう思いこんでいるにちがいない。／自己非常了不起，他准是这么认为的。③わたくしは，この際断固たる処置を取るべきだと，かように信ずるものであります。／在这种情况下应该采取坚决的措施，我这样认为。

3. 曲流句（曲流文）。文脉在句子的某一部分偏离了原来的方向，又接新的文脉发展，这一现象日语中称为曲流，这样的句子就是曲流句。如下例②，预定的文脉（主谓关系）是“～趣味は～ことです”，结果在“こと”处又产生了新的文脉。

①途中に停まります駅は，生駒までの各駅と石切・鶴橋に停車いたします。／中途停车站为生驹之前的各站和石切、鹤桥。②僕の趣味は小鳥を飼うことが好きです。／我的爱好喜欢饲养小鸟。

中世纪的日语中曲流现象很多，是由系结（係り結び）现象被打乱，即一个系在中途被另一个系顶替等所造成的。现代日语的曲流现象，多数是语法错误，如例②改正方法有二，一是将“の趣味”，二是将“が好き”去掉。

【文章的文脉】文章的文脉体现在内部的句子、断落、章节等文章单位本身的文脉和这些单位之间的关联中。文章的文脉取决于主体对主题和内容的题材如何选择和组织。文章文脉的体现手段有接续词、指示词、同词反复、关联词语以及这些手段的综合运用。句与句、断落与断落之间的意义关系能够体现顺接、逆接、添加、转换等文脉关系。一般文章按逻辑顺序展开文脉，但诗或文学作品中的文脉常有跳跃性。以上均属线条性文脉（线条的文脉）。广告的文脉经常表现在版面设计上，出现于一个平面上，属非线条性文脉，（非线条的文脉）。文脉一般在同一主体的表现过程中形成，但由多数主体参加的语言活动和创作的作品，如连歌、相声、讨论、



座谈等，其文脉由多数主体的表现所形成。在电影、戏剧、小说等复杂的文学文艺作品中，除了整个作品的主要文脉以外，还要有许多涉及某些个人或事件的较次要的文脉，以此构成纵横交错，平面立体相结合的文章结构。书写时另起行，分章节，分条目等，都是表示文脉的扩展和转换。

### 分類語 ブンルイゴ 分类词汇

【释释】把语义场按上下不同层次的从属、被从属关系进行分类所得到的词汇系列称为分类词汇。比如，从“動物”开始可按下述几个层次来分类。第1层，動物：けもの、さかな、とり、はちゅう類……。第2层（以“はちゅう類”为例），はちゅう類：へび、かえる、わに、いもり……。第3层（以“かえる”为例），かえる類：あおがえる、ひきがえる、あまがえる……

每个层次中的词之间是类义关系或同位关系，对上一层是从属关系（是其“下位語”），对下是包容关系（是其“上位語”）。用这种方式汇编成册，就是“分類語彙表”或“シソーラス”（分类词汇表）。

因分类词汇是按义项分的，所以多义词的各个义项分别属于不同的上位词下。

这种分类要始终沿着直接从属关系作次分类，如，不能把“動物”直接分成“とり、へび、かえる、みつばち”。

分类的侧重点是体言。用言的分类层次较少。另外，用言的分类大多数情况下音读词成为固有词的“下位語”，如：帰る：帰国する、帰宅する、帰郷する……

【分类词汇表】如何编制分类词汇表是语言学界的一大课题，有关研究正在进行之中。下面介绍其中之二，以见其概貌。

国立国语研究所的「分類語彙表」是有权威性的一种。第1层分：体の類（名词）、用の類（动词）、相の類（形容词）、その他。以“体の類”为例，第2层又分：抽象の關係、人間活動の主体、人間活動、生産物及び用具、自然物及び自然現象。以“自然物及び自然現象”为例，第3层又分：刺激、自然、物体、物質、宇宙、空、生物、動物、からだ、生命。以“動物”为例，第4层又分：獸、鳥類、はちゅう類、両生類、魚。以“鳥類”为例，第5层又分：からす、おうむ、さぎ、はと、ちどり、ほ

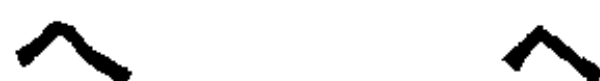
うおう，等。其余分类方式亦相同。

大野晋、滨西正人的分类采用十进制制。第1层只有3类：自然、人事、文化。从第2层起分10类，第2层为：自然、性状、变动（以上“自然”）、行动、心情、人物、性向（以上“人事”）、社会、学芸、物品（以上文化）。以“物品”为例，第3层分：物质、药品、食品、衣类、建物、家具、文具、标识、工具、器材。第4、5层亦然，但第5层是最后一层，列有同类的很多语义具体的词。

分类词汇表有以下用途。1. 会话、作文、翻译时都可以作为表达词典来用，以便选取更准确更丰富的词汇。2. 为语言工作者提供确定基础词汇的基本材料。要确立基础词汇，首先要了解语义构成的基本情况，然后才能根据必要性、作用、使用情况等选择适当的词作基础词汇。3. 提供类义、同义关系、有助于学习、辞典释义等。4. 为了解方言的分布和命名的变迁提供线索。方言地图的绘制也离不开分类词汇表。5. 作调查个人语言或集团语言以及作品中的词汇特征的依据。分类词汇表是整个词汇的一览表，它能够确定个人或作品词汇在整个词汇中的位置。

文論 ブンロン 句论、句法、句法学

⇒構文論



へ〈格助词〉

读音为え。

【接续】接体言及体言性词组后。可后续格助词の、提示助词は等。

①海辺へ行く。／去海边。②彼までへ見舞状が来た。／甚至他也收到了慰问信。③兄への手紙／给哥哥的信。④北海道へは一度しか行かなかった。／北海道只去过一次。

△后续用言为动词，不能后续形容词、形容动词等。这一点不同于近义助词に。

【意义】1. 表示移动性动作行为的方向。和移动性动词搭配。

①一行は明日ハワイへ立つ予定である。／一行预定明天动身去夏威夷。②一匹の猿が木の上へ上がっては、また下へ降りる。／一只猴子在树上爬上爬下。③前へ進め！（口令）／齐步走！④私は昨日九州へ福岡まで行った。／我昨天去九州方面到了福岡。⑤植村はチラリと外へ目をやった。／植村向屋外瞟了一眼。⑥国連へ向け盲人折り紙使節団を派遣する予定である。／预定向联合国派遣一个盲人折纸使节团。

△可以用～から～へ形式把起点和方向同时表示出来。

①敵兵は拠点からここへ進行中です。／敌兵正从据点向这边移动。

△组成惯用形～から～へと和～へ～へと，表示反复或持续向一个方向移动。

①列車は北へ北へと走り続けている。／列车不停地向北驶去。②原住民は原始林の奥へ奥へと追い込まれていった。／土著居民被一步步赶进了原始森林的深处。③ミサイルが地面から宇宙へと向う途中軍用衛星を撃墜する。／导弹在从地面向太空飞去的途中击落军用卫星。

2. 表示动作、行为的实现地点。同时包含向这个地点移动的语气。

①あなたは、どこかへ車をとめてあるんでしょう。／你准是把轿车停到什么地方了吧？②広子の家へも早速訪問してみました。／也迅速到

广子的家作了访问。③近くにあった切株へ腰を降ろした。／向附近的一个树墩儿上坐下来。④向こうへ着いたらすぐ知らせます。／到了那边就立即通知你。⑤机の上へ置いてあるじゃないか。／不是放在桌子上了吗？⑥今までこんな所へ奉公したことがない。／从没到过这样的地方作用人。⑦私の好きな帽子はどこへか見えなくなった。／我喜欢的帽子不知丢在什么地方了。⑧客は奥の方へ座をしめた。／客人到里面就了座。

### 3. 表示动作、行为所针对的对象、目标等。

①女中が<sup>ろうじ</sup>宝玉と黛玉へご飯を呼びにきた。／丫环来招呼宝玉和黛玉吃饭。②路地へ出てゆく伝兵衛へお富は、頭を下げた。／阿富冲着向胡同走去的传兵卫鞠了一躬。③男の方々に日本女性への希望を聞きたいです。／我想向各位男士征询一下对日本女性的希望。④田中さんへは人形を贈りましょう。／向田中就赠送个偶人儿吧。⑤60歳定年へ法律を作れ。／要制定60岁退休的法律。⑥長井は、何によらず、誠実と熱心へ持って行きたがる。／长井遇事便爱向诚实和热心上联系。⑦勝利へ闘志を燃やすゲリラ隊／为胜利充满斗志的游击队。

4. 表示流动的时间上的某一点。只局限于一些惯用说法。含有“一个动作来到这个时间场合”的语感。是从表示地点的用法转来的。例②、③分别参照そこへ、ところへ项。

①父が死んだあとへ帰国した。／父亲去世后，才回国了。②そこへ、全く突如と、和服姿の女姿が現われた。／这时，突如其来地出现一位和服打扮的妇女。③敗戦前年からの思わしからぬところへ、昭和22年4月には母が急死した。／从战败前一年起就遇事不如意，又于47年4月母亲突然去世。

### 【参考】へ和に的区别。

1. へ产生于名词“方、辺”等词，在古代主要表示方面，而用に表示归着点。在现代，へ和に常可互换使用，如“東京に着いた；東京へ着いた／到达东京”两者都表示归着点。但に比へ更自然，へ仍有古用法的痕迹。两者都表示方向时へ常和过程相联，に单纯表示结果。例：無人島へたどりつく（经长期漂流）。無人島にたどりつく（单纯的结果）。以下两种情况下へ不能用に代替。



1) 只有方向而无归着点可言(例①)、在实际上或感觉上归着点遥远而模糊(例②)、强调过程的长度因而方向感很强(例③、④)。

①外へ開けた窓／向外开着的窗户。②海のかたなへ飛んで行ってみたい。／想飞到大海的那一边去。③そこへ坐りなさい。(※ここへ坐りなさい)／请坐到那边。④一步一步重い足取りで庭へ出ていった。／以沉重的脚步一步步向院子里走去。

2) 搭配的方向性动词省略(例①)、和の结合成への(例②)、用に则重复(例③)时。

①参観者は奥の方へ。／参观者请到里面。②貴族から人間への脱出／脱离贵族成为平民。③三月に一緒に日本へ行く。／三月里一起去日本。

2. 有时会遇到用へ表示に的其他意义的情况,这是从に类推来的,不宜模仿。如下例表示比较的基准。

①縁側へ近い所(「吾輩は猫である」)／距走廊很近的地方。

**平叙表現** ハイジョヒョウゲン 叙述表达法

【性质】叙述和感叹、疑问、命令等相对。广义的叙述表达法包括推测、希望等。狭义的叙述只包括没有主观色彩的表现形式,而不包括推测等。如:今日は雨だ。／今天下雨。今日は雨が降る。／今天下雨。今日は雨がひどい。／今天雨下得大。

以上句子可通过后续らしい、のだ、か等助词助动词而成为表示推测、疑问等的句子,可见叙述表达法是其他表达法的基础。叙述表达法和感叹表达法一样,通常不要求对方作出某种反应。

【用法】主要有以下3种。

1. 如实地描写具体事实。谓语中没有主观色彩明显的助词助动词。

①高田さんが東京に来ています。／高田来到东京了。②この点だけは確かだ。／至少这一点是确凿的。③風がひどい。／风很猛。

2. 对事实加以确认。常带有想起、回忆的语气。主要用～た形式表示。

①これまで、彼の才能は挑戦されていなかった。／至今他的才能未受到挑战。②天気予報では今日雨だった。／天气预报说今天有雨来着。

③去年の夏は雨が少なかった。／去年夏天雨水少。

3. 表示判断。主要用～だ、～です形式表示。

①今度のミスは僕の責任だ。／这次失误是我的责任。②これが桜の木です。／这就是樱花树。

【特征】叙述表达法一般用叙述句，而叙述句一般有主语和谓语。主语省略的机会远比谓语多（参照“主語の省略”项）。谓语一般不能省略，在会话和谚语中时有省略谓语记号的现象。

①私は看護婦。／我是护士。②昔は今の鏡。（谚语）／历史是现实的镜子。

**平叙文** ハイジョブン 叙述句

根据句子性质划分的句子种类之一。

叙述句用降调。桥本认为日语的叙述句表示肯定或否定内容的判断、推测、意志。

【用法】1. 以判断、推测、传闻等语气叙述客观事实。

①彼の言うことは筋が通っている。／他所说的有道理。②今日は仕事が遅くなるだろう。／今天可能干到很晚。③夜にはにわか雨があるそうです。／听说夜里有骤雨。

2. 表示决心、意志等说者的主观思想、感情。

①来週には渡米するつもりです。／下星期打算赴美。②奈良に行ったら東大寺を見学しようと思います。／到奈良后想参观东大寺。③俺の悪口を言ったらただではおかないぞ。／说了我的坏话可不能饶了你。④こういった誤りは二度と犯すまい。／我决不再犯这种错误了。

3. 形式上是叙述句，但是带有命令的语气，可表示强烈的命令、要求。也可看作命令句的一种。

①さあ、起きる！／我说，起来吧！②汽車に注意すべし（标语等）／注意火车！③こら，おしゃべりをしない！／喂，别说话了！④じゃまだから，どいた，どいた！／碍事，躲开！躲开！

从结构上看，任何人称都可做主语。谓语可由用言终止形充当，或由用言活用形及体言加助词、助动词充当。见以上例句。

⇒文の分類

# 並立語 ハイリツゴ 并列语

【性质】 句子成分之一。与后续成分发生并列关系的成分叫作并列语，后续成分叫作被并列语（被並立語）。

①パンと牛乳がある。／有面包和牛奶。②昨日は映画を見たり，テレビを見たりした。／昨天又是看电影，又是看电视。

杉山荣一等把并列语作为单独的句子成分种类看待。由于并列语不能单独作句子的第一层次上的成分，要和被并列语结合起来，才能作第一层次的成分（如例①“パンと牛乳が”整个才能做主语，并列关系在主语内部），所以桥本语法，教学语法等不设并列语，而是看作句节之间关系的一种。

【种类】 1. 名词性的并列语。这种并列语可用助词と、や、だの、も、また等和被并列语连结起来。也可以不用任何助词。

①動物の習性や運動を観察する。／观察动物的习惯和活动。②生活の中で，家庭・家族といったものは，どんな位置を占めているだろう。／生活中，家庭、家属这些占有什么样的位置呢？

2. 副词性的并列语。

①ゆっくり，はっきり言いなさい。／请说得慢些、清楚些。

3. 用言性的并列语。可用连用形（渡边实把这种情况特称为并列形）、连用形＋て、たり、终止形＋し等方式连结。

①小川は緩やかに，そして微かな音を立てて流れている。／小河缓缓地而且发出微弱的声音，在流淌着。②彼は京都へ行って，奈良へ行った。／他去京都，又去了奈良。③彼は京都へも行ったし，奈良へも行った。／他既去了京都，也去了奈良。④それは，現場へ行き，ほんものを見た人でないと分らない。／这一点，不是到现场去并看过实物的人都不能理解。⑤空気がすがすがしく，また友達も一緒なので，旅行は非常に愉快でした。／空气新鲜，还有朋友也在一起，旅行非常愉快。

这种并列语，如果和被并列语之中的用言相同，则可以省去。如上例

②、③可改为下例：

彼は京都へも奈良へも行った。／他京都、奈良都去了。

并列的几个用言的词尾部分相同时，也可以只保留最后一个。

①検討・討議する。／研究、讨论。②何か超自然的，神秘的ものが潜んでいるような感じがした。／感到好象暗含着某种超自然的、神秘的东西。③筆致も素朴かつ雄渾である。／文笔也朴实而且浑厚。

【与被并列语的关系】二者是平等的关系。如果是主从、修饰等关系，就不再是并列语与被并列语了。所以，一般二者的位置可以互换而意思不变，如前面各例。例外有二：一是谚语等固定说法，二者不得互换，如“犬と猿の仲／水火不相容的关系”。二是由于习惯，改变位置会产生不自然，例如“パンと牛乳／面包和牛奶”、“大きく赤い花／大红花”。

**並立助詞** ヘイリツジョシ 并列助词

【性质】助词的一种。表示词或词组乃至分句之间的并列关系。也称“对立助詞、并列助詞”。

在造句过程中，并列助词之间不能重叠使用。与其他种助词重叠时，通常位于其后。

1. 和格助词重叠的情况请参见“格助詞”项。
2. 和副助词重叠时情况较复杂，主要有两种情况。

1) 通常接于副助词后。

①県によって，畠だけと水田だけ（と）の所もある。／不同的县分，也有只有旱田或只有水田的。

2) 在并列助词参与下构成一个名词性词组时，并列助词位于副助词前。

①煙草と酒（と）だけは節制しなくてはならない。／烟酒一定要节制。②松や梅や竹（※や）などは古い本によく出てくるものです。／松、梅、竹等古书中常出现的。

并列助词就整个词类来说，可接于用言、体言、副词等词语之后。

①月とスッポンの差。／天壤之别。②来るやら来ないやらはっきりした返事がない。／来不来没回个准信儿。③ああやらこうやらと言い争う。／各执其理地进行争论。④北からと南からと両方から同時にほり始めた。／从北面和从南面两个方向同时开始了挖掘。

并列助词的主要作用在于构成一个词组，而这个词组对于句子通常只是一个成分，可作句子中的定语（2中1）的例①）、主语或主题（2中



2) 的例②宾语或主题(2中2) 的例①)、同位语(上例④)、补充语(上例③、下例①)、谓语(下例③、④)等。

① ホンコンとマカオとに事務所が設けてある。／在香港和澳门设有办事处。  
 ② お菓子に果物に腹一杯食べました。／又是糕点又是水果，吃得饱饱的了。  
 ③ 今晚はテレビか映画です。／今晚看(演)电视或电影。  
 ④ うれしそうに飛んだり跳ねたりしている。／很高兴地又蹦又跳。

并列助词或有格助词性质，或有接续助词，副助词等性质，所以有的语法不设并列助词。不过，前面的所有用法是别的助词不具备的。

【范围】一般认为包括や、と、に、とか、か、なり、やら、だの、の、たり(だり)、し等。

“も”也有并列用法(先生も学生も笑った。／老师和学生都笑了)。但是“も”不参与构成名词性词团，而是直接构成句子成分。可见只是意义上并列。

【种类】以上并列助词可作如下分类。

1. 单纯并列: と。
2. 例示性并列: とか、や(～など)、やら(～やら)、だの、たり。
3. 选择性并列: か、とか、なり。常和接续词一起用。

① 法律か、もしくは条令で規制すべきだ。／应该用法律或者条令作出规定。

4. 对比性并列: (～う) と、(～う) が、の。
5. 累加性并列: に、し。

**並立表現** ハイリツヒョウゲン 并列表达法

表示两个或更多的事物、行为的并列、并存的表达法。并列的形式是多样化的，主要有穷举性的(も、と等)并列、选择性的(か、とか、なり等)并列、添加性的(に等)并列、例示性的(やら、だの、の等)并列等。以下只就穷举性的并列进行说明，余见选择、添加、例示各表达法。

【形式】 1. 用并列助词と、も、たり、の表示。

① 水と水蒸気と氷は形は違うが物質的には同じだ。／水、水蒸气和冰虽然形状不同，从物质上说是一样的。  
 ② 捕って来たセミは死んだり逃げ

たりして一匹も残っていない。／捉来的知了死的死逃的逃，连一只也没剩。③子供たちが海へ行くの山へ行くのと騒いでいる。／孩子们有的说下海有的说上山，吵吵嚷嚷。

## 2. 直接用名词并列或用句子并列。

①東京・京都・大坂／东京、京都、大坂。②吸いがらを平気で投げ捨てる人がある。道に捨てる。階段に捨てる。プラットホームに捨てる。／有些人把烟头儿随意乱扔。往路上扔。往楼梯上扔。往月台上扔。

3. 用并列性的接续词また、及び、そして、しかも、同時に等表示。

①昨日は神田へ行って来た。そして新宿にも行って来た。／昨天去了趟神田。又去了一趟新宿。②楊子江は長い。しかも広い川でもある。／长江很长，而且还是很宽阔的河流。

## 4. 用用言的连用形、连体形等表示。

①夏はバカに暑く、冬はバカに寒い所です。／是个夏天特热，冬天特冷的地方。②音楽が大好きで、勉強はごめんです。／特别喜欢音乐，学习就不想干了。③高度成長を遂げ、もとの生産性を回復するまでには何年もかかる。／实现高度增长，恢复原来的生产效率，要很多年时间。④これは立派な、人の心を親切にさせてくれる、愛に満ちた音楽であります。／这是美妙的、使人感到亲切、充满着爱的音乐。

5. 用接续助词表示。有が、けれども、ば、し等，和“同時の表現”相同。

①僕はお茶にするが、君は？／我来茶，你呢？

## 6. 语法词组。

①この文章は内容といい、形式といい、立派なものだ。／这篇文章无论内容还是形式都是好的。②中学生であろうと、高校生であろうと、熱心に勉強する者は少ない。／初中生也罢，高中生也罢，热心学习者少。③日本にせよ，朝鮮にせよ，無油国であるため，海底石油開発に熱心である。／日本也好朝鲜也好都是无油国家，所以对开发海底石油很积极。④頭といわず胸といわず傷だらけだった。／头上和胸部满是伤。⑤

屋上からにしろ，街路からにしろ，完全冷暖房のため，窓は外から開けるのは不可能だ。／因为是全式冷热调节，无论是从房顶还是从临街方向，窗子从外面打开是不可能的。

7. 并列用的惯用型 “一つは～一つば”、“一方では～他方（一方）では”、“片や～片や” 等。

①一つは資金の問題，もう一つは人事の問題をかかえている。／面临资金的问题，还面临人事的问题。②一方，高い地位にあり，一方，つまらないことに悩まされている。／地位很高，然而也为无聊事情而烦恼。

べからず <词组>

【构成】文语助动词べし的未然形活用词组，由未然形和否定助动词ず结合而成，べからざる为其连体形。

【接续】同べし。

【意义】べし的否定形式。属文言残余，偶尔用于口语体文章中。具体如下。

1. 表示不可能。

①その混乱実に名状すべからず。／其混乱实难名状。②当たるべからざる勢で進む。／以破竹之势挺进。

2. 表示不可能（べからず）和可能（ざるべからず）。

①今の事情ではそれは有り得<sup>う</sup>べからざることであった。／按现在的情况，是不可能的事情。②洋商の向ふ所は亜細亜に敵なし，恐れざるべからず。／在亚洲洋商所向无敌，实在惊人。

3. 表示禁止，与べし的命令用法相对。

①室内の物品は無断で持ち出すべからず。／室内物品 不 许 擅自带出。②芝生に入るべからず。／不要进入草坪。

べきだ <助动词>

【活用】形容动词型。

基本形	词干	未然	连 用	终 止	连体	假 定	命令	推 量
べきだ	べき	○	べきで べきだっ	べきだ	○	(べきなら)	○	べきだろ

## 1. 词干。

## 1) 后续です。

①この點は注意すべきです。／这一点应该注意。

## 2) 后续终助词。

①学校では、「親の言うことを聞くべきか。」を討論している。／学校里正开展“是否应该听父母的话?”的讨论。

3) 后续格助词、提示助词等,用作体言。有文言色彩。下例①、②可看作～べきところが、～べきところを的省略,例③可看作～べきところは之略。

①本当は行くべきが行かないでいる。／按理应该去而至今没去。②本来なら「ならば」というべきを略して「なら」という。／本来应该说“ならば”,略之说成“なら”。③注意すべきは、この両者の差のはげしいことである。／值得注意的是,这二者之间的差异很悬殊。

## 4) 构成连体修饰语,起连体形的作用。是文言べしの连体形。

①向き合っている二人は殆ど話し合うべき共通の話題を持たなかった。／尽管相对而坐,两个人却几乎没有可以交谈的共同话题。②太陽の放射は驚くべきほど莫大な量のエネルギーを持っている。／太阳的辐射蕴藏着惊人的巨大能量。③こういう事には他人が<sup>みだ</sup>りに<sup>ようかい</sup>容喙するべきはずのものではない。／对于这种事情,别人按理是不应该乱插嘴的。

## 2. 连用形。

## 1) べきで。

## (1) 用于中顿。

①私たちは人を信用すべきで、また尊敬しなければならない。／我们应该相信别人,还要尊敬别人。

## (2) 后续补助用言ある、ない等。

①人間は他人の利益も考えるべきである。／人也应该考虑他人的利益。②ああ、軽薄な人間とは交わりを結ぶべきではない。／哦,绝不可与轻薄人结交啊!

## 2) べきだ。后续た等。



①その時、きっぱりと断わるべきだった。／当时是应该断然拒绝的。

3. 无连体形。用べし的连体形即本条的词干べき代替。见词干用法。

4. 终止形。

1) 单独或后续终助词结句。

①君から注意してやるべきだ。／应该由你去提醒他。

2) 后续接续助词。

①敬称も添えるべきだが、紙面の関係で呼びすてにした。／本应加敬称，由于篇幅的关系直呼其名。

5. 假定形。不常用。可后续ば。

6. 推量形。后续う表示推测。

①やはり続けるべきだろうな。／还是应该继续下去吧。

【接续】接动词及同型助动词终止形后。其中サ变动词有～すべき和するべき两种形式。见活用1中4)的例③和2中1)、(1)的例①。在文言色彩的文章中接续不同，参见“べし”项。

【意义】1. 表示义务。

①殺人を見たら警察に報告すべきです。／见到杀人应该向警察报告。②当人のあなたがやるべきではありませんか。／难道不是应该由当事人你去做吗？

2. 表示理所当然。

①悲しむべき最期であった。／死得可悲。②文明のため国土が被害を受けていることは、天に歎くべきものであると思う。／我想，国土由于文明而受害，实在可仰天长叹啊。

3. 表示可能。常和价值有关。

①日本文学史で世界的名著とも言うべきものに「源氏物語」がある。／在日本文学史上，堪称世界名著的有《源氏物语》。②どう捜しても，読むべき本は一冊もなかった。／东翻西找，没有一本值得读的书。

4. 表示予測或推测。

①起るべき自然災害に備えて食糧をたくわえる。／为可能有的自然灾害储备粮食。②今砂糖業界は来るべき自由化問題を抱えている。／目前，制糖业面临着即将来临的自由化问题。

## べく

文言助动词べし的连用形。只用于文章语。

【接续】接于动词终止形后。

【意义】 1. 表示行动的目的。

①先端技術を学ぶべくアメリカに留学する。／为了学习尖端技术，去美国留学。

2. 表示必要性、必然性，常后续接续助词して。

①言うべくして行いがたい。／该说，但难以实行。②今度は成功すべくして成功したことで何の不思議もない。／这次成功是必然的，毫不足怪。

べし   〈文言助动词〉

【活用】

基本形	未然	连用	终止	连体	已然	命令
べし	べから	べく	べし	べき	べけれ	○

口语体中常用的只有连体形，并且，其他各形除固定说法外都能用连体形加以变化来代替（通过べきだ。见另项）。

1. 未然形。

1) 后续ず成べからず。2) 后续ざる成べからざる。前者用于结句，后者用于修饰体言。

①危険物を車内に持ち込むべからず。／不得将危险品带入车内。②当たるべからざる勢い／不可挡之势。

2. 连用形。

1) 直接或后续して来中顿。

①武蔵野は、どの方向へ行っても必ず見るべく、聞くべく、感ずべき獲物<sup>えもの</sup>がある。／武蔵野无论向哪个方向走，定有值得看、值得听、值得感怀之处。②凡て事は言うべくして行い難いものである。／凡事，言之可也，行之则难。

2) 修飾后续用言。

①私は日頃の持論を實踐すべく、早速協力態勢に入った。／我立即着手合作，以便实践我平日的一贯主张。

3) 后续补助用言あり、ない、构成べくあり（音便为べかり、亦即べからず除去ず的部分）和べくもない。

①今の地方公務員法のもとでは、局長以上を知事が自由に任免することは望むべくもない。／按照现今的地方公务员法，局长以上由知事自由任免是无可指望的。

3. 终止形。用于结句。

①汽車に注意すべし。（交通广告板）／注意火车。②彼はことさらにこの理想を今直ちに実現すべしと強調した。／他特别强调了这种理想应立即付诸实践。

4. 连体形。

①これは社会の一員としてつくすべき道なり。／此乃作为社会一员应尽的义务。

5. 已然形べけれ、后续ば、现代文章中已不出现。

【接续】 1. 接文言动词（あり接连体形）、助动词る、らる、す、さす、む、つ、ぬ等的终止形后。

①赤字をなくすべく、万全の対策を取っている。／正采取周密的对策来消灭赤字。②彼必ず来べし。／他定来。③死から逃るべき一路を切り開こうとした。／力图打开一条可死里逃生之路。④疾くくに我を忘れ去りぬべし。／恐早将我忘却。

△在文言色彩不强的情况下可接现代日语动词和助动词的终止形后。这两种终止形除五段动词外均不相同。以サ变为例：

①いよいよどちらにするか決心す（る）べき時期が来た。／已经到了该决定何去何从的时候了。

2. 接ウ变动词（あり）、形容词（～かり）、形容动词（～なり）及ウ变型助动词连体形后。

①小説家中谷崎ほど古典に通ぜる人は、恐く一人もなかるべし。／小说家中象谷崎那样精于古典者恐无一人。②いやみで下等なるべき批評

を続々と出している。／连篇累牍地发表可谓令人生厌又拙劣的评论。③秋成はより効果的たるべく筋や登場人物を整理している。／秋成重新安排情节及剧中人，以期效果更佳。

【意义】文言残余，多用于书面语。常用活用形式有べからず、べき、べく等。口语中常用べきだ表示大部分意义。形式和意义无特定对应关系，以下以意义为中心，兼及形式。

1. 表示义务、理所当然。多用べし和べき等。

①この損失は政府が全部賠償すべきである。／这一损失应由政府全部赔偿。②神は人間の従うべき教えを示すものとされていた。／神曾被视为指明人所应遵循的教义者。③虎を退治するものは当に重賞を以て酬いるべし。／除此虎者当以重赏酬之。

2. 表示命令或禁止。多用べし、べからず形式。

①午後一時，全員集合すべし。／午后一时，全体集合。②みだりに運転者に話しかけるべからず。／不得随意向驾驶员搭话。

3. 表示可能。可用各种形式。

①言葉に関する限り，私はあなたに教えるべきものを何も持っていない。／单就语言来说，我没有任何东西能教给你的。②落ちぶれて，何もするべきこともない身となった。／沦落为无可事事之人。③表現すべからざる妙味を感じとった。／领略到难以名状的妙趣。④犯すべからざる神聖なる国土／不可侵犯之神圣国土。⑤彼女は，和服を着ても，胸や腰の丸味まるみを隠すべくもなかった。／她即使穿了和服，仍无法掩盖胸部和腰部的发福。

△なるべく、なるべくなら已固定成词。

4. 表示推测，同だろう、ちがいない。

①これらの例は皆この事実を証するに足るべし。／这些事皆足资证明这一事实。

5. 表示某种事物可能引起某种感情。

①後生畏る可し。／后生可畏。②恐るべき戦争／可怕的战争。③笑うべきこと／可笑的事。④愛すべき祖国／可爱的祖国。

6. 表示说者本人的意志、决心。用于句末。



①明日も必ず参るべし。／明天亦必来。②必ずしも後悔せず。予は生活に倦まば、ピストルを取りて自殺すべし。／未必后悔。余如倦于生活，将取手枪自杀。

7. 表示动作主体的意志、决心、目的。以べく形式用于句中。相当于ように、ようと、ためには等。

①小溝を飛び越えるべく（＝とびこえようと），彼は身構えた。／他拉好了架势要跳过小河沟。②彼はこの研究に一生を捧げるべく（＝捧げようと）決意した。／他决心把一生都贡献给这项研究。③否定すべく（＝否定するには）まだ証拠が足りない。／欲否定之仍证据不足。④その両手は，この50年間，生活の資を掻き集めるべく（＝集めるために），全く熊手のように頑張ってきたのだ。／那双手，在这50年来，为抓挠生活之需，几乎是把耙子一样挣扎过来的。⑤あらかじめ部下に準備すべく（＝準備するように）命令した。／事先命令部下做好准备。

べつだん （別段） 〈副词〉

1. 状态副词用法。表示与众不同、特殊。

①別段の規定がある場合を除く。／另有规定的情况除外。

2. 陈述副词用法。同べつに。和否定形式呼应，表示未达到特别的程度、不是值得特殊提及的事项等等。

①別段重くなければ持って歩きましょう。／如果不特别重，就拿着走吧。②これは別段名文というわけではありません。／这谈不上是什么名篇。③この機械は米国のに比べても別段劣っているわけではありません。／这台机器即使和美国的比也相差无几。

べつに （別に） 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，表示不是特别高的程度、特别值得一提的事情等等。

①別に高くもない。／不怎么贵。②別にこれという理由もない。／也没什么特殊的理由。③べつに変わった話もない。／没有什么特别的事（来告诉你）。④私たちの先生はべつにひどく怒ったことはありません。／我们的老师没怎么发过大脾气。⑤「疲れただろう」「いいえ，別に」／“累了吧。”“不，没什么。”

△以下是形容动词べつだの连用形用法。

①反対を示すために、別に会議を開いた。／为表示反对，另开了会。②そんなことは別にしよう。／那件事让它另当别论吧。

### への 〈复合助词〉

读者为えの。接于体言或体言性词组后。下接同上接。へ表示上接词是下接词的行动方向、目标等。への结构是由动宾、动补结构转化而成的，具体如下。

1. 由他动词句转成的。他动词必须具有“授受”的含义。

①兄へ手紙を出す→兄への手紙／给哥哥写的信。②おいへプレゼントをする→おいへのプレゼント／送给外甥的礼物。③母を愛する→母への愛／对母亲的爱。④平和を願う→平和への願い／对和平的愿望。

前二例是通过他动词的省略而转成的，而后二例是通过他动词的名词化而转成的，因此，不能名词化的动词不能转成への结构。如，ごはんを食べる→※ごはんへのたべ。

2. 由自动词句转成的。自动词必须是方向性动词 即用格助词へ或に的动词。

①関西方面へ旅行する→関西方面への旅行／到关西一带旅行。②映画スターにあこがれる→映画スターへのあこがれ／对电影明星的向往。③（この）道は国交調整へ通じる→国交調整への道／通往调整国家关系的道路。④（この）復讐は彼へ向けられている→彼への復讐／对他的复仇。⑤夢で名人になる→名人への夢／想当名人的梦。

前二例是通过动词的名词化而转成的，因此不能名词化的动词不能转成への结构。如，関西方面へ行く→※関西方面への行き。其他例是通过～へ或～に成分以外的成分作后续词而转成的。

### 变格活用 ヘンカクカツヨウ 变格活用

文言及现代日语中几种动词活用类别的统称。文言中有サ行变格活用、カ行变格活用、ナ行变格活用、ラ行变格活用，现代语有前两种。详见各项。

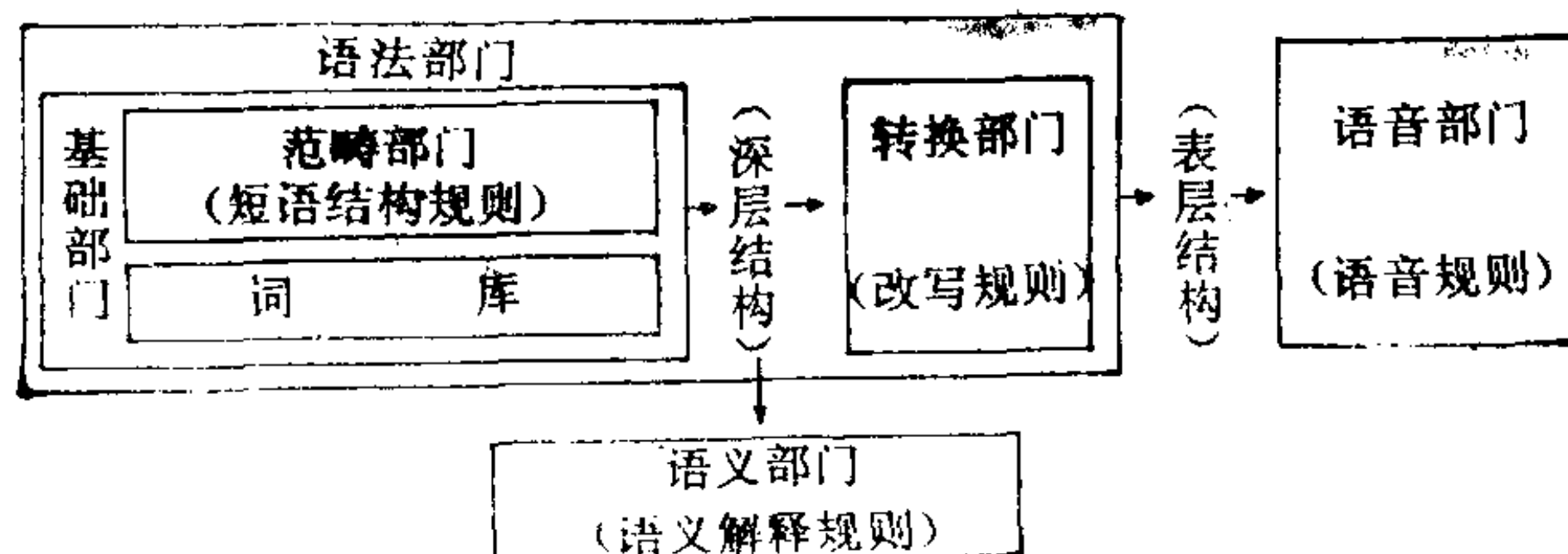
江户时代的本居春庭把“来、為、死ぬ”几个词的活用称为变格活用。变格和正格相对，如う变、ナ变活用和正格的四段活用极其相似，但也有个别特殊之处，因而称为“变格活用”是理所当然的。但カ变和

サ变并没有与其相对的正格，所以“变格活用”一词未必妥当。因此，有人主张按古代术语去把サ变和カ变称为“三段活用”（见该项）。因这一名称由来已久，我们可以按“和五段、一段不一样”的意思来用它。

# 变形生成文法    ヘンケイセイセイブンポウ    转换生成语法

一种新语法理论。简称TG(transformational generative grammar之略)。另日语俗称“变形文法”或“生成文法”。由美国语言学家乔姆斯基(N·A Chomsky)首创，奠基作便是其1957年出版的《句法结构》(Syntactic Structure)。该书提出的模式被称为句法结构模式(SS model)。1965年又出版了《句法理论面面观》(Aspects of the Theory of syntax)，提出标准理论模式(ST model)。虽然ST后来又经过部分修正，形成所谓扩充标准理论模式(EST model)和修正扩充标准理论模式(REST model)，但现在一般场合所说的“转换生成语法”均指ST而言。TG内部思想也很不一致，另有格语法(参见“格文法”项)、生成语义学等分支流派。目前一般场合所说的转换生成语法均指以乔氏为代表的理论而言。

乔氏的基本思想是：语言是人类心理的一个侧面，因此研究语言必然联系到对人类智能体系的研究。乔氏的最终目标是人类智能的研究即心理学。乔氏认为语言不是外在的，而是人类本身的能力。认为在个人的具体的语言运用的深处，潜藏着超越任何个人的、理想的说话人的语言能力，这就是语法。认为语言就是无限个合乎语法的句子的集合，语法就是有限个规则的集合，这些规则只生成属于这个句子集合的句子而不生成不合语法的句子。换言之，语法就是能够区别合语法句和不合语法句的一套装置。根据乔氏的ST模式，其构造如下图。



TG是一种普遍语法, 乔氏当然也认为ST适用于世界所有语言, 不过, 模式中的各种规则(见上图)是因语言而异的, 要由各具体语言的语法学家分别编写。这些规则中, 目前研究得最多的是短语结构规则和改写规则(可以合称语法规则)。

变形生成语法认为句子成分并不在一个平面上线条式地排列着, 而是在不同的层次上结合为名词短语(NP)和动词短语(VP), 逐层由小到大最终完成句子(S)。这一过程有一定的规律, 称“句构造规则”(短语结构规则), 简化如下。

1.  $S \rightarrow NP + VP$
2.  $VP \rightarrow NP + V$
3.  $NP \rightarrow (S) + N$

按短语结构规则, 我们可以描写出表层句子(表層文)形成以前的深层句子(深層文)。所谓的深层句子就是现实的表层句子赖以成立的非现实的抽象的句子结构。深层句子中的非现实的部分通过“消去”“转换”等变形规则逐层完成表层句子。由深层句子描写表层句子或由表层句子描写深层句子, 常用树形图来表示。下面仅以TG对于日语语法研究贡献较大的连体结构和助动词谓语句为例, 略加说明, 见其一斑。

连体结构例: ボクハオイシイウナギヲタベル。(见1275页上图)

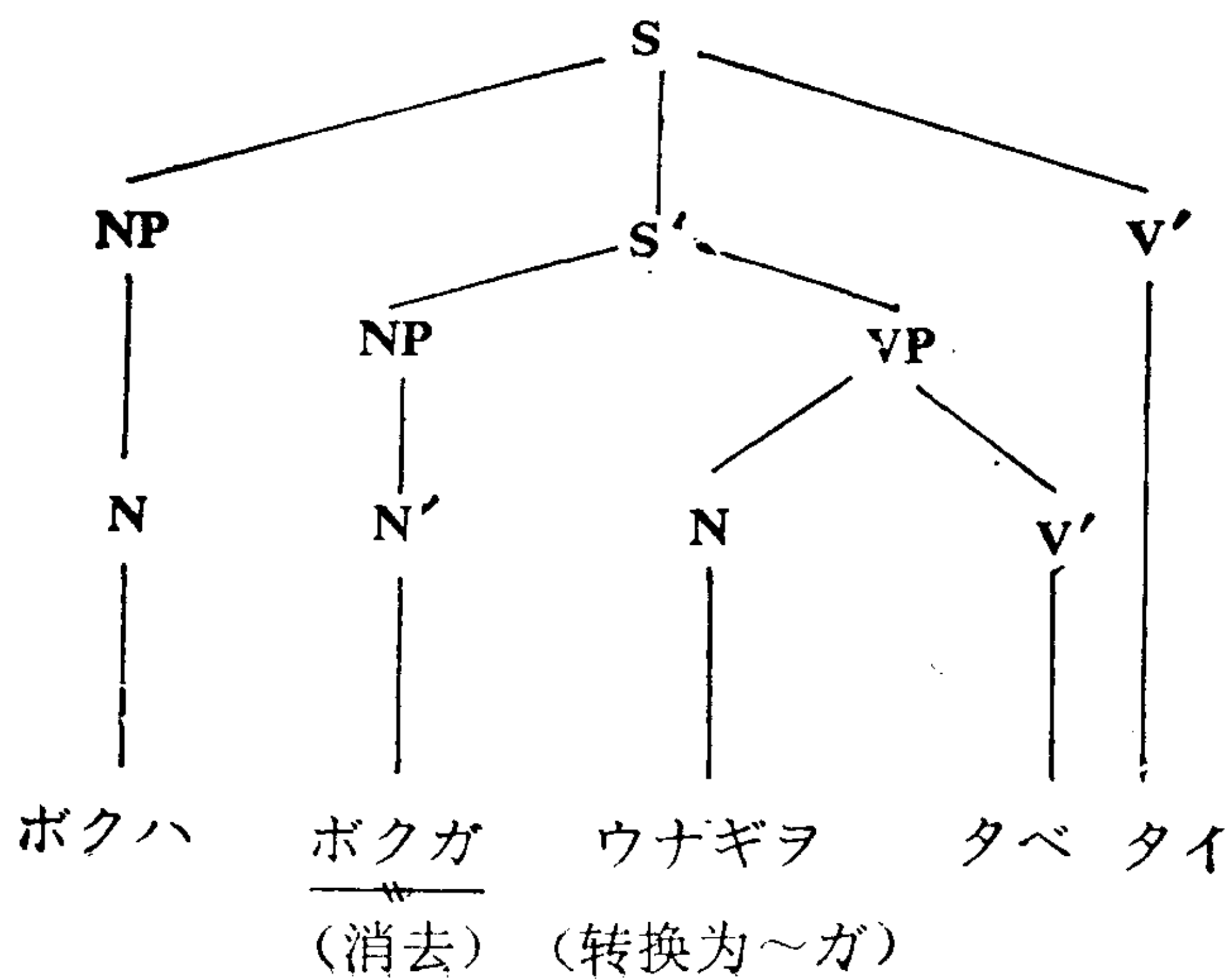
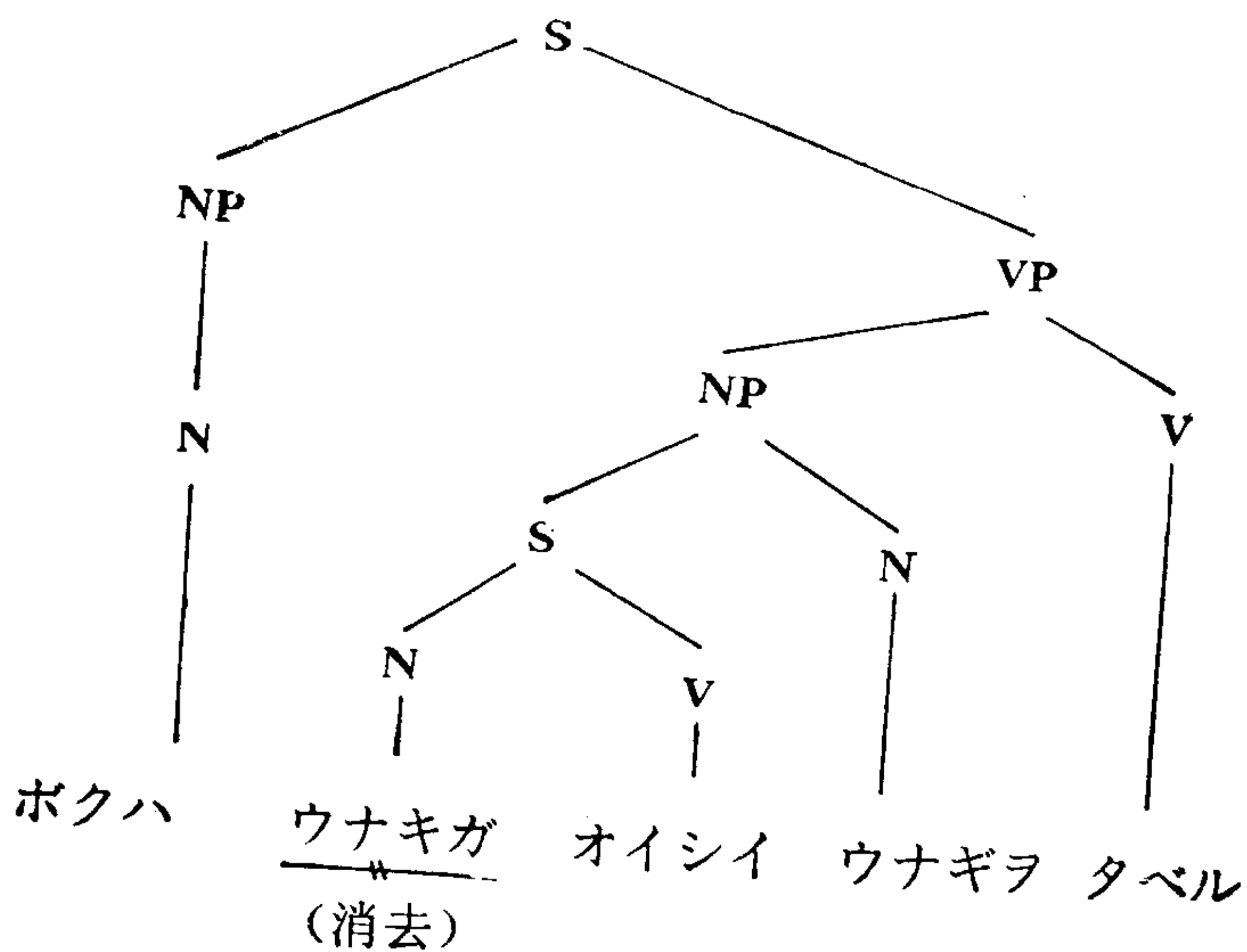
因深层句子中的ウナギガオイシイウナギヲ是非现实的名词短语, 要把连体结构中的重复部分ウナギガ消去, 这才得出合乎语法的表层句子ボクハオイシイウナギヲタベル。

助动词谓语句例: ボクハウナギガタベタイ。(见1275页下图)

深层句子ボクガウナギヲタベ中ボクガ反复出现因而被消去, ウナギヲ转换为ウナギガ, 成为表层句子的对象语。

在转换生成语法中助动词不是上接用言并共同构成谓语句节, 而是直接作主语的谓语, 构成ボクハ～タイ主句(S・主文)这时深层句子中的ボクガウナギヲタベ称作从句(S'・補文)。由此可见, 助动词谓语句是由主句和从句构成的复合句, 分析这种句子实际上是找出从句的问题。





# ほ 木

## 法 ホウ

大槻文彦首次把mood的概念应用于日语语法，译为“法”。他根据英文中的这一语法范畴（“式”或“语气”）用词形变化表示的特点，以此来说明日语动词活用形的用法。如，将终止形称为第一终止法；称连用形的各用法分别为中止法、连用法、名词法；称连体形为第二终止法（係結法），已然形为第三终止法（係結法），命令形为命令法，未然形为不定法（即否定和推量）等。

### ほう（方） 〈形式名词〉

1. 方位名词。表示大致方向、位置等。只能加定语来用。

①こっちの方へ来る人はない。／没有人到这边来。②私の指さす方を見なさい。／你往我手指的那边看。③町の方は寝しずまって灯ひとつ見えない。／镇上万籁俱寂，连盏灯火都不见。④この映画でスパイは、すじの終わりの方で、間接的に出てくるだけである。／在这部影片中，间谍只在情节结束时穿插出场。

△有时只是为避免说的太直而用。如下例①避开直接说“下町”。

①彼は下町の方に住んでいる。／他住在“平民区”一带。②今年の夏には学校の方でセミナーが催される。／今年夏天学校要召开学术讨论会。

### 2. 形式名词。

1) 表示当事者之中的某一方。

①姑しゅうとめの方が悪い。／是婆婆不好。②君の方のお話をお伺いしましょう。／我听听您的意见吧。

2) 表示有关事项中的某一方面。

①訳本よりも原作の方が面白い。／和译本相比，还是原作有意思。②飲む方では自信があるが、食べる方ではかなわない。／喝酒方面有把握，在吃上我可不敢比。③親は子供の体よりも、その点数の方を重視

する。／和身体相比，父母更重视孩子的分数。

3) 表示可资比较的有关方式、行动、性质等侧面中的一个方面是可行的、可取的、或超过其他方面。只能后述积极的内容。以（～より、むしろ）～ほうがいい为典型形式。

①高校生は恋愛しない方がいい。／高中生最好不谈恋爱。②回りはむしろにぎやかな方がいい。／周围环境倒是热闹点儿好。③急ぐよりもゆっくりした方がいい。／不必着急，稳当点儿好。④彼と一緒にいくなら家に居た方がましだ。／若是和他一起去啊，莫不如呆在家里更好些。⑤地震がこう頻繁ではあんたたちもこの部落へ来る方が安全だ。／看地震这样频繁，你们还是到我们村里来的安全。⑥わたくし、これで失礼しますわ。それに、そんな秘密のお話は遠慮さして戴いた方がわたくしも気が楽なんです。／我就此告辞了。再说，那样秘密的事，还是允许我回避一下我心里更坦然。

4) 以～ほうだ及～ほうの形式表示倾向性判断。

①これなら、よく出来ているほうだよ。／这样么，算得上做得很好啦。②彼は賢い方です。／他属于聪明的。③彼は働くより遊ぶ方だ。／说起来他还是好逸恶劳。④色は少し黒い方だが、可愛い顔だ。／脸色是黑点儿，长得倒可爱。⑤商売にかけては、所謂目から鼻へ抜ける方の大観堂にも、奇妙な盲目があった。／在做买卖上属于神机妙算的大观堂，竟也有奇怪的漏洞。

方言    ホウゲン    方言

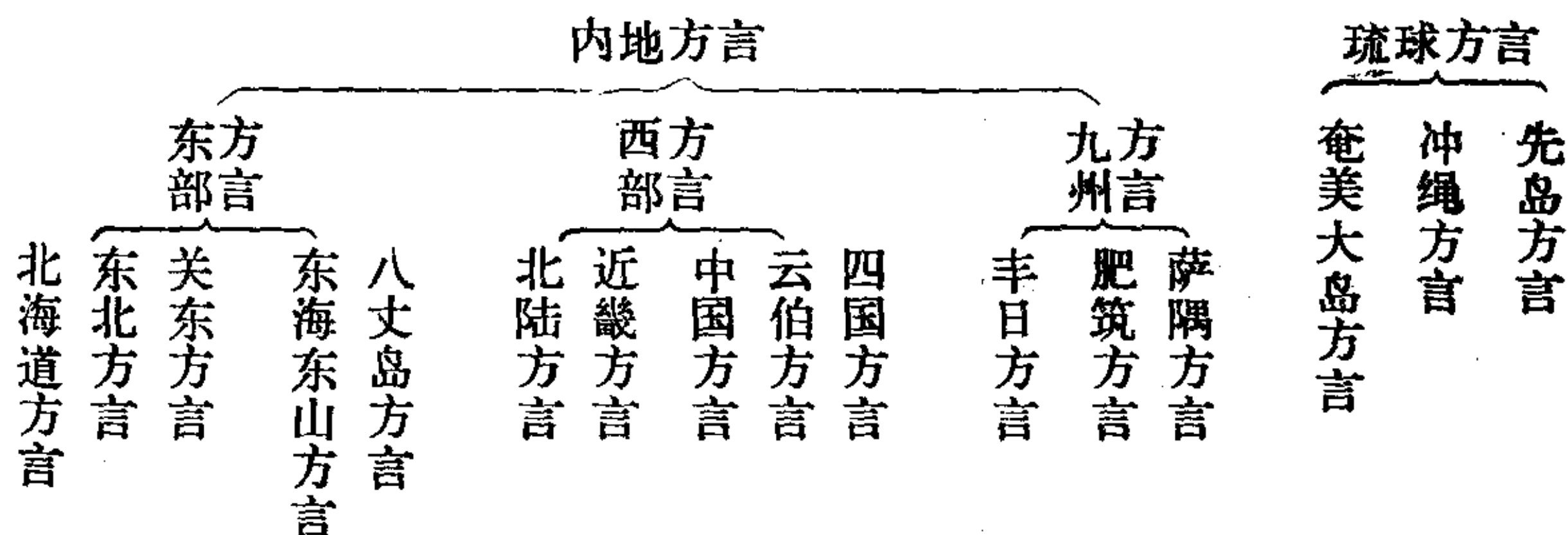
【解释】一种语言由于地理（如山川）和社会（如割据）等因素的影响，往往分裂为在语音、词汇、语法上具有不同特点的语言体系，只在特定的较小的区域内通用。这种地区语言的总体称为方言。方言语音特称“国訛り”，方言词汇特称“俚言”。方言是一种语言体系，因此用来专指某个音或某个词是不科学的。常说的“関西弁、ズーズー弁”分别是关西方言、东北方言之意。

方言作为文字语言出现的机会远比共同语或标准语少。如作品中的会话偶尔用方言主要是为了追求特殊的效果。比较起来，方言多用于家庭和私人交往，多用于口语；共通语或标准语多用于公共场合和学校教育，多

用于书面语。

有时把不同身分、性别、职业、年龄的社会集团所使用的词汇（即“位相語”）也叫作方言，称“階級方言”。和阶级方言相对，前面讲的一般意义上的方言又称“地方方言”。

【方言区划】根据语音、词汇、语法方面的异同情况，可以把日本全国划分为若干个方言区域。据东条操的研究，方言区域如下。



方言区划可用地图的形式来表示，称方言区划图（方言区画図）。

【方言学】研究方言的语言体系、语言结构、语言形式、方言意识、使用情况等的学问叫作方言学。具体课题有：1. 收集方言词等。2. 从中发现体系和结构。3. 查明地理分布。4. 从中发现方言的变迁。5. 在以上研究的基础上确立方言区划。6. 历史方言和现代方言比较。7. 从而拟定古语即原始日语。8. 调查方言区的语言生活情况，即共通语和方言的使用情况等。

在方法论方面，方言研究有编写语言志方法、描写语言学方法、比较语（方）言学方法、社会语言学方法、方言区划论方法、语言地理学方法等。

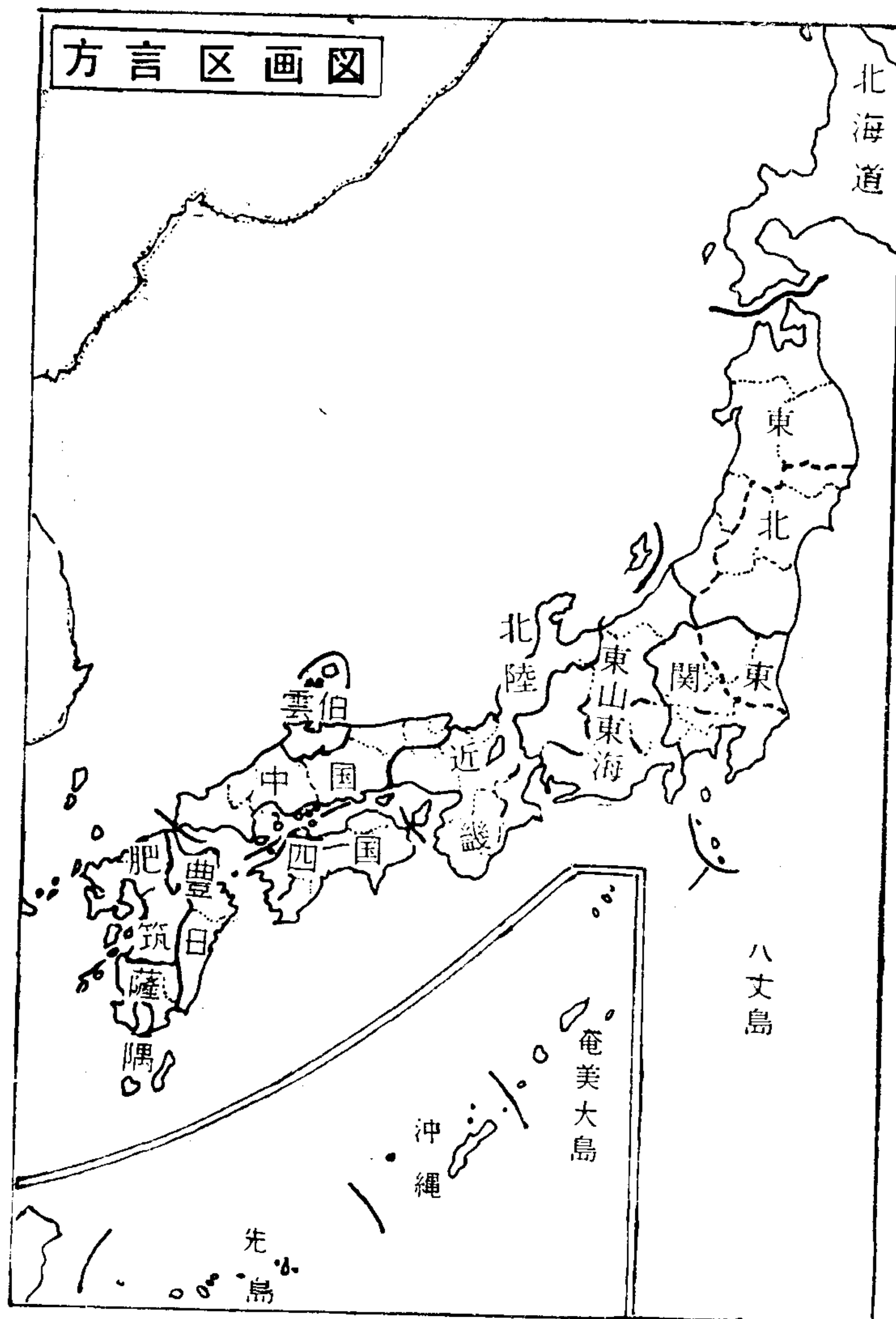
方言音    ホウゲンオン    方音

【解释】与共通语或标准语相对立的各方言中的语音，称为方音，也称“訛音、なまり”。对方言来说，其语音学特征很重要。方音是方言中最突出的特征，因此也是最主要的研究课题之一。

方音和标准音之间的区别主要表现为辅音和元音的数目和发音的不同，同时也表现为增音、减音、同化、异化等各种语音变化中。

【元音】1. 单元音。ウ在关东方言中为平唇的〔u〕，在关西方言中是





圓唇的〔u〕。在东北方言中为中舌元音〔ü〕或〔i〕，同时东北方言的イ也为〔i〕，所以“鮭”（スシ）、“獅子”（シシ）、“煤”（スス）发音相同。“地図”和“知事”、“土”和“乳”的发音也相同。东北方言还有把“エ”发成〔je〕的倾向。

2. 长元音。九州、新泻方言中“オ”段长音有舌位较低和较高的区别。如“湯治”〔to:ɕi〕和“冬至”〔to:ɕi〕。同时，“エ”段音不生长音化。如“経営”〔keiei〕

3. 拗音。东北方言中有以〔w〕为介音的拗音，如“観光”〔k wankwau〕（クワンクワウ）。

4. 双元音。アイ东京方言为エー，如アケー（赤い），三备方言为〔je:〕，安艺方言为〔a:〕。

5. 琉球方言中单元音只有アイウ三个，“エ”归于“イ”，“オ”归于“ウ”。如，フネ→プニ，モノ→ムヌ。四国、伊豆方言也有类似现象。

【辅音】1. カガ行辅音。东北方言中“キ”为〔kɕi〕或近乎“チ”。词中辅音浊化，如“秋（あき）”，ガ行鼻音化为〔ŋ〕。在四国方言中和东北方言中有浊音前插入拨音的现象，如“鍵”（カンギ）。

2. サザ行。九州方言为〔ʃ〕和〔ʒ〕，如“先生”（シェンシェー）。

3. ダ行。ヂヅ在部分九州方言中为〔ɕi〕〔dzu〕或〔di〕〔du〕。纪州方言中还有〔dze〕〔dzo〕〔dza〕等音。四国方言和九州方言中ジ〔ʒi〕和ヂ〔ɕi〕、ズ〔zu〕和ヅ〔dzu〕相区别。

4. タ行。大分方言有近乎〔tu〕的〔tsu〕。在东北方言中词中词尾发生浊化，如“事”（こど）。

5. ハ行。南岛方言中为〔P〕或〔F〕。如“花”〔pana〕，“舟”〔puni〕。东京方言中ヒ为シ，如“人”（しと）。

【重音】即“アクセント”。据平山辉男的研究，各方言之间的重音有一定的对立关系。东京式重音和京阪式（如京都、鹿儿岛方言），重音完全相反。还有固定重音的一式重音（如都成方言）和无固定重音的崩溃式重音（如福岛方言）。仅以双音节词的重音为例列表如下。

方言 例 词	东京式	京 阪 式		一 式	崩溃式
	东京方言	京都方言	鹿儿岛方言	都城方言	福島方言
一类 (鼻) (鳥)	ハ ナ ト リ	ハ ナ ト リ	ハ ナ ト リ	ハ ナ ト リ	ハ ナ ト リ
二类 (橋) (紙)	ハ シ カ ミ	ハ シ カ ミ	ハ シ カ ミ	ハ シ カ ミ	ハ シ カ ミ
三类 (花) (神)	ハ ナ カ ミ	ハ ナ カ ミ	ハ ナ カ ミ	ハ ナ カ ミ	ハ ナ カ ミ
四类 (箸) (種)	ハ シ タ ネ	ハ シ タ ネ	ハ シ タ ネ	ハ シ タ ネ	ハ シ タ ネ
五类 (窓) (春)	マ ド ハ ル	マ ド ハ ル	マ ド ハ ル	マ ド ハ ル	マ ド ハ ル

### 方言文法 ホウゲンブンポウ 方言语法

指一种方言所特有的语法现象。主要表现在活用、助词和助动词的用法上。下面仅举数例，以见一斑。

【东日本和西日本方言】 1. 否定表达东日本为ナイ、西日本为ン。如：書カナイ／書カン。書カナカッタ／書カナンダ。書カナイデ／書カナンデ。書カナケレバ／書カネバ。

2. 表示判断，东日本用ダ，西日本用ヤ、ジャ。如：そうだ／そうや，そうじゃ。

3. 表示推量，东日本为“受けよう、来よう、しよう”等，西日本为“受きよう、来<sup>と</sup>う、しよう”等。

4. 音便形。ワ行五段动词连用形，东日本有促音便，西日本有ウ音便。如：買った／買<sup>と</sup>うた。形容词连用形东日本为～く，西日本为～う。

如：白くなる／白うなる。

5. 命令形。东日本为“見ろ、起きろ”等，西日本为“見よう、起きよう”或“見い、起きい”。

6. 活用类别。某些在东日本为上一段的词，在西日本是五段。如：足りる／足る。飽きる／飽く。借りる／借る。

【方言例】1. 东北方言。

①あめゆじゆとてちてけんじゃ。(あめ、ゆき取ってきて下さい)  
②おらおらでしとりでえぐも。(私は私でひとりでいきます) ③まるで林のながさ来たよだ。(まるで林の中に来たようだ) ④おらおかないふうしてらべ。／(私はこわいふうをしているでしょう)

2. 东海东山方言。

①さあ、もう一度押すじゃあ。(のだ) ②おお、押してくよう。(くれ) ③あんまり帰りが遅くなるとわれ(おまえ)の家でも心配するずら(だろう)。④行かず。(行こう)

3. 近畿方言。

①そうや(だ)わ。——よう(よく)知ってるなあ。②悦子も二十日は行かれへんねん(ない)，残念や(だ)わ。③何で日曜にせえへんのやろ(しないのだろう)。④うち、どちらでもええわ。(私はどちらでもいいわ)

4. 四国方言。

①檜<sup>ひおうぎ</sup>扇の衆は、ガイに(たいへん)客を喜ぶけん(から)，不公平ないように、クジ引きで、皆を配給しますのや(さ)。

5. 九州方言。

①ひと風呂浴びられまっせんか(ませんか)。②あんまりひどか(ひどい)ことをいうもんですけん(から)。③新見さんがそげん(そのように)いうた(いった)そうです。

6. 中国(広島)方言。

①子供じゃけえ、瓢いうたら、こういうんでなかにゃあ気に入らんもんと見えるけのう。(子供だから瓢箪といたらこういうものでなければ気に入らないと見えるからね。) ②清公，そんな面白うないのばか



り、えっともっとなんてあかんぜ。(清ちゃん、そんな面白くないのばかり、たくさんもっていてもいけないよ。) ③これはなんぼかいな。(これはいくらですか。)

#### 7. 関東方言 (茨城)。

①家へなんざあ滅多にきられやしねえんだぞ。(家へなんぞは滅多に帰ってはこられはしないんだぞ。) ②そんじゃ、そういところへえっちゃんひでえな。(それでは、そういうところへ行ったらひどいね。) ③何でだっぺなまあ、おめえそんなにしねえで面倒見てやらっせえよ。(どうしてだろうね。まあ、おまえそんなにしないで面倒を見てやりなさいよ。)

#### 方法・材料の表現    ホウホウ・ザイリョウノヒョウゲン    方法材料 料表达法

【性質】 動作和行为都有一定的方式和方法,有些还需要有特定的工具和材料。

就动词来说,一种情况是,动词除动作行为的意义外,把方法材料也同时内包于本身的意义之中,如:手繰る、足踏みする、飛ぶ、泳ぐ。另一种情况是,动词本身不表示方法材料,如:する、帰る。第一种情况通常不必把方法材料表示出来。第二种情况也只是根据需要,为了强调或说的更具体才明确表示出来。这是因为,几乎所有动词本身的格体系都不把方法材料作为必带的格。

【形式】 1. 用格助词表示。

1) で。表示方法、手段、工具、原料(强调出处时亦可用から)、材料等,用法最广。

①通信衛星でテレビ中継をする。／用通信卫星进行电视转播。②無差別爆撃で進撃をおしとどめる。／用狂轰滥炸来阻止进攻。③独身で暮している。／过着独身生活。④大豆で(から)みそを作る。／用(从)大豆制豆酱。

2) から。から和で区别大体上是:材料和产品变化大用から、で均可,强调的重点不同。变化不大的只用で。试比较:

①今も海水から(で)製塩する方法を取っている。／现在也采用

从（用）海水制盐的方法。②テトロンで（※から）背広を一着こしらえた。／用的确良做了一件西服。

同时，から还表示构成要素。

①日本列島は主に四つの島から成っている。／日本列島主要由四个岛组成。②すべての物質はいろいろの元素かう出来ている。／所有物质都由各种元素构成。

3) に表示方式。

①横に一列に並んで下さい。／请横着排成一队。

2. 助词性词语でもって、をもって、にて（文言）、によって。均主要用于文章，与上述での用法相同。另有理由、原因用法，见各该项。

①常套のやり方でもって，新課題を解決せんとする。／欲用老一套的手段来解决新课题。②最新探知器でもって魚雷を探知している。／在用最新试探测鱼雷。③日本語は漢字と仮名を以て書き表わすのを正書法の原則とする。／日语把以汉字和假名来书写为正字法的原则。④紛争は談判にて解決すべし。／纠纷应通过谈判来解决。

3. 接续助词て（で）表示行为方式，方法。

①歩いて行く。／走着去。②わざと間違ったものを書いて，留年することができた。／故意写错能再读一年了。

4. 语法惯用型～を～に、～を～に（と）する。

①中野氏は筆をメスとして社会の不正をすべく批判した。／中野先生以笔作解剖刀，尖锐地批判了社会的邪恶。②万里の長城を背景に写真を取った。／以万里长城为衬景拍了照。

5. 其他。

①代表団一同の名において，深く謝礼を申しあげます。／谨以代表团全体的名义，表示深深的谢意。②野党の中村の発言は一言のもとに与党側の反論を押えてしまった。／在野党的中村的发言，一句话就把执政党方面的反对论调压下去了。

ほか 〈提示助词〉

【接续】1. 接体言后。

①事故のため，出席者は六人ほか来なかった。／由于事故，与会者

只来了六个人。②上野さんほか三人が文化賞を授章された。／上野先生等四人被授与文化奖。

## 2. 接用言及助动词连体形后。

①風邪をひいているほかは悪い所はないようです。／（他）好象只是感冒，没有别的病。②誤植を訂正したほか、また疑問の点について学者にお教えいただいた。／除订正了印刷错误之外，还就疑难问题请教了学者。

## 3. 接格助词に、の、より等之后。

①そうするよりほか仕方がない。／除此之外没有别的办法。②石炭は石の一種にほかならない。／煤碳不外乎石头的一种。

## 4. 接この系列连体词后。

①私はこのほかに何も知らない。／我除此之外什么都不了解。

【意义】1. 表示唯一的选择。即限定性提示。主要使用～よりほか～ない、～ほかしかたない、～ほかない、～ほかあるまい等形式。

①今更，戻れないから，進むほかあるまい。／事到如今已无法打退堂鼓，只有前进了。②彼の憤慨を静めるために，私は謝まるほかありませんでした。／为平息他的愤怒，我只好道了歉。③出来るのを待つよりほかない。／只好等待做出来。④雨のためやめるほか仕方なかった。／因为下雨，只好作罢了。⑤成功しようと思うならば，人以上努力するよりほかにみちはない。／若想获得成功，除了比别人更努力之外别无他途。

△这种用法虽相当于しか，但不能超出上述句式限制。以下用法是方言说法，不规范。

①電話でほか話さなかった。／只在电话里谈了。②うぐいすは春早くほか鳴かないのである。／黄莺只在早春才叫。

## 2. 构成助动词性词组にほかならない。见另项。

①祭りは特別な催しにほかならない。／祭祀活动不过 是特殊的集会。

## 3. 表示追加。此用法属副助词性质。

①あの方はスポーツのほかにも音楽などに興味を持っている。／他除了体育之外，对音乐也有兴趣。②田中氏ほか三人中国訪問。／田中先

生等四人访问中国。③ご馳走になったほか、帰りの切符も買ってもらいました。／不但受到招待，还给买了返回的车票。④三修社社長の外，編集局員に感謝したい。／我要感谢三修社社长，以及各位编辑。

【参考】ほか来自名词ほか（外），现在名词用法仍是主要的，上述用法名词性也很强。因此许多人仍视为名词或形式名词。

### 補語 ホゴ 补语

句子成分之一。其含义因各语法流派不同而不同。主要有：

1. 山田孝雄把补充用言概念不足而使用的句子成分称为补语，大致相当于“名词＋格助词（主格除外）”形式的连用修饰语。

①太郎は車に荷を載せたり。／太郎把货物装上车。

2. 渡边实的补语定得较窄较明确，他认为不是主、宾语但句子结构上又不可缺少的成分应归入补语，主要是～に、～と。

①太郎が花子を雪江に紹介する。／太郎把花子介绍给雪江。②味方が敵と化す。／朋友变成敌人。

同时也指出，有时难以确定是上述补语还是结构上非必需的连用修饰语。

①英語で返事する。／用英语回信。

3. 时枝诚记把谓语连句节中的实义部分称为补语。没有它该谓语不能成立。

①室を暖かくする。／把室内弄暖。②私はびくびくする。／我提心吊胆的。③気が楽になる。／心情愉快起来。④科学者になる。／成为科学家。

这种补语和后续用言关系极其密切，通常把二者构成的整体作为谓语看待。

4. 松下大三郎把“勉強する”、“書いてくれる”中的划线部分称为补语。吉泽义则把“思いもよらぬ”、“気にいった”中的划线部分称为补语。

5. 三上章等把所有名词后续格助词形式的成分都称为补语。

由于补语的范围因人而异，又和连用修饰语之间没有明确界限，在桥本语法和教学语法中都不把它作为单独的句子成分。汉语语法等也用此术



语，但内容不同。总之，日本国内现已基本不用此术语，以免引起概念上的混乱。

⇒補充語、連用修飾語

**補充語** ホジュウゴ 补充语

句子成分之一。指为补充谓语概念的不足而用的句子成分。也有人称为“補語”或“補足語”等。但“補語”一词多义，故用补充语为宜。

形态上，补充语以“名词＋格助词（一般主格除外）”构成，不同于以用言连用形构成的狭义的连用修饰语。

①私は6時に駅で友人を迎えた。／我6点在车站接朋友了。

补充语在意义上补充谓语概念内容的不足，表示动作行为等所发生的时间、地点、方式、原因等条件，以及对象、内容、结果等有关事物。上例的三个补充语分别表示时间、地点、对象。再例：

①熱にいく日も苦しみました。／因发烧遭了很多天的罪。（原因）

②二人で出かけていく。／两个人出去。（方式）③偉い人物に育てあげる。／培养成伟大的人物。（结果）

补充语在功能上表示和谓语之间的各种格关系。正因为是格关系，所以无论在结构上还是意义上，补充语都比狭义的连用修饰语更需要。比较以下两组例句即可知。

①私は弟に万年筆を与えた。（自然）／我给了弟弟钢笔。②私は与えた。（不自然）／我给了。③私は早く起きる。（自然）／我早早起床。④私は起きる。（同样自然）／我起床。

当然也有和上述相反的情况。但总的说来，补充语和谓语的语法功能密切相关，而狭义的连用修饰语正相反，它只和语义相关，增加新的内容。

桥本进吉认为，“湯が水になる”（补充语）和“湯が冷たくなる”（连用修饰语）之间只存在词性的差异，而在语义上相同，语法功能上都关联后续用言，所以一并称为连用修饰语。现在一般把补充语独立出来，这有利于观察句中的格关系和谓语的语法功能。

**補助形容詞** ホジョウケイヨウシ 补助形容词

【性质】指不单独使用而是接其他词后增添补助意义，起类似助动词作用

的形容词。在形态上能独立构成句节，因此仍属于独立词。

在口语中有接形容词、形容动词连用形后表示否定的“ない”、接动词“～て”形式后表示结果体（～てある）的否定的“ない”、表示希望的“ほしい”、表示许可的“よい、よろしい、いい”。

①よくない。／不好。②静かでない。／不安静。③学生ではない。／不是学生。④貼ってない。（貼ってあるの否定）／没贴着。⑤やめてよいです。／可以停下来。⑥行ってほしい。／希望你去。

在文言中有“なし、如し”。

【诸说】桥本进吉把补助形容词看作补助用言的一种，只有“ない”一个词。山田孝雄则看作是形式用言的一种，称为形式形容词，举有“如し、なし”。时枝诚记把补助形容词“ない”看作否定助动词。

以上三种意见本质上是一致的，按这些观点，上述“ほしい、よい”理应也是补助用言。

又有人主张把～にくい、～やすい、～がたい、～よい（住みよい）等接尾辞也看作补助形容词。

#### 補助語 ホジゴ 补助语

桥本进吉把起补助作用的句节称为句子的补助语。补助语由补助动词构成，接于动词连用连＋て之后。

①静かに考えてみる。／静下心来想一想。②だまりこくっている。／一声不吭。③走っていって，また走ってくる。／跑着去，又跑着回来。

补助动词和被补助的动词之间的关系称为补助关系。补助语不是造句的直接成分，它只是构成谓语的间接成分。

⇒文節

#### 補助動詞 ホジドウシ 补助动词

补助用言之一。日语中动词的一部分往往失去独立词的意义、用法，专门接在动词或助动词的连用形后，起类似助动词的作用，增添某种语法意义。这类动词称为补助动词。如下例①、③中的动词是实义动词（本動詞），②、④中的动词为补助动词。

①そこに花がある。／那有花儿。②橋が掛けてある。／（河上）架

着桥。③これを君にあげる。／把这个给你。④君を手伝ってあげるよ。／我帮你的忙。

【种类】其范围众说不一，通常按桥本进吉的观点分为5种。

1. 接断定助动词连用形后表示断定的。

①3年前のことである。／是3年前的事了。②弟でございます。／是我弟弟。

2. 接形容词、形容动词后表示陈述的。

①涼しくありません。／不凉爽。②たいそう賑やかでございます。／非常热闹。

3. 接动词连用形后表示敬谦的。

①どうぞお上がり下さい。／请上来吧。②お帰りなさい。／你回来啦。③よろしくお願い申します。／请多关照。

4. 接动词连用形（て）后，表示种种语法意义的，如动词的体、授受关系等。如：いく、くる、おく、いる、ある、みる、みせる、しまう以及あげる、くれる、もらう等等。

①電気が消えている。／灯灭了。②電気が消してある。／灯闭着。③電気を消しておく。／把灯闭好。

5. 接在动词连用形后的する等。

①読みはした。／读是读过了。②考えもしない。／根本不考虑。③おもいもかけぬ。／连想都不想。

【诸说】时枝诚记认为1、2是助动词，其余是形式动词。金田一京助认为造词能力强的～はじめる、～だす、～（く）なる、～（く）する等也是补助动词。山田孝雄的“形式用言”、松下大三郎的“助動詞”、小林好日和佐久鼎的“準助動詞”等，都和桥本的补助动词有一致的地方。

桥本等人是根据语法作用来分类的，而吉田金彦则根据其补充意义作了分类。吉田的分类更利于学习，他还将补助形容词也包括在补助动词中，整理如下。

1. 有关存续状态的，如：（書いて）いる、ある、おる等。2. 有关移动、变化的，如：（送って）いく、くる、よこす。3. 有关准备、试作等意义的，如：（考えて）みる、おく、ごらんになる。4. 有关完

成体的，如：（やって）しまう。5. 表示授受关系的，如：（助けて）やる、くれる、もらう。6. 表示程度的，如：（つらくて）ならない、たまらない、いけない。7. 表示希望的，如：（考えて）ほしい。

### 補助符号 ホジョフゴウ 标号

表示除句子结构和各种陈述语气之外的各种付加意义的符号。相当于汉语的“标号”。主要有：

#### 1. “中線”或“ダッシュ”(破折号)，即“——”和“—”。作用：

##### 1) 用于插入语的前后。

①31年，妻と共に小松——そこで少年時代を過ごしたのだ——にうつった。／昭和31年，和妻子一起搬到小松——在那里渡过了少年时代。  
②特別の人たちだけ——例えば，沢山の金を納める人だけ——ができる選挙です。／那是只有部分人——比如缴纳许多税款的人——才能参加的选举。

##### 2) 用于主题句后，说明或概括前述内容。

①中曾根総理はいつ決断したか。——二説ある。／中曾根总理何时作出决断的呢？——有两种说法。②「自分の力で何でもできる。」——これは国民全体の意志であった。／依靠自己的力量，没有办不成的事。——这是当时全体人民的意志。③知らずに食べていて，非常に栄養になっている。——こういうものが水産物のうちには多いのです。／无意中吃下去而非常有营养——这样的东西在水产品中是很多的。

##### 3) 表示作者的补充说明。

①ぜひとも物価の安定を——年金生活者の切実な声／一定要确保物价安定——养老金领取者的强烈呼声（报纸的标题和副标题）。②立ち止って舌打ちをした。——どうしようか，そんなふうだった。／停住脚打了个响舌。象是说：“怎么办呢？”

##### 4) 用于省略，表示余韵。

①福田氏らは笑うのだが，——／福田先生们笑了，不过……②その時福田首相は，党内は——と事態は一気に複雑化する。／这时福田总理说：“党内嘛——”于是局势急剧复杂化了。

##### 5) 用于话语的间隔或语气的转折。



①「ああ、代わりの器械がほしい。——来年までは、とても待てない。」／“唉，真希望有代替的机器——实在等不到来年了。”②関西方言——というよりは大阪弁に聞こえる。／听起来象关西方言——更确切的说是大阪方言。

6) 用于时间、空间、数量的起止（等于～）和相关事物（等于“对”等）。

①とき：1時——3時／时间：1点——3点。②北京——東京／北京——东京。③日本——中国のバレーボール決勝戦／日本对中国的排球决赛。

△“なみがた”即“～”和上面的用法6)相当。

①有名な文学者の井原西鶴（1642～1693）。／著名的文学家井原西鶴（1642～1693）。②36℃～37℃の体温が人体の常温とされる。／36℃～37℃の体温一般是人的正常体温。

2. “点点”或“点線”（省略号、删节号），即“……”和“…”。作用：

1) 表示省略。

①その後、7時に大宮さん、8時に小林さん……とお客さんが続いた。／那以后客人不断，7点大宫、8点小林……②私は多くの団体に手紙を書いた。工芸協会、美術学校……／我给许多团体写了信，如工芸协会、美术学校等等。

2) 表示疑惑，可看作省略的一种。

①数千万年も前に死にたえたはずの魚が生きているとは……／几千万年前就绝迹的鱼竟然还活着？！②自分たちの国ではそういうことはないのに……ということだった。／说是在自己的国家里不是这样。（可这里不知怎的……）

3) 表示长呼。

①「野中さん……。野中さん……。」／“野中——，野中——。”

②「はいどうどう……」／“驾！驾驾！”

3. “かぎ”（引号）即「」，横写时也可用“”。作用：

1) 表示直接引语。

①「どうしたの」と母が心配そうにたずねた。／“怎么了？”妈妈

担心地问道。②「犯人とらえた。おいで待つ。」という電報を受けた。  
／收到一封“罪犯抓获，待你速来”的电报。

2) 表示强调、注意、讽刺、反语、比喻。

①「ワンマン体制」が形成された。／形成了“个人独裁体制”。②  
これがいわゆる「緊張緩和」である。／这便是所谓的“缓和”。③進歩  
と調和がはたしてどのように「調和」するのか洒落でなく私には分ら  
ない。／说真的，我不知道进步与和谐到底是怎么“和谐”的。④彼はあ  
くまでこの「城」を守った。／他一直坚守这座“城堡”（信仰等）。

3) 作书名号。

①「枕草子」は平安時代の作品です。／《枕草子》是平安时代的作  
品。

4) 其他临时用法。如表示团体名：

①「国際交流基金」及び「日本万国博覧会記念協会」／国际交流  
基金会和日本世界博览会纪念协会。

4. “二重かぎ”（双引号），即「」。作用：

1) 作用同3引号，但只用于引号之中。

①多くの新聞には「81年は「複製文化元年」である」との評論が  
ある。／许多报纸都有“81年是‘复制文化元年’”的评论。

2) 有的文献目录用「」表示文章，为区别起见，用『』表示杂  
志。

5. “かっこ”（括号），即（ ）。另有“角かっこ”即〔 〕，  
“山がた”即〈 〉。

1) （ ）主要表示对一个句子或词、词组所作的注释之类。

①東京医学校（後の東京大学医学部）に入学し，明治16年（1883）に  
卒業した。／入东京医学校（东大医学系的前身），明治16年（1883年）  
毕业。②普通選挙をもとめる運動（普選運動）が盛んになってきまし  
た。／争取普通选举的运动（普选运动）高涨。

2) 〔 〕主要表示新闻来源、附加说明等，用法不太固定。

①〔ワシントン19日＝小田特派員〕／华盛顿29日电，特派记者小  
田。②〔金田一京助「心の小径」による〕／（摘自金田一京助《心中的

小径」)。

3) 〈 〉 和「 」 的用法相同。

- ①彼が〈望ましからざる者〉であった。／他就是“不受欢迎的人”。  
 ②〈一度は大臣になりたい〉と考えている政治家は沢山います。／有“想当一次大臣”的想法的政治家大有人在。③近代の先駆者（大江のいう〈知識人〉）／近代的先驱者（即大江所说的“知识分子”）。

6. “つなぎ”（连字符），即“=”或“—”。竖写时用“||”。作用：

1) 用于外国人名、地名和外来语的复合成分之间。常用“·”代替。

①ノロドム＝シハヌク親王／诺罗敦·西哈努克亲王。②サン＝フランシスコ／旧金山。

2) 其他临时用法。常见于新闻报导。

①大統領＝写真＝は昨日つぎのように述べた。／总统（见照片）昨天做了如下发言。

7. “わき点”（旁点），即“……”；“わき線”（旁线），即“——”。又分别称“<sup>ぼうてん</sup>傍点”和“<sup>ぼうせん</sup>傍線”。通常用于标示重点词语或句子。

①彼が地震の最中に到達したことに注意しなさい。／请注意他是正在地震时到达的。

另外，旁点偶尔用来标出词的界限。如“そのようすがただ……”是为避免误读成“その様姿だ……”。

補助用言 ホジョウゲン 补助用言

桥本进吉等的术语，指失去原有的独立意义，接于其他词后，作一种补助的语法形式的用言，包括补助动词和补助形容词两大类。所属词有：

1. 表示判断的ある、あり、ござる、はべり、候ふ。
2. 表示否定的形容词ない、なし。
3. 表示敬谦的なさる、下さる、申す、給ふ、奉る。
4. 接于动词连用形加“て”之后的ある、いる、ない、候ふ等。
5. “动词连用形＋する”中的す、する。

①男の顔は履歴書である。／男人的脸就是履历表。②いいえ、そうでもないんですよ。／不，也不是那样。③どうぞ、お入り下さい。／请

进。④今困っている。／正在犯愁。⑤ありはしない。／根本不会有。

【和助动词的关系】二者没有明确的界限，而且在实践上也不需要严加区分。桥本认为，补助用言无独立意义，却有独立的形态特征而且存在相应的实义用言，因此单独构成句节。而助动词却不能。

【与接尾辞的界限】金田一京助把～出す、～あげる等接尾辞也看作补助用言，而时枝、松下等都认为是接尾辞。能否单独成句节，这也是二者的大致界线，补助用言能而接尾辞则不能。不过，通常认为是补助用言的“申す、下さる”等并不能单独构成句节，所以二者的界线还是难以划清。另外，补助用言有较广泛的接续性，而接尾辞只接于有限的词后。如，可以说困っている，却不能说困り出す、困りあげる。

ほど 〈副助词〉

【接续】1. 接体言、体言性词组后。

①健康な子ほどよく泣くものである。／越是健康的婴儿越爱哭。②医者は経験を積んだ古いもののほどよい。／越是有经验的老医生越好。③もう30年ほどここに住んでいる。／已经在这里居住30来年了。④今までほどはお金がいらなくなった。／不再需要过去那么多的钱了。

2. 接用言及用言型助动词、助动词た等的连体形后。

①仕事が忙しいほど，人は不愛想である。／工作越忙，人越容易对人简慢。②案じるほどのことでもないらしい。／好象不是什么值得担心的事。③その父親は病的なほど劣等感を持っている。／他父亲有一种病态自卑感。④今の経済制度は一昔前と比べものにならないほど発達している。／现在的经济制度非常发达，无法和过去相比。⑤この若い女の腹は，臨月と思えぬほど小さい。／这年轻妇女的腹部小得不象临产。⑥ひどく疲れて，一日中寝ていたほどですよ。／累极了，几乎睡了一天啊。⑦泣きたいほど困っている。／为难得直想哭。⑧大発見者と言われるほどの人にはかつては変人と考えられた人が多い。／在称得上重大发现者的人中，有许多人曾一度被认为是怪人。

△下接。以～ほど形式作连用修饰语的最多，其次是后续助词の、は、も等。

【意义】表示程度。以下主要讲形式。



1. 接数量词、指示词后，表示大致的数量或程度。有时用于明确的数量等之后，以冲淡主观色彩。

①このあたりへは戦後も三度ほど来ている。／到这一带战后也来过三四次了。②東京には十日間ほど滞在いたします。／我们在东京逗留十天左右。③あれほど説明したから分るはずだ。／解释得那样程度，应该明白的。④一町歩<sup>ちようぶ</sup>ほどもある大リンゴ園／足有一百公亩的大苹果园。⑤その時、私はどれほど楽しかったでしょうか。／那时我多么的愉快啊。

2. 以举例、描写、评论等具体内容来表示关连事项的大概程度。

①きのうは、セーターが要らないほど、暖かかった。／昨天暖和得几乎用不着毛衣。②参加者は惨めなほどに小人数だった。／参加者人数少得可怜。③彼の演説は、いつも長くてくどいと、署員が噂するほど、署長は話好きだった。／署长爱讲话，甚至署员议论说他的讲话总是又长又罗嗦。④すずめの群がやかましいほど鳴き騒いでいる。／成群的麻雀鸣噪得恼人。⑤そういう経験を、私はいやといほど持っている。／那种事，我经历得简直太多了。⑥叱るのがかわいそうなほど、しょんぼりと帰ってきた。／回来时无精打彩的，简直都不忍心批评他了。⑦まっくらで、目の前さえもはっきり分らないほどです。／漆黑漆黑的，伸手都不见五指。⑧父の表情は、法夫がいままで見たこともないほど、深刻であった。／爸爸的表情很严肃，甚至法夫从来都没见过。

△否定句也常用，表示没达到某程度。

①セーターが要らないほどは暖かくありません。／没暖和到不需要毛衣的程度。②この本は、別に高校生も分らないほど難しいものではない。／这本书并不是难得连高中生都不懂。③その町には公園というほどの公園はない。／那个镇上没有象样的公园儿。④彼には財産というほどのものはない。／他没有什么东西能称得上是财产。⑤今度の地震は、別にはげしいというほどのものではなかった。／这次地震还不能算是剧烈的。

3. 以AすぎるほどA的同词反复形式表示状态、性质的程度极高。

①その時の物価は高すぎるほど高かった。／当时的物价高得不能

再高了。②これは彼にとって、当然すぎるほど当然なことである。／这对他来说是理所当然的。③彼らの変心の多くは自然すぎるほど自然であった。／他们变心多数是很自然的。

#### 4. 表示程度的比较基准。

①目は口ほどにものを言う。(谚语)／眼睛也能和嘴一样地传情。②中学の勉強には積み重ね式もあるが、小学校ほどではない。／初中的学习里也有积累式，但不象小学那么多。③試験はうわさしていたほど難しくなかった。／考试没有象传说的那么难。④今年の収穫高は去年ほどにはならないね。／今年的产量可不如去年啦。⑤棒ほど願って針ほど叶う。(谚语)／所望者厚所得者薄。

5. 以～ほど～はない形式表示是同类事物中最高的、唯一的。意在言外，如下例①本意是说珠峰最高。

①世界でエベレストほど高い山はない。／世界上再没有珠峰这么高的山了。②日本ほど四季の変化に富んだ国はない。／再没有象日本这样四季变化分明的国家了。③私たちのクラスでは、彼ほど賢い人はいない。／在我们班上他是最聪明的。④禄を失ったほどあわれな者はない。／顶数失去俸禄者最可怜。⑤夏にはプールで泳ぐほど楽しいことはない。／夏天里再没有比在游泳池里游泳更愉快的事了。⑥あの台風の時ほどおそろしい思いをしたことはなかった。／从来没象那次刮台风时那么恐惧过。

6. 表示随着前项的变化后项也按比例地变化、相应地成立。主要用～ば～ほど～（ば前后用同一个词）、～ほど～、～なら～ほど～句式。从ほどの前接词上看有以下3种情况。

#### 1) 接于用言连体形。这是最常见的。

①では、結婚は遅ければ遅いほどいいですか。／那么，结婚越晚越好吗？②彼は酔えば酔うほど酔わないふりをする男だ。／他这个人越醉越装出没醉的样子。③人間は豊かなら豊かなほど物欲が深いという。／据说人越富裕物欲越强。④原子は温度が高いほど激しく振動する。／原子温度越高振动得越剧烈。⑤口と財布はしめるほど得(谚语)／嘴和钱包闭得越严越合算。

△下例中～ば部分不是同语反复，因此不是和以上相同的句式。

①温度が等しければ、露点が高いほど水の蒸発がさかんである。／  
在温度不变的情况下，露点越低水的蒸发越快。

2) 接于带有形容词性定语的名词。只能用～ほど～句式。

①健康な子供ほど、運動が好きです。／越是健康的孩子越喜欢运动。②森林が深く茂っている山ほど、その清水は清く冷たい。／越是森林茂密的山，那里的泉水越清凉。③不満の無い人間ほど向上心がないものです。／越是没有不满的人越没有上进心。④暗く見える星ほど遠くにあるものです。／星体越显得暗淡距离就越遥远。⑤苦しんだものほど、行くゆくその報酬にあずかれます。／人经历的磨难越多，将来越可能得到报偿。

△定语没有形容词性就不能造出这类句子，如“昨日私が買った本ほど、三番目のスイッチほど”只能作5的用法。

3) 接于名词。只能用～ほど～句式。条件是：这个名词必须具有程度性，即可伸可缩的性质。实际上，这类词大部分能展开，成为2)中的那种词组，如“大会社→大きい会社、急病人→急病にかかった人、悪人→悪い人。

①子供ほど運動が好きです。／越是孩子越喜欢运动。②上ほど空気が稀薄になります。／越往上空气越希薄。③沖ほど波がすごくなります。／越是远海风浪越大。④悪女ほど情が深いという。／据说越是丑女人感情越深。

△没有程度性的名词就不能造出这类句子，如“子ほど、紙ほど、星ほど”就不能。

【参考】ほど由古语名词ほど（程）转来，至今仍有名词用法和名词性接尾辞用法。

①程を経て、馬琴はこう言った。／过了一会儿，马琴这样说道。②先ほど／刚才。③列の中ほどに安田も交っている。／安田也混在队列的中间。

同时，即使副助词用法，从形式上说，也常常起到使用言体言化的作用，因此有人看作形式体言。在接续方面，本书也认为ほど是“体言性词语”。

翻訳文 ホンヤクブン 翻译文



【解释】把用一种语言表达的思想、感情转换为另一种语言的语言活动，称作翻译。翻译是语言活动的改变，就其内容来说不应该有什么变动，这就是所谓的忠实原文的内容。为了保证忠实原意，首先要正确地理解原文，并要用通顺易懂的译文，准确地把它表述出来，同时要尽量再现原文特有的环境气氛、语言风格和文化背景。

日本最早接触的外语文是汉语，所以，古代就出现了汉籍、佛经的训读文之类的翻译文。从中世纪起，接触荷兰文、英文等。通常所说的翻译文多指译自西洋语言的翻译文。起初的翻译文限于医学和其他自然科学、兵学等，政治、法律、经济及其他学术方面的翻译文的大量出现则是在日本实行开放政策以后。日本已成为世界第一的翻译大国。

【翻译的方法】有直译法和意译法两种。直译法就是对原文不加不减、逐字逐句地进行翻译，甚至有些特有的词语和语法现象也保留下来。直译的目的是为了忠实于原文，但因忽视了译文本身的可理解性，晦涩难懂，往往达不到其预想的目的。不过，直译法作为外语教学手段有其积极的作用，它帮助学习者正确地理解原文的语法规律，适应外国人的语言习惯。

意译不拘泥于原文的用词法和句子结构，在完全保留原义的前提下，按译文语言的用词法和句子结构重新造句。意译法不仅使译文忠实于原文，而且读起来通顺易懂，能够达到翻译的真正目的。文艺作品只能是意译。但是意译法易于忽视原文的风格特点和细微的语义差别，也容易随意增减词语，以致影响翻译的准确性。因此，意译必须在充分理解原文，在思想上进行直译之后再行进行。如果有些文章直接从原文翻译有困难，可由其他语文的译文重译。

【翻译体】翻译文虽然以固有文体为基础，但由于受到外语文的特殊表现形式的影响，增添了固有文体中所没有的新的表现形式，构成了一种新文体，称作翻译体。翻译体的适当运用产生有利的文章效果，但滥用起来会使文章晦涩难懂。新增添的表现形式都是外文的直译。主要如下：

1. 以无生命体或抽象事物名称作主动句、被动句、使役句的主语。

①風が彼の行く手をさえぎった。／风挡住了他的去路。②アメリカ



はコロンブスによって発見された。／美洲是由哥伦布发现的。③この次郎の冗談が、みんなを吹き出させた。／次郎这个笑话使大家忍不住笑了。

2. 出现了新的句子结构，如：主语带有子句、自动词带有同源宾语、特殊形式的感叹句、倒装句、接续词插入句中等。

①これらの事が起りうる可能性はきわめて少ない。／这些事情的发生，其可能性甚小。②幸福な死を死ぬ。／死得幸福。③何という怠惰な学生で私はあったか。／我曾是何等懒惰的学生。④ごらん，其の枯草の中に，少しの青いものがひそかに芽ぐんでいるのを。／你瞧，在那些枯草当中，有那么一点儿绿的东西在悄悄地萌发出新芽。⑤このような方法では，したがって，本当のスタイルの研究は出来ないのである。／因此，靠这种方法是是不可能做出真正的文体研究的。

3. 出现了新的语法范畴。如，动词的进行时、未然形的假定法、不定式、形容词的比较级的说法等。

①移り変わりつつある世相。／正在变化之中的社会。②不幸な変化が起こるだろうことが予想される。／估计可能发生不幸的事。③沼田はまるで自分が夫でもあるかのように，まゆをしかめてつぶやいた。／沼田好象自己是她的丈夫似的，皱着眉，嘟哝着。④結婚するには，あまり年が若過ぎる。／要结婚年龄可太小了。⑤要するに，彼らは世間に疎いだけそれだけ仲のいい夫婦であったのである。／总之，他们是越远离社会就越恩爱的夫妻。⑥彼は今世紀最大の詩人の一人である。／他是本世纪最伟大的诗人之一。

4. 出现了关系代词译法和新的格助词用法。

①ぼくはきのう駅の売店で君といっしょに買った（ところの）本を彼にやった。／我把昨天和你一同买的那本书给了他。②われわれの健康を病氣からまもりましょう。／保护我们的身体，以防疾病。③私にとって難問であった。／对我来说是难题。④ぼくの生まれたのは東京でだ。／我出生于东京。

另外，还有“をもって、において、について、によって、として”等。

## 5. 出现了新词、新词组。

①彼、彼女／他、她 ②友だちの一人／朋友之一。③……主催のもとに／在……主持下。④好むと好まざるとにかかわらず／不管愿意不愿意。⑤……に注意を払う／加以注意。⑥脚光を浴びる／登上舞台。

## ま マ

まい 〈推量助动词〉

【活用】无变化型。只有终止形和连体形，同为まい。

1. 终止形まい。

1) 单独或后续か等结句。

①明日も雨が降るまい。／明天也不会下雨。②乱暴をさせられはしまいかと心配した。／心里担心会不会遭一顿打。

2) 后续接续助词と、が、から、し、に等。

①珍しくもあるまいが、一つお上がり下さい。／不是什么稀罕东西，请您品尝。②他の事じゃああるまいし、少しゃ考えてごらんなさいよ。／又不是别的事儿，你要考虑一下。③そこでは、少々泣いても笑っても、誰にも知れまいから、安心だ。／在那儿哭一声笑一声不会被任何人知道，不必担心。

2. 连体形。一般只能后续こと、もの、はず、ため等少数形式名词。

①あろうことかあるまいことか、よくあんなでたらめが言えたものだ。／他可真是竟说出那种胡言乱语。②養生次第で、病気が根絶しまいものでもない。／就看保养如何，这病也不是不能根治的。

△有时以の为中介后续名词。

①風がふくにつけ、雨が降るにつけ、何かと言えば出かけまいの算断だ。／刮风啦，下雨啦，一有借口就不想出门。

【接续】 1. 五段动词、ます接终止形后。

①そんなことはあるまい。／不会有那种事吧。②それは大して役に立ちますまい。／那不会起多大的作用。

△“行かまい”“行こまい”属旧式说法，仍残存于方言。

2. 一段动词类以接未然形为规范，但接终止形后也是可以的。

①出来（る）まいと思ったが、案外よく仕上げた。／我以为准做不出来，没想到完成得很好。②大事な点は忘れ（る）まいとメモしておい

た。／把重点地方记了下来以防忘掉。③親を心配させ（る）まいと努めた。／设法不让父母操心。

3. サ变以接未然形即しまい为标准，接终止形即するまい也通用。另有方言说法：すまい（各地）、せまい（主要在近畿）等。

4. カ变以接未然形即“来<sup>く</sup>まい”为主，接终止形即“来<sup>き</sup>るまい”也不算错。“来<sup>く</sup>まい”有文言色彩，“来<sup>き</sup>るまい”最好不用。

5. まい常通过ある的中介接形容（动）词后。

①町の外れだから，そんなに便利ではあるまい。／由于是城郊，不会太方便。②今出かけても早くはありますまい。／现在出去也不算早。

【意义】略带文言色彩，在口语中带有一些陈旧的语体特色。

1. 表示确信程度很高的否定推测、想象。主要用于非意志动词和第二、三人称的意志动词后。口语中常用ないだろう、ないでしょう代替，但没有まい语气重。常与陈述副词呼应，其中まさか表示极度的假定推测。

①今の国際情勢は必ずしも楽観を許すまい。／目前的国际形势不容乐观。②人からエラーを指摘されても，それは自分の恥辱になるわけではありますまい。／被别人指出错误，这不一定是自己的耻辱。③誰が勧めても向こうはとて<sup>も</sup>聞き入れてくれまい。／无论谁劝说，对方是很难答应的。④どうしても行かなければなるまい。／恐怕非去不可吧。⑤まさか離縁話でもあるまい。／未必要离婚吧。

△和（よ）う同属推量助动词，但时态上有区别，まい不能用于过去。

①近くに店があろう（あるまい）。（现在）／附近有（没）有商店吧。②スマイルは昨日まで咲いていたろう（咲いていなかっただろう、※咲いてまい）。／紫花地丁一直开到昨天了吧。（～一直到昨天没有开。）

2. 表示自我禁止，即有关否定内容的强烈的意志、决心。在句末只用于第一人称，并可用～しないようにしよう代替。在句中无人称限制，并可用～ようにしない、～ようとしない代替。代替后不如まい语气强。不能用ないだろう代替。

①人には言うまい。／我不向他人泄露。②人の気に障るような話は二度とするまい。／我不再说伤人感情的话了。③もう思うまい，思うまい。／



我不再想了，不想了。④今度こそ負けまいと決心を固めた。／我下定决心这次绝不输给对方。

△此用法可用于自言自语，如果用于第二、三人称，则成为禁止，告诉对方这么做不妥。这主要在早期作品中常见，现已很少用。

①同じエラーは二度と繰り返さずまいぞ。／不许你再重犯这个错误。

△构成惯用词组まいとする，与（よ）うとする是反义。表示期望不引起或避开某动作、结果。在句中能略为まいと，与ようと对应。并和（よ）うとする一样，する部分可用“つとめる、決心する”等具体词语替代。

①彼はミチ子より遅れまいとしたが，出来なかった。／他不想落到美智子之后，但没有做到。②その態度は，大国の威信を傷つけまいとするかのように見えた。／那态度就象怕损害大国的威信似的。③姉娘は疲れたのを母や弟に知らせまいと（して），弾力のある歩き方をして見せる。／大女儿为了不让妈妈和弟弟知道自己累了，故意走出一种轻快的步子。④人の前に出ると私は顔を赤くすまいと努めなければならなかった。／我一到人前，必须竭力控制自己不脸红。⑤太郎は次郎に追いつこうとけん命でしたが，次郎は太郎に追いつかれまいとけん命でした。／太郎拼命地要追上次郎，而次郎则拼命不让太郎追上。

3. 主要以まいか形式表示疑问、怀疑、劝诱等。语气不强烈。

①今年中に，受け持った任務は完成を見まいか。／不知今年内能否完成担负的任务。②会場として適当な場所はどこかにあるまいか。／没有什么地方适合作会场吗？③夢を見て居はしまいかというような気もした。／甚至觉得是不是在作梦。④三万円ほど何とかして工面してもらえまいか。／你能不能想办法给筹措三万日元？⑤一度連れて来てくれまいか。／能不能给我领来一次？

△以もしや～まいか形式表示对确切性无把握的推测。

①もしや自分は恋をしているのではあるまいかと不図そう考えた。／突然觉得自己是不是在谈恋爱呢。

4. 还构成如下惯用型。

1) ～まいものでもない形式。表示有某种可能性。

①けれども、どんな事が起るまいものでもないと考えている。／但是，我想说不定发生什么事。②途中でガソリンが切れまいものでもないから、多く持っていこう。／说不定在中途用完汽油，多带一些去吧。③あの人のことだから、そんな事をしまいものでもないよ。／他那个人，也不是做不出那种事来的。

2) 以～（よ）うことか～まいことか形式表示是否属实疑惑不解。通常只用于ある、なる等词。

①あろうことかあるまいことか、乳飲みを捨てる女もいるって。／真是怪事，据说竟有遗弃乳儿的女人。②そんな自分勝手なことがなろうことかなるまいことか考えてみろよ。／你想想吧，这么为所欲为到底行不行。

3) ～（す）うか～まいか是对肯定和否定的一般选择，无特殊语气。

①こんな天気でも、行こうか（同行くか）行くまいかと随分迷った。／即或是这种天气是去还是不去踌躇了好一阵。

4) ～（よ）うが～まいが和～（よ）うと～まいと形式。表示对某种事实成立与否持放任态度。

①来ようと来まいと君の勝手さ。／来不来随你的便啦。②あなたがしょうがしまいが、私の知ったことじゃない。／你干不干和我不相干。

5. 表示“不适当、不可能”的口气。

①いい年をして新婚旅行でもあるまい。／也不是新婚旅行，那么大岁数了还扯什么！②だって、あなたは中学校で生徒から追い出された事はありませんかとも聞けまいじゃないか。／可是，我又怎么好问你是不是在初中被学生哄出来过呢？

6. 以まいに、まいし形式表示原因、条件，有时等于ないので，有时等于ないのに，有不满、责难的语气。

①子供でもあるまいに、小言ばかり言うなんて。／又不是小孩子，叨叨起来没完，真是的。②娘でもあるまいし、赤い着物は着られない。／又不是姑娘，穿不了红衣服。③「高すぎる」「あなたに買って戴きあしまいし、いいじゃありませんか。」／“太贵了。”“有什么关系呢，又不是请你给买。”

△用法6 可略去后项而成终助词，表示对与愿望相反的事实的抱怨。

①待っている人がいるわけでもあるまいに。／又不是有人等着你。

(何必着急)

【参考】 1. 关于まい的退化。まい来自文言まじ的音便形まじい。まじ活用形齐全，而まい现只有终止形和连体形。退化原因有二：一是现代日语分析性特征增加，将まい分解为ない和だろう（推量）、ない和つもりだ（意志）、习惯上用分解形式。其二，まい不能接です等敬体形式后，不便于口语。

2. 关于まい的词性。有人归入否定助动词，又有人归入推量助动词。这是由まい的双重职能造成的。现一般从后说。另，金田一春彦指出まい直接表示主观态度，这与终助词用法相似。

3. 在粗俗的谈话中常发音成めえ，属东京方言。

まいる (参る)

1. 敬语助词。

1) 作“行く、来る”的自谦语。

①来週またまいりますので、ご安心下さい。／下周我还会来的，请放心。

2) 作“行く、来る”的郑重语。

①もうすぐバスがまいります。／公共汽车马上就来。

2. 补助动词。接于动词连用形加て之后。

1) 作“ていく、てくる”形式的自谦语。接于表示说者自己（一方的人）的动作用的词后。

①こういう例を私は沢山見てまいりました。／这种例子我见过很多。②女王陛下，メアリを連れてまいりました。／女王陛下，我已将玛丽带到。

2) 作“ていく、てくる”形式的郑重语。

①ずいぶん寒くなってまいりましたが、お体に障りはございませんか。／天气已经很冷了，您身体可好吗？②川は合流点から川幅を持って、大河の相貌を帯びてまいります。／河从汇流处起，以其宽阔的河面，显现出大河的气势。

## 3. 其他用法。

①お寺に参る。／参拜寺庙。②今年の寒さにはまいった。／今年的冷劲儿真够受。③彼は田中さんにはまいった。／他对田中君毫无办法。④体がだんだんまいっていく。／身体渐渐虚弱下去。⑤隣の娘さんに参っている。／迷上了邻居家的姑娘。

## まえ（前）

## 1. 时间名词。

1) 接于时间名词或时间名词加“の”后，表示该时间前的时间。

①クリスマスの前はどうも待ち遠しい。／圣诞节到来之前，总是日夜盼望着。

与“以前”有区别，试比较：

①8月30日前／8月30日前（不包括该日）。②8月30日以前／8月30日前（包括该日）。

2) 接于动词连体形和动词否定形式的连体形后，分别表示已经清楚的某一时点前的时段和尚不清楚的某一时点前的时段。后者语气紧迫，有时可用“～うちに”代替。试比较：

①日本に来る前に日本語を勉強しましたか。／来日本之前学过日语吗？（已清楚）②※日本に来ない前に日本語を勉強しましたか。③何とかして，ことが表沙汰にならぬ前（内）に片付けておこう。（不清楚）／咱们想点办法，免得事情张扬出去。④※何とかして，ことが表沙汰になる前に片付けておこう。⑤寒くなる前に出張に出かけよう。／趁天没冷出差去吧。（已了解）⑥寒くならない前（内）に出張に出かけよう。／趁天不冷出差去吧。（不了解）

3) 接动词过去式后，表示某动作行为完了之前的阶段。

①誘いを受けた前とあととでは，香具子の様子が全く違っていた。／香具子接受邀请之前与之后的情形截然不同。

4) 可以受某些副词性句节的修饰。

①両親には僕より前に三人の子供があった。／父母在我之前有过三个孩子。

## 2. 方位名词。



1) 接名词の、动词连体形、助动词连体形后表示该事物、动作、状态出现的前面。形容词后不能接まえ。

①私たちの前に近寄ってきた。／来到我们面前。②子供が転んだ前は崖っぷちだった。／孩子摔倒的地方的前面就是悬崖。

2) 可受某些副词性句节的修饰。

①僕より前に二三人が坐っていた。／已有两三个人坐在我前面的地方。②村からずっと前に礼拝堂がある。／从村子向前走很远处有座教堂。

まさか 〈陈述副词〉

和否定、否定推量、反语形式呼应，表示料想某事不会发生、存在。

①まさかそんなことはあるまい。／不可能有那种事吧。②まさか彼ほど親切な人はいないでしょう。／恐怕再也没有象他那样热情的人了。③あの子も、まさかこんな結果になろうとは思っていなかったでしょう。／她也决没想到会导致这种结果吧。④私はまさか混乱がそのままたつまでも続いて行けるとは思えない。／我认为混乱岂能就这样无休止地继续下去。⑤まさか！／不会吧。怎么能呢。⑥まさかの時／一旦有事时。

△偶尔说まさかに。

まさに 〈副词〉

1. 写为“正に、方に”，意为“正、方、恰”。

①正にその通りだ。／正如你所说。②芳紀まさに20。／正值芳龄20。

2. 写为“当に”，意为“当、应当”。陈述副词。和“べきだ”呼应。

①まさにいうべきことをいう。／言当言之事。

3. 写为“将に”。陈述副词，和表示即将开始（或完成）的形式呼应。

①将に開戦せんとしている時……／就在即将开战之时。②将に開戦しようとしている時……／就在马上要开战的时候。③まさに死ぬ所だった。／险些送了命。

まして 〈副词〉

在前项举出较极端的例子，然后说明后项的情况更应该如此。近于接续词。有时后项以～なおさらだ、～おや結尾，因此まして又近于陈述副词。也说ましてや。

①動物にさえ仲間意識があるのです。ましてや私たちは人間ですからね。／连动物都有同伙意识。更何况我们是人了。②御飯を食うお金もない，まして君に貸してやるお金はなおさらだ。／连吃饭的钱都没有，更不用说能借给你的钱了。③この眠っている王女を見いだすだけでも，すでに興味の多い仕事である。まして王女を目ざませることおや。／仅仅发现这位睡公主就很有意思了，更何况弄醒她。

ましょう 〈助动词〉

ます的推量形后续う构成。时枝文法中认为用法1是“推量の敬讓助动词”。

【活用】无活用型。只有终止形。

【接续】同ます。

【意义】1. 表示对于第二、三人称事物的想象、推测。一般接于非意志动词后。

①雨がひどいから，この分では洪水になりましょう。／雨勢很猛，这样子要发大水了吧？②お泊らせするのもかえって失礼になりましょうから，この傘を持ってお出でなさい。／留您住下也许反而不礼貌，请带上这把伞走吧。

△一律能用另一种形式するでしょう代替，如例①为“～なるでしょう”。

2. 表示意志、决心。用于第一人称，但不一定在句中出现。接于意志动词。

①私がやってみましょう。／我来试试看。②（私も）無理な運動はやめましょう。／（我也）别搞太激烈的运动吧。

3. 表示劝诱。主体是对方或众人，也可包括自己在内。一般主体不出现。接于意志动词。

①一緒に散歩にでも出かけましょう。／我们一起出去散步吧。②食前には，必ず手を洗いましょう。／饭前一定要洗手。③あなたも残りましょう。／你也一起留下来吧。

4. 表示对儿童的命令。

①さあ，書き取りをしましょう。／来吧，听写。②体をまっすぐに

しましょう。／要伸直身体。

ます 〈敬语助动词〉

【活用】特殊型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ます	ませ	まし	ます (まする)	ます (まする)	(ますれ)	ませ まし	ましょ

1. 未然形。后续ぬ（一般都音便为ん，否则为文言体）和ず。不能接ない。

①お構いもできませんで，申し訳ありません。／招待不周，对不起。②そういう大業は決して私のような凡人に出来るものではありませんぬ。／这种大业非我等凡人所能完成的。③本年もどうぞ，相變りませずお願いします。／今年仍要请您多多关照。

△时枝诚记认为ません是敬让助动词。

2. 连用形。后续て、ては、ても、た、たり、たら等。中顿只能用まして形式，但因过于郑重，在通常的会话中可用简体代替。下例②、③。

①明けまして，おめでとうございます。／新年好！②何度も試して見ましては，またする気がなくなってやめてしまいました。／反复试了多次，又都失去兴趣，便放弃了。③ここへ参りましてから，もう3年になりました。／我到这里来已经3年了。

3. 终止形。まする是文言，现已不用。

1) 单独或后续助词、助动词结句。

①おはようございます。／早上好！②お気に召しますでしょうか。／您中意吗？③お帰りになりますか。／您要回去吗？④私もそう思いますね。／我也这么认为。

2) 后续接续助词。

①私は，さように考えまするが，諸君の御批判をうかがいたいと存じます。／我认为如此，还愿恭听诸位的指正。②まだ未熟な所もありますし，時間の余裕もありますから，もう一度検討して見るつもりで

す。／仍有不成熟的地方，时间也充裕，所以打算再研究一番。

4. 连体形。まする是文言体，只偶尔见于文章等，有郑重语气。

1) 一般后续形式名词。因语气过于郑重，可用简体代替。

①これから行きますことはご存じでしょう。／就要出发了，您知道吧？②私が帰宅します前に，もう彼はご飯を用意しました。／在我回家之前，他已经准备了饭。③向こうに見えますものが，東京タワーです。／对面看到的就是东京塔。④もし出来ますることなら，来月から着工する予定であります。／如有可能定在下月动工。

2) 后续有体言成分的终助词、助动词、接续助词等。语气郑重，通常用简体即可。

①たとえ死んだって，言い出しますものか。／即使死，也不说！②では，どうぞ御機嫌でいらっしゃいますように。（书信）／祝您精神愉快。③とかくの世評がありますので，事実を明らかにしておく必要があると思います。／因为有一些风言风语，所以我认为有必要澄清事实。

5. 假定形。后续ば。只偶尔用于文言体文章。可用ましたら等代替。

①できますれば，明日おうかがいしたいと存じます。／如有可能，欲明日登门拜访。

△ませば形式是古语，现已不用。

△文言已然形还表示既定条件、原因。

①何分子供の致しましたことなにとぞでございしますれば，何卒御寛大の処置をお取り下さいますようお願い上げます。／因乃孩童所为，敬请宽大处理。

6. 命令形。ませ和まし都常用，ませ更标准。因只接于敬语动词后，实际上更近于劝诱。

①どうぞお上がり下さいませ。／请进来。②御安心遊ばし。／请放心。③お薬を召上りまし。／请用药。

7. 推量形。后续う。参见“ましょう”项。

【接续】接动词、同型助动词连用形后。

①戻ってきましたら，連絡致します。／回来后您将和您联系。②失礼します。／对不起。劳驾。③馬に薬を飲ませます。／给马灌药。

△特殊五段活用的动词要接音便形～い后。如なさいます、おっしゃい



ます、くださいます。

△命令形只接个别敬语动词后，如いらっしゃいませ、おっしゃいませ、くださいませ、なさいませ、召しませ、申しませ、遊ばしませ。其他动词可通过包含上述动词的敬语形式来后续命令形。

①お読みなさいませ。／您请读。②ご覧下さいませ。／您请看。

△“立ってます”等是～ています的省略，不是例外。

△～まっせ、～まっさは方言，是ますぜ（→ますせ）、ますわ的音便。

【意义】1. 属敬语中的郑重语，表示说者对听者或读者的恭敬、郑重语气。可用于任何人称和动词之后。

①私はいたしかねます。（第1人称。自谦语后）／我难以从命。②あなたもおいでになりますか。（第2人称。尊敬语后。）／你也来吗？③島野さんは行きません。（第3人称。一般动词后）／島野先生不去。④木の枝に小鳥が一羽とまっています。（同③）／树枝上落着一只小鸟。⑤スーパーマーケットは都心にあります。（同3）／超级市场在市中心。

另外，与对方的年龄、尊卑等亦无关系，只要表达本人的郑重、文雅态度都可以用，但对长上一般不可不用。

①お母さん，行ってまいります。／妈妈，我走了。②太郎や，今年こそ頑張りましょう。／太郎啊。今年可要努力啊。

2. 与接于体言等后的です共同形成です、ます句体，属敬体形式，主要用于口语中，在口语体文章，如书信、演讲稿乃至文学作品等中也可以用，与である体、だ体等简体相对。

△从江戸后期到明治20年代，常同でございます一起使用，此后同であります一起使用，这些现在为表示态度郑重也可以用（であります用于演讲）。

【参考】1. 由表示谦让的文言动词“参らする”演变而成：まゐらする←まらする→まっする→まっす→ます。定形是在江戸时代中期，并转用于表示郑重语气。

2. ませんでした是ます的否定过去形式，有的方言中说成ませんでした。如：京都には行きませんでした。／京都没有去。

ません 〈助动词〉

ます的否定形式,时枝语法中认为是“打消の敬讓助動詞”。参见“ます”项。

また(又)

〈副词〉1. 表示重复、反复。

①またいらっしやい。／请再来。②また始まった。／你又来(那一套)了。

2. 联系别的事来谈论。表示所提事物亦属同类。

①私もまた物忘れがひどくなった。／我也好忘事起来了。②彼もまた一種の天才です。／他也是一种天才。

3. 只表示惊奇或强烈疑问的语气。

①これはまたどういうわけですか。／这到底(又是)怎么回事?

〈接续词〉用于句中或句子间。

1. 表示对于同一话题的相关问题的并列、对照叙述。

①宇宙には、恒星はいくつくらいあるだろうか。また、宇宙の大きさは、どのくらいだろうか。／宇宙中有多少颗恒星呢?还有,宇宙的体积有多大呢?②或る男は一週間に一回差し入れがあった。また、或る男は全然差し入れなかった。／有人每周一次有人给送东西(到狱中)。还有的人一次都没有。

2. 表示对同一问题的不同侧面的追加性叙述。

①丁寧に説明して下さり、また、宿題まで調べて直して下さった。／给我做了详细解释,另外,连作业也为我批改了。②今横棒,アラビア数字,また句読点の活字はまだ見付けていない。／现在还没找到横线、阿拉伯数字和标点符号的铅字。

3. 表示选择性并列。可说成または。

①食事はパンでもいいし、またご飯でもいい。／吃面包也行,米饭也行。②私は家の仏壇または寺の墓を見ると迷信的にそう考える。／我每当看到家里的佛龕或寺院里的坟墓,便有这种迷信的想法。

4. 用同语反复形式表示数量多或强意。

①公園の中は人また人でした。／公园里除了人还是人。②道中は山また山の連続である。／路上山连着山。

【参考】1. また还和其他接续词构成ならびにまた、そしてまた、かつまた、しかしまた、一方また等，用法与接续词また大致相同。

2. 和かつ的比较详见“かつ”项。

またしても 〈副词〉

同副词また相似，同时有不愿看到这种重复却重复了的语气。

①主任は松田さんにまたしても嫌味を言いました。／主任又对松田说起带刺儿的话来。②被告たちは三人五人と看守につれられて廊下へ出る。またしても，鉄格子の扉と鈍い錠のひびきだ。／囚犯被看守三个五个地带着来到走廊。又是一阵铁格子门和沉闷的铁锁的响声。

まだしも（未だしも） 〈副词〉

1. 表示未达严重程度，可以谅解。

①ただ20万円だけなくしたから，未だしもよかった。／只丢了20万日元，总算幸运。②喧嘩をしたがるだけならまだしもだ。／如果仅仅是愿意打架，倒未可厚非。

2. 常用～ならまだしも～形式，本身的意义同上。

①あやまるならまだしも，ただではおかないぞ。／道歉的话还凑合，白白算了可不行。②それもちっこの言い条を聞いての上ならまだしも，いきなり婚約解消一点ばりなんて，義平さんもあの晩とうとう怒ってしまった。／再说，若是先听一听我们这方的主张还可以，一开口就咬住解除婚约不放，义平那天晚上也终于发火了。

またと（又と） 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，表示不会再现。

①あの人またと来ないだろう。／他不会再来的。

△常直接和ない呼应。

①またとない。／不会再有。难得。②またとない洪水／百年不遇的洪水。③またとない人物／不可多得的人才。④またとない機会／千载难逢的机会。

または（又は） 〈接续词〉

1. 表示两者皆可或起同样作用，因此可选择任何一方。可用もしくは代替。

①手紙を出すかまたは電報を打つかしなければならない。／应该发封信或打个电报。②年齢または生年月日を書きなさい。／请填写年龄或出生年月日。

2. 用于选择问句。可用それとも代替。

①留学は東京大学にしますか又は早稲田大学にしますか。／留学是定为东京大学还是早稻田大学？

【参考】上面两种用法都有选择的含义，所以在兼并性并列中插入または是错误的。

“※英語もまたは日本語もできない”

松下文法 マツシタブンポウ 松下语法

【语言观】由松下大三郎（1878～1935）创立的语法体系。松下认为语言是以语音或文字为手段来再现思想的手段。语法就是表现思想的系统规律。松下语法以普通语言学理论为指导，并每和西洋语法相对照，因此具有普遍语法的性质。系统反应松下理论的著作有「日本俗語文典」「標準日本口語法」「標準日本文法」「改撰標準日本文法」等。

松下语法设断句、詞、原辞三个语言单位。断句即句子。词实际上相当于句节，另有連詞，相当于连句节。原辞是构成词（句节）的材料，有的能单独构成词，如：山、散らす、高い等一切能独立运用的根词。有的只能和别的原辞一起构成词，如：助词、助动词、词缀。实际上原辞相当于形态学中的词素。松下语法中的“詞”也用于词类划分，造成术语不一致。

【词法】松下语法的词类划分是层层二分的。首先，词划分为“单性詞”和“復性詞”。其中复性词日语中没有（古汉语中有其例，如“人未知之”中的“未”兼有いまだ和ず意。日语读为“人いまだこれを知らず”）。单性词二分为概念词和主观词即感叹词。概念词二分为内包词和外延词即名词。内包词二分为非叙述性的和叙述性的即动词。最后，非叙述性的词二分为连体的副体词（即连体词）和连用的副词。

助词、助动词属于原辞，不属于词。

对原辞也做了如下分类。1. 完辞。即能独立构成词的原辞（例见前述）。2. 助辞。即只能和别的原辞一同构成词的原辞。又细分为“静助词”（即助词）、“動助詞”（即助动词）和“接辞”。3. 不熟辞。即汉字



词中的构词成分。如：“学習”每个字都是一个不熟辞。实际上，完辞相当于形态学中的独立词素，助辞相当于附属词素。

从以上叙述可知，比如「ああ。」是一个断句即句子，这个句子由一个“詞”构成，这个词由一个原辞即词素构成。

不设形容词，将其作为动词的一类，称为形容动词，和动作动词（即通常的动词）相对。亦不设通常的形容动词，将しずかなり、堂々たり、多かり之类归入动词。把通常的动词称作动作动词，分为运动性的（行く、とまる）和静止性的（内含意志性的：居る、堂々たり、たり和自然的：在り、父なり、静かなり、遠なり）。不把接续词作为独立的词类，将其作为副词的一类。副词共分6类。虽不设作为独立词类的助词和助动词，但并未忽视它们的作用。其中助词的分4类：“格助辞”、“感叹助辞”、“提示助辞”、“副助辞”。

松下语法虽然站在形态学的立场上来论述语法（主要是论述词法），却显得较深奥难懂。其最主要的症结在于词的认定。表面上看，忽而把相当于句节的东西看成词，忽而把相当于能独立构成句节的东西看成词。其实这里没有重大的自相矛盾之处。因为，日语的句节才相当于屈折语或孤立语中的词，所以，把上述两种意义的“词”合起来看，就可以说，松下始终是把句节看成词的。又由于日语的粘着性，在词类划分中，只对词的主要部分（即独立词可看作词根或者词干）进行分类是无可非议的。在这一点上，松下处理词的“变体”的做法正好给我们以启示。如：“山”是一个词，“山が、山を、山に”等等也分别是一个词，称为词的格，实际上等于形态学中的屈折词，“お山、山たち（拟人化）”等等也分别是一个词，称为词的相，实际上等于形态学中的派生词。把助词和助动词看作词的一部分的作法，在后来的铃木重幸等的语法中也可看到。

【句法】松下认为句子（断句）是语法中最大的单位。句子成分都配成两两一对，共五对十种。这一作法体现了日语语法理论中传统的“关连・承接理论”（係り受け論）。分别为：主语和承接主语的“叙述語”（人本を讀む）；宾语和承接宾语的“歸着語”（書を讀む。人と交わる。山に登る。花より団子）；补语和承接补语的“形式語”（勉強する。書いてくれる）；“修用語”和承接修用语的“被修用語”（高く飛ぶ）；连体语和承接连体语

的“被連体語”（青い空）。这种划分为后来的桥本语法、学校语法采纳，作为句节之间关系的准则。

松下认为作为句子结构单位的词有相和格的功能。首先，名词的相有尊敬、卑称、复数“例示態”、“特提態”（人のみ。花だに），“叙述態”（苦は楽のたね），“指示態”（古池や），“呼唤態”（少納言よ）。动词有尊称、卑称、“利益態”（てくれる、てもらう），“完全態”（てしまう），“既然態”、时相、“推想態”。这些理论对后来的动词的体的语法范畴以及敬语、补助动词的研究都有很大的影响。

松下语法反对印欧语语法那样的单句，复句、并列句等句子结构上的划分，而是按语义特征来划分。

断句	{	思维性断句	有題（今宵は十五夜なり）
			无題（花咲きたり）
	{	概念性	（君よ）
		直观性断句	主观性（否）

有题和无题的区分作为一个重要概念为后来的三上章等学者所接受。

【敬语法】用“待遇”的概念来总括所有人事关系方面的表达。分为尊称和卑称，然后结合词类详细论述。名词的尊称包括自体尊称（社長さん）、所有尊称（お心）、主体尊称（思し召し）、客体尊称（参上）。动词的尊称有主体尊称（おっしゃる）、客体尊称（差上げる）、所有尊称（お笑いになる）、支配尊称（口语没有）、对者尊称（～です、～ます）。名词的卑称有自体卑称（僕、きさま）、所有卑称（拙宅）。动词的卑称有谦称（吹き申し候）和骂称（～やがる、くたばる）。另有“莊重態”，近于现在所说美化语。

まったく（全く） 〈副词〉

1. 对程度的全盘肯定或否定。原只能否定，和否定形式呼应，现扩展到肯定形式。

①全く知らない。／一无所知。②全く失敗した。／彻底失败了。③全く動かず，心臓だけが鼓動を保っている。／一动也不动，只有心脏继续跳动着。④全くどうしていいのか判断がつかなかった。／怎么办才好，当时全然没了主意。⑤全く退屈した。／无聊透了。

2. 和肯定形式呼应，表示程度极高，完全符合所做的评论。

①全く美しい。／漂亮极了；真是漂亮。②まったくだめだ。／根本不行。③洪作にとってはここは全くの異国といってよかった。／对于洪作，这里可说是真正的异国他乡。

まで 〈格助词・副助词〉

【接续】1. 接体言、由副助词、并列助词等构成的体言性词组后。

①暫く東京まで出張に行ってまいりました。／前一阵子到东京出了趟差。②日曜日だから，12時までテレビを見ていました。／因为是星期日，看电视看到12点。③旨く行けば，毎日1万円ぐらいまでもうかる。／弄得好每天能赚到1万日元。④あれほどまで言い聞かされても悪いくせが直りそうもない。／被人规劝到那个程度，坏毛病还是改不掉。⑤彼は中国語やモンゴル語までぺらぺらだ。／他甚至连汉语、蒙古语也说得流利。⑥病気のため，立ち上がることもまで人の手を借りなければならないようになった。／由于疾病，现在连起身也要别人帮助了。

2. 接用言及助动词连体形后。

①彼は30才になるまで，結婚はしないと言っています。／他说30岁之前不结婚。②この仕事は準備が少し面倒なまでで，やり始めてからは簡単ですよ。／这事只是准备有些麻烦，干起来就简单了。③この調子では社長にならないまでも，部長にはきつとなれるわ。／照这样干，就是当不上经理，也准能当上部长。④ちょっと散歩のついでにお寄りしたまでなんです。／不过是借散步之便来看。⑤声をかけられるまで，彼がそこに来ていることに気づかなかった。／直到被叫了一声，仍未发现他在那里。

3. 接连用修饰性成分后。

1) 接副词后。

①こうまで厄介なこととは始めて分った。／才知道事情原来如此棘手。②その時，変な影がはっきりとまで現われた。／这时，竟出现了清晰可辨的怪影。

2) 接格助词から、で、と、に、へ等后。

①霧とまでは言えない9月の朝の空気／似雾非雾的9月早晨的空

气。②親や兄弟からまで見放された男／甚至于被父母弟兄所抛弃的人。

③北海道へまでは行かなかった。／没有到北海道那么远的地方。

### 3) 接用言类连用形后。

①にくらしくまで見えた。／甚至觉得有几分憎恶。②そんなにまで僕のことを思って下さってどうもありがとうございます。／对我如此关照，谢谢您。③現在は，粒子は，電子顕微鏡で写真を取ることができるようにまでなっている。／现在，粒子甚至能用电子显微镜拍照了。

### 4) 接接续助词て等。

①何も家を売ってまで子供に大学教育を受けさせることはないだろう。／没有必要不惜卖掉房产来供孩子受大学教育吧。

△后续。まで有名词性，不仅能接格助词后，还可以后续格助词等。

①昨日までが夏休みだった。／到昨天为止是暑假。②結婚してもそれまでの仕事をやめない女性が多くなったようです。／结婚之后也不放弃原来工作的妇女好象增多了。③ここまでを今日中に終らせたい。／今天想完成这些。④これまでに最大の欠損／迄今最大的亏空。

△にまで和までに。如果与顺序、数量有关，接于に的前后均可，但意义不同，反之只能接于其后。试比较：

①私にまで（※までに）贈り物をくれた。（与顺序无关）／甚至也给我礼物了。②宿題を日曜日にまでする。（与顺序有关）／连星期日也做作业。③宿題を日曜日までにする。（与顺序有关）／在星期一前把作业做好。④ベッドにまで雪が積っている。（与数量有关）／连床上也有积雪。⑤ベッドまでに雪が積っている。／雪一直积到床上。

【意义】1. 表示时间、空间、数量、主体人物等各种连续范畴的最终界限。属于格助词用法。

### 1) 表示时间的最终界限即期限。包括前接时间在内。

①7月の始めまでは，殆どからりと晴れた日がない。／一直到7月初，几乎没有晴朗的日子。②旦那様の帰宅まで待てよう。／我们就等到主人回来吧。③明治までの日本／直到明治为止的日本。④願書の受け付けは来月の10日までです。／申请书的受理截止下月10日。⑤あの人は身寄りがないので，死ぬまで面倒を見てやらなければなりません。／



因为他没有亲属，要照顾他到死。

△不能直接和没有连续性的动词搭配。无连续性的动词前要用に或までに。试比较：

①会議は八時に終わる。／会议八点结束。②会議は八時まで行われる。／会议开到八点。③会議は八時までに終わる。／会议八点之前结束。

2) 表示运动、行为的所及之处。

①日本へは青森まで行ったことがある。／到日本最远去过青森。②駅へ行くのなら，途中までお供するよ。／到车站去的话，我陪你到中途。③漁夫たちはひざがしらまで水に浸っている。／渔夫们浸在没漆深的水里。④2時間あまりかかって，ようやく峠の上まで漕ぎつけた。／用了两个多小时，终于攀登了坡顶。⑤参加者は係まで申し出て下さい。／参加者请到负责人处报名。

△非连续性动作不能用，如“東京に（※まで）ついた。／到了东京。”

3) 表示数量、顺序、范围等的最后界限。

①科学者にとって50才までが最適齢とされている。／通常认为对科学家来说50岁之前是最佳年龄。②一度に五冊まで館外に借り出せる。／携书至馆外每次最多可借五册。③競争者の第3位までに賞品が与えられる。／向比赛参加者的前3名发奖。④子供や老人にいたるまで戦争に追いこまれてしまった。／甚至于老人和儿童也被推进战争中去了。

△在数量方面，常用重复的形式表示达到的范围。

①10人が8人まで賛成だ。／10个人有8个赞成。②このクラスの学生は20人が20人まで発明家になりたい夢を持っている。／这个班的学生20个人全都有当发明家的理想。

△上述1)～3)都可以用～から～までの惯用形式把两端的界限同时标示出来。

①中学に入ってから卒業するまでには，何十回という大小のテストがある。／从入初中起到毕业为止，有多达几十次的大大小的考试。②私の学校では午前8時から正午12時までが授業時間となっている。／在我们学校，从上午8点到中午12点是上课时间。③東京から北京まで，

飛行機なら4時間しかかからない。／由东京到北京，若乘飞机只需4个小时。④この団体は留学生の勉強から下宿までいろいろな世話をしてくれます。／这个团体从留学生的学习到住宿，提供各种帮助。⑤山田さんの着ているものは、セーターから靴下に至るまで全部奥さんの作ったものだ。／山田先生穿的从毛衣直至袜子都是夫人给做的。

2. 表示程度的界限。可看作副助词，也可看作格助词。

1) 表示目的性、结果性的程度。

①教科書のどこをどう出されても出来るまでに、徹底的に勉強するのが受験勉強です。／彻底地学习，直至无论从教科书的哪部分出题，怎么出题都能答上，这就是考前准备。②続けざまに殴打されたが、気を失うまでには至らなかった。／受到连续殴打，但是没导致昏迷。③水の色が黄色になるまで、息を吹きこみなさい。／往里面吹气，直到水色变黄为止。④ある溶質をその溶解度まで溶かしている溶液を飽和溶液という。／把一种溶质溶解达到其溶解度，这样的溶液叫饱和溶液。⑤どうしてこれほどまでに途方もないことが書かれたものか。／怎么能写出竟至如此荒唐的事儿来呢！

2) 以まで、までに、にまで形式表示行为所包含的性质到此为止。有恭敬、谨慎的态度，书信中用的较多。

①取り急ぎ右御返事まで。（书信）／草草奉复。②以上お知らせまで。（书信）／谨告知如上。③参考の一端までに記して見る。／写下来，略作参考之一二。④君ももう子供ではないから、参考にまで言っておきます。／你也不是小孩子了，我就说一说，供你作参考。⑤お別れのしるしまでにいたしたのですから、どうぞおあがり下さい。／谨表饯别之意，请吃吧。

3) 以までだ、までのことだ等形式表示事物的程度不过如此。

①大したことはない。二十八日間拘留されるまでだ。／没啥了不起，大不了拘留28天。②いよいよの場合は僕が一切の責任を負うまでだ。／紧要关头，由我负一切责任就是了。③訊くなと言ったら訊くな。俺はお前に依頼されたことを果したまでだ。／让你别问你就别问！我只是完成了你要求我做的事。④どんなにいい夫になれる人が、この世

のどこかにいても、一生めぐり合わさないで仕舞えばそれまでである。  
 /即或世界的某个角落里有再好的丈夫，如果一生无缘相遇，那就无从谈起了。⑤日記をつけるひまがあるなら，縁側で寝ているまでの事さ。/  
 我若是有时间写日记，莫如在屋外走廊上睡一觉儿。⑥やって見て効験  
 がなければよすまでの事だ。/干着看，不见效拉倒。⑦それほどには真  
 剣になれなかったまでの話である。/只不过是太认真而已。

4) 以までもない或类似形式表示事理自明，不必多言。

①簡単なことだから，一一説明するまでもない。/因为很简单，不  
 必一一说明。②学生の本分が勉強であることは言うまでもありません。  
 /学生的本职是学习，这勿庸赘述。③その声が友達のものであることは  
 振りかえるまでもなく分った。/没有回头就知道了那声音是朋友的。  
 ④本にちゃんと書いてあるから，他人に聞くまでのことはない。/书上  
 写得很清楚，所以不必去问别人。

5) 以（と）までいかない的形式表示尚未达到如此程度。

①戦争とまでは行かないが，軍備拡張はもう危険な域に入っている。  
 /尽管尚未导致战争，但军备扩张已达到危险的境地。

6) 以～ないまでも形式表示从理想中的程度（前项）退一步考虑后  
 项中的现实问题。

①助けないまでも，嘲笑することはないだろう。/即使不帮助也  
 罢，总不该嘲笑吧？②家から火事を出さないまでも類焼にあたりす  
 るだけでも重い打撃です。/即使是自己家不发生火灾，光是邻居起火烧过  
 来也够呛。③敵対的といわないまでも怪しげな行動を取る人もいる。/  
 虽然不是敌对的可也有人采取很可疑的行动。④このような相異なる  
 尺度は，多数とはいわぬまでも，とにかく世界に数種ある。/这种不同  
 标准，尽管不很多，但世界上毕竟有几种。

7) 偶尔以までも形式接于肯定形式、消极内容的词后，表示逆接关  
 系。

①失敗するまでも，やはりやってみるべきだ。/即使失败，还是要  
 试一试。

3. 表示事态发展的程度。属副助词用法。

1) 以极端情况为例来说明整个情况。可用“さえ”代替。

①親までも彼に愛想を尽かした。／连父母都不管他了。②病人は名前まで忘れてしまう状態です。／病人处于连名字都忘记的状态。③江戸時代のキリシタンは死刑になってまでキリスト教を守り通そうとした。／江戸时代的天主教徒对基督教坚定不移，直至被判死刑。④夢にまで見た車。いや，人から奪ってまでも，手に入れたかった車。／梦寐以求的车！不，甚至从别人手里抢也想得到的车！

2) 表示追加。常构成～のに～まで、～ばかりか～まで形式。

①この寒い風で沢山なのに，雨までが降り出した。／这么冷的风就够呛了，偏又下起雨来了。②父ばかりかおとなしい祖母まで怒り出した。／岂止是爸爸，连温和的奶奶也发起火来了。③風速計も風向計も乾湿球温度計も，役に立たなくなりました。そして気圧計までも。／风速计、风向计、干湿球温度计都失灵了。还有气压计也是这样。

【参考】1. 山田孝雄认为までは副助词，松尾捨治郎认为是格助词，时枝诚记也认为用法1是格助词。「現代語の助詞・助動詞」及松村明「日本文法辞典」认为两种性质兼有。这里从后说。试比较：

①学校まで行った。／到学校去了。②学校にまで行った。／甚至到学校里去了。前句格助词，后句副助词。

这两种性质的并存有可能造成歧义句。

①食えるときまで本を見る。／（格）看书看到吃饭的时候。（副）连吃饭时也看书。②屋根まで飛んだ。／（格）飞到房顶上。（副）连房盖儿都飞了。

2. 和另外一些副助词一样，まで也有使用言体言化的作用。

①車にはねられたまでは覚えていますがあとのことは何も分りません。／被车撞之前的事记得，后来的事就什么也不知道了。

までの 〈复合助词〉

【意义】使连用修饰结构连体化。

1. 表示空间延续的终点。

①米国本土までの旅費は高すぎるからハワイまでにしましょう。／去美国本土的旅费太贵，就到夏威夷吧。②町までの道程はまっすぐだ



が、町の道路がかえってくねくねしている。／到街上的路程是笔直的，而在街里却弯弯曲曲的。③佐渡までの航海は危いと聞いたが，ほんとうにそうだった。／听人说渡海到佐渡很危险，果真如此。

## 2. 表示时间延续的终点。

①昨日までの曇り空が きょうはからりと晴れてしまった。／直到昨天是阴天，今天却天晴如洗。②出発までの一時間はテントで休むことにする。／出发前的一小时将在帐篷里休息。

## 3. 表示事态发展的程度。常用までのこと形式。

①手術するまでの打ぼく傷ではなかった。／并不是 需要动手术的撞伤。②乗るか反るかやってみるまでのことだ。／管他成不成，不妨试一试。③いくら真剣だからといって，何でもくりかえして見るまでのことはおそろくないだろう。／再认真，恐怕没有必要事事都要重复做吧。

ま ま 〈形式名词〉

【接续】1. 以の中介，接于体言类后。

2. 接用言，用言型助动词、助动词た等的连体形后。

△在文言体中，中间可插入属格助词が。

①あるがまの人生を描く。／描写人生的本来面目。

3. 接その等连体词。

①そのまま我慢している。／就那样忍着。

【意义】1. 表示在保持原有状态的条件下做后项动作。动词多接～た形式后。

①帽子のまま先生の部屋に入ってしまった。／没脱帽就闯进老师的房间里。②着<sup>き</sup>の身<sup>み</sup>着<sup>き</sup>のまま水に飛び込んだ。／穿着衣服就跳进了水里。③婦人たちは海辺につっ立ったまま沖の方をながめていた。／妇女们一动不动地站在海边瞭望着深海。④灯火を目がけて，漁夫たちはある限りの櫓を黙ったままひた漕ぎに漕いだ。／朝着灯火的方向，渔夫们默默地拼力摇着所有的櫓。⑤二人が火事の部屋から出られないまま，焼け死にってしまった。／两个人未能从失火的房间里出来，而活活被烧死了。

2. 前项动作行为发生后，没有出现预期的动作行为或出现了相反的动作行为。

①捜査を不十分のまま打ち切った。／尚未深入就停止了捜査。②もう暇がなかったので、乱れた部屋をそのままにして出発した。／因为没有时间，扔下杂乱的房间就动身了。③大木が道に倒れたままだになっている。／大树仍倒在路上。④彼はアメリカへ行ったまま帰らなかった。／他到美国之后就一直没回来。

3. 以～たまま形式表示所见所闻的真实内容。多后续を。是使前述成分名词化的典型形式。

①先生が教えたままを覚えていいです。／可以按老师教的内容记。②人から聞いたままを親に話した。／把从别人听来的话原原本本说给父母。

4. 表示按前项内容行事。多用ままだに形式。

①仰せのままだに致しましょう。／遵命。②命ぜられるままだに仕事をやっていく。／按照命令行事。③足の向くままだに散歩に出かけた。／信步出来散步。④思うままだに返事をすれば、大変なことになるぞ。／随便回答，那可不得了啊。⑤人の言うままだになる。／人家怎么说，就怎么办。⑥所長は研究員の意のままだになっているようだ。／所长好象听研究员的。⑦我がままだな子／任性的孩子。

△只有固定的ままだにならないのままだ可以不用修饰语。

①いそがしくてつきあいもままだにならない。／忙得社交都不能如愿。

まるきり (丸切り) <陈述副词>

口语中常音便为まるっきり。和否定的形式或消极的内容呼应，表示对状态的彻底否定。

①年を取って、私には、金をかせぐという一人<sup>いちにんまえ</sup>前の能力がまるきりないのではなかろうか。／会不会是我上了年纪，完全丧失了独立谋生的能力了呢？②その内容はまるっきり分らない。／根本不懂其内容。③僕はこれとはまるっきり無関係です。／我与此毫无牵连。

△まるきり和すこしも。与人无关的自然现象之类不能用まるきり而要すこしも。如“春になってもすこしも(※まるきり)暖かくなならない。／到了春天仍一点不见转暖。”

まるで <陈述副词>

由表示“全部”之意的まる和格助词での结合而成。

1. 和表示比喻、感觉性判断のようだ以及みたいだ、ふうだ、そっくりだ等呼应。可用あたかも代替。

①まるで雪のように白い。／洁白如雪。②彼はまるで約束を忘れて  
いるふうだ。／他好象忘了约定似的。③まるで社長みたいに振舞う。／  
表现得俨然一位经理。④太郎の歩き方はまるで父親そっくりだ。／太郎  
走路的姿势和父亲一模一样。⑤彼女の歌は、まるで音楽家の歌と少しも  
かわりはありません。／她唱得和音乐家别无二致。⑥お金のことばかり  
言っていて、まるで商人だ。／光谈论钱，简直是个商人。

2. 和否定形式呼应，表示全面否定。

①私はこの事件とはまるで関係がない。／我和这一事件压根儿没  
关系。②まるで、この世の人とは思われません。／简直让人不能相信  
是今世上的人。③彼女の身ぶりはまるで話にならない。／她的举止简直  
不象话。

3. 和肯定形式呼应，表示程度彻底。但只限于遗忘、变化、不同  
等与否定有关联的词语。

①大事なことをまるで忘れてしまった。／把要紧的事情彻底给忘  
了。②事件の運び方は私たちの預期したこととまるで反対の結果をも  
たらした。／事件的发展导致了和我们预期的截然相反的结果。③日本海  
側と太平洋側とではまるで気候が違う。／(日本的)日本海一侧和太平  
洋一侧气候全然不同。④同じ場所なのに、まるで感じは一変した。／本  
来是同一个场所，而感觉却为之一变。

まんいち (万一) <陈述副词>

和假定形式呼应，表示对可能性很小(并且不希望其发生)的事的  
假定。强调形式有“万が一、万が一にも”。

①万一途中で雨が降り出したら暫く雨宿<sup>あまやど</sup>りをしてもいい。／万  
一中途下起雨来，你也可以避一会儿雨。②万一認められなかったらどう  
しますか。／万一不被承认怎么办?③万が一、私が来られなければ、代  
理の者を来させます。／万一我来不了，我会让代理人来。

△偶尔和表示否定的形式呼应。

①万一我々が負けないとも限りません。／我们也不是绝对不会输。  
△另有名词用法：万一に備える。／预防万一。

まんざら （満更） 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，对反面、消极的内容再加以部分否定，以达到部分肯定的目的。同かならずしも作用相似。

①まんざら捨てたものではない。／还真不是扔货。②まんざら興味がないでもない。／不是一点儿兴趣也没有。③数字が挙げられているのだからまんざらウソでもあるまいと思って信用してしまうのである。／因为出了数字便以为大概不全是假的而相信它。④この自動車は随分古い  
が、エンジンは満更悪くもあるまい。／这辆汽车相当旧，不过发动机  
还不会破的不象样子吧。⑤まんざらでもない。／未必就不好。



# み      ミ

## み 〈接头辞〉

敬语的接头辞。过去用汉字“御”。

1. 接于有关神、佛、天皇等固有词之前。例：みあかし、み魂、み仏、み心。

2. 表示高度敬意。例：み教え、み国。

3. 表示赞美。例：み山（写“深山”）、み雪。

## み 〈接尾辞〉

接形容（动）词词干后构成名词。

1. 接于感觉感情形容词后，表示主观感觉。

ありがたみ、痛み、うまみ、おかしみ、おもしろみ、悲しみ、苦しみ、楽しみ、懐かしみ、憎しみ。

△多数和对应的动词连用形相同。

痛み（痛む）、苦しみ（苦しむ）。

2. 接属性形容词后，表示感觉到的客观特征（状态、所在、色调、味道、温度等）。

赤み、青み（以上色彩）、甘み、うまみ、辛み、臭み、渋み、酸っぱみ、苦み（以上味道）、明るみ（光亮）、暖かみ（热气儿）、厚み（厚实劲儿）、重み（重量）、真剣み（认真劲儿）、強み（优点、好处）、弱み（弱点）、高み（高处、高地方）。

△在反义词中接于意义积极的词之后。

重み／※軽み、深み／※浅み。但“強み、弱み”均可。

【参考】み和さ的区别。さ表示客观程度，所以不仅能说“重さ”还能说“軽さ”。み表示主观感受和印象，带有倾向性，因此不能说“軽み”。同理，客观形容词“大きい、広い、太い”等不能接み。有的客观形容词也可接み，但有区别。

①重さを量る。／称重量。②重みを感じる。／感觉到了分量。

因さ也可接于反义词的消极意义的词后，比み接续范围大。

見える ミエル 〈动词〉

1. 实义动词。

1) 表示客观地反映在视觉上。

①あそこに見えるのがアソ山だよ。／那里所看到的 就是阿苏山。

②この小さい字まで目に見えますか。／连这里的小字也看见了吗？

△此用法一般不能用みられる代替。下例的两种情况有区别，みえた指富士山的情况，みられた指看的人的情况。①雲がないので富士山が見える。（～が見られる。）／由于没有云，看见富士山。（～看得见富士山）

2) 表示动物等的视力。

①フクロウは夜しか目が見えない。／梟只在夜间能看见东西。②顕微鏡は人間の視力より何百倍以上にも物が見える。／显微镜比人的视力高出几百倍以上。

2. 补助动词性用法。接于各种连用修饰性句节，如：用言及同型助动词连用形～に、～く、～て（动词）、格助词に和と结尾的句节、こう系列副词后。

1) 表示对表面呈现出的状态的感觉内容。

①研究所では火尻はいつも自信満々に見えた。／在研究所里，火尻始终表现得充满信心。②お父さんは妹のことを溺愛しているようにさえ見えた。／甚至觉得爸爸溺爱妹妹。③霧のため，街燈は赤く見えます。／由于雾的原因，路灯显得发红。④彼女は年より10ぐらい若く見える。／她看上去比（实际）年龄小10岁。⑤ろうそくのため歪んで見える顔／因烛光显得歪斜的脸。⑥篝火の明りに照らされている人々は，一様に赤く染まって見えている。／只见人们在篝火照耀下，个个照得通红通红的。⑦雨もよいの空は，地面と同じ色に見えた。／雨意的天空显得和地面同样颜色。⑧とくに代助はそう見えた。／代助显得尤其如此。

△不可与实义动词（下例②）混淆。试比较：

①太陽の光も電球の光も，全体としては色がついて見えない。／太阳光和电灯光从整体来看都不带颜色。②砂糖は水に溶けて見えなくなった。／白糖溶于水中，看不见了。

2) 表示根据表面状态而作的不确实判断或推测。用とみえる形式接活用词后，但だ可省略，如下例①。

①彼は病気と見える。／看来他有病。②青年には中庸を守ることが難しいと見える。／看来青年难以保持中庸。③彼は事業に失敗したと見えますが，どうしたことでしょう。／他好象在事业上失败了，是怎么回事啊？

△常以とみえて形式表示前项是说者根据后项中的既定事实而作的推测。不能用于命令句、请求句、疑问句等。

①夏休みになったと見えて，海水浴場は学生で一杯になりました。／好象放暑假了，海水浴场里满是学生。②あの子は父母の愛がないと見えていつも子供らしさが無い。／那孩子好象没有父母的愛，总也没有儿童的天真活泼劲儿。

3. 敬语用法。作“来る”的尊敬语，同おいでになる。现在常用おみえになる形式。

みじんも（微塵も） 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，表示彻底否定。主要和形容词ない呼应。可用すこしも代替。有时也用～みじんの～もない形式。

①その言葉には，みじんの飾り気もないのです。／那话语中没有丝毫的文饰。②しかし，その時の私には，結婚したい気持はみじんもなかった。／可是，当时的我连一丝一毫想结婚的念头都没有。

見せる ミセル 〈动词〉

1. 实义用法。

1) 示某物于人。

①人に自分の写真を見せる。／给别人看自己的照片。②俺にも自信というものがあることを見せてやろう。／让他们看明白我也有信心。③娘はいたずらそうな顔付を見せた。／姑娘做了个顽皮的表情。④孫をお医者さんに見せた。／让大夫看了孙子的病。

2) 使出现。

①大臣が会見室に姿を見せました。／大臣出现在会见室里。

△みせる和みさせる的区别：前者不通过对方的意愿，后者通过或者不

通过对方的意愿。试比较：

①子供に生花を見せる。／给孩子看插花。②子供に生花を見させる。／让孩子看插花。

## 2. 补助动词用法。

1) 接某些动词的使役态加て、形容词、形容动词词类的连用形后，表示使某人、物呈现出某种表面状态。

①黒い紋付は寿久の瘦せた肩を更に尖らせて見せた。／带家徽的青色和服使寿久瘦削的肩显得更尖了。②当人も勉強家かの如く見せている。／他本人也装出非常用功的样子。③彼はできるだけ周囲に正直に、時には馬鹿正直に見せていた。／他尽量对周围的人表现得很正直，有时是过分正直。

△可看作みえる用法的他动形式。试比较：

①雨後の空気で山が一層高く見えた。／因雨后的空气山显得更高了。②雨後の空気は山を一層高く見せた。／雨后的空气使山显得更高了。

△不可与实义动词（下例②）混淆。试比较：

①そんな気体はネオンを赤く光らせて見せたのである。／这种气体便使霓虹灯显得发出红光。②うちの子はテストの成績を隠して見せないんです。／我家孩子把测验成绩藏起来不给看。

2) 以てみせる形式接于意志动词连用形后作补助动词。

(1) 表示为他人做某种示范性的动作行为。

①これから私がこの機械を皆様に操縦して見せます。／下面由我操纵这台机器给诸位看。②先生はまず学生の前でテキストを読んで見せた。／老师首先在学生面前示范地读了课文。③君に出来るならやって見せてもらいたいものだね。／你若是会我很想领教。

(2) 表示行为者有意的表态、夸示、做出的表情等。

①誠吾は何にも説明せずに笑って見せた。／誠吾不做任何说明地冲他笑了笑。②「大丈夫？」と妙子<sup>たえこ</sup>が心配そうに聞いた。法夫<sup>のりお</sup>は、だまっ  
てうなずいて見せた。／“不要紧吗？”妙子显得很担心地问道。法夫默  
默地冲她点了点头。③人の前でだいふくをおいしそうに食べて見せて



いる。／当着别人的面很香甜似地吃着豆馅年糕。

(3) 以不服气的口气表示强烈的意志、决心。有时有自言自语的口气。

①きつと本当のことを言わせてみせる。／非要让他说出实话来！②次は腰をぬかさずに跳んで見せる。／瞧着，下次给你跳个不闪腰的。③今学期こそ，百点を取って見せるぞ／这学期要拿他个一百分儿！

**未然形** ミゼンケイ **未然形**

活用形的一种。无独立用法。口语用言中，如果把形容词和形容动词的未然形归入推量形，那么，只有动词有未然形，而且只有五段动词的未然形有单独的形态，其余动词均与连用形相同。“未然形”是根据在文言中主要后续否定、推量、假定等非现实（未然）意义的词语这一特征命名的，实际上还能后续表示被动、使役等的词语。

【活用词尾】 1. 五段动词的未然形的活用词尾位于该词词尾所属行的ア段上，如：読ま、言わ、行か。

2. 一段动词的未然形词尾是词尾第一个假名，如：起きる、受ける。

3. カ变未然形是コ。

4. サ变未然形，文言只有セ一种。口语有サ、シ、セ三种，依次分别后续れる、せる、ない、ぬ。

【用法】口语动词未然形只能后续助动词，有：せる、させる、れる、られる、ない、ぬ、まい（五段除外）。文言还能后续助词ば、で等。

文言用言均有未然形，后续“ば”表示假定，如“よくば”等于口语的“よければ”。时枝诚记把使役和被动助动词排除在助动词之外，看作是接尾辞。这样，未然形所接的助动词和助词的确只与“未然”有关。

未然形最主要的是后续否定助动词，由此，小林好日曾主张更名为“否定形”，佐久间鼎主张改为“打消形”。

⇨活用形

みたい（見たい） 〈补助形容词〉

【意义】是补助动词“見る”和助动词たい构成的，接于动词て形式后，表示想试做某事的愿望。

①ざっと読んでみたい。／想浏览一遍。②ちょっと旅行に行ってみたくなった。／想搞一次旅游。③読んでみたければ貸してあげるよ。／如果你想读一读，就借给你。

△不可与助动词みたいだ的词干混淆。

うれしいわ，まるで夢みたい。／我真高兴啊，象做梦一样。

みたいだ 〈样态助动词〉

【活用】形容动词型。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
みたいだ	みたい	○	みたいだっ みたいに みたいで	みたいだ	みたいな	みないなら	○	みたいだろ

1. 词干。单独或后续终助词结句。多用于女性、儿童的会话中。

①まるで夢みているみたい。／简直象做梦一样。②自信が無くなっているみたいね。／好象没有信心。

2. 连用形。

1) みたいだっ。后续た等。

①態度はまるで赤の他人みたいだった。／态度简直象素不相识的人似的。

2) みたいに。主要修饰后续用言。

①この子，本当に見ちがえるみたいに大きくなったわねえ。／这孩子可真长大了，简直认不出来了。

3) みたいで。用于中顿，或后续补助成分ある、ない及は等。

①ばかみたいでしょうがない。／总觉得象傻子一样。②その行動がまるで間違いみたいである。／那行动简直和疯子一样。

3. 终止形。

1) 单独或后续终助词等结句。

①おれたちには同情してくれる人はいないみたいだな。／好象没有人同情我们呀。

2) 后续接续助词けれども、が、から、し等。

①人違いをしたみたいだから，もう一度聞きただした。／好象是认

错人了，所以重新问了一下。

4. 连体形。后续体言、有体言性的助词。

①推理小説みたいな面白い話を聞いた。／听到一件推理小说似的趣闻。②何だか鳥の卵みたいなので、割って見た。／有点儿象鸟蛋似的，所以就打开看了。

5. 假定形。不常用。

①出来ないみたいなら、飛ばしてあとの問題をするようにしなさい。／如果你觉得不会，就越过去做后面的题。

6. 推量形。后续う表示推测。

①あの雲，ちょっと，ヒツジみたいだろう。／你看那朵云彩是不是有点儿象羊？

【接续】1. 接体言、体言性词组、形容动词词干后。

①まるで新婚みたいね。／简直象新婚似的。②彼は魚が大好きみたいだ。／他好象特别喜欢鱼。

2. 接动词和形容词及同型助动词、助动词た等的终止形后。

①まるで今からよそへお客さんに行くみたいだ。／简直象就要到别处去作客似的。②犯人の逮捕は難しいみたいね。／罪犯好象很难抓住啊。③みんなどこへも出かけないみたいだ。／大家好象都哪儿也不去。④軍用外套を改装したみたいな古ぼけた外套を着ている。／穿着一件就跟军用大衣改作的似的、陈旧的大衣。⑤そんな態度はまるで人を笑わせるみたいだ。／那态度简直是让人发笑。

3. 接于某些状态副词后。

①ただみたいな賃銀で働く。／干活只拿少得可怜的工钱。②わざとみたいに出て来ないお母さんに、夏子は大声で問いかけました。／夏子冲着似乎故意不出来的妈妈大声地喊。

【意义】1. 表示比喻，即一个事物的特征表面上类似于他事物。常和陈述副词まるで等呼应。

①顔色が真青で病人みたいだ。／脸色煞白，象病人似的。②彼女は顔が白くて白くてまるでおしろいをぬりつけているみたいだ。／她脸色洁白洁白的，简直象涂了粉似的。③それから，嘘みたいに，何の連絡

もなかった。／那以后，出人意外地什么联系也没有了。④毛虫にさされたみたいな感覚でした。／是一种被毛虫螫了似的感觉。

2. 表示从同类中举出一个或几个为例。主要接体言后。只用连体形和连用形（～に）。

①東大，早稲田みたいな大学に学びたい受験生が一番多い。／想入东大、早稲田之类的大学的考生最多。②電車みたいなものは，もともと外国から伝わったものです。／电车一类的东西，本来就是从外国传来的。③君みたいに健康な体ならスポーツもよく出来るがね。／若有象你这么好的身体，体育也该很好的嘛。

3. 表示不确实的判断或推测以及委婉的语气。有时用来表示引用不确实的内容（下例③）。多用ようだ等代替。

①商売に成功したみたいだ。／好象是做买卖发迹了。②ちょっと見ると白いみたいだ。／乍看起来好象是白色的。③今年中に大地震があるみたいなのうわさがはやっている。／流传着今年内可能有大地震的传说。

【参考】1. 来源。出现于明治后期，是新起的说法，于大正时期得以发展。来源于“見たようだ”（至今仍有残留），即：みたようだ→みたよだ→みたいだ。

2. 用法1、2 可以用真正的喻体的所有者来作喻体。如下例逻辑上应是“……考二の母の手のひびやあかぎれみたいなひびゃ……”。

豊太のお母さんは，両手は桜色で，考二の母みたいなひびやあかぎれは，ただの一つも見あたらない。／丰太母亲的双手是粉红色的，象考二的母亲手上的那种裂纹和裂口连一处都见不到。

みたい です 〈样态助动词〉

【活用】特殊型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
みたい です	○	～でし	～です	(～です)	○	○	でしょ

1. 连用形みたいでし。后续た等。



①びしょ濡で、まるで川に落ちたみたいでした。／湿淋淋的，就象掉进河里了似的。

2. 终止形みたいです。单独或后续终助词结句。也可后续接续助词。

①でも、うちの子は受からないみたいです。／可是，我家的孩子好象考不上。

3. 连体形みたいです。可后续有体言成分的助词。不常用。

4. 推量形みたいです。后续う表示推测。不常用。

①どうですか。順次の車はタンクみたいでしょう。／怎么样？顺次的车是象坦克吧？

【接续】同みだ。

【意义】みだ的敬体形式，但意念用法更有限，无表示例示的用法。

1. 表示比喻，即一事物的特征表面上类似于他事物。

①工業にとって電気は、例えば人間の血液みたいです。／打个比方，电对工业来说就象人体的血液一样。②下に見える林のながめは青い水が沸いているみたいです。／脚下树林的景致，就象绿色的水在沸腾。

2. 表示不确实的判断或推测及委婉的语气。

①箱の中に何かあるみたいです。／箱子里好象有东西啊。②あなたには、どこかで会ったことがあるみたいです。／你，我好象在哪见过似的。

みたようだ 〈見た様だ〉 〈词组〉

【活用】同ようだ。主要用连用形みたように、みたようで、连体形みたような、终止形みたようだ。

【接续】主要接体言后，也可接用言及助动词终止形后。在明治初期或以前也有“名词をみたようだ”的接续法，这是作为助动词定形以前的用法。

①数学見たような学問／数学之类的学问。②あたしだっておかしいわ。負かされるみたようで、厭だわ。／我都觉着奇怪。就象被人压倒了似的，我受不了。③乞食をみたような暮／乞丐般的生活。

【意义】みだ的前身，现在只作为みだ的旧式说法残留于文章

等。

1. 表示比喻，即一事物类似于另一事物。

①小説見たような話があるというのさ。／听说一件事，简直象小说一样。②そんな論理学の命題みたようなものは分らないな。／我可不懂那种逻辑学命题似的東西。

2. 表示例示，即以同类事物中的一例或几例为例。

①僕見た様な者は，そんな事を考える余地がない。／象我这样的人没有余力考虑那种事。②どうも先生見た様に身体を気にしちゃ，仕舞には本当の病氣にとりつかれるかもしれませんよ。／象老师那样牵挂着身体，到头来说不定真叫病缠住呢。

# む ム

## む 〈文言助动词〉

【接续】接动词及同型动词未然形后。

【活用】在文言中是四段活用，但只有终止形む、连体形む和已然形め。现在只偶尔用到前二形，め除和歌等已不用。前二形的音便形为ん，文言色彩较少。

【意义】只在文章中偶有所见。是う、よう的前身。

1. 表示推测、想象。

①あらむかぎりの力／所有的力气。

△むばかり等于んばかり。参见“ぬ、ばかり”项。

2. 表示主体的意志或将出现的动作行为。

①今しさし昇らむとする朝日／喷薄欲出之朝阳。

ムード(mood) 式，语气

【式】普通语言学术语之一。源于西方语言，指由于说者叙述态度不同而产生的动词词形变化形式，如屈折、添加助动词等。式决定着句子结构的特点和类别。另见“法”。

【语气】日语中的叙述、疑问、推量、命令等句末语气比较接近欧语的所谓mood。日语的语气是某种表达意图的具体体现，包括动词变化（即活用，相当于屈折，如命令形。而另一些屈折形式只不过是接续上的需要，和语气无关，如未然形）、添加助动词、终助词等表达手段。

1. 陈述语气。常用的语气形式。用终止形表示。

2. 假定语气。见“～ば、～なう、～と”等项。

3. 疑问语气。可用终止形（上升语调）或后续か、の等表示。

4. 推量语气。用推量性的词组如～しょう、～するでしょう、～されまい等表示。

5. 命令语气。用命令式表示。

另外有确认的语气（～た），感叹的语气（终助词）等。

寺村秀夫认为，提示助词、副助词、感叹词等表示人们对于客观世界的主观评价和各种态度，所以可看作是语气的具体表现。

汉语“语气”一词有时是“口气”的意思。

### 無主文 ムシュブン 无主句

主语和谓语是句子的基本成分，这英语中行得通，在日语中则行不通。日语句子的最基本的成分是谓语，所以无主句大量存在，不需要场面或文脉的帮助就可以独立运用。有的虽可补充主语，但句子意义有所改变，或者不通顺。无主句由谓语、说明谓语的连用修饰语、说明连用修饰语的连体修饰语、独立语（感叹句等）构成。主要用于以下几种情况下。

#### 1. 和天气、时间及其他自然描写有关时。

①もう、10日間も雨ですね。／已经下了10天雨了。②いよいよ春になります。／眼看就到春天了。③朝四時半。真っ暗だった。／清晨四点半。漆黑漆黑的。④白いバラの花からよいかおりを送ってきた。／从白玫瑰花儿散发出宜人的芳香。⑤国境の長いトンネルをぬけると、雪国であった。／一过县界上的长长的隧洞，就是冰雪地区了。

#### 2. 和自我感觉、表态有关时。

①おや、ほしいものばかりだね。／哟！尽是我想要的东西。②公害と闘おう。／和公害作斗争！③いけないと言ったらいけない。／说不行就是不行。④正直なきみですね。／你可真是诚实的人啊。

#### 3. 和常规、规律、知识有关时。

①月に10万円くらいでは生きられない。／凭每月10万日元左右是不能生活的。②学生である以上学生のようにしなければならない。／是学生就要象学生样。③2に3をかけると、6になる。／2乘3等于6。④それから、砂糖小さじ一杯とみりんを加えます。／然后，再加入一小匙儿白糖和料酒。

#### 4. 和动作结果、规定内容有关时。

①黒板に「あすは休み」と書いてあった。／黑板上写着“明天休息”。②日本では左側通行を行うことになっている。／日本规定左侧通行。



以上是基本上不能加主语的句子。可以补充主语的（如命令句），情况参见“主語”项。

むしろ（寧ろ）〈副词〉

属限定副词，并兼有接续词的用法，总的意思是对两个事物在比较中选择后者。

1. 表示前项不可取，对其加以否定而选择后项。常用Aなら（或Aより）むしろB的形式。

①さんざん負けるなら，むしろ死んでしまった方がましだ。／如果是惨重地失败，不如干脆死掉更好些。②信じられないというよりむしろ信じてはいけないことではないかと思われた。／当时觉得与其说是无法相信，倒是应该说不应该相信。③これらの温血動物はみんな人間と同じように，むしろ人間よりも高い39度～40度ぐらいの体温をいつも保っていなければならない。／这些温血动物和人一样，要保持着甚至比人更高的39～40度左右的体温。

2. 表示前项亦可，但相比之下后项更适宜。

①君の意見も一応はもっともだが，僕の考えの方がむしろ現状に合うのじゃないかな。／你的意见固然不错，不过，是不是我的想法更合乎现状呢？②私の好きな日本料理は，天ぷらやすき焼きより，むしろ刺身と味噌のようなものだ。／日本菜中，比起炸鱼虾和日本火锅儿，我更喜欢生鱼片和大酱汤之类。

3. 以反（前项）正（后项）对照的形式，说明后项是更确切的说法或更真实的情况。

①戦災もまぬかれ，都市公害もまだ直接はおしよせていない。むしろ時流から取り残された静かな町です。／战灾也躲过了，城市公害也尚未直接波及到。毋宁说是落后于时代潮流的安静的街镇。②各委員は格別に手当らしいものも受けず，むしろ自発的に貴重な時間やエネルギーを裂いて共同の研究や討論に参加してきた。／各位委员没有得到特殊的津贴，倒是自发地分出宝贵的时间和精力来参加共同的研究和讨论。

【参考】有时A项不出现，只出现B项。A项隐现于B项的背后。

①今年の夏はむしろ暑い。／今年的夏天倒是很热（比想象更热）。

②むしろ今年の夏が暑い。／倒是今年的夏天更热。(和去年或往年相比

むろん (無論) <副词>

同もちろん, 但不常用。

1. 表示“不言而喻”的陈述态度。

①彼のことだから、無論遅刻しない日が少ない。／他又不是别人，当然是很少不迟到。②職種に応じて、きびしいテストを当然前提してよい分野があることは、私も無論認めます。／根据职业不同，有的领域当然可以以严格的考试为前提，对此我当然也承认。

2. 以～はむろん～も～等形式表示前项不消说，连后项也如此的意思。也说むろんのこと。

①視界は殆どなく、荒船山はむろん、牧場で草をはんでいるはずの牛の姿も見られなかった。／（这里）视野极其狭窄，不要说荒船山，连当时正在牧场吃草的牛的身影也看不见。②武蔵野を除いて日本にこのような所がどこにあるか。北海道の原野にはむろんのこと、奈須野にもない、そのほかどこにあるか。／除了武蔵野，日本哪里还有这样的地方？不消说北海道的原野上，连奈须平原上也没有。别处哪里会有呢？

⇒もちろん

## め め

## め 〈目〉 〈接尾辞〉

1. 接数词或量词类后，表示序列、次序。

① 2 本目を飲む。／喝第 2 瓶。② 入院から 3 日目に生まれた。／入院后第 3 天(小孩)出生了。③ 一回目は失敗したが，2 度目はうまく跳べた。／第 1 次失败了，而第 2 次跳得很成功。④ 三つめの角を右に曲る。／在第 3 个拐角向右拐。⑤ 上から 5 行目まで暗誦しなさい。／到上数第 5 行为止要背诵。⑥ いくつめの駅で降りますか。／在第几站下车？⑦ 私の成績はクラスで一番目だ。／我的成绩是班里第 1 名。

2. 接シク型外的形容词词干，表示略高于或低于一般标准。作名词或形容动词。

① 早めに出かけよう。／稍早一些出去吧。② このスカートはちょっと短めです。／这条裙子稍微短。③ 少し甘めの酒／稍稍发甜的酒。

△双音节词ナイ、スイ没有～め用法。コイ接连体形(濃い目)。ナガイ有“長い目，長目”两种，后者为主。

个别形容动词词干也能接め。

① 派手めな着物が好きだ。／我喜欢比较鲜艳一些的衣服。

3. 接少数动词连用形后，表示某种倾向。一般是不利、保守倾向。多已固定成词。

① 控え目な態度で臨む。／谨慎从事。② 成績は落ちめだ。／成绩有些下降的趋势。③ とても勝ち目がない。／没有赢的可能。

4. 接于名词或动词连用形后，构成名词，表示(两个状态的)连接处。

境目／边儿，界。結び目／接头、接头处。割れ目／裂缝、裂缝处。

再如：裂け目、継ぎ目、切れ目、曲がり目、変わり目、分かれ目、親の死に目に合う)。

△另有一些词无法归类，只能一一查字典。

## 名詞 メイシ 名词

词类之一，表示事物、概念的名称。体言的一种。有时和“体言”概念相同。

【特征】1. 日语名词没有形态特征。

2. 没有形态变化。某些词有音便，如：雨（あめ）→雨具（あまぐ）、目（め）→（目蓋（まぶた）、木（き）→木葉（このは）等等，但这不属于形态变化。

3. 在句中的语法作用靠助词，主要是格助词来表示。作主语是其最主要的语法作用，但实际作用还要广泛得多，如作谓语、连用修饰语等，参见“体言”项。

4. 无性和数的语法范畴。“女優、美男子”等词中的性别之差属于词义的一部分，表示多数的“～たち、～ら”以及重叠形式等也不贯穿于整个名词系统。

【和其他词类的关系】1. 名词和副词。某些表示时间的名词除名词的一般特点外还能以裸格形式作连用修饰语，如：今年、昔。这一用法近于副词，有人将其归入副词。至于“大体、一体”等，一般认为词性跨名、副两类。

2. 名词和形容动词词干的界限是模糊的，有些词有名词性和形容动词性两种连体方式：特別な（の）取り扱い／特殊处理。时枝诚记把形容动词词干一律称为体言，金田一京助则作为准体言。

3. 名词和接续词。有些词兼有接续词性。如：結局、事実、実際，有些词兼有接续助词性。如：結果、途端、ところ。

4. 名词和动词。大部分サ变动词词干可在句中起动词、名词两种作用。如下例“見学”前有宾语，后有格助词。

①学校を見学にいっちゃった方です。／这位是来参观学校的。

动词连用形大都有名词法。形容（动）词词干大都可后续さ、み、け等构成派生名词。

【参考】1. 关于名词的本质，诸家之说没有多大分歧，但对于名词的范围则众说纷纭。参见“名詞の種類”项。

2. “名詞”一词作为substantive noun的译词，最初称“実名詞”，与



“代名詞”相对。

### 名詞の種類 メイシノシュルイ 名词的种类

由于学者各自的观点不同，加之目前人们把名词和体言等同起来，所以对名词次类的划分有多种方案。

1. 关于体言即名词论的划分法。桥本进吉认为体言均表示可感知的事物，因命名法不同可分为名词、数词、代词以上3种。桥本语法中数词、代词不是独立词类，而是属于名词的次类。将名词再分类的结果就是名词、数词、代词。

松下大三郎把名词划分为本名词（人、心）、代名词（我、これ）、未定名词（誰、何）、形式名词（者、等）。把本名词又分为普通名词、专有名词、模型名词（即用于引用的各种词，如“「暖かい」は形容詞である”中的“暖かい”）。

时枝语法中，相当于名词的词类是体言，将体言（即名词）进一步分为名词、代词等。

与体言即名词说相对立的是山田说。他把名词、代词、数词都看作是属于体言的独立词类，而对名词本身不作分类。

2. 按词义特征划分的分类法。首先，有抽象名词和具体名词的两分法。这是印欧语法学中名词划分法的翻版，一般认为在日语中基本无实际意义。

划分为普通名词和专有名词也是传统的分类方法，与语法特征无更多的联系，一般不通行。

松下的绝对名词和相对名词，是根据词义范围的确定是否需要有关的词来分类的。“人、馬”不需要有关的词就可以下定义，所以是绝对名词。

“夫、妻”互有条件，都属于相对名词。三上章等人也注意了这种现象。

### 3. 按语法特征划分的分类法。

近来，随着转换生成语法研究的深入以及对外日语教学的需要，学者们注意到了词义特征和造句功能之间的有机联系，并依此作了一些分类。下面，主要对寺村秀夫、奥津敬一郎、仁田义雄的研究成果做一整理。8）、9）及其他部分内容为笔者所加。

1) 场所性名词（トコロ性の名詞）。地名、场所名、位置名、等都具

有场所性，可以有如下用法。

①教科書は学校にあります。／教科书在学校里。②駅に行く。／去车站。

而没有场所性的词在用于上述用法时要用“～のところ”的形式。如：教科書は先生のところにあります。／教科书在老师那里。

2) 活动性名词（有情性名詞）。包括动物名、知能物名。主要表现在作存在句、所在句主语时谓语用“いる”而不用“ある”。此外，非活动性名词在作被动态主语时多和人的行为有关。

3) 相对性名词（相对性名詞）。包括一些表示相对的空间位置关系的方位词（上、下、前、後、左、右、横、奥、東、南、西、北、沖）、某几个时间名词（翌年、前）等。这些词在作中心词时，和定语的关系往往是相对性的。如“母が坐っている横／母亲坐着的（地方的）旁边”，其实母亲并未坐在旁边，等于“母が坐っている所の横”。再如“万博が開かれた翌年／开世界博览会（那一年）的第2年”，博览会并不是第2年召开的。这与普通的名词不同，如“母が坐っている座布団／母亲坐的坐垫”，母亲就坐在坐垫上。再如“万博が開かれた1962年／举办世界博览会的1962年”情况亦同。

4) 形容词性名词（形容詞性名詞）。即通常所说的形容动词的词干。

①元気な社長（形容词性）／健康的经理。②病気の社長（普通的名词）／有病的经理。

5) 动词性名词（動詞性名詞）。表示动作名称的名词都属于动词性名词。动词性名词通常都可作サ变动词，可后续“に”表示目的，例如“勉強する”、“勉強に行く”。其他名词则不能，如“※文学する”“※文学に行く”。

6) 副词性名词（副詞性名詞）。主要指某些时间名词（時の名詞），其裸格形式相当于副词。如“明日帰る／明天回去（回来）”。

7) 内容性名词（内容性名詞）。这类名词为数众多，如“計画、報告、様子、特徴、話し、感じ、働き、こと、任務、情景、楽しみ、趣味、事故”等等。从意义上说，其所表现的意义要包括一定的内容，如我们可以问“計画”的内容是什么。从句法上说，可以用（不是必须用）其内容作其定语，这时定语与中心词是等价的，是同格关系，中间可插入とい

う、

①ケネディ大統領を暗殺する（という）計画／暗杀肯尼迪总统的计划。②登山隊が遭難した（という）報告を聞いた。／听了登山队遇难的报告。

在“遅刻しないことはいいことだ／不迟到是好事”一句中，前一个～ことは同格关系，可加入という，后一个～こと不是同格，不能加。

8) 程度性名词。所表现的内容在时间（如：昔、以前、以後、前、あと）、空间（東、上、前）、性质（子供、寒国、大金、急病、名医）等方面具有一定跨度，可在程度上进行比较、有伸缩性的词。这类词具有以下其他名词所不具备的用法。

（1）可直接受程度副词修饰。

①やや北に寄りなさい。／稍往北靠一靠。②ずっと前／很早以前。

（2）可直接受“～より”和“～から”形式的修饰。

①五位より上は昇殿を許さる。／五品以上的官员允许升殿。②逢坂の関より東をば関東という。／把逢坂关以东称为关东。③母の姿は洪作の所からでは肩から上しか見えなかった。／母亲的身姿从洪作的地方只能看到肩以上。④地球に地かくが出来てからあとの時代を地質時代と呼ぶ。／把地球上产生地壳以后的时代称为地质时代。

（3）可直接受数词类的修饰。

①百メートル<sup>した</sup>下に転落してしまった。／滚落到一百米以下的地方。②20年ほど昔，私自身が学生の頃だった。／是约20年前，我自己当学生时的事了。③一つ年上の女房／大一岁的老婆。

（4）以上3种形式间的混合形式。

①代助が三千代と知り合いになったのは、今から四、五年前の事……（夏目漱石）／代助和三千代相识，现在算起来是四、五年前的事……②山陽線沿<sup>ぞい</sup>の福山市から四里北の方角（井伏「在所言葉」）／从沿山阳线的福山市向北四里远的位置上。③彼より三つ級の下の学生／比他低三个学年的学生。

（5）可以出现于“ほど”前构成表示“越～越～”的句式。

①子供ほど病気ははやく直る。／越是小孩儿病好得越快。(试比较：※子ほど～) ②雪道と魚の子汁はあとほどよい。(谚语)／雪道和小鱼汤越往后越好。③寒国ほど生物は生き生きする。／越是寒冷地区生物越有生机。

9) 起因性名词。只有“もと、原因、理由、要因、誘因、きっかけ、目的、けいき、始め、始まり、楽しみ、機縁、動機”等若干个词。这些词从意义上看，都表示原因、理由、契机等，从句法上看，能构成独特的“～が～で”形式的状语，而其他名词用于这个句式只能构成某种并列句。

①酒がもとで死ぬ。／因酒而死。②何が原因で性能が落ちたか。／因为什么原因功能衰退了呢？③室生犀星に激賞され、それが機縁で「文芸春秋」に書くことになった。／受到室生犀星的高度赏识，以此为机缘为《文艺春秋》写起稿子来。

△此外，还有“実質性名詞”、“形式性名詞”等说法，此略。

名詞文 メイシブン 名词句、名词谓语句

指以名词为谓语句的句子。基本句式：主语＋谓语。

【结构】1. 谓语：名词后要加判断词，有：だ、です、である、でございます以及零形式（下例③、④）。以上各形式之后都可加终助词。

①前に聳えているのは阿蘇山だ（或です）。／前面耸立着的是阿苏山。②アイヌ人は東洋の人種であるか。／阿伊努人是东洋人种吗？③悪いのはあなたよ。／不好的是你。④物語りはこれでおしまい。／故事到此结束。

以下例句的谓语是动词的变换形式，不宜看作名词句。

①マッチをお持ちですか。／您带着火柴吗？②議題は今討論中です。／议题现正讨论。

名词句只有过去时的专门形式（下例③）无现在时和将来时的分化形式，因此需要时间词来区别（下例①、②）。

①花子はもうすぐお母さんだ。／花子马上就是母亲了。②彼は今サラリーマンではない。／他现在不是工资生活者。③以前、彼は一旦商人だった。／以前，他一度是商人。



不确实的判断要用でしょう、だろう等表示。

①今日（きのう、明日）は日曜だろう。／今天（昨天、明天）是星期日吧？

谓语一般没有命令形式。只在文章中偶尔出现。表示愿望。

①心だけはいっも少年であれ。／至少心应该永远是少年。

2. 主语可由各种体言充当，包括“用言＋形式体言”形式。

①遠くで光っているのが琵琶湖だ。／在远处闪亮的那就是琵琶湖。

②書くことは創造することである。／写作是创造。

主语记号有二，は表示判断的题目，が表示确认的对象。见上例①、②。

3. 纯粹表示判断的名词句中，与动词、形容词句相比，连用修饰语出现得最少（例见以下①～③）。而下例④～⑥虽然也是名词句，显然背后隐含着动词，这时较易出现连用修饰语。

①僕はあの人と兄弟だ。／我和他是兄弟。②あしたから四月だな。／从明天起就四月份啦！③彼女はすごく美人だ。／她美极了。④知事は今東京湾でうおつりです。／知事现在正在东京湾钓鱼呢。⑤私はこの意見に賛成だ。／我赞成这个意见。⑥今日は結婚式なのに、朝から雨だ。／今天是结婚典礼，却从一早就下雨。

4. 名词句可以作并列子句、条件子句、连体子句等。注意其谓语处理方式。

①父は有名な実業家で、母は映画スターだ。／父亲是有名的实业家，母亲是电影名星。②**ぼくが**ばかなら君もばかだ。／如果我是傻瓜，你也是傻瓜。③母が病気でも彼は休まない。／母亲有病，也不请假。④私が（或の）五つの時，お母さんがなくなりました。／我五岁时，母亲去世了。⑤全部ではありませんが、親が教師（だ）という子は意外に勉強の自主性がありません。／尽管不是全部，父母是教师的孩子意外地没有学习自觉性。⑥三つの辺が同じ長さである三角形のことを等辺三角形という。／把三条边相等的三角形称为等<sup>△△△</sup>边三角形。

个别时候也可以作连用修饰语。

①酒がもとで死ぬ。／因酒而死。

【意义】 1. 表示事物的性质、状态。

①なぜか母さんは普断よりちょっとはでな作りです。／不知为什么母亲比平时打扮得艳丽。②学校の前は花壇である。／学校的 前面是花坛。③彼は力持ちだ。／他有力气。

2. 以主谓同词的形式表示确认、无奈等。

①どうせバカはバカだ。／傻瓜终归是傻瓜。②彼はやはり彼だ。圧力に屈するはずがない。／他毕竟是他，不会屈服于压力的。

3. 指出某种事物或状态的主体。

①庭で遊んでいるのが俺の孫だぞ。／在院里玩儿的就是我的孙子。②私が求めていたものはほかならぬこれだった。／我希望得到的正是这个。

4. 对某种事物的状态性质进行描写。

①今の学校は試験地獄だ。／现在的学校是一座考试地狱。②政府は国民全体の首脳部である。／政府是全体国民的中枢。

5. “ダ型文”在形式上也是一种名词句，见该项。

①姉は男の子だ。／姐姐是男孩儿。（即：生了个、喜欢、讨厌……男孩儿）

命令形 メイレイケイ 命令形

活用形的一种。

【活用词尾】 口语用言中只有动词有命令形。五段动词的命令形词尾在エ段，如：読め，書け。一段动词的命令形词尾有两个假名，第一个不变，第二个为添加“ロ”或“ヨ”。如：起きろ、起きよ，受けろ、受けよ。カ变：こい。サ变：せよ，或：しろ。（ロ用于口语，ヨ用于文章）

文言中，形容词、形容动词也用命令形。形容词：～かれ，如：高かれ。形容动词：～なれ，如：静かなれ。

【用法】 1. 意志动词的命令形除表示命令外，还可表示假定、放任、警告等。

2. 非意志动词、形容词、形容动词的命令形表示愿望和期待。

详见“動詞の命令形”等各项。

命令表現 メイレイヒョウゲン 命令表达法

【性质】说者命令对方完成某动作、实现某状态的表达形式叫作命令表达法。广义上，它包括劝诱、义务、禁止、劝告等表达法。由于表达意图的差异，这些都可以作为独立的表达法。本条就是狭义的命令表达法。命令表达法和行为关系密切，因为它要求对方做出某动作、行为，它对对方的作用力仅次于禁止表达法。正因为是对对方行为的要求，其谓语通常是意志动词。

【形式】1. 动词、补助动词、助动词的命令形。命令语气最强，主要用于男性亲友之间或对下。

①本当のことを言え。／说真话！②あんたは黙っている。／你少插嘴！③おれたちの仲間になれ。／入我们的伙吧。

为缓和语气，可后续や、よ、やい（亲昵）等终助词。

①ゆっくり読めや。／慢一点读。②ここで待っているよ。すぐ行ってくるから。／在这儿等着，我去一下马上就来。③冗談はよせやい。／别开玩笑。

非意志动词、非动词型助动词虽然构成命令形，但是不能构成命令表达法。

2. 表示命令的专用词组。接于“て”后。主要为妇女、儿童专用。

①よく見てごらん。／好好看看。②母さん，こんどの旅を許してちょうだい。／妈妈，请您同意我这次的旅行。③じっと我慢しておいで。／忍着别动。

3. 动词连用形后续なさい、たまえ等已单词化的补助动词命令形。命令语气比1有所缓和。另外，“お～なさい”等形式语气更为缓和，但是，以上形式通常不用于对上。“たまえ”为成年男性专用。

①しっかり勉強しなさいよ。／你要好好学习啊！②さっそく行きたまえ。／快去吧。③ちょっとお待ちなさい。／稍等一下。

4. 动词连用形+た、て、たら。其中的た、て、たら可看作转成的终助词。除“た”外命令语气不强，带有一些商量、请求的语气。“て”和“たら”本来是“～てください”和“～たらどうですか”之类说法省略而成的。

①待った，待った。／等一等，等一等。②もう一度読んだら。／再

读一次（好吗）。③僕も入れてよ。／也算我一个吧。

5. “お～下さい”等动词的敬语形式或敬语动词的命令，形命令语气缓和，近于请求，都可以用于对上。

①おかけ下さい。／您请坐。②お使い下さい。／您请用吧。③いつかいらっしゃって下さい。／抽空儿来玩吧。

6. お+动词连用形（+终助词）。这一形式语气强硬，用于对下。

①もっとお考え（よ）。／你再考虑考虑。

7. 动词后续终助词。其中，の主要为妇女儿童专用，接连体形后。よ可接多种命令形式后。な可接于一般动词连用形和なさい、下さい等敬语命令形后，表示劝诱或较客气的命令。

①酒を飲まないこと。／不许喝酒。②先生を尊敬すること。／要尊敬老师。③私の話を聞くの。／你要听我的话。④よい映画だから行って見な。／是个不错的电影，去看看吧。⑤早くなさいな。／早点儿干吧。

8. 动词的终止形后续べきだ，连体形后续のだ、ものだ、ことだ、はずだ等。这些形式用于泛指时表示义务，用于具体事情时表示命令。

①自分のせいだったら謝るべきだ。／如果是自己造成的就应该道歉。②おい，やめるんだ（のだ）。／喂，算了吧。③機械を長持ちさせなければ，手入れをよくすることだ。／要想延长机器的使用寿命，就要认真保养。④人に会ったらあいさつぐらいするものだ。／见人总要打个招呼。

9. 动词终止形在语调等的作用下也可以表示命令。通常带有训斥的语气。

①こっちへ来る！／过来！②さっさとやる，やる。／干！快干！

10. 名词。主要是有动作意义的名词。用于口令、使唤他人等口气强烈的命令中。

①起立！／起立！②脱帽！／脱帽！③お茶。／（拿）茶（来）。④こっち。／（拿到）这里来。

11. 动词、助动词后续こと、ように，用于注意事项及教师的课堂用语。

①酒を飲まないこと。／不许喝酒。②先生を尊敬すること。／要尊



敬老师。③レポートは月末までに出すように。／调查报告要在月底前交上。

## 12. 副词或副词性句节、一般性命令的省略形式。

①はやく。／快点儿！ ②しずかに。／静一静！ ③もっとゆっくり。／再慢点儿！

【用法】1. 命令包含着强求、绝对服从的因素，日语习惯上除成人对孩子或非常亲密的同辈之间等情况外，一般以其他间接的、口气委婉的形式来代替命令形式。

①注意せよ→注意されたい（希望）。／希望注意。②ここを見よ→ここを見ましょう（劝诱）。／往这儿看吧。③もっと丁寧に説明しろ→説明はもっと丁寧にするものだ（应当）。／说明应该更详细一些。④もう少しくれ→もう少しくれないか（疑问）。／再给我一点儿好吗？⑤字はきちんと書け→字はきちんと書くの（叙述）。／字要写得工整。

缓解强硬语气的方式还有：

1) 用否定形式。若再后加推量形式则更柔和，带有商量语气。如：  
クダサイマセンカ、クダサイマセンデショウカ。

2) 命令形后加终助词。如：坐れよ、なさいね。

3) 命令句中使用有关的副词，如“どうぞ、なんとか、どうか”之类。

4) 不用命令形和终止形而用连用形。如：書いて、書いてら。

## 2. 下列句子形式上是命令，实际用法上已转用于其他方面。

①誰のせいにしろ，責任は追究すべきだ。（假定接续）／不管是谁造成的，责任应该追究。②お帰りなさい。（寒暄）／你回来啦。③ざまあ見ろ。（骂语）／活该！④持ってこいの好材料（惯用）／正合适的好材料。⑤バカなことを言え！（警告）／你胡说！⑥衆人の前で何か言えと言われては困ります。（使役）／让我在众人面前讲点儿什么，可犯难。

3. 命令表达法的句末通常用降调（下例①、②）。命令语气强烈时句末音节伴有强重音（例③④）。

①ハシリナサイ。②ハシッテクダサイ。③デテユケ。④ハヤクヤッ

テ。

**命令文** メイレイブン 命令句

按句子的性质划分的句子种类之一。

【特点】一般不出现主语。意念上的主语，在命令句中是あなた，在劝诱时是わたしたち或あなた（も）。只有为了特别指出谁是命令对象时才用主语或呼语。

①速くやれ。／快干！ ②<sup>はやし</sup>林さんがやれ。／由小林干！ ③<sup>はやし</sup>林，速くやれ。／小林，快干。

命令句一般用句号。为突出命令口气可用感叹号。

谓语构成和语调因用法而不同，见以下。

【构成及用法】 1. 命令禁止形式。只用于亲友间或对于晚辈。主要形式是意志性动词的命令形（例①），另有连用形（例②、③）、终止形（例④、⑤）、词干（例⑥）等形式。语调用全降调。

①出せ。／拿出来！ ②おすわり。／坐吧。 ③食べてね。／吃啊。 ④遅刻するな（よ）。／不许迟到。 ⑤君はだまっている。／你不要说了！ ⑥着席！／坐下。

2. 请求形式。主要用くれ、ください等。

①来てくれ。／来一下！ ②まどをあけて下さい。／请打开窗户。 ③中に入らないようにして下さいませんか。／请不要进去好吗？ ④分っていただけませんか。／希望您能体谅。

3. 劝诱形式。用う（か）、よう（か）的形式，意念上已不是命令句。详见“勧誘表現”项。语调是半降调。

①一緒に弁当を食べましょう。／我们一起吃盒饭吧。

4. 关于自然、感觉、状态等的非意志动词或用言的命令形 可以表示愿望。

①あした天気になれ。／但愿明天天气好起来。 ②降れ，降れ。／下吧！ 下吧！ ③前途さちあれ。／祝你前程远大！

⇒文の種類、平叙文、命令形、命令表現、勧誘表現

**命令法** メイレイハウ 命令法

指命令形用来表示命令的用法。口语里只有动词和“られる、させ

る”等助动词有命令形的命令法。

- ①早く帰れ。／快回去！ ②次の問いに答えよ。／回答下面的问题。  
③しっかり勉強しろ。／好好学习！ ④かわいい子には旅をさせよ。（谚语）／让可爱的孩子磨炼自习吧。

文言中形容词、形容动词也有命令形和命令法。

- ①過ちては改むるに憚ることなかれ。／过则勿惮改。 ②君子なるは正々堂々たれ。／为君子者应堂堂正正。

命令的其他表示法参见“命令の表現”项。

めったに 〈陈述副词〉

和否定形式呼应，表示一般情况下很少发生或存在。

- ①九州ではめったに雪は降りません。／九州很少下雪。 ②池田さんのように頭のいい人はめったにないでしょう。／看来象池田先生那样聪明的人很少有。 ③我が国ではめったにオーロラを見ることはありません。／在我国难得见到极光。

# も      毛

## も 〈提示助词〉

【接续】 1. 接体言、体言性词组后。

①私もそうです。／我也是这样。②ワイシャツは白いのもよく売れる。／衬衫白色的也畅销。③仕舞には、騙したり、うそをついたりもするようになる。／最后，将变得甚至骗人、撒谎。

2. 接各种连用修饰语后。

1) 接が、の外的格助词后。

①孫のところへもちょいちょい行っている。／到孙子那儿也常去。②豆字引きにもこういう単語は乗っているはずだ。／这类单词微型词典上也能收。③賭事はどこでも禁じられている。／赌博在哪儿都是被禁止的。④外国からもお祝いの手紙をもらった。／也收到了从外国发来的贺信。⑤居すわって立ちさろうともしない。／死坐着，根本不想走开。

△も一定代替が，不接于其后。另外有もが的说法。见后续。

△一般不必和を重叠。有时为强调宾格也可以保留を。

①これをも持って行きなさい。／请把这个也拿走吧。

△も不接于の，也不代替の。另有もの说法，见后续。

2) 接副词后。

①これは少しも難しくない。／这一点儿也不难。②もしも雨でも降ったら，途中から引返してもいいです。／万一下雨了，也可以中途返回。③こうも不人情ですか。／竟如此不近人情吗？

3) 接某些形容词、形容动词副词形后。

①早くも10年経った。／一晃10年过去了。②不幸にも彼は33才で自ら命を断った。／很不幸，他33岁就自己终结了生命。

4) 接て、で（やだ）后，参见“ても、でも”项。

5) 接副助词（だけ、のみ、きり等有排他性意义者除外）、提示助词さえ后。



①朝などもいいですよ。／比如早晨也可以啊。②三日ぐらいも待たされた。／竟等了三天。③当の本人までも不熱心では、教える先生は熱心になれようはない。／连本人都不热心，教的老师就不可能热心。④仲間さえもおれを疑うようになった。／连同伴都对我怀疑起来了。

### 3. 插入性地接于用言连用形和后续的补助成分之间。

①寒くもない。／也不冷。②そんな体裁，見たくもない。／那套作风，看都不想看。③別に好きでもないんです。／并不怎么喜欢。④「どういう事だい?」「ねえ，考えてもごらんなさいよ」／“什么事啊?”“是啊，你想想看。”⑤休んでばかりもいられない。稼がなくちゃ。／可不能干呆着。不挣钱哪行。⑥ばあさんは人が聞きもしない事をくどくど言いくる。／老太太人家根本不听的事唠叨起来没完。

### 4. 某些特殊场合直接接活用词连体形后，相当于接体言后。

①行くも残るも君次第だ。／去留任凭你了。②当たるも八<sup>はつけ</sup>野，当たらぬも八野。(谚语)／灵也是算卦，不灵也是算卦。③人もこうなれば死んだも同然です。／人一到了这个分上和死了没有两样。

△后续。可后续格助词が、の、で。

①20メートルもの高さです。／竟有20米高。②教室では，誰もが総選挙の話題に熱中している。／在教室里，所有人都在兴致勃勃地谈论大选。③何人もで分担して書いた本／由许多人分担写成的书。

【意义】提示助词も引导的成分从句结构上看既可以是一句的题目，如下例1中①、③等，也可能不是，如例②、④等，这主要取决于も是否出现在格助词的位置上。如例①兼表主格，例③兼表宾格。为便于学习，以下只从意义上来归纳。

#### 1. 表示与前述情况的类同、兼类。

①これはレコーダーです。あれもレコーダーです。／这是录音机，那也是录音机。②これは小説である。教科書でもある。／这是小说，又是教科书。③彼は勉強が好きです。スポーツもよくやります。／他喜欢学习，体育也搞得不错。④天津にも行きましたか。／也到天津去了吗?⑤私も同感です。／我也有同感。⑥今年も春が早いだろうと言われている。／都说今年还可能春天来得早。⑦先生が赴きますから，私もお供

いたしましょう。／因为老师前往，我也作赔吧。

2. 表示两个以上事项之间互相类同，亦即并列。连用两个以上もの均属此用法。

1) 兼并性较强的并列。

①ひどく静かだった。波の音も風の音もない。／悄悄的，既没有波涛声也没有风声。②かえるは水にも陸にもすむ両生動物です。／青蛙是在水中和陆地都能生活的两栖动物。③木村氏は代議士でもあれば，大学教授でもある。／木村先生既是议员，又是大学教授。④彼は日本語も出来れば，英語もできる。／他既会日语，又会英语。⑤地球上でも，月の上でも，宇宙船の中でも，物体を作り上げている原子の数は増えもしないし減りもしない。／无论是在地球上，还是月球上，还是宇宙飞船里，构成物体的原子的数目既不增加也不减少。⑥勉強の正しい心構えは今も昔も「螢の光，窓の雪」である。／正确的学习态度古今都是囊萤映雪。⑦昼も夜も一<sup>ひと</sup>間<sup>ま</sup>に閉じこもったきりです。／不分昼夜地关在一间屋里不出来。

2) 添加性较强的并列。

①この家は，庭もせまいし，日当りも悪い。／这所房子院子也窄小，日照也不好。②僕もいいと思うが，あなたもそう思うのか。／我也认为可以，你也这么看吗？③人に悪く言われるのもよくないが，人を悪く言うのもよくない。／被别人说得很坏固然不好，可是把别人说的很坏也不好。④夫にも死なれ，子供も重病になった。／丈夫也死去了，孩子又得了重病。⑤友達も，妻も，親までも彼を見放してしまった。／朋友、妻子、甚至父母都不理他了。

3) 有时也表示两种可能性并存。

①<sup>しゅんめ</sup>駿馬もばくろうのいかんによって見い出されもし，埋もれもします。／骏马也会由于识马人的不同，既可能被发现，也可能埋没。②ウイスキーを貯蔵する倉の空気は実に大切だ。そのウイスキーをよくも悪くも変える力を持っている。／贮藏威士忌的仓库里的空气非常重要，它具有能使威士忌变好或变坏的作用。

3. 表示从同类事物中提示某一项。以“另有同类事物存在、也如

此”的假借语气，来冲淡主观性、使语气委婉。

①人間もわがままなものです。／人可真是任性啊。②君もあんまりです。／你也太过分了。③あんなに痩せた人も少ないね。／瘦到他那程度的人还真少有那。④こんなに立派に成功したのも、皆さんのおかげです。／如此大获成功，全是大家的功劳。⑤どうです，東風さん，近頃は傑作もありますか。／怎么样，东风先生，最近有什么杰作吗？

4. 表示极端情况，有意识地暗示其他情况更是不言而喻。近于さえ（二者区别见另项）。

①猿も木から落ちる。（谚语）／老虎也有打盹儿的时候。②こんな問題は専門家にも分らないだろう。／这种问题也许连专家也不懂。③帳面ちようめんづら面をこまかしても大金を都合しろ、と言って聞かない。／他非让我涂改帐目也要筹措出巨款不可。④新聞どころか平仮名も読めない。／不用说报纸，连平假名也不会读。⑤一日も早く完成したい。／想尽快完成。⑥銀河系は，恒星の大きな集まりであるが，この銀河系も宇宙全体から見ると，ほんの一部でしかない。／银河系是大量恒星的聚集，而这银河系从整个宇宙来看也仅仅是一小部分而已。

5. 表示一个范畴内所有同类事物的互相类同。亦即全面肯定或否定。

1) 全面肯定。接非数量方面的疑问词（组）后，通常后续肯定形式。

①誰もそう認めているのか。／是谁都这样认为吗？②いつものように／象平时那样。③何人なんびとも青年時代には，空想におちい落りやすい。／任何人在青年时代都容易陷入空想。④炭水化物・脂肪・タンパク質は，どれも成分元素として炭素を含んでいる。／碳水化合物、脂肪、蛋白质，都含有作为成分元素的碳。⑤このような人は，いつ，どんな場合にも，どの国でも，感謝し尊敬しなければなりません。／这样的人在任何时候、任何情况下、任何国家都应该受到感谢和尊敬。

2) 全面否定。接疑问词、表示“少”的副词和带“一”的数词及其词组。后续否定形式。

①部屋の中には誰もいない。／房间里谁也没有。②部屋の中には一人もいない。／房间里一个人也没有。③一日も休まない。／一天也不

休息。④もう少しも残っていません。／已经一点儿也不剩了。⑤中国へは一度も行ったことはありません。／中国一次也没去过。⑥どんな人とも話を交わしたくない。／和什么样的人也不愿交谈。

△以～もなにも～ない形式表示类同事物的全面否定。

①私は財産も何もありません。／我没有什么财产之类的。②水も何も飲んでいない。／连水什么的都没有喝。

6. 以从大致差不多的类同情况中例举的语气，表示大致的数量、范围等。因句式等不同，带有多、少等不同的色彩。

1) 接数量词后时，只表示大致的数量。

①およそ50万円もあればなんとかなるがね。／有50万日元左右よ話，还能对付。②あと3年もすると，私たちは立派な大人になるでしいう。／再过那么3年，我们就真正成为大人了吧。③はっきり覚えていないが，十何人も集まっていたと思います。／记不太清了，我想当时聚集着有十几个人。

△表示意外地多的用法见7。

2) 接表示日期等的词后表示大致日期等。多有认为其比较早的语气。

①その計画は明日にも軍を進めそうな性急なものであった。／当时的计划很紧急，好象明天就要进军似的。②特別法庭は，年内にも判決公判を開くものと見られる。／估计特别法庭近在年内进行最后的公开审判。③早ければ来年夏にも帰国が実現する見通した。／估计弄得快来年夏天回国就能实现。

3) 接数量方面的疑问词（组）后，和否定形式呼应，表示不太多。

①何人もいないのに，会長は演説風に何か話している。／本来没有几个人，会长却象演说似地讲着什么。②いくらも書かなかった。／没写多少。③何ページも読まないうちにいやになって傍に置いてしまった。／还没读上几页，就厌烦起来，扔到一旁。

△表示意外地少的用法见7。

4) 接数量方面的疑问词（组）后，和肯定形式呼应，表示相当多。

①ハワイへは何度も行きました。／夏威夷去了好多次了。②やって



みようとする人は何人もいます。／有好多人要试一试。③老婆は幾晩も幾晩も考えた末に、身を投げようと決心した。／老太婆考虑了很多很多个夜晚，最后决心投水自尽。④古い本ならいくらもある。／旧书么，有的是。

## 7. 表示强调。

1) 对数量的强调。接数量词后，多和肯定式呼应。表示数量意外地多。

①今日はお客さんが二度も訪ねてきた。／今天就来了两次客人。②僕，十万円ももらっちゃった。／我竟得到十万日元。③二カ月もの間／长达两个多月的期间。④下流に至ると，川幅は三百メートルにもなった。／到下游，河幅竟达3百米。⑤今から40年以上も前に，こんなことがありました。／距今40多年以前，有过这样一件事。

△和否定形式呼应可表示数量意外地少。

①5日間もかからなかった。／连5天也没用。

△后续否定形式时，经常造成歧义，要通过上下文来区别。歧义是因从最大值和最小值两方面来分析造成的。

①太郎は10日間も働かなかった。／A、太郎还没劳动上10天。（最小值）B、太郎竟有10天没劳动。（最大值）②代表は3人も来なかった。／A、代表还没来上3个。B、代表竟有3个没来。

2) 主要接副词和用言副词形后，表示对各种状态的强调，有的已固定成词。

①彼らの答えは，いとも簡単に，「高級サラリーマンになりたい」。  
／他们的回答简单得很，“想作高级职员”。②そんなことは百も承知です。  
／这种情况知道得一清二楚。③惜しくも氏はもう不帰の客となった。  
／十分可惜的是，先生已经作古了。④左向をした鳥が阿呆と云った。  
次の奴は御丁ねいにも阿呆阿呆と二声叫んだ。／朝左的那只鸟叫了一声“傻瓜”。  
另一只竟一本正经地叫了两声“傻瓜”。⑤ほしいながらも下さいとは口に出せなかった。  
／尽管很想要，“给我”两字却说不出口。

3) 常用体言或用言的同词反复形式来加强确认的语气。

①アメリカもアメリカですね。／美国也(做的)不怎么样! ②女も女であると苦々しく思った。／觉得这女人也真是的, 实在讨厌。③揃いも揃った輸入品ばかりです。／一色儿地全是进口货。④中国チームは勝ちも勝ったり, 優勝を一人占めにした。／中国队大获全胜, 独占了所有冠军。

△上例①～④都可以改成中顿式, 后续递进或让步的后项。

①アメリカもアメリカ, ニューヨークですよ。／当然是美国啦, 还是纽约哪! ②面白いも面白いが, 面白いだけです。／有趣儿固然有趣儿, 不过仅仅是有趣儿而已。

4) 在某些否定句或否定形式中加强否定的语气。

①妙子<sup>たえこ</sup>ははずかしがりもせずに皆に挨拶した。／妙子大方地向大家打了招呼。②知らないもないものだ。／你不是不知道。③自分だけなら死んでしまいたいが, 子供があるので, そうもいかない。／如果自己一个人死掉算了, 可是因为有孩子, 也不能这么做。④その「政治裁判」としての根性は否定しようもない。／作为其政治审判的本质是否定不了的。⑤知りもしない人／素不相识的人。

△一些固定说法也属这种情况。

①見も知らぬ人／素不相识的人。②途方もなく大きい。／大得不得了。③たわいもない話／幼稚的话。

8. 接于分割性、顺序性的词语后, 对其进一步划分范围, 强调其中更突出的那一部分。和提示助词は代替格助词の的用法有相通之处。

①彼女たちは, 中流階級も上の部に入る。／她们在中产阶级中也属于上层的。②東京も神田の生まれですね。本当の江戸っ子ですよ。／(他) 生在东京并且是神田区呢。是地道的东京人。③2年も後期になると, 俄然, 男生が勉強に本腰を入れ始める。／一到2年级尤其是后半学期, 男生突然对学习认真起来。④留吉は, 40代も終わりに近づいている人だ。／留吉是个40多岁已接近50的人。⑤拾ってきたものだなんて, 造り話もいいとこだ。／好一个“拾到的”, 编得倒是真象。⑥犬猿もただならぬ仲／水火不相容。关系极端不和。

9. 以～もおなじ(同然、同様, 等)的形式以类比语气表示极端

的评价。

①ただ持っているだけなら無いも同じだ。／有，而不去用，等于乌有。②今やこの家は家具ごと，僕ら二人のものも同然だ。／现在，这所房子包括家具在内等于是我们两个人的了。③「何をどうやるか」これさえつかめば勉強の半分は片づいたも同然です。／做什么？怎么做？只要弄清这些，就等于完成了学习的一半儿。

【参考】松下大三郎称も为“題目の助辞”、佐久间称之为“提題の助辞”，总之都看作提示助词之一，与は并列。由も引导的成分有时是主题，但与は有区别：は是区别性的，起限定范围的作用，も是相提并论性质的，起扩充范围的作用。在实际使用上，は的出现频率高于も一倍多，日常会话中女性用も多于男性。

#### も 〈文言接续助词〉

【接续】接动词型活用词的连体形、形容词型活用词的连用形〜く。

【意义】用于有文言色彩的文章以及固定说法等。同とも、ても(口语)。

##### 1. 表示假定的逆态条件。

①何らの事由あるも会場に入ることがを許さず。／无论有何事由概不准进入会场。②泣く泣くも良い方を取る形見分け。(谚语)／哭时很伤心，分遗物时挑好的。③遅くも来月はミカンが出まわるだろう。／至迟下月桔子也能上市了吧？④少なくとも五万円の赤字だ。／至少也亏空五万日元。⑤少しぐらい顔は醜くも，教養の高さは，別の意味で高い気品をそえるものである。／即使丑一些，教养的深度会在另一种意义上增添很高的风采。

##### 2. 表示既定的逆态条件。

①今日に至るも何ら補償がなされておらず。／时已至今却未得分毫补偿。②書きたくも，暇がない人だから仕方がない。／尽管想写，由于没空儿，没办法。

#### もうしあげる(申し上げる) 〈动词〉

下一段活用。用法同“申す”相同，敬意略高。

##### 1. 实义动词用法。作いう的自谦语。

①では，私から御挨拶を申しあげます。／那么，就由我来讲几句

話。②私一存では何とも申しあげかねます。／凭愚见无可奉告。

△もうしあげる表示的动作行为必须与听者有直接关系，もうす则可无可无。如：私は王と申します。（※申しあげます）／我姓王。

2. 补助动词用法。构成动词的自谦语形式“お＋连用形＋申しあげる、ご＋サ变词干＋申しあげる”，用于自己（一方）的动作上，且和被尊敬者有关连时。

①ご相談申し上げたいことがあります。／有事想和您商量。②できる限り，ご援助申し上げるつもりでございます。／我愿尽全力帮助您。③何とぞよい御返事を下さいますようお願い申し上げます。／敬候您的应允。

⇒もうす

もうす（申す）　＜动词＞

五段动词。

1. 实义动词用法。

1) 动词的自谦语。和尊敬语おっしゃる相对。

①私は山田太郎と申します。／我叫山田太郎。②私が申しましたことは，ほんの私見でございます。／我所说的，只是个人见解。

2) 动词的郑重语。只起美化作用，无直接的尊敬含义。一般只代替动词的形式动词用法。

①孔子様でさえ恋にはつまずくと申しますからね。／常言说，连孔子都在爱情上受挫嘛。②ここは昔の人が……と詠んでおりますが，それは全く今日の風情と申せましょう。／这地方，古人曾在诗中咏道：……，可以说这正是今天的情景吧。

3) 有时用于动词的自谦语。与なさる相对。如“宋にお味方を申す／归顺大宋”。

2. 补助动词用法。构成动词的自谦语形式“お＋动词连用形＋申す”、“ご＋サ变词干＋申す”。只用于自己（一方）的动作，且与被尊敬者有关连时。所以“※私は英語がおでき申します（我会说英语）”是错误的。

①御本をお返し申します。／把您的书还给您。②ご案内申しましょ



う。／我为您做向导吧。③お客様をこちらへお連れ申しなさい。／你把客人请到这里来。

3. 构词用法。もうす还构成如下许多自谦用法。

①以上の件につき、嚴重に申し入れます。／对以上事宜，谨严正申明。②まことに申しかねますが，席をお詰め下さい。／真不好意思，请把座位靠一靠。③もうしわけございません。／真对不起。

△“申しつける、申したてる、申しこむ”等中的もうす无谦意，只表示“申述、申明”。

⇒もうしあげる

もうすこしで 〈陈述副词〉

多和ところだった呼应，表示事情发展到造成严重事态的临界线。口语中常用もすこし，近于あやうく、もうちょっとで。

①もう少しで死んでしまうところでしたわ。／差一点儿没死掉。②村の人が四、五人，二、三分の間に消して下さった。もう少しで，風呂場の屋根に燃え移ろうとするところであった。／幸亏村里的四、五个人两三分钟就给扑灭了。当时眼看就要蔓延到浴室的房顶了。

目的格 モクテキカク 目的格、宾语

普通语言学术语，格的一种。指这种格关系：该名词所表示的事物是其关联的动词所代表的动作、行为的承受者。

1. 日语宾格用を表示，称宾格助词。此外，补格名词、提示助词、副助词等也有可能暗含着宾格关系。

①ご飯を食べる。／吃饭。②ご飯，食べました？（裸格）／吃饭了？③ご飯だけは食べることよ。／饭还是要吃的呀。④ご飯（を）も食べる。／饭也吃。

2. 上述“承受者”的内含是复杂的，实际上还包括运动的结果（下例①）、方向（例②）、临界线（例③）等等，这些都是宾格关系。但例④表示通过点，例⑤是出发点，这种格关系也可以称为补格。松下大三郎将所有～を形式都看作是宾格。

①お湯を沸す。／烧（开）水。②後ろをふりむく。／回头看。③去年の百二十トンを上回っている。／超过了去年的120吨。④ドアをくぐ

る。／钻进門。⑤地球を立って月に旅立つ。／离开地球去月球旅行。

3. 宾格和动词关系最密切，语序上通常不远离谓语。

**目的語** モクテキゴ 宾语、目的语

指作为动作、行为的对象，接受谓语所表示的动作、行为的成分。日语亦称“客語”。

在形态上，宾语用体言或体言性词组后续格助词を表示，位于动词之前。

①お母さんは部屋を掃除している。／母亲在打扫房间。

在意义上，宾语表示后续动词的动作、行为的接受物、内容、结果等直接因素。

①余所行きに派手な着物を着る。(接受物)／出门去时穿鲜艳的和服。②夫の帰ってくるのを待っている。(内容)／等着丈夫回来。③お湯を沸かしておく。(结果)／把开水烧好。

在功能上，宾语作为宾格补充后续他动词概念上的不足，通常作为补充语的一种。动词的自他之分就是根据是否必须带宾语，所以将宾语单独作为一种句子成分也是有积极意义的。

【参考】1. 在词源上或词义上和谓语有联系的宾语称为同源宾语(同属目的語, cognate object)。如英语的to sing a song, 汉语的“画画儿”，日语的“人生を生きる。／渡过人生。”

2. 直接宾语(直接目的語)和间接宾语(間接目的語)。前者表示动作的承受物，后者表示动作的接受者，但这一区分在日语中没有象在汉、英语中那样有普遍意义。在日语中，间接宾语有一大部分始终不能作为宾语。

①太郎に本を一冊あげる。／给太郎一本书。②※太郎をあげる。

授受动词之外的一些动词有时在直接宾语不出现时可以用间接宾语作宾语。

①先生は学生に日本語を教える。／老师教给学生日语。②学生を教える。／教学生。

铃木重幸的直接宾语和间接宾语与以上有所不同。参见“対象語”项。

3. 宾语和后续他动词的关系参见“を”项。

目的・目標の表現 モクテキ・モクヒョウノヒョウゲン 目的・  
目標表达法

指表示动作、行为的目的和目标的表达法。主要形式如下。

1. 助动词べく（文言，べし的连用形）、ように（ようだ的连用形）。う、よう、まい、たい（と思う）。

①せめて読書のためにも英語を勉強しようと思う。／至少为了读书我也要学习英语。②災民を救助すべく救助隊を現地に派遣した。／为救助灾民向当地派遣了救灾队。③誰にも分ってもらえるようにやさしい言葉で説明する。／为使每个人都能懂，用通俗的语言进行解释。

2. 助词に、のに（は）、には。に接于动词性体言或连用形后。のに、には接于连体形后，都是に的基准用法的转用。

①新しい国作りに国民全体がけっきししている。／为了新的国家建设全体国民都行动起来了。②科学者たちが地熱の開発に全力を上げている。／科学家们正为开发地热而竭尽全力。③私たちを出迎えに来た人たち／来迎接我们的人们。④この本を読むのに（のには、※には）一週間もかかりました。／读这本书用了整整一星期时间。⑤外国語をマスターするには（のには）集中主義勉強法が能率があがると言われている。／据说掌握外语还是集中学习法效率高。

3. 词组ため（に）、をめざして、に向って、をめどに等。表示郑重场合的目的，强调目的性。除ため（に）外都是书面语。

①緊張を緩めるために、深呼吸をした。／为了缓和紧张，做了深呼吸。②生産指標の達成をめざして皆は努力を惜まない。／为了完成生产指标，大家都尽力而为。③何人かが議長の椅子をねらって委員会の改造論を訴えた。／有几个人觊觎议长的席位，提出改组委员会的论调。

もし（若し） 〈陈述副词〉

与逆接的或顺接的、既定的或假定的、可能的或不可能的各种假定形式呼应，表示假定条件。

①もし人数が多ければ、車を二台用意します。／如果人数多，就准备两辆车。②もしお留守だったら，どうしようかと思ったわ。／我刚才还想，你若是不在家我该怎么办哩。③もしあんなが来ればよかったの

に。／你若来就好了（可是没来）。④もし、帰れるなら，遅くなっても帰ってきなさい。／假如能回来，你即使晚一些也要回来。⑤もし居着くものならこの猫を飼ってみよう。／假如这猫住得惯，我们就养着吧。⑥普通は外泊するが、もし帰宅するとしたら，終電車に乗るのであった。／一般在外面住，假如回家的话，那就坐末班电车。⑦もしそれが本当だとしても，もう何年も前の事である。／即使那是真的，那也是几年前的事了。⑧もし，人々が事件の真相を知ったところで，それがいったいどんな役に立つと言うのだろう。／人们知道了事件的真相，这又能怎么样呢？⑨年末に，もし物価がまた上がると，お正月も暗いものになるだろう。／年末如果物价再上涨，那新年怕也是暗淡的。

### 文字 モジ 文字

【解释】全体社会成员用来表示语音的、由点和线构成的符号体系或其中的一个乃至一部分符号。

文字的功能在于利用视觉表示语音，使人能通过视觉进行语言交际。

构成一个文字系统的文字，通常不能少于20～30个。如英语字母（26个）、日语五十音图。

文字产生于声音语言之后。它的出现和发展不仅克服了声音语言在时间、空间方面的局限性，而且发展了有声语言。比如，长篇小说就是声音语言所难以完成的。

语言符号的发展规律是先有声音后有文字。作为例外，日本人接受汉字的过程恰好相反。

【种类】文字按性质和功能可分为：表意文字和表音文字。表音文字又可分为：音位文字和音节文字。后两者只表示声音，前者同时表示声音和意义，如埃及的象形文字和中国的汉字（赵元任称语素——音节文字）。音位文字一个文字表示一个音位。当然由于种种原因不是严格的一对一关系，如英语的表音文字的表音性已经很差了。音节文字一个字母是一个音节，如美索不达米亚的楔形文字、日语的假名。朝鲜语字母属于音位文字，但书写时每个音节写成一个方块字。

日语文字体系复杂，同时使用上述所有三种文字。



日 语 文 字	{	表意文字.....汉字	
		表音文字 {	音节文字 { .....平假名
			.....片假名
		音位文字.....罗马字	

如果把文字看作语音符号，那么文字改革是有可能的。日语的四种文字可合并为一种文字，如罗马字。显然这是最理想的方案，但是由于文化传统的影响，日文中的罗马字远没有成功。

⇒ 汉字、平仮名、片仮名、ローマ字

もしか 〈陈述副词〉

1. 和假定形式呼应，表示偶然的可能性。

①もしかいけないという人があったらどうする。／倘或有人说不行怎么办？②もしかその可能性がありそうなら，いつでも私と電話で連絡を取って下さい。／万一出现那种可能性，请随时用电话和我取得联系。

2. 构成もしかする系列的接续性词组。如，もしかすると、もしかして、もしかしたら，もしかすれば等，和かもしれない等呼应，表示偶然的可能性。

①もしかすると犯人はもう日本にいないかもしれない。／说不定罪犯已经不在日本了。②もしかしたら，あなたの気にさわることを話すかもしれないけれど，黙って聞いてくれる？／我也可能要说出伤着你的话，你能好好听我说吗？③もしかすれば，これは私のではない。／或许这个不是我的（那个）。④それはもしかして，この私に対する栄治のいたわり，思いやりであるかもしれない。／这也可能是荣治对于我本人的安抚和体贴。

【参考】もしかすると和あるいは相比，もしか用于可能性更小的时候，而あるいは可能和不可能各半。所以，有充分根据时就不能用もしかすると等。试比较：

※まだ学校から帰ってこないところを見ると，もしかすると(→あるいは)居残りさせられているのかもしれない。／看他还没从学校回来，可能是被（老师）留下了。

### もしくは 〈接续词〉

1. 表示两种情况都可以，可任选其一。可用あるいは、または等代替。

①片かなもしくは平がなで記入して下さい。／请用平假名或片假名填写。②排除もしくは無視された中小企業。／被排挤或被忽视了的企业。

2. 表示可供选择的追加项。

①東京や大阪や、もしくは京都など日本の大きな都会には……／在东京、大阪乃至京都等日本的大城市里……

【参考】 1. もしくは和または。在书面语言中，作または的下一层并列。

①AもしくはB，またはCもしくはD／A或B或者C或D。

2. 在选择疑问句中，可用または代替，不能用もしくは。试比较：

①やれるかあるいは（または、※もしくは）やれないかにかかわらず，とにかくやってみることですね。／不管行不行，应该先试试看。

### 文字言葉 モジコトバ 文字语言

指以文字为媒介的语言形式，亦称“書記言語”、“書きことば”。

不过，“文字言葉”和“書きことば”稍有区别。比如，日常谈话是典型的声音语言，但也可以用“文字言葉”的形式把它记录下来。而这种情况虽然也可称之为“書きことば”，但该词通常指文体和口头语言有区别的文字语言。学习母语的人虽然在学龄前通过口头语言来学习，但在学期间主要学习文字语言。在校学习外语也是通过文字语言进行的，即使主要学习听说，也要以文字语言为基础。

### もしも 〈陈述副词〉

表示可能性极小的、不可能的或不存在的事为假定条件、前提。也可用もし代替，语感上有区别。もし表示事先有预料。

①もしも停電したら，一日延ばしましょう。／假如停电的话，就延长一天吧。②もしも，私が彼だったらどうなるだろうか。／假如我是他，结果会怎么样呢？③もしも，私が一番になっていたなら，皆の私を見る目は変わっていただろう。／假如我是第一名，大家对我的看法就会不同了。

△另有名词用法。

①もしもの事／万一；最坏情况；意外事件。②もしもの証拠にその手紙を持って来ればよかったのである。／把那封信带来，作为一旦用时的证据就好了。

もしや 〈陈述副词〉

和疑问形式呼应，表示所作判断把握不大。同もしかしたら、もしかすると。

①あなたはもしや加藤さんではありませんか。／莫非你是加藤先生？②その時、もしやどこかで会った人ではないだろうかと思った。／当时我就想是不是在哪儿见过他。

もちろん 〈勿論〉 〈副词〉

1. 陈述副词用法，与断定形式呼应，表示事实清楚，无需论述。

①それは勿論だ。／那当然了。②「正しいか」「勿論正しいよ」／“对吗？”“当然对啦。”③君にだけ話すんだから，他人にはもちろん秘密だよ。／我只对你讲，所以对别人当然是秘密啦。④このことは警察へ届けるのが一番いいでしょう。もちろん警察へは僕が届けますよ。／这事儿最好是到警察署报案吧？当然，到警察署报案由我去。

2. 以～はもちろん～も～等形式表示前项自不待言，连后项也不例外。

①英語はもちろん，ドイツ語もフランス語も話せる。／英语自不待言，德语和法语也都会说。②モデルの本質について，各専門分野ではもちろんのこと，認識論、科学方法論においても問題にされるようになった。／关于模式的本质，如今不必说在各专业领域，即使在认识论、科学方法论上也都作为课题了。

【参考】もちろん和とうぜん。もちろん的主观判断性很强，而不宜用来表示客观道理。客观必然性要用とうぜん。如“あんな失礼なことをいえば怒るのは当然だ（※もちろんだ）。／说那种无礼的话，当然要生气了。”

もっとも 〈尤も〉 〈接续词〉

1. 用于句子之间，对前项做否定性的补充。

①随分本を読んだ。もっとも，あまり勉強に役立つ本は読んでい

ない。／我读了许多书，只是没怎么读对学习有用的书。②私は両方の仲直りに大いに力を尽した。もっとも，なるだけかかり合わないようにしている。／我为他们二人的和好尽了许多力。不过，我尽量不牵连进去。

2. 表示在后项的例外情况下前项不成立，即部分否定。

①日本人は全般的に礼儀正しい。もっとも多少とも例外はあるが。／日本人整个说来讲礼节。不过多少也有些例外。

【参考】もっとも和ただし。以上用例均可用ただし代替。当后项不是对前项的否定性内容时，不能用もっとも。可见ただし用法广。

①あした登校して下さい。ただし(或もっとも)病気では仕方がないが。／明天请到校。不过，有病就没办法。②あした登校して下さい。ただし(※もっとも)7時以後でもいいです。／明天请到校。另，七点以后也可以。③毎日練習すれば会話がよくできる。ただし(或もっとも)例外がないわけではない。／如果每天练习，会话能学得很好。但并不是没有例外。④毎日練習すれば会話がよくできる。ただし(※もっとも)練習法に注意しなさい。／如果每天练心，会话能学得很好。但要注意练习的方法。

もとより 〈副词〉

1. “本来、从开始就”。

①私はもとより彼を疑っている。／我本来就怀疑他。

△有时用もとから。意义相同。

2. 以自不待言的语气表示强调。

②もとより殆どがメイド・イン・ジャパンです。／不用说几乎都是日本造。

3. 以～はもとより～形式，表示前项自不待言，甚至包括后项。

①夏はもとより，春や秋にも植物が茂っている。／夏天不用说，春天和秋天植物也很茂盛。②猿はもとより娘の姿も黒煙の底に隠された。／不用说猴子，连姑娘的身影也被遮蔽于黑烟之下了。③堀川の大殿様のような方は，これまではもとより後の世にも恐らく二人といらっしゃいますまい。／象堀川大老爷这样的人物，不仅迄今为止，恐怕将来也不会再有第二个了。



## もの 〈名词〉

### 1. 实义用法。

#### 1) 表示可以感知的物体、物品、物质，也特指所属物。

①物は大切に使いなさい。／使用东西要珍惜。②人の物に手を触れてはいけない。／不要动别人的东西。③こんな物も高価で買う気ですか。／这种东西你还想花高价来买吗？

#### 2) 对世间一切事物的统称。

①ものの見方と考え方／对事物的看法和思考方式。

#### 3) 商品性的价格、质量等。

①物が高い。／东西贵。②物が悪い。／质量不好。

#### 4) 指代后续动词的有关对象或内容。

①物も食べないで何か考えている。／不吃东西地思考什么问题。

②生きてものでも言い出しそうな肖像画／活灵活现、张口欲言的肖像。

③ものを書く。／写文章。④赤ん坊がものが分り始めた。／孩子开始懂事了。

#### 5) 一些惯用说法中表示具有某种作用、能力、性质、程度的事物。

①金がものを言う世の中／金钱万能的社会。②風雨をものともしない。／不怕风雨。③本格的に研究し、ものにしてみたい。／我要正式地研究，搞成象样的东西。④フランス語は二年間習ったが、ものにならなかった。／法语学了两年，没有学出名堂。⑤われわれの苦労と比べたらそんなことはものの数ではない。／和我们吃的苦比起来，那根本不算什么。

#### 6) 表示“人”，通常写“者”。有时有谦意（例①），有时有轻视意（例②）、有时只是笼统的指称（例③）。

①私は宣伝部のものですが。／我是宣传（或广告）部的。②ちんぴらのようなものだから、相手にしないで。／象个小流氓似的的东西，别理他。③お医者さんも年取ったものほどいい。／大夫也是越岁数大的越好。

### 2. 形式体言用法。不能单独用，必须有连体修饰语。

#### 1) 指代句中或前面出现过的实义词。

①生活といりものは辛いものだ。／生活是难熬的。②勝利はもうこちらのものだ。／胜利已经是我们的了。③君たちの行動は、やむなくやったものではない。／你们的行动不是迫不得已而进行的。④錠を新しいものに付け替えた。／新换上一把新锁。⑤万里の長城は二年や三年で作り上げたものではない。／万里长城不是二、三年工夫建成的。

2) 表示其连体修饰语表示的动作、行为或变化的所得物。可以有所指代(下例①)或者不指代(例⑤)。

①大陸棚は、昔陸地であつたのが沈んだものと考えられる。／可以认为大陆架是过去的大陆下沉而形成的。②黒インキは、違った色のもの数種類を水にまぜたものである。／黑墨水是把若干种不同颜色的东西混于水中而成的。③右の写真は宇宙船から月面を写したものである。／右边的照片是从宇宙飞船上拍摄下的月球表面。④ジャコウの原料はジャコウジカの雄のジャコウ腺を乾燥したものである。／麝香的原料，就是把雄麝的腺囊烘干而成的。⑤aを二度かけたものとbを二度かけたものを加えたものが、ちょうどcを二度かけたものに等しかったならば、その三つの辺の長さがa、b、cの三角形は直角三角形になる。／若a的平方加上b的平方等于c的平方，则其三边长为a、b、c的三角形是直角三角形。

3) 以～ものは～的同词反复形式表示确认、强调。

①違うものは違うから。／不一样就是不一样嘛。②理由があっても、いけないものはいけないわ。／即使有理由，不行还是不行啊！

4) 以ものがある的惯用形表示程度很高，同ものである或“確かに～だ。”

①慨嘆にたえないものがある。／真是不胜感慨。②その勢い当るべからざるものがある。／实有不可当之势。③こうしてストが決行された。秋男の活躍は目ざましいものがあった。／就这样，罢工举行了。秋男表现的非常突出。④検事さん，前農相の砂糖汚職は目にあまるものがあります。／检察官先生，前农业大臣在制糖业的贪污实在是不能容忍。

△有时用“ものを持っている”形式。

①この書名は、児童にも親しめそうな感じを抱かせるものを持って

いる。／这一书名也使儿童感到一种魅力。

5) 构成ものだ, 作助动词。ものの、ものを等, 作接续助词。见各项。

【参考】1. 下例是も和の的组合:

①一千万円もの費用。／多达一千万日元的费用。

2. 下列的ものは是连体词。表示极少。

①ものの五分と勉強しないうちに、遊びに行ってしまった。／还没学上五分钟就跑出去玩儿了。

3. 作为构词成分的用法很广泛, 如“食物、<sup>たべもの</sup>もの静かだ”。

もの 〈终助词〉

【接续】接于句末的用言及助动词终止形。但推量、劝诱、请求、命令除外。可后续ね、な等。常音便为もん。

【意义】表示理由、根据。

1. 表示对对方的提问乃至申斥以及自己的言论等说明理由。带有娇柔、辩解、不满、急躁等语感。主要用于妇女、儿童的口语。常在句首以だって、でも呼应。

①意思がないというのは嘘だ。人間だもん。／说没有想法是谎话。总是人嘛。②眠ってなきゃだめですわ。退院して初めての長旅だもの。／不睡可不行啊。因为这是你出院后第一次长途旅行嘛。③でも、奥さま、今は学問の世の中ですもの。／不过、太太, 现在可是讲知识的时代呀。④「なぜ宿題をやらなかったの」「だってあんまり難しいんだもの」／“怎么没做作业啊?” “那也太难了嘛。”

2. 构成ものね(女)、ものな(男)形式, 以稍微感叹的语气表示理由。无“娇柔”的语气。

①あなたなら、私の気持よく知っていて下さる んですものね。／因为如果是你很理解我的心情啊。②よく分るはずだ。前に行ったことがあるものな。／(他) 应该很了解。因为以前去过的呀。

3. 以申斥的语气论理, 来自ものだ。男女共用。

①若いときの苦労はしておくもの。／年青时候应该吃苦。②そんな不満は口にしないものよ。／不要说那样不满的话。

4. 用于句中, 相当于ので、から, 可以看作接续助词。语感、使用

范围均同 1。

①あんなにきれいだもの、皆に好かれるにきまっているね。／那么漂亮嘛，准能讨大家喜欢。②朝寝したうえ、ぐずぐずしているんだもの、学校へ遅刻するのはあたり前の話さ。／睡懒觉不说，还磨磨蹭蹭的，上学迟到那还不是理应的。③蜂はちくりと刺すもの、じかに素手ではつかまえない。／蜂子好蛰人，不能直接用手去抓。

【参考】ものの形成。汤泽幸吉郎认为是ものを(见另项)的句末用法经を的脱落而成的。ものを现已不常用，口语中多用もの，意义也从表示のに的意向向からの意义过渡（二者在特殊条件下是相通的，参照のに、から、ものを等的有关部分）。

### ものか 〈终助词〉

由形式名词もの and 终助词か 结合而成。

【接续】只接于叙述句后，不能接于推量、劝诱、请求、命令等形式后。

【意义】男性用语，女性用ものですか或ものかしら。均用于情绪激昂の場合。

#### 1. 表示对事实到底如何的强烈疑问、怀疑的语气。

①もっと確実な根拠はないものか。／就没有更确凿的证据了吗？②昔から、人間はなんとかして天気を変えられないものかと考えてきた。／从古代开始人类一直在想到底能不能想办法改变气候。③そんなこと、あるものかしら。／那种事，真的能有吗？（女性用）④いくら大学生だからといって、こんなすばらしい文章が書けるものかねえ。／再是大学生，竟能写出这样好的文章来？！⑤貧乏人の目には、真樹子たちの生活がどう映るものだろうか。／在穷人眼里，真树子她们的生活究竟是被如何看待的呢？

#### 2. 表示对于不希望发生的事态的抗辩、不服。有反诘语气。

①機械人間なんかに負けるものか！／我岂能输给你这个机器人！②「鉄郎，いいわね，後悔しないわね。」「するものか。」／“铁郎，讲好，你可不后悔。”“绝不后悔。”③お前とは二度と口をきくものか。／我再和你说话才怪呢！④今度こそ君を逃がすもんか。／这次绝不让你跑掉！

#### 3) 表示反诘。降调。



①そんな論理がどこの国にあるものか。／世上哪有这种逻辑! ②そんなことを言ったって、なかなか聞くものですか。／即使这么说了,他又哪里肯听呢? ③病気もへちまもあるものだろうか。／哪有什么病不病的。④暮しが楽なものか。火の車だよ。／日子好过什么! 活受罪。

### ものが 〈词组〉

由形式体言もの and 格助词が构成, 在一些情况下因为前后都是分句, 自然起接续助词作用, 表示事态的变化、转换。同のが。

①それまでは侵寇程度であったものが, 急に南進という組織的な兵团の移動の形を取り始めていた。(「楼蘭」)／在此之前一直是骚扰程度。突然间开始采取了南下这一有组织地调动兵团的形式。

### ものかは

由形式体言もの、助词か、は构成。

【接续】文言中接于用言连体形后表示感叹、反诘等, 现已不用。作为残余, 可接于相当于某一句节的谓语的位置上, 使整个连句节修饰后续成分。常后续表示心理活动内容のと。前接も, 常用もものかは形式。

【意义】表示根本不把上述的不利因素当作理由。相当于“～もものの数でなく、～も問題とせず、～も平気で”等。用于文章。

①暑さもものかはせと働いている。／不怕炎热, 辛勤地劳动着。②流言蜚語ものかはと, まっさきに外国の文学を国内に紹介した。／不顾流言蜚语, 他率先把外国文学介绍到国内。

### ものだ 〈助动词〉

口语中常音便为もんだ。

【活用】形容动词型活用。

基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形	推量形
ものだ	もの	○	ものだっ もので	ものだ	(ものな)	ものなら	○	ものだろ

#### 1 词干。

1) 后续终助词か、ね等结句。其中, もの单独结句的情况见终助词もの。

①子供なんかに何が分るものか。／小孩子家懂什么!②よくできたものね。(女性用)／你做得真好。

2) 后续です、らしい、みたいだ等助动词。下例②也可说～であるらしい。

①余計なことを言うと損してしまうものです。／多嘴就要吃亏。②犯行のための準備には、中村が手伝ったものらしい。／在犯罪的准备上，中村好象从中帮忙。

3) 用于引语或类似情况的成分的末尾。也可以保留だ，等于用终止形。

①灯がついているから隣家ではとうに起きていたものと見える。／点着灯，看来邻居家早已起床。②史記に載っている以上，当時褒姒<sup>ほうし</sup>に関してこのような話が世に行われていたものと思われる。／既然载于史记，可见当时关于褒姒世间确曾有过这种传说。③山田はチャンスをつかんでアメリカに留学したいものと願っていた。／山田曾希望抓住机会到美国留学。

4) 后续の、を、ゆえ等构成接续助词。参见“ものの、ものを、ものゆえ”各项。

## 2. 连用形。

1) ものだっ。后续た表示回忆的语气等。

①あたりは森<sup>しん</sup>としていて，まるで鬼の住む所に入るようなものだった。／四周阴森森的，仿佛来到了鬼域似的。

2) もので。

(1) 单独表示原因，见另项。

(2) 用于中顿。

①乗気になればなるほど疲れを感じないもので，好きこそ物の上手なれとはよく言ったものだ。／越有趣儿越不感觉疲劳，“喜欢才能学会”这话说的太对了。②好加減遊び疲れた頃，よくしたもので，誰かが学校へ行くことを思い出した。／玩儿得够累了的时候，正好不知是谁把上学的事想起来了。

(3) 后续ある、ない等补助成分。

①子供のくせに、そんな大人のこと、聞くもんじゃありません。／  
一个小孩，不要问那种大人的事。②人を指さすものではない。／不要  
用手指人。③私もお供したいものでございますが。／我也愿意作陪，不  
知……

### 3. 终止形。

#### 1) 单独或后续终助词结句。

①こんなものは、自分で取りに来るものだ。／这样的东西你要自己  
来取。②ゆっくりするものだね。／该慢慢来。

#### 2) 后续接续助词から、し等。

①善意の人，性格的に親切な人はいるものだし，あまり悲観するこ  
とはない。／善意的人，天生热情的人还是有的，你不必太悲观。

### 4. 连体形。很少用，可后续有体言成分的接续助词等。

①こわいものなのに，捨てなさいよ。／怪害怕的，快扔掉。

### 5. 假定形。看作独立的接续助词。见另项。

### 6. 推量形。后续う表示推测。

①どうだ，君も加わりたいものだろう。／怎么样，你也想加入吧？

【接续】接用言及助动词连体形。但除ものなら外一般不能接う、よう。  
まい不受此限。

①落とすまいものでもない。／不一定就不丢。

△一般说来由于接续的原因不能用于体言后，在用于体言后时，则需通  
过助动词だ的终止形或连体形。

①私は商人だものですから，商売の話ばかりしてすみません。／因  
为我是买卖人，尽说些做买卖的事，对不起。②「嘘だな！」「嘘なもん  
か。」／“原来是谎言！”“哪里是谎言！”

【意义】～もん～形式用于不拘束的口语。

#### 1. 表示对常识性、倾向性或规律性的事物的十分肯定的判断。

①科学が進めば，迷信が自然になくなるものだ。／科学进步，迷信  
自然就会消失了。②腐った食物を食べると，腹をこわしてしまうもの  
です。／吃腐烂的食物就要坏肚子。③誰もできないというと，かえって熱  
心に研究したがる人が多いものだ。／一听到谁也不会，反而有更多的人

想去热心研究。④物はないとなるとなお欲しくなるもので、煙草がないなと思うと、急に吞みたくなるものだ。／东西越是没有越想得到，一想起没烟了，马上就想抽。⑤この頃は、お祭りと言えば、お神輿や山車<sup>みこしだし</sup>が必ず出るものだと思われている。／近年来人们认为一搞节日活动就一定要有“神轿”和“彩车”出场。

2. 表示理当如此。常转成间接的命令（例②、③）或禁止（例④）。

①そうするものであるかのように深深とお辞儀<sup>じぎ</sup>をした。／深深地鞠了一躬，似乎就应该这么做似的。②中学生なら自分の生活を計画するものです。／初中生就应该安排自己的生活了。③親の言うことはよく聞くものだ。／父母的话要认真听。④ノックしないでいきなり人の部屋に入るものではない。／不应该不敲门突然进入别人的房间。

3. 以感叹的语气表现某种事实，可带有赞叹、痛惜等语感（例③～⑤）。ものですから常用于女性口语中。

①「なにかご用でもあって？」「いえ、べつに。ただ近所まで来たものですから」／“有什么事吗？”“不，没什么事。我只是路过这附近。”②私の親せきでは、女の子は皆一高だもんですから、実業学校では気が引けます。／在我的亲戚中，女孩儿都上一高，我上专科学校，会丢面子。③よくあきないで書物ばかり読んでいられるものだ。／毫不厌倦地一心读书！④兵隊さんがだらしない行いをするのもよくあるものだ。／当兵的行为不检点的也是常见的。⑤それには親もすっかり困ったものです。／对此父母也伤透脑筋了。⑥おやじは一銭を十銭と間違えたものらしい。／老头子好象把一分硬币错认成一角的硬币了。

4. 构成～たものだ形式，以回忆的语气叙述以往经常发生的事实。常和よく等副词呼应。

①若いころには、よく喧嘩もしたものだ。／年轻时真没少打架。②子供のころは体が弱くて、しょっちゅう風邪をひいたものだ。／小时候身体弱，常常得感冒。③10年前には、僕も酒一本ぐらいは即座で飲めたものだ。／10年前我也曾不动地方就能把一瓶酒喝下去。

5. 表示强调愿望的语气。

①確答を聞きたいものである。／我想听到明确答复。②緑化活動を



助成していこうというものだ。／就是要决心促进绿化活动。③富士山をこの目で見たいものと思って、旅に出た。／为亲眼见到富士山，旅游去了。

### もので 〈接续助词〉

由形式体言もの、格助词で构成。由ものだ的连用形转成。口语中可音便为もんで。

【接续】接活用词连体形后。

△通常不接体言后。需要时可通过だ的连体形或终止形。

①食いしん坊な（或：だ）もので、よく腹をこわしている。／因为贪吃，好闹肚子。

【意义】1. 表示前项中实有的事实在客观上是后项状态的合理的原因、正当的理由。有些辩护的语气。

①子供が行きたい行きたいというもので、公園に連れていってきた。／孩子总说要去公园儿，就带着去了一趟。②夫が10年前に死んだもので、一人で息子を育てなければなりませんでした。／因为丈夫10年前死了，所以不得不一个人来抚养儿子。

2. 作终助词用。表示说者对既成事实（常不出现于句中）的理由提出申诉，以求对方允许和谅解。

①私、踊れませんの。ダンスなどは縁のない田舎に、ずっと育てまいましたもので。／我不会跳。因为一直是在和跳舞不沾边儿的乡下长大的。

【参考】下列中的ものではものだ的中顿，说明一种道理。

①悪い時は悪いもので、そのうち、日本からむかえにきた僧の一人が病気にかかり、とうとう旅の空で死んでいきました。／真是祸不单行，其间从日本来迎接的一名僧侣患病，终于死在旅途上。

### ものなら 〈接续助词〉

由形式体言もの、だ的假定形なら构成。由助动词ものだ的假定形转成。

【接续】接活用词连体形后。能接于ものだ所不能接的（よ）う和不常接的まい后。

【意义】口语中常音便为もんなら。

1. 接（よ）う后，表示一种如果真的发生就会带来不好结果的假定。从时间上说，并没有限制。

①何か言おうものなら，男も女もみな涙声になって，言葉にならない。／一说点儿什么，男男女女就都泣不成声的样子。②あの男に勝手にやらせようものなら，何をやり出すか分らない。／一旦让他随便干，可真不知会干出什么事来。③仮にこの掟<sup>おきて</sup>を無視しようものなら，冷たい迫害に遭うにきまっている。／万一违反了这条规矩，肯定遭到冷酷的迫害。

△偶尔也用于た之后。

①まともに話でもしたものなら，息をされる度にへどを吐いてしまいそうになる。／假如面对面地说话，他每喘一口气你都想呕吐。

2. 接可能动词后，表示对可能情况的提示性的假定。一般是对明知办不到的事的假定。

①泣けるものなら，私も泣いたでしょう。／我如果能哭出来也要哭的吧。②あの小川が，飛びこせるものなら飛びこして見ろ。／如果能跳过那条小河，你就跳一下试试。③受験生がかわいそうだ。代われるものなら，代わってあげたいと思う。／考生真可怜。如果能代替，我真想代替。

3. 助动词ものだ的通常用法的假定。一般不看作接续助词用法。

①何か噂でも聞いたものなら，伝えなさい。／如果听到了什么风声，就告诉我。

ものの 〈接续助词〉

由形式体言もの<sub>の</sub>和格助词の<sub>の</sub>构成。

【接续】接用言、用言型助动词、助动词た等的连体形后。

①作文は人に話すように書けばいいものの，そのことが大変難しい。／作文应该写得象和人说话一样，而这一点却很难做到。②友達をうちに招きたいと思うものの，忙しくてひまがない。／虽想邀请朋友到家作客，无奈忙得没有空闲。③やってみたものの，やはり難しくて途中でやめてしまった。／试了一下，因太难，还是打了退堂鼓。④乞食と泥

棒とはしなかったようなものの、殆どその一步手前の所までは何度も行った。／尽管没乞讨，没行窃，但是有好几次几乎就要达到这种地步了。

【意义】1. 后项中未出现或难以出现据前项所预料的情况，甚至出现相反的情况。

①瘦せてはいるものの、病気とは無縁です。／尽管瘦，和病可不沾边儿。②行くには行くものの、先方で相手にしてくれなければ、何にもならない。／去是去，人家不答理还是什么用也不顶。③ペンは執ったものの、何から書きだしていいか解らなかった。／笔虽然拿起来了，不知从何写起。

2. 表示在前项中实现的事实，在后项条件下则大有径庭。常用～ようなものの、～よかったものの形式。

①私だったからよかったものの、ほかの人にそんな事を言ったら叱られますよ。／因为是我还没什么，如果对别人那么说就会挨训斥的啊。②今こそ十分満足な生活をしているようなものの、終戦直後の生活は実に惨めなものでした。／现在确实过上了心满意足的日子了，可是停战不久时的生活实在是太惨了。

3. 以とはいうものの形式表示虽然承认前项中的总的事实，但仍有后项中的种种情况乃至相反的情况。

①弱い者をあわれまなければならないとは言うものの、その反対の事実にも時々ぶつかります。／虽说应该同情弱者，但也常常碰到相反的情形。②知らなかったとはいふものの、大変失礼なことをした。／虽说事先不知道，这么做是非常不礼貌的。③一口に戦争とは言ふものの、十何人のゲリラ戦から世界大戦まで、規模から見てもいろいろである。／虽然都叫做战争，然而，从十几个人的游击战到世界大战，单说规模也是各不相同的。

【参考】下例的ものは是连体词，表示“小”。

①ものの百メートルも走らないうちにパンクしてしまった。／还没跑上一百米（轮胎）就爆了。②手入れしなくちゃものの役にも立たないぜ。／不修一修就没有任何用处了。

### ものゆえ 〈接续助词〉

由形式名词もの and 接续助词ゆえ 构成。接活用词连体形。

【意义】用于文章，表示以实有的事实为理由、原因。

①足が不自由なもののゆえ，外出はできません。／因腿有残疾，不能外出。②あまりに勉強したのと，食事が悪かったもののゆえ，体をこわしてしまった。／由于用功过度，加之伙食差，把身体搞垮了。③資料が足らぬもののゆえ，満足できない点も相当ある。／由于资料不足，也有很多不备之处。④間違えてはいけないもののゆえ，再三にわたって注意した。／因为不得搞错，所以再三加以提醒。

### ものを 〈接续助词〉

由形式体言もの and 格助词を 结合而成。逆态功能的来源无定论，或称来自もの，或称来自を。

【接续】接用言、用言型助动词、助动词だ等的连体形后。

①やれば出来るものをどうしてやる気になれないのか。／本来干就能成，可为什么不想干呢？②文章はそのままでいいものを，何を補ったり削ったりするの。／文章这样就可以了嘛，干么删删补补的？③あの子は健康なものを，栄養剤を飲ませてばかりいるのは変な話だ。／那孩子本来很健康，却一个劲儿地灌营养药，真是怪事。④大人だって分らないものを，君には出来そうもないな。／连大人都不懂嘛，你是不行的。⑤乗ろうと思えば乗れたものを，一台やりすごしただけに遅刻してしまった。／本来想上就能上的，就因为放过了一辆而迟到了。⑥やめてもよさそうなものを，執念深くやりとおす。／可以不干嘛，偏执拗地坚持着。

△だ型词有时用终止形。

①見方によっては優秀だ（或：～な、～である）ものを，遠慮しないで応募すればよかったのだ。／本来从某个观点看很优秀的，当时大胆应征就好了。

【意义】1. 以不满、悔恨的心情来说明前项事态没向预期方向发展，前项的可能未能实现。

①兄も兄だ。そんな無茶な事，断ればいいものを，それを自任し



ていた。／哥哥真是的。那种无理的要求，拒绝了就得了嘛，偏偏自己承担了。②若いうちに勉強しておけばよいものを，毎日遊んでいる。／趁年青学点儿东西该多好，却终日玩儿乐。③わざわざ外国にその例を求めなくともよいものを，何かと言えは自国のものを軽く見たがる。／本来用不着到外国去找佐证，可是动不动就轻视本国的东西。

2. 以不满、悔恨的心情在前项提示一条事实，并在后项中表明某种态度。

①君に全然関係がないものを，黙っている。／跟你毫无关系，你少插嘴！②ずっと級のトップだったものを，中退しなかったらいいですなあ。／一直是班上的尖子嘛，不退学该多好啊。③あるものを，意地悪いな。／明明有（却不给），真坏！④君も気がつかなかったものを，僕だけの責任だというのはおかしい。／明明是你也没注意到嘛，说是我自己的责任就奇怪了。

3. 用作终助词。暗示着不理想的实际情况，来对某个前题表示责难、不满、悔恨、不服气的语气。较陈旧，多用于老年人当中，有的可看作1或2的倒装（例③）。

①分らない所があったら，私に聞けばいいものを。／有不懂的地方时，问问我不就行了嘛！②だまっていればいいものを。／闭嘴得啦！③どうやって突き止めるんだ？被害届も出さないものを。／怎么去查清呢？又不报案！④だってねえ，理想は食べられませんものを。／可是，理想都不能当饭吃，何必呢！

4. もの和を（宾格）结合不紧密时表示前项事态的改变。通常用のを，见该项。

①はじめは小さい傷であったものを，ことさら大きくひき裂いた。／起初只是一个小伤口，可是故意开了个大口。

# や ヤ

## や 〈并列助词〉

【接续】接体言、动词和形容词连体形，由格助词等构成的副词性句节。以接体言为主。

△和被连接项构成名词性或副词性词组，主要有～や～、～や～や、～や～など、～やなにか几种形式。

①桃や桜が植えてある。／栽着桃树、樱树。②あれやこれやと考えに考えた。／左寻思，右考虑。③飛行機は汽車や自動車などよりはるかに速い。／飞机比火车、汽车等快得多。④忙しくて小説や何かは電車の中で書く。／忙得小说什么的在电车上写。

以上形式都能后续各种助词作句子成分。其中，例②、③的形式能直接作同位成分。

①赤いのや白いのや，いろいろな花が咲いています。／红的、白的，开着许许多多的花。②筆や硯など，文房具が揃っている。／笔、砚等文房用具齐全。

【意义】1. 表示对主要事项的罗列，暗示还有其他。

①緑化が，家や畑や橋や道を洪水から守ることは言うまでもない。／绿化能保护房屋、田地、桥梁、道路免受水害，这是无需说明的。②山や川や野や森や，我が国土は実に美しい。／山、河、原野、森林，我们的国土实在是美丽。③読むや書くやで全然ひまがない。／又是读啊，又是写啊的，没有一点儿空闲。④煙突から煙の出ているのや，<sup>ほぼしら</sup>橋から橋へ万国旗をかけわたしたのやがあって，目が痛いようにきれいでした。／有冒着烟的烟囱，有挂在桅杆之间的万国旗，美丽得令人瞠目。⑤あちらからやこちらからや，大変な人出だった。／这边也有人来，那边又有人到，聚得人山人海。⑥寒いやひもじいやで，一步も歩けなくなった。／又冻又饿，一步也走不动了。

2. 把程度较接近的两个词（一般为体言，例②是固定说法）连接起

来，表示这二者代表的大致的区间、范围。通常和否定呼应，表示远不止于这一区间、范围。

①どうも、この両者の間は二カ月や三カ月のことではないらしい。／看来，这两个人的关系不止两三个月。②ちょっとやそっとでは目を醒まさない。／一般是弄不醒他。③老婆の見聞きする自殺者は，一人や二人ではなかった。／老太婆所见所闻的自杀者不止一两个人。④こんな現象は昨日や今日から始まったものではない。／这种现象不是两天才开始有的。

### 3. 把同一动词的肯定和否定形式连接起来，表示临界程度。

①食うや食わずの生活。／吃了上顿没下顿的生活。②「会計は近頃豊かかね。」「なに同じ事さ。足るや足らずさ。」／“手头儿最近很宽绰吧？”“哪里，还是那样。将就过吧。”③結婚して半年経つや経たずで，二人は不仲になった。／结婚还不到半年，两个人别扭起来了。④12になるやならずの時，父は戦争に行きました。／快到12岁的时候，爸爸参战去了。

### や 〈接续助词〉

【接续】接动词及同型的助动词终止形后。

①朗報を聞かや，皆うれしくて躍り上がった。／一听到好消息，大家都高兴得跳了起来。②そう言われるや，妹はわっと泣きだした。／妹妹听人这么一说，“哇”地一声哭了起来。

【意义】1. 表示紧跟前一个动作发生了后一个动作。多用于文章。相当于～するとすぐ。

①「発炮しろ」キャプテンの命令が出るや，敵の指令塔が火の玉となった。／“开炮！”舰长的命令一出口，敌方的指挥塔立即成了一团火球。②ドラが鳴り終るや船はすぐ岸壁を離れた。／铃声刚一结束，船立刻驶离了码头。③老人は四郎だと見るや，立ち上がって迎え入れた。／老人一见是四郎，马上起身迎了进去。

△常用～やいなや形式，时间感更紧迫。其另一意义见终助词や。

①孫の太郎は襖を開けるやいなやいきなり馬琴の膝の上へ勢いよく飛び上がった。／孙子太郎刚一打开隔扇，就径直向马琴的膝上猛地窜

了上去。

“～と見るや”也是较常见的形式，但意义1中例③不属此用法。

①体が動いたと見るや，飛鳥の如く飛んだ。／只见身体一动，飞鸟般地飞走了。

2. 表示一旦前项成立，不可避免地出现后项。有文言色彩，有间投助词性质。

①この機一旦逸するや生涯めぐりあわぬ。／失此良机终生不遇。②一千の兵たちは一度玉門関を出るや再び漢土に戻って来ようとは思われなかった。／这一千兵士，一出玉门关，就不指望再踏上汉土了。

や 〈终助词〉

【接续】1. 接于形容词、形容词型助动词终止形后。

①うわ！こいつは，すごいや。／嘿！这可太好了！②僕もやってみたいや。／我也想试他一试。③なんだ，猫一ぴきもないや。／怎么搞的，连个人影儿都没有。④外は雨が降っているらしいや。／外面好象下着雨哪。

2. 接动词及同型助动词命令形后。

①ぜひ来いや。／一定要来呀！②皆にもやらせろや。／也让大伙儿做一做呀！

3. 接助动词（よ）う后。

①行きましょうや。／走啊。

4. 接文言活用词终止形后。见用法3。

【意义】除文言用法外，用于男性的不拘束的交谈中，可用于亲密的同辈或下辈，语气粗俗。基本意义同よ相近。よ态度认真，使用范围无上述的限制。

1. 同接续2、3对应，接于命令、劝诱、希望等内容后，表示期求这些得以实现的心情。

①道草を食わないで，早く行こうや。／别瞎逛，快走啊。②能書きばかり並べないで，早く歌えや。／别尽卖关子，快唱啊。③名作なら私も読みたいや，ちょっと貸してくれよ。／如果是名作我也想读一下，借我看看。



2. 与接续 1 对应, 用于不客气的断言、自暴自弃的说法等。男性中尤其少年常用。

①まあ、いいや。なんとかなるだろう。／那不要紧。总会有办法的。②知っているじゃないか。からかうなんて、ひどいや。／你明明知道嘛, 还逗人。真是的。③今さらどうしようもないや。／到如今, 没办法啦。④奴は共犯だった, 警視, 間違いありませんや。／他是同案犯, 警视, 准没错儿啊。

3. 表示疑问或反诘。かの文言形式, 但口语中仍有所使用, 主要用于反诘。

①なんで遠慮する必要があるでしょうや。／干么要客气呢? ②君の部屋, ありゃ一体何だ。ブタ小屋なんていうもんじゃないや。／你的房间, 那象个什么? 简直象个猪圈。③君はその詩人の姓名を知れりや? ／君可知那诗人之姓名乎? ④君は死後もなお名声を欲するや? ／君死后仍企望名声耶?

△やいなや等于かどうか。

①有るやいなやは疑問だ。／有没有还是个问号。②諸君の生命は永遠なりやいなや。／诸君之生命永存耶非耶?

や 〈间投助词〉

【意义】 1. 接于幼儿(例①)、佣人(例②)、玩赏动物(例③)的名字、名称后。表示以和蔼的口气来招唤。女性用语。

①竹ちゃんや, いい子だから, 泥遊びはよしましょう。／竹娃是个好孩子, 不玩儿泥好吗? ②春子や, お客さんの部屋の仕度を。／春子, 去收拾客人的房间。③ポチや, これを食べて。／小花狗儿, 来吃这个。

△“坊や、ねえや、ばあや”等已固定成词, 其中的や原表示招唤。

2. 接副词后加强语气。主要是一些惯用说法。

①ましてやわれらは人間である。／更何况, 我们是人。②必ずや完成しておこう。／一定要完成。

△常用的再如“今や、偶<sup>たま</sup>や、またもや、もしや”。

3. 文言中还可用来表示说者的感动、感叹等。尤其在和歌中作“切字”用, 起调整字数或同时表示感叹的作用。

①荒海や佐渡に横たふ天の川。／大海波浪翻，银河横挂佐渡天。

【参考】文言句中的や有时可能是提示助词，不可混为间投助词。句末用连体形呼应是提示助词や的特征。表示疑问、反问、反诘。

①死ぬる事やあるらむ。（＝死ぬことがあるだろうか）／岂有死去之理？

やい 〈终助词〉

由终助词や和い结合而成。口语中常发成长音やあい。

【意义】1. 用于嘲弄对方。

①泣きむしやあい。／哭巴精唉。②弱虫やい。／胆小鬼样儿！

2. 接命令形后，以嘲笑或开玩笑的口气加以命令。

①お前の親爺自慢なんて，間接的にお前の自惚れじゃないか，よせやい。／炫耀你爹，不就是间接的自夸吗？快拉倒吧。

【参考】1. 下例的やいは感叹词，语气粗俗。

①やい，気を付けろ。／喂，注意点儿。

2. 下例中やあいは另一感叹词，用于嘲弄对方，并常和やい搭配。

①やあい，弱虫やい。／看唉，完蛋货唉。

やがる 〈接尾辞〉

【接续】五段活用。接动词、动词型活用词连体形后。下例是～ていやがる的省略，所以仍是接连用形后的。

①あの人たち帰るとき「覚えてやがれ」なんて言っていたでしょう。／那些人临走不是说过“走着瞧”吗？

【用法】1. 卑骂语。主要用于关东地区，和关西的くさる相同。对话题目中的人物或直接对对方表示轻蔑、谩骂、嘲讽。

①弱虫め！死にやがれ。／熊货！死去吧！②あれは遊んでばかりいやがる。／那家伙光是玩儿乐。

△常用于卑骂性词语うせる、こく、ぬかす等之后。

2. 有时也用于说者本人，表示自虐、无奈的语气。

①畜生，あいつを見ると涙が出やがる。／我真混！一见到他就落泪。②おや，ウイスキーが少し回って来やがったぞ。／哎呀！威士忌的酒劲儿有点儿上来了。

3. 用于生物、自然现象，表示意外、憎恶、反感。

①水を飲もうと思ったら、虫がいやがった。／刚想喝水，发现有一条虫子。②また降って来やがった。／娘的，又下起来了。

4. 有时用法1反其意用之，表示一种亲近、无拘束感。

①「俺もあの頃は美少年だったな。」「貴様はホームシックでびいびいしていやがった。」／“当时我也是个美少年呢。”“你小子想家想得哭哭啼啼的。”

【参考】1. 稍旧的形式是あがる。

2. 口语中易拗音化。例；またそんなところに俺の名前を出しゃがる。／又在那地方把我名亮出去！

やさき 〈形式名词〉

接动作动词和其被动、使役、否定、过去等形式的连体形后，构成时间性副词节，常后续格助词に、へ。表示就要进行前项动作或处于前项紧急状态的一刹那间，发生了改变前项情况的后项事件。

①どろ棒が逃げようとするやさきに巡查がやってきた。／眼看小偷儿要逃跑的当儿上，警察赶来了。②どうすればいいか分らないやさきに，両親から手紙が来た。／就在不知怎么办才好的节骨眼儿上，收到了父母的信。③稽古場に顔を出したやさきに，高見は，公演はやめさせられるという話を聞いた。／刚一来到排练场，高见就听到了公演被停止的事。

やす 〈助动词〉

特殊型活用。但只有终止形和连体形时有所见，其他形几乎不用。接动词连用形。

1. 同ます。表示郑重语气。旧体的俗语。

①これから山路を越えて行きやす。／这就要过山路了。②馬市に出しやすのちゃ。／是要拿到马市上去。

2. 在关西方言中，构成尊敬的用法，同あそばせ。

①おいでやす。／您来了。②お帰りやす。／您回来了。

やすい（易い） 〈接尾辞〉

形容词型活用。接动词连用形后。和にくい意义相反。

1. 由于客观原因，人的动作容易实现。通常有积极的语气。

①この本は仮名が多くて読みやすい。／这本书假名多，容易读。②しのぎやすい季節／好过的季节。③親しみやすい人／易亲近的人。④牛や馬は，ぶたや鶏などより飼いやすいものです。／牛和马跟猪、鸡什么的相比容易饲养。

2. 表示客观事实本身有易于成立或进行的倾向。通常有消极的语气。

①テトロン制品は焼けやすいので，高温作業には向かない。／的确良制品易燃，不适于高温作业。②薬で育った子は病気になりやすい。／靠吃药长大的孩子容易得病。③壊れやすいガラス制品／易碎的玻璃制品。④秋になると台風が来やすい。／一到秋天就常起台风。

⇒いい

「や」の見分け方 ヤノミワケカタ や的词类鉴别

【助词】有并列助词（例①）、接续助词（例②）、终助词（例③）、间投助词（例④）等，可根据句中位置、接续法、意义等很容易地区别开。

①中に老人や子供なども交じっている。（构成体言性词组）／其中也夹杂着老人、孩子。②ベルが鳴るや生徒たちはどっと外へくり出した。（接活用词并连接句子）／铃声一响，学生们忽地拥到室外。③おいしいや。（句末。感觉形容词后）／真好吃。④太郎やちょっと来て。（呼唤）／太郎，来一下。

【各种词的音便】有时成为拗音。

1. 提示助词は的口语音便。尤其用于～はしない形式。

①ありやしない。／不会有的。②何もしてやしない。（～していはしない）／什么也没干。③こりゃ（これは）しめたもんだ。／这可太好啦！④わたしゃ飛<sup>た</sup>つ鳥。（歌词）／我是飞鸟。

2. 接续助词ば的音便。如なけりゃ等于なければ，なきゃ也等于なければ。

【助动词】关西方言，同じや即共同语的判断助动词だ。如：

①何でも見ないと損や。／不看个够，是损失。

又如，そうや等于そうだ／是那样。そうやおまへんか等于そう



じゃありませんか／难道不是那样吗？

**山田文法** ヤマダブンポウ 山田语法

指山田孝雄（1873～1958）创立的语法体系。

【语言观】山田认为语言是思想和语音的结合体，语法就是关于存在于种种语言单位之间，使之成为一定体系的各种关系及组织的规律。他重视语言心理的分析、综合等观念作用，常用逻辑方法分析研究语言现象，故有“逻辑语法”之称，和时枝诚记的“心理语法”相似。主要著作：「日本文法論」（明治35～41年。是日本第一部高水平的语法理论著作）、「日本文法講義」（大正11年）、「日本口語法講義」（大正11年）、「日本文法学概論」（昭和11年）。

山田认为词是反映一种观念的分解性的单位，句子是反映一种统一思想的综合性单位。

【词法】山田根据单词所反映的逻辑内容，把单词划分为表示独立观念的“觀念語”和附于观念语后表示关系的“關係語”即助词。根据能否独立运用，前者又分为“自用語”和“副助語”即副词。自用语又分为“概念語”即体言和“陳述語”即形容词、动词、存在词。体言包括直接表示事物概念的实质体言（狭义的名词）和间接表示事物概念的形式体言（即代名词和数词）。

山田认为，和印欧语不一样，日语的接续词感叹词都作句子成分，象副词一样修饰后面的内容，因此分别称为接续副词和感叹副词。这样，山田的副词，包括情态副词（形容动词词干也在内）、陈述副词、接续副词即接续词、感叹副词即感叹词。

不设连体词，或归入代词，或作为两个词，如：こ＋の。

将アリ单独作为一个词类即存在词，也是山田词法的一个特色。不承认形容词的补助活用即カリ活用，也不设形容动词，分别看作两个词。如：おだやかなり←副词おだやかに＋存在词アリ。

山田语法的另一特色是词类中不设助动词，看作是存在词的词尾变化和用言的一部分，称为“複語尾”。复词尾包括（ら）れる、（さ）せる、ない、たい、ぬ、まい、た（て）、（よ）う、らしい，存在词有だ、です、ある。

助词则与助动词不同，是作为独立词类处理的。助词采用六分法：格助词、副助词、系助词（即提示助词）、终助词、间投助词、接续助词。山田的分类方法、定义、名称为多数人接受，已成为最通行的助词理论。

【句法】山田语法认为句子是由统觉作用（把种种观念统一为一个整体思想的语法作用）统一起来的语言形式，由一个或一个以上的词构成。句子成分的统觉作用具体表现在用言的陈述作用和与此相关的格关系上，设有呼格（感叹词等独立语）、述格（用言作谓语）、主格（主格）、宾格（名词谓语，即时枝语法的述语格）、补语（～を、～に）、连体格（连体修饰语）、修饰格（连用修饰语）。

山田语法的“格”相当于句子成分，但不是句子的结构单位，句子单位另有“句”。所谓“句”就是表示单一的思想，只包含一次统觉作用的句子单位。“句”有唤体和述体两种，详见另项。句子根据有几个“句”以及句之间的结合关系划分为由一个“句”成立的简单句（单文）和由两个以上“句”构成的复杂句（複文）。复句进一步分为并列句（重文）、从属句（合文）和包孕句（有属文）。

【敬语法】敬语分为谦称（用于自己或自己一方）和敬称（用于对方或第3人称方面），又按词类划分为体言敬语和用言敬语。体言敬语包括对者敬语（用于第2人称）和一般敬语（用于第3人称），用言敬语包括关系敬称（くださる等）、绝对敬称（おっしゃる等）、关系谦称（いただく等）、绝对谦称（いたす等）。

やら 〈并列助词〉

【接续】1. 接体言、体言性词组后。

①会議やら記者会見やらで忙しい毎日です。／每天都为会议、接见记者之类而忙碌。②過去の回想やら当面の期待やらを，つぎつぎに脳裏にうかばせて見た。／把往事的回忆、眼前的期待都一幕幕地浮现在脑海里。③あれやらこれやら面倒臭い事ばかりだ。／左一件右一件尽是些麻烦事儿。

2. 接动词、形容词及同型助动词连体形后。

①彼女は，泣くやらわめくやら大騒ぎを演じた。／她又哭又喊地大闹了一场。②うれしいやら，はずかしいやらで，口もきけなくなっ

た。／又高兴又害羞，话都说不出来了。③叱られるやら褒められるやら何が何だか分らなくなった。／既有批评，又有表扬，弄不清怎么回事儿。

### 3. 接某些连用句节后。

①両親からやら親友からやら方々からお祝いの手紙が来た。／收到父母、好友各方来的贺信。②大きくやら小さくやらいろいろな形に切り取る。／剪裁成大小不等的各种形状。

【意义】通常以～やら～やら形式构成体言性词组，直接或后续格助词等作各种句子成分。

1. 以暗示另有其他同类事物的语气例示典型事项。属兼并性并列。有时已经穷尽了，这时只有含蓄的修辞意义。

①手帳には必要な心得やら方角図やらが書いてある。／手册上有必要的注意事项和位置图。②座布団を裏がえしにするやら，お茶を用意するやら，こっちの方が気の毒になった。／又是翻坐垫，又是准备茶，我倒不好意思起来了。

2. 主要连接一正一反的两个事项，表示选择性并列。是表示疑问的副助词やらの并列用法，与1不同。用言后多用～のやら～のやら形式，且多做副词节。

①そんな事あるのやらないのやら見当がつかない。／搞不清到底有没有这种事儿。②尋ねてはみたが，聞こえたのやら聞こえないのやら，だまって横をむいていた。／尽管寻问了一下，可他不知是听见了还是没听见，冲着旁边不言语。③男なのやら女なのやら分らないような髪型／一种分不清是男是女的发型。④どこの馬の骨やら牛の骨やら分らぬ男／一个不知从哪儿蹦出来的家伙。

【参考】1. やら用法1和や用法1大致相同，但也有如下不同。首先やら不仅接于体言后而且广泛接于用言后，主要构成～やら～やら型词团。但“殴るやらけるの乱暴”等例是例外。相反や主要接于体言后（例外固定说法中也接于用言后，“食うや食わずの生活”），构成～や～や型词团。作为例外在固定说法中也有～や～や型，如，これやあれやと迷っている。

其次やら侧重于例示, 因此单纯的并列中不能用やら。例: 彼の失敗は1度や(※やら)2度のことではない。/ 他失败不止是一次两次。

やら 〈副助词〉

【接续】1. 接于体言、副词后。～やら形式仍相当于体言或副词。可后续格助词等。

①秋山やらという人/ 一个名叫什么秋山的人。②誰やら(が)来た。/ 有个人来了。③バスやらでも行ける近い所だ。/ 地方不远, 乘公共汽车什么的就可以去。④何やら蛇らしいものが動いている。/ 有个象蛇似的東西在动着。⑤どうやら完成に漕ぎついた。/ 总算告成了。⑥このどなたやらさっぱり分らない。/ 不知是何方的何许人士。⑦兄は青山やらへ出張しました。/ 哥哥到什么青山的地方出差去了。

2. 接于疑问性词组或句节后。接于用言时用のやら形式。

①どこへやら逃げたらしい。/ 好象逃到什么地方去了。②いつの間にやら外は銀の世界になった。/ 不知什么时候外面已经是银色的世界了。③蔭に隠れていて何しに来たのやら, 知れたものではないわ。/ 躲在暗处, 来干什么呢, 真可疑啊。④今は二人は結婚したと知っているが, どうなっているのやら, 想像を楽しむだけです。/ 听说他们俩已经结婚了, 婚后怎么样, 则只能畅其所想了。⑤彼の言うことは何が何やらさっぱり分らない。/ 根本弄不清他说的都是些什么。⑥何と言って詫びたらいいのやら見当がつかない。/ 真不知道说些什么来道歉才好。

△和格助词重叠的大致情况: 一般代替格助词が、を, 或接于直前。可位于へ、と前或后。如接续1中例⑦和2中例①。又如, ①可说成“秋山とやら言う人”, 但在“秋田とやらに言った”中为避免格助词重叠, 只能位于と后。和に重叠时一般位于其后。如2中例②。

【意义】1. 表示疑问或不定。能用副助词か代替。见以上例。

2. 以～はどこへやらの惯用形式表示彻底消失的状态。可看作～はどこへいってしまったのやらの省略。

①かつての強がりやプライドはどこへやら, 今は二箇の大福餅に心を動かされるのであった。/ 往昔的好胜和自尊心不知哪里去了, 现在被两个豆馅年糕动心了。②かしくまった様子はどこへやらで, 今は羽目



をはずして大いに楽しんでいる。／刚才那拘谨的神态已是过眼云烟，现在正忘形地狂欢着。

3. 以とやらの形式表示“明知而含糊其辞”或不确实的判断。

- ①彼はドイツ語とやらを勉強しているらしい。／他好象学习德语。  
 ②もとは俳優とやらで、流行歌とやらも上手だという。／原来好象是演员，听说也善唱流行歌。

△下例中的とやら是と（引语）和やらの结合。

- ①田中とやらいふ人／叫什么田中的人。

【参考】やらは由文言副助词やらむ（表示不确实的内容）经音便形式やらう，到室町时代形成的。

やら 〈终助词〉

【接续】接于句末的体言、用言连体形、副词后。可后续终助词ね。

【意义】1. 以不知到底会怎样或不安的心情来提出疑问。经后续词语“分からない”的省略而成，接于疑问句后。年轻人一般不用，年长者中女性多用。

- ①誰が来るやら。／不知谁会来？②こんなことで、いったいどうなることやらね。／这情形，真不知会怎么样呢。③一体いつになったら出来るのやら。／到底什么时候才做成啊？④あの人はどうしているのやら。／不知他过得怎么样了。

2. 以とやら形式表示知识性传闻，只见于陈旧的书面语，略同于とき。

- ①噂をすれば影とやら。／说曹操曹操就到。

【参考】实际上，把やら区分成终助词和副助词只有形式上的意义，上几例在句末加上“分からない”等成分，やら就成了副助词。

やる 〈动词〉

五段活用。

1. 实义用法。

1) 作授受动词用。表示上者对于下者（或动植物）的授与关系。对人的相应的礼貌语为あげる。

- ①お菓子をやると子供は泣くのをやめた。／一给糕点，孩子就不哭

了。②毎朝鶏に餌をやるのも一つの楽しみだ。／每天早晨喂鸡，也是一件乐趣。③朝顔に水をやったらみずみずしくなった。／给牵牛花浇水之后，变得水灵灵的了。

## 2) 表示各种“转移性”动作。

①娘を嫁にやる。／把女儿出嫁。②時計が狂いだしたので、今直しにやっておりますよ。／表开始不准了，现在送去修理着呢。③おい、わしのめがねをどこにやった。／喂，把我的眼镜弄哪儿去了。④金子さんは側に立っている中村に目をやっていた。／金子望着站在旁边的中村。⑤彼は苦しみをやる道を知らなくて身もだえしている。／他不知如何排遣痛苦，受着折磨。

## 3) スルの同义词。やる多用于口语。

### (1) 表示一般行为。

①やる（する）だけのことはやった（した）。／能做的都做了。②一生涯いろんな仕事をやって（して）きた。／一生中做了许多种工作。

### (2) 和副词性指示词合成为一个词。

①どうやって（して）こんな調子をはねのけようか。／怎样打开这种局面呢？②そうやって（して）話をしているうちにいつのまにか時間がたっていった。／就这样说着话的工夫，不觉时间过了很久。

△やる和する。以下几种情况やる比する动作性强。应区别使用。

### (3) 在拟态词之后。やる表示动态。

①財布の口がパクパクする。（状态）／钱包的口关不严实。②金魚が口をパクパクやる。（动态）／金鱼把嘴不住地一张一闭。

(4) サ变词干和词尾结合不紧密者，也可用～をやる。如“勉強（研究、洗濯、試合、交際）をやる”。

(5) 意义抽象的动作名词要用～をする，而意义具体的名词也可用～をやる代替。例如“買物（ピンポン、よもやま話、仲人、はしか）をする（やる）。而“生き方（旅、けが、いい顔、栓）をする（※やる）”。

以下的やる有自己独有的用法，不能用する。

①「白雪姫」の小人をやる人が一人足りない。／演《白雪公主》的（七个）矮人的人还缺一个。②会社から30人やられた。／30个人被

公司解雇了。③文学をやっている。／在搞文学。

2. 补助动词用法。参见“てやる”项。

やれ 〈感叹词〉

1. 表示一种突然想到、迷惑不解、突然感到高兴时的感叹。

①やれ，うれしや。／哎，我真高兴。

2. 插入以引用或类似方式总结起来的事项（词、词组、分句）之前，以引起对方的注意的语气表示并列。

①人気馬だから，レースが出ない時でも，やれ調教だ，モデルだと，けっこう忙しい。／因为是有名气的马，所以即使在没有比赛的时候，又是调练啦，当模特儿啦，还是够忙的。②やれ净琉璃の，やれ歌舞伎のと，見たくもないものばかり流行<sup>はや</sup>っている。／不是净琉璃啦，就是歌舞伎啦，流行的尽是些根本不愿意看的玩艺儿。③始めはやれ父思いのせいだの，やれ恋煩いをしているからだの，いろいろ臆測をするものがございます。／起初，有人做各种猜测，什么“想爸爸想的”呀什么“害相思病害的”呀。

# ゆ ュ

## 有属文 ユウゾクブン 包孕句

山田语法术语，属复合句的一种。和桥本语法的“複文”大致相同，但不包括用接续助词连接的连用修饰节，这一部分，山田语法称“合文”。详见“複文”项1。

## 誘導成分 ユウドウセイブン 诱导成分

多位于句首，表示说（写）者对全句内容的评价、感想的成分。多归入连用修饰语，渡边实特别提出来称为诱导成分，北原保雄则认为应称为“叙述修飾成分”，以和陈述副词构成的“陳述修飾成分”相区别，铃木重幸则归入独立语。

在意义和功能上，是对全句内容的预告，以导出叙述内容。

① もちろん僕は彼が好きでない。／不用说，我是不喜欢他的。

形态上（构成见以下）主要位于句首（上例①），也有时位于句中（下例①）。另外，由于诱导成分是对内容的性质的说明，很容易放在句末作谓语（例②）。

①僕はもちろん彼が好きでない。／我当然不喜欢他。②僕が彼が好きでないのはもちろんだ。／我不喜欢他是当然的。

【构成】1. 主要由副词中的诱导副词或评价副词充当。

①はるばる駆け付けたが、あいにく私の好きなのが売り切れてしまった。／好远地赶到，不巧我喜欢的已经卖光了。②ともかくこの仕事は大へんです。／反正这件工作是够人受的。③幸い皆が来て彼を助けてやりました。／幸好大家赶来把他救了。④今の学生は案外不勉強のものが多。／现在的学生，出乎意料不用功的很多。

2. 各种词组。其中～ことに（は）是固定格式。

①うれしいことに，あした父と旅に出ることになっています。／高兴的是，已经定好明天和爸爸出去旅行。②幸いなことに（驚いたことに，残念なことに），一人もいなかった。／幸运的是（吃惊的是、遗憾



的是)，一个人也没有。③残念ながら，その名前を忘れました。／很遗憾，把那名字忘了。④予想した通り，今になっても返してくれない。／不出所料，直到今天也没还给我。

### 3. 少数形容词、形容动词的连用形。

①めずらしく東京に大雪が降った。／很希奇，东京下了大雪。②たしかに君の考えは正しい。／确实，你的想法是对的。③あまり勉強でないのに，よくも九十点取れた。／不怎么用功，却竟然打了九十分。

⇒連用修飾語、独立語、副詞

ゆえ 〈文言接续助詞〉

#### 【接续】1. 接体言后。

①山里のやどやのことゆえ，貝や鐘の音も聞えない。／由于是山村的小客栈，连螺号声和钟声都听不到。②結果だけが問題ゆえ，方法についてはさしあたって論じないことにする。／因关键只是结果，故关于方法暂不论及。

△ものゆえ見该项。

2. 接活用词连体形后。在文言色彩较强的文体中，常以文言属格助詞が为中介，或接文言形式的连体形后。

①私は，その醜いがゆえに哀れみを感じた。／我为其丑陋而感到怜悯。②君たちの行動は，やむなくやったものでないゆえに，真に犯罪的なのだ。／你们的行动非不得已而为，故实属犯罪。③山高きがゆえに貴からず，木あるをもって貴しとす。（谚语）／山不因高贵，而以有树为贵。④社長が，一再ならず注意するゆえ，きっと重大な問題であろう。／经理一再提醒，故想必是重大问题。⑤心持が不安なるゆえ，田舎に一時期住んで見たい。／因心绪不佳，想去下乡暂住一时期。⑥知らぬがゆえに失礼致しました。／因不知而有所冒犯。⑦かかる危機に直面したるゆえ，全員一層一致団結して難関を突破せんことを切望する。／正因面临如此危机之故，切望全体人员更加团结一致，克服难关。

【意义】用于文章，口语中只在极郑重场合偶有使用。接活用词后时等于から，接体言后时等于だから、であるから。有时用ゆえに形式。

①映画は実際にその人物が見える芸術ジャンルゆえに，他ジャンル

より印象が強い。／电影是可以亲眼看见其人物的艺术形式，故比其他形式印象更深刻。

【参考】来自形式名词“故”，原用于汉文训读。现仍有名词用法，如“故あって”（因故），“ローマを愛せること深きがゆえなり／乃爱罗马深切之故也”。

ゆえに（故に）〈接续词〉

文章语，用于逻辑推理，引出结果。等于それゆえに。

①真の犯人はジョゼットでなくオデットであった。ゆえに，オデットは扮装しなければならなかった。／真正的罪犯不是焦杰特而是奥德特。由此可见，奥德特当时不得不进行化装。②角Bは角Cに等しい。故に三角形ABCは二等辺三角形である。／角B等于角C，故三角形ABC是等腰三角形。

## よ ヨ

## よ 〈终助词〉

可发成长音よう，以加强语气。

【接续】因性别而有所不同。

1. 接用言及助动词终止形后。女性除敬语体です、ます外，多中介わ（例⑦）或把体言、副词、形容动词后的だ省去（例⑧～⑩）。

①ゆくよ。／我去。②あぶないよ。／危险啊。③そうだよ。／是那样。④行きますよ。／走啦。⑤好きですよ。／很喜欢啊。⑥ノートだよ。／是笔记啊。⑦ノートだよ。／是笔记啊。⑧ノートよ。／是笔记啊。⑨そうよ。／是的。⑩好きよ。／很喜欢啊。

2. 接命令形后。女性一般接敬语动词命令形后（例③以下）。

①読めよ。／你读吧。②来いよ。／你来吧。③読みなさいよ。／你读一下。④いらっしゃいよ。／您来吧。

3. 其他。

1) 男性专用接续法有：～かよ（方言）、～なよ。

①言うなよ。／别说了。②ほんとうかよ。／是真的？

2) 女性专用接续法有：接～て形式的命令及终助词こと。男童也用。

①誰もいないでよ。／谁也不要在这儿。②よく聞いてよ。／你好好听啊。③もうしないことよ。／不要再做了呀。

△以上界限不是绝对的，男性对儿童讲话等可用女性接续法，但女性用男性的接续法则显得不雅或有方言腔。

△可后续な（あ）（男）、ね（え）（女）、だ等。

①明日だよな。／是明天吧。②あたりまえよねえ。／可不是嘛。③できあがったよだ。／做出来了。

△下例是比较固定的用法：

①蝶よ花よと育てられる。／在宠爱中长大。

【意义】男性使用时用降调，语气逼人，女性使用时用升调，语气柔和。

1. 强调判断、印象、主张、说服、告知等语气。

①お母さん，僕寒いよ。／妈妈，我冷。②お腹が空いたの(だ)よ。／肚子饿了。③これ流行歌(だ)よ。／这是流行歌曲啊。④これがすみれの花なの(だ)よ。／这就是紫花地丁啊。⑤何を言われたって私困るところか大得意(です)よ。／管他怎么说，怕什么，我才得意呢。⑥それは覚悟の上(だ)よ。／这是事先就料定的啊。⑦子供が好きだったのは，確か(だ)よ。／曾很喜欢孩子，这是确实的啊。⑧そうでもないらしい(わ)よ。／也不象是那么回事。

2. 与疑问词搭配，产生责难的语感。

①何よ，そんなに人の顔をじろじろ見て？／干么呀，死盯盯地瞅人。②夜なのに，一人で何処へ行くんだよ。／黑天半夜地，一个人上哪儿去啊。③なぜ，真剣にやらなかったんだよ。／为什么做得不认真？④誰がむちゃを言うのよ。／到底谁在胡说。⑤誰よ，私にだまってこれを見た人は。／是谁啊，背着我看这个的人。

3. 加强命令、禁止的语气。

①強く引くなよ。後ろへ倒れてしまうじゃないか。／别使劲拽呀，不然往后摔倒了。②止めるなんて言わずに，考え直しておくれよ。／别不干不干的，你再想一想吧。③いっそのこと，およしなさいよ。／干脆，别干了吧。④あれごらんよ，ほら。／你看那，嗨！⑤よく覚えてよ。／你可要记住啊。⑥そうおっしゃらないでよ。／您可别那么说。

4. 表示劝诱、商量、期求的语气。

①あなたも行きましょうよ。／你也一起走吧。②日曜日だからよく休もうよ。／星期日就好好休息吧。③本取ってちょうだいよ。／你把书递给我。

5. 表示呼语，带有感叹的语气。只用于文章，属文言残余。

①行け。勇んで。小さき者よ。／去吧！奋然地，幼小者啊。②主よ，助け給え。／主啊，拯救我吧！③もしもし，かめよ，かめさんよ。  
(歌词)／喂喂，乌龟，小乌龟。

よ 〈间投助词〉



【接续】女性直接接于句中句节后。男性中介だ、です，否则显得粗俗或有方言腔。

【意义】用以引起听者的注意或调整语气。

①外にもよ，いい方法がないかしら。／此外么，没有什么好办法了吗？②そうなるとだよ，あと始末というのが大変だよ。／这样一来呀，处理善后可就费劲啦。③それがですよ，皆がねがう所なんですよ。／这正是大家所希望的啊。

△有时可发成长音よう。但在男性，更显得粗俗，有方言腔。

よい（良い・善い・好い） 〈形容词〉

更口语化的说法はいい。但いい只有连体、终止两形，其余各形用よい。接そうだ为よさそうだ。

### 1. 实义形容词用法。

1) 表示各种事物的性质状态、数量等符合人的要求。

①日当りのよい部屋／向阳的房间。②物分りがよい。／明事理。懂事。③なかなかいい値だ。／价钱满不错的（或：真不低）。④気持ちがよい。／心情愉快。⑤あなたがする方がいい。／还是由你去做好。⑥お庭が広くていいわ。／院子大，真好。

2) 表示性质状态、数量等符合条件、约定、习俗或互相一致。常用“动词ていい、名词でいい”句式。

①普通の材料でいいです。／普通材料就可以。②もし，十時に家を出たとなると，もう着いてもいい時間だ。／若是十点从家出来，现在也是该到的时间了。③いかに確信を持つと言っても，口に出していいことと悪いこととがある。／即使怎么有把握，有些事可以说，有些事不能说。

3) 表示动作、状态、性质等可以不受主客观某条件的约束。常用で（て）もいい形式。

①自由なら，どんなに貧乏で（あって）もよい。／只要自由，多么贫穷无所谓。②もういつ死んでもいいのだ。／什么时候死都行了。③これらの本は，家に持ち帰ってもいいですか。／这些书也可以带回家去吗？

## 4) 表示对为应付主客观需要而做的动作的评价。

① どうしていいのか全く分らなかった。／全然不知该怎么做为好。  
 ② 車から降りなくてもいい。／不下车也可以。③ もし相手がこの規約を守らなければ腕力に訴えてもいいぐらいのものだ。／假如对方不遵守这条规矩，甚至动用武力也无妨。④ 偶然のことからこの本を読むことになってよかった。／多亏由于一件偶然事而读了这本书。⑤ 事故になったとのことで，その列車に乗らないでよかった。／听说发生了事故，好在没乘那次车。

5) 表示说者对于客观事实的愿望。常用と（或：ば）よい形式。过去式则表示事后后悔的心情。

① もっとあると良いが。／再多一些该多好。② なにも話さなければよかった。／什么也不说就好了。③ 早くことに気がつけばよかったと思った。／心想早发现这一点该有多好。

## 6) 表示客观条件许可前接词的动作的进行。

① いやなら，やめればいい。／不愿意就拉倒好了。② 完成までには3年ぐらいかかると見てよい。／可以估计到，到完成为止需要3年。

7) 以“连体形+がよい”形式表示对该行为的认可。此外，“过去形+ほうがよい”、“连体形+ほうがよい”表示主张某一动作行为或方式方法更好（见下例④）。

① もっとよく考えるがいい。／还要好好考虑一下。（劝诱）② 好きなら，持っていくがいい。／如果喜欢，可以拿走。（近于命令）③ おまえも，一生なげき悲しんで暮していくがよいのだ。／你这人也该当一辈子在哀叹悲苦中渡过。④ そこよりも，ここに住んだ方がよい。／住在这比住那儿好。

## 2. 接尾词用法。

## 1) 接动词连用形，表示适于作某动作。

① 書きよい万年筆／好使的钢笔。② 住みよい所／适宜居住的地方。

## 2) 接名词后构成形容词，相当于“名词+が+よい”的省略。

① 気持よい。／心情舒畅。② 仲よい友達／亲密的朋友。

よう <推量助动词>

【活用】无变化型。只有终止形よう和连体形よう。

### 1. 终止形。

1) 单独或后续终助词よ、か、に等结句。

①この問題を真剣に考えよう。／认真地考虑这个问题吧。②どうあと始末を付けようか。／该怎么收场呢？③熱いうちに食べようよ。／我们快趁热吃吧。④わたしが居合わせたら，助けてあげられように。／我若是当时在场，是可以帮助的。

2) 后续接续助词から、が、けれども、と（包括格助词）、に等。

①結局先方もきっとそれを認めようから，それまで待とう。／对方也终将承认这一点的，我们等着吧。②神は全能と言え様が，無能と評したって差し支えはない。／神或许说是万能的，然而说是无能也无妨。③外の人にどう思われようと構わない。／不在乎别人怎么看。④逃げようにも逃げられない。／想逃也逃不掉。

3) 后续助动词性惯用词组とする、とおもう、ではないか(じゃないか)等。

①秋の日はつるべ落としと言われるが，日は早くも西の山に没しようとしている。／都说秋天太阳骑在葫芦上，太阳很快要落山了。②そんなに心配なら，ひとつかけをしようじゃありませんか。／你这么担心，我们打个赌好啦。

2. 连体形。构成连体修饰语。通常后续こと、はず、ところ、わけ等形式名词。例②是后续虚化的普通名词的例子。

①彼がそんなに早く来ようはずがない。／他不可能来得那么早。②一年生に直接漢字を活用させよう道理がない。／让一年级学生一下子正确使用汉字，没有这个道理。

【接续】接上一段、下一段、カ变、サ变动词及助动词（さ）せる、しめる、（ら）れる的推量形后。如“用いよう、植えよう、来よう、勉強しよう、～（さ）せよう、～しめよう、～（ら）れよう”。接于变格动词后时，有きよう、しょう等接续法，属非标准用法。

【意义】1. 表示说者的推测、想象、委婉的断定。有文言语气。连体形只有此种用法。终止形在口语中多用するだろう、するでしょう形式（见

“う”項), 较少用しよう形式。

①ほかの人たちにどう思われようと構わない。／不在乎别人会怎么想。②負けようはずがない。／不会输的。③そうしようものなら叱られますよ。／真那么做，你会挨批评的。④よい人にさえ出逢ったら，お父様の身の上も知れよう。佐渡へお母様のお迎えに行くことも出来よう。／只要遇到了好人，就会知道父亲的下落的吧。也能去佐渡接母亲的吧。

△构成惯用形ようと、ようと～まいと、ようと～ようと等。见上例①，详见接续助词“と”項。通常不用するであろう（と）形式代替。

△构成惯用形式ようが、ようが～まいが、ようが～ようが等，和ようと等相当。参见接续助词“が”項。

①成功できようができるまいが，皆は決行するつもりでいる。／不管能否成功，大家决心实行。

△构成惯用形式ようものなら。见上例③，详见接续助词“ものなら”項。通常不能用するだろう（ものなら）代替。

△构成惯用形式“ようとは思わない”。

①あれは僕のちょっと捏造<sup>ねつぞう</sup>した話だ。君がそんなに真面目に信じ様とは思わなかった。／那是我随便编的。没想到你会那么当真。②こうした好機が，今を措いて再び自分に見舞って来ようとは思われぬ。／看来，这么好的机会只这一次，不会再遇到了。

△构成惯用形式ように。详见终助词和接续助词“に”項。可用するだろうに、するでしょうに形式代替。

①もっとよく出来ように。／本来会做得更好的。

2. 接于意志动词后，表示说者或中句主体的意志、决心。常用“ようと思う、ようとする、ようという”等形式，只有终止形有这种用法。

①私は出かけようと思っていますよ。／我想出门去呢。②ほしいなら，あなたにあげよう。／想要就给你吧。③自分のいいわけばかりして，私の勧めを考えに入れようとしなかった。／光替自己辩解，根本不考虑我的劝告。④熱心に教えようという人は一人もいない。／没有一个人打算热心地教。⑤私は自分の芸術の宮殿を築きあげようともがいた。／我曾煞费苦心地要建造自己的艺术殿堂。⑥三杉は，南坊五段に，



ヘロインをやらせようと必死になった。／三杉拼命怂恿南坊五段吸海洛因。

△构成惯用形式ようにも～(られ)ない形式表示想做而做不成的意思。通常，后项是可能动词的否定形式。

①子どもが厄介になって、買物に出かけようにも出かけられない。／有孩子缠身，想出去买东西也出不去。

3. 表示劝诱、提议、间接的命令等。

①皆さん，すぐ起きよう。／诸位快起床吧。②そういうバタくさい言い方はやめようよ。／咱们别说那种洋里洋气的话啦。③それで，ひそかに自転車で尾行しようということになった。／于是，决定用自行车暗中跟踪。④実はこの祭をやめようと提案した人があったんです。／其实曾有人提议取消这种庆祝活动。⑤厚着をしようぞ。／你多穿一点儿！

△通常，劝诱是针对包括说者自己在内的人发出的，这时不出现主语。有时，劝诱只针对对方，或针对对方但同时关联到说者。

△构成ようではないか等形式以加强语义（详见接续）。

①もう寝ようじゃないか。／我们该睡了。②一回散歩しようではないかと彼女を誘ってみた。／邀她一起散一次步。

4. 表示疑问、犹豫不决、反诘等。用ようか、ようではないか等形式。

①寒くなったので，旅行をやめようかと思っていますところです。／天冷了，正在考虑是不是放弃旅游计划。②迷亭先生に遇ったという事を，どんな調子で女房に話して聞かせようかと考えた。／考虑了一下把遇到迷亭先生这件事该怎么样说给老婆听。③誰がそんな遠くまで子どもを行かせられよう。／谁能把孩子弄出那么远去！④忘れられようか，台湾のはらからよ。／怎么能忘记呢？台湾同胞啊！⑤発明といえようか，とにかく大成功であった。／不知该不该叫发明，总之，获得了巨大成功。

5. 以～ようとは形式，构成相当于主题的成分，表示对意外事实的发现或提起。

①半分以上も欠席しようとは，全く話にならない。／竟有半数以上缺席，简直不象话。②あんな人を部長にしようとは，社長は気でも狂っているのではないか。／让那种人当部长，经理是不是疯啦？

6. 以ようとする形式主要接于非意志动词后（其他情况见2），表示即将出现的状态。

①高層ビルが倒れようとするところを写真に取った。／把高层楼房即将倒塌的情景拍了下来。②川が二つに分かれようとするところに長い橋がかかっている。／在接近河道分流的地方，架着一座大桥。③長い夜が明けようとする。／长夜快亮了。

【参考】1. 文言和关西方言中只有う，没有よう。如“見<sup>こ</sup>う、下<sup>せ</sup>げう、来<sup>こ</sup>う、為<sup>せ</sup>う”等。后来，う和前面的元音イ、エ等结合发生音便，产生了よう。因此よう是イウ、エウ等母音连缀音便的结果。

2. 参见“う”项的各参考。

⇒う

よう （様） 〈接尾辞〉

1. 接动词连用形后。

1) 表示动作行为的状态或程度。

①その笑いようが気に入くない。／那种笑态我反感。②見ようによっては、向こうがわざと日をずらしたとも取れる。／从某一观点来看，也可以理解成是对方故意错开日期。③変ったと言えは農村の変りようも著しいものです。／提起变化，农村的变化也非常显著。④これは本当に異常な力の入れようである。／这真是不寻常的努力。

2) 表示动作行为的处置途径，多用ようがない形式表示即使想做也做不到的事。

①だめならだめで、やりようもあると思います。／不行归不行，我想总会有办法的。②このことだけが言いようもなく残念でならない。／只对这件事感到无以言状的遗憾。③複雑な問題だから、ベテランだって手の下しようがないのさ。／因为问题复杂，即使是老手也无从下手啦。④どうも飛んだ心得違いで、恐い事をいたしまして、なんとも申し上げようがございませぬ。／由于我的大错，造成严重的后果，深感惭愧。

2. 接名词后表示物体的形状。

①玩具の小函様の建物／玩具盒似的建筑。

拗音 ヨウオン 拗音

【解释】由腭化子音（拗子音）和母音〔ɑ〕〔u〕〔o〕结合而成的一个音拍，称作拗音。与由非腭化子音和母音结合的直接音相对。有区别词义的作用。如：客／規約、病院／美容院。

关于拗音节的内部结构，有不同的看法。有的人认为拗音是由子音（非腭化子音）和〔jɑ〕〔ju〕〔jo〕结合而成。有的人认为，シャ、シュ、ショ、ジャ、ジュ、ジョ、ヒャ、ヒュ、ヒョ由腭化子音和拗母音〔jɑ〕〔ju〕〔jo〕结合而成。而キャ、キュ、キョ，ミャ、ミユ、ミョ等由非腭化子音和拗母音〔jɑ〕〔ju〕〔jo〕结合而成。其实半母音前的子音都程度不同地发生腭化，在发音部位和音值上都有一些变化，因此，以上两种看法都是不符合实际的。

现代日语中，拗音只有开口拗音一种。上面都是对开口拗音的说明。另外，古代日语和现代日语方言中有合口拗音。合口拗音是唇化子音〔kw〕〔gw〕和〔ɑ〕〔ɪ〕〔e〕〔o〕结合而成的单音节。如，クワンクォウ（観光）、グアイコク（外国）、オンクェイ（恩恵）等，现代共通语中都已直音化，读为カンコウ、ガイコク、オンケイ等。

在字音中，日语中的开口拗音和合口拗音与汉语（尤其是古汉语）的齐齿呼和合口呼、撮口呼有对应关系。这一点对汉字读音的掌握非常有用。如下例中第1组是开口拗音（齐齿呼），第2组是合口拗音（合口呼）。

表妙调条了教，流就求休，病平（ビョウ）、命（ミョウ）、聴、京（キョウ）强。

火快画光荒。

另外，现代日语方言和外来词标记中还有シェパート，ジェット機、デュエット也属于开口拗音。ファ、フィ、フュ、フォ和“ツェツェ蠅”和おとつあん中ツェ、つあ在标记上同拗音，但实际发音并非拗音。

在东京方言中，拗音有直音化现象。如，新宿（シンジク）、手術（シジツ）等。

拗音主要分布在音读词、外来语中，固有词中除拟声拟态词外，很少看到拗音音节。

【标记法】用假名书写时，用小写ゃ、ゅ、ょ或ゃ、ゅ、ょ表示，写于右

下。竖写靠右，横写靠下。

用罗马字书写时用ya、yu、yo表示。

kya、kyu、kyo、sya、syu、syo。在黑本式中シャ、シユ、シヨ，ジャ、ジュ、ジョ，チャ、チュ、チョ分別用sha、shu、sho, ja、ju、jo, cha、chu、cho表示。

**要求表現** ヨウキョウヒョウゲン **要求表达法**

要求对方回答或作出行动上的反应的语言表达，叫做要求表达法。如，疑问是要求对方作出回答，劝诱、请求、命令等要求对方按说者的要求做出某种行为。因此，所谓要求表达法是以上各具体表达法的总称，与叙述、感叹、应答等表达法并列。

**用言** ヨウゲン **用言**

【性质】有活用的独立词类的总称，包括动词、形容词、形容动词。在词类划分上，与体言、副用言相对。

在意义上，用言中的动词主要表示动作、行为、状态；形容词和形容动词主要表示状态、性质。如：話す（动词、行为）、富む（动词、状态）、美しい（形容词、性质或状态）、静かだ（形容动词、状态）。

在功能上、用言可以直接做谓语（下例①），可以做连体修饰语（例②、③），可以做连用修饰语（例④）；可以带有自己的连用修饰语（例⑤、⑥）。

①「<sup>いちごいちえ</sup>一期一会」という言葉がある。／有一句话叫作“百年一遇”。②残る人／留下来的人。③いいこと／好事。④強く反対する。／强烈反对。⑤はっきり言う。／清楚地说。⑥人間だけが言葉を持つ。／只有人类有语言。

形态上，用言的三个词类都有各自的活用。就其终止形（基本形）而言，动词以ウ段音结尾，形容词均为～い形式，形容动词均为～だ形式。

【诸说】1. “用言”一词的由来。17世纪，契冲首次把词分为“体”和“用”两大类。后来铃木朗使用过“用の詞”。东条义门开始称“用言”。

2. 桥本进吉对用言的功能可简单归纳为以下5点：做谓语、有活用、带连用修饰语、用活用表示断续、表示行为动作状态。山田孝雄认为



用言有陈述和叙述双重功能，称之为“陳述語”，与“観念語”（体言）相对而同属于“自用語”。时枝诚记认为用言的本质在于活用。陈述是用言之后的“辞”担负的。

3. 在分类上，吉泽义则、桥本及教学语法采用上述的三分类。金田一京助、时枝取二分法，不设形容词。山田从功能上分为实质用言和形式用言。松下大三郎也从语法意义把用言混在一起来分类。

⇒形式用言、補助用言、活用連語

ようするに （要するに） 〈接续词〉

表示对上文的概括、上文的要点。

①以上のようにその方法としては色々ありうるが、要するに、次の三種類にまとめられる。／如上所述，其方法可以有多种，总起来说，可以概括为以下三种。②要するに，協力するとの答えがあれば条件つきであってもやむをえない。／总之，只要回答说：“可以协助”，即使附带条件也没办法。

ようだ 〈比况助动词〉

【活用】形容词词型。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ようだ	よう	○	ようだっ ようで ように	ようだ	ような	ようなら	○	ようだろ

1. 词干。

1) 单独或后续终助词结句。

①お疲れのようね。／你好象累了。②あの声だろう。猫のようさ。／是这个声音吧？好象是猫。③先生もいらっしゃるようよ。／好象老师也来。④木に餅の生る<sup>な</sup>よう。（谚语）／说得天花乱坠。

2) 后续です。详见“ようです”项。

3) 用于句中，表示愿望、请求等内容。

①お元気になられますようお祈り申し上げます。／谨祝 您 康复。

2. 连用形。

## 1) ようだ。后续た等。

- ①風がなく海は鏡のようだった。／没有风，海面象镜子般平静。  
 ②雲は動物のようだったり，山のようだったり，いろいろ形を変えた。／  
 云彩忽而象只动物，忽而象座山，形状变幻不定。

## 2) ようで。

## (1) 用于中顿，对后项略有修饰性。

- ①朝晩は涼しく秋のようでとても過しやすい。／早晚凉爽象秋天，很好过。

## (2) 后续补助成分ある、ない等，及助词も、は等。

- ①「冥利が悪い」という言い方は衰えているようである。／“不得善果”这一说法好象已经过时了。  
 ②これは私のようではないね。／这好象不是我的呀。  
 ③見せかけは強いようでも，実は弱いのだ。／别看表面上似乎很强，其实很弱。  
 ④こんな簡単なことも分らないようでは，とても大学進学は無理だ。／如果连这么简单的事都不懂，升大学是根本不可能的。

## 3) ように。

## (1) 后续补助性成分。

- ①唇を結んだようにして，皮肉に薄笑いをした。／抿着嘴儿，嘲弄般地淡淡一笑。

## (2) 修饰后续用言。

- ①あの女の子は人形のよう可愛い。／那个女孩儿可爱得象个娃娃。

## (3) 用于句中或句末，表示愿望、请求等内容。

- ①時節柄お体に気を付けますようにお祈り致します。／时逢换季，望您保重身体。  
 ②三人でよく相談しておくように。／希望你们三人认真商量一番。

## 3. 终止形。

## 1) 单独或后续终助词等结句。

- ①まるであばれ馬に乗っているようだ。／处境险恶。  
 ②どこかで君を見たようだ。／好象在哪儿见过你呀。  
 ③今日は気分がすぐれないようだね。／今天好象心情不好啊。  
 ④雨はもうすぐ晴れるようだ。／雨看

来就要停啦。

## 2) 后续部分接续助词。

①今のようだと、豊作にもなるだろう。／照现在的光景，可望丰收吧。②お客さんも来るようだし、今度の日曜はさんざんだ。／还有客人要来，这星期日够我忙的了。

## 4. 连体形。

### 1) 构成体言类的定语。

①いつも苦虫をかみつぶしたような顔をしている。／总是愁眉苦脸。②松島のような所に住みたい。／想在松岛这样的地方居住。

### 2) 后续有体言成分的助词、助动词。

①お金に困っているようなので、少しぐらい貸してやった。／好象手头拮据，就借给了一些。②それでは、自ら好んで失敗したようなものだ。／这就好比是自讨失败一样。

## 5. 假定形。有时后续ば。

①おれの顔がネズミのようなら、きさまの顔はキツネのようだ。／我长的象耗子，那你小子长的就象狐狸。②この機会を無駄にするようなら、これからはまたと見つかりませんよ。／一旦错过这次机会，再没有第二次了。

## 6. 推量形。后续う表示推测。不常用。

①けさの霜は、きっと雪のようだろうよ。／今天早上的霜准会象下雪了一样。

### 【接续】1. 以の中介，接体言类、副词后。

①花びらが雪のように散る。／花瓣儿雪片似的飘落。②参会者は高級サラリーマンばかりのように見られる。／与会者看起来全是高级职员。③誰かが来たかのような気がしてならない。／总觉得有谁来了似的。④もっとものような話だ。／这是似是而非的话。

### 2. 接用言及表示推量、样态以外的助动词连体形后。

①疑うように人の顔を見る。／象怀疑似地看着人。②少女たちは、いずれも<sup>たの</sup>愉快的ように見えた。／少女们个个都显得很愉快。③裏庭が静かなようだ。／好象后院里很静。④先生、どうかお父さんに乱暴しない

ように頼んで下さい。／老师，请您让我爸爸别打我。⑤思い出したようにスーツと立ち上がった。／如梦初醒似的噌地站起身来。⑥雨が降りますようにと神様においのりしました。／向神佛祈雨。⑦日本からでも、取りよせられるようだったら、私も欲しいわ。／若是从日本也能订购，我也想要。

### 3. 接この系列连体词后。

①どのようにしたらいいでしょうか。／怎样做才好呢？②このような本／这样的书。

【意义】1. 表示某一事物的性质与另一事物相似，常用于比喻。常和陈述副词まるで、あたかも、まさに、いかにも、ちょうど、たとえば等呼应。

①暖かくて、あたかも春のようだ。／暖和得象春天一样。②あの人はまるで姉さんのようだ。／她就跟大姐姐似的。③睡眠不足な顔は所々まるで腫れたようになっている。／睡眠不足的脸一处处简直象肿了似的。④雪のように白い肌<sup>はだ</sup>／雪白的皮肤。⑤<sup>ますがたやま</sup>杣形山一帯は緑の炎に包まれて、全然燃え上がるようである。／升形山一带如同被绿色的火焰所吞没，几乎燃烧起来一般。

2. 用于例示。一般举出典型的或极端的例子，说明一般性质。有时可和たとえば呼应。

①僕にはどちらかと言えば、学校の教師のような仕事が向いている。／对我来说比较起来还是学校教师之类的工作合适。②君のような年齢なら、酒の一本ぐらいいは問題なしだろう。／象你这样的年龄，一瓶酒没问题吧。③例えば図に示すように解くこともできます。／也可以用如图所示的方法来解。④私はそんな事を言うような人間じゃない。／我不是个能说出这种话来的人。

△常伴随着轻视（①、②）或自谦（③）或婉曲（④）等语感。

①彼はいかなる場合でも人をみくびるようなことはしない。／他在任何情况下都不做看不起别人的事。②君のような物知らずとは口をききたくもない。／和你这种不懂事的人根本不想说什么。③私のようなものには出来そうもありません。／象我这样的人根本做不来。④もしお前



が死ぬようなことがあったら、誰を宰相にしたらよいだろうか。／你若有个三长两短，该让谁做宰相好呢？

3. 表示无充分根据、理由而做的不确实的判断和推测。常后续おも、みえる等判断性的词语。

①取りなしがなければ仲直りが不可能なようだ。／看来不调解不可能和好了。②仕事の邪魔にならないようなら、隣室を貸してあげようと私は思った。／我当时想，如果不会影响工作的话，就把邻室借给他。③的確な反対語を捜すのは、簡単なようで非常に難しい。／找恰如其分的反义词看似简单实际上非常难。④その笑っているのが僕のことを知っていて笑っているように思える。／那笑的样子令人觉得是知道我的事而笑的。⑤どう考えても嘘をついているようには見えない。／怎么想也不象是撒谎的样子。⑥どこで彼に会ったのかよく覚えていないが、どうも飛行場へ行くバスの中でだったように思う。／记不清是在哪儿见到他的了，很象是在去机场的公共汽车里。

△此用法还构成传闻形式。

①皆の言っている所によると、彼はこの頃生活にだいぶ困っているようだ。／大家都说最近他好象生活很困难。

△此用法可用于语气委婉的确定判断。

①今年の夏は去年よりも暑いような気がします。／我觉得今年夏天比去年还热。②先生に逆うようで悪いが、私なりの意見を申しあげます。／明知冒犯老师不好，我还是要陈述一己之见。③田中さんは以前は毎晩のように酒を飲んでいたようだが、それが結婚してからは、やめてしまった。／田中先生好象以前天天晚上喝酒，可是结婚之后就戒掉了。④君が行くようなら、この荷物を届けてもらおうか。／如果你去的话，我就托你把这件东西捎去吧。⑤そんなに人をからかうようでは、あとでひどい目に会うよ。／你那么戏弄人，当心过后吃苦头。

4. 表示动作行为的目的、努力达到的状态。用よう、ように、ようと形式，前二者基本无区别，后者的と可看作“と思って”之略。

①兄の邪魔にならないように、法夫はイヤホーンを付けてラジオを聞いている。／法夫为了不影响哥哥，在戴着耳机听收音机。②風がよ

く通るように、まどを開けっぱなしにした。／为了通好风，把窗子开着不关。③生徒は、自分の意見を持つよう指導されるべきだ。／应该教育学生具有自己的观点。④明治政府は、先進国に遅れないようにと、その社会制度や、政治制度を取り入れました。／明治政府引进了发达国家的社会和政治制度，以免落于其后。⑤間に合うよう充分用意して下さい。／请做充分的准备，以保证够用。

△由于句式等原因，ように等的后项可用抽象的する代替。

①水を付けずに錐をまわして、ワザと早く折れるようにした。（试比较：～折れるようにまわした。）／故意不蘸水来钻，以便让锥子快点儿折断。②これは、被害が広がらないようにするためですよ。／这样做是为了不使受害范围扩大。

5. 表示命令、托请之类行为的内容。用よう、ように、ようにと形式。

①屋根にできるだけ太い丸太を敷くように言いつけた。／吩咐向房顶上尽可能排满粗的原木。②このことだけは秘密にしておくようにと、そう母は子供に諭した。／母亲嘱咐孩子一定保密这件事。③相手は、三百万円の賠償を出すように要求した。／对方要求付给三百万日元的赔偿。④奈良にうつることを許すようにと大殿様に届け出ました。／向大老爷请求允许搬到奈良。⑤これからも所信を曲げないようお願い申し上げます。／敬请您今后也不违初衷。

△可以用よう、ように结句，直接表示要求托请的内容（下例①）。也可以用という、との形式作为引语（下例②）。因句式等原因，有时后项用する代替（例③）。

①あまり遅くならないようにな。／可不要搞得太晚啊。②それから女の人の電話があり、7時に車を用意するようにとのことでした。／接着是个女人的电话，让你7点钟准备车。③この実験をする時には、温度が変わらないようにして下さい。／做这项实验的时候，请保证温度不变。

6. 表示指代和引用。

1) 表示概括性指代内容。

①以上のような理由をもって……／以上述理由而……②場合によっては次のような考えもないとは限らない。／在某些情况下，下面这

样的想法未必就没有，③そのようなわけがあって、失敗したのです。／是由于有这一情况而失败的。

## 2) 表示引语。

①彼はアメリカにいるように聞いた。／听说他似乎在美国。②自分には何でもできるようなことを言いたてていた。／吹嘘自己无所不会。

## 7. 表示后项内容的依据、出处。

①よく人が言うように、芸術は正に表現である。／正如人们常说的，艺术正是表现。②世論調査で明らかになったように、大多数の国民は改革がほしいです。／如民意测验所显示的，大多数国民希望改革。③今度の選挙戦が示すように、与党と野党との反目は非常に厳しい。／这次竞选之争表明，执政党与在野党的反目非常严重。

## 8. 表示状态的内容。

1) 多用～ようになっている、～ようにしている形式表示结果状态。

①この機械は、事故が起ると自動的に停まるように設計している。／这台机器设计得一有事故就自动停止。②化粧台の鏡は角度を調節できるようになっている。／梳粧台的镜子是可以调整角度的。③種子植物の体の表面は、水が蒸発しにくいようになっている。／种子植物的驱干的表面水分难以蒸发。

2) 以～ようにする形式把一个动作行为状态化。程度比去掉ようにする要轻一些。

①汽車の窓から身を乗り出すようにして友達と手を握り合った。／从火车窗口探出身子来和朋友握手。②ビシヨ濡れの伍長は這うようにして上甲板に上ってきた。／落汤鸡般的伍长几乎是爬着上到上甲板。  
じょうかんばん  
③二人は体を寄せ合うようにしながら、音楽を聞いている。／两个人互相偎依着，听着音乐。④「お父さん、ちょっとすみません。」そう言って、父の手から新聞をもぎ取るようにした。／“爸爸，对不起。”说着，从父亲手中把报纸抢了过来。

3) 用～ようにする形式还可表示使其从一种状态成另一种状态。

①鏡の表面をよく拭いて明るく見えるようにする。／仔细擦拭镜

面，使它更清晰。②新しい規則は，私たちを軽い気持ちで働けるようにした。／新的规定使我们能以轻松的心情来劳动了。

△用～ようになる形式可表示从别种状态变到这种状态。

①太郎も13になって，次郎と喧嘩しないようになりました。／太郎也13岁了，不再和次郎打架了。②だんだん政治に関心をよせるようになった。／逐渐关心起政治来了。③食うに困るようになれば，何時でも流俗に降参するさ。／一到愁吃的程度，随时会向世俗庸人投降的啊。④今は東京の冬もすぎて，梅が咲き椿が咲くようになった。／现在东京冬天已过，已有梅花、山茶花开起花来了。

【参考】1. 来自文言活用词组“様なり”，相当于文言のごとし。后来口语中ごとし退化，由ようだ取代，成为独立助动词。时枝语法认为其不是助动词，而是形式名词よう和助动词だ构成的词组。

2. 不同的接续和活用形，在意念用法上有所侧重，应注意其间的区别。另，ようだ是多义的，可用副词加以区别。

①あの人ままと姉さんのようだ。（比喻）／她就象个大姐姐似的。②あの人はどうやら姉さんのようだ。（不确实的判断）／她看来是姐姐。

3. 名词“様子”也能起ようだ的部分作用。

①突然の警察の訪問は，彼に少なからぬショックを与えた様子である。／警察（署）的突然来访，似乎给了他不小的震动。

**样態の助動詞** ヨウタイノジョウドウシ 样态助动词

【性质】助动词的一种。指构成推测性陈述的助动词。所属词有そうだ、らしい、ようだ、ふうだ。后三者有时单独立为“推定の助動詞”。狭意的样态助动词只有そうだ一词。

样态助动词从客观立场表示对事物的状态、行为、存在的判断，也常用来表示语气委婉的判断。

①この箱には何も入っていないようだね。／这个箱子里好象什么也没有。②何か心配事があるふうだった。／好象有什么心事。③台風が近づいて海が荒れているらしい。／台风临近，好象海上起浪了。④この分ならどうやら成功しそうだ。／如果是这样，有可能成功。



【诸说】桥本语法和教学语法都认为ようだ和そうだ分别是比况助动词和样态助动词。教学语法还把ふうだ也看作是样态助动词。松下语法、山田语法、时枝语法中无样态助动词。时枝语法认为よう是形式名词，そう是体言性接尾词，だ是判断助动词。

ようです（様です） 〈比况助动词〉

【活用】特殊活用型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
ようです	○	ようでし	ようです	(ようです)	○	○	ようでしょ

1. 连用形。后续て、た等。

- ①山奥の紅葉は血が滴たるようでした。／深山里的枫叶红如滴血。  
 ②体重が増えぬようでしたら、それは栄養が不足しているのです。／如果体重不增加，那就是营养不足。  
 ③お忙しいようでして、お助けにまいりました。／您好象很忙，我来帮助您。

2. 终止形。

1) 单独或后续终助词结句。

- ①まるで夢の中にいるようです。／真象在梦境里一样。  
 ②今日は疲れているようです。／今天你好象很累。

2) 后续部分接续助词。

- ①学生運動に少し関係しているようですが、それほど深入りしている様子はありません。／好象和学潮有点儿瓜葛，但没有关系很深的迹象。

3. 连体形。只能后续有体言成分的助词。

- ①夏は南国のようですのに、冬になると、まるで極地です。／夏天就象南国一样，而一到冬天，简直是极地。

4. 推量形。后续う表示推测。不常用。

- ①ここはどうですか。外国のようでしょうか。／这里怎么样？是象外国似的吗？

【接续】同ようだ。

【意义】ようだ的敬语形式。因活用形的限制，用法比ようだ少。

1. 表示二者相似，多用于比喻。

①すっかり疲れて、足が棒になるようです。／累极了，腿已经麻木了。

2. 用于举例或指代。

①その働きは、次のようです。／其作用如下。

3. 表示不确实的判断。

①阿部先生の話を見ると、ASEAN諸国の対日観は芳ばしくないようです。／听阿部先生讲，东盟各国的对日看法好象不太妙啊。

△有时为使语气委婉，用以表示确实的判断。

①失礼ですが、この字が間違ったようです。／对不起，这个字好象错了。

与格 ヨカク 与格

普通语言学术语。格的一种。指这样的格关系：该名词所代表的事物是与其相关联的动词所代表的动作行为所指向的方向。

日语的与格用に和へ表示。但に不能称与格助词，因为に所表示的格关系太复杂了。这一点与主格助词が等有很大不同。

よし（縦し） 〈陈述副词〉

和逆态接续助词呼应，表示和说者意愿相反的假定，带有不满的语气。可用たとえ代替。另有よしや（强意）、よしんば（雅语）。

①よし彼がそう言ってもそれは私の気持ちを代表しない。／即使他那么说了，那也不代表我的想法。②よし次の十日間を私が受け合うにした所で、次の一个月、次の半年は誰が受け合えましょう。／即便是我承担了以后的十天，谁又能负担之后一个月、之后半年呢？③よしそれは彼の本意であるにせよ（或：にしても、にしろ、にしたって、にしても、にした所で），いつ変わるか誰も分らない。／纵然那是他的本意，谁也说不上什么时间变卦。

【よしや、よしんば】①よしや校長か誰か来ようとも私は何もかもかまひやしない。／管他校长来谁来也好，我什么都不在乎管。②縦しん

ば、ちょっとやそっと、何か言ったって、子供じゃありませんか。／就算是鸡毛蒜皮地说了点儿啥，总还是个孩子嘛！

#### 四段活用 ヨダンカツヨウ 四段活用

文言动词的活用类别之一。这是最规则的活用类别，变化规律是：未然、连用、终止、连体、已然、命令形的词尾分别是该词的基本形词尾所在行的ア、イ、ウ、ウ、エ、エ段上的假名。换言之，只需将基本形词尾的元音按a、i、u、u、e、e变化即可。以“書く”为例：kaka(かか)、kaki(かき)、kaku(かく)、kaku(かく)、ka ke(かけ)、ka ke(かけ)。因为词尾是在アイウエ四个段上变化，故名。

“書く”的词尾在カ行上，称为“カ行四段活用”，同理，“済む”是マ行四段动词，以此类推。

四段动词分布在五十音图のカガサタハバマラ这八个行上。活用表如下。

行	基本形	词干	活用形					
			未然	连用	终止	连体	已然	命令
カ行	行く	ゆ	か	き	く	く	け	け
ガ行	漕ぐ	こ	が	ぎ	ぐ	ぐ	げ	げ
サ行	増す	ま	さ	し	す	す	せ	せ
タ行	打つ	う	た	ち	つ	つ	て	て
ハ行	思ふ	おも	は	ひ	ふ	ふ	へ	へ
バ行	飛ぶ	と	ば	び	ぶ	ぶ	べ	べ
マ行	読む	よ	ま	み	む	む	め	め
ラ行	取る	と	ら	り	る	る	れ	れ

【参考】1. 现代日语中四段动词全部转入五段动词。

2. ハ行四段动词转入ワ（ア）行五段动词：思ふ→思う。

3. 参见“五段活用”项的参考6。

よって 〈接续词〉

根据前项所述引出后项结论。一般用于郑重的文书、论文。

①よって私の意見は次の如くなる。／所以，我的意见如下。②よって件<sup>くだん</sup>の如し。／如上所述，特此证明。

よな 〈终助词〉

由终助词よ和な构成。

【接续】同よ的男性接续法。

【意义】只用于男性的不拘束的会话中。

1. 表示强求对方赞同或回答。

①確か，会議は今日だったよな。／会议原定今天，没错儿吧？②電車の方が早いよな。／还是电车快吧。

2. 以对方已接受的口气来催促。

①時間どおりに帰ってこいよな。／一定按时回来呀。②むやみに口出しをするなよな。／可不要乱插嘴呀。

【参考】作为间投助词的用法已陈旧，现一般不用。

よね 〈终助词〉

由终助词よ和ね构成。

【接续】同よ。

【意义】给陈述增添强调或要求对方有同感的语气。

①明日だよね。／是明天，对吧？②本当にうまいですよ。／真好吃啊。

呼び掛け表現 ヨビカケヒ ヨウゲン 呼唤表达法

【性质】指为使对话开始、延续或结束而呼唤对方的表达法。呼唤表达法对对话的开始和结束尤其重要。呼唤表达法不仅能促使对方参与或结束对话，使对话有始有终，还能使语言行为具有一定的段落性和完整性。

适当而准确的呼唤不仅表示出说者参与对话的愿望，也经常是一种礼节。因此要很好掌握，以免失礼。较正规的书信的开头用“拝啓”，末尾用“敬具”之类，都说明了这一点。

呼唤也要根据说者和听者的尊卑亲疏关系采用不同的形式。

【形式】1. 用感叹词表示。有あの、おい、いよう、こら、これ、さあ、



そら、それ、どれ、ね、もしもし、やい、よう、いざや（文言）等。根据对方的性别、年龄、地位等区别使用。

①やあ、今日は。／噢，你好！②もしもし，中村さんですか。／喂，是中村先生吗？③おい，聞こえないのか。／喂，没听见怎么？④あの，何という名前でしたかね。／喂，叫什么名来着？⑤ねえ，花見に出かけませんか。／走吧，出去看樱花好吗？⑥さ，起きなさい。／喂，起来吧。⑦いよう，ご兩人。／嗨，是你们二位（夫妇）。⑧そら，やるよ。／注意！开始啦。

2. 人名后续や、よ、たら、てば等。や、よ带亲切的语气，用于对下。たら和てば带有心情急迫、埋怨的语气，用于对上和对同辈。よ还可用于诗歌呼唤非情体。

①太郎や，ちょっと来なさい。／太郎，你来一下。②風よ，ふけ！ふけ！／风啊，吹吧！吹吧！③お母さんてば，よせばいいのに。／妈！何必呢。

3. 人名后续接尾辞“さん、君、先生”等敬称。さん男女共用，“君”用于男学生、男议员等。

①小坂君，お手紙です。／小坂君，你的信。

4. 寒暄语。分别用于家庭生活或交际的开始、结束之类的场合。

①ただいま。／我回来了。②お帰りなさい。／你回来啦。③さようなら。／再见。

5. 对长辈和上级通常用亲属名、身分名、职务名，如“奥様、おばあさん、先生、課長さん、社長さん、校長（～先生）”。当身分或职务不明时可根据年龄称为“先生、ご主人、だんなさん”等。夫妻之间，妻对夫称“あなた”，夫对妻直呼其名，当面谈话时通常什么也不用。

6. 用第2人称的代词。如：あなた、君、お前、皆様、諸君。

7. 以上各种形式搭配使用。

①ちょっとすみませんが。／打搅您。②もしもし佐藤さん。／喂喂，佐藤君。③ねえ，おじいさん。／我的好爷爷。

よもや 〈陈述副词〉

和否定、否定推量形式呼应，表示不相信后项中的事实会发生或存在。近于まさか。也说よも。

①よもやうそでもないだろう。／恐怕不会是谎话吧？②よもやそんなことはあるまい。／大概不会有那种事吧。③よもや彼がそんなことをし出かそうとは思ひもよらなかった。／万万也没想到他竟能干出这种事来。

より 〈格助词〉

【接续】1. 接体言、体言性词组。

①鉛筆よりペンの方が書きやすい。／和铅笔相比，钢笔更好用。②赤いのより黄色いのが好きです。／和红的相比，我更喜欢黄色的。③女の子または男の子ばかりより男女共学が生徒の心理的発達に有利である。／男女同校比只有女生或只有男生更有利于学生的心理发展。④客観的事実がどうかよりも言い出した本人の視点を重視する。／更为强调本人发表的观点，而不是客观事实如何。

2. 接用言及助动词连用形后。

①もうあきらめるより仕方があるまい。／恐怕除了作罢没有别的办法了。②こんな物でもないよりしました。／即使这样的东西也比没有强。③仕事がなくてひまなよりか忙しい方がよい。／与其没有工作做而闲着，倒是忙一些好。④待たれるよりも待つ身がつらい。／等的人比被等的更难受。⑤私の空想したよりすばらしい所だわ。／这地方比我猜想的还好哪。

3. 接某些连用性成分后。

①僕からよりも、君の方からまず言い出さない。／别由我，还是由你先说吧。②とまっている車の上に飛行機が降ってくるなんて、災難とより言いようがありませんね。／飞机坠落在停着的汽车上，这只能说是灾难啊！③自分で歩いてより，皆に背負われて山頂に辿りついたようなものだ。／与其说自己走，几乎是让人背着到达山顶的。

△后续も、か、は、ほか等构成よりも、よりか、よりは、よりほか等，以加强语气。

【意义】1. 表示相对比较的基准。这是よりの最本质用法。

①彼は兄より背が高い。／他比哥哥个子高。②波の音は、これまで聞いたよりも強く聞えた。／涛声听来比刚才听到的更猛了。③美登利さんより英子さんのほうがはるかに頭がいい。／和美登利相比，英子要聪

明得多。④中国より人口の多い国はもうありません。／再没有比中国人口更多的国家了。⑤東京は京都よりそれほど古くありません。／东京和京都相比不太古老。⑥動力機械の発明で、今は工業も農業も昔よりずっと人手が要らなくなりました。／由于动力机械的发明，今天工业和农业都远不象过去那样依靠人力了。

## 2. 表示经比较舍前项取后项。

①見かけのよいのよりも、使って丈夫なものの方がよい。／和外表好看的比起来，还是用起来结实的更好。②詩より絵をおやりなさい。／不要做诗，还是做画儿吧。③およしなさい，保険なんか。それよりかそのお金で何か買った方がいいわ。／算了吧，保什么险。还不如拿那钱买点儿什么更好。④あれを見ると賭事というものがつくづくイヤになりますね。憎らしいより，何より，怖くなりますね。／一看到那场面我就对赌博反感透了。倒不是觉得可恨或别的什么，而是可怕。

## 3. 表示经排除其他后所限定的内容。常用よりしかない、よりほか

①1時間よりは待てない。／只能等1小时。②これ一つよりありませんが、まことに御生憎様おあいにくさまでございます。(店员语)／只剩这一个了，实在对不起。③そう答えるよりほかなかった。／当时只得如此回答了。④随分上手に作るものですね。まるで本物とより思えません。／做工精细啊，简直和实物一模一样。⑤この本が紛失しては貸出禁止よりほかに手がない。／如果这本书丢失，就只好采取停止借阅的措施了。⑥あなたよりほかに適任者はいない。／除了你再没有胜任的人了。⑦人に聞くより仕方がない。／只好去问别人。⑧使えるものは一つよりしか持っていません。／能用的现在只有一个。

△よりほか中的ほか（に）有独立副词的性质，偶尔也和肯定形式搭配。

①代助は平岡が語ったよりほかに、まだ何かあるに違いないと鑑かん定じようした。／代助估计，除了平冈已讲出的以外，一定还有什么别的事。

## 4. 表示时空等范围的界限、起点。可用から代替。后续有程度性的名词，～より作其连体修饰语。比から稍有文章语或文言色彩。

①今より三百年もの昔／距今三百年前。②胸より上がひどくやけどした。／胸部以上严重烧伤。③ここより西50メートル，露店の商売を禁ずる。／由此以西50米禁止摊床营业。④身長は1メートルより以下は不合格である。／身長1米以下为不合格。⑤この花は関西より北は咲かない。／这种花在关西地区以北没有。

5. 表示前后两个动作在瞬间相继而起。在文言可直接用より，口语体则只能用～よりはやく形式，所以より本身的意义实际上归入用法1。

①私が何というよりも早く，遮って向こうがことわりを口にした。／我刚要说什么，他抢先拦阻表示拒绝。

6. 作为文言残余，还表示方法、手段。等于で。

①徒<sup>から</sup>より行<sup>い</sup>く。／徒步而行。

7. からの各种意义的文章体表示法。口语很少用。

1) 表示各种起点、出发点。

①会議は来月3日より開催の予定である。／会议预定下月3日起举行。②父親，2年前より東京より転勤。(记录内容)／父，2年前由东京调转。③千里の行も一歩より始まる。(谚语)／千里之行始于足下。④東京より一路大阪，京都などの大都市を訪問した。／由东京开始一路访问了大阪、京都等大城市。

2) 表示经由、通过的地点。

①天井より一線の陽光が射し込んでくるような気がした。／觉得似乎从天花板上射进一线阳光。

3) 表示原因、理由、根据。

①病気の悩みより遂に浅<sup>あさはか</sup>墓な考えを持つに至った。／由于疾病的烦恼终于导致产生了轻生的念头。

4) 表示构成要素或原材料。

①この委員会は各地区の代表より構成される。／本委员会由各地区的代表组成。

8. 以1的意义作副词用，是英语等的比较级的直译造成的用法。文章语。

①より現状に合った報告書／更符合现状的报告。②より深く考えて



見る。／更深入地考虑一下。③より正しい芸術観を持っているものが、必ずしもよりよい作品を書くとは限っていない。／未必艺术观更正确的人一定能写出更好的作品。(有欧文翻译调)

#### 9. 还可作副词的词素。

①英語はもとよりドイツ語もフランス語も知っている。／英语不在话下，还懂德语和法语。②何よりの品ありがとうございました。／送我最称心的东西，多谢您。

#### よりか 〈格助词〉

由格助词より和副助词か构成。是よりの强调形式，口语中还有よか、よりかも等形式，用法相同。

【意义】表示“经比较认为后项更适宜”，即よりの用法2。

①どうせ退屈しのぎなら、碁よりか釣のほうが気がきいている。／左右是解闷儿，比起围棋，还是钓鱼高雅。②あんな振舞は、親切というよりか、むしろ差し出がましい行いというべきである。／那种举动哪里是热情，倒应该说是多管闲事。③映画を見るんだって？それよりか小説でも読んだ方がいいな。／看电影？还是看小说好吧。

#### よろしい（宜しい） 〈形容词〉

##### 1. よいの郑重说法。

①では、お前たち帰ってよろしい。／那么，你们可以回去了。②これでよろしければ、どうぞお使いください。／这个如果行的话，就请用吧。③間に合って、本当に宜しかったですね。／赶上了，真太好了。

△よろしい和よい よろしい只用于与对方有关的事项（如许可、肯定评价等），若与对方无关则只能用よい。如：“よい大学に受かった（→※よろしい大学～）／考上了一所好大学。”“あの大学に入れるといい（※よろしい）なあ。／若能进那所大学该多好啊。”

##### 2. 作感叹词用。表示应诺、决心等。比“よし”郑重。

①よろしい，私も試してみよう。／好，我也试试看。②よろしい，いやなら，好きなようにしたまえ。／好，不愿意，可以随你的便。

# ら      ら

## ら 〈接尾辞〉

作复数词尾。

1. 接第3人称代词后，表示单纯的复数。用于人称代词时，与たち相同，但习惯上更多用ら。

彼ら、彼女ら、子供ら、これら。

△こちら、そこら表示大体的地点、时间、数量范围。

2. 接带有卑视语气的代词后，表示复数，同时加强轻视的语气。

貴様ら、あんたら、お前ら、てめえら、奴ら、あいつら。

3. 接第1人称代词后，表示复数，带谦让的语气。同ども。

僕ら、われら、わしら。

4. 接于人名后表示以该人为中心的复数，用于对下或作为论文等中的一般用法。

山田ら、美智子ら、花ちゃんら。

## 裸格 ラカク 裸格

格的一种。指名词的基本形所代表的格。印欧语不发生任何变格，日语则不添加任何助词。普通语言学上又称直格，松下的一般格也与此相当。裸格只能从形态上确认，这和主格等不同。日语的裸格在文言中普遍应用，主语和宾格等主要的格关系也用裸格形式表示。现代日语中裸格所表示的格关系也较复杂，主要用于以下几种情况。

1. 表示提示。

①民主主義，それは現代政治の本流になっている。／民主主义，这已成为现代政治的主流。②人間，なによりも自尊心が大事である。／人，自尊心比什么都重要。

2. 省略助词造成的。常用于口语。

①僕，英語出来ない。／我不会英语。②手紙書いて出した。／信写完邮走了。③僕知らない。／我不知道。④あなた，何を考えているんか

い。／你想啥呢？

3. 表示时间空间的数量、次数等。作连用修饰语。

- ①卒業生は大多数学士論文を提出した。／毕业生大部分提出了学士论文。  
 ②裏庭に桜の木を5本植えてある。／在后院里种了五棵樱花树。  
 ③高層ビルが1度（ほど）傾いている。／高层建筑倾斜了一度（左右）。  
 ④毎日1時間ずつ5キロ走る。／每天1小时跑5公里。

4. 表示相对时间的时间名词作状语时也用裸格表示。详见“時間名詞”项。

- ①去年，大地震が10回もあった。／去年大地震发生了10次之多。  
 ②はすの花は朝ひらきます。／莲花早晨开。

5. 表示断定、肯定，可看作だ、です等的省略。这是诗歌及公文体文章的常用形式，会话中也用。

- ①明治3年，京都の生まれ。／明治3年生于京都。  
 ②それは初のない夢の始め，それは終のない恋の終り，それは云い様もない夕の一時。  
 ／那是没有初始的梦境的开始，那是没有终结的恋爱的结束，那是无以形容的一段黄昏时光。  
 ③一人に3枚，というわけ。／就是说一个人3张。

6. 用于文学作品中的情景描写。此时补充任何成分都不如裸格有感染力。这种用法有时有感叹、咏叹的情调。

- ①銃声，女と子供の泣き声。／枪声，女人和孩子的哭声。  
 ②帯のような小川，はてしのない野原。／衣带般的小河，无边无际的原野。  
 ③風、雨、寒さ。／风、雨、寒冷。  
 ④何も分らない太郎。／蒙在鼓里的太郎。

7. 并列也可用裸格表示。表示并列的接续词前的名词也是裸格。

- ①「朝日新聞」、「読売新聞」、「毎日新聞」は日本の三大紙に数えられる。／《朝日新闻》、《读卖新闻》、《每日新闻》是日本的三大报纸。  
 ②答案はペンまたは万年筆で書いて下さい。／答案请用蘸水钢笔或自来水钢笔书写。

8. 形式化了的的名词如“結果、とたん、挙句”之类，用裸格表示接续关系或起副词作用。

- ①いろいろと考えた挙句，文学者になろうと決心した。／经过多方考虑，最后下决心当文学家。  
 ②行ってみたところ，大した被害はなかつ

た。／去看了，结果没（发现）有多大损失。③失敗したら最後，出世の機会を永遠に失ってしまう。／一旦失敗，那就永远失去出人头地的机会了。

9. 以裸格形式构成某种句子成分的同位性修饰语。

①われわれ人間の力には限度がある。／我们人类的力量是有限度的。②総理大臣鈴木善幸が中国を訪問する。／首相鈴木善幸将访问中国。③当せん者五人に金メダルを授与した。／为中选者五人授与了金质奖章。

10. 构成紧缩性词组。如，例②是由“朝の5時”，例③是由“母とそっくり”紧缩而成的。

①今度の試験は60点ぎりぎりで合格した。／这次考试以刚够60分的成绩通过了。②出発は朝5時かっきりである。／出发（时间）是早晨5点整。③彼女は母そっくりの顔をしている。／她长得和母亲一模一样。④トンビが空高く飛んでいる。／老鹰在空中高高地飞翔。

ラ行変格活用 ラギョウヘンカクカツヨウ ラ行変格活用、ラ変

文言动词的活用类别之一。只有“有<sup>はべ</sup>り、居り、待り、いまそがり（いますがり）、みまそがり五个词。活用规律是：终止形是～り，其余活用形与四段ラ行动词完全相同。以“あり”为例见下表：

基本形	词干	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
有り	あ	あら	あり	あり	ある	あれ	あれ

ラ变的五个词中，现代日语仍用的有あり、おり（ある、おる）两个，已转入五段活用。

汤泽幸吉郎用“ラ行変格活用”来指称口语“下さる”等的活用类别，而这些词的活用通常称作“五段特别活用”，见另项。

あり作为文言残余的用法现在也常用，按活用形举例如下。

1. 未然形。后续む、ば、ず（ざる）等。

①穴あらば入りたし（谚语）。／无地自容。



2. 连用形。单独表示中顿或后续し、けり、て等。

①ありし日／往日。生前的日子。②不死不朽，彼と与<sup>とも</sup>にあり，衰老病死，我<sup>とも</sup>と与にあり。／不死不朽，与彼同在，衰老病死，与我同在。

3. 终止形。直接或后续终助词结句。

①余茶<sup>あまり</sup>に福あり。／剩茶有福根儿。②レーガン外交政策ありや。／里根外交政策安在乎？

4. 连体形。主要用于修饰体言类。

①限りある命／有限的生命。

5. 已然形。后续接续助词ば、ど、ども。

①別に故あれど，あの悪意をば許さんとせず。／纵另有别故，其恶意执意不容。

6. 命令形。主要表示愿望。

①前途に幸あれ。／祝你前途远大。

らしい 〈助动词或接尾辞〉

【活用】形容词型。

基本形	词干	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
らしい	らし	○	らしく らしかつ	らしい	らしい	(らしけれ)	○	○

1. 词干。形容词词尾用法可后续さ构成名词。

①学生らしさが無い。／没有学生样儿。

2. 连用形。

1) らしく。

(1) 用于中顿或有修饰性。口语中常用らしくて、らしくって形式。

①相手が電話口に出たらしく，交換手が「ちょっと」と言った。／好象对方已来接电话了，话务员讲了声“等一下”。②何か置き忘れたらしくて，急いで戻ってきた。／他好象是落下了什么东西，急忙返回来了。

(2) 后续补助用言。后续ござる、ぞんじる要音便为らしゅう, 但否定形除外。

①ちっとも外国人らしくないね。／一点儿也看不出是外国人啊。②あの方も今春帰国なさるらしゅうございます。／他也好象今春要回国。

(3) 修饰后续用言。

①お嬢さんらしく振舞っているけど、あの方、奥様よ。／别看举止象个小姐，那是一位太太。

2) らしかっ。后续た、たり等。

①風が出ているらしかった。／那时好象起了风。②顔がほてったり、熱があるらしかったりするので、体温をはかってみた。／好象脸发烫，身上发烧，就量了一下体温。

3. 終止形。

1) 单独或后续终助词等结句。

①そういう所はいかにも苦<sup>く</sup>勞<sup>ろう</sup>人らしい。／这一点很象饱经风霜的人。②次郎が帰ってきたらしいね。／好象次郎回来了。

2) 后续接续助词。

①あの方が土地の人らしいから聞いてみなさい。／那位好象是当地人，去问一下吧。②仕事ぶりはベテランらしいが、実は新<sup>あらた</sup>手です。／工作情况象个老手，实际上是个新手。

4. 连体形。

1) 修饰后续体言。

①死んだ人の声も聞えるらしいことを言っている。／说是好象听到了死人的声音。②被害者は待ち伏せていたらしい犯人にねらい打ちされた。／受害人遭到了似乎预先埋伏着的罪犯的射击。

2) 后续有体言成分的助词、助动词。

①その格好はどうみてもこじきらしいのだった。／那模样真象是要饭的。②内緒話をしようとするらしいので、ほかの人は外へ出ていった。／好象要说什么秘密的话，别的人就都出去了。

5. 假定形。一般不用。有时可用～らしかったら、～らしいなら等。

①あの男が犯人らしいなら（或：らしかったら），なぜ尾行しな

かったのか。／如果那人象是罪犯，为什么没有跟踪？

【接续】 1. 接动词、形容词及同型助动词、助动词た的终止形后。

①この薬はにがいらしい。／这药好象很苦。②今年も風邪が流行するらしい。／好象今年感冒又有流行。③おじいさんは昔軍人だったらしい。／爷爷好象过去是军人。④あした札幌へ立たれるらしくて、大変な忙しさでございました。／好象明天要动身到札幌，忙得不可开交。⑤人間は偶然を否定することはできないらしい。／看来人是无法否定偶然因素的。

2. 接体言、体言性词组、形容动词词干后。文章语中间可插入である，但表示形容的用法即接尾辞用法，如例⑤、⑥除外。

①彼が戦前の在郷軍人だったことは確か（である）らしい。／他曾是战前的预备役军人，这看来是确实的。②左のが姉さん（である）らしい。／好象左边的是姐姐。③このノートは高田君の（である）らしい。／这个笔记本好象是高田同学的。④彼が発奮したのはそれから（である）らしい。／他发奋好象就是从那时开始的。⑤それは本当らしい嘘だ。／那是个煞有介事的谎言。⑥僕は一度も僕の母に，母らしい親しみを感じたことはない。／我连一次也没有从我母亲身上感受过母亲应有的亲热。

【意义】 1. 表示有客观根据或理由的推测性判断。句中常出现表示客观根据的内容如例②、④。

①志賀さんの叔母さんらしい婦人が，先生を待っています。／一位好象是志贺先生的婶母的妇女正在等着您。②非常に忙しくなったらしく，近頃は帰りがかなり遅くなりました。／好象近来特别忙，回来得相当晚。③教養の高い家庭の育ちらしいお嬢さんという感じを与える。／给人的印象是一位出身于书香门第的小姐。④字の書き方を見るとこの手紙は母さんが書いたらしい。／看字迹，这信象是妈妈写的。⑤お世辞は旨いが，品を見るとそうらしくもないね。／待客恭维，一看货并不怎么样。⑥けさから頭が痛い，どうやら風邪をひいたらしい。／从今早起就头疼，别是得了感冒？

2. 表示根据传闻、推测所作的口气婉转的确定性判断。句中常出现表示委婉语气的どうやら、なんでも、どうも等。

①渡米したばかりの山科教授から手紙が来たらしい。／好象是刚赴美  
美的山科教授来信了。②何でもそこに駐車場があるらしい。／据说那里  
就有车站。③今はまだ若いから、好奇心も人一倍盛んらしい。／现在还  
年轻，好象好奇心也比别人旺盛多了。④病院のすぐ隣りが公園らしいか  
ら、散歩などには好都合だろう。／说是紧邻着医院就是公园儿，散散步  
会很方便的。

△此用法还可作独立形容词。

①「空に白いものが動いているらしいね」「らしいね」／“好象  
天上有个白东西在移动。”“好象是。”②「その記憶には間違いないのか  
な」「らしいな」／“他不会记错的吧?”“不会的。”

### 3. 作接尾辞用。

1) 接名词后，表示具有这一事物的应有的、固有的特征。

①彼女は音大の首席卒業生らしい，みごとな出来だった。／她成  
绩突出，不愧为音乐大学的拔尖儿毕业生。②仕事に失敗しても落胆しな  
い。このへんが彼の彼らしい所だ。／工作上失败了也不气馁。这正是他  
的独到之处。

△常用同词反复形式～らしい～。

①彼の部屋には，屏風と双幅との外に，装飾らしい装飾は一つも  
ない。／他的房间里除了屏风和对联儿外，没有一件象样的装饰。

2) 接于副词、形容动词词干后，表示给人这种印象、感觉。这种用  
法较少见。

①わざとらしく笑って見せた。／故做姿态地笑了笑。②人を見て，  
おしどりは不安らしい様子をした。／看到人，鸳鸯表现出不安的样子。

△“わざとらしい，汚ならしい，憎らしい，めずらしい，すばらし  
い，あいらしい，阿呆らしい”等已成为不能分割的独立词。

【参考】1. らしい的词性鉴别。助动词和接尾辞的区别。

1) 助动词表示不确实的判断，接尾辞表示确实的属性，属形容词。

2) 助动词前是名词、形容动词时可插入である，而接尾辞不能。前  
者如“日本人（である）らしい。／好象日本人”，后者如“日本人らし  
い／有日本人样子”。



3) 助动词和陈述副词呼应, 接尾辞受程度副词修饰 (例②)。

①どうもあのネクタイをした人は日本人らしい。／那个系领带的人很象是日本人。②あの人のあいさつはいかにも日本人らしい。／看他寒喧是地道的日本人。

4) 助动词接动词后, 否定用～ないらしい, 而接尾词接名词等, 否定用～らしくない。

①雨が降らないらしい。(※～降るらしくない)／好象不下雨。②学生らしくない。／没有学生的样子。(不同于“学生でないらしい。／好象不是学生。)

5) 另外, 接尾词和前接词在重音上成为一个整体, 助动词有自己的重音。

2. 助动词た的接续位置和意义的区别。

①田中さんは何も知らなかったらしい。／(我现在)看来田中(当时)什么也不了解。②田中さんは何も知らないらしかった。／(我当时)看来田中(当时)什么也不了解。③田中さんは何も知らなかったらしかった。(一般说～知らなかったようだった。)/ (我当时)看来田中(那以前)什么也不了解。

らる 〈文语助动词〉

【活用】下二段活用。

基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
らる	られ	られ	らる	らるる	らるれ	られよ

现代文章中已然形基本不出现, 未然形、连用形、命令形, 与现代日语无区别。仅举与现代日语有区别的终止形、连体形例如下:

①大は小に養われ小は大に制せらる。(谚语)／大的养小的, 小的却受大的控制。②誉めらるる身の持ちにくさ。(谚语)／有名声的人行为不自由。

【接续】接于上一、二段、下一、二段及サ变、カ变动词未然形后。

【意义】1. 表示被动（如上例）。其他可能、自发、尊敬等义。一般不出现于现代文章中。

2. 构成现代日语的中相动词。如：“つとまる”是由“つとむ”经“つとめらる”约音而成的。

又如もうかる、うかる、授かる、教わる、助かる等。

られる 〈助动词〉

【活用】下一段动词型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
られる	られ	られ	られる	られる	られれ	られろ られよ	られ

1. 未然形。后续否定助动词ない、ぬ（ん）、ず、まい。

①奨学金は成績が優れた者に与えられなければならない。（被动）／奖学金应该给予成绩优秀者。②背に腹はかえられぬ。（可能）（谚语）／不能因小失大。③今晚のパーティには社長は来られまい。（尊敬或可能）／今天的晚会经理不会来。④決してナンセンスのようには見受けられまい。（自发）／绝不会让人觉得无聊。

2. 连用形。

1) 用于中顿。

①皆に見くびられ、見すてられてしまった。（被动）／为众人所蔑视、所厌弃。

2) 后续助动词た、たい、ます、そうだ（样态）等。

①今年の夏には去年より早くスイカが食べられた。（可能）／今年夏天早于去年吃上了西瓜。②個人の事は誰も調べられたくないだろう。（被动）／谁也不愿意被人调查自己的私事吧？③先が案じられそうな子供だ。（自发）／是个前途令人担忧的孩子。④こちらは山田さんです。今年転校して来られました。（尊敬）／这位是山田同学，是今年转学来的。

3) 后续接续助词て、たり、ても、ながら等。

①巡査が来られて助けて下さった。（尊敬）／警察到来，把我

(他) 救了。②時間通りに起きられたり起きられなかつたりする。(可能) / 有时能按时起床, 有时又不能。③逃げられても逃すまいぞ。(被动) / 即使你跑, 我也不会让你跑掉! ④春の気配が感じられながら, なかなか暖くならない。(自发) / 感觉到春天的气息, 却总也暖和不起来。

### 3. 终止形。

#### 1) 单独或后续终助词结句。

①日本ではどこへ行っても神社というものが見られる。(可能) / 在日本, 走到哪里都能见到神社。②本当の事だが, 皆に信じられるかどうか心配です。(被动) / 事情是真的, 只怕大家不信。

#### 2) 后续助动词そうだ(传闻)、らしい、だろう等。

①生物を分類するとき, どんな目じるしが考えられるだろうか。(可能) / 给生物分类时, 有哪些基准可以考虑呢? ②お父さんが外国旅行に出かけられるそうですね。(尊敬) / 听说你父亲要去外国旅游? ③雪に封じこめられるらしいので, くりあげて引き上げました。(被动) / 我们可能被大雪困住, 所以提前返回来了。

#### 3) 后续接续助词と、から、し、が、けれども等。

①明日なら来られるが, 今日だめだ。(可能) / 若是明天还能来, 今天不行。②こっちのねらいが向こうに当てられると大変です。(被动) / 若让对方猜到我们的意图就不得了了。

### 4. 连体形。

#### 1) 构成连体修饰语。后续体言。

①暖められる空気は上昇するものである。(被动) / 被加热的空气上升。②煙草は一旦, くせになったら, 容易にやめられるものではない。(可能) / 抽烟一旦上了瘾就不容易戒掉了。

2) 后续有体言成分的助词ので、のに、だけ、ばかり、ほど、助动词のだ、ようだ等。

①外見は立派に見られるのに, 長持ちができない。(自发) / 外观看起来漂亮, 却不耐用。②子供は何でも食べられるようになった。(可能) / 孩子已经什么都能吃了。③頑張りさえすれば, 才能はきっと皆に認められるのだ。(被动) / 只要下功夫, 一定会得到大家的承认。④

奥さんが迎えに来られることは知っておりました。(尊敬) / 夫人来接我，这我知道。

#### 5. 假定形。后续ば。

①この城は、この方面から攻められれば、一たまりもない。(被动) / 这座城堡若从这个方向受到攻击，是不堪一击的。②あの先生は物理も教えられれば、化学も教えられます。(尊敬或可能) / 那个老师既(能)教物理，又(能)教化学。

#### 6. 命令形。

①人に誉められろ。 / 你讨人喜欢点儿!

△通常只有“被动”意义才有命令形。“尊敬”意义上很难有命令形。作为自发、可能助动词的られる无命令形。

#### 7. 推量形。后续よう。通常只表示推测。

①へマをやらかしては、大事な仕事もやめさせられよう。(被动) / 要是搞了个错误，这美差事也会丢掉的。②その理由としては次のものが上げられよう。(可能) / 作为其理由，我想，可举出以下几点。③「あお」というと、一般の人はどういう色に感じられようか。(自发) / 提到“青”，一般人的感觉是什么颜色呢？④ご自分で考えられようと存じます。(尊敬) / 我想他会自己去思考。

△上述例①～④均可用“～するだろう”形式代替并更近于口语、

【接续】和另一助动词れる是互补关系。接一段动词、助动词(さ)せる和しめる、カ变动词的未然形。例：起きられる、考えられる、失敗させられる、分らしめられる、来られる。

△サ变动词接未然形せ後，如“迷惑せられる”，现在除文言体外一律音便为～される(serareu→sareru)，所以通常把さ作为サ变动词的未然形之一，把れる看作助动词。但是，ずる型サ变动词不音便(案ぜられる)，同时大部分可按下一段活用来接续(案じられる)；大部分词干为一个汉字的する型サ变动词也不音便(罰せられる)；词干为两个音节以下的固有词时不音便(ものせられる)。

△下列是五段动词未然形词尾ら和助动词れる的组合，而非られる、取られる、送られる、怒られる、探られる、売られる。



【意义】 1. 被动助动词。

1) 直接被动态（直接対象の受動態）。以相应的主动句（如例①：巡查は泥棒をつかまえた）的宾语作主语。被动句和主动句相比，有陈述角度的不同，如例①陈述“泥棒”如何如何，而相应的主动句陈述“巡查”如何。有时因为文脉等的需要而用。

①泥棒は巡查につかまえられた。／小偷被警察捉住了。②太郎は先生に誉められたり，叱られたりします。／太郎有时受到老师表扬，有时挨老师批评。③今度の訪問団は吉田先生に率いられます。／这次访问团将由吉田先生率领。

△此用法根据场合，可同时表示第三者受损或受益的语气。如，例②当父母来看是既受益又受损的事情。

2) 间接被动态（間接対象の受動態）。以相应的主动句的宾语的连体语～の或宾语以外的连用语～に、～と、～から为主语。前者称“所有<sup>あいかた</sup>の受動態”，或者称“相方<sup>あいかた</sup>の受動態”。

①太郎は先生に作文を誉められた。（←太郎の作文）／太郎被老师表扬的作文。②二人の子供が話を三郎に立聞<sup>たちぎき</sup>せられて，其晩恐しい夢を見た。（←子供の話）／两个孩子被三郎偷听了谈话之后，当晚做了恶梦。③犯人は刑事に物証を見せられた。（←犯人に）／罪犯被刑警出示了物证。④今年ノーベル賞を授けられた学者は10人にのぼる。（←学者に）／今年被授予诺贝尔奖金的学者多达10名。⑤外国人が警察にカメラのフィルムをとりあげられた。（←外国人から）／外国人被警察没收了胶卷。

3) 非情物的被动态（非情の受動態）。表示无情物受某种作用的结果或状态。从结构上看属直接被动态。但在句中一般不出现动作主体即补语。最初只用于西文翻译体文章，现已普遍使用。

①図書館には，たくさんの書籍が並べられている。／图书馆里摆放着许许多多的书籍。②植樹は毎年やり続けられなくてはならない。／植树必须每年坚持搞下去。③歴史上の人物についての伝説が多く言い伝えられている。／流传着许多有关历史人物的传说。

4) 第三者的被动态（第三者の受動態）。以主动句以外的第三者人

物作被动句的主语。多接于自动词后。因常有受损的含义，所以今泉忠义、宫地幸一命名为“迷惑の受け身”。

①今朝はまだ暗いうちに，子供に起きられたもので，眠くて仕様が  
ない。／今天早上天没亮孩子就起床了，搞得我现在很困。②ペニシリ  
ンのおかげで，女房に寝られずにすんだ。／由于青霉素的功效，幸好老  
婆没给我病倒。③寝ようとする人に来られてしまった。／刚要就寝，  
不巧来了人。④私はとなりの息子に一晩中レコードをかけられた。／我  
被邻居家的儿子放唱片搅了一整夜。

## 2. 可能助动词。

1) 表示能力，即是否具有完成某个动作、行为的能力、技能。

①近頃は体が弱くなって，リュックサックさえ持ち上げられませ  
ん。／最近身体虚弱了，连背囊也拿不起来。②車掌さんはすべての駅名  
が覚えられます。／乘务员能记住所有的站名。③男でも堪えられない苦し  
みだ。／是男人也忍受不了的痛苦。④この映画館は千人も入れられる。  
／这家电影院能容纳一千人。

2) 表示各种可能性，即条件是否允许（例①、②）、制度是否许可  
（例③、④）、性质上是否可能（例⑤、⑥）、道理上是否应该（例⑦、  
⑧）之类。

①昼休みが短くても30分ぐらひは寝られる。／午休虽短，也能睡上  
30分钟左右。②毎日忙しくて外にも出られない有様だ。／每天都忙到无  
法外出的程度。③この工場では，従業員は自由に社長との面会が求め  
られる。／在这个厂，允许职员随时请求与经理见面。④作業着は作業時  
間以外には着られないことになっています。／规定工作服在工作时间以  
外不得穿用。⑤長くても特徴のある単語は容易に覚えられます。／长但  
有特点的单词就很容易记。⑥綿密な処置を取っているとはいえ，ちょ  
っとした手落ちは避けられないだろう。／虽说采取了周密的措施，但是  
小小的失误总是难免的吧。⑦女の子だから，軽い家事なら任せられま  
す。／因为是女孩子，可以让做一点儿简单的家务事。⑧お父さんの書斎  
にそんなものは持ち入れられませんよ。／你可不能把那种东西拿进爸爸  
的书房啊。

3) 肯定形式的过去式还能表示预期的目标得以完成(例①)、实现。

①先生の教えた通りにしたら、果してたやすく覚えられた。／按照老师告诉的方式一做，果真没费力气就记住了。②いろいろの所を見物した外に総理大臣に会って平生思っていた意見も述べられた。／除参观了许多地方外，还(有机会)和首相见面并陈述了平时的想法。

### 3. 自发助动词。

表示不依靠主体的能力意志而由于客观原因自然而然地产生的自发的心理状态，或与感官有关联的状态。后续表示心理、感官作用的词。

①写真を見ると、昔のことが想起せられた(=された)。／一看照片，便回想起往事来。②母の病気が案じられてならない様子である。／看样子对母亲的病非常担心。③あの日のことも、いつの間にか忘れられてしまうでしょう。／那天的事早晚有一天会忘掉的吧？④彼は急に自分の子供らしい自尊心が恥ずかしく感ぜられた。／他突然对自己的孩童般的自尊心感到一阵羞愧。

△报纸、广播尤其常用，以强调其客观性，冲淡主观性。

①両党の対決は福祉問題にポイントをおくものと見られる。／看来，两党的交锋是以福利问题为重点。②日本車をめぐる日米両国の摩擦は深刻になると考えられます。／估计日美两国围绕日本汽车的摩擦将会加剧。

△汤泽幸吉郎等认为自发用法是可能用法的一种，松尾舍治郎则看作被动用法的一种。都有一定道理。但是，它们之间的区别也是明显的，所以现在大多数人把自发作为(ら)れる的独立用法之一。

表示自发的句中不需要补语～に，这与被动不同。试比较：

①船が進航しているうちに、島が見られてきた。(自发)／船不断前进，这时逐渐显现出岛屿。②他人に日記を見られた。(被动)／日记被别人看了。

“自发”是无意识的，“可能”是有意识的。试比较：

①高くて山のように見られる。(自发)／高得象山似的。②望遠鏡で遠くの山がはっきりと見られる。(可能)／用望远镜能清楚地看到远

处的山。

#### 4. 尊敬助动词。

表示对话题人物的尊敬。用于第3人称时较多,用于第2人称时有文言色彩或生硬感。

①諸橋先生が文化賞を受けられます。/诸桥先生将得文化奖。②社長があした帰って来られるとの電報です。/电报说经理明天回来。③今あの方が居られればいいがね。/现在他若是在该多好。④あなたはどうか考えられますか。/您是怎么想的呢?

△(ら)れる形式是动词的敬语形式(お~になる等)中敬意最轻的。但1953年日本文部省公布的「これからの敬語」一方面指出其与被动态易混的缺点,另一方面又肯定其有规律地接于几乎所有动词、结构简单的优点,认为最有发展前途。

独立的敬语动词也比相应的非敬语动词~(ら)れる形式敬意重。如:いられる(おられる)<いらっしゃる、来られる<いらっしゃる。但也有例外。※分かれる应がお分かりになる。※出来られる应がお出来になる。

△关于尊敬为何借用被动形式的社会根源。据认为,在古代,上层人总是享受下层人的服务,比如,下层人抬轿,上层人被抬着走,所以上层人既是受尊敬的,又是被动的,于是产生了这一现象。

⇒れる

ラング langue 语言

索绪尔的用语。语言是一种物理的、生理的、心理的混合现象。普通语言学术语langage(ランガジュ)指的是这种语言现象总体。索绪尔把语言总体(langage)分析为langue(ラング、语言、社会语言)和parole(パロール、言语、个人语言)两个部分。他认为语言(社会语言)是作为社会习惯的语言总体,是一种存在于人们头脑中的抽象体系,而言语(个人语言)则是具体的个人的谈话,是用声音表达并以听觉理解的临时的外在表现。因此,言语是语言的具体体现,语言能力的实现,必须靠个人的语言行为。当然,言语也必须根据语言来进行,不然个人之间的语言交际就失去了共同的依据,就不能实现。



索绪尔把语言和言语的关系还比作音乐作品和演奏之间的关系。音乐作品是共同的、规范的、抽象的，无论谁、用什么乐器，所奏出的音乐都大体相同。但是，每次演奏的效果必然由于人物、乐器、环境等的不同而不可能完全相同。可见，语言和言语是共性和个性、一般和特殊的关系，是语言总体 (langage) 的两个侧面。

语言学的对象是语言，但实际上只能从言语着手。因为，我们所能直接观察、直接利用的只能是言语而不可能是语言。因此，语言学研究最常用的研究方法是归纳法。

语言和言语的区分对现代结构主义语言学确定了具体的目标和途径。后来的乔姆斯基（转换生成语法）则用competence（语言能力，相当于ラング）和performance（语言运用，相当于パロール）来表示以上两个概念。

# り      り

## り 〈文言助动词〉

【接续】接文言四段动词已然形、文言サ变动词未然形せ后。

【活用】ラ变活用。现在只偶尔用其终止形り和连体形る。

【意义】表示完了或动作结果的存续，相当于口语体的た、てしまう、ている、である。

①君はその詩人の姓名を知れりや？／君可知此诗人之姓名乎？②すこぶる安堵せるものの如し。／似颇有些安堵之感。③学生の作文の添削をしただけで、事終われりとしたのでは学習効果は期待できない。／如果只是增删了学生的作文就认为完事大吉，那么学习效果就无可指望了。

△有些用法已固定成词。

①至れり尽せりの看病／无微不至的护理。②最近における平和運動／最近的和平主义运动。

## 略語 リャクゴ 略语、缩写词

【解释】单纯词的部分音节被省略或复合词被简化缩合而成的词称为略语。前者如：テレビ（ジョン）、はま（ぐり），后者如：特急（特别急行）、NHK（Nippon Hōsō kyōkai）。

略语的产生与语言的省力原则有关。日语吸收了汉字和音读词后，用汉字的组合表示复杂的概念（如：日本教職員組合），吸收了外来词后，又由于自身的语音状况使词形拉得很长（如：スプリング），而尤其是在当今的高效率时代，这种情况给发音、标写、记忆都带来许多困难。这是略语成立的社会原因。

略语适用于报刊、口语等一般情况，郑重场合、文件等略语用的较少。

日语略语和全称并存，促使语汇量增加。

略语的使用要经过社会，至少是一定集团的承认，如行业用语中的略语，个人随意创造略语是行不通的。

【类型】就倾向性来说，外来词或类似外来词的略语是2～4个音拍，音读

词是四个音拍。有以下主要的省略和简化的类型。

1. 后略型。主要是外来词取此方式。例：ペー（ジ）、ロケ（ーション）、ビル（ディング）、デパート（メントストア）、ゴム長（靴）、急行（列車）。

2. 前略型。例：（プラット）ホーム、（ラウド）スピーカー、（アル）バイト、（西）洋式、（な）たねあぶら。

3. 前后简略型。例：（簡）略字（体）、（頭）割勘（定）、（大）阪神（戸）、（日本労働組合）総評（議会）。

4. 中略型。例：高（等学）校、外（国映）画、パト（ロール）カー、白（オート）バイ。

5. 跳跃简略型。例：国（有）鉄（道）、早（稻田）大（学）、ラジ（オ）カセ（ット）、うな（ぎ）どん（ぶり）、アル（コール）中（毒）、自（動）販（売）機、選（挙）管（理委員）会。

6. 头字型。例：KK（kabushiki kaisha）、PTA（直接来自英语）、3K（公害、高物价、交通难）。

【读音】1. 汉字略语一般都用音读，而不管原来是音读还是训读。例：労働組合（ろうどうくみあい）→労組（ろうそ）、大坂神戸（おおさかこうべ）→阪神（はんしん）。

2. 头字型的略语通常用字母名称来读。例：USA（ユーエスエー）、NHK（エヌエチケー）、OL（オーエル）。也有个别的拼成音节来读。例：NATO（ナト）、UNESCO（ユネスコ）。

### 略字 リャクジ 简化字

为便于读写，在原来的基本上把笔画减少而成的新字就是简化字。简化字中，有的以政府文件形式作为正规的字（如：万←萬），有的只作为俗字用于民间（如：仂←働）。

简化字的来源有二。一是采用已有的较简单的古字或俗字，将其作为正规字体，如“万、礼”都是“萬、禮”的古字体的一种。二是造新字形，如“体”（←體）。新字形有时与原有的字（因不太常用）偶合，如“体”（tǐ、たい）和古字“体”（bèn、ほん）、“芸”（←藝）（yì、げい）和古字“芸”（yún、うん）分别偶合。“体”（ほん）因不用，问题不大，而“芸”

(うん) 偶尔还用 (如: 香草の芸), 所以应说其简化是不慎重的。

【简化方式】无论以上哪种来源, 主要都按以下方式简化。

1. 取繁体字的主要部分。如: 予 (豫)、声 (聲)、点 (點)、压 (壓)。
2. 简化复杂的偏旁部首或其余组成部分。如: 訳 (譯), 担 (擔)、広 (廣)。
3. 把偏旁由正体改成草体。如: 学 (學)、伝 (傳)、帰 (歸)、儉 (儉)。
4. 来自手写体。如: 与 (與)、尽 (盡)、実 (實)、当 (當)。
5. 简掉一个笔画。如: 徳 (德)、者 (者)、器 (器)、収 (收)。
6. 用笔画少的同音字代替。如: 台 (臺)、弁 (辨)。
7. 其他。如: 欠 (缺)、塩 (鹽)。

和汉语不同的是, 日语简化字只限于常用汉字表范围内, 表外字不要求按相同原理类推 (如“噌”不必简化)。当然汉语方面也不绝对要求类推。

汉日简化字 (包括非简化的异体字) 有以下差异。括号内为日语。

1. 汉语简化偏旁, 日语依旧。如: 贝 (貝)、长 (長)、车 (車)、言 (言)。
2. 运笔方向、笔画长短不同。如: 反 (反)、吴 (吳)、直 (直)、骨 (骨)。
3. 汉语比日语多一个笔画。如: 压 (圧)、收 (収)、突 (突)、隆 (隆)。
4. 与3相反。如: 况 (況)、凉 (涼)、厅 (庁)、对 (対)。
5. 日语改变部分笔画, 汉语依旧。如: 黑 (黒)、沿 (沿)、拜 (拝)、搏 (搏)。
6. 汉日分别用各自方式简化。如: 欢 (歡)、应 (応)、迟 (遅)、归 (帰)。
7. 合并的情况不同。如: 两・辆 (両)、集・辑 (集)、弁・辨・辯・瓣 (弁)、娘 (娘・嬢)、据 (据・拠)、历 (曆・歴)。
8. 用不同的异体字。如: 耻 (恥)、效 (効)、线 (線)、烟 (煙)。



【中日字体对照】见附录《日本常用汉字表》字目后（ ）内字。本字体对照不涉及中日铅字的不同设计。如：非／非、芽／芽。印刷体和书写体的区别也不在此限。如：環／環、以／以、戸／户、舟／舟。

# る          ル

る 〈文語助动词〉

【活用】 下二段活用。

基 本 形	未然形	连用形	终止形	连体形	已然形	命令形
る	れ	れ	る	るる	るれ	れよ

现代文章中已然形基本不出现。未然形、连用形、命令形与现代日语无区别。仅举与现代日语有区别的终止形、连体形例如下：

①大木は風に折らる。(谚语) / 树大招风。②待たるる結果 / 要知道的结果。

【接续】 接于四段、ナ变、ラ变动词未然形后。

【意义】 1. 表示被动。见上二例。还能表示可能、自发、尊敬等。

2. 构成现代日语中的中相动词。如：“生まれる”是由“生む”经被动形成“生まる”转成的。“売れる”由“売る”经“売らる”转成的。

【参考】 另有る是助动词りの连体形。

①曲れる枝には曲れる影あり (谚语) / 有其因必有其果。

類音語   ルイオンゴ   类音词

【解释】 发音方法或听感相似的两个以上词，互称类音词。有以下几种：

1. 长音和短音。例：おじいさん / おじさん。
2. 促音和非促音。例：学校 / 画工。
3. 直音和拗音。例：美病院 / 病院。
4. 元音相同。例：若殿様 / 馬鹿殿様 (waka~ / baka~)。
5. 清音和浊音。例：人糞 / 人文。

音读词不仅同音词多，类音词也很多。如カイカンの同音词有：快感、開館、怪漢、開巻等。类音词有カイガン (海岸、開眼)、ガイカン (外患、外觀、概観) 等。可见，音读词的输入是造成大量类音词的外

部原因，而日语语音种类少，结构简单是其内部原因。

类音词和同音词一样，是口头交际的主要障碍之一，是口语和听力教学的难点。

类音词另一方面也可作为修辞手段来利用。如谚语“猫に小判，下戸にご飯”巧妙地利用了类音词。

【类音异义词】武部良明将不仅发音相似，意义也相近的词的系列称为“類音異義語”，并作了如下分类：

1. 词义非常相似的。如：本拠／根拠、明確／明白、現状／現況、軽減／代減。
2. 词义大体相同的。如：不満／不安、文章／文書、発動／活動、配布／回布。
3. 词义缩小的（后者）。例：諸税／租税、構成／合成、苦況／不況。
4. 词义扩大的（后者）。例：法案／考案、行政／情勢、古代／古来、排外的／对外的。
5. 同属一个范围的。例：飼料／肥料、需給／自給、資力／主力。
6. 词义相反的。例：廃止／開始、放任／公認、院外／院内、農閑期／農繁期。

#### 類義語 ルイギゴ 类义词

【解释】词形不同而词义相同或相似的两个以上单词互称为类义词。词义完全相同的特称“同義語”（同义词）如：あした／あす、ほほえむ／微笑する。但一般来说，类义词之间总是有一定的语义差别，如“きれいだ”和“美しい”均能表示人、花等的外观美，但“きれいだ”还有“清洁”的意思。即使是实质意义完全相同，也有细微的语感上的差别，如“手紙”是无特殊感情色彩的词，“書簡”有郑重的语感，“レター”有时髦的语感。大多数类义词有词义和语感两方面的差异，因而构成复杂的类义关系，往往划不清类义词与非类义词的界限。实际上日语词汇正是通过类义关系的广泛连锁而构成一个系统的。

一个多义词往往每个义项有着不同的类义词。如：沈む↔（物が）沈没する、沈む↔（気持ちが）くだる。ゆううつだ。

単語和词组之间，只要存在类义关系，也可构成类义词。如：怒る／腹が立つ、坐わる／腰をおろす。

类义词原则上应属同一词类。如：白／白い之间，前者是名词、后者是形容词，虽有语义联系，但不作类义词。形容词与形容动词、动词之间的区别往往不是意义上的而是形态上的，这就决定了它们之间可以构成类义词。如：あたたかだ／あたたかい、すぐれる／優秀だ。

总之，对类义词的对比和应用要全面地着眼于其意义、语感、形态等各个方面的相同点和差异点。

【类型】1. 语义类型。以下各种类型均与语感类型有交叉重合关系。

#### 1) 重合类型

くさる／腐乱する、ふたご／双生児、去年／昨年、買い物／ショッピング。

此类义词在语义上没有区别。

#### 2) 包容类型（前者包括后者）

先生（老师、先生）／教員（老师）、うまい（好吃、善长）／おいしい（好吃）、見つける（找到、发现）／発見する（发现）、たいらだ（平坦、心里平静）／平坦だ（平坦）。すぐ（立即、很近）／ただちに（立即）。

#### 3) 部分重合类型

きれいだ（美丽、干净）／うつくしい（美丽、美好）、勉強する（学习、减价）／負ける（输、减价）、人間（人、人品）／人（人、他人）。

#### 4) 邻接类型

駐車／停車、戦略／戦術、微震／軽震／弱震。

2. 语感类型。以下各种类型均与语义类型有交叉重合关系。

#### 1) 尊卑关系类型（卑／普通／尊）。

このやつ／このひと／このかた、ほざく／いう／おっしゃる。

#### 2) 新旧类型（旧／普通／新）。

活動写真／映画／シネマ、乗合自動車／バス／〇、〇／台所／キッチン。



3) 评价类型 (贬义/普通)。

女中/お手伝いさん、けちんぼう/儉約家、めくら/盲人、かたわ/身体障碍者。

4) 婉曲类型 (普通/婉曲)。

死ぬ/他界する・いける、月経/メンス・生理、便所/トイレ・手洗い・化粧室、強姦/暴行・乱暴。

3. 文体类型。

1) 文章语 (郑重语) 类型 (普通/文章语)。

きもちよい/ころよい、すぐに/ただちに、同じだ/等しい、つかれる/疲労する、去年/昨年、一番/もっとも、きれいだ/美しい。

2) 俗语类型 (普通/俗语)。

ごはん/めし、たべる/くう、疲れる/くたびれる、おいしい/うまい、ほほ/ほった。

3) 雅语类型 (普通/雅语)。

やすむ/いこう、ゆうがた/ゆうべ、集まり/つどい、どこ/いずこ。

【作用】类义词反映千差万别的事物的共性和个性,使人们能够通过类义词的联系和区别,准确地认识客观事物。如果没有类义词,认识新事物时就会失去基准。所以,词典中的释词才大量使用类义词,这也是释义的最主要手段之一。

另一方面,类义词也增加了学习负担,甚至导致一些错误。如:※馬から落馬した、※一番始めに来た。特别是同音类义词也经常成教学的难点,如:制作/製作、図る/謀る/測る/量る。

【参考】类义词研究始于本世纪初。战前有志田义秀・佐伯常麿的「類義語大辞典」(1909)、津村清史的「同義語二十万辞典」(1910)。战后有广田荣太郎・铃木棠三的「類語辞典」、徳川宗贤・宮島达夫的「類義語辞典」。战后的类义语研究逐渐向用例比较和释义比较等方向发展,克服了原来的词汇表性质,比如较明显的有森田良行的「基礎日本語」、柴田武等的「ことばの意味」等。

# れ                      レ

**零記号** レイキゴウ、ゼロキゴウ    零标记、零记号、零形式

大体在两种情况下要用到零标记这个术语。其一，本来应该有的字、词、成分、音位、语调、重音等等因某种原因没有出现，这时，在与出现的情况相比之下我们仍然感觉到它的存在，于是称其为零标记或零标记的辞（零記号の辞）。如，“私がやります”和“私，やります”（当然意思有所不同）两句，我们说后一句有零标记的主语，或说其主格标记是零形式，或说其有零形式的主格助词。

其二，也是更重要的方面，我们在有标记的（有標の，marked）和无标记的（無標の，unmarked），或有标记的成分（有標の項，marked member）和无标记的成分（無標の項，unmarked member）的二项对立中，把无标记的一方称为零标记。其原理是：无标记本身就是一种标记。无就是有零。下面举几个实例。

1. 在语音学中，为了获得统一的音节结构公式，可以认为音节在起首处都有一个辅音。而有的音节是由元音开始的，于是我们认为它有一个零辅音，这样就统一起来了。日语汉语通常都这样处理。如“蚊（ka）、実（mi）、絵（'e）”三个音节的辅音分别为“k、m、'”，其中“'”为零辅音。当然，这样处理另有别的原因。日语汉语前一个音节末的辅音和后一个音节首的元音通常不连续，所以认为它们之间有一个零辅音比较方便。英语则不然。

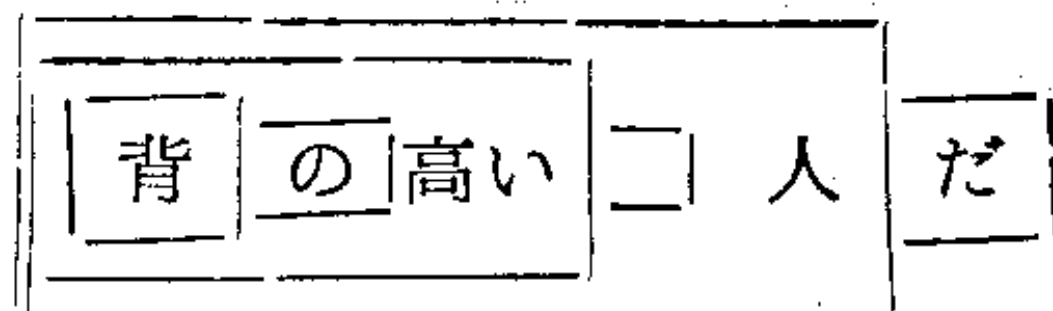
2. 在词法学中，英语名词sheep的单、复数分别是sheep、sheep（相同），cat的单、复数分别为cat、cats。为统一起见，我们认为单数都是无标记的，复数都是有标记的，其中sheep有零标记，cats有标记“s”。

3. 在句法学中，时枝诚记的套匣式结构（参见“入子型構造”项）把句子结构解释成：词被辞统括，这一整体又关联到词，这一整体又被

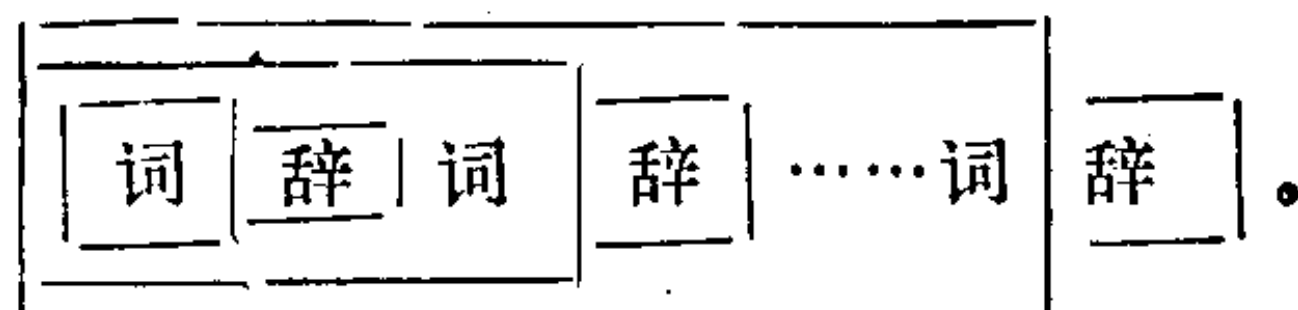
辞统括。如：

ぼく	は	学生
----	---	----

だ。为统一起见，他认为下例的“高い”后有一个“零記号の辞”。



这样，他就获得了统一的句子结构公式：



#### 例示表現 レイジヒョウゲン 例示表达法

以单独或并列形式从同类事物中举出有代表性的一个或几个事物，以类推其他的表达法称为例示表达法。

【形式】 1. 用并列助词の、だの、や、やら、とか。

①日本の文学者なら誰でも夏目や志賀を知っている。／日本的文学家谁都知道夏目、志贺等人。②舌をかむやら息づぎのできないような面倒な名詞を暗記させられた。／被迫去记一些不是咬嘴就是喘不上气儿来的复杂的名词。③歌の踊りのと出し物は豊かでした。／又是歌又是舞的，节目丰富多彩。

2. 副助词など、なんか、なんて等。有时有“轻视”的语气。

①車など何台も買える金を都合してきた。／筹集到了买车能买好几台的钱。②それは僕なんかに出来る仕事ではない。／那可不是我这样的能做的工作。

3. 助动词ようだ、みたいだ。经常有“轻视”的语气。

①このあたりのような静かな所はあまり多くない。／象这一带这样的安静的地方不太多。②あれみたいなバカ者……／象他那类蠢货……。③彼女みたいに何もすぐ人のせいにしても困る。／跟她似的一有什么事马上就责怪别人也不行。

## 4. 接续词或接续性词组。

①芥川は多くの作品を書いたが、一例を挙げると。「地獄変」がある。／芥川写了許多作品，举一个例子，有《地獄変》。②たとえば，こんな話が昔ありました。／比如说，过去曾有过这样的事。

## 歴史的仮名づかい レキシテキカナ〜 历史假名用法

【解释】指制定现代假名用法之前所使用的假名用法，曾在明治5年发布的“小学校则”中得到确认。历史假名用法与现代的语音之间不一致处很多。通常说的历史假名指的是由契冲制定的一套用法，根据的是假名用法比较一致的平安时代中期及以前的文献。所以，也称“古典仮名づかい”、“复古仮名づかい”等。

古代还使用过“上代仮名づかい”和“定家仮名づかい”，因无传统意义，现在较少提及。其中，前者指奈良时代的万叶假名用法。据桥本进吉研究，奈良时代的キ、ヒ、ミ、ケ、ヘ、メ、コ、ソ、ト、ノ、モ、ロ、エ这13个假名是用两套万叶假名标写的，这可能因为当时这些音曾有两套发音。如“都奇（月）”和“都岐（築き）”的“き”可能是不同的发音。上代假名的研究对上代语音和活用的研究有重大意义。定家假名用法流行于平安时代中期以后，最初出现于行阿所著的「仮名文字遣」中，后来契冲等人做过修正和补充。

【读法】以下只列和现代假名读音不同的。

## 1. ハ行在词中词尾读ワ行音。

川かは、鯛たひ、言ふ、上うへ、倒す（たふす）、頬ほほ。

## 2. 除ワ以外のワ行音读ア行音。

藍ある、井戸ゐど、絵ゑ、未すゑ、男をとこ、十とを。

## 3. カ行ガ行合口拗音读直音。

果くわ、恵くゑい、揮くる、画ぐわ、元ぐわん。

## 4. ちづ与じず有分工，但读音相同。

藤ふち／富ふじ、下図かつ／数かず、条でう／擾ぜう／帖でふ。

## 5. ア段音加ウ、フ读オ段长音。

央あう、斯かう、好かう、号がう、草さう、造ざう、騒々しい（さうざうしい）、党たう、峠たうげ、堂だう、脳なう、方はう、箒はうき、



遊ぼう（遊ぼう）、猛まう、申す（まうす）、羊やう、王わう、言はう（いはう）。

押あふ、扇あふぎ、甲かふ、合がふ、挿さふ、雑ざふ、塔たふ、貴い（たふとい）、納なふ、法はふ、放る（はふる）、臘らふ。

另外、直衣なほし、申す（まをす）、倒す（たふす→たおす）、仰ぐ（あふぐ→あおぐ）。

6. オ段音加フ、ホ读オ段长音。

多い（おほい）、凍る（こほる）、遠い（とほい）、微笑む（ほほゑむ）。  
劫ごふ、業ごふ、法ほふ、乏ぼふ、酔ふ（よふ、ゑふ）、昨日きのふ。

7. イ段音加ウ、フ读ウ段拗长音。常见于汉字音读。

九きう、牛ぎう、収しう、柔じう、抽ちう、柔にう、謬びう、友いう、留りう。

給きふ、習しふ、十じふ、入にふ、邑いふ、立りふ、言ふ（いふ）。

8. イ段音加ヤウ读オ段拗长音。多见于汉字音读。

強きやう、行ぎやう、正しやう、上じやう、場ちやう、長ちやう、拍ひやう、病びやう、名みやう、陽やう、良りやう。

9. エ段音加ウ、フ读オ段拗长音。多见于汉字音读。

教けう、小せう、でせう（→でしょう）、擾ぜう、条でう、朝てう、尿ねう、表へう、秒べう、妙めう、要えう、料れう。

協けふ、今日けふ、業げふ、渉せふ、疊でふ、帖てふ、葉えふ、漁れふ。

下面举一段用历史假名的文章为例：

昨日<sup>きのふ</sup>も今日<sup>けふ</sup>も時雨の空に、田町の姉より頼みの長胴着が出来たれば、暫<sup>すこし</sup>  
時<sup>とき</sup>も早<sup>はや</sup>う重ねさせたき親心、御苦勞<sup>くらう</sup>でも学校<sup>がつかう</sup>まへの一寸の間<sup>ま</sup>に持つて行  
つて呉れまいか、定めて花も待つて居ようほどに、と母親の言ひつけを、  
何も嫌やと言ひ切れぬ<sup>おとな</sup>温順<sup>ただ</sup>しさに唯はいはいと小包<sup>こづつみ</sup>を抱へて、鼠小倉  
の緒<sup>を</sup>のすがりし朴木<sup>ほうのきば</sup>歯の下駄ひたひたと、信女は雨傘さしかざして出<sup>いで</sup>

ぬ。(「たけくらべ」)

### 歴史的現在 レキシテキゲンザイ 历史现在时

文学作品中和故事中，叙述过去的事件时，为使叙述更生动，给读者或听者以身临其境的感觉，常用非过去时来描述，这就是历史现在时。常和过去时混用，其修辞效果更显著。

①彼は立ちどまった。振り向くと、長髪の若者が立っている。木村だった。／他停住了脚步。回头一看，站着一个长头发的年青人。是木村。②対岸はまだねむっているが、こっちの村はもうさめた。うしろのこやから煙が立ち上がる。今さくを出たあひるはかっかっさけびながら、朝日をくぐりて水に飛びこむ、川柳の枝に小鳥がさえずる。ああ実にいい所、と自分は思った。／对岸仍在梦中，这边的村庄已经醒来了。炊烟从后面的小屋升起，刚出栅栏的鸭子嘎嘎叫着跃入镏金荡翠的水中，小鸟在河柳枝头鸣叫。我在心中想此地多美啊！

### 歴史文法 レキシブンポウ 历史语法

historical grammar的译语。阐述语法的历史演变或某一个时代的语法事实和体系的语法。前者相当于历时语法或语法史，后者属于共时语法。前者的代表性著作如龟井孝等的「日本語の歴史」，后者如山田孝雄的「奈良朝文法史」。以上两种历史语法都以古代到近代的日语为对象，不包括现代日语。

在欧洲，历史语法是在比较语言学指导下进行的，最终目的是阐明语言间的亲缘关系。日语历史语法形成的背景则与此不同。其产生的最初原因是研究古典语法，以利读解古典作品或作“拟古文”。在江户以前，只限于てにをは、假名用法方面的研究。从江户时代起开始了对活用、词类划分等方面的系统研究。上述研究为创建现代日语语法理论奠定了基础，大概语法虽以欧洲语法理论为指导，但其内容直接继承了日语历史语法的成果。后来的学说都设立诸如助词、助动词、连体词等词类，也都从历史语法继承下来的。可见，欧洲和日本的历史语法出发点不同，所得结果也不同。

れる 〈助动词〉

【活用】下一段动词型。

基本形	未然	连用	终止	连体	假定	命令	推量
れる	れ	れ	れる	れる	れれ	れよ れろ	れ

1. 未然形。后续否定助动词ない、ぬ（ん）、ず、まい。

①彼はどうみても私には悪人のようにしか思われぬ。（自发）／我怎么看他都象是坏人。②雨にも降られず、さいわいだった。（被动）／雨也没淋着，万幸。③あの人一人では行かれぬ。（可能）／他一个人不能去。④先生は精読を期して、決して雑書を読まれなかった。（尊敬）／先生意在精读，绝不读杂书。

2. 连用形。

1) 用于中顿。

①一家は昭和25年北海道にうつられ、その後たよりがない。（尊敬）／一家于1950年迁往北海道，其后没有消息。

2) 后续助动词た、たい、ます、そうだ（样态）等。

①仕事を仕くじって、社長に叱られそうになった。（被动）／把事情弄糟，就要挨经理的训斥了。②次の三点に注意されたい。（尊敬）／请注意以下三点。③こわくて眠られませんか。（可能）／怕得睡不着。④純子さんの瞳は、きらきらと濡れているように、私には思われた。（自发）／我仿佛觉得纯子的眸子在眼泪中闪烁着。

3) 后续接续助词て、ては、ても、たり、ながら等。

①スイカなどは運ばれながらも熟れるものた。（被动）／西瓜等在搬运过程中也能成熟。②カナは読まれても漢字は読まれない。（可能）／虽然会读假名，却不会读汉字。③淋しく思われて仕方がない。（自发）／寂莫得不行。④心配されたりもしないで下さい。（尊敬）／您不要担心。

3. 终止形

1) 单独或后续终助词结句。

①今後の動きが注目される。（自发）／今后的动向将引人注目。②お父さんは太郎と次郎とでどちらがお好きになられるか。（尊敬）／你父亲在太郎和次郎里边喜欢谁？③そばから口出しをされると言われるぞ。（被

動) / 从旁边插嘴, 要当心挨说!

2) 后续助动词そうだ(传闻)、らしい、だろう等。

①これについては明日会議でも開かれるだろう。(被动) / 就此明天要开会吧。②あまり芳しくないうわさに怒られるらしいですね。(尊敬) / (他) 好象对这不太好的流言有些恼火。

3) 后续接续助词と、から、し、が、けれども等。

①いつも足を踏まれるから、バスなんかはすっかり嫌になった。(被动) / 总被人踩着脚, 我对公共汽车讨厌极了。②10分ぐらいも歩かれるなら、足はもう直りましたね。(可能) / 能走上10分钟, 那么说腿已经好啦。③薬も揃っているし、お医者さんも熱心に扱われるし、安心していきますわ。(尊敬) / 药品也齐全, 医生也精心照料, 我就很放心啦。

4. 连体形。

1) 构成连体修饰语。后续体言。

①リンゴやミカンなどは日本でも作られる果物だ。(可能) / 苹果、桔子等水果日本也出产。②不必要と思われるものは全部棄ててしまった。(自发) / 把看着没用的东西都扔掉了。③出発されるのはいつですか。(尊敬) / 什么时候出发?

2) 后续有体言成分的助词なので、のに、だけ、ばかり、ほど、のだ、ようだ等。

①本気でそう言われるのですか。(尊敬) / 您说这话可是真心? ②読まれるだけ読むとよろしい。(可能) / 你可以能读多少就读多少。③一人で行っては負かされるので、話の上手なものを誘って一緒に行きました。(被动) / 因为一个人去敌不过, 便叫来能言善辩的一起去了。

5. 假定形。后续ば。

①あの子は叱られればすぐ泣く。(被动) / 那孩子, 如被训斥就立刻哭。②彦坂先生はたばこも吸われれば酒も飲めます。(尊敬) / 彦坂先生既吸烟, 也喝酒。

6. 命令形。通常只有被动的意思有命令形, 亦不常用。自发、可能的意义无命令形, 尊敬的意义上很难有命令形。

①進んで叱られよというのでもない。 / 我也不是说让你找着挨训



斥。②長いものには巻かれろ。(谚语) / 既在矮檐下，岂敢不低头。

7. 推量形。后续よう，通常表示推测。

①平和は平和運動によって守られようか。(被动) / 和平果真能由和平运动来保卫吗? ②僕の間違いとも言われよう。(可能) / 也可以说是我的错误吧。③堅苦しく思われようが，理論的欠陥は見当たらない著作である。(自发) / 这部著作或许使人感觉艰涩，但是没有理论上的缺陷。④御主人もさぞ喜んで居られようと思います。(尊敬) / 我想您丈夫也一定很高兴吧。

【接续】和另一助动词られる是互补关系，接五段动词和サ变动词的未然形后。サ变动词用未然形～さ。例：

書かれる、取られる、される、検挙される。

△サ变的未然形～さ来自未然形～せ和られる的らの约音。～せられる形式作为文言色彩的说法仍有使用。详见“られる”项。

ずる型サ变动词或接未然～ぜ或按一段动词活用，两种情况都接られる。例：

感ぜられる、感じられる。

以一个汉字为词干的サ变动词一般都要以未然形～せ来接られる。例：

処せられる、発せられる。

作为可能助动词，接サ变动词构成的～される不如～できる形式更常用（勉強される→勉強できる）。不能构成～される形式者自然不能构成～できる形式。词干为外来词的サ变动词、拟声拟态词、三音节以上的固有词为词干的サ变动词都只有～できる形式（キャッチできる、わんわんできる、うちあわせできる）。

△作为可能助动词，れる接于一段动词、サ变动词后的倾向也越来越强（起きれる、見れる、食べれる、寝れる、来れる），但未获得标准用法的地位。

【意义】1. 被动助动词。

1) 直接被动态（直接対象の受動態）。以相应的主动句（如例①：先生は次郎をひどく叱った）的宾语来做主语。被动句和主动句相比，有陈述

角度的不同，如例①陈述“次郎”如何如何，而相应的主动句陈述“先生”如何。有时是文脉等的需要。

①次郎は先生にひどく叱られた。／次郎受到老师的严厉批评。②皆に好かれる人になりなさい。／你要做个受大家喜欢的人。③あの人は国会議員に選ばれた。／他被选为国会议员了。④正子に誘われて、英子と一緒に出かけようとした。／经正子相邀，英子想一起出去。⑤この日小林家に近づく者はつぎつぎに検挙され、私も池袋署に連れて行かれた。／这一天里，靠近小林家的人陆续被捕，我也被带到池袋警察署。

△此用法根据场合可同时表示第三者（人）因此“受损”或“受益”的语气。如例①、②可分别带有以上两种语气。

2) 间接被动态（間接対象の受動態）。以相应的主动句中的宾语的连体语～の或宾语以外的连用语に、と、から为主语。前者称“所有の受動態”，或者称“相方<sup>あいかた</sup>の受動態”。

①彼は汚職事件で責任を追求された。（彼の責任を）／他因贪污事件被追究了责任。②上野君は犬に手をかまれて入院している。（←上野君の手を）／上野君的手被狗咬了，正在住院。③家を焼かれれば誰だって弱ります。（←誰の家）／谁的房子被烧都够受的。④私は誰にも文句を言われなくてすんだ。（←誰かが私に）／谁也没有埋怨我，事情就了结了。⑤花子は太郎に離婚された。（←花子と）／花子被太郎抛弃了。

3) 非情物的被动态（非情の受動態）表示非情物受某种作用的结果、状态。从结构上看属于直接被动态。但句中一般不出现动作主体（即补语）。最初只用于西文翻译体文章，现已普遍使用。

①この問題について、近年になって、多くの論文が発表<sup>はつせ</sup>されている。／关于这个问题，近年来已有许多论文发表。②この病院は、付添看護婦<sup>つきそい</sup>は禁止されていますか。／这家医院禁止全陪护士吗？③海の底には、まだまだ多くのなぞが残されている。／海底仍有许多未解之谜。④神田は学生の町、本屋の町として知られている。／神田作为学生之街、书店之街而闻名。

△常用来表示一般的、公认的看法，或借此口气表示委婉的断定。由于词汇分布的原因，られる通常没有这种用法。

①日本語は非論理的であると言われる。／人们常说日语缺乏逻辑性。②助詞は、文法教育の一部に過ぎないが、一番難しいとされている。／助词虽不过是语法教育的一部分，却公认是最难的。

4) 第三者的被动态（第三者の受動態）。以主动句以外的第三者人物作被动句的主语。多接于自动词后。因常有受损的含义，所以今泉忠义、宫地幸一命名为“迷惑の受身”。

①雨に降られてかぜになった。／挨雨淋得了感冒。②夫に先立たれた清美さんは二人の娘を必死に育てた。／丈夫早逝，清美拼着命地把两个女儿拉扯大了。③王冕は七つの時に父に死なれた。／王冕7岁上死了父亲。④赤ん坊に泣かれて仕事も出来なくなった。／孩子哭得我连工作都做不成了。⑤事務室ですから，無断で入られては困ります。／这是办公室，不准擅自入内。⑥白井さんをつれていかれては困るんですがね。まだ用談が済んでいません。／你把白井先生叫走我就难办啦。还没谈完事呢。

△他动词的宾语仍保留を，若改用が则成为直接被动态或用法3)，如例②。试比较：

①かべにポスターを貼られた。／墙上被人贴了广告。（影响了美观）

②かべにポスターが貼られた。／墙上贴出了广告。

## 2. 可能助动词。

因为有可能动词的存在，在口头语中れる很少作为可能助动词使用，这点与られる不同。通常只有“行かない、死なれない”等几个活用词组比较常用。其他文体稍旧，均可用可能动词代替。

1) 表示能力，即是否具有完成某个动作行为的能力、技能。

①一人で行けますか。／一个人能去吗？②僕のような若輩はこういう問題には，なんとも言われません。／我这样的小字辈没有资格谈论这种问题。③まだまだ原書は読もうにも読まれせん。／目前原著还想读也读不懂。

2) 表示各种可能性，即条件是否允许（例①、②）、性质上是否可能（例③、④）、道理上是否应该（例⑤、⑥）、价值上是否值得（例⑦、⑧）、制度上是否许可（例⑨、⑩）等等。

①仕事が山積して日曜日にも休まれない。／工作多得是，连星期日都不得休息。②堂がゆがんで経が読まれぬ。(谚语)／念不好经怪佛堂歪。③北方四島が日本の領土であることは争われない。／北方四島是日本领土，这是不容争辩的。④彼は有望な青年で，将来に期待が持たれる。／他是有为的青年，将来定有所成。⑤これらの話で，小説のテーマが窺われるであろう。／能从这些话中悟出小说的主题吧？⑥何でも自信がなければあだこうだとは言われない。／不管什么事，没有把握就不能信口开河。⑦読まれる本は少ないね。／值得读的书很少啊。⑧この酒は値段の割には飲まれる。／这酒冲这价钱算很有喝头儿。⑨役所のことは親友にも漏されない。／官厅里的事对好友也不能泄漏。⑩未成年なら法的責任がやや許される。／如果尚未成年，法律责任可以略有减缓。

3) 从历史上看，还有构成可能动词的作用。如：“書ける *kakeru* ← 書かれる *kakareru* ← 書く”。实际上，把五段动词词尾变成本行エ段假名，再加る就是可能动词，如：“動ける ← 動く、取れる ← 取る、読める ← 読む、解ける ← 解く、話せる ← 話す”。可能动词与原有的同形动词之间有区别。试比较：

①紙はよく切れる。(自动词，表示性质)／纸张容易破裂。②紙ははさみで切れる。(可能动词，仍有他动性，表示可能)／纸张可用剪刀来裁。

### 3. 自发助动词。

表示不依靠主体的能力意志而客观地自然而然地产生的自发的心理状态、或与感官有关的状态。用于表示心理，感官作用的词后。

①写真を見ると，幼い時のことが思い出された。／一看照片，不觉回想起幼年时的事。②自分が，何か悪いことをしているように思われて，仕方がないのだ。／觉得自己做了什么坏事似的，心里不能平静。③遠足の日が待たれてよく勉強もできないぐらいだ。／盼着郊游这一天，无法安心学习。④この小説は一見未完成かと疑われるくらいである。／这部小说乍一看令人觉得未写完似的。⑤肌寒さが身に沁みるようになると，つくづくと戦地のことが偲ばれます。／每当寒气袭人时，不由得深深地回想起战地的往事。

△常用词语另有“思いやる、ほほえむ、泣く、想像する、予想する、



推定する”等。

△“思われる、泣かれる”约音为“思える、泣ける”。

①見ると、泣けて仕方なかった。／一看，禁不住哭起来。②外国人と思える者が訪ねてきた。／一个外国人似的人来访。

△广播、报纸中尤其常用，以强调客观性，冲淡主观性。

①日本人の根性は桜の一語でしぼれると思われます。／我们可以说，日本人的禀性可用“樱花”一个词来概括。

△其他附加说明见られる的意义3。

#### 4. 尊敬助动词。

表示对话题人物（不一定是听者）的尊敬。用于第三人称时较多，用于第2人称即听者时有文言色彩或生硬感。

①社長は明日アメリカへ赴かれます。／经理明天要去美国，②先生はどういう見方をされているのですか。／先生是什么观点呢？③別れを惜まれ，和歌を一首書かれて下さった。／为表惜别，书赠我一首和歌。

△独立的敬语动词比～れる形式尊敬语气更重。如：おっしゃる、言われる。

△在动词的各尊敬语形式（お～になる等）中，～れる形式是敬意最轻的。

△其他附加说明见られる的意义4。

⇒られる

#### 連語 レンゴ 词组

由两个以上单词组成、比词大比句子小、无固定规格的语言片断。相当于桥本进吉的句节和连句节、时枝诚记的“句”、松下大三郎的“詞”和“連詞”、山田孝雄的“連語”。例如，在“庭の桜がきれいに咲いた”中，“庭の、庭の桜、庭の桜が、咲いた、きれいに咲いた”等都可看作词组。

一些词组具有相当于一个词的功能，特别是相当于助词、助动词的词组受到人们的重视。主要有：

1. 活用词组（活用連語），如：咲いた、学生です、書かない、入るべからず、入りました、入りません、入るかもしれない。

2. 助词性词组（助詞相当連語），如：～にとって、～について、～といえども、～でもって。

3. 固定词组（慣用連語、慣用句），此种词组除在语法结构上和1、2相同外，还有语义结构上的独特之处。如：役に立つ、死の灰、鼻が高い。

“連語”尽管不是科学的用语，但对语言结构的观察等仍有帮助。这一术语最初是芳贺矢一使用的，用来说明助词重合使用时的顺序和活用情况，后来桥本用来说明句节理论，作为句节和句子的中间单位。

**連体形** レンタイケイ 连体形

活用形的一种。

【活用词尾】五段动词的连体形都在ウ段，如：読む、書く。一段动词的连体形有两个假名，第一个在イ段（上一段）或エ段（下一段）上，第二个均为“ル”，如：起きる、受ける。カ変：くる。サ変：する。形容词：～い，如：高い。形容动词：～な，如：静かな。除形容动词外，连体形均与终止形相同。

【用法】1. 连体法。见该项。

2. 后续接续助词より、ので、のに，副助词ばかり、くらい、ほど、だけ，助动词ようだ、ふうだ，等。以上后续词均有体言性质或体言性成分。

**連体詞** レンタイシ 连体词

【性质】词类之一。亦称“副体詞、添詞、連詞”等。无活用，唯一的作用是做定语。

连体词的作用与用言等做定语的作用是大致相同的，所以杉山荣一将连体词的一部分称为“一活用だけの用言”（如：小さな）。

连体词不受其他词的修饰。但有用言性质的例外，如：もっと小さなやつ／更小的。

连体词全部是由别的词类转成的，在词类中属较新的一种。

【种类】为便于观察连体词的形式和用法，可作如下分类。

1. ノ・ガ型。例：この人、その頃、あの問題、どの国、かの山、わが国。在文言中，こ、そ、あ、ど、か、わ等是代词，の、が是连体格

助词（属格助词），在口语里固定为一个词。ノ型又包括“名词ノ”型。例：例の、本の、くだんの、かくの、もろもろの、実の、大の、ずぶの、何の、<sup>のてん</sup>残の、晴の、常の、有的具有指示意义，并能后续助动词“ようだ”等，如：このようだ、例のように。

## 2. ヌ・ル型。

1) 由文言动词连体形构成的。如：ある、とある、ところある、去る、<sup>きた</sup>来る、名だたる、名に負う、生ける、於ける、明くる、さ（あ）る、かかる（かくある）。

2) 由文言动词活用形和助动词结合而成的。如：あらゆる、いわゆる、ありとあらゆる、至らぬ、然らぬ。

△此类有的保留部分动词性，所以能带连用修饰语。例：世にあらゆる人／世上所有的人、世にいわゆる人権問題／世人所谓人权问题、中国に於ける現代化／中国的现代化、非常に至らぬことですが／恕我冒昧。

（我想的不周）

3. ナ・ナル・タル型。大多由文言形容动词连体形转成。例：大きな、小さな、おかしな；異なる、いろんな、ひよんな；いかなる、単なる、大いなる、聖なる；厳たる、主たる。这些词保留着部分形容动词性质，有时带主语、连用修饰语。例：体の大きな男／身材高大的人、とてもおかしな格好／非常怪诞的装束。

4. タ（ダ）型。由动词连用形和助动词“た”结合而成。例：そうした事、たいした物、大それた奴、とんだ失礼。

5. 有的辞典和书把下列词也看作连体词。

1) 外来语造词成分：ショート、オンリー。

2) 接头辞（松下、时枝）：当～、本～、各～、諸～、前～。

3) 特殊形容动词词干（时枝）：こんな、そんな、あんな。

4) 特殊动词的连体形式（时枝）：曲った（道）、失った（帽子）、沈んだ（顔）。

5) 形容动词的连体形（汤泽幸吉郎）：格別の（取扱い）、寛大の（処理）、重要の（地位）。

6) “名词ノ”（桥本）：知名の、長足の、必死の。

7) 文言形容动词连体形 (桥本): 堂々たる、段々たる、偉大なる。

【参考】江戸末期有过类似名称“連体言”，实则形容词。明治年间，宫脇郁把“この、ある、所謂”称为“添詞”。最早确立“連体詞”的是鹤田常吉 (1924)。后来，三矢重松、时枝诚记均沿用此称，而松下大三角、桥本进吉则用“副体詞”。由于连体词是新出现 (由别的词类转来) 的词类，诸说中所属词范围广狭不等。铃木一彦等主张不立此类。

**連体修飾語** レンタイシュウショクゴ 连体修饰语、定语

句子成分之一，修饰语的一种。用来修饰后续体言，与连用修饰语相对。又称形容词性修饰语 (形容詞的修飾語)。同汉语的定语。

【性质】1. 在形态方面，主要用用言的连体形和“体言+の”的形式，位于被修饰语即中心词之前。

①強い人はりっぱな人間になる。／坚强的人会成为优秀人材。②踊子がまた連れの女の前の煙草盆を引き寄せて私に近くしてくれた。／舞女又为我把同行的女人面前的烟盆拉过来，使离我很近。③ある目標へのあらゆる道／达到某一目标的所有道路。

2. 在意义方面，或者从性质、状态、所属、数量等方面对被修饰语进行形容和修饰 (例①)，或者表示指示和区别 (例②)。

①学校の静かな校庭にも数本の美しい桜の木が植えてある。(依次为所属、状态、数量、性质)／学校宁静的校园里也栽种着数棵美丽的樱花树。②この事はほかの人には預けられぬ。(依次为指示、区别)／这件事不能托付给别人。

上述例②的用法属于限定性的 (restrictive)，例①属于非限定性的 (non～)。非限定性的定语是附加性的、补充性的说明，不是句子的主要意思所需要的，如例①不过是想说“校园里栽着樱花树”，其余都是临时加上去的。限定性定语则是句子的基本意义所必需的，如例②并不是想说“(所有)事情不能托付给(所有)人”，而是说“这个事”、“别的人”。但要注意这一区别并不是词语本身的区别，如下例①的“この”是非限定性的。这一区别虽不如英语 (通常用语调或逗号将非限定性成分和其他成分隔开，限定性的则不) 中那样有普遍意义，但也经常涉及到理



解句义，如例②的定语如果是限定性的，只能有第一个意思，反之，是第二个意思。

①この龍太郎は一体どういうものですか。／这个龙太郎到底是个什么人啊？②頭の古い年寄りはバレエなどを見たくない。／脑瓜儿旧的老年人不愿意看芭蕾舞什么的（而那些脑瓜儿新的则不）；老年人脑瓜儿旧，不愿意看芭蕾舞什么的。

3. 在功能方面，关于连体修饰语到底修饰什么，主要有两种观点。以“赤い花が咲いた”为例，桥本语法以及学校语法主张句节主义，认为“赤い”这个连体修饰语句节修饰“花が”这个主语句节。另一种观点（如时枝诚记等）则主张“赤い”只修饰“花”，“が”是接在“赤い花”这一整体之后的。即侧重于语义上说明修饰关系。

另外，北原保雄认为连体修饰语是结构和意义的结合体，只一个“花”不构成句子成分。这样，按上例，北原认为“赤い”在结构上修饰“花が”，在意义上只修饰“花”。

【连体修饰语的范围】 1. 连体修饰语修饰实义名词、数词、代词。这是连体修饰语的核心部分。如略去这类定语，句义不具体，不确切，但通常句子总还可以成立。例③中，因“形”意义不太“实”，所以句子不能成立。因此类似第2种定语。

①（折れ曲がった急な）坂道をかけ登った。／跑上弯曲的很陡的坂道。②彼女は（娘を他人に育ててもらった，母とはいえない）女です。／她是一个把女儿让别人去抚育的不配称为母亲的女人。③（私には分らない古風の不思議な）形に大きく髪を結っていた。／把头发蓬松地盘成一种我不认得的、古式的、奇怪的形状。

2. 修饰形式名词的连体修饰语。因为形式体言主要起使前述内容（这里看作连体修饰语）体言化的语法作用，意义的重心在连体修饰语，所以省去定语后句子完全不通。正因为如此，通常把整个结构一起看成一个句子成分，如下例③划线部分分别为主语、谓语。

①それは（諺に云う群盲の象を撫でるような）ものでございます。／这种作法如同谚语中说的群盲摸象。②道理で（どう搜しても出て来なかった）わけだ。／怪不得我怎么找也没有哩。③（大きい）ことは（い

い) ことだ。／大是好事儿。

3. 修饰副助词(副助词有形式体言性质)和词干部分有体言成分的助动词的连体修饰语。这时,连体修饰语表示全部素材意义,被修饰词语只起语法作用。因此,通常的作法是把整个结构看作一个句子成分,如例②的划线部分相当于连体修饰语,例③的划线部分相当谓语。

①太郎は(いつでも信用できる)ほど正直ではない。／太郎并不是诚实得任何时候都可以信任的。②(紅葉で燃える)ような天城峰に挑戦する。／向霜叶胜似火的天城峰挑战。③その声は、(殆ど聞こえない)ぐらいだ。／那声音几乎听不到。

【构成】1. 由用言连体形、用言+助动词连体形构成。

①黄色い目をしている少年。／长着黄眼珠的少年。②複雑な構造を持つ。／具有复杂的结构。③立ち上がる勇氣さえなくなった。／连站起来の勇氣都没有了。④冷たくなったお茶を一杯すすった。／喝了杯凉了的茶。

## 2. 连体词。

①瀬戸内海のある島にきたる8月14日から5日間キャンプをはる。／从8月14日起,在瀬戸内海の某个岛上,过5天的野营生活。

3. 程度副词和数词可以直接做有程度性的名词的连体修饰语。

①3メートル前の所。／往前3米之处。②もっと沖に出る。／到更远的远海去。③それはかなり前のことだ。／那是很久以前的事了。

此外,わずか、ただ、ちょうど可以修饰数词之类,ただ可修饰一般的名词,ちょうど也可修饰相应的名词。

①わずか(ただ、ちょうど)3人のメンバーが来た。／来了仅仅(只有、正好)3名成员。②ただ金の問題ではない。／不是仅仅金钱的问题。③月はちょうど中空にかかっている。／月亮正挂中天。

4. 由名词+の、大部分程度副词+の(例②~④)、部分陈述副词+の(例⑤、⑥)、名词+助动词(例⑦⑧)、名词+の+助动词(例⑨)、个别副词+助动词构成。

①中国の経済は10年の困難期を過ぎた。／中国的经济已经渡过了1<sup>0</sup>年的困难时期。②しばらくの辛抱はやむをえない。／只好暂时克服一

下。③かなりの実力がある。／有着相当强的实力。④殆どの場合役に立たない。／几乎用不上。⑤もしものことですよ。／我只不过是打个比方啊。⑥まさかの時／万一有事之时。⑦学生らしい人が立っている。／站着一个人模样的学生。⑧わざとみtainな態度／故意弄玄虚的态度。⑨それはニコチンのようなものだ。／那和尼古丁是一样的东西。

5. 由部分动词、形容词的连用形即转成名词，加の构成。

①連れの子を皆にあいさつさせた。／让带来的孩子向大家问好。②多くの教師が巻き添えを食った。／许多教师受到牵连。

6. 用～格助词＋の、～接续助词＋の（例③、④）、～副助词＋の构成。

①伊豆への旅を計画している。／计划到伊豆旅行。②きつと来るとの返事があった。／回信说一定来。③テレビを見ながらの勉強／一边看电视一边进行的学习。④つまり、述語あつての主語である。／也就是说，是因为有谓语才有的主语。⑤男だけの都市／只有男人的城市。⑥成人させるまでの苦労は親の楽しみでもある。／在孩子长大成人期间所受的辛苦也是作父母的乐趣。

7. 文言中还可由用言连体形＋の或が构成。

①学齡兒童ヲ就学セシムルノ義務／使学齡兒童就学之义务。②命あるがために……／因为有生命……

【连体修饰语的复杂化】 1. 用言等构成的连体修饰语可带各种成分，直至构成子句。

①奨学金はりっぱな成績をあげた学生にだけ与える。／奖学金只授与取得好成绩的学生。②僕は始めてお父さんが泣く声を聞いた。／我第一次听到了父亲哭的声音。

2. 并列型连体修饰语。并列的连体修饰语之间存在着语序问题，参见“語順”项。

1) 连体形并列。是纯粹累加式的，各自对体言进行修饰。

①青い冷たい堅い顔をして，顔の傷も背中の傷も其ままで。（志贺）／面部铁青、冷冰、毫无表情，面部的伤和背部的伤依旧。②人間から見たら猫などは，至って単純な無事な銭のかからない生涯を送って

いるように思われるかもしれないが……（夏目）／从人的角度看，也许会觉得猫之类打发着一种极单调的、太平的、不花钱的日子……③一見ささやかな，しかし本当は大切なことだ。／乍一看很简单，而实际上是很重要的事。

2) 连用形并列。也是累加式的，但所有连体修饰语合在一起构成一个整体来对名词进行修饰。最后一个连体修饰语用连体形式。

①白くてきれいなシャツがほしてある。／晾着白色的漂亮的衬衫儿。②ベンチにすわり，赤ん坊をおぶった女の人／坐在长凳上，背着孩子的女人。

连用形并列比连体形并列常用，连体形并列一般都可改用连用形并列。

3. 连体修饰语中又包含连体修饰语的情况也很普遍，这时应认清层次关系。

①警察が来るという噂を聞いた犯人は逃げてしまった。／犯人听到警察要来的消息，就逃跑了。②この本は日本の現実を生きている新人作家が書いた作品をまとめたベストセラーです。／这部畅销书收集了生活在日本现实中的新作家写的作品。

⇒修飾語、連用修飾語、文の成分、連体構造の意味関係

**連体修飾構造** レンタイシュウショクコウゾウ 连体修饰结构

【解释】连体修饰语和被修饰语结合起来构成一个语义结构，称连体修饰结构。所有的连体结构在形式上都是相同的，前项是连体形式（如连体形、名词の等），后项是承接连体修饰的被修饰语，如：“①先生が字を書いた黒板。②先生が黒板に書いた字。③黒板に字を書いた先生”，在形式上相同，在语义结构上却很不相同。以上三个连体结构同出“先生が黒板に字を書いた”，但①、②、③例中的被修饰语是分别由“黒板に”“字を”“先生が”等不同成分转换而成的。而在“④登山隊が遭難した報道”中则难以说出被修饰语“報道”是由何种格成分转换而成的。由此可见在连体结构中，存在着一种极其复杂的语义关系。



转换生成语法学家对于连体结构的语义联系作了较详细的描写，如奥津敬一郎所著《生成日本文法论》是这方面的专著。

【类型】根据奥津和其他人的研究归纳如下。

1. 同一名词连体修饰结构（同一名詞連体修飾構造）。

被修饰语由深层句中的某一名词格转换而成。除以上三例外，还有〔（ ）内为深层句中的格〕：

①僕が彼に会った百貨店（で）／我和他见面的百货商店。②夜ぐっすりねむって目醒めた朝（零格）／酣睡一宿而醒过来的早晨。③平和を守る国際運動（で）／保卫和平的国际运动。④どんなに背伸びをしてみても手の届く距離（は）ではなかった。／并不是使劲伸直身子所能够得着的距离。

△と格转成被修饰语时，在连体修饰语中要保留いっしょに。

①私が会社でいっしょに働いている横山君（と）／在公司和我们一起工作的横山。

这种连体结构又有以下特殊情况。

1) 某一名词格转换为被修饰语后，连体修饰语中仍保留指示词的称“同格指示連体構造”，在现代日语中有翻译调，不常用。

①昨日そこでごちそうになったレストランで今朝火事があった。／昨天（在那里）应邀吃饭的西餐馆，今天早晨失火了。

2) 子句中的某一名词格被转换为被修饰语，因而与大句中的谓语即前接连体成分之间不存在语义关系的称“越境連体構造”。

①大助が食って，死んでしまった催眠剤（を）／大助误用而致死的催眠剂。  
 ↑—————↓  
 ②彼が百分の仲間であろうと信じていた男（が）／他相信可能  
 ↑—————↓  
 是自己的伙伴的男子汉。

有时在连体修饰语中还可以保留指示词。

①先ほど，おじさんが，必ずあそこを通ると言った立ちがれのスギの大木（を）／刚才叔叔说一定要经过（那里）的枯死的大杉树旁。  
 ↑—————↓  
 ——↓

3) 深层句原封不动(但が、ヲ格可变为ノ), 另用形式名词の、もの、やつ作被修饰语, 并代表某一名词格。

①筆の(同が)古くなったのを捨てた。/把旧了的毛笔扔掉了。

↑—————↑

②スイカの(同を)切ったのを持ってきた。/把切好的西瓜拿来了。

③手近な書棚に合本した「演芸時報」があるのを引っぱり出して……/拿出放在身边书架上的《演艺时报》合订本……④細君は(←が)意識を失っているのを担架に乗せて病室に運んだ。/把失去知觉的妻子放在担架上抬到病房。

## 2. 附加名词连体修饰结构。(付加名詞連体修飾構造)

被修饰语不是由深层句的名词格转换, 而是附加另外名词而成。有以下几种情况。

1) 附加概念性名词, 如: 事実、意見、報告、計画、討論、意味、考え、つもり等, 称“同格連体修飾構造”。这些名词作为被修饰语, 对于连体修饰语的内容起概括的作用。

①私にはそんなことを言った覚えがない。/我不记得说过那种话。

②誤った容疑者を犯人だときめつけてしまう失敗がまた起こる。/偶尔发生把误认的嫌疑犯指控为犯人的错误。③二千年には現代化を実現させたい抱負。/要在二〇〇〇年实现现代化的雄心。

这种连体修饰结构是同格关系, 所以可以插入同格格助词という。与非同格关系比较如下:

①人が多い(可加という)ことはいいことだ。②人が多いことはいい(※という)ことだ。/人多(这件事)是好事。

2) 附加相对名词。(松下大三郎的用语, 如: 翌日、向こう、右、前、代り等。)称“相对連体修飾構造”。可看作作相对名词的基准的词被省略。被省略形式更常用。汉语中也有此现象, 见译文。

①皆が起きる(省ときより)前に食事の支度を終えた。/大家伙起床前, 已经做好了饭菜。②お父さんが寝ている(省ところの)そばで、子供がさわぐ。/在父亲睡觉的旁边, 小孩吵闹。

## 3) 附加结果性名词。

①収入の少ない人は、飲食費に支出した(あとの) 残りが少ない。／收入少的人，支出饮食费的余额很少。②理想を追いかける楽しみはそのための苦勞を忘れさせる。／追求理想的乐趣儿，使人忘掉其艰苦。

4) 附加場面性形式体言ところ、常用ところを形式。

①巡査は泥棒が家へ戻ったところをつかまえた。／警察趁小偷回家时把小偷捉住了。②五色の鹿は男がおぼれて苦しんでいるところを助けてやった。／五色鹿把淹在水中痛苦挣扎的男子汉救了上来。

1中3) 和2中3)、4)均本词典所加，其余均从奥津说。

【参考】1. 非情物的被动句转换为修饰语时，前接动词为主动态，句义不变。

①白く塗られた(=塗った)壁。／涂成白色的墙。②見ず知らずの人間同士の間で交わされる(=交わす)交歓。／与素不相识的人们进行的联欢。

2. 关于“名词の”形式的连体修饰结构的语义联系见の项。

連体法 レンタイホウ 连体法

指连体形用做连体修饰语的用法。连体形只有连体法(口语)。

①静かな裏庭からかんだかい女の子の聲が庭に入る太郎の耳に聞こえた。／从寂静的后院有女孩子的尖锐的声音传到了走进院子的太郎的耳朵里。

⇒连体形

連濁 レンダク 连浊

两个单纯词结合成复合词时，后词词头的清子音可受前词末音影响而发成浊音的音变现象称作连浊。连浊在口语复合词中是极其广泛的语音现象，如：人+人→ひとひと，旅+人→たびひと。但又不是必需的语音变化。如：田+畑→たはた，振る+掛ける→ふりかける。发生连浊的条件极其复杂，大致如下：

1. 从使用频度而言。口语常用词易于发生连浊，反之，不易于发生连浊。

講ずる／航する、感ずる／関する、生ずる／稱する、かんじゃ(患者)／かんしゃ(感謝)。

因此，日本固有词比音读词容易发生连浊，比如，固有词清音在拨音后原则上发生连浊，但音读词不然。

噛んだ、かんだ（神田）／かんだん（簡単）、かんだく（干拓）。

2. 从词类而言。由用言连用形构成的复合名词易于发生连浊，而其动词不易发生连浊。

分かちがき／分かちかく、攻めどり／攻めとる、乱れざき／乱れさく。

但也有名词可不发生连浊的。

書きとり／書きとる。

除少数拟态词发生连浊外，拟声词和其他拟态词不发生连浊。

①陽がさんさん降りそそぐ（拟态）／阳光爆晒。②さんざん負ける（拟态）／惨败。③からから笑っている（拟声）／哈哈大笑。④からがらの命（拟态）／危在旦夕的生命。

3. 从前词末音的性质而言。拨音后最容易发生连浊，长音之后次之，促音和弱母音之后绝不发生。

飛んだ、飛んで／稼いだ、問うて／取った、取って。（以上固有词例）

混ずる、感ずる／請ずる、抗する／決する、愛する。（以上汉源词例）

前词末音为浊音的，不影响后词头音的连浊。

たびびと（旅人）、みずぎわ（水際）、みずどり（水鳥）。

但后词第二音节为浊音者，头音不发生连浊。

あいかぎ（合鍵）、おおかせ（大風）、おおさじ（大匙）。

4. 从前后词的语法关系而言。

前项为后项的宾语的不易发生浊化，前项为后项的修饰成分时易于发生连浊。

ふろたき（風呂たき）、やねふき（屋根葺き）、ほしとり（星取り）／水だき、かわらぶき、手どり。

前后两项为对等关系者不发生连浊，修饰和被修饰关系者发生连浊。

やまかわ（山と川）／やまがわ（山の川）、おひれ（屋と鰭）／お



びれ（屋の鰭）。

还有，うえした（上下）、さんかい（山海）、たかひく（高低）、よみかき（読み書き），都不发生连浊。

連文節 レンブンセツ 连句节

【解释】桥本语法术语。连句节理论是作为句节理论的补充，在修正句节理论的基础上提出来的。连句节就是由两个或两个以上句节构成的、起一个句节的作用的句子单位。句节和连句节虽然在量上是后者包括前者的关系，但是确定的原则有本质区别。句节是根据外部特征确定的，而连句节则是在句节的基础上，根据意群来组合的。所以，各句节之间是平等的，而连句节之间不一定是平等的，可以有小大不同范围、不同层次上的连句节。

- ① 1 不意を くらった 敵は あわてた。  
          A          B          C          D
- 2 \_\_\_\_\_
- 3 \_\_\_\_\_
- 4 \_\_\_\_\_

／受到突然袭击的敌人惊慌失措。

上例中，1是句节，2～4都是连句节，并依次从小到大。其中4是全句，也是最大的连句节。连句节2由句节1A和1B构成，同理，连句节3由连句节2和句节1C构成，依此类推。

【连句节的划分方法】连句节的划分方法大致有两种。一种是按句节组合为句子的过程，从句节开始由小到大，直至全句。如②、③；一种是从全句开始，由大到小直至句节。如④、⑤。

② 太郎は小学校に入った。／太郎入小学了。

③ 智に働けば角が立ち， 情に棹させば， 流される。

修饰关系	主谓关系	修饰关系
修饰关系		修饰关系
并列关系		

／讲理易丧人，讲情易失败。

④この規定は、上のと共通した性格を持っている。

连体

连体

连用

补助关系

连用

／本规定与上一规定具有相同的性质。

⑤私は人間のすることを見ては、腹ばかり立てている多くの人た

主

连用

宾

谓

ちにわずかな暇をさいて虫の世界を見物することを勧めたいと思う。

补

连用

宾

谓

宾谓

连体宾

谓

／我想劝说那一见到人类之所为便只有气从中来的许多人们，拨出一点点儿时间观览一下虫子的世界。

从以上可以看出，连句节论远比句节论能更好地展现句子的立体结构。

【和句子成分的关系】句节中有一部分不能做任何句子成分。如例⑤中的“いる”。而连句节，广义地说，都能做句子成分。严格地说，有些不直接做句子成分，而只是成分的成分。这也是句子层次性的表现。

【问题】连句节论最突出贡献是部分恢复了被句节论忽视的句子结构层次性。因而，虽然是不自觉，也涉及到了句子成分之间的语义关系。连句节论揭示了各类句节结合为连句节时的紧密程度，如补助动词、形式用言与动词的结合最紧密、连用修饰语之间一般没有结合关系、体言有复数个连体修饰语时经过一定的组合也能构成连句节。连体修饰语的例子如：

この白くて大きな花は～。

但连句节论仍有几个问题。1. 因为建立在句节论的基础上，只解决了句子形式上的层次性问题，而没有真正解决句义的层次性问题。2. 仍不能解决陈述副词（离谓语句相距很远）和倒装问题。3. 连句节论作为句节论的发展，二者之间在认定原则上矛盾。即，句节按语音，连句节按语义。

在表现句子结构的层次性方面，套匣式结构的理论和直接成分分析法略胜一筹。三者比较如下：

连句节论 梅の花が 咲いた。

套匣式结构 

梅	の	花	が	咲い	た
---	---	---	---	----	---

。

直接成分分析法 

梅	の	花	が	咲	い	た

。

⇒橋本文法、文節、文の構造、入子型構造、IC分析

**連用形** レンヨウケイ 连用形

活用形的一种。得名于其主要用法连用法。使用频率较高，文言二段动词逐渐成为一段动词也是由于这一原因。

【活用词尾】 1. 五段：基本形词尾所属行的イ段假名成为连用形的活用词尾。如：読み、書き。另有音便形，见另项。2. 一段动词：基本形词尾的第一个假名。如：起き、受け。3. カ变：き。4. サ变：し。5. 形容词：～く、～か。如：高く、高か。另有音便形，如：高うございます。6. 形容动词：～だ、～で、～に。

【用法】 1. 单独用法。1) 中止法、2) 连用法、3) 名词法。见各项。2. 后续助词、助动词。助词有：て、たり、ても、ながら等。助动词有：た、たい、そうだ（样态）、ます等。

⇒動詞の連用形、形容詞の連用形、形容動詞の連用形。

**連用修飾語** レンヨウシュウショクゴ 连用修饰语

【性质】指修饰用言或用言性句子成分的修饰语，与连体修饰语相对，亦称副词性修饰语（副詞的修飾語）。

形态上，连用修饰语用体言＋连用格助词、用言的连用形、副词等充当，位于被修饰的用言之前。

①夕子はしばらく押し黙ったが、深く考えてから、口を開いた。／夕子沉默了一会儿，深思之后，开了口。

在意义上，修饰后续用言的各种概念内容，使其具体化。具体内容则决定于充当连用修饰语的词语的性质，主要有时间、地点、对象、目

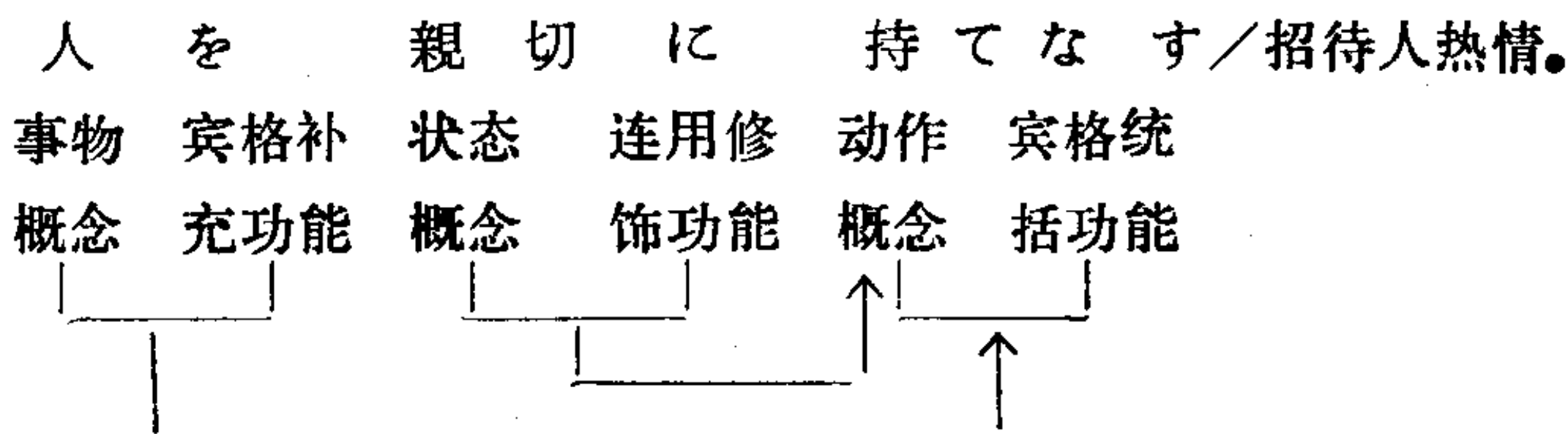
的、方法、原因、状态、条件、内容等。

①去年，私は留学に日本へ行っていましたが，順調に行かず，病気で予定よりも早く日航機で帰国しました。（依次为：时间、目的、地点、状态、原因、状态或时间、手段。其中，“予定よりも”是“早く”的基准。）／去年我曾去日本留学，结果很不顺利，因病比原计划提前乘日航班机回国了。

在功能上，连用修饰语与连体修饰语不同，能做句子的第一次成分。

①長い袖をぐるぐる巻き上げた。／把长袖子一层层地卷起来。

其中，名词+格助词型的连用修饰语（如上例的“長い袖を”）补充被修饰用言概念上的不足，具体展现用言的各种语法性质，没有它句子的意义就不能成立或不清楚。而用言连用形和副词构成的连用修饰语只修饰用言的概念内容，使其增加新内容，和用言语法性质无关，没有它句子意义仍然成立。



由于上述原因，连用修饰语有时也修饰名词（例①）、修饰其他连用修饰语（②）。

①彼女はすごく美人だ。／她是大美人。②もっと真剣に検討すべきである。／应该更认真地研究。

副词修饰体言也是因为这个道理，参照“連体修飾語”项。

①ずっと昔／很久以前。②少し右／稍往右的地方。

【范围】主要有：1. 名词+格助词以及类似情况。2. 副词或类似词语。3. 用言的连用形或类似情况。

桥本语法的连用修饰语范围最广，包括1～3，以外有时还包括接续语。但通常将1中的主语作为一种独立的句子成分。

山田语法将1（主语除外）称补语或补格，称2和3（动词除外）为连用修饰语。这一观点对后来的研究有决定性影响。三上章的“連用補



語”和“連用修飾語”之分、北原保雄的“補充語”和“連用修飾語”之分，都是这一观点的继承。现在，将1（主语除外）作补语或补充语看待，将2和3作（狭义的）连用修饰语看待，已是通常作法。

另外，三上将主语也包括在连用修饰语中，时枝把主语的一部分作为“対象語”（见该项），渡边实把一部分副词状语定为“誘導成分”（见该项）。

【构成】1. 补充语的构成参见“補充語”项。

2. 狭义的连用修饰语。

1) 由副词和时间名词单独或后续助词构成。

①まもなく茶店の婆さんが出てきた。／不一会儿茶馆的老太太出来了。②ほんのりと頬が桜色です。／脸颊微微粉红。③昨日（は）自殺事件が十件も起っている。／昨天一天发生了十起自杀事件。④そう（も）重いのか。／（竟）有那么重吗？

2) 由形容词、形容动词连用形单独或后续助词构成。

①期待が見事に的中した。／希望很顺利地实现。②美しく晴れ渡った海の空／晴朗明净的海空。③老人は物うげにも目を私に向けた。／老人懒洋洋地把目光对准我。

3) 动词连用形＋て，重叠等。

①私は臼田と並んで歩き始めた。／我和臼田并肩走了起来。②彼は大あわてにあわてて幕の後ろに消えてしまった。／他十分惊慌地退到幕后去了。③傘を指して歩いている。／在打着伞走路。④子供は泣き泣き家へ帰った。／孩子哭着回家去了。⑤喧嘩してまで取りもどそうとする。／不惜打一架也要拿回来。

4) 由用言或体言后续助动词连用形构成。

①男は男らしくふるまえ。／男子汉要有男子汉样儿。②どうぞ好きなようにしなさい。／随你的便吧。③彼は人と親しそうに話しあっている。／他正和别人很亲热地交谈着。

【连用修饰语的复杂化】1. 由接续助词构成的分句作连用修饰语。

①（障子をあけると），強い火気が流れてきた。／一打开拉窗，一股很强的热空气流了过来。②（郷里に帰省して，{「思いがけず」<sup>たつきち</sup>辰吉

の死を知ってから } 二、三日にして, ) 私は彼の長男に会った。／返回故乡, 不料听到了辰吉的死讯之后过了两、三天, 我遇到了他的大儿子。

## 2. 带有包孕子句的连用修饰语。

①私は(それを見るだけで,) そっとするんです。／我只一看那种东西就毛骨悚然。②(郷里へ帰省するたびに,) 私は彼に関する消息を耳に入れた。／每次返回故乡, 我都听到有关他的消息。③私は(彼が辰吉と同じ目を持っているゆえに) 彼に対しても憎悪の感情を抱いた。／我由于他有一双和辰吉一样的眼睛, 对他也怀有一种厌恶的感情。

【和被修饰语的关系】补充语和后续用言的关系分别参照“が、を、に、と、から、まで、より、へ”等各格助词项。动词连用形+て型的连用修饰语与被修饰语的关系参见“て”项。以下只论及副词、形容词、形容动词连用形型连用修饰语(即最狭义的连用修饰语)和后续用言之间语义关系的种类。

1. 修饰语是被修饰语的状态(例①、②)、程度(例③、④)、数量(例⑤)。

①目がするどく輝いている。／眼睛闪着锐利的光芒。②ゆっくり散歩しましょう。／慢慢儿散散步吧。③長い旅でひどく疲れたツバメ／因长途旅行而极度疲劳的燕子。④非常に心配です。／非常担心。⑤同窓は殆ど結婚した。／同学几乎都结婚了。

2. “～て(で)”形式表示后续用言的原因。

①水が深くて, ただでは渡れない。／水深, 什么也不用过不去。②先生が一緒に心細くない。／有老师在一起, 不怕。

3. 表示后续用言(只限于表示思维的动词之类, 如: 見る、見せる、聞く、思う等)的内容。

①残念に思う。／觉得遗憾。②うまそうに思われた。／令人觉得很好吃。③古風の髪型が卵形のりりしい顔を非常に小さく見せた。／古式的发型使鹅蛋形的有威严的脸显得非常小了。

4. 修饰语是变化的结果。

①壁を白く塗る。／把墙涂成白色。②ご飯はやわらかく炊きなさい。／把饭烧得软一点儿。③あたりは雪でまっしろに変わった。／周围

因雪而变得一片洁白。

5. 表示对全句内容的评价、感想。参见“誘導成分”项。

⇒主語、目的語、誘導成分、補充語、対象語；修飾語、副詞

連用法 レンヨウホウ 连用法

连用形以单独形式作连用修饰语的用法。亦称“副詞法”。

动词连用形的连用法没有发达起来。文言中“嘆き暮す、忍び泣く”可看做连用法。口语中一部分复合词的前项也可看做连用法的痕迹，如：飲み明かす、あわてさがす、急ぎ帰る、落ち着き登る。

形容词的连用法用连用形く（副词形）表示，形容动词的连用法用连用形中的副词形に表示。如：高く売る／卖高价。ほがらかに笑う／爽朗地笑。

# ろ      □

ローマ字 ～シ 罗马字、拉丁字母

【解释】表音文字之一，一个字大体上代表一个音位，共有26个字母。印欧语系的大部分语言都采用这套字母作为文字系统。亚洲的越南、印尼、我国的一些少数民族的语言也采用这套字母。汉语拼音、日语的罗马字则只作为辅助工具而使用，还没有成为正式文字。

日语的罗马字的字母没有正式的名称，可按英语呼为〔ei、bi、si、……〕或エー、ビー、シー……1946年由日本罗马字协会提出的方案是：

Aaアー、Bbベアー、Ccセー（ツー、チェー）、Ddデー、Eeエー、Ffエフ、Ggゲー、Hhハー、Iiイー、Jjヨー（ジェー）、kkカー、Llエル、Mmエム、Nnエヌ、Ooオ、Ppペー、Qqクー、Rrラー、Ssエス、Ttテー、Uuウ、Vvヴィ（ブイ）、Wwワー、Xxエックス、Yyヤー、Zzゼット。

【日语罗马字】最初，罗马字是随基督教传入日本的。先后由葡萄牙人、荷兰人、美国人提出了带有不同国家特点的日本罗马字方案。从明治时代起，日本人自己制定了多种方案。其中，明治18年，由罗马字会提出的具有西文特点的方案，被美国传教士黑本首次用于第一本日英辞典「和英語林集成」中，故称黑本式（ヘボン式）。后来有所修改，称为“標準式”。同一年，主要由田中馆爱桔根据五十音图中的语音排列特点，提出了“日本式”方案。标准式和日本式各持己见，争论了半个世纪。为使罗马字对内对外都具有通用性，避免混乱，1937年以政府训令的方式公布了折衷方案，通称“訓令式”。1954年，又以内阁告示的方式确认了训令式，并容许根据国际国内习惯，有时也可以用黑本式和日本式。但是，训令式并未因此而停止前二者的争论和流行，反造成三足鼎立的更复杂的局面。训令式更接近于日本式，用于学校教育中，标准式（黑本式）更接近英文拼写法，广泛应用于为外国人编写的教材、辞典等，国际色彩较



強，但在日本国内除地名、商品名外则很少使用。

【拼写法】下面先以训令式为中心将三种体系的音拍表做一比较。〔 〕内为日本式，（ ）内为黑本式特有的写法。见1484页表。

另外，日本式的kwa和gwa两个音只用于汉字音读等特殊场合，其余仍写成ka和ga。

拨音的标写，训令式和日本式均用n。而标准式分别用m、n两个，即：在唇音前拨音用m，其余用n，如：shimbun（“新聞”，标准式）／sinbun（训令式、日本式），zyanpa（“ジャンパ”，训令式）／dyanpa（日本式）／jampa（标准式），hanmon（“反問”，训令式、日本式）／hammon（标准式），hintō（“ヒント”，三式相同）。

促音的标写，当辅音是一个字母时，三式均用双写来表示。如：motto（“もっと”）。此外，标准式还有如下情况：kesshin（“決心”），ytchi（“一致”），muttsu（“むっつ”）。

长音的标写，训令式和日本式在元音头上加“^”号。标准式此外还可使用“—”号和“h”。如：Tōkyō（東京）、Tōkyō、Tohkyoh。三式在大写时均用元音双字表示长音：TOOKYOO。专有名词不标示长音。

隔音符号三式使用规则相同。例：an'i（安易。为避免与ani〔あに〕混淆而用）。

句子开头词和专有名词的第一个字母要大写。

下面是一段训令式短文：

kitakaze to Taiyō

Aru toki kitakaze to taiyō ga kōronsimasita. kitakaze wa zibun no hōga taiyō yori tuyoi to iimasuga, taiyō mo zibun no hō ga kitakaze yori tuyoi to iimasu.

### 北風と太陽

ある時，北風と太陽が口論しました。北風は自分の方が太陽より強いと言いますが，太陽も自分の方が北風より強いと言います。

⇒分かち書き

ア行	a	i	u	e	o			
カ行	ka [kwa]	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
サ行	sa	si (shi)	su	se	so	sya (sha)	syu (shi)	syo (sho)
タ行	ta	ti (chi)	tu (tsu)	te	to	tya (cha)	tyo (chu)	tyo (cho)
ナ行	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
ハ行	ha	hi	hu (fu)	he	ho	hya	hyu	hyo
マ行	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
ヤ行	ya		yu		yo			
ラ行	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
ワ行	wa				[wo]			
ガ行	ga [gwa]	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
ザ行	za	zi (ji)	zu	ze	zo	zya (ja)	zyu (ju)	zyo (jo)
ダ行	da	zi [di] (ji)	zu [du]	de	do	zya [dya] (ja)	zyu [dyu] (ju)	zyo [dyo] (jo)
バ行	ba	bi	bu	be	bo	bya	byu	byo
パ行	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

ろくに（像に） 〈陈述副词〉

来自形容动词ろくだ的连用形。具有相同用法的还有ろくすっぽ或ろくすっぽう（俗语）、ろくろく（强意）。和否定形式呼应，表示未达到满意的程度。

①まだろくに物も言えない赤ん坊です。／还是个连话都不会说的婴儿。②どうせ地主に取られることと思って、宇一は餌もやらなければ、ろくに世話もしなかったのである。／宇一心想反正得让地主拿走，所以既不给食，也不好好照料。③碌に考えもしないで引き受けた。／都没有认真考虑就承担了。④昔の事はもう碌碌思い出せないようになっている。／过去的事已经难以记起了。⑤御飯も碌すっぽう食べられない。／连饭都吃不饱。

△ろくだ的其他活用形也与否定呼应，意义与上相同。

①物価が高くて、ろくな食べ物も食べられない。／物价高，连象样的食品也吃不到。②ろくでもないことをくりかえしくりかえし言う。／反反复复地说不三不四的话。

## わ      ㍿

## わ 〈终助词〉

【接续】接句末的用言及助动词终止形后。还可后续よ、ね、い、さ等。不能接助动词（よ）う、まい后。

【意义】1. 用于女性的口语。用升调。

1) 表示语气柔和的感叹（例①）。常用来表示主张、见闻、体验等（例②）。可用わあ形式加重语气，也可用降调缓和语气。

①まあ、きれいだわ。／哎呀，真漂亮啊。②はっきりお断りするわ。／我坚决不同意啊。③いいわ，そうになったら，私，自分で働くから。／没关系，如果是那样，我就自己劳动。④だって，仕方ありませんわ。／那也没办法呀。⑤若いころの元気も，もうないわ。年なのねえ。／年轻时的朝气已经没有啦。到岁数啦。⑥おさかながすいすい泳いでいるわ。／鱼在敏捷地游着哪。⑦すてきだわ，そのヘアスタイルは。／真带劲儿，你的发型。

2) 后续终助词，以说服的语气强调自己的看法、主张。

①私もそう思うわよ。／我也那么想的啊。②いいえ，そんなことないわよ。／不，没有那回事儿啊。③お母さん，あんなこと迷信だって，先生がおっしゃったわよ。／妈妈，老师都说了那是迷信呢。④いいわよ，いいわよ，もう沢山だわよ。些細な事をいつまでも根にもつなんて男らしくないわよ。／算了，算了，够了。对鸡毛蒜皮的事耿耿于怀，真是不够个男子汉。

3) 后续终助词ね（え），以要求对方确认、赞同的语气陈述自己的看法。

①えらいわねえ，話きいたけど！／真了不起啊！我听说过了。②人の誕生って，厳粛なもんだわね。／人的诞生，这是严肃的事情啊。③強いられた結婚なんか，したくありませんわね。／强迫的结婚，谁都不愿意啊。④老後のことを思うと長生も考えものですわね。／一想晚年的



事，长寿还真值得考虑哪。⑤去年の冬はずいぶん寒かったわねえ。／去年冬天真够冷的啦。

△偶尔男性也用，用降调。

2. 用于男性，尤其是老年人的口语。用降调。

1) 以开朗的心情表示感叹、惊叹等。

①本当に暖かいわ。／真暖和呀。②風もひどいのによく釣れたわ。／风这么大钓得不错啊。

2) 后续い，意义同1)，但只用于老年人之间或老年人对晚辈说话时。

①我がままなことばかりしないことだわい。／你不要太任性。②そんなことはないわい。まあ良い気持でいなさい。／没那回事儿，你就把心放下好啦。

3. 构成～わ～わ的同词反复形式或近似的形式，表示对持续性、反复性动作、状态的惊叹语气。用降调。

①降るわ，降るわ，一面の銀世界だ。／下呀下，到处铺上了银装。②あれもほしいわ，これもほしいわでは困る。／这也想要那也想要可不行。③食べるわ，食べるわ，たちまちおかまをからにした。／一个劲儿地吃啊吃，一会儿工夫锅见底了。④殴るわ，蹴るわの大乱闘が始まった。／开始了拳脚交加的激烈格斗。

【参考】由文言提示助词は的句末用法转成，是比较典型的女性用语之一，不能用于长上、陌生人、不亲密的人。

分かち書き ワカチガキ 分写法

【解释】亦称“分け書き、分別書き”等，指在单词之间留有一定空间，以利于阅读的标写手段及方式。

汉字假名混用文章中不仅单词内部连写，句子内部也连写，这是因为汉字尤其是活用词中的汉字和助词、助动词等本身具有表示单词之间界限的作用。但是少儿读物中汉字出现的极少甚至全部是假名，这就必然要求单词内连写，单词间“分写”。

分写法虽然是标写法问题，但它受语言观的约束。由于对词、句节的认识不同，对形容动词、补助用言等的处理法不同，会有不同的分写

法。日语目前还没有确立标准的分写法。

【种类】主要有以下3种。1. 单词式（単語式）。把附属词也看作独立的单词而分开写。如：あの 本 を 読め ば よかろ う。很明显，除“本を”外，其余的都很难分开，所以这种写法不常采用。

2. 句节式（文節式）。小学低年级语文教科书采用的方式。具有与一般人的语言意识相一致的特点。如：あの 本を 読めば よかろう。

3. 折衷式。罗马字文章采用这种方式。折衷式以单词式为基础，同时吸收句节式的优点。例：Ano hon o yomeba yokarō。

【罗马字的分写法】据文部省1945年公布的“ローマ字教育の指針”，主要内容如下。

1. 原则上单词要连写，单词之间要分开。形容动词的词干和词尾要分开。例（罗马字用训令式。以下均同）：

Kare wa Eigo mo deki, sonoue Huransugo mo zyōzu da. /  
彼は英語も出来，その上フランス語も上手だ。

2. 助动词原则上和上接词连写，但是“だ、です、らしい（接尾词用法要连写）、ようだ、そうだ（传闻）”要单独写。

①Hanasimasu. / 話します。②Ikitai. / 行きたい。③Yamada desu. / 山田です。④Kaetta yō da. / 帰ったようだ。

3. 助词原则上分写。

Tenki ga kuzureru na to omowaseru no ga kono kumo da. / 天气がくずれるなと思わせるのがこの雲だ。

但“には、でも”等词组要连写成niwa, demo。

但接续助词、表示禁止的“な”要和上接词连写。

Yomeba wakaru. / 読めばわかる。Ugokanaide kudasai. / 動かないでください。naitari warattari / 泣いたり笑ったり。Ikuna yo. / 行くなよ。

わけ 〈形式名词〉

由表示理由原因、事理的实义名词转成，接于用言及助动词连体形后。构成如下词组。

【わけだ】1. 表示顺理成章或符合事实的结论。

①英語が上手なわけです。アメリカで育ったのですからね。／英語当然地道了，因为在美国长大的嘛。②引越したのか。道理で君だけが来なかったわけだ。／你搬家啦？怪不得就你一个人没有来。③40人なのに16人だけ来た。半分以上が来なかったわけだ。／40人只来了16人，这就是说一半以上的人没有来。

2. 表示确认自明的道理或现实的事实，做后述观点或主张的理由。

①だれだっていずれは結婚するわけだから普段から貯金しておかなければならない。／无论是谁，早晚都是要结婚的，所以，平时要有储蓄。②あしたは遠足に行くわけだから，早く寝なさい。／明天去郊游，早点睡吧。

3. 表示理论的语气。

①どうしても許してくれないというわけですか。／那么，你无论如何也不能原谅我啦？②愚痴をいうわけじゃないが，どこから片づけてよいか，見当がつかん。／我不是发牢骚，不过，简直无从下手。

【わけではない】 1. 表示理由。

①終わりまで聞いていましたが，おもしろかったわけではありません。／听到最后，但不是因为有趣。

2. 做“わけだ”的否定用法，表示根据事实和道理得不出此结论。

①ソ連に宗教の自由がまったくないわけではない。／在苏联并不是完全没有宗教自由。

【わけにはいかない】按通常的情理得不出如此结论。

①いざ事件となると，やはり親としては心配しないわけにはいかない。／一旦出事，做父母的不能不担心。②街路が狭くて，肩を並べて歩くようなわけにはいかない。／因为马路狭窄，不能并排走路。

【わけのものではない】表示语气委婉的否定。

①それが今更どうなるわけのものでもない。／事到如今，无可奈何。

和語 ワゴ 固有词、和语

【解释】在音读词和外来词传入日本之前存在的日语固有的词汇及后来以此为基础而产生的词汇叫做固有词，日语亦称“やまとことば”。如：つく

え、思う、深い(以上原有); 元手、鍵っ子(以上新产生)。固有词包括早期传入日本, 已完全日语化了的来自汉语的“うめ(梅)、え(絵)、ふみ(文)、せみ(蟬)等”和来自朝鲜语的“てら(寺)、かさ(笠)、しま(島)、なた(鉋)、むら(村)”等。但不包括虽无外来词意识, 但仍与古代中国语读音对应的“マク(幕)、キク(菊)、ニク(肉)”之类。

【标写法】固有词可用汉字和假名标写。

1. 主要用汉字标写的有: 1) 名词。如: 山、川、海。2) 同音异义词。如: 油/脂、治める/修める/納める、厚い/暑い。3) 习惯用汉字标写的词。如: 考える、深い、趣。

2. 词义单纯具体的词, 用汉字和假名均可。如: よむ(読む)、かく(書く)、あかるい(明るい)、くらい(暗い)。

3. 主要用假名标记的有: 1) 代词。如: これ、あなた。2) 接续词。如: しかし、ただし。3) 接续助词。如: が、けれども。4) 补助用言。如: いる、おく。5) 大部分副词、部分形容词。如: もっと、うるさい。

用汉字只书写一部分时, 另一部分假名称“送り仮名”, 见另项。

【词类】固有词分布于所有词类之中。不必一一列举。而相比之下, 音读词和外来词中基本没有形容词、接续词、感叹词、助词、助动词。

【意义】1. 固有词占据人们的使用词汇的主要部分。虽然固有词只占词汇总数的36.7%, 小于音读词的47.5%, 但是使用频率则占53.9%, 超过音读词的41.3%。

2. 固有词是整个日语词汇的基础部分。派生词、复合词、叠语等一般都包含固有词的词素。如: お嬢さん、研究する、刻々と。甚至一部分音读词的理解也离不开固有词的解释过程。如: 火事(カジ←ひのこと)、過去(カコ←すぎさる)、苛酷(カコク←むごくひどい)、架橋(カキウ←はしをかける)。

3. 固有词有特殊的造词功能。日常生活用语中的临时性造词, 大部分是固有词词组。如: 火遊び、砂遊び、泥遊び、水遊び……; 砂運び、水運び、荷物運び。另一方面, 助动词、助词等构成日语语法的基本结构。



4. 固有词奠定了古代文化的基础。方言的形成、位相语的产生以及古代文学的发生发展,现代的和歌等离开固有词都是无从谈起的。方言词汇的大部分都是固有词,是因它保留了古代语言的缘故。

#### 和文 ワブン 和文

【解释】在日本语言学上“和文”一词表示多种概念。1. 指用日语写的文章(日语文章),与英文、中文文章相对。2. 指日本文字,即汉字和假名,尤指后者。3. 指作为文体类别的和文,即根据平安时代的语法专用平假名和固有词写的文章。

【作为文体的和文】平安时代初有了假名之后,男子专用汉字,女子专用平假名。假名是标音文字,能够自由地如实地书写当时的口语,因此,诗歌、故事、日记等口语体文章应运而生。《源氏物语》、《枕草子》等是典型的和文作品。

因和文中使用的是日本固有的文字和词汇、语法,尽管受到汉文体的强烈影响(如逐步增加了音读词),和文仍作为一种典型文体,不仅在女子中间,而且在男子中间,不仅在平安时代,甚至在江户时代,都反映出了强烈的生命力。如,和歌是贯穿古今、男女共用的传统的文学形式。

和文由于受到汉字的强烈影响,就其整体而言,逐渐失去了独立文体的地位,和汉字融合为一体,构成了日语最基本的文体,即汉字假名混用文。

#### 話法 ワハウ 引述

【解释】普通语言学语法范畴之一。说者为了传达他人或自己以前的话语、思想、感情等等,把这些重新引用到自己的话语中,这种表达方式就是引述。被引用的话语称为引语。有引语的句子包括引语和说者自己的话这两种文脉。

引语可分为直接引语和间接引语两种。二者之间原则上都可以互相转换。

①「私はすぐ行くよ」と彼は言いました。／他说“我这就去”。②彼はすぐ来ると言いました。／他说他这就来。

从①、②可以看出,转换时人称、动词、终助词等等常需要调整。

【引语动词和记号】引语句常需要引语动词来作谓语。引语动词包括表示

发言方式的语言活动 动词 (A) 和表示语言心理活动的思考和认识活动 动词。主要有:

A. 言う、話す、告げる、伝える、語る、述べる、叫ぶ、ささやく、尋ねる、聞く、問う、教える、答える、書く。

B. 思う、考える、疑う、いぶかる、分る、信じる、認める、押しはかる、判断する、感じる、気付く。

不过, 用という表示的传闻、推量、同格内容 (如: 輪虫という生物/轮虫这种生物) 等用法不看作引述。

格助词と和って 是引语记号。引语实际上相当于宾语, と、って起着宾格助词的作用。试比较:

- ① 人々は地球は平面であると信じていた。/ 人们相信地球是平面。  
② コペルニクスは地球がまるいことを信じていた。/ 哥白尼相信地球是圆的。

⇒ 直接話法、間接話法

わりに (割に、割りに) <词组>

由体言わり和格助词に构成。有时后续は。接续 2 用法相当于接续助词。

【接续】 1. 通过の接体言后。

2. 接活用词连体形后。

3. 接この系列等连体词后。

【意义】表示前后两项不成比例的对照关系。如前后两项都是状态性的, 经过处理可对换 (例③、④), 如有因果性内容则不能 (例⑤、⑥)。

- ① 山田の子供は年のわりに背が高い。/ 山田的小孩儿照年龄比个子很高。  
② 子供は大人より体重のわりには皮膚の面積が多い。/ 儿童单位体重的皮肤面积比成人多。  
③ 自動車が多いわりに道が狭いので、交通事故が絶えない。/ 汽车多而道路相对狭窄, 所以交通事故不断。  
④ 足首が細くやせているわりに、足は大きい。/ 脚脖子又细又干瘪, 相比之下脚很大。  
⑤ 寒かったわりには風邪をひく人は少なかった。/ 就凭天这么冷, 患感冒的人不算多。  
⑥ 勉強したわりに成績が悪かった。/ 按用功的程度, 成绩不好。

【参考】わりに还可以做独立的副词，表示和一般情况比较。

①君はわりに臆病だね。／你有点儿胆小。②話し方が割に速いのでよく聞き取れません。／说得较快，听不清楚。

# を ヲ

を 〈格助詞〉

【接续】接体言后。

①枝を折る。／折树枝。②人民日報などを注文している。／订了《人民日报》等报纸。③社会人と学生とを区別して取り扱う。／把社会上的人和學生区别对待。④眠いのを我慢している。／忍着困劲儿。

△文言还可以接活用词连体形后。

①行くを要す。／应走。②足るを知る。／知足。

后续词一般为动词，常省略。

①森から一羽の鳥が翼をゆるやかに二声三声鳴きながら飛んでいった。／有一只鸟舒展着双翅，叫了两三声就从森林中飞走了。

后续词还有个别的形容词、形容词性词组、无活用的动词性词语等。

①この時計をほしい。／想要这只表。②汚職事件を究明中。／正在追查贪污事件。③お茶を飲みたい。／想喝茶。

△和は的重叠形式参见“をば”项。

【意义・用法】1. 表示各种对象。后续他动词或自动词使役态。

1) 表示受事。即直接接受这个动作的对象。

①父がすいかを二つに割りました。／爸爸把西瓜切成了两半儿。②太郎はいつも花子をいじめゐる。／太郎总欺负花子。③クリスマスの来るのを待っている。／等着圣诞节到来。④漢字を（が）書けますか。／你会写汉字吗？

2) 表示动作行为的结果对象。

①おりがみでツルを作った。／用手工纸做了一只仙鹤。②お湯をわかして下さい。／请给烧开水。③机にあなをあけてはいけない。／不许在桌上挖洞。

3) 表示充当工具、方式、资格性的事物的对象。多可用で代替。

①うすをひく。／拉磨。②機を織る。／织布。③銃を発砲する。／开



枪。④何かの楽器を演奏している。／正演奏着一种乐器。⑤今まで独身を通して。／至今一直过单身。⑥片岡さんは今、愛知芸大の客員教授をつとめている。／片岡先生现任爱知艺大的客座教授。⑦ストライキを戦う。／搞罢工斗争。

#### 4) 表示授受的对象。

①この掛軸を鈴木先生にさしあげるつもりです。／想把这幅挂画敬赠铃木先生。②子供を近所の人に預けて夫婦で働きに出ている。／把孩子托付给附近的人，夫妻都出去工作。③指導権を次官にゆずった。／把领导权让给了次长。

#### 5) 表示精神作用和愿望的对象。

①敵をにくむ。／恨敌人。②痛いのを我慢している。／忍着痛。③おばけをこわがる。／怕妖怪。④先生の死を悲しむ。／对先生的死感到悲痛。⑤失敗を恐れる。／害怕失败。

#### 6) 表示使役对象，即自动词的行为主体。

①午後には学生を休ませることにした。／决定下午让学生休息。②太郎を残らせ，次郎を帰らせた。／让太郎留下，让次郎回去了。③庭のリンゴの木に実をならせている。／让院里的苹果树结果儿了。④目玉をきらきらさせながら見つめている。／用闪闪的目光注视着。

#### 7) 使动作性名词动词化。

①知らないふりをする。／装着不知道。②いねむりをする。／打瞌睡。③不平を言う。／发牢骚。④仕事をやる。／干活儿。

### 2. 表示动作进行的场所。

#### 1) 表示移动性动作经过的场所。

①町中をきれいな川が流れている。／一条清澈的河流经镇内。②飛行機が空を飛んでいる。／飞机在天上飞着。③この角をまがって，歩道を少し歩くとすぐです。／拐过这个弯儿，顺人行道再走一小段就到。④地球は太陽のまわりをまわる。／地球围绕太阳转。⑤門をはいると階段を上がる。／进门后上楼梯。⑥犬が一匹あとを追いかけている。／有一条狗在后面追赶着。⑦汽車は野原を走って山を越えた。／火车穿山越野。⑧川を上流へとさかのぼっていく。／逆河流驶向上游。⑨町をデパート

までやってきた。／順大街一直来到商店。

## 2) 表示动作进行的空间环境。

①あらしのような拍手の中を，背広姿の男が歩いてきた。／在雷鸣般的掌声中，走来一个西装革履的人。②雨の中をさんざん待たせられた。／我在雨中等得好苦。③遠いところをわざわざ，どうもありがとうございました。／谢谢你特定远道而来。④わずか三里を帰らないで一晩泊る。／只有三日里，却不回家住一宿。

## 3) 表示动作的脱离点、分离点。后续表示分离的动词。

①バスを降りる。／下公共汽车。②馬が手綱を抜ける。／马脱缰。③朝七時に家を出て役場に行きます。／早七点离家去单位上班。④月ロケットは地球を離れた。／月球火箭离开了地球。⑤大学を卒業して社会に巣立つ。／大学毕业走向社会。⑥きびしい詮議の目をのがれる。／逃脱严厉的追查。⑦どうしたってここを動かないのか。／你是无论如何也不动这地方啦？⑧それは中野重治が共産党を除名された時です。／那正是中野重治被开除出共产党的时候。

△出现、产生的原地点不能用を表示而要用から。

①朝日が東から（※を）出る。／朝日从东方升起。②涙が目から（※を）出た。／眼里流出泪水。

## 4) 表示动作方向。后续方向性动词。

①海を臨む山／临海的山。②東をゆびさす。／用手指着东方。③背後をふりむこうともしなかった。／连头也没想回一下。④ひたすら高い目標を目指す。／力争上游。⑤天を仰ぎてつばはく。(谚语)／搬起石头砸自己的脚。

## 3. 表示动作进行的时间。

### 1) 表示动作经过、间隔、超过的时间。

①もう八時をまわっている。／已经过八点了。②集会は六時を過ぎると二百人を超えた。／集会过六点时超过了二百人。③毎年半分以上を海外で暮らしてきた。／至今每年都在海外住半年以上。④崖は短かい時間をおいて，二回にわたって崩壊した。／悬崖隔了一小会儿两次塌方。⑤五年を隔てて再会する。／隔五年后重逢。⑥新たな決意をもって，七二

年を闘います。／将以新的决心在1972年努力奋斗。⑦長い夜を勉強する。／长夜学习。

## 2) 表示动作进行的时间环境。

①これは百年後を生きる私たちの課題である。／这是生活在一百年后（的今天）的我们的课题。②白芙蓉が五、六輪夕暮れの秋を淋しく咲いている。／有五六朵白芙蓉在秋日的黄昏里寂然无声地开着。③出発の日に寝込をおそわれて検挙された。／就在出发那天被人乘熟睡时闯进来逮捕了。④往年の腕白少年も今を時めく首相となった。／当年的淘气包也成了当今有名的首相了。⑤梅は寒気の中をまっさきにひらく所がよい。／梅花贵在寒冷中率先开放。⑥危ないところを助かった。／在危险时刻得救了。⑦お忙しいところをわざわざ、ありがとうございました。／谢谢您在百忙中特地光临。

## 4. 表示数量界限。

①毎日30度を越える日が続いている。／连续地每天超过30度。②今年の受験生は3万人を割るでしょう。／今年的考生将不足3万人。③今年の米の収穫高は平年作を下回ると見られる。／看来今年的稻米产量将低于普通年成。

## 5. 其他特殊用法。以下各用法只在特殊场合使用,要防止随意翻造。

1) 用自动词代替与其对应的他动词,以减弱主观性,或暗示这一动作并非单纯出自主观愿望,还有不得已或意料外的原因。

①これでこの時間の放送を終わります。／这次广播到此结束。②年寄は大きな口をあいてあくびをした。／老人张开大嘴打了个哈欠。③彼はユリが年を取っていて殆どめくらなので,自分を必要になったのではないかと心配になったのだった。／他当时很担心,百合会不会是由于上了年纪,又几乎是盲人,才需要起自己来的呢?

2) 为了强调主观态度,用を代替本应用到或其他格助词(例⑤中应为が)来表示的说法。

①お医者さんを頼んで下さい。／请你去请大夫。②学校を遅れたら大変よ。／上学迟了可不得了啊。③娘が自分の部屋をけいこ所にするのを反対ではなかった。／没有反对女儿把自己的房间当作练功场。④これ

はあなたのためを思うからなのよ。／这可是为你着想啊。⑤私の気持ちを分ってもらいたい。／希望你理解我的心情。

3) 由于没有相应的他动词，用自动词来作他动词用。

①返事を急ぐ話ではない。／这事不能匆忙作答。②やれ風邪だ，腹くだしたと言っては通学を休んだ。／动不动就说感冒了、拉肚子了而不去上学。③だらしがないと，先生が佐野をひどくおこった。／老师对佐野大发脾气，说他散漫。④オヤお前は何を泣くの？／咦，你哭什么呢？⑤悪事を働く。／干坏事。

4) 表示共同行为者，相当于と。文言残余。

①母を別れる。／离别母亲。②女房を離婚する。／和老婆离婚。

5) 表示一些动词的同源宾语。

①歌を歌う。／唱歌。②戦いを戦う。／进行战斗。③芭蕉は弟子たちにとりまかれながら厳粛な死を死んでいった。／芭蕉由弟子们围拢着，死得很庄严。④彼は渋い笑いを笑いながら案外まじめに言った。／他含着冷笑，又说得格外认真。⑤人生を生きる。／渡过人生。

6) 省去后项动词，表示余韵未尽等。多用于标题、口号，会话中也有时用。

①あら，そんなことを。／你！竟然说那样的话。②ぜひお取りつぎを。／请你一定给转达。③景気にダイナミックな対応を。（社论题目）／〈要为经济繁荣采取有活力的对策〉

をして 〈复合助词〉

由格助词を，文言助词して构成。

【接续】主要接有关人、团体等的名词后。

【意义】表示使役对象，同口语体的に。在汉文训读文章中要和しめる搭配成～をして～しめる句式。

①私をして言わしめれば，そんなことは不可能である。／依我观之，那种事是不可能的。②君をしてこの本を成なさしめた湯沢博士の御恩は大きいものである。／汤泽博士使君完成此书，恩德很大。③天，物を言わず，民をして言わしめるという諺がある。／有一条谚语说，天不言物，使民言之。



【参考】下例中的をして是格助词を和动词する的一般用法。其中例②习惯上不能说～をあそぶ。

①そんな元気のない顔をしてどうしたんだ。／无精打彩的，是怎么了？②鬼ごっこをして遊ぶ。／玩儿捉迷藏。

～を～に

～を～に<sup>は</sup>して<sup>は</sup>的省略形式，有时して仍保留。在句中构成连用修饰节。主要表示以下几种意义。

### 1. 有关各种场面、场合的。

①子供を相手に話し込んでいる。／只顾和孩子说话。②空や海を背景に，舟が美しく映えている。／在天空和大海的衬托下，船儿映照得很美丽。③学生を前にして何と不体裁なことだろう。／在学生面前，这多不体面啊！④米日政府を相手に勝てるわけはないと彼はいう。／他认为以美日政府为对手不可能获胜。

### 2. 有关时间及顺序的起点、终点和转机的。

①和田静夫の質問を皮きりに，政府側と質疑をかわした。／和田静夫第一个质疑，便和政府方面交换了意见。②魚屋で尋ねたのを手初<sup>め</sup>に，尋ね尋ねて，港からはるか離れた見桃寺に行きついた。／从鱼铺开始一路打听，走到了离码头很远的见桃寺。③岩田さんは福岡県をふりだしに各県の知事を勤めた。／岩田先生历任福岡县以及各县的知事。④田中総理大臣を筆頭に訪中団一行がレセプションに姿を現わした。／以田中首相为首，访华团一行出席了招待会。⑤中学生になったのをきっかけに，頑張ってみるつもりだ。／当上初中生了，今后我要努力学习。⑥裁判長は，今度の裁判を最後に退官すると言いました。／审判长说他结束这次的审判便辞去官职。

### 3. 有关根据、理由的。

①筆不精や多忙を口実に，返事を出さなかった。／以笔懒、繁忙为借口没有回信。②彼はローン不成立を理由に，工事契約の解約を要求した。／他以达不成贷款为理由，要求解除工程的合同。

△还构成惯用的～をさいわい（に）、～をいい（よい）ことに。后者通常有些贬义。

①中川先生が昼頃家にいることをさいわい（に），さっそく訪ねていった。／趁着中川先生中午在家，赶紧去拜访。②片輪者に生まれついたのをいいことに（して），人の情で遊んで飯を食おうとしている。／借着天生为残疾人，想靠别人的同情来吃闲饭。

#### 4. 有关动作的状态、方式的。

①彼らは自分の疲れをそちのけに，助けにやってきてくれた。／他们不顾自己的劳累赶来帮助我。②先生の注意をしりめに，正次はタバコをやめていません。／拿老师的劝戒当耳旁风，正次仍然没有忌烟。③病気の人を別にして，ほかの人は出席しなさい。／有病的人除外，其他人请出席。④旗竿やプラカードを武器に労働者たちは勇敢に反撃した。／工人们以旗杆和标语牌为武器勇敢地反击。

#### 5. 有关目的、目标的。

①うめき声を目当に足音をしのばせて近づいていった。／朝着呻吟声放轻脚步声走上前去。②借金をねらいに行ってみたが，だめでした。／以借钱为目的去了一趟，没成。③子供の成功を楽しみに苦勞に苦勞をしながら頑張っている。／期待着孩子的成功，过着含辛茹苦的生活。

【参考】有时して不省，如1中例③、4中例③。有时连に也省掉，有时を可用も替换。

①工作機械を始め，工業製品も輸出するようになった。／已开始出口机床等工业品了。②人の迷惑もよそに自分勝手にふるまう。／为所欲为全然不顾给别人造成的麻烦。

#### をば 〈复合助词〉

格助词を和提示助词は的重合。は通常代替を，不需重合，但重合时一定取をば形式。这种提示和强调宾格的用法文言中常见。现在除关西方言有所保留外，已很少使用。

①では失礼をば。／那么就告辞了。②自分をば公儀の役人として敬って，何事につけても逆わぬようにしている。／（他）把我当成朝廷的官员来敬重，遇到什么事都顺着我。

#### をもって（を以て） 〈词组〉

由格助词を、动词“以つ”的连用形、接续助词て构成。还可后续す

れば、しても等添加评论的色彩。来源于汉文“以”的训读。

【接续】1. 接体言、体言性词组。

①30才をもって学界に名を知られた。／30岁而知名于学界。②今までの技術手段だけをもってすれば、これらの課題は解決の見込みが薄い。／如仅以现有的技术手段，这些课题解决的可能性不大。

2. 接活用词文言形式的连体形后。

①山高きを以て貴しとせず。(谚语)／山不以高为贵。②国力の強まるを以て世界に進出した。／因国力之强大而走向世界。③その有無をすら明らかにせざるを以て、年代に至っては、全くこれを決定するを得ず。／因其有无亦尚未澄清，至于年代，全然无法断定。

【意义】通常用于有文言色彩的文章及口语中的郑重场合。

1. 表示工具、手段、方法。相当于“で、によって、を使って、を利用して”等。

①これをもって開会の辞といたします。／谨以此作为开幕辞。②いったい神代と言われるその昔，人は何を以て生きるわざとしたのであろうか。／在那被称为神代的古代，人究竟以何为生存手段的呢？③ある場合には臆病をもって自任したくなる位である。／有时甚至想以胆小自居。④全世界の財宝をもってしても彼を幸福にすることはできない。／即使以全世界的财宝也无法使他幸福。⑤この種の家が格別の増加率をもって殖えつつある。／这种房屋正以惊人的速度增加着。

2. 表示依据、根据、理由。相当于“によって、ゆえに”等。

①この一事をもってしても彼の正直なことが分る。／仅以此一事便可见他的正直。②彼は老齡の故をもって辞職を申し出た。／他以高齡为由申请辞职。③ただ実験報告をもってしても，彼の発案の正しさがうかがわれる。／仅凭实验报告即足以窥见他的提案的正确性。

3. 表示期限、数量界限。

①彼は自分が本日をもって破産することを知っている。／他已经知道自己本日要破产。②80歳の高齡をもって現場に赴かれた。／以80岁之高齡亲赴现场。③百人をもって定員とする。／以百人为定員。④同氏は去る5月1日づけをもって現在の任に就いている。／他从去年5月1日

起就任现职。

4. 表示对场合、范围的提示。

①現に、デイケンズをもってしても、その澎湃たる人道的精神の影響は、トルストイやドスイエフスキーにも及んでいるではないか。／实际上、即以狄更斯而论，他那高涨的人道主义精神的影响，难道不也波及到托尔斯泰和陀斯绥耶夫斯基了吗？②その生前をもってすれば、彼も肩書のある門下を持っていた。／若以其生前而论，他也有过有名气的门生。

5. 格助词を的单纯强调。

①重陽ちようようの日をもって再会の日と定めた。／将重阳之日定为再会之日。②このような好記録は同君をもって最初とする。／这样的好记录，为该君首创。③人口は東京をもって第一とする。／人口以东京为最。

6. 用于某些副词后表示强调。不常见。

①年賀状の交換のとき、ついでをもって、今の住所を知らした。／在交换贺年片时顺便告知了现住所。



## ん ン

ん 〈文言推量助动词〉

是文言推量助动词む的音便形在现代日语中的残余。

【活用】一般只用终止形ん和连体形ん。

1. 终止形。

1) 单独结句或后续终助词か表示假定。

①いざや、いざや、見に行かん。(歌词) / 快啊, 快去看(樱花)。②このまま運転せんか、大事故とならん。 / 如继续开下去, 要出大事故的。

2) 后续と。

①彼の言わんとすることは、君にしか分っていない。 / 他要说的话, 只有你明白。

2. 连体形。后续体言、某些格助词、副助词等。

①逃げ出さん下心がちらっている。 / 闪现出要逃走的念头。②あらかぎりの力をふりしぼって投げたした。 / 用尽平生的力气扔了出去。

△借助が来接续则文言色彩更强。

①ただ生きんがために、こんなに仕事をやってきたのだ。 / 仅为求生存, 才做这种工作至今。

【接续】接用言、助动词的未然形。其中サ变用せ。

【意义】1. 表示推测、想象, 等于だろう。

①君にしてこの伎倆あらんとは思いがけなかった。 / 以你而有如此伎倆, 真是没想到啊。②事実の忠実なる記録ならん。 / 将成事实之忠实记录也。

△构成惯用形式～んばかり, 表现几乎达到的程度。参见んばかり、む、ばかり等。

①アナウンサーの声が、耳をろうさんばかりに聞えてきた。 / 传

来了震耳欲聋的广播员的声音。②雨雲はいまにも降り出さんばかりに暗くたれこめている。／乌云密布，眼看就要下起雨来。

## 2. 表示主体的意志、决心。

①つとめぐちを捜さんがために、まるまる半年も東奔西走した。／为找职业，整整半年时间东奔西跑。②善の道に立ち入りたらん人は、御教えにこもる不可思議の甘怪<sup>かんみ</sup>を覚ゆべし。(芥川)／欲成人善道人者，应品尝圣教中所蕴之不可思议之甘味。③紙なければ，土に書かん。空にも書かん。／若无纸，写在大地上！写在天空上！

△构成较常用的んとする形式，表示决心、打算做某事。等于（よう）とする。

①家を出かけんとするところへ訪問客に來られた。／正要离家的时候不巧来了个访问的客人。②解明せんとする意図だけはあるのである。／意欲阐明之心还是有的。③文芸家たらんとする中学生は，すべからく数学を学ぶこと勤勉なるべし。／欲为文艺家之初中生，学习数学当须勤奋。

3. 以～んとする形式表示即将发生的动作或出现的状态。此形式其他用法见1、2。

①俄か雨が止まんとするところに東の空に虹が出た。／骤雨即将止住的时候，东方的天空出现了彩虹。

## 4. 表示劝诱，可以包括说者在内。

①戦わん，我が<sup>はらから</sup>同胞。／战斗吧，我们同胞们！

## 5. 借用想象、推测的方式使语气委婉。

①命のあらんかぎりあなたに仕えます。／我将终生侍候您。②ひげは真白といわんよりは，むしろ黄色である。／胡须与其说是洁白的，毋宁是黄色的。

## 6. 和提示助词ぞ、や等呼应表示反诘。

①働かずして食う道理あらんや。／岂有不劳而食之理？

ん 〈否定助动词〉

【活用】是否定助动词ぬ的音便形。

### 1. 终止形的音便形（←ぬ）。

①ありません。／没有。②飲みませんか。／不喝吗？③分らんから、外の人に聞いてくれ。／我不懂，你去问别的人吧。④あれでは指紋は取れんでしょう。まるで血まみれだ。／那个样子取不了指纹吧？几乎满是血。

## 2. 连体形的音便形（←ぬ）。

①一日の欠席もせんのはいい。／一天也不缺席很好。②あまり遅くならんようにな。／可不要太晚了啊。③事件を起さん限り、私ら警察の仕事にはならんからな。／只要没出案件，就不是我们警察的事啊。

## 3. 连用形。后续て、ても、并浊化，有方言色彩。

①喧嘩せんでもいいじゃないか。／何必非要打架呢？②傘もささんで、いきなり外に飛んでいった。／雨伞也不打，一下子冲到外面。

△ぬ的假定形ね无此音便形。

【接续】接活用词未然形，其中サ变接せ。

【意义】1. 表示否定。见活用例。

△口语中敬体的否定形式只有～ません一种形式。其余在极随便的谈话中使用，一般可用ない代替。非音便形ぬ等只用于文章。

2. 构成一些有否定意义的词语，如“いかん／不行、けしからん／不象话、つまらん／无聊”等，多用于口语。

【参考】关于んばかり中的ん。

汤泽幸吉郎认为从语源上ん是推量助动词む的音便，ばかり同くらい。“拌まんばかりに”等于“拌むぐらいにして”。此用法仍保留至今。

①波濤は天に沖し，濱沿いの村落を一呑みにせんばかりの様相を呈する。／波涛冲天，大有吞没海滨村庄之势。

但从江户时代起，转用为否定动词ぬ。ばかり同だけ，所以也可接于ない后。

①貴下家とは親類でないばかりの間柄ですから。／因与遗府亲如一家。

## んで 〈接续助词〉

1. 由否定助动词ぬ的连用形ん和接续助词て（音便）构成的词组。

【接续】接活用词未然形。其中サ变接と。

【意义】有方言色彩（敬体中除外，如例③）。通常用ないので、**ん**ので代替。

1) 否定中顿，同时前项是后项的顺态的原因、理由。

①言うことを聞かんで、手を焼いている。／不听话，真挠头。②交渉が円満に進行せんで、みんな心配している。／因为交渉进展不顺利，大家都很担心。③何のもてなしもございませんで、本当に申し訳ございませんで。／招待不周，真对不起。

2) 否定中顿，同时前项是逆态的原因，理由。构成～んでも形式则是完全的逆态接续。

①ろくろく勉強もせんで、結構よい成績をあげている。／不好好学习，却取得满不错的成绩。②食べても見んで、不<sup>ま</sup>味いと云っている。／连吃都不吃一口就说不好吃。③そんな本，読まんでもいい。／那种书，不读也可以。

3) 否定中顿。表示“反”和“正”的对照关系。

①あの子は少しも遊ばんで一日中勉強している。／那个孩子一点儿都不玩儿，整天学习。②親のすねをかじらんで自分で働きなさい。／不要靠父母养活，要自己去劳动。③妻はおらんで、鶴がいる。／妻子不在，却有一只仙鹤。

4) 用于后续补助用言。

①読みかけの参考書が並へてあるから、机の上など片付けんでほしい。／因为摆放着读到中间的参考书，不要收拾桌子上面。②悪い意味に取らんで下さい。／请不要误解。

2. 接续助词の在口语中的音便形式。语气较随和。

①雨がひどいんで、来ないだろうと思いましたよ。／因为雨很大，我以为你不会来了呢。②年に何度も祭をやる余裕はないってんで（＝ないというので），正月の一日に一年一度の村祭をやるんだそうさ。／据说是因为没时间（或经费）一年里搞多次庆祝活动，所以在正月初一过一年一度的村节。

「ん」の見分け方 シノミワケカタ ん的词性鉴别

1. 各种用法的の在口语中的音便形式。



- ①僕んとてへ持ってきてなさい。(属格助词の) / 请拿到我这儿来。  
②速く。行くんだよ。(助动词のだ) / 快点儿。要走啦。③ゆうべは俄  
か雨だったんだろう。(のだ的推量形活用词组) / 昨夜下雨雨了吧? ④  
どうです。あるんでしょう。(助动词ののです的活用词组) / 怎么样? 是有  
吧? ⑤それは私んです。(准体助词の) / 那是我的。

2. ら行假名在口语中的音便形式。

- ①つまんない話さ。(つまらない) / 都是无聊的话。

3. 推量助动词和否定助动词ぬ的音便形均接于未然形, 只能靠上  
下文脉才能判断其词性。

## 附 录

### 一、日本常用汉字表

1. 本表是根据日本公布的《常用汉字表》，按汉语拼音音序改编而成的。

2. 字目共有1 945个，字目后〔 〕内的汉字为字体区别较明显的中国汉字。

3. 难读音后举有词例。——表示无音读或无训读。“·”后为送假名。

4. △后的词和读音为《常用汉字表》附录中所复活的部分假借字和熟字训。

5. 音或训后（ ）内为特殊读音的例词。

6. ○表示一些词中的变读。

A		B	
哀	āi アイ	凹	āo オウ
	あわ・れ	——	
	あわ・れむ	△凸凹（でこぼこ）	
愛〔爱〕	ài アイ	奥	ào オウ
——			おく
安	ān アン		
	やす・い	八	bā ハチ
案	àn アン		や（八重桜）
——			や・つ（八つ当たり）
暗	àn アン		やっ・つ
	くら・い		よう（八日）
岸	àn ガン	拔〔拔〕	bá バツ
	きし		ぬ・く
			ぬ・ける

ぬ・かす  
ぬ・かる  
把 bǎ ハ  
——  
○一把 (いちわ)  
三把 (さんば)  
十把 (じっば)  
罷〔罢〕bà ヒ  
——  
霸〔霸〕bà ハ  
——  
白 bái ハク  
ビャク (黒白)  
しろ  
しら  
しろ・い  
百 bǎi ヒャク  
——  
△八百屋 (やおや)  
八百長 (やおちょう)  
敗〔败〕bài ハイ  
やぶ・れる  
拜〔拜〕bài ハイ  
おが・む  
班 bān ハン  
——  
頒〔頒〕bān ハン  
——  
般 bān ハン  
——

搬 bān ハン  
——  
坂 bǎn ハン  
さか  
板 bǎn ハン  
バン (黒板)  
いた  
版 bǎn ハン  
——  
半 bàn ハン  
なか・ば  
伴 bàn ハン  
バン (伴奏)  
とも・なう  
邦 bāng ホウ  
——  
浜〔滨〕bāng〔bīn〕 ヒン  
はま  
傍 bàng ボウ  
かたわ・ら  
棒 bàng ボウ  
——  
包〔包〕bāo ホウ  
つつ・む  
胞〔胞〕bāo ホウ  
——  
褒 bāo ホウ  
ほ・める  
薄〔薄〕báo ハク  
うす・い  
うす・める

うす・まる  
 うす・らぐ  
 うす・れる  
 宝 bǎo ホウ  
 たから  
 飽〔饱〕bǎo ホウ  
 あ・きる  
 あ・かす  
 保 bǎo ホ  
 たも・つ  
 報〔报〕bào ホウ  
 むく・いる  
 暴 bào ポウ  
 バク（暴露）  
 あば・く  
 あば・れる  
 爆 bào バク  
 —  
 卑〔卑〕bēi ヒ  
 いや・しい  
 いや・しむ  
 いや・しめる  
 抱〔抱〕bào ホウ  
 だ・く  
 いだ・く  
 かか・える  
 碑〔碑〕bēi ヒ  
 —  
 悲 bēi ヒ  
 かな・しい

かな・しむ  
 杯 bēi ハイ  
 さかずき  
 北 běi ホク  
 きた  
 背 bèi ハイ  
 せ  
 せい  
 そむ・く  
 そむ・ける  
 倍 bèi バイ  
 —  
 貝〔贝〕bèi —  
 かい  
 輩〔辈〕bèi ハイ  
 —  
 被 bèi ヒ  
 こうむ・る  
 備〔备〕bèi ビ  
 そな・える  
 そな・わる  
 本 běn ホン  
 もと  
 奔 bèn ホン  
 —  
 崩 bēng ホウ  
 くず・れる  
 くず・す  
 △雪崩（なだれ）  
 鼻〔鼻〕bí ビ



はな  
 筆〔笔〕bǐ ヒツ  
 ふで  
 彼 bǐ ヒ  
 かれ  
 かの（彼女）  
 比 bǐ ヒ  
 くら・べる  
 必 bì ヒツ  
 かなら・ず  
 弊 bì ヘイ  
 —  
 幣〔币〕bì ヘイ  
 —  
 閉〔闭〕bì ヘイ  
 と・じる  
 と・ざす  
 し・める  
 し・まる  
 壁 bì ヘキ  
 かべ  
 避 bì ヒ  
 さ・ける  
 陛 bì ヘイ  
 —  
 辺〔边〕biān ヘン  
 あた・り  
 べ（海辺）  
 編〔编〕biān ヘン  
 あ・む

遍 biān ヘン  
 —  
 变〔变〕biàn ヘン  
 か・わる  
 か・える  
 便 biàn ベン  
 ビン（郵便）  
 たよ・り  
 弁〔辨・瓣・辯〕biàn ベン  
 —  
 標〔标〕biāo ヒョウ  
 —  
 表 biǎo ヒョウ  
 おもて  
 あらわ・す  
 あらわ・れる  
 俵 biào ヒョウ  
 たわら  
 別〔别〕bié ベツ  
 わか・れる  
 賓〔宾〕bīn ヒン  
 —  
 氷〔冰〕bīng ヒョウ  
 こおり  
 ひ  
 兵 bīng ヘイ  
 ヒョウ（兵糧）  
 —  
 丙 bǐng ヘイ  
 —

柄 bǐng ヘイ

がら

え

並〔并〕bìng ヘイ

なみ

なら・べる

なら・ぶ

なら・びに

併〔并〕bìng ヘイ

あわ・せる

病 bìng ビョウ

ヘイ (疾病)

や・む

やまい

波 bō ハ

なみ

鉢〔鉢〕bō ハチ

ハツ (衣鉢)

—

博〔博〕bó ハク

バク (博徒)

—

△博士 (はかせ)

泊 bó ハク

と・まる

と・める

伯 bó ハク

—

舶 bó ハク

—

補〔补〕bǔ ホ

おぎな・う

捕 bǔ ホ

と・らえる

と・らわれる

と・る

つか・まえる

つか・まる

部 bù ブ

—

△部屋 (へや)

不 bù フ

ブ (不気味)

—

簿〔薄〕bù ボ

—

布 bù フ

ぬの

怖 bù フ

こわ・い

歩〔步〕bù ホ

ブ (歩合)

フ (歩)

ある・く

あゆ・む

C

擦 cā サツ

す・る

す・さる

裁 cǎi サイ  
た・つ  
さば・く  
才 cǎi サイ  
——  
材 cái ザイ  
——  
財〔財〕cái ザイ  
サイ (財布)  
——  
採〔采〕cǎi サイ  
と・る  
彩 cǎi サイ  
いろど・る  
菜 cài サイ  
な  
参 cān サン  
まい・る  
蚕 cán サン  
かいこ  
殘〔残〕cán ザン  
のこ・る  
のこ・す  
△名殘 (なごり)  
慘 cǎn サン  
ザン (惨殺)  
みじ・め  
倉〔仓〕cāng ソウ  
くら  
蔵〔藏〕cáng ゾウ

くら  
操 cāo ソウ  
みさお  
あやつ・る  
曹 cáo ソウ  
——  
槽 cáo ソウ  
——  
草 cǎo ソウ  
くさ  
△草履 (ぞうり)  
策 cè サク  
——  
測〔測〕cè ソク  
はか・る  
側〔側〕cè ソク  
かわ  
冊〔册〕cè ッツ  
サク (短冊タンザク)  
——  
層〔层〕céng ソウ  
——  
差〔差〕chā サ  
さ・す  
插〔插〕chā ソウ  
さ・す  
查〔查〕chá サ  
茶 chá チャ  
サ (喫茶)  
——

察chá サツ

—

禅〔禅〕chán ゼン

—

産〔产〕chǎn サン

う・む

う・まれる

うぶ

△土産（みやげ）

償〔偿〕cháng ショウ

つぐな・う

常 cháng ショウ

つね

とこ

長〔长〕cháng チョウ

なが・い

腸〔肠〕cháng チョウ

—

場〔场〕chǎng ショウ

ば

唱 chàng ショウ

とな・える

抄 chāo ショウ

—

超 chāo チョウ

こ・える

こ・す

朝 cháo・zhāo チョウ

あさ

△今朝（けさ）

潮 cháo チョウ

しお

巢〔巢〕cháo ソウ

す

車〔车〕chē シャ

くるま

△山車（だし）

撤 chè テツ

—

徹 chè テツ

—

臣 chén シン

シン（大臣）

—

陳〔陈〕chén チン

—

称〔称〕chēng ショウ

—

成 chéng セイ

ジョウ（成就）

な・る

な・す

城 chéng ショウ

しろ

誠〔诚〕chéng セイ

まこと

澄 chéng チョウ

す・む

す・ます

呈 chéng テイ



—	は・ずかしい
程 chéng テイ	尺 chǐ シャク
—	—
ほど	赤 chì セキ
乗〔乗〕 cnéng ジョウ	—
の・る	シャク (赤銅)
の・せる	あか
懲〔懲〕chéng チョウ	あか・い
こ・りる	あか・らむ
こ・らす	あか・らめる
こ・らしめる	△真っ赤 (まっか)
承 chéng ショウ	勅〔敕〕chì チョク
うけたまわ・る	—
喫〔吃〕chī キツ	—
—	斥 chì セキ
—	—
痴 chī チ	沖〔冲〕chōng チュウ
—	おき
持 chí ジ	充 chōng ジュウ
も・つ	あ・てる
遅〔迟〕 chí チ	衝〔冲〕chōng ショウ
おく・れる	—
おく・らす	虫 chóng チュウ
おそ・い	むし
池 chí チ	崇 chóng スウ
いけ	—
齒〔齿〕chǐ シ	銃〔銃〕chòng ジュウ
は	—
恥〔耻〕chǐ チ	抽 chōu チュウ
は・じる	—
はじ	酬 chóu シュウ
は・じらう	—

愁 chóu シュウ

うれ・える

うれ・い

醜〔丑〕chǒu シュウ

みにく・い

初 chū ショ

はじ・め

はじ・めて

はっ

うい

そ・める

出 chū シュツ

スイ (出納)

で・る

だ・す

除 chú ジョ

ジ (掃除)

のそ・く

処〔处〕chǔ ショ

—

礎〔础〕chǔ ソ

いしずえ

畜 chù チク

—

触〔触〕chù ショク

ふ・れる

さわ・る

川 chuān セン

かわ

伝〔传〕chuán デン

つた・わる

つた・える

つた・う

△伝馬船 (てんません)

手伝 (てつだ・う)

船 chuán セン

ふね

ふな (船賃)

窓〔窗〕chuāng ソウ

まど

床 chuáng ショウ

とこ

ゆか

創〔创〕chuàng ソウ

—

吹 chuī スイ

ふ・く

△息吹 (いぶき)

吹雪 (ふぶき)

炊 chuī スイ

た・く

垂 chuī スイ

た・れる

た・らす

錘〔锤〕chuí スイ

つむ

唇 chún シン

くちびる

純〔纯〕chún ジュン

—

春 chūn シュン

はる

磁 cí ジ

——

慈 cí ジ

いつく・しむ

雌 cí シ

めす

辞 cí ジ

や・める

詞〔词〕cí シ

——

△祝詞（のりと）

次 cì ジ

シ（次第）

つ・ぐ

つぎ

刺 cì シ

さ・す

さ・さる

賜〔赐〕cì シ

たまわ・る

従〔从〕cóng ジュウ

ジュ（従一位）

ショウ（従容）

したが・う

したが・える

粗 cū ソ

あら・い

酢 cù サク

す

促 cù ソク

うなが・す

催 cuī サイ

もよお・す

粹〔粹〕cuì スイ

——

村 cūn ソン

むら

存 cún ソン

ゾン（保存）

——

寸 cùn スン

——

撮 cuō サツ

と・る

措 cuò ソ

——

錯〔错〕cuò サク

——

## D

搭 dā トウ

——

答 dá トウ

こた・える

こた・え

達〔达〕dá タツ

——

△友達（ともだち）

打 dǎ ダ

う・つ

大 dà ダイ タイ

おお

おお・きい

おお・いほ

△大人(おとな)

大和(やまと)

逮 dǎi タイ

—

待 dài タイ

ま・つ

代 dài ダイ

タイ(交代)

か・わる

か・える

よ

しろ

袋 dài タイ

ふくろ

△足袋(たび)

貸〔貸〕 dài タイ

か・す

帯〔帯〕 dài タイ

お・びる

おび

怠 dài タイ

おこた・る

なま・ける

单〔单〕 dān タン

—

丹 dān タン

—

担 dān タン

かつ・ぐ

にな・う

胆 dǎn タン

—

但 dàn —

ただ・し

淡 dàn タン

あわ・い

誕〔诞〕 dàn タン

—

弹〔弹〕 dàn ダン

ひ・く

はず・む

たま

当 dāng トウ

あ・たる

あ・てる

党 dǎng トウ

—

刀 dāo トウ

かたな

△太刀(たち)

竹刀(しなひ)

倒 dǎo トウ

たお・れる

たお・す

島〔島〕 dǎo トウ

しま



導〔導〕 dǎo ドウ

みちび・く

道 dào ドウ

トウ (神道)

みち

到 dào トウ

——

盗 dào トウ

ぬす・む

悼 dào トウ

いた・む

稻〔稻〕 dào トウ

いね

いな (稲作)

德〔德〕 dé トク

——

得 dé トク

え・る

う・る

登 dēng トウ

ト (登山)

のぼ・る

灯 dēng トウ

ひ

等 děng トウ

ひと・しい

滴 dī テキ

しずく

したた・る

堤 dī テイ

つつみ

低 dī テイ

ひく・い

ひく・める

ひく・まる

嫡 dī チャク

——

敵〔敵〕 dī テキ

かたき

笛 dī テキ

ふえ

底 dǐ テイ

そこ

邸 dǐ テイ

——

抵 dǐ テイ

——

的 dì テキ

まと

帝 dì テイ

——

締〔締〕 dì テイ

し・まる

し・める

弟 dì テイ

ダイ (兄弟)

デ (弟子)

おとうと

第 dì ダイ

——

通〔逵〕 dì テイ

—

地 dì チ シ

—

点 diǎn テン

—

典 diǎn テン

—

電〔电〕 diàn テン

—

店 diàn テン

みせ

殿 diàn デン

テン（御殿）

との

どの（～殿）

彫〔雕〕 diāo チョウ

ほ・る

調〔调〕 diào チョウ

しら・べる

ととの・う

ととの・える

吊 diào チョウ

とむら・う

釣〔钓〕 diào チョウ

つ・る

迭 dié テツ

—

畳〔叠〕 dié ジョウ

たた・む

たたみ

丁 dīng チョウ

テイ（丁字路）

—

町 dīng チョウ

まち

頂〔顶〕 dǐng チョウ

いただ・く

いただき

訂〔订〕 dìng テイ

—

定 dìng テイ

ジョウ（定石）

さだ・める

さだ・まる

さだ・か

錠〔錠〕 dìng ジョウ

—

冬 dōng トウ

ふゆ

東〔东〕 dōng トウ

ひがし

動〔动〕 dòng ドウ

うご・く

うご・かす

働 dòng ドウ

はたら・く

凍〔冻〕 dòng トウ

こお・る

こご・える

棟〔栋〕 dòng トウ

むね

むな（棟木）

洞 dòng ドウ

ほら

胴 dòng ドウ

――

斗 dǒu ト

――

豆 dòu トウ

ズ（大豆）

まめ

△小豆（あずき）

痘 dòu トウ

――

闘〔斗〕 dòu トウ

たたか・う

都 dū ト

ツ（都合）

みやこ

督 dū トク

――

毒〔毒〕 dú ドク

――

読〔读〕 dú ドク

トク（読本）

トウ（読点）

よ・む

△読経（どきょう）

独 dú ドク

ひと・り

篤〔笃〕 dǔ トク

――

度 dù ド

ト（法度）

タク（支度）

たび

渡 dù ト

わた・る

わた・す

端 duān タン

はし

は

はた

短 duǎn タン

みじか・い

断 duàn ダン

た・つ

ことわ・る

段 duàn ダン

――

鍛〔锻〕 duàn タン

きた・える

対〔对〕 duì タイ

ツイ（一対）

――

隊〔队〕 duì タイ

――

鈍〔钝〕 dùn ドン

にぶ・い

にぶ・る  
 盾 dùn ジュン  
 たて  
 多 duō タ  
 おお・い  
 奪〔夺〕 duó ダツ  
 うば・う  
 惰 duò ダ  
 —  
 堕 duò ダ  
 —

## E

額〔額〕 é ガク  
 ひたい  
 厄 è ヤク  
 —  
 恶〔恶〕 è アク  
 オ（憎恶）  
 わる・い  
 餓〔饿〕 è ガ  
 —  
 恩 ēn オン  
 —  
 児〔儿〕 ér シ  
 ニ（小児科）  
 —  
 △稚児（ちご）  
 耳 ěr シ  
 みみ  
 二 èr ニ

ふた  
 ふた・つ  
 △二十歳（はたち）  
 二十日（はつか）  
 二日（ふつか）  
 十重二十重（とえはたえ）  
 式〔式〕 èr ニ  
 —

## F

発〔发〕 fā ハツ  
 ホツ（発作）  
 —  
 罰〔罚〕 fá バツ  
 バチ（罰当たり）  
 —  
 閥〔阀〕 fá バツ  
 —  
 乏 fá ボウ  
 とぼ・しい  
 伐 fá バツ  
 —  
 法 fǎ ホウ  
 ハツ（法度）  
 ホツ（法主）  
 —  
 髮〔发〕 fà ハツ  
 かみ  
 △白髮（しらが）  
 番 fān バン



翻 fān ホン

ひるがえ・る

ひるがえ・す

藩 fān ハン

帆 fān ハン

ほ

煩〔煩〕 fān ハン

ボン（煩惱）

わずら・う

わずら・わす

凡 fān ボウ

ハン（凡例）

繁〔繁〕 fān ハン

反 fǎn ハン

ホン（謀反）

タン（反物）

そ・る

そ・らす

返 fǎn ヘン

かえ・す

かえ・る

販〔販〕 fàn ハン

飯〔飯〕 fàn ハン

めし

範〔范〕 fàn ハン

犯 fàn ハン

おか・す

方 fāng ホウ

かた

△行方（ゆくえ）

芳 fāng ホウ

かんば・しい

防 fáng ボウ

ふせ・ぐ

房 fáng ボウ

ふさ

肪 fáng ボウ

妨 fáng ボウ

さまた・げる

坊 fáng ボウ

ボッ（坊ちゃん）

訪 fǎng ホウ

おとず・れる

たず・ねる

倣〔仿〕 fǎng ホウ

なら・う

紡〔紡〕 fǎng ボウ

つむ・ぐ

放 fàng ホウ

はな・す

はな・つ

はな・れる

非 fēi ヒ

—

扉 fēi ヒ

とびら

飛〔飞〕 fēi ヒ

と・ぶ

と・ばす

妃 fēi ヒ

—

肥 féi ヒ

こ・える

こえ

こ・やす

こ・やし

廢〔废〕 fèi ハイ

すた・れる

すた・る

沸 fèi フツ

わ・く

わ・かす

費〔费〕 fèi ヒ

つい・やす

つい・える

肺 fèi ハイ

—

分 fēn ブン

ブン（分別）

ブ（五分）

わ・ける

わ・かれる

わ・かる

わ・かつ

紛〔纷〕 fēn フン

まぎ・れる

まぎ・らす

まぎ・らわす

まぎ・らわしい

雰 fēn フン

—

墳〔坟〕 fén フン

—

粉 fěn フン

こ

こな

憤〔愤〕 fèn フン

いきどお・る

奮〔奋〕 fèn フン

ふる・う

封 fēng フウ

ホウ（封建的）

—

豊〔丰〕 fēng ホウ

ゆた・か

風〔风〕 fēng フウ

フ（風情）

かぜ

かざ（風車）

△風邪（かぜ）

峰 fēng ホウ

みね

縫〔縫〕 féng ホウ

ぬ・う

奉 fèng ホウ

ブ（奉行）

たてまつ・る

俸 fèng ホウ

——

仏〔佛〕 fó ブツ

ほとけ

否 fǒu ヒ

いな

膚〔肤〕 fū フ

——

敷〔敷〕 fū フ

し・く

△棧敷（さじき）

夫 fū フ

フウ（夫婦）

おっと

扶 fú フ

——

浮 fú フ

う・く

う・かれる

う・かぶ

う・かべる

△浮気（うわき）

伏 fú フク

ふ・せる

ふ・す

福 fú フク

——

払〔拂〕 fú フツ

はら・う

服 fú フク

——

幅 fú フク

はば

符 fú フ

——

府 fǔ フ

——

腐 fǔ フ

くさ・る

くさ・れる

くさ・らす

付 fù フ

つ・ける

つ・く

附 fù フ

——

賦〔賦〕 fù フ

——

富 fù フ

フウ（富貴）

と・む

とみ

副 fù フク

——

赴 fù フ

おもむ・く  
 父 fù フ  
 ちち  
 △叔父(おじ)  
 お父(とう)さん  
 複〔復〕fù フク  
 —  
 復〔復〕fù フク  
 —  
 覆 fù フク  
 おお・う  
 くつがえ・す  
 くつがえ・る  
 腹 fù フク  
 はら  
 負〔負〕fù フ  
 ま・ける  
 ま・かす  
 お・う  
 縛〔縛〕fù バク  
 しば・る  
 婦〔婦〕fù フ

## G

該 gāi ガイ  
 —  
 改 gǎi カイ  
 あらた・める  
 あらた・まる  
 概 gài ガイ

—  
 干 gān カン  
 ほ・す  
 ひ・る  
 肝 gān カン  
 きも  
 乾〔干〕gān カン  
 かわ・く  
 かわ・かす  
 甘 gān カン  
 あま・い  
 あま・える  
 あま・やかす  
 感 gǎn カン  
 —  
 敢 gǎn カン  
 —  
 幹〔干〕gàn カン  
 みき  
 紺〔紺〕gàn コン  
 —  
 剛〔剛〕gāng ゴウ  
 —  
 鋼〔钢〕gāng コウ  
 はがね  
 綱〔纲〕gāng コウ  
 つな  
 港〔港〕gǎng コウ  
 みなと  
 高 gāo コウ



たか・い  
 たか  
 たか・まる  
 たか・める  
 稿 gǎo コウ  
 —  
 告 gào コク  
 つ・げる  
 割〔割〕 gē カツ  
 わ・る  
 わり  
 わ・れる  
 さ・く  
 歌 gē カ  
 うた  
 うた・う  
 革 gé カク  
 かわ  
 隔〔隔〕 gé カク  
 へだ・てる  
 へだ・たる  
 閣〔閣〕 gě カク  
 —  
 格 gé カク  
 コウ（格子）  
 —  
 個〔个〕 gè コ  
 —  
 箇〔个〕 gè カ  
 —

各 gè カク  
 おのおの  
 給〔给〕 gěi キュウ  
 —  
 根 gēn コン  
 ね  
 耕 gēng コウ  
 たがや・す  
 更 gèng コウ  
 さら  
 ふ・ける  
 ふ・かす  
 工 gōng コウ ク  
 —  
 攻 gōng コウ  
 せ・める  
 功 gōng コウ  
 ク（功德）  
 —  
 恭 gōng キョウ  
 うやうや・しい  
 公 gōng コウ  
 おおやけ  
 弓 gōng キュウ  
 ゆみ  
 宮〔宫〕 gōng キュウ  
 グウ（神宮）  
 ク（宮内庁）  
 みや  
 貢〔贡〕 gòng コウ

ク (年貢)		固 gù コ	
みつ・ぐ		かた・める	
共 gòng キョウ		かた・まる	
とも		かた・い	
供 gòng キョウ		雇 gù コ	
ク (供物)		やと・う	
そな・える		顧 [顧] gù コ	
とも		かえり・みる	
溝 [沟] gōu コウ		寡 guǎ カ	
みぞ		—	
購 [购] gòu コウ		掛 [挂] guà —	
—		か・ける	
構 [构] gòu コウ		か・かる	
かま・える		かかり	
かま・う		拐 [拐] guǎi カイ	
孤 gū コ		—	
—		怪 guài カイ	
骨 [骨] gǔ コツ		あや・しい	
ほね		あや・しむ	
鼓 gǔ コ		関 [关] guān カン	
つづみ		せき	
穀 [谷] gǔ コク		観 [观] guān カン	
—		—	
谷 gǔ コク		官 guān カン	
たに		—	
古 gǔ コ		棺 guān カン	
ふる・い		—	
ふる・す		館 [馆] guǎn カン	
故 gù コ		—	
ゆえ		管 guǎn カン	

くだ  
 缶〔罐〕 guān カン  
 —  
 冠 guān カン  
 かんむり  
 貫〔贯〕 guān カン  
 つらぬ・く  
 慣〔惯〕 guān カン  
 な・れる  
 な・らす  
 光 guāng コウ  
 ひか・る  
 ひかり  
 広〔广〕 guǎng コウ  
 ひろ・い  
 ひろ・まる  
 ひろ・める  
 ひろ・がる  
 ひろ・げる  
 規〔规〕 guī キ  
 —  
 帰〔归〕 guī キ  
 かえ・る  
 かえ・す  
 鬼〔鬼〕 guǐ キ  
 おに  
 軌〔轨〕 guǐ キ  
 —  
 貴〔贵〕 guì キ  
 たっと・い

とうと・い  
 たっと・ぶ  
 とうと・ぶ  
 郭 guō カク  
 —  
 国 guó コク  
 くに  
 果 guǒ カ  
 は・たす  
 は・てる  
 はて  
 △果物（くだもの）  
 菓〔果〕 guǒ カ  
 —  
 過〔过〕 guò カ  
 す・ぎる  
 す・ごす  
 あやま・つ  
 あやま・ち

H

海〔海〕 hǎi カイ  
 うみ  
 △海女（あま）  
 海原（うなばら）  
 害〔害〕 hài ガイ  
 —  
 寒 hán カン  
 さむ・い  
 含 hán ガン

ふく・む  
 ふく・める  
 漢〔汉〕hàn カン  
 —  
 汗 hàn カン  
 あせ  
 憾 hàn カン  
 —  
 航 háng コウ  
 —  
 豪 háo ゴウ  
 —  
 好 hǎo コウ  
 この・む  
 す・く  
 号 hào ゴウ  
 —  
 耗 hào モウ  
 コウ（心神耗弱）  
 —  
 喝〔喝〕hē カツ  
 —  
 核 hé カク  
 —  
 劾 hé ガイ  
 —  
 河 hé カ  
 かわ  
 △河岸（かし）  
 河原（かわら）

何 hé カ  
 なに  
 なん（何点）  
 合 hé ゴウ ガッ  
 カッ（合戦）  
 あ・う  
 あ・わす  
 あ・わせる  
 和 hé ワ  
 オ（和尚）  
 やわ・らぐ  
 やわ・らげる  
 なご・む  
 なご・やか  
 △大和（やまと）  
 日和（ひより）  
 賀〔贺〕hè ガ  
 —  
 褐〔褐〕hè カツ  
 —  
 荷 hè カ  
 に  
 黒〔黑〕hēi コク  
 くろ  
 くろ・い  
 恨 hèn コン  
 うら・む  
 うら・めしい  
 横 héng オウ  
 よこ



恒 héng コウ

—

衡 héng コウ

—

洪 hóng コウ

—

紅〔紅〕hóng コウ

ク（真紅）

べに

くれない

△紅葉（もみじ）

侯 hòu コウ

—

候 hóu コウ

そうろう

後〔后〕hòu ゴ コウ

のち

うし・ろ

あと

おく・れる

后 hòu コウ

—

厚 hòu コウ

あつ・い

呼 hū コ

よ・ぶ

湖 hú コ

みずうみ

弧 hú コ

—

戸 hù コ

と

護〔护〕hù ゴ

—

互 hù ゴ

たが・い

花 huā カ

はな

滑〔滑〕huá カツ

すべ・る

なめ・らか

華〔华〕huá カ

ケ（散華サンゲ）

はな

画〔画・划〕huà ガ カク

—

話〔话〕huà ワ

はな・す

はなし

化 huà カ

ケ（化粧）

ば・ける

ば・かす

懷〔怀〕huái カイ

ふところ

なつ・かしい

なつ・かしむ

なつ・く

なつ・ける

壞〔坏〕huài カイ

こわ・す  
 こわ・れる  
 歡〔欢〕huān カン  
 —  
 還〔还〕huán カン  
 —  
 環〔环〕huán カン  
 —  
 緩〔缓〕huǎn カン  
 ゆる・い  
 ゆる・やか  
 ゆる・む  
 ゆる・める  
 患 huàn カン  
 わずら・う  
 喚〔喚〕huàn カン  
 —  
 換〔換〕huàn カン  
 か・える  
 か・わる  
 幻 huàn ゲン  
 まぼろし  
 荒 huāng コウ  
 あら・い  
 あ・れる  
 あ・らす  
 慌 huāng コウ  
 あわ・てる  
 あわ・ただし  
 黃 huáng コウ

オウ (黄金)  
 き (黄色)  
 こ (黄金)  
 皇 huáng コウ  
 —  
 ○天皇 (てんのう)  
 揮〔挥〕huī キ  
 —  
 輝〔辉〕huī キ  
 かがや・く  
 灰〔灰〕huī カイ  
 はい  
 回 huí カイ  
 エ (回向)  
 まわ・る  
 まわ・す  
 悔〔悔〕huǐ カイ  
 く・いる  
 く・やむ  
 くや・しい  
 会 huì カイ  
 エ (会釈)  
 あ・う  
 恵〔惠〕huì ケイ  
 エ (知恵)  
 めぐ・む  
 絵〔绘〕huì カイ エ  
 —  
 賄〔賄〕huì ワイ  
 まかな・う

婚 hūn コン

—

魂〔魂〕hún コン

たましい

混 hùn コン

ま・じる

ま・ざる

ま・ぜる

活 huó カツ

—

火 huǒ カ

ひ

ほ（火影）

惑 huò ワク

まど・う

獲〔获〕huò カク

え・る

穫〔获〕huò カク

—

禍〔祸〕huò カ

—

貨〔货〕huò カ

—

」

跡〔迹〕jī セキ

あと

撃〔击〕jī ゲキ

う・つ

基 jī キ

もと（基づく）

もとい

姫〔姬〕jī —

ひめ

積〔积〕jī セキ

つ・む

つ・もる

績〔绩〕jī セキ

—

激 jī ゲキ

はげ・しい

机 jī キ

つくえ

機〔机〕jī キ

はた

鷄〔鸡〕jī ケイ

にわとり

飢〔饥〕jī キ

う・える

肌 jī —

はだ

籍 jī セキ

—

疾 jī シツ

—

集 jī シュウ

あつ・まる

あつ・める

つど・う

及 じ キュウ

およ・ぶ

およ・び

およ・ぼす

級〔級〕じ キュウ

—

極〔极〕じ キョク

ゴク (至極)

きわ・める

きわ・まる

きわ・み

吉 じ キチ

キツ (不吉)

—

急 じ キュウ

いそ・ぐ

即 じ ソク

—

幾〔几〕じ キ

いく

己 じ コ

キ (知己)

おのれ

剂〔剂〕じ ザイ

—

济〔济〕じ サイ

す・む

す・ます

祭 じ サイ

まつ・る

まつ・り

際〔际〕じ サイ

きわ

計〔计〕じ ケイ

はか・る

はか・らう

技 じ ギ

わざ

寄 じ キ

よ・る

よ・せる

△寄席 (よせ)

既 じ キ

すで・に

記〔记〕じ キ

しる・す

忌 じ キ

い・む

い・まわしい

紀〔纪〕じ キ

—

季 じ キ

—

寂 じ ジャク

セキ (寂然)

さび

さび・しい

さび・れる

继〔继〕じ ケイ

つ・ぐ



家 jiā カ ケ  
     いえ  
     や (家主)  
 佳 jiā カ  
     —  
 加 jiā カ  
     くわ・える  
     くわ・わる  
 甲 jiǎ コウ  
     カン (甲板)  
     —  
 岬 jiǎ —  
     みさき  
 仮〔假〕jiǎ カ  
     ケ (仮病)  
     かり  
 △仮名 (かな)  
 稼 jiā カ  
     かせ・ぐ  
 嫁 jià カ  
     よめ  
     とつ・ぐ  
 価〔价〕jià カ  
     あたい  
 架 jià カ  
     か・ける  
     か・かる  
 兼 jiān ケン  
     か・ねる  
 肩 jiān ケン

かた  
 監〔监〕jiān カン  
     —  
 堅〔坚〕jiān ケン  
     かたい  
 間〔间〕jiān カン  
     ケン (世間)  
     あいだ  
     ま  
 簡〔简〕jiǎn カン  
     —  
 減〔减〕jiǎn ゲン  
     へ・る  
     へ・らす  
 繭〔茧〕jiǎn ケン  
     まゆ  
 検〔检〕jiǎn ケン  
     —  
 儉〔俭〕jiǎn ケン  
     —  
 劍〔剑〕jiàn ケン  
     つるぎ  
 艦〔舰〕jiàn カン  
     —  
 漸〔渐〕jiàn ゼン  
     —  
 見〔见〕jiàn ケン  
     み・る  
     み・える  
     み・せる

件 jiàn ケン

—

建 jiàn ケン

コン (建立)

た・てる

た・つ

健 jiàn ケン

すこ・やか

薦〔荐〕jiàn セン

すす・める

踐〔踐〕jiàn セン

—

鑑〔鑑〕jiàn カン

—

江 jiāng コウ

え

講〔讲〕jiǎng コウ

—

獎〔奖〕jiǎng ショウ

—

将〔将〕jiāng ショウ

—

匠 jiàng ショウ

—

降 jiàng コウ

お・りる

お・ろす

ふ・る

交 jiāo コウ

まじ・わる

まじ・える

ま・じる

ま・ざる

ま・ぜる

か・う

か・わす

郊 jiāo コウ

—

焦 jiāo ショウ

こ・げる

こ・がす

こ・がれる

あせ・る

礁 jiāo ショウ

—

矯〔矫〕jiǎo キョウ

た・める

角 角 jiǎo カク

かど

つの

脚 jiǎo キャク

キャ (行脚)

あし

絞〔绞〕jiǎo コウ

しば・る

し・める

し・まる

教 jiào キョウ

おし・える

おそ・わる

酵 jiào コウ

——

叫 jiào キョウ

さけ・ぶ

較〔較〕jiào カク

——

接 jiē セツ

つ・ぐ

掲〔掲〕jiē ケイ

かか・げる

街 jiē ガイ

カイ（街道）

まち

皆 jiē カイ

みな

階〔階〕jiē カイ

——

潔〔洁〕jié ケツ

いさぎよ・い

結〔结〕jié ケツ

むす・ぶ

ゆ・う

ゆ・わえる

傑〔杰〕jié ケツ

——

詰〔詰〕jié キツ

つ・める

つ・まる

つ・む

節〔节〕jié セツ

セチ（お節料理）

ふし

解〔解〕jiě カイ

ゲ（解熱剤）

と・く

と・かす

と・ける

借 jiè シャク

か・りる

介 jiè カイ

——

界 jiè カイ

——

戒 jiè カイ

いまし・める

届 jiē ——

とど・ける

とど・く

今 jīn コン

キン（今上）

いま

△今日（きょう）

今朝（けさ）

今年（ことし）

金 jīn キン

コン（金色）

かね

かな（金具）

筋 jīn キン

すじ

津 jīn シン

つ

斤 jīn キン

—

襟 jīn キン

えり

緊〔緊〕jǐn キン

—

謹〔謹〕jǐn キン

つつし・む

禁 jìn キン

—

進〔進〕jìn シン

すす・む

すす・める

近 jìn キン

ちか・い

浸 jìn シン

ひた・す

ひた・る

尽 jìn ジン

つ・くす

つ・きる

つ・かす

京 jīng キョウ

ケイ (京阪)

—

鯨〔鯨〕jīng ゲイ

くじら

驚〔惊〕jīng キョウ

おどろ・く

おどろ・かす

精 jīng セイ

シヨウ (不精)

—

晶 jīng ショウ

—

経〔经〕jīng ケイ

キョウ (経文)

へ・る

茎〔莖〕jīng ケイ

くき

井 jǐng セイ

シヨウ (天井テンジョウ)

い

景 jǐng ケイ

—

△景色 (けしき)

警 jǐng ケイ

—

境 jìng キョウ

ケイ (境内)

さかい

鏡〔镜〕jìng キョウ

かがみ

△眼鏡 (めがね)

競〔竞〕jìng キョウ

ケイ (競馬)

きそ・う

せ・る



敬 jìng ケイ

うやま・う

浄〔浄〕jìng ジョウ

—

静 jìng セイ

ジョウ（静脈）

しず

しず・か

しず・まる

しず・める

径〔径〕jìng ケイ

—

糾〔纠〕jiū キュウ

—

究 jiū キュウ

きわ・める

酒 jiǔ シュ

さけ

さか（酒屋）

△お神酒（みき）

九 jiǔ キュウ ク

ここの

ここの・つ

久 jiǔ キュウ

ク（久遠）

ひさ・しい

救 jiù キュウ

すく・う

就 jiù シュウ

ジュ（成就）

つ・く

つ・ける

旧 jiù キュウ

—

居 jū キョ

い・る

△一言居士（いちげんこじ）

拘 jū コウ

—

局 jú キョク

—

菊 jú キク

—

举〔举〕jǔ キョ

あ・げる

あ・がる

具〔具〕jù グ

—

句 jù ク

—

拒 jù キョ

こば・む

距 jù キョ

—

据 jù —

す・える

す・わる

巨 jù キョ

—

拠〔据〕jī キョ

コ (証拠)

劇〔剧〕jù ゲキ

卷〔卷〕juǎn カン

ま・く

まき

絹〔绢〕juān ケン

きぬ

覚〔覚〕jué カク

おぼ・える

さ・ます

さ・める

爵 jué シャク

決 jué ケツ

き・める

き・まる

絶〔絶〕jué ゼツ

た・える

た・やす

た・つ

掘 jué クツ

ほ・る

菌 jūn キン

軍〔军〕jūn ゲン

均 jūn キン

君 jūn クン

きみ

郡 jùn グン

俊 jùn シュン

K

開〔开〕kāi カイ

ひら・く

ひら・ける

あ・く

あ・ける

慨 kǎi ガイ

堪 kān カン

た・える

刊 kān カン

勘 kān カン

看 kàn カン

康 kāng コウ

抗 kàng コウ

考 kǎo コウ

かんが・える

拷 kǎo ゴウ

科 kē カ

殻〔壳〕ké カク

から

可 kě カ

渴〔渴〕kě カツ

かわ・く

刻 kè コク

きざ・む

克 kè コク

課〔課〕kè カ

客 kè キャク

カク（旅客）

肯 kěn コウ

懇〔懇〕kěn コン

ねんど・ろ

壑〔壑〕kěn コン

坑 kēng コウ

空 kōng クウ

そら

あ・く

あ・ける

から

恐 kǒng キョウ

おそ・れる

おそ・ろしい

孔 kǒng コウ

控 kòng コウ

ひか・える

口 kǒu コウ ク

くち

枯 kū コ

か・れる

か・らす

堀 kū ——

ほり

苦 kǔ ク

くる・しい

くる・しむ

くる・しめる

にが・い

にが・る

酷 kù コク

庫〔库〕kù コ

ク（庫里）

誇〔夸〕kuā コ

ほこ・る

快 kuài カイ

ところよ・い

塊〔块〕kuài カイ

かたまり

寛〔寛〕kuān カン

—

款 kuǎn カン

—

狂 kuáng キョウ

くる・う

くる・おいしい

鉉〔矿〕kuàng コウ

—

況〔況〕kuàng キョウ

—

昆 kūn コン

—

困 kùn コン

こま・る

括 kuò カツ

—

拡〔扩〕kuò カク

—

## L

来 lái ライ

く・る

きた・る

きた・す

瀨〔瀬〕lài —

せ

頼〔赖〕lài ライ

たの・む

たの・もしい

たよ・る

欄〔栏〕lán ラン

—

覧〔览〕lǎn ラン

—

濫 lǎn ラン

—

郎 láng ロウ

—

廊 láng ロウ

—

朗 lǎng ロウ

ほが・らか

浪 làng ロウ

—

劳 láo ロウ

—

老 lǎo ロウ

お・いる

ふ・ける

酪 lào ラク

—

雷 léi ライ

かみなり

垚〔垒〕lěi ルイ

—

累 lěi ルイ

—

淚〔泪〕lèi ルイ

なみだ



類〔類〕lèi ルイ

—

冷 lěng レイ

つめ・たい

ひ・える

ひ・や

ひ・やす

ひ・やかす

さ・める

さ・ます

離〔离〕lí リ

はな・れる

はな・す

厘 lí リン

—

礼 lì レイ ライ

—

里 lì リ

さと

裏〔里〕lǐ リ

うら

理 lǐ リ

—

立 lì リツ

リュウ (建立)

た・つ

た・てる

粒 lì リュウ

つぶ

麗〔丽〕lì レイ

うるわ・しい

吏 lì リ

—

隸〔隶〕lì レイ

—

例 lì レイ

たと・える

利 lì リ

き・く

痢 lì リ

—

力 lì リョク リキ

ちから

戾〔戾〕lì レイ

もど・す

もど・る

曆〔历〕lì レキ

こよみ

歴〔历〕lì レキ

—

励 lì レイ

はげ・む

はげ・ます

連〔连〕lián レン

つら・なる

つら・ねる

つ・れる

廉 lián レン

—

恋 liàn レン

こ・う

こい  
 こい・しい  
 練〔练〕 liàn レン  
 ね・る  
 鍊〔炼〕 liàn レン  
 —  
 涼〔凉〕 liáng リョウ  
 すず・しい  
 すず・む  
 良 liáng リョウ  
 よ・い  
 △野良(のら)  
 量 liàng リョウ  
 はか・る  
 糧〔粮〕 liáng リョウ  
 ロウ(兵糧)  
 かて  
 両〔两〕 liǎng リョウ  
 —  
 寮 liáo リョウ  
 —  
 療〔疗〕 liáo リョウ  
 —  
 僚 liáo リョウ  
 —  
 了 liǎo リョウ  
 —  
 料 liào リョウ  
 —  
 列 liè レツ  
 —

烈 liè レツ  
 —  
 裂 liè レツ  
 さ・く  
 さ・ける  
 劣 liè レツ  
 おと・る  
 獵〔猎〕 liè リョウ  
 —  
 臨〔临〕 lín リン  
 のぞ・む  
 林 lín リン  
 はやし  
 隣〔邻〕 lín リン  
 とな・る  
 となり  
 賃〔赁〕 lìn チン  
 —  
 齡〔龄〕 líng レイ  
 —  
 鈴〔铃〕 líng レイ  
 リン(呼び鈴)  
 すず  
 零 líng レイ  
 —  
 靈〔灵〕 líng レイ  
 リョウ(悪霊)  
 たま  
 陵 líng リョウ  
 みささぎ

領〔領〕 lǐng リョウ

——

令 lǐng レイ

——

流 liú リュウ

ル（流転）

なが・れる

なが・す

硫 liú リュウ

——

△硫黄（いおう）

留 liú リュウ

ル（留守）

と・める

と・まる

柳 liǔ リュウ

やなぎ

六 liù ロク

む（六月目）

む・つ（六つ切り）

むっ・つ

むい（六日）

竜〔龍〕 lóng リュウ

たつ

滝〔瀧〕 lóng ——

たき

隆〔隆〕 lóng リュウ

——

楼 lóu ロウ

——

漏 lòu ロウ

も・る

も・れる

も・らす

炉 lú ロ

——

虜〔虜〕 lǔ リョ

——

路 lù ロ

じ

露 lù ロ

ロウ（披露）

つゆ

陸〔陸〕 lù リク

——

録〔録〕 lù ロク

——

緑〔緑〕 lǜ リョク

ロク（緑青）

みどり

旅〔旅〕 lǚ リョ

たび

履 lǚ リ

は・く

律 lǜ リツ

リチ（律儀）

——

慮〔慮〕 lǜ リョ

——

卵 luǎn ラン

たまご  
 乱 luàn ラン  
 みだ・れる  
 みだ・す  
 略 lüè リャク  
 ——  
 輪〔轮〕lún リン  
 わ  
 倫〔伦〕lún リン  
 ——  
 論〔论〕lùn ロン  
 ——  
 羅〔罗〕luó ラ  
 ——  
 裸 luǒ ラ  
 はだか  
 落 luò ラク  
 お・ちる  
 お・とす  
 絡〔络〕luò ラク  
 から・む  
 から・まる

## M

麻 má マ  
 あさ  
 馬〔马〕mǎ バ  
 うま  
 ま(馬子)  
 埋 mái マイ

う・める  
 う・まる  
 う・もれる  
 買〔买〕mǎi バイ  
 か・う  
 売〔卖〕mài バイ  
 う・る  
 う・れる  
 麦 mài バク  
 むぎ  
 脈〔脉〕mài ミャク  
 ——  
 蛮 mǎn バン  
 ——  
 満〔满〕mǎn マン  
 み・ちる  
 み・たす  
 漫 màn マン  
 ——  
 慢 màn マン  
 ——  
 忙 máng ボウ  
 いそが・しい  
 盲 máng モウ  
 ——  
 猫 māo ピョウ  
 ねこ  
 毛 máo モウ  
 け  
 矛 máo ム



ほこ  
 茂 mào モ  
     しげ・る  
 貿〔貿〕 mào ボウ  
     —  
 冒 mào ボウ  
     おか・す  
 帽 mào ボウ  
     —  
 媒 méi バイ  
     —  
 梅〔梅〕 méi バイ  
     うめ  
 △梅雨(つゆ)  
 枚 méi マイ  
     —  
 美 měi ビ  
     うつく・しい  
 每〔毎〕 měi マイ  
     —  
 魅〔魅〕 mèi ミ  
     —  
 妹 mèi マイ  
     いもうと  
 門〔門〕 mén モン  
     かど  
 盟 méng メイ  
     —  
 猛 měng モウ  
     —

△猛者(もさ)  
 夢〔夢〕 mèng ム  
     ゆめ  
 米 mǐ ベイ マイ  
     こめ  
 迷 mí メイ  
     まよ・う  
 △迷子(まいご)  
 泌 mì ヒツ  
     ヒ(泌尿器)  
     —  
 密 mì ミツ  
     —  
 秘 mì ヒ  
     ひ・める  
 綿〔綿・棉〕 mián メン  
     わた  
 眠 mián ミン  
     ねむ・る  
     ねむ・い  
 免〔免〕 miǎn メン  
     まぬか・れる  
 勉〔勉〕 miǎn ベン  
     —  
 面 miàn メン  
     おも  
     おもて  
     つら  
 苗 miáo ビョウ  
     なえ

なわ (苗代)  
 描 miáo ビョウ  
 えが・く  
 秒 miǎo ビョウ  
 —  
 妙 miào ミョウ  
 —  
 滅〔灭〕 miè メツ  
 ほろ・びる  
 ほろ・ぼす  
 民 mín ミン  
 たみ  
 皿 mǐn —  
 さら  
 敏〔敏〕 mǐn ビン  
 —  
 明 míng メイ  
 ミョウ (光明)  
 あ・かり  
 あか・るい  
 あか・るむ  
 あか・らむ  
 あき・らか  
 あ・ける  
 あ・く  
 あ・くる  
 あ・かす  
 △明日 (あす)  
 鳴〔鸣〕 míng メイ  
 な・く

な・る  
 な・らす  
 名 míng メイ  
 ミョウ (名字)  
 な  
 銘〔铭〕 míng メイ  
 —  
 命 mìng メイ  
 ミョウ (寿命)  
 いのち  
 摩 mó マ  
 —  
 磨 mó マ  
 みが・く  
 魔〔魔〕 mó マ  
 —  
 模 mó モ ボ  
 —  
 膜 mó マク  
 —  
 抹 mǒ マツ  
 —  
 末 mò マツ  
 バツ (末子)  
 すえ  
 没 mò ボツ  
 —  
 漠 mò バク  
 —  
 墨〔墨〕 mò ボク



悩〔悩〕 nǎo  
   なや・む  
   なや・ます  
 内 nèi ナイ  
   ダイ (内裏)  
   うち  
 能 néng ノウ  
   —  
 尼 ní ニ  
   あま  
 泥 ní デイ  
   どろ  
 擬〔拟〕 nǐ ギ  
   —  
 逆 nì ギャク  
   さか  
   さか・らう  
 匿 nì トク  
   —  
 年 nián ネン  
   とし  
 粘 nián ネン  
   ねば・る  
 念 niàn ネン  
   —  
 娘 niáng —  
   むすめ  
 嬢〔娘〕 niáng ジョウ  
   —  
 釀〔醸〕 niàng ジョウ

  かも・す  
 鳥〔鳥〕 niǎo チョウ  
   とり  
 尿 niào ニョウ  
   —  
 凝 níng ギョウ  
   こ・る  
   こ・らす  
 寧〔宁〕 níng ネイ  
   —  
 牛 niú ギュウ  
   うし  
 農〔农〕 nóng ノウ  
   —  
 濃〔浓〕 nóng ノウ  
   こ・い  
 奴 nú ド  
   —  
 努 nǔ ド  
   つと・める  
 怒 nù ド  
   いか・る  
   おこ・る  
 女 nǚ ジョ  
   ニョ (天女)  
   ニョウ (女房)  
   おんな  
   め (女神)  
 △海女 (あま)  
 暖 nuǎn ダン



あたた・か  
 あたた・かい  
 あたた・まる  
 あたた・める  
 虐〔虐〕 nuè ギャク  
 しいた・げる  
 諾〔諾〕 nuò ダク

0

欧 ōu オウ  
 毆 ōu オウ  
 なぐ・る  
 偶 ǒu グウ

P

拍 pāi ハク  
 ヒョウ (拍子)  
 排 pái ハイ  
 俳 pái ハイ  
 派〔派〕 pài ハ  
 盤〔盤〕 pán バン  
 判 pàn ハン  
 バン (大判)

畔 pàn ハン

泡〔泡〕 pào ホウ  
 あわ

砲〔炮〕 pào ホウ

培 péi バイ

つちか・う

賠〔賠〕 péi バイ

配 pèi ハイ

くば・る

噴〔噴〕 pēn フン

ふ・く

盆 pén ボン

膨 péng ボウ

ふく・らむ

ふく・れる

棚 péng

たな

批 pī ヒ

披 pī ヒ

皮 pí ヒ

かわ

疲 pī ヒ

つか・れる

つか・らす  
 匹 pǐ ヒツ  
 ひき  
 癖 pǐ ヘキ  
 くせ  
 偏 piān ヘン  
 かたよ・る  
 片 piàn ヘン  
 かた  
 漂 piāo ヒョウ  
 ただよ・う  
 票 piào ヒョウ  
 —  
 頻 [頻] pín ヒン  
 —  
 貧 [貧] pín ヒン ビン  
 まず・しい  
 品 pǐn ヒン  
 しな  
 平 píng ヘイ  
 ビョウ (平等)  
 たい・ら  
 ひら  
 評 [評] píng ヒョウ  
 —  
 坪 píng —  
 つば  
 瓶 píng ビン  
 —  
 婆 pó バ

—  
 迫 pò ハク  
 せま・る  
 破 pò ハ  
 やぶ・る  
 やぶ・れる  
 剖 pōu ボウ  
 —  
 撲 [扑] pū ボク  
 —  
 △相撲 (すもう)  
 僕 [仆] pǔ ボク  
 —  
 普 pǔ フ  
 —  
 譜 [谱] pǔ フ  
 —  
 朴 pǔ ボク  
 —  
 浦 pǔ ホ  
 うら  
 舗 [铺] pù ホ  
 —

## Q

七 qī シチ  
 なな  
 なな・つ  
 なの (七日)  
 漆 qī シツ

うるし  
妻 qī サイ  
つま  
期 qī キ  
ゴ (最期)  
—  
欺 qī ギ  
あざむ・く  
旗 qí キ  
はた  
碁 [棋] qí ゴ  
—  
棋 qí キ  
—  
岐 qí キ  
—  
奇 qí キ  
—  
崎 qí —  
さき  
騎 [騎] qí キ  
—  
齊 [齊] qí セイ  
—  
祈 qí キ  
いの・る  
啓 [启] qǐ ケイ  
—  
起 qǐ キ  
お・きる

お・こる  
お・こす  
企 qǐ キ  
くわだ・てる  
泣 qì キュウ  
な・く  
器 [器] qì キ  
うつわ  
氣 [气] qì キ ケ  
—  
△意氣地 (いくじ)  
汽 qì キ  
—  
棄 [弃] qì キ  
—  
慫 qì ケイ  
いこ・い  
いこ・う  
契 [契] qì ケイ  
ちぎ・る  
千 qiān セン  
ち  
鉛 [鉛] qiān エン  
なまり  
謙 [謙] qiān ケン  
—  
遷 [迁] qiān セン  
—  
前 qián ゼン  
まえ

潜	qián	セン	か・つ
ひそ・む			窃
もぐ・る			qiè セツ
銭〔钱〕	qián	セン	—
ぜに			親〔亲〕
浅〔浅〕	qiǎn	セン	qīn シン
あさ・い			おや
遣	qiǎn	ケン	した・しい
つか・う			した・しむ
つか・わす			侵
欠〔缺〕	qiàn〔quē〕	ケツ	qīn シン
か・ける			おか・す
か・く			勤〔勤〕
強〔強〕	qiáng	キョウ	qín キン
ゴウ（強情）			ゴン（勤行）
つよ・い			つと・める
つよ・まる			つと・まる
つよ・める			琴
し・いる			qín キン
繰〔繰〕	qiāo	—	こと
く・る			寝
橋〔桥〕	qiáo	キョウ	qīn シン
はし			ね・る
巧	qiǎo	コウ	ね・かす
たく・み			青
切	qiē	セツ	qīng セイ
サイ（一切）			シヨウ（緑青）
き・る			あお
き・れる			あお・い
且	qiě	—	△真っ青（まっさお）
			清
			qīng セイ
			シヨウ（六根清浄）
			きよ・い
			きよ・まる
			きよ・める
			△清水（しみず）
			輕〔轻〕
			qīng ケイ



かる・い  
 かる・やか  
 傾〔傾〕 qīng ケイ  
 かたむ・く  
 かたむ・ける  
 情 qíng ジョウ  
 セイ（風情ふぜい）  
 なさ・け  
 晴 qíng セイ  
 は・れる  
 は・らす  
 請〔請〕 qǐng セイ・  
 シン（普請）  
 こ・う  
 う・ける  
 慶〔庆〕 qīng ケイ  
 —  
 窮〔穷〕 qióng キュウ  
 きわ・める  
 きわ・まる  
 秋 qiū シュウ  
 あき  
 丘 qiū キュウ  
 おか  
 求 qiú キュウ  
 もと・める  
 球 qiú キュウ  
 たま  
 囚 qiú シュウ  
 —

区 qū ク  
 —  
 驅〔驱〕 qū ク  
 か・ける  
 か・る  
 屈 qū クツ  
 —  
 曲 qǔ キョク  
 ま・がる  
 ま・げる  
 取 qǔ シュ  
 と・る  
 去 qù キ・ョ  
 コ（過去）  
 さ・る  
 趣 qù シュ  
 おもむき  
 圈〔圈〕 quān ケン  
 —  
 權〔权〕 quán ケン  
 ゴン（権化）  
 —  
 全 quán ゼン  
 まった・く  
 泉 quán セン  
 いずみ  
 犬 quǎn ケン  
 いぬ  
 券 quàn ケン  
 —

勸〔劝〕 quàn カン

すす・める

却 què キャク

—

確〔确〕 què カク

たし・か

たし・かめる

群 qún ゲン

む・れる

む・れ

むら（群がる）

## R

然 rán ゼン

ネン（天然）

—

燃 rán ネン

も・える

も・やす

も・す

染 rǎn セン

そ・める

そ・まる

し・みる

し・み

壤〔壤〕 rǎng ジョウ

—

讓〔让〕 ràng ジョウ

ゆず・る

熱〔热〕 rè ネット

あつ・い

人 rén ジン ニン

ひと

△玄人（くろうと）

若人（わこうど）

仲人（なこうど）

大人（おとな）

一人（ひとり）

二人（ふたり）

仁 rén ジン

ニ（仁王）

—

忍 rěn ニン

しの・ぶ

しの・ばせる

認〔认〕 rèn ニン

みと・める

任 rèn ニン

まか・せる

まか・す

妊 rèn ニン

—

刃 rèn ジン

は

日 rì ニチ ジツ

ひ

か（八日）

△今日（きょう）

昨日（きのう）

明日（あす）

一日 (ついたち)  
 日和 (ひより)  
 容 róng ヨウ  
 —  
 溶 róng ヨウ  
 と・ける  
 と・かす  
 と・く  
 榮〔榮〕 róng エイ  
 さか・える  
 は・え  
 は・える  
 融〔融〕 róng ユウ  
 —  
 冗 rǒng ジョウ  
 —  
 柔 róu ジュウ  
 ニュウ (柔弱)  
 やわ・らか  
 やわ・らかい  
 肉 ròu ニク  
 —  
 儒 rú ジュ  
 —  
 如 rú ジョ  
 ニョ (如実)  
 —  
 乳 rǔ ニュウ  
 ちち  
 ち

△乳母 (うば)  
 辱 rǔ ジョク  
 はずかし・める  
 入 rù ニュウ  
 い・る  
 い・れる  
 はい・る  
 軟〔軟〕 ruǎn ナン  
 やわ・らか  
 やわ・らかい  
 銳〔銳〕 ruì エイ  
 するど・い  
 潤〔潤〕 rùn ジュン  
 うるお・う  
 うるお・す  
 うる・む  
 若 ruò ジャク  
 ニャク (老若)  
 わか・い  
 も・しくは  
 △若人 (わこうど)  
 弱 ruò ジャク  
 よわ・い  
 よわ・る  
 よわ・まる  
 よわ・める  
 S  
 三 sān サン  
 み

み・つ  
 みっ・つ  
 △三味線 (しゃみせん)  
 傘 [傘] sǎn サン  
 かさ  
 散 sǎn サン  
 ち・る  
 ち・らす  
 ち・らかす  
 ち・らかる  
 喪 [喪] sàng ソウ  
 も  
 桑 sāng ソウ  
 くわ  
 騒 [騒] sāo ソウ  
 さわ・ぐ  
 掃 [掃] sǎo ソウ  
 は・く  
 色 sè ショク  
 シキ (色彩)  
 いろ  
 渋 [澀] sè ジュウ  
 しぶ  
 しぶ・い  
 しぶ・る  
 森 sēn シン  
 もり  
 僧 [僧] sēng ソウ  
 —  
 殺 [杀] shā サツ

サイ (相殺)  
 セツ (殺生)  
 ころ・す  
 砂 shā サ  
 シャ (土砂)  
 すな  
 △砂利 (じゃり)  
 山 shān サン  
 やま  
 △山車 (だし)  
 杉 shān —  
 すぎ  
 善 shàn ゼン  
 よ・い  
 繕 [繕] shàn ゼン  
 つくろ・う  
 扇 shàn セン  
 おうぎ  
 商 shāng ショウ  
 あきな・う  
 傷 [伤] shāng ショウ  
 きず  
 いた・む  
 いた・める  
 賞 [赏] shǎng ショウ  
 —  
 上 shàng ジョウ  
 ショウ (上人)  
 うえ  
 うわ (上着)



かみ  
 あ・げる  
 あ・がる  
 のぼ・る  
 のぼ・せる  
 のぼ・す  
 尚 shàng ショウ  
 —  
 焼〔焼〕 shāo ショウ  
 や・く  
 や・ける  
 勺 sháo シャク  
 —  
 少 shǎo ショウ  
 すく・ない  
 すこ・し  
 紹〔绍〕 shào ショウ  
 —  
 舌 shé ゼツ  
 した  
 蛇 shé ジャ  
 ダ(蛇足)  
 へび  
 捨〔舍〕 shě シャ  
 す・てる  
 涉〔涉〕 shè ショウ  
 —  
 舍〔舍〕 shè シャ  
 —  
 △田舎(いなか)

設〔设〕 shè セツ  
 もう・ける  
 社 shè シャ  
 やしろ  
 射 shè シャ  
 い・る  
 撰〔撰〕 shè セツ  
 —  
 赦 shè シャ  
 —  
 深 shēn シン  
 ふか・い  
 ふか・まる  
 ふか・める  
 娠 shēn シン  
 —  
 身 shēn シン  
 み  
 申 shēn シン  
 もう・す  
 伸 shēn シン  
 の・びる  
 の・ばす  
 紳〔绅〕 shēn シン  
 —  
 神 shén シン  
 ジン(神社)  
 かみ  
 かん(神田)  
 こう(神々しい)

△お神酒 (みき)

神楽 (かぐら)

審〔审〕 shěn シン

—

沈〔沉〕 shěn〔chén〕チン

しず・む

しず・める

甚 shēn ジン

はなは・だ

はなは・だしい

慎〔慎〕 shèn シン

つつし・む

声 shēng セイ

ショウ (大音声だいおん  
じょう)

こえ

こわ (声色)

生 shēng セイ

ショウ

い・きる

い・かす

い・ける

う・まれる

う・む

お・う

は・える

は・やす

き

なま

△芝生 (しばふ)

牲 shēng セイ

—

升 shēng ショウ

ます

昇〔升〕 shēng ショウ

のぼ・る

縄〔绳〕 shéng ショウ

なわ

省 shěng セイ

ショウ (省略)

かえり・みる

はぶ・く

勝〔胜〕 shèng ショウ

か・つ

まさ・る

盛 shèng セイ

ショウ (繁盛)

も・る

さか・る

さか・ん

剩〔剩〕 shèng ショウ

—

聖〔圣〕 shèng セイ

—

湿 shī シツ

しめ・る

しめ・す

師〔师〕 shī シ

—

失 shī シツ

うしな・う

施 shī シ

セ (布施)

ほどこ・す

詩〔詩〕 shī シ

――

実〔実〕 shí ジツ

み

みの・る

十 shí ジュウ

ジツ (十回)

とお

と (十色)

△十重二十重 (とえはたえ)

二十・二十歳 (はたち)

二十日 (はつか)

石 shí セキ

シャク (磁石)

コク (石高)

いし

識〔识〕 shí シキ

――

時〔時〕 shí ジ

とき

△時雨 (しぐれ)

時計 (とけい)

食 shí ショク

ジキ (断食)

く・う

く・らう

た・べる

拾 shí シュウ

ジュウ (拾万円)

ひろ・う

史 shǐ シ

――

使 shǐ シ

つか・う

矢 shǐ シ

や

始 shǐ シ

はじ・める

はじ・まる

市 shì シ

いち

示 shì ジ

シ (示唆)

しめ・す

士 shì シ

――

△一言居士 (いちげんこじ)

博士 (はかせ)

仕 shì シ

ジ (給仕)

つか・える

事 shì ジ

ズ (好事家)

こと

世 shì セ

セイ (世紀)

よ  
 式 shì シキ  
 —  
 試〔試〕 shì シ  
 ところ・みる  
 ため・す  
 侍 shì ジ  
 さむらい  
 室 shì シツ  
 むろ  
 視〔視〕 shì シ  
 —  
 誓 shì セイ  
 ちか・う  
 勢〔勢〕 shì セイ  
 いきお・い  
 是 shì ゼ  
 —  
 釈〔釋〕 shì シャク  
 —  
 飾〔飾〕 shì ショク  
 かざ・る  
 適〔适〕 shì テキ  
 —  
 逝 shì セイ  
 ゆ・く  
 氏 shì シ  
 うじ  
 収〔收〕 shōu シュク  
 おさ・める

おさ・まる  
 熟 shóu ジュク  
 う・れる  
 首 shǒu シュ  
 くび  
 手 shǒu シュ  
 て  
 た（手綱）  
 △上手（じょうず）  
 守 shǒu シュ  
 ス（留守）  
 まも・る  
 もり  
 狩 shòu シュ  
 か・る  
 か・り  
 獸〔兽〕 shòu ジュウ  
 けもの  
 寿〔寿〕 shòu ジュ  
 ことぶき  
 受 shòu ジュ  
 う・ける  
 う・かる  
 授 shòu ジュ  
 さず・ける  
 さず・かる  
 輸〔輸〕 shū ユ  
 —  
 殊 shū シュ  
 こと



書〔书〕shū ショ

か・く

疎 shū ソ

うと・い

うと・む

枢 shū スウ

――

叔 shū シュク

――

△叔父（おじ）

叔母（おば）

淑 shū シュク

――

塾 shū ジュク

――

暑 shǔ ショ

あつ・い

署 shǔ ショ

――

属 shǔ ゾク

――

庶 shù ショ

――

数 shù スウ

ス（人数ニンズ）

かず

かぞ・える

△数珠（じゅず）

樹〔树〕shù ジュ

――

術〔术〕shù ジュツ

――

述 shù ジュツ

の・べる

束 shù ソク

たば

刷 shuā サツ

す・る

衰 shuāi スイ

おとろ・える

帥〔帅〕shuài スイ

――

栓 shuān セン

――

率 shuài lù ソツ リツ

ひき・いる

双 shuāng ソウ

ふた

霜 shuāng ソウ

しも

水 shuǐ スイ

みず

睡 shuì スイ

――

税 shuì ゼイ

――

瞬 shùn シュン

またた・く

順〔顺〕shùn ジュン

――

説〔说〕shuō セツ

ゼイ（遊説）

と・く

思 sī シ

おも・う

私 sī シ

わたくし

司 sī シ

――

糸〔丝〕sī シ

いと

死 sǐ シ

し・ぬ

寺 sì シ

てら

四 sì シ

よ

よ・つ

よっ・つ

よん（四目）

似 sì シ

に・る

嗣 sì シ

――

飼〔饲〕sì シ

か・う

伺 sì シ

うかが・う

送 sòng ソウ

おく・る

松 sōng ショウ

まつ

訟〔讼〕sòng ショウ

――

搜〔搜〕sōu ソウ

さが・す

俗 sú ゾク

――

宿 sù シュク

やど

やど・る

やど・す

塑 sù ソ

――

訴〔诉〕sù ソ

うった・える

肅〔肃〕sù シュク

――

素 sù ソ ス

――

△素人（くろうと）

速 sù ソク

はや・い

はや・める

すみ・やか

酸 suān サン

す・い

算 suàn サン

――

遂 suí スイ

と・げる  
 随 suí ズイ  
 —  
 髓〔髓〕suǐ ズイ  
 —  
 碎〔碎〕suì サイ  
 くだ・く  
 くだ・ける  
 穗〔穗〕suì スイ  
 ほ  
 歳〔岁〕suì サイ  
 —  
 △二十歳（はたち）  
 孫〔孙〕sūn ソン  
 まご  
 損〔损〕sǔn ソン  
 そこ・なう  
 そこ・ねる  
 縮〔缩〕suō シュク  
 ちち・む  
 ちち・まる  
 ちち・める  
 ちち・れる  
 ちち・らす  
 唆 suō サ  
 そそのか・す  
 索 suǒ サク  
 —  
 鎖〔锁〕suǒ サ  
 くさり  
 所 suǒ ショ

ところ  
 T  
 他 tā タ  
 —  
 塔 tǎ トウ  
 —  
 踏 tà トウ  
 ふ・む  
 ふ・まえる  
 胎 tāi タイ  
 —  
 台 tái ダイ  
 タイ（舞台）  
 —  
 太 tài タイ  
 タ（丸太）  
 ふと・い  
 ふと・る  
 泰 tài タイ  
 —  
 態〔态〕tài タイ  
 —  
 談〔谈〕tán ダン  
 —  
 壇〔坛〕tán ダン  
 タン（土壇場）  
 —  
 曇〔曇〕tán ドン  
 くも・る

探 tàn タン

さぐ・る

さが・す

嘆〔叹〕tàn タン

なげ・く

なげ・かわしい

炭〔炭〕tàn タン

すみ

湯〔汤〕tāng トウ

ゆ

堂 tāng ドウ

唐〔唐〕táng トウ

から

糖〔糖〕táng トウ

逃 táo トウ

に・げる

に・がす

のが・す

のが・れる

桃 táo トウ

もも

陶 táo トウ

討〔讨〕tǎo トウ

う・つ

特 tè トク

騰〔腾〕téng トウ

騰〔騰〕téng トウ

題〔题〕tí ダイ

提 tí テイ

さ・げる

体 tǐ タイ

テイ（体裁）

からだ

替 tì タイ

か・える

か・わる

△為替（かわせ）

天 tiān テン

あめ

あま（天下り）

添 tiān テン

そ・える

そ・う

田 tián デン

た

△田舎（いなか）

条 tiáo ジョウ

挑 tiǎo チョウ

いど・む

跳 tiào チョウ

は・ねる

と・ぶ

眺 tiào チョウ



なが・める  
鉄〔鉄〕tiě テツ  
——  
聴〔听〕tīng チョウ  
き・く  
庁〔厅〕tīng チョウ  
——  
亭 tíng テイ  
——  
停 tīng テイ  
——  
庭 tíng テイ  
にわ  
廷 tíng テイ  
——  
艇 tǐng テイ  
——  
通 tōng ツウ  
ツ（通夜）  
とお・る  
とお・す  
かよ・う  
童 tóng ドウ  
わらべ  
同 tóng ドウ  
おな・じ  
銅〔铜〕tóng ドウ  
——  
筒 tǒng トウ  
つつ

統〔统〕tǒng トウ  
す・べる  
痛 tòng ツウ  
いた・い  
いた・む  
いた・める  
頭〔头〕tóu トウ  
ズ（頭脳）  
ト（音頭おんど）  
あたま  
かしら  
投 tóu トウ  
な・げる  
△投綱（とあみ）  
透 tòu トウ  
す・く  
す・かす  
す・ける  
凸 tū トツ  
——  
△凸凹（でこぼこ）  
突〔突〕tū トツ  
つ・く  
徒 tú ト  
——  
図〔图〕tú ズ ト  
はか・る  
塗〔涂〕tú ト  
ぬ・る  
途 tú ト

土 tǔ ト

ト (土地)

つち

△土産 (みやげ)

吐 tǔ ト

は・く

団〔団〕tuán ダン

トン (布団)

推 tuī スイ

お・す

退 tuì タイ

しりぞ・く

しりぞ・ける

△立ち退く (たちのく)

屯 tún トン

豚 tún トン

ぶた

脱 tuō ダツ

ぬ・ぐ

ぬ・げる

託〔托〕tuō タク

駄〔驮〕tuó ダ

妥 tuǒ ダ

拓 tuò タク

## W

外 wài ガイ

ゲ (外科)

そと

ほか

はず・す

はず・れる

灣 wān ワン

完 wán カン

頑〔頑〕wán ガン

丸 wán ガン

まる

まる・い

まる・める

晩〔晚〕wǎn バン

万 wàn マン バン

腕 wǎn ワン

うで

亡 wáng ボウ

モウ (亡者)

な・い

王 wáng オウ

○親王（しんのう）

往 wǎng オウ

—

網〔网〕wǎng モウ

あみ

妄 wàng モウ ボウ

—

忘 wàng ボウ

わす・れる

望 wàng ボウ

モウ（大望）

のぞ・む

威 wēi イ

—

危 wēi キ

あぶ・ない

あや・うい

あや・ぶむ

微〔微〕wēi ビ

—

維〔维〕wéi イ

—

唯 wéi ユイ

イ（唯唯諾諾）

—

圉〔围〕wéi イ

かこ・む

かこ・う

違〔违〕wéi イ

ちが・う

ちが・える

偽〔伪〕wěi ギ

いつわ・る

にせ

為〔为〕wèi イ

—

△為替（かわせ）

偉〔伟〕wěi イ

えら・い

緯〔纬〕wěi イ

—

尾 wěi ビ

お

委 wěi イ

—

味 wèi ミ

あじ

あじ・わう

胃 wèi イ

—

未 wèi ミ

—

位 wèi イ

くらい

△三位一体（サンミイッタイ）

従三位（ジュサンミ）

慰 wèi イ

なぐさ・める

なぐさ・む

尉 wèi イ

衛〔卫〕wèi エイ

温 wēn オン

あたた・か

あたた・かい

あたた・まる

あたた・める

文 wén ブン モン

ふみ

蚊 wén ——

か

△蚊帳（かや）

紋〔纹〕wén モン

聞〔闻〕wén ブン

モン（前代未聞）

き・く

き・こえる

穩〔稳〕wěn オン

おだ・やか

○安穩（アンノン）

問〔问〕wèn モン

と・う

と・い

とん（問屋）

翁 wēng オウ

渦〔涡〕wō カ

うず

我 wǒ ガ

われ

わ（我が国）

握 wò アク

にぎ・る

汚〔污〕wū オ

けが・す

けが・れる

けが・らわしい

よご・す

よご・れる

きたな・い

屋 wū オク

や

無〔无〕wú ム ブ

な・い

呉〔吴〕wú ゴ

武 wǔ ブ

ム（荒武者）

五 wǔ ゴ

いつ

いつ・つ

△五休雨（さみだれ）

五日晴れ（さつきばれ）

午 wǔ ゴ

舞 wǔ ブ

ま・う



まい  
悔〔悔〕wǔ ブ  
あなど・る  
悟 wù ゴ  
さと・る  
物 wù ブツ モツ  
もの  
務〔务〕wù ム  
つと・める  
霧〔雾〕wù ム  
きり  
誤〔誤〕wǔ ゴ  
あやま・る

X

西 xī セイ サイ  
にし  
夕 xī セキ  
ゆう  
△七夕（たなばた）  
昔 xī セキ  
シャク（今昔）  
むかし  
惜 xī セキ  
お・しい  
お・しむ  
析 xī セキ  
——  
犧〔牺〕xī ギ  
——

希 xī キ  
——  
息 xī ソク  
いき  
△息子（むすこ）  
息吹（いぶき）  
溪〔溪〕xī ケイ  
——  
吸 xī キュウ  
す・う  
席 xī セキ  
——  
襲〔袭〕xī シュウ  
おそ・う  
習〔习〕xī シュウ  
なら・う  
喜 xī キ  
よろこ・ぶ  
璽〔玺〕xī ジ  
——  
洗 xī セン  
あら・う  
銑〔铎〕xī セン  
——  
細〔细〕xì サイ  
ほそ・い  
ほそ・る  
こま・か  
こま・かい  
系 xì ケイ

係〔系〕xì ケイ

かか・る

かかり

戲〔戏〕xì ギ

たわむ・れる

狭 xiá キョウ

せま・い

せば・める

せば・まる

峽 xiá キョウ

暇 xiá カ

ひま

轄〔辖〕xiá カツ

下 xià カ ゲ

した

しも

もと

さ・げる

さ・がる

くだ・る

くだ・す

くだ・さる

お・ろす

お・りる

△下手（へた）

夏 xià カ

ゲ（夏至）

なつ

嚇〔吓〕xià カク

鮮〔鲜〕xiān セン

あざ・やか

纖〔纤〕xiān セン

仙 xiān セン

先 xiān セン

さき

弦 xián ゲン

つる

閑〔闲〕xián カン

嫌 xián ケン

ゲン（機嫌）

きら・う

いや

賢〔贤〕xián ケン

かしこ・い

顯〔显〕xiǎn ケン

險〔险〕xiǎn ケン

けわ・しい

献 xiàn ケン

コン（献立）

線〔线〕xiàn セン

現〔現〕xiàn ゲン

あらわ・れる

あらわ・す

県〔县〕xiàn ケン

――

陥〔陷〕xiàn カン

おちい・る

おとしい・れる

限 xiàn ゲン

かぎ・る

憲〔宪〕xiàn ケン

――

相 xiāng ソウ

シヨウ（首相）

あい

△相撲（すもう）

箱 xiāng ―――

はこ

香 xiāng コウ

キヨウ（香車）

か

かお・り

かお・る

郷〔乡〕xiāng キヨウ

ゴウ（在郷）

――

詳〔详〕xiáng シヨウ

くわしい

祥 xiáng シヨウ

――

享 xiǎng キヨウ

――

響〔响〕xiǎng キヨウ

ひび・く

想 xiǎng ソウ

ソ（愛想）

――

項〔项〕xiàng コウ

――

向 xiàng コウ

む・く

む・ける

む・かう

む・こう

象 xiàng シヨウ

ゾウ（象眼）

――

像〔象〕xiàng ゾウ

――

消 xiāo シヨウ

き・える

け・す

肖 xiāo シヨウ

――

宵 xiāo シヨウ

よい

硝 xiāo シヨウ

――

小 xiǎo シヨウ

ちい・さい

こ  
 お  
 △小豆 (あずき)  
 曉〔晓〕xiǎo ギョウ  
 あかつき  
 校 xiào コウ  
 —  
 笑 xiào ショウ  
 わら・う  
 え・む  
 △笑顔 (えがお)  
 効〔效〕xiào コウ  
 き・く  
 孝 xiào コウ  
 —  
 協〔协〕xié キョウ  
 —  
 斜 xié シャ  
 なな・め  
 携 xié ケイ  
 たずさ・える  
 たずさ・わる  
 邪 xié ジャ  
 —  
 △風邪 (かぜ)  
 脅〔胁〕xié キョウ  
 おびや・かす  
 おど・す  
 おど・かす  
 挟 xié キョウ

はさ・む  
 はさ・まる  
 写 xiě シャ  
 うつ・す  
 うつ・る  
 械 xiè カイ  
 —  
 瀉〔泻〕xiè —  
 かた  
 謝〔谢〕xiè シャ  
 あやま・る  
 卸 xiè —  
 おろ・す  
 おろし  
 辛 xīn シン  
 から・い  
 新 xīn シン  
 あたら・しい  
 あら・た  
 にい  
 薪 xīn シン  
 たきぎ  
 心 xīn シン  
 ところ  
 △心地 (こころ)  
 信 xìn シン  
 —  
 興〔兴〕xīng コウ  
 キョウ (興味)  
 おこ・る



おこ・す  
 星 xīng セイ  
 ショウ (明星 ミョウ  
 ジョウ)  
 ほし  
 刑 xíng ケイ  
 —  
 形 xíng ケイ  
 ギョウ (人形)  
 かた  
 かたち  
 型 xíng ケイ  
 かた  
 行 xíng コウ ギョウ  
 アン (行脚)  
 い・く  
 ゆ・く  
 おこな・う  
 幸 xìng コウ  
 さいわ・い  
 さち  
 しあわ・せ  
 性 xìng セイ ショウ  
 —  
 姓 xìng セイ  
 ショウ (百姓)  
 —  
 兄 xiōng ケイ  
 キョウ (兄弟)  
 あに

△兄さん (にいさん)  
 凶 xiōng キョウ  
 —  
 胸 xiōng キョウ  
 むね  
 むな (胸騒ぎ)  
 雄 xióng ユウ  
 お  
 おす  
 休 xiū キュウ  
 やす・む  
 やす・まる  
 やす・める  
 修 xiū シュウ  
 シュ (修業)  
 おさ・める  
 おさ・まる  
 朽 xiǔ キュウ  
 く・ちる  
 秀 xiù シュウ  
 ひい・でる  
 臭[臭]xiù シュウ  
 くさ・い  
 虚 xū キョ  
 コ (虚空)  
 —  
 需 xū ジュ  
 —  
 徐 xú ジョ  
 —

許〔许〕xǔ キョ

ゆる・す

序 xù ジョ

—

蓄 xù チク

たくわ・える

続〔续〕xù ゾク

つづ・く

つづ・ける

緒〔绪〕xù ショ

チョ (情緒)

お

叙 xù ジョ

—

媚 xù セイ

むこ

宣 xuān セン

—

軒〔轩〕xuān ケン

のき

旋 xuán セン

—

玄 xuán ゲン

—

△玄人 (くろうと)

懸〔悬〕xuán ケン

ケ (懸念)

か・ける

か・かる

選〔选〕xuǎn セン

えら・ぶ

削 xuē サク

けず・る

靴 xuē カ

くつ

学 xué ガク

まな・ぶ

穴 xué ケツ

あな

雪 xuě セツ

ゆき

△吹雪 (ふぶき)

雪崩 (なだれ)

血 xuè ケツ

ち

勳〔勋〕xūn クン

—

薰〔薰〕xūn クン

かお・る

循 xún ジュン

—

旬 xún ジュン

—

殉 xùn ジュン

—

尋〔寻〕xún ジン

たず・ねる

巡 xún ジュン

めぐ・る

△お巡 (まわ) りさん

訓〔訓〕xùn クン

—

迅 xùn ジン

—

Y

圧〔压〕yā アツ

—

押 yā オウ

お・す

お・さえる

芽 yá ガ

め

涯 yá ガイ

—

雅 yǎ ガ

—

亜〔亚〕yà ア

—

煙〔烟〕yān エン

けむ・る

けむり

けむ・い

言 yán ゲン ゴン

い・う

こと

塩〔盐〕yán エン

しお

炎 yán エン

ほのお

顔〔顔〕yán ガン

かお

研 yán ケン

と・ぐ

嚴〔严〕yán ゲン

ゴン (莊嚴)

おごそ・か

きび・しい

岩 yán ガン

いわ

延 yán エン

の・びる

の・べる

の・ばす

沿 yán エン

そ・う

演 yǎn エン

—

眼 yǎn ガン

ゲン (開眼)

まなこ

△眼鏡 (めがね)

驗〔验〕yàn ケン

ゲン (靈驗)

—

宴 yàn エン

—

央 yāng オウ

—

揚〔扬〕yáng ヨウ

あ・げる  
あ・がる  
陽〔阳〕yáng ヨウ

——  
羊 yáng ヨウ  
ひつじ  
洋 yáng ヨウ

——  
養〔养〕yǎng ヨウ  
やしな・う  
仰 yǎng ギョウ  
コウ (信仰)  
あお・ぐ  
おお・せ

様〔样〕yàng ヨウ  
さま  
腰 yāo ヨウ  
こと

窯〔窑〕yáo ヨウ  
かま

揺〔摇〕yāo ヨウ  
ゆ・れる  
ゆ・る  
ゆ・らぐ  
ゆ・るぐ  
ゆ・する  
ゆ・さぶる  
ゆ・すぶる

謡〔谣〕yáo ヨウ  
うたい

うた・う  
要 yào ヨウ  
い・る

曜 yào ヨウ  
——

薬〔药〕yào ヤク  
くすり

野 yě ヤ  
の

夜 yè ヤ  
よ  
よる

液 yè エキ  
——

業〔业〕yè ギョウ  
ゴウ (自業自得)

わざ

葉〔叶〕yè ヨウ  
は

△紅葉 (もみじ)

謁〔谒〕yè エツ

——  
衣 yī イ

ころも

△浴衣 (ゆかた)

衣 yī イ

エ (帰依)

——  
壹〔壹〕yī イチ



一 yī イチ イツ

ひと

ひと・つ

医 yī イ

—

宜 yí ギ

—

遺〔遺〕yí イ

ユイ (遺言)

—

儀〔儀〕yí ギ

—

移 yí イ

うつ・る

うつ・す

疑 yí ギ

うたが・う

乙 yǐ オツ

—

△乙女 (おとめ)

以 yǐ イ

—

益 yì エキ

ヤク (御利益)

—

翌 yì ヨク

—

翼 yì ヨク

つばさ

エキ 易 yìイ

やさ・しい

訳〔译〕yì ヤク

わけ

義〔义〕yì ギ

—

議〔议〕yì ギ

—

刈 yì —

か・る

逸〔逸〕yì イツ

—

役 yì ヤク エキ

—

疫 yì エキ

ヤク (疫病)

—

抑 yì ヨク

おさ・える

駅〔驿〕yì エキ

—

芸〔艺〕yì ゲイ

—

意 yì イ

—

億〔亿〕yì オク

—

憶〔忆〕yì オク

—

異〔异〕yì イ

こと

音 yīn オン

イン (福音)

おと

ね

○観音 (かんのん)

因 yīn イン

よ・る

姻 yīn イン

—

陰〔阴〕yīn イン

かげ

かげ・る

吟 yín ギン

—

銀〔銀〕yín ギン

—

飲〔饮〕yǐn イン

の・む

引 yǐn イン

ひ・く

ひ・ける

隠〔隐〕yǐn イン

かく・す

かく・れる

印 yìn イン

しるし

応〔应〕yīng オウ

—

○反応 (はんのう)

英 yīng エイ

桜〔櫻〕yīng オウ

さくら

営〔营〕yíng エイ

いとな・む

螢〔萤〕yíng ケイ

ほたる

迎 yíng ゲイ

むか・える

影 yǐng エイ

かげ

映 yìng エイ

うつ・る

うつ・す

は・える

硬 yìng コウ

かた・い

擁〔拥〕yōng ヨウ

—

庸 yōng ヨウ

—

永 yǒng エイ

なが・い

泳 yǒng エイ

およ・ぐ

詠〔咏〕yǒng エイ

よ・む

勇〔勇〕yǒng ユウ

いさ・む

踊 yǒng ヨウ

おど・る  
 おど・り  
 用 yòng ヨウ  
 もち・いる  
 優〔优〕yōu ヨウ  
 やさ・しい  
 すぐ・れる  
 憂〔忧〕yōu ヨウ  
 うれ・える  
 うれ・い  
 う・い  
 悠 yōu ヨウ  
 —  
 幽 yōu ヨウ  
 —  
 猶〔犹〕yóu ヨウ  
 —  
 遊 yóu ヨウ  
 ユ (遊山)  
 あそ・ぶ  
 由 yóu ユ  
 ヨウ (自由)  
 ユイ (由緒)  
 よし  
 油 yóu ユ  
 あぶら  
 郵〔邮〕yóu ヨウ  
 —  
 友 yǒu ヨウ  
 とよ

有 yǒu ヨウ  
 ウ (有無)  
 あ・る  
 右 yòu ウ  
 ヨウ (左右)  
 みぎ  
 誘〔诱〕yòu ヨウ  
 さそ・う  
 又 yòu —  
 また  
 幼 yòu ヨウ  
 おさな・い  
 愚 yú グ  
 おろ・か  
 虞〔虞〕yú —  
 おそれ  
 余 yú ヨ  
 あま・る  
 あま・す  
 魚 yú ギョ  
 うお  
 さかな  
 △雑魚 (ざこ)  
 漁〔渔〕yú ギョ  
 リョウ (漁師)  
 —  
 愉 yú ユ  
 —  
 娛〔娱〕yú ゴ  
 —

隅 yū グウ

すみ

語〔语〕yǔ ゴ

かた・る

かた・らう

宇 yǔ ウ

—

雨 yǔ ウ

あめ

あま (雨具)

△五月雨 (さみだれ)

時雨 (しぐれ)

春雨 (はるさめ)

羽 yǔ ウ

は

はね

○一羽 (いちわ)

三羽 (さんば)

六羽 (ろっば)

与 yǔ ヨ

あた・える

予 yǔ ヨ

—

芋 yù —

いも

玉 yù ギョク

たま

域 yù イキ

—

育 yù イク

そだ・つ

そだ・てる

誉 yù ヨ

ほま・れ

遇 yù グウ

—

獄〔狱〕yù ゴク

—

御 yù ギョ ゴ

おん

預〔预〕yù ヨ

あず・ける

あず・かる

諭〔谕〕yù ユ

さと・す

癒〔愈〕 yù ユ

—

浴 yù ヨク

あ・びる

あ・びせる

△浴衣 (ゆかた)

裕 yù ユウ

—

欲 yù ヨク

ほっ・する

ほ・しい

元 yuán ゲン ガン

もと

原 yuán ゲン

はら



△河原 (かわら)  
 川原 (かわら)  
 源 yuán ゲン  
 みなもと  
 員〔員〕yuán イン  
 —  
 円〔圓〕yuán エン  
 まる・い  
 園〔園〕yuán エン  
 その  
 猿 yuán エン  
 さる  
 援 yuán エン  
 —  
 垣 yuán —  
 かき  
 縁〔緣〕yuán エン  
 ふち  
 遠〔远〕yuǎn エン  
 オン (久遠)  
 とお・い  
 院 yuàn イン  
 —  
 願〔愿〕yuàn ガン  
 ねが・う  
 約 yuē ヤク  
 —  
 閱〔阅〕yuè エツ  
 —  
 悦 yuè エツ

—  
 越 yuè エツ  
 こ・す  
 こ・える  
 楽〔乐〕yuè lè ガク ラク  
 たの・しい  
 たの・しむ  
 △神楽 (かぐら)  
 躍〔跃〕yuè ヤク  
 おど・る  
 岳 yuè ガク  
 たけ  
 月 yuè ゲツ  
 ガツ (一月)  
 つき

△五月雨 (さみだれ)  
 雲〔云〕yún ウン  
 くも  
 運〔运〕yùn ウン  
 はこ・ぶ  
 韻〔韵〕yùn イン  
 —

Z

雜〔杂〕zá ザツ ゾウ  
 —  
 △雜魚 (ざこ)  
 栽 zāi サイ  
 —  
 災〔灾〕zāi サイ  
 わざわ・い

載〔載〕zǎi サイ

の・せる

の・る

宰 zǎi サイ

――

再 zài サイ

サ (再来年)

ふたた・び

在 zài ザイ

あ・る

賛〔賛〕zàn サン

――

暫〔暫〕zàn ザン

――

葬 zàng ソウ

ほうむ・る

臓〔脏〕zàng ゾウ

――

遭 zāo ソウ

あ・う

早 zǎo ソウ

サッ (早速)

はや・い

はや・まる

はや・める

△早乙女 (さおとめ)

早苗 (さなえ)

藻 zǎo ソウ

も

燥 zào ソウ

――

造 zào ゾウ

つく・る

責〔責〕zé セキ

せ・める

則〔则〕zé ソク

――

沢〔泽〕zé タク

さわ

択〔择〕zé タク

――

賊〔賊〕zéi ゾク

――

増〔増〕zēng ゾウ

ま・す

ふ・える

ふ・やす

憎〔憎〕zēng ゾウ

にく・む

にく・い

にく・らしい

にく・しみ

贈〔贈〕zèng ゾウ

ソウ (寄贈)

おく・る

札 zhá サツ

ふだ

搾〔榨〕zhà サク

しば・る

詐〔诈〕zhà サ

齋〔齋〕zhāi サイ

摘 zhāi テキ

つ・む

宅 zhái タク

債〔債〕zhài サイ

展 zhǎn テン

戰〔战〕zhàn セン

いくさ

たたか・う

棧〔栈〕zhàn サン

△棧敷（さじき）

占 zhàn セン

し・める

うらな・う

章 zhāng ショウ

彰 zhāng ショウ

張〔张〕zhāng チョウ

は・る

掌 zhǎng ショウ

脹〔胀〕zhàng チョウ

帳〔帳〕zhàng チウ ヨ

△蚊帳（かや）

丈 zhàng ショウ

たけ

障 zhàng ショウ

さわ・る

招 zhāo ショウ

まね・く

昭 zhāo ショウ

着〔着〕zháo チャク

ジャク（愛着）

き・る

き・せる

つ・く

つ・ける

沼 zhǎo ショウ

ぬま

召 zhào ショウ

め・す

照 zhào ショウ

て・る

て・らす

て・れる

詔〔诏〕zhào ショウ

みことのり

兆 zhào チョウ

きざ・す

きざ・し

遮 zhē シャ  
さえぎ・る

哲 zhé テツ

折 zhé セツ  
お・る

おり

お・れる

者 zhě シャ  
もの

△猛者（もさ）

針〔針〕zhēn シン  
はり

貞〔貞〕zhēn テイ

偵〔偵〕zhēn テイ

真〔真〕zhēn シン  
ま

珍 zhēn チン  
めずら・しい

診〔診〕zhěn シン  
み・る

振 zhèn シン  
ふ・る  
ふ・るう

鎮〔鎮〕zhèn チン  
しず・める  
しず・まる

陣〔陣〕zhèn ジン

朕 zhèn チン

震 zhèn シン

ふる・う

ふる・える

争 zhēng ソウ  
あらそ・う

蒸 zhēng ジョウ  
む・す

む・れる

む・らす

征 zhēng セイ

徵〔征〕zhēng チョウ

整 zhěng セイ  
ととの・える  
ととの・う

正 zhèng セイ  
ショウ（正面）  
ただ・しい  
ただ・す  
まさ

証〔证〕zhèng ショウ

症 zhèng ショウ

政 zhèng セイ  
ショウ（摂政）



まつりごと	ふ・える
汁 zhī ジュウ	ふ・やす
し・る	値〔值〕zhí チ
支 zhī シ	ね
ささ・える	あたい
△差し支える (さしつかえる)	執〔執〕zhí シツ
肢 zhī シ	シュウ (執念)
—	と・る
枝 zhī シ	職〔職〕zhí ショク
えだ	—
織〔织〕zhī ショク	止 zhǐ シ
シキ (組織)	と・まる
お・る	と・める
知 zhī チ	△波止場 (はとば)
し・る	祉 zhǐ シ
芝 zhī —	—
しば	旨 zhǐ シ
隻〔只〕zhī セキ	むね
—	指 zhǐ シ
脂 zhī シ	ゆび
あぶら	さ・す
直〔直〕zhí チョク	紙〔紙〕zhǐ シ
シキ (正直)	かみ
ただ・ちに	志 zhì シ
なお・す	ところざ・す
なお・る	ところざし
植〔植〕zhí ショク	置〔置〕zhì チ
う・える	お・く
う・わる	至 zhì シ
殖〔殖〕zhí ショク	いた・る

致 zhì チ

いた・す

窒 zhì チツ

—

滯〔滯〕zhì タイ

とどこお・る

制 zhì セイ

—

製〔制〕zhì セイ

—

秩 zhì チツ

—

誌〔志〕zhì シ

—

稚 zhì チ

—

質〔質〕zhì シツ

シチ（質屋）

チ（言質）

—

治 zhì ジ チ

おさ・める

おさ・まる

なお・る

なお・す

中 zhōng チュウ

なか

忠 zhōng チュウ

—

衷 zhōng チュウ

—

終〔終〕zhōng シュウ

お・わる

お・える

鍾〔钟〕zhōng ショウ

かね

塚〔冢〕zhǒng ー

つか

種〔种〕zhǒng シュ

たね

重 zhòng ジュウ

チョウ（貴重）

え

おも・い

かさ・ねる

かさ・なる

仲 zhòng チュウ

なか

△仲人（なこうど）

衆〔众〕zhòng シュウ

シュ（衆生）

—

州 zhōu シュウ

す

舟 zhōu シュウ

ふね

ふな（舟遊び）

周 zhōu シュウ

まわ・り

週〔周〕zhōu シュウ

——  
 軸 zhóu ジク  
 ——  
 宙 zhòu チュウ  
 ——  
 昼 zhòu チュウ  
 ひる  
 諸〔诸〕 zhū ショ  
 ——  
 珠 zhū シュ  
 ——  
 △数珠（じゅず）  
 朱 zhū シュ  
 ——  
 株 zhū ——  
 かぶ  
 竹 zhú チク  
 たけ  
 △竹刀（しな）  
 逐 zhú チク  
 ——  
 煮 zhǔ シャ  
 に・る  
 に・える  
 に・やす  
 嘱 zhǔ ショク  
 ——  
 主 zhǔ シュ  
 ス（坊主ボウズ）  
 ぬし

おも  
 注 zhù チュウ  
 そそ・ぐ  
 柱 zhù チュウ  
 はしら  
 駐〔驻〕 zhù チュウ  
 ——  
 住 zhù ジュウ  
 す・む  
 す・まう  
 貯〔貯〕 zhù チョ  
 ——  
 祝 zhù シュク  
 シュウ（祝言）  
 いわ・う  
 △祝詞（のりと）  
 铸〔铸〕 zhù チュウ  
 い・る  
 著 zhù チョ  
 あら・わす  
 いちじる・しい  
 助 zhù ジョ  
 たす・ける  
 たす・かる  
 すけ  
 築〔筑〕 zhù チク  
 きず・く  
 △築土（つきやま）  
 專〔专〕 zhuān セン  
 もっぱら

転〔转〕 zhuǎn テン	濁〔浊〕 zhuó ダク
ころ・がる	にご・る
ころ・げる	にご・す
ころ・がす	濯 zhuó タク
ころ・ぶ	—
荘〔庄〕 zhuāng ソウ	資〔资〕 zī シ
—	—
装 zhuāng ソウ	諮〔咨〕 zī シ
ショウ（衣装）	はか・る
よそお・う	姿 zī シ
粧〔妆〕 zhuāng ショウ	すがた
—	滋 zī シ
状 zhuàng ジョウ	—
—	紫 zǐ シ
壮 zhuàng ソウ	むらさき
—	子 zǐ シ
追 zhuī ツイ	ス（様子）
お・う	こ
墜〔坠〕 zhuì ツイ	字 zì シ
—	あざ
準〔准〕 zhǔn ジュン	自 zì シ
—	シ（自然）
准 zhǔn ジュン	みずか・ら
—	漬〔渍〕 zì —
卓 zhuó タク	つ・ける
—	つ・かる
拙 zhuō セツ	宗 zōng シュウ
—	ソウ（宗家）
酌 zhuó シャク	—
く・む	総〔总〕 zǒng ソウ



縦〔縦〕 zòng ジュウ  
 たて  
 走 zǒu ソウ  
 はし・る  
 △師走（しわす）  
 奏 zòu ソウ  
 かな・でる  
 組 zǔ ソ  
 卒 zú ソツ  
 族 zú ソク  
 足 zú ソク  
 あし  
 た・りる  
 た・る  
 た・す  
 △足袋（たび）  
 祖 zǔ ソ  
 組〔組〕 zǔ ソ  
 く・む  
 くみ  
 阻 zǔ ソ  
 はば・む  
 罪 zuì ザイ  
 つみ  
 醉〔酔〕 zuì スイ

よ・う  
 最 zuì サイ  
 もっと・も  
 △最寄（もより）  
 遵 zūn ジュン  
 尊 zūn ソン  
 たっと・い  
 とうと・い  
 たっと・ぶ  
 とうと・ぶ

昨 zuó サク

△昨日（きのう）

左 zuǒ サ

ひだり

佐 zuǒ サ

座 zuò ザ

すわ・る

作 zuò サク サ

つく・る

以下为现代汉语无音字

匆 —

もんめ

咲 —

さ・く

姉 —シ

あね

△姉（ねえ）さん

峠	——		こ・む
	とうげ		こ・める
塀	ヘイ	畑	——
	——		はた
扱	——		はたけ
	あつか・う	粹	——
込	——		わく

## 二、用语索引

1. 本索引收有词目化的全部述语和在正文中出现的未词目化的术语、书名等。

2. 全部索引分为假名部和汉字部。假名部均为假名打头的术语,按五十音序排列。汉字部均为汉字打头的术语,按汉语拼音音序及声调排列。

3. 汉字部索引将日语术语和汉语译词混合排列。如两者字体无区别或区别不大只收其中的一个,如区别明显则同时收录。

### 假名部

#### あ行

アイウエオ順	(344)
あいさつ語	(1)
あいての対象語	(652)
IC分析	(2)
アクセント	(5)
アスペクト	(11)
ア段长音	(723)
アメリカ構造主義言語学	
.....	(332)
イ音便	(98)
イ段长音	(723)
いろは	(53)

イントネーション..... (54)

インド・ヨーロッパ語族  
..... (311)

ウ音便..... (98)

ウ段长音..... (723)

ウラル・アルタイ語族... (311)

エ段长音..... (723)

オーソグラフィー..... (553)

オ段长音..... (723)

おどり字..... (254)

#### か行

かぎ..... (1291)

カ行变格活用..... (125)

かっこ..... (1292)

カ変…………… (125)  
 カリ活用…………… (180)  
 きまり文句…………… (218)  
 ク型(副詞)…………… (1209)  
 ク活用…………… (241)  
 くの字点…………… (254)  
 くりかえし…………… (253)  
 くりかえし符号…………… (254)  
 コソアド…………… (350)  
 ゴシック体…………… (191)  
 コトバニ先立ツテニヲハ  
 ……………… (1218)  
 「ことばの意味」…………… (1451)  
 コペンハーゲン学派…………… (332)  
 これからの敬語…………… (372)

### さ行

サ変…………… (390)  
 サ行変格活用…………… (390)  
 サ変動詞…………… (400)  
 サ変複合動詞…………… (400)  
 シク活用…………… (436)  
 シソーラス…………… (1255)  
 ズーズー弁…………… (1277)  
 スル型(サ変複合動詞)… (400)  
 ズル型(サ変複合動詞)… (401)  
 ズ型(副詞)…………… (1210)  
 セム・ハム語族…………… (311)  
 センテンス…………… (1227)

### た行

タ(ダ)型連体詞…………… (1465)  
 ダ型文…………… (661)  
 TG…………… (1273)  
 ダッシュ…………… (1290)  
 ダナ活用…………… (690)  
 タリ活用…………… (707)  
 タルト活用…………… (709)  
 だ体…………… (496)  
 だ系…………… (673、674)  
 つなぎ…………… (1293)  
 つまる音…………… (595)  
 であります体…………… (272)  
 である体…………… (496、329)  
 である体句…………… (769)  
 でございます体…………… (329、272)  
 でござる体…………… (329)  
 です体…………… (323)  
 です・ます体…………… (329、272)  
 テ形…………… (564)  
 テ型(副詞)…………… (1203)  
 デ型(副詞)…………… (1209)  
 てにをは…………… (79)  
 テンス…………… (918)  
 ト型(副詞)…………… (1209)  
 トコロ性の名詞…………… (1343)

## な行

なかてん……………	(249)
ナ・ナル・タル型連体詞	
……………	(1465)
なまり……………	(1278)
なみがた……………	(1291)
ナリ活用……………	(1025)
ナ変……………	(993)
ナ行変格活用……………	(993)
ニ型(副詞)……………	(1209)
ノ・ガ型(連体詞)……………	(1464)
ノノの点……………	(254)

## は行

ハガ文……………	(1148)
はねる音……………	(1163)
パラグラフ……………	(714)
パロール……………	(1442)
ピリオド……………	(249)
プラハ学派……………	(332)
プロミネンス……………	(1227)
ヘボン式……………	(1482)
ボイス……………	(646)
ポーズ……………	(90)

## ま行

マイナス方向への敬語…	(628)
マル……………	(246)
マレー・ポリネシア語族	

…………… (311)

mood……………	(1337)
ムード……………	(1337)
モーラ……………	(91)
モ型(副詞)……………	(1209)

## や行

やまことば……………	(1489)
ゆすり仮名……………	(254)
よびかけ文……………	(1242)

## ら行

ラク型(副詞)……………	(1210)
ラ行変格活用……………	(1430)
ラ変……………	(1430)
ランガジュ……………	(1442)
ラング……………	(1442)
リ型(副詞)……………	(1209)
レ点……………	(199)
ロドリゲス……………	(513)
ローマ字……………	(1482)

## わ行

わかれ文……………	(1242)
わき点……………	(1293)
ヲ・ル型(連体詞)……………	(1465)

## 汉字部

## A

アラ伯語……………	(232)
阿尔泰语系……………	(311)



阿伊努语…………… (463)  
 爱斯基摩语…………… (463)  
 安本美典…………… (1082)  
 安田喜代门…………… (122)  
 安置態…………… (21)  
 安置态…………… (21)  
 暗喻…………… (1187)  
 拗音…………… (1408)  
 拗音拍…………… (92)  
 拗母音…………… (1409)  
 傲称…………… (627)  
 傲語…………… (627)  
 傲語法…………… (650)  
 奥津敬一郎…………… (664)

## B

八丈岛方言…………… (1278)  
 白桦派…………… (323)  
 百科辞典…………… (440)  
 班图语…………… (246)  
 班图语系…………… (311)  
 阪本一郎…………… (217)  
 阪仓笃义…………… (142)  
 半被性…………… (722)  
 半闭母音…………… (97)  
 半高母音…………… (97)  
 半降调…………… (55)  
 半开母音…………… (95)  
 半升调…………… (55)  
 半浊音化现象…………… (340)

浜西正人…………… (1256)  
 傍点…………… (1293)  
 包容类型…………… (1450)  
 包孕混合句…………… (382)  
 包孕句…………… (1398)  
 保科孝一…………… (650)  
 抱合语…………… (463)  
 报告文…………… (1234)  
 卑称…………… (1187)  
 卑罵語…………… (1187)  
 卑骂语…………… (1187)  
 卑体…………… (496)  
 卑語法…………… (650)  
 卑遇…………… (650)  
 北方说…………… (1082)  
 北海道…………… (1278)  
 北陆方言…………… (1278)  
 北原保雄…………… (926)  
 倍数…………… (925)  
 备放体…………… (21)  
 被並立語…………… (1261)  
 被并列语…………… (1261)  
 被動…………… (63)  
 被動詞…………… (63)  
 被动句…………… (65)  
 被动表达法…………… (64)  
 被动态…………… (646)  
 被动态动词…………… (63)  
 被动态助动词…………… (63)  
 被動言…………… (63)

- 被动助动词…………… ( 63 )  
 被定辞…………… ( 416 )  
 被連体語…………… (1315)  
 被修用語…………… (1315)  
 被役相…………… ( 63 )  
 本居春庭…………… (1272)  
 本居宣长…………… ( 141 )  
 本名词…………… (1343)  
 崩溃式重音…………… (1280)  
 鼻音…………… ( 97 )  
 鼻韵母…………… ( 426 )  
 比较…………… (1189)  
 比较对比表达法…………… (1178)  
 比較対照の表現…………… (1178)  
 比较级…………… (1179)  
 比較文法…………… (1179)  
 比较语法…………… (1179)  
 比較言語学…………… (1179)  
 比较语言学…………… (1179)  
 比况の助動詞…………… (1180)  
 比况助动词…………… (1180)  
 比喻…………… ( 232 )  
 比喻比况の表現…………… (1187)  
 比喻比况表达法…………… (1187)  
 比喻法…………… (1187)  
 比喻性程度…………… ( 777 )  
 笔画…………… ( 190 )  
 笔顺…………… ( 190 )  
 筆写体…………… ( 191 )  
 闭母音…………… ( 97 )  
 闭塞…………… ( 596 )  
 闭音节…………… ( 94 )  
 边音…………… ( 424 )  
 变格活用…………… (1272)  
 变体汉文…………… (1231)  
 变形文法…………… (1273)  
 变形生成文法…………… (1273)  
 标号…………… (1290)  
 标记辞典…………… ( 440 )  
 标写法…………… (1189)  
 标写法的游移…………… ( 367 )  
 标写符号…………… (1190)  
 「標準日本口語法」…… (1314)  
 「標準日本文法」…… (1314)  
 标准理论模式…………… (1273)  
 標準式…………… (1482)  
 標準語…………… (1192)  
 标准语…………… (1192)  
 表記…………… (1189)  
 表記法…………… (1189)  
 表記行為…………… (1189)  
 表層文…………… (1274)  
 表层结构…………… (1273)  
 表出的一語文…………… ( 38 )  
 表达词典…………… (1256)  
 表达法…………… (1191)  
 表达方式的类型…………… (1191)  
 表达形式…………… (1192)  
 表达意图…………… (1191)  
 表达语法…………… (1191)

- 表达主体…………… (478)  
 表情音…………… (195)  
 表現法…………… (1191)  
 表現文法…………… (1190)  
   「表現と文法」…………… (1190)  
 表意文字…………… (1366)  
 表音仮名づかい…………… (153)  
 表音文字…………… (1366)  
 别称…………… (410)  
 宾词…………… (841)  
 宾辞…………… (416)  
 宾格…………… (126)  
 宾语…………… (1364)  
 並立表現…………… (1263)  
 並立語…………… (1261)  
 並立助詞…………… (1262)  
 并列表达法…………… (1263)  
 并列复合句…………… (468)  
 并列混合句…………… (381)  
 并列句…………… (468)  
 并列语…………… (1261)  
 并列助词…………… (1262)  
 撥音…………… (1163)  
 拔音…………… (232)  
 拨音便…………… (98)  
 补充段落…………… (716)  
 補充語…………… (1287)  
 补充语…………… (1287)  
 補格…………… (127)  
 補文…………… (1274)  
 補語…………… (1286)  
 补语…………… (1286)  
 補助語…………… (1288)  
 補助動詞…………… (1288)  
 补助动词…………… (1288)  
 補助符号…………… (1290)  
 补助关系…………… (1288)  
 補助形容詞…………… (1287)  
 补助形容词…………… (1287)  
 補助用言…………… (1293)  
 补助用言…………… (1293)  
   (补助用言)与接尾辞的界  
   限…………… (1294)  
   (补助用言)与助动词的关  
   系…………… (1294)  
 補助語…………… (1288)  
 不变化活用…………… (143)  
 不变化助动词…………… (1225)  
 不定称…………… (1224)  
 不定法…………… (1276)  
 不定数词…………… (221)  
 不定系の係副詞…………… (221)  
 不定遇…………… (650)  
 不規則变化…………… (882)  
 不确定判断…………… (1174)  
 不熟辞…………… (1314)  
 不完全名詞…………… (266)  
 不完全形容词…………… (1203)  
 不完全用言…………… (264)  
 布拉格学派…………… (332)

布龙菲尔德…………… ( 2 )  
 部分重合类型…………… (1450)  
 部首…………… (1218)

## C

擦音…………… ( 97 )  
 倉持保男…………… ( 664 )  
 草假名…………… ( 154 )  
 草書…………… ( 191 )  
 草野清民…………… ( 579 )  
 层次分析法…………… ( 2 )  
 插入句…………… (1253)  
 插入语…………… ( 593 )  
 挿頭…………… (1218)  
 截断句…………… ( 141 )  
 柴田武…………… (1451)  
 常体…………… ( 496 )  
 常用漢字表…………… ( 501 )  
 長音…………… ( 722 )  
 长元音…………… (1280)  
 嘗試態…………… ( 826 )  
 場面…………… (1169)  
 场所格…………… ( 131 )  
 场所性名词…………… (1343)  
 场所表达法…………… (1158)  
 場所の表現…………… (1158)  
 場と相補う文…………… (1170)  
 場の文…………… (1170)  
 場を指向する文…………… (1170)  
 場を含む文…………… (1170)

超大型辞典…………… ( 441 )  
 超量…………… (1179)  
 朝鮮語…………… (1082)  
 陳述…………… ( 726 )  
 陳述副詞…………… ( 728 )  
 陳述修飾成分…………… (1398)  
 陈述性助动词…………… ( 517 )  
 陳述語…………… ( 727 )  
 陈述语气…………… (1337)  
 程度表現…………… ( 776 )  
 程度副詞…………… ( 778 )  
 程度性名词…………… (1345)  
 称格性…………… ( 438 )  
 承接…………… ( 120 )  
 承前詞…………… ( 560 )  
 成语…………… ( 202 )  
 池田弥三郎…………… ( 441 )  
 持ち主の受身…………… ( 485 )  
 持续运动的场所…………… (1158)  
 尺牍用语…………… ( 218 )  
 齒莖閉鎖促音…………… ( 596 )  
 齒莖側面促音…………… ( 597 )  
 齒莖音…………… ( 97 )  
 齒裏・齒莖摩擦促音…………… ( 596 )  
 齒裏音…………… ( 97 )  
 冲绳方言…………… (1278)  
 重叠型(副词)…………… (1209)  
 重合类型…………… (1450)  
 重文…………… ( 468 )  
 重箱読み語…………… ( 376 )



- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 抽象名词…………… (1343)    | 词的词汇特征…………… (325) |
| 出发点…………… (1159)     | 词的认定…………… (325)   |
| 出现点…………… (1159)     | 词法…………… (1157)    |
| 出现和开始的时点…………… (447) | 词干…………… (336)     |
| 川端善明…………… (498)     | 词汇…………… (326)     |
| 传达…………… (584)       | 词汇量…………… (326)    |
| 伝達…………… (842)       | 词汇体系…………… (328)   |
| 伝達の助動詞…………… (842)   | 词汇学…………… (1253)   |
| 传达助动词…………… (584)    | 词汇意义…………… (46)    |
| 伝統文法…………… (841)     | 词类…………… (1194)    |
| 传统语法…………… (1252)    | 词类的游移…………… (368)  |
| 传闻…………… (584)       | 词类划分…………… (1197)  |
| 伝聞の助動詞…………… (841)   | 词类划分表…………… (1198) |
| 伝聞表現…………… (842)     | 词目…………… (439)     |
| 传闻助动词…………… (582)    | 词类转换…………… (1195)  |
| 纯汉文…………… (198)      | 词素…………… (275)     |
| 纯助动词…………… (517)     | 词素变体…………… (275)   |
| 辞…………… (415)        | 词素学…………… (277)    |
| 辞の敬語…………… (781)     | 词素重叠…………… (253)   |
| 辞典…………… (439)       | 词素音位学…………… (275)  |
| 辞典意义…………… (46)      | 词书…………… (439)     |
| 辞書…………… (439)       | 词尾…………… (142)     |
| 辞書の意味…………… (46)     | 词形…………… (273)     |
| 諺…………… (414)        | 词序…………… (344)     |
| 词…………… (414)        | 词源…………… (440)     |
| 词典…………… (439)       | 次数数词…………… (537)   |
| 词典的正文…………… (439)    | 従属節…………… (555)    |
| 词典学…………… (328)      | 促音…………… (595)     |
| 词的相…………… (1316)     | 促音便…………… (98)     |
| 词的副词…………… (1208)    | 促音化现象…………… (340)  |

- 存在词…………… (446)
- 存在和持续的时段…………… (434)
- 存在·发生的场所…………… (1159)
- 存在文…………… (626)
- 嵯峨尾御室…………… (323)
- 指定表现…………… (446)
- 错例语法…………… (370)
- D**
- 搭讪语…………… (1)
- 打消の命令…………… (236)
- 打消の敬讓助動詞…………… (1312)
- 打消の助動詞…………… (68)
- 打消接統の口語助動詞… (985)
- 打消形…………… (1332)
- 大阪外国语大学留学生别科
- 日本語研究室的活用表 (144)
- 「大辞典」…………… (326)
- 大段落…………… (716)
- 大槻文彦…………… (79)
- 「大漢和辞典」…………… (442)
- 大開母音…………… (95)
- 「大日本国語辞典」…………… (326)
- 大矢透…………… (344)
- 大石初太郎…………… (776)
- 大為爾歌…………… (54)
- 大野晋…………… (116)
- 代动词…………… (545)
- 代名词…………… (656)
- 待遇 表达法…………… (649)
- 待遇表现…………… (649)
- 「待遇表現の基礎」…………… (650)
- 「待遇表現の実態—松江二  
    四時間の調査から」… (650)
- 待遇法…………… (649)
- 待遇語…………… (649)
- 单词…………… (712)
- 单词重音…………… (6)
- 单纯词…………… (339)
- 单纯的经历…………… (259)
- 单纯动词…………… (893)
- 單純動作態…………… (12)
- 单纯体…………… (783)
- 单纯完了…………… (801)
- 单纯形容词…………… (284)
- 單純語…………… (339)
- 單純助動詞…………… (517)
- 單純狀態態…………… (12)
- 单数…………… (531)
- 单文…………… (713)
- 单性詞…………… (1314)
- 单音…………… (274)
- 单音…………… (94)
- 单語…………… (712)
- 單語アクセント…………… (6)
- 单元音…………… (1278)
- 单韵母…………… (425)
- 当然義務の表現…………… (905)
- 当然、义务表达法…………… (905)

- 当事者被害完了…………… (801)  
 当用汉字表…………… (501)  
 当用汉字别表…………… (501)  
 当用汉字音训表…………… (501)  
 当用汉字字体表…………… (501)  
 当字…………… (192)  
 导入段落…………… (716)  
 道别语…………… (2)  
 到达地点…………… (1160)  
 道歉语…………… (1)  
 倒读…………… (199)  
 倒序…………… (344)  
 倒置…………… (907)  
 倒装…………… (907)  
 倒装法…………… (231)  
 徳川宗賢…………… (1451)  
 德语…………… (117)  
 等量基准…………… (1179)  
 低程度…………… (776)  
 递进…………… (232)  
 地の文…………… (119)  
 地方方言…………… (1278)  
 地方共同语…………… (232)  
 地名辞典…………… (440)  
 第二称格…………… (1077)  
 第二客語…………… (227)  
 第二人称…………… (1077)  
 第二类…………… (80)  
 第二形容詞…………… (291)  
 第二中顿法…………… (902)  
 第二终止法…………… (1276)  
 第三类…………… (80)  
 第三人称…………… (410)  
 第三者の受動態…………… (485)  
 第三者被动态…………… (485)  
 第三终止法…………… (1276)  
 第四类…………… (80)  
 第四種の動詞…………… (268)  
 第一称格…………… (39)  
 第一客語…………… (227)  
 第一类…………… (80)  
 第一人称…………… (39)  
 第一形容詞…………… (291)  
 第一終止法…………… (1276)  
 低母音…………… (97)  
 低音拍…………… (6)  
 点…………… (247)  
 点点…………… (1291)  
 点画…………… (190)  
 点線…………… (1291)  
 彫刻…………… (1233)  
 悼丧语…………… (2)  
 畳語…………… (1205)  
 畳字…………… (254)  
 叠字符号…………… (254)  
 丁寧の形容動詞…………… (780)  
 丁寧の助動詞…………… (781)  
 丁寧体…………… (272)  
 丁寧語…………… (779)  
 丁寧重語…………… (775)

- 定辞…………… (416)  
 定称…………… (1224)  
 定家仮名づかい…………… (153)  
 东北方言…………… (1282)  
 东部方言…………… (1278)  
 东海东山方言…………… (1278)  
 东京式重音…………… (1280)  
 东京语…………… (1192)  
 东日本和西日本方言…………… (1281)  
 东条操…………… (1278)  
 东条义门…………… (141)  
 動辞…………… (881)  
 動詞…………… (881)  
 動詞の未然形…………… (894)  
 動詞の假定形…………… (886)  
 動詞の連体形…………… (898)  
 動詞の連用形…………… (901)  
 動詞の命令形…………… (895)  
 動詞の推量形…………… (894)  
 動詞の已然形…………… (885)  
 動詞の音便…………… (886)  
 動詞の語幹…………… (888)  
 動詞の終止形…………… (889)  
 動詞の種類…………… (892)  
 动词的命令形…………… (895)  
 动词的推量形…………… (894)  
 动词的未然形…………… (894)  
 动词的词干…………… (888)  
 动词的假定形…………… (886)  
 动词的连体形…………… (898)  
 动词的连用形…………… (901)  
 动词的音便形…………… (99)  
 动词的种类…………… (892)  
 動詞基名詞…………… (889)  
 动词价…………… (893)  
 动词连用形…………… (840)  
 動名詞…………… (909)  
 动词命令形后加という… (420)  
 動詞式活用…………… (882)  
 动词体…………… (880)  
 动词型活用…………… (142)  
 动词性名词…………… (1344)  
 动词终止形…………… (1350)  
 動助詞…………… (1314)  
 動助辞…………… (882)  
 动作动词…………… (1315)  
 動作態…………… (11)  
 动作体…………… (880)  
 動作相のアスペクト…………… (12)  
 动作主…………… (478)  
 动作主格…………… (126)  
 逗号…………… (247)  
 都成方言…………… (1280)  
 独立词…………… (519)  
 独立節…………… (555)  
 独词句…………… (38)  
 独立素…………… (927)  
 独立語…………… (926)  
 独立语格…………… (922)  
 独立語構文…………… (1240)



読点…………… (247)  
 读解语法…………… (443)  
 读音的游移…………… (367)  
 度数数詞…………… (537)  
 渡边实…………… (727)  
 短歌…………… (57)  
 短母音…………… (95)  
 短语结构…………… (1274)  
 段…………… (711)  
 段落…………… (714)  
 断定表达法…………… (446)  
 断定表现…………… (446)  
 断句…………… (711)  
 断止性句节…………… (1236)  
 断止…………… (24)  
 对比语法…………… (652)  
 对称…………… (1077)  
 对方被动态…………… (485)  
 对格…………… (126)  
 对極語…………… (648)  
 对话敬语…………… (779)  
 对立節…………… (555)  
 对立節…………… (555)  
 对人關係表現…………… (653)  
 对谈记录…………… (119)  
 对下語…………… (650)  
 对象格…………… (131)  
 对象語…………… (651)  
 对象語格…………… (127)  
 对象尊敬…………… (187)

对義語…………… (647)  
 对語…………… (647)  
 对照词汇学…………… (328)  
 对照文法…………… (652)  
 对照語彙論…………… (328)  
 对照言語学…………… (653)  
 对者の敬称…………… (782)  
 对者敬語…………… (260)  
 对者尊稱…………… (781)  
 「多情多恨」…………… (323)  
 多数…………… (531)  
 多义词…………… (440)  
 夺格…………… (126)

## E

腭化子音…………… (1409)  
 訛音…………… (1278)  
 俄语…………… (117)  
 耳ことば…………… (90)  
 二段活用…………… (1069)  
 二重否定表現…………… (1062)  
 二重かぎ…………… (1292)  
 二段标记法…………… (8)  
 二分法…………… (2)  
 二人称…………… (1077)  
 二音节形容词…………… (1055)  
 二叶亭四迷…………… (323)  
 二つ字点…………… (254)

## F

- 発動性間接作用…………… (417)  
 发音合作人…………… (332)  
 法…………… (1276)  
   「法律用語改正要領」… (879)  
 法语…………… (117)  
 翻譯体…………… (1298)  
 翻译文…………… (1297)  
 反对語…………… (647)  
 反复…………… (71)  
 反復符号…………… (254)  
 反復継続態…………… (270)  
 反复进行体…………… (520)  
 反復態…………… (1175)  
 反复体…………… (783)  
 反射代詞…………… (1171)  
 反射代名词…………… (1171)  
 反問…………… (222)  
 反問表現…………… (1176)  
 反问表达法…………… (1176)  
 反问句…………… (1170)  
 反义词…………… (647)  
 反义词词典…………… (440)  
 反義語…………… (647)  
 反意語…………… (647)  
 反应能力…………… (312)  
 反诘表达法…………… (1170)  
 反語…………… (647)  
 反語表現…………… (1170)  
 反照代名詞…………… (1171)  
 返点…………… (595)  
 方法・材料の表現…………… (1283)  
 方法材料表达法…………… (1283)  
 方框式…………… (8)  
 方向格…………… (126)  
 方言…………… (1277)  
 方言词汇…………… (1277)  
 方言地图…………… (1256)  
 方言区划…………… (1278)  
 方言区划图…………… (1278)  
 方言文法…………… (1281)  
 方言学…………… (1278)  
 方言语法…………… (1281)  
 方言音…………… (1278)  
 方言语音…………… (1277)  
 方音…………… (1278)  
   「方丈記」…………… (1231)  
 芳贺矢一…………… (1464)  
 非帰着性動詞…………… (892)  
 非基本词汇…………… (217)  
 非情の受動態…………… (1439)  
 非情の受身…………… (485)  
 非情物…………… (31)  
 非实用文章…………… (1234)  
 非同形词…………… (1072)  
   「非文法的な文の文法」  
     …………… (370)  
 非限定性的定语…………… (1466)  
 非音便形…………… (98)

- 非意志动词…………… (893)  
 非自立形式…………… (314)  
 肥筑方言…………… (1278)  
 费里斯…………… (332)  
 费尔摩…………… (130)  
 分かち書き…………… (1487)  
 分け書き…………… (1487)  
 分別書き…………… (1487)  
 分化的一語文…………… (38)  
 分節文…………… (1241)  
 分类词汇…………… (1255)  
 分类词汇表…………… (1255)  
 「分類方言辞典」…………… (326)  
 分類語…………… (1255)  
 「分類語彙表」…………… (326)  
 分数…………… (925)  
 分数词…………… (925)  
 分説…………… (122)  
 分写法…………… (1487)  
 丰日方言…………… (1278)  
 「風琴調一節」…………… (323)  
 諷喻…………… (1188)  
 否定…………… (1281)  
 否定の助動詞…………… (68)  
 否定表达法…………… (1181)  
 否定表現…………… (1181)  
 否定文…………… (1184)  
 否定法…………… (1186)  
 否定形…………… (1181)  
 否定助动词…………… (68)  
 「浮雲」…………… (323)  
 服部四郎…………… (6)  
 福島方言…………… (1280)  
 福泽谕吉…………… (322)  
 辅音…………… (1280)  
 负敬语…………… (628)  
 富樫广荫…………… (882)  
 富士谷成章…………… (141)  
 付加構文…………… (1240)  
 付属語…………… (1223)  
 附加名词连体修饰结构…………… (1472)  
 附属形式…………… (314)  
 附属語…………… (1223)  
 复词尾…………… (1206)  
 復古仮名づかい…………… (1454)  
 复合词…………… (339)  
 复合动词…………… (1205)  
 复合接续词…………… (561)  
 复合形容词…………… (284)  
 复合句…………… (1212)  
 复数…………… (530)  
 复杂句…………… (1213)  
 副詞…………… (1207)  
 副詞の型…………… (1209)  
 副詞的修飾語…………… (1477)  
 副詞的および接続詞的な  
     吸着語…………… (230)  
 副詞的词形…………… (1209)  
 副詞性的(代名詞)…………… (498)  
 副詞法…………… (1210)

副詞形…………… (1208)  
 副词性名词…………… (1344)  
 副仮名…………… ( 82 )  
 副名助词…………… ( 492 )  
 副体詞…………… (1212)  
 副用盲…………… (1217)  
 副用語…………… (1218)  
 副词与形容(动)词连用形  
   的区别…………… (1208)  
 副词与名词的区别…………… (1208)  
 副助辞…………… (1315)  
 副助詞…………… (1210)  
 副助词性的吸着语…………… ( 230 )  
 副助词型(副词)…………… (1210)  
 複合動詞…………… (1205)  
 複合辞…………… ( 334 )  
 複合構文…………… (1240)  
 複合語…………… (1204)  
 複合助動詞…………… ( 514 )  
 複文…………… (1212)  
 複文の構造…………… (1213)  
 複性詞…………… (1314)  
 複語尾…………… (1206)

## G

「改撰標準日本文法」… ( 507 )  
 概念…………… ( 313 )  
 概念化过程…………… ( 313 )  
 概念性…………… (1316)  
 概念语…………… ( 117 )

概数…………… ( 925 )  
 感動の助動詞…………… ( 196 )  
 感動表現…………… ( 70 )  
 感動詞…………… ( 194 )  
 感動副詞…………… ( 197 )  
 感動喚体…………… ( 194 )  
 感動文…………… ( 197 )  
 感動言…………… ( 195 )  
 感動助辞…………… (1315)  
 感觉感情形容词…………… ( 182 )  
 感觉感情形容詞文…………… ( 185 )  
 感情句调…………… ( 54 )  
 感叹表达法…………… ( 70 )  
 感嘆詞…………… ( 194 )  
 感叹词…………… ( 194 )  
 感叹的语气…………… (1338)  
 感叹句…………… ( 922 )  
 感嘆文…………… ( 197 )  
 感叹语…………… ( 926 )  
 感叹助词…………… ( 468 )  
 感叹助动词…………… ( 196 )  
 冈村和江…………… ( 221 )  
 冈田正美…………… ( 650 )  
 冈泽征次郎…………… ( 491 )  
 高程度…………… ( 776 )  
 高低重音…………… ( 5 )  
 高津锹三郎…………… (1241)  
 高母音…………… ( 97 )  
 高平调…………… ( 55 )  
 高桥太弼…………… ( 12 )



- 高音拍…………… ( 8 )  
 哥本哈根学派…………… ( 332 )  
 格…………… ( 126 )  
 格文法…………… ( 130 )  
 格语法…………… ( 131 )  
 格助辞…………… ( 1315 )  
 格助词…………… ( 128 )  
 各部门的特殊用语…………… ( 203 )  
 个别条件…………… ( 494 )  
 个别文体…………… ( 1237 )  
 个人词汇量…………… ( 326 )  
 个人语言…………… ( 1442 )  
 个数数词…………… ( 537 )  
 个体量词…………… ( 512 )  
 个数数词…………… ( 537 )  
 根词…………… ( 339 )  
 根拠依拠の表現…………… ( 378 )  
 工具格…………… ( 126 )  
 功能…………… ( 209 )  
 功能意义…………… ( 46 )  
 功能语法…………… ( 210 )  
 恭称…………… ( 781 )  
 宫岛达夫…………… ( 328 )  
 宫地裕…………… ( 272 )  
 宫地幸一…………… ( 1440 )  
 宫桎広蔭…………… ( 553 )  
 宫脇郁…………… ( 1466 )  
 宫田幸一…………… ( 463 )  
 共格…………… ( 126 )  
 共起…………… ( 231 )  
 共时语言学…………… ( 332 )  
 共说…………… ( 122 )  
 共同词汇…………… ( 217 )  
 共同行为对象…………… ( 654 )  
 共同语…………… ( 232 )  
 共通語彙…………… ( 217 )  
 勾销…………… ( 502 )  
 构词法…………… ( 339 )  
 构词学…………… ( 328 )  
 構文論…………… ( 334 )  
 構造言語学…………… ( 331 )  
 構造論…………… ( 339 )  
 孤立語…………… ( 372 )  
 孤立助词…………… ( 468 )  
 古代日语…………… ( 319 )  
 古典仮名づかい…………… ( 1454 )  
 「古典解釈のための  
   日本文法」…………… ( 116 )  
 古典日语…………… ( 1230 )  
 古典语法…………… ( 116 )  
 「古事記」…………… ( 198 )  
 骨ぐみ構文…………… ( 1240 )  
 固定词组…………… ( 202 )  
 固定体…………… ( 520 )  
 固有词…………… ( 1489 )  
 固有名词…………… ( 369 )  
 固有文…………… ( 1234 )  
 固有文体…………… ( 1237 )  
 关东方言…………… ( 1278 )  
 关根俊雄…………… ( 39 )

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 关联…………… (120)       | 规则变化…………… (882)      |
| 关联承接关系…………… (1236)  | 归着性动词…………… (892)     |
| 关联·承接理论…………… (1315) | 帰着語…………… (1315)      |
| 関西弁…………… (1277)     | 亀井孝…………… (1456)      |
| 关西方言…………… (279)     | 国訛り…………… (1277)      |
| 関係敬称…………… (628)     | 国广哲弥…………… (313)      |
| 関係詞…………… (507)      | 国际共同语…………… (232)     |
| 关系代词…………… (187)     | 国訓…………… (191)        |
| 関係代名詞…………… (187)    | 国语辞典…………… (440)      |
| 関係敬称…………… (565)     | 「国語待遇表現体系            |
| 关系敬语…………… (187)     | の研究」…………… (650)      |
| 関係敬語…………… (187)     | 「国語法体系論」…………… (1157) |
| 関係名詞…………… (266)     | 国語法研究…………… (1157)    |
| 関係謙称…………… (316)     | 国語仮名づかい…………… (153)   |
| 関係下位主体語…………… (316)  | 「国語教育事典」…………… (1190) |
| 関係語…………… (187)      | 「国語学辞典」…………… (440)   |
| 觀念語…………… (198)      | 「国語学原論」…………… (921)   |
| 冠词…………… (552)       | 「国語学原論統論」…………… (313) |
| 惯用词组…………… (203)     | 「国語語彙論」…………… (328)   |
| 惯用句…………… (202)      | 国字…………… (337)        |
| 慣用連語…………… (1464)    | 过去…………… (634)        |
| 慣用音…………… (423)      | 過去の助動詞…………… (133)    |
| 慣用語…………… (203)      | 過去回想の助動詞…………… (635)  |
| 广池千九郎…………… (333)    | 过去时…………… (918)       |
| 「広辞苑」…………… (326)    | 過去・完了の助動詞…………… (635) |
| 「広日本文典」…………… (1239) | 过去完了助动词…………… (629)   |
| 广田荣太郎…………… (1190)   | 过去助动词…………… (133)     |
| 规范语法…………… (443)     |                      |
| 規範文法…………… (210)     |                      |
| 規定語…………… (209)      |                      |
|                     | H                    |
|                     | 含语系…………… (311)       |

- 寒喧语…… ( 1 )
- 《汉日词典》…… ( 441 )
- 汉诗…… ( 57 )
- 漢詩…… (1234)
- 漢文…… (198)
- 汉文体…… (1231)
- 汉文直译体…… (1237)
- 汉音…… (188)
- 漢語…… (188)
- 汉语…… (1490)
- 汉语型(副词)…… (1210)
- 汉源词…… (188)
- 汉藏语系…… (311)
- 漢字…… (190)
- 汉字词…… (232)
- 漢字仮名交じり文…… (192)
- 汉字假名混用体…… (1237)
- 汉字假名混用文…… (192)
- 汉字片假名混用文…… (1231)
- 汉字平假名混用文…… (192)
- 合い方の受身…… (485)
- 合成词…… (339)
- 合成語…… (339)
- 合乎语法性…… (1250)
- 合口呼…… (1409)
- 合口拗音…… (1409)
- 合说…… (122)
- 合文…… (334)
- 和歌…… ( 57 )
- 和漢混合文…… (1234)
- 和漢混淆文…… (153)
- 和漢混用文…… (1231)
- 「和名類聚抄」…… (326)
- 和文…… (1491)
- 和文体…… (1237)
- 「和英辞典」…… (440)
- 「和英語林集成」…… (1482)
- 和語…… (1489)
- 和製英语…… (118)
- 和字…… (152)
- 荷兰语…… (117)
- 核…… ( 6 )
- 核标记法…… ( 8 )
- 贺根俊荣…… (217)
- 鶴峰茂申…… (127)
- 鶴田常吉…… (1466)
- 黑本…… (1482)
- 黑本式…… (1482)
- 黑体…… (191)
- 黑体字式…… ( 8 )
- 黑丸…… (249)
- 黑泽翁满…… (410)
- 洪堡特…… (310)
- 候文…… (594)
- 候文体…… (1237)
- 后略型…… (1445)
- 后母音…… ( 95 )
- 后续性句节…… (1236)
- 后置词…… (333)
- 後置詞…… (333)

呼び掛け表現…………… (1422)  
 呼格…………… (336)  
 呼唤表达法…………… (1422)  
 呼唤语…………… (926)  
 呼应…………… (335)  
 呼応の副詞…………… (728)  
 「蝴蝶」…………… (323)  
 話し言葉…………… (1168)  
 「話しことばの文型(1)  
 (2)」…………… (1229)  
 話し手の文法…………… (1190)  
 話法…………… (1491)  
 话语…………… (1491)  
 划线式…………… (8)  
 唤体の句…………… (194)  
 唤体句…………… (71)  
 换喻…………… (1188)  
 回想の助動詞…………… (133)  
 混成語…………… (380)  
 混合词…………… (379)  
 混合句…………… (381)  
 混合型的引语…………… (193)  
 混同…………… (1189)  
 混文…………… (381)  
 混種語…………… (379)  
 活动性名词…………… (1344)  
 活动性动作体…………… (880)  
 活用…………… (139)  
 活用の型…………… (142)  
 活用表…………… (143)

活用词…………… (141)  
 活用词尾…………… (141)  
 活用词组…………… (146)  
 活用类别的游移…………… (368)  
 活用类型…………… (142)  
 活用連語…………… (146)  
 活用形…………… (140)  
 活用形和词尾的游移…………… (368)  
 活用語…………… (141)  
 活用語尾…………… (141)  
 活喻…………… (1188)  
 会话段落…………… (716)  
 会话文…………… (119)  
 会话段落…………… (716)  
 会议记录…………… (119)  
 绘画…………… (1233)

## J

基本词汇…………… (217)  
 基本句型…………… (217)  
 基本形…………… (216)  
 基本形容动词…………… (293)  
 基本文型…………… (217)  
 「基本文型の研究」…………… (1229)  
 基本語彙…………… (216)  
 基础词汇…………… (327)  
 「基礎日本語」…………… (1247)  
 基礎文型…………… (217)



- 基礎語彙…………… (216)  
 基礎語彙論…………… (328)  
 基数词…………… (531)  
 基準構文…………… (1240)  
 機能…………… (209)  
 機能範疇…………… (210)  
 機能文法…………… (210)  
 吉岡乡甫…………… (1240)  
 吉田金彦…………… (1829)  
 吉泽义则…………… (1286)  
 即兴诗…………… (1234)  
 集体量词…………… (512)  
 輯合語…………… (463)  
 极限格…………… (126)  
 几种推测形式的比较…………… (530)  
 记录体…………… (198)  
 记叙文…………… (1234)  
 記述文法…………… (205)  
 記述言語学…………… (332)  
 纪行文…………… (1234)  
 計量語彙論…………… (328)  
 寄生形式动词…………… (265)  
 継続動詞…………… (270)  
 继续动词…………… (270)  
 継続態…………… (270)  
 继续体…………… (270)  
 既定条件…………… (494)  
 既然態…………… (206)  
 既然体…………… (206)  
 既現態…………… (250)  
 既现体…………… (205)  
 忌讳语…………… (74)  
 加藤弘之…………… (322)  
 仮り名…………… (152)  
 假定法…………… (146)  
 假定法…………… (146)  
 假定条件…………… (494)  
 假定形…………… (146)  
 假定语气…………… (1337)  
 假名…………… (152)  
 仮名…………… (152)  
 仮名まじり文…………… (192)  
 仮名つかい…………… (153)  
 仮名文…………… (153)  
 仮名漢字交じり文…………… (192)  
 假名用法…………… (153)  
 仮字…………… (152)  
 尖音…………… (424)  
 间接宾语…………… (1364)  
 間接的な対象語…………… (652)  
 間接話法…………… (192)  
 间接引述…………… (192)  
 间接引语…………… (120)  
 间接引语句…………… (57)  
 間接引用文…………… (57)  
 間投詞…………… (194)  
 間投助詞…………… (195)  
 间隔号…………… (249)  
 简单句…………… (713)  
 简化字…………… (1445)

- 簡体…………… (496)  
 渐弱复合韵母…………… (425)  
 渐强复合韵母…………… (425)  
 将来时…………… (918)  
 将然態…………… (495)  
 将然体…………… (495)  
 将然言…………… (141)  
 将現態…………… (494)  
 将現体…………… (494)  
 江戸時代の日语…………… (319)  
 講演…………… (1234)  
 講演体…………… (329)  
   「講座・解釈と文法」  
     …………… (117)  
   「講座日本語の語彙」  
     …………… (328)  
 降調…………… (55)  
 降渡…………… (6)  
 降升調…………… (55)  
 膠着語…………… (334)  
 角かっこ…………… (1292)  
 「角川国語辞典」…………… (8)  
 教科文法…………… (139)  
   「教師用日本語教育ハンドブック  
   ・文法Ⅰ」…………… (371)  
 教学语法…………… (139)  
 教育漢字表…………… (501)  
   「教育基本語彙」…………… (217)  
 結び…………… (122)  
 结构上的句子分类…………… (1240)  
 结构学…………… (339)  
 结构主义语法…………… (1252)  
 结构(主义)语言学…………… (331)  
 结果保留的位置…………… (1159)  
 结果体…………… (783)  
 结束段落…………… (716)  
 接辞…………… (1314)  
 接头辞…………… (1162)  
 接头形式动词…………… (265)  
 接尾辞…………… (142、1162)  
 接尾性助动词…………… (517)  
 接統詞…………… (556)  
 接续词…………… (1217)  
 接統語相当連語…………… (559)  
 接续词性词组…………… (559)  
 接续词重叠使用…………… (558)  
 接統詞の構成…………… (560)  
 接統詞の種類…………… (561)  
 接续法…………… (719)  
 接統法…………… (564)  
 接統副詞…………… (564)  
 接統語…………… (556)  
 接续语…………… (556)  
 接統言…………… (558)  
 接統助詞…………… (562)  
 接续助词…………… (562)  
 接中辞…………… (1055)  
 節…………… (555)  
 阶级方言…………… (1278)  
 阶级语…………… (327)

- 解説副詞…………… (197)  
 解釈文法…………… (116)  
 解释语法…………… (116)  
 借词…………… (117)  
 津村清史…………… (1451)  
 金田一春彦…………… (441)  
 金田一京助…………… (441)  
 金泽庄三郎…………… (1082)  
 今泉忠義…………… (1440)  
 禁止表达法…………… (236)  
 禁止表現…………… (236)  
 謹言…………… (781)  
 近称…………… (238)  
 近代…………… (1245)  
 近代诗…………… (57)  
 近代语法史…………… (1246)  
 近世语法史…………… (1246)  
 近向態…………… (236)  
 近向体…………… (236)  
 近畿方言…………… (1278)  
 進行態…………… (520)  
 进行体…………… (520)  
 京阪式重音…………… (1280)  
 京都语…………… (233)  
 经常性经历…………… (259)  
 经过的场所…………… (1160)  
 经过的时间…………… (434)  
 经历表达法…………… (259)  
 経験の表現…………… (259)  
 経験態…………… (258)  
 经验体…………… (783)  
 経験者格…………… (126)  
 境界場所…………… (1160)  
 静辞…………… (553)  
 静止性…………… (1315)  
 静止性动作体…………… (880)  
 静止性的动作动词…………… (291)  
 静助詞…………… (1314)  
 静助辞…………… (553)  
 敬称…………… (267)  
 敬讓の助動詞…………… (269)  
 敬讓…………… (268)  
 敬謙助動詞…………… (921)  
 敬体…………… (272)  
 敬体形容动词…………… (780)  
 敬体助动词…………… (781)  
 敬相…………… (270)  
 敬語…………… (259)  
 敬語の用法…………… (261)  
 敬語の自称…………… (260)  
 敬語の他称…………… (260)  
 敬語の泛称…………… (260)  
 敬语辞典…………… (441)  
 敬語動詞…………… (260)  
 敬語法…………… (263)  
 敬语态动词…………… (625)  
 久野暉…………… (210)  
 九州方言…………… (1278)  
 旧文言…………… (1232)  
 具格…………… (126)

具体名词…………… (1343)  
 句…………… (241)  
 句点…………… (246)  
 句调…………… (90)  
 句読点…………… (246)  
 句読法…………… (250)  
 句法…………… (1253)  
   《句法结构》…………… (1273)  
 句法结构模式…………… (1273)  
   「句法理論面面觀」…………… (1273)  
 句法学…………… (334)  
 句号…………… (246)  
 句节…………… (314)  
 句节的划分方法…………… (1235)  
 句节和句子的关系…………… (1236)  
 句切り力…………… (1217)  
 句型…………… (1229)  
 句子…………… (314)  
 句子成分…………… (1242)  
 句子成分的重复…………… (253)  
 (句子成分的)种类…………… (1242)  
 句子的传统的分析法…………… (1239)  
 句子的文脉…………… (1253)  
 句子结构…………… (1239)  
 句子模式…………… (1229)  
 句子种类…………… (1240)  
 句子重音…………… (90)  
 句子的主题…………… (479)  
 句组…………… (715)  
 剧本…………… (1234)

绝对名词…………… (1343)  
 绝对敬称…………… (565)  
 絶対敬語…………… (565)  
 絶対上位主体語…………… (624)  
 絶対謙称…………… (316)  
 絶対下位主体語…………… (316)  
   「軍記物語」…………… (1231)

## K

开口拗音…………… (1409)  
 开母音…………… (97)  
 开音节…………… (93)  
 楷書…………… (191)  
 可能の表現…………… (159)  
 可能の助動詞…………… (158)  
 可能表达法…………… (159)  
 可能的被動態…………… (156)  
 可能動詞…………… (156)  
 可能句…………… (1149)  
 可能態…………… (155)  
 可能态…………… (155)  
 可能态动词…………… (158)  
 可能态助动词…………… (158)  
 可能文…………… (161)  
 可能相…………… (155)  
 可能助动词…………… (1440)  
 客觀的狀態化の助動詞  
   …………… (782)  
 客观环境…………… (1170)  
 客观可能性…………… (157)



客観形容詞……………(283)  
 客观形式体言……………(264)  
 客观性形容词……………(283)  
 客观性助动词……………(517)  
 客体尊称……………(187)  
 客語……………(226)  
 刻版語……………(218)  
 口ことば……………(90)  
 口令……………(1350)  
 口头语言……………(328)  
 口语……………(328)  
 口语体……………(329)  
 口語文……………(329)  
 口語文法……………(330)  
 口语化的书面语言……………(1230)  
 口语语法……………(330)  
 夸张……………(232)  
 扩充标准理论模式……………(1273)  
 拡大構文……………(1240)  
 括号……………(1292)

## L

拉丁語……………(246)  
 拉丁語语法……………(1225)  
 老人語……………(327)  
 累计数……………(925)  
 类似……………(1189)  
 类形詞……………(1073)  
 類型論……………(1180)  
 类型学……………(1180)

类型文体……………(1237)  
 类义词……………(1449)  
 类义词词典……………(440)  
 類義語……………(1449)  
 「類義語辞典」……………(1451)  
 类音词……………(1448)  
 类音异义词……………(1449)  
 類音異義語……………(1449)  
 類音語……………(1448)  
 「類語辞典」……………(1451)  
 类语反复……………(232)  
 俚言……………(1277)  
 礼貌語……………(1)  
 理解词汇……………(326)  
 理解主体……………(478)  
 利益態……………(1316)  
 历史词汇……………(328)  
 歴史的仮名づかい……………(1454)  
 歴史的説明語法……………(566)  
 歴史的現在……………(1456)  
 历史假名标记法……………(154)  
 历史假名用法……………(1454)  
 歴史的仮名づかい……………(1454)  
 歴史文法……………(1456)  
 历史语法……………(1245)  
 歴史語彙論……………(328)  
 「例解国語辞典」……………(439)  
 例示表达法……………(1453)  
 例示表現……………(1453)  
 例示態……………(1316)

- |               |        |               |            |
|---------------|--------|---------------|------------|
| 例示性的並列……………   | (1263) | 両唇摩擦促音……………   | (596)      |
| 連詞……………       | (1464) | 両唇音……………      | (97)       |
| 连接段落……………     | (716)  | 量词……………       | (512)      |
| 连句节……………      | (1475) | 量数詞……………      | (537)      |
| 连句节的划分方法…………… | (1475) | 林大……………       | (984)      |
| 連体詞……………      | (1464) | 林四郎……………      | (1229)     |
| 連体法……………      | (1473) | 邻接类型……………     | (1450)     |
| 连体格……………      | (519)  | 零标记……………      | (1452)     |
| 连体格助词……………    | (128)  | 零词干……………      | (337)      |
| 连体结构……………     | (1470) | 零记号……………      | (1452)     |
| 連体形……………      | (1464) | 零記号の辞……………    | (1452)     |
| 連体修飾節……………    | (555)  | 零记号的辞……………    | (416)      |
| 連体修飾構造……………   | (1470) | 零声母……………      | (424)      |
| 連体修飾語……………    | (1466) | 零形式……………      | (1452、726) |
| 连体法……………      | (1473) | 零形式的辞……………    | (1452)     |
| 連体助詞……………     | (492)  | 鈴木重幸……………     | (142)      |
| 連文節……………      | (1475) | 鈴木重幸的活用表…………… | (144)      |
| 連想……………       | (1189) | 鈴木朗……………      | (141)      |
| 连用法……………      | (1481) | 鈴木忍……………      | (627)      |
| 连用格……………      | (519)  | 鈴木棠三……………     | (1451)     |
| 连用格助词……………    | (129)  | 鈴木一彦……………     | (195)      |
| 連用形……………      | (1477) | 琉球方言……………     | (1278)     |
| 連用修飾節……………    | (555)  | 滝……………        | (6)        |
| 連用修飾語……………    | (1477) | 鹿儿岛方言……………    | (1280)     |
| 連用言……………      | (141)  | 吕叔湘……………      | (1247)     |
| 連語……………       | (1463) | 論説文……………      | (1234)     |
| 連語論……………      | (335)  | 论说文……………      | (1234)     |
| 連濁……………       | (1473) | 罗马字……………      | (1482)     |
| 连浊……………       | (1473) | 罗马字的分写法……………  | (1488)     |
| 両唇閉鎖促音……………   | (596)  | 逻辑语调……………     | (54)       |

逻辑重音…………… (232)  
 裸格…………… (1428)  
 裸格数量词…………… (538)  
 略语…………… (1444)  
 略字…………… (1445)

## M

马来・波利尼西语系…… (311)  
 马渊和夫…………… (344)  
 罵称…………… (1187)  
 罵詈語…………… (1187)  
 满语…………… (1082)  
 美化語…………… (1180)  
 蒙语…………… (1082)  
 迷惑の受け身…………… (1440)  
 描写语言学…………… (332)  
 名詞…………… (1342)  
 名詞の種類…………… (1343)  
 名詞的な吸着語…………… (230)  
 名词和副词…………… (1342)  
 名词和形容动词词干…… (1342)  
 名词句…………… (1346)  
 名詞文…………… (1346)  
 名词性的吸着语…………… (230)  
 名助词…………… (492)  
 明朝体…………… (191)  
 「明解国語辞典」…… (8)  
 «明解日本語アクセント  
 辞典»…………… (8)  
 明喻…………… (1187)

命令表达法…………… (1348)  
 命令表现…………… (1348)  
 命令法…………… (1352)  
 命令句…………… (1352)  
 命令体の句…………… (484)  
 命令型(副词)…………… (1210)  
 命令形…………… (1348)  
 命令形的终止法…………… (464)  
 命令文…………… (1352)  
 命令语气…………… (1337)  
 蔑视表现…………… (1187)  
 摩擦促音…………… (596)  
 摩擦音…………… (97)  
 模糊数量…………… (539)  
 模型名詞…………… (1343)  
 默言…………… (725)  
 母音…………… (94)  
 母音图…………… (94)  
 母音无声化…………… (95)  
 木枝增一…………… (923)  
 目标格…………… (131)  
 目的格…………… (1363)  
 目的格への敬称…………… (187)  
 目的・目標の表現…………… (1365)  
 目的目标表达法…………… (1365)  
 目的語…………… (1364)  
 目的準体言…………… (491)

## N

内部形式…………… (313)

内地方言…………… (1278)  
 内容段落…………… (714)  
 内容性名词…………… (1344)  
 「奈良朝文法史」…………… (1456)  
 男性语…………… (554)  
 南不二男…………… (1213)  
 南方语言和北方语言重合  
 说…………… (1082)  
 南方说…………… (1082)  
 南亚语系…………… (311)  
 难易句…………… (1028)  
 難易文…………… (1028)  
 能动词…………… (893)  
 能動態…………… (1112)  
 能動文…………… (65)  
 能記…………… (309)  
 能力可能…………… (159)  
 能相…………… (1112)  
 能指…………… (309)  
 逆接条件表达法…………… (227)  
 逆接条件の表現…………… (227)  
 逆用動詞…………… (63)  
 拟古文体…………… (1231)  
 拟人法…………… (1188)  
 拟情語…………… (207)  
 拟声词…………… (206)  
 拟声拟态词…………… (206)  
 拟声語…………… (206)  
 拟态词…………… (207)  
 拟容語…………… (207)

擬態語…………… (207)  
 擬音語…………… (206)  
 「擬音語・擬態語辞  
 典」…………… (500)  
 粘附形式…………… (314)  
 粘着词素…………… (339)  
 粘着性…………… (334)  
 粘着语…………… (334)  
 女手…………… (1193)  
 女性语…………… (554)  
 女性语词典…………… (441)

## P

俳句…………… (57)  
 派生词…………… (1162)  
 派生句型…………… (217)  
 派生文型…………… (217)  
 派生語…………… (1162)  
 判定要求の疑問文…………… (223)  
 判断…………… (1281)  
 判断表达法…………… (1172)  
 判断表現…………… (1172)  
 判断句…………… (922)  
 判断的能力…………… (311)  
 判断文…………… (1241)  
 判断叙述文…………… (1242)  
 判断助动词…………… (640)  
 判叙文…………… (1242)  
 譬喻…………… (1188)  
 片仮名…………… (136)



片假名专用文…………… (154)  
 品詞…………… (1194)  
 品詞の転成…………… (1195)  
 品詞分類…………… (1197)  
 品詞論…………… (1199)  
 品定め文…………… (658)  
 平板式…………… (6)  
 平称…………… (650)  
 平仮名…………… (1193)  
 平假名专用文…………… (154)  
   「平家物語」…………… (1231)  
   「平家物語の文法」…… (116)  
 平山輝男…………… (442)  
 平叙表现…………… (1259)  
 平叙文…………… (1260)  
 平語法…………… (650)  
 評価の副詞…………… (719)  
 评价类型…………… (1451)  
 评论…………… (411)  
 破擦音…………… (97)  
 破裂音…………… (97)  
 破折号…………… (1290)  
 普遍文法…………… (1225)  
 普遍语法…………… (1225)  
 普通词典…………… (440)  
 普通名詞…………… (1223)  
 普通体…………… (496)

## Q

七五调…………… (57)  
 齐齿呼…………… (1409)  
 起点…………… (1159)  
 起点格…………… (131)  
 起伏式…………… (6)  
 起因性名词…………… (1346)  
 契冲…………… (651)  
 謙称…………… (316)  
 谦让否定助动词…………… (764)  
 謙讓語…………… (316)  
 谦让语…………… (316)  
 謙遜語…………… (316)  
 谦语法…………… (650)  
 前母音…………… (95)  
 前置词…………… (573)  
 浅野鶴子…………… (500)  
 浅野信…………… (1234)  
 强变化…………… (882)  
 強調の表現…………… (231)  
 强调表达法…………… (231)  
 强弱重音…………… (5)  
 強意の助動詞…………… (196)  
 強制的使役…………… (417)  
 乔姆斯基…………… (1273)  
 桥本进吉…………… (409)  
 橋本文法…………… (1157)  
 桥本语法…………… (1157)  
 巧拙句…………… (1149)

切れ続き……………(236)

切字……………(1387)

親愛語……………(650)

亲昵语……………(650)

亲属的称呼法……………(521)

親屬關係の呼び方……………(521)

清体……………(191)

清音……………(97)

清音表……………(342)

傾向句……………(1028)

輕卑語……………(1187)

輕蔑語……………(1187)

轻视表现……………(1187)

輕侮語……………(1187)

情态表现……………(493)

情態副詞……………(497)

情意表現……………(493)

请求表达法……………(48)

请求语……………(2)

庆贺语……………(2)

穷举性的并列……………(1263)

屈折……………(244)

屈折性……………(245)

屈折語……………(245)

曲流文……………(1254)

「全国アクセント辞典」……………(442)

全称……………(1444)

全国方言辞典……………(442)

全国共同語……………(232)

全降調……………(55)

全面否定的逆态条件…… (228)

全升调…… (55)

泉井久之助…… (127)

劝诱表达法…… (200)

勧誘表現…… (200)

确定判断…… (1174)

確定系の係副詞…… (221)

確認の助動詞…… (204)

确认表达法…… (129)

確認表現…… (129)

确认的语气…… (1338)

確述の助動詞…… (204)

**R**

人称…………… (1088)  
 人称代名词…………… (1090)  
 人代名词…………… (523)  
 人名用汉字别表…………… (501)  
 人名用汉字追加表…………… (501)  
 人事关系表达法…………… (653)  
 仁田义雄…………… (131)  
 「日本大文典」…………… (1239)  
 日本的学校语法…………… (139)  
 「日本国語大辞典」…………… (441)  
 「日本口語法講義」…………… (1391)  
 日本式(ローマ字)…………… (1482)  
 「日本俗语文典」…………… (1314)  
 「日本文法(口語篇)」…………… (921)  
 「日本文法大辞典」…………… (1247)  
 「日本文法講義」…………… (1391)

「日本文法論」…………… (1391)  
「日本文法学概論」…………… (1391)  
「日本文法研究」…………… (370)  
「日本文法文章論」…………… (1234)  
日本語…………… (1081)  
(日本語的)系属…………… (1082)  
「日本語基本文型」…………… (1229)  
「日本語基本語彙」…………… (217)  
「日本語高頻度語彙」… (217)  
「日本語の歴史」…………… (1456)  
日本語の特徴…………… (1082)  
日本音声協会…………… (55)  
「日汉成语词典」…………… (441)  
「日汉辞典」…………… (441)  
日漢混合文…………… (1234)  
日記文…………… (1234)  
日鮮両語同祖論…………… (1082)  
日语词汇的主要特点  
…………… (327·1083)  
日语的格…………… (126)  
日语的句法…………… (335)  
日语的人称…………… (1089)  
日语的数…………… (531)  
日语的性…………… (553)  
日语的特征…………… (1082)  
(日语的)文字特征…………… (1083)  
(日语的)语音特征…………… (1083)  
日语的语法范畴…………… (1252)  
(日语的)语法特征…………… (1084)  
日语的音素体系…………… (97)

日语普通辞典…………… (440)  
「日语外来语辞典」…………… (442)  
日语语法学…………… (1252)  
日语专门辞典…………… (440)  
日中同形語…………… (1072)  
日汉同形词…………… (1072)  
入子型構造…………… (52)  
軟口蓋促音…………… (596)  
軟口蓋音…………… (97)  
弱变化…………… (882)

## S

萨皮尔…………… (332)  
萨隅方言…………… (1278)  
塞擦音…………… (97)  
塞音…………… (423)  
三大流派…………… (1252)  
三大文法…………… (409)  
三段活用…………… (410)  
三合元音…………… (426)  
三人称…………… (410)  
三上章…………… (927)  
三矢重松…………… (187)  
三尾砂…………… (217)  
三宅武郎…………… (439)  
散文…………… (411)  
散文体…………… (1237)  
森重敏…………… (1226)  
森岡健二…………… (716)  
森田良行…………… (217)

- |                |         |               |         |
|----------------|---------|---------------|---------|
| 删节号……………       | (1291)  | 捨て仮名……………     | ( 82 )  |
| 山がた……………       | (1292)  | 深层结构……………     | ( 131 ) |
| 山口佳纪……………      | ( 283 ) | 深層文……………      | (1274)  |
| 杉山栄一……………      | ( 492 ) | 神保格……………      | ( 241 ) |
| 山田俊雄……………      | ( 283 ) | 神田孝平……………     | ( 322 ) |
| 山田美妙……………      | ( 323 ) | 审美能力……………     | ( 312 ) |
| 山田孝雄……………      | ( 409 ) | 生产性……………      | (1204)  |
| 山田文法……………      | (1391)  | 生成文法……………     | (1273)  |
| 山田语法……………      | (1206)  | 生成语义学……………    | (1273)  |
| 山崎久之……………      | ( 650 ) | 声のスタイル……………   | ( 90 )  |
| 闪语系……………       | ( 311 ) | 声调……………       | ( 5 )   |
| 闪含语系……………      | ( 311 ) | 声门闭塞促音……………   | ( 596 ) |
| 上がり目……………      | ( 6 )   | 声门摩擦促音……………   | ( 596 ) |
| 上代……………        | (1245)  | 声母……………       | ( 423 ) |
| 上代仮名づかい……………   | ( 153 ) | 声态……………       | ( 90 )  |
| 上代特殊仮名づかい…………… | ( 153 ) | 声音语言……………     | ( 90 )  |
| 上代语法史……………     | (1245)  | 升调……………       | ( 55 )  |
| 上二段活用……………     | ( 166 ) | 升渡……………       | ( 6 )   |
| 上位语……………       | (1255)  | 省略……………       | ( 501 ) |
| 上位主体語……………     | ( 624 ) | 省略号……………      | (1291)  |
| 上一段活用……………     | ( 164 ) | 省略文……………      | ( 503 ) |
| 舌边促音……………      | ( 597 ) | 省略转换……………     | ( 502 ) |
| 舌齿闭塞促音……………    | ( 596 ) | 施莱格尔……………     | ( 310 ) |
| 舌齿摩擦促音……………    | ( 596 ) | 施莱赫尔……………     | ( 245 ) |
| 舌根闭塞促音……………    | ( 596 ) | 石板正藏……………     | ( 260 ) |
| 舌根音……………       | ( 97 )  | 辻村敏树……………     | ( 260 ) |
| 舌尖后音……………      | ( 424 ) | 時……………        | ( 918 ) |
| 舌尖前音……………      | ( 424 ) | 時に関する吸着語…………… | ( 230 ) |
| 舌尖中音……………      | ( 97 )  | 時の副詞……………     | ( 498 ) |
| 社会语言……………      | (1442)  | 時の名詞……………     | ( 923 ) |



- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 時の助動詞…………… (922)   | 使動詞…………… (419)    |
| 时代划分…………… (1245)   | 使動言…………… (419)    |
| 時点の表現…………… (447)   | 使令言…………… (141)    |
| 时点表达法…………… (447)   | 使役の表現…………… (419)  |
| 时段表达法…………… (434)   | 使役の助動詞…………… (418) |
| 時間の表現…………… (434)   | 使役表达法…………… (419)  |
| 时间表达法…………… (434)   | 使役対象…………… (654)   |
| 时间范围…………… (435)    | 使役受動文…………… (416)  |
| 时间格…………… (131)     | 使役態…………… (417)    |
| 时间名词…………… (923)    | 使役态动词…………… (418)  |
| 时间数词…………… (923)    | 使役态助动词…………… (418) |
| 时间性的吸着語…………… (230) | 使役相…………… (419)    |
| 时态…………… (918)      | 使役助动词…………… (567)  |
| 时相助动词…………… (922)   | 使役句…………… (420)    |
| 時制…………… (918)      | 使役文…………… (420)    |
| 时枝诚记…………… (409)    | 使用词汇…………… (326)   |
| 時枝文法…………… (921)    | 始動態…………… (451)    |
| 时枝語法的活用表           | 式…………… (1337)     |
| …………… (641)        | 市川孝…………… (715)    |
| 实詞…………… (144)      | 世界語…………… (232)    |
| 实詞敬語…………… (922)    | 釋義詞…………… (323)    |
| 実名詞…………… (1342)    | 是非疑問句…………… (223)  |
| 実驗態…………… (443)     | 釋義…………… (440)     |
| 実用文法…………… (443)    | 試験態…………… (443)    |
| 实用文章…………… (1234)   | 试作体…………… (443)    |
| 实用语法…………… (443)    | 事典…………… (440)     |
| 実質名詞…………… (265)    | 事所代名詞…………… (1091) |
| 実質体言…………… (264)    | 事物表象…………… (312)   |
| 诗歌…………… (1234)     | 事物代名詞…………… (438)  |
| 使動…………… (417)      | 勢力…………… (156)     |

- |              |          |              |          |
|--------------|----------|--------------|----------|
| 勢相……………      | ( 554 )  | 数詞の読み方……………  | ( 533 )  |
| 首里方言……………    | ( 232 )  | 数量表現……………    | ( 538 )  |
| 手写体……………     | ( 191 )  | 数量表达法……………   | ( 538 )  |
| 受け……………      | ( 120 )  | 数量变化……………    | ( 539 )  |
| 受動態……………     | ( 484 )  | 数量范围……………    | ( 539 )  |
| 受給の表現……………   | ( 469 )  | 数量界限……………    | ( 540 )  |
| 受身……………      | ( 63 )   | 数量数詞……………    | ( 537 )  |
| 受身の表現……………   | ( 64 )   | 数码式……………     | ( 8 )    |
| 受身の助動詞……………  | ( 63 )   | 数学辞典……………    | ( 440 )  |
| 受身文……………     | ( 65 )   | 熟字訓……………     | ( 191 )  |
| 受手尊敬……………    | ( 187 )  | 述定……………      | ( 194 )  |
| 受手尊敬の敬語…………… | ( 316 )  | 述格……………      | ( 479 )  |
| 授受表达法……………   | ( 469 )  | 述体の句……………    | ( 484 )  |
| 授受動詞……………    | ( 478 )  | 述体の句……………    | ( 479 )  |
| 授受対象……………    | ( 653 )  | 述語……………      | ( 479 )  |
| 書き葉……………     | ( 124 )  | 述語の省略……………   | ( 483 )  |
| 書き言葉……………    | ( 124 )  | 述語格……………     | ( 127 )  |
| 書記言語……………    | ( 1368 ) | 述語構文……………    | ( 1240 ) |
| 書簡体……………     | ( 504 )  | 述語節……………     | ( 555 )  |
| 書簡文……………     | ( 504 )  | 樹形図……………     | ( 1274 ) |
| 書簡文体……………    | ( 594 )  | 双唇閉塞促音……………  | ( 596 )  |
| 书面文章……………    | ( 1234 ) | 双唇摩擦促音……………  | ( 596 )  |
| 书面語言……………    | ( 124 )  | 双唇音……………     | ( 97 )   |
| 书名号……………     | ( 1292 ) | 双重否定……………    | ( 231 )  |
| 書体……………      | ( 191 )  | 双重否定表达法…………… | ( 1062 ) |
| 书信文……………     | ( 1234 ) | 双关語……………     | ( 878 )  |
| 属格……………      | ( 519 )  | 双生詞……………     | ( 119 )  |
| 属性副詞……………    | ( 1208 ) | 双数……………      | ( 531 )  |
| 数……………       | ( 530 )  | 双音节形容词……………  | ( 1055 ) |
| 数詞……………      | ( 531 )  | 双引号……………     | ( 1292 ) |

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 双语普通辞典…………… (440)   | 俗语类型…………… (1451)   |
| 双语专门辞典…………… (441)   | 随筆…………… (411)      |
| 水谷静夫…………… (650)     | 缩合词…………… (380)     |
| 瞬间动词…………… (486)     | 缩合形…………… (471)     |
| 瞬間動詞…………… (486)     | 缩写词…………… (118)     |
| 顺接条件表达法…………… (488)  | 縮約形…………… (471)     |
| 順接条件の表現…………… (488)  | 所動詞…………… (893)     |
| 顺序数词…………… (487)     | 所記…………… (309)      |
| 顺位数词…………… (487)     | 所相…………… (513)      |
| 説明文…………… (1234)     | 所有主被动态…………… (485)  |
| 説明文法…………… (566)     | 所有卑称…………… (1316)   |
| 説明体の句…………… (484)    | 所有格…………… (519)     |
| 説明要求の疑問文…………… (223) | 所有句…………… (1149)    |
| 说明语…………… (80)       | 所有文…………… (1149)    |
| 思维断句…………… (712)     | 所有主…………… (624)     |
| 思维性断句…………… (1316)   | 所有尊称…………… (1316)   |
| 四段活用…………… (1421)    | 所有の受動態…………… (1439) |
| 四国方言…………… (1278)    | 所在文…………… (626)     |
| 寺村秀夫…………… (1338)    | 所指…………… (309)      |
| 松村明…………… (1247)     | 索绪尔…………… (332)     |
| 松下大三郎…………… (409)    |                    |
| 松下文法…………… (1314)    | <b>T</b>           |
| 松尾捨次郎…………… (452)    | 他称…………… (410)      |
| 送り仮名…………… (81)      | 他動詞…………… (687)     |
| 送りかなの付け方…………… (82)  | 他动词句…………… (688)    |
| 送假名…………… (81)       | 他行利己体…………… (478)   |
| 宋体…………… (191)       | 态…………… (646)       |
| 宋音…………… (422)       | 態…………… (646)       |
| 素材…………… (599)       | 弾き音…………… (97)      |
| 素材敬语…………… (260)     | 弾音…………… (97)       |

- |               |        |               |        |
|---------------|--------|---------------|--------|
| 谈话·····       | (1234) | 提示助辞·····     | (1315) |
| 叹号·····       | (246)  | 提示助词·····     | (121)  |
| 湯桶読み語·····    | (379)  | 提要·····       | (479)  |
| 汤泽幸吉郎·····    | (1430) | 提喻·····       | (1188) |
| 唐音·····       | (191)  | 体·····        | (920)  |
| 套话·····       | (203)  | 体系性·····      | (309)  |
| 套匣式结构·····    | (52)   | 体言·····       | (650)  |
| 特鲁别茨柯派·····   | (332)  | 体言にかかる補語····· | (266)  |
| 特别ラ行四段活用····· | (354)  | 体言的终止法·····   | (464)  |
| 特別な名詞·····    | (266)  | 体言型(副词)·····  | (1210) |
| 特殊动词·····     | (893)  | 体言止め·····     | (464)  |
| 特殊格·····      | (127)  | 天秤型统一形式·····  | (841)  |
| 特殊基数词·····    | (925)  | 「天地」·····     | (54)   |
| 特別数量数詞·····   | (925)  | 天平式统一形式·····  | (841)  |
| 特殊型活用·····    | (143)  | 天沼宁·····      | (500)  |
| 特殊形容動詞·····   | (924)  | 添詞·····       | (1464) |
| 特殊活用·····     | (143)  | 添加表达法·····    | (839)  |
| 特殊疑问句·····    | (223)  | 添加表現·····     | (839)  |
| 特殊音拍·····     | (92)   | 添加性的并列·····   | (1263) |
| 特殊音位·····     | (96)   | 田中馆爱桔·····    | (1482) |
| 特説·····       | (122)  | 田中义廉·····     | (657)  |
| 特提態·····      | (1316) | 田中章夫·····     | (328)  |
| 特題助詞·····     | (122)  | 条件表达法·····    | (494)  |
| 特指疑问·····     | (219)  | 条件表現·····     | (494)  |
| 藤岡胜二·····     | (566)  | 条件法·····      | (147)  |
| 題目の助辞·····    | (1361) | 条件复合句·····    | (334)  |
| 題目語·····      | (657)  | 条件・理由についての吸   |        |
| 提示句·····      | (1149) | 着語·····       | (230)  |
| 提示語·····      | (774)  | 条件性的吸着語·····  | (230)  |
| 提示再帰·····     | (1254) | 跳跃简略形·····    | (1445) |



- 听觉映像…………… (313)  
 听说读写…………… (313)  
 停顿…………… (90)  
 通鼻音…………… (97)  
 同の字点…………… (254)  
 同素反序詞…………… (1073)  
 同現…………… (231)  
 同形类义词…………… (1073)  
 同形同义词…………… (1073)  
 同形异义词…………… (1073)  
 同训异字…………… (191)  
 同一名词连体修饰结构  
 …………… (1471)  
 同一名詞連体修飾構造… (1471)  
 「同義語二十万辞典」… (1451)  
 同音の漢字による書き  
 かえ…………… (554)  
 同音词…………… (877)  
 同音词的应用和整理…… (878)  
 同语反复…………… (232)  
 同音反对語…………… (877)  
 同音反义词…………… (877)  
 同音類義語…………… (877)  
 同音类义词…………… (377)  
 同音語…………… (877)  
 「同音語の研究」…… (879)  
 同源宾语…………… (1364)  
 統辭論…………… (335)  
 统计词汇学…………… (328)  
 统觉作用…………… (727)  
 统叙…………… (512)  
 統語論…………… (880)  
 頭高型…………… (6)  
 「徒然草」…………… (1231)  
 土居光知…………… (217)  
 土耳其语…………… (1082)  
 「土佐日记」…………… (153)  
 团音…………… (424)  
 推测表达法…………… (528)  
 推定の助動詞…………… (526)  
 推断助动词…………… (526)  
 推断表现…………… (528)  
 推量…………… (1281)  
 推量表现…………… (528)  
 推量形…………… (526)  
 推量语气…………… (1337)  
 推量助动词…………… (527)  
 推想態…………… (1316)  
 推量の敬讓助動詞…… (1308)  
 推量の助動詞…………… (527)
- W**
- 倭字…………… (337)  
 外部形式…………… (313)  
 「外国人のための基本語用例  
 辞典」…………… (441)  
 外来語…………… (117)  
 外来語の書き表わし方… (554)  
 完成体…………… (799)  
 完辞…………… (1314)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 完了…………… ( 634 )      | 為手卑下の敬語…………… ( 316 ) |
| 完了の助動詞…………… ( 204 )  | 文…………… (1227)        |
| 完了助动词…………… ( 204 )   | 文の成分…………… (1242)     |
| 完全态…………… (1316)      | 文の構造…………… (123)      |
| 完全文…………… ( 503 )     | 文の種類…………… (1240)     |
| 婉曲表达法…………… ( 73 )    | 文典…………… (1239)       |
| 婉曲表現…………… ( 73 )     | 文段…………… ( 714 )      |
| 婉曲类型…………… (1451)     | 文法…………… ( 124 )      |
| 万葉仮名…………… ( 136 )    | 文法辞典…………… (1247)     |
| 王照…………… ( 137 )      | 文法的事実…………… (1251)    |
| 望月八十吉…………… ( 653 )   | 文法上許容すべき事項… (1248)   |
| 威尔斯…………… ( 3 )       | 文法史…………… (1244)      |
| 尾高型…………… ( 6 )       | 文法性…………… (1250)      |
| 尾崎红叶…………… ( 323 )    | 文法上认可的事项…………… (1248) |
| 未定動詞…………… ( 221 )    | 文法形式…………… ( 274 )    |
| 未定副詞…………… ( 221 )    | 文法形態…………… ( 274 )    |
| 未定副体詞…………… ( 221 )   | 文法論…………… (1252)      |
| 未定名詞…………… ( 221 )    | 文法範疇…………… (1251)     |
| 未然段…………… ( 141 )     | 文法学…………… (1244)      |
| 未然形…………… (1331)      | 文節…………… (1235)       |
| 未熟型形容動詞…………… ( 293 ) | 文論…………… (1256)       |
| 未完成…………… ( 893 )     | 文脈…………… (1253)       |
| 未展開文…………… (1241)     | 文脉…………… (1253)       |
| 位格…………… ( 127 )      | 文末詞…………… (1119)      |
| 位相…………… ( 440 )      | 文素…………… (1235)       |
| 位相語彙論…………… ( 328 )   | 文体…………… (1237)       |
| 位置代名词…………… ( 438 )   | 文体的游移…………… ( 368 )   |
| 谓格句…………… ( 922 )     | 文体类型…………… (1451)     |
| 谓语…………… ( 479 )      | 文体論…………… (1238)      |
| 谓語格…………… ( 922 )     | 文型…………… (1229)       |

- 文学辞典…………… (440)  
 文学文章…………… (1234)  
 文言语法…………… (1232)  
 文艺作品的主题…………… (479)  
 文語体…………… (1231)  
 文語体的书面语言…………… (1230)  
 文語…………… (1230)  
 文語文…………… (1232)  
 文語文法…………… (1232)  
 文章…………… (1233)  
 「文章表現辞典」…………… (1190)  
 文章的文脉…………… (1254)  
 文章結構…………… (1234)  
 文章論…………… (1234)  
 文章学…………… (1253)  
 「文章研究序説」…………… (921)  
 文章語类型…………… (1451)  
 文章作法…………… (1244)  
 文字…………… (1366)  
 文字学…………… (1253)  
 文字言葉…………… (1368)  
 文字语言…………… (124)  
 聞き手の文法…………… (1190)  
 问号…………… (246)  
 乌拉尔·阿尔泰语系…………… (311)  
 乌拉尔语系…………… (311)  
 吴音…………… (188)  
 無標の…………… (1452)  
 無標の項…………… (1452)  
 无标记的…………… (1452)  
 无标记的成分…………… (1452)  
 無分化の一語文…………… (38)  
 無活用辞…………… (507)  
 無活用動詞…………… (889)  
 无活用型…………… (143)  
 無声(音)…………… (97)  
 无题…………… (1316)  
 无意志动词…………… (31)  
 無主文…………… (1338)  
 无主句…………… (1338)  
 五段活用…………… (352)  
 五段特殊活用…………… (354)  
 五段特别活用…………… (354)  
 五段活用动词…………… (892)  
 五七調…………… (57)  
 五十音順…………… (344)  
 五十音図…………… (342)  
 五十音序…………… (439)  
 武部良明…………… (1449)  
 「武蔵野」…………… (323)  
 物代名詞…………… (438)  
 物語文…………… (411)  
 誤用の文法…………… (370)  
  
 X  
 西部方言…………… (1278)  
 西尾实…………… (441)  
 西周…………… (329)  
 希求言…………… (141)  
 希望の助動詞…………… (211)

- 希望表达法…………… (212)
- 希望表現…………… (212)
- 希望喚体…………… (194)
- 希望文…………… (214)
- 吸着語…………… (230)
- 系词…………… (841)
- 系结…………… (122)
- 系结结构…………… (72)
- 系谱分类…………… (310)
- 系助词…………… (121)
- 係り…………… (120)
- 係り結び…………… (122)
- 係り受け…………… (120)
- 係り受け論…………… (1315)
- 係副詞…………… (437)
- 係助詞…………… (121)
- 细江逸记…………… (721)
- 下がり目…………… (6)
- 下二段活用…………… (459)
- 下位語…………… (1255)
- 下位主体語…………… (316)
- 下一段活用…………… (457)
- 「夏木立」…………… (323)
- 先島方言…………… (1278)
- 「现代汉语八百词」…………… (1247)
- 現代仮名づかい…………… (317)
- 現代假名法…………… (154)
- 現代假名与历史假名的比较…………… (318)
- 現代假名用法…………… (317)
- 現代日本語…………… (319)
- 現代口語…………… (329)
- 現代日語…………… (319)
- 「現代語の助詞、助動詞」…………… (1212)
- 現象文…………… (1241)
- 现在时…………… (918)
- 限定の表現…………… (320)
- 限定表达法…………… (320)
- 限定副詞…………… (321)
- 限定性的定语…………… (1466)
- 限定助词…………… (122)
- 线条性…………… (309)
- 象征词…………… (499)
- 象形動詞…………… (499)
- 象徵語…………… (499)
- 相…………… (575)
- 相对性名词…………… (1344)
- 相对名词…………… (1343)
- 相方の受動態…………… (1439)
- 相同…………… (1189)
- 相助動詞…………… (576)
- 消去变形…………… (502)
- 消失完了的时点…………… (448)
- 消息文…………… (504)
- 小开母音…………… (95)
- 小林好日…………… (1829)
- 小说…………… (1234)
- 「小学校令施行規則」…………… (136)



- 小主语…………… (579)  
 写生語…………… (206)  
 写容語…………… (207)  
 心理形容词句…………… (185)  
 心理语法…………… (921)  
 心理语言学…………… (312)  
 新村出…………… (441)  
   「新漢和辞典」…………… (441)  
   「新和英大辞典」…………… (441)  
 新旧类型…………… (1450)  
   「新明解国语辞典」…………… (441)  
   「新文典」…………… (330)  
   「新文典別記」…………… (330)  
 新文语…………… (1232)  
 欣赏能力…………… (312)  
 形…………… (273)  
 形成说…………… (1082)  
 形容词…………… (277)  
 形容詞のウ音便…………… (278)  
 形容詞の假定形…………… (280)  
 形容詞の活用…………… (279)  
 形容詞の連体形…………… (285)  
 形容詞の連用形…………… (286)  
 形容詞の命令形…………… (285)  
 形容詞の推量形…………… (284)  
 形容詞の未然形…………… (284)  
 形容詞の已然形…………… (278)  
 形容詞の語幹…………… (281)  
 形容詞の種類…………… (283)  
 形容詞の終止形…………… (282)  
 形容词的词干…………… (281)  
 形容詞的修飾語…………… (1466)  
 形容词的音便形…………… (99)  
 形容词式活用…………… (277)  
 形容词句…………… (288)  
 形容詞文…………… (288)  
 形容词型活用…………… (143)  
 形容词性名词…………… (1344)  
 形容詞性的吸着語…………… (230)  
 形容词性修饰语…………… (1466)  
 形容動詞…………… (289)  
 形容動詞の假定形…………… (295)  
 形容動詞の活用…………… (292)  
 形容動詞の連体形…………… (298)  
 形容動詞の連用形…………… (298)  
 形容動詞の推量形…………… (297)  
 形容動詞の未然形…………… (298)  
 形容動詞の已然形…………… (292)  
 形容動詞の語幹…………… (295)  
 形容動詞の終止形…………… (297)  
 形容动词的词干…………… (295)  
 形容动词词干与名词的区别…………… (291)  
 形容动词的分立说…………… (291)  
 形容动词的合立说…………… (290)  
 形容动词的否定说…………… (291)  
 形容动词活用次类表…………… (292)  
 形容动词与动词的区别…………… (291)  
 形容动词与形容词…………… (291)  
 形容动词式活用…………… (291)

- 形容动词型活用…………… (291)  
 形容言…………… (1208)  
 形式…………… (126)  
 形式动词…………… (264)  
 形式段落…………… (714)  
 形式副词…………… (265)  
 形式名词…………… (265)  
 形式体言…………… (264)  
 形式语法…………… (1157)  
 形式形容词…………… (264)  
 形式語…………… (1315)  
 形式用言…………… (266)  
 形素…………… (274)  
 形素音位学…………… (275)  
 形態…………… (273)  
 形态范畴…………… (276)  
 形態範疇…………… (276)  
 形態論…………… (276)  
 形態素…………… (275)  
 形態素論…………… (277)  
 形态学…………… (274)  
 形态音素…………… (275)  
 形态音素学…………… (275)  
 形態音素論…………… (275)  
 形态音位…………… (275)  
 形态音位学…………… (275)  
 形態音韻論…………… (275)  
 形状動詞…………… (268)  
 形状の詞…………… (277)  
 形状の言…………… (277)  
 行書…………… (191)  
 行为对象…………… (654)  
 性…………… (552)  
 性别语…………… (554)  
 性质上的句子分类…………… (1241)  
 性状についての吸着語… (230)  
 性状語…………… (291)  
 修辞学…………… (1244)  
 修辞性的重复…………… (254)  
 修饰格…………… (465)  
 修飾語…………… (465)  
 修饰语格…………… (127)  
 修飾語の省略…………… (466)  
 修用語…………… (1315)  
 修正扩充标准理论模式… (1273)  
 虚词…………… (415)  
 虚词敬语…………… (922)  
 虚拟语气…………… (146)  
 許容表現…………… (233)  
 叙事文…………… (1234)  
 叙述…………… (511)  
 叙述の副詞…………… (728)  
 叙述表达法…………… (1259)  
 叙述部…………… (657)  
 叙述句…………… (1260)  
 叙述态…………… (1316)  
 叙述修饰成分…………… (1398)  
 叙述性助动词…………… (517)  
 叙述語…………… (1315)  
 叙想法…………… (147)

序数词…………… (487)  
 続く文節…………… (1236)  
 宣命体…………… (1232)  
 选择表达法…………… (572)  
 選択表現…………… (572)  
 选择性的并列…………… (1263)  
 選択要求の疑問文…………… (224)  
 选择疑问句…………… (224)  
 学生语…………… (327)  
 学术用语…………… (327)  
 学校文法…………… (139)  
 学校语法…………… (210)  
 「学研国語大辞典」…………… (441)  
 询问…………… (222)  
 訓…………… (422)  
 訓点…………… (198)  
 訓読…………… (191)  
 訓读…………… (191)  
 訓读文…………… (199)  
 訓令式…………… (1482)

Y

雅可布逊…………… (332)  
 雅文…………… (1231)  
 雅语类型…………… (1451)  
 咽喉音…………… (97)  
 言い切り…………… (24)  
 「言海」…………… (326)  
 言文一致…………… (322)  
 言文一致体…………… (322)

言葉のゆれ…………… (367)  
 言語…………… (1442)  
 言語…………… (309)  
 言語単位…………… (315)  
 言語地理学…………… (46)  
 言語構成観…………… (314)  
 言語過程説…………… (313)  
 言語活動…………… (312)  
 言語記号…………… (309)  
 言語行動…………… (314)  
 言語形式…………… (313)  
 言語意識…………… (311)  
 言語主体…………… (478)  
 言語の主体…………… (478)  
 「岩波国語辞典」…………… (441)  
 岩井良雄…………… (837)  
 岩淵悦太郎…………… (441)  
 谚语词典…………… (441)  
 奄美大島方言…………… (1278)  
 様態の助動詞…………… (1418)  
 样态助动词…………… (1418)  
 要求表达法…………… (1410)  
 要求表現…………… (1410)  
 要求文…………… (1242)  
 要旨…………… (479)  
 叶姆斯列夫…………… (332)  
 一つ点…………… (254)  
 一般格…………… (127)  
 一般的説明語法…………… (566)  
 一般格…………… (1428)

- 一般规律…………… (1245)  
 一般条件…………… (494)  
 一般性的逆接条件…………… (227)  
 一般性判断…………… (1173)  
 一般文法…………… (43)  
 一段活用…………… (39)  
 一人称…………… (39)  
 一式重音…………… (1280)  
 一語文…………… (38)  
 依頼表現…………… (48)  
 依頼的使役…………… (417)  
 依据根据表达法…………… (378)  
   《伊势物语》…………… (153)  
 疑念反語文…………… (1242)  
 疑問…………… (222)  
 疑問表达法…………… (221)  
 疑問表現…………… (221)  
 疑問詞…………… (219)  
 疑問代名词…………… (221)  
 疑問副词…………… (439)  
 疑問数词…………… (221)  
 疑問数詞…………… (221)  
 疑問体の句…………… (484)  
 疑問文…………… (224)  
 疑問语气…………… (1337)  
 义素…………… (46)  
 意大利语…………… (117)  
 意味…………… (45)  
 意味論…………… (46)  
 意味素…………… (46)  
 意义…………… (46)  
 意義範疇…………… (26)  
 意義素…………… (276)  
 意译法…………… (1298)  
 意志の助動詞…………… (32)  
 意志表达法…………… (33)  
 意志動詞…………… (31)  
 意志助动词…………… (32)  
 异同…………… (1178)  
 異形態…………… (274)  
 異音…………… (94)  
 音…………… (422)  
 音便…………… (98)  
 音便形…………… (98)  
 音读…………… (191)  
 音读词…………… (188)  
 音渡…………… (6)  
 音谷…………… (91)  
 音节…………… (91)  
 音節…………… (91)  
 音節高低アクセント  
   …………… (5)  
 音节文字…………… (1366)  
 音拍…………… (92)  
 音声言葉…………… (90)  
 音声語法…………… (90)  
 音数律…………… (57)  
 音素…………… (94)  
 音素論…………… (274)  
 音素体系…………… (97)



- 音位…………… ( 94 )  
 音位变体…………… ( 274 )  
 音位文字…………… (1366)  
 音位学…………… ( 274 )  
 音義説…………… ( 500 )  
 音译词…………… ( 188 )  
 音乐…………… (1233)  
 音乐辞典…………… ( 440 )  
 音韻…………… ( 94 )  
 音韻体系…………… ( 97 )  
 音子…………… ( 274 )  
 已然形…………… ( 35 )  
 已然言…………… ( 141 )  
 引号…………… (1291)  
 引号式…………… ( 8 )  
 引用文…………… ( 57 )  
 引语动词…………… (1491)  
 引喻…………… (1188)  
 隐 语…………… ( 327 )  
 隐喻…………… (1187)  
 印地安语…………… ( 463 )  
 印欧语系…………… ( 311 )  
 印欧语族…………… ( 311 )  
 印刷体…………… ( 191 )  
 《英和类义词词典》…………… ( 441 )  
 英语…………… ( 117 )  
 应答表达法…………… ( 77 )  
 応答表現…………… ( 77 )  
 応答文…………… (1242)  
 应答语…………… ( 926 )  
 应用词汇学…………… ( 328 )  
 応用語彙論…………… (328)  
 硬口蓋摩擦促音…………… ( 597 )  
 硬口蓋音…………… ( 97 )  
 永野贤…………… ( 334 )  
 詠嘆の助動詞…………… ( 196 )  
 詠嘆表現…………… ( 70 )  
 詠嘆文…………… (1242)  
 用…………… (1410)  
 用の詞…………… (1410)  
 用言…………… (1410)  
 用言词干…………… ( 464 )  
 用言的连体形…………… (1264)  
 用言的连用形…………… (1264)  
 用言肯定否定的重复形式  
 ……………… ( 573 )  
 用字法…………… (1189)  
 有標の…………… (1452)  
 有標の項…………… (1452)  
 有标记的…………… (1452)  
 有标记的成分…………… (1452)  
 有情物…………… ( 31 )  
 有情性名詞…………… (1344)  
 有声(音)…………… ( 97 )  
 有属文…………… (1398)  
 有题…………… (1316)  
 誘導成分…………… (1398)  
 诱导成分…………… (1398)  
 誘導詞…………… ( 558 )  
 誘導副詞…………… ( 729 )

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 誘導語····· (927)       | 語形变化····· (338)      |
| 诱导副词····· (1398)     | 语序····· (344)        |
| 幼儿语····· (327)       | 语义····· (45)         |
| 与格····· (126)        | 语义范畴····· (26)       |
| 玉上琢弥····· (565)      | 语义类型····· (1450)     |
| 語····· (325)         | 语义学····· (328)       |
| 語法····· (369)        | 语音表象····· (312)      |
| 语法····· (1243)       | 语音片断····· (91)       |
| 语法词典····· (1247)     | 语音学····· (1253)      |
| 语法上认可的事项····· (1248) | 语音语法····· (90)       |
| 语法史····· (1244)      | 语言····· (309)        |
| 语法形式····· (274)      | 语言表象····· (312)      |
| 语法形态····· (274)      | 语言的成立条件····· (313)   |
| 语法现象····· (1251)     | 语言单位····· (315)      |
| 语法意义····· (46)       | 语言地理学····· (46)      |
| 语感类型····· (1450)     | 语言的分类····· (310)     |
| 語幹····· (336)        | 语言的省力原则····· (1444)  |
| 語構成····· (339)       | (语言的)形态分类····· (310) |
| 語彙····· (326)        | 语言的游移····· (367)     |
| 「語彙教育」····· (328)    | 语言构成说····· (314)     |
| 語彙論····· (328)       | 语言观····· (1391)      |
| 語彙体系論····· (328)     | 语言过程说····· (313)     |
| 語節····· (1235)       | 语言活动····· (312)      |
| 語論····· (1199)       | 语言生活····· (315)      |
| 语气····· (920)        | 语言形式····· (313、273)  |
| 語順····· (344)        | 语言行为····· (314)      |
| 语素····· (274)        | 语言意识····· (311)      |
| 语素—音节文字····· (1366)  | 语言的主体····· (478)     |
| 语文词典····· (439)      | 语言主体····· (478)      |
| 語圀····· (326)        | 语言总体····· (1442)     |

語種構成論…………… (328)  
 元音…………… (1278)  
 元音交替…………… (340)  
 原辞…………… (1314)  
 原因格…………… (126)  
 原因表达法…………… (305)  
 原因の表現…………… (305)  
 「源氏物語」…………… (1491)  
 遠称…………… (74)  
 远称…………… (74)  
 遠向態…………… (74)  
 远向体…………… (74)  
 願望の助動詞…………… (211)  
 願望表現…………… (212)  
 愿望句…………… (214)  
 愿望助动词…………… (641)  
 云伯方言…………… (1278)  
 运动性…………… (1315)  
 韵母…………… (423)  
 韵文…………… (56)  
 韵文体…………… (1237)

## Z

再帰代名詞…………… (1171)  
 再帰動詞…………… (386)  
 再归动词…………… (386)  
 再展叙…………… (512)  
 暂拟语法教学系统…………… (210)  
 造词法…………… (339)  
 造語論…………… (339)

増田綱…………… (441)  
 展開型形容動詞…………… (293)  
 展叙…………… (512)  
 張喩…………… (1188)  
 赵元任…………… (479)  
 真仮名…………… (136)  
 真名…………… (152)  
 「枕草子」…………… (1491)  
 正書法…………… (553)  
 正序…………… (344)  
 正字法…………… (553)  
 郑重语…………… (775)  
 支配尊称…………… (1316)  
 知觉句…………… (1149)  
 知觉文…………… (1149)  
 直格…………… (1428)  
 直接宾语…………… (1364)  
 直接成分分析法…………… (2)  
 直接的な対象語…………… (652)  
 直接対象の受動態…………… (1439)  
 直接対象被动态…………… (485)  
 直観断句…………… (712)  
 直接構成(要)素分析  
 ……………… (2)  
 直接話法…………… (724)  
 直接引语…………… (120)  
 直译法…………… (1298)  
 直观性断句…………… (1316)  
 直接引述…………… (724)  
 直接引语句…………… (75)

- 直音……………(1409)  
 直音化……………(1409)  
 直音拍……………( 92 )  
 直喻……………(1187)  
 職能……………( 506 )  
 职能……………( 209 )  
 職能的意味……………( 46 )  
 指定の敬讓助動詞……………( 341 )  
 指定の助動詞……………( 445 )  
 指定表达法……………( 446 )  
 指定表現……………( 446 )  
 指定助动词……………( 921 )  
 指示词……………( 350、437 )  
 指示代名词……………( 437 )  
 指示副词……………( 439 )  
 指示内容……………( 351 )  
 指示态……………(1316)  
 指示疑问……………( 219 )  
 致谢语……………( 1 )  
 志田义秀……………(1451)  
 質問……………( 222 )  
 質問文……………(1242)  
 中称……………( 719 )  
 中村明……………(1187)  
 中島文雄……………( 493 )  
 中点……………( 249 )  
 中高型……………( 6 )  
 中古……………(1246)  
 中古语法史……………(1246)  
 中根淑……………(1224)  
 中国方言……………(1278)  
 中国北方话……………( 232 )  
 「中国語と日本語」……………( 653 )  
 中金正衡……………( 277 )  
 中立の待遇表現……………( 650 )  
 中立的待遇表达法……………( 650 )  
 中略型……………(1445)  
 中日字音的对应关系  
 ………………( 423 )  
 中世……………(1246)  
 中世语法史……………(1246)  
 中动态……………( 722 )  
 中線……………(1290)  
 中相……………( 721 )  
 中相动词……………( 721 )  
 中相態……………( 722 )  
 中心词……………( 465 )  
 中学语法系统提要……………( 210 )  
 中型辞典……………( 441 )  
 中止法……………( 719 )  
 中止形……………( 718 )  
 终到场所……………(1160)  
 終結態……………( 463 )  
 终止……………( 24 )  
 終止法……………( 464 )  
 终止形……………( 464 )  
 终止言……………( 141 )  
 終止言……………( 141 )  
 終助詞……………( 467 )  
 冢原铁雄……………( 290 )



- 重音…………… ( 5 )  
 重音辞典…………… ( 440 )  
 重音标记法…………… ( 8 )  
 重音的改变…………… ( 340 )  
 重音的游移…………… ( 367 )  
 重音结构…………… ( 6 )  
 重音类型数…………… ( 8 )  
 诸桥辙次…………… ( 441 )  
 《竹取物语》…………… ( 153、192 )  
 主辞…………… ( 416 )  
 主词…………… ( 841 )  
 主动态…………… ( 646 )  
 主格…………… ( 468 )  
 主格助词…………… ( 129 )  
 主观能力…………… ( 157 )  
 主观形式体言…………… ( 264 )  
 主观性…………… ( 1316 )  
 主观性形容词…………… ( 283 )  
 主观性助动词…………… ( 517 )  
 主述関係…………… ( 475 )  
 主题…………… ( 479 )  
 主体…………… ( 478 )  
 主体立场…………… ( 653 )  
 主体尊称…………… ( 1316 )  
 主体尊敬语…………… ( 624 )  
 主文…………… ( 1274 )  
 主谓关系…………… ( 475 )  
 主谓谓语句…………… ( 579 )  
 主要辞典的词汇量…………… ( 326 )  
 主要段落…………… ( 716 )  
 主語…………… ( 472 )  
 主語の省略…………… ( 474 )  
 主语被害完了…………… ( 801 )  
 主语格…………… ( 127 )  
 主語節…………… ( 555 )  
 主語抹殺論…………… ( 473 )  
 注釈副詞…………… ( 719 )  
 祝詞…………… ( 1232 )  
 助辞…………… ( 507 )  
 助詞…………… ( 507 )  
 助詞の分類…………… ( 510 )  
 助詞の省略…………… ( 509 )  
 助词的分类…………… ( 510 )  
 助词的游移…………… ( 368 )  
 助詞相当連語…………… ( 508 )  
 助词性词组…………… ( 515 )  
 助動詞…………… ( 513 )  
 助動詞相当連語…………… ( 515 )  
 助動詞の省略…………… ( 516 )  
 助動詞の分類…………… ( 516 )  
 助動詞の相互承接…………… ( 514 )  
 助数詞…………… ( 512 )  
 专门词典…………… ( 440 )  
 专有名词…………… ( 369 )  
 转成词…………… ( 339、840 )  
 转成代词…………… ( 1196 )  
 转成动词…………… ( 1196 )  
 转成副词…………… ( 1196 )  
 转成感叹词…………… ( 1196 )  
 转成接续词…………… ( 1196 )

- |                |        |                           |        |
|----------------|--------|---------------------------|--------|
| 转成名词·····      | (1196) | 準助動詞·····                 | (1289) |
| 转成形容词·····     | (1197) | 拙巧文·····                  | (1149) |
| 转成形容动词·····    | (1197) | 卓立·····                   | (1227) |
| 転成語·····       | (840)  | 浊音·····                   | (97)   |
| 転倒·····        | (907)  | 座谈会·····                  | (1234) |
| 转换的时点·····     | (448)  | 座谈记录·····                 | (119)  |
| 转换生成语法·····    | (1252) | 子音·····                   | (95)   |
| 转喻·····        | (1188) | 子音音位和子音音素之间<br>的对应关系····· | (95)   |
| 装定·····        | (194)  | 子句·····                   | (555)  |
| 莊重態·····       | (1316) | 自称·····                   | (39)   |
| 状·····         | (277)  | 自動詞·····                  | (449)  |
| 状名言·····       | (291)  | 自动词·····                  | (449)  |
| 状況語·····       | (493)  | 自动词句·····                 | (450)  |
| 状态动词·····      | (496)  | 自動詞文·····                 | (450)  |
| 狀態動詞·····      | (496)  | 自発の表現·····                | (453)  |
| 状态副词·····      | (497)  | 自発の助動詞·····               | (452)  |
| 狀態可能·····      | (159)  | 自发表达法·····                | (453)  |
| 狀態相のアスペクト····· | (12)   | 自発動詞·····                 | (452)  |
| 准副体助词·····     | (1157) | 自发句·····                  | (453)  |
| 准副助词·····      | (1157) | 自発可能·····                 | (453)  |
| 准名词·····       | (492)  | 自発可能態·····                | (452)  |
| 准体言·····       | (1342) | 自发态·····                  | (451)  |
| 准体助词·····      | (1157) | 自发态助动词·····               | (452)  |
| 准助词·····       | (508)  | 自発文·····                  | (453)  |
| 準詞·····        | (1119) | 自发助动词·····                | (1441) |
| 準副助詞·····      | (492)  | 自立形式·····                 | (314)  |
| 準副体助詞·····     | (492)  | 自立語·····                  | (519)  |
| 準名詞·····       | (492)  | 自然的可能相·····               | (453)  |
| 準体言·····       | (490)  | 自然動的被動·····               | (453)  |
| 準体助詞·····      | (491)  |                           |        |

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 自然段落····· (714)     | 字音····· (422)      |
| 自然勢····· (453)      | 字喻····· (1188)     |
| 自体傲称····· (628)     | 总体数量····· (538)    |
| 自体卑称····· (1316)    | 总主句····· (579)     |
| 自他同形词····· (387)    | 「総合雑誌の用語」          |
| 自·他动词的对应关系          | ····· (217)        |
| ····· (687)         | 総主····· (579)      |
| 自体敬称····· (624)     | 総主文····· (579)     |
| 自体謙称····· (316)     | 最大时间量····· (435)   |
| 自体尊称····· (1316)    | 最高级····· (1179)    |
| 自体尊敬语····· (624)    | 最敬体····· (329)     |
| 自问····· (222)       | 尊卑关系类型····· (1450) |
| 自问自答的疑问句····· (224) | 尊称····· (624)      |
| 自行利己体····· (478)    | 尊大語····· (627)     |
| 自行利他体····· (478)    | 尊敬の助動詞····· (625)  |
| 自用語····· (495)      | 尊敬态助动词····· (625)  |
| 自由词素····· (339)     | 尊敬語····· (624)     |
| 自由形式····· (314)     | 尊敬助动词····· (1442)  |
| 自由形態素····· (339)    | 尊遇····· (650)      |
| 自由语序····· (344)     | 佐伯哲夫····· (346)    |
| 自照代名词····· (1171)   | 佐伯常麿····· (1451)   |
| 恣意····· (309)       | 佐久间鼎····· (437)    |
| 字母歌····· (54)       | 佐藤喜代治····· (328)   |
| 字体····· (191)       | 佐治圭三····· (482)    |
| 字訓····· (422)       |                    |

### 三、词语索引

1. 本索引是将词目化的全部语法功能词和在正文中出现的语法词

组按五十音序排列而成的。

2. 助数词（量词）部分未包括在本索引之内，查535页。

3. 惯用型及索引外的内容可按其结构查找。如，さえ～あれば要查さえ或ば。

## あ

あ……………（ 1 ）  
 ああ……………（ 70 ）  
 あいだ……………（ 4 ）  
 あえて……………（ 5 ）  
 あがる……………（1389）  
 あきらかだ……………（1175）  
 あげく……………（ 8 ）  
 あげくに……………（ 8 ）  
 あげくのはてに……………（ 8 ）  
 あげる……………（478）  
 あずかる……………（ 10 ）  
 あずける……………（ 11 ）  
 あすばす……………（ 13 ）  
 あそばす……………（ 13 ）  
 あたかも……………（ 13 ）  
 あたり……………（ 14 ）  
 あたりまえだ……………（906）  
 あて……………（ 15 ）  
 あと……………（ 15 ）  
 あとから……………（ 16 ）  
 あとで……………（ 16 ）  
 あとに……………（ 15 ）  
 あながち……………（ 17 ）

あながち和かならずしも  
 ……………（ 17 ）  
 あなた……………（1423）  
 あに……………（ 17 ）  
 あにはからんや……………（ 17 ）  
 あの……………（1422）  
 あのね……………（1098）  
 あまり……………（ 17 ）  
 あまりの……………（ 17 ）  
 あやうく……………（ 19 ）  
 あら……………（ 71 ）  
 あり……………（1391）  
 ありがとう……………（ 79 ）  
 ありたい……………（645）  
 ありません……………（1182）  
 ある……………（ 19 ）  
 あるいは……………（ 20 ）  
 あるいは和ないし……………（984）  
 あれですか……………（1176）  
 あろうに……………（1048）  
 あんまり……………（ 18 ）

## い

い……………（ 22 ）  
 いい……………（ 23 ）  
 いいえ……………（ 23 ）



いいな…………… ( 974 )	いざや…………… (1423)
いいわね…………… ( 71 )	いじょう…………… ( 35 )
いうには…………… (378)	いじょうは…………… ( 35 )
いうまでもなく…………… ( 24 )	いぜん…………… (1306)
いうもおろか…………… ( 24 )	いたす…………… ( 36 )
いうもさらなり…………… ( 24 )	いたします…………… (775)
いえ…………… ( 25 )	いただく…………… ( 37 )
いか…………… (540)	いたっ…………… ( 71 )
いがい…………… (540)	いたる…………… (777)
いがいにならない…………… (320)	いちげんのもとに…………… (1284)
いかが…………… (775)	いちどうのなにおいて
いかがですか…………… (214)	…………… (1284)
いかな…………… ( 26 )	いちばん…………… (1179)
いかなる…………… ( 26 )	いちれいをあげると
いかに…………… ( 25 )	…………… (1454)
いかにも…………… ( 26 )	いっけん…………… ( 40 )
いかにもして…………… ( 26 )	いっけんして…………… ( 40 )
いくら…………… ( 27 )	いっけんするところ
いくらか…………… ( 28 )	…………… ( 40 )
いくらだって…………… ( 28 )	いっこう…………… ( 40 )
いくらでも…………… ( 28 )	いっこうに…………… ( 41 )
いくら和どんなに…………… ( 29 )	いっさい…………… ( 41 )
いくらなんでも…………… ( 28 )	いっさいがっさい…………… ( 41 )
いけない…………… ( 29 )	いっそ…………… ( 41 )
いご…………… ( 47 )	いっそのこと…………… ( 41 )
イコール…………… ( 30 )	いったい…………… ( 42 )
いざ…………… ( 30 )	いったいぜんたい…………… ( 42 )
いざさらば…………… ( 30 )	いったいに…………… ( 42 )
いざしらず…………… ( 30 )	いったん…………… ( 42 )
いざかまくら…………… ( 30 )	いってんばり…………… (321)

いな…………… ( 44 )  
 いない…………… ( 540 )  
 いっぱい…………… ( 778 )  
 いっぱう…………… ( 43 )  
 いっぱう～たほう…………… ( 44 )  
 いっぱうだ…………… ( 43 )  
 いっぱうでは～たほうで  
   は…………… (1265)  
 いっぱうでは～またいっ  
   ほうでは…………… ( 44 )  
 いっぱうの…………… ( 43 )  
 いな…………… ( 44 )  
 いまだに…………… ( 45 )  
 いまにも…………… ( 45 )  
 いや…………… ( 78 )  
 いやしくも…………… ( 47 )  
 いやだあ…………… ( 71 )  
 いよう…………… (1422)  
 いらい…………… ( 47 )  
 いらせられる…………… ( 50 )  
 いらっしゃいませ…………… ( 50 )  
 いらっしゃる…………… ( 50 )  
 いる…………… ( 51 )  
 いわずもがな…………… ( 24 )  
 いわんばかりに…………… ( 862 )  
 いわんや…………… ( 54 )

## う

う…………… ( 58 )  
 うえ…………… ( 62 )

うえで…………… ( 62 )  
 うえは…………… ( 62 )  
 うか…………… ( 58 )  
 うが…………… ( 58 )  
 うが～まいが…………… ( 59 )  
 うじゃありませんか  
   …………… ( 61 )  
 うたがない…………… (1175)  
 うち…………… ( 67 )  
 うちに…………… (1306)  
 うではないか…………… ( 61 )  
 うと…………… ( 58 )  
 うという…………… ( 60 )  
 うとおもう…………… ( 58 )  
 うとする…………… ( 60 )  
 うとは…………… ( 61 )  
 うとはおもわない…………… ( 60 )  
 うと～まいと…………… ( 59 )  
 うとも…………… ( 963 )  
 うに…………… ( 58 )  
 うにも～ない…………… ( 60 )  
 うまい…………… ( 71 )  
 うものなら…………… ( 59 )  
 うる…………… ( 72 )  
 うわまわる…………… ( 777 )  
 うん…………… ( 77 )

## え

え…………… ( 70 )  
 ええ…………… ( 77 )

える…………… ( 72 )

お

お…………… ( 625 )

お ( 动词连用形 ) …… ( 1350 )

お～あそばす…………… ( 625 )

おい…………… ( 1422 )

おいそれと…………… ( 76 )

お～いたします…………… ( 775 )

お～いたす…………… ( 76 )

お～いただく…………… ( 471、37 )

おいで…………… ( 76 )

おいでくださる…………… ( 76 )

おいでなさる…………… ( 76 )

おう…………… ( 78 )

おう ( 翁 ) …… ( 268 )

おうじる…………… ( 378 )

おえる…………… ( 79 )

おお…………… ( 71 )

おおかた…………… ( 529 )

おおせる…………… ( 79 )

おおよそ…………… ( 88 )

オーバーする…………… ( 777 )

おかえりなさい…………… ( 1423 )

おかげ…………… ( 80 )

おかげで…………… ( 759 )

おきに…………… ( 81 )

おく…………… ( 1829 )

お～ください…………… ( 1350 )

お～くださる…………… ( 81 )

お～させいたす…………… ( 36 )

お～さ せ て い た だ く  
…………… ( 38 )

お～さま…………… ( 402 )

お～する…………… ( 84 )

おそらく…………… ( 85 )

おだいじに…………… ( 776 )

お～です…………… ( 625 )

おとらない…………… ( 1178 )

お～なさい…………… ( 1349 )

お～なさる…………… ( 85 )

おなじ…………… ( 86 )

おなじい…………… ( 86 )

お～にあずかる…………… ( 10 )

お～になる…………… ( 86 )

お～ねがいます…………… ( 50 )

お～ねがしいた し ま す  
…………… ( 879 )

お～ねがいします…………… ( 214 )

お～ねがいもう し ま す  
…………… ( 1005 )

お～ねがう…………… ( 1100 )

おまえ…………… ( 1423 )

おまけに…………… ( 87 )

おみえになる…………… ( 1329 )

おみごと…………… ( 71 )

お～もうしあげる…………… ( 317 )

お～もう し あ げ ま す  
…………… ( 775 )

お～もうします…………… ( 775 )

お～もうす……………(1362)  
 おもうに……………(378)  
 おもらいになる……………(470)  
 おもわせる……………(1189)  
 およそ……………(88)  
 および……………(88)  
 およぶ……………(777)  
 おろか……………(89)  
 おわり……………(35)  
 おわる……………(89)  
 おん……………(89)  
 おんちゅう……………(268)  
 おんなじ……………(86)

## か

か……………(100、102、105)  
 「か」の見分け方……………(162)  
 が……………(107、112、115)  
 かい……………(116)  
 かいなか……………(573)  
 がいなや……………(117)  
 かかる……………(123)  
 かぎり……………(125)  
 かくい(各位)……………(268)  
 かくごでいる……………(34)  
 かくじつだ……………(1175)  
 かくて……………(127)  
 かくして……………(127)  
 かける……………(131)  
 かける与はじめる……………(132)  
 かしら……………(133)  
 かしらん……………(134)  
 がする……………(547)  
 かた……………(134)  
 がた……………(135)  
 がたい……………(135)  
 かたかた……………(136)  
 かたや～かたや……………(1265)  
 がち和ぎみ……………(137)  
 がちだ……………(137)  
 かつ……………(138)  
 かつか(閣下)……………(267)  
 かつまた……………(138)  
 がてら……………(147)  
 かというと……………(867)  
 かといえは……………(867)  
 かといって……………(148)  
 かどうか……………(573)  
 かとうたがう……………(1189)  
 かとおもう系……………(148)  
 かとおもうと……………(148)  
 かとおもえは……………(148)  
 かとおもったら……………(148)  
 「が」と「の」……………(149)  
 かな……………(151)  
 がな……………(152)  
 か～ないかに……………(106)  
 かならず……………(154)  
 かならずしも……………(155)  
 かならずや……………(155)



がね…………… (115)  
 かね…………… (1097)  
 かねない…………… (155)  
 かねる…………… (155)  
 かのごとし…………… (163)  
 かのように…………… (162)  
 がはやいか…………… (117)  
 がましい…………… (163)  
 かまわない…………… (164)  
 かも…………… (167)  
 かもしれない…………… (167)  
 かもわからない…………… (167)  
 がよい…………… (1404)  
 から…………… (168, 174)  
 からいえば…………… (378)  
 からきし…………… (176)  
 からきし和まるきり…………… (176)  
 からこそ…………… (347)  
 からして…………… (176)  
 からする系…………… (176)  
 からすると…………… (176)  
 からすれば…………… (176)  
 からだ…………… (175)  
 からっきし…………… (176)  
 からって…………… (178)  
 からと…………… (177)  
 から和で…………… (1283)  
 「から」と「ので」…………… (178)  
 からといって…………… (178)  
 からとて…………… (178)

から～にかけて…………… (170)  
 からには…………… (179)  
 からの…………… (169)  
 「から」の見分け方  
 ……………… (180)  
 から～へかけて…………… (170)  
 から～まで…………… (170)  
 からみれば…………… (180)  
 かりそめにも…………… (182)  
 かりに…………… (182)  
 がる…………… (182)  
 かわりに…………… (184, 185)  
 かんけいじょう…………… (309)

き

き (貴) ……………… (625)  
 き (気) ……………… (34)  
 きく…………… (378)  
 きけば…………… (843)  
 きっと…………… (208)  
 きっと和かならず…………… (209)  
 きまい…………… (1302)  
 きみ…………… (1423)  
 ぎみ…………… (218)  
 ぎよ…………… (231)  
 きよかする…………… (233)  
 きらいだ…………… (1184)  
 きり…………… (234)  
 ぎり…………… (234)  
 きり～ない…………… (235)

きりになっている…… (235)  
 きる…… (235)  
 きれいさっぱり…… (397)  
 きわまる…… (777)  
 きわめて…… (778)

## く

ぐ (愚) ~…… (317)  
 くさる…… (242)  
 くせして…… (243)  
 くせに…… (242)  
 くせに和のに…… (243)  
 ください…… (1350)  
 くださる…… (244)  
 くまい…… (1302)  
 ぐらい…… (250)  
 くらい…… (250)  
 くらいな…… (251)  
 くらい~ない…… (252)  
 くらいなら…… (253)  
 くらべる…… (1178)  
 くる…… (255)  
 くるまい…… (1302)  
 くれぐれも…… (776)  
 くれる…… (469)  
 くわうるに…… (256)  
 くわえて…… (256)  
 くわえて和そのうえ…… (256)  
 くん…… (267)

## け

け…… (258)  
 けしからん…… (1095)  
 げだ…… (300)  
 げだ和そうだ…… (300)  
 けだし…… (300)  
 けついでいる…… (34)  
 けっか (結果) …… (309)  
 けっきょく…… (301)  
 けっきょくのところ…… (1175)  
 けっこう…… (775)  
 けっして…… (301)  
 けど…… (302)  
 けども…… (302)  
 けれど…… (302)  
 けれども…… (302, 304)  
 けんど…… (302)

## こ

こ (小) …… (324)  
 こ (個) …… (324)  
 こ…… (625)  
 こ~いたす…… (328)  
 こ~いただく…… (471)  
 こう (高) …… (625)  
 こうして…… (331)  
 こえる…… (777)  
 こ~くださる…… (338)

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| ごくろうさま…………… (775)     | こととする…………… (34)      |
| ござあます…………… (341)      | こととて…………… (364)      |
| ございます…………… (340)      | こと(も)なく…………… (358)   |
| ご～させていただく…………… (38)   | ことなしには…………… (358)    |
| ご～させいたす…………… (36)     | ことなら…………… (358)      |
| ござんす…………… (342)       | ことに…………… (719)       |
| ご～する…………… (346)       | ごとに…………… (541)       |
| こそ…………… (347)         | ことに(と)する…………… (365)  |
| こそすれ…………… (228)       | ことにしている…………… (365)   |
| こそ～なれ…………… (72)       | ごとに和おきに…………… (81)    |
| こそは…………… (1136)       | ことに(と)なる…………… (366)  |
| こっちゃん…………… (355)      | ことに(と)なると…………… (358) |
| こっちゃんろう…………… (355)    | ことは…………… (113)       |
| こってす…………… (355)       | ことはない…………… (357)     |
| こと…………… (355、359、360) | こともある…………… (361)     |
| ことか…………… (360)        | ことゆえに…………… (365)     |
| ごと…………… (360)         | ことよ…………… (359)       |
| ことがある…………… (361)      | ことをえる…………… (362)     |
| ことがおおい…………… (361)     | ご～なさる…………… (368)     |
| ことがかのうだ…………… (362)    | ご～にあずかる…………… (10)    |
| ことができる…………… (361)     | ご～になる…………… (369)     |
| ことがない…………… (361)      | ご～ねがう…………… (1100)    |
| ごとき…………… (363)        | このため…………… (308)      |
| ごときだ…………… (13)        | このだん…………… (711)      |
| ごとく…………… (362)        | この～めが…………… (111)     |
| ごとし…………… (362)        | こまい…………… (1302)      |
| ことだ…………… (1350)       | ご～もうしあげる…………… (1362) |
| ことだろう…………… (1033)     | ご～もうす…………… (1362)    |
| ことでない…………… (813)      | ごらん…………… (371)       |
| ことではない…………… (237)     | ごらんくださる…………… (371)   |

ござんな…………… (372)  
 ござんなさる…………… (371)  
 ござんにいれる…………… (372)  
 ござんになる…………… (371)  
 ござんの…………… (371)  
 これ…………… (1422)  
 これで…………… (375)  
 これでも…………… (376)  
 これといった…………… (860)  
 これなら…………… (377)  
 こら…………… (1422)  
 ころ…………… (377)  
 ごろ…………… (377)

## さ

さ…………… (383, 384, 385)  
 さあ…………… (1422)  
 さあます…………… (341)  
 さい…………… (389)  
 さいこうに…………… (1179)  
 さえ…………… (387)  
 さえあれば…………… (387)  
 さえすれば…………… (387)  
 さえだに…………… (691)  
 さえも…………… (388)  
 さがある…………… (1178)  
 さかい…………… (389)  
 さかいで…………… (389)  
 さかいに…………… (389)  
 さけ…………… (390)

さしあげる…………… (390)  
 さしあげます…………… (470)  
 さして…………… (391)  
 さす…………… (419)  
 さすが…………… (391)  
 さすがに…………… (391)  
 さすかの…………… (391)  
 さすがは…………… (391)  
 させていただく…………… (38)  
 させられる…………… (392)  
 させる…………… (393)  
 さぞ…………… (396)  
 さぞかし…………… (396)  
 さぞ和さだめし…………… (397)  
 さぞや…………… (396)  
 さだめし…………… (397)  
 さっしゃる…………… (733)  
 さっぱり…………… (397)  
 さっぱり和まるっきり… (398)  
 さて…………… (398)  
 さておいて…………… (399)  
 さておき…………… (399)  
 さながら…………… (399)  
 さなきだに…………… (691)  
 さね…………… (1097)  
 さほど…………… (402)  
 さま…………… (402)  
 さま…………… (403)  
 さも…………… (403)  
 さもない系…………… (404)



さもないと……………(404)  
 さもあろう……………(403)  
 さもなくとも……………(404)  
 さもなくば……………(404)  
 さもなければ……………(404)  
 さま……………(402)  
 さま……………(403)  
 さまで……………(402)  
 さようなら……………(1423)  
 さらに……………(691)  
 さらに……………(405)  
 さらに……………(405)  
 さりとて……………(406)  
 ざる……………(406)  
 ざるべからず……………(407)  
 ざるをえない……………(1062)  
 されど……………(407)  
 されば……………(408)  
 さればこそ……………(408)  
 さればとて……………(408)  
 される……………(1459)  
 さん……………(408)

し

し……………(412、414)  
 し(氏)……………(267)  
 しか……………(427)  
 しかし……………(429)  
 しかして……………(431)  
 しかしながら……………(990)

「しか」と「だけ」と  
 「ばかり」……………(431)  
 しかない……………(320)  
 しかのみならず……………(432)  
 しかも……………(432)  
 しからずんば……………(433)  
 しからば……………(433)  
 しかり系……………(433)  
 しかるに……………(433)  
 しかれども……………(433)  
 しかれば……………(433)  
 しき……………(435)  
 しするので……………(413)  
 しだい……………(442)  
 しだいで……………(442)  
 しだいに……………(442)  
 したがって……………(442)  
 したがって与だから……………(443)  
 したまわる……………(777)  
 したら……………(549)  
 して……………(444)  
 して(は)……………(445)  
 してみますと……………(549)  
 してみると……………(548)  
 してみれば……………(548)  
 しな……………(451)  
 しなんだ……………(1175)  
 じぶん……………(1171)  
 しまい……………(1302)  
 じまう……………(800)

しましたら……………(549)  
 しまった……………(71)  
 しむる……………(455)  
 しめたまう……………(455)  
 しめられる……………(456)  
 しめる……………(454)  
 しも……………(456)  
 じゃ……………(460、462)  
 じゃあ……………(462)  
 じゃう……………(801)  
 しゃけ……………(390)  
 じゃないか……………(822)  
 じょう(嬢)……………(267)  
 しょうがない……………(777)  
 しょうちしました……………(77)  
 しょくん……………(1423)  
 じょし(女史)……………(268)  
 しらない……………(79)  
 シンタックス……………(335)

## す

す……………(419)	ずつ……………(540)
ず……………(524)	ずと……………(541)
すう(数)……………(540)	ずとも……………(524)
すぎない……………(1064)	すなわち……………(542)
すぎる……………(777)	ずに……………(542)
すぎるほど……………(1295)	ずに(は)いられない……………(543)
すこしも……………(540)	ずにいる……………(51)
ずして……………(524)	ずにおかない……………(543)
ずじまい……………(525)	ずにおく……………(543)
	ずにくる……………(544)
	ずにしまう……………(544)
	ずにすまされる……………(543)
	ずにすます……………(543)
	ずにすむ……………(543)
	ずばなるまい……………(525)
	すべきだ……………(1267)
	すまい……………(1302)
	すら……………(544)
	すらだに……………(691)
	すら和さえ……………(545)
	すらない……………(89)
	する……………(545)
	する系……………(548)
	すると……………(549)
	するべき……………(1267)
	するまい……………(1302)
	すれば……………(548)
	ずんば……………(525)

せ

ぜ…………… (551)  
 せい…………… (551)  
 せいぜい…………… (778)  
 せえ…………… (389)  
 ぜがひでも…………… (566)  
 せきのやま…………… (778)  
 せたまう…………… (571)  
 せつ (拙) ~…………… (317)  
 ぜったいに…………… (565)  
 ぜったいに和けっして… (565)  
 ぜひ…………… (566)  
 ぜひとも…………… (566)  
 せまい…………… (1302)  
 せられる…………… (566)  
 せる…………… (567)  
 ぜん (然)…………… (572)  
 せんせい (先生)…………… (1423)  
 ぜんぜん…………… (572)  
 ぜんぜん和なんら…………… (572)

そ

ぞ…………… (574)  
 そう…………… (1176)  
 ぞう…………… (574)  
 そういう…………… (188)  
 そういえば…………… (576)  
 そういえばそうだと…………… (576)

そうおもう系…………… (577)  
 そうおもうと…………… (577)  
 そうおもえば…………… (577)  
 そうかといって…………… (577)  
 そうかとおもうと…………… (577)  
 そうしたら…………… (581)  
 そうして…………… (578)  
 そうしていたら…………… (582)  
 そうする系…………… (580)  
 そうすると…………… (580)  
 そうすると和すると…………… (581)  
 そうすれば…………… (581)  
 そうだ…………… (582、585)  
 そうだ和だろう…………… (589)  
 「そうだ」の見分け方… (590)  
 そうだ和ということだ… (844)  
 そうだ系…………… (589)  
 そうだったら…………… (590)  
 そうだと(したら)…………… (589)  
 そうだとすると…………… (589)  
 そうだと(すれば)…………… (589)  
 そうです…………… (591、592)  
 そうでない系…………… (593)  
 そうでないと…………… (593)  
 そうでないなら…………… (593)  
 そうでなかったら…………… (593)  
 そうでなくては…………… (593)  
 そうでなければ…………… (593)  
 そうとう (相当) する…………… (1178)  
 そうな…………… (587)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| そうなら…………… (589)      | それがしるしに…………… (607)   |
| そうに…………… (586)       | それかといって…………… (616)   |
| そうにない…………… (585)     | それがゆえに…………… (622)    |
| そうもない…………… (585)     | それから…………… (607)      |
| そこで…………… (597)       | それから和そして…………… (608)  |
| そこで和それで…………… (598)   | それきり…………… (608)      |
| そこで和だから…………… (598)   | それぎり…………… (608)      |
| そこへ…………… (598)       | それじゃ…………… (614)      |
| そしたら…………… (580)      | それじゃあ…………… (614)     |
| そして…………… (599)       | それだ系…………… (609, 610) |
| そして和それから…………… (600)  | それだから…………… (609)     |
| そっくり…………… (1189)     | それだからこそ…………… (609)   |
| そのあげく…………… (600)     | それだからして…………… (609)   |
| そのあげくのはてに…………… (600) | それだけでなく…………… (612)   |
| そのうえ…………… (600)      | それだけに…………… (612)     |
| そのうえ和それから…………… (601) | それだったら…………… (609)    |
| そのうえで…………… (601)     | それだって…………… (615)     |
| そのかわり…………… (601)     | それだとすれば…………… (589)   |
| そのくせ…………… (602)      | それだと…………… (609)      |
| そのくらいなら…………… (603)   | それなのに…………… (610)     |
| そのせいで…………… (603)     | それで…………… (612)       |
| そのため…………… (604)      | それであっても…………… (615)   |
| そのついでに…………… (604)    | それであるから…………… (609)   |
| そのてまえ…………… (824)     | それであるのに…………… (610)   |
| そのとたん…………… (605)     | それであればこそ…………… (609)  |
| そのはんたいに…………… (605)   | それでいて…………… (611)     |
| そのはんめん…………… (605)    | それでいながら…………… (611)   |
| そもそも…………… (605)      | それですから…………… (609)    |
| それ…………… (1423)       | それでは…………… (614)      |
| それが…………… (606)       | それでも…………… (614)      |



それでも和でも…………… (615)  
 それっきり…………… (608)  
 それと…………… (615)  
 それという系…………… (615)  
 それとって…………… (616)  
 それといっても…………… (616)  
 それどころか…………… (616)  
 それとて…………… (617)  
 それとても…………… (617)  
 それとはいえ…………… (616)  
 それとも…………… (617)  
 それなのに和ところが… (611)  
 それなら…………… (617)  
 それならば…………… (617)  
 それに…………… (618)  
 それにもかかわらず…… (620)  
 それにくわえて…………… (256)  
 それにしたって…………… (620)  
 それにしては…………… (619)  
 それにしても…………… (619)  
 それにつけても…………… (620)  
 それにつれて…………… (620)  
 それに和それから…………… (619)  
 それにもかかわらず…… (620)  
 そればかりか…………… (621)  
 そればかりでなく…………… (621)  
 それはさておいて…………… (621)  
 それはさておき…………… (621)  
 それはそうと…………… (621)  
 それはほんとうですか… (1176)

それも…………… (622)  
 それもそのはず…………… (622)  
 それゆえ…………… (622)  
 それより…………… (623)  
 それよりか…………… (623)  
 それよりは…………… (623)  
 それよりも…………… (623)  
 それを…………… (623)  
 それを和それが…………… (624)  
 そん (尊) …………… (625)  
 ぞんじあげます…………… (775)  
 ぞんじます…………… (775)  
 そんなことはない…………… (78)  
 そんなら…………… (628)  
 そんなに…………… (5)

# た

た…………… (629)  
 だ…………… (635)  
 たあ…………… (963)  
 だい…………… (22)  
 たい…………… (641)  
 たい (対) …………… (646)  
 たいした…………… (651)  
 たいして…………… (651)  
 たいてい…………… (655)  
 たい (とおもう)…………… (1365)  
 「たい」と「たがる」… (655)  
 たいへん…………… (71)  
 たえて…………… (660)

- だが…………… (660)  
 たかない…………… (642)  
 だから…………… (664)  
 だから和それで…………… (613)  
 だからこそ…………… (664)  
 だからといって…………… (674)  
 たがる…………… (665)  
 たくって…………… (642)  
 たくっても…………… (642)  
 たくば…………… (645)  
 たくもない…………… (968)  
 だけ…………… (668)  
 だけあって…………… (672)  
 だ系…………… (673、674)  
 だけしかない…………… (320)  
 だけだ…………… (669)  
 だけでなく…………… (670)  
 だけど…………… (675)  
 だけに…………… (674)  
 だけになっている…………… (669)  
 だけのことはある…………… (672)  
 だけのことではない…………… (670)  
 だけのことにすぎない…………… (670)  
 だけのものがある…………… (672)  
 だけは…………… (670)  
 たけりゃ…………… (644)  
 だけれど…………… (675)  
 だけれども…………… (675)  
 たことがない…………… (732)  
 たしか…………… (130)  
 だす…………… (676)  
 だす和はじめる…………… (677)  
 たそうだ…………… (677)  
 ただ…………… (678)  
 ただいま…………… (1423)  
 ただし…………… (679)  
 ただし和ただ…………… (679)  
 ただ和なお…………… (678)  
 ただならぬ…………… (1095)  
 たち…………… (679)  
 たっけ…………… (259)  
 たっ (達) する…………… (777)  
 たった…………… (778)  
 だったとしたら…………… (182)  
 だったら…………… (673)  
 だって和でも…………… (682)  
 だって…………… (682、683、684、685)  
 「だって」の見分け方…………… (686)  
 たって…………… (679、680)  
 だって…………… (685)  
 だと…………… (639)  
 たとえ…………… (689)  
 たとえば…………… (690)  
 たところ…………… (929)  
 たところで…………… (689)  
 たところでどうにも  
 ならない…………… (938)  
 たところではじまらな  
 い…………… (938)  
 だとしたら…………… (673)

だとすると…………… (673)  
 だとすれば…………… (673)  
 たなら…………… (490)  
 たならば…………… (1013)  
 だに…………… (691)  
 だにも…………… (691)  
 だね…………… (691)  
 だの…………… (691)  
 だのに…………… (693)  
 たび…………… (693)  
 たぶん…………… (694)  
 たまう…………… (694)  
 たまえ…………… (694)  
 ため…………… (695)  
 だめだ…………… (1184)  
 ため和おかげ和せい…………… (81)  
 ために…………… (307)  
 だも…………… (691)  
 たら…………… (697、698、700)  
 たらざる…………… (705)  
 たらしめる…………… (705)  
 たら和と和て…………… (488)  
 たら和なら…………… (489)  
 たらなあ…………… (213)  
 「たら」の見分け方…………… (701)  
 たらんとする…………… (705)  
 たり…………… (701、705)  
 だり…………… (701)  
 たりうる…………… (706)  
 たりする…………… (702)

たりとも…………… (706)  
 たる…………… (707)  
 たるや…………… (707)  
 たるをうしなわない…………… (707)  
 だろう…………… (709)  
 だろうか…………… (1369)  
 だろうに…………… (711)  
 たらうに…………… (1050)  
 だわね…………… (1097)  
 だん (段) …………… (594、711)  
 だんじて…………… (713)  
 だん (段) でない…………… (711)  
 だん (段) になる…………… (711)

# ち

ちがない…………… (1184)  
 ちがう…………… (77)  
 ちっとも…………… (717)  
 ちなみに…………… (717)  
 ちまう…………… (800)  
 ちゃ…………… (717)  
 ちゃいけない…………… (717)  
 ちゃう…………… (800)  
 ちゃま…………… (718)  
 ちゃん…………… (717)  
 ちょうだい…………… (723)  
 ちょうど…………… (724)  
 ちょっと…………… (726)

## つ

つ…………… (730、731)  
 つ〜つ…………… (731)  
 ついぞ…………… (732)  
 ついで…………… (732)  
 ついては…………… (732)  
 ついに…………… (732)  
 つかまつる…………… (733)  
 っきり…………… (234)  
 っけ…………… (258)  
 つごう (都合) …… (309)  
 っしゃる…………… (733)  
 ったらない…………… (698)  
 つつ…………… (733)  
 つつある…………… (734)  
 つづける…………… (735)  
 つつも…………… (734)  
 って…………… (735、738、739)  
 ってさ…………… (739)  
 ってな…………… (809)  
 「って」の見分け方…… (741)  
 ってば…………… (741、742)  
 っても…………… (743)  
 っぷり…………… (1226)  
 っばい…………… (744)  
 っばい和らしい…………… (744)  
 つまり…………… (744)  
 つまり和すなわち…………… (745)  
 つもり…………… (745)

つもりだ…………… (529)  
 つもりでない…………… (746)  
 つもりはない…………… (743)  
 づらい…………… (745)

## て

て…………… (748、753)  
 で…………… (755、762、763)  
 で和に…………… (448)  
 てあげる…………… (763)  
 ではありません…………… (764)  
 である…………… (766)  
 てある…………… (765)  
 である系…………… (770)  
 であるからには…………… (771)  
 であれ…………… (690)  
 であれば…………… (768)  
 であればこそ…………… (1155)  
 であろう…………… (771)  
 であろうと…………… (1264)  
 てい…………… (645)  
 ていい…………… (772)  
 でいい…………… (772)  
 ていく…………… (773)  
 ていけない…………… (29)  
 ていただきたいのですが  
     …………… (49)  
 ていただく…………… (774)  
 ていただけないでしょう  
     か…………… (49)



ていない…………… ( 10 )	てくれ…………… ( 48 )
ていせられる…………… ( 50 )	てくれない…………… ( 49 )
ていらっしゃる…………… ( 50 )	てくれる…………… ( 795 )
ている…………… ( 782 )	てけっこうだ…………… ( 772 )
でいる…………… ( 51 )	でございます…………… ( 796 )
てえ…………… ( 753 )	でございましょうか…………… ( 797 )
ておいで…………… ( 1349 )	でござらぬ…………… ( 447 )
ておいでです…………… ( 77 )	でござる…………… ( 798 )
ておいでになる…………… ( 77 )	てごらん…………… ( 372 )
ておく…………… ( 785 )	でさえ…………… ( 798 )
ておくれた…………… ( 795 )	でさえある…………… ( 769 )
ておくれでない…………… ( 795 )	でさえも…………… ( 338 )
ておしまいになる…………… ( 799 )	てさしあげる…………… ( 317 )
ておしまいなさる…………… ( 799 )	てしかありません…………… ( 769 )
ておられる…………… ( 787 )	てしかたがない…………… ( 777 )
ております…………… ( 775 )	でしかない…………… ( 429 )
ておる…………… ( 786 )	でしたら…………… ( 673 )
てかかる…………… ( 123 )	てしまう…………… ( 799 )
てから…………… ( 787 )	でしょう…………… ( 801 )
でから…………… ( 787 )	でしょうに…………… ( 1050 )
てから和たあと…………… ( 789 )	です…………… ( 803、807 )
てからというものは…………… ( 788 )	ですが…………… ( 661 )
てからはじめて…………… ( 788 )	ですから…………… ( 664 )
てき ( 的 ) だ…………… ( 789 )	ですな…………… ( 975 )
できる…………… ( 791 )	ですね…………… ( 1099 )
てください…………… ( 792 )	ですら…………… ( 807 )
てくださいませんか…………… ( 49 )	てた…………… ( 838 )
てくださる…………… ( 792 )	でだけ和だけで…………… ( 669 )
でぐらい和ぐらいで…………… ( 251 )	てちょうだい…………… ( 724 )
てくる…………… ( 255 )	てて…………… ( 838 )

- 「で」と「から」…… (808)
- ての…… (814)
- 「で」の見分け方…… (816)
- てほしい…… (213)
- てな…… (809)
- てない…… (809)
- でない…… (810)
- でない系…… (813)
- でないと…… (321)
- でないなら…… (1013)
- でなかったら…… (813)
- でなく…… (810)
- でなくては…… (813)
- でなければ…… (813)
- てならない…… (777)
- でならない…… (1014)
- ての…… (814)
- での…… (815)
- ては…… (817)
- では…… (819、821)
- てば…… (819)
- ではありません…… (764)
- ではありませんか…… (821)
- ではあるまいか…… (821)
- てはいかん…… (237)
- てはいけない…… (181)
- てはかなわない…… (1184)
- ではごさいません…… (798)
- てはだめだ…… (237)
- ではない…… (810)
- ではないか…… (821)
- ではないかとおもわれる  
…… (530)
- ではないだろう…… (447)
- ではないでしょう…… (447)
- ではないでしょうか…… (821)
- ではなかろうか…… (821)
- てはならない…… (237)
- てはならぬ…… (1094)
- てはならん…… (237)
- てはなるまい…… (1184)
- てほしい…… (823)
- てまいります…… (775)
- てまいる…… (317)
- てまえ…… (824)
- てみせる…… (35)
- てみたら…… (825)
- てみる…… (824)
- てみると…… (825)
- てみれば…… (825)
- てみろ…… (825)
- ても…… (826)
- でも…… (828、831、832)
- 「でも」の見分け方…… (834)
- でもありません…… (764)
- でもある…… (769)
- でもあれば～でもある  
…… (769)
- てもいいから…… (175)
- でもいいから…… (175)

てもかまいません…… (828)  
 てもかまわない…… (233)  
 て(も)けっこうだ…… (772)  
 てもさしさわりない…… (1174)  
 てもさしつかえない…… (233)  
 でもって…… (833)  
 でもない…… (810)  
 てもらう…… (469)  
 てもらえない…… (49)  
 てもらおう…… (49)  
 てもよろしい…… (1174)  
 てやまない…… (835)  
 てやる…… (835)  
 てよ…… (836)  
 てよい…… (772)  
 てよう…… (839)  
 てよこす…… (837)  
 てらす…… (378)  
 てらっしゃる…… (837)  
 てりゃ…… (838)  
 でりゃあ…… (838)  
 てる…… (837)  
 でる…… (838)  
 てろ…… (838)  
 てん…… (838)  
 てんか(殿下)…… (267)  
 てんで…… (840)

と

と…… (845、848、850、853、854)  
 と～と…… (850)  
 ど…… (854)  
 とあって…… (855)  
 とある…… (855)  
 とあれば…… (856)  
 といい…… (213)  
 といい～といい…… (872)  
 といいますと…… (864)  
 といいますのは…… (864)  
 という…… (856、857、860)  
 という和といった…… (860)  
 といううわさだ…… (842、  
 という系……  
 (862、863、864、866、871)  
 というけれども…… (871)  
 ということ…… (873)  
 ということがある…… (874)  
 ということができる…… (875)  
 ということだ…… (842)  
 ということになる…… (875)  
 ということにする…… (875)  
 ということもなく…… (874)  
 というと…… (863)  
 というの…… (876)  
 というのか…… (872)  
 というので…… (869)  
 というのに…… (870)

- というのは…………… (864)  
 というはなした…………… (842)  
 というみかた (見方) も  
   ある…………… (1173)  
 というもの…………… (876)  
 というものの…………… (866)  
 というよりは…………… (871)  
 というよりも…………… (871)  
 といえども…………… (855)  
 といえは…………… (863)  
 といえはそれまでだ…………… (868)  
 といえはいえる…………… (130)  
 といえる…………… (1174)  
 といえるだろう…………… (777)  
 といおうか～といおうか  
   …………… (872)  
 といけない…………… (30)  
 といった…………… (859)  
 といったところだ…………… (1189)  
 いったら…………… (863)  
 いったらない…………… (863)  
 いたしますと…………… (947)  
 といっち (一致) する…  
   …………… (1178)  
 といって…………… (869)  
 といっていい…………… (861)  
 といっていいほど…………… (861)  
 といってしまえば…………… (868)  
 といっても…………… (827)  
 といってもいいくらい… (861)
- といってもいいすぎでは  
   ない…………… (777)  
 といってもかごん (過  
   言) ではない…………… (861)  
 といわず…………… (1264)  
 といわず～といわず…………… (873)  
 といわないばかりに…………… (862)  
 といわぬばかりに…………… (862)  
 といわれている…………… (861)  
 といわれる…………… (861)  
 どういたしまして…………… (775)  
 どうか…………… (879)  
 どうかする…………… (879)  
 どうか和どうぞ…………… (879)  
 どうして…………… (884)  
 どうしてか…………… (884)  
 どうしても…………… (885)  
 どうしてどうして…………… (885)  
 どうじ (同時) に…………… (1264)  
 どうせ…………… (904)  
 とうぜん (当然) だ…………… (906)  
 どうぞ…………… (906)  
 どうぞ和どうか…………… (907)  
 とうけとられる…………… (1173)  
 どうだ…………… (1176)  
 とうてい…………… (909)  
 どうにも…………… (909)  
 どうにもこうにもならな  
   い…………… (909)  
 どうにもならない…………… (909)



- |                         |                      |
|-------------------------|----------------------|
| どうも…………… (910)          | とくる…………… (255)       |
| どうやら…………… (910)         | とくると…………… (255)      |
| どうやらこうやら…………… (910)     | とことなる…………… (1178)    |
| とうらはらに…………… (1178)      | とことにする…………… (1178)   |
| どうり (道理) …… (911)       | どこへやら…………… (1394)    |
| どうるい (同類) だ…………… (1178) | どころ…………… (932)       |
| どおし…………… (911)          | ところ…………… (927、931)   |
| とおなじ…………… (1189)        | ところが…………… (934)      |
| とおもう系…………… (912、913)    | どころか…………… (935)      |
| とおもうまもなく…………… (913)     | ところがおおきい…………… (928)  |
| とおもうと…………… (913)        | ところだった…………… (19)     |
| とおもえば…………… (912)        | ところで…………… (937、938)  |
| とおもったら…………… (913)       | どころですか…………… (936)    |
| とおもえる…………… (911)        | ところではない…………… (933)   |
| とおもわせる…………… (914)       | ところとなっている…………… (929) |
| とおもわれている…………… (911)     | ところに…………… (930)      |
| とおもわれる…………… (911)       | ところによると…………… (928)   |
| とおり…………… (914)          | ところの…………… (187)      |
| とか…………… (915、917)       | ところのさた (沙汰) で        |
| とか〜とか…………… (915)        | はない…………… (933)       |
| とかいう…………… (915)         | ところのさわぎではない          |
| とか〜など…………… (917)        | …………… (933)          |
| とかなんとか…………… (917)       | ところのはなしではない          |
| とかわる…………… (1178)        | …………… (933)          |
| とかんがえる…………… (34)        | ところへ…………… (939)      |
| ときたら…………… (255)         | ところを…………… (939)      |
| ときに…………… (922)          | とき…………… (940)        |
| とぎゃく (逆) だ…………… (1178)  | とされる…………… (943)      |
| ときょうつう (共通) だ           | としたことが…………… (948)    |
| …………… (8711)            | としたって…………… (946)     |

- |                                |                       |
|--------------------------------|-----------------------|
| としたところで…………… (946)             | となく…………… (955)        |
| としたら…………… (947)                | となしに…………… (956)       |
| として…………… (941)                 | となったら…………… (958)      |
| としては…………… (941)                | となって…………… (958)       |
| としても…………… (1366)               | となっている…………… (957)     |
| としますと…………… (947)               | となりますと…………… (958)     |
| としよう…………… (944)                | となる…………… (957)        |
| とすぐ…………… (851)                 | となる系…………… (958)       |
| とする…………… (942)                 | となると…………… (398)       |
| とする系…………… (945、947)            | となれば…………… (958)       |
| とするか…………… (944)                | とにかく…………… (959)       |
| とすると…………… (947)                | との…………… (959)         |
| とすれば…………… (948)                | どの(殿)…………… (960)      |
| とたいしょうてき(対照<br>的)だ…………… (1178) | とのうわさだ…………… (842)     |
| とたんに…………… (948)                | とのことだ…………… (842)      |
| とちがう…………… (1178)               | のとはなしだ…………… (842)     |
| どちら…………… (1179)                | ののよし(由)…………… (960)    |
| どちらかというと…………… (867)            | とは…………… (960)         |
| どちらかといえは…………… (868)            | とはいいいながら…………… (871)   |
| とて…………… (949)                  | とはいいうものの…………… (871)   |
| 「とて」の見分け方……………                 | とはいえ…………… (870)       |
| …………… (951)                    | とはうってかわった…………… (962)  |
| と〜とで…………… (757)                | とはかぎりません…………… (962)   |
| とても…………… (951)                 | とはこのことだ…………… (961)    |
| とても和ぜったいに…………… (952)           | とはなしに…………… (956)      |
| とどうじ(同時)に…………… (851)           | とばかり…………… (862)       |
| とどうよう(同様)…………… (1189)          | とはよくいったものだ… (961)     |
| とどのつまり…………… (1175)             | (と)までいかない…………… (1321) |
| 「と」と「に」…………… (952)             | とみえて…………… (1329)      |
|                                | とみる…………… (1173)       |

とみるむきもある…… (1173)  
 とみるや…… (1386)  
 とも…… (963、965、966)  
 「とも」の見分け方…… (970)  
 ども…… (967)  
 ともあれ…… (967)  
 ともいえる…… (530)  
 ともいうことができる… (530)  
 ともうし…… (873)  
 ともうし～ともうし…… (873)  
 ともうしましょうか…… (873)  
 ともうしますのは…… (864)  
 ともかく…… (967)  
 ともかくとして…… (967)  
 ともかくも…… (967)  
 ともさ…… (966)  
 ともすれば…… (966)  
 ともな…… (966)  
 ともない…… (968)  
 ともなく…… (969)  
 ともなしに…… (956)  
 とやら…… (971)  
 とよい…… (1404)  
 どれ…… (1423)  
 どんなに～ことか…… (72)

な

な…… (972、975)  
 「な」の見分け方…… (1010)  
 なあ…… (975)

ない…… (975、977、983)  
 「ない」の見分け方…… (986)  
 ないうちに…… (68)  
 ないか…… (979)  
 ないかしら…… (981)  
 ないかな…… (974)  
 ないこと…… (979)  
 ないことには…… (358)  
 ないし…… (984)  
 ないだろう…… (1182)  
 ないで…… (984)  
 ないでください…… (238)  
 ないでくださる…… (238)  
 ないでくる…… (255)  
 ないではいられない…… (453)  
 ないでも…… (978)  
 ないでもない…… (640)  
 ないといけない…… (981)  
 ないといられない…… (981)  
 ないはずだ…… (1161)  
 ないまでも…… (1321)  
 ないように…… (238)  
 ないわけにはいかない… (981)  
 なお…… (987)  
 なおかつ…… (138)  
 なかった…… (978)  
 なかで…… (756)  
 なかなか…… (987)  
 ながら…… (988、991)  
 ながらも…… (989)

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| なかろう…………… (980)      | なしには…………… (997)       |
| なきゃ…………… (1390)      | なしでは…………… (997)       |
| なく…………… (1183)       | なぜ…………… (998)         |
| なくちゃ…………… (978)      | なぜかというと…………… (999)    |
| なくちゃだめだ…………… (905)   | なぜかといえは…………… (999)    |
| なくっちゃ…………… (978)     | なぜって…………… (999)       |
| なくって…………… (978)      | なぜというに…………… (999)     |
| なくて…………… (994)       | なぜなら…………… (999)       |
| なくては…………… (978)      | なぜならば…………… (999)      |
| なくてはいかん…………… (1094)  | なぜなれば…………… (999)      |
| なくてはいけない…………… (981)  | なぞ…………… (999)         |
| なくてはならない…………… (978)  | なそうだ…………… (1000)      |
| なくてはなるまい…………… (1062) | なと…………… (1001)        |
| なくとも…………… (995)      | など…………… (1001)        |
| なくともかまわない…………… (905) | なにが～どうする…………… (476)   |
| なくともよい…………… (982)    | なにが～どんなだ…………… (476)   |
| なけりゃ…………… (1390)     | なにが～なんだ…………… (476)    |
| なければ…………… (980)      | なにとぞ…………… (1005)      |
| なければいけない…………… (30)   | なには…………… (1005)       |
| なければいけない…………… (981)  | なにはさておいて…………… (1005)  |
| なければおかない…………… (981)  | なにはさておいても…………… (1005) |
| なければならぬ…………… (1063)  | なにはさておき…………… (1005)   |
| なさ…………… (978)        | なにはどうあれ…………… (1005)   |
| なさい…………… (1349)      | なにはともあれ…………… (1005)   |
| なさすぎる…………… (978)     | なにはなくとも…………… (1005)   |
| なさそうだ…………… (978)     | なにひとつ…………… (1182)     |
| なさる…………… (995)       | なにも…………… (1006)       |
| なさんな…………… (972)      | なにゆえ…………… (1006)      |
| なし…………… (997)        | なにを…………… (1006)       |
| なしで…………… (997)       | なのだ…………… (1007)       |



なのです…………… (1009)  
 なのに…………… (693)  
 なよ…………… (973)  
 なら…………… (1010、1013)  
 ならいざしらず…………… (1012)  
 ならずとも…………… (1021)  
 ならでは…………… (1013)  
 ならではの…………… (1014)  
 ならない…………… (1014)  
 ならぬ…………… (1014)  
 ならば…………… (1010)  
 ならびに…………… (1015)  
 ならびとおよび…………… (1016)  
 ならびに…………… (1015)  
 ならん…………… (1021)  
 なり… (1016、1018、1020、1021)  
 なりと…………… (1016)  
 なりと～なりと…………… (1019)  
 なりとなす…………… (1022)  
 なりとも…………… (1016)  
 なりに…………… (1018)  
 なりません…………… (1014)  
 なりやいなや…………… (1022)  
 なる…………… (1027)  
 なるか…………… (1027)  
 なるのか…………… (1027)  
 なるべく…………… (1270)  
 なるべくなら…………… (1270)  
 なるほど…………… (78)  
 なるまい…………… (1014)

なるものか…………… (1014)  
 なれ…………… (1023)  
 なれど…………… (1023)  
 なれば…………… (1023)  
 なればこそ…………… (1155)  
 なればなり…………… (1023)  
 なんか…………… (1029)  
 なんぜ…………… (999)  
 なんだ…………… (1030)  
 なんて…………… (1030、1031、1032)  
 なんで…………… (999)  
 なんですって…………… (1177)  
 なんと…………… (1033)  
 なんとかして…………… (26)  
 なんと～だろう…………… (72)  
 なんとになれば…………… (1034)  
 なんととも…………… (1034)  
 なんの…………… (1035)  
 なんら…………… (1035)  
 なんらか…………… (1035)

に

に…………… (1036、1047、1049)  
 にあたって…………… (1050)  
 にあたって和にさいし  
     て…………… (1051)  
 にあたり…………… (1050)  
 にあたりまして…………… (1050)  
 にあたる…………… (1050)  
 にある…………… (1051)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| において…………… (1051)      | にして…………… (1059)       |
| におかれましては…………… (1053)  | にしては…………… (1060)      |
| におきまして…………… (1053)    | にしてみたら…………… (1066)    |
| における…………… (1053)      | にしてみれば…………… (1066)    |
| におとらない…………… (1189)    | にしても…………… (1061)      |
| におよばない…………… (1054)    | にしましては…………… (1060)    |
| におよびもつかない…………… (1054) | にしよう…………… (1063)      |
| におよぶ…………… (1054)      | にしろ…………… (1063)       |
| にかかわらず…………… (321)     | にしろ～にしろ…………… (1265)   |
| にかぎって…………… (1056)     | にすぎない…………… (1064)     |
| にかぎらず…………… (1055)     | にすぎる…………… (1064)      |
| にかぎらない…………… (1055)    | にする…………… (1065)       |
| にかぎる…………… (1055)      | にする系…………… (1066)      |
| にかけて…………… (1056)      | にする和とする…………… (546)    |
| にかけては…………… (1057)     | にせよ…………… (1067)       |
| にかけると…………… (1057)     | にせよ～にせよ…………… (1264)   |
| にかたくない…………… (530)     | にたいする…………… (1067)     |
| にかよう…………… (1178)      | にたいしては…………… (1068)    |
| にかんして…………… (1057)     | にたとえる…………… (1189)     |
| にかんする…………… (1057)     | にちかい…………… (1189)      |
| にかんせず…………… (1057)     | にちがいありません…………… (1069) |
| にきまっている…………… (529)    | にちがいない…………… (1069)    |
| にくい…………… (1058)       | について…………… (1070)      |
| にくい和がたい和づら            | については…………… (819)      |
| い…………… (747)          | につき…………… (1071)       |
| にぐらい和ぐらいに…………… (251)  | につけ…………… (1071)       |
| にことならない…………… (1189)   | につけ～につけ…………… (1072)   |
| にさいして…………… (1059)     | にて…………… (1074)        |
| にさいしまして…………… (1059)   | にてらす…………… (1179)      |
| にしたところで…………… (1066)   | にとって…………… (1075)      |

にとっては…………… (819)  
 にどと (二度と) …… (1075)  
 に和と…………… (654)  
 に和を…………… (655)  
 にとりまして…………… (1075)  
 になる…………… (1076)  
 ににる…………… (1189)  
 には…………… (1078)  
 にはあたらない…………… (1051)  
 にはんして…………… (1080)  
 にひってき (匹敵) す  
 　　る…………… (1189)  
 にほかならない…………… (1080)  
 にまで…………… (1320)  
 にまで和までに…………… (1318)  
 にむかって…………… (1365)  
 にも…………… (1085)  
 にもかかわらず…………… (1086)  
 にもかぎらない…………… (1056)  
 にもせよ…………… (1067)  
 にも～ない…………… (1086)  
 にゃ…………… (1093)  
 によって…………… (307)  
 によらず…………… (1088)  
 による…………… (1086)  
 によると…………… (842)  
 によれば…………… (1087)

ぬ

ぬ…………… (1092、1095)

ぬ和ん…………… (1095)  
 ぬともよい…………… (1094)  
 ぬばかり…………… (1153)

ね

ね…………… (1097、1098)  
 ねえ…………… (1099)  
 ねがう…………… (1099)  
 ねがわくは…………… (1100)  
 ねがわくば…………… (1100)  
 「ね」の見分け方…………… (1100)  
 ねばならない…………… (1015)  
 ねばならぬ…………… (1094)

の

の…………… (1101、1103、1110、1111)  
 の～の…………… (1110)  
 のあまりに…………… (17)  
 のう…………… (1112)  
 のうちで…………… (1179)  
 のか…………… (1113)  
 のかしら…………… (1115)  
 のかもしれない…………… (1115)  
 のだ…………… (1115)  
 のだ和だ…………… (1118)  
 のだった…………… (1116)  
 のだと…………… (843)  
 のだろう和だろう…………… (1118)  
 のち…………… (1119)  
 ので…………… (1119)

のでしょう…………… (1122)  
 のです…………… (1121)  
 のではあるまいか…………… (1118)  
 のではない…………… (237)  
 のではないか…………… (1118)  
 のではないだろうか…………… (1118)  
 の和だの…………… (1111)  
 の～ないのと…………… (1110)  
 のなかで…………… (1179)  
 のなら…………… (1117)  
 の～なんの…………… (1110)  
 のに…………… (1123、1125、1127)  
 のに和けれども…………… (1125)  
 のには…………… (1128)  
 のね…………… (1129)  
 の～のと…………… (1110)  
 のは～からだ…………… (1102)  
 のはなしでは…………… (842)  
 のべ…………… (539)  
 のぼる…………… (777)  
 のみ…………… (1129)  
 のみか…………… (1131)  
 のみしかない…………… (320)  
 のみでなく…………… (1131)  
 のみで和でのみ…………… (1130)  
 のみならず…………… (1131)  
 のやら…………… (1131)  
 のやら～のやら…………… (1393)  
 のよ…………… (1132)  
 のを…………… (1133)

## は

は…………… (1135)  
 ば…………… (1144)  
 はあ…………… (77)  
 はい…………… (77)  
 はい (拝) …… (317)  
 ばいい…………… (213)  
 はいけい (拝啓) …… (595)  
 ばかり…………… (1150)  
 ばかりか…………… (1154)  
 ばかりだ…………… (1152)  
 ばかりでなく…………… (1155)  
 ばかりに…………… (307)  
 ばこそ…………… (1155)  
 はじめる…………… (1156)  
 はず…………… (1161)  
 はずがない…………… (1161)  
 はずだ…………… (1350)  
 はずだった…………… (1162)  
 はする…………… (548)  
 は～だ…………… (1174)  
 はたして…………… (1163)  
 はっ…………… (78)  
 ばっかし…………… (1152)  
 はては…………… (1164)  
 「は」と「が」…………… (1165)  
 「ば」和「と」…………… (488)  
 ばなあ…………… (213)  
 ばのこと…………… (1145)



ばのはなし…………… (1145)  
 はいはなしが…………… (1170)  
 ばよい…………… (1404)  
 ばり…………… (1189)  
 はんたい (反对) だ…………… (1178)  
 はんめん (反面) …………… (1175)

ひ

ひ (非) …………… (1184)  
 ひ (卑) ～…………… (317)  
 ひいて…………… (1178)  
 ひいては…………… (1178)  
 ひかく (比較) する…………… (1179)  
 ひけをとらない…………… (1178)  
 ひじょう (非常) に…………… (778)  
 ひ (比) する…………… (1179)  
 ひた～に…………… (1049)  
 ひつよう (必要) だ…………… (906)  
 ひつよう (必要) とす  
     る…………… (906)  
 ひとしい…………… (1178)  
 ひとつ…………… (1186)  
 ひとつは～ひとつは…………… (1265)  
 ひとり…………… (1186)  
 ひとりとして…………… (1186)  
 ひょっと…………… (1192)  
 ひょっとしたら…………… (1192)  
 ひょっとして…………… (1192)  
 ひょっとすると…………… (1192)  
 ひるがえって…………… (1194)

ふ

ふ (不) …………… (1063)  
 ふう (風) だ…………… (1200)  
 ふうだ…………… (1200)  
 ふうです…………… (1202)  
 ふうん…………… (71)  
 ぶり…………… (1226)  
 ぶる…………… (1226)

へ

へ…………… (1257)  
 へい (弊) …………… (317)  
 へいか (陛下) …………… (267)  
 へえ…………… (71)  
 べからざる…………… (407)  
 べからず…………… (1265)  
 べきだ…………… (1265)  
 べく…………… (1365)  
 べくもない…………… (1269)  
 べけれ…………… (1269)  
 べし…………… (1268)  
 べつ (別) だ…………… (1178)  
 べつだん (別段) …………… (1271)  
 べつに…………… (1271)  
 への…………… (1272)  
 へ和に…………… (1258)

## ほ

ほう (方) ..... (1276)  
 ほうがよい ..... (1404)  
 ほうの ..... (1277)  
 ほうだ ..... (1277)  
 ほうふつさせる ..... (1189)  
 ほか ..... (1284)  
 ほかあるまい ..... (1285)  
 ほかしかたがない ..... (1285)  
 ほかない ..... (320)  
 ほかならぬ ..... (1081)  
 ほしい ..... (212)  
 ほしがる ..... (213)  
 ほど ..... (1294)  
 ほとんど ..... (778)  
 ほんとう ..... (1176)

## ま

まい ..... (1301)  
 まいか ..... (1301)  
 まいし ..... (1301)  
 まいぞ ..... (575)  
 まいに ..... (1304)  
 まいる ..... (1305)  
 まいものでもない ..... (1303)  
 まいります ..... (775)  
 まえ ..... (1306)  
 まえに ..... (68)  
 まけない ..... (1178)

まさか ..... (1307)  
 まさかに ..... (1307)  
 まさに ..... (1307)  
 まし ..... (1310)  
 まじい ..... (1305)  
 まして ..... (1307)  
 ましょう ..... (1308)  
 ます ..... (1309)  
 まする ..... (1309)  
 ますれば ..... (1310)  
 ませ ..... (1310)  
 ませば ..... (1310)  
 ません ..... (1311)  
 ませんでした ..... (1092)  
 ませんでした ..... (1092)  
 また ..... (1312)  
 またしても ..... (1313)  
 まだしも ..... (1313)  
 またと ..... (1313)  
 またとない ..... (1313)  
 または ..... (1313)  
 まっせ ..... (1311)  
 まったく ..... (1316)  
 まで ..... (1317)  
 までに ..... (1320)  
 までだ ..... (1320)  
 までの ..... (1322)  
 までのことだ ..... (1320)  
 までのこともない ..... (906)  
 までも ..... (1321)

までもない…………… (906)  
 まま…………… (1323)  
 ままに…………… (1324)  
 ままにならない…………… (1324)  
 まるきり…………… (1324)  
 まるきり和すこしも…………… (1324)  
 まるで…………… (1324)  
 まんいち (万一) …… (1325)  
 まんがいち (万が一) …… (1325)  
 まんざら…………… (1326)

み

み…………… (1327)  
 み (未) …… (1184)  
 みえる…………… (1328)  
 みじんも…………… (1329)  
 みせる…………… (1329)  
 みせる和みさせる…………… (1329)  
 みたい…………… (1331)  
 みたいだ…………… (1332)  
 みたいです…………… (1334)  
 みたいだ和ようだ…………… (529)  
 みたようだ…………… (1335)  
 みっともない…………… (969)  
 みとお (見通) した…………… (530)  
 み和さ…………… (1327)  
 みなさん (皆様) …… (1423)  
 みまん (未満) …… (540)

む

む…………… (1337)  
 む (無) …… (1184)  
 むしろ…………… (1339)  
 むり (無理) からぬ…………… (1094)  
 むり (無理) もない…………… (906)  
 むろん…………… (1340)

め

め…………… (1341)  
 めえ…………… (1305)  
 めったに…………… (1353)

も

も…………… (1354、1361)  
 も～も…………… (302)  
 もう…………… (778)  
 もうしあげる…………… (1361)  
 もうしいれる…………… (1363)  
 もうしかねます…………… (1363)  
 もうします…………… (775)  
 もうしわけございません (1363)  
 もうす…………… (1362)  
 もうすこしで…………… (1363)  
 もうちょっとで…………… (1363)  
 もが…………… (1355)  
 もし…………… (1365)  
 もしか…………… (1367)  
 もしかしたら…………… (301)

もしかする和あるいは… (1367)  
 もしくは…………… (1368)  
 もしくは和または…………… (1368)  
 もじどお (文字通) り… (1175)  
 もしも…………… (1368)  
 もしもし…………… (1423)  
 もしや…………… (1369)  
 もすこし…………… (1363)  
 もちろん…………… (1369)  
 もちろん和とうぜん…………… (1369)  
 もっと…………… (1179)  
 もっとも…………… (1369)  
 もとで…………… (756)  
 もとづく…………… (378)  
 もとより…………… (1370)  
 もない…………… (89)  
 も～ば～も…………… (281)  
 もの…………… (1371、1373)  
 ものか…………… (1374)  
 ものが…………… (1375)  
 ものがある…………… (1372)  
 ものかしら…………… (1374)  
 ものかは…………… (1375)  
 ものぞ…………… (574)  
 ものだ…………… (1375)  
 ものだろうか…………… (1377)  
 もので…………… (1379)  
 ものです…………… (1376)  
 ものでない…………… (813)  
 ものではない…………… (237)

ものな…………… (1373)  
 ものなら…………… (1379)  
 ものね…………… (1373)  
 ものの…………… (1380)  
 ものは…………… (1372)  
 ものゆえ…………… (1382)  
 ものを…………… (1382)  
 ものをもっている…………… (1372)  
 もん…………… (1373)  
 もんだ…………… (1375)  
 もんで…………… (308)

## や

や…………… (1384、1385、1386、1387)  
 や～や…………… (1384)  
 やあい…………… (1388)  
 やい…………… (1388)  
 やいなや…………… (117)  
 やがる…………… (1388)  
 やさき…………… (1389)  
 やしない…………… (1390)  
 やす…………… (1389)  
 やすい…………… (160)  
 やっと…………… (778)  
 や～など…………… (1384)  
 やなにか…………… (1384)  
 やなんか…………… (1029)  
 「や」の見分け方…………… (1390)  
 やはり…………… (130)  
 やら…………… (1392、1394、1395)



やら～やら…………… (1393)  
 やる…………… (1395)  
 やる和する…………… (1396)  
 やれ…………… (1397)  
 やれやれ…………… ( 72 )  
 やろう (野郎) …… ( 71 )

ゆ

ゆえ…………… (1399)  
 ゆえに…………… (1400)  
 ゆえん…………… ( 308 )  
 ゆるす…………… (233)

よ

よ…………… (1401、1402)  
 よい…………… (1403)  
 よう…………… (1404)  
 よう…………… (1408)  
 ようが…………… (1406)  
 ようが～ようが…………… (113)  
 ようがない…………… (160)  
 ようが～まいが…………… (1406)  
 ようこそ…………… (776)  
 ようじゃないか…………… (1407)  
 ようす (様子) …… (1418)  
 よう (要) するに…………… (1411)  
 (よ)うぞ…………… (575)  
 ようだ…………… (1411)  
 ようだ和らしい…………… (529)  
 ようです…………… (1419)

ようではないか…………… (1407)  
 ようと…………… (1405)  
 ようと～ようと…………… ( 852 )  
 ようという…………… (1406)  
 ようとおもう…………… (1406)  
 ようとしても…………… ( 28 )  
 ようとする…………… ( 19 )  
 ようとは…………… (1407)  
 ようとはおもわれぬ…………… (1406)  
 ようと～まいと…………… (1406)  
 ようとも…………… ( 963 )  
 ようなものの…………… (1381)  
 ようなら…………… (1415)  
 ように…………… (1415)  
 ようにして…………… (1412)  
 ようにしている…………… (1417)  
 ようにする…………… (1417)  
 ようにと…………… (1415)  
 ようになっている…………… (1417)  
 ようになる…………… (1417)  
 ようにも～(られ)ない… (1407)  
 ようものなら…………… (1406)  
 よかったものの…………… (1381)  
 よかりそうだ…………… ( 588 )  
 よさそうだ…………… ( 588 )  
 よし…………… (1420)  
 よしや…………… (1420)  
 よしんば…………… (1420)  
 よって…………… (1422)  
 よな…………… (1422)

よね…………… (1422)  
 よも…………… (1423)  
 よもや…………… (1423)  
 より…………… (1424)  
 よりか…………… (1427)  
 よりしかない…………… (320)  
 よりほかない…………… (1425)  
 よりほかに…………… (1425)  
 よる…………… (378)  
 よろしく…………… (776)  
 よろしい…………… (1427)  
 よろしい和よい…………… (1427)

## ら

ら…………… (1428)  
 らしい…………… (1431)  
 らる…………… (1435)  
 られる…………… (1436)

## り

り…………… (1444)

## る

る…………… (1448)  
 るい (類) する…………… (1178)  
 るいじ (類似) する…………… (1178)

## れ

れい (令) …………… (625)  
 れる…………… (1456)

## ろ

ろい…………… (22)  
 ろくだ…………… (1485)  
 ろくすっぽ…………… (1485)  
 ろくに…………… (1483)  
 ろくろく…………… (1485)  
 ろん (論) をまたない… (906)

## わ

わ…………… (1486)  
 わい…………… (22)  
 わかった…………… (79)  
 わけ…………… (1488)  
 わけだ…………… (1488)  
 わけだ和はずだ…………… (906)  
 わけではない…………… (1489)  
 わけにはいかない…………… (1489)  
 わね…………… (1486)  
 わよ…………… (1486)  
 わりに…………… (1492)  
 わる…………… (777)  
 わ～わ…………… (1487)

## を

を…………… (1494)  
 をいいことに…………… (1499)  
 をさいわいに…………… (1499)  
 をして…………… (1498)  
 をする…………… (545)  
 を～と (して) …………… (942)

を～とする……………(944)  
 をとわず……………(321)  
 を～に……………(1499)  
 を～にする……………(546)  
 をねらって……………(1365)  
 をば……………(1500)  
 を～へと……………(1495)  
 をめざして……………(1365)  
 をめどに……………(1365)  
 をもって……………(1500)  
 をや……………(54)

ん

ん……………(1503、1504)

んか……………(1095)  
 なかった……………(1092)  
 んだ……………(1115)  
 んだって……………(843)  
 んで……………(1505)  
 んです……………(1121)  
 んでも……………(1095)  
 んでもいい……………(1094)  
 んでもかまわん……………(1094)  
 んとする……………(1504)  
 「ん」の見分け方……………(1506)  
 んばかり……………(1503)  
 んばかり中的ん……………(1505)  
 んや……………(17)

## 参考书目

- 国語学概論 橋本進吉 岩波書店  
国語学原論 時枝誠記 岩波書店  
国語学大辞典 国語学会編 東京堂出版  
国語学研究事典 佐藤喜代治編 明治書院  
语言与语言学词典 K・K哈特曼、F・C斯 托克著 商务印书馆  
日本語教育事典 日本語教育学会編 大修館書店  
日本文法事典 北原保雄、鈴木丹士郎、増淵恒吉、山口佳紀 有精堂  
日本文法大辞典 松村明編 明治書院  
要解国語、国文法辞典 湯沢幸吉郎監修 寺瀬光男編 東京堂出版  
基礎日本語1、2 森田良行 角川書店  
日本語文法術語索引 北原保雄 有精堂  
品詞別日本文法講座1～10 鈴木一彦、林巨樹編集 明治書院  
岩波講座日本語3、4、6、7、10 波多野完治、岩淵悦太郎、平山  
輝男、大久保忠利 岩波書店  
日本文法講座1～6 明治書院  
日本の言語学3、文法1、2 服部四郎、大野晋、阪倉篤義、松村明  
大修館書店  
日本文法学要論 山田孝雄 宝文館  
国文法体系論 橋本進吉 岩波書店  
改選標準日本文法 松下大三郎 中文館書店  
日本文法口語篇 時枝誠記 岩波書店  
口語法精説 湯沢幸吉郎 明治書院  
日本語文法・形態論 鈴木重幸 むぎ書房  
学校文法概説 永野賢 朝倉書店  
日本文法研究 久野暁 大修館書店  
変形文法と日本語上・下 井上和子 大修館



- 教師用日本語教育ハンドブック③文法Ⅰ 国際交流基金  
 教師用日本語教育ハンドブック④文法Ⅱ 国際交流基金  
 国立国語研究所報告3 現代語の助詞、助動詞——用例と実例 秀英  
 出版  
 古典語現代語助詞・助動詞詳説 松村明編 学燈社  
 現代語助動詞の史的研究 古田金彦 明治書院  
 日本語助詞のアスペクト 金田一春彦 むぎ書房刊  
 現代語法序説 三上章 くろしお出版  
 現代語法新説 三上章 くろしお出版  
 現代日本語の構造 南不二男 大修館書店  
 敬語 大石初太郎 築摩書房  
 文章論—方法論的考察— 永野賢 朝倉書店  
 文章表現辞典 広田栄太郎、村松定孝、神鳥武彦編 東京堂  
 覆刻 文化庁国語シリーズV 外国語と日本語 教育出版  
 中国語と日本語 望月八十吉 光生館  
 語彙教育 教科研東京国語部会・言語教育研究サークル著 麦書房刊  
 KENKYUSHA'S NEW JAPANESE-ENGLISH DICTIO  
 NARY (研究社新日英辞典) KOHMASUDA (増田綱) KE  
 NKYUSHA (研究社)  
 広辞苑 新村出 岩波書店  
 学研国語大辞典 金田一春彦、池上禎造 学習研究社  
 外国人のための基本語用例辞典 文化庁